

現場説明事項

工事名称 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、市立富士見ガーデンビーチの解体工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 関係法令を遵守し関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 仮設については、近隣に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、監督員と協議し設置すること。
- 4) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 5) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 6) 周辺環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、騒音、振動については各測定器を用いて適切に管理すること。
- 7) 契約期間は、契約締結日から令和7年3月14日とする。現場着手は令和6年10月1日からとする。
- 8) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 9) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CADデータから作成すること。
- 10) 着工前の近隣説明会について発注者に協力すること。
- 11) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。

設 計 仕 様 書

工事名称 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

工事場所 富士見市 大字勝瀬 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称						市立富士見ガーデンビーチ解体工事					
請負工事費											
工事概要											
市民プールの解体工事 管理棟、ロッカー棟、スライダー、付属棟ほか 全ての建物、工作物の解体工事											
										上段 設計変更	
										下段 原設計	
総括表											
名称		摘要		数量	単位	金額		備考			
建築工事				1	式						
電気設備工事				1	式						
機械設備工事				1	式						
計				1	式						
共通仮設費				1	式						
純工事費				1	式						
現場経費				1	式						
工事原価				1	式						
一般管理費				1	式						
工事価格				1	式			スクラップ°控除前 スクラップ°控除			
改め				1	式						
消費税相当額				1	式			10%			
請負工事費				1	式						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の 整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	振動測定器、騒音測定器、 測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

(P.共通 - 2 -)

()

()

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
B	共通仮設費												
		積上げ分											
	交通誘導員 B												
		240人程度		1.0		式							別紙明細-1 P- 別-共仮-1
	仮囲い												
		仮囲鉄板 H-2.0、運搬共		1.0		式							別紙明細-2 P- 別-共仮-2
		同 架台：山留材		1.0		式							別紙明細-3 P- 別-共仮-3
	仮囲い												
		ガードフェンス H-1.8、運搬共		1.0		式							別紙明細-4 P- 別-共仮-4
	パネルゲート												
		鋼製複層板											
		W7.20×H4.5		1.0		式							別紙明細-5 P- 別-共仮-5
	仮設敷鉄板												
		1524×6096×22、運搬共		1.0		式							別紙明細-6 P- 別-共仮-6
	騒音振動計												
		6カ月 表示タイプ		1.0		式							
	備品搬出												
		備品類、デスク、キャビネット、 更衣室ロッカー等		1.0		式							
	杭位置測量												
		報告書含む		1.0		式							
	石綿粉じん濃度測定												
		作業内2点、境界4点 作業前、作業中、作業後、報告書共		1.0		式							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
	解体に伴う家屋調査	解体前後	30m圏								
		木造住宅3棟	工作物3棟	1.0		式					
	ラフテレンクレーン										
		25t	オペレータ付き	1.0		式					
	計										

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

B共通仮設費			
交通誘導員B			

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	交通誘導員B		240.0	人			
	別紙明細-1 計						

(P - 別 - 共仮 1)

(—————)

富士見市総務部営繕課

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

B共通仮設費 仮囲い	仮囲鉄板			
	H-2.0			

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	設置費		288.0	m			
	撤去費		288.0	m			
	供用一日賃料、修理費		288.0	m			
	基本料、修理費含む	t1.2 W-500	288.0	m			
	仮囲い運搬		288.0	m			
	別紙明細-2 計						

(P - 別 - 共仮 2)

(—————)

富士見市総務部営繕課

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

B共通仮設費 仮囲い	架台:山留材			
---------------	--------	--	--	--

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
架台:山留材	材料費、整備費					
	積込取卸費、運搬共、90日リース	1.0	式			
別紙明細-3 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

B共通仮設費 仮囲い	ガードフェンス			
	H-1.8			

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	掛払い手間		271.0	m			
	供用一日賃料、修理費		271.0	m			
	基本料、修理費含む		271.0	m			
	仮設材運搬	ガードフェンス	271.0	m			
	別紙明細-4 計						

(P - 別 - 共仮 4)

(—————)

富士見市総務部営繕課

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

B共通仮設費 パネルゲート	鋼製複層板		
	W7.20×H4.5		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	掛払い		4.0	ヶ所			
	月額損料		6.0	ヵ月			
	別紙明細-5 計						

(P - 別 - 共仮 5)

(_____)

富士見市総務部営繕課

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

B共通仮設費			
仮設敷鉄板			

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	設置費		139.0	m ²			
	撤去費		139.0	m ²			
	供用一日賃料	3ヶ月以下	139.0	m ²			
	整備費		139.0	m ²			
	仮設鉄板運搬		139.0	m ²			
	別紙明細-6 計						

(P - 別 - 共仮 6)

(—————)

富士見市総務部営繕課

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	直接工費						
I	建築解体工事		1.0	式			
II	電気設備解体工事		1.0	式			
III	機械設備解体工事		1.0	式			
IV	工作物解体工事		1.0	式			
V	外構解体工事		1.0	式			
VI	発生材処理		1.0	式			
VII	有価物処理		1.0	式			
VIII	アスベスト含有物	※撤去、処分費含む	1.0	式			
IX	整地・外柵工事		1.0	式			
	直接工費 - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	建築工事						
1	管理棟解体工事	切符売場、改札含む	1.0	式			
2	ロッカー棟解体工事		1.0	式			
3	機械室・倉庫棟解体工事	増築分 45㎡含む	1.0	式			
4	軽食売店棟解体工事		1.0	式			
5	屋外便所解体工事		1.0	式			
6	ポンプ小屋解体工事		1.0	式			
7	杭処理工事		1.0	式			
8	防災倉庫解体工事		1.0	式			
	I - 計	1~8					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	[直接仮設費]					
	外部足場	くさび緊結式足場 手すり先行 建地幅900mm、高さ20m未満	578.0	m ²		
	防音シート		578.0	m ²		
	同上仮設材運搬		578.0	m ²		
	1-a - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[解体費]					
	RC造+S					
	RC造建物解体					
	地上部 圧砕機	144.0	m ³			
	基礎コンクリート解体					
	基礎部 圧砕機	126.0	m ³			
	土間コンクリート解体					
		37.1	m ³			
	内部造作材撤去					
		239.0	m ²			
	鉄骨軸組とりこわし					
	小規模	13.0	t			
	1-b - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	ロッカー棟解体工事						
a	[直接仮設費]		1.0	式			
b	[解体費]	RC造+S	1.0	式			
	I-2 - 計	a + b					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
a	[直接仮設費]												
	外部足場	くさび緊結式足場	手すり先行	1,181.0		m ²							
		建地幅900mm											
	防音シート			1,181.0		m ²							
	同上仮設材運搬			1,181.0		m ²							
	2-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[解体費]						
		RC造+S					
	RC造建物解体						
		地上部 圧砕機	165.0	m ³			
	基礎コンクリート解体						
		基礎部 圧砕機	171.0	m ³			
	土間コンクリート解体						
			68.8	m ³			
	内部造作材撤去						
			649.0	m ²			
	鉄骨軸組とりこわし						
		小規模	27.3	t			
	2-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	機械室・倉庫棟解体工事												
		※増築棟含む											
a	[直接仮設費]			1.0		式							
b	[解体費]			1.0		RC造							
	I-3 - 計			a + b									

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	[直接仮設費]						
	外部足場	くさび緊結式足場 手すり先行 建地幅900mm	303.0	m ²			
	防音シート		303.0	m ²			
	同上 仮設材運搬		303.0	m ²			
	3-a - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[解体費]						
		RC造					
	RC造建物解体						
		地上部 圧砕機	57.1	m ³			
	基礎コンクリート解体						
		基礎部 圧砕機	65.1	m ³			
	土間コンクリート解体						
			23.8	m ³			
	内部造作材撤去						
			112.0	m ²			
《増築工事》							
	RC造建物解体						
		地上部 圧砕機	24.4	m ³			
	基礎コンクリート解体						
		基礎部 圧砕機	14.5	m ³			
	土間コンクリート解体						
			6.4	m ³			
	内部造作材撤去						
			45.0	m ²			
3-b - 小計							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4	軽食売店棟解体工事						
a	[直接仮設費]		1.0	式			
b	[解体費]	S造	1.0	式			
	I-4 - 計	a + b					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	軽食売店棟解体工事												
a	[直接仮設費]												
	外部足場	くさび緊結式足場	手すり先行	250.0	m ²								
	防音シート			250.0	m ²								
	同上仮設材運搬			250.0	m ²								
	4-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b [解体費]						
	S造					
外装とりこわし						
	ALC	30.0	m ³			
鉄骨軸組とりこわし						
	小規模	4.4	t			
基礎コンクリート解体						
	基礎部 圧砕機	16.7	m ³			
土間コンクリート解体						
		8.3	m ³			
内部造作材撤去						
		64.0	m ²			
4-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	屋外便所棟												
			RC造										
a	[直接仮設費]			1.0		式							
b	[解体費]												
			鉄筋コンクリート造	1.0		式							
	I-5 - 計												
			a + b										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	屋外便所棟												
			RC造										
a	[直接仮設費]												
	外部足場		くさび緊結式足場 手すり先行 建地幅900mm	122.0		m ²							
	防音シート			122.0		m ²							
	同上仮設材運搬			122.0		m ²							
	5-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[解体費]						
		鉄筋コンクリート造					
	RC造建物解体						
		地上部 圧砕機	15.3	m ³			
	基礎コンクリート解体						
		基礎部 圧砕機	21.5	m ³			
	土間コンクリート解体						
			7.1	m ³			
	内部造作材撤去						
			49.0	m ²			
	5-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6	ポンプ小屋												
			RC造										
	[解体費]												
			鉄筋コンクリート造										
	基礎コンクリート解体												
			基礎部 圧砕機	4.0		m ³							
	内部造作材撤去												
				5.8		m ²							
	I-6 - 計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	杭処理工事						
	杭頭モルタル処理	防錆処理	16.0	m2			
	I-7 - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
8	防災倉庫解体工事						
a	[直接仮設費]		1.0	式			
b	[解体費]	S造	1.0	式			
	I-4 - 計	a + b					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
8	防災倉庫解体工事												
a	[直接仮設費]												
	外部足場	くさび緊結式足場	手すり先行										
		建地幅900mm		52.7		m ²							
	防音シート												
				52.7		m ²							
	同上仮設材運搬												
				52.7		m ²							
	4-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
b	[解体費]						
		S造					
	外装とりこわし						
		アルミ	0.1	t			
	鉄骨軸組とりこわし						
		小規模	0.1	t			
	基礎コンクリート解体						
		基礎部 圧砕機 ブレーカー	0.3	m ³			
	内部造作材撤去						
			14.0	m ²			
	4-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	電気設備解体工事					
1	管理棟解体工事	1.0	式			
2	ロッカー棟解体工事	1.0	式			
3	軽食売店棟解体工事	1.0	式			
4	機械室倉庫棟解体工事	1.0	式			
5	屋外便所解体工事	1.0	式			
6	ポンプ小屋解体工事	1.0	式			
7	屋外設備解体工事	1.0	式			
8	防災倉庫解体工事	1.0	式			
	II - 計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	管理棟解体工事					
a	[盤類]	1.0	式			
b	[電線類]	1.0	式			
c	[機器類]	1.0	式			
d	[器具類]	1.0	式			
	I-1 - 計	a + b + c + d				

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額
a	[盤類]										
	分電盤：L-1										
		900x1,950x250	自立形	1.0		面					
	動力盤：P-1										
		400x550x250	壁掛形	1.0		面					
	警報盤										
				1.0		面					
	受信機：P-2										
				1.0		面					
	総合盤：P-2										
		500x1,000x250	壁掛	1.0		面					
	警報盤（便所）										
				1.0		面					
	1-a - 小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
b	[電線類]						
	電線管						
		1 9 mm	623.0	m			
	〃						
		2 2 mm	9.0	m			
	〃						
		2 5 mm	261.0	m			
	〃						
		2 8 mm	8.0	m			
	〃						
		3 1 mm	28.0	m			
	電線ケーブル						
		4 E 6	43.0	m			
	〃						
		600V IV-1.6mm	288.0	m			
	〃						
		600V IV-2.0mm	575.0	m			
	〃						
		600V IV-3.5	13.0	m			
	〃						
		600V VVF-1.6mm-2C	15.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
	電線ケーブル										
		C E E	1.2-2C	206.0		m					
	〃										
		CPEV	0.9-10P	80.0		m					
	〃										
		HP	0.9-5P	30.0		m					
	同軸ケーブル										
		SC-2V		32.0		m					
	1-b	-	小計								

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
c	[機器類]										
	増幅器他			1.0		基					
	スピーカー	天井埋込		11.0		台					
	〃	トランペット 10W		1.0		台					
	〃	トランペット 15W		1.0		台					
	1-c - 小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額
d	[器具類]										
	照明器具：A 4 2		埋込：FL40-2	35.0		台					
	”：A 4 1		埋込：FL40-1	1.0		台					
	”：A 2 2		埋込：FL20-2	1.0		台					
	”：C 4 2		直付：FL40-2	5.0		台					
	”：J 1 1 P		壁付：FL10-1	2.0		台					
	”：A 4 5		白熱：WB-60	1.0		台					
	”：K 6		白熱：IL-60	1.0		台					
	”：P 1 1		壁付：FL10-1 防雨	1.0		台					
	《改修工事》										
	照明器具：A 4 2		埋込	2.0		台					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
照明器具：B 4 2						
	露出	4.0	台			
" : F 2 1						
	ブラケット	1.0	台			
" : C 4 2						
	直付：FL40-2	5.0	台			
" : J 1 1 P						
	壁付：FL10-1	2.0	台			
" : A 4 5						
	白熱：WB-60	1.0	台			
" : K 6						
	白熱：IL-60	1.0	台			
" : P 1 1						
	壁付：FL10-1 防雨	1.0	台			
1-d - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	ロッカー棟解体工事						
a	[盤類]		1.0	式			
b	[電線類]		1.0	式			
c	[器具類]		1.0	式			
d	[機器類]		1.0	式			
	II-2 - 計	a + b + c + d					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	ロッカー棟解体工事					
a	[盤類]					
	総合盤：P-2					
	500x1,000x250 壁掛	2.0	面			
	2-a - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[電線類]						
	電線管	1 9 mm	729.0	m			
	〃	2 5 mm	168.0	m			
	〃	2 8 mm	15.0	m			
	電線管	3 1 mm	30.0	m			
	〃	3 9 mm	12.0	m			
	電線ケーブル	600V IV-1.6mm	108.0	m			
	〃	600V IV-2.0mm	1384.0	m			
	電線ケーブル	C E E 1.2-2C	198.0	m			
	〃	C P E W 0.9-10P	26.0	m			
	〃	H P 0.9-5P	26.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
c	[器具類]					
	照明器具：A 4 4					
	埋込：FL40-4	12.0	台			
	〃：A 4 2					
	埋込：FL40-2	58.0	台			
	〃：A 4 2 B					
	埋込：FL40-2 非常	10.0	台			
	〃：B 4 1 W					
	壁付：FL10-1	9.0	台			
	〃：C 4 2 W					
	直付：FL40-2	4.0	台			
	〃：G 4 B					
	埋込：IL40 非常	4.0	台			
	2-c - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
d	[機器類]						
	スピーカー	天井埋込	15.0	台			
	〃	トランペット 10W	2.0	台			
	〃	トランペット 15W	2.0	台			
	2-d - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3	軽食売店棟						
a	[盤類]		1.0	式			
b	[電線類]		1.0	式			
c	[機器類]		1.0	式			
d	[器具類]		1.0	式			
	II-3 - 計	a + b + c + d					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	軽食売店棟												
a	[盤類]												
	電力計函												
		屋外	1ヶ用	1.0		面							
	分電盤：L-2												
		450x350x150	壁掛形	1.0		面							
	3-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
b	[電線類]						
	電線管	19mm	123.0	m			
	〃	25mm	16.0	m			
	〃	31mm	6.0	m			
	電線ケーブル	600V CV-14-3C	6.0	m			
	〃	600V IV-1.6mm	107.0	m			
	〃	600V IV-2.0mm	108.0	m			
	〃	600V VVF-1.6mm-2C	5.0	m			
	〃	C E E 1.2-2C	36.0	m			
	〃	CPEV 0.9-10P	12.0	m			
	〃	EEF 2.0-2C	22.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	[機器類]						
	スピーカー	天井埋込	3.0	台			
	《改修工事》						
	天井スピーカー		1.0	台			
	3-c - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
d	[器具類]												
	照明器具：A 4 2		埋込：FL40-2	6.0		台							
	”：C 4 2		直付：FL40-2	5.0		台							
	”：L 6		白熱：IL-60	1.0		台							
	《改修工事》												
	照明器具：B 4 2		埋込	1.0		台							
	”：D 4 2		露出	2.0		台							
	”：E 4 1 W		露出	11.0		台							
	”：F 2 1		露出	1.0		台							
	照明器具：I 1		LED 100型 DL	8.0		台							
	”：J 1		LED 40W ブラケット	4.0		台							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	機械室倉庫棟					
a	[盤類]	1.0	式			
b	[電線類]	1.0	式			
c	[機器類]	1.0	式			
d	[器具類]	1.0	式			
	II-4 - 計	a + b + c + d				

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	機械室倉庫棟					
a	[盤類]					
	総合盤：P-2					
	500x1,000x250 壁掛形	1.0	面			
	《増築工事》					
	制御盤					
		1.0	面			
	4-a - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
b	[電線類]						
	電線管	1 9 mm	150.0	m			
	〃	2 5 mm	66.4	m			
	〃	3 1 mm	11.3	m			
	電線ケーブル	600V IV-2.0mm	133.0	m			
	〃	C E E 1.2-2C	26.0	m			
	〃	CPEV 0.9-10P	40.2	m			
	〃	IV2.0-3	7.7	m			
	〃	AE1.2-2C	16.5	m			
	〃	CVV2-10C	11.3	m			
	〃	CVV2-3C	16.2	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	[機器類]					
	スピーカー	天井埋込	1.0	台		
	〃	トランペット 10W	1.0	台		
	〃	トランペット 15W	1.0	台		
	《改修工事》					
	天井スピーカー		1.0	台		
	4-c - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
d	[器具類]						
	照明器具：C 4 2	直付：FL40-2	11.0	台			
	《改修工事》						
	照明器具	FL-40Wx2	3.0	台			
	4-d - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5	屋外便所棟						
a	[電線類]		1.0	式			
b	[機器類]		1.0	式			
c	[器具類]		1.0	式			
	II-5 - 計	a + b + c					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	屋外便所棟												
a	[電線類]												
	電線管												
		1 9 mm		48.0		m							
	電線ケーブル												
		600V IV-2.0mm		179.0		m							
	〃												
		C E E 1.2-2C		12.0		m							
	5-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[機器類]						
	スピーカー	天井埋込	3.0	台			
	《改修工事》						
	天井スピーカー		1.0	台			
	5-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
c	[器具類]					
	照明器具：A 4 2	埋込：FL40-2	6.0	台		
	”：A 2 2	埋込：FL20-2	1.0	台		
	”：B 4 1 W	壁付：FL10-1	2.0	台		
	”：F 1 1	壁付：FL10-1 表示	1.0	台		
	《改修工事》					
	照明器具：A 2 2	埋込：FL20-2	1.0	台		
	5-c - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	ポンプ小屋						
a	[盤類]		1.0	式			
b	[電線類]		1.0	式			
c	[器具類]		1.0	式			
	II-6 - 計	a + b + c					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6	ポンプ小屋												
a	[盤類]												
	動力盤：P-2												
		500x1,000x250	壁掛形	1.0		面							
	6-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
b	[電線類]						
	電線管	1 9 mm	8.0	m			
	〃	2 5 mm	17.0	m			
	電線ケーブル	600V IV-2.0mm	56.0	m			
	6-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
c	[器具類]										
	照明器具：C 4 2	直付：FL40-2		1.0	台						
	6-c - 小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	屋外設備解体工事												
a	[キュービクル]			1.0		式							
b	[ハンドホール類]			1.0		式							
c	[盤類]			1.0		式							
d	[電線類]			1.0		式							
e	[機器類]			1.0		式							
f	[器具類]			1.0		式							
	II-7 - 計		a ~ f										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	屋外設備解体工事												
a	[キュービクル]屋外4面												
	キュービクル												
		高圧受電盤		1.0		面							
	変圧器												
		低圧電灯盤		1.0		面							
	〃												
		低圧動力盤		1.0		面							
	〃												
		低圧動力盤		1.0		面							
	変圧器												
		3Φ 100KVA		2.0		台							
	〃												
		1Φ 50KVA		1.0		台							
	コンデンサー												
		3Φ 50KVA		1.0		台							
	搬出費												
		揚重機含む		1.0		式							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額
	柱上高压交流負荷開閉器		7.2kV 300A	1.0		個					
	引込柱		12m	1.0		本					
	7-a - 小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[ハンドホール類]					
	ハンドホール：A	900x900x1,500	2.0	基		
	引込柱	12-19-350	1.0	本		
	ハンドホール：B	900x900x1,500	1.0	基		
	〃：C	600x600x900	1.0	基		
	〃：D	900x900x1,500	4.0	基		
	〃：E	900x900x1,500	10.0	基		
	〃：F	600x600x900	5.0	基		
	〃：E	900x900x1,500	4.0	基		
	〃：F	600x600x900	4.0	基		
	7-b - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c	[盤類]					
	分電盤：L-3					
	550x550x150 スタンド形	1.0	面			
	〃：L-4					
	350x550x150 壁掛形	1.0	面			
	〃：L-5					
	500x950x180 スタンド形	1.0	面			
	〃：L-6					
	550x950x150 壁掛形	1.0	面			
	動力盤：P-3					
		1.0	面			
	《増築工事》					
	警報盤：I L					
	300x250x180	1.0	面			
	7-c - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
d	[電線類]						
	電線管：E	19mm	8.0	m			
	：	31mm	7.0	m			
	電線管：FEP	100Φ	27.0	m			
	：	80Φ	102.0	m			
	：	50Φ	80.0	m			
	：	30Φ	109.0	m			
	電線管：FLP	200mm	54.0	m			
	：	150mm	8.0	m			
	：	100mm	749.0	m			
	：	80mm	110.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電線管：FLP						
	50mm	622.0	m			
" : "						
	30mm	2081.0	m			
電線管：PE						
	92mm	7.0	m			
"						
	70mm	54.0	m			
"						
	42mm	71.0	m			
"						
	31mm	5.0	m			
"						
	28mm	265.0	m			
"						
	22mm	23.0	m			
電線管：VE						
	16mm	14.0	m			
電線管：铸铁管						
	SGP 150Φ	4.0	m			
" : "						
	SGP 50Φ	4.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	電線ケーブル：シールド												
		4 E 6		570.0		m							
	電線ケーブル：CEE												
		CEE 1.2-2C		1245.0		m							
	電線ケーブル：CPEV												
		CPEV 0.9-10P		456.0		m							
	電線ケーブル：CV												
		600V CV-14-3C		1704.0		m							
	〃	:	〃										
		600V CV-150-3C		40.0		m							
	〃	:	〃										
		600V CV-22-3C		54.0		m							
	〃	:	〃										
		600V CV-2-3C		30.0		m							
	〃	:	〃										
		600V CV-3.5-2C		666.0		m							
	〃	:	〃										
		600V CV-3.5-3C		97.0		m							
	〃	:	〃										
		600V CV-38-3C		314.0		m							
	〃	:	〃										
		600V CV-5.5-2C		1305.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電線ケーブル：CV						
	600V CV-5.5-3C	316.0	m			
〃 : 〃						
	600V CV-60-3C	71.0	m			
〃 : 〃						
	600V CV-8-2C	369.0	m			
電線ケーブル：CVT						
	6KV CVT38-3C	72.0	m			
〃 : 〃						
	6KV CVT100	100.0	m			
電線ケーブル：CVV						
	600V CVV-2-10C	506.0	m			
〃 : 〃						
	600V CVV-2-2C	154.0	m			
〃 : 〃						
	600V CVV-2-4C	99.0	m			
電線ケーブル：HP						
	HP 0.9-5P	66.0	m			
電線ケーブル：IV						
	IV-14	95.0	m			
〃 : 〃						
	IV-2.0	46.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
e	[機器類]										
	スピーカー	20W	防雨型	20.0		台					
	7-e	-	小計								

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
f	[器具類]										
	庭園灯：Q	FL20		6.0		台					
	外灯：R	HF200-2		16.0		台					
	照明器具	FL40-2 防災倉庫内		1.0		台					
	基礎	400x400x800		16.0		ヶ所					
	7-f - 小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
8	防災倉庫										
a	[盤類]			1.0		式					
b	[電線類]			1.0		式					
c	[器具類]			1.0		式					
	Ⅱ-6 - 計										
			a + b + c								

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6	防災倉庫												
a	[盤類]												
	盤	壁掛形		1.0		面							
	6-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[電線類]						
	電線管	1 9mm程度	5.0	m			
	電線ケーブル		5.0	m			
	6-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
c	[器具類]						
	照明器具	直付：FL10-1程度	2.0	台			
	6-c - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ	機械設備解体工事						
1	屋外50mプール解体工事		1.0	式			
2	子供プール、 スライダープール解体工事		1.0	式			
3	管理棟解体工事		1.0	式			
4	ロッカー棟解体工事		1.0	式			
5	軽食売店棟解体工事		1.0	式			
6	機械室倉庫棟解体工事		1.0	式			
7	屋外便所解体工事		1.0	式			
8	ポンプ小屋解体工事		1.0	式			
9	屋外設備解体工事		1.0	式			
	Ⅲ ー 計	1～9					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	屋外50mプール解体工事						
a	[機器類]		1.0	式			
b	[配管類]		1.0	式			
	Ⅲ-1 - 計	a + b					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
a	[機器類]												
	全自動砂汙過装置												
		180m ³ /h		1.0		基							
	汙過ポンプ												
		3m ³ /minx11Kw		1.0		台							
	逆洗ポンプ												
		3m ³ /minx7.5Kw		1.0		台							
	ヘアークッチャー												
		SUSストレーナー共		2.0		台							
	自動塩素滅菌装置												
		40~400cc/min		1.0		台							
	薬注機												
		8~125cc/min		1.0		台							
	汙過装置制御盤												
		集中盤		1.0		台							
	電動バタフライ弁												
		10k、200A		1.0		台							
	バタフライ弁												
		BV-200		1.0		台							
	バタフライ弁												
		BV-150		2.0		台							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
b	[配管類]												
	塩化ビニール管：埋設												
		VP-200		146.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-150		71.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-125		28.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-100		18.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-75		24.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-50		12.0		m							
	塩化ビニール管：露出												
		VP-200		2.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-150		3.0		m							
	1-b - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	子供プール、 スライダープール解体工事					
a	[機器類]	1.0	式			
b	[配管類]	1.0	式			
	Ⅲ-2 - 計	a + b				

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
a	[機器類]												
	全自動砂汙過装置												
		180m ³ /h		1.0		基							
	汙過ポンプ												
		3m ³ /minx11Kw		1.0		台							
	逆洗ポンプ												
		3m ³ /minx7.5Kw		1.0		台							
	ヘアーキャッチャー												
		SUSストレーナー共		2.0		台							
	自動塩素滅菌装置												
		25~250cc/min		1.0		台							
	薬注機												
		8~125cc/min		1.0		台							
	電動バタフライ弁												
		10k、200A		1.0		台							
	〃												
		10k、80A		1.0		台							
	スライダーポンプ												
		0.34m ³ /minx1.5Kw		1.0		台							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
滝用ポンプ						
	2m ³ /minx5.5Kw	1.0	台			
ヘアーキャッチャー						
	SUSストレーナー共	2.0	台			
塩素滅菌装置						
	8~50cc/min	1.0	台			
薬液タンク						
	3,000l、PE、FRP	1.0	台			
手元盤						
		1.0	面			
バタフライ弁						
	BV-200	1.0	個			
〃						
	BV-150	2.0	個			
〃						
	BV-100	1.0	個			
〃						
	BV-80	1.0	個			
ゲートバルブ						
	GV-100	3.0	個			
〃						
	GV-50	3.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
チャッキバルブ						
	CV-150	3.0	個			
"						
	CV-50	1.0	個			
フレキシブル継手						
	ゴム製 200	1.0	個			
"						
	ゴム製 80	1.0	個			
2-a - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
b	[配管類]												
	塩化ビニール管：埋設												
		VP-200		174.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-150		99.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-100		70.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-80		132.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-65		96.5		m							
	塩化ビニール管：露出												
		VP-200		2.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-150		5.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-100		2.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-65		4.0		m							
	〃	:	〃										
		VP-50		1.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	2-b	-	小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	管理棟解体工事												
a	[機器類]			1.0		式							
b	[配管類]			1.0		式							
c	[換気設備]			1.0		式							
d	[空調設備]			1.0		式							
	Ⅲ-3 - 計												
			a + b + c + d										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	[機器類]						
	和風大便器	VC-311、S570B	2.0	組			
	〃	VC-910、S536	1.0	組			
	小便器	VU-420	2.0	組			
	手洗器	VL-630	2.0	組			
	掃除流し	VS-210	1.0	組			
	鏡	TS-119AS-5	2.0	枚			
	湯沸器	7号バランス型	1.0	台			
	3-a - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
b	[配管類]												
	一般配管用ステンレス鋼管												
		50SU		8.0		m							
	〃												
		40SU		1.0		m							
	〃												
		30SU		4.0		m							
	〃												
		20SU		73.0		m							
	塩化ビニール管：埋設												
		25Φ		39.0		m							
	〃：露出												
		25Φ		13.0		m							
	塩化ビニル三層管												
		RF-VP100A		20.0		m							
	〃												
		RF-VP75A		40.0		m							
	〃												
		RF-VP65A		5.0		m							
	〃												
		RF-VP50A		48.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩化ビニル三層管						
	RF-VP40A	15.0	m			
塩ビライニング鋼管						
	20A-隠蔽	12.0	m			
〃						
	20A-ピット	12.0	m			
〃						
	20A-埋設	9.0	m			
〃						
	25A-ピット	3.8	m			
〃						
	40A-ピット	1.0	m			
硬質塩化ビニール管						
	100-埋設	8.0	m			
〃						
	80-埋設	1.0	m			
〃						
	50-埋設	5.9	m			
〃						
	40-埋設	1.3	m			
〃						
	100-ピット	3.4	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニール管	80-ピット	1.0	m			
	65-ピット	3.6	m			
"	50-ピット	5.3	m			
	40-ピット	5.8	m			
水道用亜鉛鍍鋼管	25A-埋設	3.0	m			
	20A-埋設	4.0	m			
"	25A-露出	1.5	m			
	20A-隠蔽	2.0	m			
排水鉛管	75-埋設	1.0	m			
	75-ピット	2.0	m			
"	40-隠蔽	2.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	排水鉛管												
		3	2-隠蔽	2.0		m							
	銅管												
		2	0-埋設	8.0		m							
	〃												
		2	0-隠蔽	3.0		m							
	3-b		- 小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c [換気設備]						
スパイラルダクト	Φ200	5.0	m			
〃	Φ150	54.5	m			
〃	Φ100	13.7	m			
天井換気扇	VEP-1 Φ200以下	1.0	台			
〃	VEP-2 Φ200以下	1.0	台			
〃	VEP-6 Φ200以下	1.0	台			
排気ファン：F-2	420m ³ /h Φ200以下	4.0	台			
排気ファン：F-4	320m ³ /h Φ200以下	1.0	台			
排気ファン：F-6	220m ³ /h Φ200以下	4.0	台			
排気ファン：F-7	120m ³ /h Φ200以下	2.0	台			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排気ファン：F-8						
	480m ³ /h Φ200以下	1.0	台			
排気ファン：F-10						
	600m ³ /h Φ200以下	2.0	台			
排気フード						
	SUS 600X600	0.4	m ²			
パイプフード						
	SUS200	2.0	個			
3-c - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
d	[空調設備]												
	空冷ヒートポンプエアコン	AC-1	: 8,900 3.0kW	1.0		台							
	〃	AC-2	: 7,100 2.2kW	1.0		台							
	〃	AC-4	: 5,600 1.9kW	1.0		台							
	〃	AC-5	: 3,750 1.1kW	1.0		台							
	〃	AC-6	: 1,600 0.55kW	2.0		台							
	3-d - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	ロッカー棟解体工事						
a	[機器類]		1.0	式			
b	[配管類]		1.0	式			
c	[換気設備]		1.0	式			
d	[空調設備]		1.0	式			
	Ⅲ-4 - 計	a + b + c + d					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	[機器類]					
	和風大便器					
	VC-311、S570B	8.0	組			
	小便器					
	VU-420	6.0	組			
	手洗器					
	VL-630	16.0	組			
	掃除流し					
	VS-210	2.0	組			
	鏡					
	TS-119AS-5	16.0	枚			
	4-a - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
b	[配管類]												
	塩化ビニール管												
		25Φ		3.0		m							
	塩ビライニング鋼管												
		50A-埋設		3.0		m							
	〃												
		40A-埋設		56.0		m							
	〃												
		32A-埋設		12.0		m							
	〃												
		25A-埋設		2.6		m							
	〃												
		20A-埋設		55.2		m							
	〃												
		40A-ヒット		2.0		m							
	〃												
		32A-ヒット		2.2		m							
	〃												
		25A-ヒット		6.0		m							
	〃												
		20A-ヒット		35.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	塩ビライニング鋼管												
		20A-隠蔽		66.3		m							
	硬質塩化ビニール管												
		125-埋設		3.0		m							
	〃												
		100-埋設		16.0		m							
	〃												
		80-埋設		38.8		m							
	〃												
		65-埋設		2.0		m							
	〃												
		50-埋設		16.0		m							
	〃												
		40-埋設		9.0		m							
	〃												
		100-七°ット		13.0		m							
	〃												
		80-七°ット		7.0		m							
	〃												
		65-七°ット		2.5		m							
	〃												
		50-七°ット		19.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニール管	40-ピット	19.7	m			
	65-隠蔽	1.0	m			
"	50-隠蔽	5.1	m			
	40-隠蔽	11.4	m			
"	50-露出	4.2	m			
	排水鉛管	75-ピット	8.0	m		
"	65-ピット	1.0	m			
	40-隠蔽	22.0	m			
"	32-隠蔽	6.0	m			
4-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c [換気設備]						
スパイラルダクト	Φ150	46.0	m			
排気ファン：F-1	ルーフファン：820x820	4.0	台			
排気ファン：F-3	445m ³ /h	2.0	台			
排気ファン：F-5	510m ³ /h	2.0	台			
排気ファン：F-8	480m ³ /h	4.0	台			
排気ファン：F-9	260m ³ /h	2.0	台			
4-c - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
d	[空調設備]												
	空冷ヒートポンプエアコン	AC-3	: 7,100	2.2kW	1.0	台							
	4-d - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	軽食売店棟解体工事						
a	[機器類]		1.0	式			
b	[配管類]		1.0	式			
c	[換気設備]		1.0	式			
d	[空調設備]		1.0	式			
	III-5 - 計	a + b + c + d					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
a	[機器類]												
	和風大便器		VC-710、S-670B	1.0		組							
	手洗器		VL-710	2.0		組							
	鏡		TS-119AS-5	2.0		枚							
	5-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b [配管類]						
塩化ビニール管	2.5Φ-露出	3.0	m			
〃	2.5Φ-埋設	5.0	m			
塩ビライニング鋼管	2.5A-埋設	2.8	m			
〃	2.0A-埋設	19.0	m			
〃	2.0A-隠蔽	4.0	m			
硬質塩化ビニール管	1.00-埋設	6.0	m			
〃	8.0-埋設	1.0	m			
〃	6.5-埋設	4.0	m			
〃	5.0-埋設	7.0	m			
〃	4.0-埋設	3.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水道用亜鉛鍍鋼管	20A-埋設	1.0	m			
	20A-露出	1.0	m			
"	20A-隠蔽	2.0	m			
	75-埋設	1.0	m			
排水鉛管	40-隠蔽	2.0	m			
5-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
c [換気設備]						
スパイラルダクト	Φ150	3.0	m			
〃	Φ100	1.0	m			
天井換気扇	VEP-8 Φ200以下	1.0	台			
〃	VEP-9 Φ200以下	1.0	台			
〃	VEP-10 Φ200以下	1.0	台			
排気ファン：F-10	600m ³ /h Φ200以下	1.0	台			
排気ファン：F-12	200m ³ /h Φ200以下	1.0	台			
排気ファン：F-13	1,150m ³ /h Φ200以下	2.0	台			
ステンレス製ダクト	0.5t 350x350	11.0	m ²			
E Aチャンバー	SUS 600x500x400	2.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排風機						
	V F-1、床置形	1.0	台			
パイプフード						
	SUS150	1.0	個			
フード：A						
	750x1, 600x600	1.2	m ²			
フード：B						
	1, 500x600x600	0.9	m ²			
フード：C						
	1, 200x1, 200x600	4.4	m ²			
風量調節ダンパ						
	250x250	1.0	個			
〃						
	200x200	1.0	個			
〃						
	350x300	1.0	個			
5-c - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
d	[空調設備]												
	空冷ヒートポンプエアコン	AC-7	: 1,600	0.55kW	1.0	台							
	5-d - 小計												
	III-5 - 計												
			a + b + c + d										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	機械室倉庫棟解体工事						
a	[機器類]		1.0	式			
b	[配管類]		1.0	式			
c	[換気設備]		1.0	式			
	Ⅲ-6 - 計	a + b + c					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	[機器類]					
	格子柵	600x600x500h	1.0	式		別紙明細-1 P-III- 別-1
	〃	600x600x1,000h	1.0	式		別紙明細-2 P-III- 別-2
	〃	600x600x1,030h	1.0	式		別紙明細-3 P-III- 別-3
	《増築工事》					
	全自動砂層汙過装置	2,500Φ SS41製	1.0	基		
	ポンプモーター	3Φ-200V-15KW	1.0	台		
	ヘアーキャッチャー	SUS	1.0	台		
	滅菌機	BA-10 200lタンク	1.0	台		
	薬注機	NDOILC 50lタンク	1.0	台		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンプレッサー						
	3Φ-200V-0.2KW	1.0	台			
ピット排水ポンプ						
	40Ax0.1m ³ /minx6m	2.0	台			
噴水用ポンプ						
	3Φx200Vx3.7KW	1.0	台			
"						
	3Φx200Vx0.75KW	1.0	台			
スライダ-用揚水ポンプ						
	3Φx200Vx15KW	1.0	台			
6-a - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b	[配管類]						
	硬質塩化ビニール管	100-埋設	2.5	m			
	〃	250-埋設	5.6	m			
	6-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c [換気設備]						
排気ファン：F-14	4,300m ³ /h 圧力扇	1.0	台			
排気ファン：F-15	4,300m ³ /h 圧力扇	1.0	台			
排気ファン：F-16	820m ³ /h 換気扇	1.0	台			
6-c - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	機械室倉庫棟解体工事					
a	[機器類]	1.0	式			
b	[配管類]	1.0	式			
c	[換気設備]	1.0	式			
	Ⅲ-7 - 計	a + b + c				

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	[機器類]					
	和風大便器					
	VC-311、S-570B	10.0	組			
	身障者用大便器					
	C-48A、TS140VB	1.0	組			
	小便器					
	VU-420	3.0	組			
	身障者用洗面器					
	L-103CF	1.0	組			
	鏡					
	TS-119AS-5	6.0	枚			
	身障者用鏡					
	LM-481	1.0	組			
	掃除流し					
	VS-210	1.0	組			
	《改修工事》					
	洋風大便器					
	C-1	1.0	組			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	車椅子対応洗面器						
		L-4	1.0	台			
	化粧鏡						
		M-1 350 x 450	1.0	枚			
	7-a - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
b	[配管類]												
	塩ビライニング鋼管												
		50A-七°	ット	8.0		m							
	〃												
		40A-七°	ット	4.0		m							
	〃												
		32A-七°	ット	4.0		m							
	〃												
		25A-七°	ット	7.5		m							
	〃												
		20A-七°	ット	32.0		m							
	〃												
		25A-隠蔽		0.5		m							
	〃												
		20A-隠蔽		18.0		m							
	硬質塩化ビニール管												
		100-七°	ット	20.0		m							
	〃												
		80-七°	ット	9.0		m							
	〃												
		65-七°	ット	8.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニール管	50-ピット	19.0	m			
	40-ピット	13.2	m			
排水鉛管	75-ピット	11.0	m			
	65-ピット	1.0	m			
〃	40-隠蔽	6.0	m			
	32-隠蔽	12.0	m			
通気用水道用亜鉛鍍鋼管	65-露出	4.4	m			
	65-隠蔽	4.8	m			
《改修工事》						
一般配管用ステンレス鋼管	30SU	1.0	m			
	25SU	4.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般配管用ステンレス鋼管						
	20SU	3.0	m			
塩化ビニル三層管						
	RF-VP100A	18.0	m			
〃						
	RF-VP75A	14.0	m			
〃						
	RF-VP65A	7.0	m			
〃						
	RF-VP50A	42.0	m			
〃						
	RF-VP40A	13.0	m			
7-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
c [換気設備]						
スパイラルダクト	Φ150	6.0	m			
〃	Φ100	1.5	m			
排気ファン：F-6	220m ³ /h	1.0	台			
排気ファン：F-11	420m ³ /h	2.0	台			
《改修工事》						
天井換気扇	VEP-5	1.0	台			
7-c - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	ポンプ小屋解体工事						
a	[機器類]		1.0	式			
b	[配管類]		1.0	式			
	Ⅲ-8 - 計	a + b					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a	[機器類]						
	排水ポンプ	100Φ x 1,000l/minx5.5kw	2.0	台			
	フレキシブル継手	100Φ x 800L	4.0	個			
	8-a - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
b	[配管類]					
	水道用亜鉛鍍鋼管	15.0	m			
	150-埋設					
	水道用亜鉛鍍鋼管	6.0	m			
	150-露出					
	水道用亜鉛鍍鋼管	4.0	m			
	100-露出					
	8-b - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9	屋外設備解体工事						
a	[柵類]		1.0	式			
b	[機器類]		1.0	式			
c	[配管類]		1.0	式			
	III-9 - 計	a + b + c					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
a	[柵類]						
	バルブBOX：現場打	600x600	1.0	式			別紙明細-4 P-III-別-4
	汚水柵	1,200Φ H=1,890~4,200	1.0	式			別紙明細-5 P-III-別-5
	〃	600Φ H=1,340~1,820	1.0	式			別紙明細-6 P-III-別-6
	〃	500Φ H=610~1,000	1.0	式			別紙明細-7 P-III-別-7
	〃	400Φ H=450~600	1.0	式			別紙明細-8 P-III-別-8
	雨水柵	600Φ H=1,000~1,720	1.0	式			別紙明細-9 P-III-別-9
	〃	500Φ H=600~1,240	1.0	式			別紙明細-10 P-III-別-10
	〃	400Φ H=360~600	1.0	式			別紙明細-11 P-III-別-11
	排水柵	900Φ 1,320~3,140	1.0	式			別紙明細-12 P-III-別-12

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水柵						
	600Φ 1,600	1.0	式			別紙明細-13 P-III- 別-13
〃						
	500Φ 750~1,110	1.0	式			別紙明細-14 P-III- 別-14
《増築工事》						
弁柵						
	V C - 1 : 180x180x550	1.0	式			別紙明細-15 P-III- 別-15
〃						
	V C - 5 : 450x450x1,200	1.0	式			別紙明細-16 P-III- 別-16
集水柵						
	600x600x900h	1.0	式			別紙明細-17 P-III- 別-17
インバート柵						
	450x450x450h 鉄蓋共	1.0	式			別紙明細-18 P-III- 別-18
フレキシブル継手：BOX						
	コン柵900角H1200 鉄蓋共	1.0	式			別紙明細-19 P-III- 別-19
〃						
	コン柵900角H700 鉄蓋共	1.0	式			別紙明細-20 P-III- 別-20
ため柵（人孔）						
	Φ1,200x h 3,200	1.0	式			別紙明細-21 P-III- 別-21
〃						
	Φ1,200x h 2,300	1.0	式			別紙明細-22 P-III- 別-22

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	9-a - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b [機器類]						
	仕切弁	1 5 0	個			
	〃	7 5	個			
	〃	5 0	個			
	〃	4 0	個			
	〃	3 2	個			
	〃	2 5	個			
	〃	2 0	個			
	チャッキ弁	4 0 ボックス共	個			
	〃	2 0 ボックス共	個			
	量水器	100	個			市役所返還

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋外シャワー装置						
	SGP32A	14.0	m			
《増築工事》						
仕切弁						
	GV-80	1.0	個			
〃						
	GV-40	3.0	個			
〃						
	GV-32	3.0	個			
〃						
	GV-25	1.0	個			
〃						
	GU-80	2.0	個			
仕切弁						
	GU-32	2.0	個			
フレキシブル継手						
	球型ゴム製 200A用	1.0	ヶ所			
〃						
	球型ゴム製 150A用	1.0	ヶ所			
〃						
	ベローズ形 200A用	4.0	ヶ所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
フレキシブル継手						
	ヘックス形 150A用	2.0	ヶ所			
〃						
	ヘックス形 80A用	2.0	ヶ所			
バタフライ弁						
	250	2.0	ヶ所			
〃						
	200	3.0	ヶ所			
〃						
	150	1.0	ヶ所			
〃						
	80	1.0	ヶ所			
逆止弁						
	CV-200	2.0	個			
〃						
	CV-150	1.0	個			
〃						
	CV-80	1.0	個			
〃						
	CV-32	1.0	個			
9-b - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
c	[配管類]												
	硬質塩化ビニール管												
		VP-300		70.0		m							
	〃												
		VP-250		189.0		m							
	〃												
		VP-200		405.0		m							
	〃												
		VP-150		251.0		m							
	〃												
		VP-125		37.0		m							
	〃												
		VP-100		364.0		m							
	〃												
		VP-80		75.0		m							
	〃												
		VP-75		415.0		m							
	〃												
		VP-65		39.0		m							
	〃												
		VP-50		475.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	硬質塩化ビニール管												
		VP-40		189.0		m							
	〃												
		VP-32		144.0		m							
	〃												
		VP-25		33.0		m							
	〃												
		VP-20		28.0		m							
	水道用亜鉛鍍鋼管												
		100		10.0		m							
	〃												
		150-埋設		15.0		m							
	〃												
		150-露出		6.0		m							
	〃												
		100-露出		4.0		m							
	《増築工事》												
	硬質塩化ビニール管												
		VW40		70.0		m							
	〃												
		VW32		3.0		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニール管						
	VW 2 5	16.0	m			
〃						
	VW 2 0	24.0	m			
塩ビライニング鋼管						
	SGP-VA200	38.3	m			
〃						
	SGP-VA150	39.0	m			
〃						
	SGP-VA80	64.0	m			
〃						
	SGP-VA75	18.6	m			
〃						
	SGP-VA65	22.8	m			
〃						
	SGP-VA50	2.4	m			
〃						
	SGP-VA40	12.8	m			
〃						
	SGP-VA32	14.0	m			
〃						
	SGP-VA30	19.3	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩化ビニール管						
	VP-250	3.6	m			
〃						
	VP-200	11.8	m			
〃						
	VP-150	26.5	m			
〃						
	VP-125	6.0	m			
〃						
	VP-100	57.0	m			
〃						
	VP-75	33.0	m			
〃						
	VP-65	62.0	m			
〃						
	VP-40	2.8	m			
9-c - 小計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事			
6-機械室倉庫棟解体工事	格子柵		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	格子柵	600x600x500h	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.12	m ³			
	別紙明細-1 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事			
6-機械室倉庫棟解体工事	格子桧		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	格子桧	600x600x1,000h	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.24	m ³			
	別紙明細-2 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 6-機械室倉庫棟解体工事		
	格子桧	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	格子桧	600x600x1,030h	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.25	m ³			
	別紙明細-3 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	バルブBOX:現場打	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	バルブBOX:現場打	600x600	31.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		4.46	m ³			
	別紙明細-4 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	汚水枿	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	汚水枿	1,200Φ H=1,890~4,200	8.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		10.50	m ³			
	別紙明細-5 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	汚水枳	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	汚水枳	600Φ H=1,340~1,820	9.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		2.44	m ³			
	別紙明細-6 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	汚水枿	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	汚水枿	500Φ H=610~1,000	12.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		1.33	m ³			
	別紙明細-7 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	汚水枿	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	汚水枿	400Φ H=450~600	10.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.68	m ³			
	別紙明細-8 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	雨水桝	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	雨水桝	600Φ H=1,000~1,720	22.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		5.73	m ³			
	別紙明細-9 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	雨水桝	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	雨水桝	500Φ H=600~1,240	49.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		6.87	m ³			
	別紙明細-10 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	雨水枿	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	雨水枿	400Φ H=360~600	23.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		1.39	m ³			
	別紙明細-11 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	排水枿	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	排水枿	900Φ 1,320～3,140	9.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		5.12	m ³			
	別紙明細-12 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	排水枡	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	排水枡	600Φ 1,600	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.30	m ³			
	別紙明細-13 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	排水枿	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	排水枿	500Φ 750~1,110	3.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.42	m ³			
	別紙明細-14 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	弁柵	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	弁柵	VC-1:180x180x550	3.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.12	m ³			
	別紙明細-15 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	弁柵	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	弁柵	VC-5 : 450x450x1,200	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.22	m ³			
	別紙明細-16 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	集水桝	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	集水桝	600x600x900h	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.22	m ³			
	別紙明細-17 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	インバート桧	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	インバート桧	450x450x450h	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.08	m ³			
	別紙明細-18 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	フレキシブル継手:BOX	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	フレキシブル継手:BOX	コン桝900角H1200	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.43	m ³			
	別紙明細-19 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	フレキシブル継手:BOX	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	フレキシブル継手:BOX	コン桝900角H700	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.25	m ³			
	別紙明細-20 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	ため柵(人孔)	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ため柵(人孔)	Φ1,200xh3,200	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		1.15	m ³			
	別紙明細-21 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

Ⅲ機械設備解体工事 9-屋外設備解体工事		
	ため柵(人孔)	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ため柵(人孔)	Φ1,200xh2,300	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		1.10	m ³			
	別紙明細-22 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
IV	工作物解体工事						
1	屋外50mプール	800㎡	1.0	式			
2	子供用プール	650㎡	1.0	式			
3	スライダープール	28㎡	1.0	式			
4	流水着水プール	513㎡	1.0	式			
	IV - 計	1~4					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
1	屋外50mプール										
		800	m ²								
	プール本体解体										
		ステンレス	50mx16mx h 1.2m	19.1		t					
	基礎コンクリート解体										
		基礎部	圧砕機	27.0		m ³					
	IV-1-計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
2	子供用プール										
		650	m ²								
	プール本体解体										
		ステンレス	変形32.5mx25mxh0.5m	12.5		t					
	基礎コンクリート解体										
		基礎部	圧砕機	34.0		m ³					
	IV-2-計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
3	スライダープール										
			28㎡								
	プール本体解体										
			ステンレス 7mx4mxh0.5~0.55	1.0		t					
	スライダー解体										
			ステンレス W2, 500xL14, 178	1.0		t					
	基礎コンクリート解体										
			基礎部 圧砕機	3.1		m ³					
	IV-3-計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	流水着水プール												
				513	m ²								
	流水プール本体解体												
				ステンレス	7mx4m	14.9	t						
	着水プール本体解体												
				ステンレス	7mx4m	1.6	t						
	基礎コンクリート解体												
				基礎部	圧砕機	101.0	m ³						
	スタート台鉄骨解体												
				鉄骨階段		10.4	t						
	基礎コンクリート解体												
				基礎部	圧砕機	9.5	m ³						
	スライダー解体												
				F R P+アクリル	Φ533	74.4	m						
	支柱部鉄骨解体												
						5.5	t						
	基礎コンクリート解体												
				基礎部	圧砕機	36.3	m ³						
	起流装置ピット解体 (P-1)												
				3,500x2,200 x h1,800		5.5	m ³						
	起流装置ピット解体 (P-2)												
				3,500x2,200 x h1,800		5.4	m ³						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	IV-4 - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
V	外構解体工事										
1	造成解体工事			1.0		式					
2	舗床解体工事			1.0		式					
3	工作物解体工事			1.0		式					
4	植栽伐採伐根工事			1.0		式					
	V - 計										
			1~4								

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	造成解体工事					
	[仮設道路]					
	横断暗渠					
	Φ250HP B型	1.0	式			別紙明細-1 P-V- 別-1
	〃					
	Φ600HP 〃	1.0	式			別紙明細-2 P-V- 別-2
	[仮設暗渠]					
	集水枿					
	2,000x2,000	1.0	式			別紙明細-3 P-V- 別-3
	コンクリート					
		0.2	m ³			
	接続管					
	Φ300HP B型	1.0	式			別紙明細-4 P-V- 別-4
	横断暗渠					
	Φ500HP 〃	1.0	式			別紙明細-5 P-V- 別-5
	盲暗渠					
	透水管 Φ150	1.0	式			別紙明細-6 P-V- 別-6
	〃					
	〃 Φ100	1.0	式			別紙明細-7 P-V- 別-7

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[構造物工事]						
間知ブロック	H=2.500	1.0	式			別紙明細-8 P-V- 別-8
重力式擁壁	H=1.000	1.0	式			別紙明細-9 P-V- 別-9
植込擁壁		1.0	式			別紙明細-10 P-V- 別-10
現場打U型水路	グレーチング 共 400 x 200	1.0	式			別紙明細-11 P-V- 別-11
集水枿	400x400x470h	1.0	式			別紙明細-12 P-V- 別-12
V-1 - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	舗床解体工事					
	インターロッキングブロック	t=60	1.0	式		別紙明細-13 P-V- 別-13
	クリンカータイル	150x150	1.0	式		別紙明細-14 P-V- 別-14
	エポキシモルタル	t=4.0+モルタルt=26	1.0	式		別紙明細-15 P-V- 別-15
	人工芝		1.0	式		別紙明細-16 P-V- 別-16
	アスファルト舗装		1.0	式		別紙明細-17 P-V- 別-17
	カラー地先境界ブロック	150x150 リブ付	1.0	式		別紙明細-18 P-V- 別-18
	地先境界ブロック	150x150	1.0	式		別紙明細-19 P-V- 別-19
	排水溝	200x200	1.0	式		別紙明細-20 P-V- 別-20
	V-2 - 計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	工作物解体工事												
	水呑場 ：モザイクタイル	L=3,300		1.0		式							別紙明細-21 P-V- 別-21
	ネットフェンス	H=1,500		449.0		m							
	〃	H=1,800		35.6		m							
	パーゴラ	FRP屋根 2.9x2.7		7.0		ヶ所							
	同上：ベンチ	FRP-2.5x0.48		23.0		ヶ所							
	コンクリートベンチ 基礎コンクリート	19.6+37.1+1.2m ³		37.1		m ³							
	木製ベンチ	2,500x2,500x0.445		1.0		式							別紙明細-22 P-V- 別-22
	シャワー立体トラス	Φ48.6 8.69x1.98 x 2.10		2.1		t							
	同上基礎コンクリート			3.0		m ³							
	スロープ擁壁	109.0m		28.8		m ³							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植栽ボックス						
	1,024.3m	176.0	m ³			
遊水池点検用階段						
		3.5	m ³			
防火水槽：40t						
	6,900x3,850xh3,400	30.7	m ³			
排水バルブ						
		12.7	m ³			
キューピクル基礎						
		2.8	m ³			
築山及びカスケード						
	鉄筋コンクリート	310.0	m ³			
〃						
	現場打コンクリート版	9.7	m ³			
〃						
	PC版 1,000x600x100	0.2	m ³			
V-3 - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	植栽伐採伐根工事												
	ザクロ	12.0-1.2		1.0		本							
	ユリノキ	15.0-0.75-6.0		7.0		本							
	ケヤキ	18.0-1.2		2.0		本							
	〃	15.0-0.90		9.0		本							
	〃	13.5-0.60		3.0		本							
	イタヤカエデ	12.0-0.60-6.0		6.0		本							
	エゴノキ	9.0 2-3本		12.0		本							
	ヤマエボシ	9.0-0.45		10.0		本							
	コブシ	10.5-0.60-6.0		3.0		本							
	シャラ	9.0 2-3本		4.0		本							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	サトサクラ												
		9.0-	0.54	4.0		本							
	ハナミズキ												
		7.5-	0.30	5.0		本							
	クス												
		12.0-	1.05	2.0		本							
	ヤマモモ												
		10.5-	0.90	1.0		本							
	シラカシ												
		12.0-	0.60	10.0		本							
	タブノキ												
		9.0-	1.50	8.0		本							
	モクセイ												
		6.0-		3.0		本							
	カイズカイブキ												
		6.0-		51.0		本							
	ヒイラギモクセイ												
		4.5-		100.0		本							
	ムクゲ												
		4.5-		150.0		本							
	サンゴジュ												
		4.5-	3種	140.0		本							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	イヌツゲ												
		1.8-1.2		200.0		本							
	〃												
		3.6-1.2		180.0		本							
	アベリア												
		1.5-1.2		510.0		本							
	ヒラドツツジ												
		1.5-1.5		1639.0		本							
	サツキ												
		0.9-0.9		400.0		本							
	ハクチョウゲ												
		1.50-		480.0		本							
	キュウチクトウ												
		1.8 2-3本		160.0		本							
	ヒヨウヤナギ												
		1.5-1.2		610.0		本							
	ウツギ												
		3.6-		3.0		本							
	マテバシイ												
		12.0-6.0		9.0		本							
	〃												
		12.0-0.75		2.0		本							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	ハギ												
		1.8-		40.0		株							
	サツキ												
		0.9-0.9		348.0		株							
	ヒラド												
		0.90-0.9		348.0		株							
	サツキ												
		0.9-0.9		227.0		株							
	フジ												
		0.45-		2.0		株							
	V-4												
	- 計												

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事			
1-造成解体工事	横断暗渠		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	横断暗渠	Φ250HP B型	6.00	m			
	基礎コンクリート解体		0.2	m ³			
	別紙明細-1 計						

(P - V - 別 - 1)

() 富士見市総務部営繕課

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事			
1-造成解体工事	横断暗渠		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	横断暗渠	Φ600HP B型	29.2	m			
	基礎コンクリート解体		3.4	m ³			
	別紙明細-2 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V 外構解体工事		
1-造成解体工事	集水桝	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	集水桝	2,000x2,000	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		3.2	m ³			
	別紙明細-3 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V 外構解体工事		
1-造成解体工事	接続管	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	接続管	Φ300HP B型	2.40	m			
	基礎コンクリート解体		0.1	m ³			
	別紙明細-4 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V 外構解体工事		
1-造成解体工事	横断暗渠	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	横断暗渠	Φ500HP B型	1.00	m			
	基礎コンクリート解体		0.2	m ³			
	別紙明細-5 計						

(P - V - 別 - 5)

() 富士見市総務部営繕課

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事			
1-造成解体工事	盲暗渠		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	盲暗渠	透水管 Φ150	508.75	m			
	基礎コンクリート解体		8.5	m ³			
	別紙明細-6 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事			
1-造成解体工事	盲暗渠		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	盲暗渠	透水管 Φ100	840.73	m			
	基礎コンクリート解体		12.2	m ³			
	別紙明細-7 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事		
1-造成解体工事	間知ブロック	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	間知ブロック	H=2.500	537.92	m			
	基礎コンクリート解体		289.0	m ³			
	別紙明細-8 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事		
1-造成解体工事	重力式擁壁	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	重力式擁壁	H=1.000	121.74	m			
	基礎コンクリート解体		18.3	m ³			
	別紙明細-9 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事		
1-造成解体工事	植込擁壁	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	植込擁壁		128.35	m			
	基礎コンクリート解体		19.3	m ³			
	別紙明細-10 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 1-造成解体工事	現場打U型水路	
---------------------	---------	--

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	現場打U型水路	400x200	77.00	m			
	基礎コンクリート解体		6.2	m ³			
	別紙明細-11 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V 外構解体工事		
1-造成解体工事	集水桝	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	集水桝	400x400x470h	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		0.04	m ³			
	別紙明細-12 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 2-舗床解体工事	インターロッキングブロック					
---------------------	---------------	--	--	--	--	--

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	インターロッキングブロック	t=60	285.30	m ²			
	地業とりこわし		17.1	m ³			
	コンクリート類集積、積込	機械	17.1	m ³			
	別紙明細-13 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 2-舗床解体工事	クリンカータイル					
---------------------	----------	--	--	--	--	--

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	クリンカータイル	150x150	99.80	m			
	地業とりこわし		1.5	m ³			
	コンクリート類集積、積込	機械	1.5	m ³			
	別紙明細-14 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 2-舗床解体工事	エポキシモルタル	
---------------------	----------	--

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	エポキシモルタル	t=4.0+モルタルt=26	5091.00	m ²			
	地業とりこわし		153.0	m ³			
	コンクリート類集積、積込	機械	153.0	m ³			
	別紙明細-15 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 2-舗床解体工事	人工芝	
---------------------	-----	--

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	人工芝		528.90	m ²			
	内装材とりこわし	床ビニルタイル	5.3	m ³			
	内装材 積込	機械	5.3	m ³			
	別紙明細-16 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事			
2-舗床解体工事	アスファルト舗装		

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	アスファルト舗装		3191.00	m ²			
	アスファルト舗装とりこわし		160.0	m ³			
	コンクリート類集積、積込	機械	160.0	m ³			
	別紙明細-17 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 2-舗床解体工事	カラー地先境界ブロック	
---------------------	-------------	--

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	カラー地先境界ブロック	150x150 リブ付	96.00	m			
	カラー地先境界ブロックとりこわし		2.2	m ³			
	コンクリート類集積、積込		2.2	m ³			
	別紙明細-18 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 2-舗床解体工事	地先境界ブロック	
---------------------	----------	--

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地先境界ブロック	150x150	525.50	m			
地先境界ブロックとりこわし		11.8	m ³			
コンクリート類集積、積込		11.8	m ³			
別紙明細-19 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事 2-舗床解体工事	現場打排水溝	
---------------------	--------	--

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	現場打排水溝	200x200	187.50	m			
	基礎コンクリート解体		3.4	m ³			
	別紙明細-20 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事			
3-工作物工事	水呑場:モザイクタイル		

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水呑場:モザイクタイル	L=3,300	1.00	ヶ所			
モザイクタイルとりこわし		0.1	m ³			
コンクリート類集積、積込		0.1	m ³			
別紙明細-21 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

V外構解体工事		
3-工作物工事	木製ベンチ	

名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	木製ベンチ	2,500x2,500x0.445	1.00	ヶ所			
	基礎コンクリート解体		1.2	m ³			
	別紙明細-22 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
VI	発生材処理						
1	建築解体工事		1.0	式			
2	電気設備解体工事		1.0	式			
3	機械設備解体工事		1.0	式			
4	工作物解体工事		1.0	式			
5	外構解体工事		1.0	式			
6	コンクリート破碎工事		1.0	式			
	VI - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	建築解体工事						
1)	管理棟解体工事		1.0	式			
2)	ロッカー棟解体工事		1.0	式			
3)	機械室・倉庫棟解体工事		1.0	式			
4)	軽食売店棟解体工事		1.0	式			
5)	屋外便所解体工事		1.0	式			
6)	ポンプ小屋解体工事		1.0	式			
7)	防災倉庫解体工事		1.0	式			
	VI-1 - 計	1)~6)					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	管理棟解体工事					
	産廃処分費					
	廃プラスチック類	7.4	m ³			
	〃					
	木くず類	6.3	m ³			
	〃					
	廃石膏ボード類	0.9	m ³			
	発生材運搬費	DID区間有、7.0km以下、10 t 車				
	木くず類	6.3	m ³			
	〃	DID区間有、7.0km以下、10 t 車				
	他廃プラ類	8.3	m ³			
	1-1) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	ロッカー棟解体工事					
	産廃処分費					
	廃プラスチック類	16.9	m ³			
	〃					
	木くず類	3.6	m ³			
	〃					
	廃石膏ボード類	0.3	m ³			
	発生材運搬費					
	DID区間有、7.0km以下、10 t 車					
	木くず類	3.6	m ³			
	〃					
	DID区間有、7.0km以下、10 t 車					
	他廃プラ類	17.2	m ³			
	1-2) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3)	機械室・倉庫棟解体工事												
	産廃処分費												
			廃プラスチック類	0.8		m ³							
	〃												
			木くず類	0.7		m ³							
	発生材運搬費												
			DID区間有、7.0km以下、10 t 車										
			木くず類	0.7		m ³							
	〃												
			DID区間有、7.0km以下、10 t 車										
			廃プラ類	0.8		m ³							
	〃												
	1-3) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4)	軽食売店棟解体工事												
	産廃処分費												
		廃プラスチック類		24.8		m ³							
	〃												
		木くず類		2.2		m ³							
	〃												
		廃石膏ボード類		1.0		m ³							
	〃												
		A L C		30.0		m ³							
	発生材運搬費		DID区間有、7.0km以下、10 t 車										
			木くず類	2.2		m ³							
	〃		DID区間有、7.0km以下、10 t 車										
			他廃プラ類	25.8		m ³							
	〃		DID区間有、7.0km以下、10 t 車										
			他コンクリート	30.0		m ³							
	1-4) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
5)	屋外便所解体工事										
	産廃処分費										
		廃プラスチック類		0.1		m ³					
	〃										
		木くず類		1.3		m ³					
	〃										
		廃石膏ボード類		0.1		m ³					
	発生材運搬費		DID区間有、7.0km以下、10 t 車								
			木くず類	1.3		m ³					
	〃		DID区間有、7.0km以下、10 t 車								
			他廃プラ類	0.2		m ³					
	〃										
	1-5) - 小計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6)	ポンプ小屋解体工事												
	産廃処分費												
		廃プラスチック類		0.1		m ³							
	発生材運搬費		DID区間有、7.0km以下、10 t 車										
		廃プラ類		0.1		m ³							
	1-6) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7)	防災倉庫解体工事						
	産廃処分費	木くず	0.9	m ³			
		廃プラスチック	0.2	m ³			
	発生材運搬費	DID区間有、7.0km以下、10 t 車					
		木くず類	1.3	m ³			
	〃	DID区間有、7.0km以下、10 t 車					
		他廃プラ類	0.2	m ³			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電気設備解体工事					
1)	管理棟解体工事	1.0	式			
2)	ロッカー棟解体工事	1.0	式			
3)	軽食売店棟解体工事	1.0	式			
4)	機械室倉庫棟解体工事	1.0	式			
5)	屋外便所解体工事	1.0	式			
6)	ポンプ小屋解体工事	1.0	式			
7)	屋外設備解体工事	1.0	式			
8)	防災倉庫解体工事	1.0	式			
	VI-2 - 計	1)~7)				

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	管理棟解体工事					
	産廃処分費					
	盤類	0.8	m3			
	照明器具					
	FL20-2	1.0	台			
	FL40-1	1.0	台			
	FL40-2	45.0	台			
	FL10-1	3.0	台			
	白熱灯60	7.0	台			
	蛍光管	22.0	kg			
	〃					
	機器類	14.0	台			
	発生材運搬費					
	4t車	1.0	台			
	2-1) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	ロッカー棟解体工事						
	産廃処分費	盤類	0.1	m3			
	〃	照明器具 FL40-4	12.0	台			
		照明器具 FL40-2	72.0	台			
		照明器具 FL10-1	9.0	台			
		照明器具 白熱灯	4.0	台			
		蛍光管	47.0	kg			
	〃	機器類	20.0	台			
	発生材運搬費	4t車	1.0	台			
	2-2) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3) 軽食売店棟解体工事						
産廃処分費	盤類	0.1	面			
〃	照明器具 FL40-2相当	29.0	台			
〃	照明器具 FL20-1相当	1.0	台			
〃	照明器具 白熱灯	2.0	台			
〃	ダウンライト類	8.0	台			
	蛍光管	12.0	kg			
〃	機器類	2.0	台			
発生材運搬費	4t車	1.0	台			
2-3) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	機械室倉庫棟解体工事					
	産廃処分費					
	盤類	0.3	m3			
	〃					
	照明器具 FL40-2	14.0	台			
	〃					
	蛍光管	6.7	kg			
	〃					
	機器類	4.0	台			
	発生材運搬費					
	4t車	1.0	台			
	2-4) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5) 屋外便所解体工事						
産廃処分費	照明器具 FL40-2	6.0	台			
	照明器具 FL20-2	2.0	台			
	照明器具 FL10-1	3.0	台			
	蛍光管	3.5	kg			
〃	機器類	3.0	台			
発生材運搬費	2t車	1.0	台			
2-5) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6)	ポンプ小屋解体工事						
	産廃処分費	盤類	0.1	m3			
	〃	照明器具 FL40-2	1.0	台			
		蛍光管	0.5	kg			
	2-6) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7)	屋外設備解体工事					
	産廃処分費					
	キュービクル	1.0	基			
	〃					
	盤類	0.3	m ³			
	〃					
	照明器具 (外灯)	22.0	台			
	〃					
	機器類 (スピーカー)	20.0	台			
	〃					
	がれき類	8.4	m ³			
	〃					
	廃プラスチック類	11.4	m ³			
	発生材運搬費					
	DID区間有、7.0km以下、4t車					
	廃プラ、がれき類	20.1	m ³			
	2-7) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
8)	防災倉庫						
	産廃処分費	盤類	0.1	m ³			
	〃	照明器具	2.0	台			
	発生材運搬費	DID区間有、7.0km以下、4t車					
		廃プラ、がれき類	0.1	m ³			
	2-7) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	機械設備解体工事												
1)	屋外50mプール			1.0		式							
2)	子供プール、 スライダープール			1.0		式							
3)	管理棟			1.0		式							
4)	ロッカー棟			1.0		式							
5)	軽食売店棟			1.0		式							
6)	機械室倉庫			1.0		式							
7)	屋外便所			1.0		式							
8)	屋外工事			1.0		式							
	VI-3 - 計		1)~8)										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	屋外50mプール						
	産廃処分費	廃プラスチック類	7.8	m ³			
	発生材運搬費	DID区間有、7.0km以下、4t車					
		廃プラ類	7.8	m ³			
	3-1) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	子供プール、 スライダープール					
	産廃処分費					
	産廃処分費	10.7	m ³			
	発生材運搬費					
	発生材運搬費					
	発生材運搬費	10.7	m ³			
	3-2) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3)	管理棟												
	産廃処分費												
			ガラス、陶器類	0.4		m ³							
	〃												
			廃プラスチック類	0.9		m ³							
	発生材運搬費		DID区間有、6.5km以下、2t車										
			他廃プラ類	1.3		m ³							
	3-3) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	ロッカー棟						
	産廃処分費	ガラス、陶器類	1.1	m ³			
	〃	廃プラスチック類	0.9	m ³			
	発生材運搬費	DID区間有、6.5km以下、2t車					
		他廃プラ類	2.0	m ³			
	3-4) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5) 軽食売店棟						
産廃処分費	ガラス、陶器類	0.1	m ³			
〃	廃プラスチック類	0.1	m ³			
発生材運搬費	DID区間有、6.5km以下、2t車					
	他廃プラ類	0.2	m ³			
3-5) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6)	機械室倉庫												
	産廃処分費												
			がれき類	0.6		m ³							
	〃												
			廃プラスチック類	0.3		m ³							
	発生材運搬費												
			DID区間有、6.5km以下、2t車										
			がれき類	0.6		m ³							
	〃												
			DID区間有、6.5km以下、2t車										
			他廃プラ類	0.3		m ³							
	3-6) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7) 屋外便所						
産廃処分費	ガラス、陶器類	0.9	m ³			
〃	廃プラスチック類	0.7	m ³			
発生材運搬費	DID区間有、6.5km以下、2t車					
	他廃プラ類	1.6	m ³			
3-7) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
8)	屋外工事												
	産廃処分費												
		産廃プラスチック類		48.7		m ³							
	発生材運搬費		DID区間有、7.0km以下、10 t 車										
		産廃プラスチック類		48.7		m ³							
	3-8) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	工作物解体工事						
1)	流水着水プール		1.0	式			
	VI-4 - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	流水着水プール						
	産廃処分費	廃プラスチック類	43.2	m ³			
	発生材運搬費	DID区間有、7.0km以下、10 t 車					
		廃プラ類	43.2	m ³			
	4-1) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	外構解体工事						
1)	造成解体工事		1.0	式			
2)	舗床解体工事		1.0	式			
3)	工作物解体工事		1.0	式			
4)	植栽伐採伐根工事		1.0	式			
	VI-5 - 計	1)~4)					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1)	造成解体工事												
	産廃処分費												
		廃プラスチック類		2.7		m ³							
	発生材運搬費												
		DID区間有、7.0km以下、4 t 車											
		廃プラ類		2.7		m ³							
	5-1) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2)	舗床解体工事												
	産廃処分費												
		廃プラスチック類		2.5		m ³							
	発生材運搬費												
		DID区間有、7.0km以下、4 t 車											
		廃プラ類		2.5		m ³							
	5-2) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3) 工作物解体工事						
産廃処分費	廃プラスチック類	79.1	m ³			
発生材運搬費	DID区間有、7.0km以下、10 t 車					
	廃プラ類	79.1	m ³			
5-3) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4)	植栽伐採伐根工事												
	<運搬費>												
	高木	DID区間有、8.5km以下、10tダンプ											
		木材類		760.0		m ³							
	中低木	〃											
		〃		4,115.0		m ³							
	低木	〃											
		〃		13.3		m ³							
	処分費												
		木くず類		4,893.0		m ³							
	5-4) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	コンクリート破碎工事						
	コンクリート破碎工事		1.0	式			別紙明細-1 P- 別-VI-1
	VI-6 - 計						

別紙明細

上 段	変更設計
下 段	原 設計

VI発生材処理						
6コンクリート破碎工事						

名 称							摘 要・規 格							数 量							単 位							単 価							金 額							備 考						
①機械レンタル料																																																
機械レンタル料							自走式破碎機BR380JG-3																																									
							同等品以上							29.0							日																											
消耗品費														29.0							日																											
補償費														29.0							日																											
環境対策費														29.0							日																											
②機械、諸経費、運搬														1.0							式																											
③オペレーター														58.0							人																											
④再生碎石の試験費							JIS A 5001 試験項目4種																																									
							修正CBR アスファルト混合物混入率							1.0							式																											
別紙明細-1 計																																																

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
VII	有価物処理						
1	建築解体工事		1.0	式			
2	電気設備解体工事		1.0	式			
3	機械設備解体工事		1.0	式			
4	工作物解体工事		1.0	式			
5	外構解体工事		1.0	式			
	VII - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	建築解体工事					
1)	管理棟解体工事	1.0	式			
2)	ロッカー棟解体工事	1.0	式			
3)	機械室・倉庫棟解体工事	1.0	式			
4)	軽食売店棟解体工事	1.0	式			
5)	屋外便所解体工事	1.0	式			
6)	ポンプ小屋解体工事	1.0	式			
	VII-1 - 計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1) 管理棟解体工事						
有価物処分費	鉄屑（鉄骨）	13.0	t			
〃	鉄屑（鉄筋）	43.5	t			
〃	金属くず（スチール）	5,103.0	kg			
〃	ステンレス屑	553.0	kg			
〃	アルミ屑	575.0	kg			
発生材運搬費	10 t コンテナ、25km以下	7.0	回			
1-1) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	ロッカー棟解体工事					
	有価物処分費					
	鉄屑（鉄骨）	27.3	t			
	〃					
	鉄屑（鉄筋）	63.3	t			
	〃					
	金属くず(スチール)、ロッカー共	11,432.0	kg			
	〃					
	ステンレス屑	188.0	kg			
	〃					
	アルミ屑	1,423.0	kg			
	発生材運搬費					
	10 t コンテナ、25km以下	12.0	回			
	1-2) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	機械室・倉庫棟解体工事					
	有価物処分費					
	鉄屑（鉄筋）	30.5	t			
	〃					
	金属くず（スチール）	1,140	kg			
	〃					
	ステンレス屑	158	kg			
	〃					
	アルミ屑	10	kg			
	発生材運搬費					
	10 t コンテナ、25km以下	4.0	回			
	1-3) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	軽食売店棟解体工事					
	有価物処分費					
	鉄屑（鉄骨）	4.4	t			
	〃					
	鉄屑（鉄筋）	7.0	t			
	〃					
	金属くず（スチール）	1,823.0	kg			
	〃					
	ステンレス屑	10.0	kg			
	〃					
	アルミ屑	383.0	kg			
	発生材運搬費					
	10 t コンテナ、25km以下	2.0	回			
	1-4) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
5)	屋外便所解体工事											
	有価物処分費											
		鉄屑（鉄筋）		7.5		t						
	〃											
		金属くず（スチール）		302.0		kg						
	〃											
		ステンレス屑		7.0		kg						
	〃											
		アルミ屑		68.0		kg						
	発生材運搬費											
		10 t コンテナ、25km以下		1.0		回						
	1-5) - 小計											

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6)	ポンプ小屋解体工事												
			防災倉庫分含む										
	有価物処分費												
			鉄屑（鉄筋）	0.5		t							
	〃												
			金属くず（スチール）	39.0		kg							
	〃												
			アルミ屑	14.0		kg							
	発生材運搬費												
			2t車ダンプ、25km以下	1.0		回							
	1-6) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電気設備解体工事					
1)	管理棟解体工事	1.0	式			
2)	ロッカー棟解体工事	1.0	式			
3)	軽食売店棟解体工事	1.0	式			
4)	機械室倉庫棟解体工事	1.0	式			
5)	屋外便所解体工事	1.0	式			
6)	ポンプ小屋解体工事	1.0	式			
7)	屋外設備解体工事	1.0	式			
	VII-2 - 計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	管理棟解体工事					
	有価物処分費					
	鉄屑 (銅)	93.6	kg			
	〃					
	金属屑 (スチール)	724.0	kg			
	発生材運搬費					
	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	2-1) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	ロッカー棟解体工事						
	有価物処分費	鉄屑 (銅)	79.8	kg			
	〃	金属屑 (スチール)	742.0	kg			
	発生材運搬費	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	2-2) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3)	軽食売店棟解体工事												
	有価物処分費												
		鉄屑 (銅)		17.2		kg							
	〃												
		金属屑 (スチール)		107.0		kg							
	発生材運搬費												
		2 t 車ダンプ、25km以下		1.0		回							
	2-3) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	機械室倉庫棟解体工事						
	有価物処分費	鉄屑（銅）	54.3	kg			
	〃	金属屑（スチール）	742.0	kg			
	発生材運搬費	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	2-4) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5)	屋外便所解体工事						
	有価物処分費	鉄屑 (銅)	7.9	kg			
	〃	金属屑 (スチール)	33.1	kg			
	発生材運搬費	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	2-5) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6)	ポンプ小屋解体工事						
	有価物処分費	鉄屑 (銅)	3.6	kg			
	〃	金属屑 (スチール)	22.0	kg			
	発生材運搬費	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	2-6) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7)	屋外設備解体工事												
			防災倉庫分含む										
	有価物処分費												
			鉄屑（銅）	3,444.0		kg							
	〃												
			金属屑（スチール）	1,219.0		kg							
	〃												
			アルミ屑	1,936.0		kg							
	発生材運搬費												
			2t車ダンプ、25km以下	1.0		回							
	2-7) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	機械設備解体工事					
1)	屋外50mプール	1.0	式			
2)	子供プール、 スライダープール	1.0	式			
3)	管理棟	1.0	式			
4)	ロッカー棟	1.0	式			
5)	軽食売店棟	1.0	式			
6)	機械室倉庫	1.0	式			
7)	屋外便所	1.0	式			
8)	ポンプ小屋	1.0	式			
9)	屋外工事	1.0	式			
	VII-3 - 計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	屋外50mプール						
	有価物処分費	金属屑 (スチール)	290.0	kg			
	発生材運搬費	2t車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	3-1) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	子供プール、 スライダープール					
	有価物処分費					
	金属屑 (スチール)	570.0	kg			
	発生材運搬費					
	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	3-2) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
3)	管理棟											
	有価物処分費											
		金属屑 (スチール)		373.0		kg						
	〃											
		鉄屑 (銅)		10.5		kg						
	〃											
		金属屑 (鉛)		54.0		kg						
	〃											
		ステンレス屑		121.0		kg						
	発生材運搬費											
		2 t 車ダンプ、25km以下		1.0		回						
	3-3) - 小計											

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	ロッカー棟						
	有価物処分費	金属屑 (スチール)	1,080.0	kg			
	〃	金属屑 (鉛)	231.0	kg			
	発生材運搬費	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	3-4) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
5)	軽食売店棟											
	有価物処分費											
		金属屑 (スチール)		77.0		kg						
	〃											
		金属屑 (鉛)		22.0		kg						
	〃											
		ステンレス屑		145.0		kg						
	発生材運搬費											
		2 t 車ダンプ、25km以下		1.0		回						
	3-5) - 小計											

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備考	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6)	機械室倉庫					
	有価物処分費					
	金属屑 (スチール)	39.0	kg			
	発生材運搬費					
	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	3-6) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
7)	屋外便所											
	有価物処分費											
		金属屑 (スチール)		330.0		kg						
	〃											
		金属屑 (鉛)		217.0		kg						
	〃											
		ステンレス屑		10.0		kg						
	発生材運搬費											
		2 t 車ダンプ、25km以下		1.0		回						
	3-7) - 小計											

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8)	ポンプ小屋						
	有価物処分費	金属屑 (スチール)	643.0	kg			
	発生材運搬費	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	3-8) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9)	屋外工事						
	有価物処分費	金属屑 (スチール)	6,393.0	kg			
	発生材運搬費	10 t コンテナ、25km以下	1.0	回			
	3-9) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	工作物解体工事					
1)	屋外50mプール	1.0	式			
2)	子供用プール	1.0	式			
3)	スライダープール	1.0	式			
4)	流水着水プール	1.0	式			
	VII-4 - 計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	屋外50mプール						
	有価物処分費	鉄屑（鉄筋）	2.0	t			
	〃	ステンレス屑	19,060	kg			
	発生材運搬費	10tコンテナ、25km以下	2.0	回			
	4-1) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	子供用プール						
	有価物処分費	鉄屑（鉄筋）	2.5	t			
	〃	ステンレス屑	12,452	kg			
	発生材運搬費	10 t コンテナ、25km以下	2.0	回			
	4-2) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	スライダープール						
	有価物処分費	鉄屑（鉄筋）	0.3	t			
	〃	ステンレス屑	952	kg			
	発生材運搬費	2 t 車ダンプ、25km以下	1.0	回			
	4-3) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	流水着水プール					
	有価物処分費					
	鉄屑（鉄骨）	20.3	t			
	〃					
	鉄屑（鉄筋）	14.5	t			
	〃					
	金属くず（スチール）	3,547	kg			
	〃					
	ステンレス屑	18,324	kg			
	〃					
	アルミ屑	182	kg			
	発生材運搬費					
	10 t コンテナ、25km以下	6.0	回			
	4-4) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計
備	考

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額
5	外構解体工事										
1)	造成解体工事			1.0		式					
2)	舗床解体工事			1.0		式					
3)	工作物解体工事			1.0		式					
	VII-5 - 計										

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1)	造成解体工事												
	有価物処分費												
		鉄屑（鉄筋）		0.7		t							
	〃												
		金属くず（スチール）		4,650		kg							
	発生材運搬費												
		10 t コンテナ、25km以下		1.0		回							
	5-1) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2) 舗床解体工事						
有価物処分費	鉄屑（鉄筋）	3.6	t			
〃	金属くず（スチール）	3,294	kg			
〃	ステンレス屑	424	kg			
発生材運搬費	10 t コンテナ、25km以下	1.0	回			
5-2) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3) 工作物解体工事						
有価物処分費	鉄屑（鉄骨）	2.1	t			
〃	鉄屑（鉄筋）	103.0	t			
〃	金属くず（スチール）	5,712	kg			
〃	ステンレス屑	2,176	kg			
発生材運搬費	10 t コンテナ、25km以下	12.0	回			
5-3) - 小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
VIII	アスベスト含有物						
		※撤去、処分費含む					
1	建築解体工事		1.0	式			
2	機械設備解体工事		1.0	式			
	VIII - 計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	建築解体工事					
1)	管理棟解体工事	1.0	式			
2)	ロッカー棟解体工事	1.0	式			
3)	機械室・倉庫棟解体工事	1.0	式			
4)	軽食売店棟解体工事	1.0	式			
5)	屋外便所解体工事	1.0	式			
6)	ポンプ小屋解体工事	1.0	式			
	VIII - 1 - 計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	管理棟解体工事					
	アスベスト含有					
	吹付塗材類撤去費	624.0	m ²			
	〃					
	アスファルト防水撤去費	257.0	m ²			
	〃					
	ボード類撤去費	4.9	m ³			
	〃					
	塩ビ類撤去費	0.5	m ²			
	発生材運搬費					
	4 t 車、積込共	1.0	式			
	アスベスト処分					
	吹付塗材類処分費	3.1	m ³			
	〃					
	アスファルト防水処分費	2.6	m ³			
	〃					
	ボード類処分費	4.9	m ³			
	1-1) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	ロッカー棟解体工事					
	アスベスト含有					
	吹付塗材類撤去費	742.0	m ²			
	〃					
	アスファルト防水撤去費	615.0	m ²			
	〃					
	ボード類撤去費	26.8	m ³			
	〃					
	塩ビ類撤去費	0.2	m ²			
	発生材運搬費					
	4 t 車、積込共	1.0	式			
	アスベスト含有					
	吹付塗材類処分費	3.7	m ³			
	〃					
	アスファルト防水処分費	6.1	m ³			
	〃					
	ボード類処分費	26.8	m ³			
	1-2) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3)	機械室・倉庫棟解体工事												
	アスベスト含有												
		吹付塗材類撤去費		364.0		m ²							
	〃												
		アスファルト防水撤去費		174.0		m ²							
	〃												
		ボード類撤去費		2.8		m ³							
	〃												
		塩ビ類		0.1		m ²							
	発生材運搬費												
		4 t 車、積込共		1.0		式							
	アスベスト処分												
		吹付塗材類処分費		1.8		m ³							
	〃												
		アスファルト防水処分費		7.0		m ³							
	〃												
		ボード類処分費		2.8		m ³							
	1-3) - 小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	軽食売店棟解体工事					
	アスベスト含有					
	吹付塗材類撤去費	179.0	m ²			
	〃					
	カラー石綿板撤去費	75.0	m ²			
	〃					
	ボード類撤去費	4.8	m ³			
	発生材運搬費処分					
	4t車、積込共	1.0	式			
	アスベスト処分					
	吹付塗材類処分費	0.9	m ³			
	〃					
	カラー石綿板処分費	0.4	m ³			
	〃					
	ボード類処分費	4.8	m ³			
	1-4) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5)	屋外便所解体工事					
	アスベスト含有					
	吹付塗材類撤去費	162.0	m ²			
	〃					
	ボード類撤去費	0.4	m ³			
	発生材運搬費					
	4 t 車、積込共	1.0	式			
	アスベスト処分					
	吹付塗材類処分費	0.8	m ³			
	〃					
	ボード類処分費	0.4	m ³			
	1-5) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6)	ポンプ小屋解体工事					
	アスベスト含有					
	アスファルト防水撤去費	7.4	m ²			
	発生材運搬費					
	4t車、積込共	1.0	式			
	アスベスト処分					
	アスファルト防水処分費	0.3	m ³			
	1-6) - 小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	機械設備解体工事												
	保温材撤去費												
			アスベスト含有										
	①管理棟			7.6		m ³							
	②ロッカー棟			9.5		m ³							
	③軽食売店棟			12.5		m ³							
	④屋外便所			3.1		m ³							
	発生材運搬			1.0		式							

積算用紙

							上段	変更設計
							下段	原設計
							備	考
名	称	摘	要	数	量	単	位	
単	価	金	額					
保温材処分費		アスベスト含有						
①	管理棟			7.6	m ³			
②	ロッカー棟			9.5	m ³			
③	軽食売店棟			12.5	m ³			
④	屋外便所			3.1	m ³			
VIII - 2 - 計								

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
IX	整地・外柵工事											
	整地、再生砕石敷均し	オペレーター共										
		土工機械運転 ブルトナー	70.0		日							
	普通作業員			1.0		式						
	ガードフェンス											
		買取、1.8X1.8 鉄足付	343.0		台							
	単管杭・頭繋ぎ・金物材工											
		単管 48.6φ 買取	1.0		式							
	水走り溝			3.0		人						
	IX - 計											

工 事 名 市 立 富 士 見 ガ ー デ ン ビ ー ち 解 体 工 事

発 注 者 富 士 見 市 長 星 野 光 弘
 設 計 株 式 会 社 柳 井 設 計

登録番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanisekai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日		承認	照査	設計	製図	NOTE		課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 K / O 1
				変更年月日							柳井							

棟別	図面番号	図面名
全体(建築工事)	共通図面	K-001 表紙
		K-002 図面目録-1
		K-003 特記仕様書(解体その1)
		K-004 特記仕様書(解体その2)
		K-005 案内図・全体配置図
		K-006 敷地求積図
		K-007 解体後造成計画図・同詳細図
		K-008 仮設計画図(参考)兼防災倉庫
		K-009 造成計画平面図・近隣家屋調査対象建物
1 原設計(建築工事)	外構工事(建築工事)	KA-010 横断面図(1)
		KA-011 横断面図(2)
		KA-012 ブロック擁壁(駐車場)一般図
		KA-013 ブロック擁壁一般図
		KA-014 L型擁壁一般図(1)
		KA-015 L型擁壁一般図(2)
		KA-016 植込擁壁一般図(1)
		KA-017 植込擁壁一般図(2)
		KA-018 南側スロープ部擁壁一般図
		KA-019 南側スロープ部擁壁配筋図
		KA-020 排水施設構造図
		KA-021 トレンチ及びびサンドマット平面図
		KA-022 トレンチ工事詳細図
		KA-023 トレンチ及びびサンドマット詳細図
		KA-024 北側スロープ部擁壁一般図
		KA-025 北側身障者用スロープ擁壁一般図
		KA-026 配置図
		KA-027 仕上表・求積図
		KA-028 平面図
		KA-029 屋根伏図
		KA-030 断面図・立面図 その1
		KA-031 立面図 その2
		KA-032 天井伏図
		KA-033 矩計図
		KA-034 平面詳細図・展開図(事務室・医務室)
KA-035 平面詳細図・展開図(控室・湯沸室・男女便所・監視室)		
KA-036 平面詳細図・展開図(切符売場・改札・男女シャワー室・男女便所)		
KA-037 平面詳細図・展開図(軽食売店・屋外便所)		
KA-038 展開図(管理棟-廊下・倉庫1・2)		
管理棟 RC造(意匠図)	RC造(建築工事)	KA-039 内装標準部分詳細図
		KA-040 部分詳細図(1)
		KA-041 部分詳細図(2)
		KA-042 部分詳細図(3)
		KA-043 プール本体工事仕様書
		KA-044 50mプール平面図・断面図・部分詳細図
		KA-045 50mプール底板詳細図・部分詳細図
		KA-046 50mプール基礎伏図・配筋詳細図
		KA-047 子供プール平面図・底板詳細図
		KA-048 子供プール部分詳細図
		KA-049 子供プール基礎伏図・配筋詳細図
		KA-050 スライダープール平面図・断面図・部分詳細図
		KA-051 建具表(1)
		KA-052 建具表(2)
		KA-053 建具詳細図
		KA-054 外構平面図
		KA-055 外構部分詳細図(1)
KA-056 外構部分詳細図(2)		
KA-057 外構部分詳細図(3)		

棟別	図面番号	図面名
2 増設建物設計(建築工事)	ウオタースライダールーム・機械室・倉庫棟 RC造(建築工事)	KA-058 築山詳細図
		KA-059 植栽平面図
		KA-060 植栽部分詳細図
		KA-061 サイン計画図
		KA-062 プール付属品・姿図・詳細図
		KA-063 軽食・売店(仕上表・平面詳細図・屋根伏図・天井伏図・断面図・立面図)
		KA-064 軽食・売店(矩計図・展開図・建具表)
		KA-065 外構部分詳細図
		KS-066 鉄筋コンクリート構造標準図
		KS-067 鉄骨構造工作標準図
		KS-068 基礎伏図・1階床伏図(杭伏図)
		KS-069 2階屋根伏図・フライングビーム伏図
		KS-070 軸組図
		KS-071 基礎梁・基礎小梁・基礎リスト
		KS-072 柱・大梁・小梁・スラブ・壁・鉄骨部材リスト
		KS-073 雑詳細図
		KS-074 ブリッジ部鉄骨詳細図
		KS-075 GP1, GP1a, GP1b(プレストレストコンクリート梁)詳細図
		KS-076 平屋部分架橋配筋図・鉄骨架橋詳細図
		KS-077 2階建部分架橋配筋図
		KS-078 外構部分配筋詳細図(1)
		KS-079 外構部分配筋詳細図(2)
		KS-080 屋外便所 伏図及び詳細図(杭伏図)
		KS-081 軽食売店・切符売場 伏図及び詳細図
		KS-082 軽食売店 構造図(杭伏図)
		KS-083 築山 構造図
		KA-084 全体図
		KA-085 増設プールのスライダールーム配置図
		KA-086 機械室 平面図・立面図・断面図
		KA-087 機械室 断面詳細図
		KA-088 シェルター・フエンス詳細
		KA-089 洗眼台・入口門扉 詳細図
		KA-090 各部詳細図
		KA-091 鉄筋コンクリート構造標準配筋標準図
		KS-092 各階構造平面図 基礎配筋リスト(杭伏図)
KS-093 各通 軸組図 各部材配筋リスト		
KS-094 床版配筋リスト 壁配筋リスト		
KS-095 鉄筋架橋配筋図		
KS-096 新設 階段~踊り場 詳細図		
KS-097 新設階段部断面図		
KS-098 機械室 パルボックス 詳細図		
KS-099 ジョイントボックス 詳細図		
KA-100 仕様書		
KA-101 平面図		
KA-102 流水プール断面図		
KA-103 スロープ詳細図		
KA-104 着水プール断面及びび入水階段詳細図		
KA-105 流水プール/着水プール段付部詳細図		
KA-106 噴水詳細図		
KA-107 底板割付図		
KA-108 配管部品詳細図		
KA-109 スライダールーム用揚水ポンプ給水口及び濾過給水ノズル詳細図		
KA-110 起流装置吸込口及び吐出口詳細図		
KA-111 基礎伏図		
KA-112 基礎詳細図		
KA-113 P1 起流装置平面図		
KA-114 P2 起流装置平面図		
KA-115 起流装置ビット図		

棟別	図面番号	図面名
3 改修設計(建築工事)	ロッカー棟・管理棟(建築工事・意匠)	(スライダールーム関係)
		KS-116 配置図
		KS-117 一般平面図
		KS-118 立面図
		KS-119 スタート台 平面図・立面図
		KS-120 スタート台 平面詳細図
		KS-121 スタート台 断面詳細図
		KS-122 着水部分詳細図
		KS-123 基礎伏図
		KS-124 基礎リスト(杭伏図)
		KS-125 スタート台架伏図・スタート台詳細図
		KS-126 スライダールーム受梁伏図・スライダールーム受詳細図
		KS-127 FRP受バツクボーン受支持座標一覧表
		KS-128 部材リスト
		KS-129 スタート台 鉄骨平面詳細図・断面詳細図
		KS-130 スタート台 鉄骨平面詳細図
		KA-131 改修特記仕様書(その1)
		KA-132 改修特記仕様書(その2)
		KA-133 改修特記仕様書(その3)
		KA-134 改修特記仕様書(その4)
		KA-135 改修特記仕様書(その5)
		KA-136 改修特記仕様書(その6)
		KA-137 改修特記仕様書(その7)
		KA-138 工事区分表
		KA-139 案内図・配置図
		KA-140 仕上表-1
		KA-141 仕上表-2
		KA-142 仕上表-3
		KA-143 仕上表-4
		KA-144 既存平面図
		KA-145 既存屋根伏図
		KA-146 改修平面図
		KA-147 改修屋根伏図
		KA-148 【ロッカー・管理棟】既存立面図
		KA-149 【ロッカー・管理棟】改修立面図
KA-150 既存展開立面図(調査図)		
KA-151 改修展開立面図		
KA-152 既存断面詳細図		
KA-153 改修断面詳細図		
KA-154 【ロッカー棟】既存平面詳細図-1		
KA-155 【ロッカー棟】既存平面詳細図-2		
KA-156 【ロッカー棟】既存展開図-1		
KA-157 【ロッカー棟】既存展開図-2		
KA-158 【ロッカー棟】既存展開図-3		
KA-159 【ロッカー棟】改修平面詳細図-1		
KA-160 【ロッカー棟】改修平面詳細図-2		
KA-161 【ロッカー棟】改修展開図-1		
KA-162 【ロッカー棟】改修展開図-2		
KA-163 【ロッカー棟】改修展開図-3		
KA-164 【管理棟】既存平面詳細図-1		
KA-165 【管理棟】既存平面詳細図-2		
KA-166 【管理棟】改修平面詳細図-1		
KA-167 【管理棟 切符売場・改札】平面詳細図(既存図)・キープラン・屋根伏図・天井伏図・立面図・展開図		
KA-168 【管理棟 切符売場・改札】平面詳細図(改修図)・キープラン・屋根伏図・天井伏図・立面図・展開図		

棟別	図面番号	図面名
1 原設計(電気設備工事)	管理棟	KA-169 【機械室・倉庫】平面詳細図・立面図(既存図)・キープラン・屋根伏図・外構フェンス平面詳細図
		KA-170 【機械室・倉庫】平面詳細図・立面図(改修図)・キープラン・屋根伏図・外構フェンス平面詳細図
		KA-171 【軽食・売店棟】平面詳細図(既存図)・キープラン・矩計図・屋根伏図・天井伏図・立面図
		KA-172 【軽食・売店棟】既存展開図
		KA-173 【軽食・売店棟】平面詳細図(改修図)・屋根伏図・矩計図・屋根伏図・天井伏図・立面図
		KA-174 【軽食・売店棟】改修展開図
		KA-175 【屋外便所棟】平面詳細図(既存図)・キープラン・屋根伏図・天井伏図・立面図・展開図
		KA-176 【屋外便所棟】平面詳細図(改修図)・屋根伏図・天井伏図・立面図・展開図
		KA-177 既存天井伏図
		KA-178 改修天井伏図
		KA-179 既存建具表-1
		KA-180 既存建具表-2
		KA-181 既存建具表-3
		KA-182 既存建具表-4
		KA-183 既存建具表-5
		KA-184 改修建具表
		KA-185 既存外構詳細図
KA-186 改修外構詳細図		
2 増設建物設計(電気設備工事)	ウオタースライダールーム・機械室・倉庫棟	KE-001 特記仕様書・凡例
		KE-002 系統図
		KE-003 受変電設備単線結線図・姿図
		KE-004 分電盤結線図
		KE-005 動力盤結線図
		KE-006 引込・幹線・電灯コンセント設備 外構図
		KE-007 電灯コンセント設備 平面図
		KE-008 照明器具姿図
		KE-009 弱電設備特記・系統図
		KE-010 弱電設備姿図
		KE-011 弱電設備平面図
		KE-012 弱電設備外構図
		KE-013 非常ベル設備系統・凡例
		KE-014 非常ベル設備平面図
		KE-015 非常ベル設備外構図
		KE-016 警備保障設備配管平面図
		KE-017 電気設備特記仕様書
KE-018 幹線・動力設備 屋外工事		
KE-019 受変電設備 改修及び増設工事		
KE-020 電灯・弱電設備工事		
KE-021 自販機用配線配管図		
KE-022 高圧引込及び警報用配線図		
KE-023 既存引込柱改修装柱図		
3 改修設計(電気設備工事)	ロッカー棟・管理棟	KE-024 電気設備工事 特記仕様書
		KE-025 案内図・配置図
		KE-026 【既存】分電盤結線図・動力盤結線図
		KE-027 【既存】電灯設備 平面図
		KE-028 【改修図】電灯設備 平面図
		KE-029 【改修図】照明器具 姿図
		KE-030 【既存】弱電設備 平面図
		KE-031 【改修図】弱電設備 平面図
		KE-032 【既存・改修図】軽食・売店 電気設備 平面図

棟別	図面番号	図面名
1 原設計(機械設備工事)	管理棟	KM-001 特記仕様書
		KM-002 機器・器具表
		KM-003 屋外給排水設備図
		KM-004 屋外排水設備図
		KM-005 各便所詳細図(1)
		KM-006 各便所・洗面所詳細図(2)
		KM-007 冷暖房・換気1階設備図
		KM-008 冷暖房・換気屋上設備図
		KM-009 樹詳細図
		KM-010 濾過装置機器リスト表
		KM-011 濾過フローシート
		KM-012 濾過装置機械室詳細図
		KM-013 濾過装置循環配管設備図
		KM-014 集中盤及び手元盤姿図
		KM-015 集中盤及び手元盤主回路図
2 増設建物設計(機械設備工事)	ウオタースライダールーム・機械室・倉庫棟	KM-016 給排水設備 特記仕様書
		KM-017 プール廻り給排水管図
		KM-018 循環配管 揚水 噴水配管図
		KM-019 自販機用給水管布設図
		KM-020 濾過装置・平・立面図
		KM-021 濾過装置廻り電気図
		KM-022 濾過装置制御盤図
		KM-023 機械室内電気図面
		KM-024 増設プールフローシート
		3 改修設計(機械設備工事)
KM-026 機械設備工事 特記仕様書(2)		
KM-027 案内図・配置図		
KM-028 給排水設備 器具表		
KM-029 【ロッカー棟】給排水設備 既存平面詳細図-1		
KM-030 【ロッカー棟】給排水設備 既存平面詳細図-2		
KM-031 【ロッカー棟】給排水設備 改修平面図-1		
KM-032 【ロッカー棟】給排水設備 改修平面図-2		
KM-033 【屋外便所棟】給排水設備 既存改修平面詳細図		
KM-034 冷暖房換気設備 機器表		
KM-035 冷暖房換気設備 既存平面図		
KM-036 冷暖房換気設備 改修平面図		
KM-037 【軽食・売店棟】冷暖房換気設備 既存・改修平面詳細図		
KM-038 【屋外便所棟】換気設備 既存・改修平面詳細図		

3 特別管理産業廃棄物の処理

特別管理産業廃棄物の種類	備考
○廃石綿等	
○PCBを含む機器類	
・ PCB含有シーリング材	
○廃油	
・ 廃酸/廃アルカリ	
・ ダイオキシン類	

処理施設
・ 監督員と協議

4 PCBを含む機器類

引渡しを要する機器類

5 PCB含有シーリング材

除去処理工事
除去範囲 ※図示
撤去方法 「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会）」による。

6 ダイオキシン類

廃棄物の焼却施設の解体
解体方法
処分方法

6 石綿含有建材の除去及び処理

1 石綿含有建材の事前調査

石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及びび貫する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。
調査範囲 ※図示
貸与資料 ()

2 石綿含有分析調査

分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アモサイト、クリソタイト、クロシドライト、アクチノライト、アンソフイライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析方法		定量分析方法	
	JIS A 1481-1	JIS A 1481-2	JIS A 1481-3	JIS A 1481-4
・ 7777防水(屋根)	※	箇所	・	箇所
・	※	箇所	・	箇所
・	※	箇所	・	箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
吹付け材及び保温材等は ※ 1.0cm³ /箇所 /箇所 とする。
成形板は ※ 1.0cm² /箇所 /箇所 とする。
採取箇所 ※図示
分析結果については監督員に提出すること。

3 石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点
※	※	測定1	処理作業前	処理作業室内
※	※	測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点
※	※	測定3		()点
※	※	測定4		出入口
※	※	測定5	処理作業後(隔離ネット撤去前)	集じん・排気装置の排出口
※	※	測定6		施工区画周辺又は敷地境界・4方向各1点
※	※	測定7	処理作業後(隔離ネット撤去後)	処理作業室内
※	※	測定8		施工区画周辺又は敷地境界各1点
※	※	測定9	処理作業後(1週間以降)	()点
※	※	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法
測定のみ ※
(7777)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

測定5以外下表による

	測定3	測定1,4,7,9	測定2,6,8,10
7777の直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	※1	※5	※5
試料の吸引時間(min)	※5	※120	※240

4 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)

除去対象範囲 ※図示
除去の方法 ※[9.1.3]による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分 ※埋立処分(管理型最終処分場) ※中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

5 石綿含有保温材等の除去(レベル2)

除去の方法 ※[9.1.4](2)～(5)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合)
除去対象範囲 ※図示
・ [9.1.3]による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合)
除去対象範囲 ※図示
除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化
除去した石綿含有保温材等の処分 ※埋立処分(管理型最終処分場) ※中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

6 石綿含有成形板等の除去(レベル3)

除去対象範囲 ※図示
除去した石綿含有成形板の処分
・ 石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場)
・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ※埋立処分(安定型最終処分場) ※中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

7 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)

除去対象範囲 ※図示
施工前の試験施工を行う・行わない
除去方法 ()
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ※埋立処分(管理型最終処分場) ※中間処理(溶融施設または無害化処理施設)

8 リフラクトリーセラミックファイバーの処理

9 その他

10 7777含有の部位

除去処理対象物
除去対象範囲 ※図示
除去方法 ※埋立処分(安定型最終処分場)
処分

○近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。

○分別除去

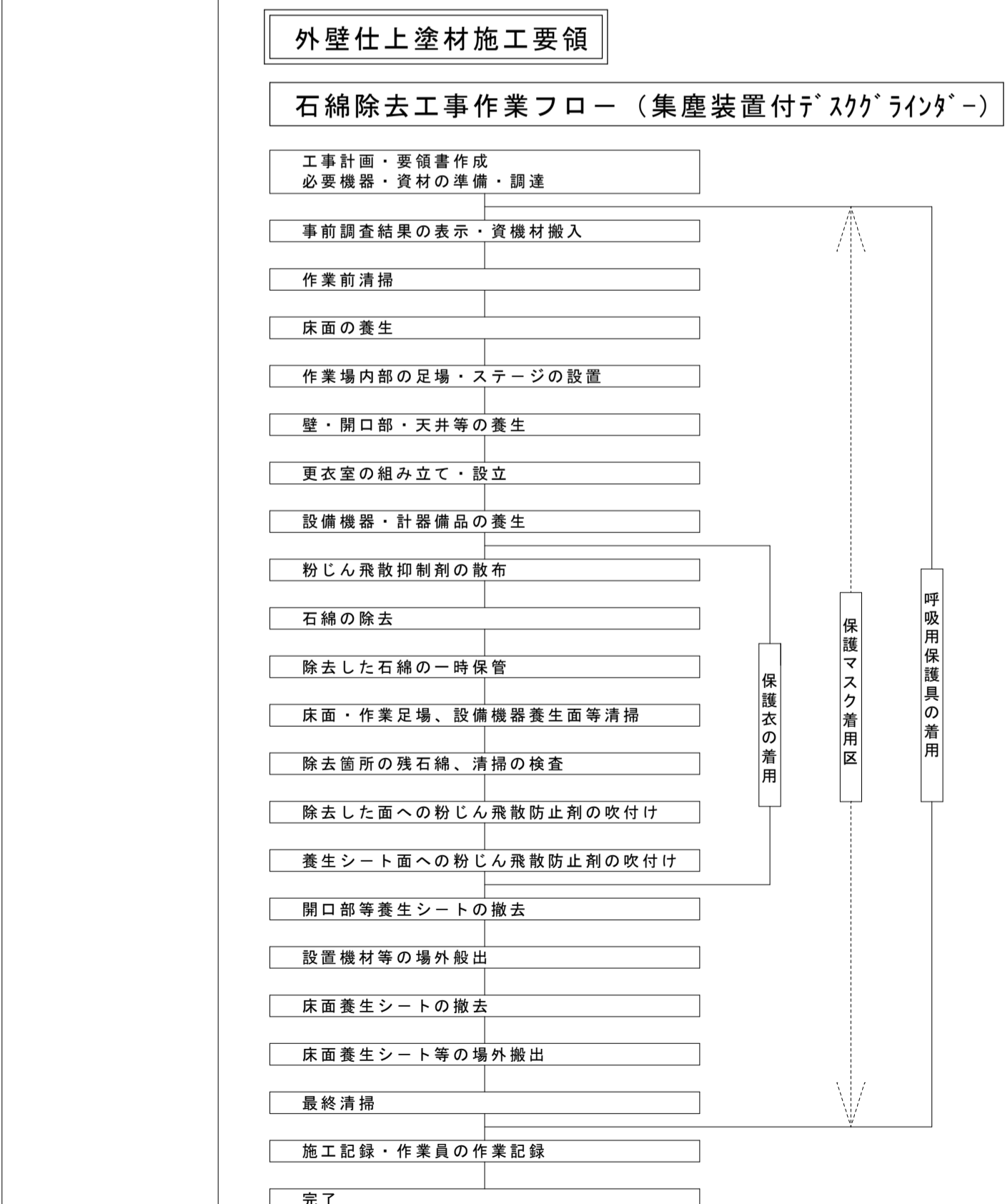
7777含有リスト

種別	部位	種類	7777含有種類
外部	外壁	R C面 複層仕上塗材E 塗材・下塗材	7777含有 下地調整材含有
	屋根	7777防水層	7777含有
	屋根	7777防水層	7777含有
	軒裏	7777防水層	7777含有
	天井	7777防水層	7777含有
内部	床	7777下地長尺塩ビシート	7777含有
	巾木	7777巾木	7777含有
	壁	石膏ボード+壁紙(表層)	7777含有
	壁	7777石膏ボード	7777含有
	天井	7777石膏ボード	7777含有
外部	外壁	R C面 複層仕上塗材E 塗材・下塗材	7777含有 下地調整材含有
	屋根	7777防水層	7777含有
	軒裏	7777防水層	7777含有
	巾木	7777巾木	7777含有
	壁	7777石膏ボード	7777含有
内部	天井	7777石膏ボード	7777含有
	天井	7777石膏ボード	7777含有
	外壁	R C面 複層仕上塗材E 塗材・下塗材	7777含有 下地調整材含有
	壁	R C面 複層仕上塗材E 塗材・下塗材	7777含有
	配管	パッキン	7777含有
外部	屋根	7777防水層	7777含有
	外壁	R C面 7777系吹付け塗材	7777含有 下地調整材含有
	天井	7777石膏ボード	7777含有
	保温材	エルボ部分	7777含有
	パッキン	7777含有	7777含有

＊ 外壁-ALC部分の吹付けは7777含有無し

○分別除去数量表

種別	管理棟	ロッカールーム	機械倉庫	軽食売店	屋外便所	シャワー小屋	
外壁吹付	624.0	742.0	364.0	179.0	106.0		2,015.0
7777防水	253.0	615.0	174.0	75.0	56.0	7.4	1,180.4
計	877.0	1,357.0	538.0	254.0	162.0	7.4	3,195.4



7 特殊な建設副産物の処理

1 施工調査

分析調査を行う特殊な建設副産物の種類

分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備考
部位	図示	
箇所数	箇所	
部位	図示	
箇所数	箇所	
部位	図示	
箇所数	箇所	

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	備考
フロコン(冷媒)	
・ 建材用断熱材フロコン	
・ ハロン	
・ イオン化硫黄(SF6)ガス	
・ P F O S (ペルフルオロポリイソブレン)	
・ 特定化学物質()	
・ その他特殊な建設副産物()	

回収又は処分
・ 機械設備図による

2 回収及び処分

1 周辺建築物等調査

(調査)
1 調査は一般的事項調査、事前調査及び事後調査に区分して行うものとする。

(一般的事項調査)
1 事前調査の実施に当たっては、調査区域内に存する建物等につき、建物の所有者ごとに次の各号の調査を行うものとする。
一 建物の敷地ごとに建物等(主たる工作物)の敷地内位置関係
二 建物ごとに実測による開取平面及び立面
三 建物の所在及び地番並びに所有者の氏名及び住所
現地調査において所有者の氏名及び住所が確認できないときは、必要に応じて登記簿謄本等の閲覧等の方法により調査を行う。
四 その他調査書の作成に必要な事項

(事前調査)
1 受注者は、一般的事項調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。
一 基礎
二 柱
三 開口部
四 床
五 天井
六 内壁
七 外壁
八 屋根
九 水回り
十 外構

2 建物の全体又は一部に傾斜又は沈下が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 傾斜又は沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物の四方向を水準測量又は傾斜計等で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物性を定めて併せて計測を行う。
二 コンクリート布基礎に亀裂が生じているときは、建物の外周について、発生箇所及び状況(最大幅、長さ)を計測する。
三 基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況(大きさ)を計測する。
四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。
3 柱脚(柱及び敷居)に傾斜が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 原則として、当該建物の工事箇所にも最も接近する壁面の両端の柱及び建物中央部の柱を全体で3箇所程度計測する。
二 柱の傾斜の計測位置は、直交する二方向の床(敷居)から1メートルの高さの点とする。
三 敷居の傾斜の計測位置は、柱から1メートル離れた点とする。
四 計測の単位は、ミリメートルとする。
4 開口部(建具等)に建付不良が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき1箇所程度とし、全体で5箇所程度計測する。
二 測定箇所は、柱又は窓枠を建具との隙間との最大値の点とする。
三 建具の開閉が滑らかなに行えないもの、又は開閉不能及び旋回不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。
四 計測の単位はミリメートルとする。
5 床に傾斜等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 えん甲板張り等の居室(敷居の居室を除く。)について、気泡水準器で直交する二方向の傾斜を計測する。
二 床仕上げ材に亀裂及び縁切れ又は剥離、破損が生じているときは、それらの箇所及び状況(最大幅、長さ又は大きさ)を計測する。
三 床又は大引、根太等床材に組みが生じているときは、その程度を調査する。
四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さ及び大きさについてはセンチメートルとする。
6 天井に亀裂、縁切れ、雨漏等のシミが発生しているときの調査は、内壁の調査に準じて行うものとする。
7 内壁にちり切れ(柱及び内材材と壁との分離)が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 居室ごとに発生箇所数の調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき1箇所、全体で6箇所程度計測する。
二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとする。
8 内壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 原則として、すべて亀裂の計測をする。
二 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。
三 亀裂が一壁面に多数発生している場合にはその状態をスケッチするとともに、壁面に雨漏等のシミが生じているときは、その形状、大きさの調査をする。
9 外壁に亀裂が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方の最大の亀裂から2箇所程度を計測する。
二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。
10 屋根(庇、雨樋を含む。)に亀裂又は損傷などが発生しているときは、当該建物の屋根伏図を作成し、次の調査を行うものとする。
一 仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。
二 計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂の幅についてはミリメートルとする。
11 水廻り(浴槽、台所、洗面所等)に亀裂、破損、漏水等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。
一 浴槽、台所、洗面所等の床、腰、壁面のタイル張りに亀裂、剥離、目地切れ等が生じているときは、すべての損傷を第8項に準じて行う。
二 給水、排水などの配管に亀裂、漏水等が生じているときは、その状況を調査する。
12 外構(テラス、コンクリート叩、ベランダ、犬走り、池、浄化槽、門柱、塀、擁壁等の屋外工作物)に損傷が発生しているときは、前11項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。この場合において、必要に応じ、当該工作物の平面図、立面図等を作成し、損傷箇所、状況等を記載する。

8 周辺建築物等調査

1 解体工事全般

○基礎解体にあたっては、解体後の新築等改工の支持地盤を荒らさないよう慎重に施工すること。
○大型レッカーを使用する場合は、必要な地耐力が得られるよう必要な養生を行うこと。
○工事に伴って破損した存置構築物、境界標等は必ず現状復旧すること。＊現況写真撮影

2 コンクリート破砕工事

※解体で発生したコンクリート類は全て移動式破砕機を用いて現場破砕すること。
破砕する再生砕石はRC4とし、検査機関において材料検査を行い品質を確認すること。
破砕した再生砕石は敷地上段から敷きならすこと。

(写真撮影)
1 事前調査に掲げる建物等の各部位の調査に当たっては、計測箇所を次の方法により写真撮影を行うものとする。この場合において、写真撮影が困難な箇所又はスケッチによることが適当と認められる箇所については、スケッチによることができるものとする。
撮影対象箇所を指示棒等により指示し、次の事項を明示した黒板等と同時に撮影する。
(1) 調査番号、建物番号及び建物所有者の氏名
(2) 損傷名及び損傷の程度(計測)
(3) 撮影年月日、撮影番号及び撮影対象箇所

(事後調査)
1 受注者は、事前調査を行った建物等について、損傷箇所等の変化及び工事によって新たに発生した損傷の状態及び程度の調査を行うものとする。
2 事前調査の調査対象外であって、事後調査の対象となったものについては、一般的事項調査を行ったうえで損傷箇所の調査を行うものとする。

調査書の作成
受注者は、次の各号の事前調査書及び図面の作成を行うものとする。

(事前調査書及び図面)
一 調査区域位置図
二 調査区域平面図
三 建物等調査一覧表
四 建物等調査書(平面図・立面図等)
五 損傷調査書
六 写真集

(事前調査書及び図面の作成)
一 調査区域位置図は、工事の工区単位ごとに作成するものとし、調査区域と工事箇所を併せて表示する。この場合の縮尺は、5,000分の1又は10,000分の1程度とする。
二 調査区域平面図は、調査区域内の建物の配置を示す平面図で工事の工区単位又は調査単位ごとに次により作成する。
(1) 調査を実施した建物については、建物等調査一覧表で付した調査番号及び建物番号を記載し、建物の構造別に色分けし、建物の外枠(外壁)を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。
(2) 縮尺は、500分の1又は、1,000分の1程度とする。
三 建物等調査一覧表は、工事の工区単位又は調査単位ごとに調査を実施した建物等について調査番号、建物番号(同一所有者が2棟以上の建物等を所有している場合)の順に建物等の所在及び番地、所有者並びに建物等の概要等必要な事項を記入する。
四 建物等調査書(平面図・立面図等)は、一般的事項調査及び事前調査の結果を基に建物等ごとに次により作成するものとする。
(1) 建物平面図は、縮尺100分の1で作成し、写真撮影を行った位置を表示するとともに建物延べ面積、各階別面積及びこれらの計算式を記入する。
(2) 建物立面図は、縮尺100分の1により、原則として、四面(東西南北)を作成し、外壁の亀裂等の損傷位置を記入する。
(3) その他調査書(基礎状況、屋根状況及び展開図)は、発生している損傷を表示する必要がある場合に作成し、縮尺100分の1又は10分の1程度とする。この場合において写真撮影が困難であり、又は詳細(スケッチ)図を作成することが適当であると認められるものについては、スケッチによる調査図を作成すること。
(4) 工作物の調査書は、損傷の状況及び程度により建物に準じて作成する。
五 損傷調査書は一般的事項調査及び事前調査の結果に基づき、建物ごとに建物等の所有者名、建物の概要、名称(堂名)、損傷の状況等を記載して作成し、損傷の状況については、事前調査欄に損傷名(亀裂、沈下、傾斜等)及び程度(幅、長さ及び箇所数)を記載する。
六 写真は、撮影したものをカラーレーザー判で印刷し、撮影箇所及び状況の記載を行ったうえでファイルする。

(事後調査書等の作成)
1 受注者は、事前調査書及び図面に基に建物等の概要、損傷箇所の変化及び工事によって新たに発生した損傷について、事前調査に準じて調査書及び図面の作成を行うものとする。

対象エリア及び建物リスト等 ※図示による()

※共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う
※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。

9 その他

1 解体工事全般

○基礎解体にあたっては、解体後の新築等改工の支持地盤を荒らさないよう慎重に施工すること。
○大型レッカーを使用する場合は、必要な地耐力が得られるよう必要な養生を行うこと。
○工事に伴って破損した存置構築物、境界標等は必ず現状復旧すること。＊現況写真撮影

2 コンクリート破砕工事

※解体で発生したコンクリート類は全て移動式破砕機を用いて現場破砕すること。
破砕する再生砕石はRC4とし、検査機関において材料検査を行い品質を確認すること。
破砕した再生砕石は敷地上段から敷きならすこと。

整理番号 R 5年富士見市

株式会社 柳井設計 一級建築士事務所

TEL 049-264-8320(代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanasei@iichi.jp

一級建築士 柳井 博

登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 照査 設計 製図

柳井

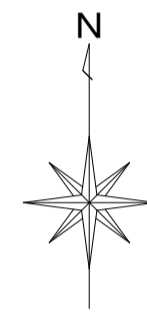
課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名 特記仕様書(解体その2)

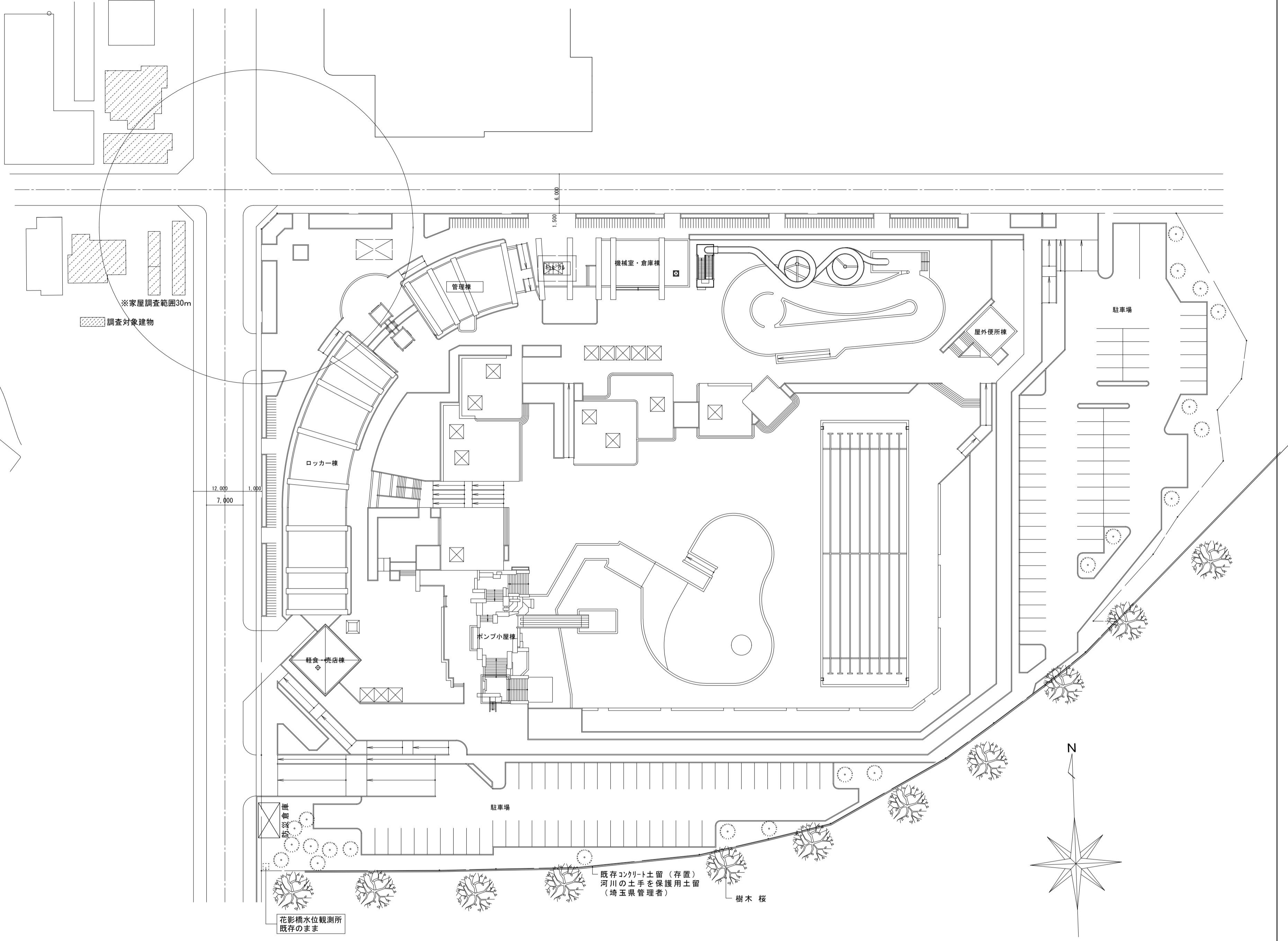
S-1:- (A-1)
S-1:- (A-3)

K 04



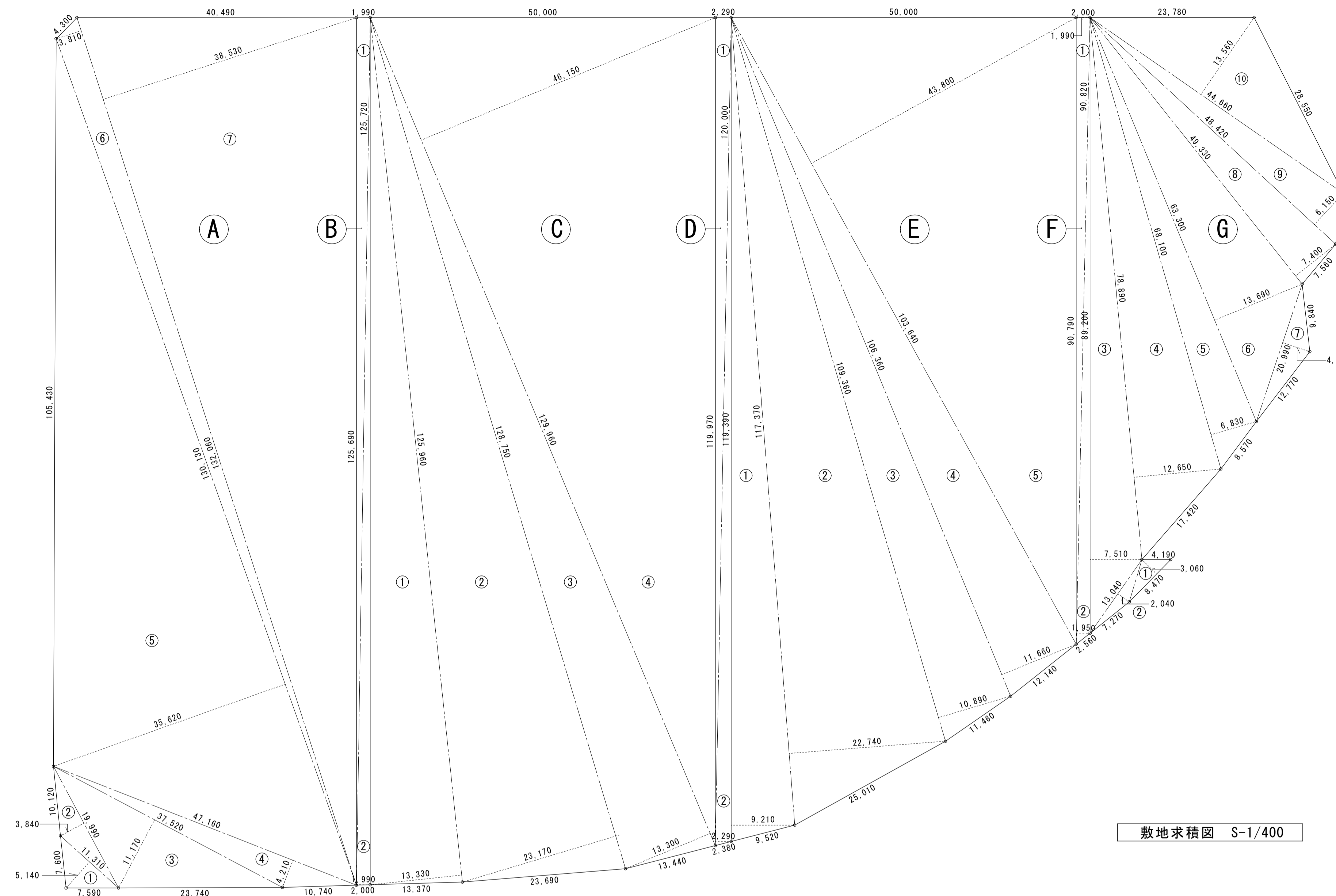
工事場所：富士見市大字勝瀬 地内
【市立富士見ガーデンビーチ】

案内図 S=1: -



配置図 S=1:500

図面表示		
記号	工事区分	棟別区分
I	建築工事	管理棟 RC造切符売場 S造 改札 S造 ロッカー棟 RC造 機械室・倉庫棟 RC造 軽食売店棟 屋外便所棟 RC造 ポンプ小屋棟 RC造 防災倉庫
II	電気設備工事	
III	機械設備工事	
IV	工作物	各プール
V	外構工事	駐車場、床板、植栽擁壁、植栽等
VI	内訳 発生材	
VII	内訳 アスベスト	



敷地求積図 S-1/400

敷地面積

敷地面積表			
A			
番号	底辺	高さ	面積
①	11.310	5.140	58.1334
②	19.990	3.840	76.7616
③	37.520	11.170	419.0984
④	47.160	4.210	198.5436
⑤	130.130	35.620	4,635.2306
⑥	132.060	3.810	503.1486
⑦	132.060	38.530	5,088.2718
計			10,979.1880
1/2			5,489.5940
A 面積			5,489.59㎡

敷地面積表			
B			
番号	底辺	高さ	面積
①	125.720	1.990	250.1828
②	125.720	1.990	250.1828
計			500.3656
1/2			250.1828
B 面積			250.18㎡

敷地面積表			
C			
番号	底辺	高さ	面積
①	125.960	13.330	1,679.0468
②	128.750	23.170	2,983.1375
③	129.960	13.300	1,728.4680
④	129.960	46.150	5,997.6540
計			12,388.3063
1/2			6,194.1531
C 面積			6,194.15㎡

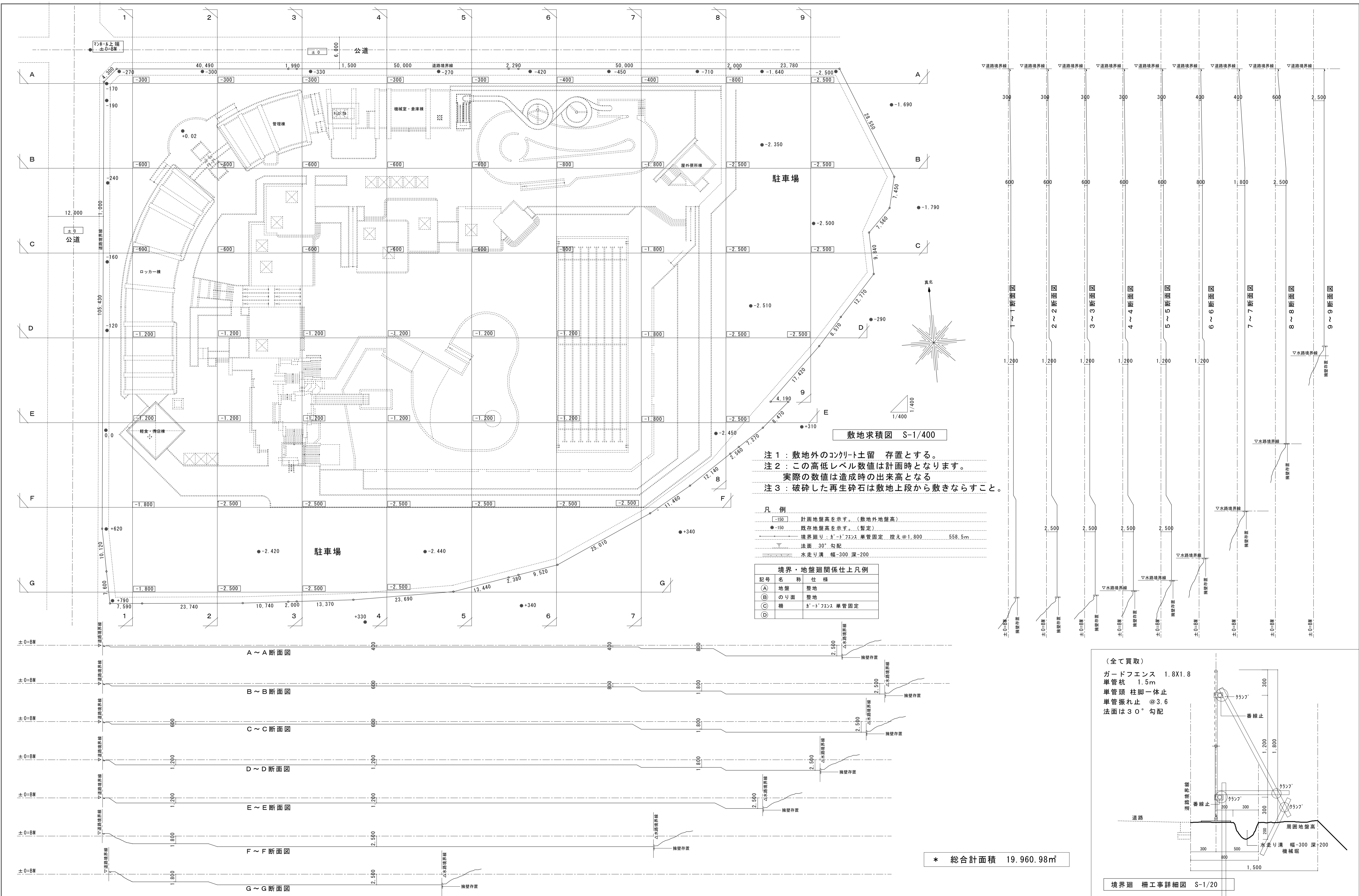
敷地面積表			
D			
番号	底辺	高さ	面積
①	120.000	2.250	274.8000
②	120.000	2.250	274.8000
計			549.6000
1/2			274.8000
D 面積			274.80㎡

敷地面積表			
E			
番号	底辺	高さ	面積
①	119.390	9.210	1,099.5819
②	117.370	22.740	2,668.9938
③	109.360	10.890	1,190.9304
④	109.360	11.660	1,240.1576
⑤	103.640	43.800	4,539.4320
計			10,739.0957
1/2			5,369.5478
E 面積			5,369.54㎡

敷地面積表			
F			
番号	底辺	高さ	面積
①	90.820	1.990	180.7318
②	90.820	1.950	177.0990
計			357.8308
1/2			178.9154
F 面積			178.91㎡

敷地面積表			
G			
番号	底辺	高さ	面積
①	8.470	3.060	25.9182
②	13.040	2.040	26.6016
③	89.200	7.510	669.8920
④	78.890	12.650	997.9585
⑤	68.100	6.830	465.1230
⑥	63.300	13.690	866.5770
⑦	20.990	4.150	87.1085
⑧	49.330	7.400	365.0420
⑨	48.420	6.150	297.7830
⑩	44.660	13.560	605.5896
計			4,407.5934
1/2			2,203.7967
G 面積			2,203.79㎡

* 総合計面積 19,960.98㎡



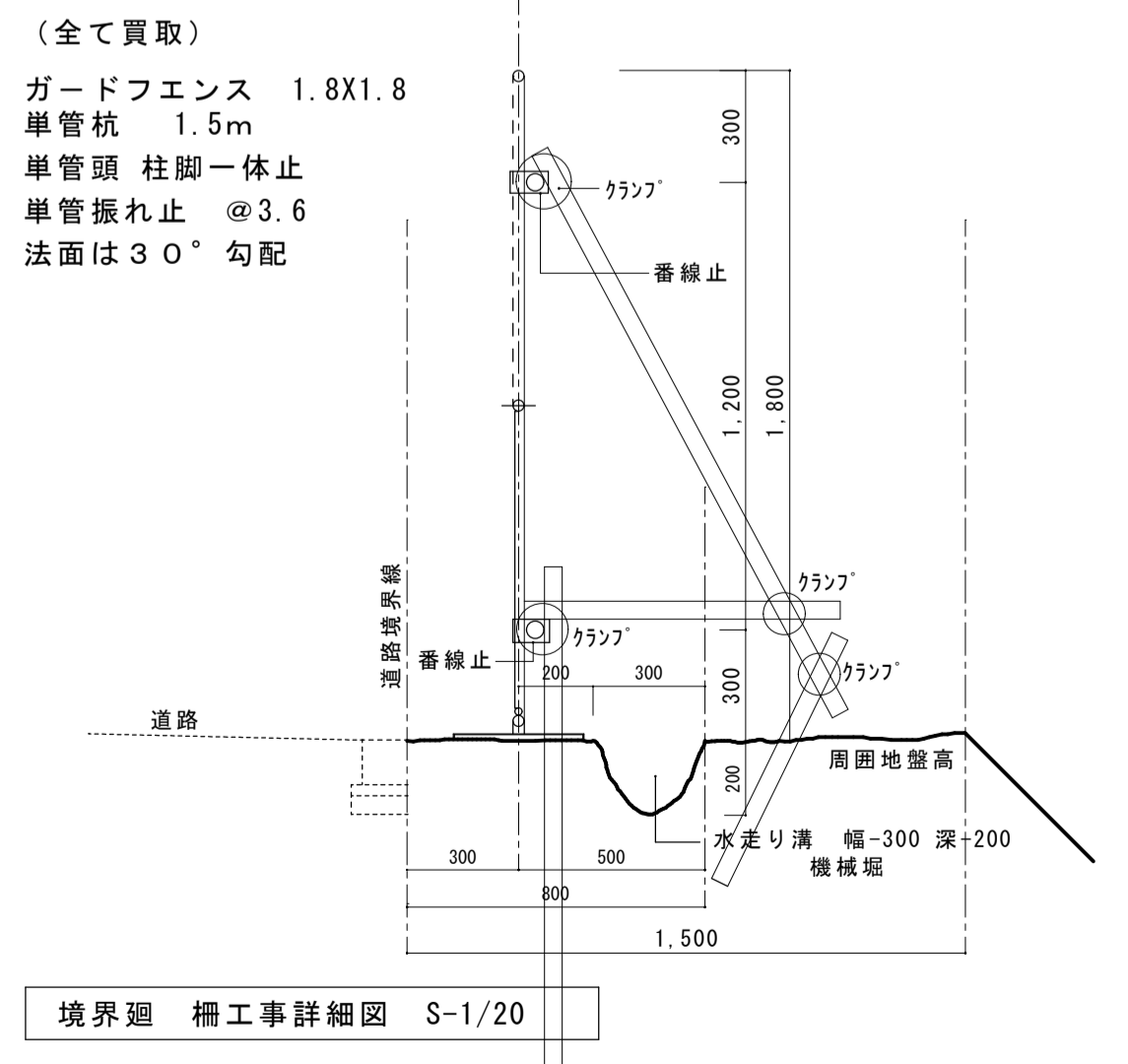
敷地求積図 S-1/400

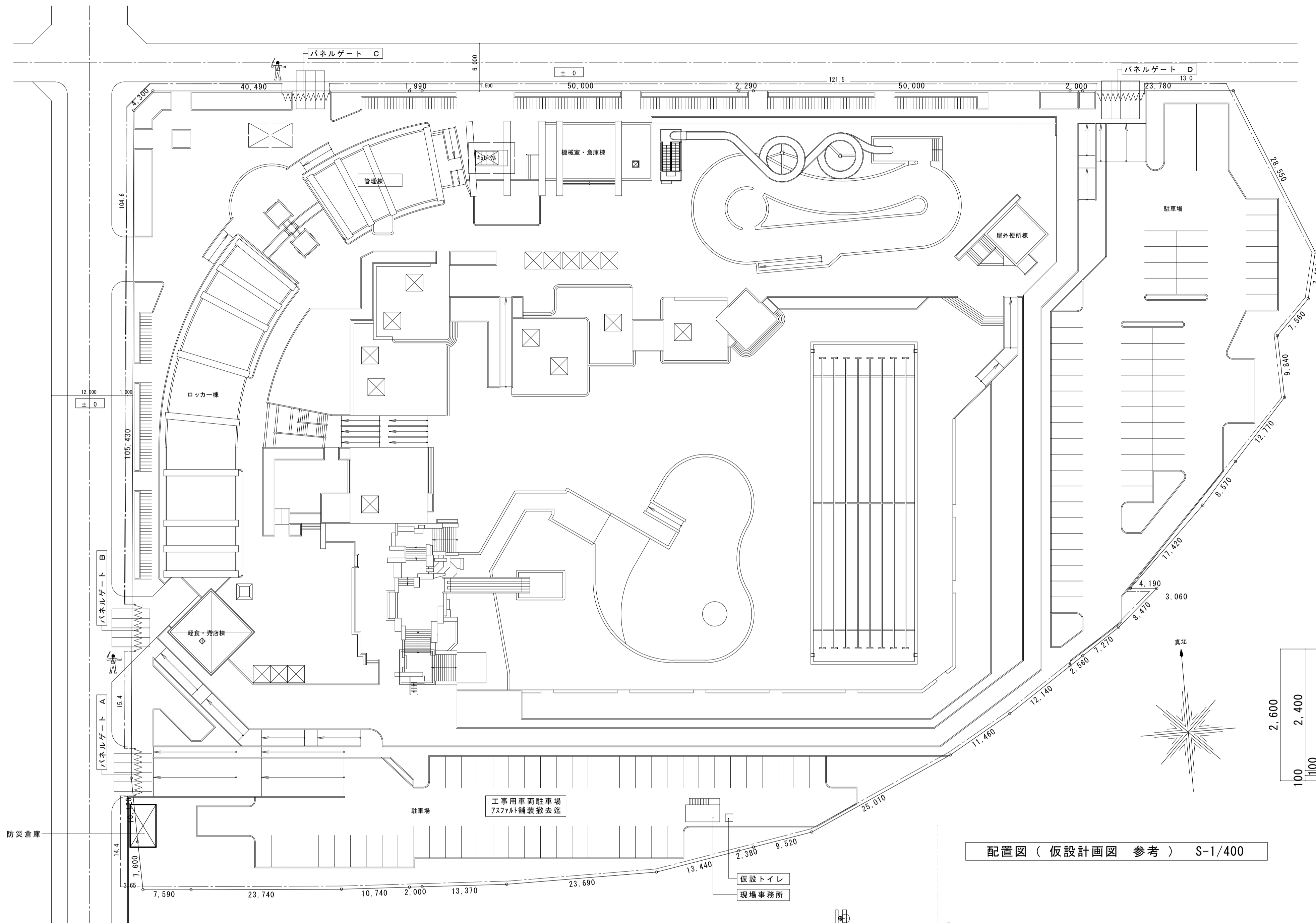
注1：敷地外のコンクリート土留 存置とする。
 注2：この高低レベル数値は計画時となります。
 実際の数値は造成時の出来高となる
 注3：破碎した再生砕石は敷地上段から敷きならすこと。

- 凡例
- 150 計画地盤高を示す。(敷地外地盤高)
 - 150 既存地盤高を示す。(暫定)
 - 境界線 1.8m x 1.8m 単管固定 控え@1.800 558.5m
 - 法面 30° 勾配
 - 水走り溝 幅:300 深:200

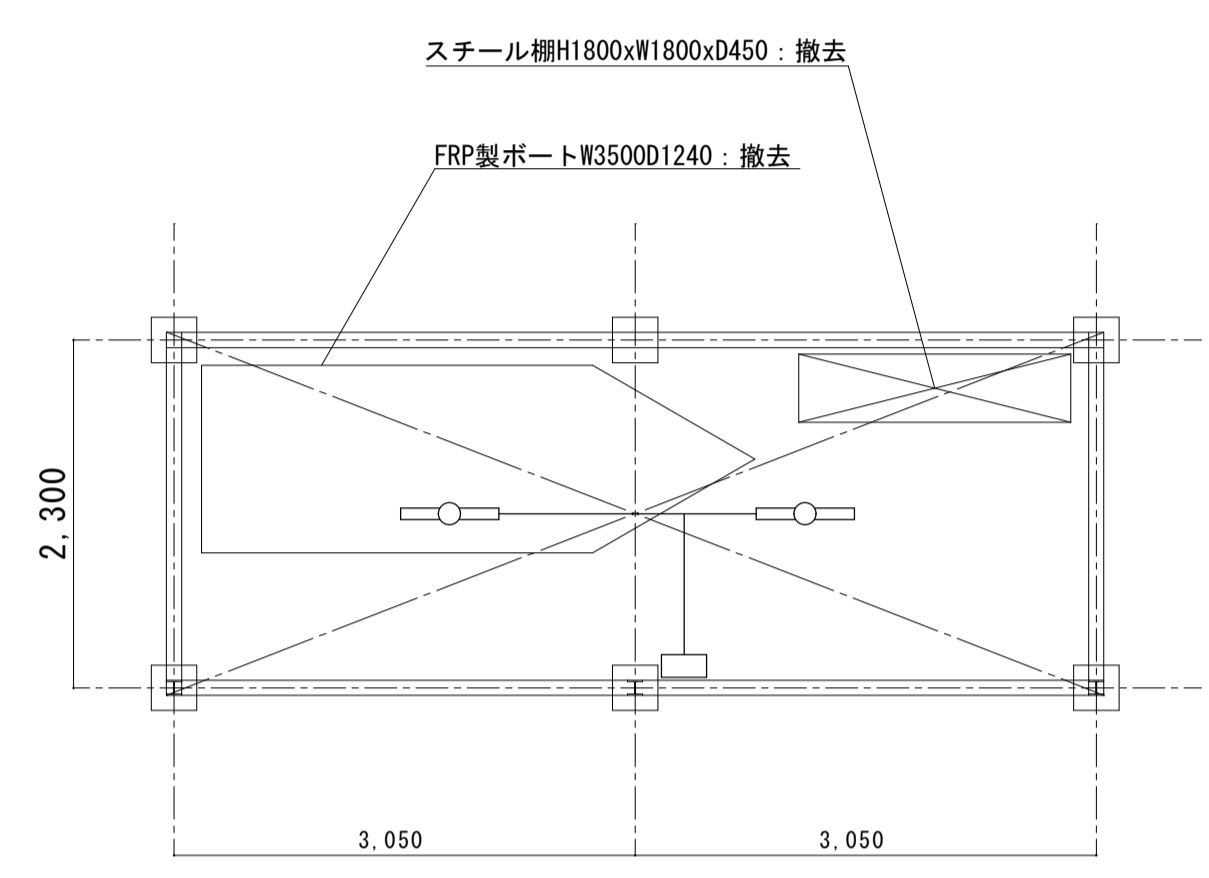
記号	名称	仕様
(A)	地盤	整地
(B)	のり面	整地
(C)	柵	ガードフェンス 単管固定
(D)		

* 総計面積 19,960.98㎡

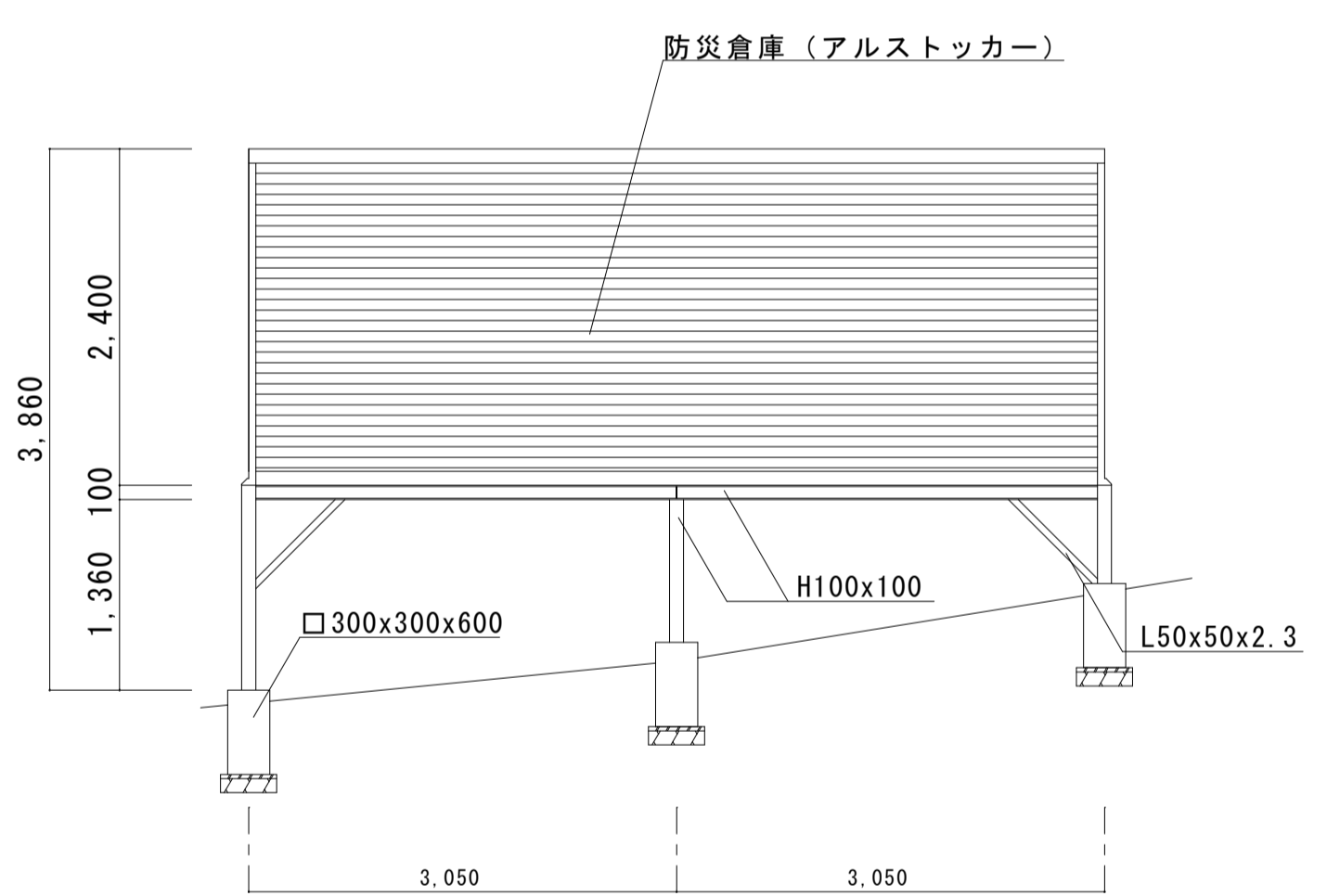




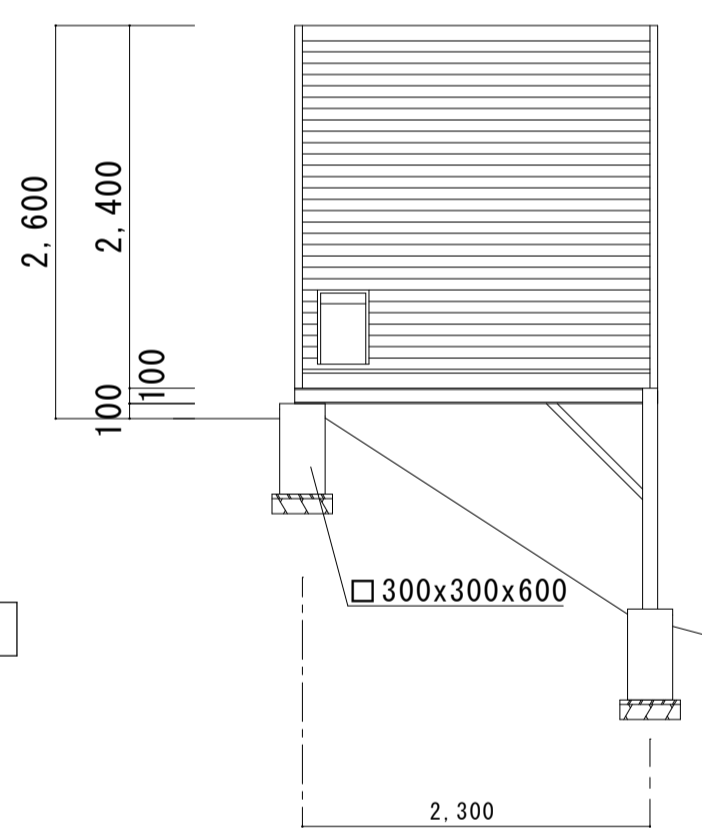
配置図 (仮設計画図 参考) S-1/400



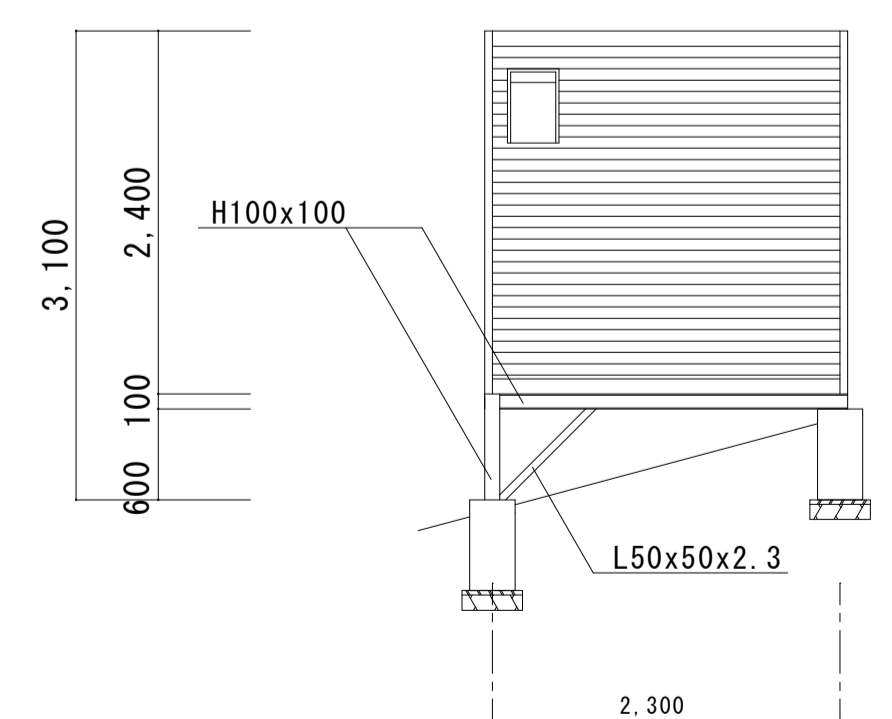
平面図 S=1/50



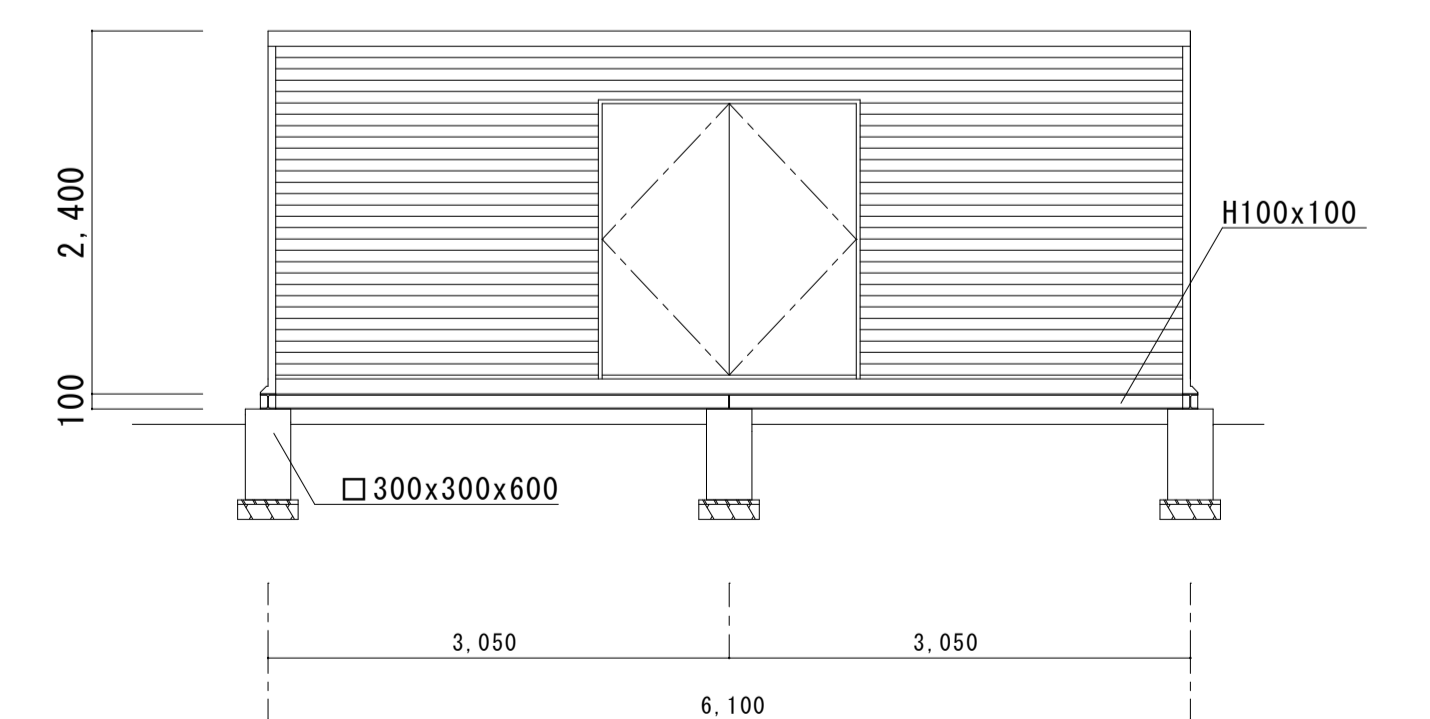
東側立面図 S=1/50



南側立面図 S=1/50

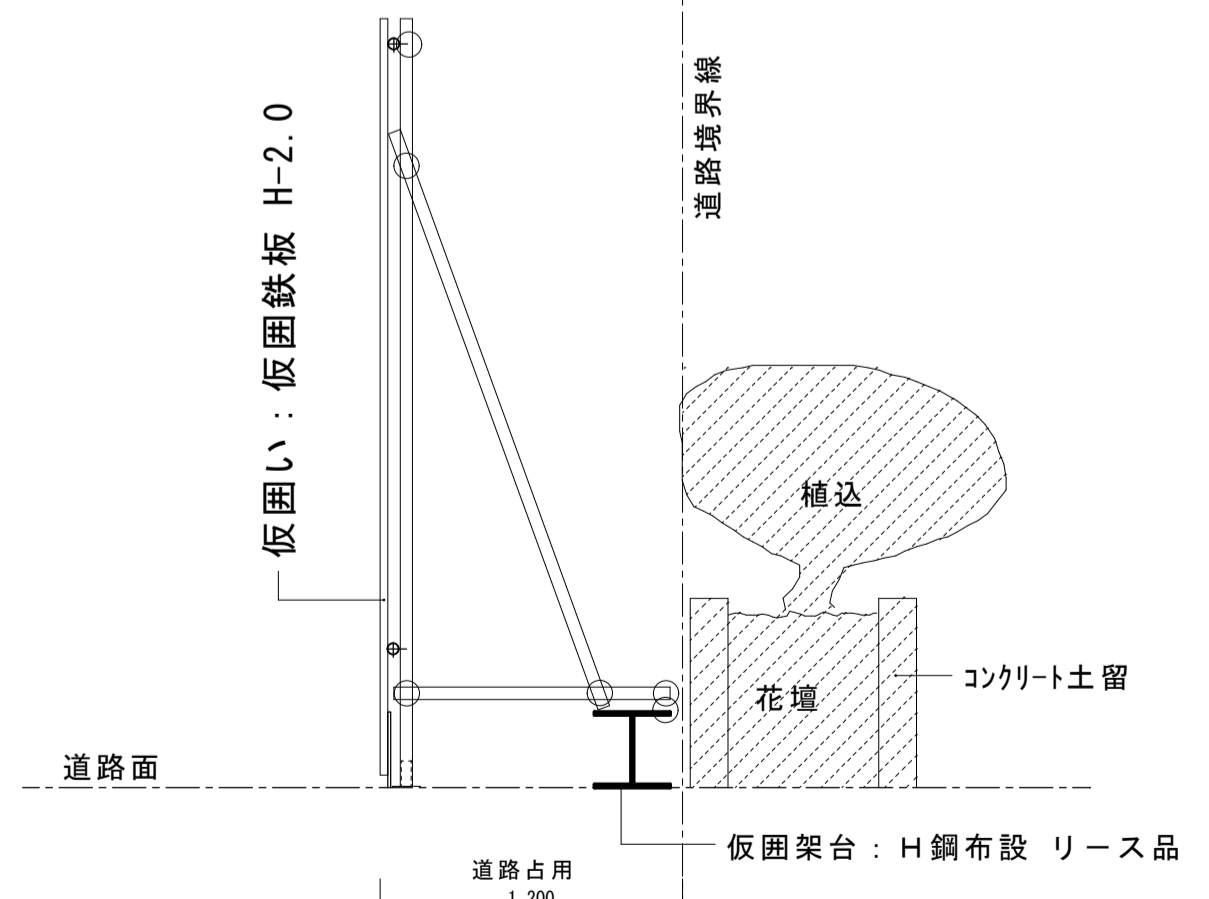


北側立面図 S=1/50



西側立面図 S=1/50

防災倉庫



仮設鉄板 H-3.000 S-1/30 (仮設鉄板: H鋼布設)

解体工事範囲

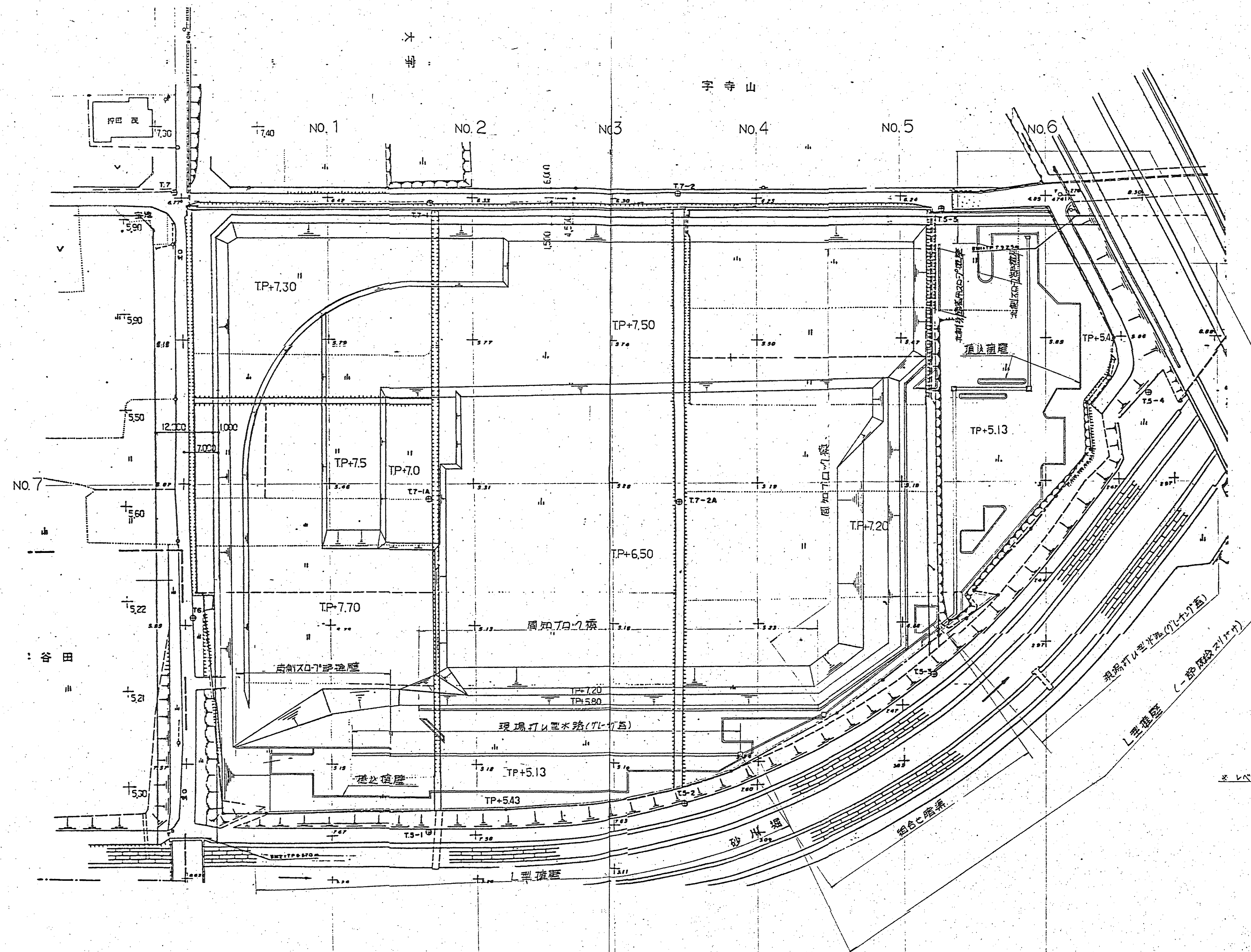
建築凡例

- 150 敷地高低差を示す。
- 既存建物・工作物 部分を示す。

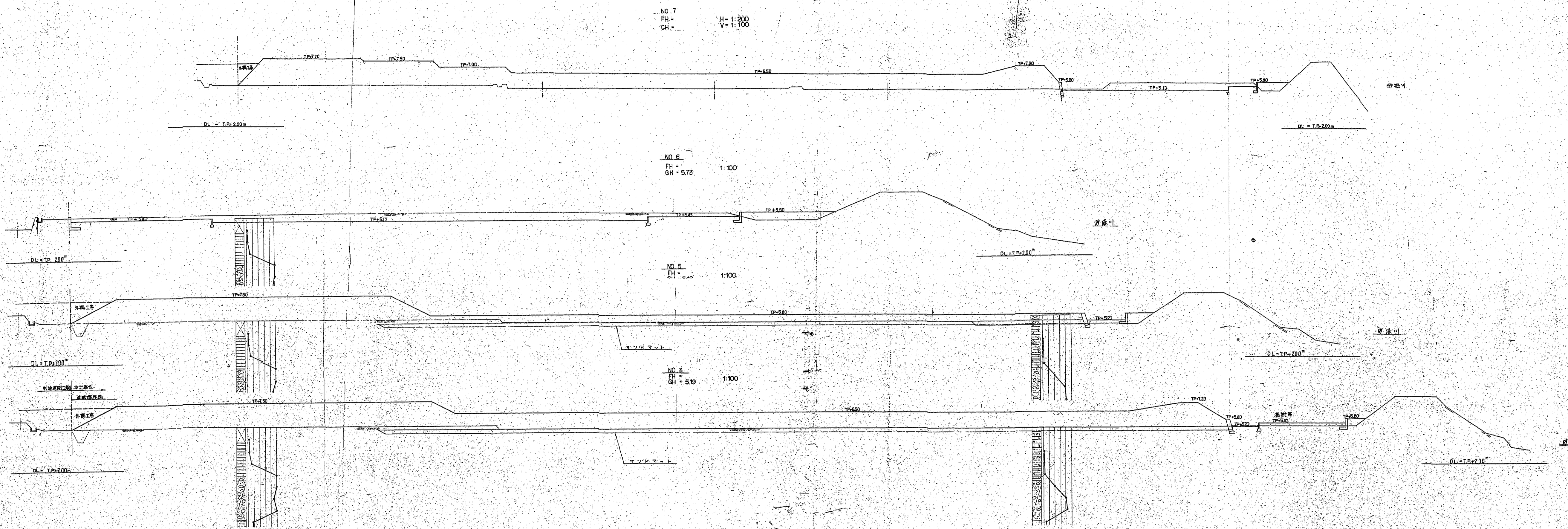
仮設計画凡例

- 現場事務所 (ユニットハウス 2階建)
- 工事用資材搬入路
- 工事用車両搬入路
- 工事用車両駐車場
- 仮囲い: ガードフェンス 西:北面=268.9m
- 仮囲い: 仮設鉄板 H-2.000 (仮設鉄板台: 山鋼材布設) 西:北面=268.9m
- 仮囲い: 仮設鉄板 H-2.000 東面:273.0m+柱:14.5m=287.5m
- 養生鋼板 1.524 X 6.096 X t-22 15枚
- パネルゲート W-7.200 X H-4.500 (鋼製複層板)
- 交通整理員

造成計画平面図 1/500



整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisetteki@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA 009
				変更年月日				柳井									

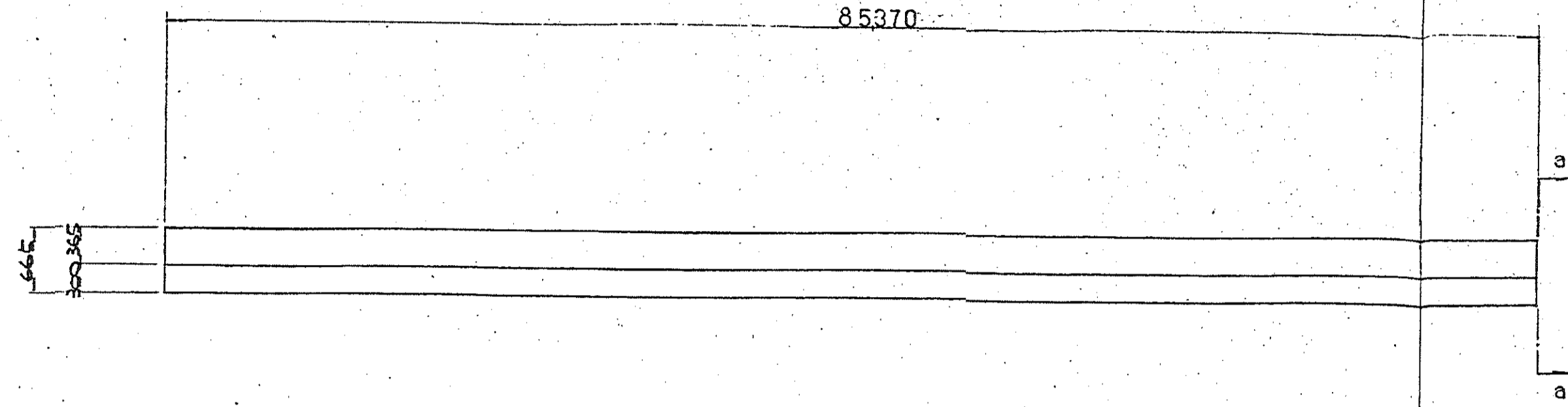


凡例

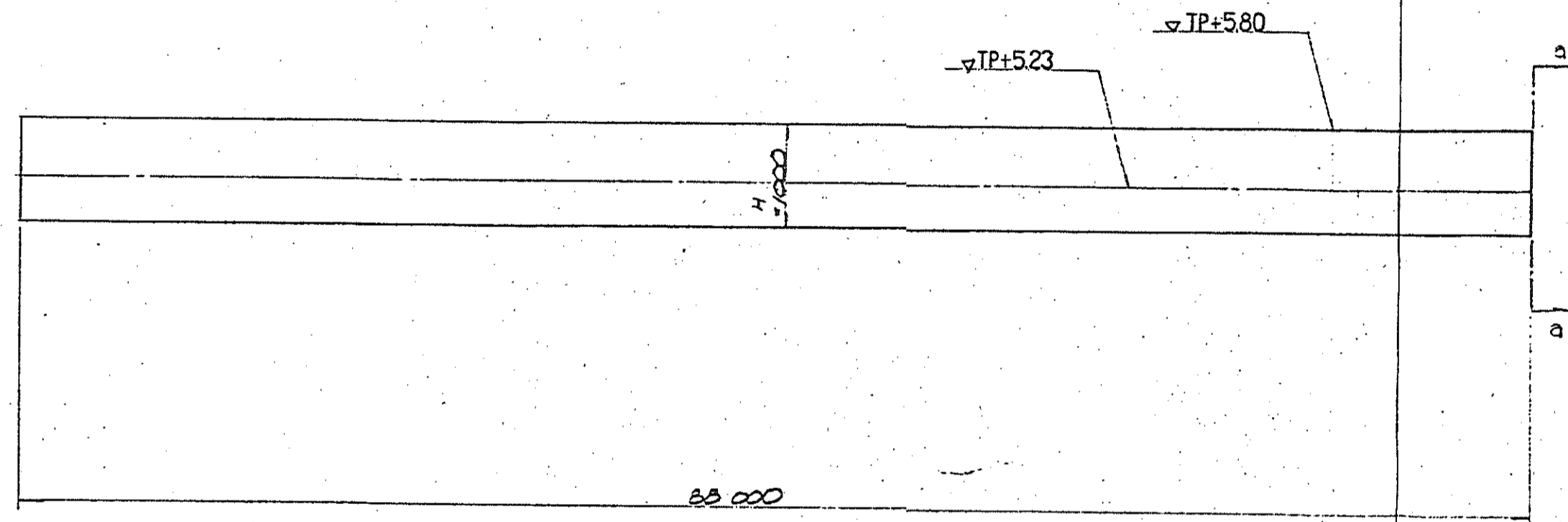
☒	土質名
☒	赤土
☒	黄層土
☒	粘土
☒	シルト
☒	粘土洗り砂礫

ブロック積擁壁(駐車場)一般図

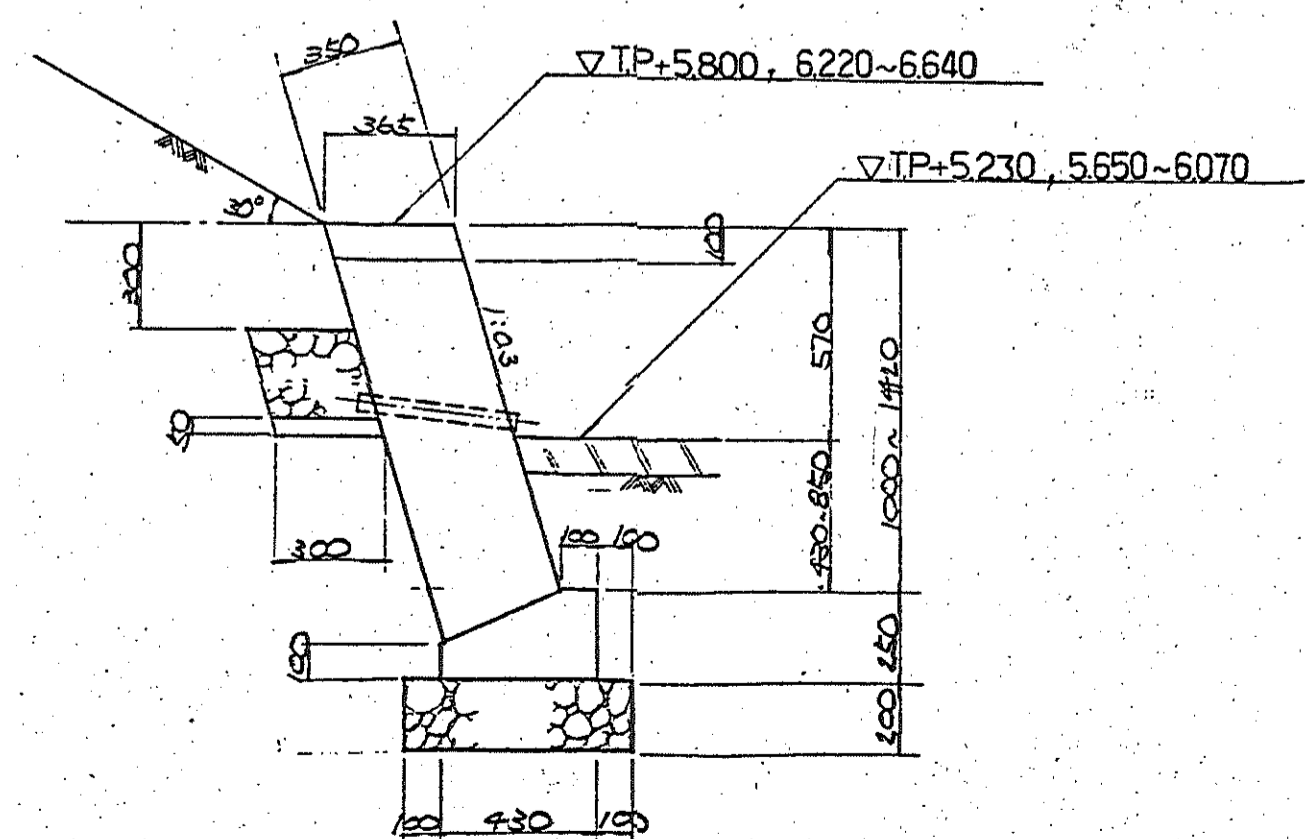
平面図 H=1:300
V=1:50



長隔図 H=1:300
V=1:50



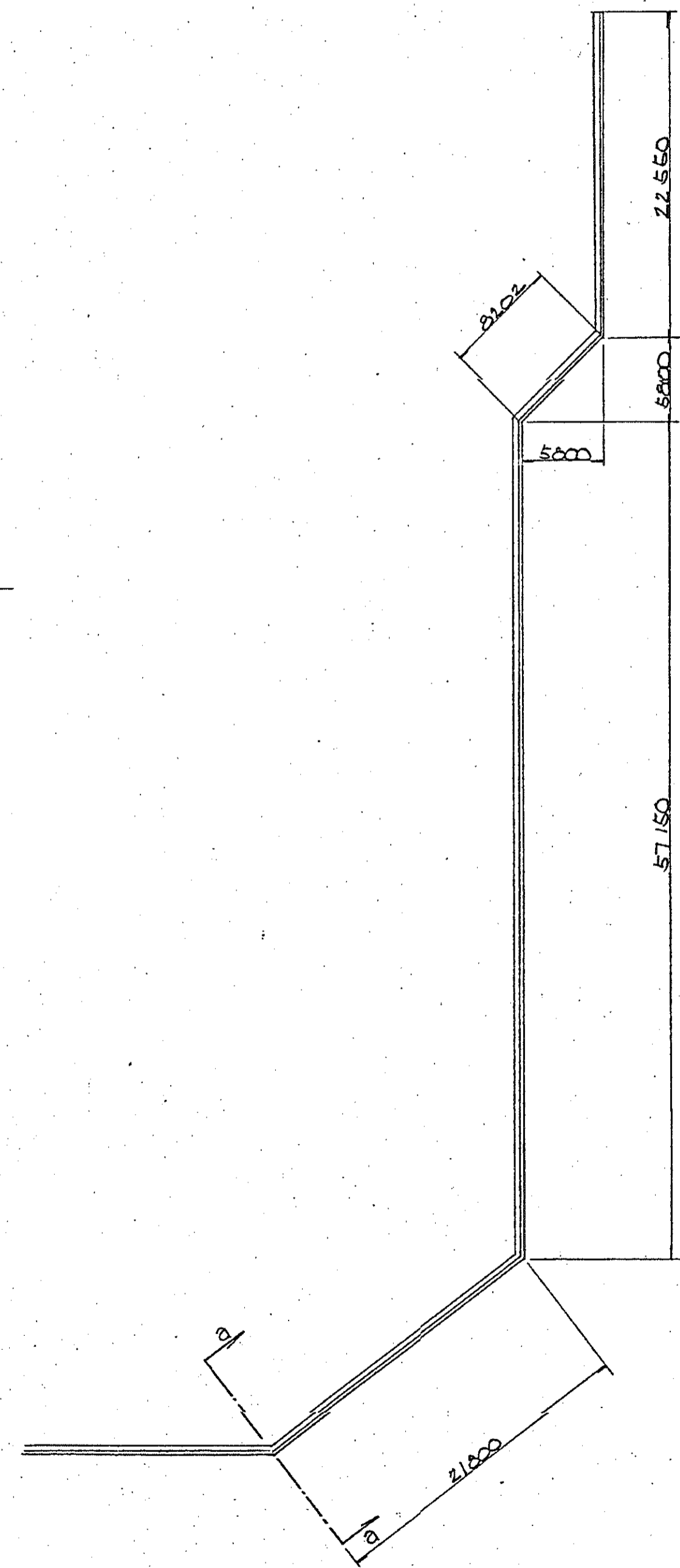
断面図 1:20



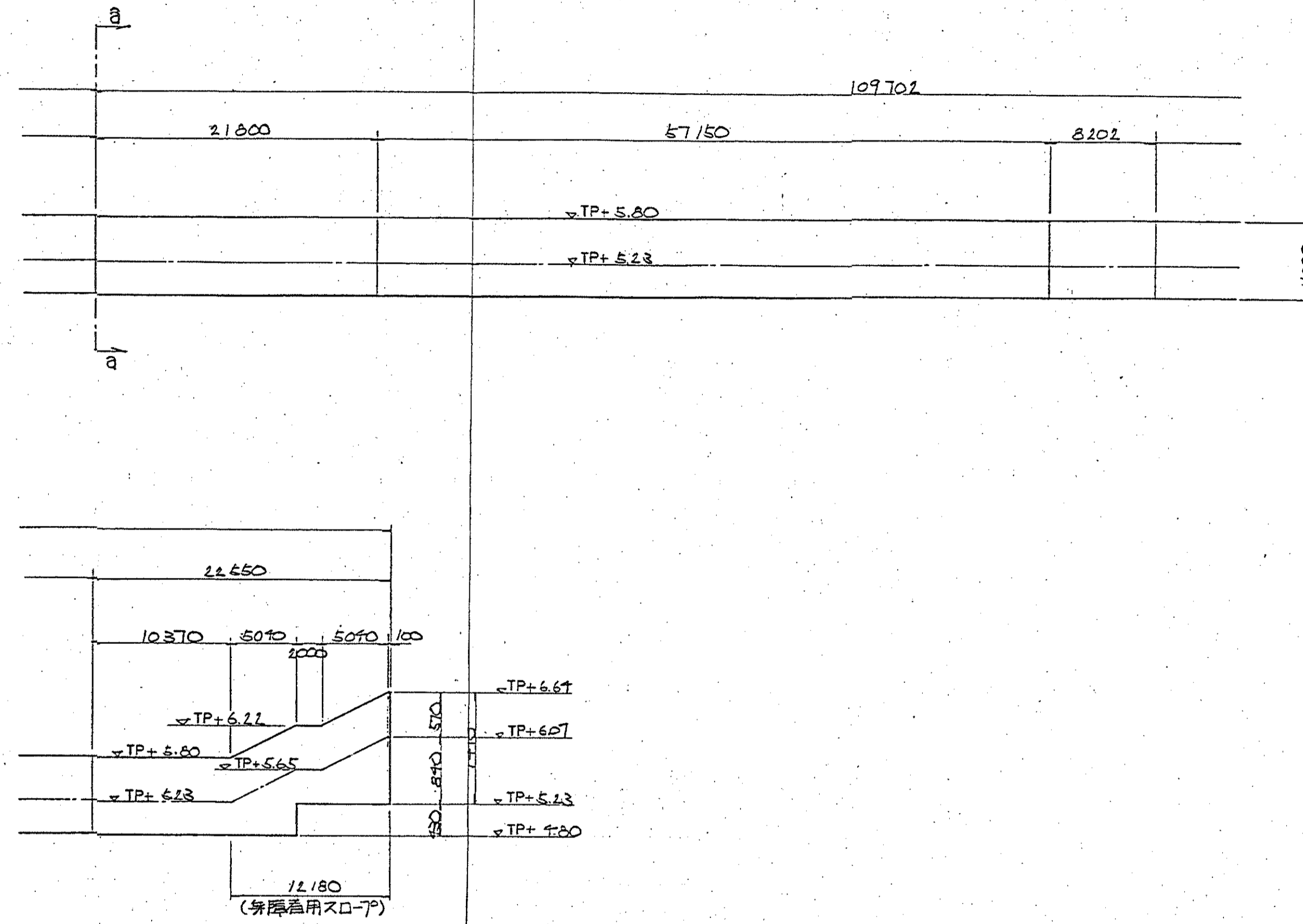
- 注)
- ・基礎コンクリート、天端コンクリート、胴込コンクリート
R/C止水コンクリートは、160-8-25とする。
 - ・基礎砕石は、C-40-Dとする。
 - ・表込築石は、40-150とする。
 - ・水抜パイプは、VPφ150とし、3㎡に1箇所とする。
 - ・間隔ブロックは、400×250×350とする。

ブロック擁壁一般図

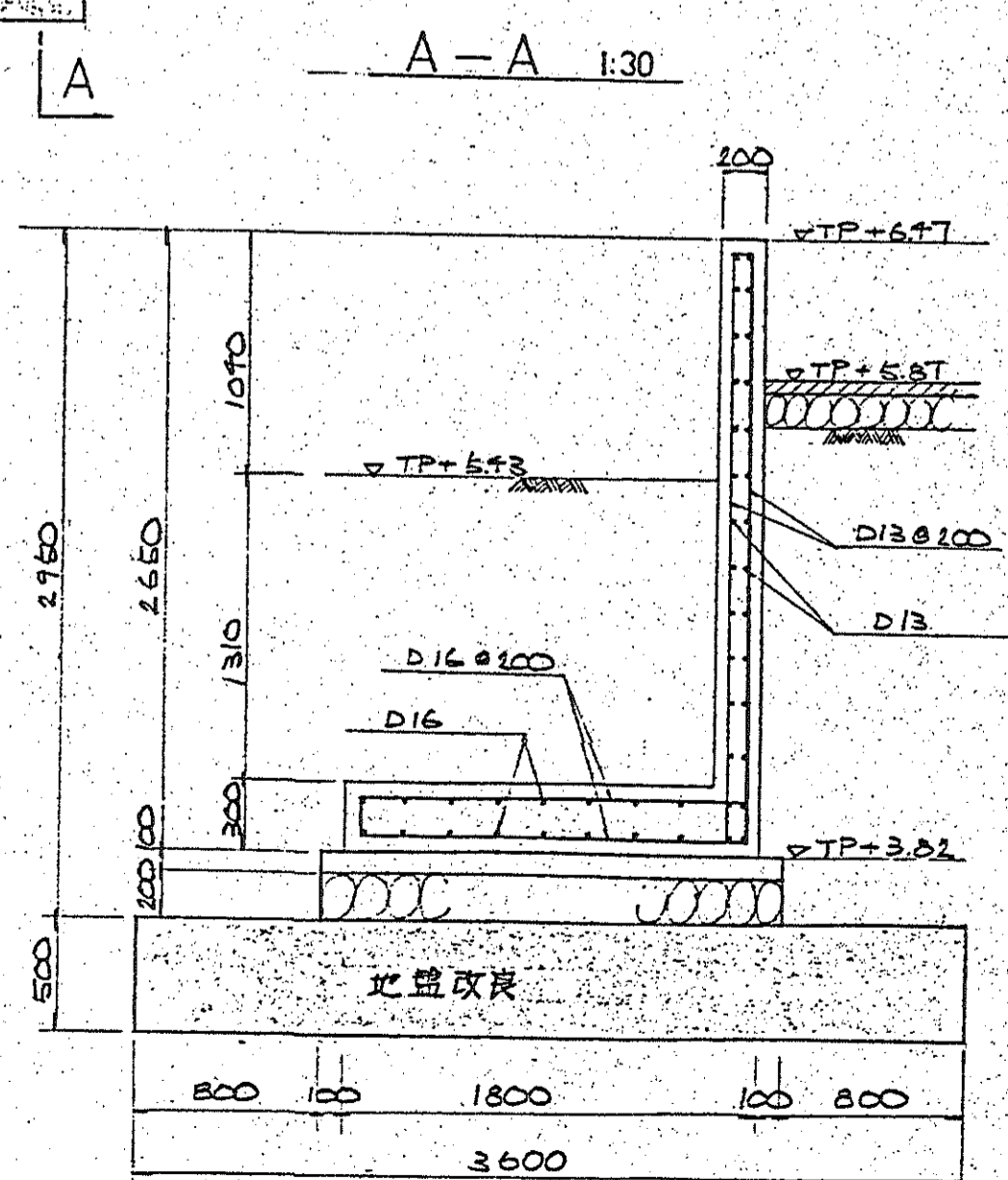
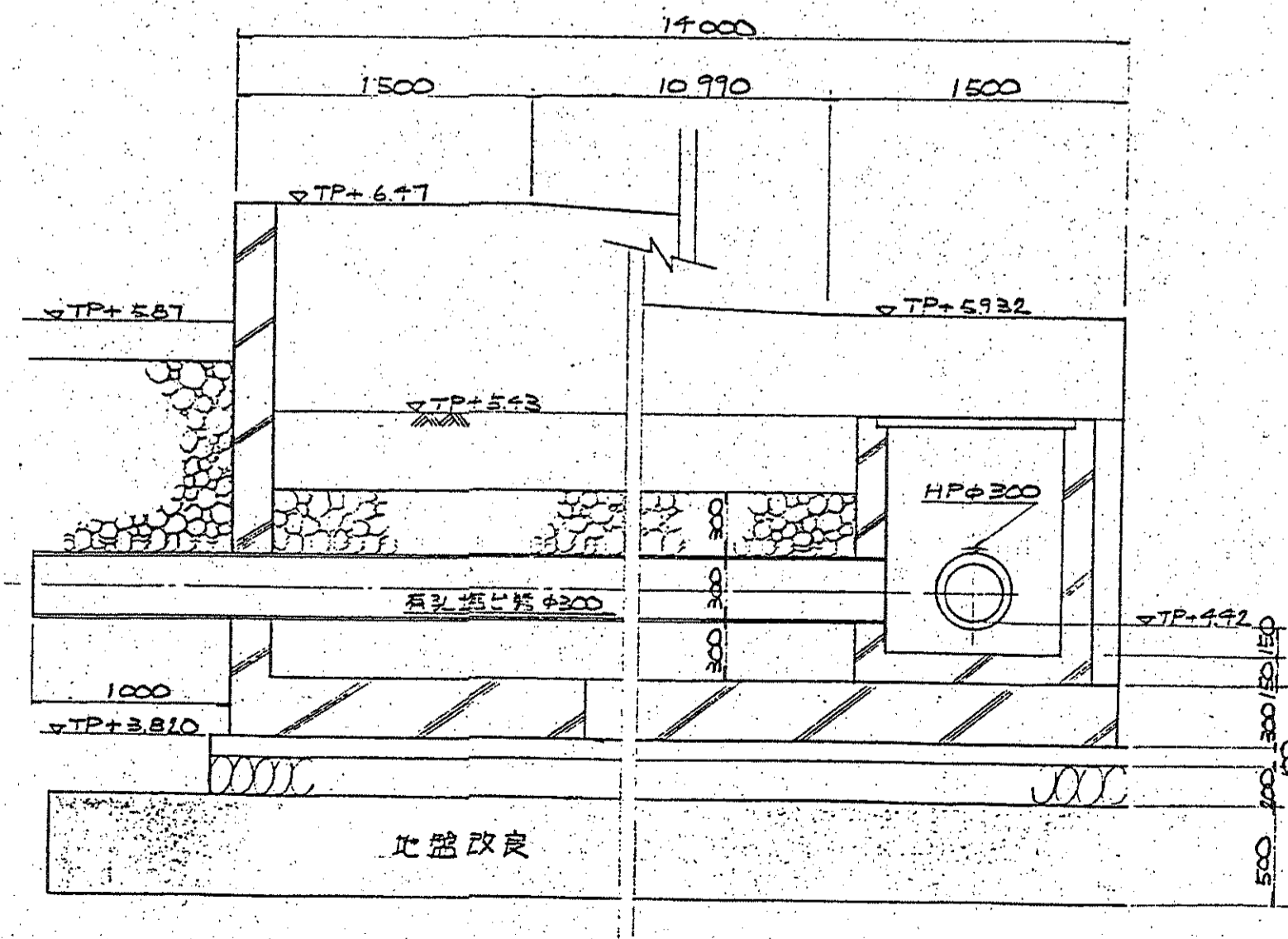
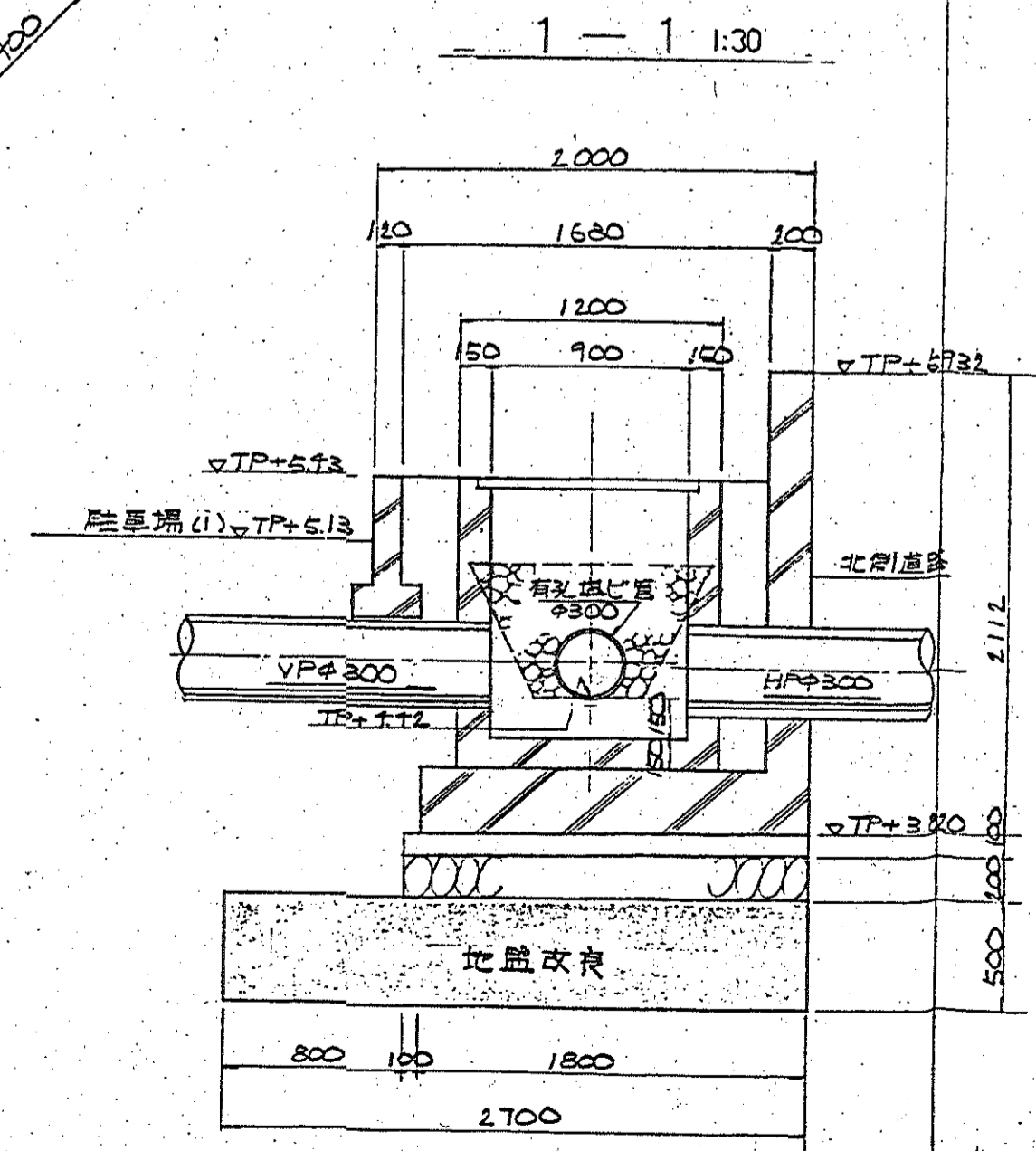
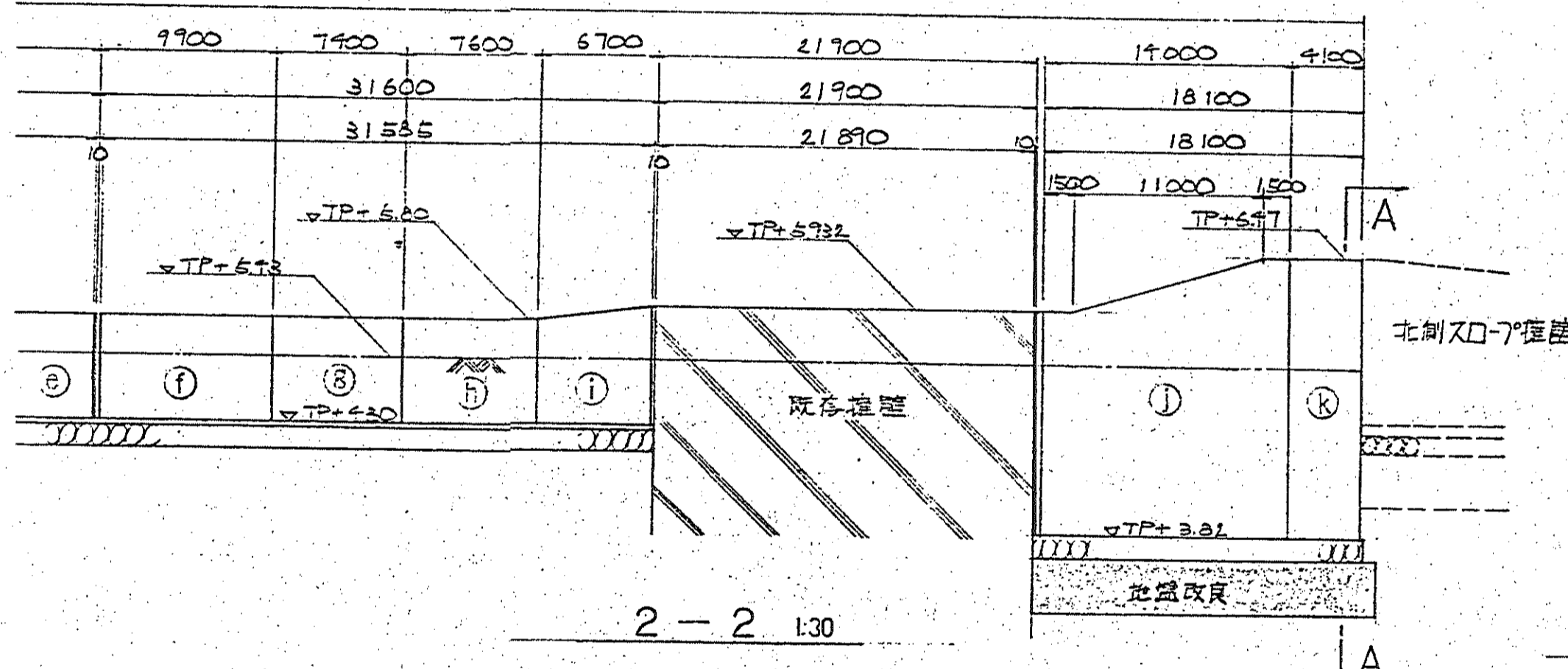
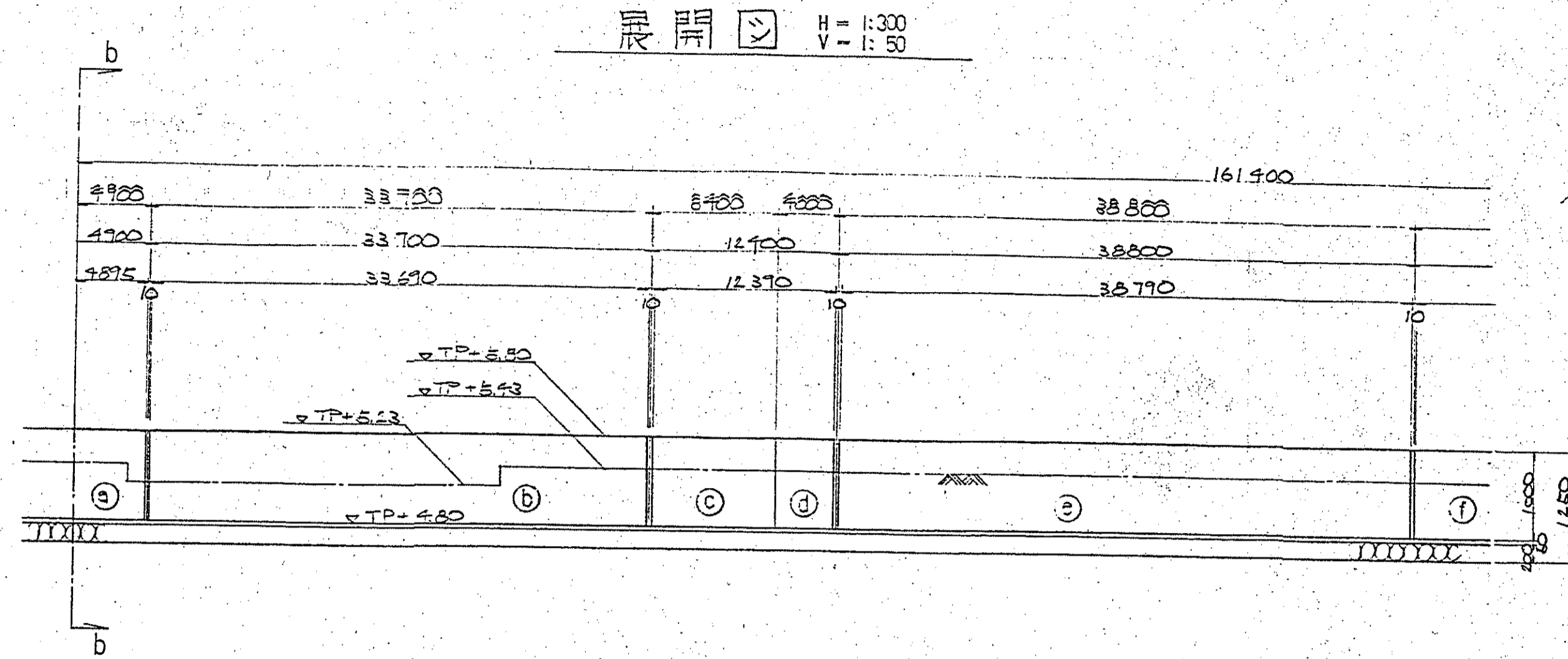
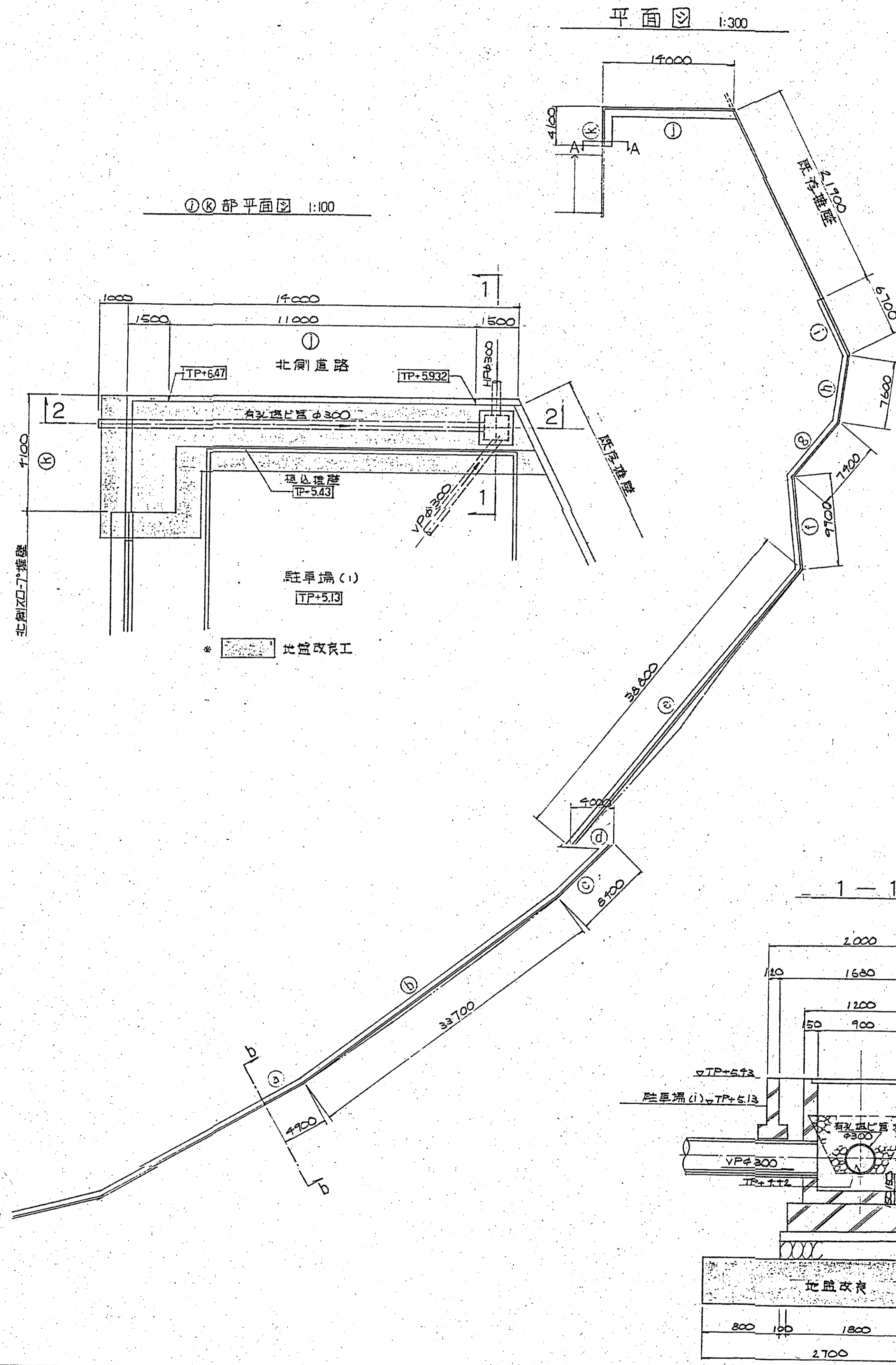
平面図 1:300



展開図 H=1:300 V=1:50

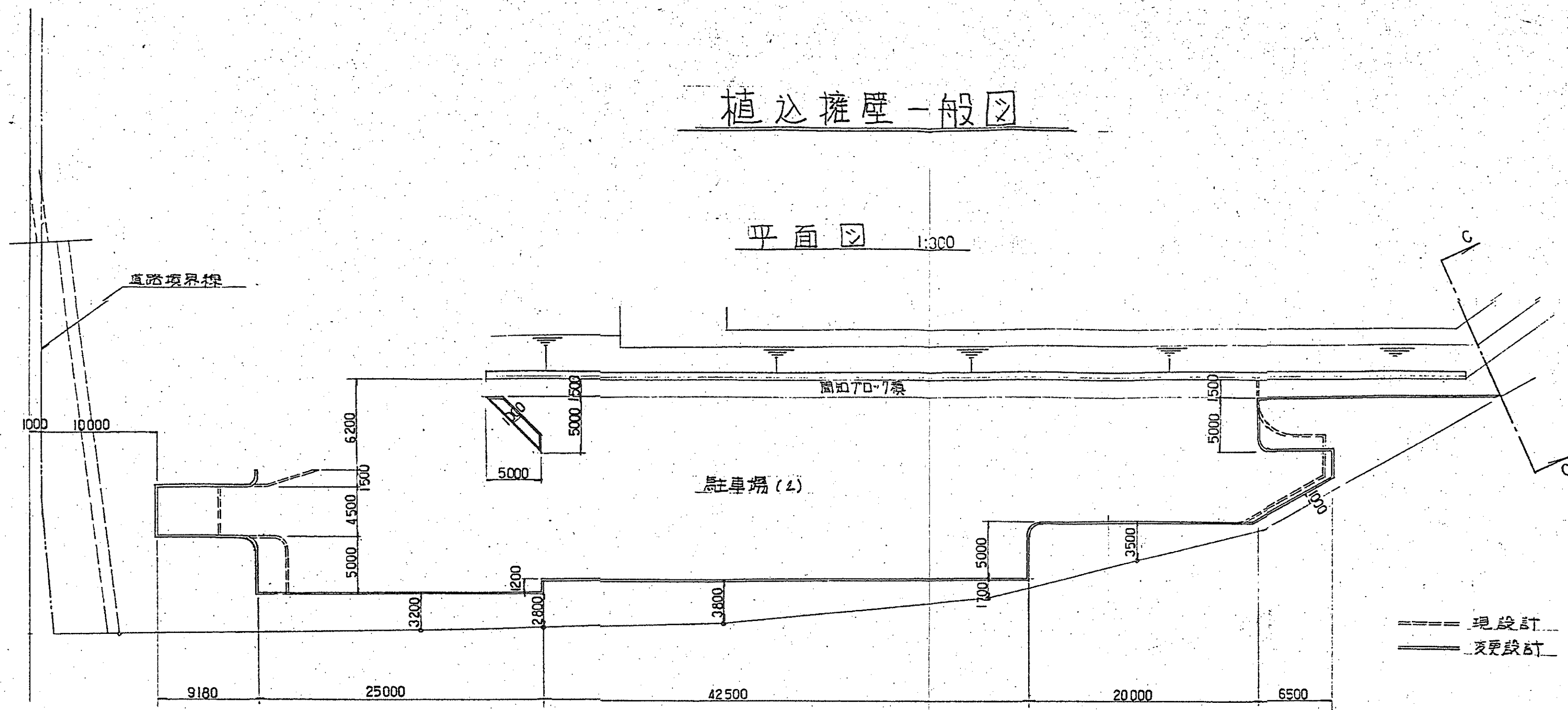


L型擁壁一般図

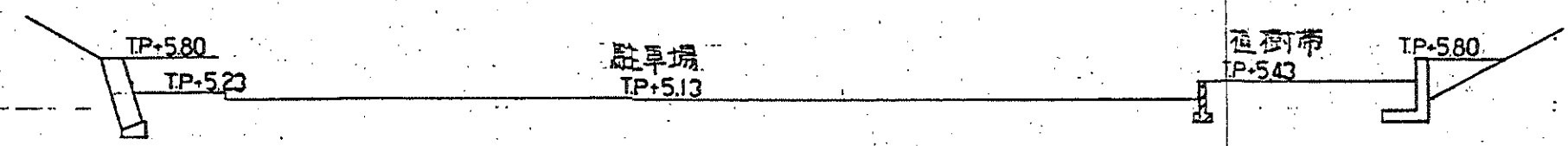


植込擁壁一般図

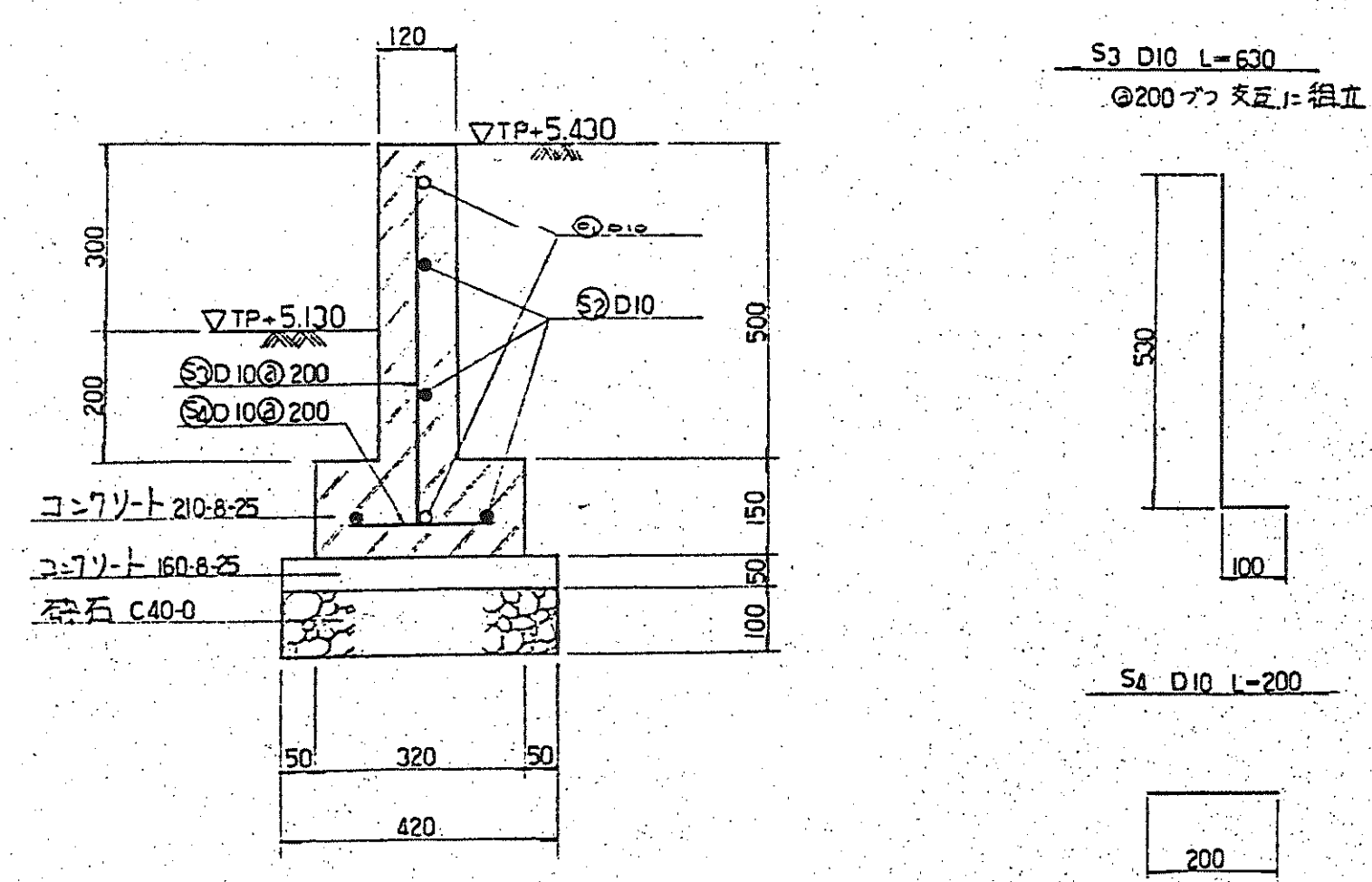
平面図 1:300



標準横断面図 1:100

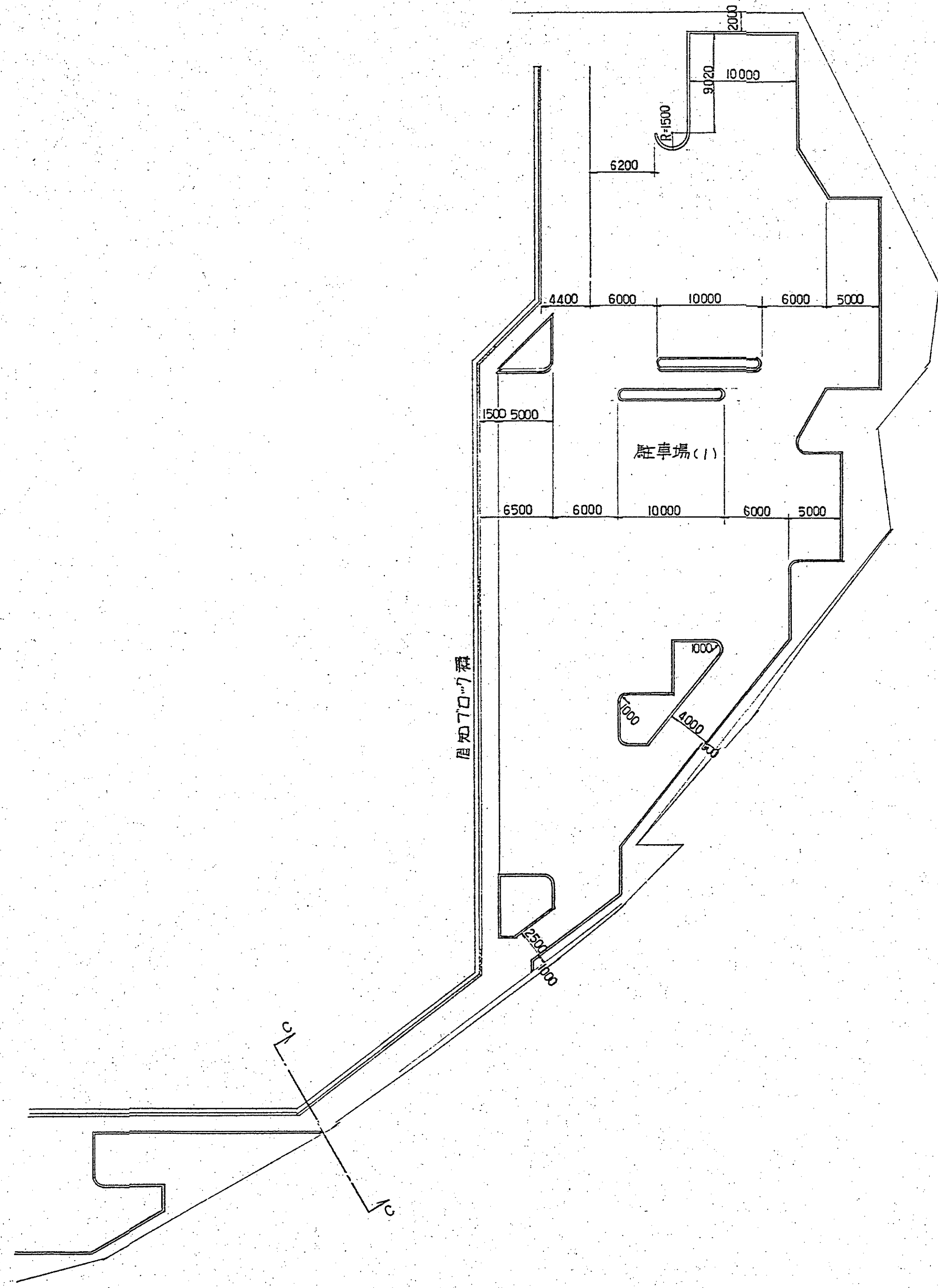


構造図 1:10



植込擁壁一般図

平面図 1:300



整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320(代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanai@kai@fky.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認

照査

設計

製図

NOTE

柳井

富士見市総務部営繕課

課長

副課長

主任

担当

工事名

市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名

植込擁壁一般図(2)

S-1:300 (A-1)

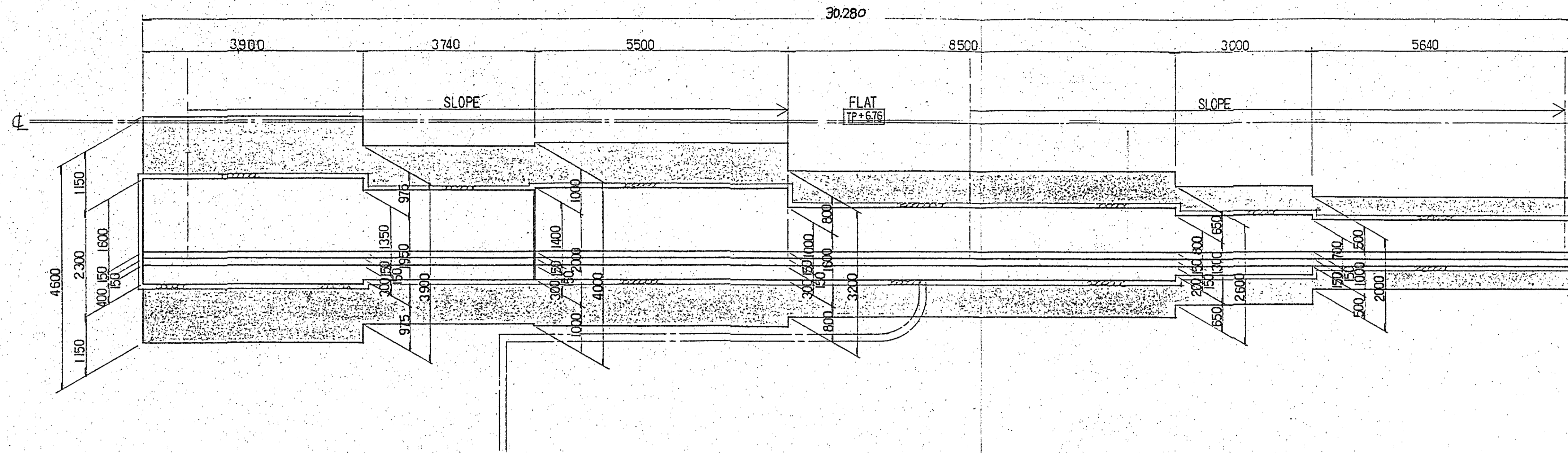
S-1:600 (A-3)

図面番号

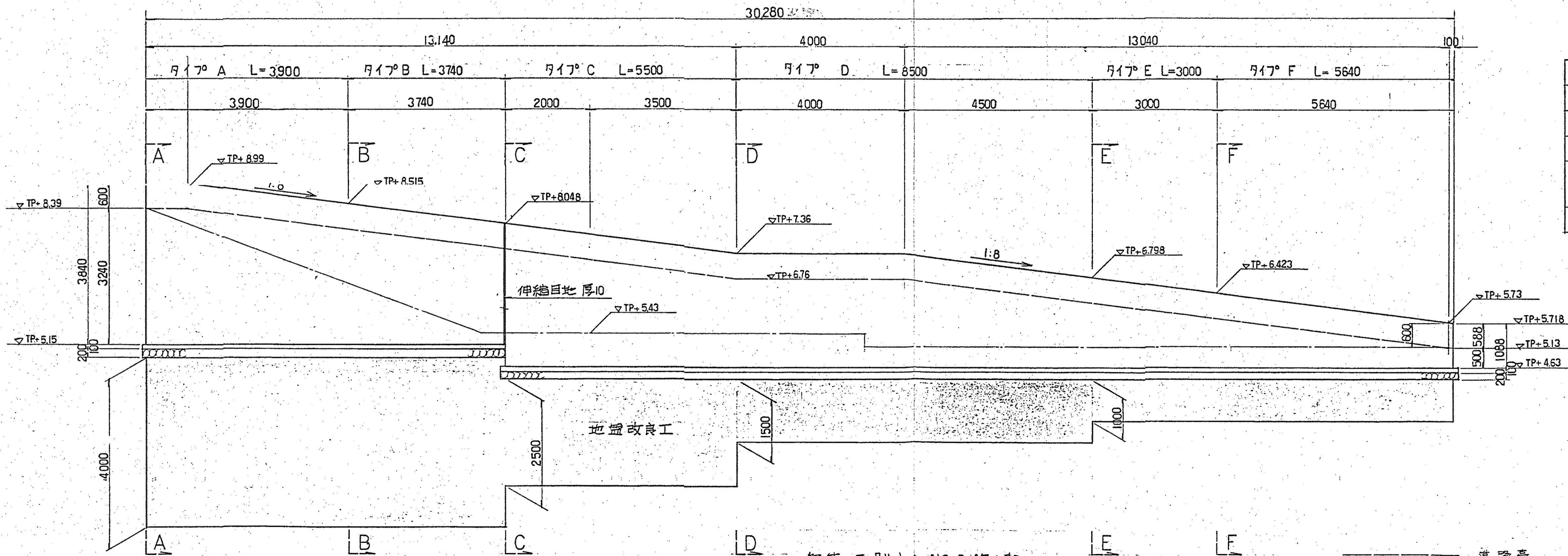
KA

017

平面図 1:60



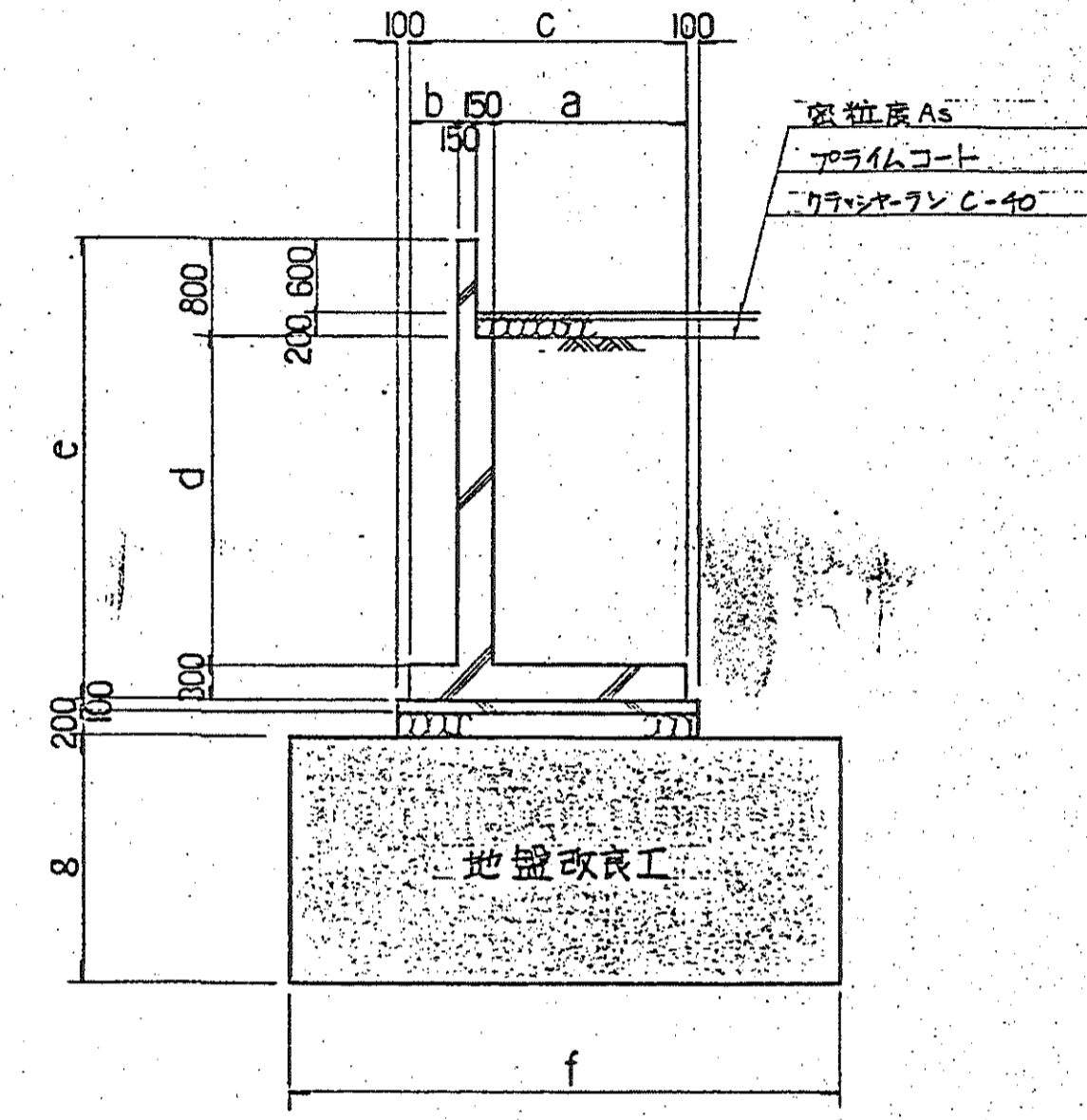
展開図 1:60



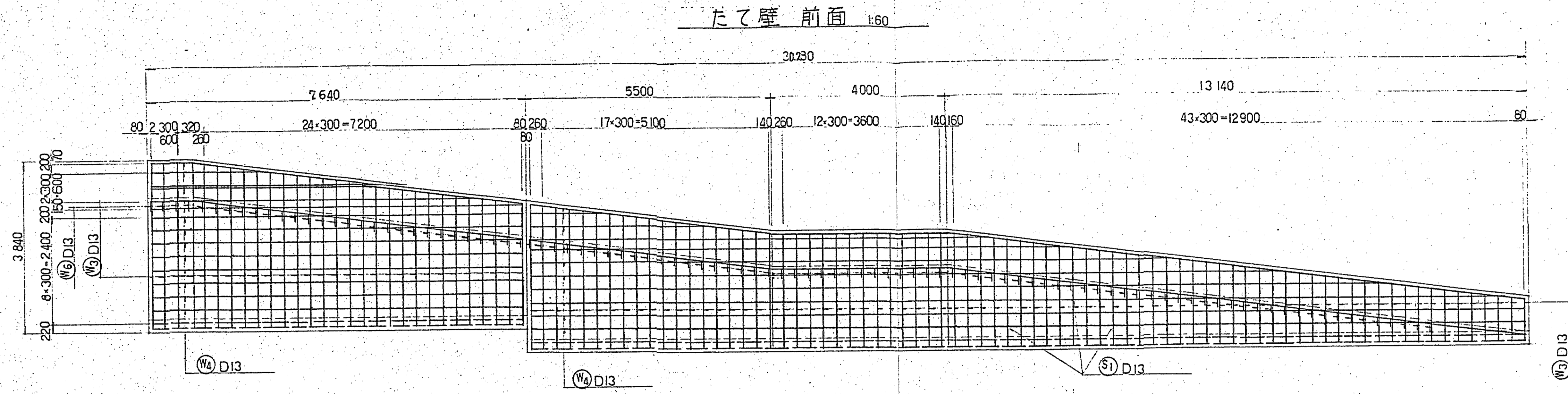
躯体コンクリートは 210-B-25 とする。
 詰めコンクリートは 160-B-10 とする。
 伸縮目地材は 銜陥蒸気系とする。

道路高
 地帯高

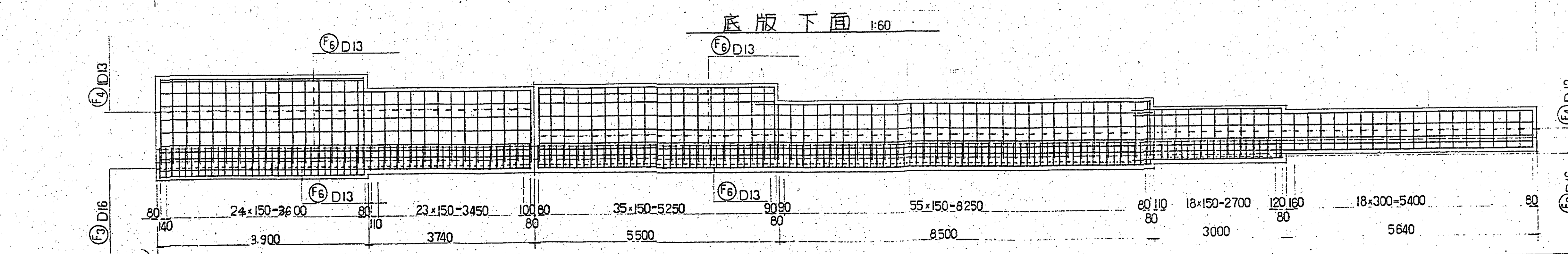
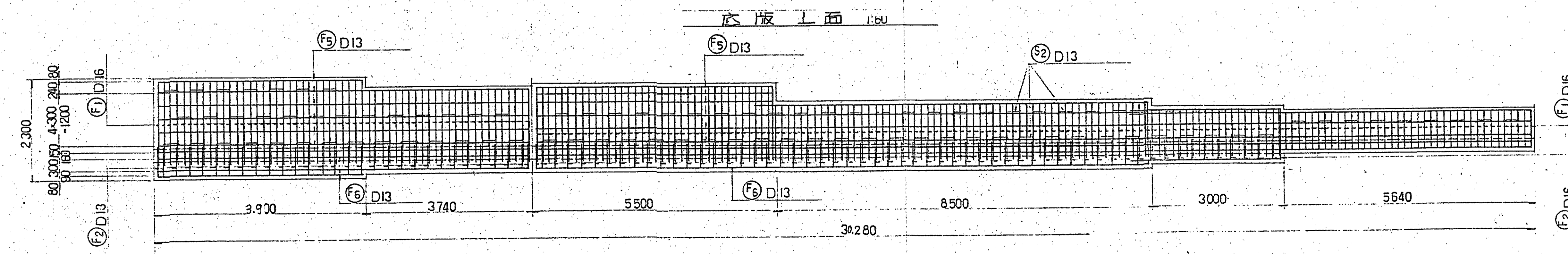
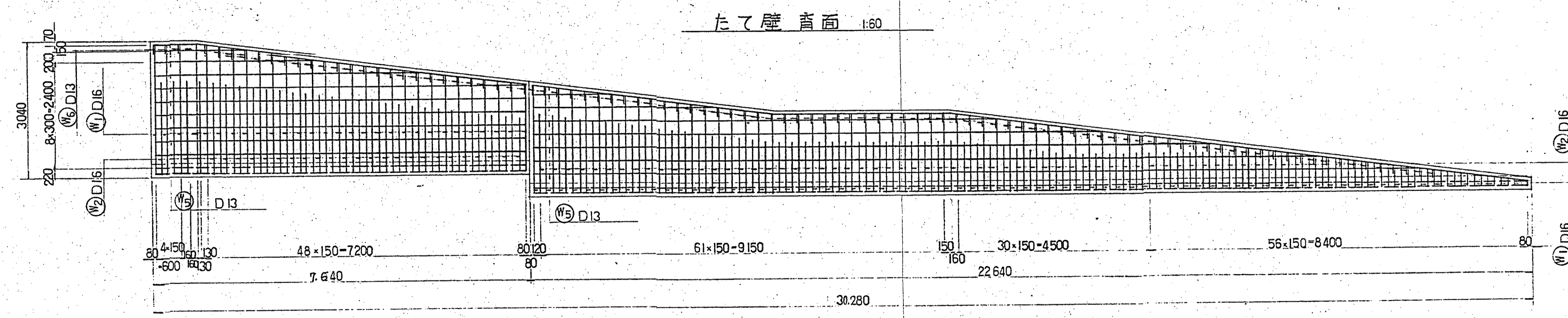
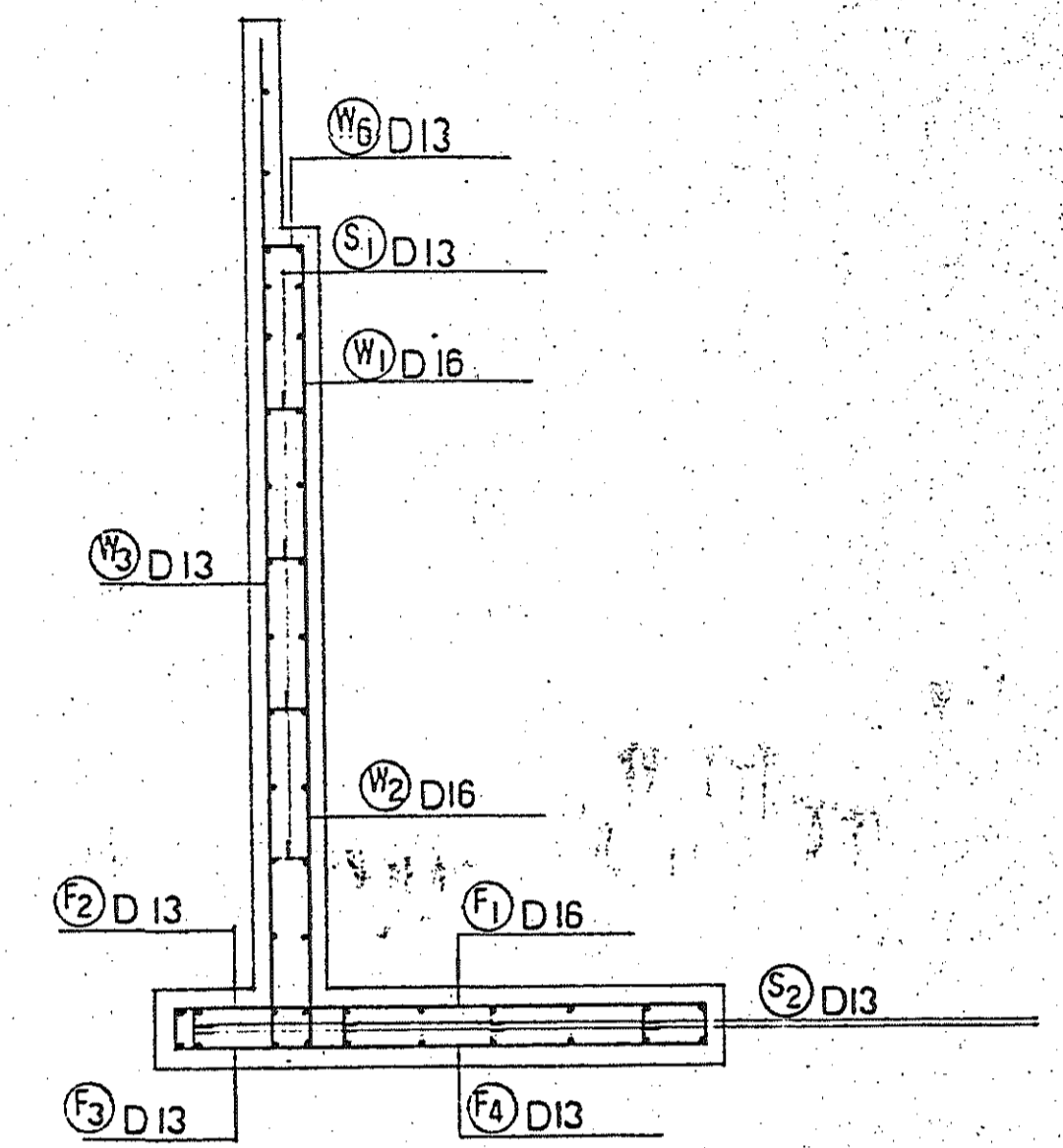
断面図 1:60



	a	b	c	d	e	f	g
A-A	1600	400	2300	2740	3840	4600	4000
B-B	1350	300	1950	2265	3365	3900	4000
C-C	1400	300	2000	2318	3418	4000	2500
D-D	1000	300	1600	1630	2730	3200	1500
E-E	800	200	1300	1068	2168	2600	1000
F-F	700	-	1000	693	1793	2000	1000

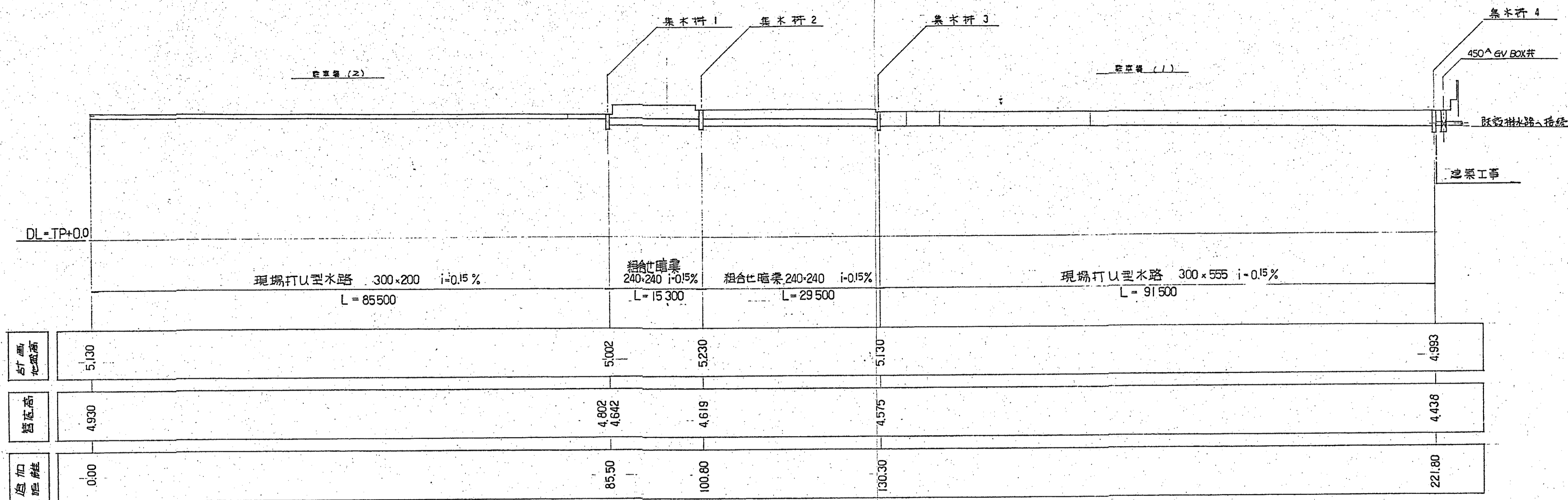


標準断面図 1:30

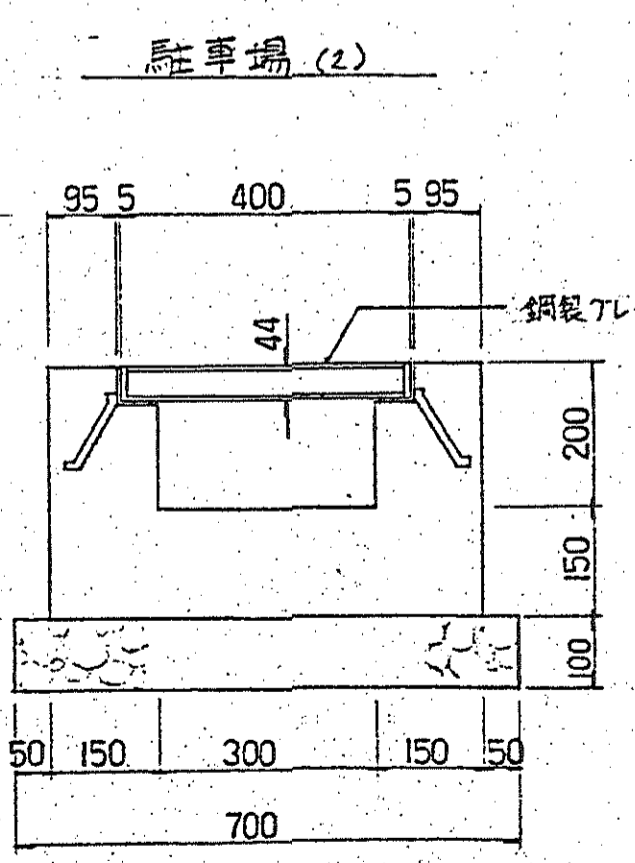


整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-9320 (F) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskka@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 南側スロープ部擁壁配筋図	S-1:60 (A-1) S-1:120 (A-3)	図面番号 KA 019
-----------------	---	--	------------------------------	----------------	-------------------	------	------------	--------------	-------------------------	----------------------	-------------------------------	-------------------

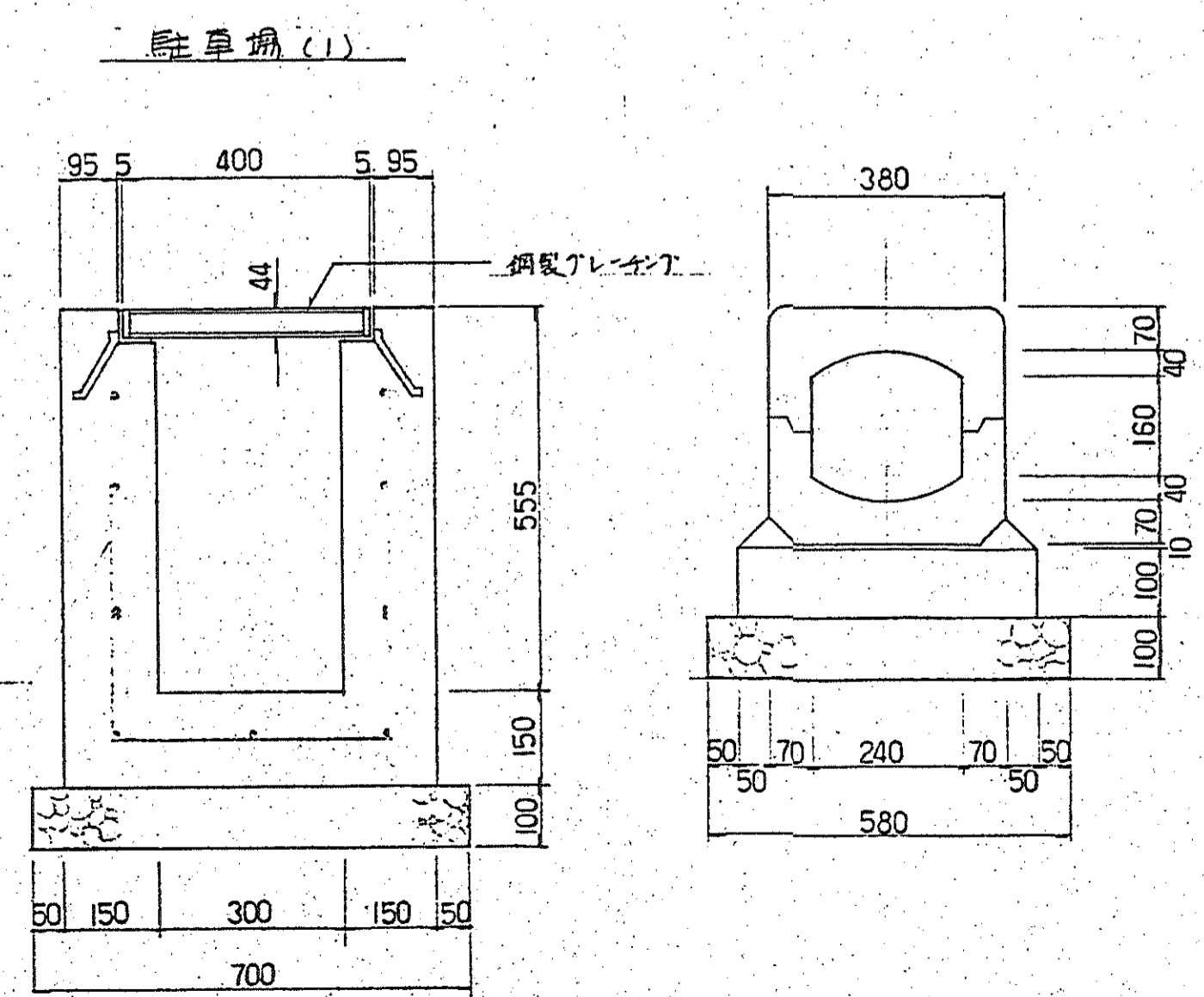
駐車場排水縦断面図 V=1:100
H=1:400



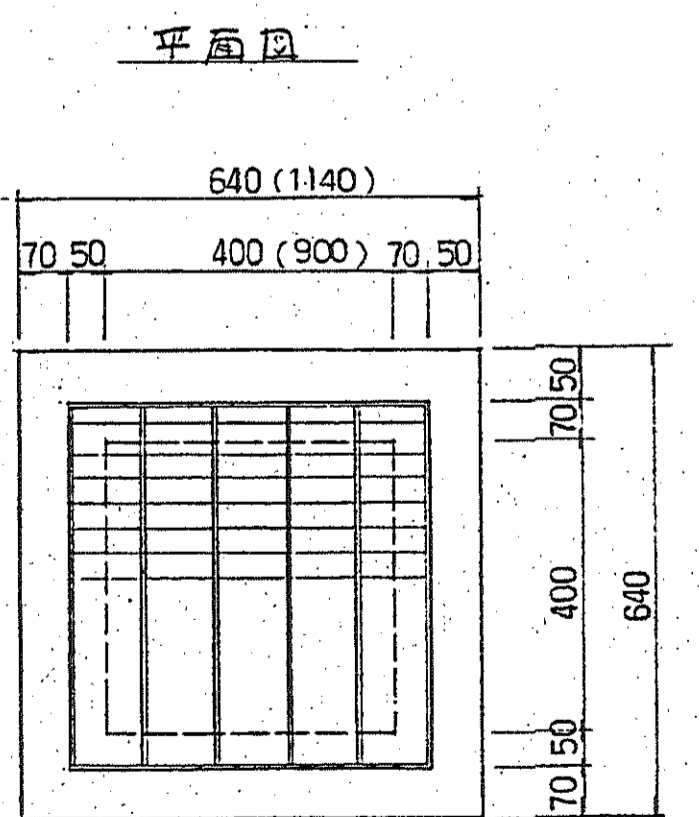
現場打U型水路 1:10



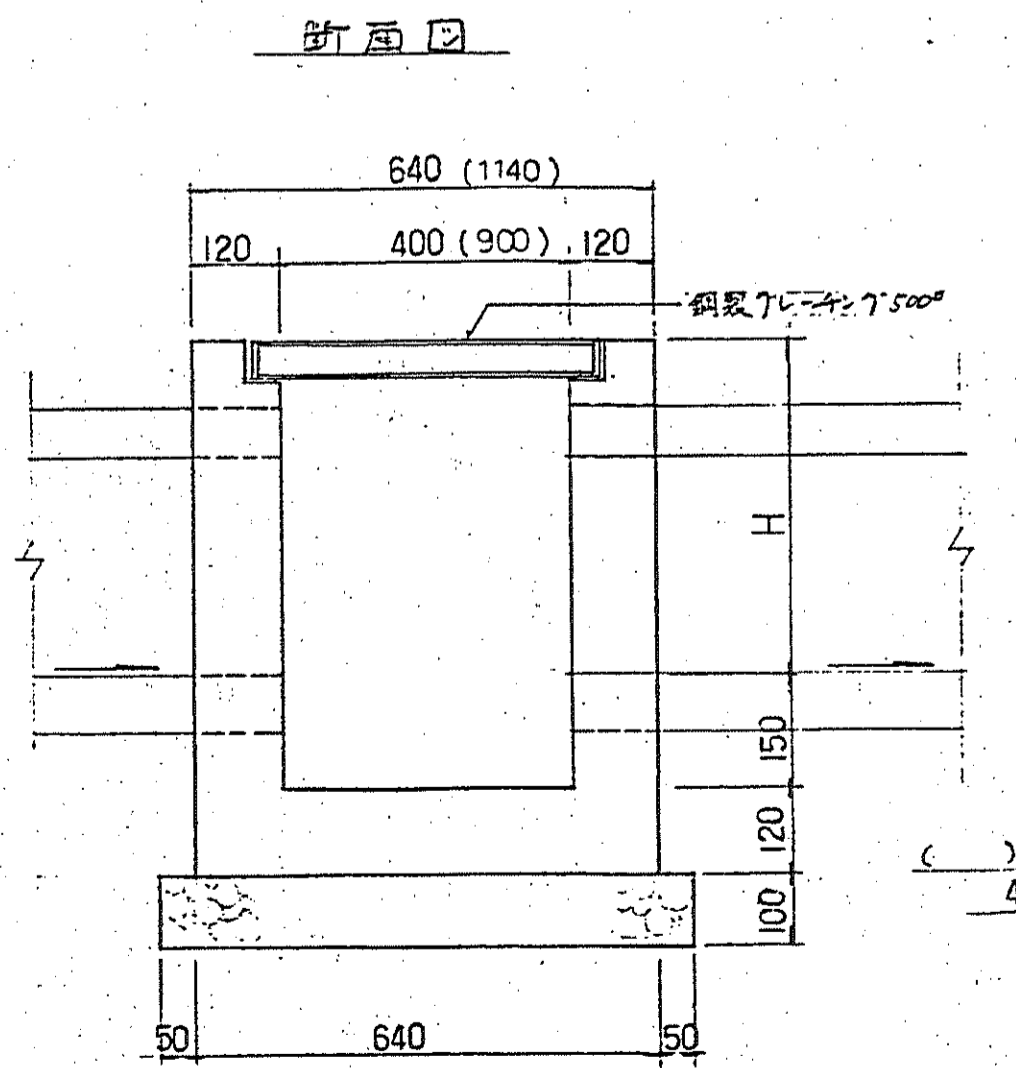
組合仕暗渠 1:10



集水軒 1:10

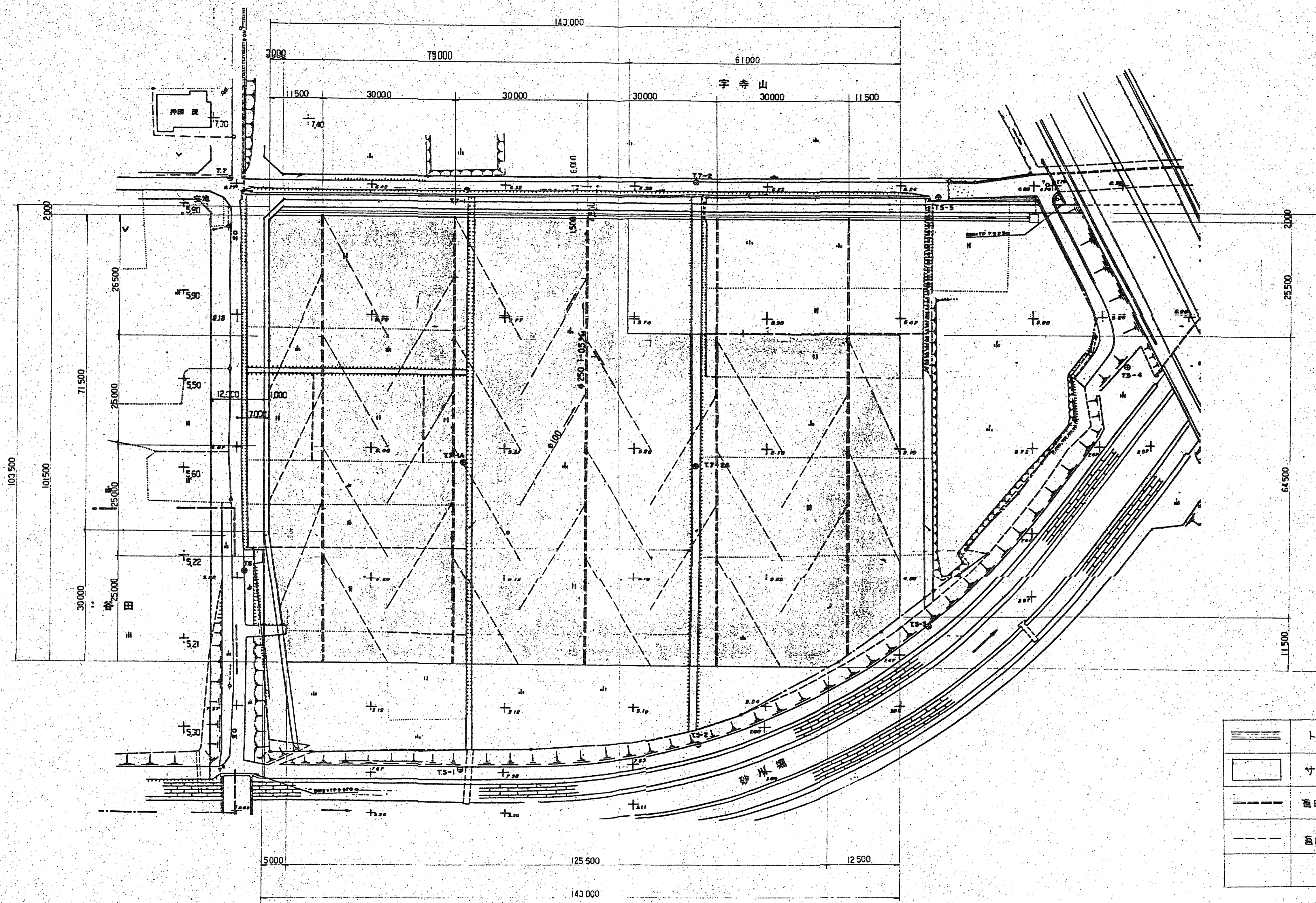


断面図



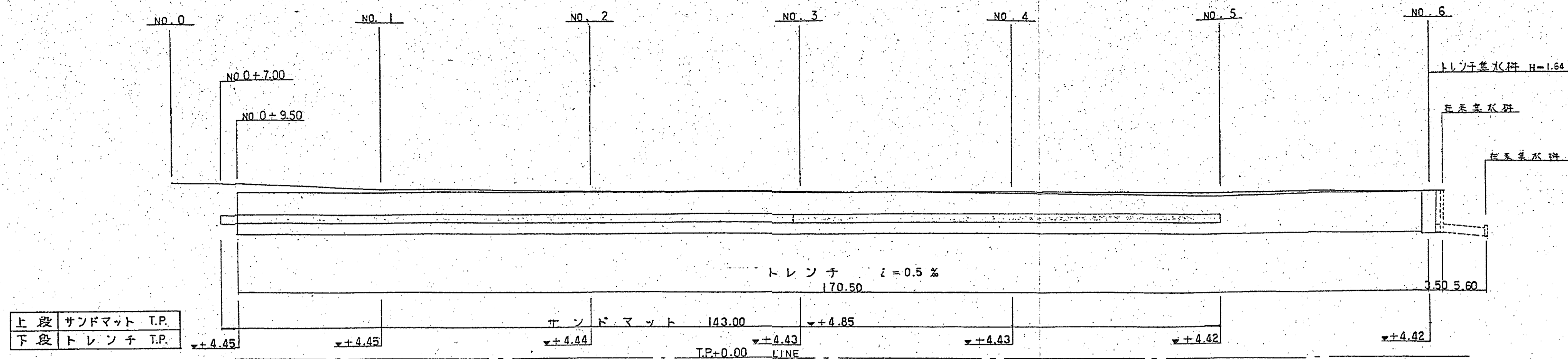
H (m)	
1	0.360
2	0.611
3	0.555
4	0.555

()は集水軒4
4分鉄筋工口上、配筋は現場打U型水路に準ずる

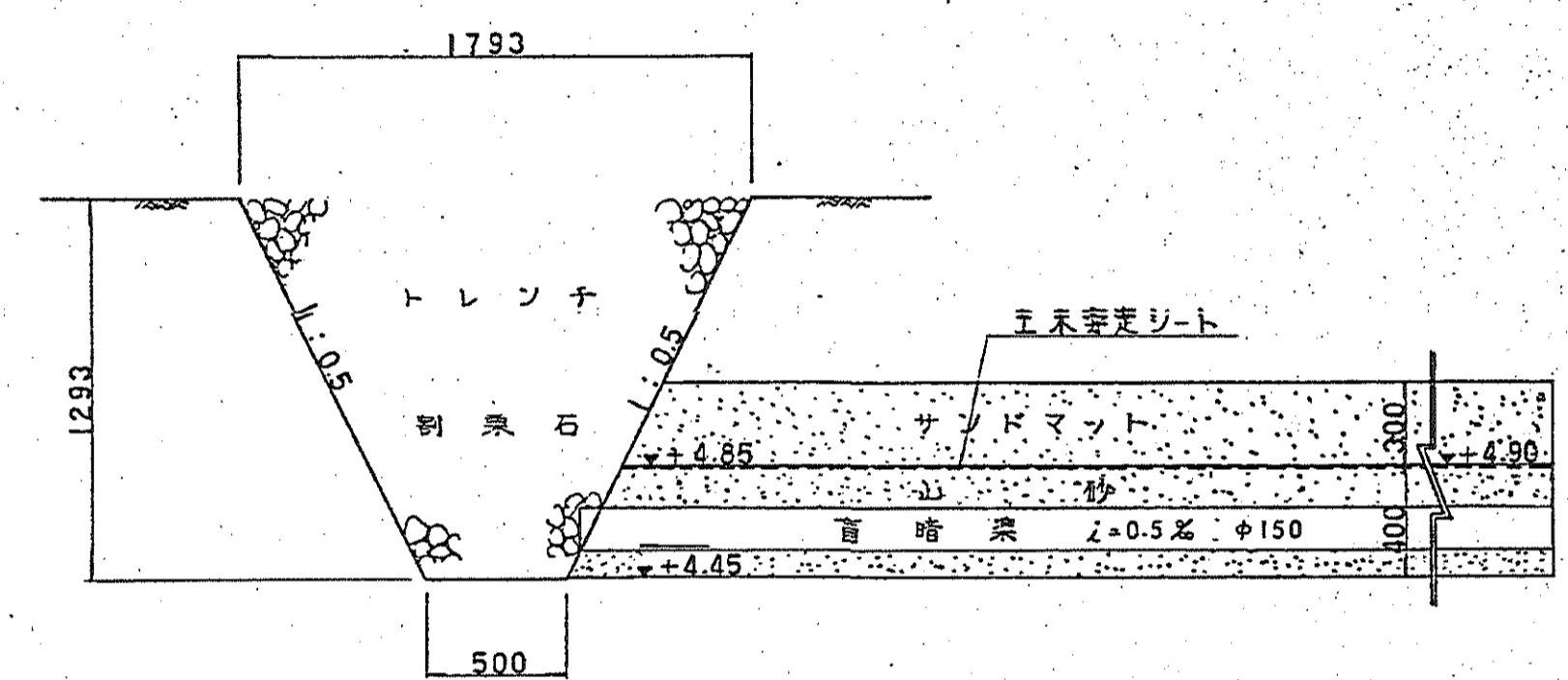


	トレンチ
	サンドマット
	直径φ150
	直径φ100

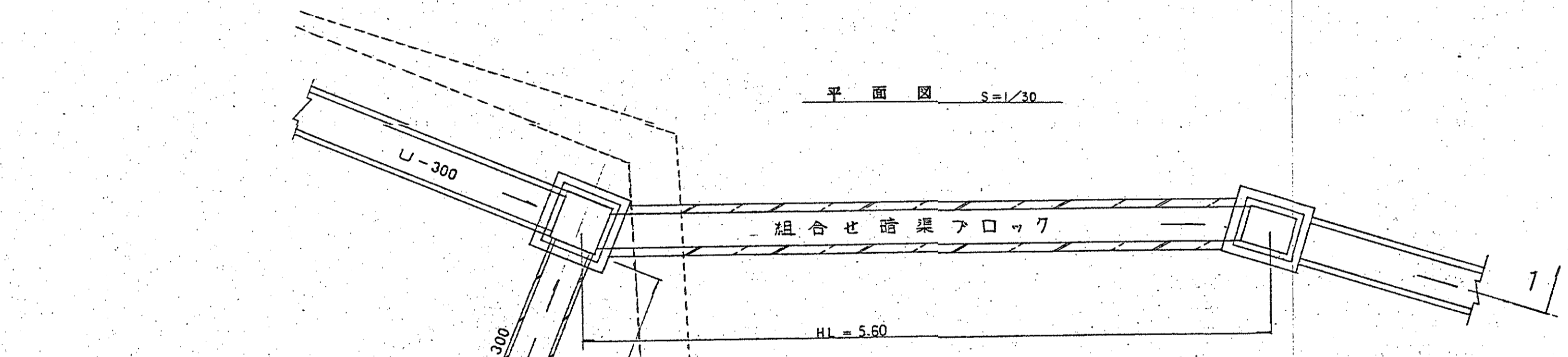
縦断面図 H=1/400 V=1/100



標準断面図 S=1/25

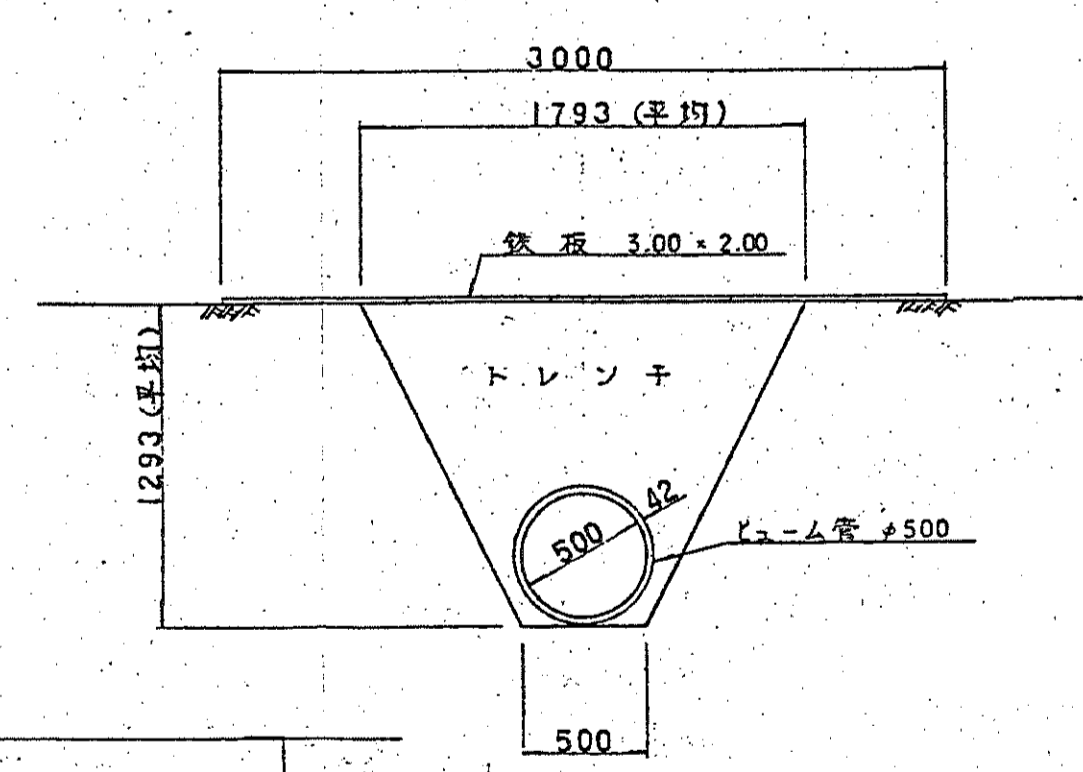


平面図 S=1/30

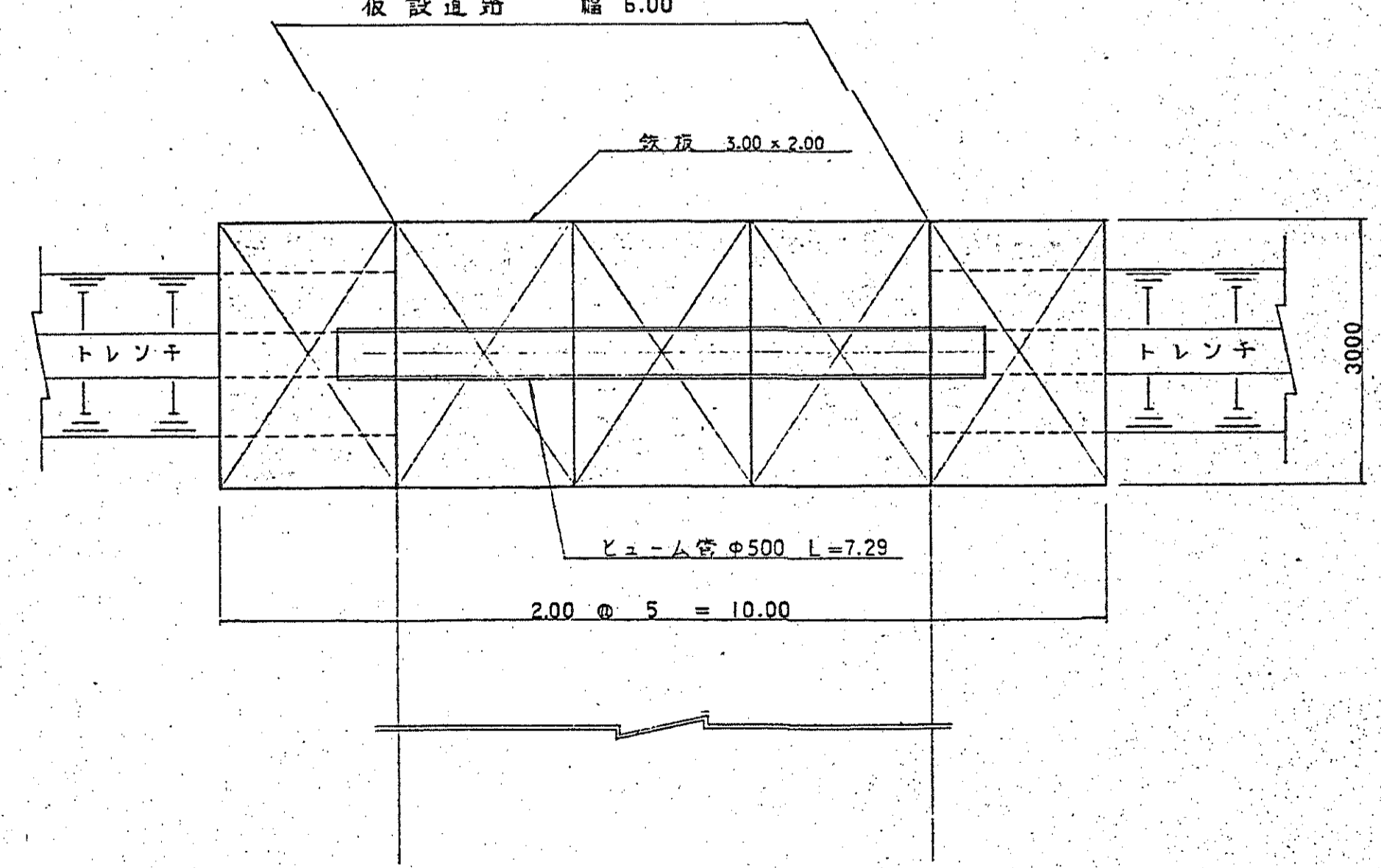


仮設道路横断面部

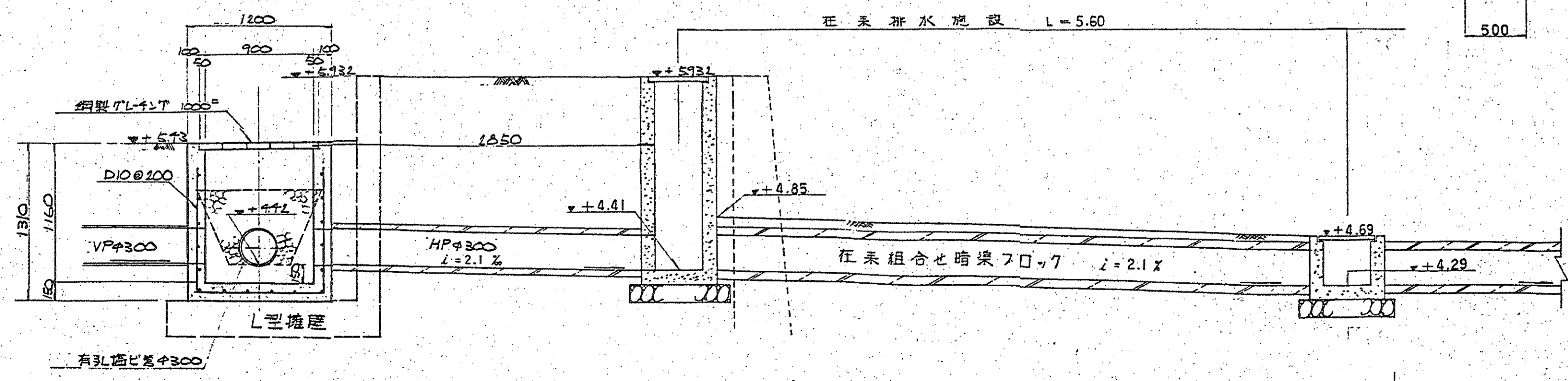
断面図 S=1/30



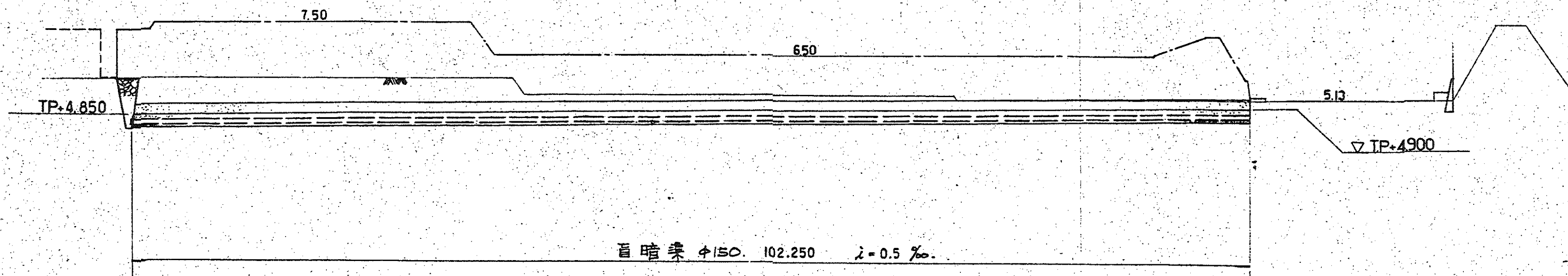
平面図 S=1/60



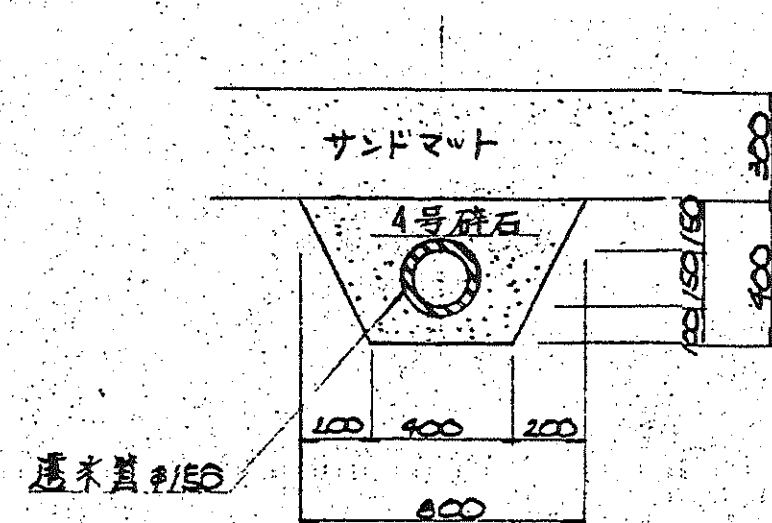
1-1 断面図 S=1/30



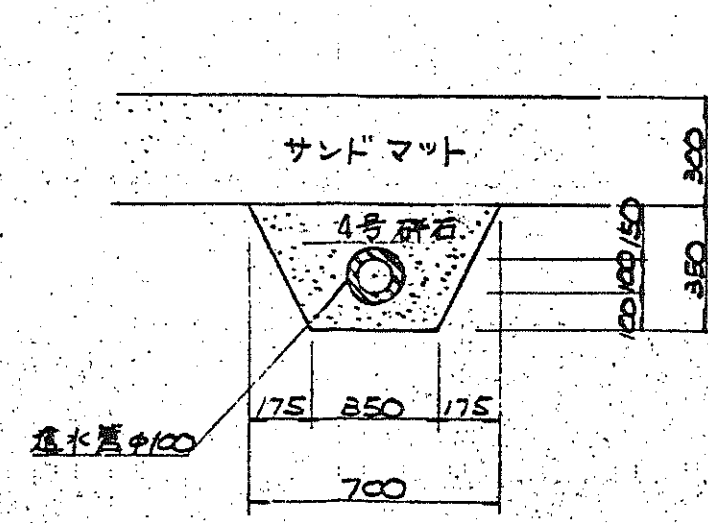
標準横断面図 H=1:300
V=1:100



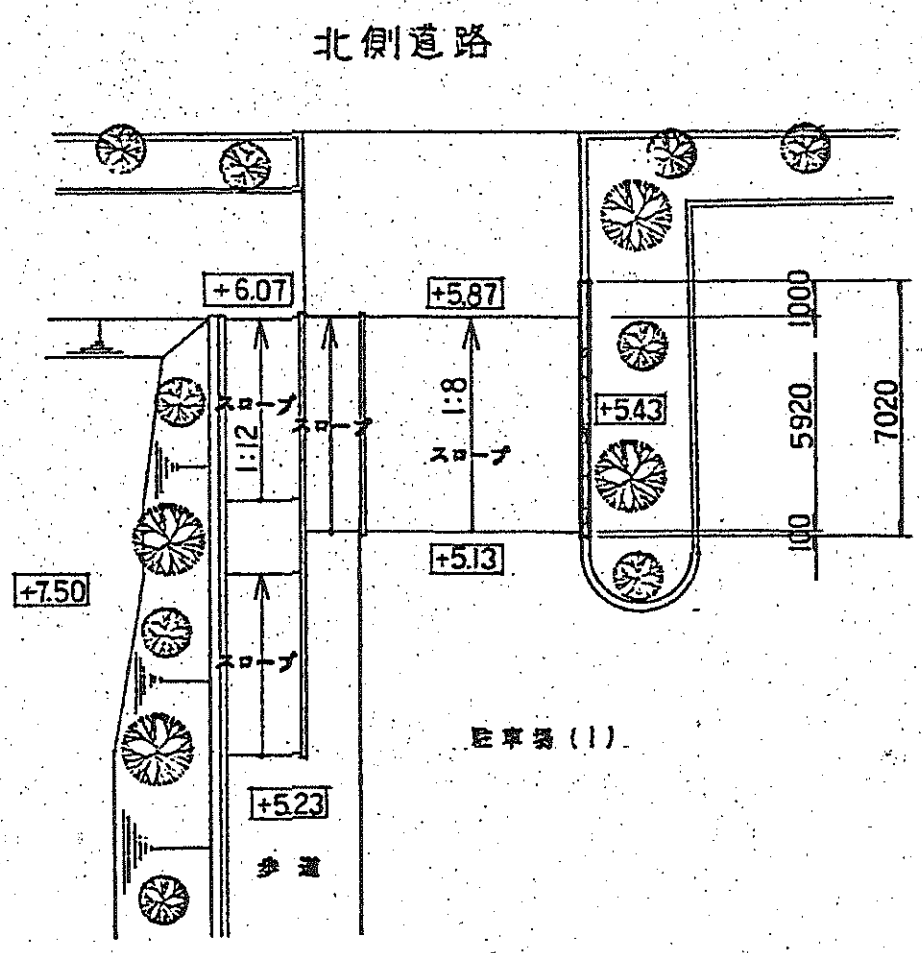
盲暗渠φ150 1:20



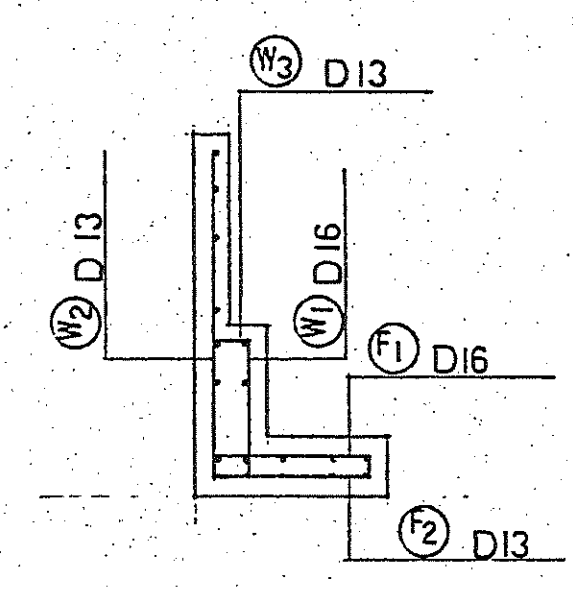
盲暗渠φ100 1:20



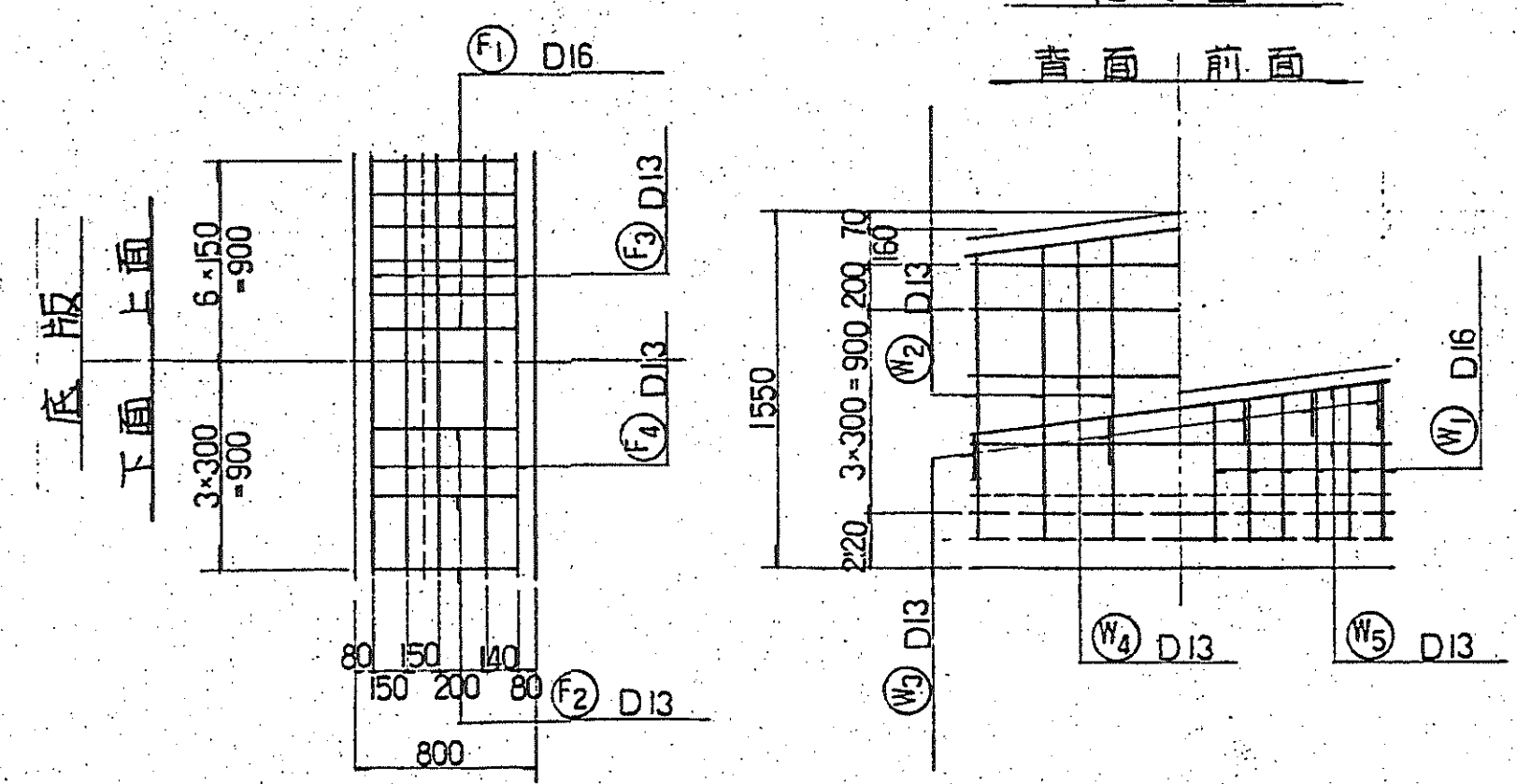
平面位置図 1:200



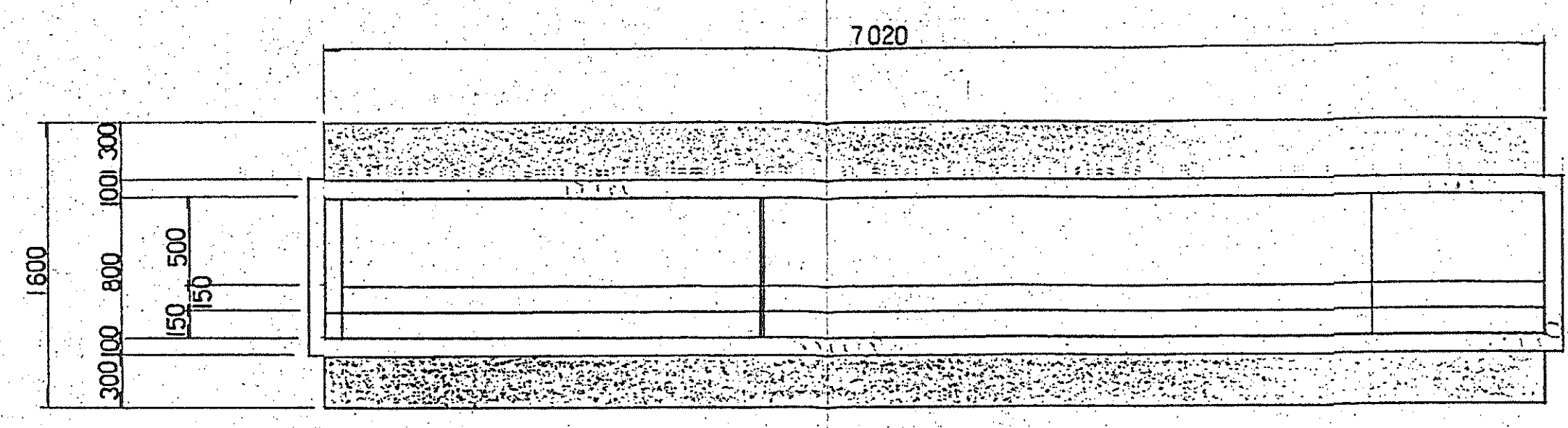
配筋図 1:30



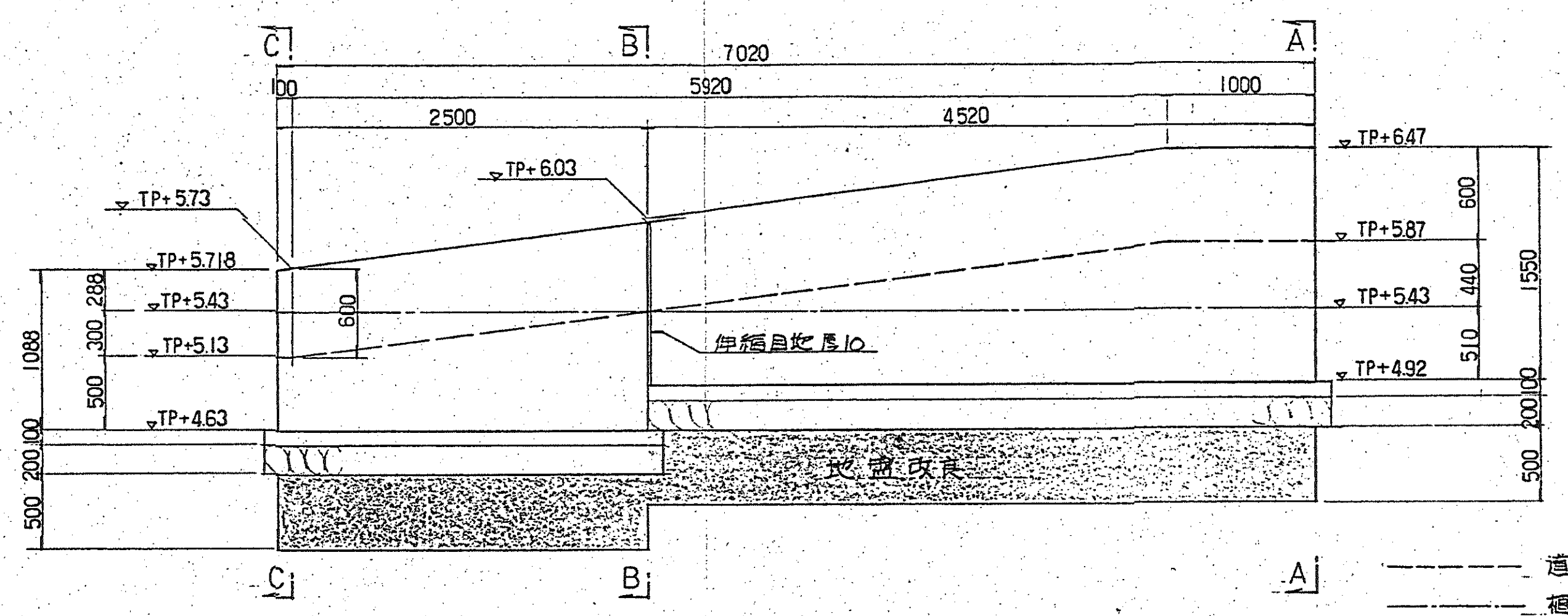
基礎壁
前面 前面



平面図 1:30



展開図 1:30

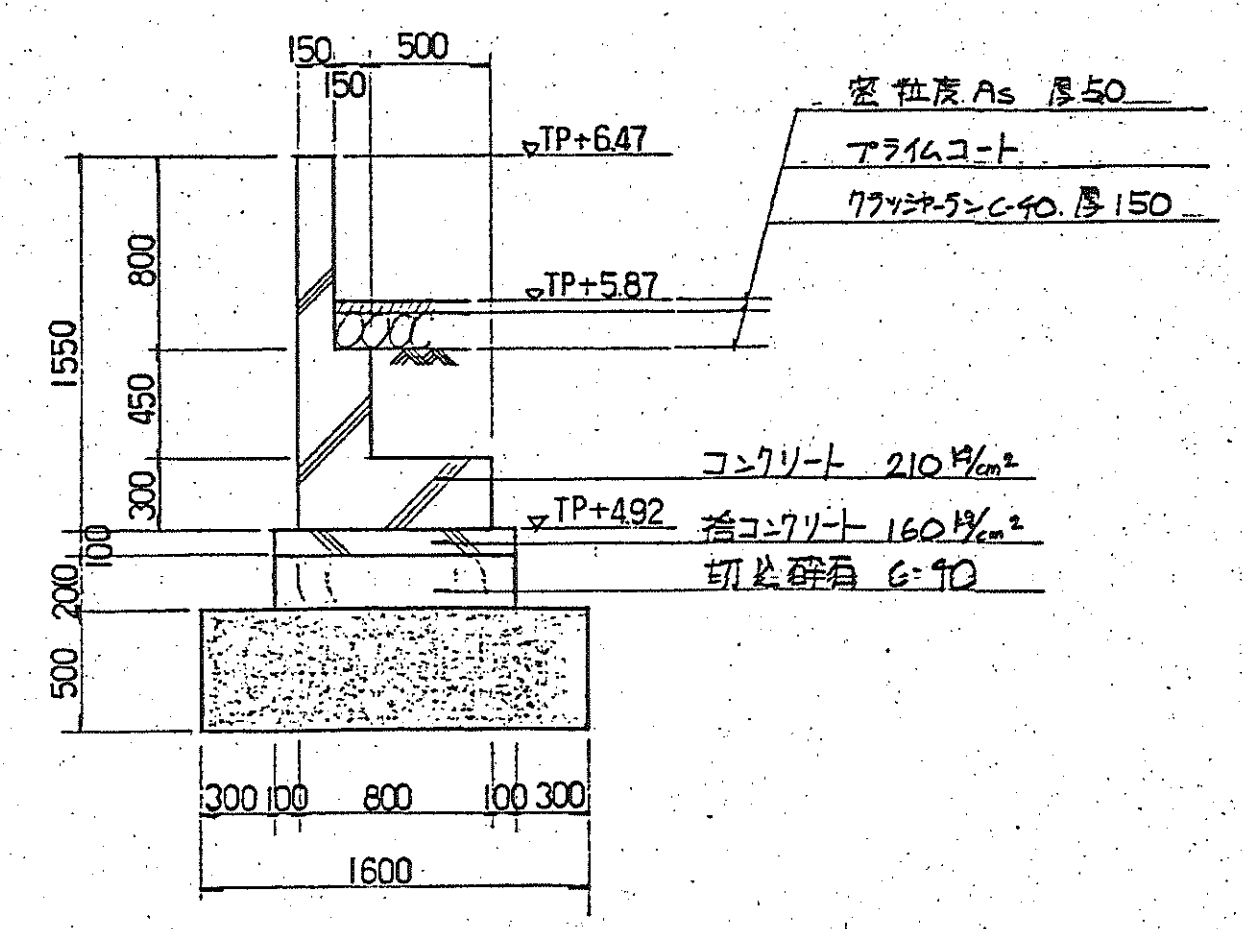
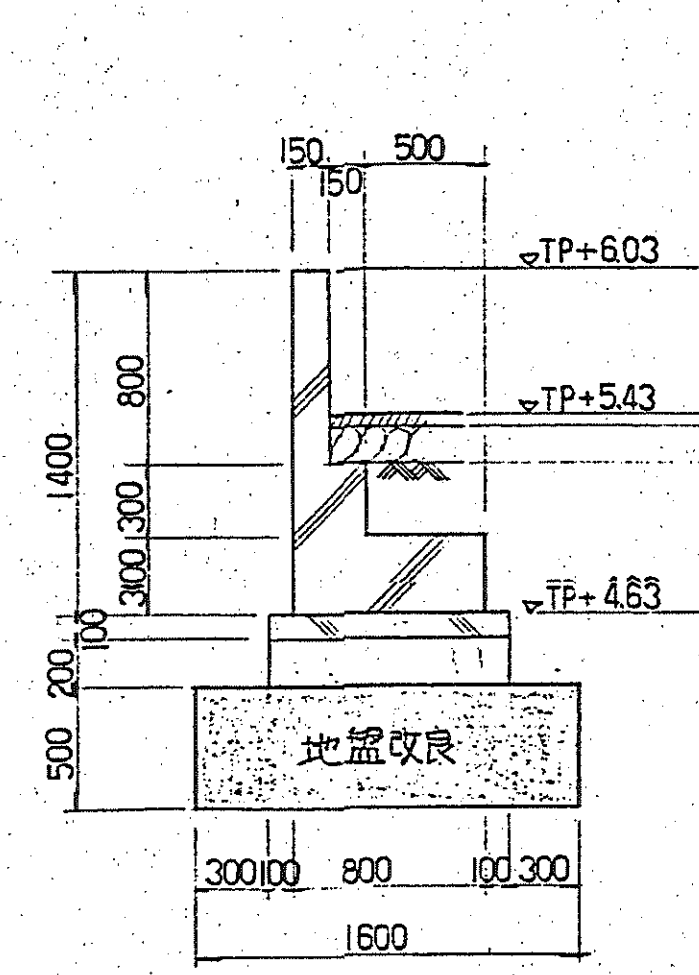
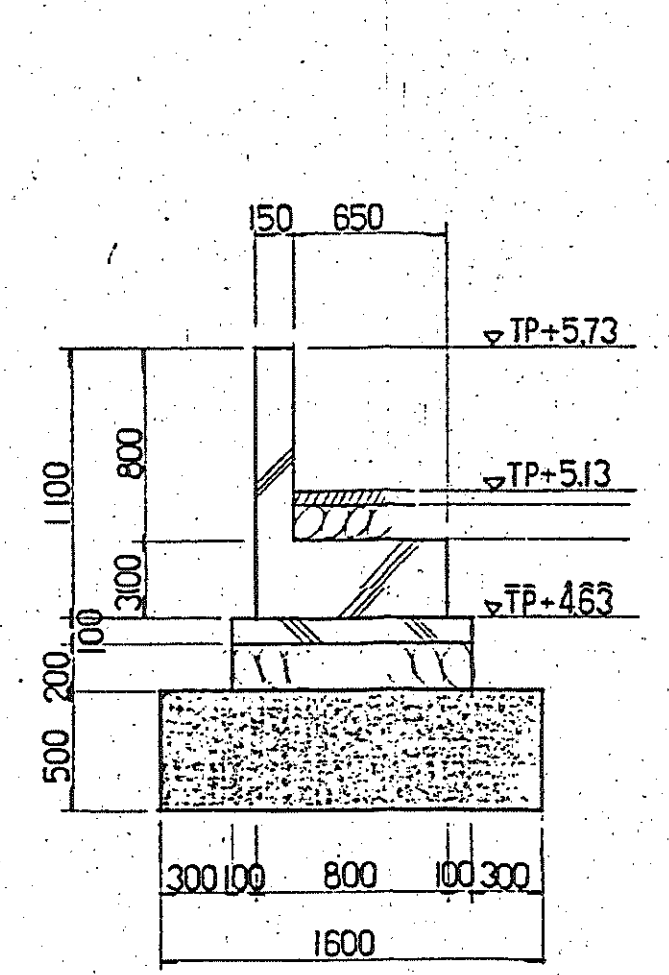


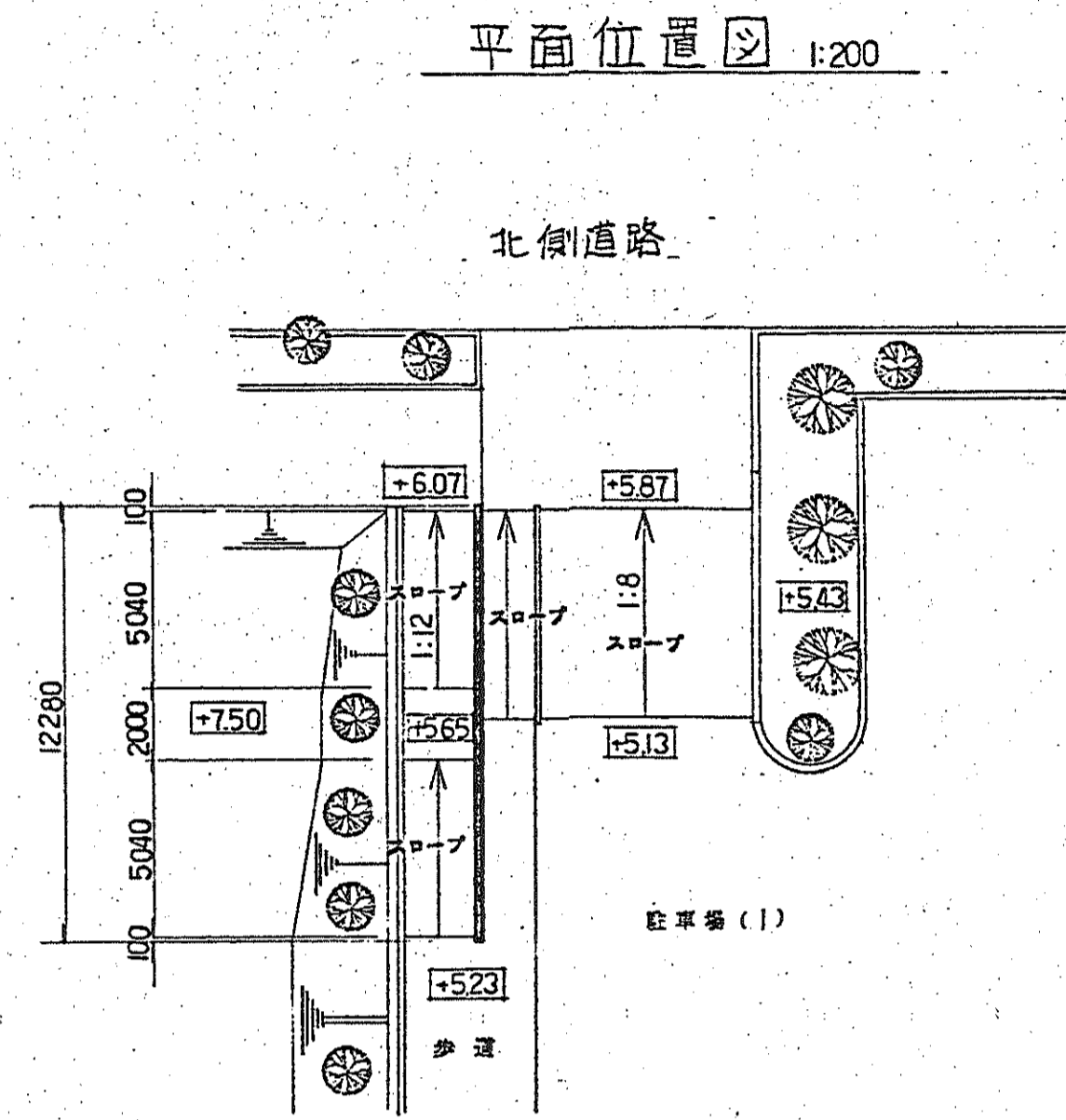
断面図 1:30

C-C

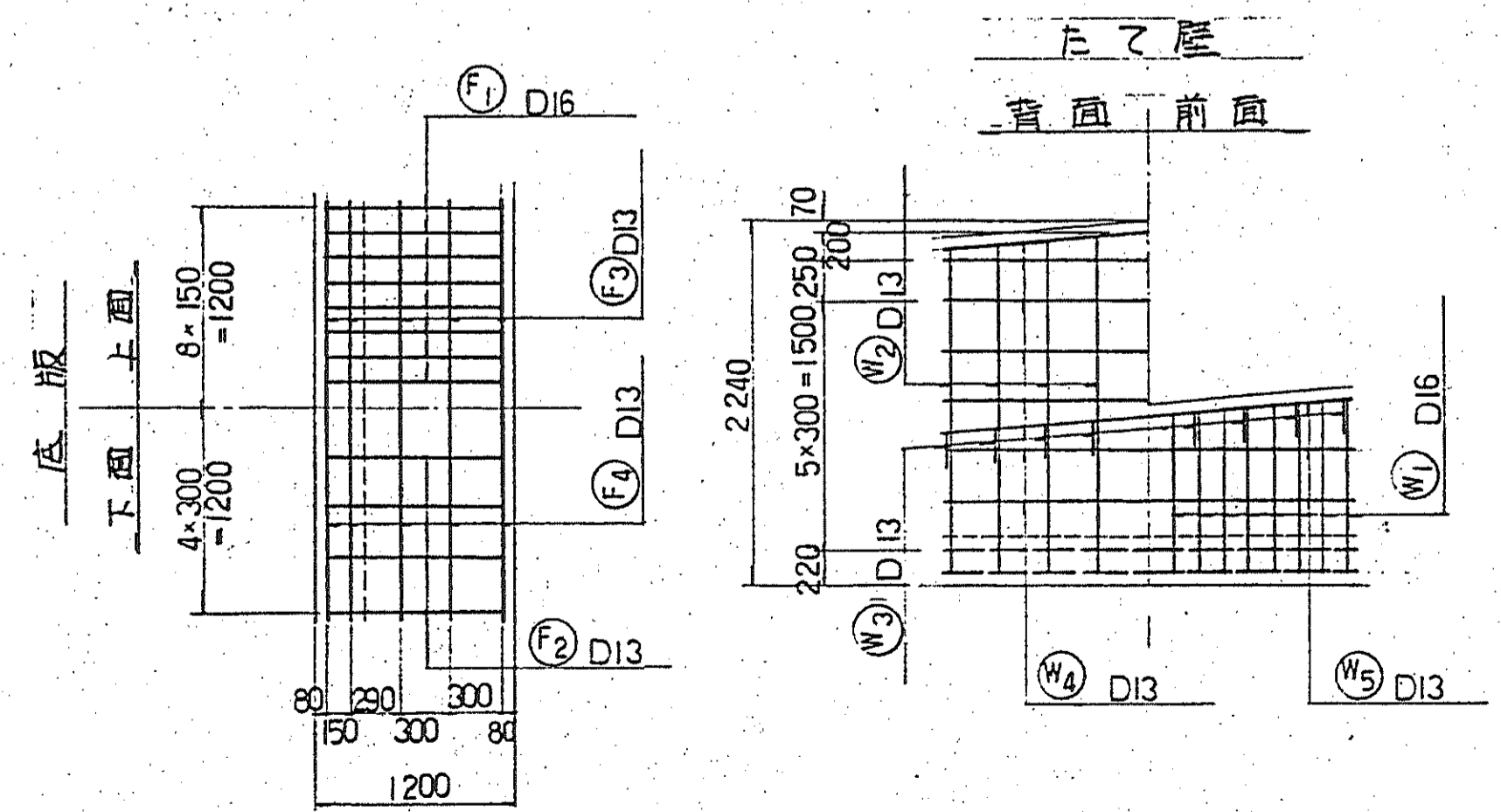
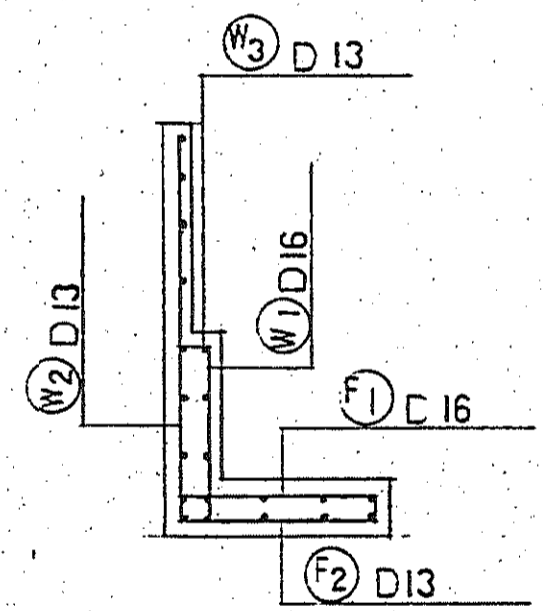
B-B

A-A

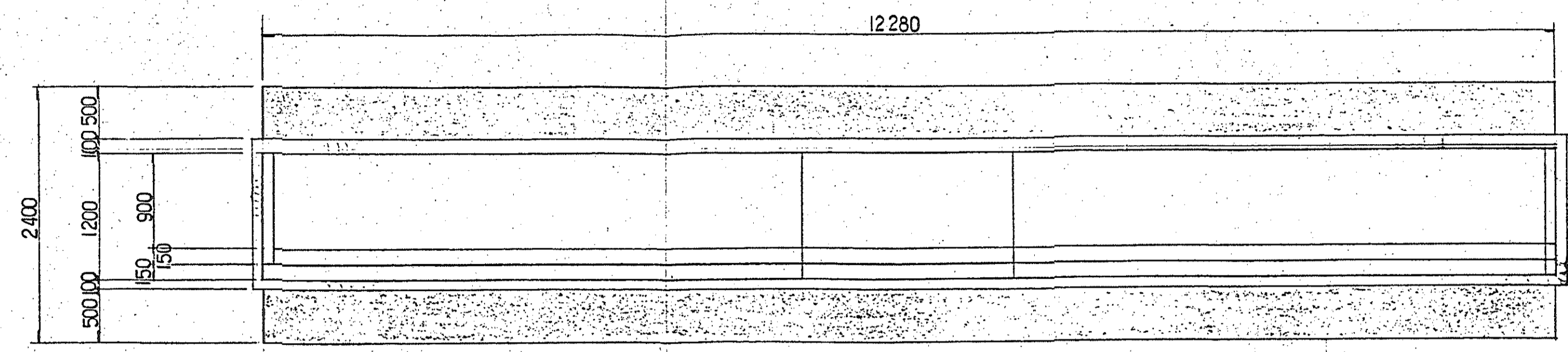




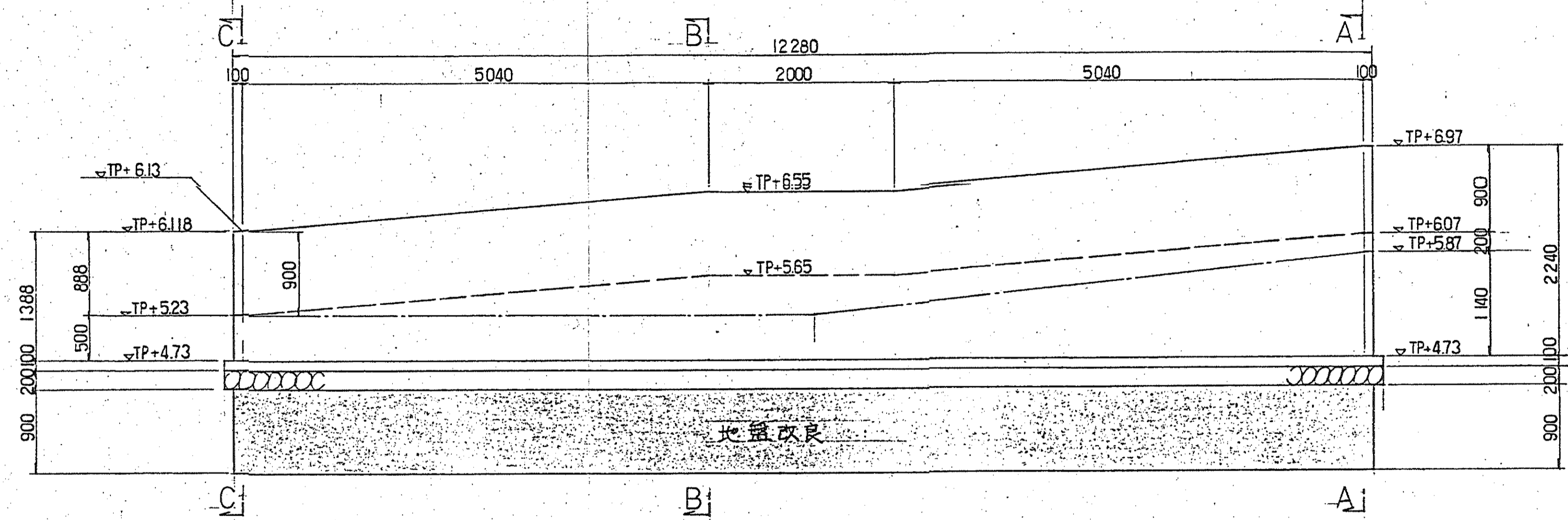
配筋図 1:30



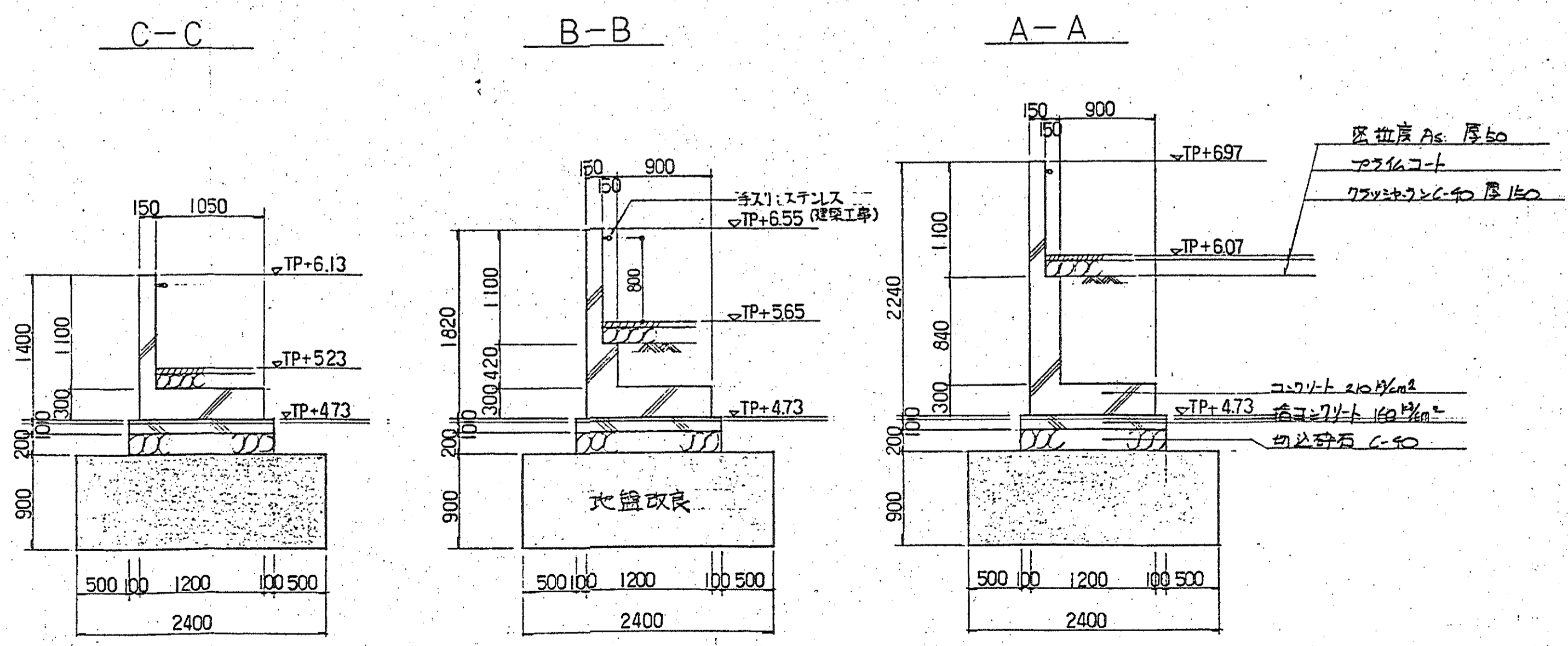
平面図 1:40

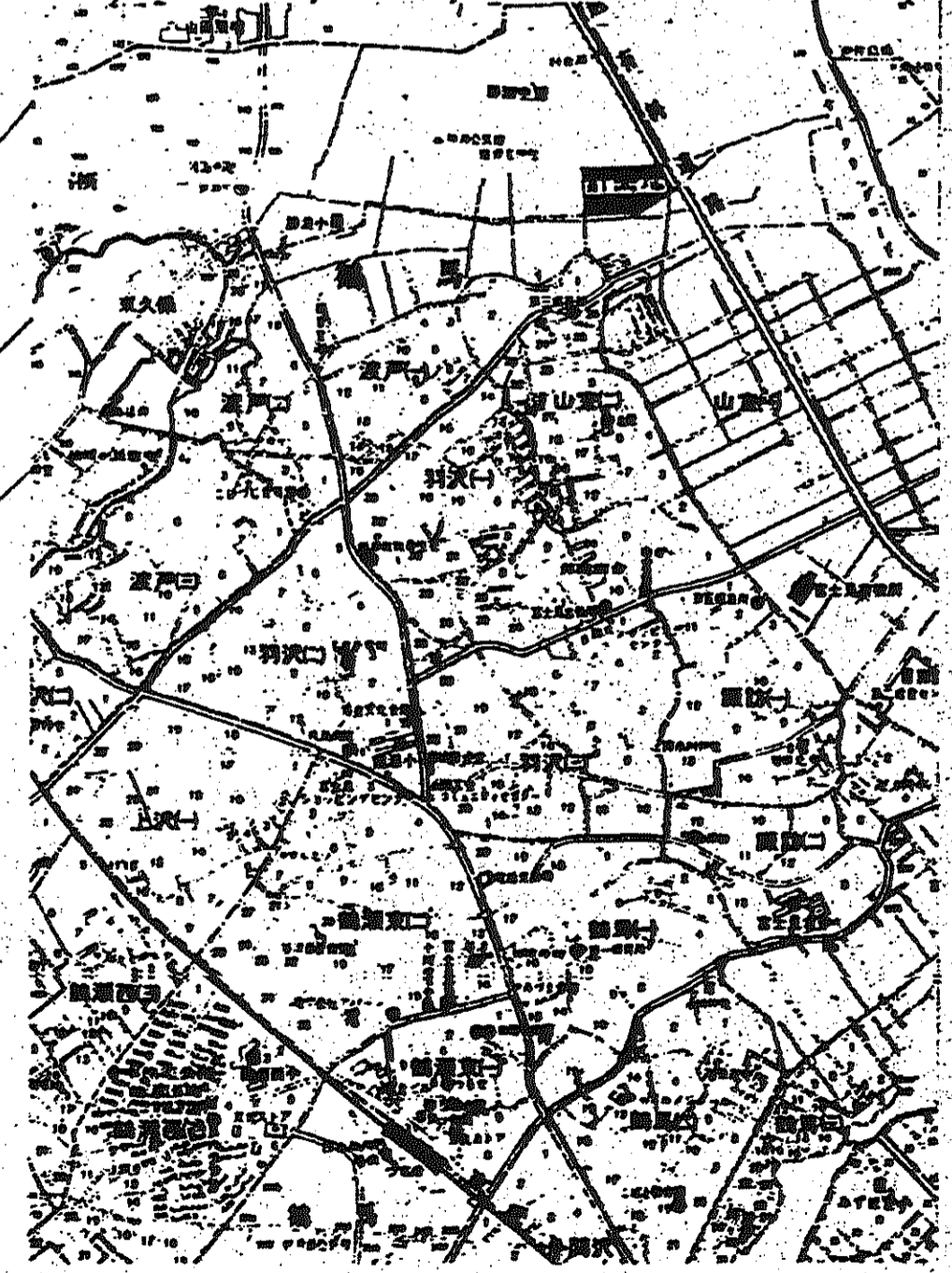
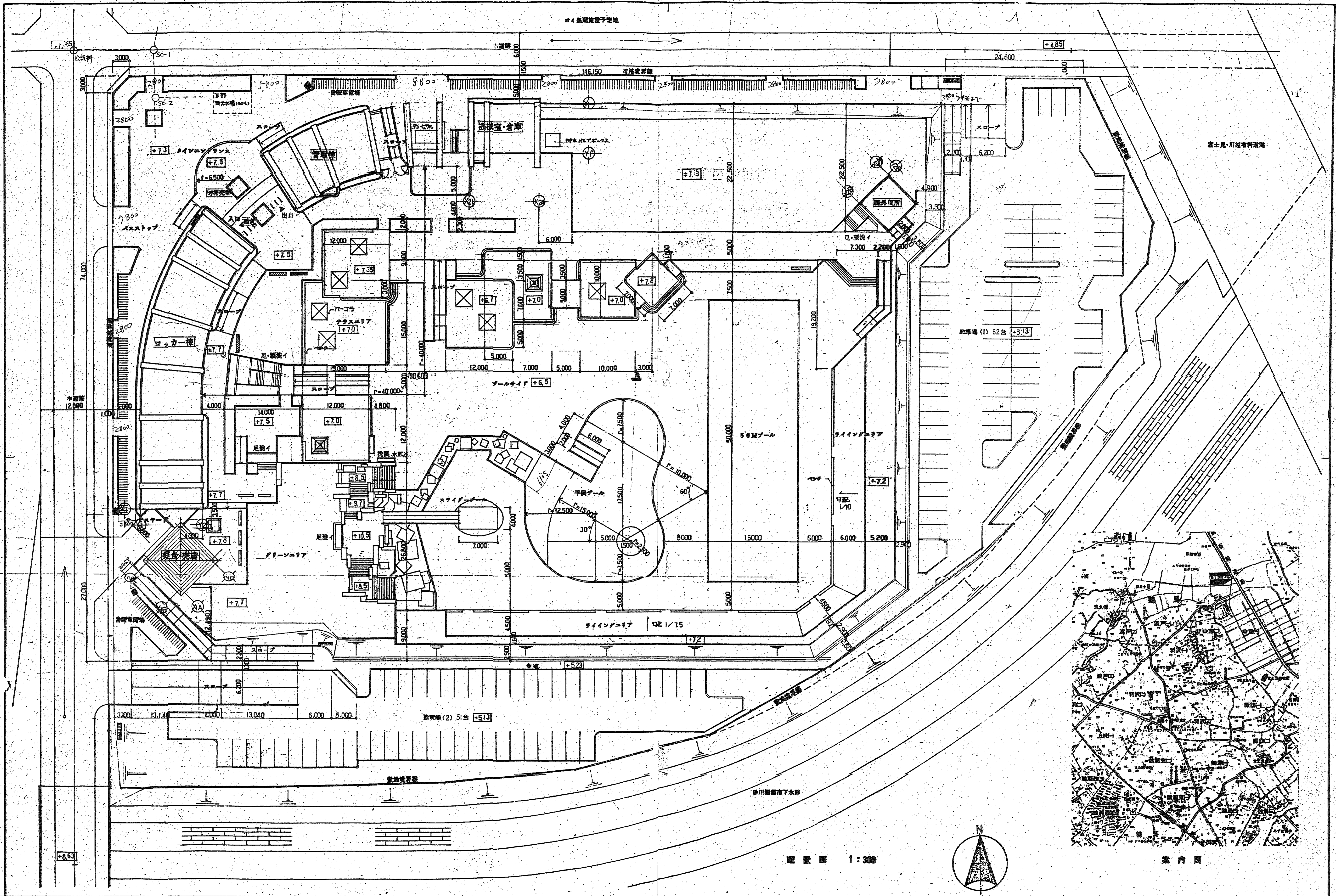


展開図 1:40

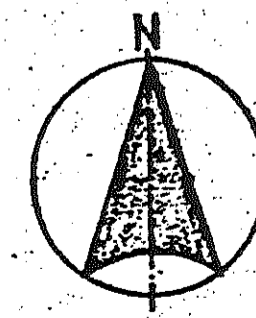


断面図 1:40





配置図 1:300

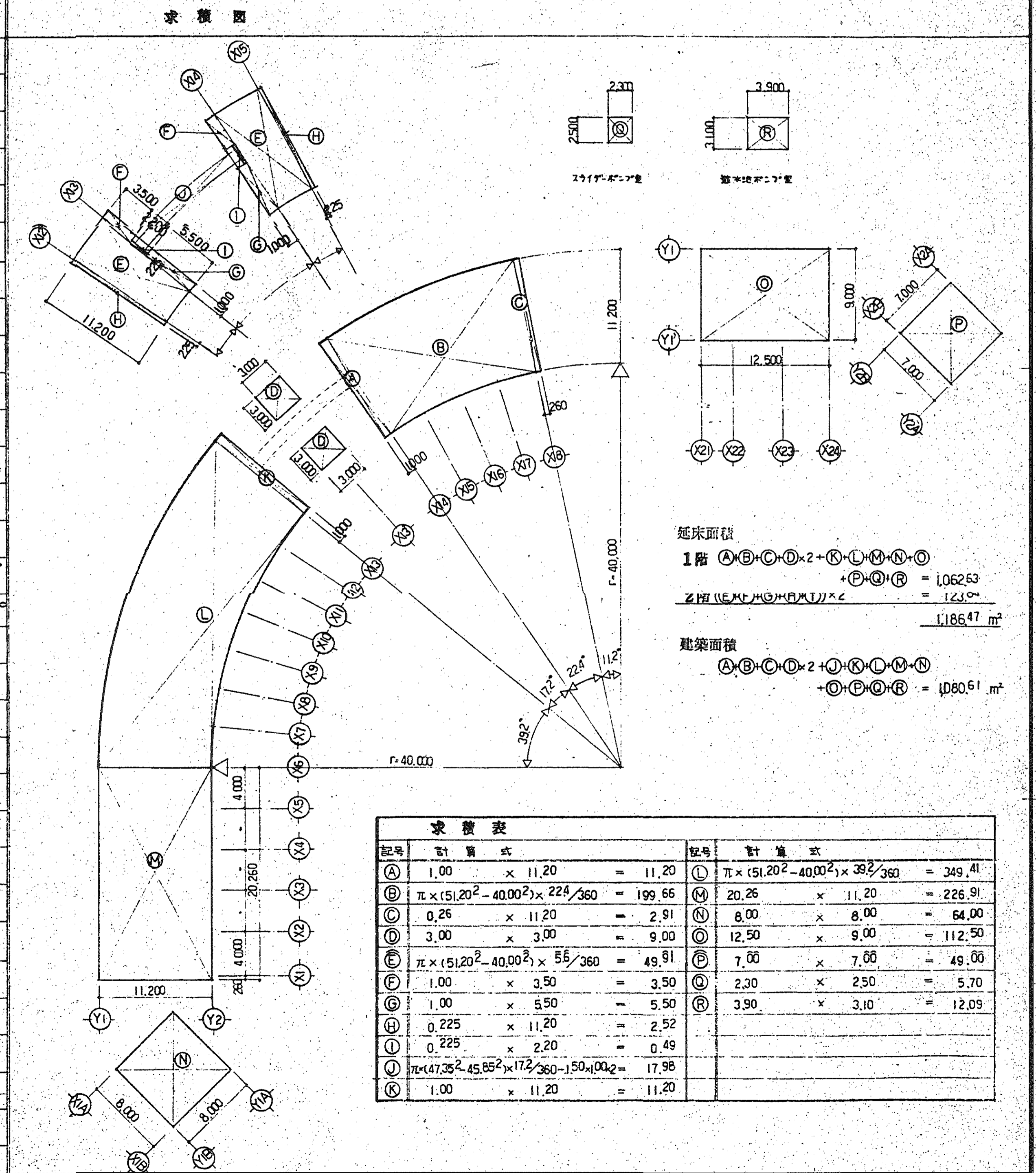


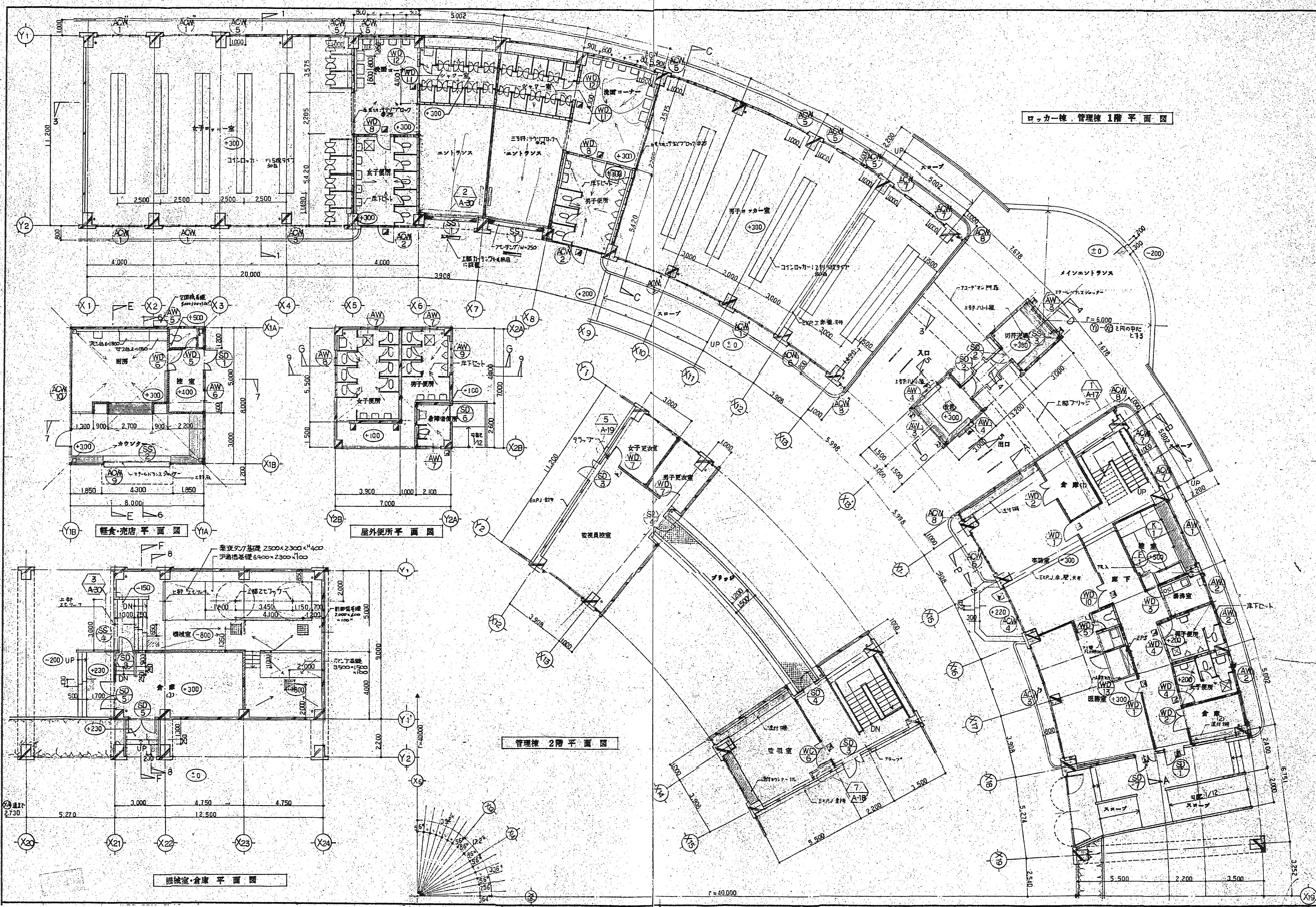
案内図

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 Email yanaseikei@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 86179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 図面名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事 配置図	S-1:300 (A-1) S-1:600 (A-3)	図面番号 KA 026
-----------------	---	---	------------------------------	----------------	----------------------------	------	------------	-----------------------	------------	-------------------------	--------------------------------	-------------------

外部仕上表	
屋根	アスファルト遮水防水 シルバイン工上 ルーフパイン: 鋼鉄構造 90mm厚 100φ 縦: 白ガケ管 100φ (室内は90φで防雨巻き仕舞)
外壁	(0) 外-棟 管理棟 管理棟 コンクリート打放し仕上げ 直貼り壁面: 耐水ALC版 120T 目付処理 1.5 貼付系 直付垂表 一部: RCT 系 直付垂表 一部: 耐水ALC版 120T 目付処理 1.5 貼付系 直付垂表 一部: RCT 系 直付垂表 (断熱: 断熱) 一部: コンクリート打放し仕上げ 一部: 耐水ALC版 120T 目付処理 1.5 貼付系 直付垂表 一部: RCT 系 直付垂表 一部: RCT 系 直付垂表
開口部	アルミサッシ (断熱仕上) 二重ガラス (断熱仕上) フリットガラス (断熱仕上) 防犯ガラス (断熱仕上) 防犯ガラス (断熱仕上)
硝子	熱線遮断ガラス 6mm

内部仕上表											
階	用途	床			壁			天井		備考	
		仕上	巾木	下地	仕上	仕上	天井高	天井高			
1F	事務室	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	ビニルソフト巾木	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	白根 (1300×900) 手紙箱 (1800×900) 欄 (直付)	
	医務室	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	白根 (1300×900) 手紙箱 (1800×900) 欄 (直付)	
	便所 (医務室)	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	7L9 シンボルボード 6 VP (数目貼)	
	洗面所 (医務室)	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	流し台 1.050 扉 1.050	
	控室	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	化粧石膏ボード 9	
	便所 (男子・女子)	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	7L9 シンボルボード 6 VP (数目貼)	
	講義室	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	ビニルソフト巾木	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	流し台 1.050 扉 1.050 床 1.050 (設備工事)	
	倉庫 (1・2)	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	化粧石膏ボード 9	
	廊下	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	化粧石膏ボード 9	
	階段	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	化粧石膏ボード 9	
	監視室	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	白根 (1300×900) 手紙箱 (1800×900) 欄 (直付)	
	監視員控室	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	白根 (1300×900) 手紙箱 (1800×900) 欄 (直付)	
	更衣室 (男子・女子)	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	白根 (1300×900) 手紙箱 (1800×900) 欄 (直付)	
	切符売場	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.100	2.100	カウチ: ポリエステル化粧板 1.700×0.700	
	改札	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.100	2.100	カウチ: ポリエステル化粧板 1.700×0.700	
	ロッカー棟	ロッカー室 (男子・女子)	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9
		シャワー室	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	7L9 シンボルボード 6 VP (数目貼)
		洗面所	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.540	2.540	化粧石膏ボード 9
エントランス (男子・女子)		全上	モルタル巾木 VP	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
飲食・売店	厨房	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
	カウンター部	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
	控室	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.300	2.300	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
飛行室	便所	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
	機械室	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
屋外便所	倉庫 (3)	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
	便所 (男子・女子)	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
	身障者便所	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
管理棟	倉庫 (4)	全上	全上	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.400	2.400	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	
	洗面ユニット	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	RC・CB ALC LGS	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	モルタル下地 1.5 貼付系 直付垂表	石膏ボード 12	2.450	2.450	石膏ボード 12 化粧石膏ボード 9	





ロッカー棟 管理棟 1階平面図

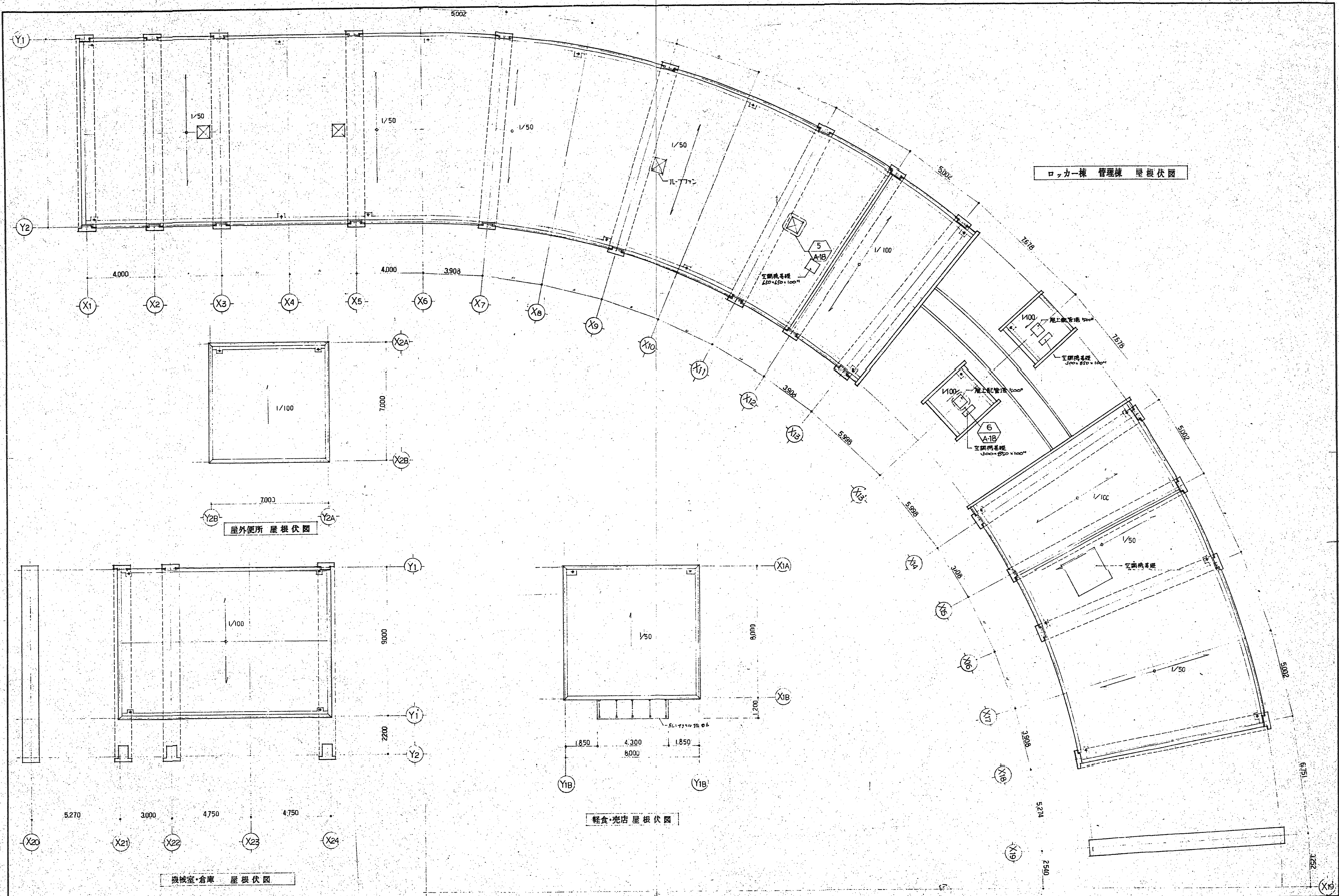
管理棟 2階平面図

軽食・売店 平面図

屋外便所 平面図

機械室・倉庫 平面図

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 一級建築士事務所 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 Email yanaisok@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 65179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 NOTE 柳井	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事 図面名 平面図	S-1:100 (A-1) S-1:200 (A-3)	図面番号 KA 028
-----------------	---	------------------------------	----------------	------------------------------------	------------	-----------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------



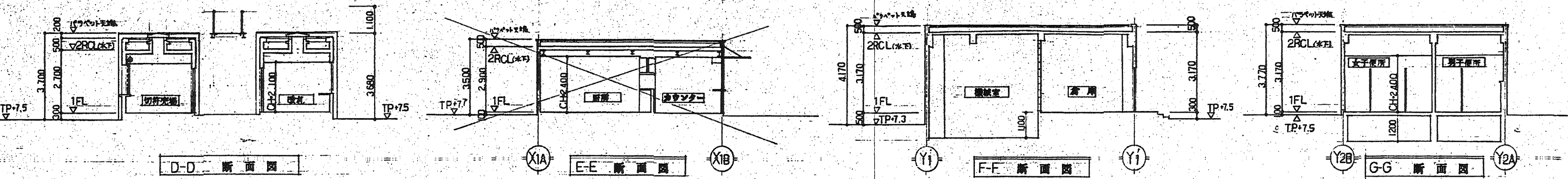
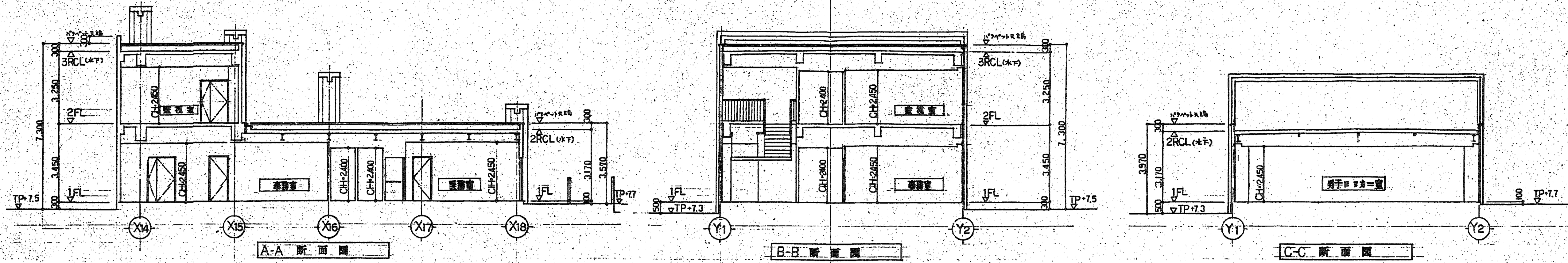
ロッカー棟 管理棟 屋根伏図

屋外便所 屋根伏図

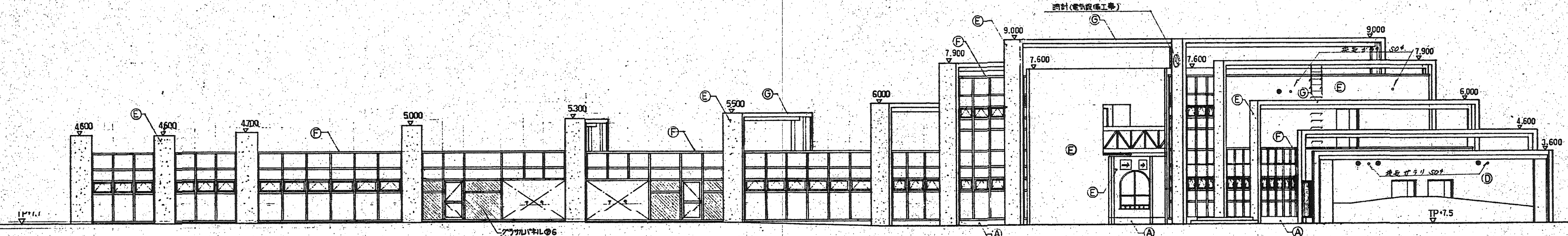
軽食・売店 屋根伏図

機械室・倉庫 屋根伏図

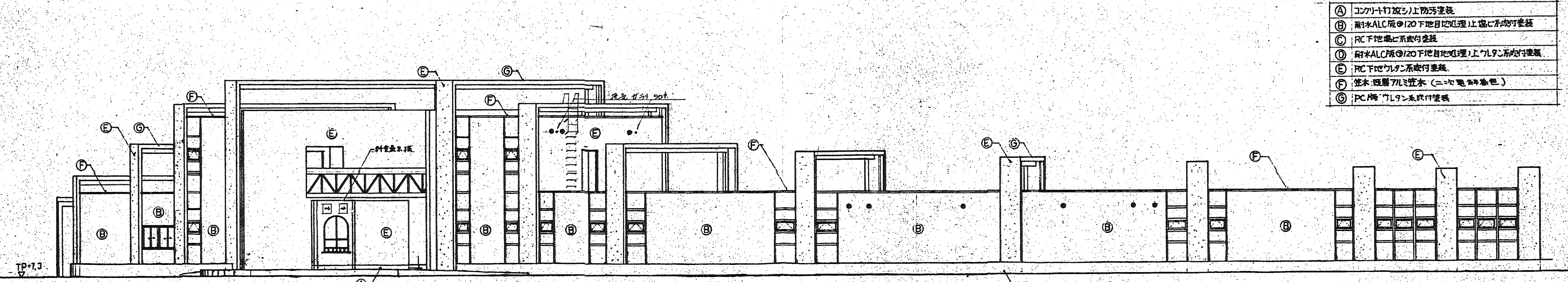
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 一級建築士事務所 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 Email yanai@kai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE 柳井	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 K A 029
			変更年月日													



※ 飲食店設計変更図参照

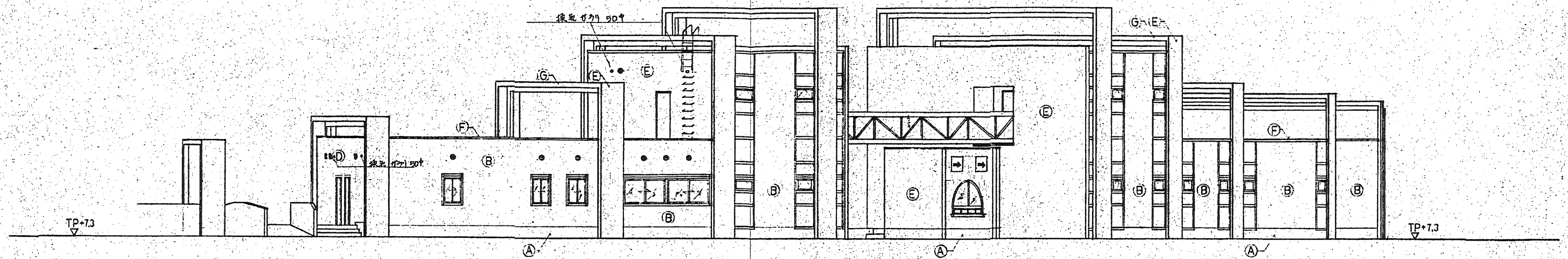


ロッカー棟管理棟 東立面図 ※7.71・7.72・4.7は工機配入のりはGL+0=TP+7.5と基準とする

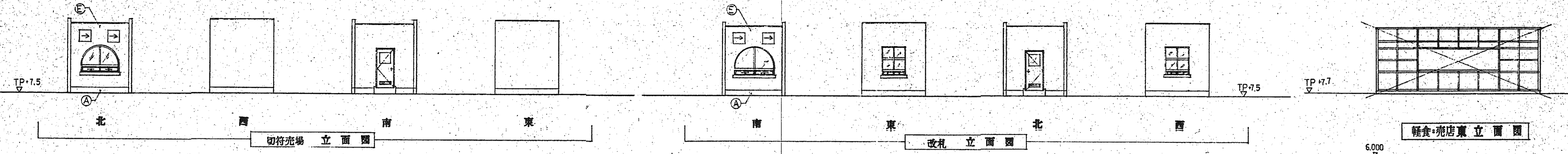


ロッカー棟管理棟 西立面図

- Ⓐ コンクリート打放し上汚染塗装
- Ⓑ 耐水ALC版①/20下地目地処理止境に系成付塗装
- Ⓒ RC下地端に系成付塗装
- Ⓓ 耐水ALC版①/20下地目地処理上7L9系成付塗装
- Ⓔ RC下地7L9系成付塗装
- Ⓕ 塗木: 珪質ポリシラン (ニッケル無機系)
- Ⓖ PC板7L9系成付塗装



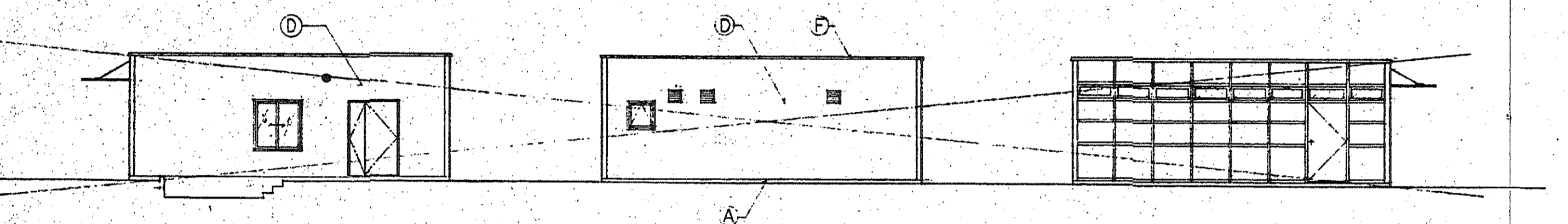
ロッカー棟、管理棟 北立面図



軽食売場 立面図

改札 立面図

軽食売場東立面図

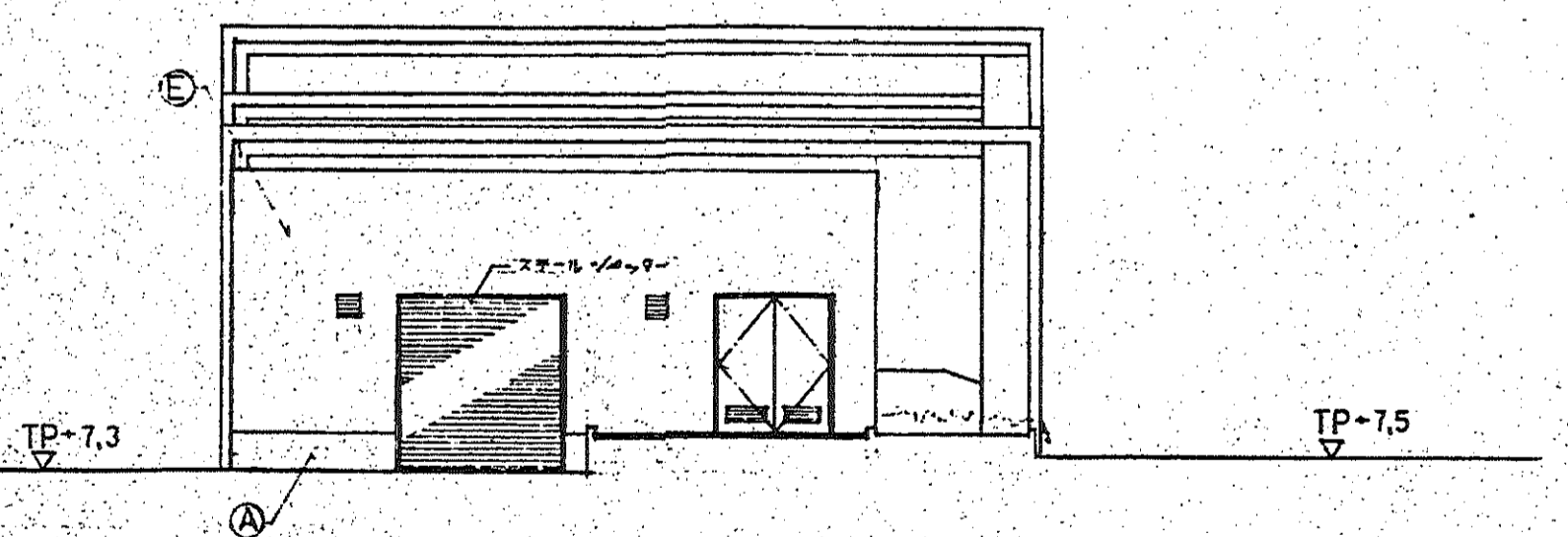
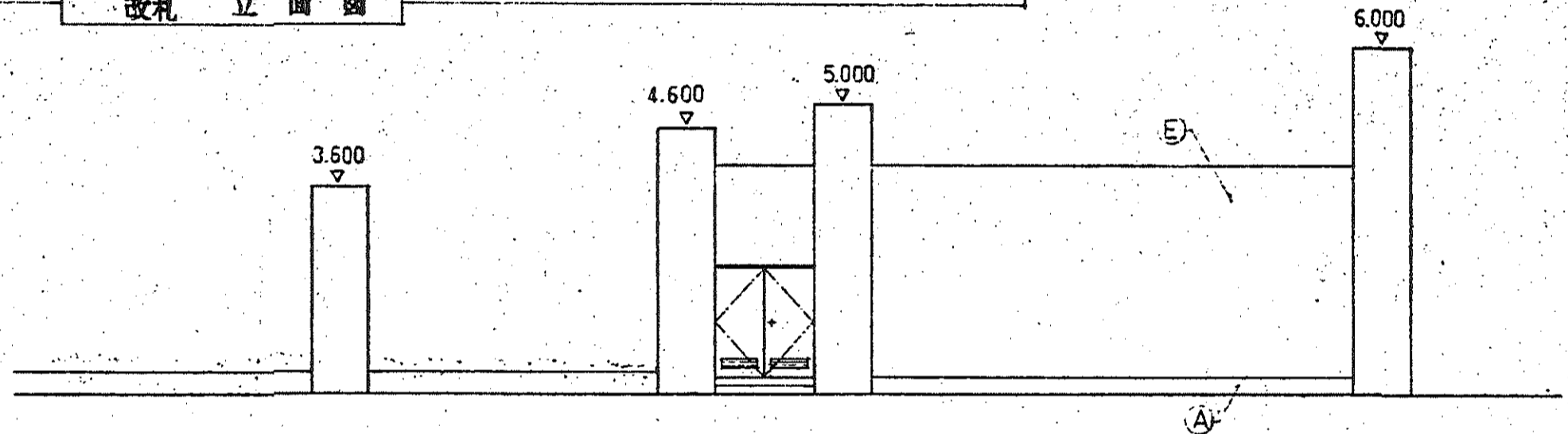


軽食売場 北立面図

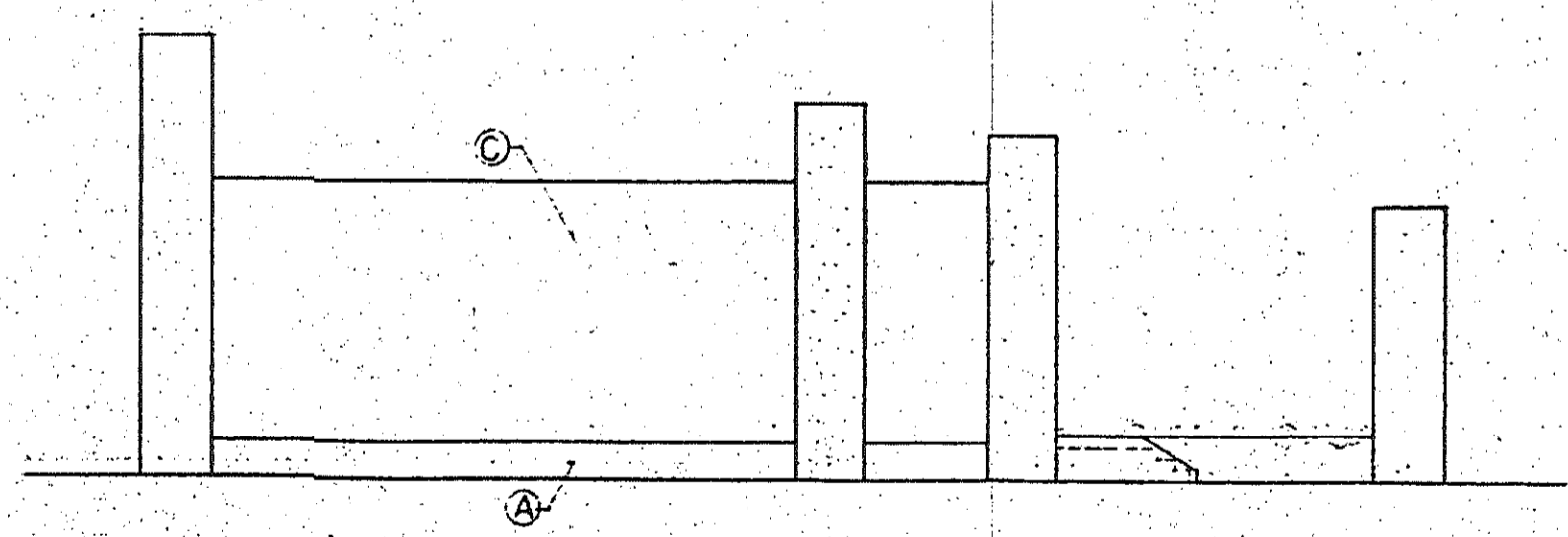
軽食売場 西立面図

軽食売場 南立面図

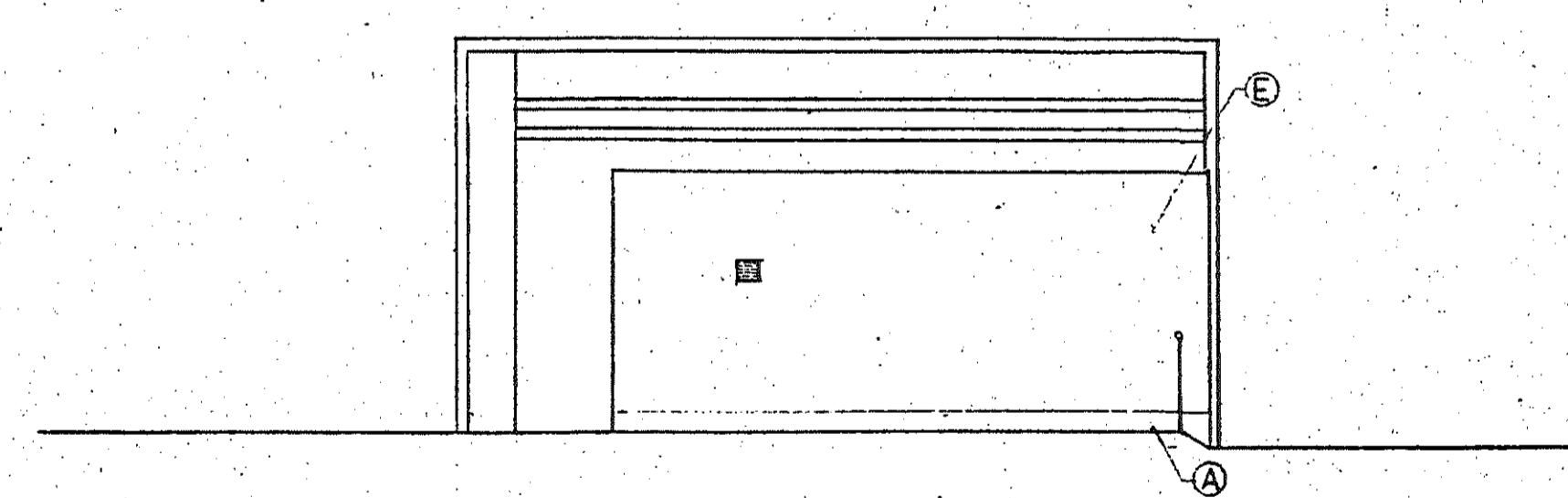
機械室・倉庫 南立面図



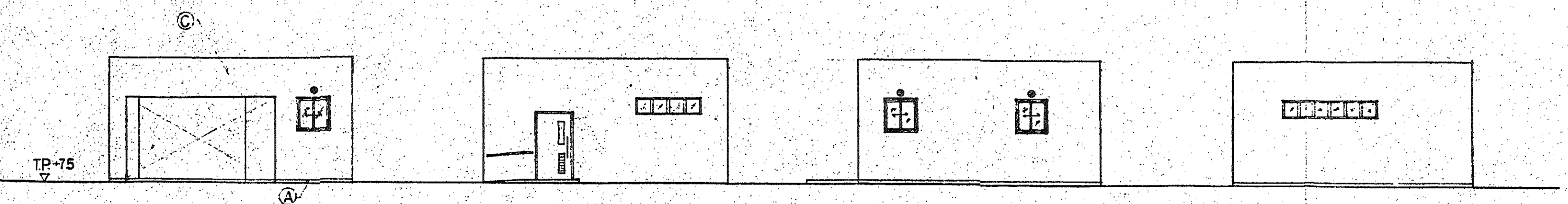
機械室・倉庫 西立面図



機械室・倉庫 北立面図



機械室・倉庫 東立面図

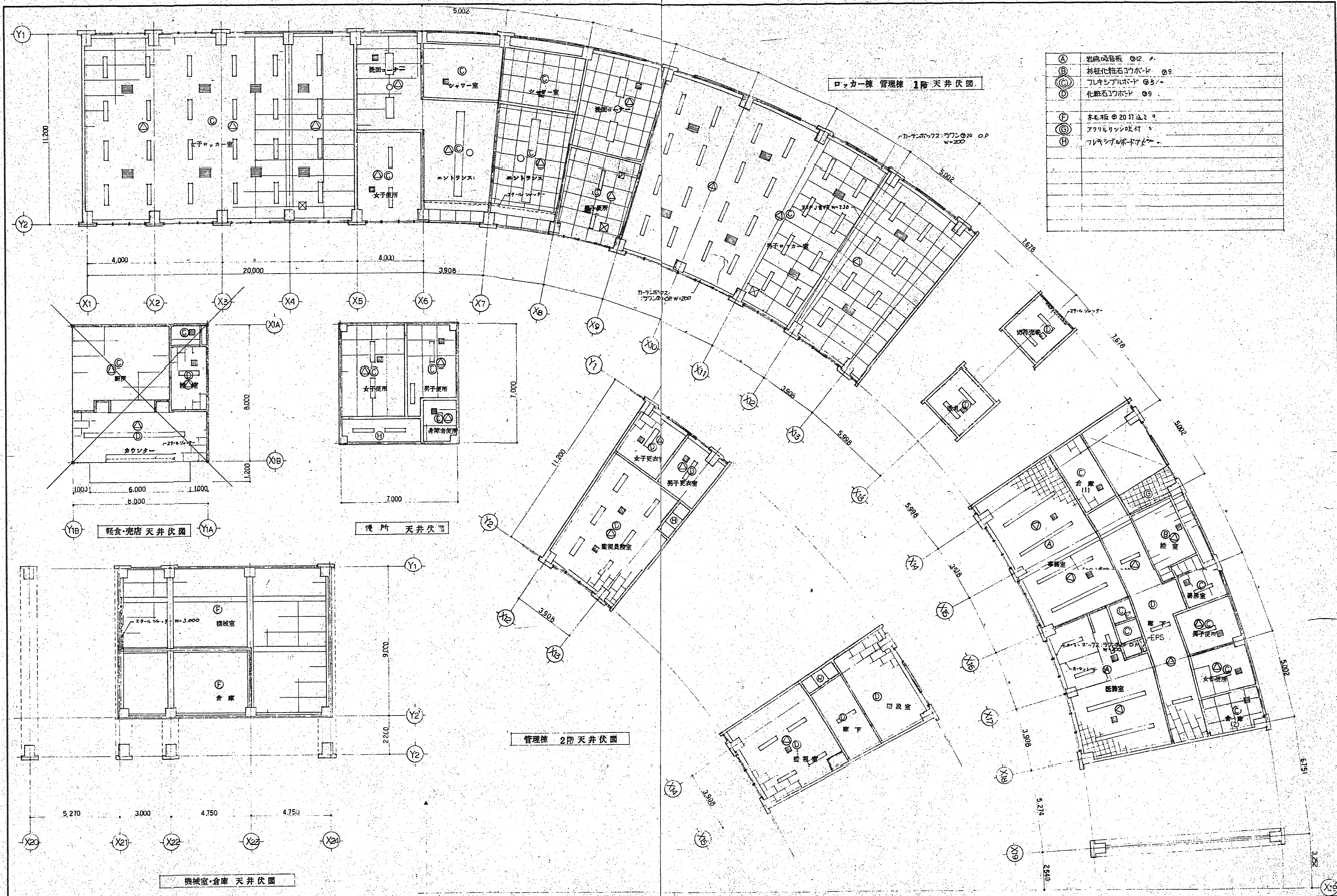


屋外便所 西立面図

屋外便所 南立面図

屋外便所 東立面図

屋外便所 北立面図



Ⓐ	岩綿吸音板 ①2
Ⓑ	杉板化粧石工ボード ①9
Ⓒ	フレキシブルボード ①5/①6
Ⓓ	化粧石工ボード ①9
Ⓕ	木モック ①20 11 ムミ
Ⓖ	アクリルサンゴ付
Ⓗ	フレキシブルボードサイダー

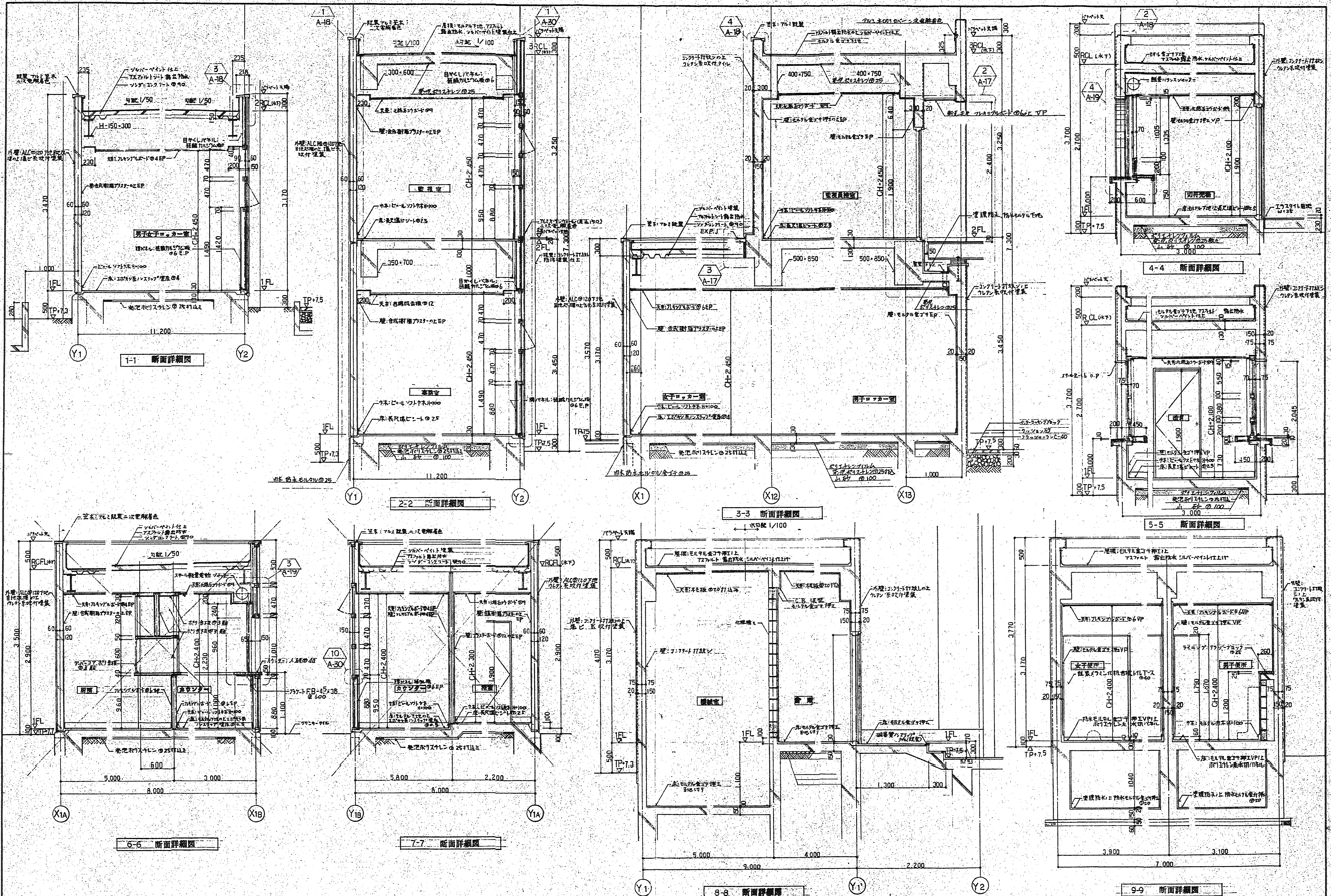
ロッカー棟 管理棟 1階天井伏図

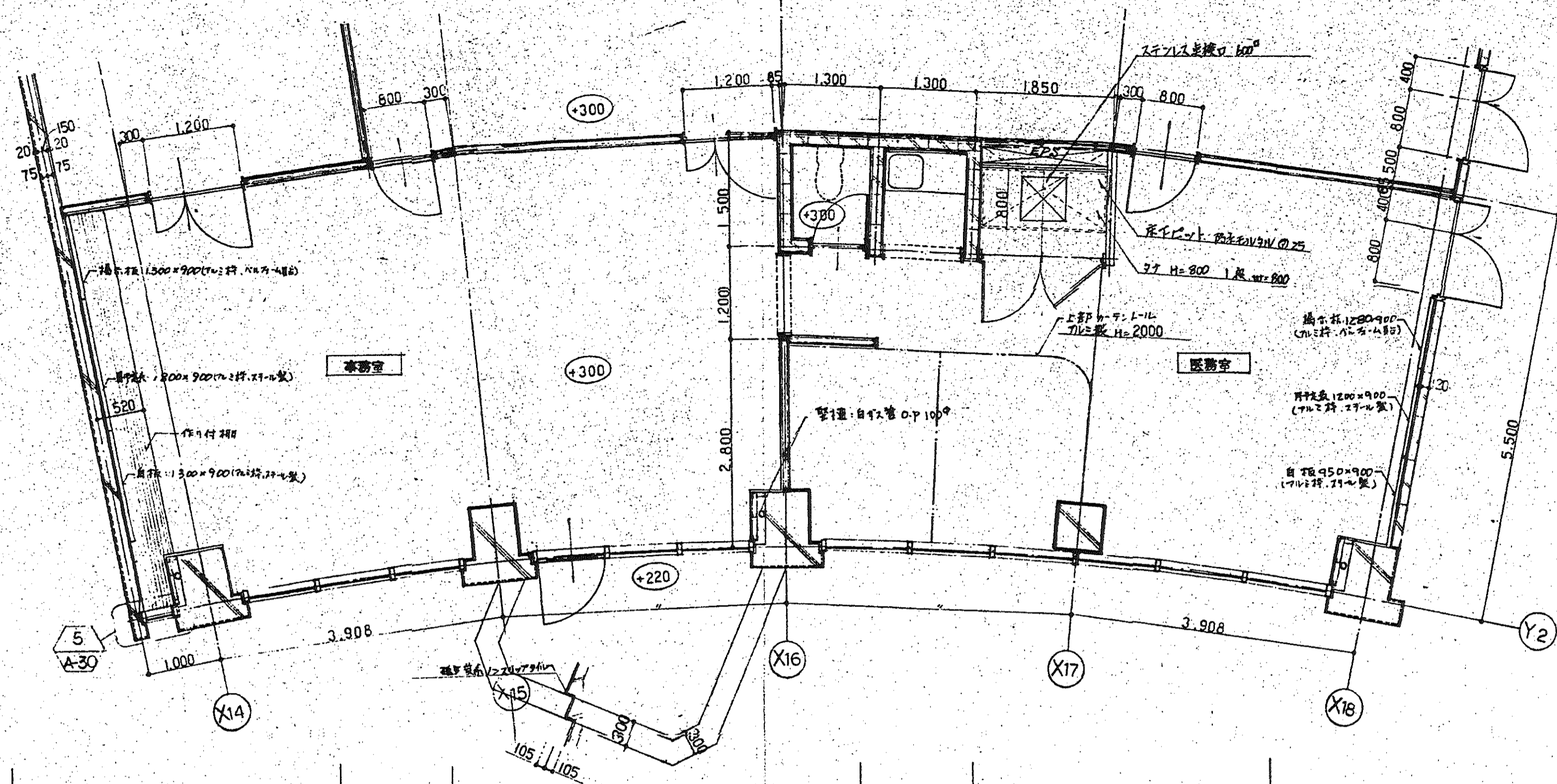
軽食・売店天井伏図

便所天井伏図

管理棟 2階天井伏図

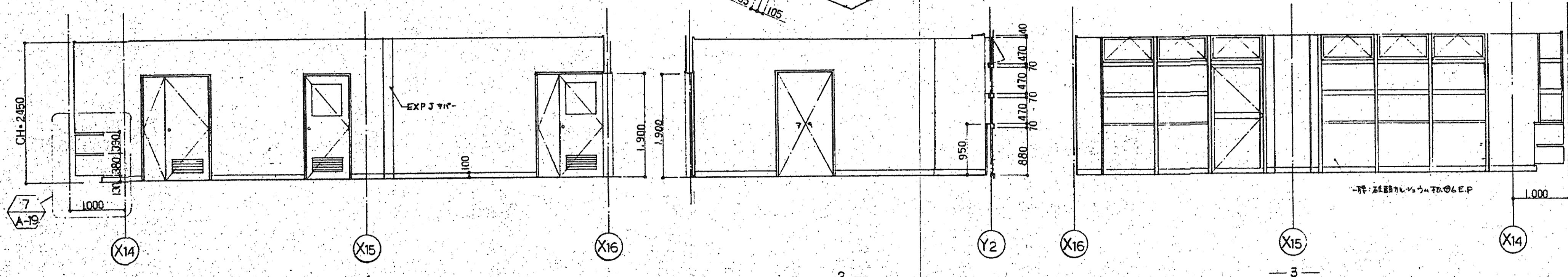
機械室・倉庫天井伏図





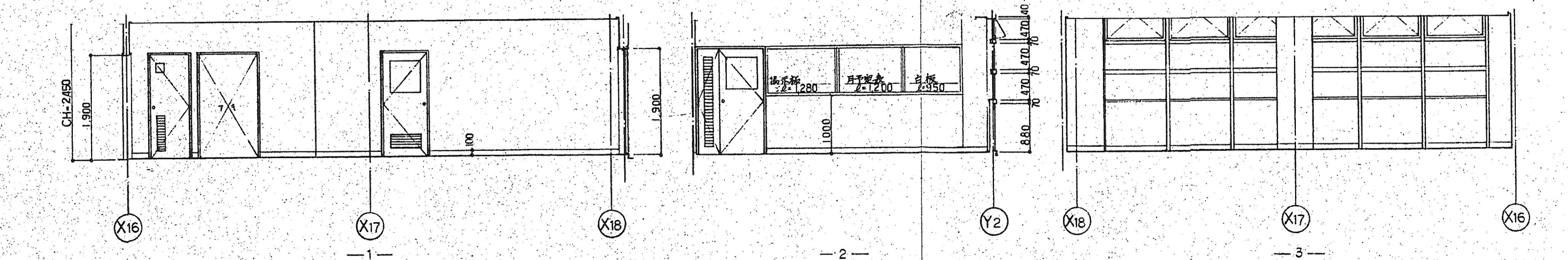
事務室

床	長尺建付シート@25
巾木	ビニールソラ材H=100
壁	珪藻土クロスE.P
天井	ビニールクロスE.P
天井	珪藻土クロス@12



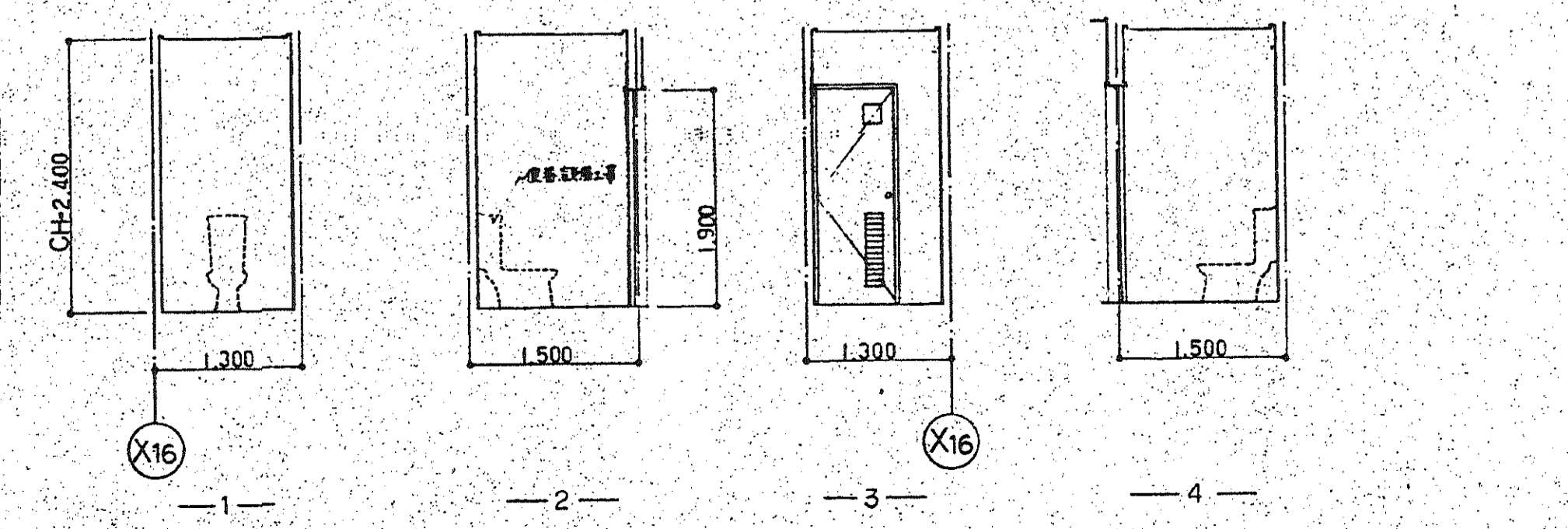
医務室

床	長尺建付シート@25
巾木	ビニールソラ材H=100
壁	珪藻土クロスE.P
天井	ビニールクロスE.P
天井	珪藻土クロス@12



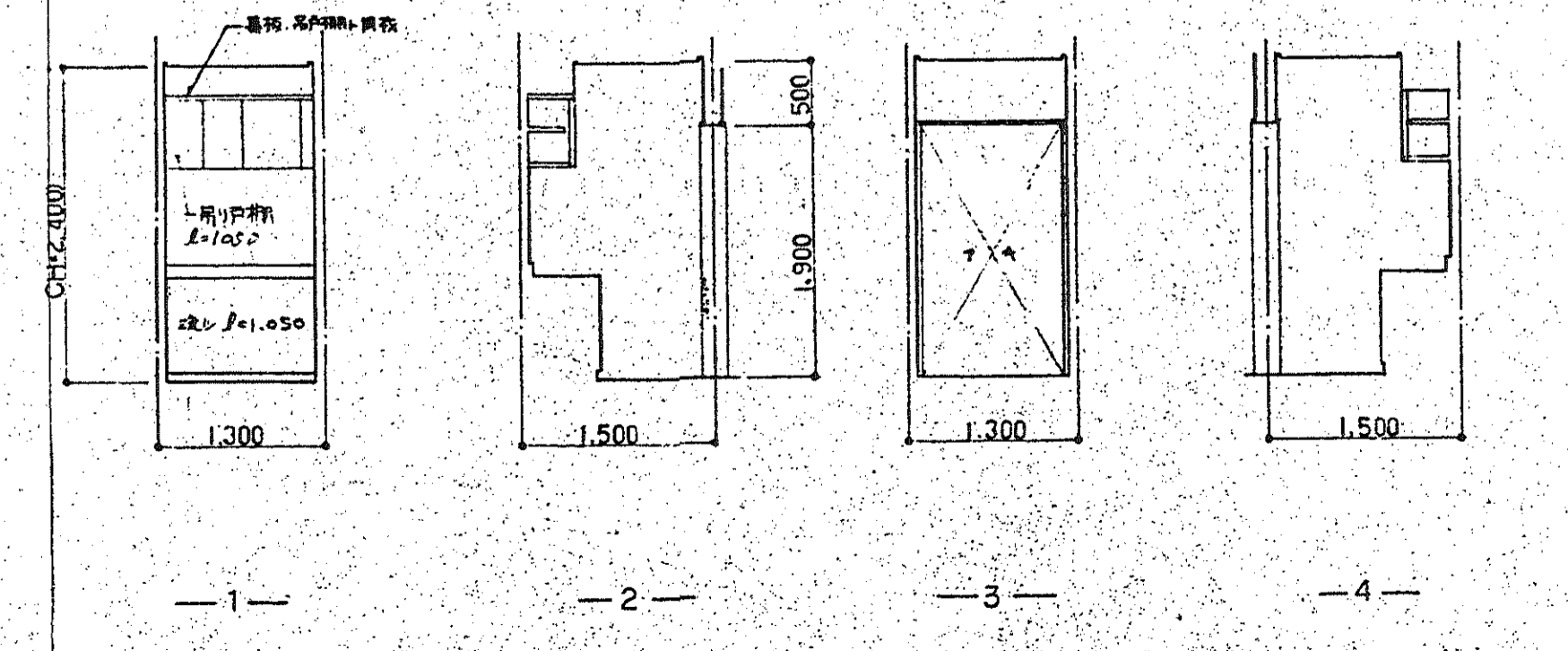
便所

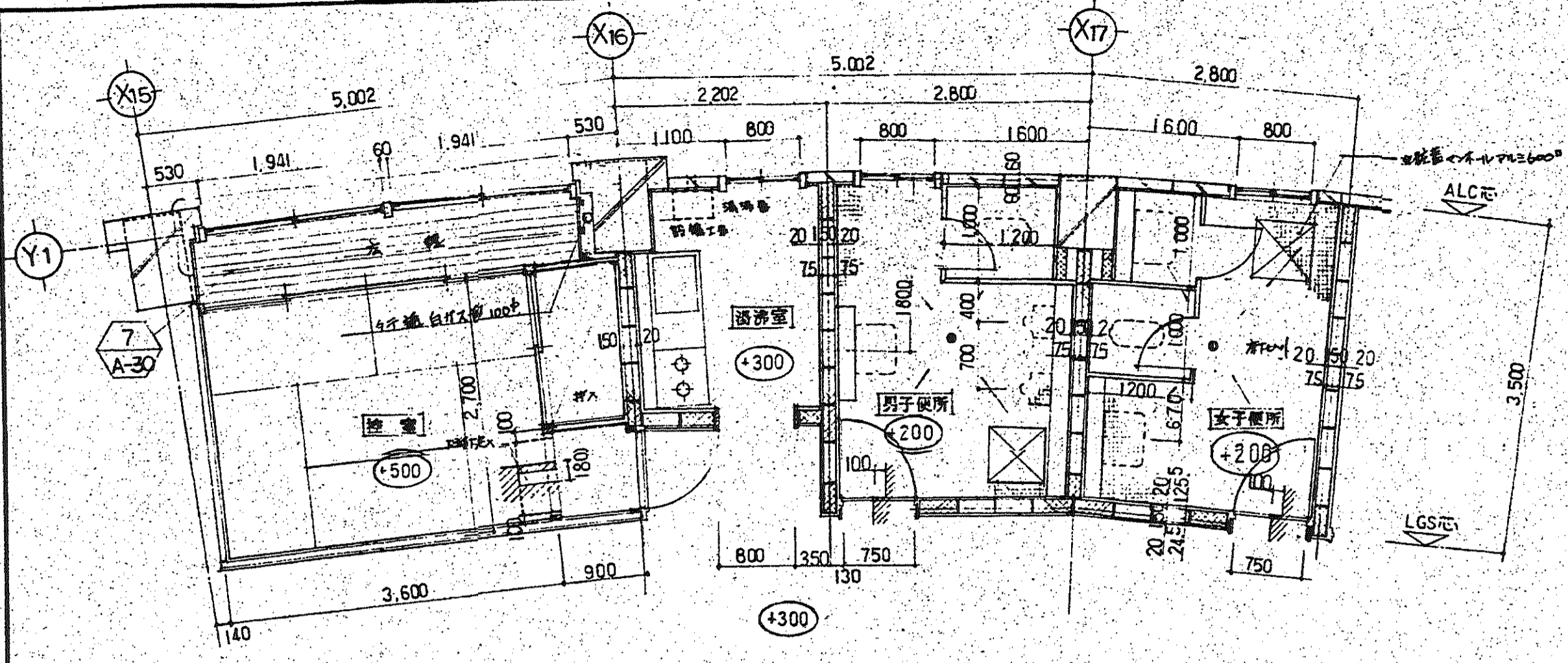
床	長尺建付シート@25
巾木	ビニールソラ材H=100
壁	ビニールクロスE.P
天井	全上
天井	スチール製開口@4VP



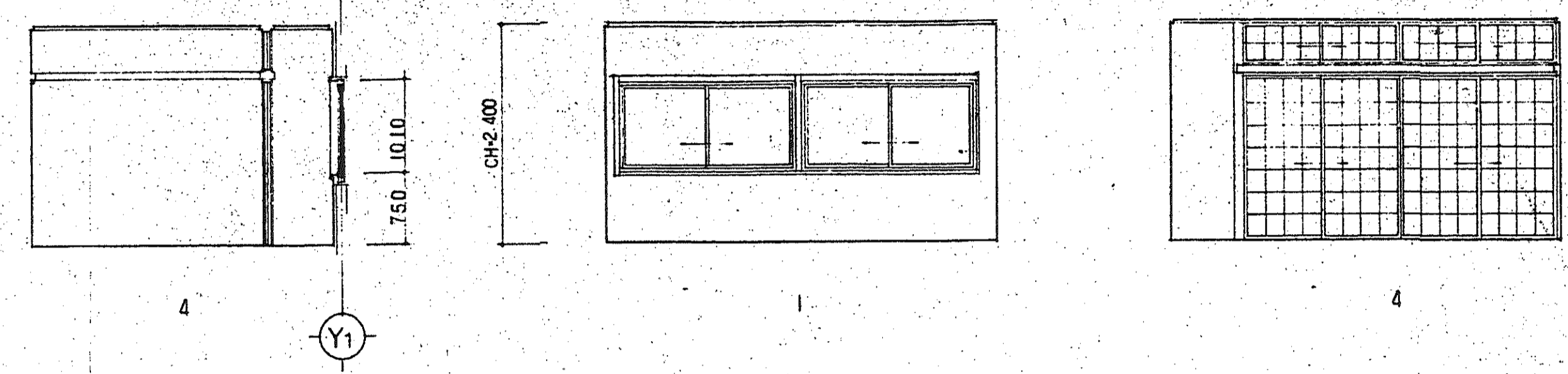
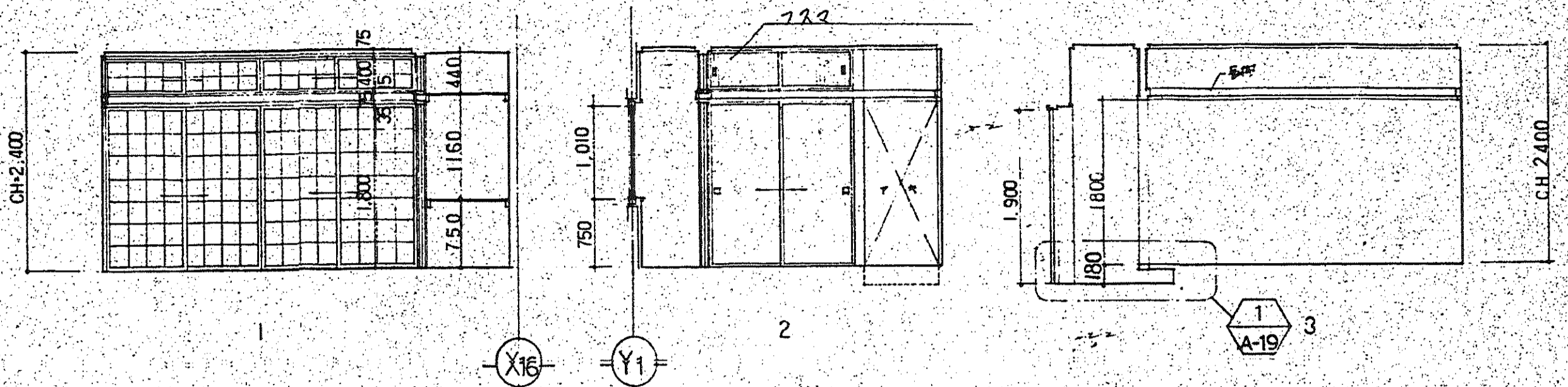
洗面所

床	長尺建付シート@25
巾木	ビニールソラ材H=100
壁	ビニールクロスE.P
天井	全上
天井	スチール製開口@4VP

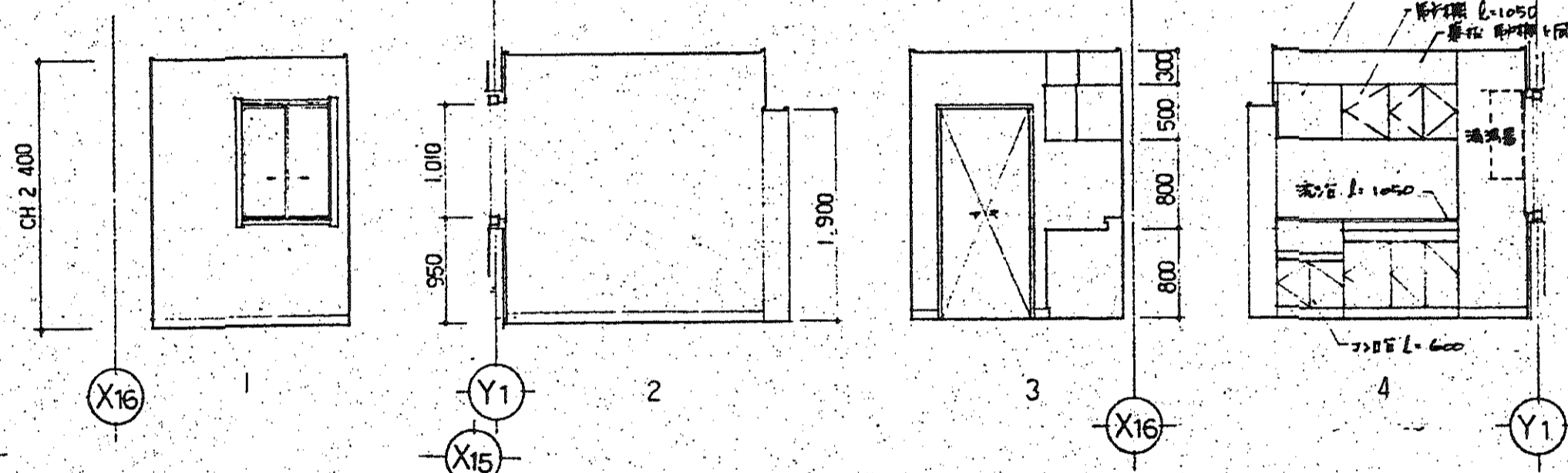




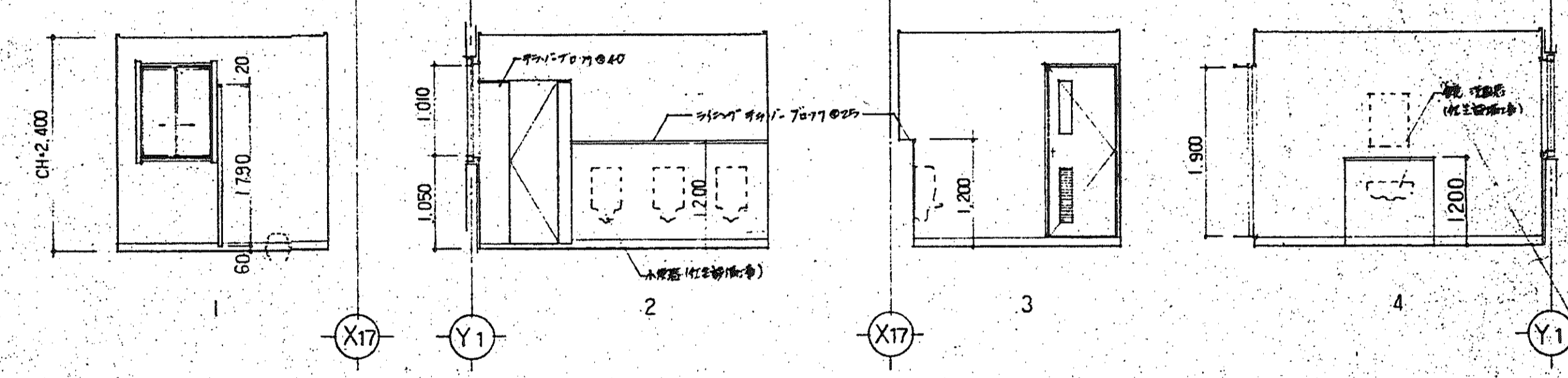
浴室 水栓	
床	FRP製 2.50
止水	FRP製 100
壁	ビニル702貼
床	タタ
天井	FRP製 2.50
欄干	FRP製 100



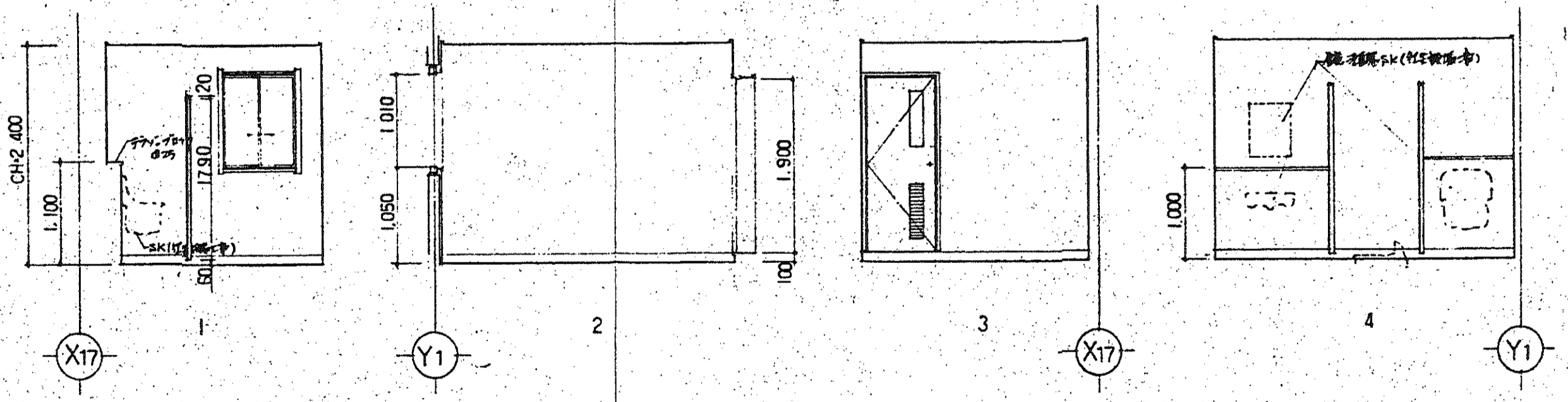
浴室	
床	FRP製 2.50
止水	FRP製 100
壁	EP
床	タタ
天井	FRP製 2.50
欄干	FRP製 100



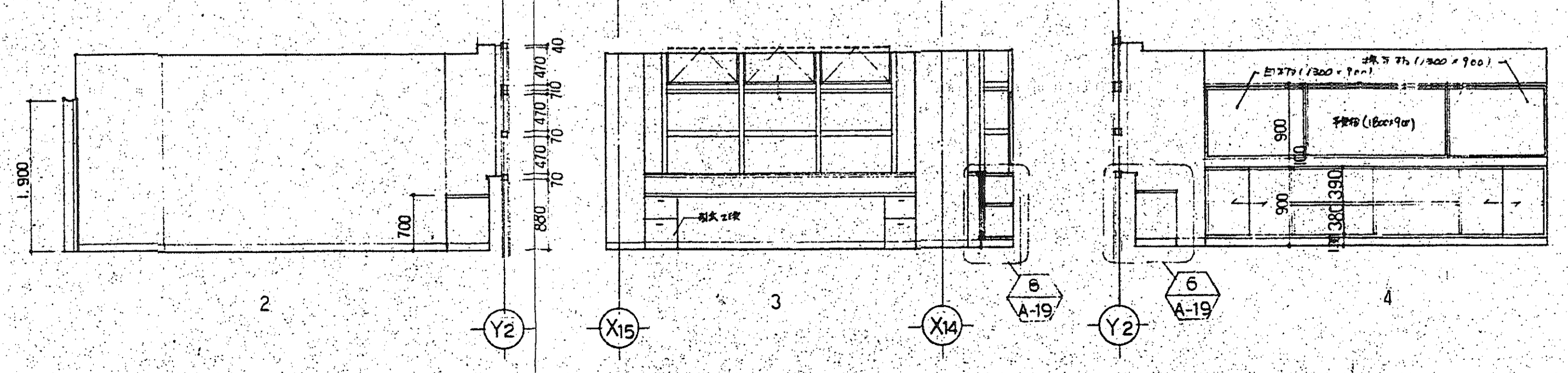
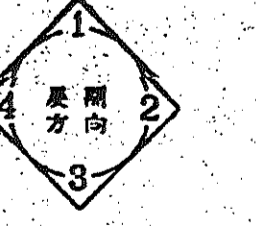
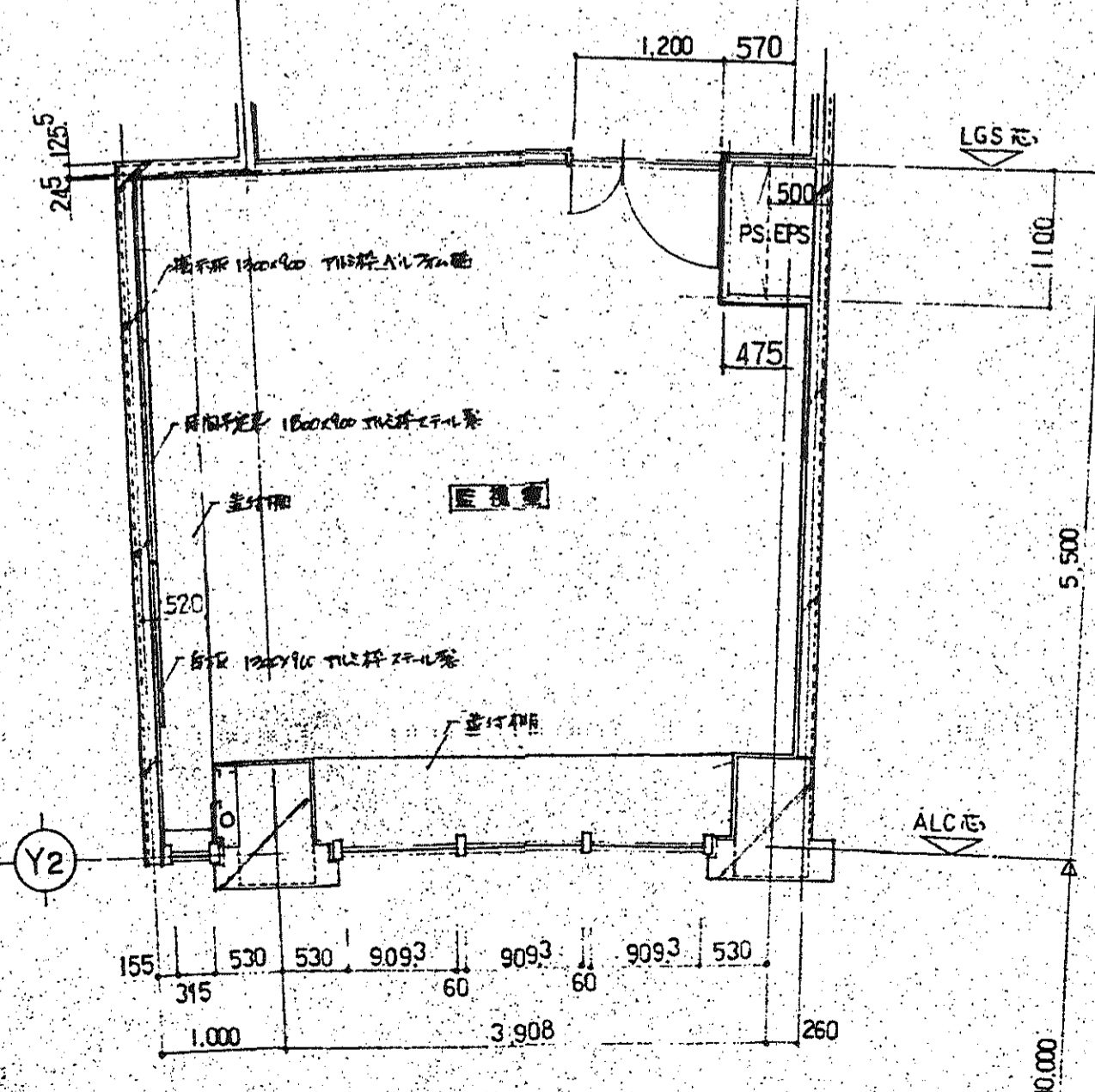
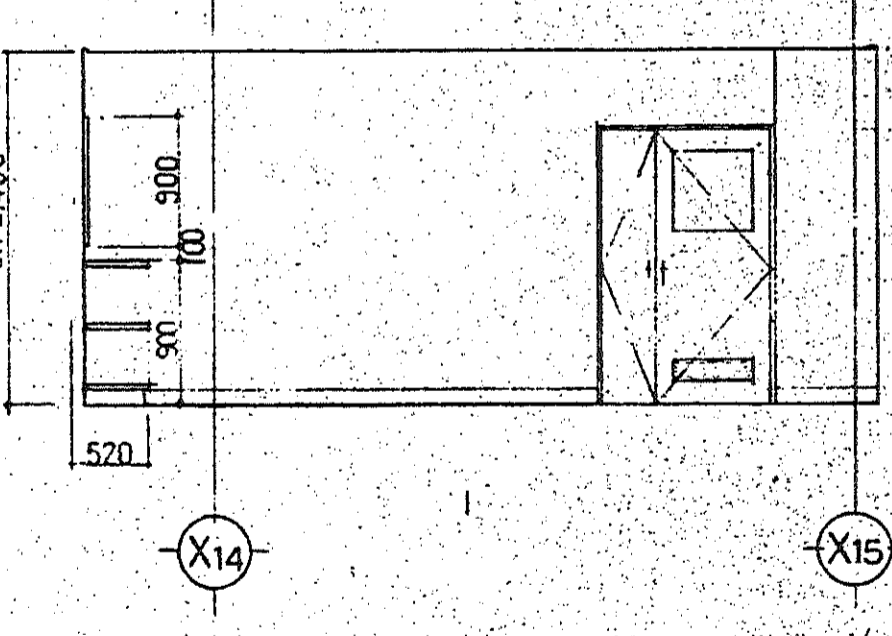
男子便所	
床	FRP製 2.50
止水	FRP製 100
壁	FRP製 100
床	タタ
天井	FRP製 2.50
欄干	FRP製 100

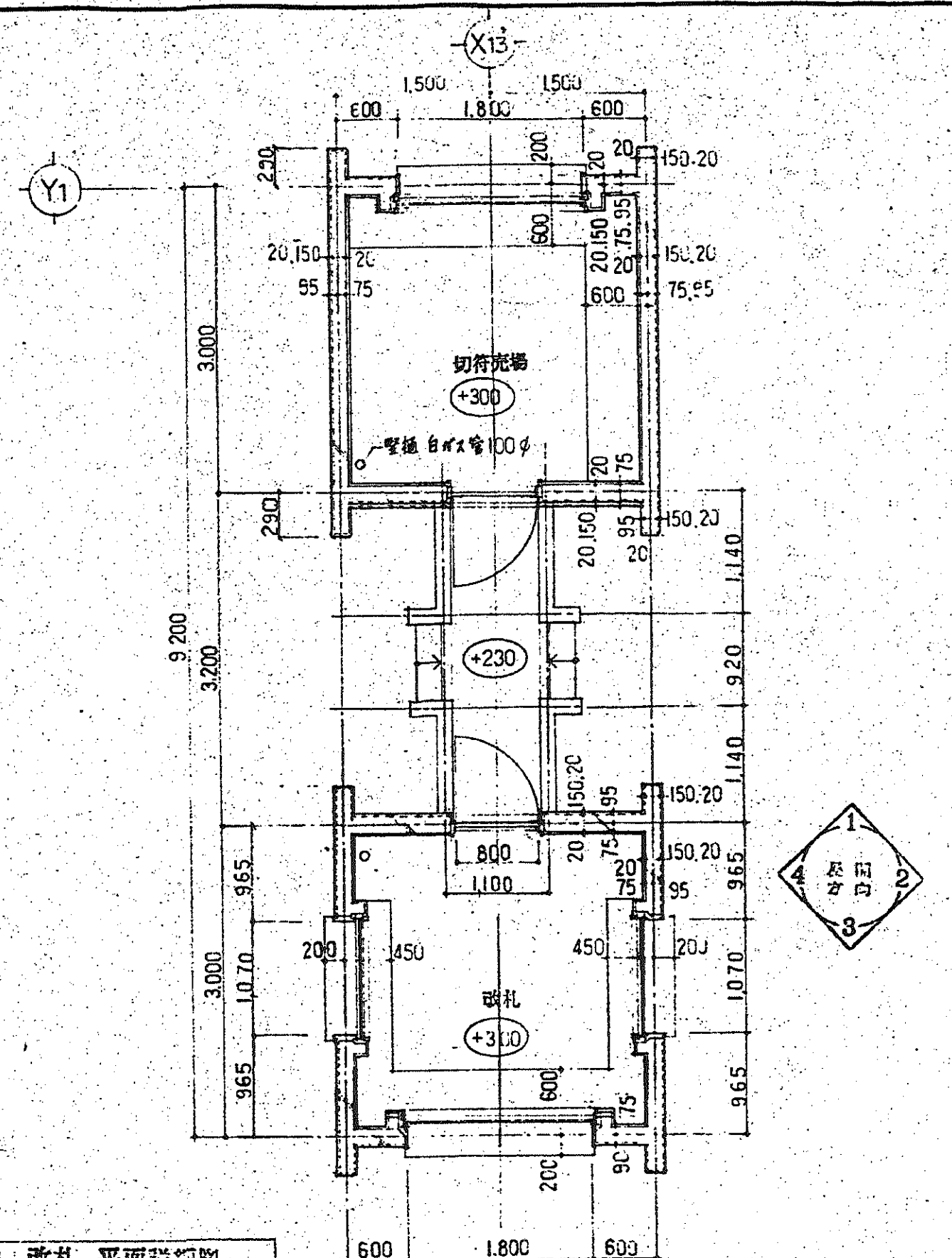


女子便所	
床	FRP製 2.50
止水	FRP製 100
壁	FRP製 100
床	タタ
天井	FRP製 2.50
欄干	FRP製 100



監視室	
床	FRP製 2.50
止水	FRP製 100
壁	EP
床	タタ
天井	FRP製 2.50
欄干	FRP製 100





切符売場・改札 平面詳細図

室名	切符売場
床	床板フローリング ②×5
中床	ビニルシート ④×100
壁	珪藻土系珪藻土 VP
天井	珪藻土系珪藻土 VP
扉	木製 ④×100

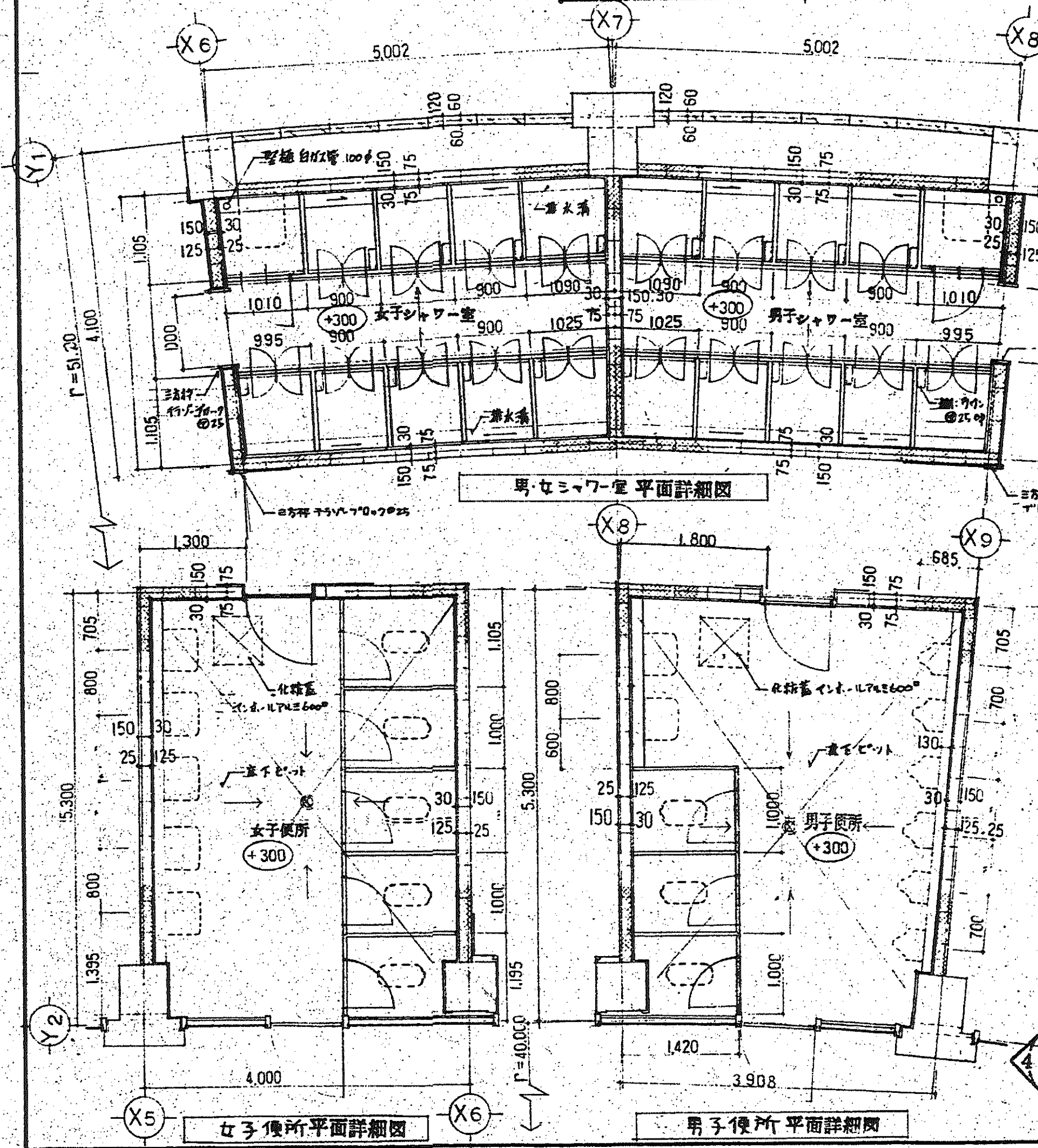
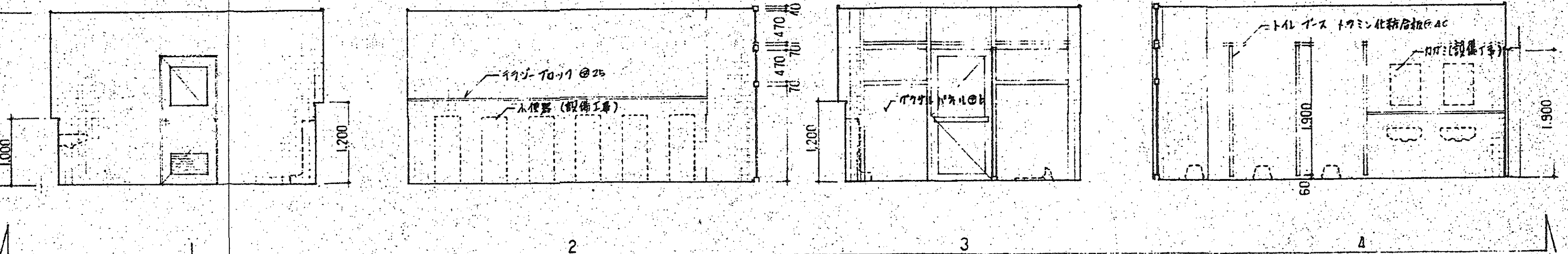
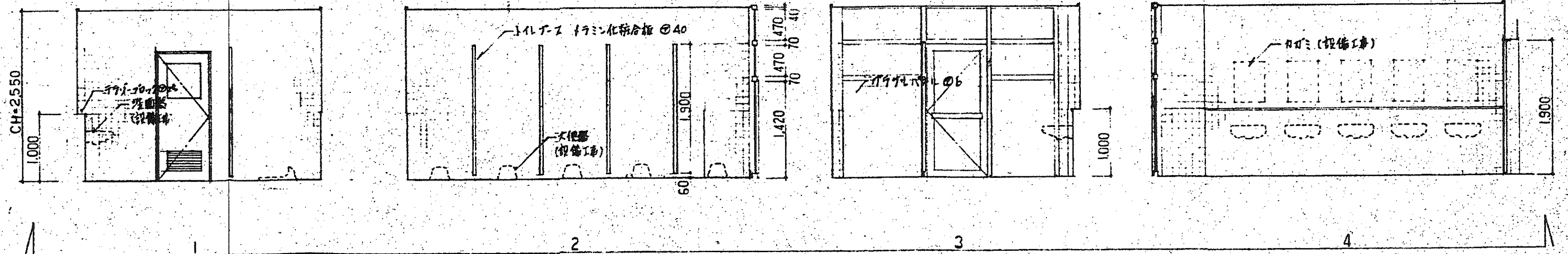
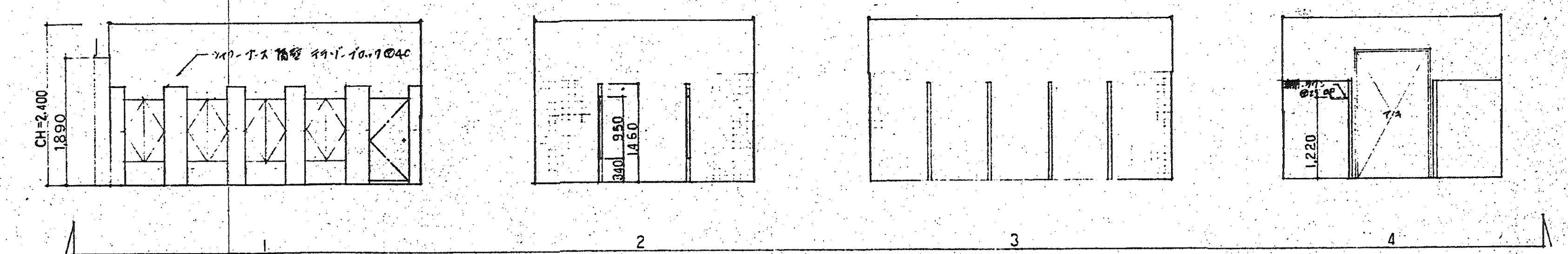
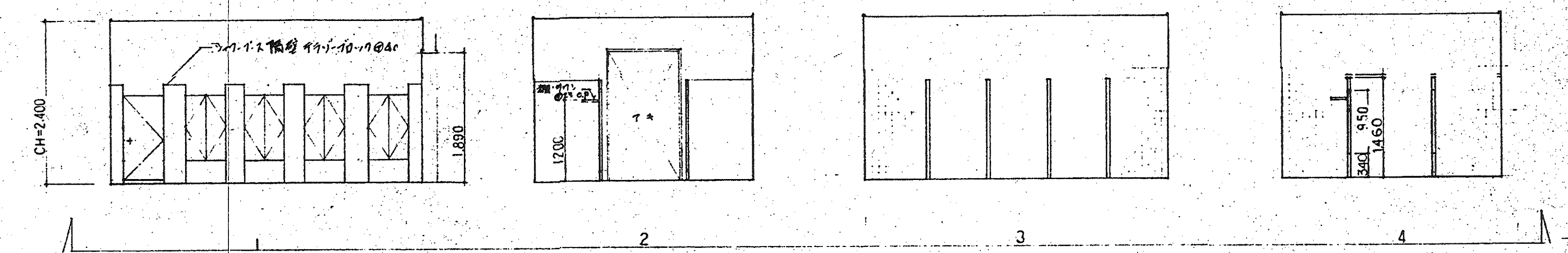
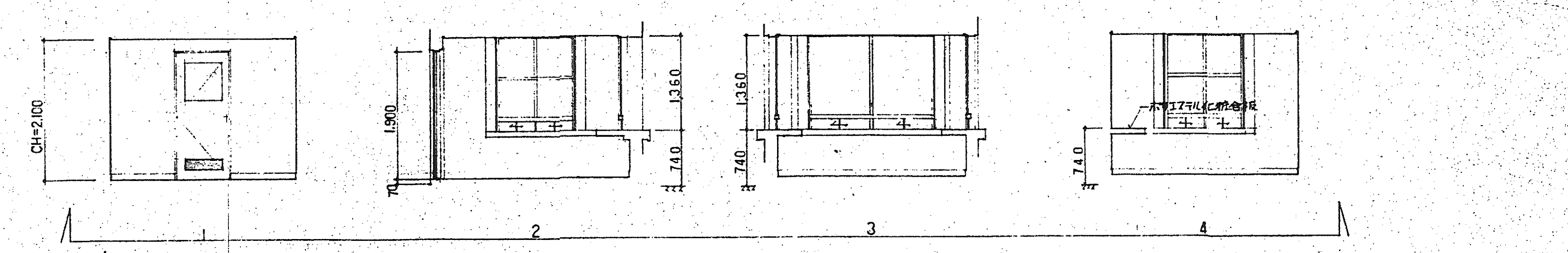
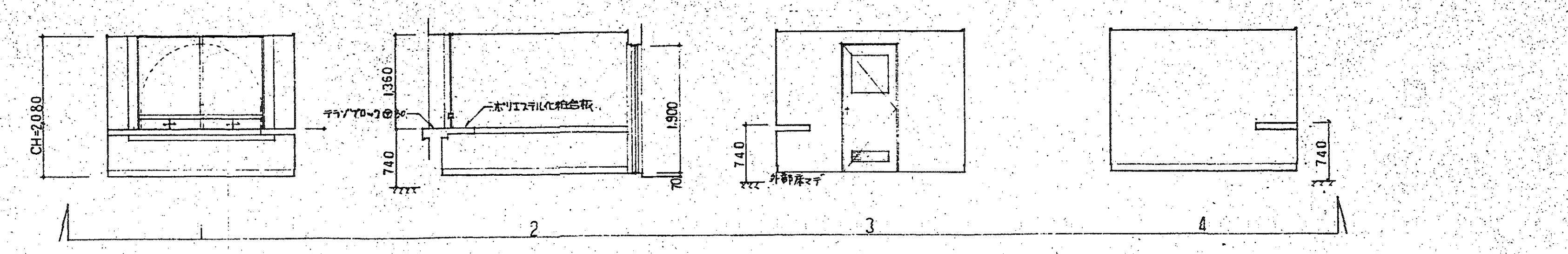
室名	改札
床	床板フローリング ②×5
中床	ビニルシート ④×100
壁	珪藻土系珪藻土 VP
天井	珪藻土系珪藻土 VP
扉	木製 ④×100

室名	女子シャワー室
床	床板フローリング ②×5
中床	珪藻土系珪藻土 VP
壁	珪藻土系珪藻土 VP
天井	珪藻土系珪藻土 VP
扉	木製 ④×100

室名	男子シャワー室
床	床板フローリング ②×5
中床	珪藻土系珪藻土 VP
壁	珪藻土系珪藻土 VP
天井	珪藻土系珪藻土 VP
扉	木製 ④×100

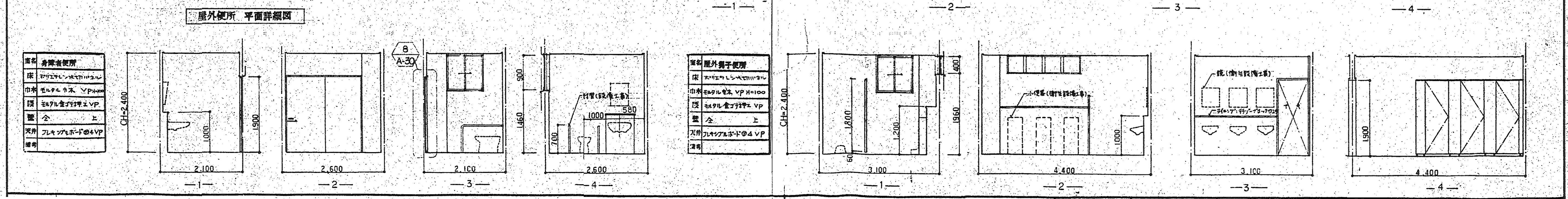
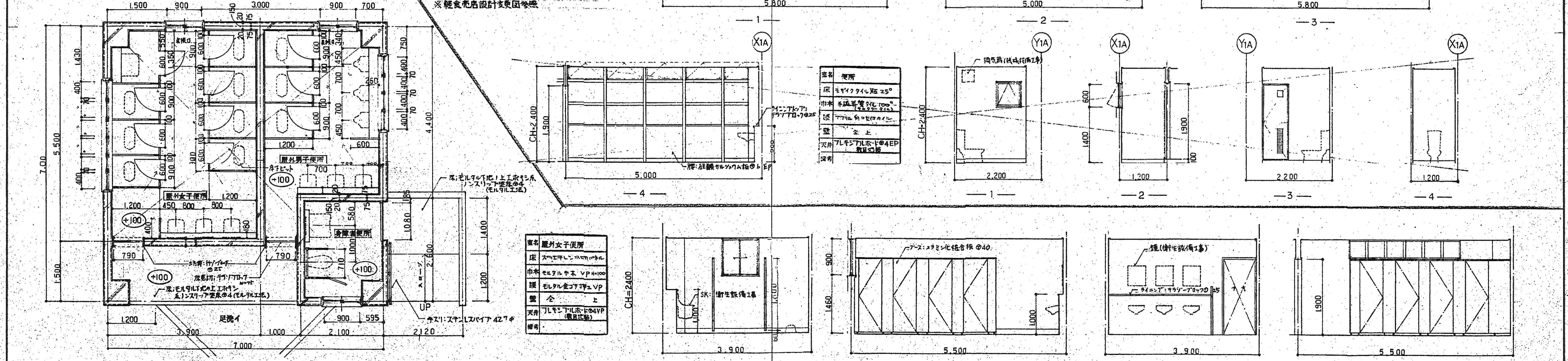
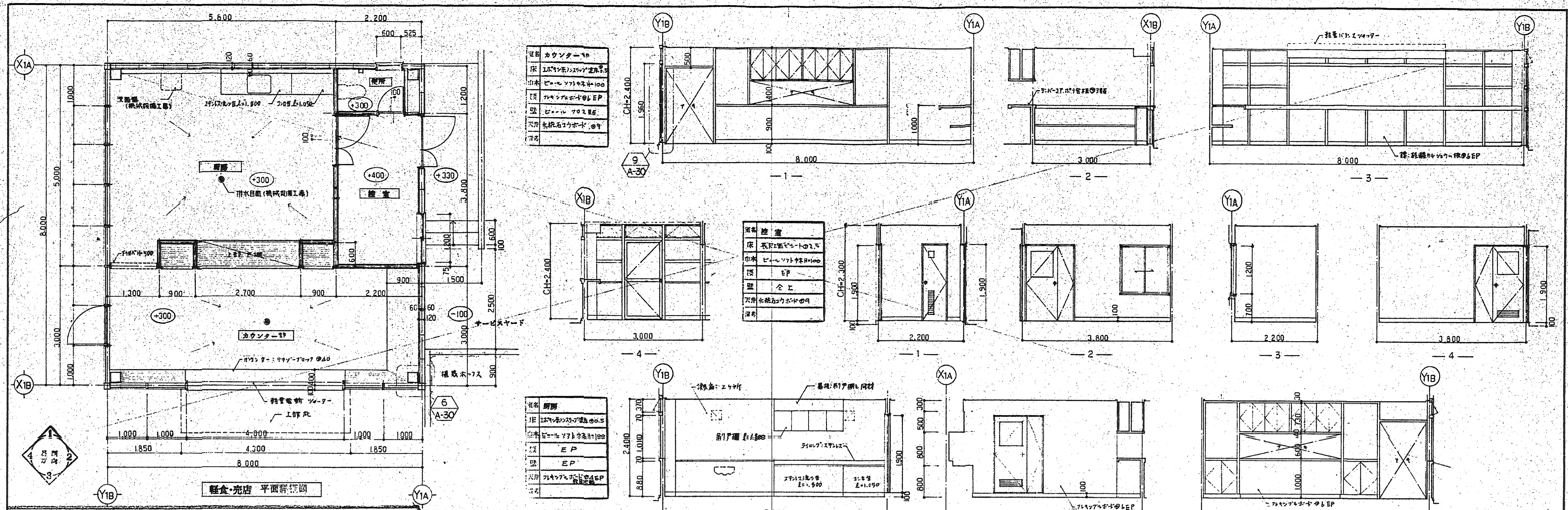
室名	女子便所
床	床板フローリング ②×5
中床	珪藻土系珪藻土 VP
壁	珪藻土系珪藻土 VP
天井	珪藻土系珪藻土 VP
扉	木製 ④×100

室名	男子便所
床	床板フローリング ②×5
中床	珪藻土系珪藻土 VP
壁	珪藻土系珪藻土 VP
天井	珪藻土系珪藻土 VP
扉	木製 ④×100

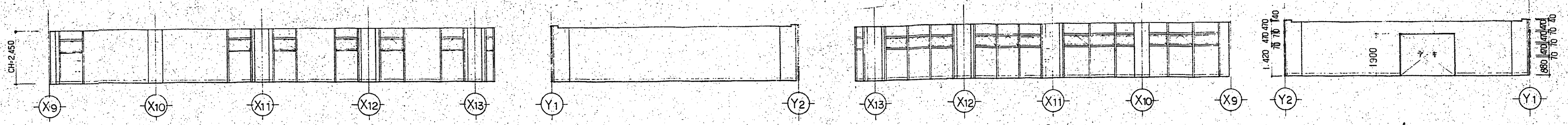


女子便所平面詳細図

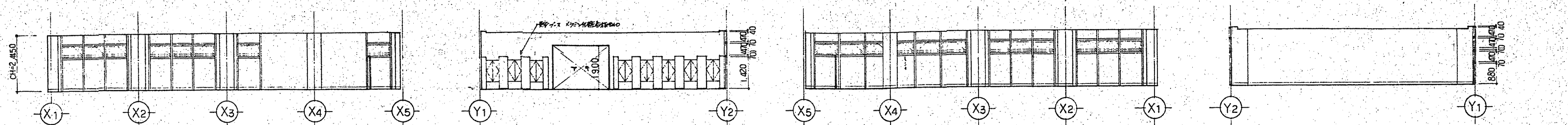
男子便所平面詳細図



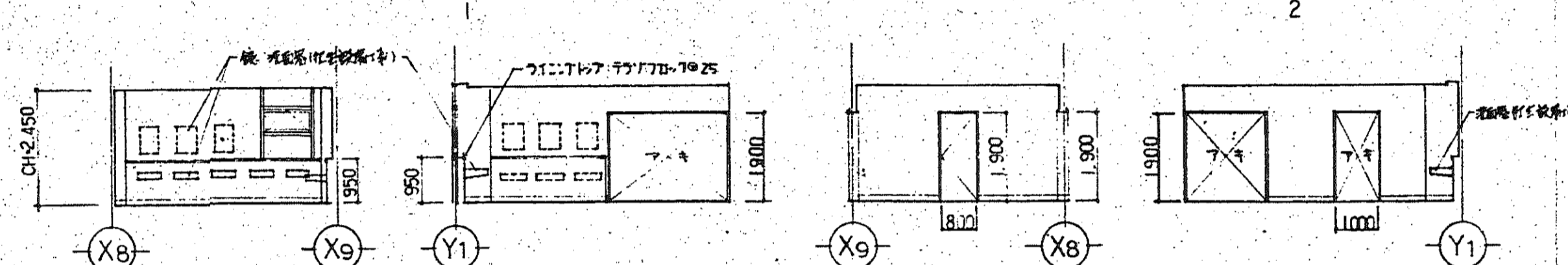
名称	男子ロッカー室
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	ビニルシート
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



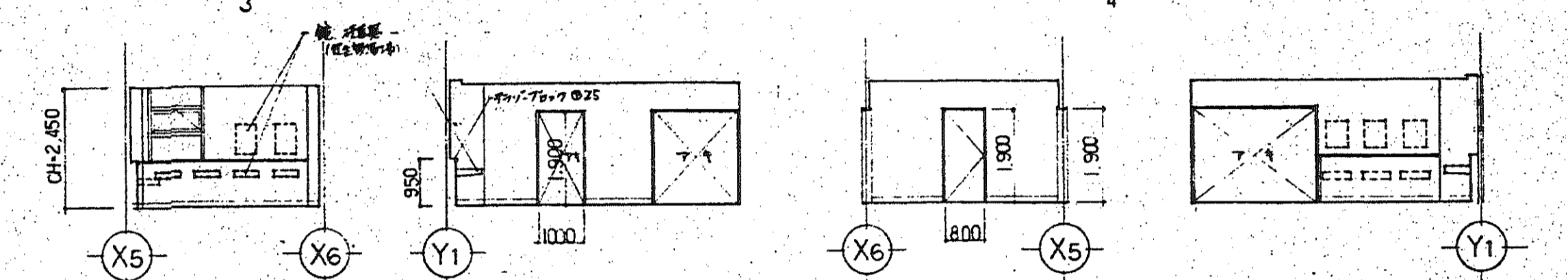
名称	女子ロッカー室
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	ビニルシート
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



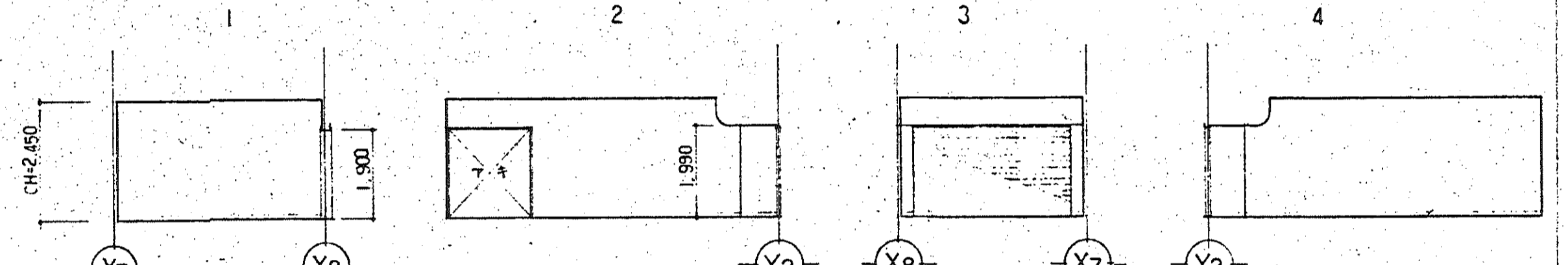
名称	男子洗面コーナー
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	モルタル EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



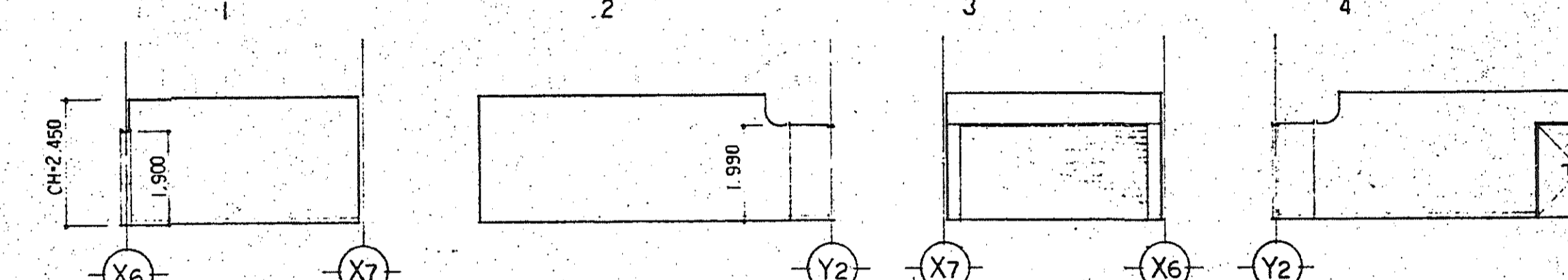
名称	女子洗面コーナー
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	モルタル EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



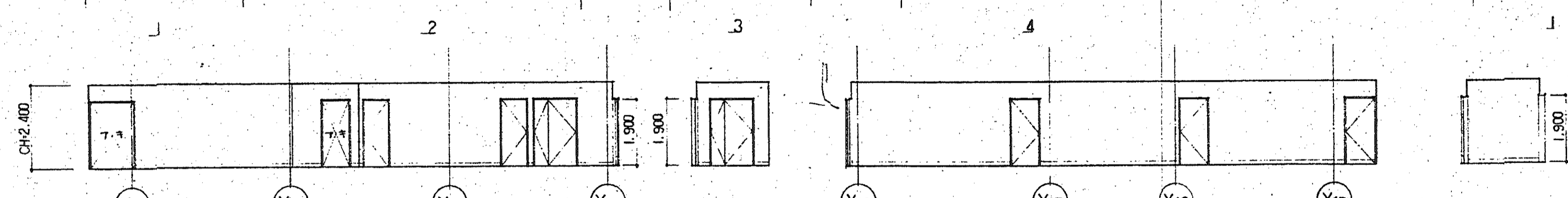
名称	男子エントランス
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	モルタル EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



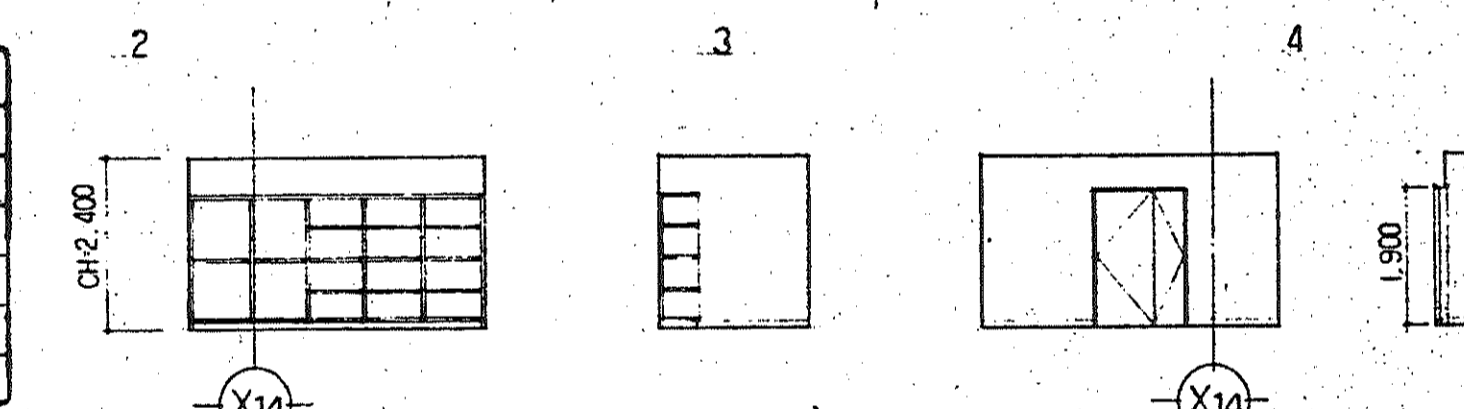
名称	女子エントランス
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	モルタル EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



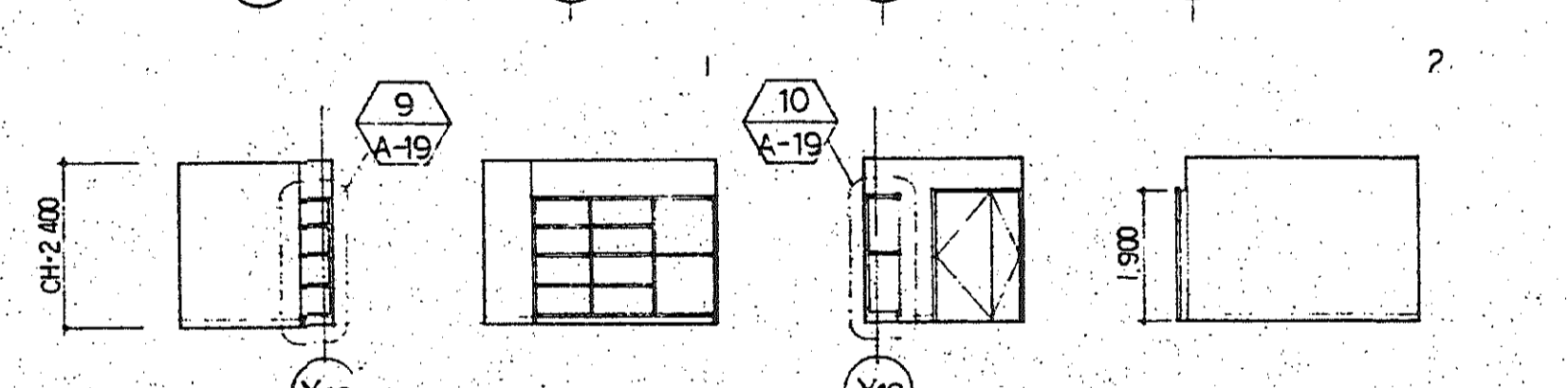
名称	廊下
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	ビニルシート
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



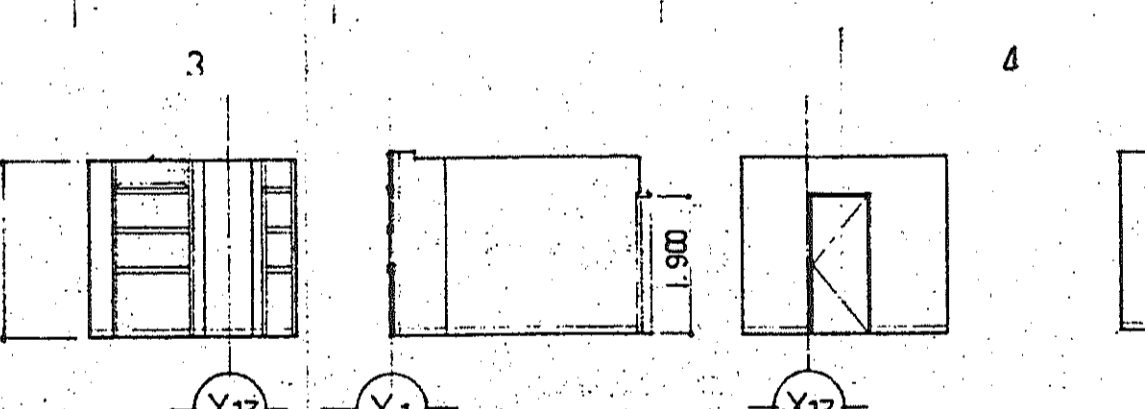
名称	倉庫(1)
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	モルタル EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



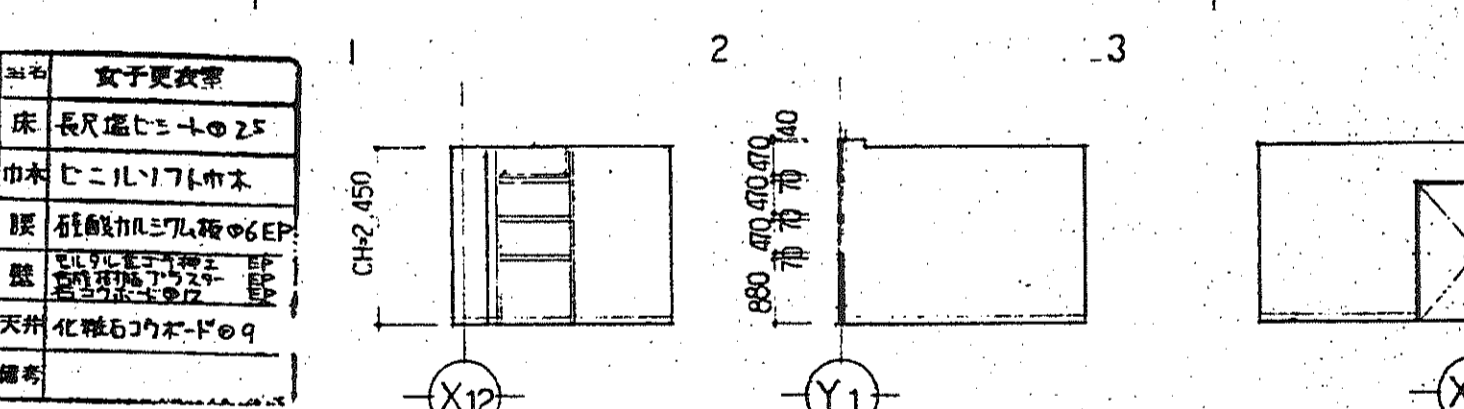
名称	廊下(2)
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	ビニルシート
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



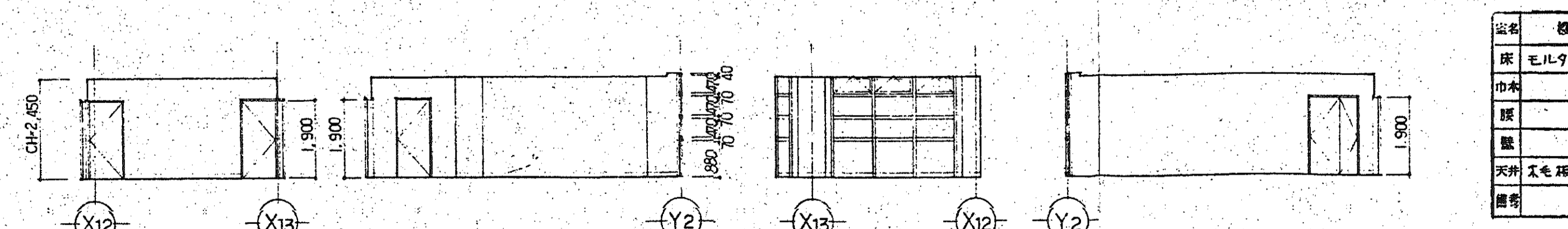
名称	男子更衣室
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



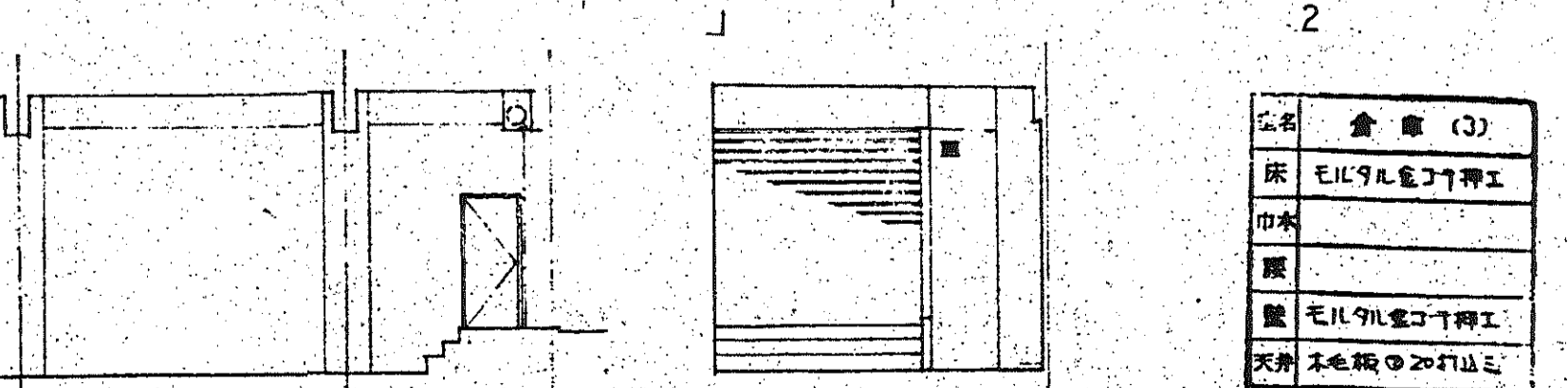
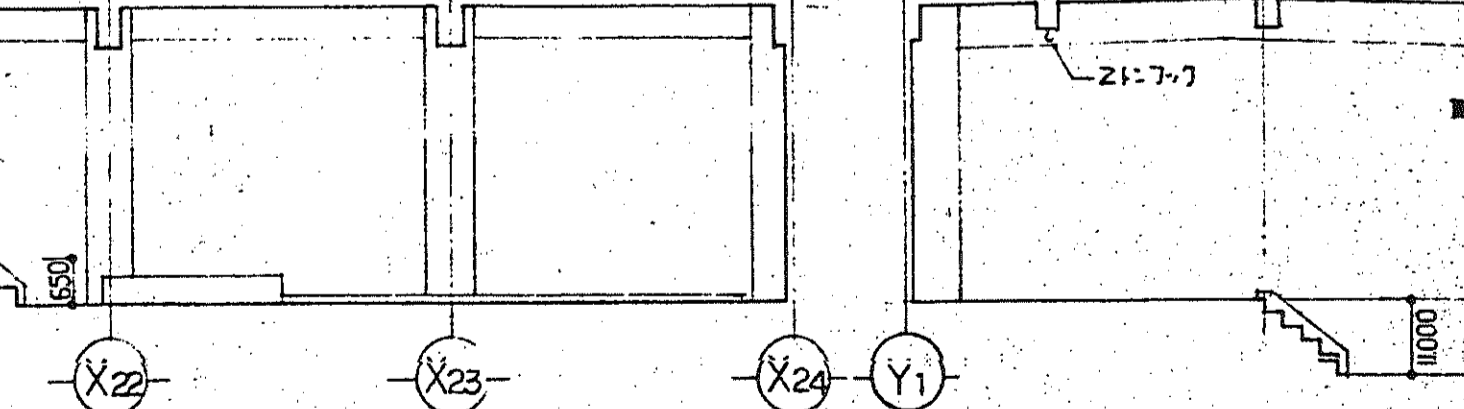
名称	倉庫(2)
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	



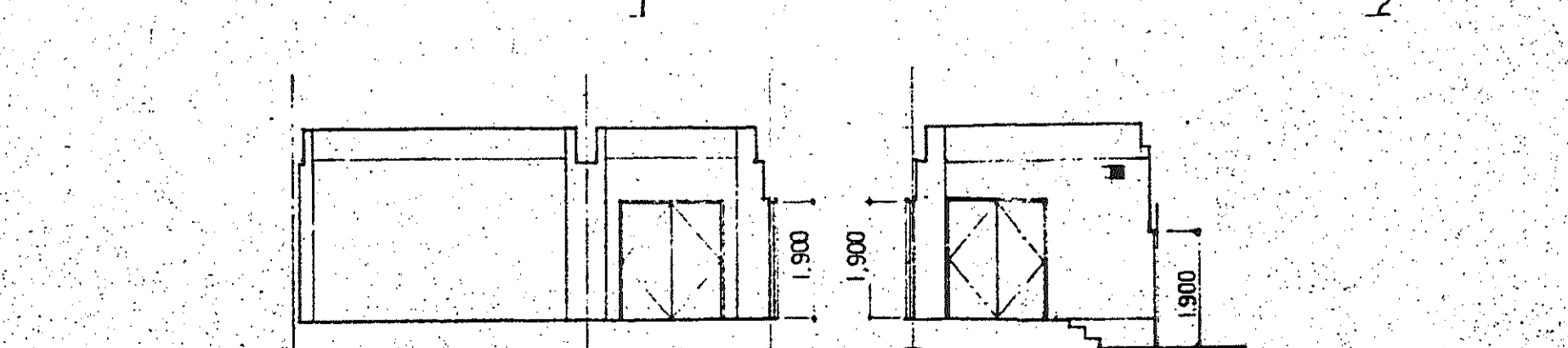
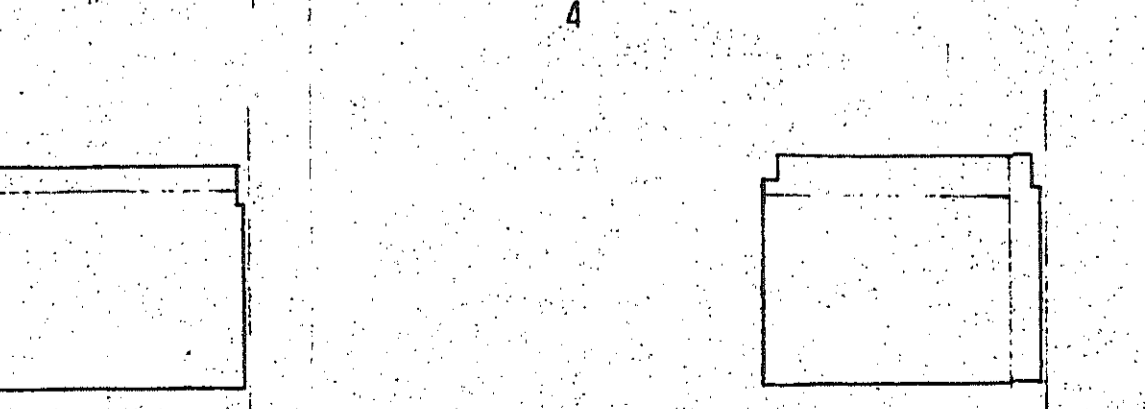
名称	監視員控室
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	

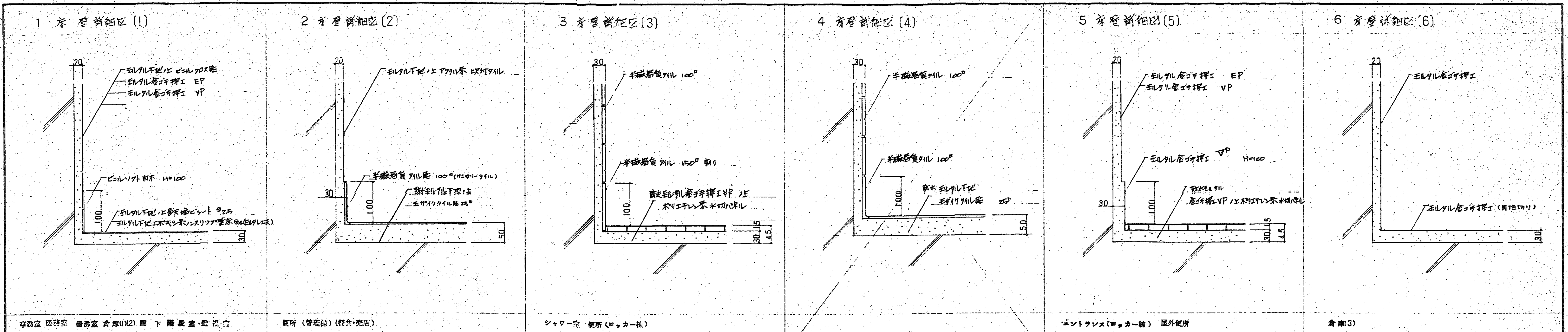


名称	機械室
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	

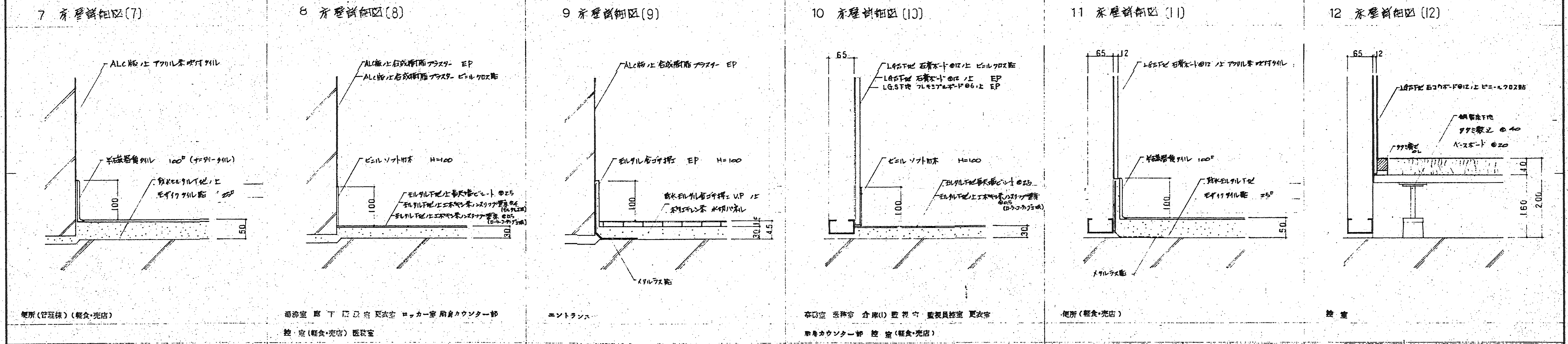


名称	倉庫(3)
床	正床系フローリング 床下(モルタル)
巾木	モルタル EP
扉	縦格子ガラス EP
壁	モルタル EP
天井	FLK EP
備考	

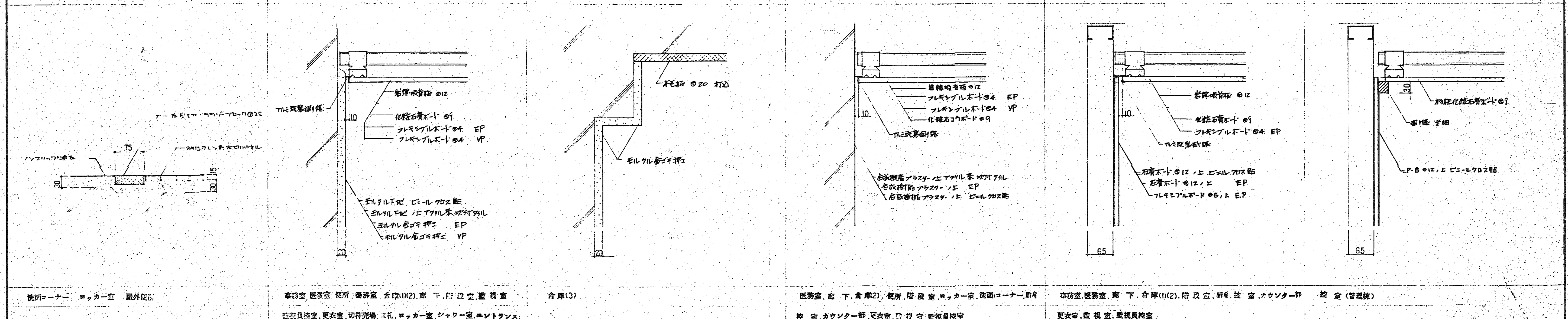




事務室 医務室 待合室(1)(2) 廊下 階段室 監視室
監視員控室 更衣室 切符売場 改札 ロッカー室
便所(管理棟)(飲食・売店)
シャワー室 便所(ロッカー棟)
エントランス(ロッカー棟) 屋外便所
倉庫(3)

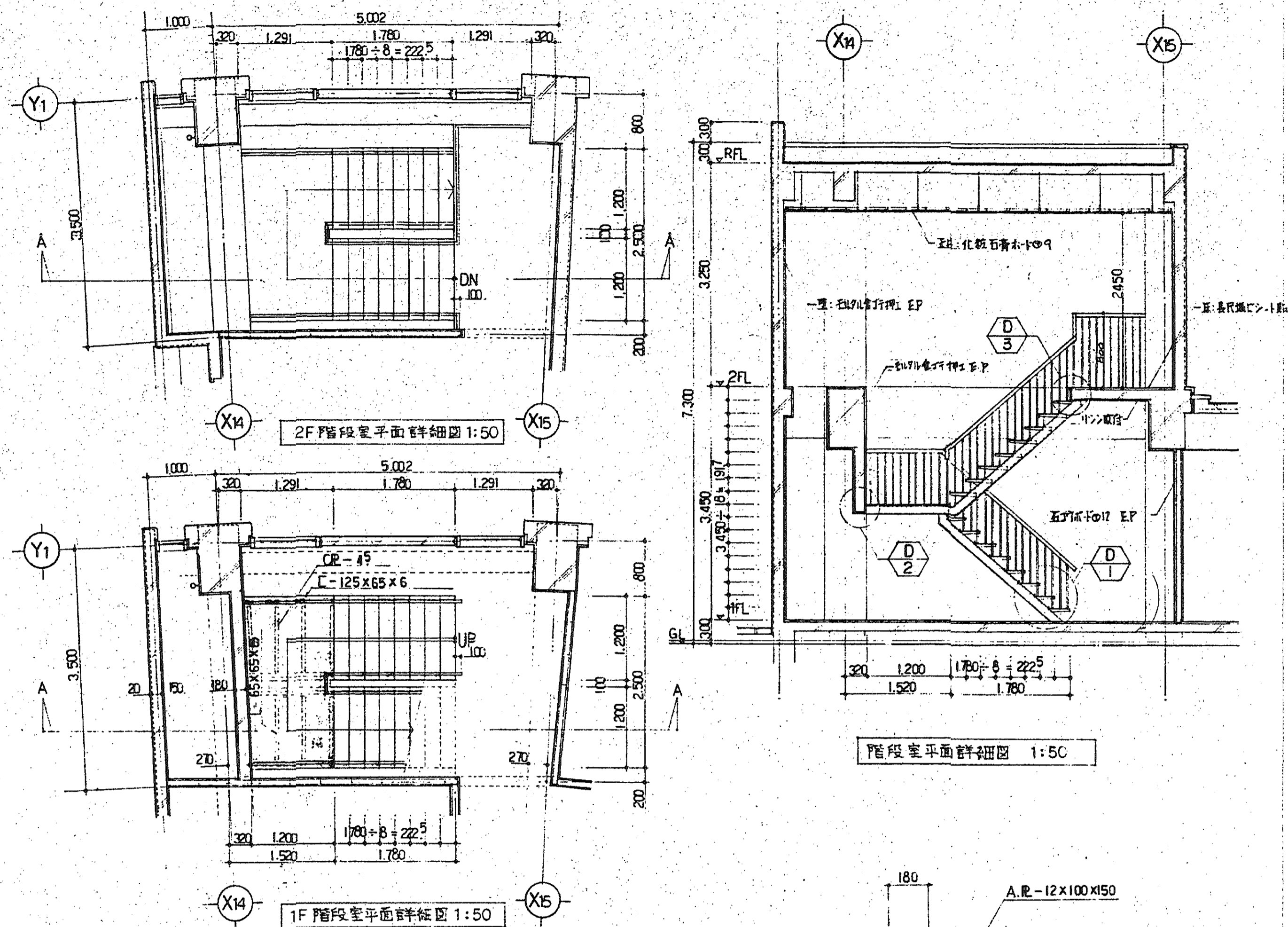


便所(管理棟)(飲食・売店)
便所(管理棟)(飲食・売店)
事務室 廊下 階段室 更衣室 ロッカー室 用具カウンター部
控室(飲食・売店) 医務室
エントランス
事務室 医務室 倉庫(1) 監視室 監視員控室 更衣室
用具カウンター部 控室(飲食・売店)
便所(飲食・売店)

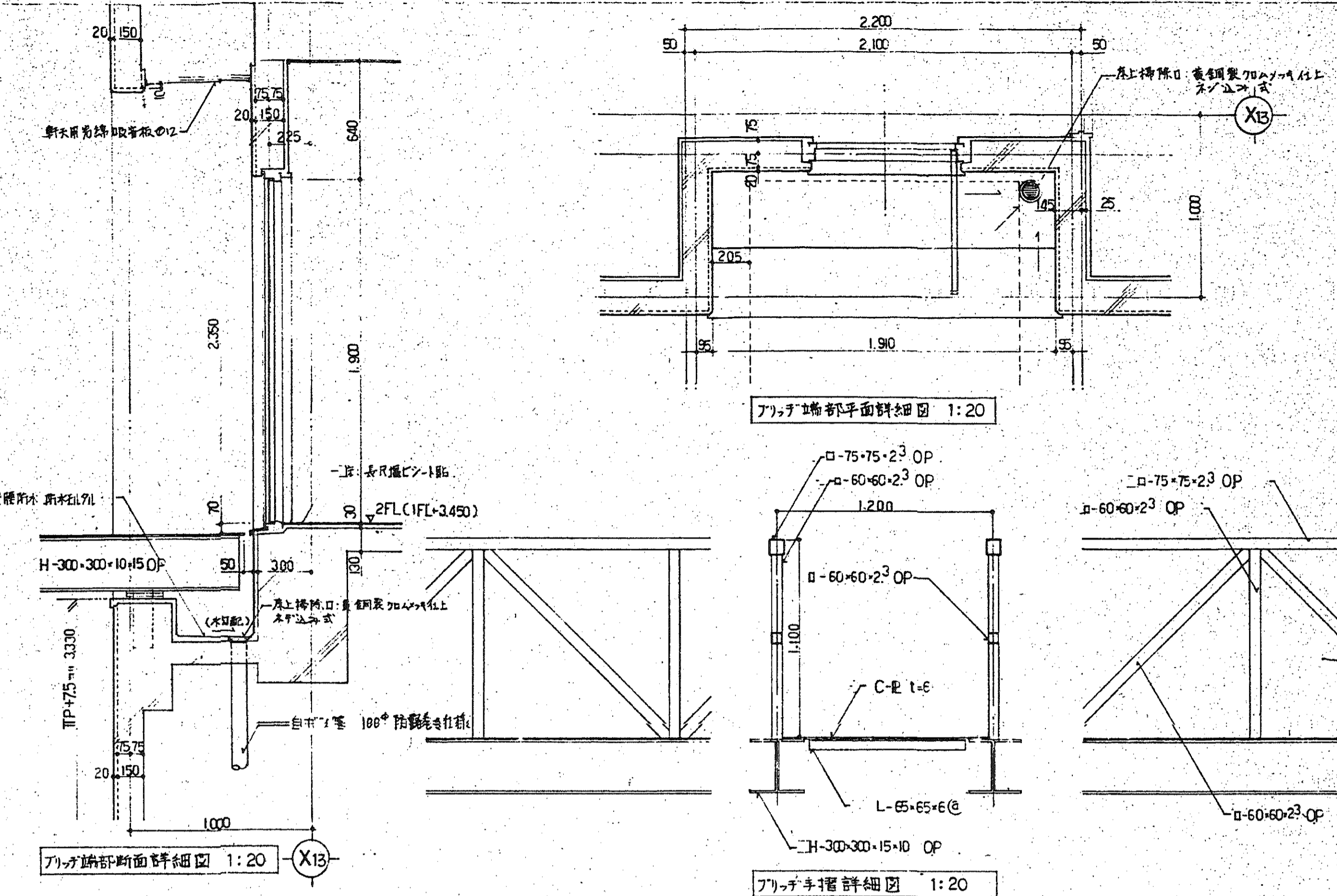


洗面コーナー ロッカー室 屋外便所
事務室 医務室 便所 待合室(1)(2) 廊下 階段室 監視室
監視員控室 更衣室 切符売場 改札 ロッカー室 シャワー室 エントランス
倉庫(3)
医務室 廊下 倉庫(2) 便所 階段室 ロッカー室 洗面コーナー 用具
カウンター部 控室(飲食・売店)
事務室 医務室 廊下 倉庫(1)(2) 階段室 監視室 用具カウンター部
控室(管理棟)
更衣室 監視室 監視員控室

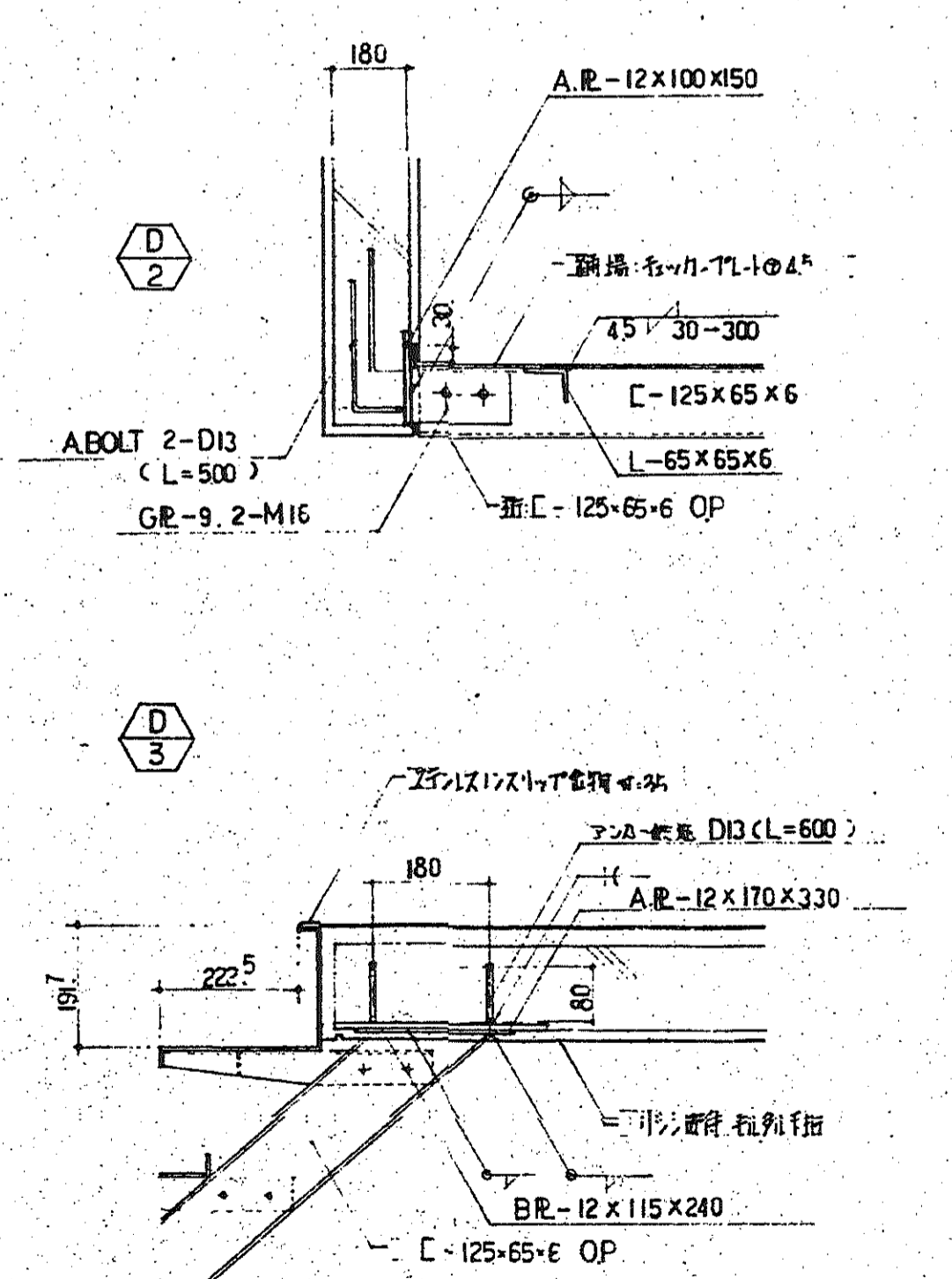
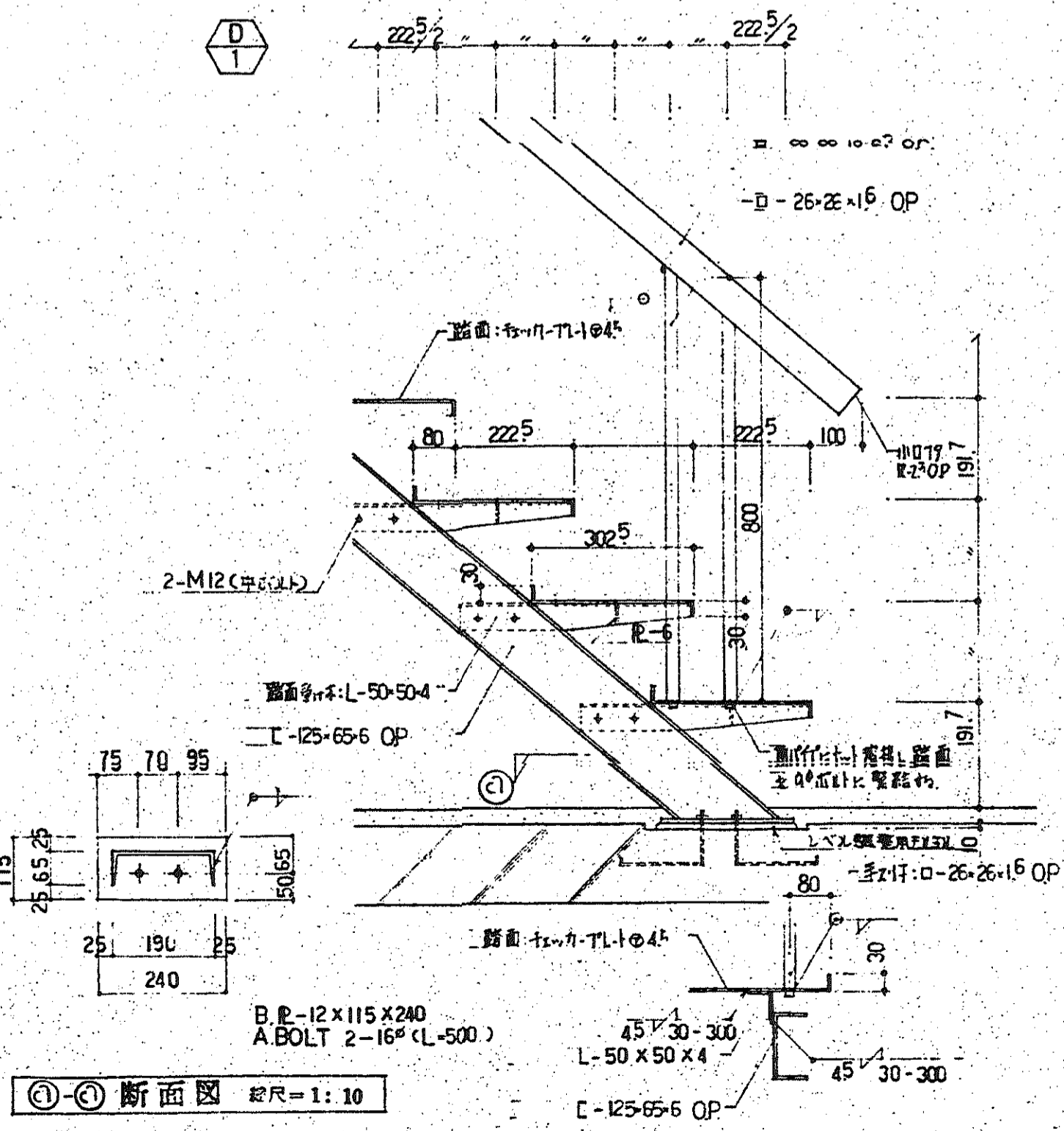
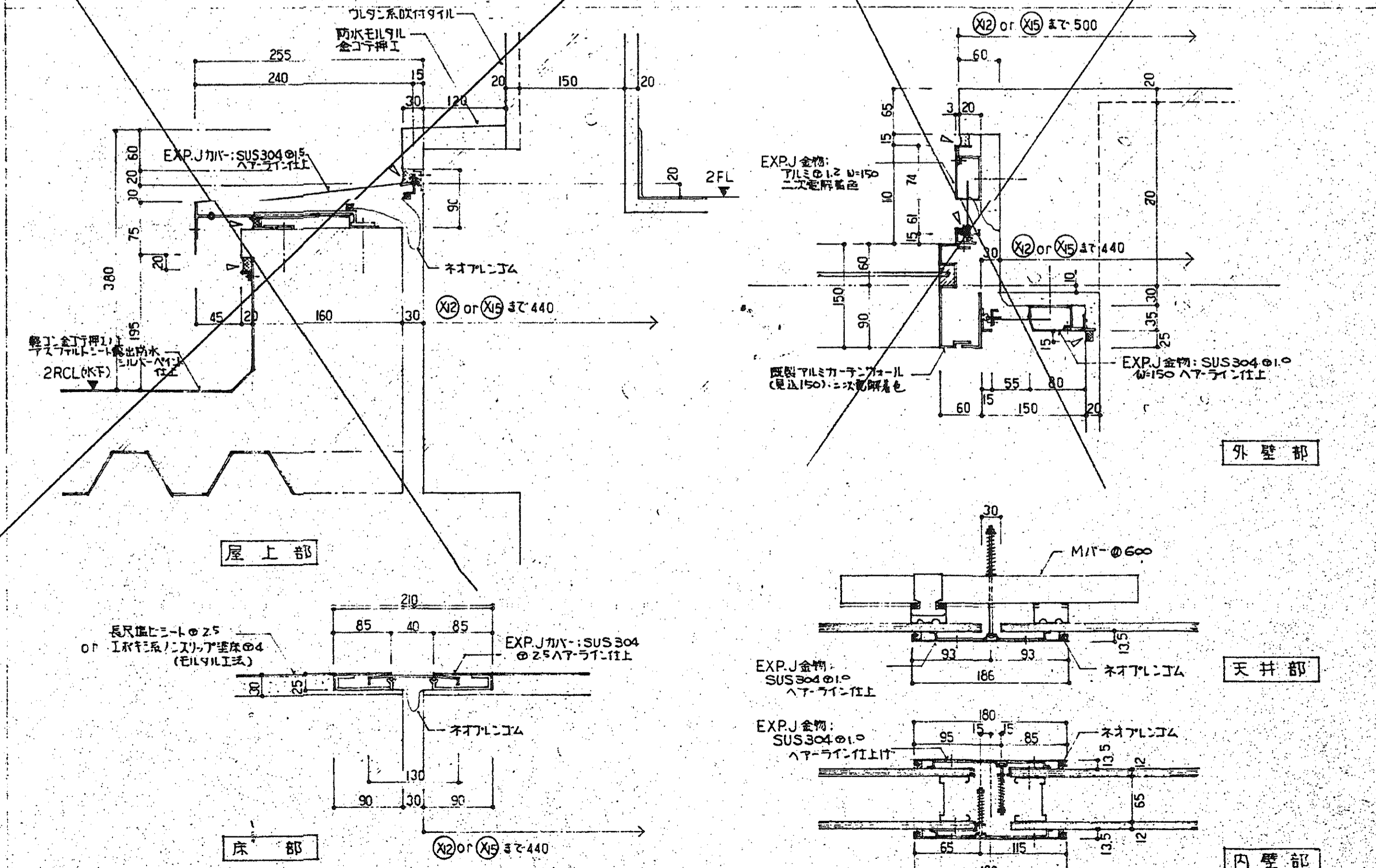
1 階段室廻り詳細図 S=1:50 1:10

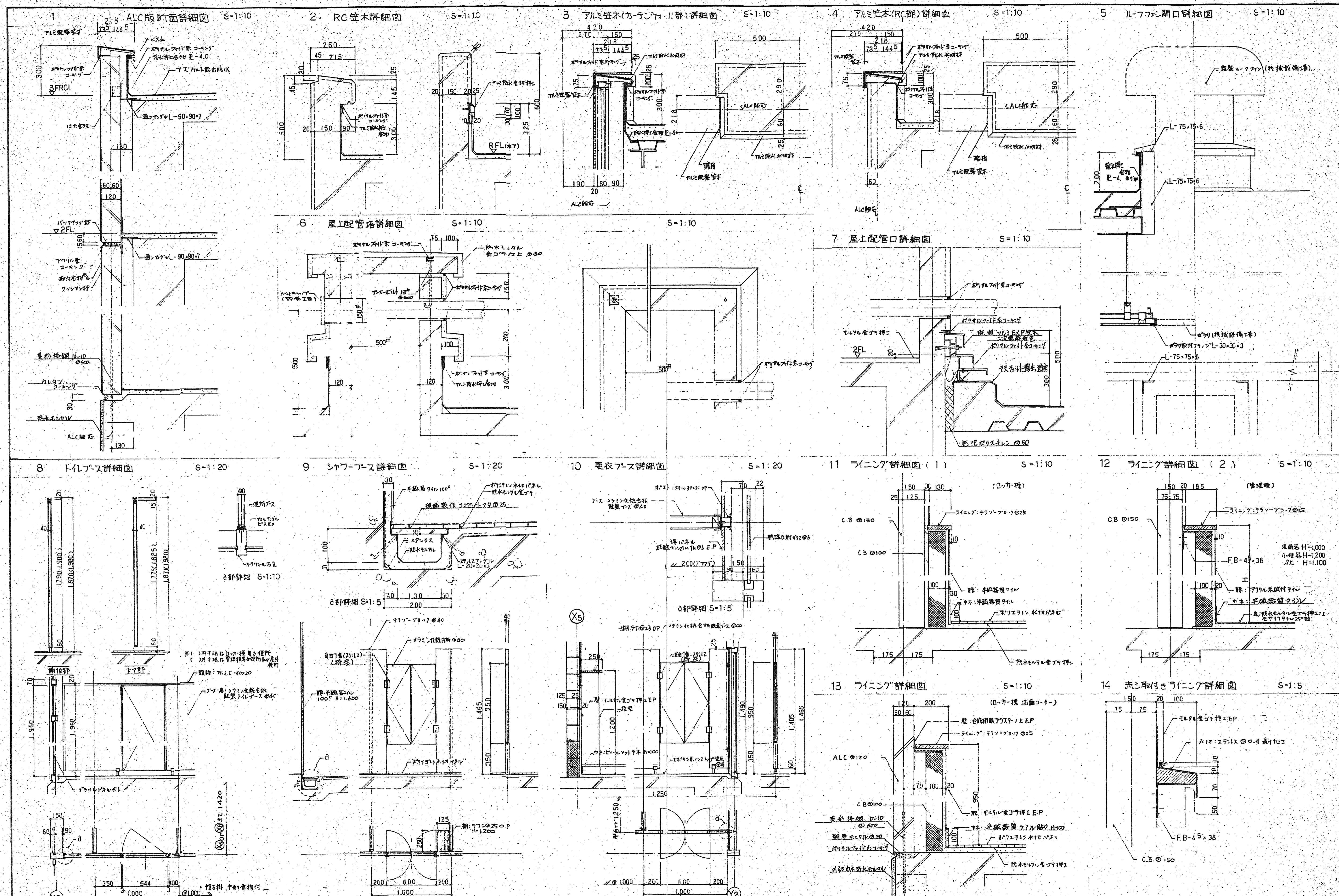


2 フリッチ廻り詳細図 S=1:20

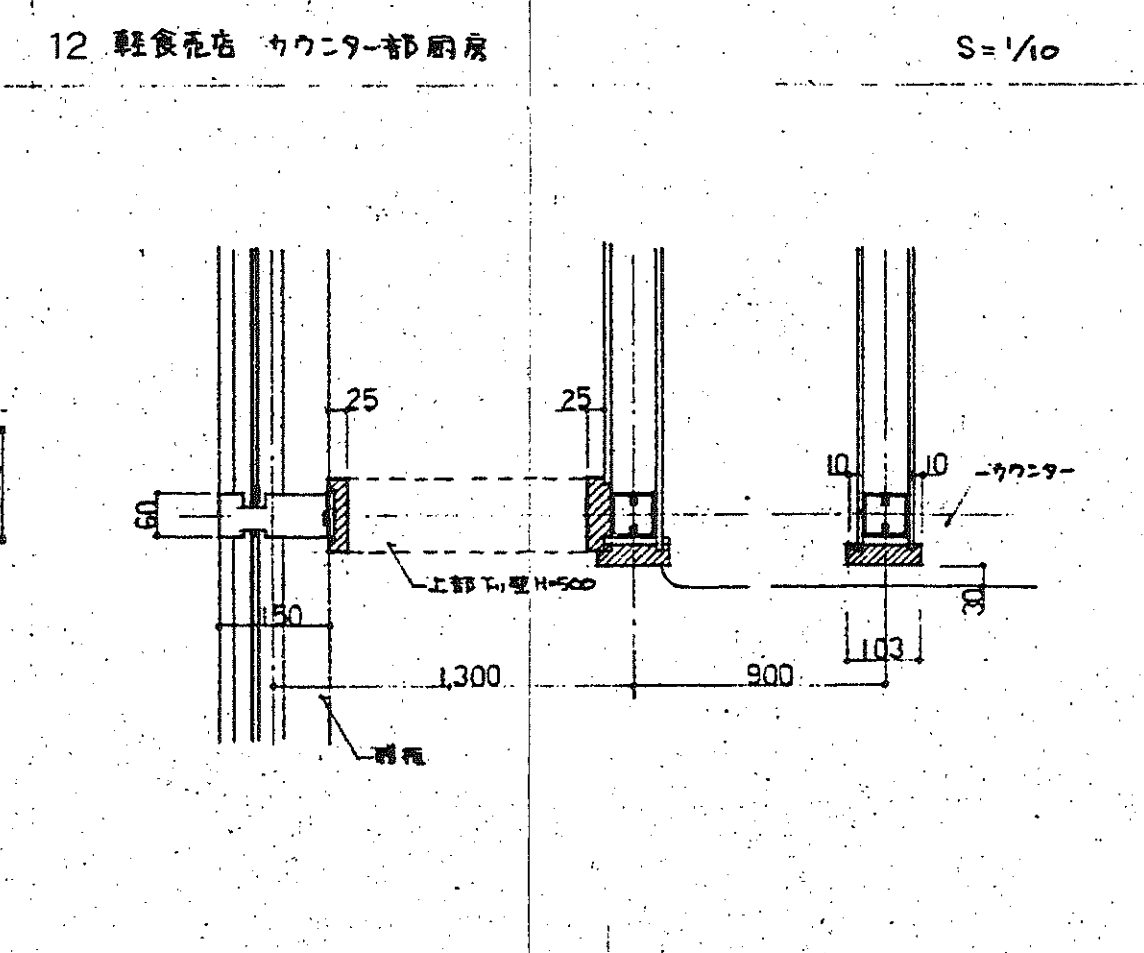
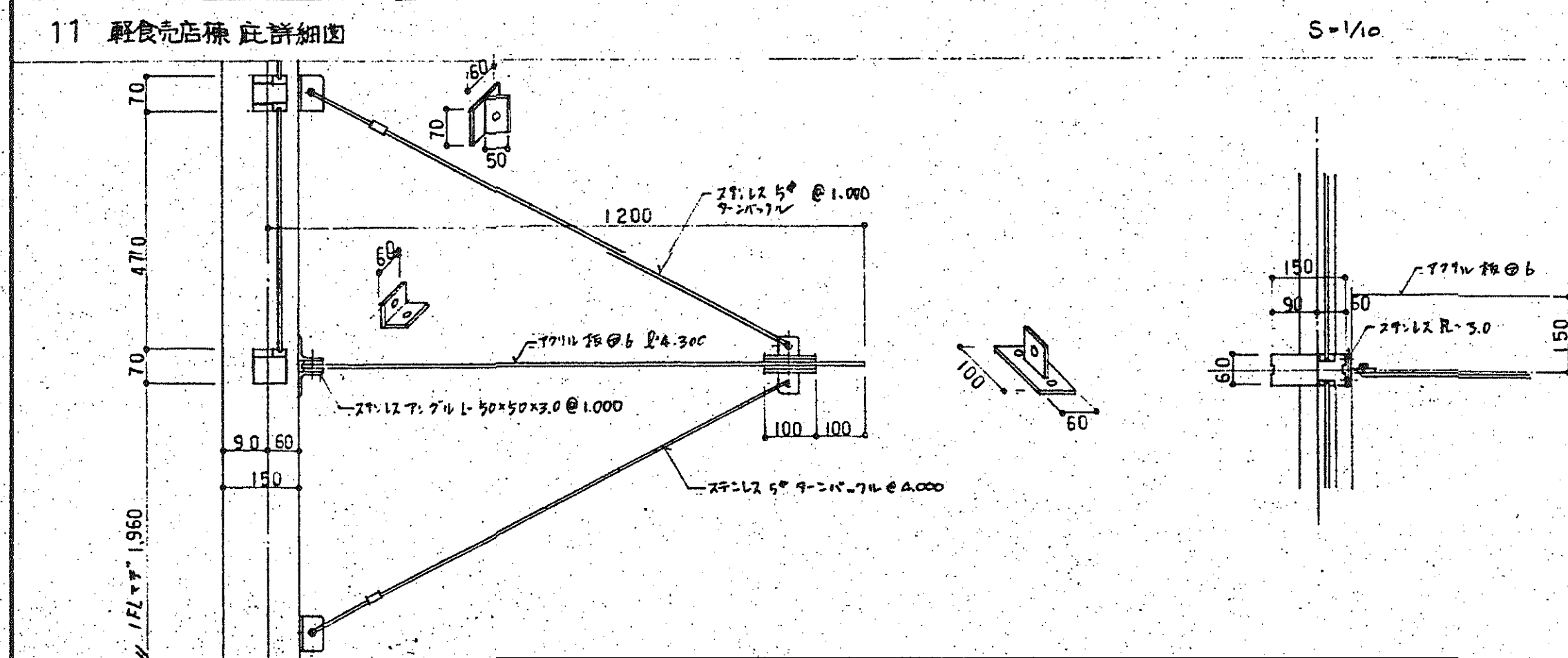
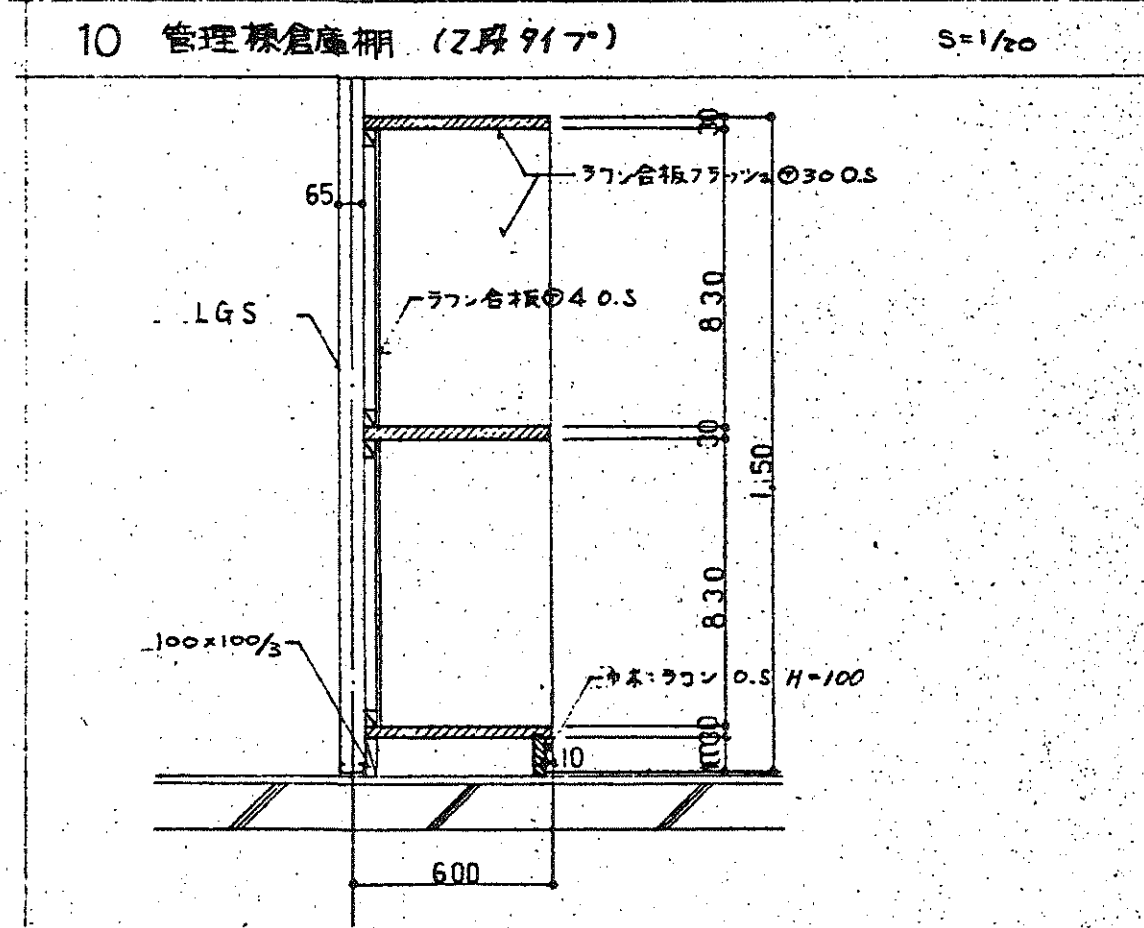
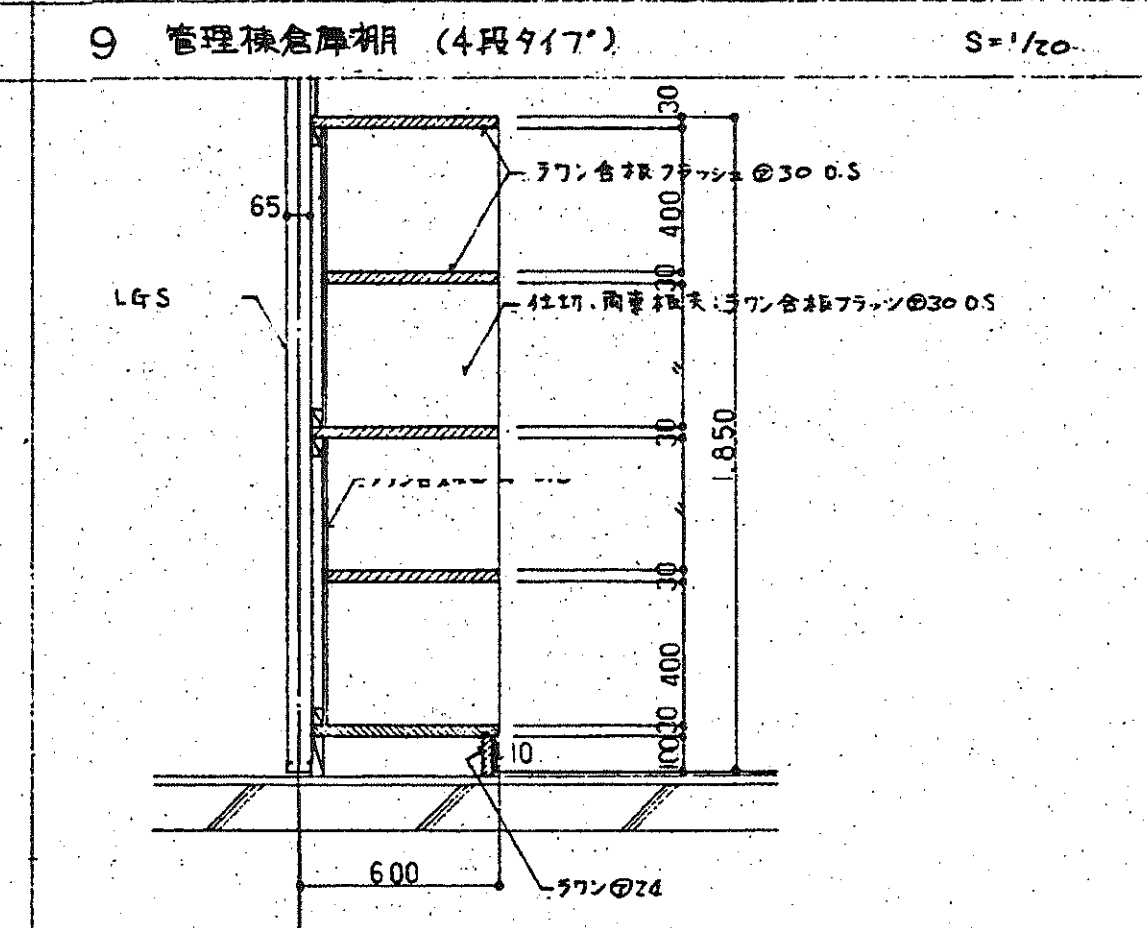
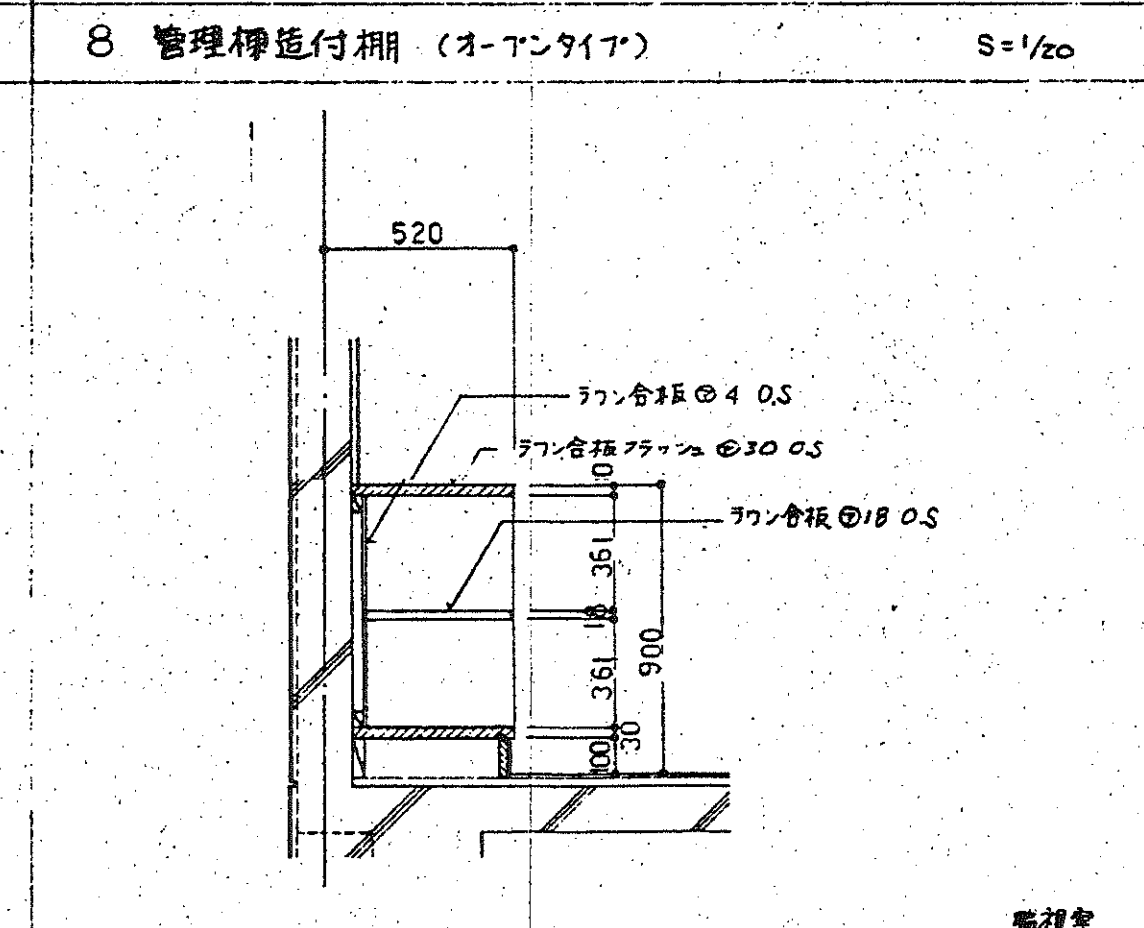
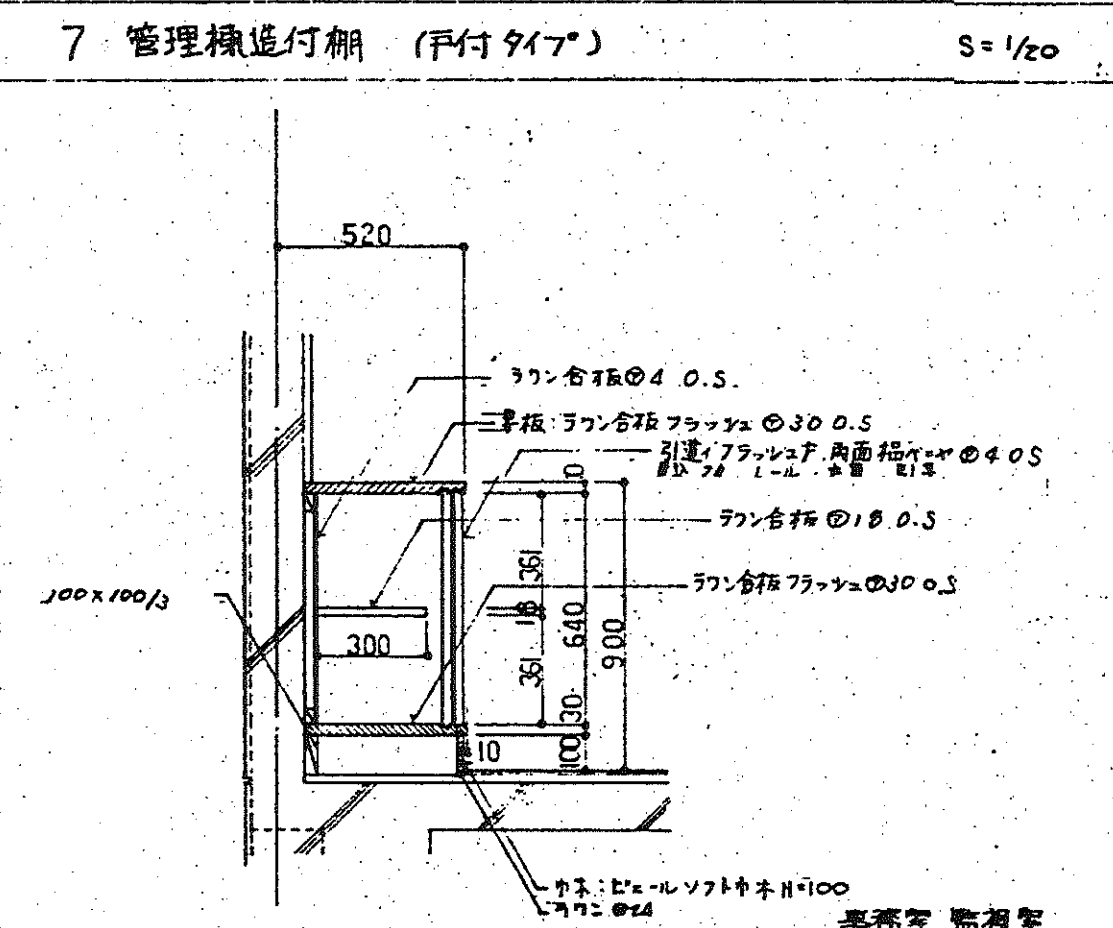
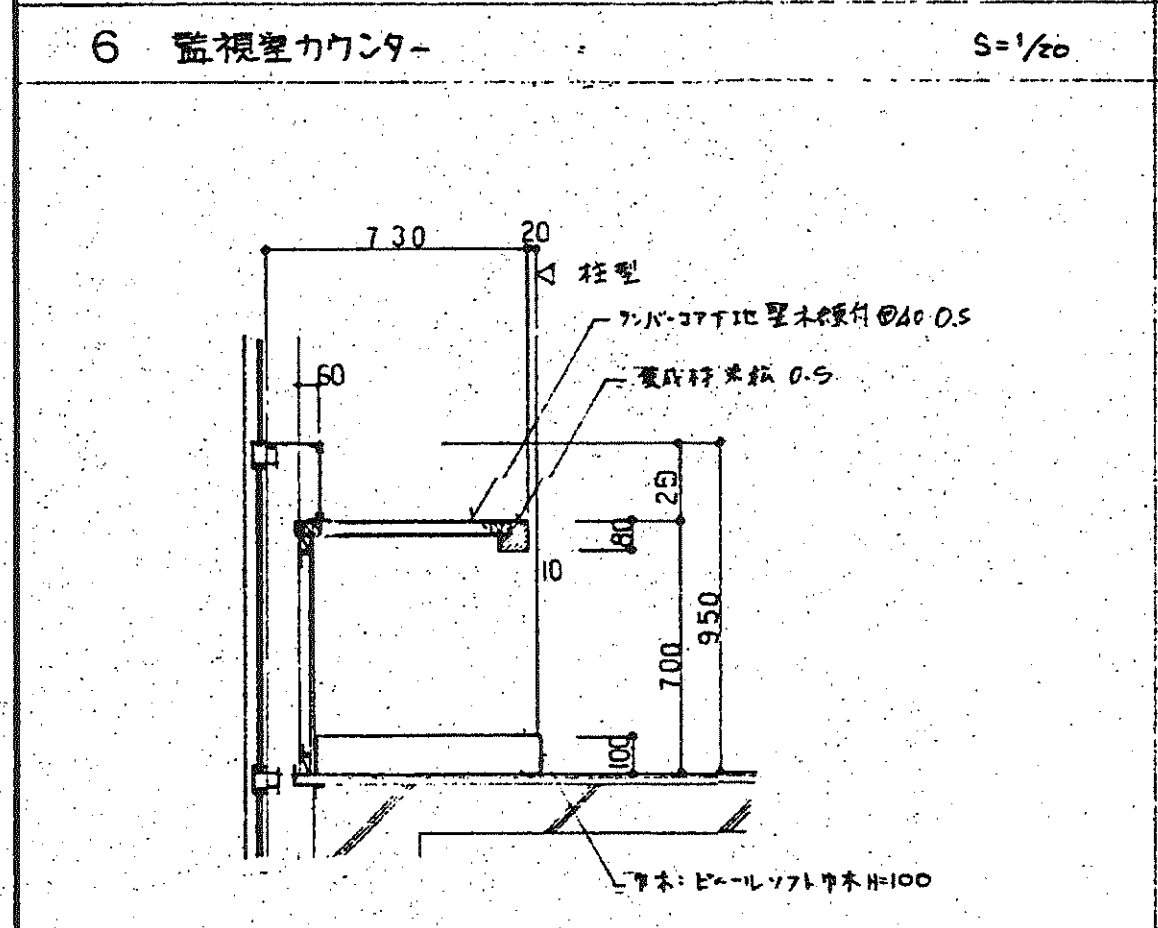
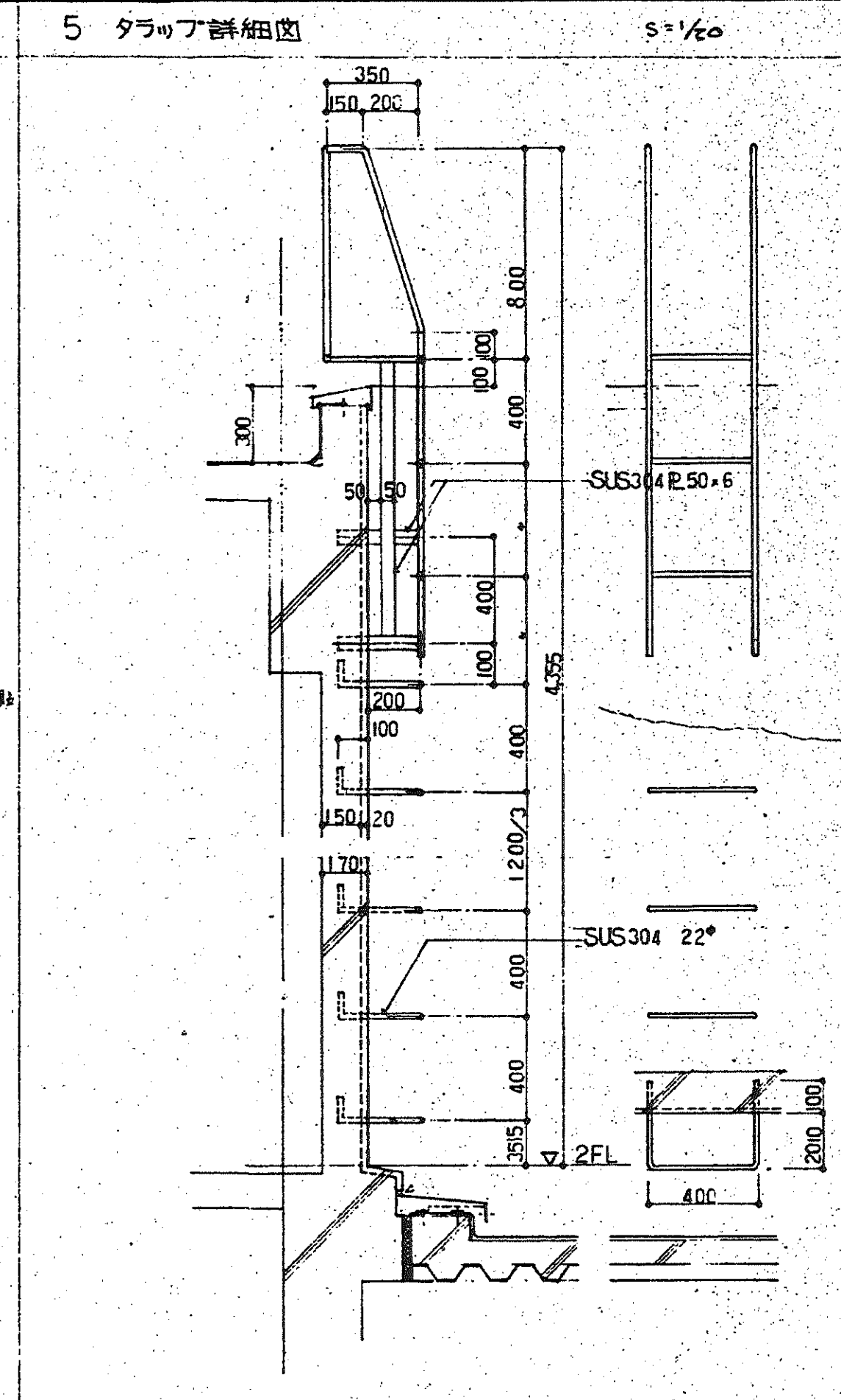
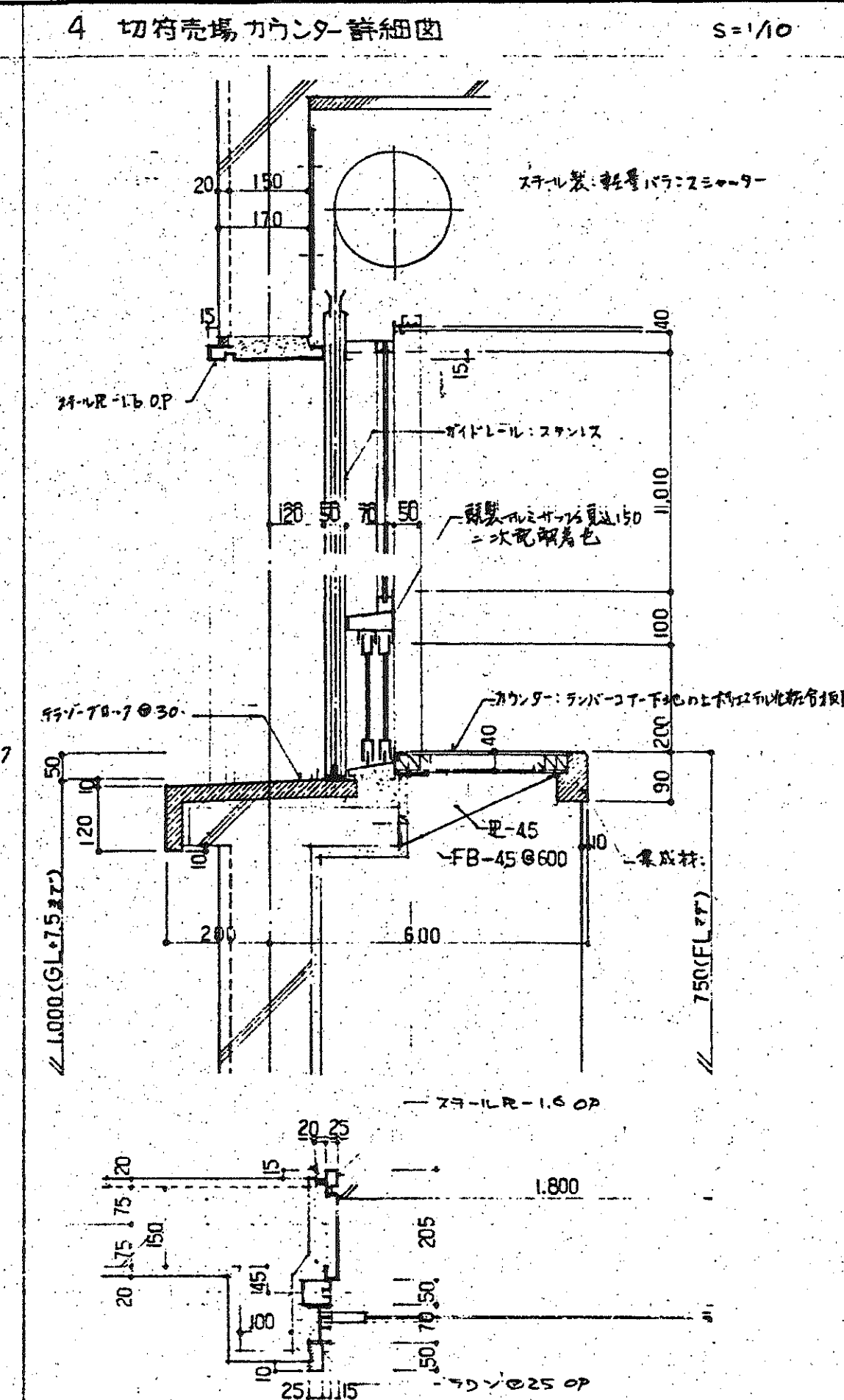
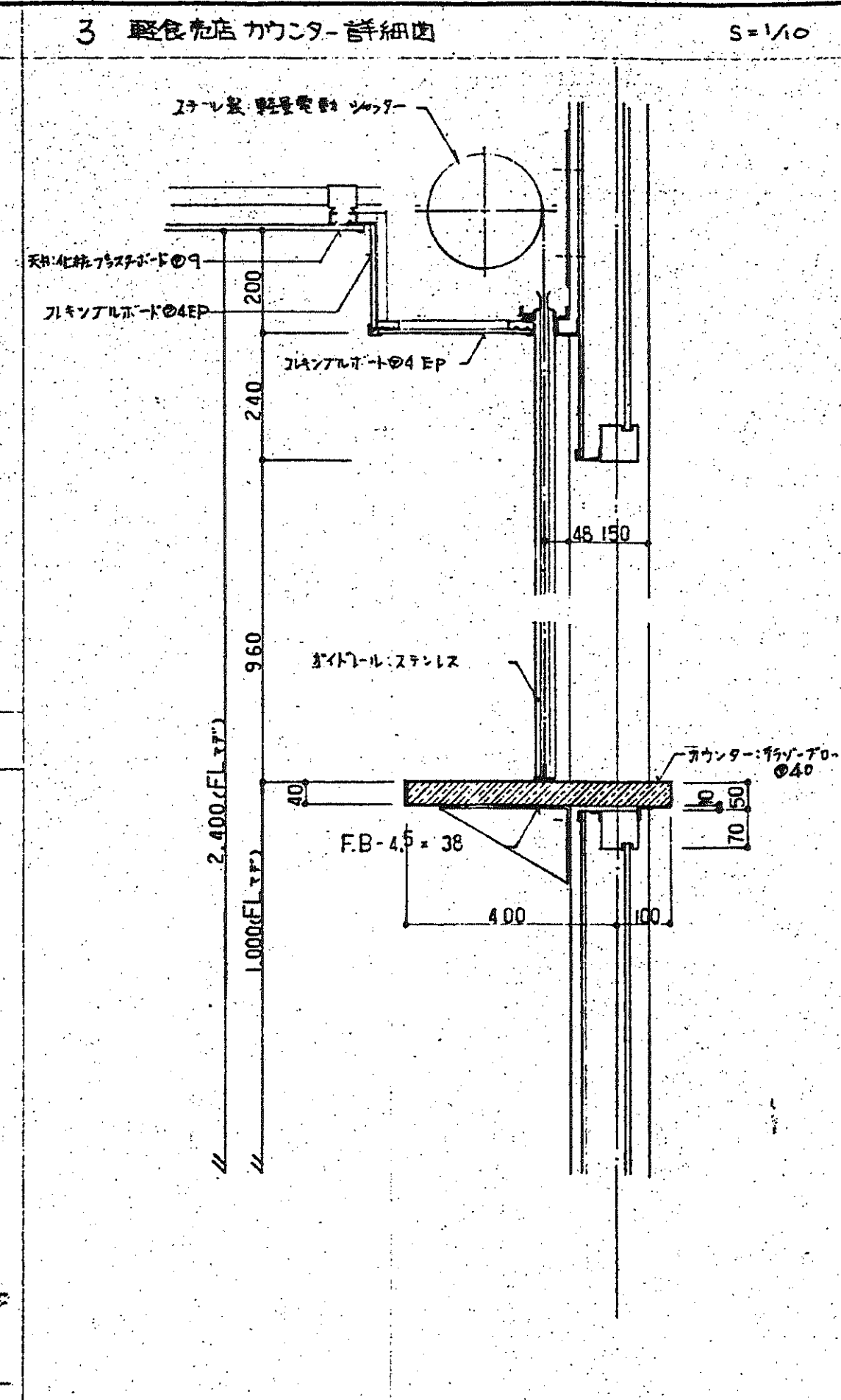
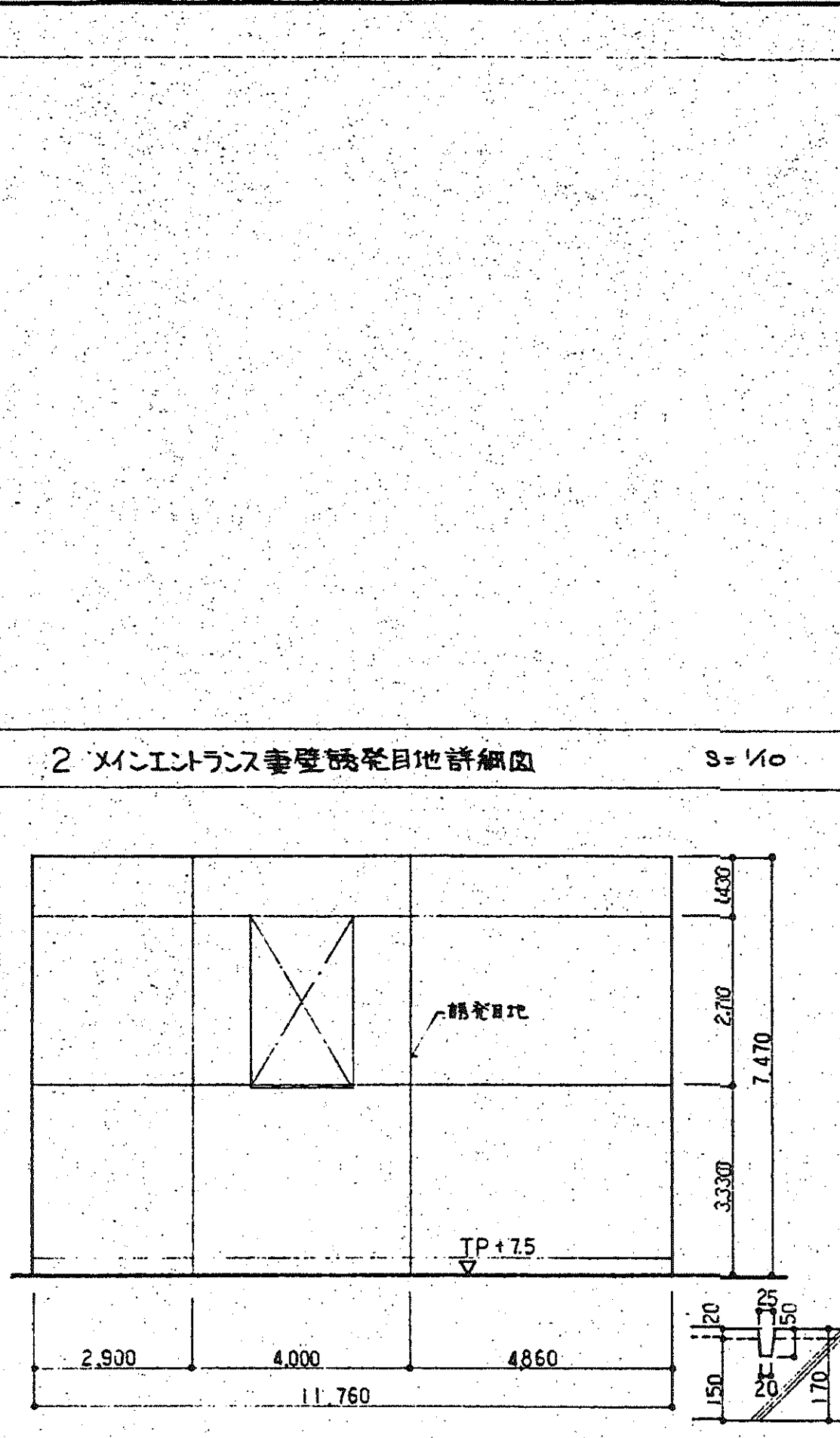
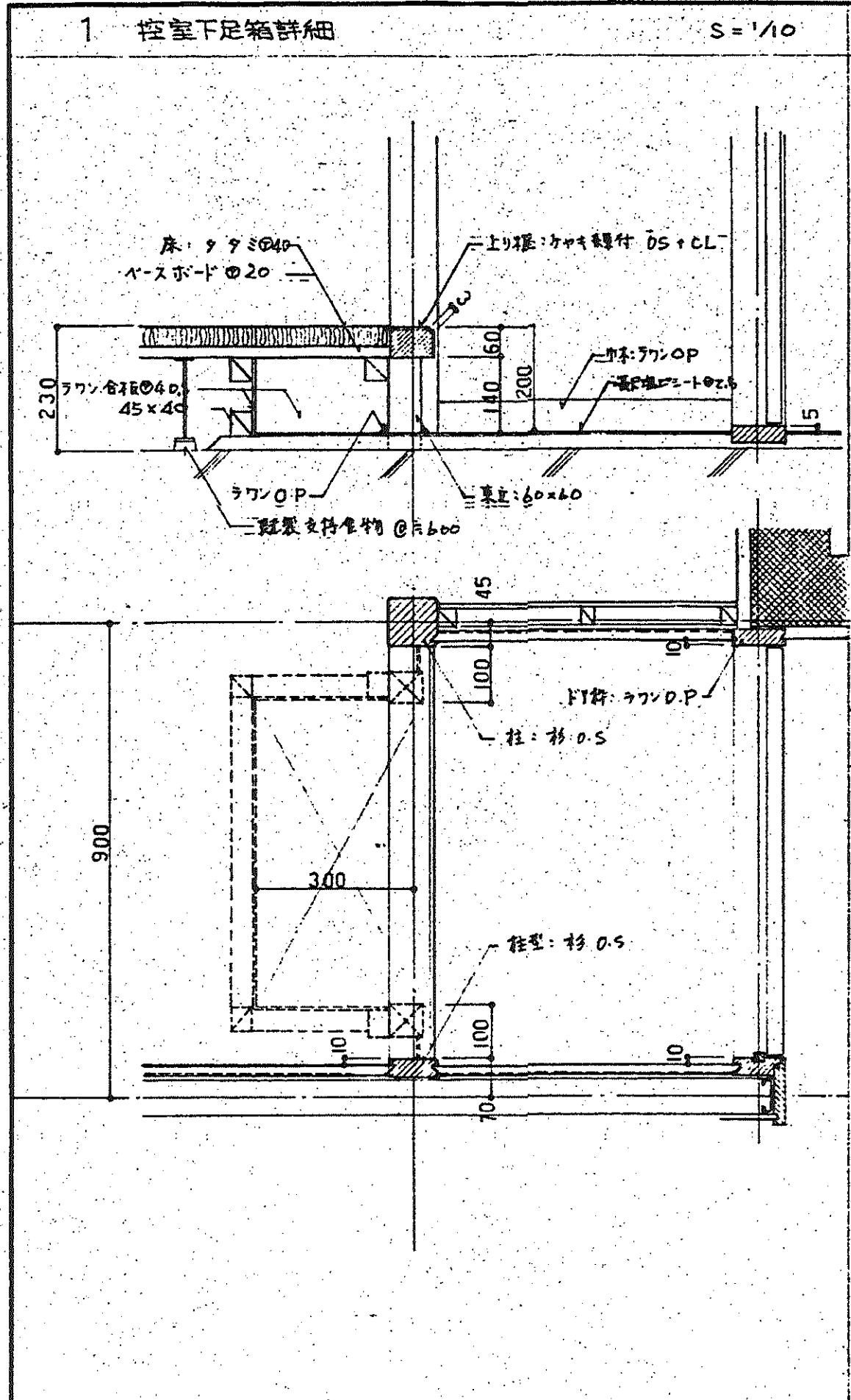


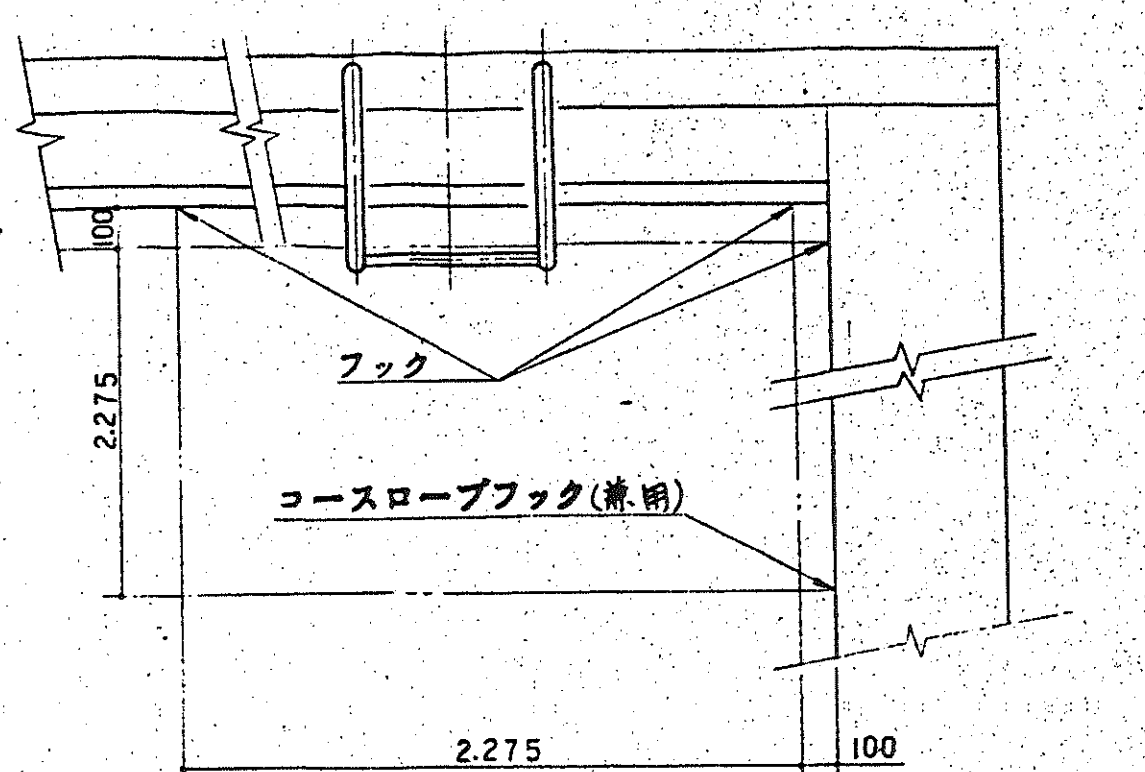
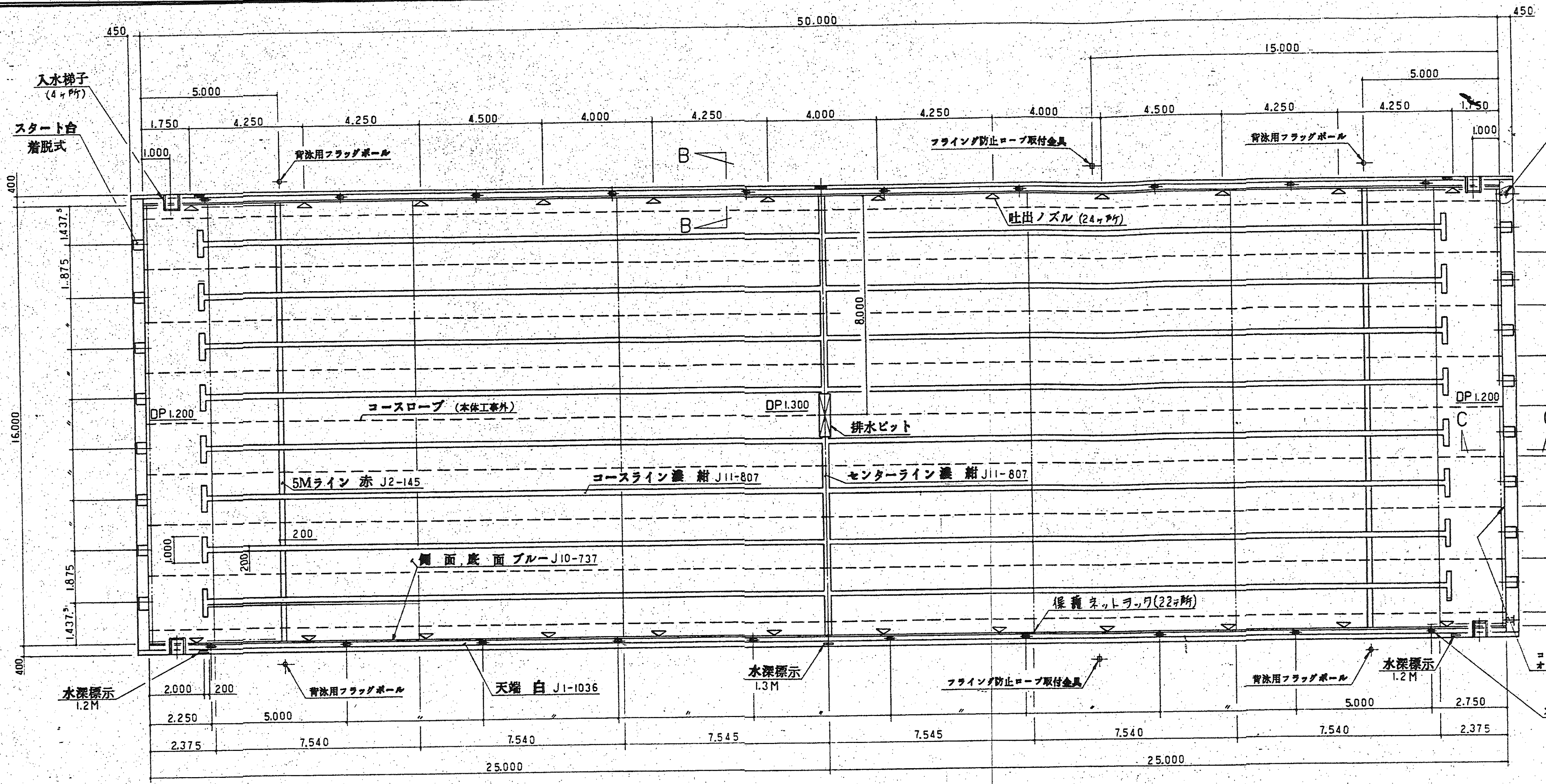
3 EXPJ金物取付廻り詳細図 S=1:5





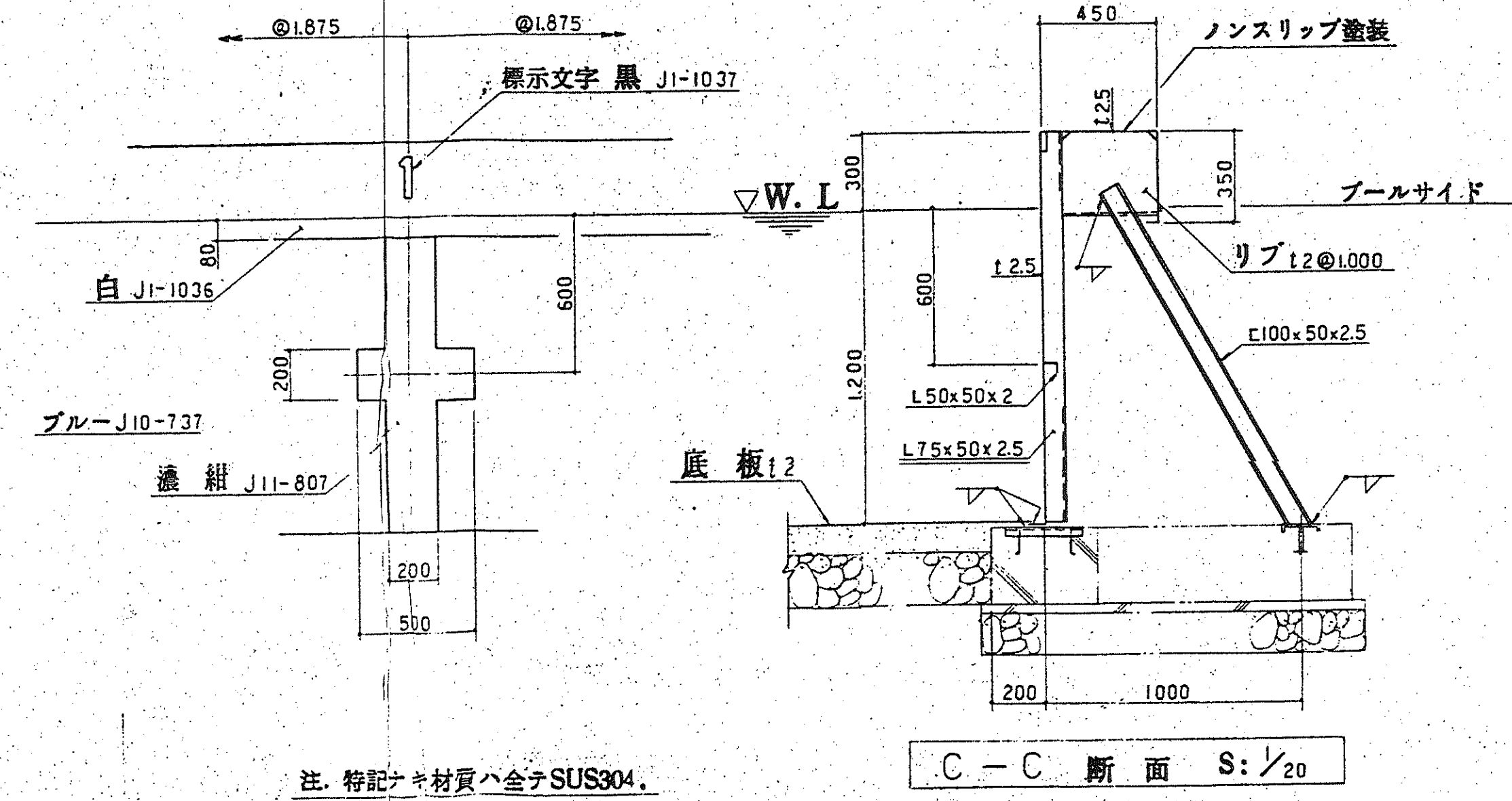
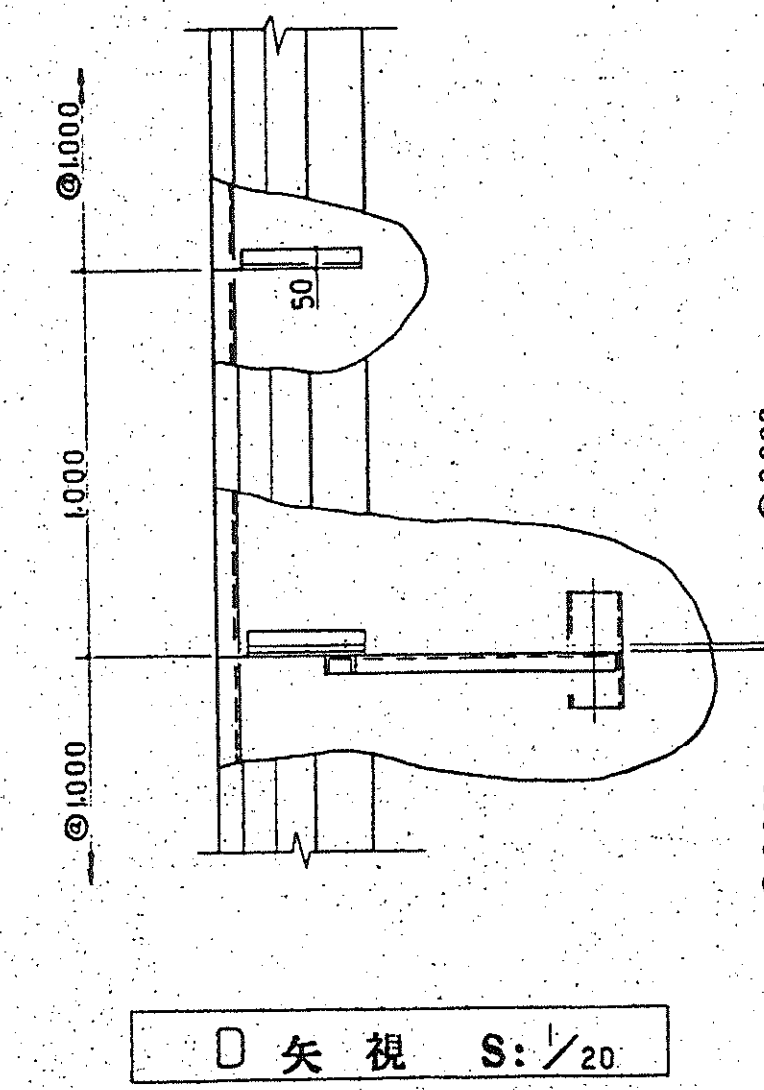
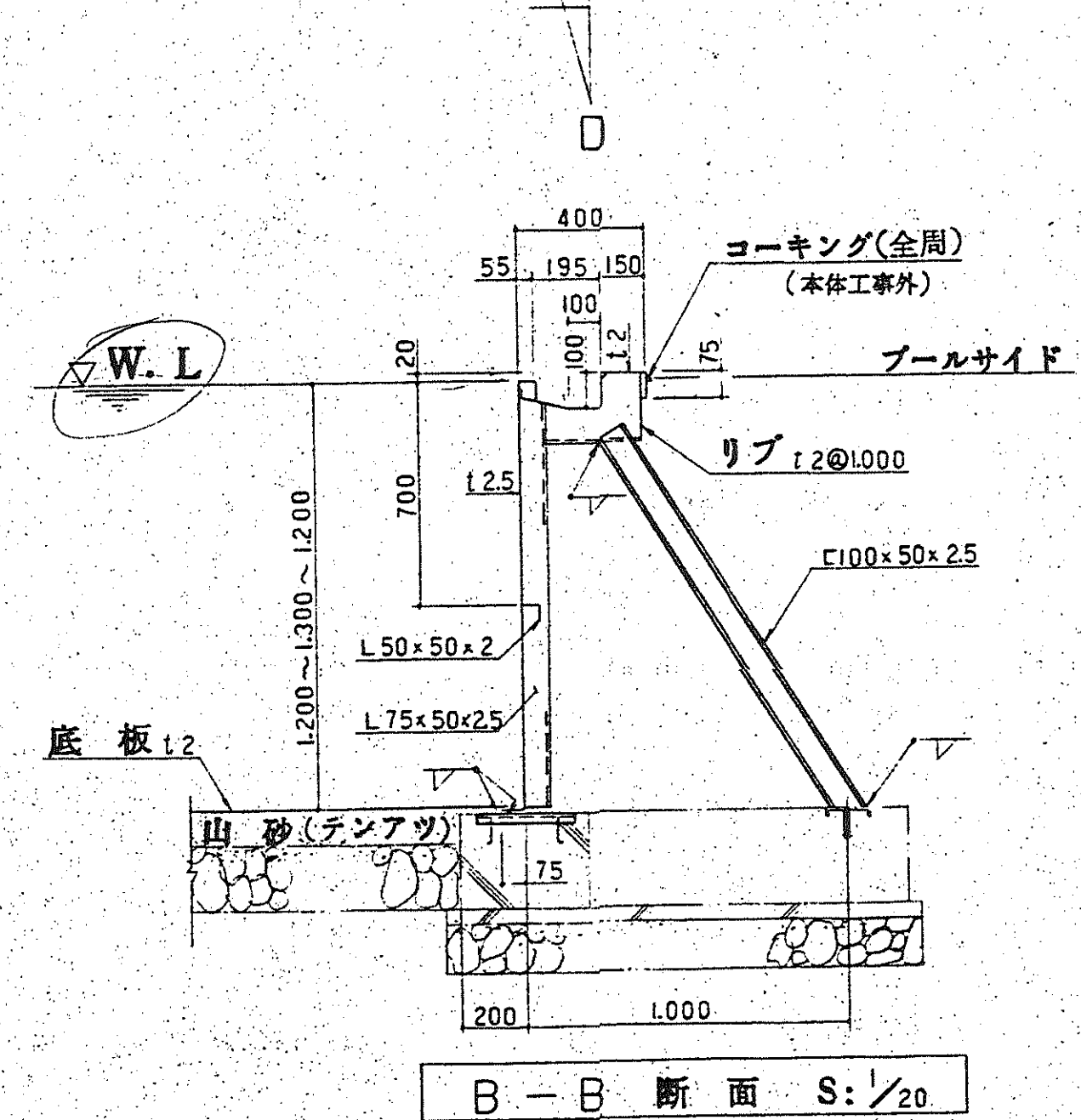
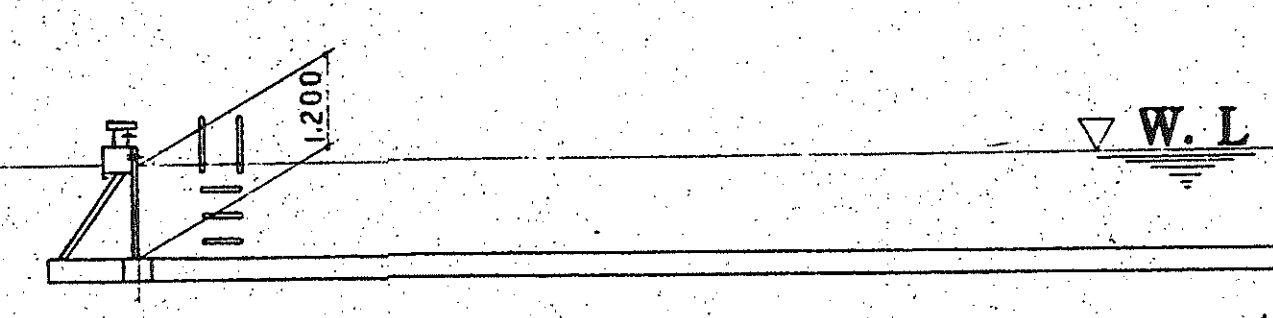
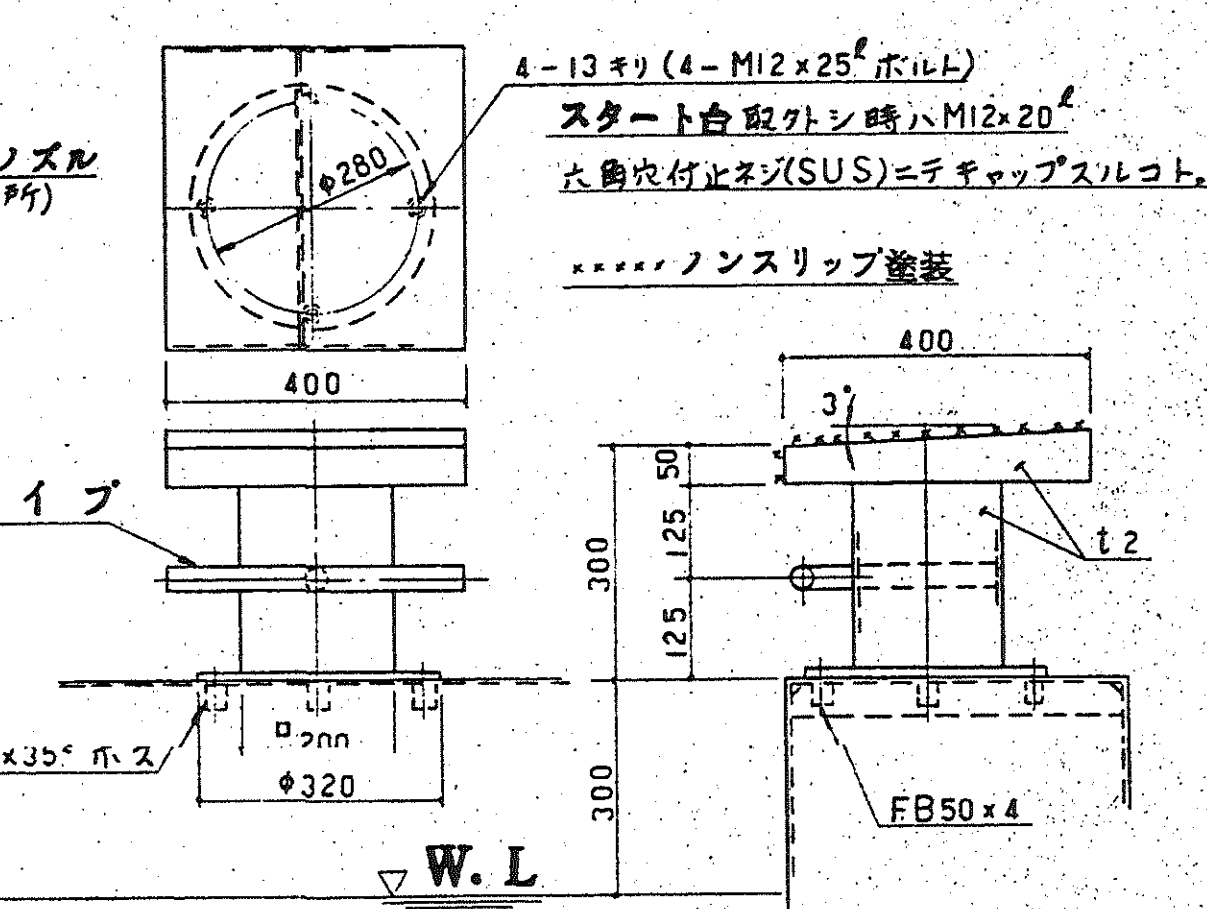
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@office.yanai.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 監査 設計 製図 柳井	NOTE	部長 副部長 主任 担当	工事名 図面名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事 部分詳細図(2)	S-1:図示(A-1) S-1:図示(A-3)	図面番号 KA 041
-----------------	---	---	------------------------------	----------------	----------------------------	------	-----------------------	------------	------------------------------	----------------------------	-------------------



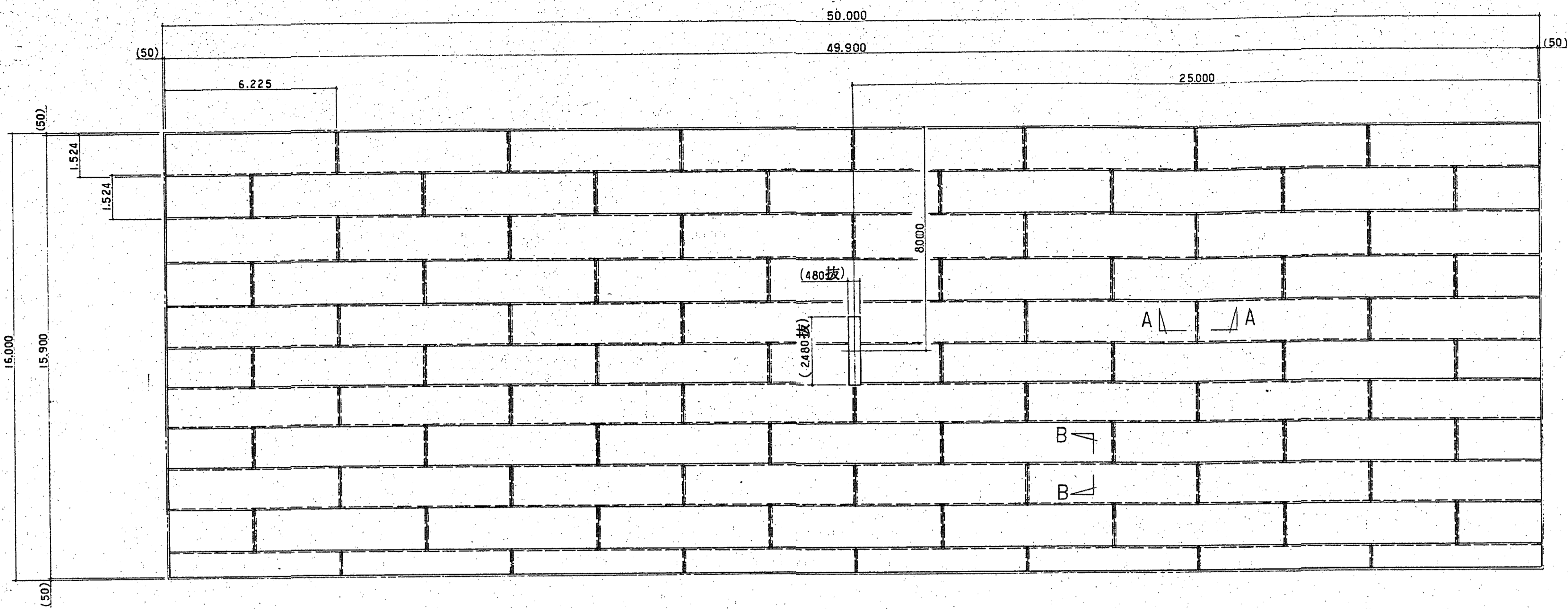


水深 1.2 M

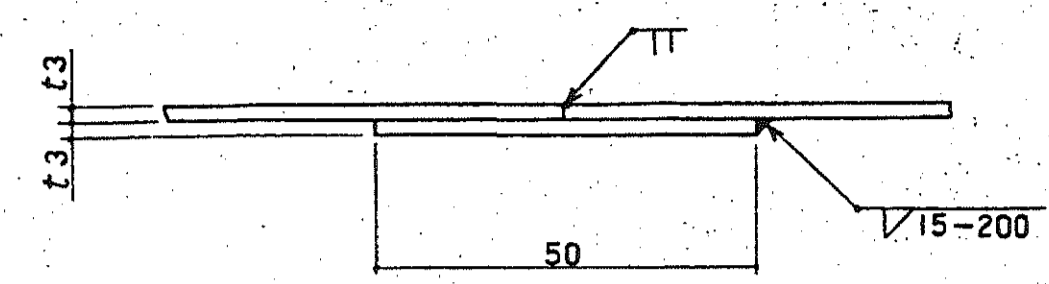
水深標示 詳細 S: 1/5



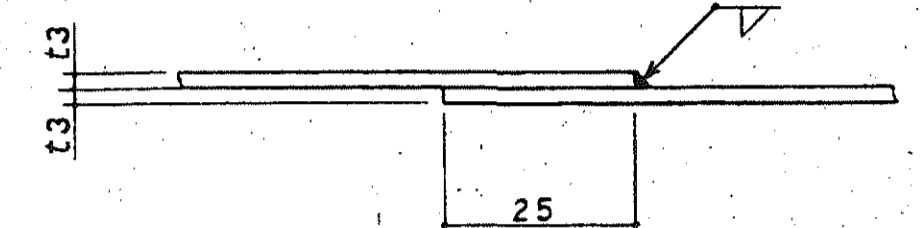
注. 特記材料は全てSUS304.



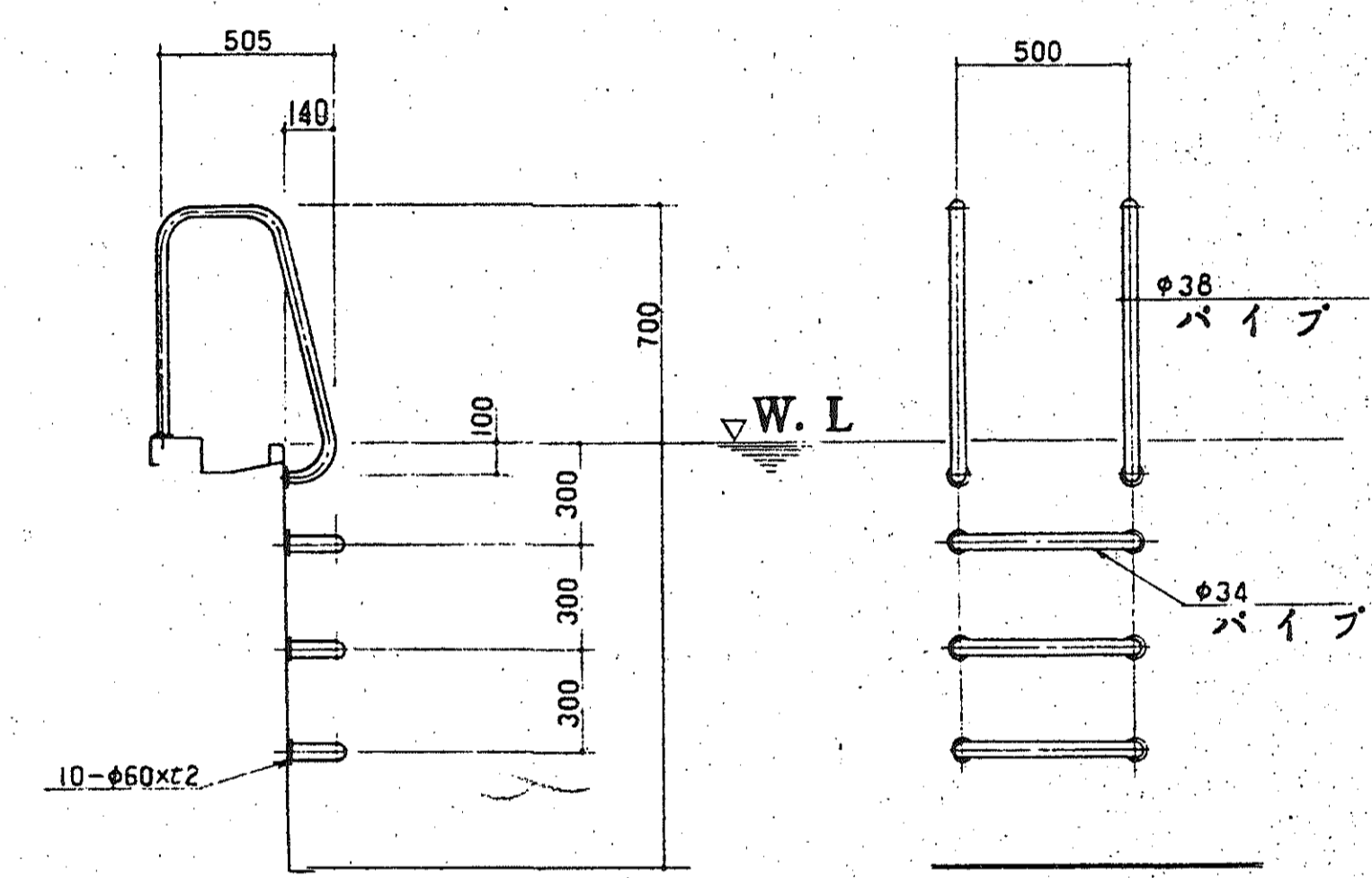
50Mプール底板詳細 S: 1/100



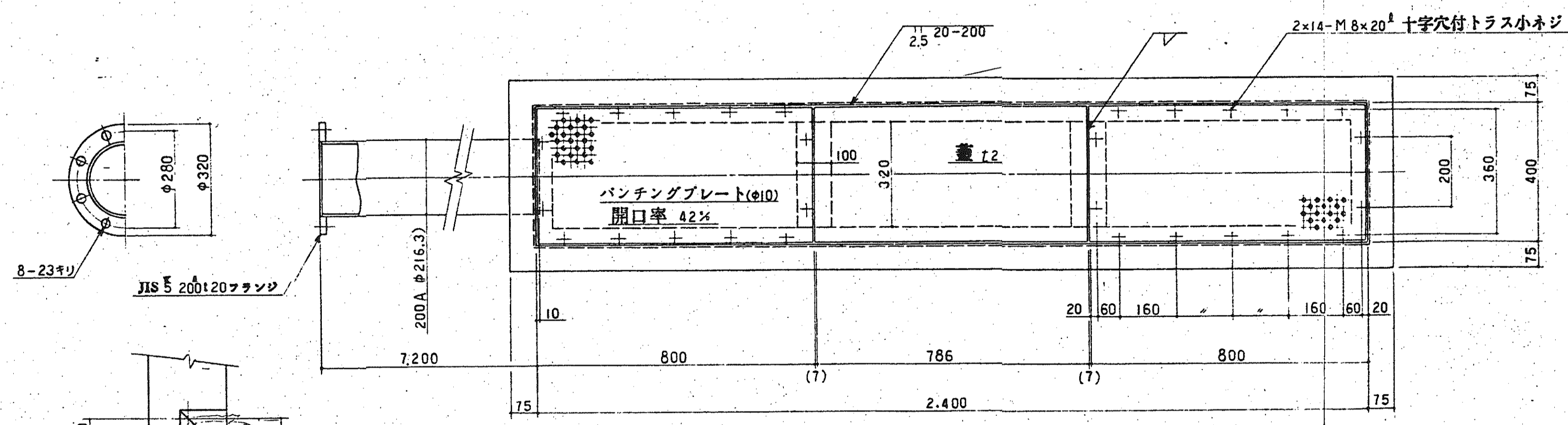
A-A断面 S: 1/1



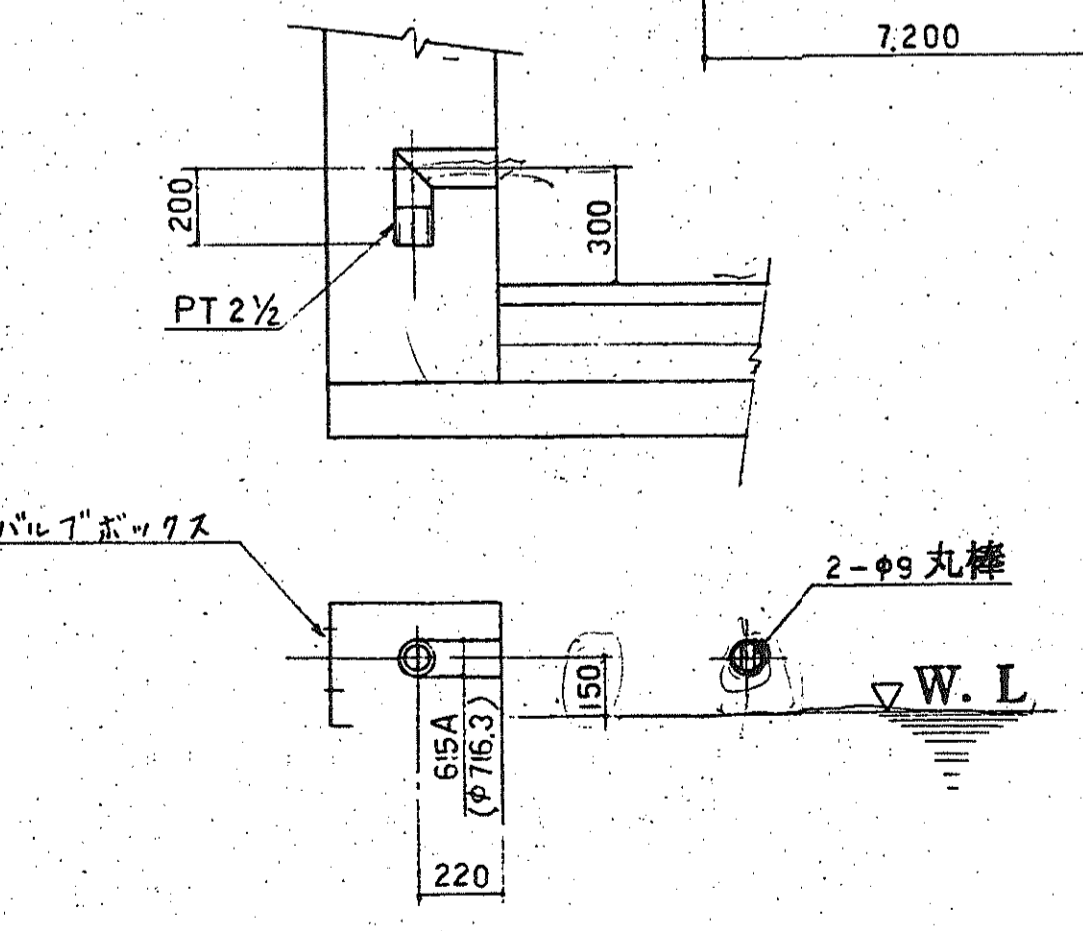
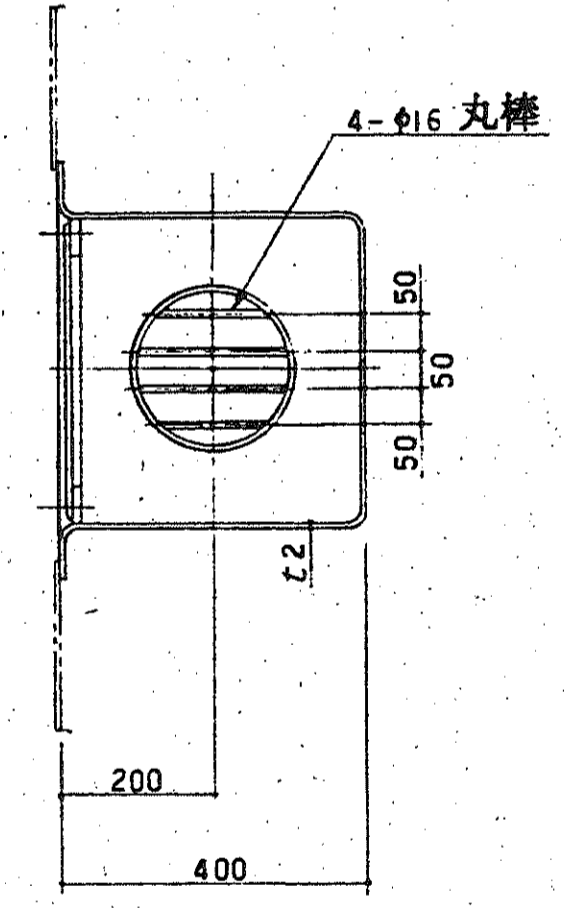
B-B断面 S: 1/1



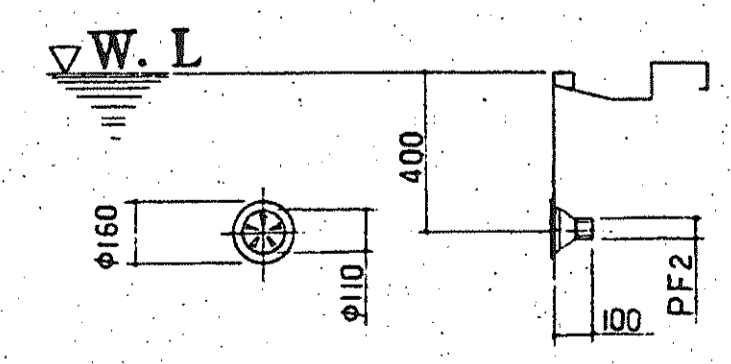
入水梯子 詳細 S: 1/20



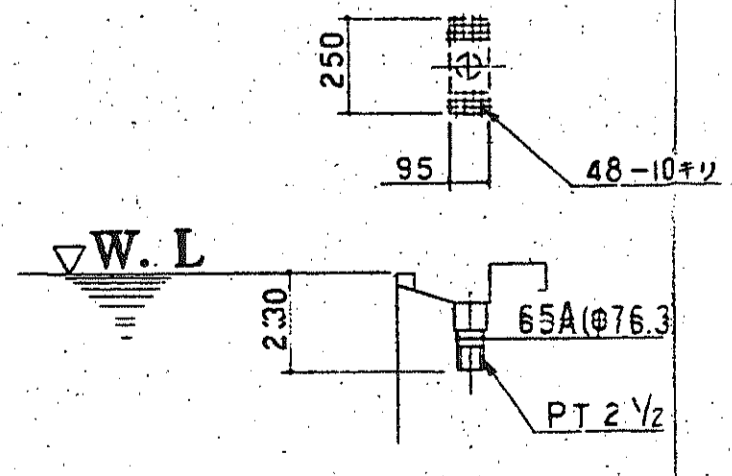
排水ピット 詳細 S: 1/10



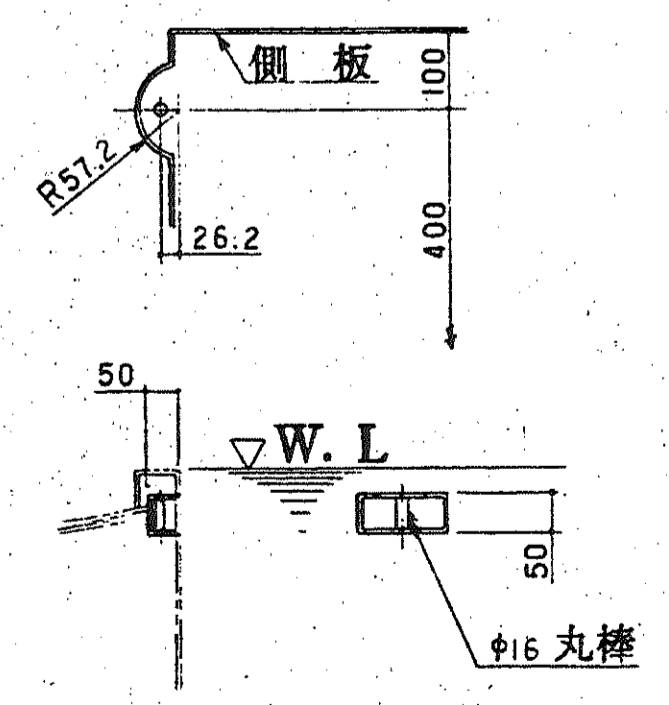
給水ノズル 詳細 S: 1/20



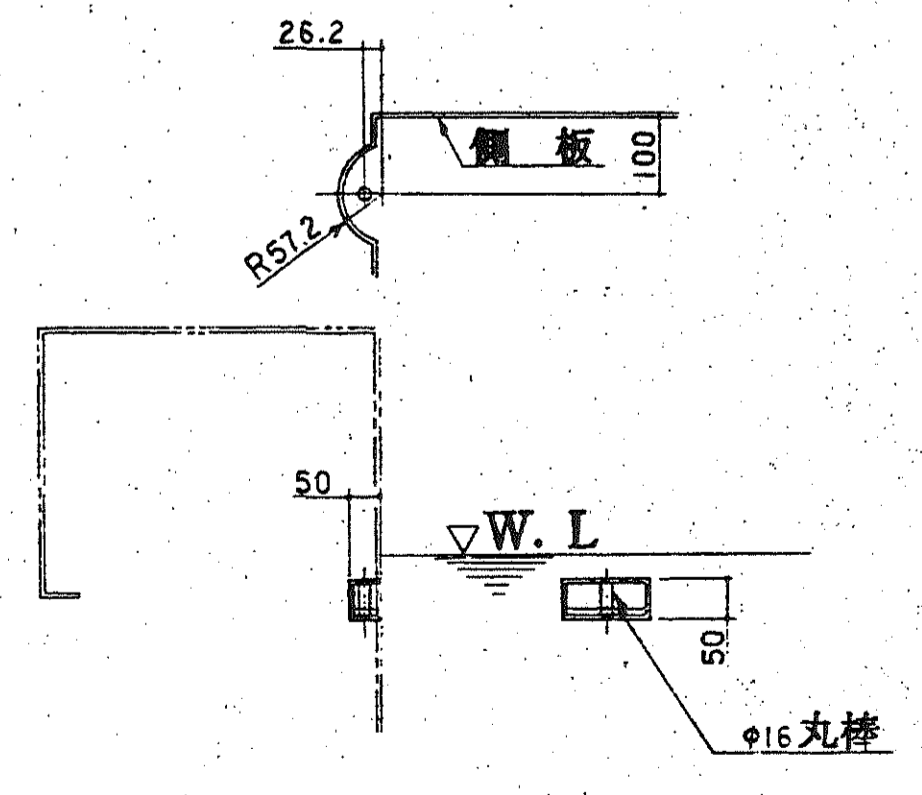
吐出ノズル 詳細 S: 1/20



オーバーフローノズル 詳細 S: 1/20



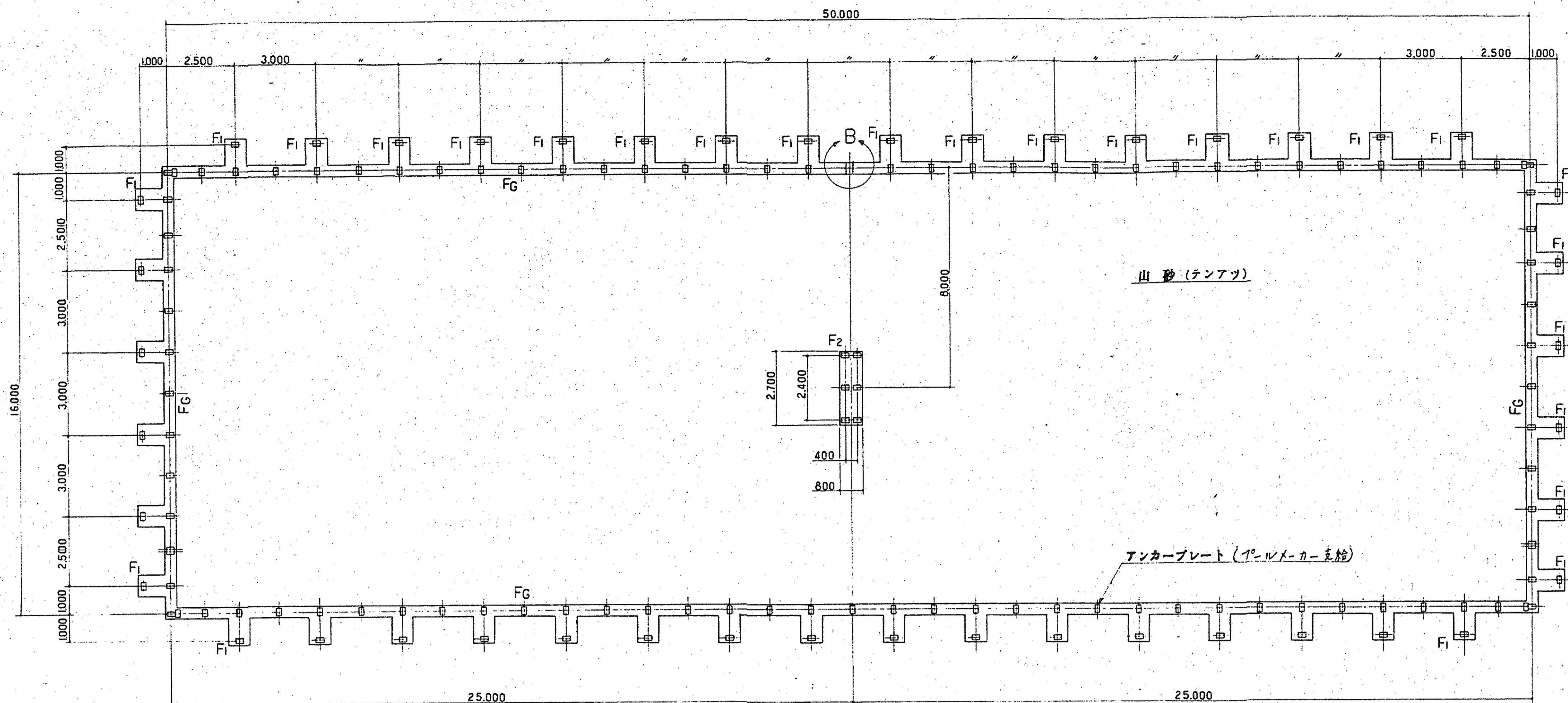
長手方向 保護ネットフック 詳細 S: 1/10



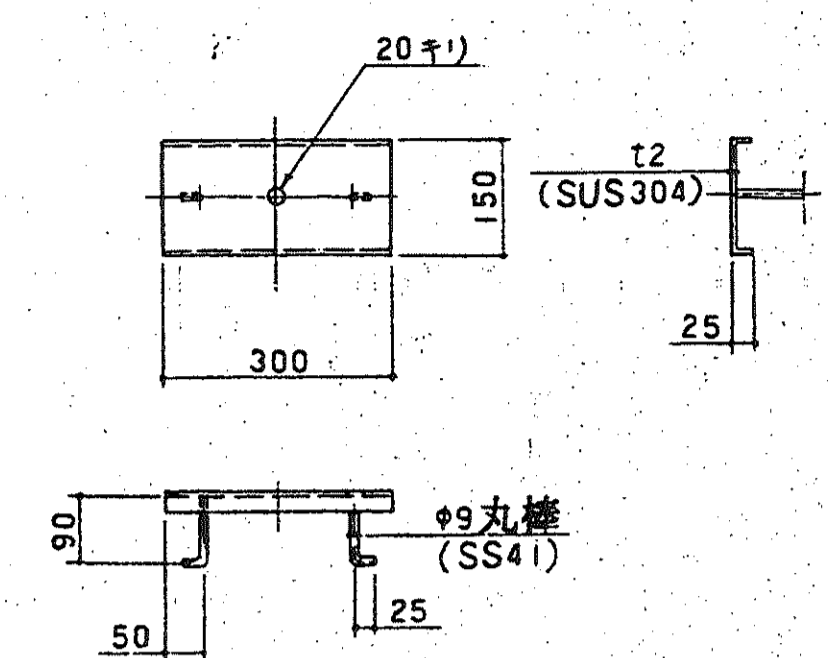
スタート側 保護ネットフック 詳細 S: 1/10

注. 特記 材質ハ全てSUS304

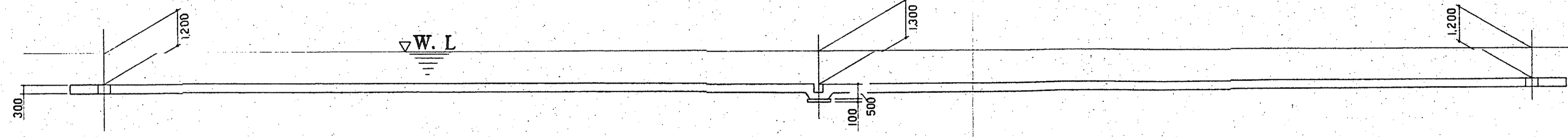
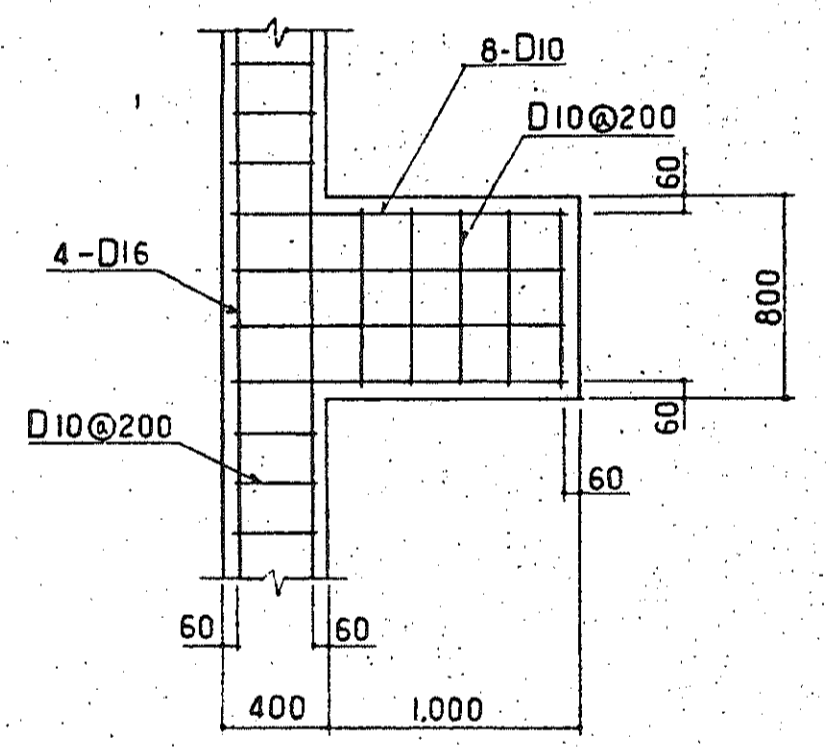
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@kai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 S-1: 図示 (A-1) S-1: 図示 (A-3)	図面番号 KA 045
-----------------	---	--	------------------------------	----------------	----------------------------	------	------------	-----------------------	-------------------------	--	-------------------



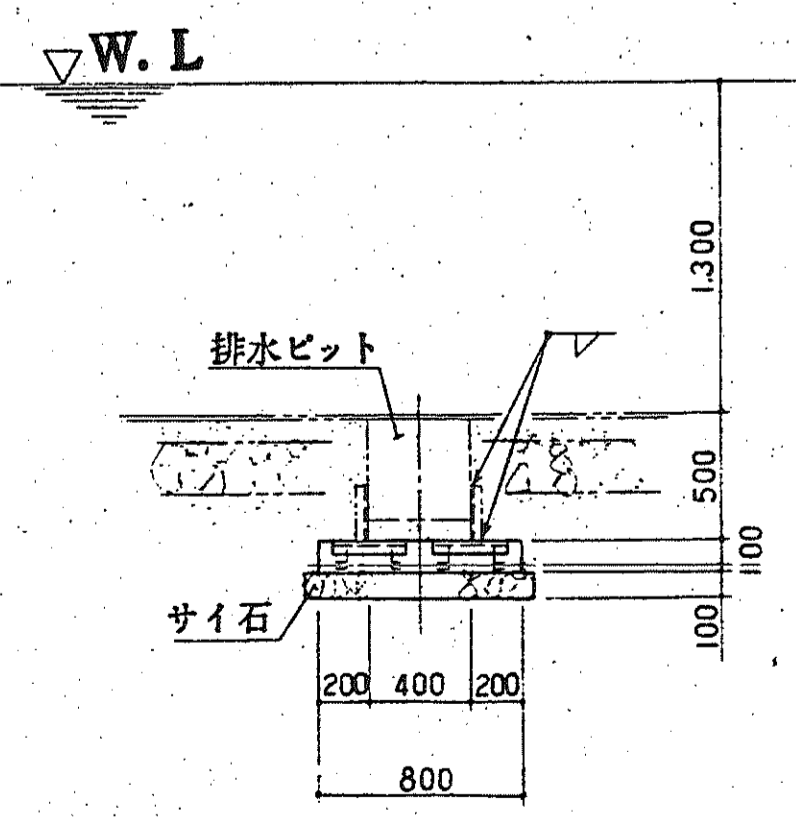
50M プール 基礎伏図 S: 1/100



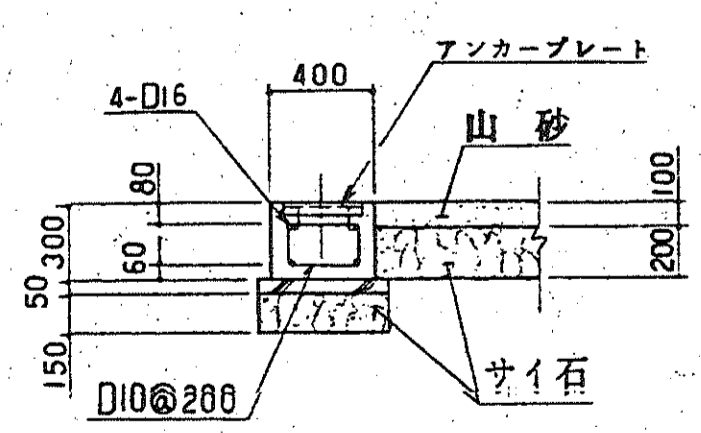
アンカープレート詳細 S: 1/10



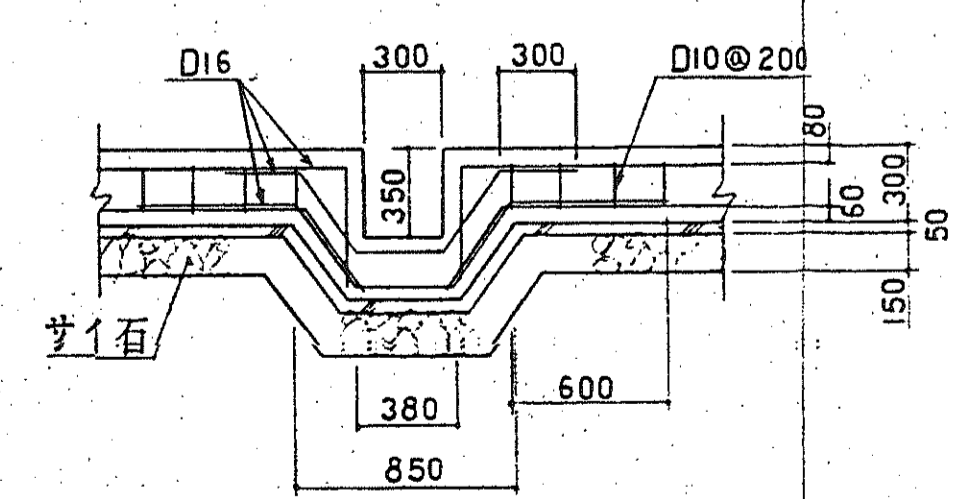
A-A 断面 S: 1/100



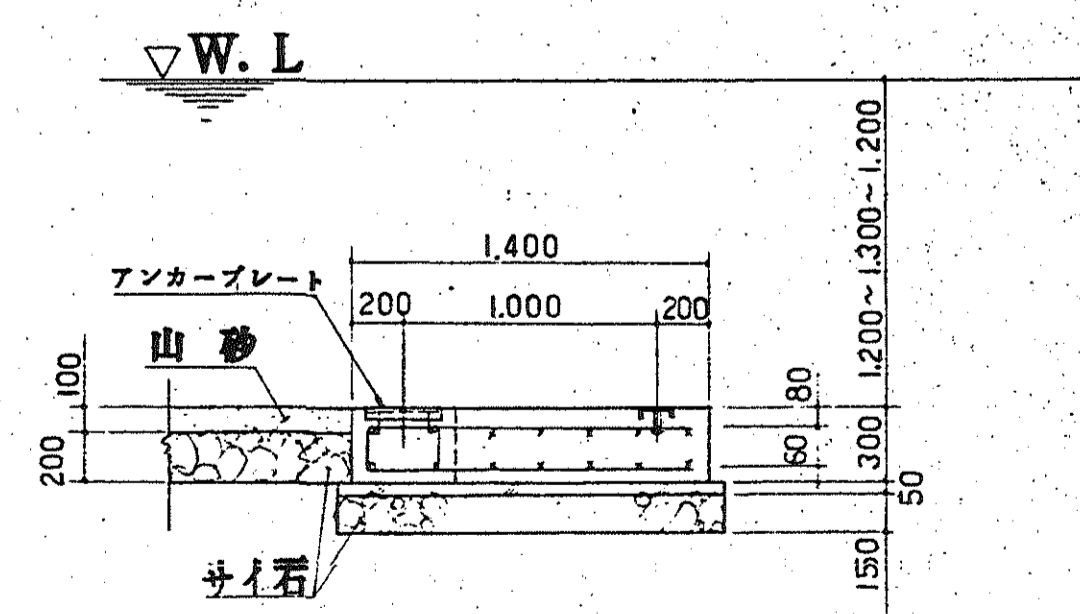
F2 詳細 S: 1/30



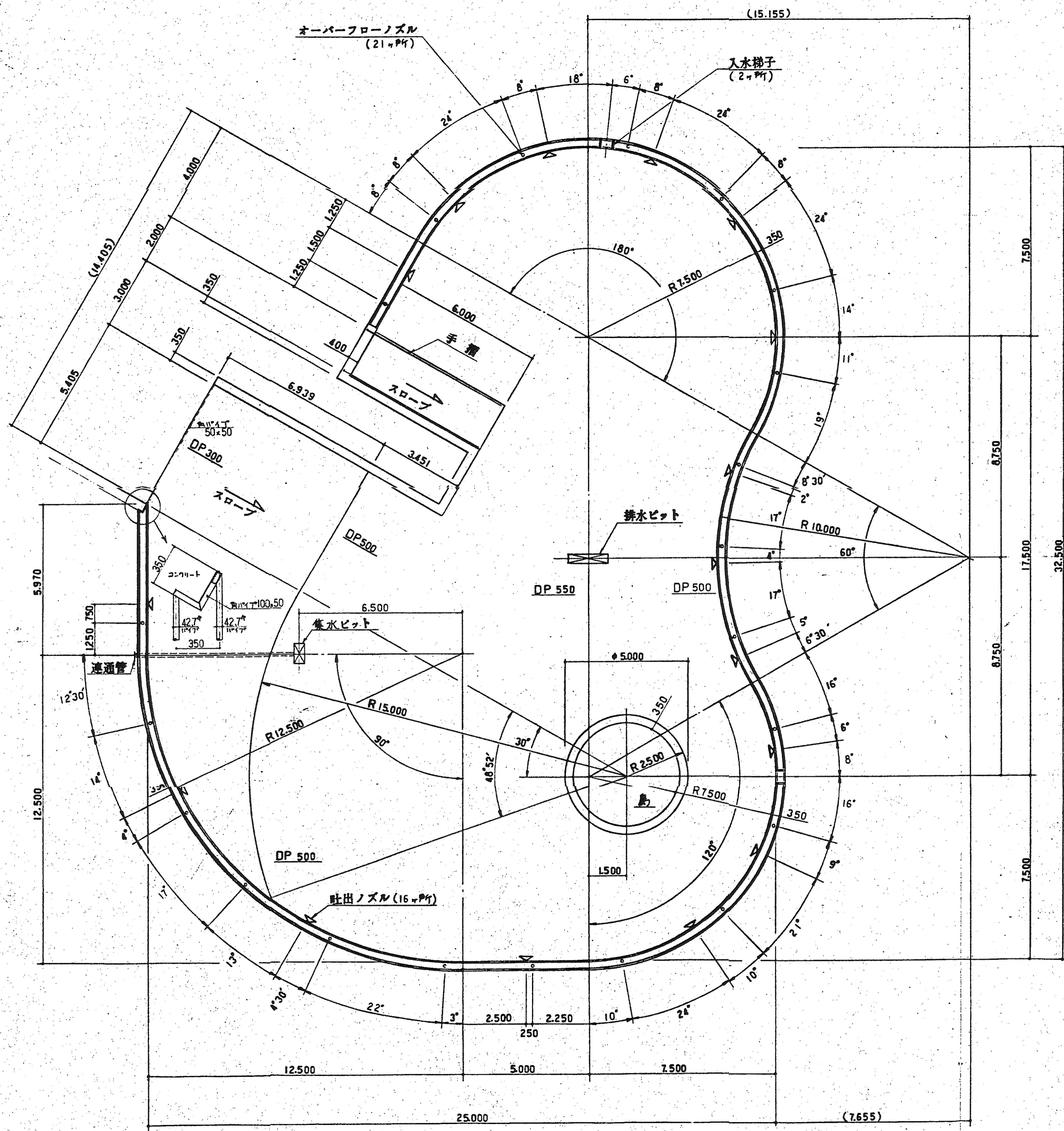
FG 詳細 S: 1/30



B 部詳細 S: 1/30

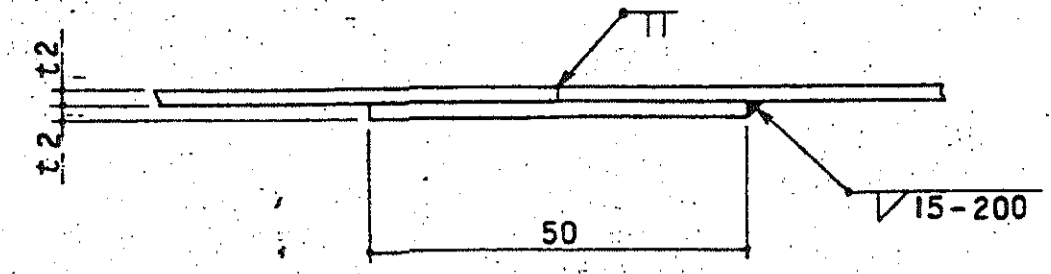


F1 詳細 S: 1/30

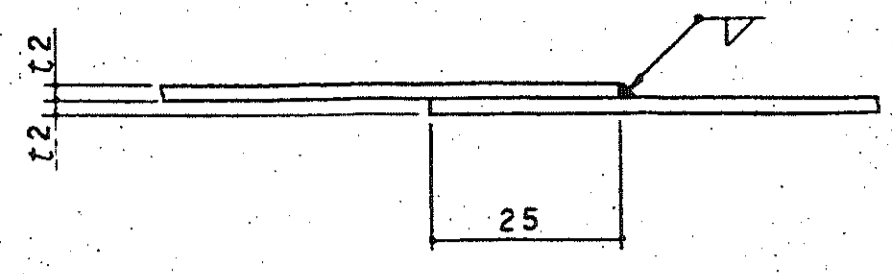


子供プール平面図 S:1/100

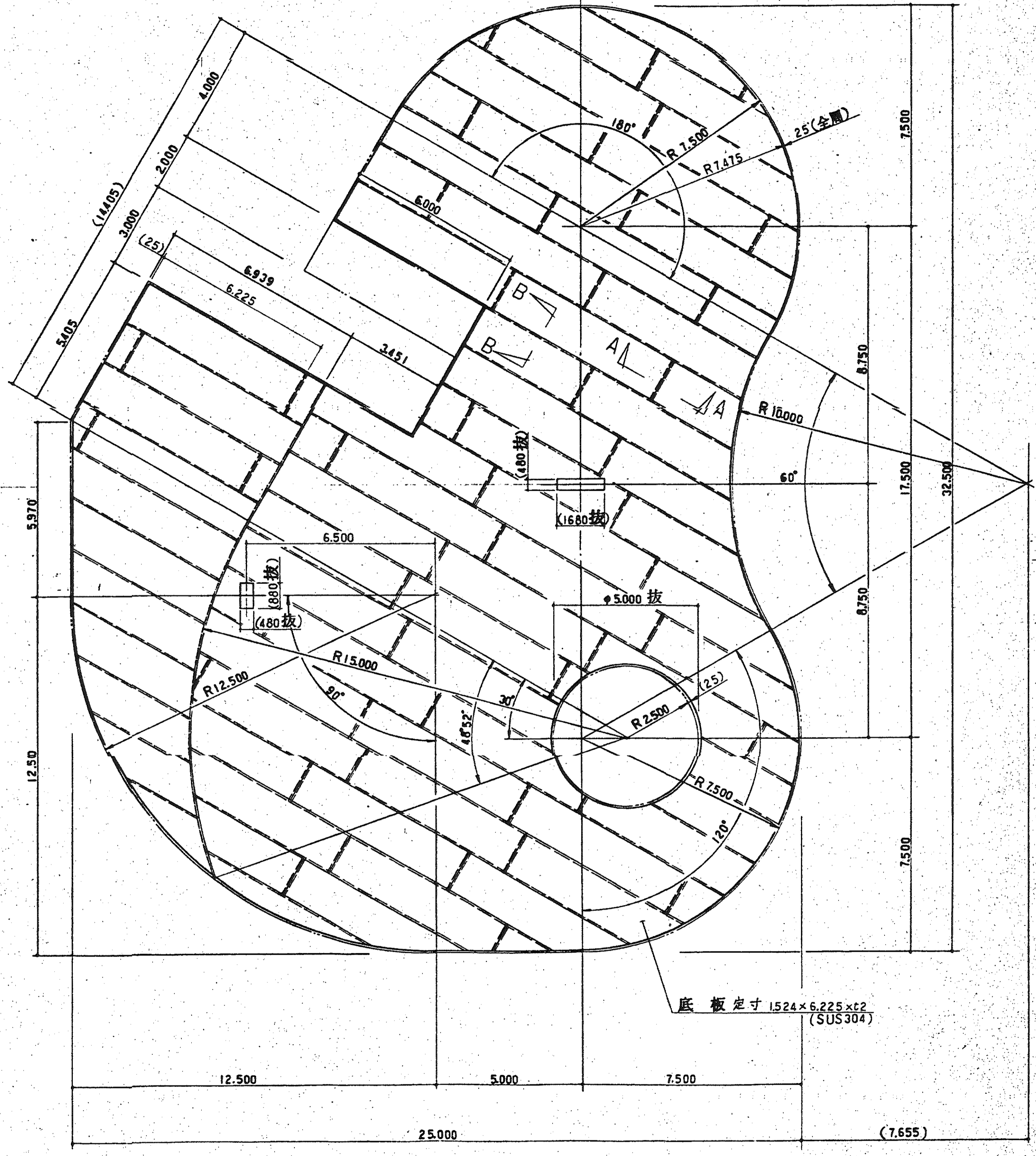
注 プール本体断面ハスライダ-プール断面ヲ参照ス。



A-A断面 S:1/1



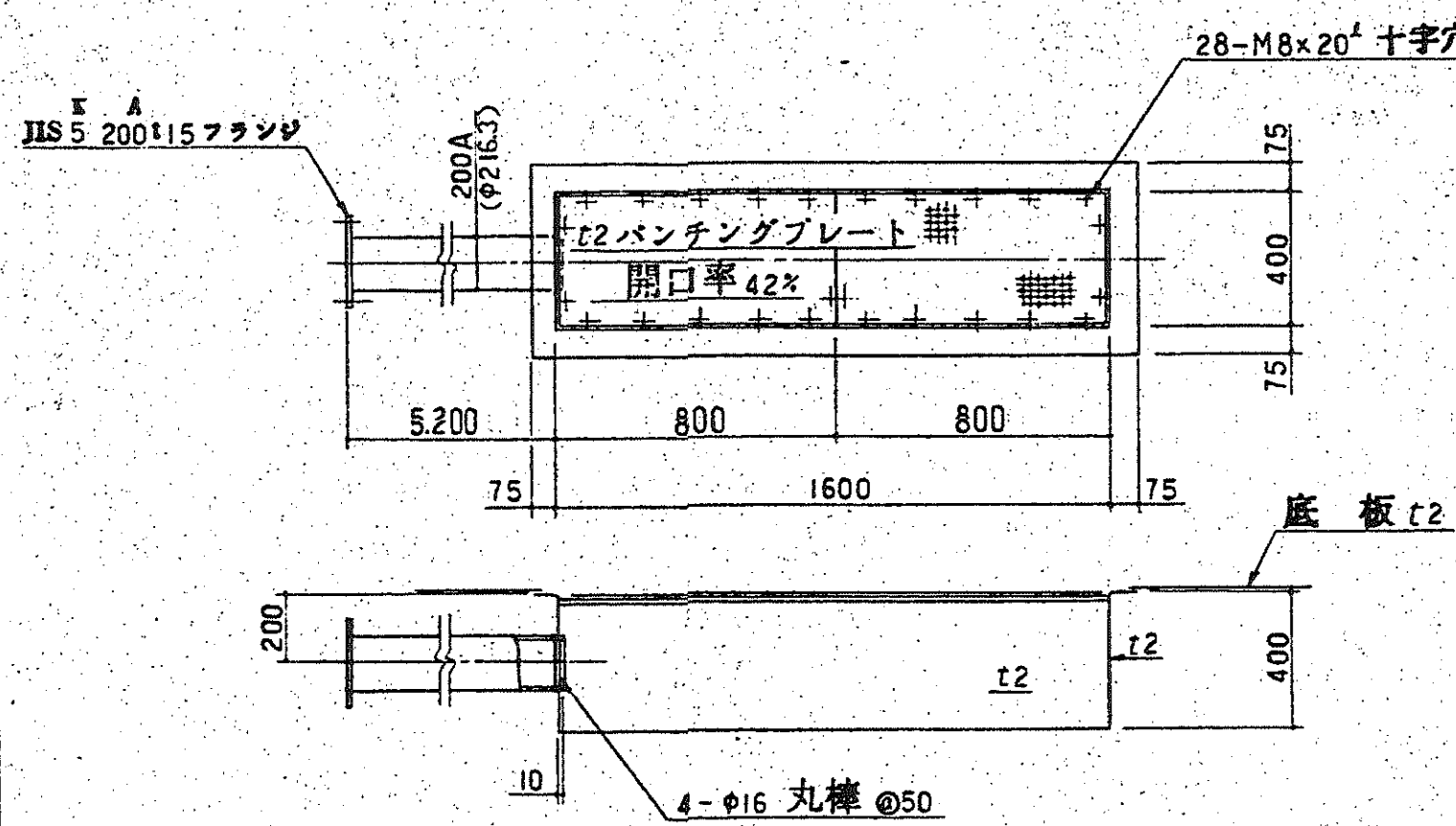
B-B断面 S:1/1



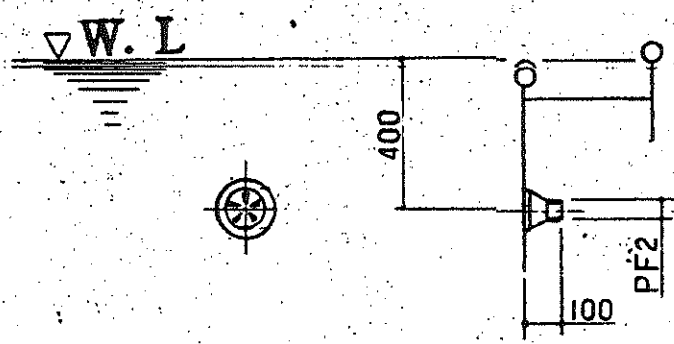
子供プール底板詳細 S:1/100

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisoken@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 柳井	監査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
															図面名 子供プール平面図・底板詳細図	047

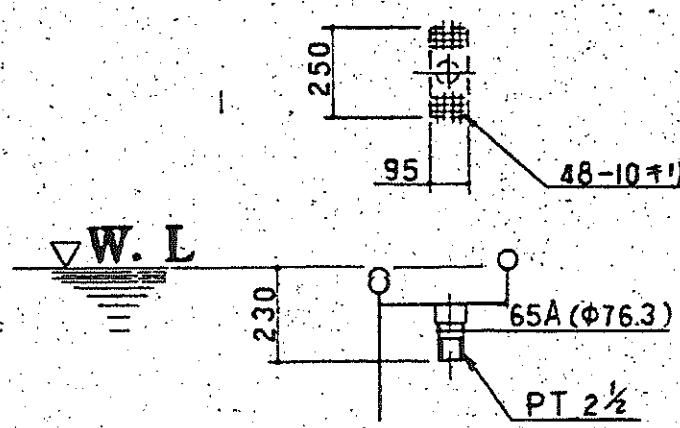
S-1:100 (A-1)
S-1:200 (A-3)



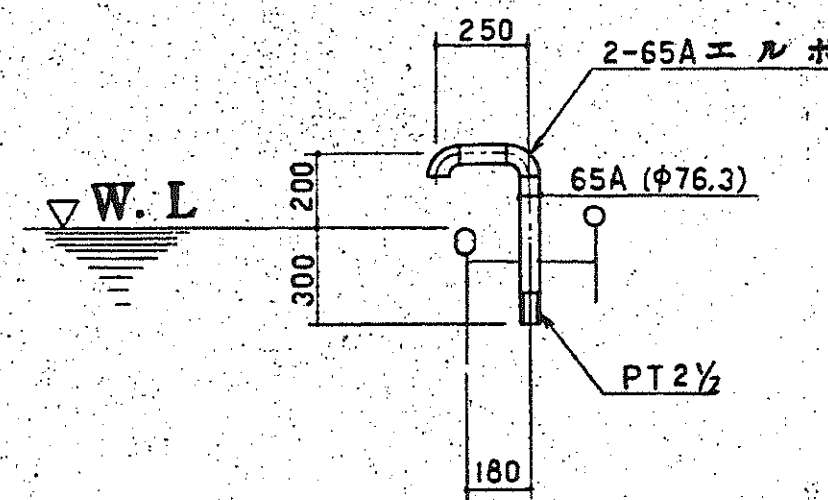
3伏プール 排水ピット 詳細 S: 1/20



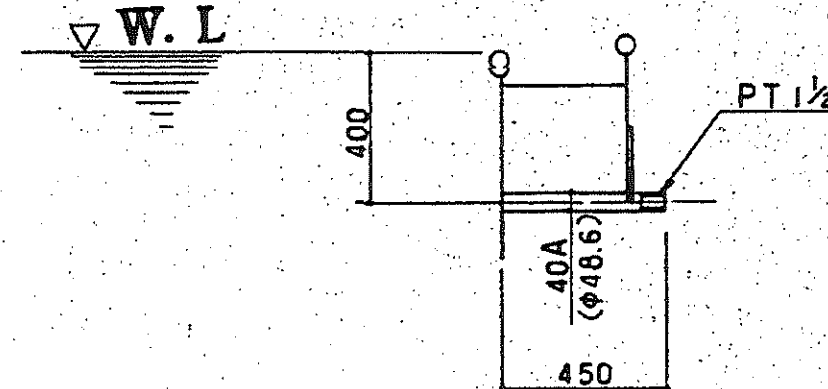
吐出ノズル 詳細 S: 1/20



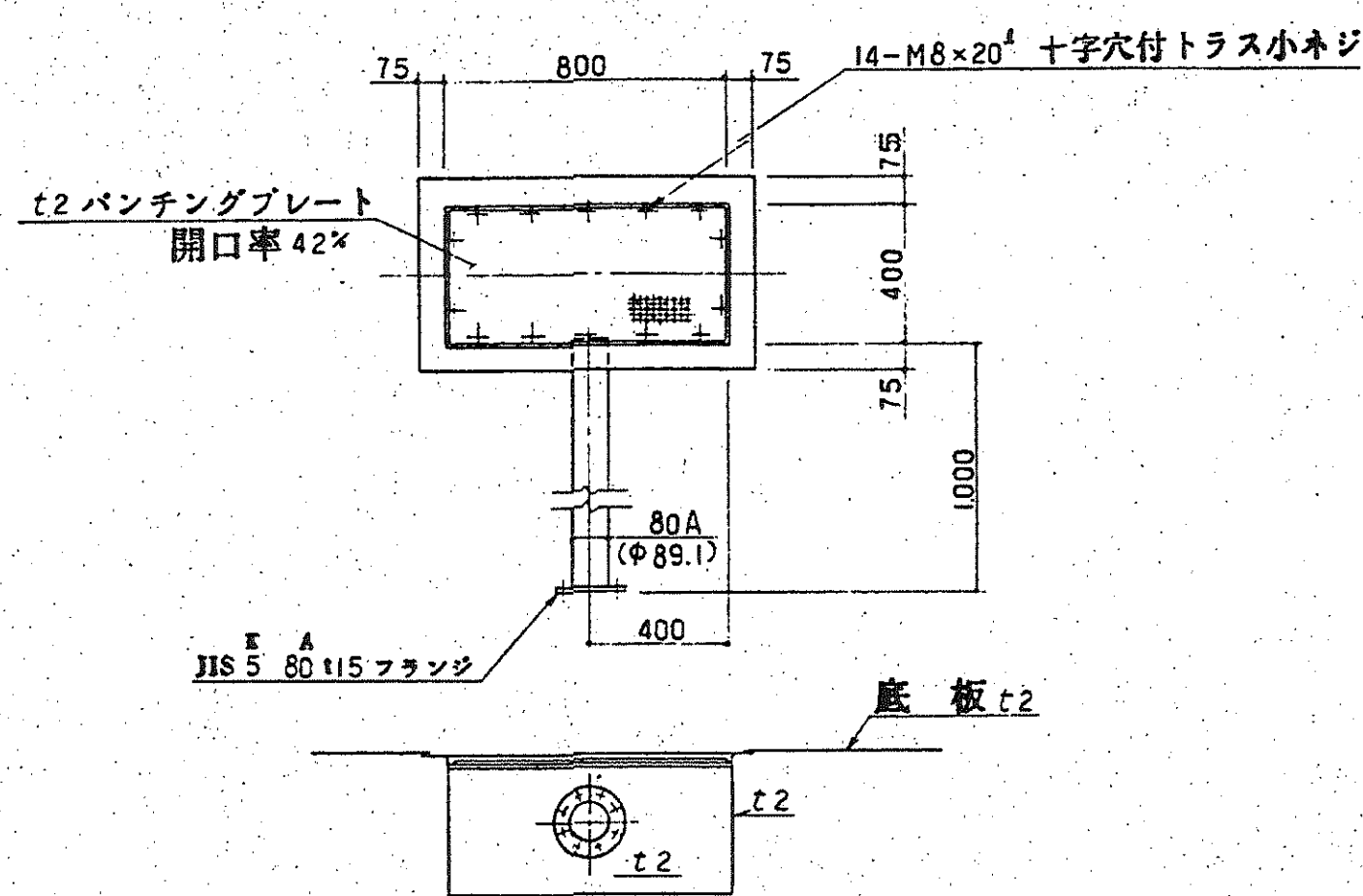
オーバーフローノズル 詳細 S: 1/20



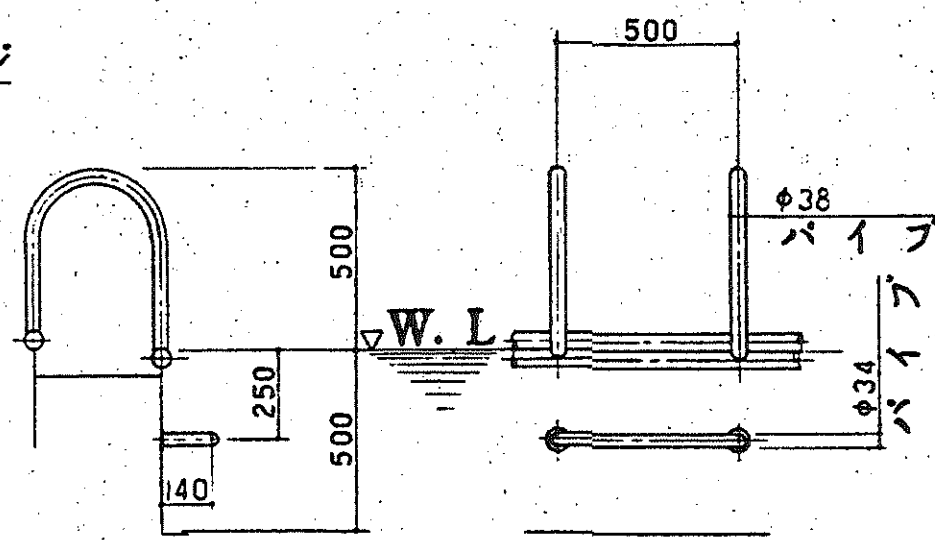
スライダープール 給水ノズル 詳細 S: 1/20



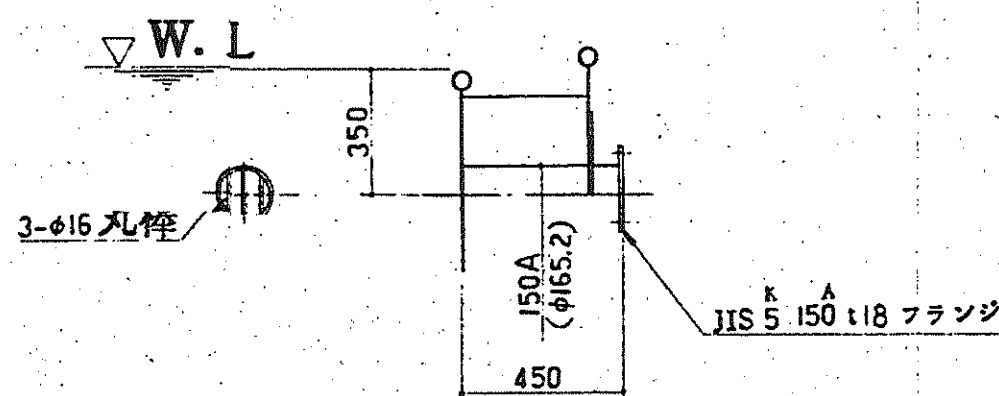
スライダープール 飲水管用ノズル 詳細 S: 1/20



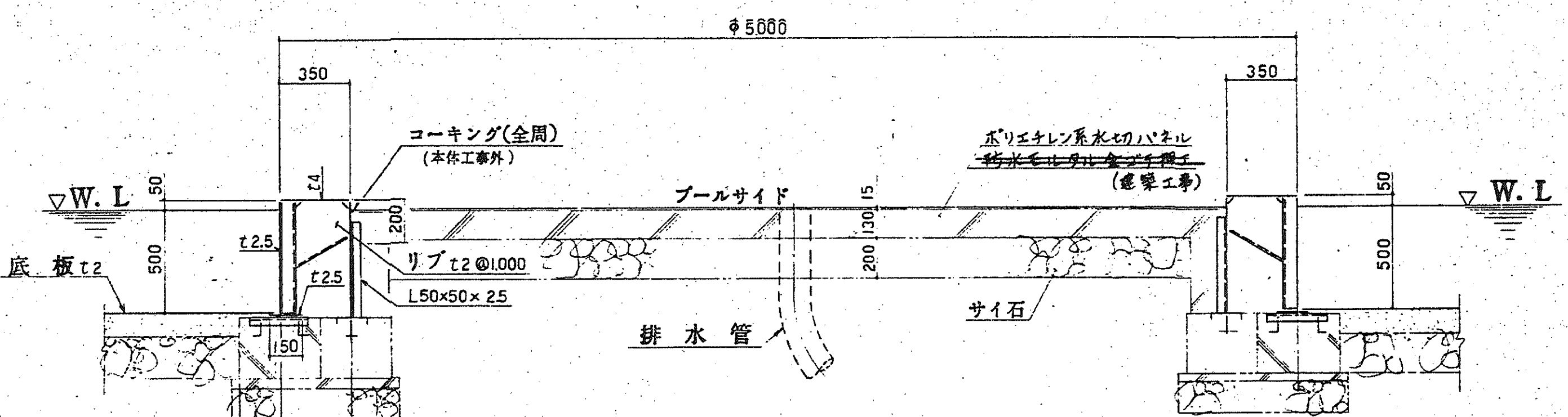
スライダープール 排水ピット 詳細 S: 1/20



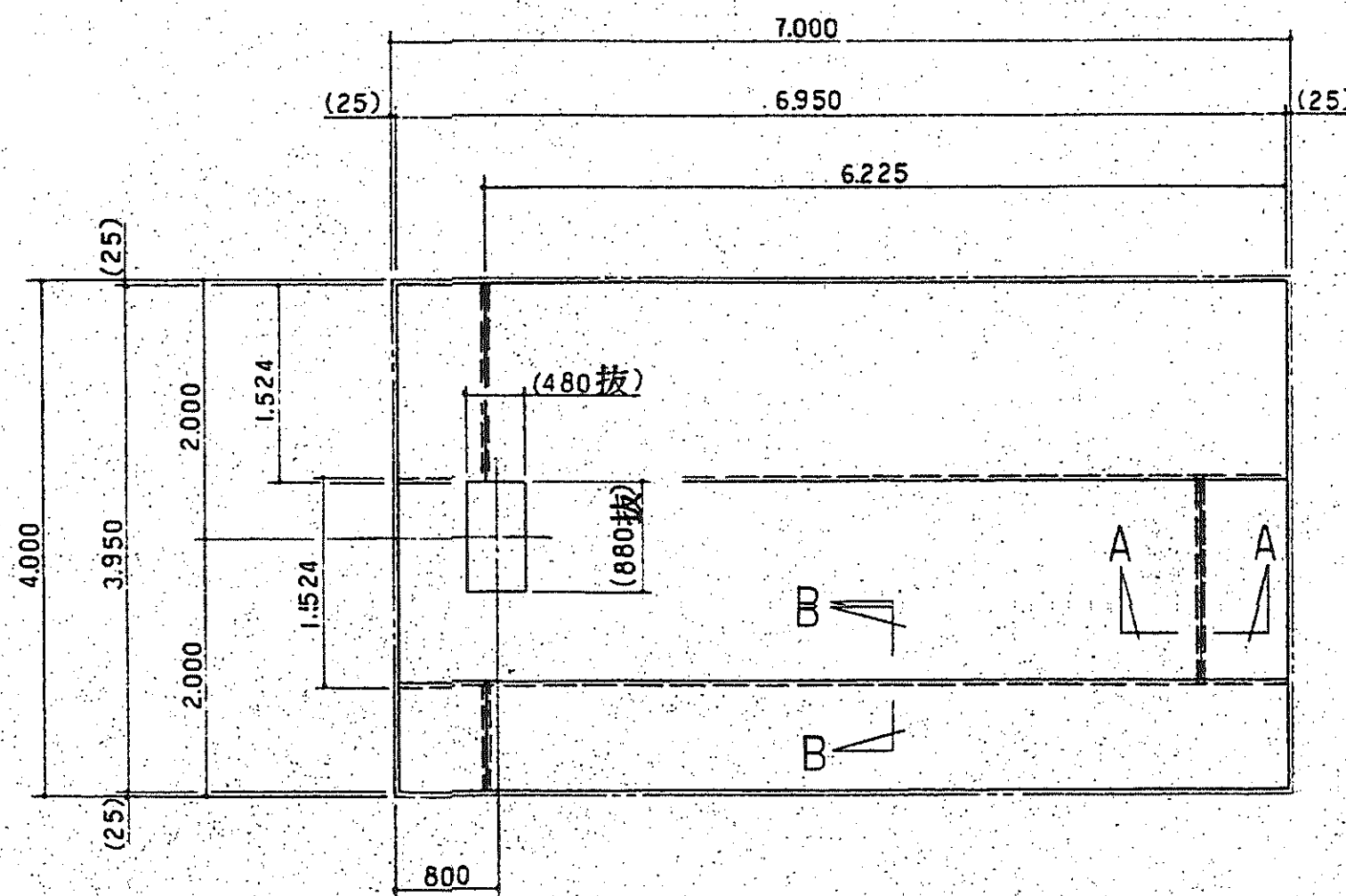
子供プール スライダープール 入水梯子 詳細 S: 1/20



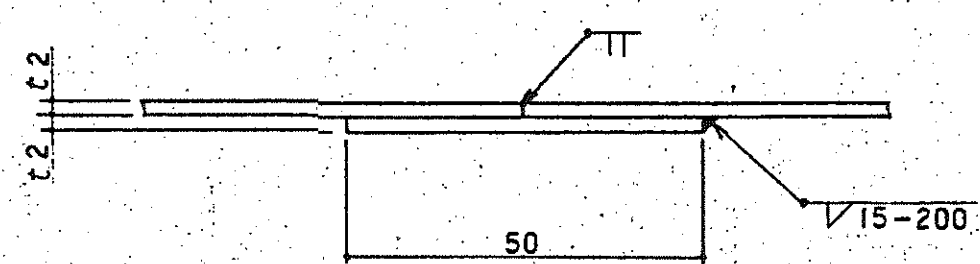
連通管 詳細 S: 1/20



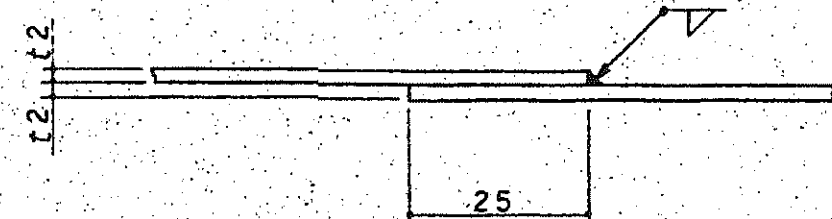
φ5M島 詳細 S: 1/20



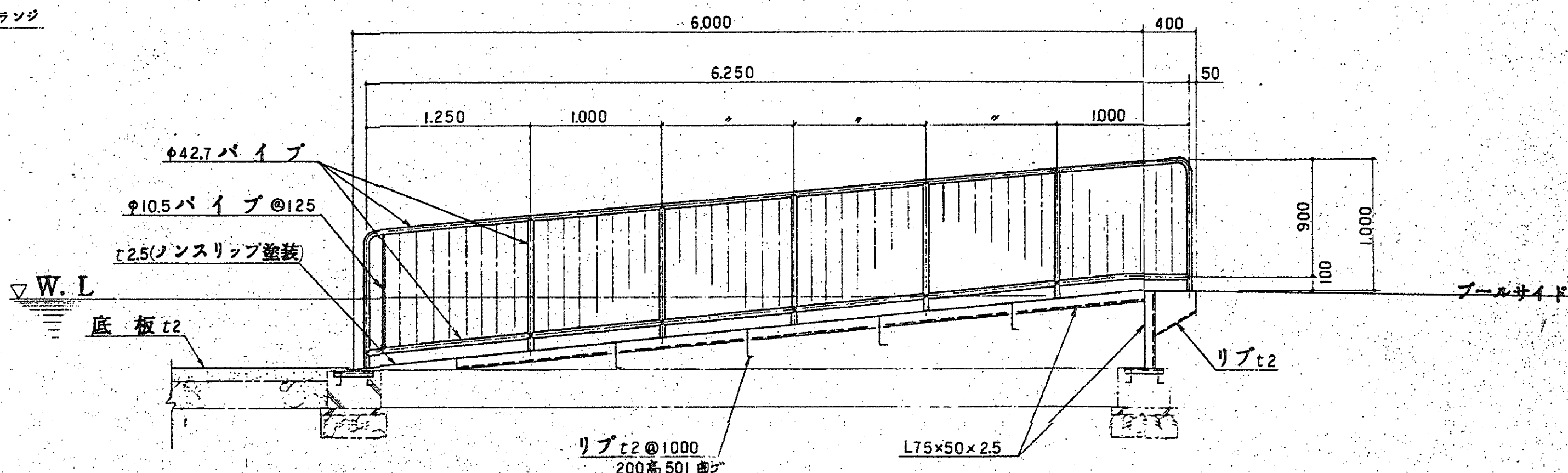
スライダープール 底板 詳細 S: 1/50



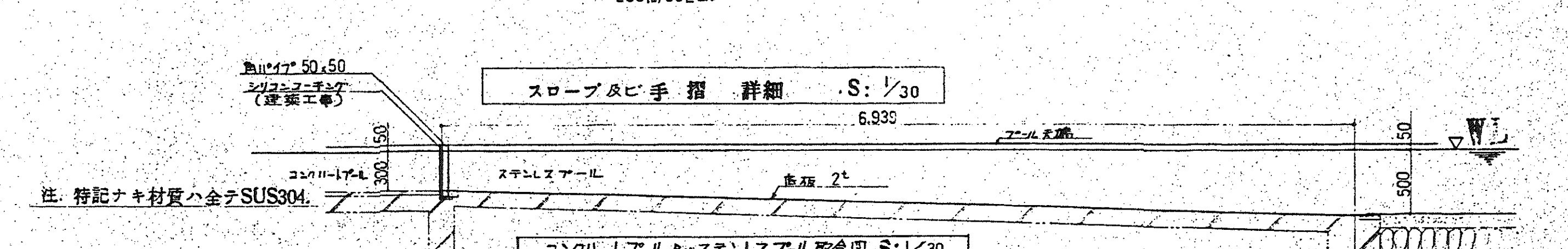
A-A 断面 S: 1/1



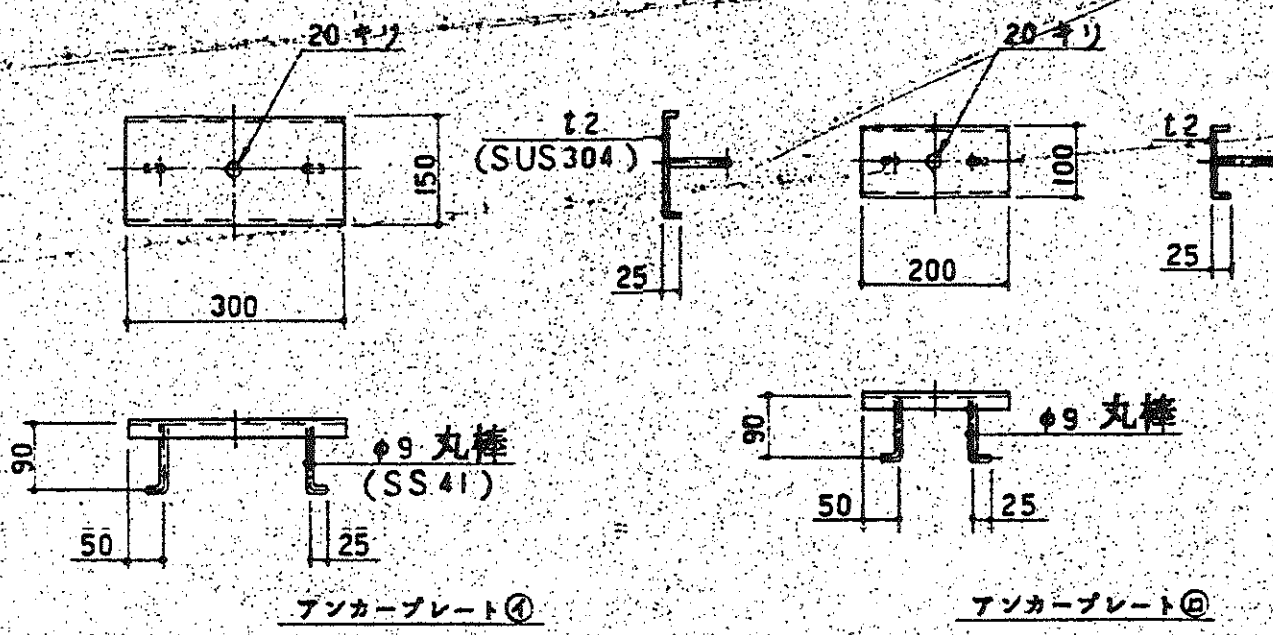
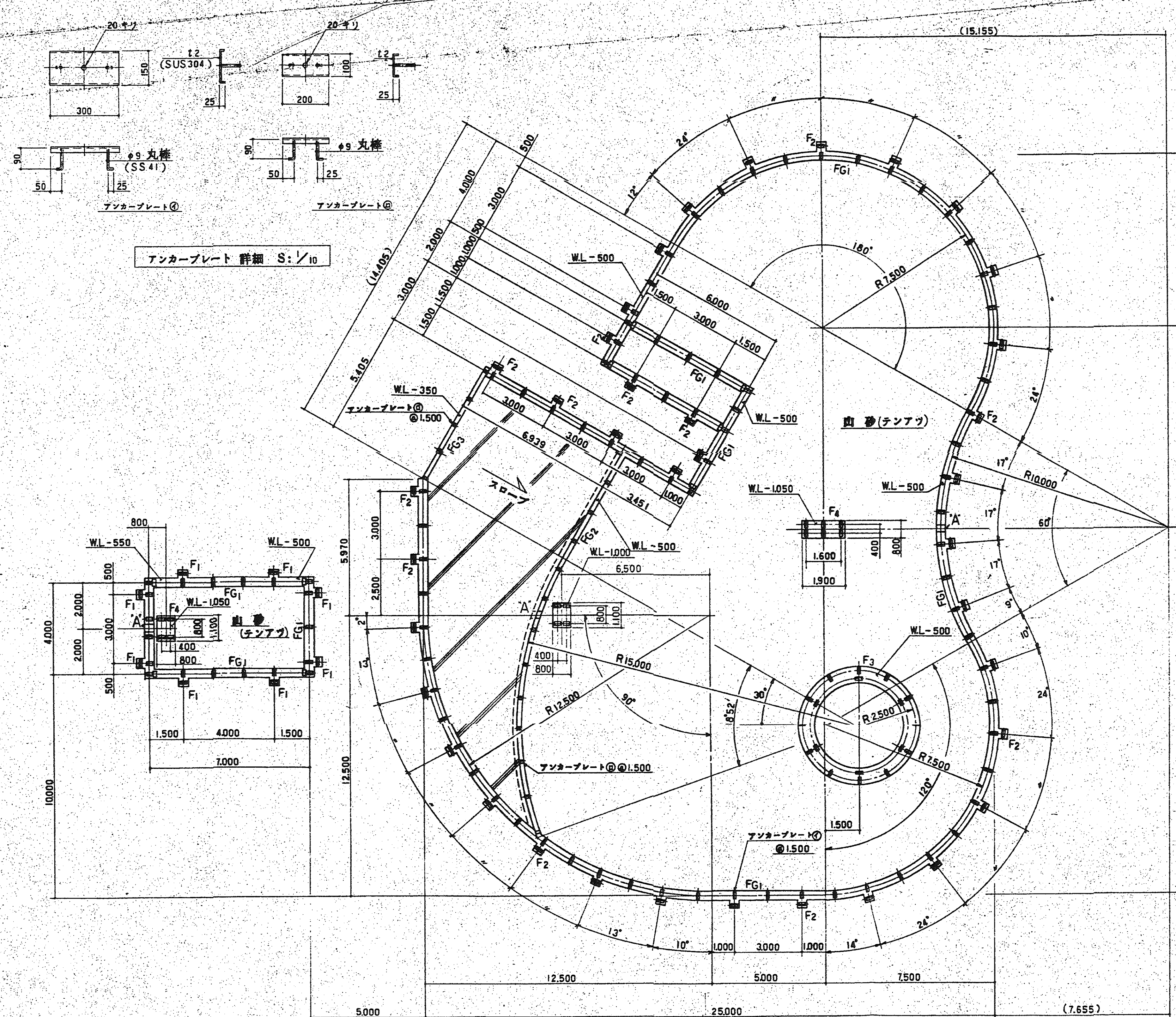
B-B 断面 S: 1/1



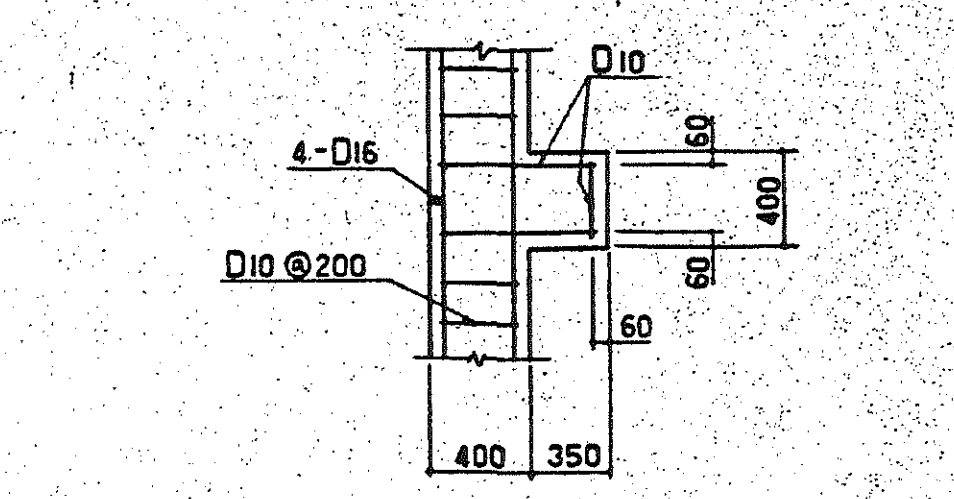
スロープ及び手摺 詳細 S: 1/30



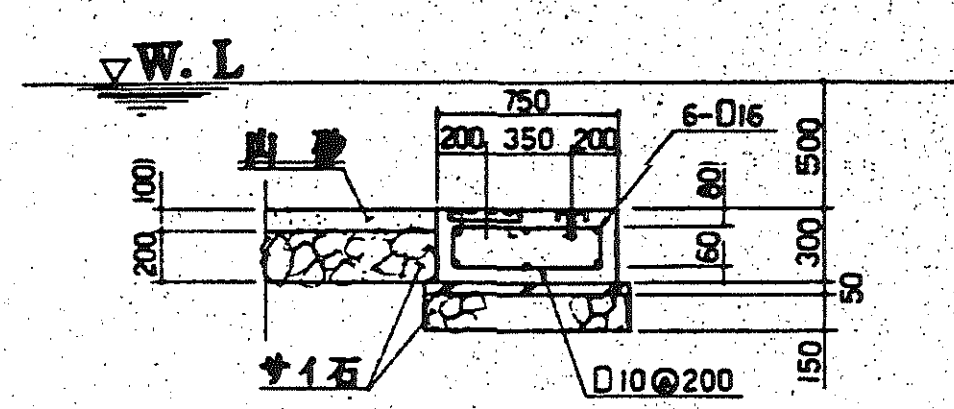
コンクリートスラブにステンレススチール取付図 S: 1/30



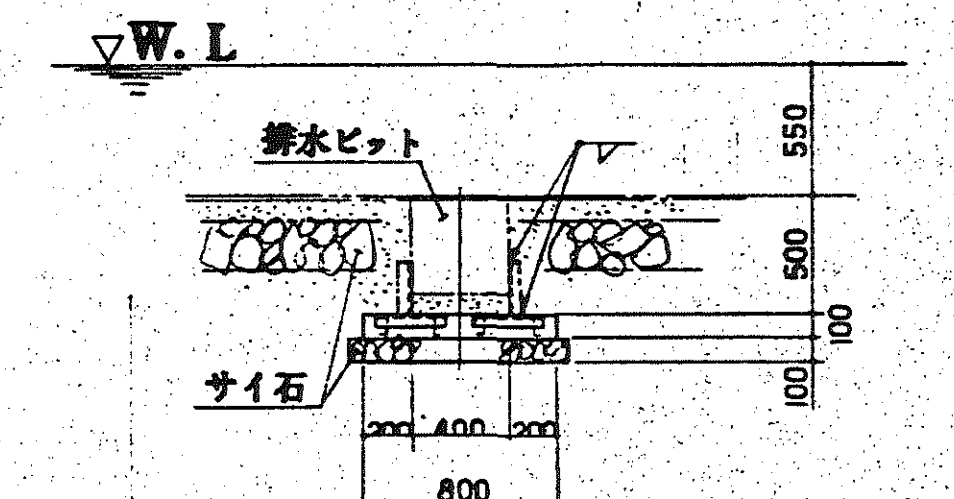
アンカープレート詳細 S: 1/10



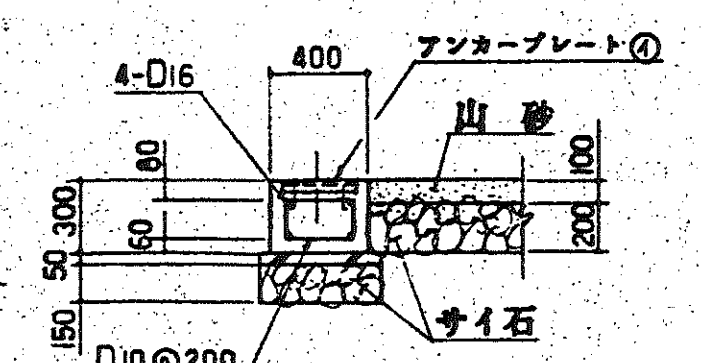
(F1) (F2) 詳細 S: 1/30



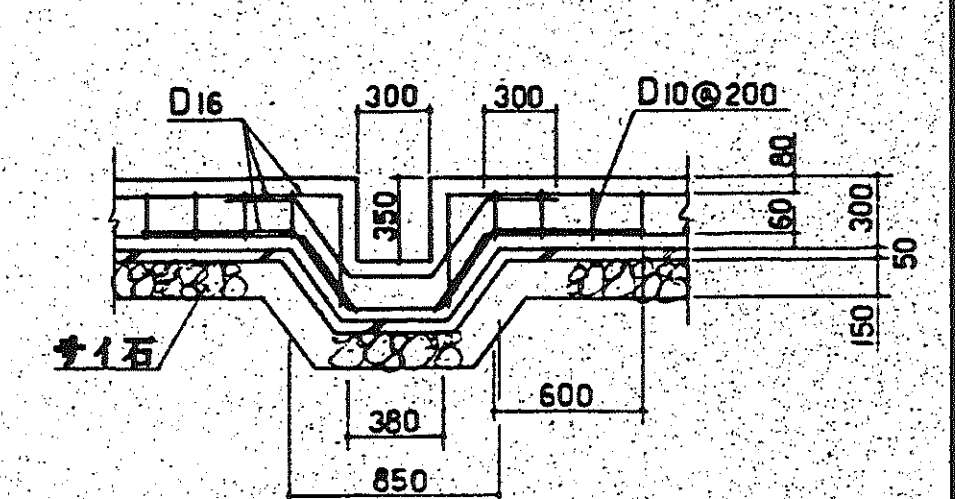
(F3) 詳細 S: 1/30



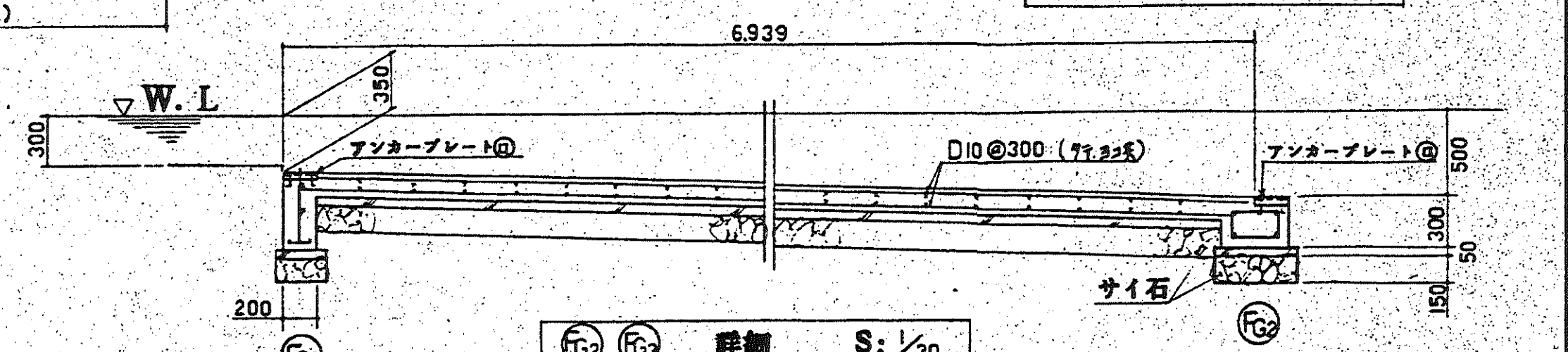
(F4) 詳細 S: 1/30



(FG1) 詳細 S: 1/30



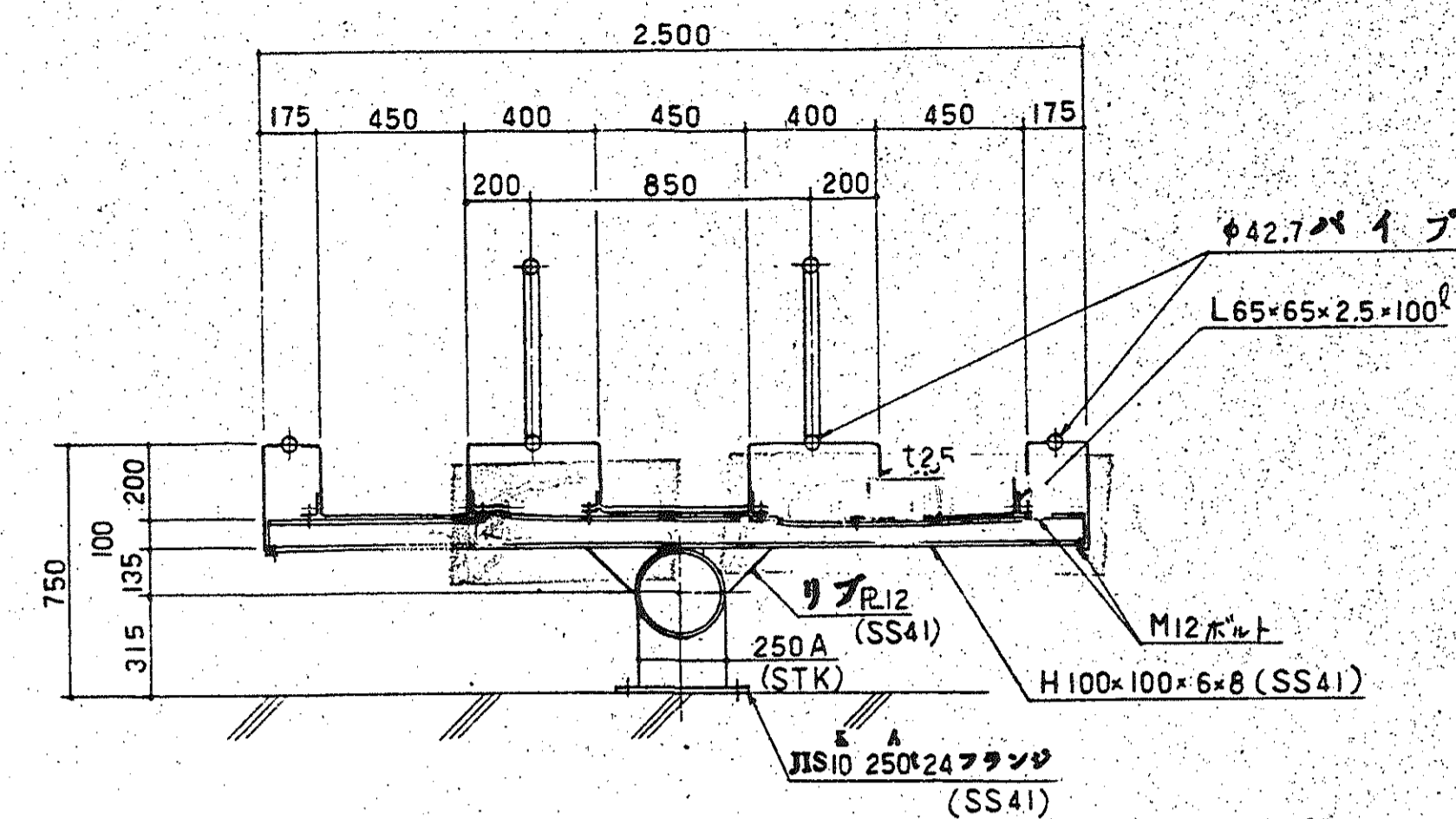
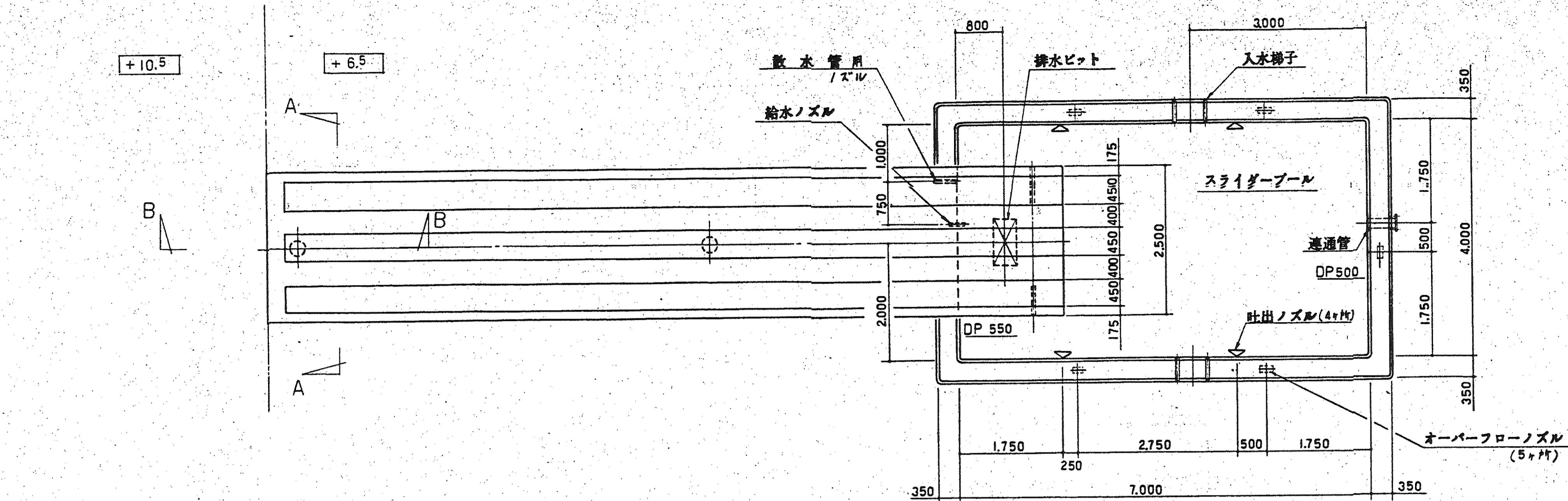
(A) 部詳細 S: 1/30



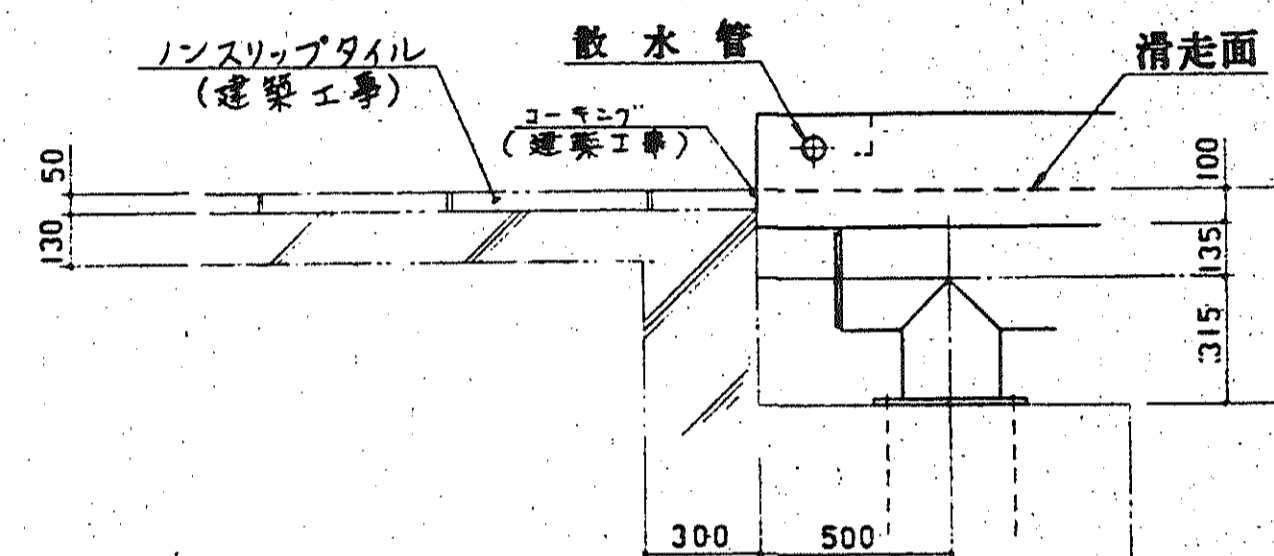
(FG2) (FG3) 詳細 S: 1/30

スライダールール
子供プール 基礎伏図 S: 1/100

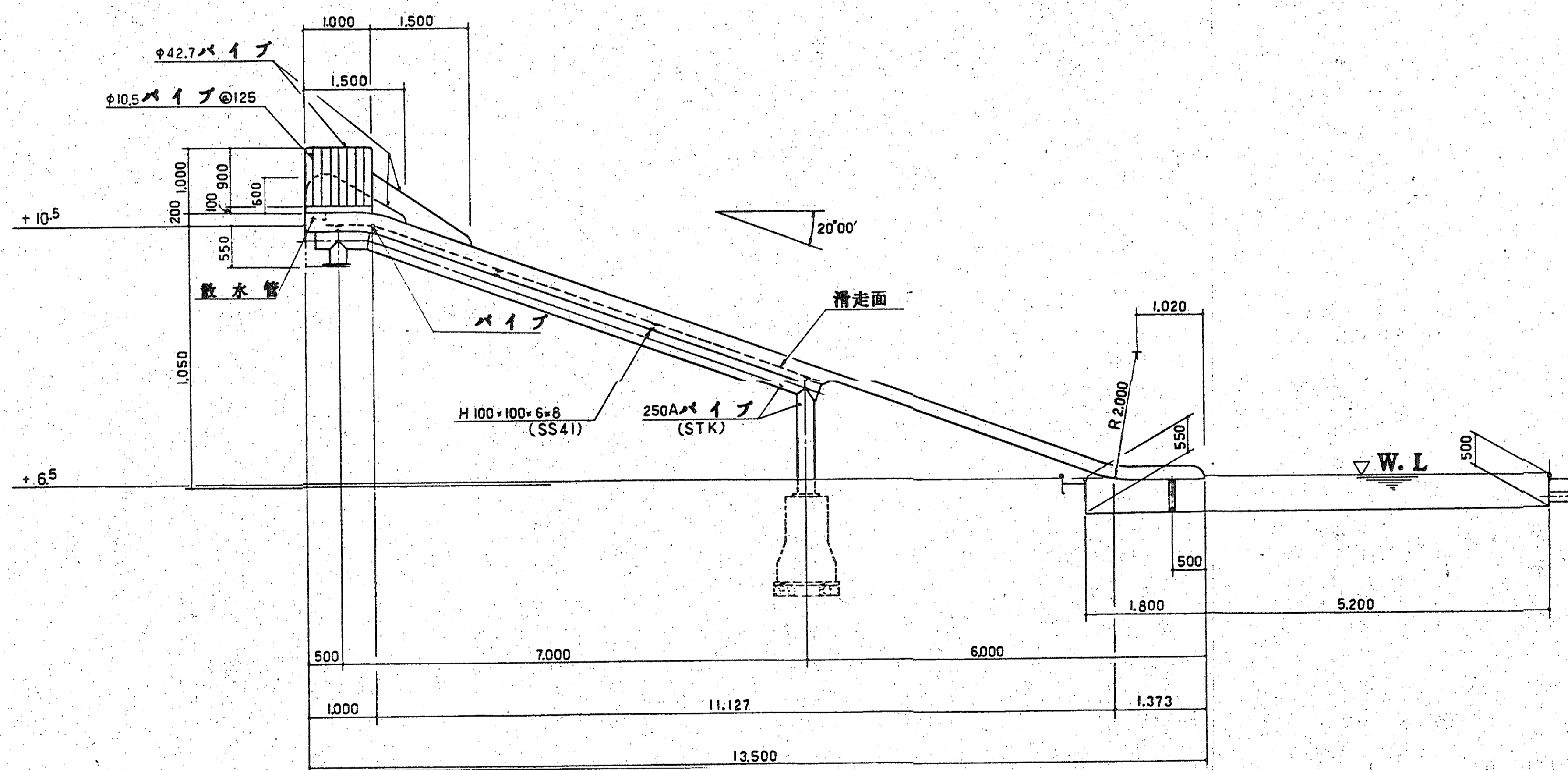
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANA!	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 Email yana@kaihoi-fv.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 柳井 博	監査 柳井 博	設計 柳井 博	製図 柳井 博	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
												図面名 子供プール基礎伏図・配筋詳細図	S-1: 図示 (A-1) S-1: 図示 (A-3)



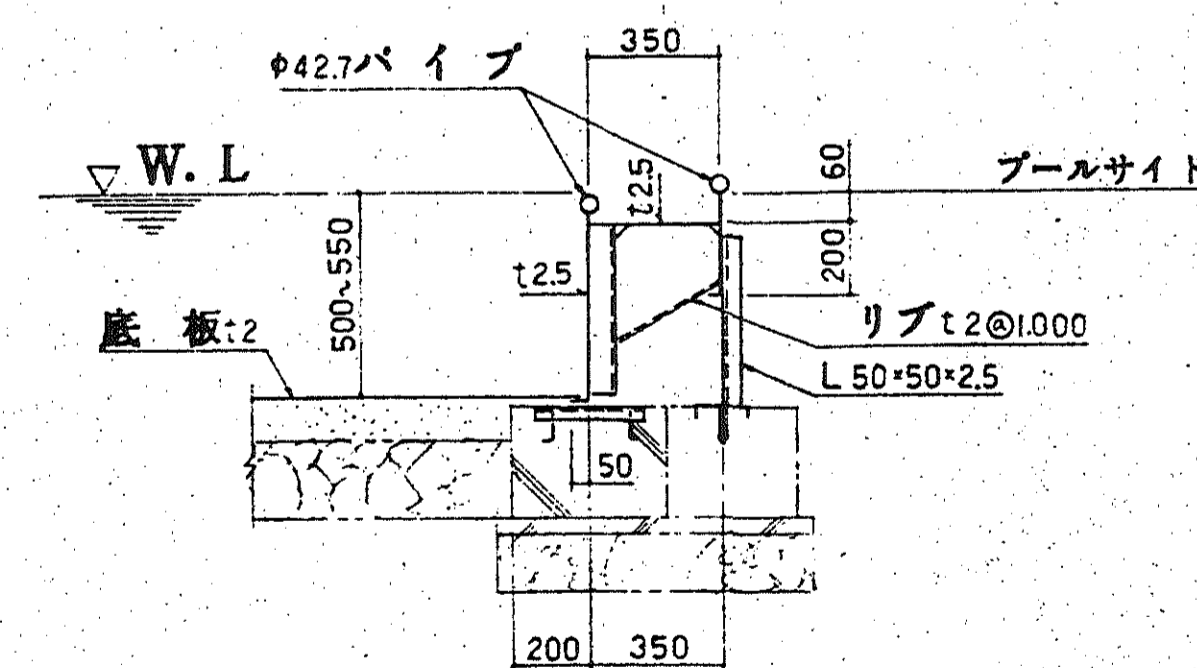
A-A 断面 S: 1/20



B-B 断面 S: 1/20



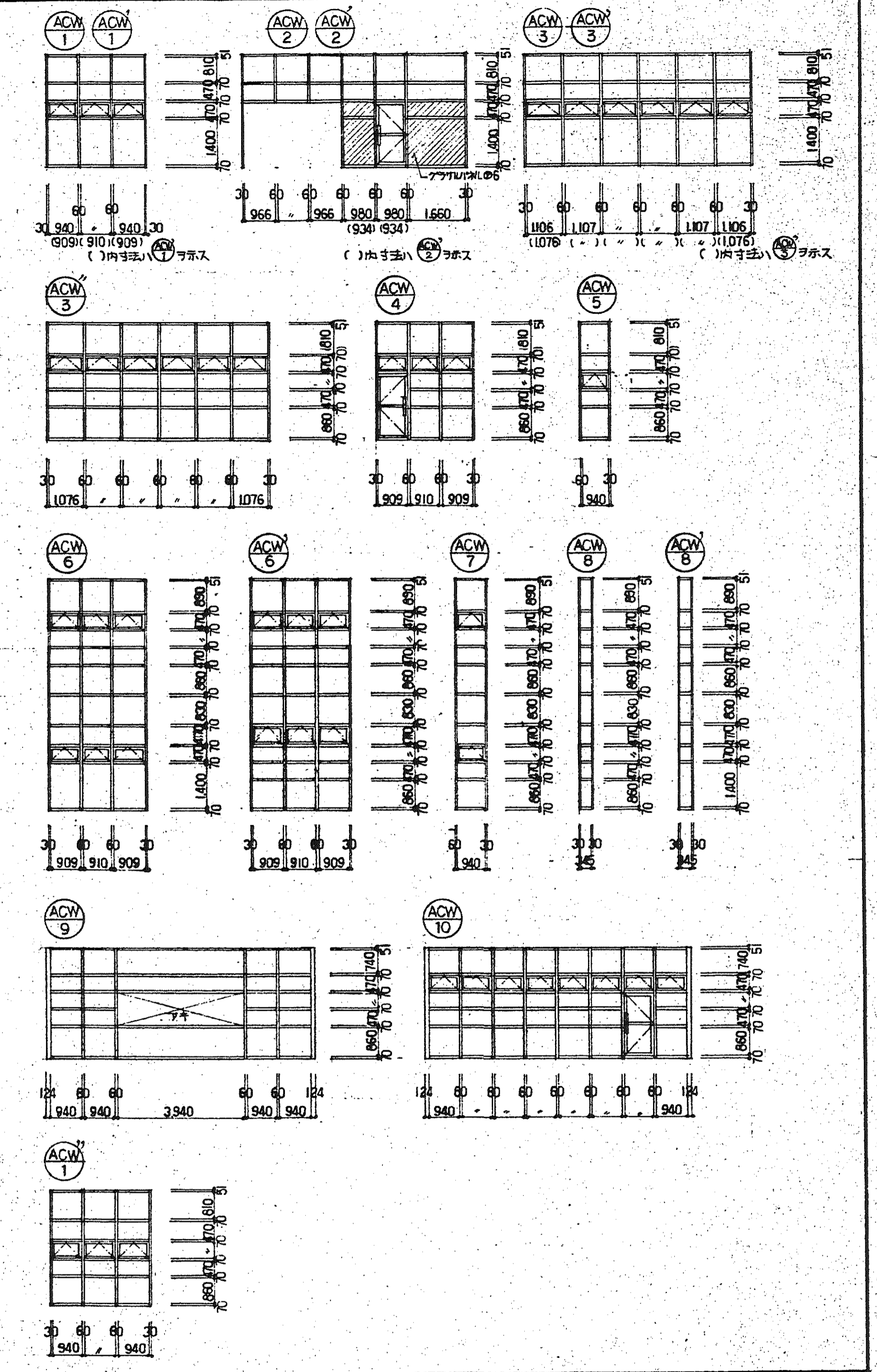
スライダー & スライダープール 詳細 S: 1/50



スライダープール 断面詳細 S: 1/20

注. 特記ナキ材質ハ全てSUS304.

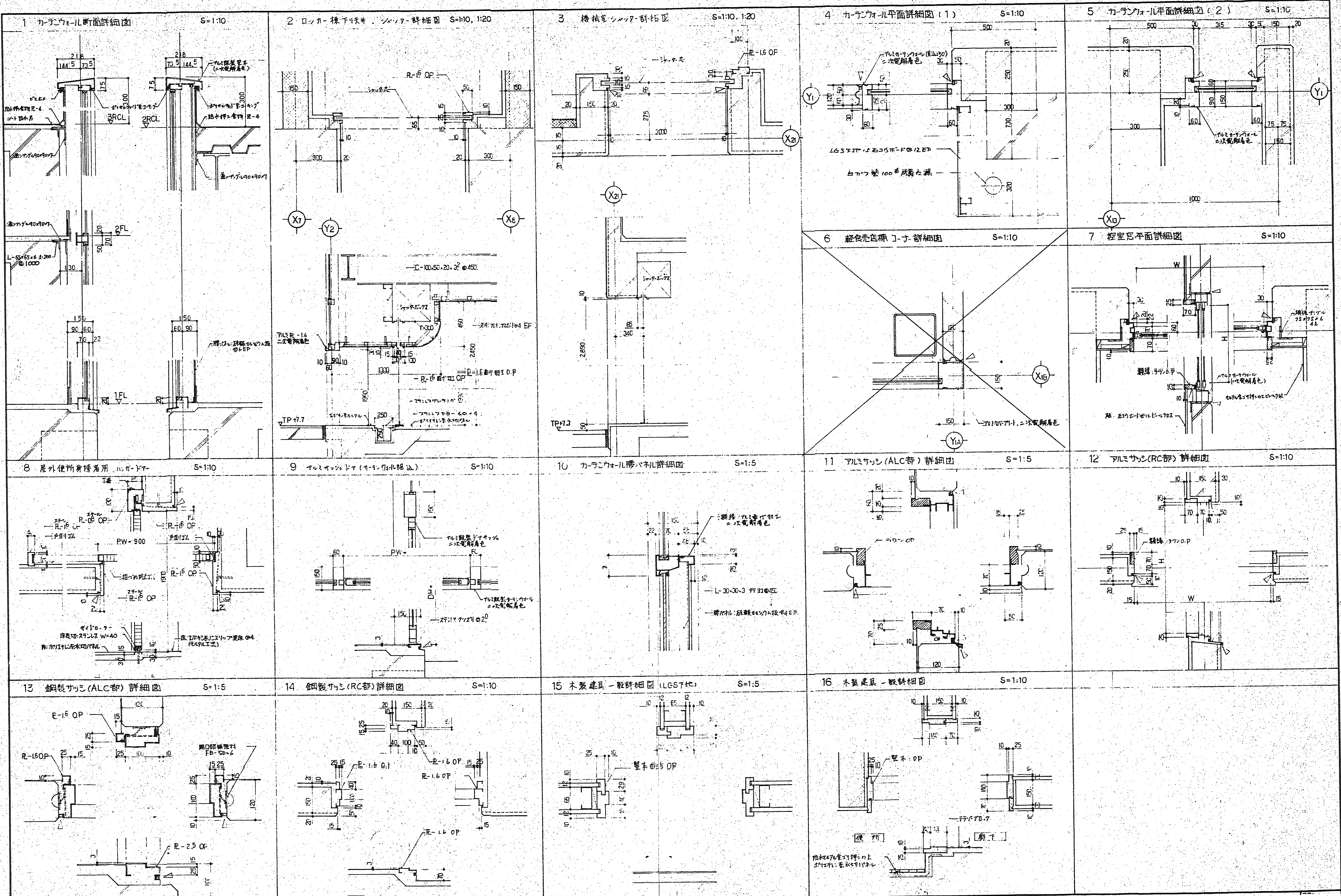
種別	形状	使用場所・形式・大きさ・仕上	機能・性能・ガラス・塗・食物・音響	備考	種別	形状	使用場所・形式・大きさ・仕上	機能・性能・ガラス・塗・食物・音響	備考
ACW1	1	1.使用場所:女子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:3,000 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW1	1	1.使用場所:(管理棟)控室 2.形:垂直引違いアルミサッシ 3.器具寸法:4,842 X 1,010 4.種見込寸法:92(150マリアンカット) 5.仕上:二次電解着色	S-3 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル,水切	
ACW1	2	1.使用場所:男子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:2,908 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW2	3	1.使用場所:(管理棟)清潔室,男女便所 2.形:引違いアルミサッシ 3.器具寸法:800 X 1,010 4.種見込寸法:92(150マリアンカット) 5.仕上:二次電解着色	F-4 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル,水切	
ACW2	1	1.使用場所:(ロッカ-棟)女子便所 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:6,908 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 一部クワリ付アルミサッシ BH(内面:シリア,片面空)PB アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 PH,DC 初期加工の付加工電解着色 その他メカ-標準金物一式		AW3	2	1.使用場所:切符売場,改札 2.形:垂直引違いアルミサッシ(上部ハ横シ) 3.器具寸法:1,830 X 1,335 4.種見込寸法:70 5.仕上:二次電解着色	S-3 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル	材:スチール-16 OP
ACW2	2	1.使用場所:(ロッカ-棟)男子便所 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:6,816 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 一部クワリ付アルミサッシ BH(内面:シリア,片面空)PB アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 PH,DC 初期加工の付加工電解着色 その他メカ-標準金物一式		AW4	2	1.使用場所:改札 2.形:垂直引違いアルミサッシ(上部ハ横シ) 3.器具寸法:1,100 X 1,330 4.種見込寸法:70 5.仕上:二次電解着色	S-3 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル	材:スチール-16 OP
ACW3	1	1.使用場所:女子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:7,000 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW5	1	1.使用場所:(飲食店)控室 2.形:垂直引違いアルミサッシ 3.器具寸法:1,200 X 1,200 4.種見込寸法:70 5.仕上:アルミ処理	S-3 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル,水切	
ACW3	2	1.使用場所:男子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:6,816 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW6	1	1.使用場所:(屋外便所)男子便所 2.形:垂直引違いアルミサッシ 3.器具寸法:900 X 900 4.種見込寸法:70 5.仕上:アルミ処理	F-4 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル,水切	
ACW3	3	1.使用場所:男子便所 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:6,816 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW7	3	1.使用場所:(屋外便所)女子便所 2.形:垂直引違いアルミサッシ 3.器具寸法:2,750 X 400 4.種見込寸法:70 5.仕上:アルミ処理	F-4 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル,水切	
ACW4	1	1.使用場所:男子便所 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:2,908 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 BH(内面:シリア,片面空)PB アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 PH,DC 初期加工の付加工電解着色 その他メカ-標準金物一式	窓枠付について メカ-標準金物一式	AW8	1	1.使用場所:(屋外便所)男子便所 2.形:垂直引違いアルミサッシ 3.器具寸法:1,810 X 400 4.種見込寸法:70 5.仕上:アルミ処理	F-4 メカ-標準金物一式 アルミシアンガル,水切	
ACW5	1	1.使用場所:男子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:1,030 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW9	1	1.使用場所: 2.形: 3.器具寸法: 4.種見込寸法: 5.仕上:		
ACW5	2	1.使用場所:男子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:2,908 X 7,011 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW10	1	1.使用場所: 2.形: 3.器具寸法: 4.種見込寸法: 5.仕上:		
ACW6	1	1.使用場所:男子便所 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:2,908 X 7,011 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW11	1	1.使用場所:(管理棟)控室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:1,710 X 1,830 4.種見込寸法: 5.仕上:片面:シリア,片面:曇花紙	P アルミサッシ	
ACW7	1	1.使用場所:男子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:1,030 X 7,011 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW12	1	1.使用場所:(管理棟)控室 2.形:垂直引違いアルミサッシ 3.器具寸法:3,500 X 2,325 4.種見込寸法:70 5.仕上:曇花紙		
ACW8	1	1.使用場所:男子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:405 X 7,011 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW13	1	1.使用場所: 2.形: 3.器具寸法: 4.種見込寸法: 5.仕上:		
ACW8	2	1.使用場所:男子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:405 X 7,011 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW14	1	1.使用場所: 2.形: 3.器具寸法: 4.種見込寸法: 5.仕上:		
ACW9	1	1.使用場所:(飲食店)カウンター 2.形:ハ横シアルミカーテンホル 3.器具寸法:8,188 X 3,411 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW15	1	1.使用場所: 2.形: 3.器具寸法: 4.種見込寸法: 5.仕上:		
ACW10	1	1.使用場所:(飲食店)厨房 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:8,188 X 3,411 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 BH(内面:シリア,片面空)PB アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 PH,DC 初期加工の付加工電解着色 その他メカ-標準金物一式		AW16	1	1.使用場所: 2.形: 3.器具寸法: 4.種見込寸法: 5.仕上:		
ACW11	1	1.使用場所:女子ロッカー室 2.形:ハ横シアルミカーテンホル(窓枠付) 3.器具寸法:3,000 X 3,481 4.種見込寸法:150 5.仕上:二次電解着色	R-6 アルミシアンガル 縦横 障ハレ受金物 その他メカ-標準金物一式		AW17	2	1.使用場所: 2.形: 3.器具寸法: 4.種見込寸法: 5.仕上:		

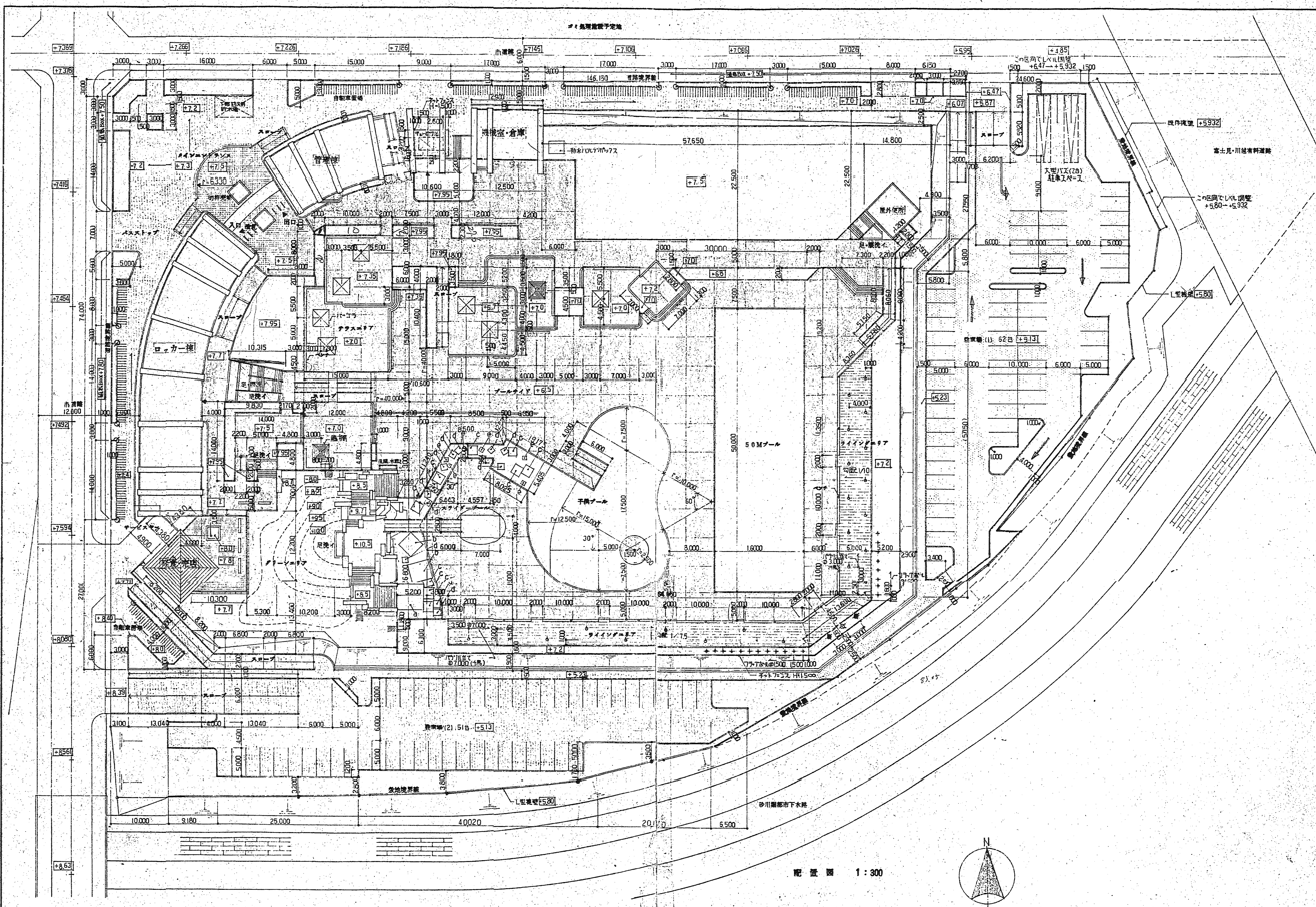


一般事項	A 器具の種類	B 器具の機能・性能	C ガラスの種類	D 塗手の種類	E 食物の種類	F 音響の種類と形状
1. スチール製器具はステンレス製器具(又は同等品)を使用し、防錆処理の上設置とする。	SD スチール製器具	FD 防炎(中)	S 普通透明ガラス(1, 3, 8)	HM 本磨きメッキ(両面タイプ)器具	AL 電気	H 丁番
2. ペンキ・塗料等は上塗り(ペンキ)と下塗り(底塗り)を施す。底塗り、塗料、溶剤、臭気等の器具に使用する場合は、タイプI型を標準とする。	AD アルミ製器具	HPD 遮音断熱防炎防炎(中)	SP 防炎ガラス(1, 3, 8)	MM ケースロック(両面)	HL フライバック	PH 自動丁番
3. 入り玉の底は床面より50mm以上を標準とする。軒の出の底は床面より1,000mm以上を標準とする。	STD ステンレス製器具	SFD 遮音断熱防炎防炎(中)	P フォトリソグラフィ(1, 3, 8)	NR マルロック(両面)	LL ライトリフレクタ	PH 自動丁番
4. 種見込寸法は種見込寸法を標準とする。	TPD 強化ガラス		PM 防炎ガラス(1, 3, 8)	BN 窓	PL 平面鏡(両面)	FLM フラッシュバック
5. 器具寸法は標準品。本製品は、フスマ、取っ手を標準とする。	WO 木製器具		PM 防炎ガラス(1, 3, 8)	ON 窓	OR クラセント	B 本磨き器具
6. 種見込寸法は、本製品は片開きの場合は100、両開きの場合は標準(仕上)と寸法を標準とする。	F フラスコ		PW 防炎ガラス(1, 3, 8)	NMK ケースネトルロック	OD カムロック	LM ライトリフレクタ
7. フスマは標準品。開閉は片開き寸法を標準とする。	PI 取っ手		PL 防炎ガラス(1, 3, 8)	PMK 押付	CA キャッチ	DC フラッシュバック(スリッパ)
8. ガラスは標準品。種見込寸法は、100を標準とし寸法を標準とする。	SW スチール製サッシ	CH 調整機能	FL 防炎ガラス(1, 3, 8)	ND 両面本磨き	K 扉引き	AS アームスッター
9. 下地は標準品。20mm厚の化粧板(又は同等品)を標準とする。本製品の底面は20mm厚を標準とする。	AW アルミ製サッシ	CH チューン(部)	HS 防炎ガラス(1, 3, 8)	IM 両面本磨き	PP 押付(両面)	ED 電動ドア
10. 種見込寸法は標準品。本製品は、フスマ、取っ手を標準とする。	STW ステンレス製サッシ	OP オペレーター	HP 防炎ガラス(両面)	BM 両面本磨き	PS 押付(両面)	PB 上り差し
11. 防炎ガラスは標準品。本製品は、フスマ、取っ手を標準とする。	SS スチール製サッシ		HPW 防炎ガラス(両面)	CM ケースハンドル	H 取っ手	FB フラッシュバック
12. 本製品は標準品。本製品は、フスマ、取っ手を標準とする。	SS ステンレス製サッシ		HPW 防炎ガラス(両面)	LD レバーハンドル	DS 取っ手	DS 取っ手
13. 本製品は標準品。本製品は、フスマ、取っ手を標準とする。	STP ステンレス製サッシ		HPW 防炎ガラス(両面)	LD レバーハンドル	DS 取っ手	DS 取っ手
14. 本製品は標準品。本製品は、フスマ、取っ手を標準とする。	SS ステンレス製サッシ		HPW 防炎ガラス(両面)	LD レバーハンドル	DS 取っ手	DS 取っ手
15. 本製品は標準品。本製品は、フスマ、取っ手を標準とする。	STP ステンレス製サッシ		HPW 防炎ガラス(両面)	LD レバーハンドル	DS 取っ手	DS 取っ手

Main table with columns for drawing number, drawing name, usage, specifications, and dimensions. It contains detailed technical data for various window and door types.

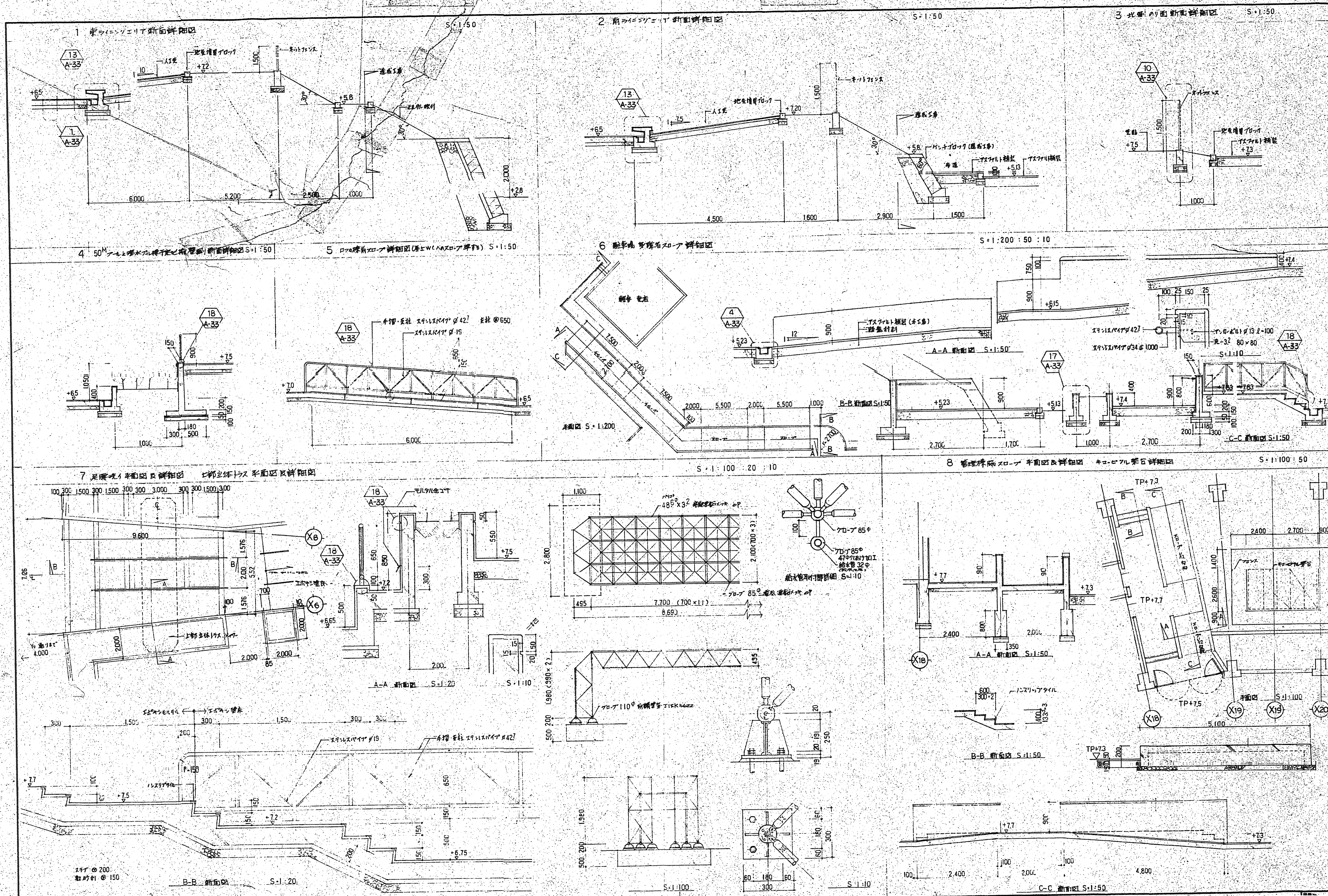
Reference table with columns A through F, listing material specifications, glass types, and hardware details. Includes a small diagram of a window frame.



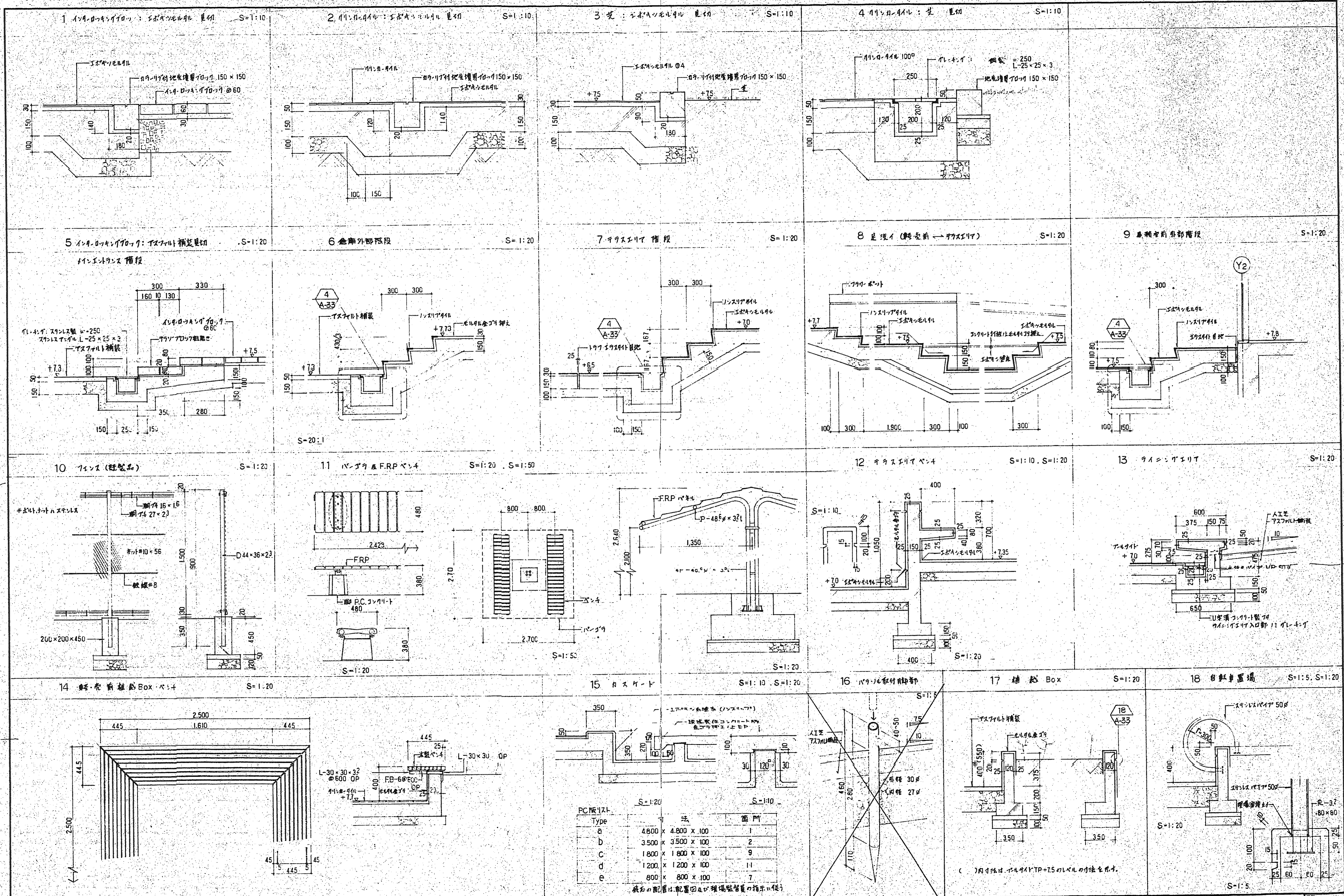


配置図 1:300

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANA I	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yana.i@office.yana-i.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 調査 設計 製図 柳井	NOTE 富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
								図面名 外構平面図	



整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@kaihoi-fty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 監査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
				変更年月日					図面名 外構部分詳細図(1)	S-1:図示(A-1) S-1:図示(A-3)

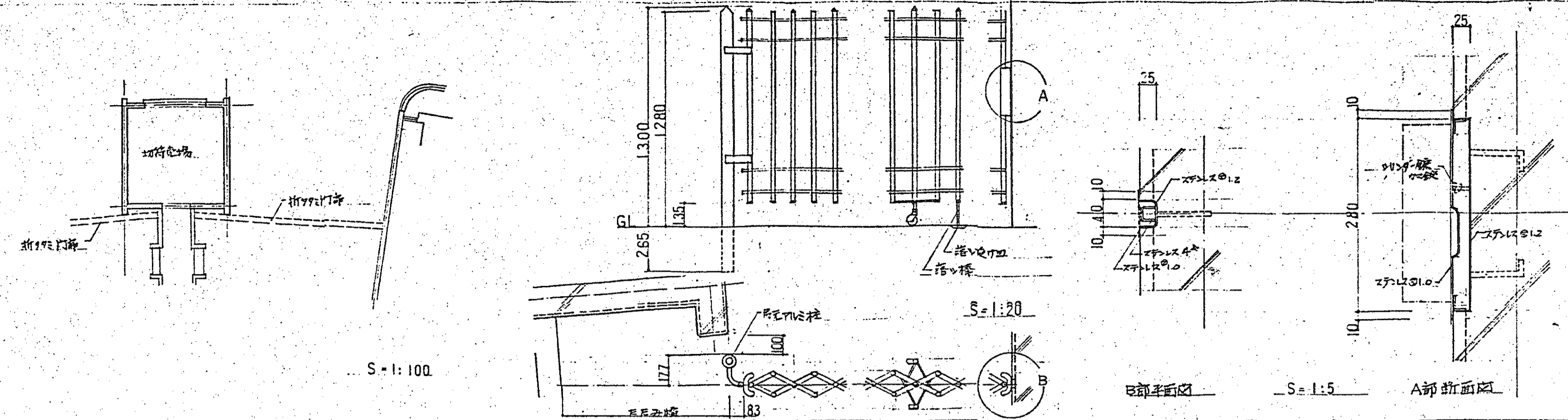


PC板1/4

Type	法	面数
a	4,800 x 4,800 x 100	1
b	3,500 x 3,500 x 100	2
c	1,800 x 1,800 x 100	9
d	1,200 x 1,200 x 100	11
e	800 x 800 x 100	7

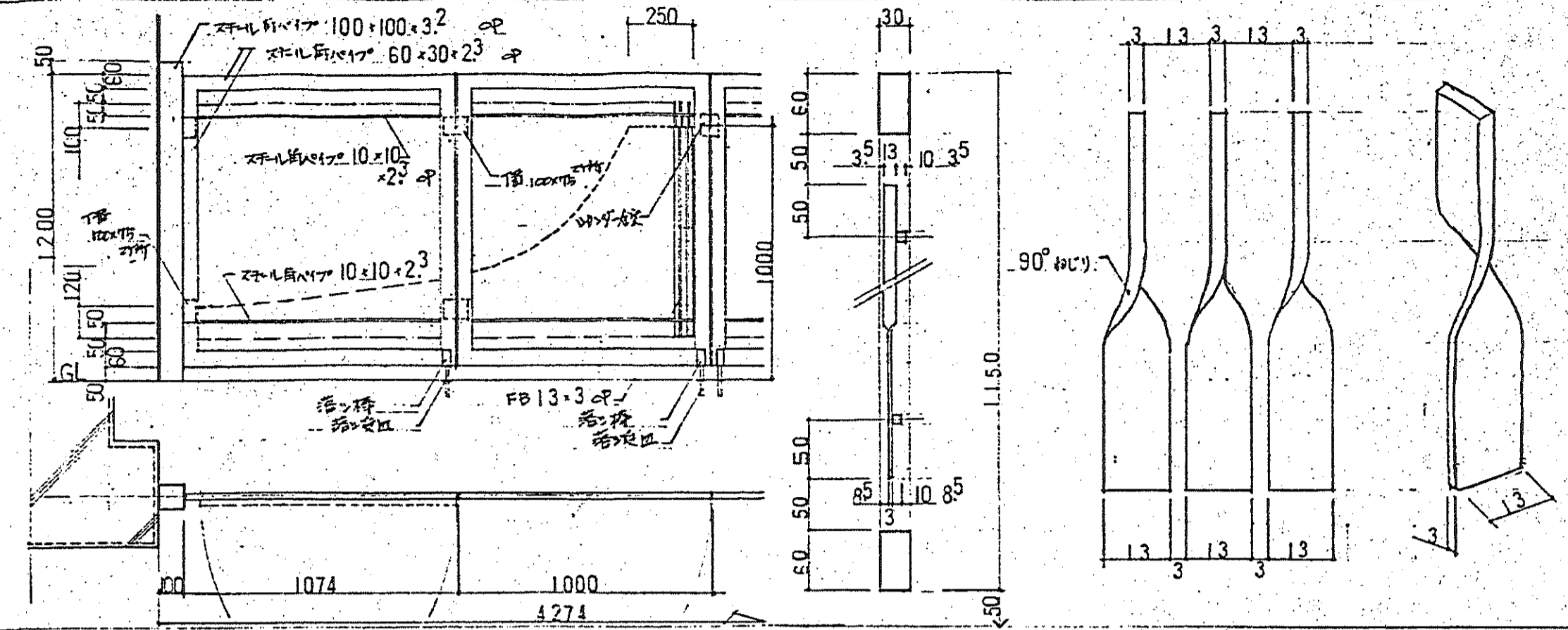
※面の配置は配置図及び現場監督の指示に従う

1. エントランス 折上り内扉詳細図



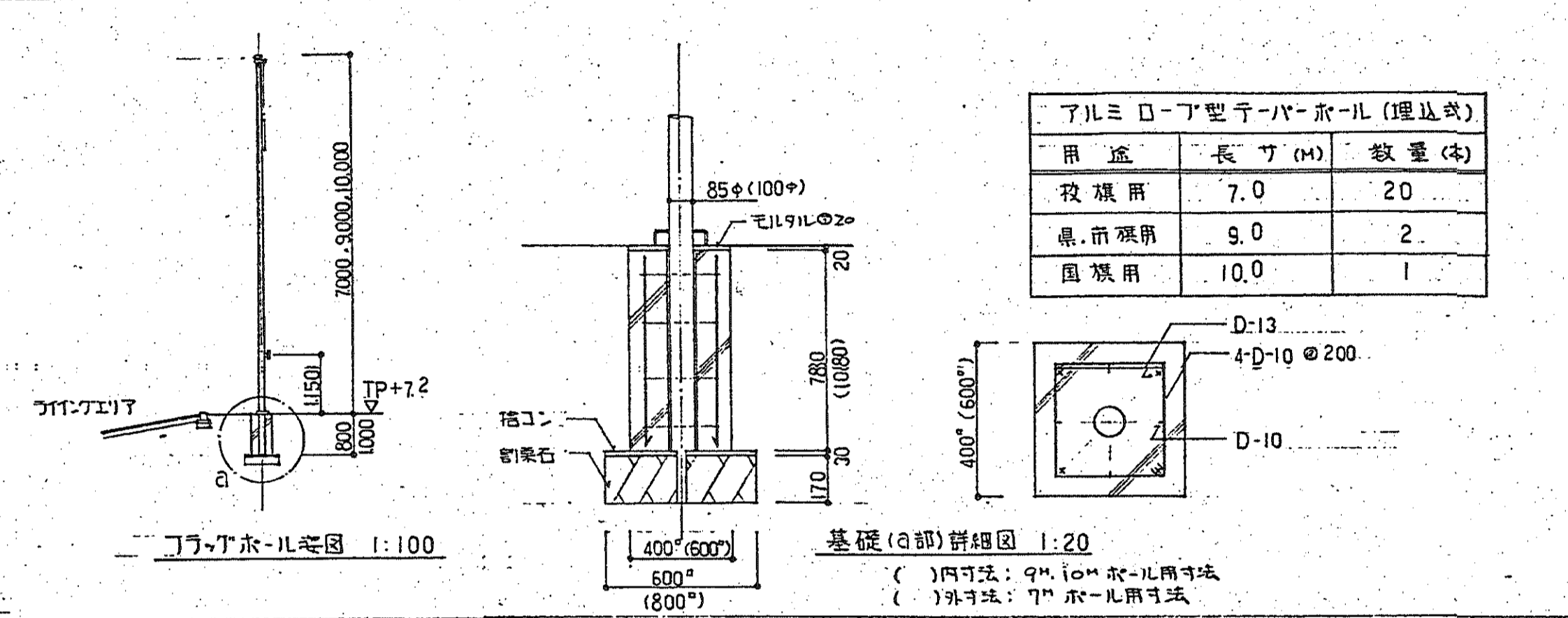
S=1:100 : 20:5

2. 管理棟フロア隔 4枚両開扉詳細図



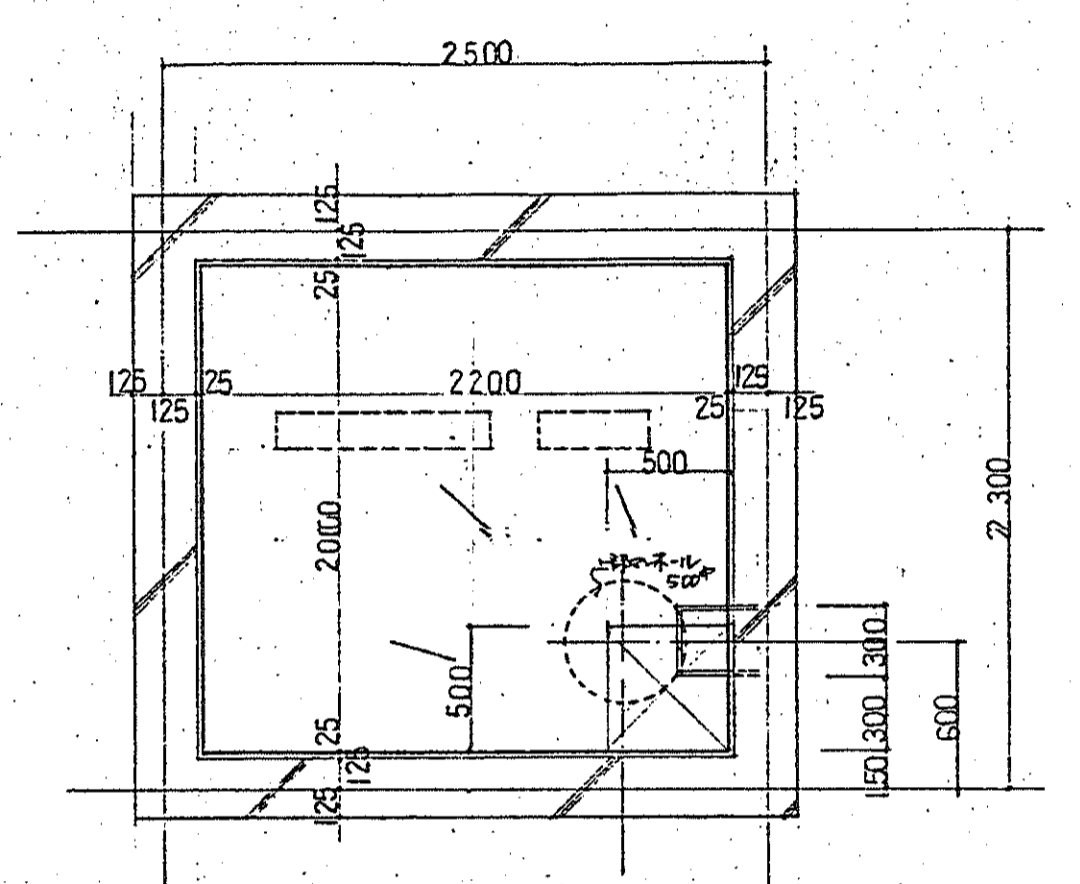
S=1:20 : 10

3. フラットボール詳細図 S=1:100, 1:50

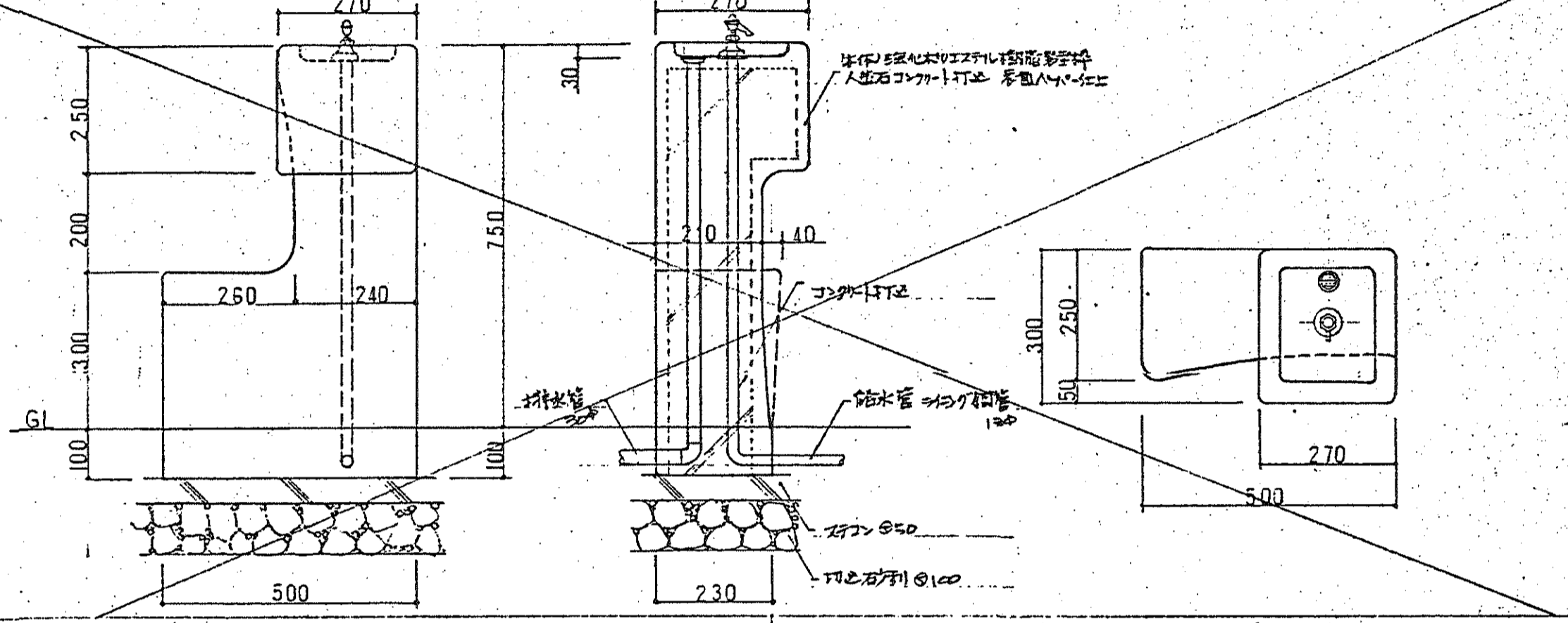


用途	長さ(M)	数量(本)
投機用	7.0	20
景市機用	9.0	2
風機用	10.0	1

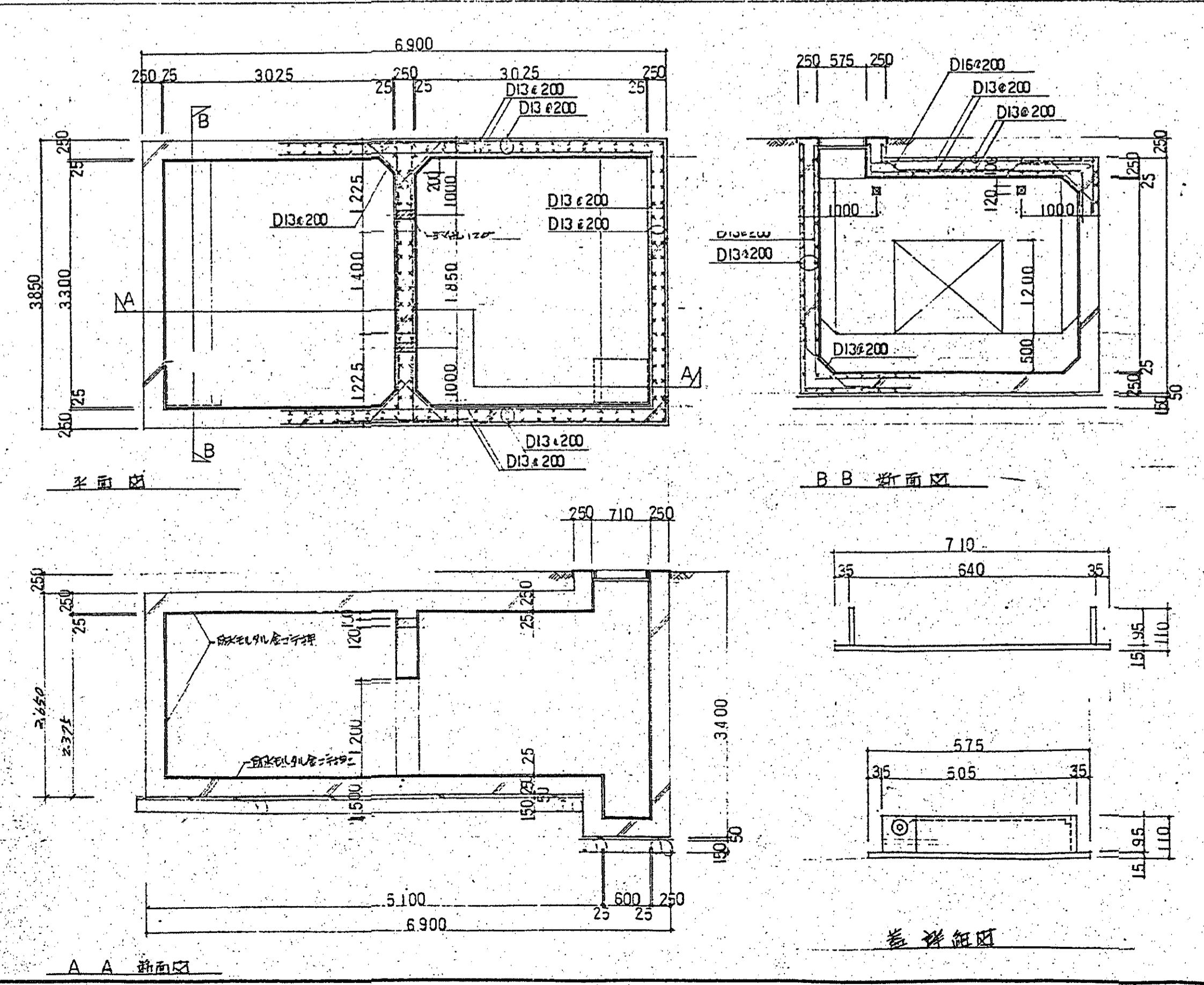
4. 排水バルブボックス詳細図 S=1:30



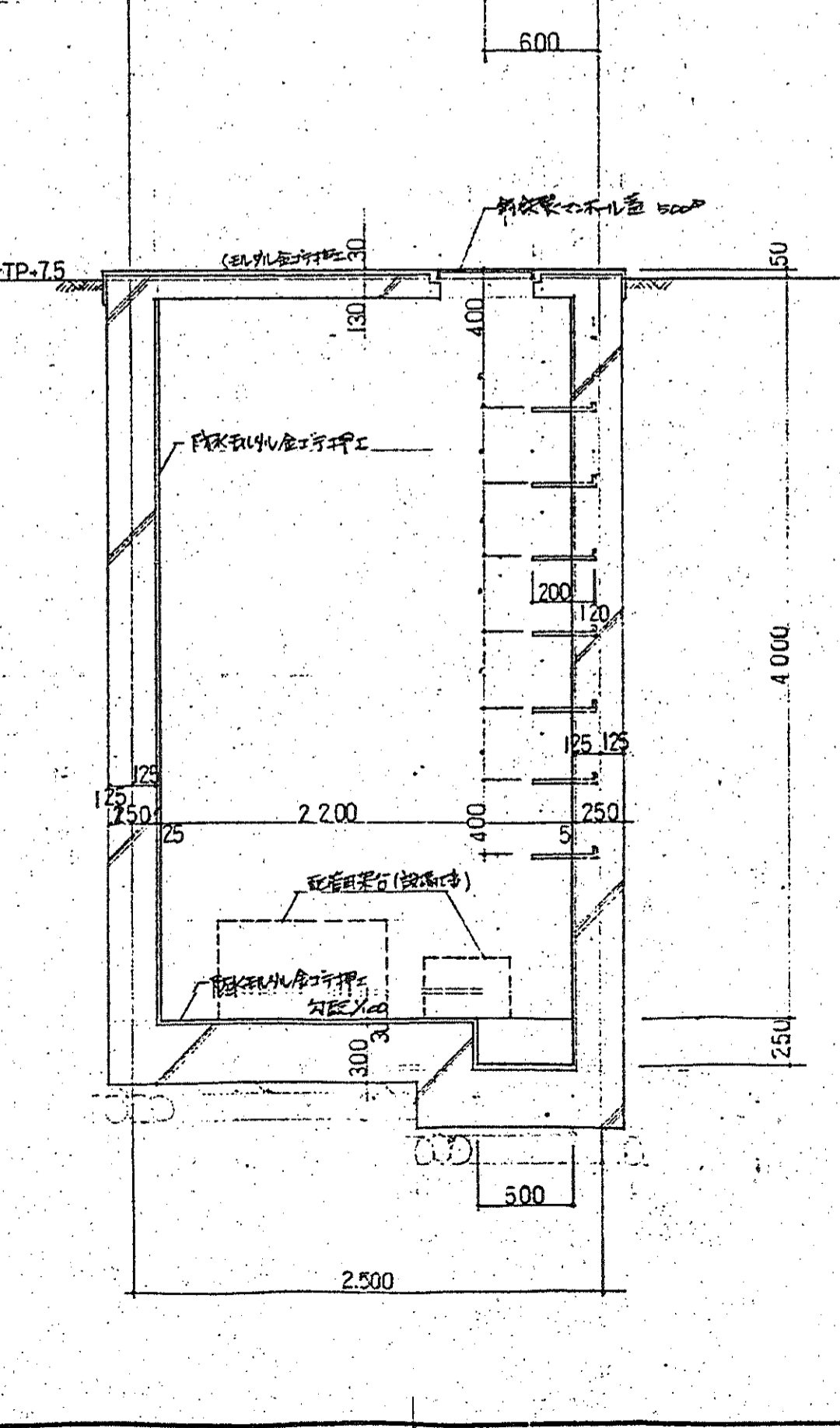
5. 水谷詳細図 S=1:10



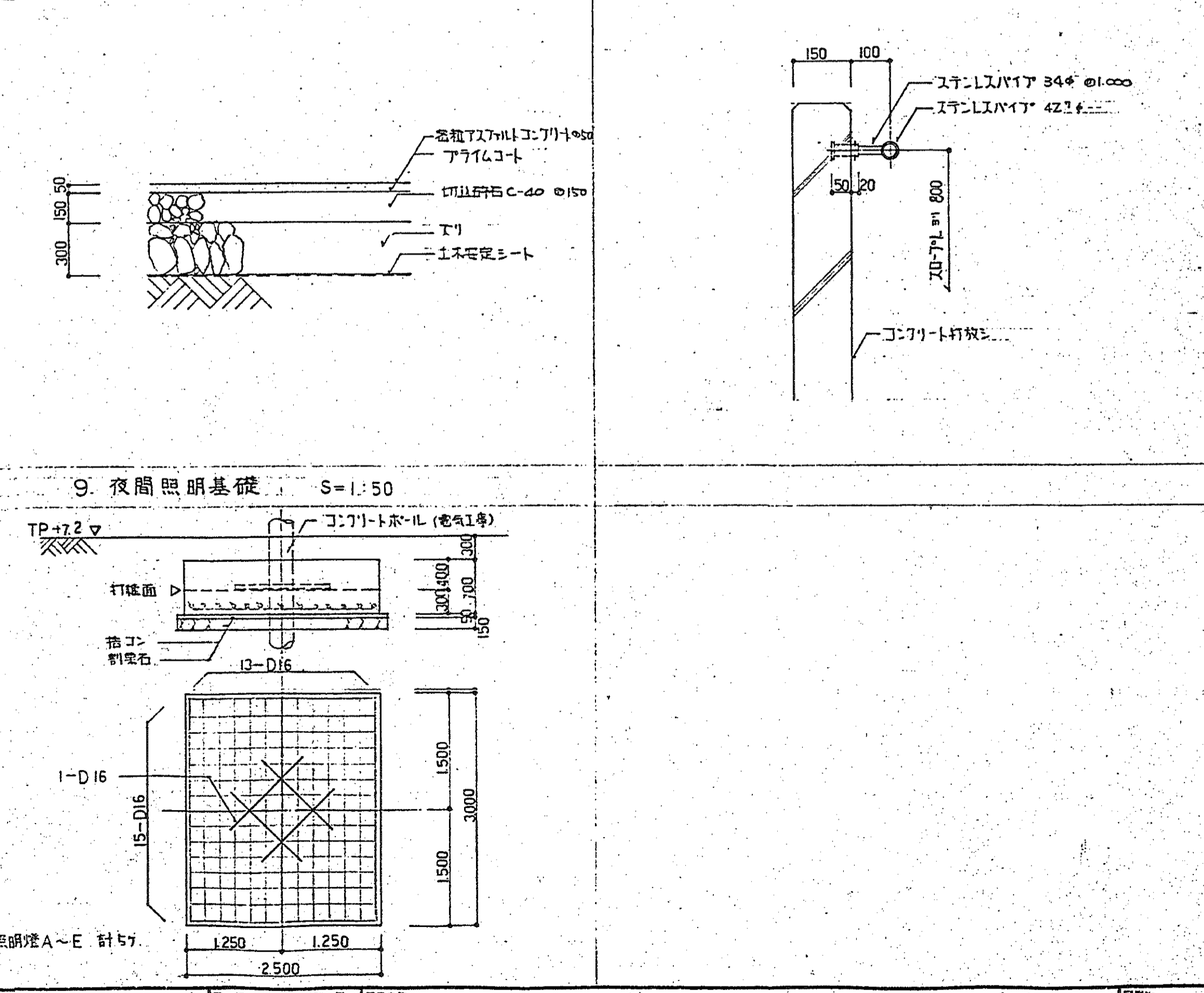
6. 物入用貯水筐詳細図 S=1:50, 1:10



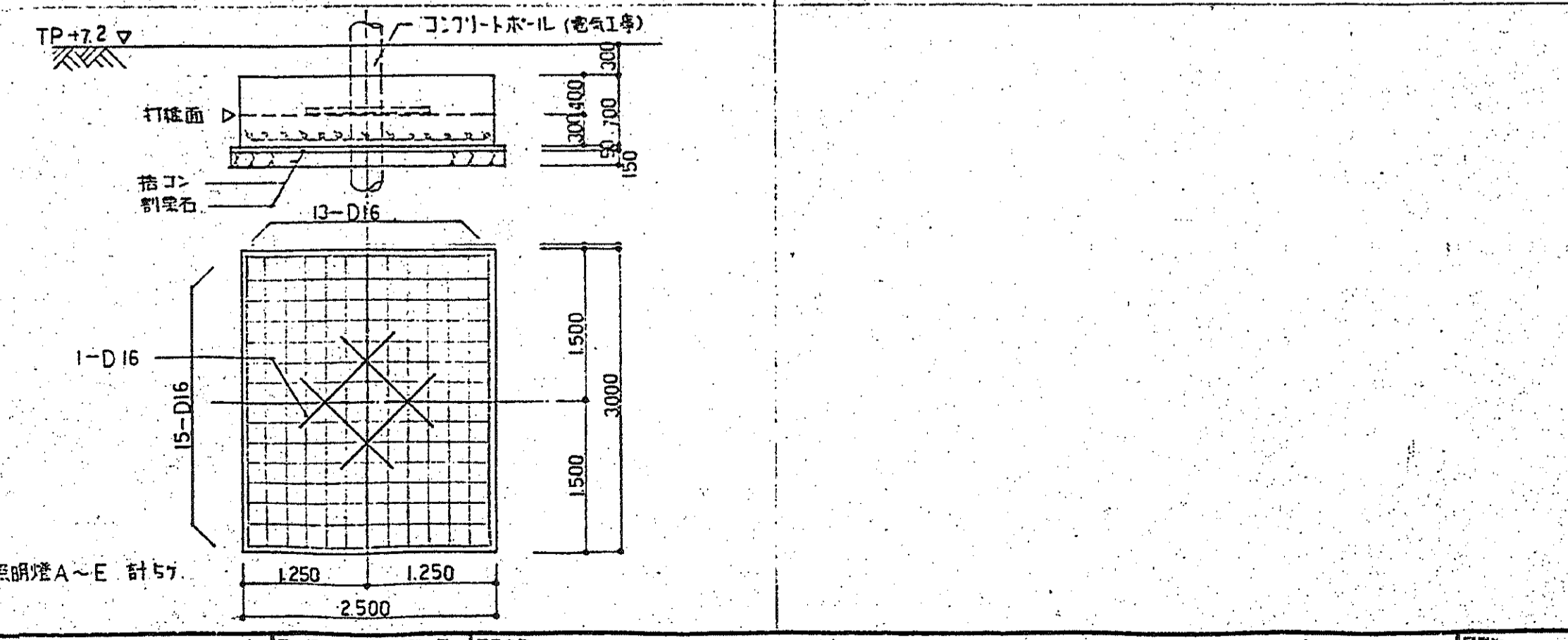
7. 駐車場(1),(2) アスファルト舗装 S=1:20

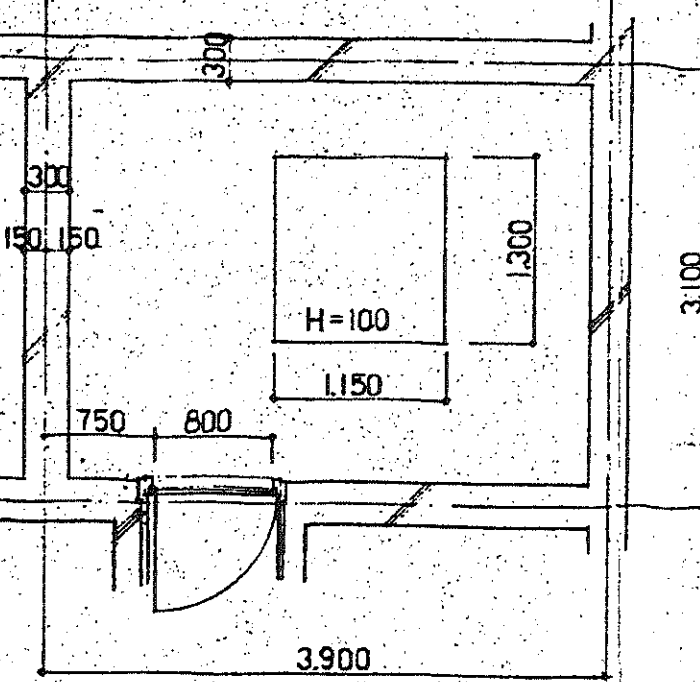
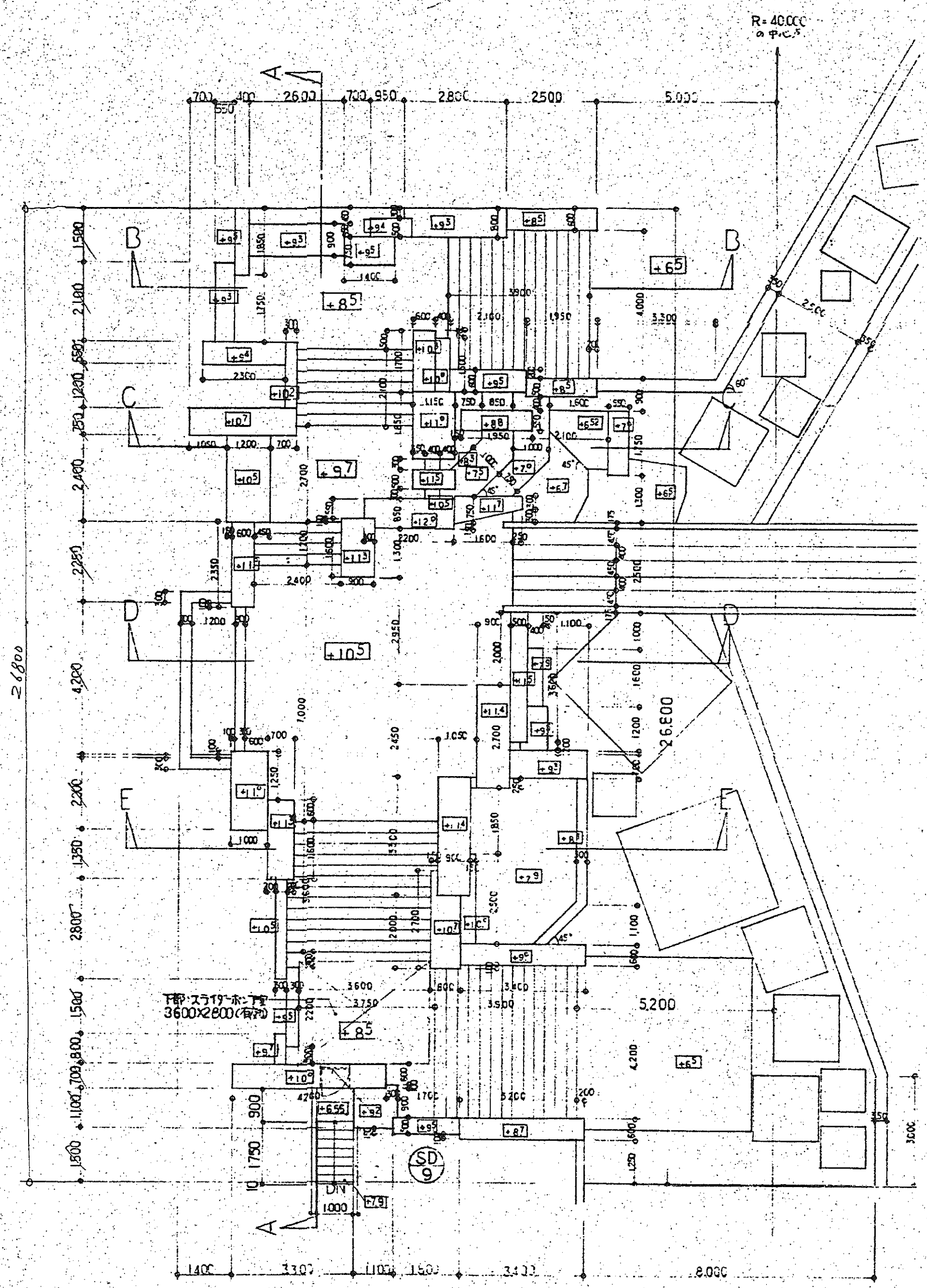


8. 北側身障者用入口(ドアスリット)詳細図 S=1:10



9. 夜間照明基礎 S=1:50

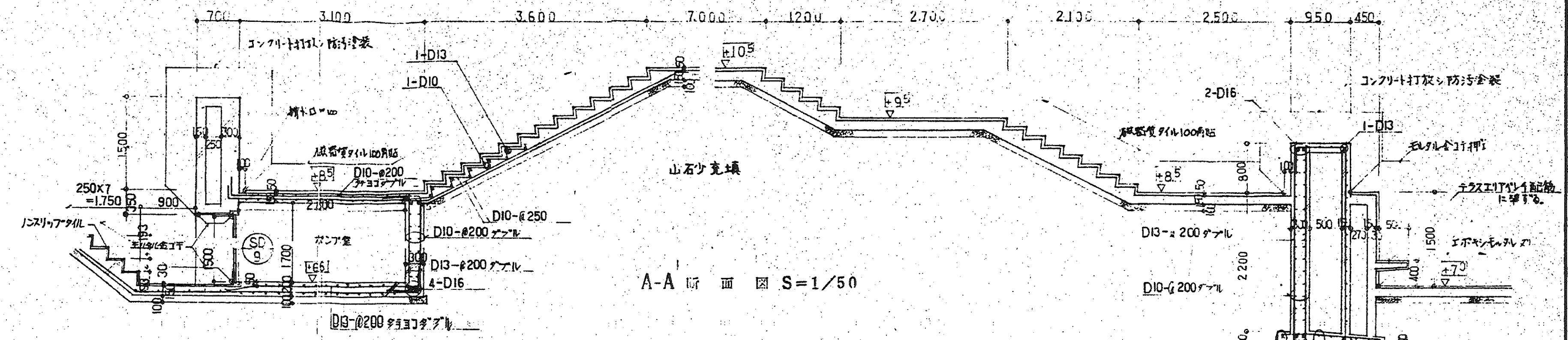




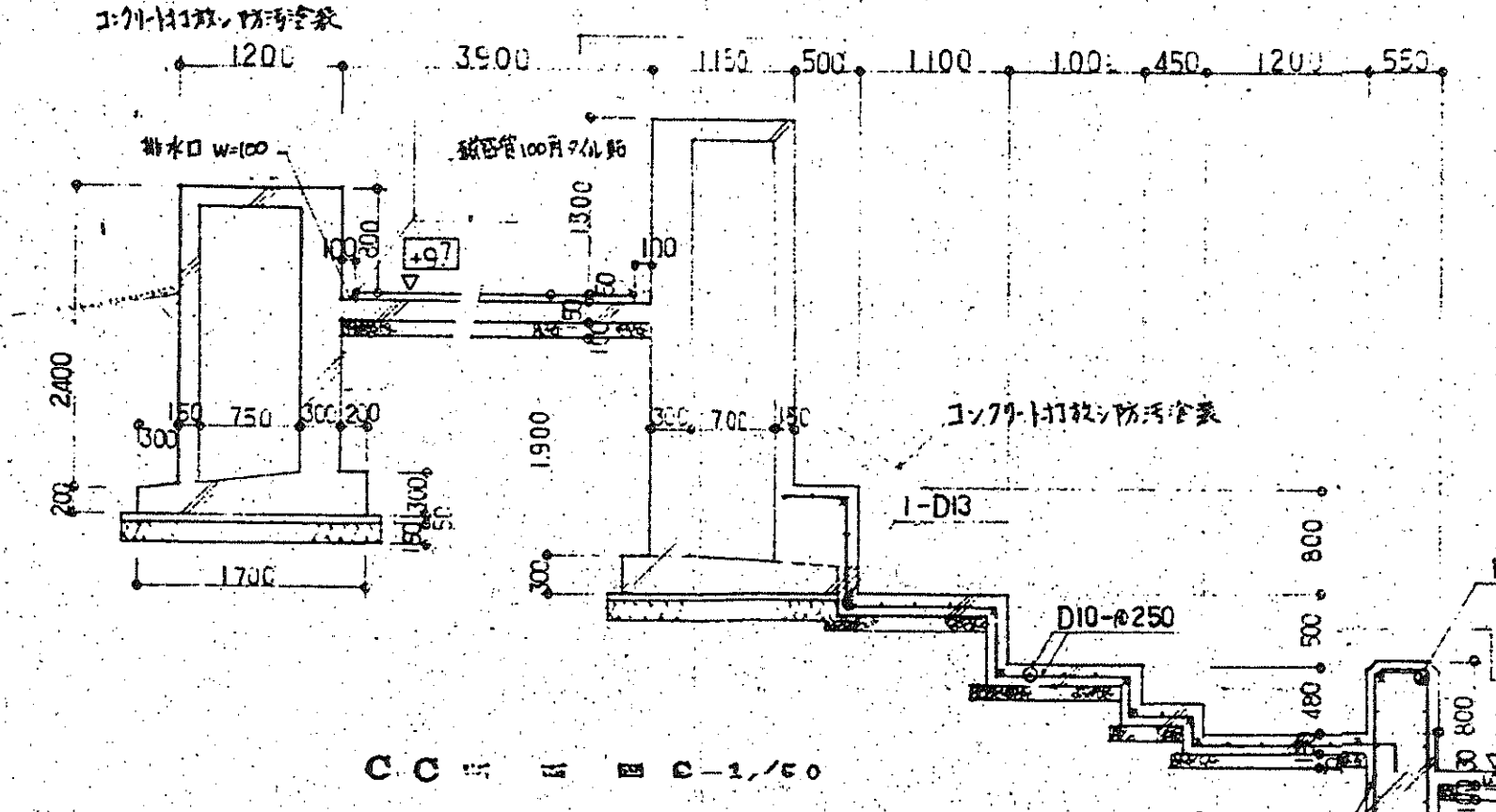
スライホン室 平面詳細図 S=1/50



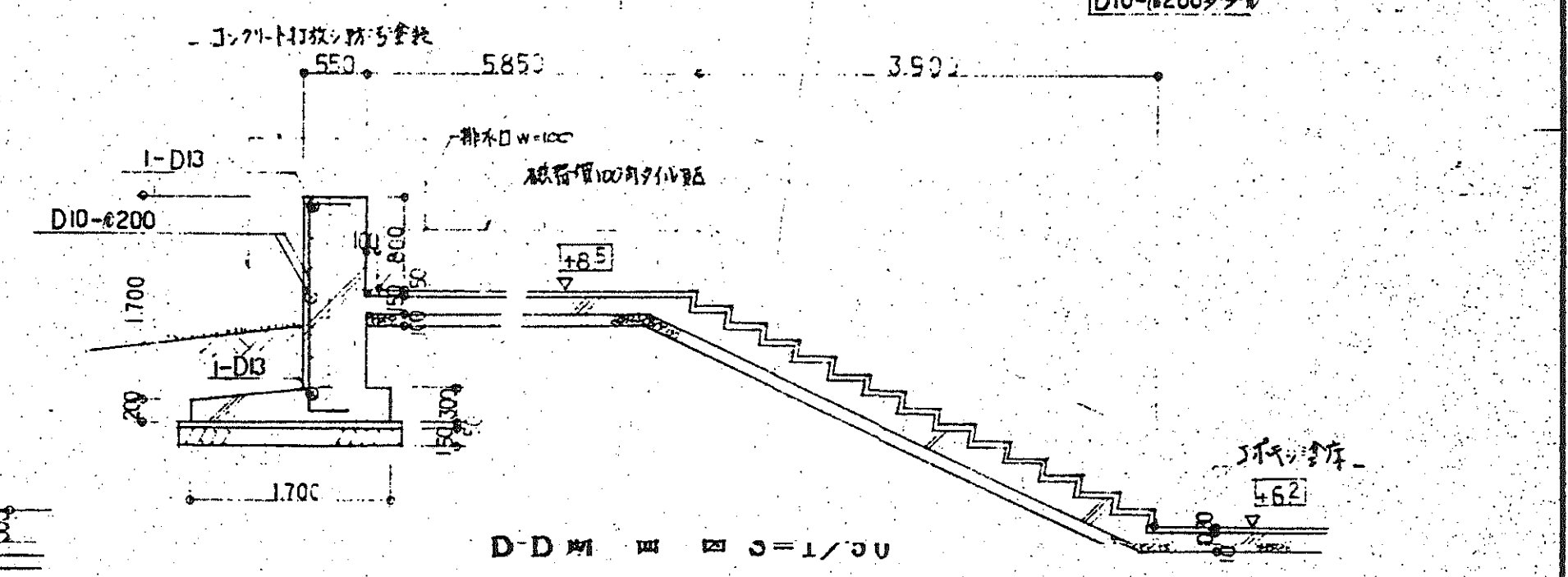
東立面図 S=1/100



A-A断面図 S=1/50

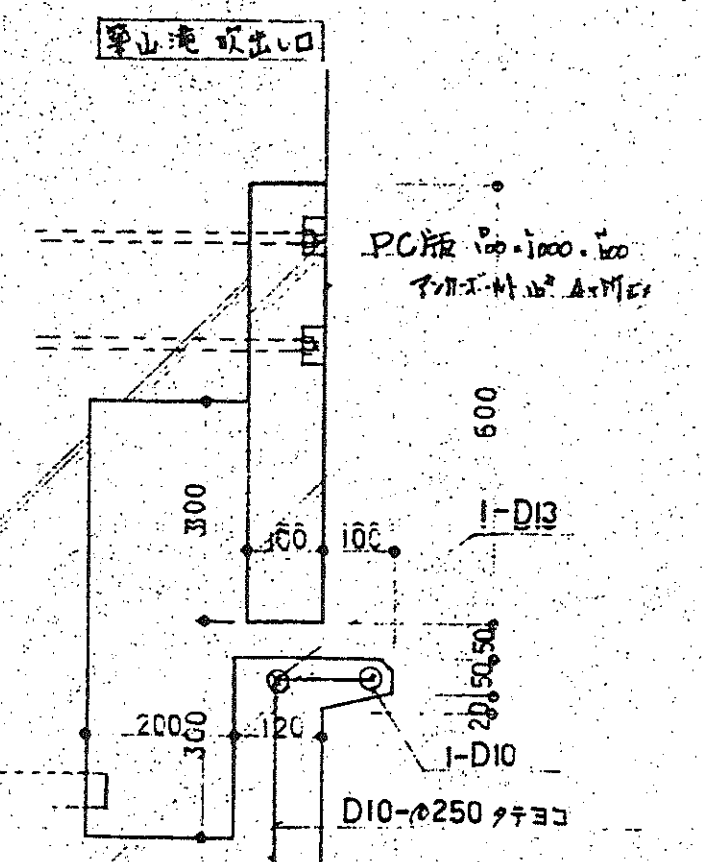


C-C断面図 S=1/50

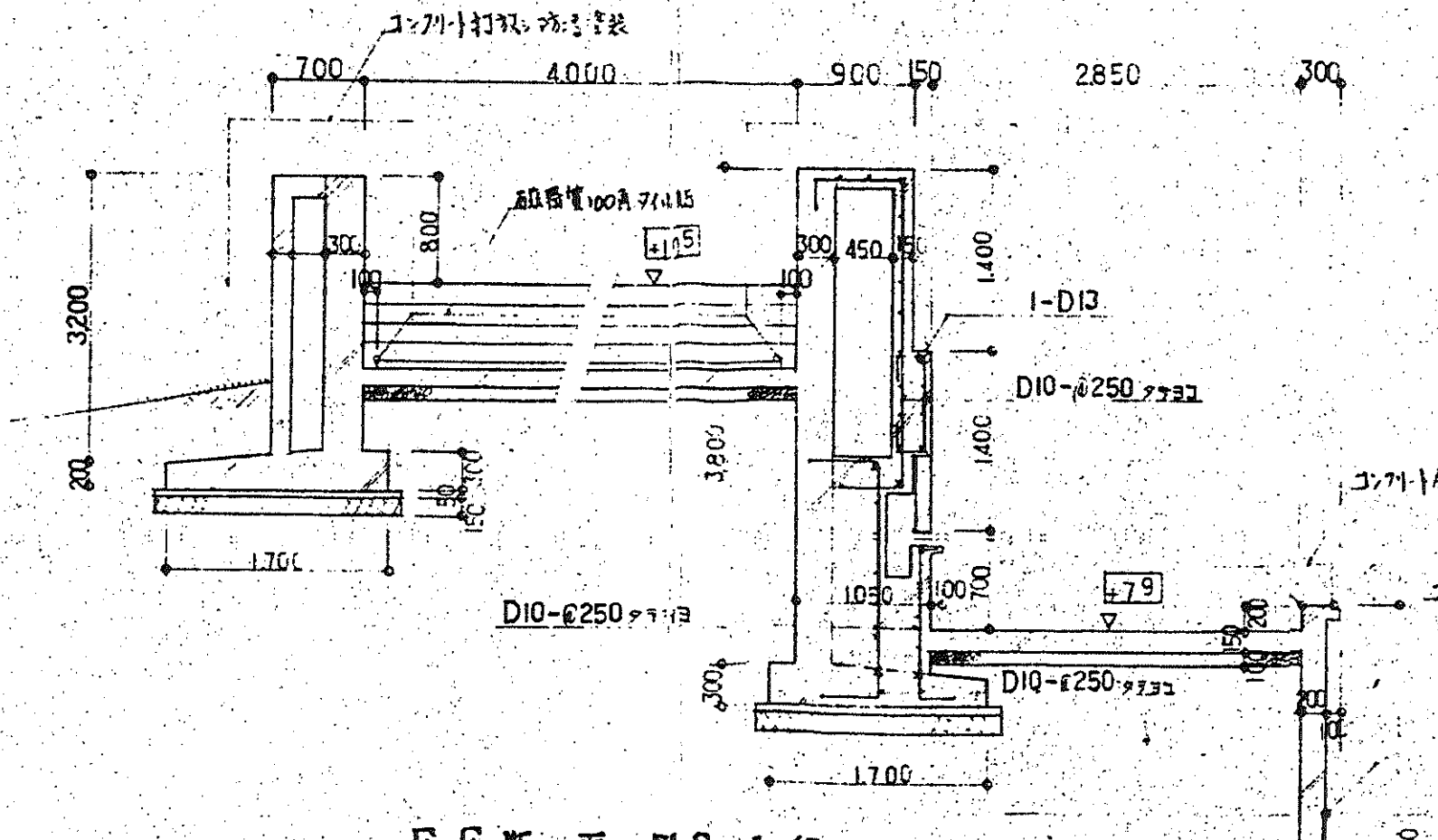


D-D断面図 S=1/50

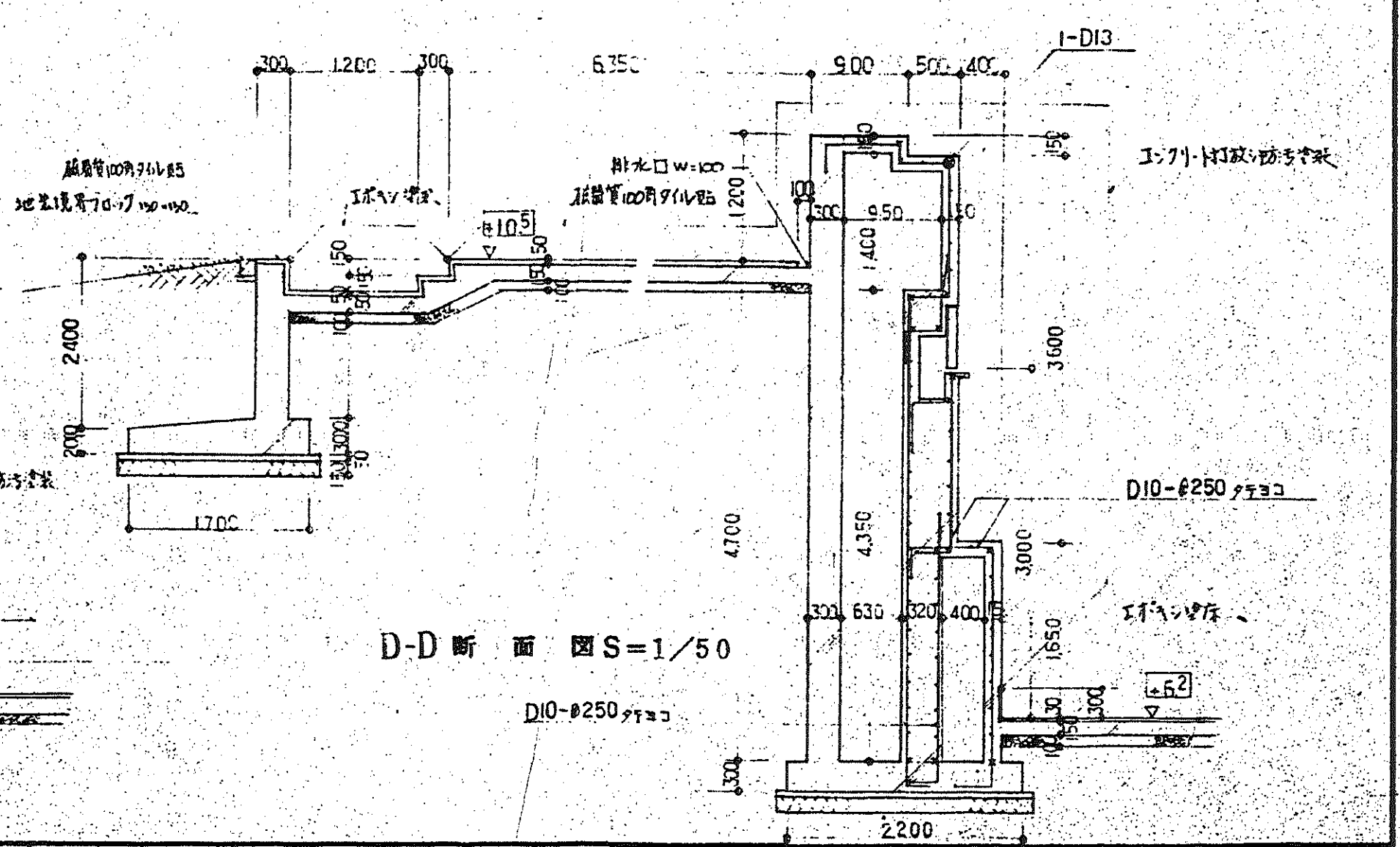
特記事項
記入なき換気階段配筋はA-A断面に準ずる。



詳細図 S=1/10

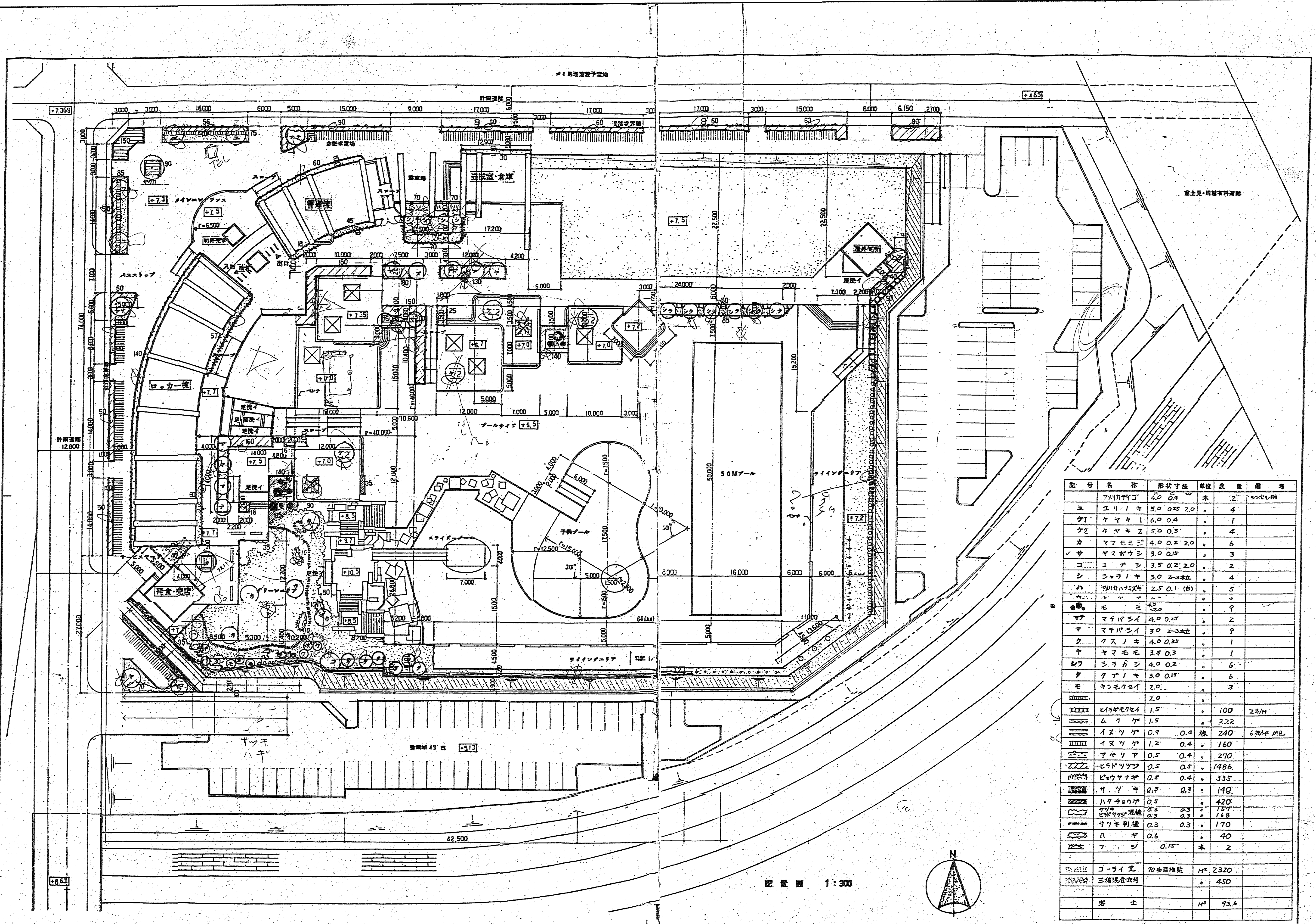


E-E断面図 S=1/50



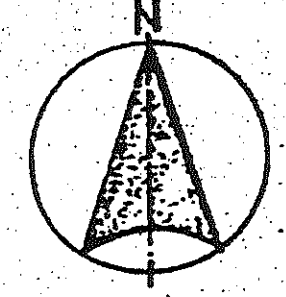
D-D断面図 S=1/50

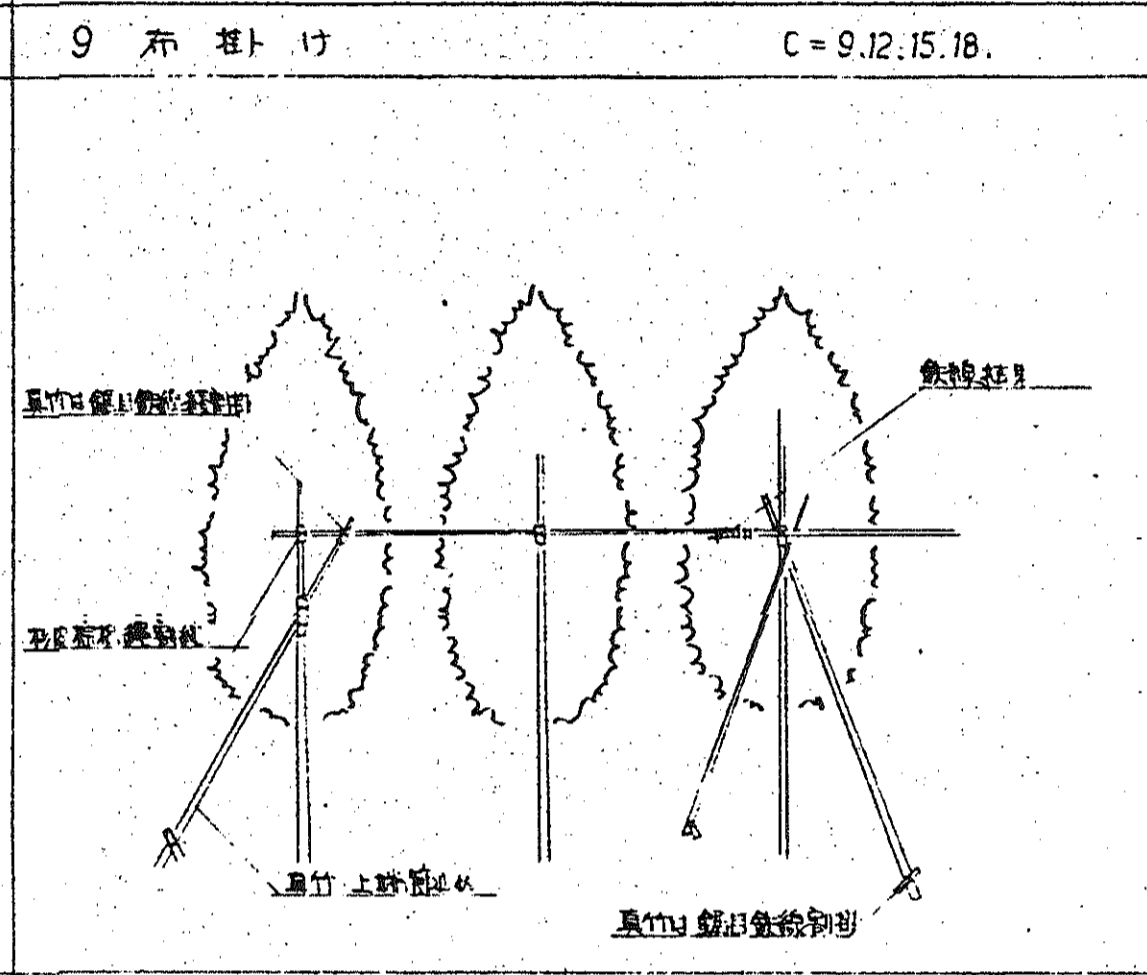
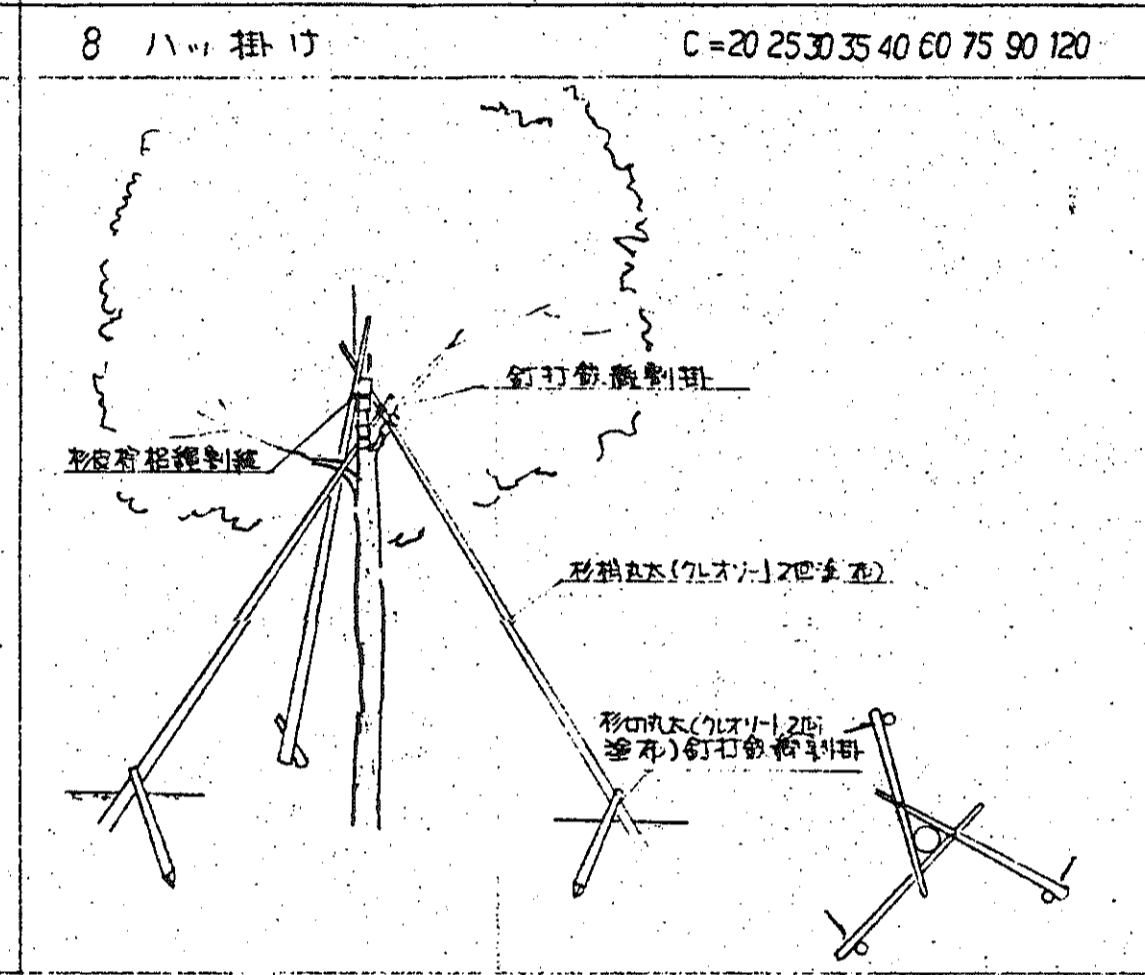
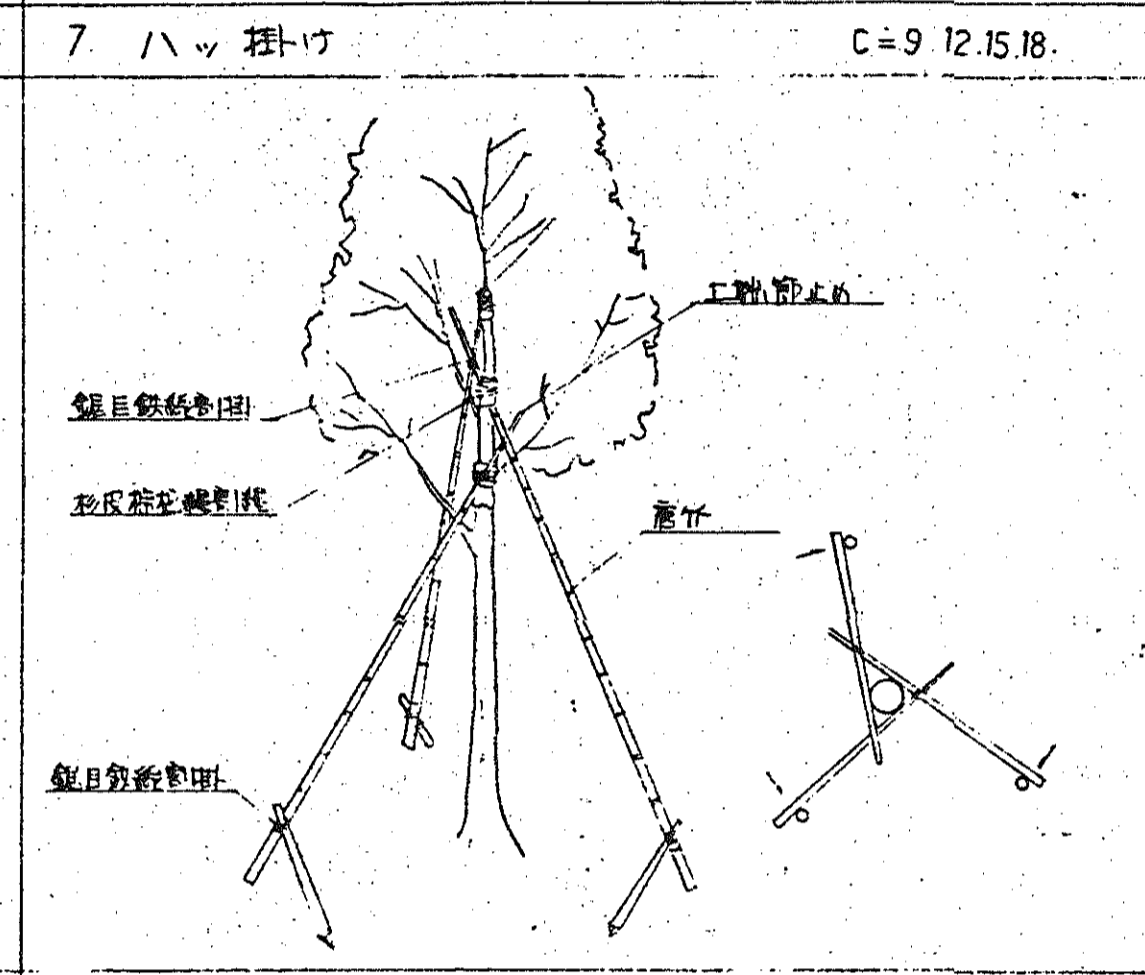
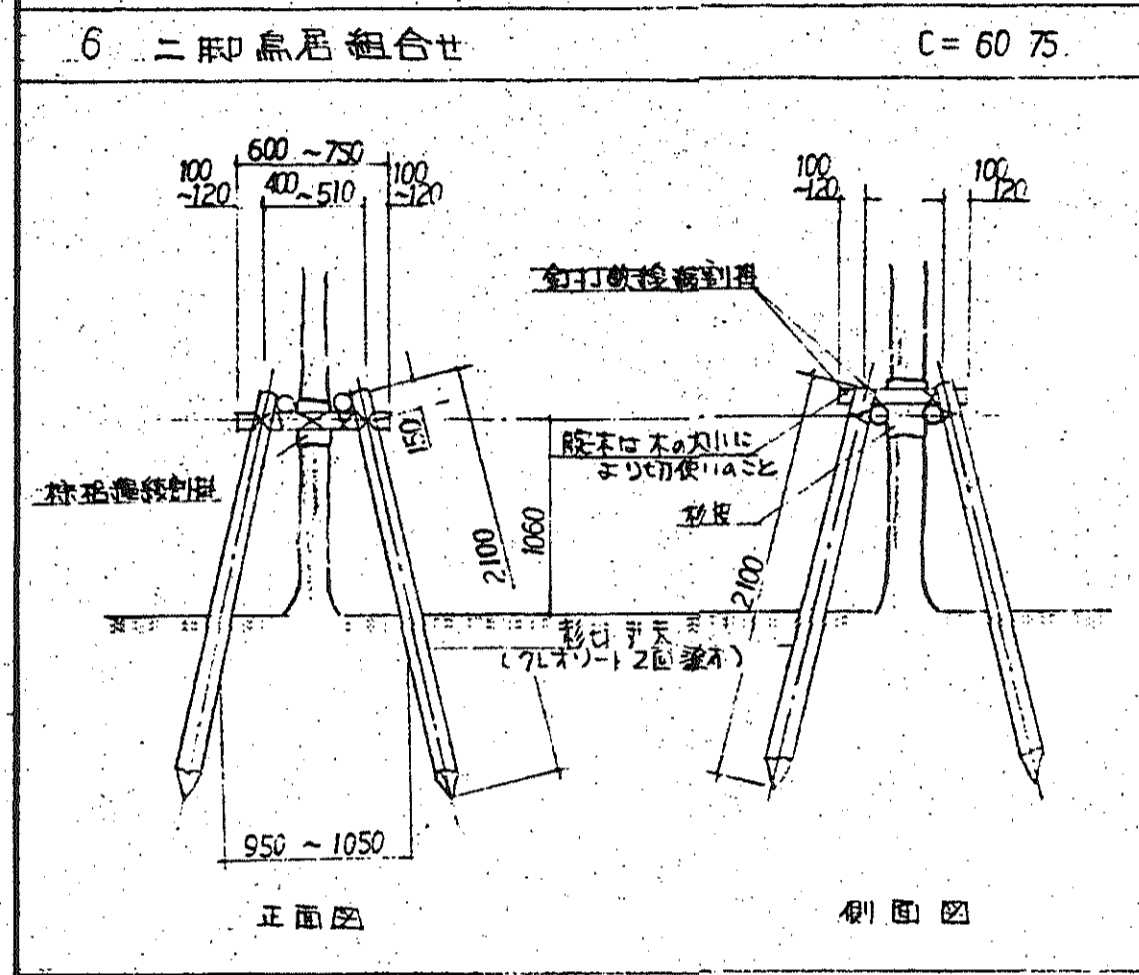
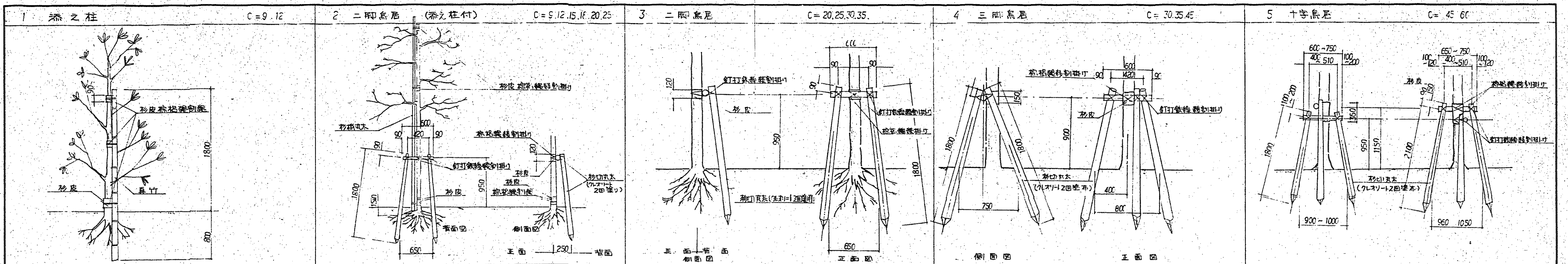
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@kaiinfo.com	設計年月日 変更年月日	承認 柳井 博	監査 柳井 博	設計 柳井 博	製図 柳井 博	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンピーチ解体工事	図面番号 KA
											図面名 薬山詳細図	S-1:図示(A-1) S-1:図示(A-3)



記号	名称	形状寸法	単位	数量	備考
ア	アサヒアサギ	4.0 0.4	本	2	シロハシ
ユ	ユリノキ	5.0 0.25 2.0	株	4	
ケ1	ケヤキ 1	6.0 0.4	株	1	
ケ2	ケヤキ 2	5.0 0.3	株	4	
カ	ヤマモミジ	4.0 0.2 2.0	株	6	
サ	ヤマボウシ	3.0 0.15	株	3	
コ	ユナシ	3.5 0.2 2.0	株	2	
シ	シロノキ	3.0 2-3株	株	4	
ハ	ハハチノキ	2.5 0.1 (白)	株	5	
モ	モミ	4.0 2.0	株	9	
マ	マテバシイ	4.0 0.25	株	2	
マ	マテバシイ	3.0 2-3株	株	9	
ク	クスノキ	4.0 0.35	株	1	
ヤ	ヤマモモ	3.5 0.3	株	1	
シラ	シラカシ	4.0 0.2	株	6	
タ	タアノキ	3.0 0.15	株	6	
モ	キンモクセイ	2.0	株	3	
		2.0	株		
		1.5	株	100	2株/坪
		1.5	株	222	
		0.9 0.4	株	240	6株/坪 別送
		1.2 0.4	株	160	
		0.5 0.4	株	270	
		0.5 0.5	株	1486	
		0.5 0.4	株	335	
		0.3 0.3	株	140	
		0.5	株	420	
		0.3 0.3	株	154	
		0.3 0.3	株	168	
		0.3 0.3	株	170	
		0.6	株	40	
		0.15	本	2	
		70 柿目地貼	M ²	2320	
		三種混合砂利	M ³	450	
		客土	M ³	93.6	

配置図 1:300

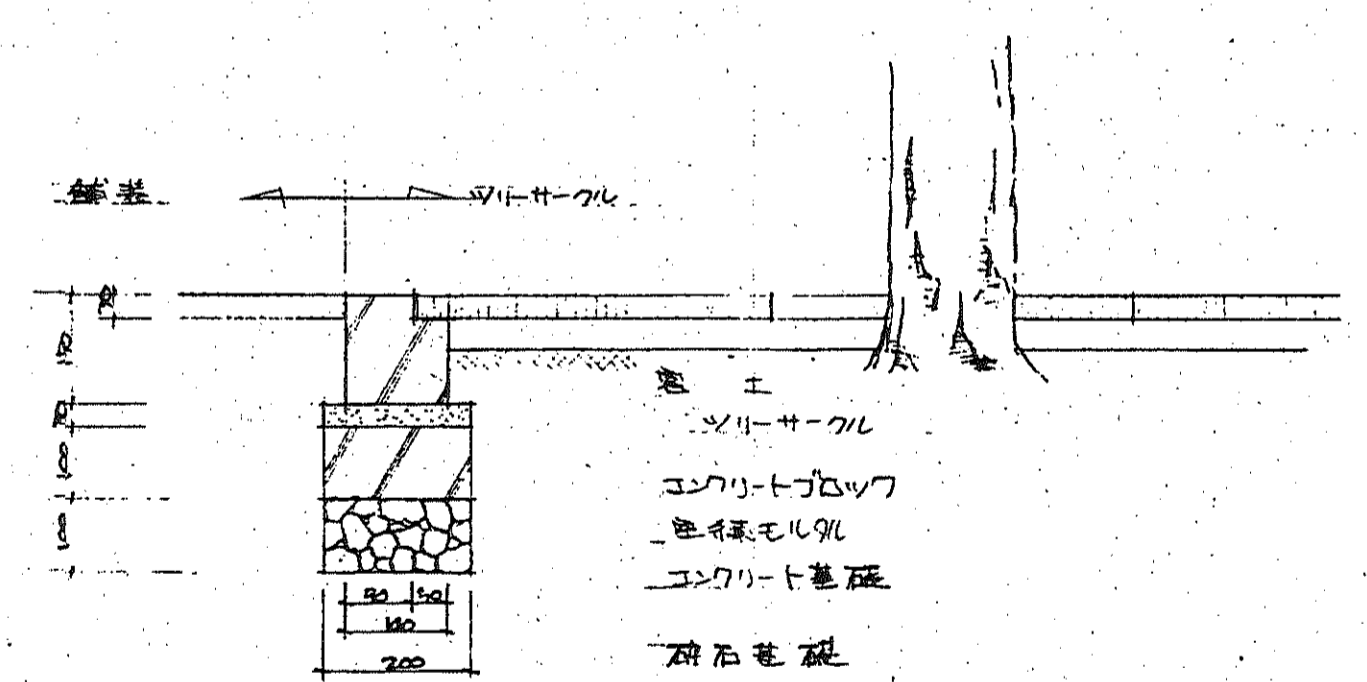
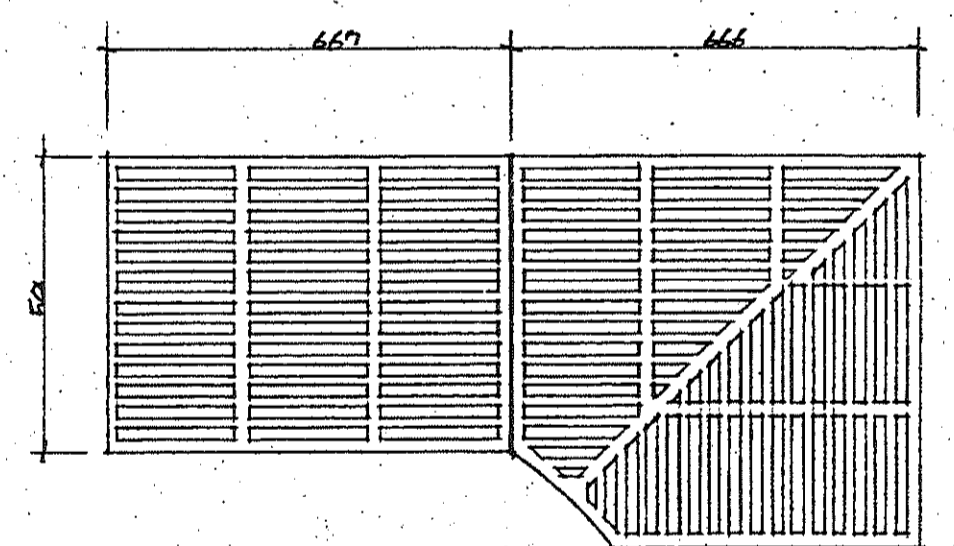
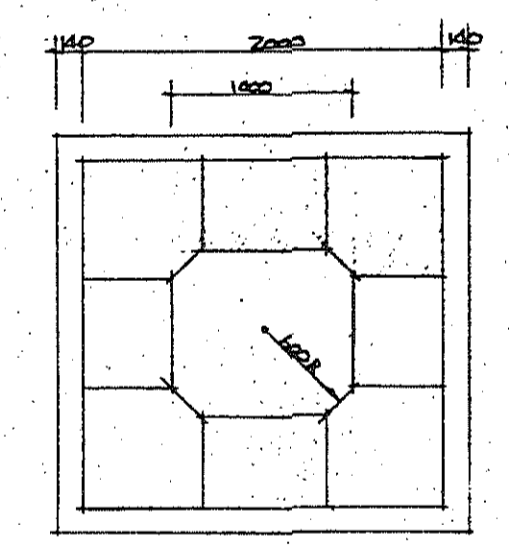




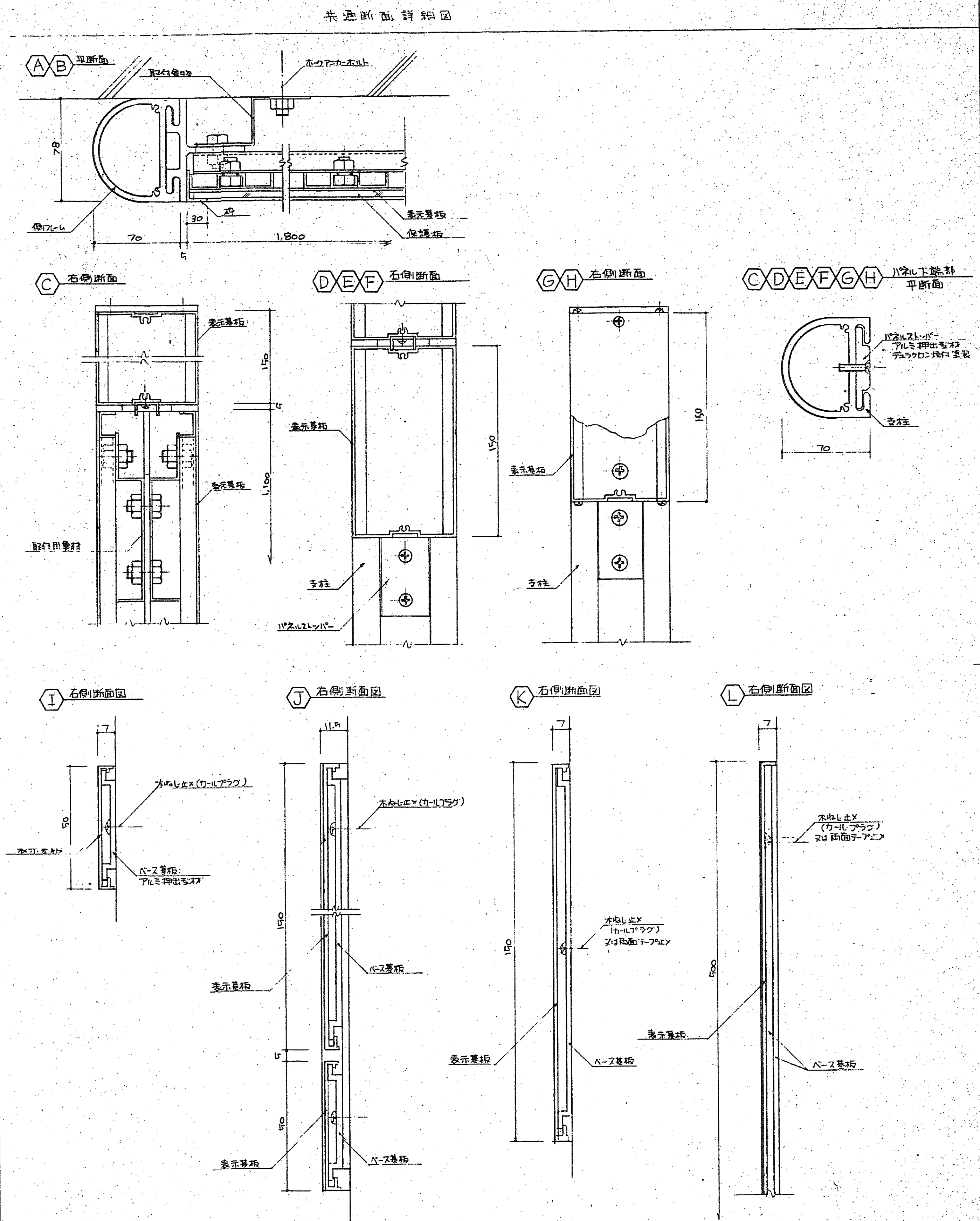
√11-サ-7/L 平面図 S=1/40

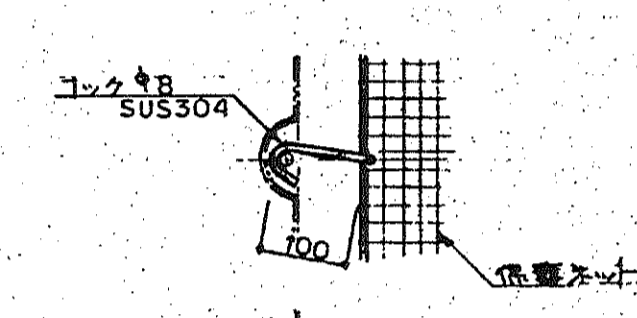
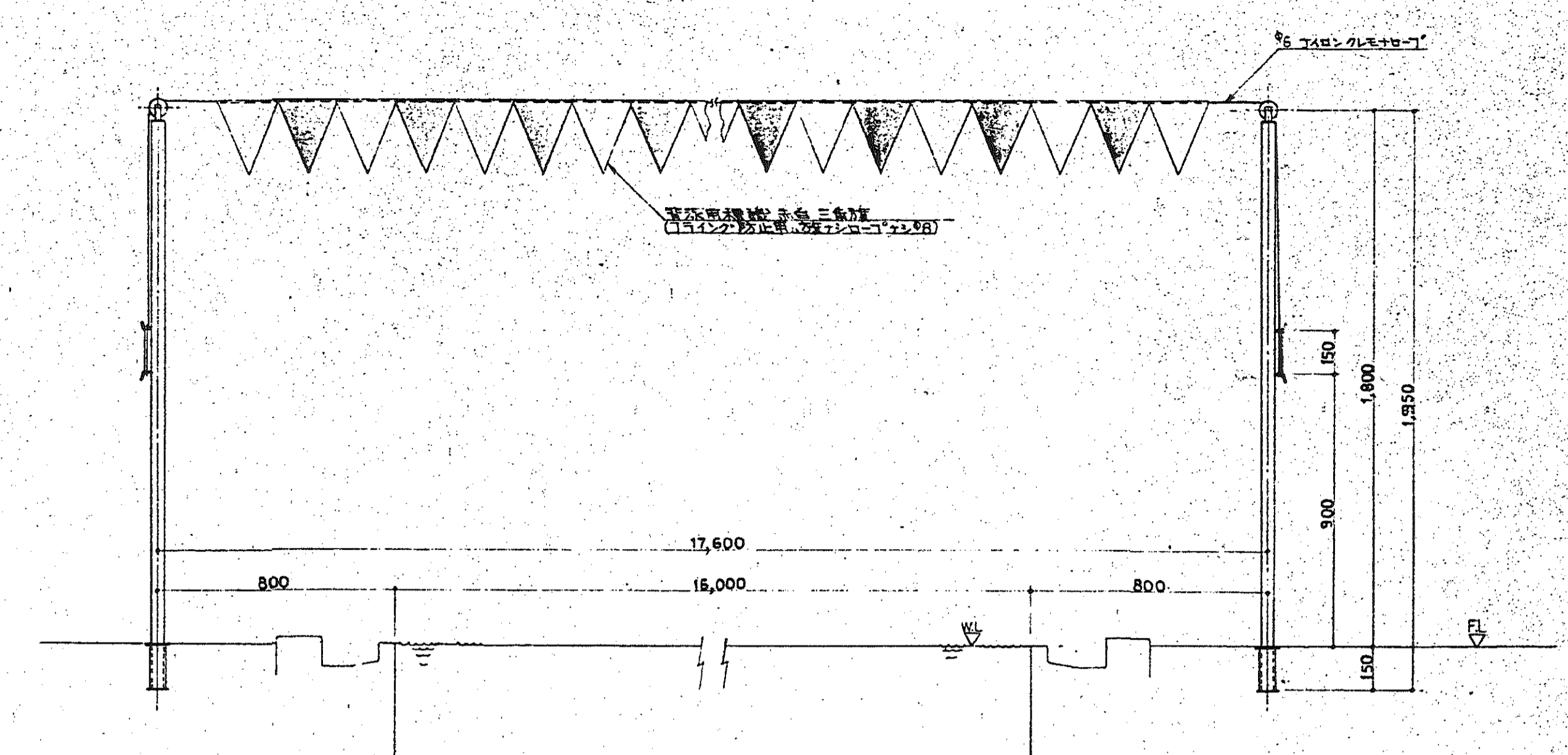
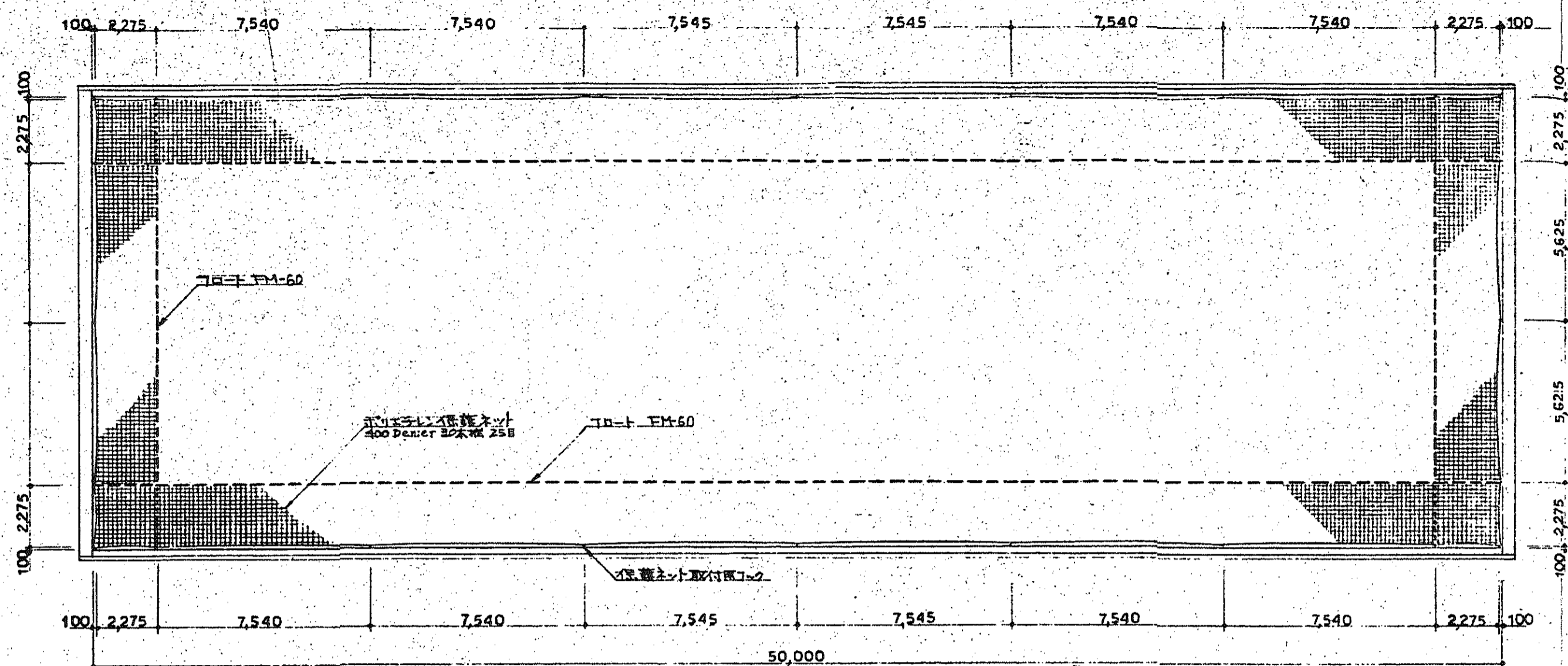
√11-サ-7/L 平面詳細図

√11-サ-7/L 断面図 S=1/6



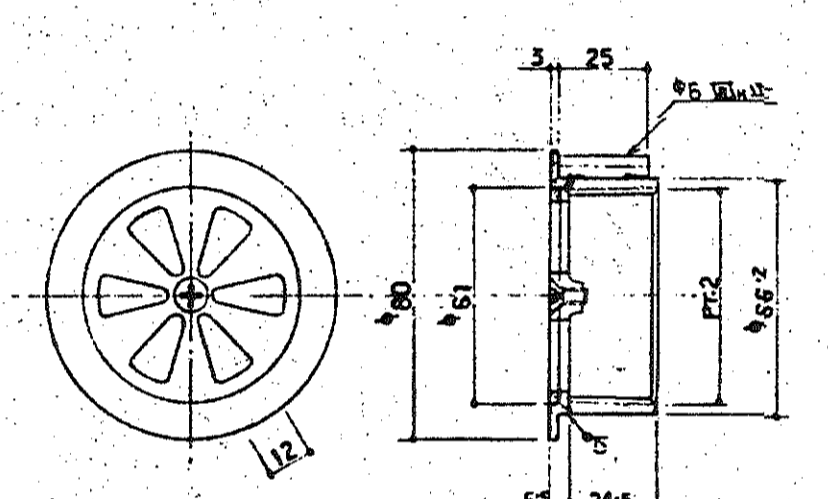
符号・名称	仕様	設置方法	数量	断面図
A 使用注意板	表示基板: 1.2アルミ板、バックライト付増設 保護板: 1.5透明アクリル板 支柱: アルミ押出型材、PVCパイプ、クリア塗装 取付金物: マスシールド金物、折り曲げ 保付金物: アルミ押出型材、PVCパイプ、クリア塗装	壁面平付	2	
B 料金表示板	同上	同上	1	
C 施設案内板	支柱: アルミ押出型材、着色PVCパイプ(グラシン)クリア塗装 表示基板: アルミ押出型材、着色PVCパイプ(グラシン)クリア塗装 +2アルミ板、デュロクロン付増設 取付用金物: マスシールド金物、折り曲げ	独立基礎	1	
D 建物誘導表示板1	支柱: アルミ押出型材、着色PVCパイプ(グラシン)クリア塗装 表示基板: アルミ押出型材、PVCパイプ、クリア塗装	同上	2	
E 2	同上	同上	2	
F 3	同上	同上	2	
G 誘導板	支柱: アルミ押出型材、着色PVCパイプ(グラシン)クリア塗装 表示基板:	同上	3	
H 自転車置場表示板	同上	同上	10	
I 壁名表示板	表示基板: アルミ押出型材、着色PVCパイプ(グラシン)クリア塗装 フレーム: アルミ押出型材、PVCパイプ	壁面平付	10	
J 出口表示板	同上	同上	11	
K ロッカールーム表示板	同上	同上	2	
L エントランス出入口表示板	表示基板: 1.5アルミ板、増付増設、PVCパイプ フレーム: アルミ押出型材、PVCパイプ ベース: アルミ押し出し金物	同上	4	
表示方法: 写真・イラスト・文字・シンボル スクリーン・グラフィック等				



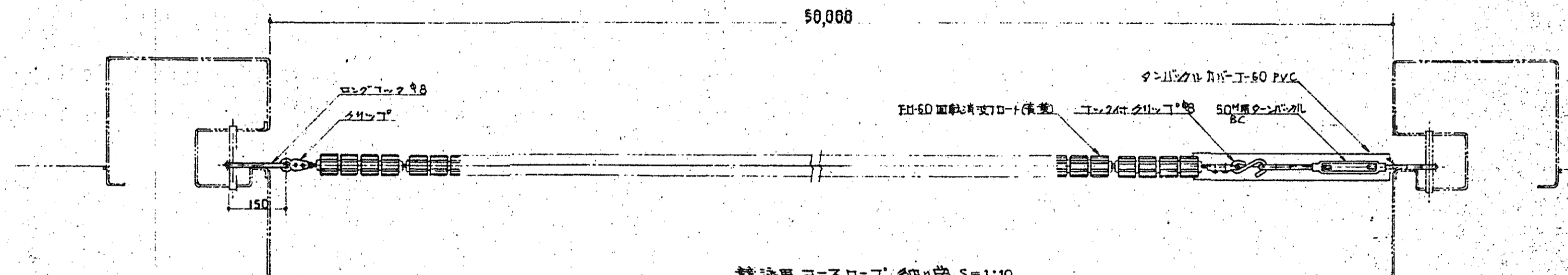


位置ネット取付取付口 S=1:15
T-10-EM-60 取付取付口

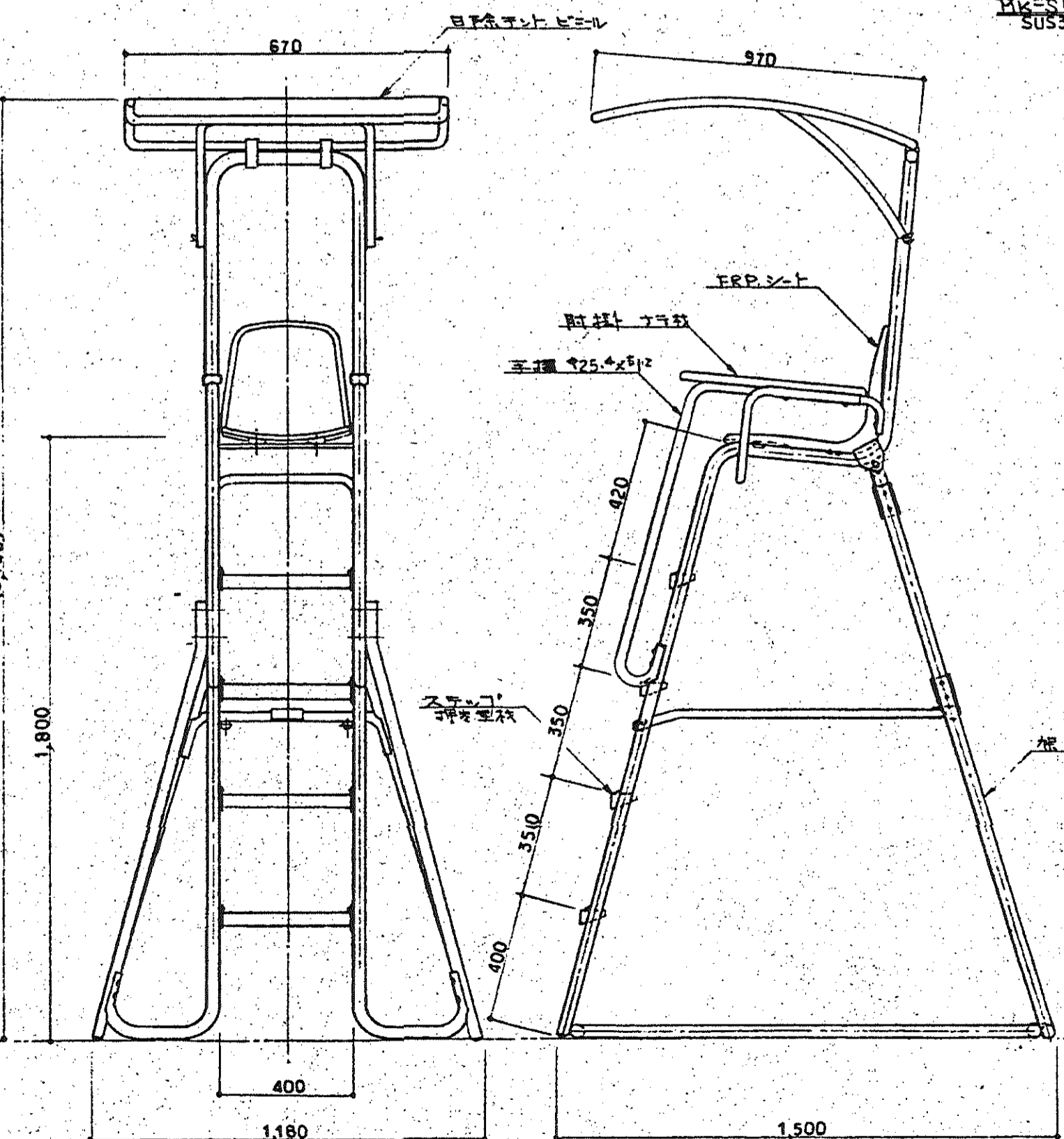
位置ネット取付取付口 S=1:10
取付取付口



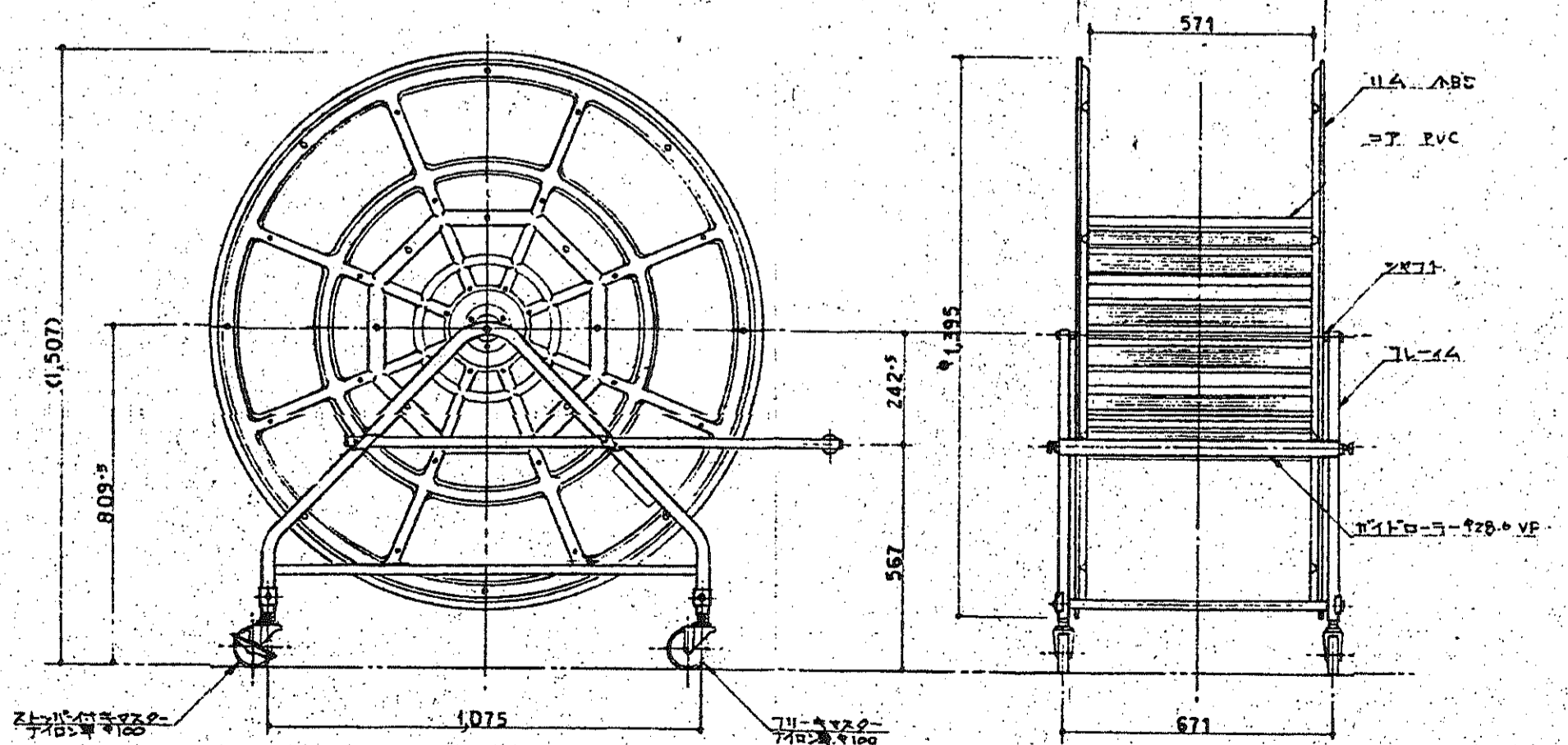
位置ネット取付取付口 S=1:12
SUS304 77



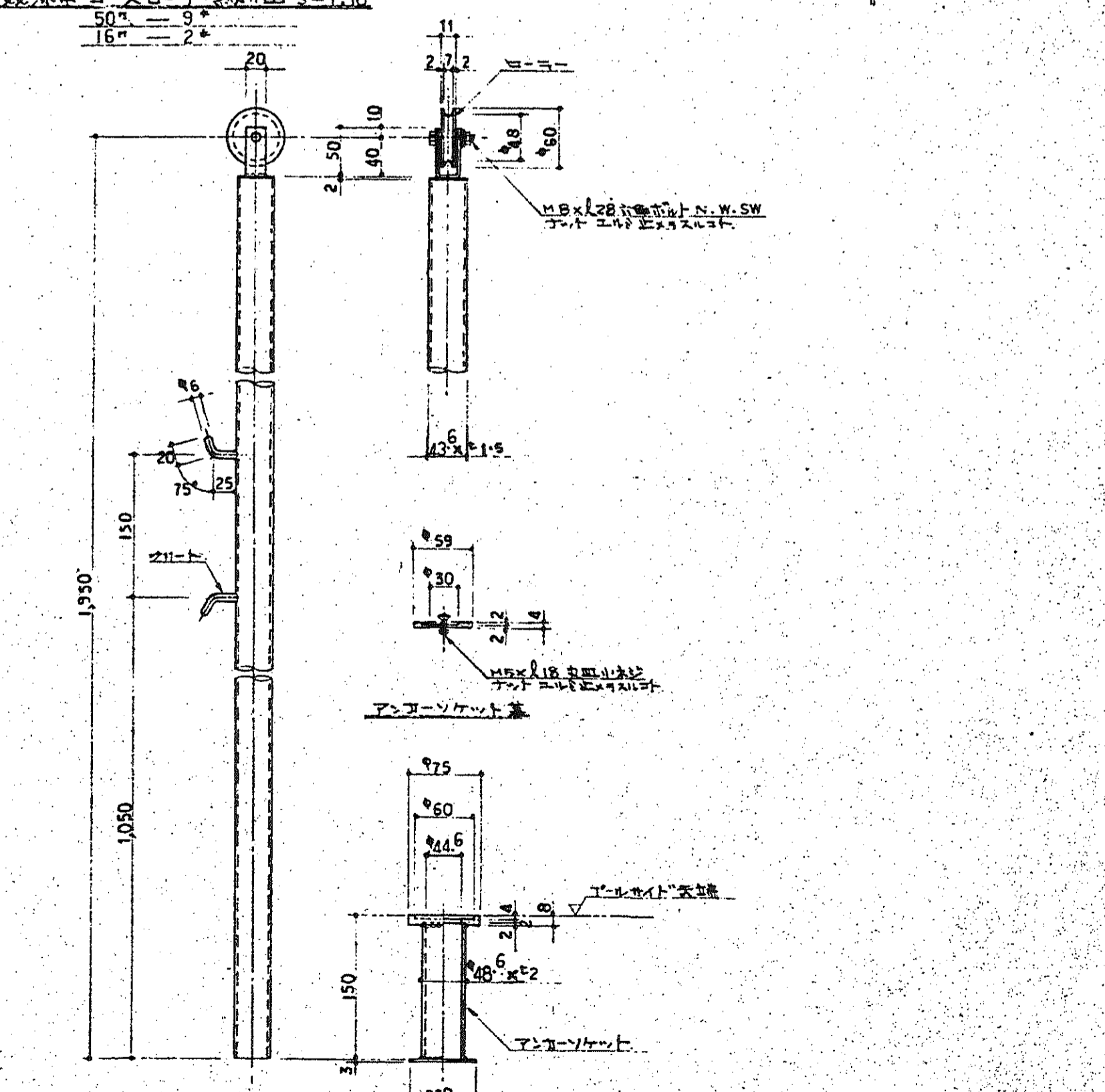
排水パイプ S=1:10
50口径ポンプ



FRPシート S=1:15
106

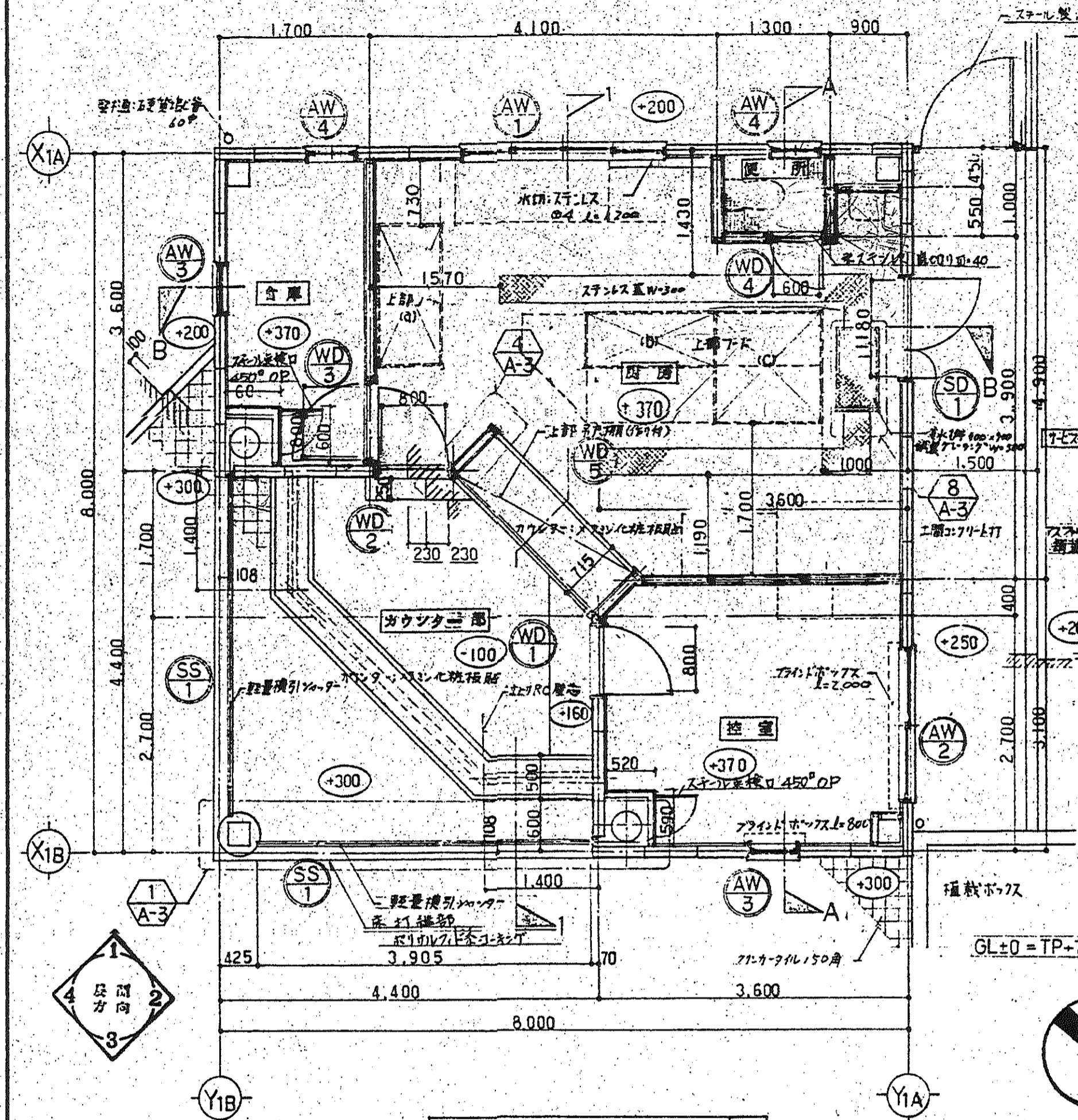


FRPシート S=1:15
106



FRPシート S=1:15
SUS304 67

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@kaikei-kenkyu.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長 副課長 主任 担当	工事名 図面名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事 プール付属品・姿図・詳細図	S-1:図示 (A-1) S-1:図示 (A-3)	図面番号 KA 062
-----------------	---	---	------------------------------	----------------	-------------------	------	------------	--------------	------------	-----------------------------------	------------------------------	-------------------



軽食・売店 平面詳細図 1:50

仕上表

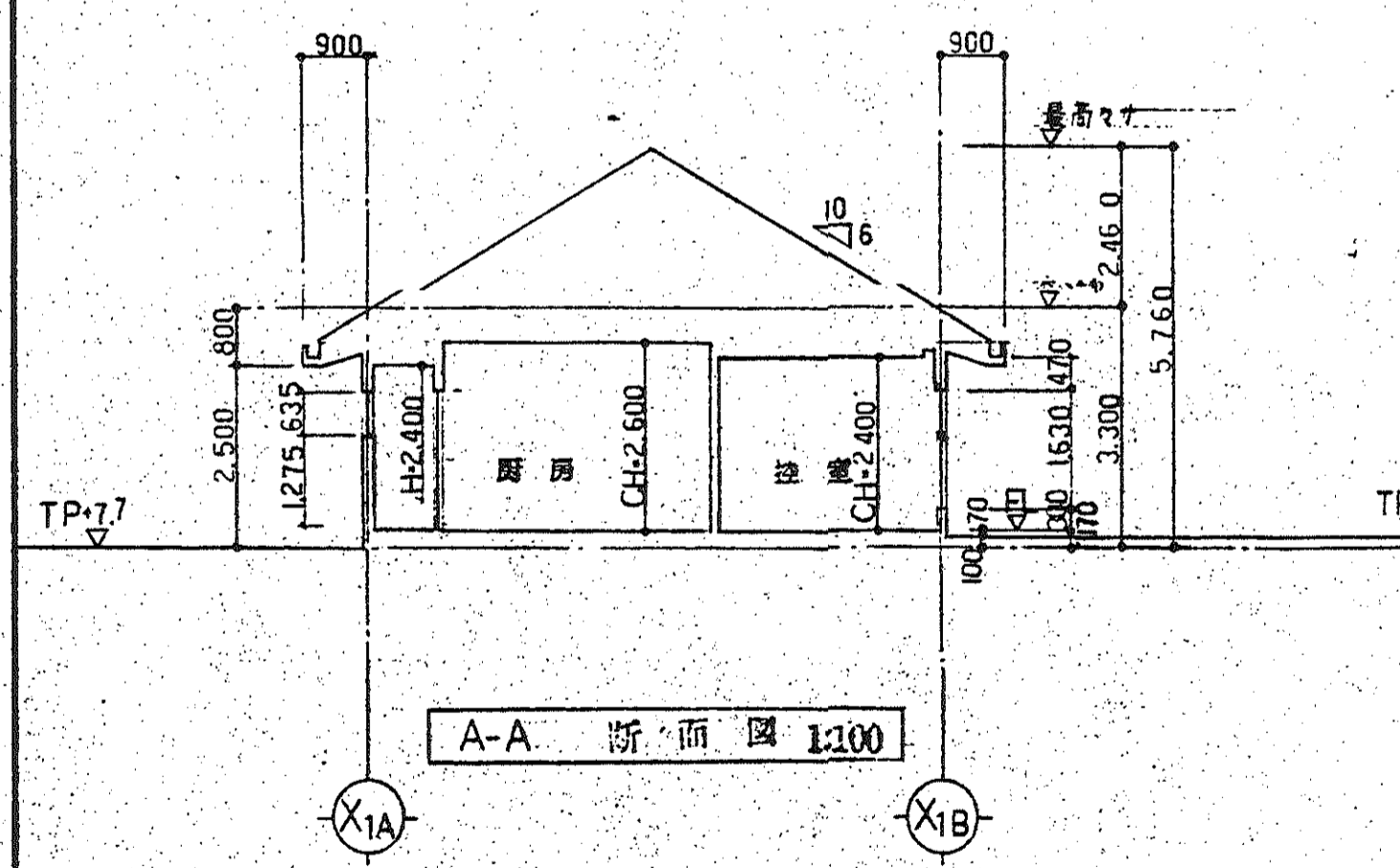
外部仕上表		内部仕上表					
屋根	仕様	室名	床	天井	壁	天井	備考
外壁	波打板ALC版@120下地 フレタン吹付塗装	カウンター部	カウンター部:150厚カラータイル貼 カウンター内部:エポキシ床塗床(ノンスリップ)	150	ALC フレタン吹付塗装 LGS:75mm厚ALC板@6 EP	75mm厚ALC板@6 EP	カウンター:ラバーマット下地メッシュ化粧板貼
軒裏	FLキヤムボード@6 目隠しEP	厨房	コンクリート@100の上 エポキシ床塗床(ノンスリップ)	100	ALC 木下地@100厚ALC板貼EP LGS:75mm厚ALC板@6 EP	全	木下地 防汚処理 H=1000 上部戸欄付
柱	コンクリート打放しの防汚塗装一部11.9-タイルH=150	控室	コンクリート@100の上 長尺塩ビシート貼@2.5	60	ALC 木下地@100厚ALC板貼EP LGS:75mm厚ALC板@6 EP	化粧石膏ボード@9	アライドボックス:木製@250P 27mm
床	新築:塩ビ鋼板@0.8加工、整地:硬質塩ビ厚75	倉庫	コンクリート@100の上 エポキシ床塗床(ノンスリップ)	100	ALC 木下地@100厚ALC板貼EP LGS:75mm厚ALC板@6 EP	75mm厚ALC板@6 EP	木下地 防汚処理
		便所	防水モルタル下地 セラミックタイル貼 25°	100	ALC フレタン吹付タイル LGS:75mm厚ALC板@6の上フレタン吹付タイル	全	

採光換気排煙計算

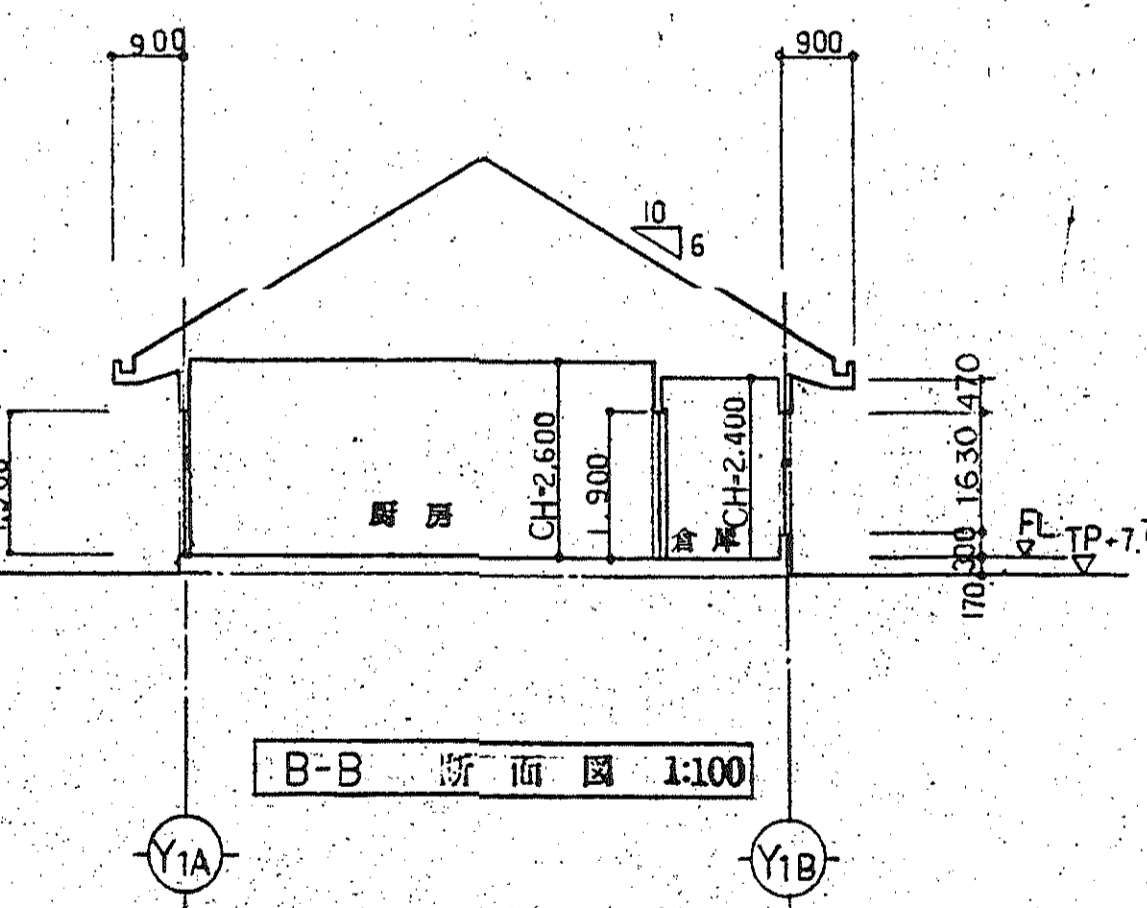
採光	厨房 (床面積 A=27.18 M ²)		控室 (A=11.08 M ²)	
	規定値	計算値	規定値	計算値
換気	A/20 = 1.359	1.15 × 1.0 + 1.0 × 1.9 = 3.05 (OK) (注:28-30に用いた換気回数換気量計算による)	A/20 = 0.554	0.85 × 1.0 = 0.85 (OK)
排煙	A/50 = 0.5436	1.15 × 0.5 = 0.575 (OK)	A/50 = 0.2216	0.85 × 0.5 = 0.425 (OK)

天井伏図凡例

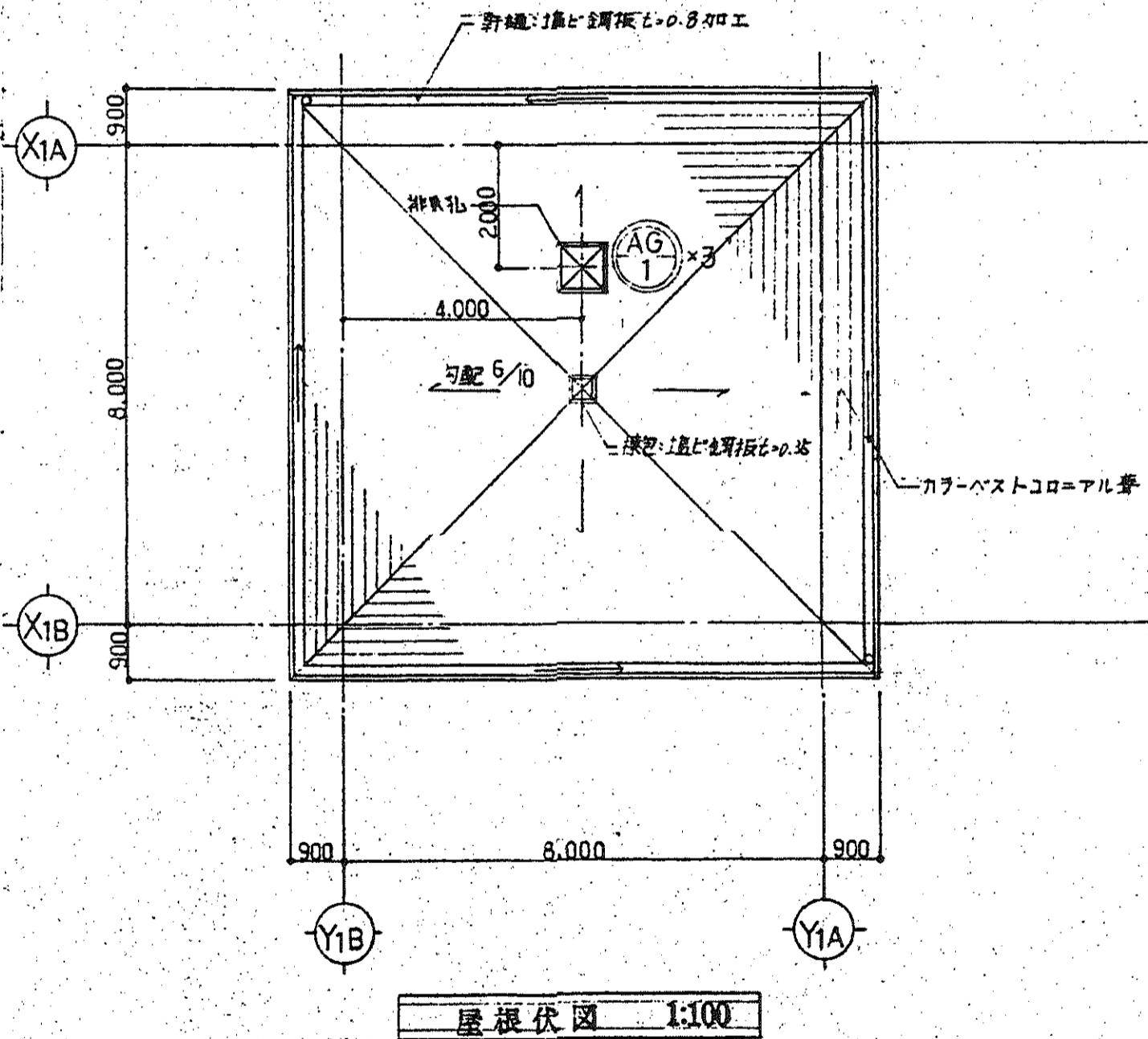
○	天井換気口 450	□	天井換気口 600
◇	化粧石膏ボード@9	■	天井高 3000
○	97-101		



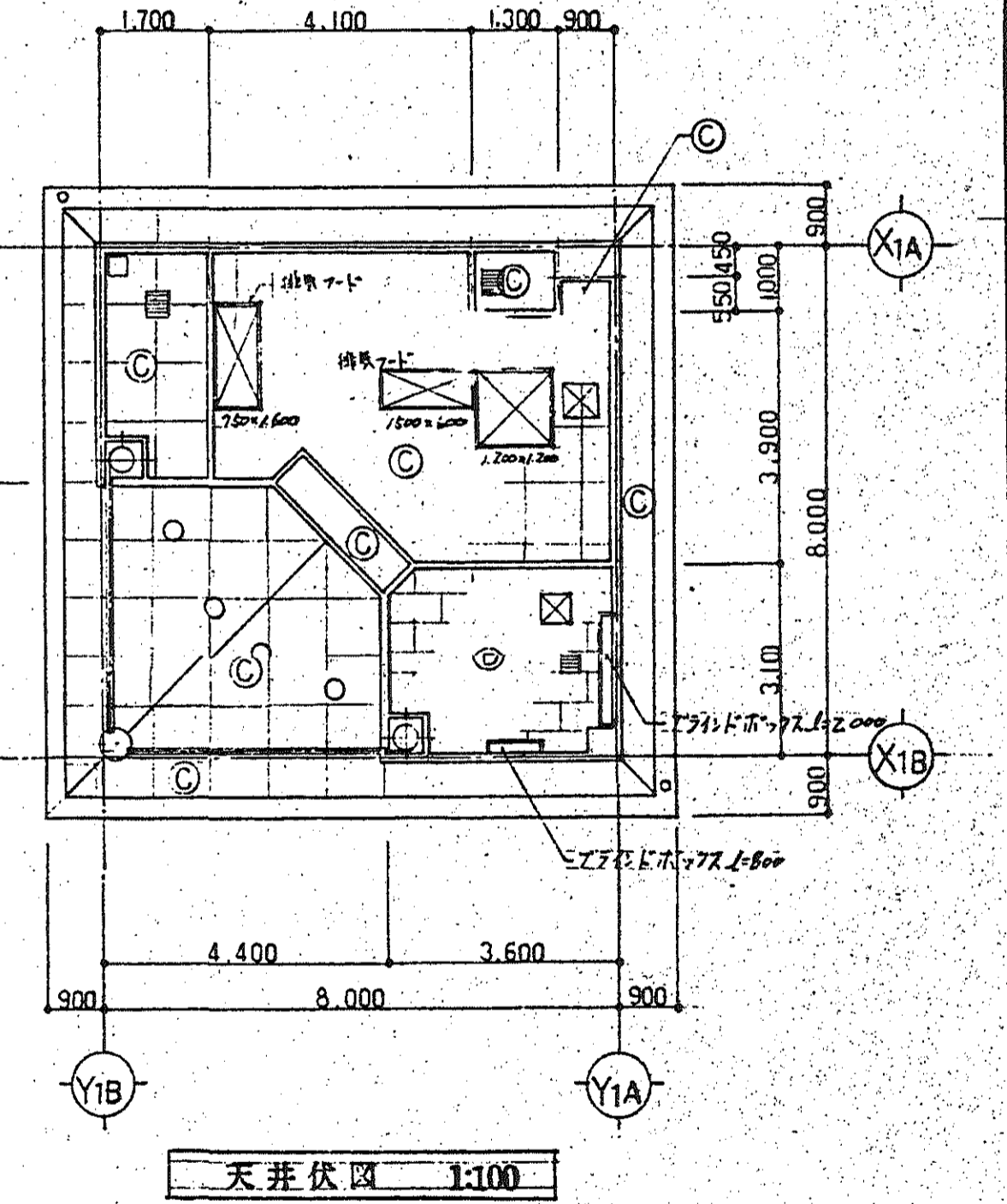
A-A 断面図 1:100



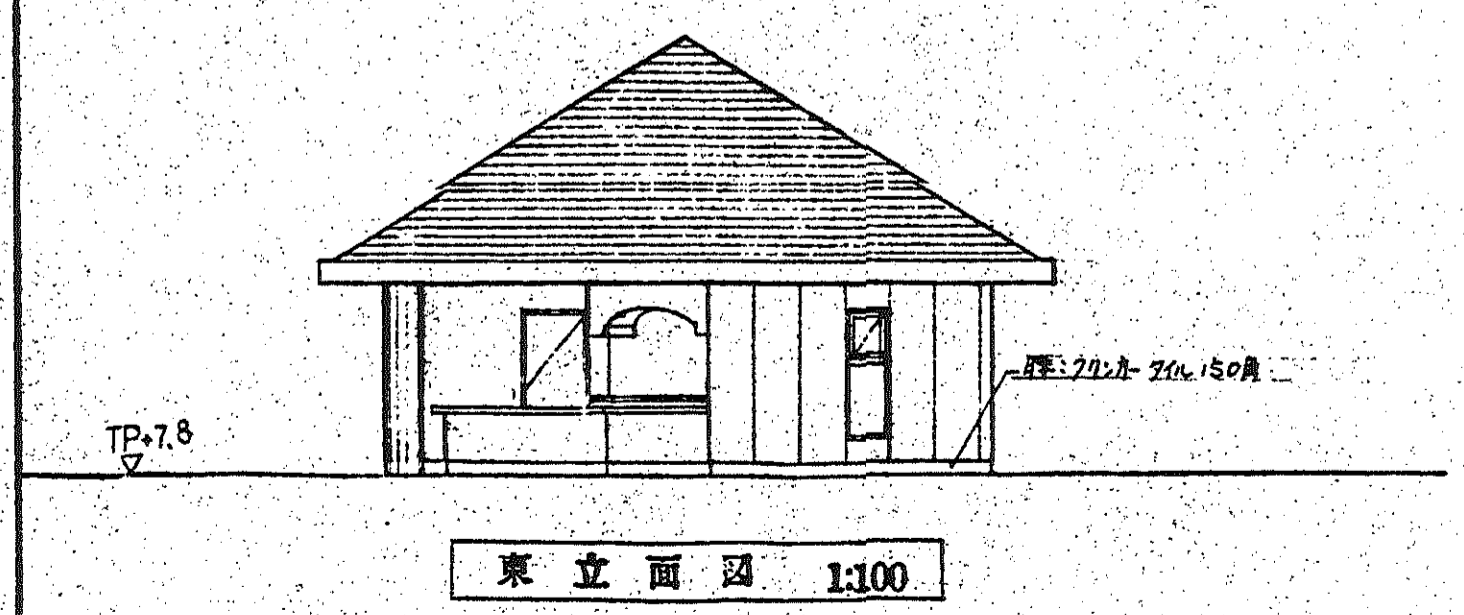
B-B 断面図 1:100



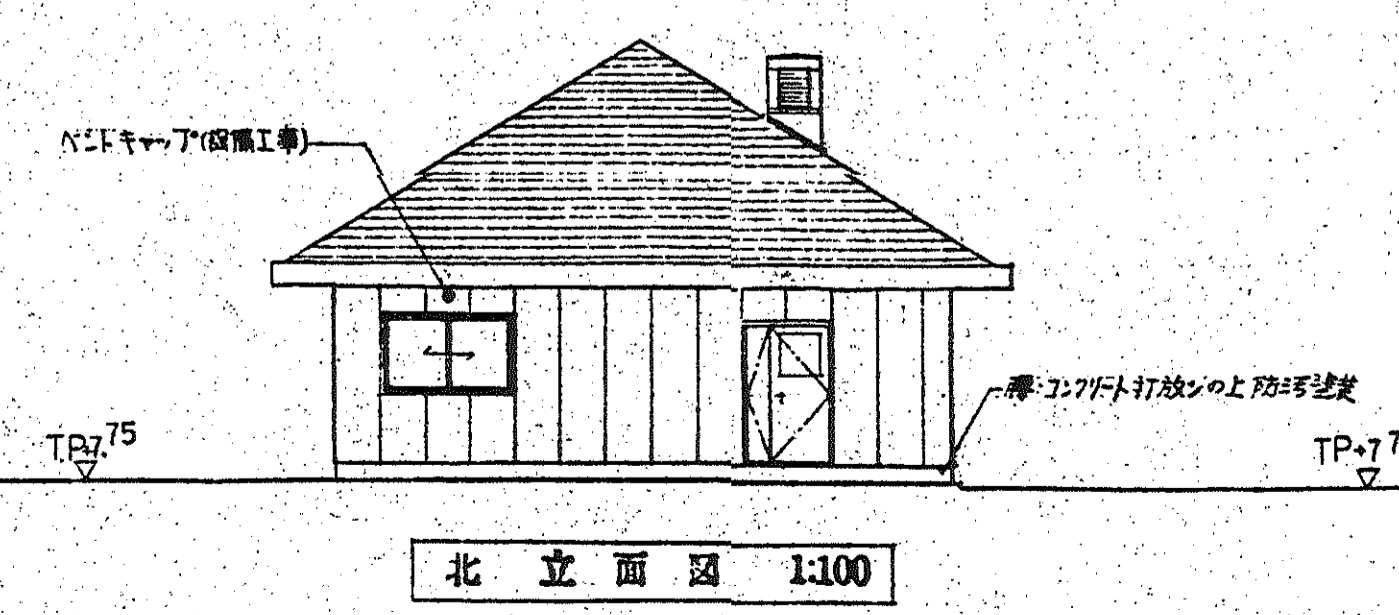
屋根伏図 1:100



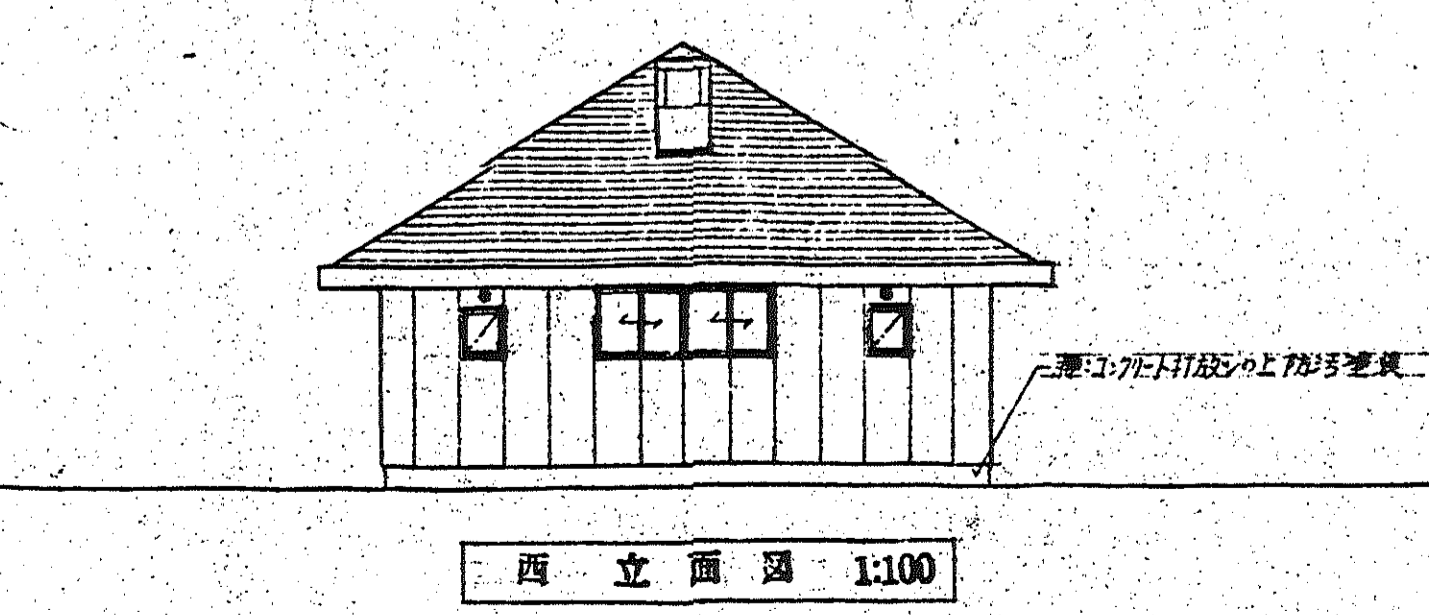
天井伏図 1:100



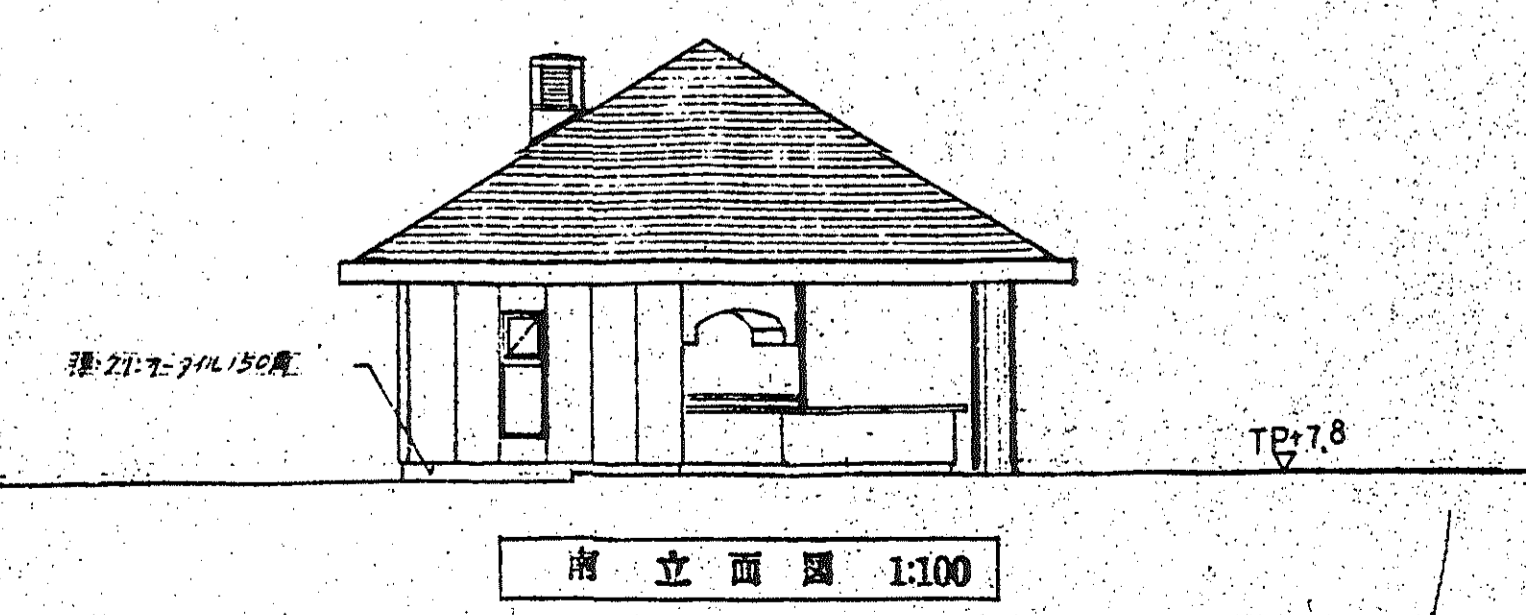
東立面図 1:100



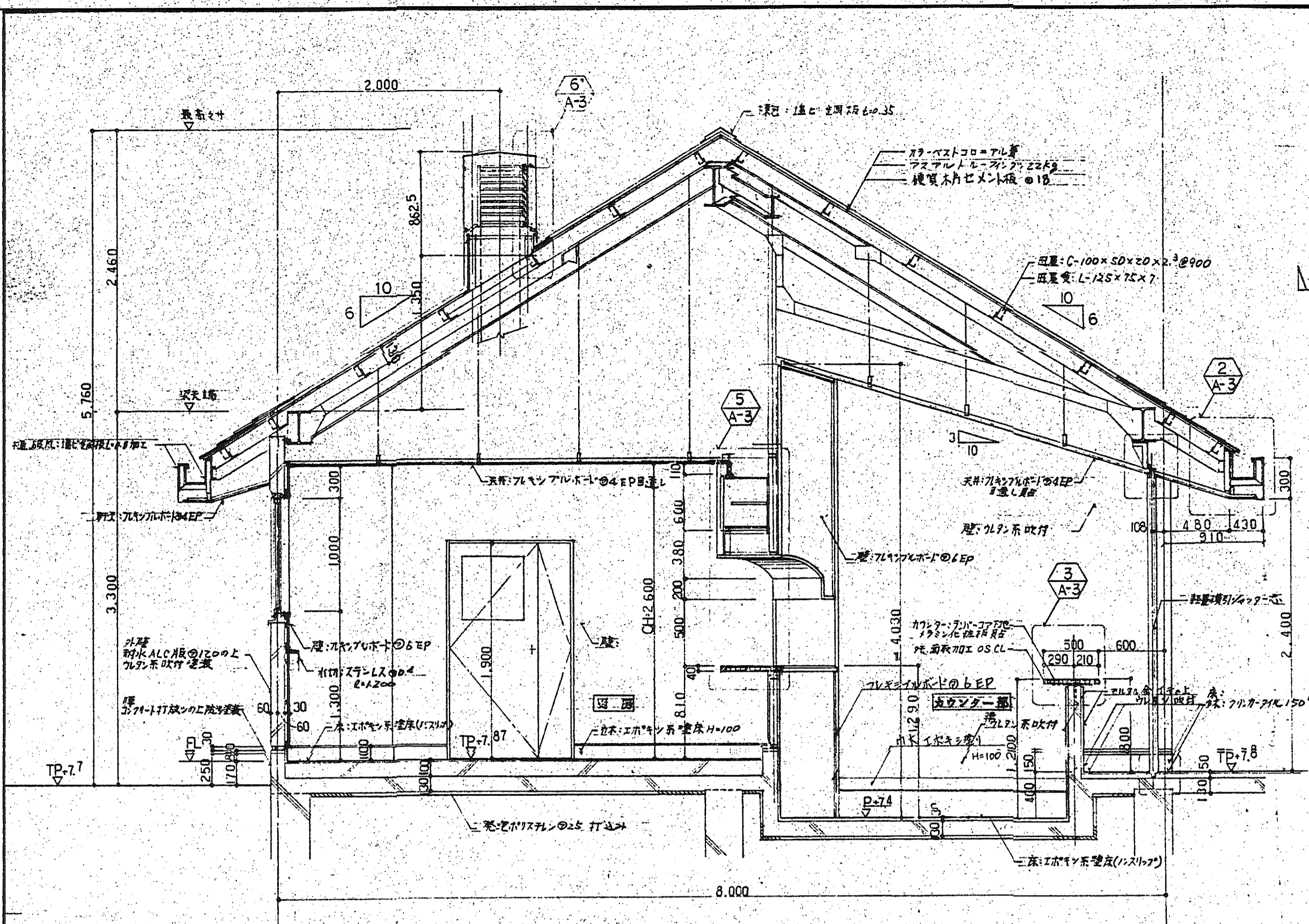
北立面図 1:100



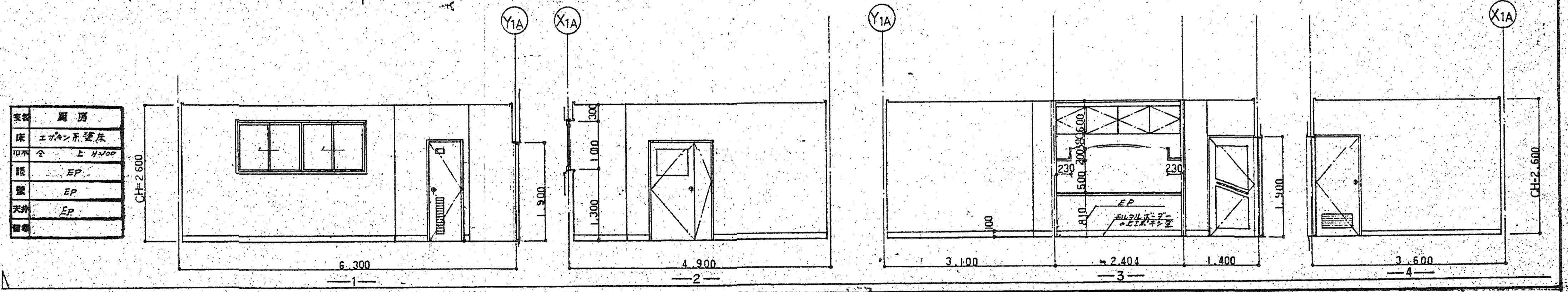
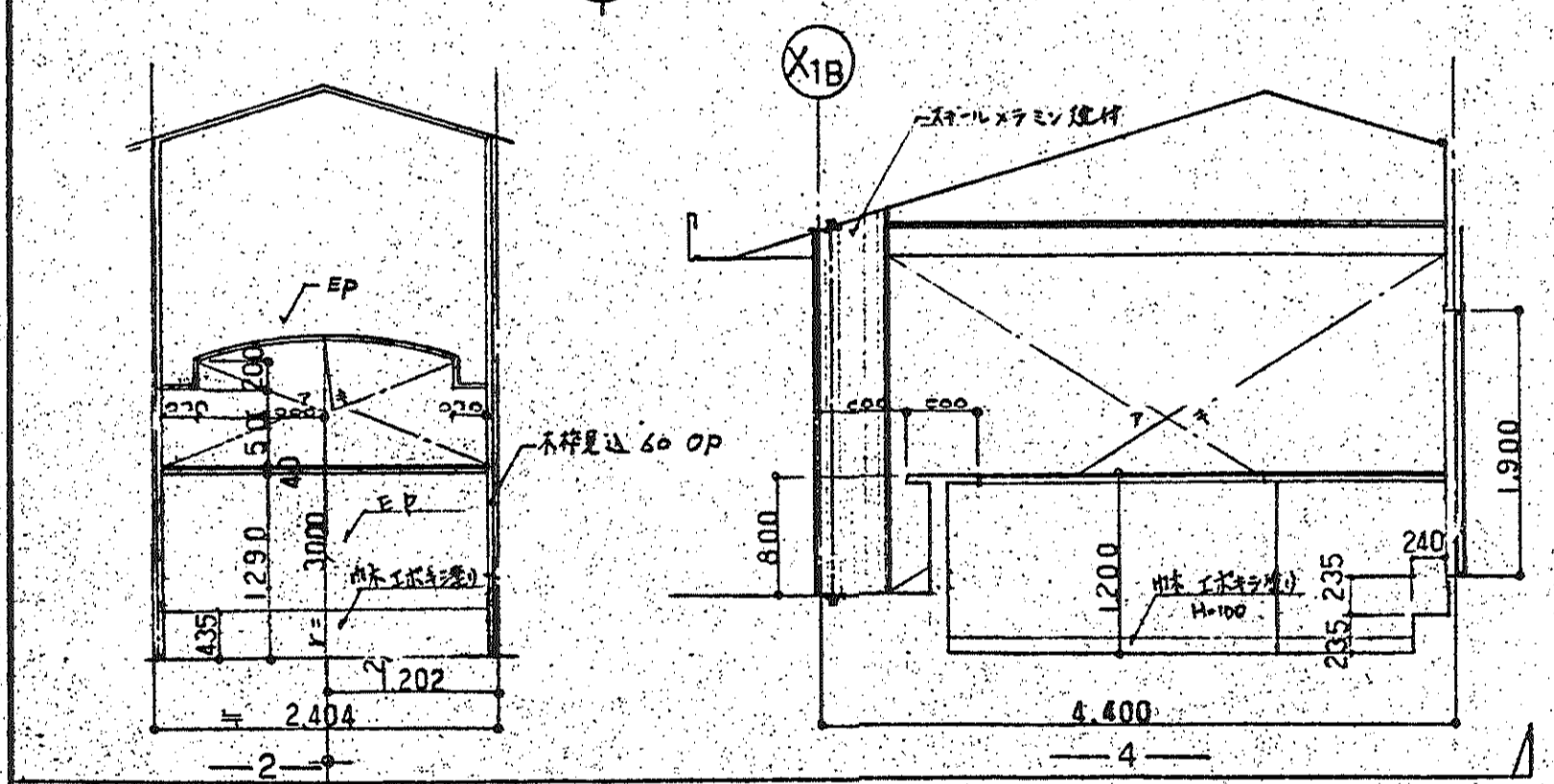
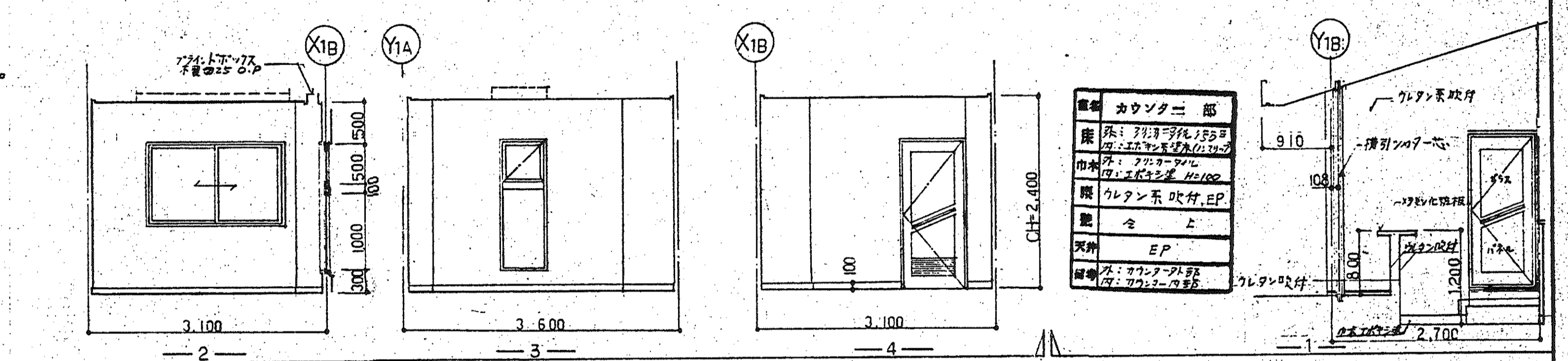
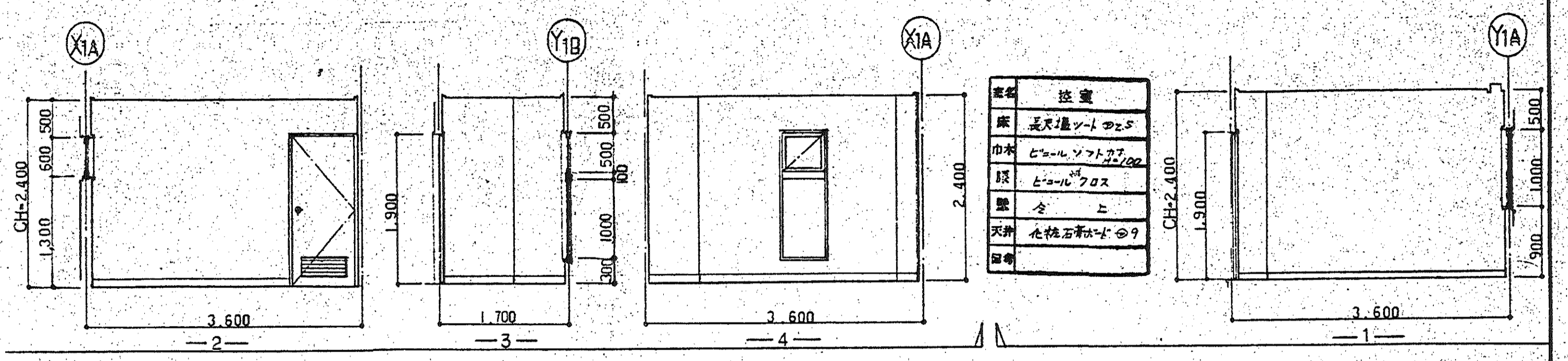
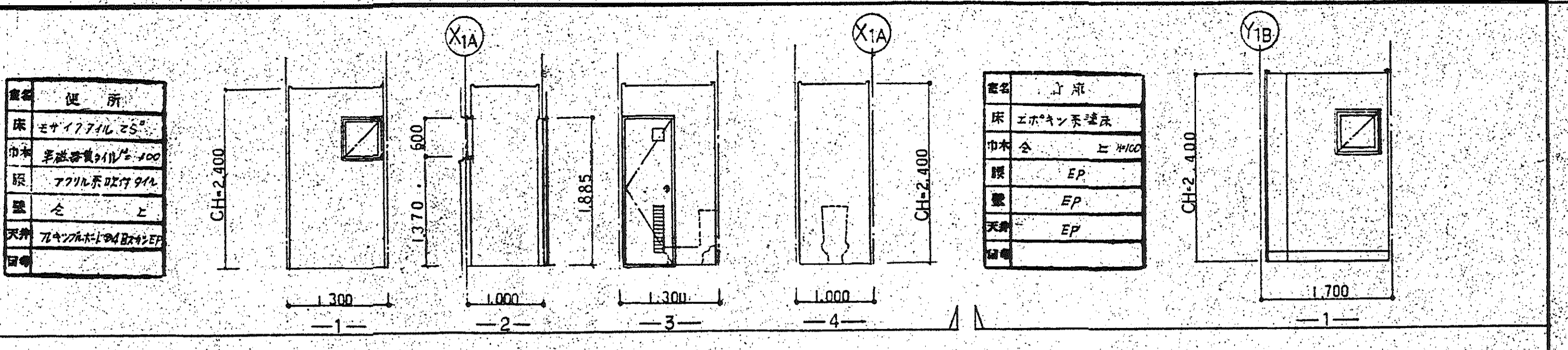
西立面図 1:100



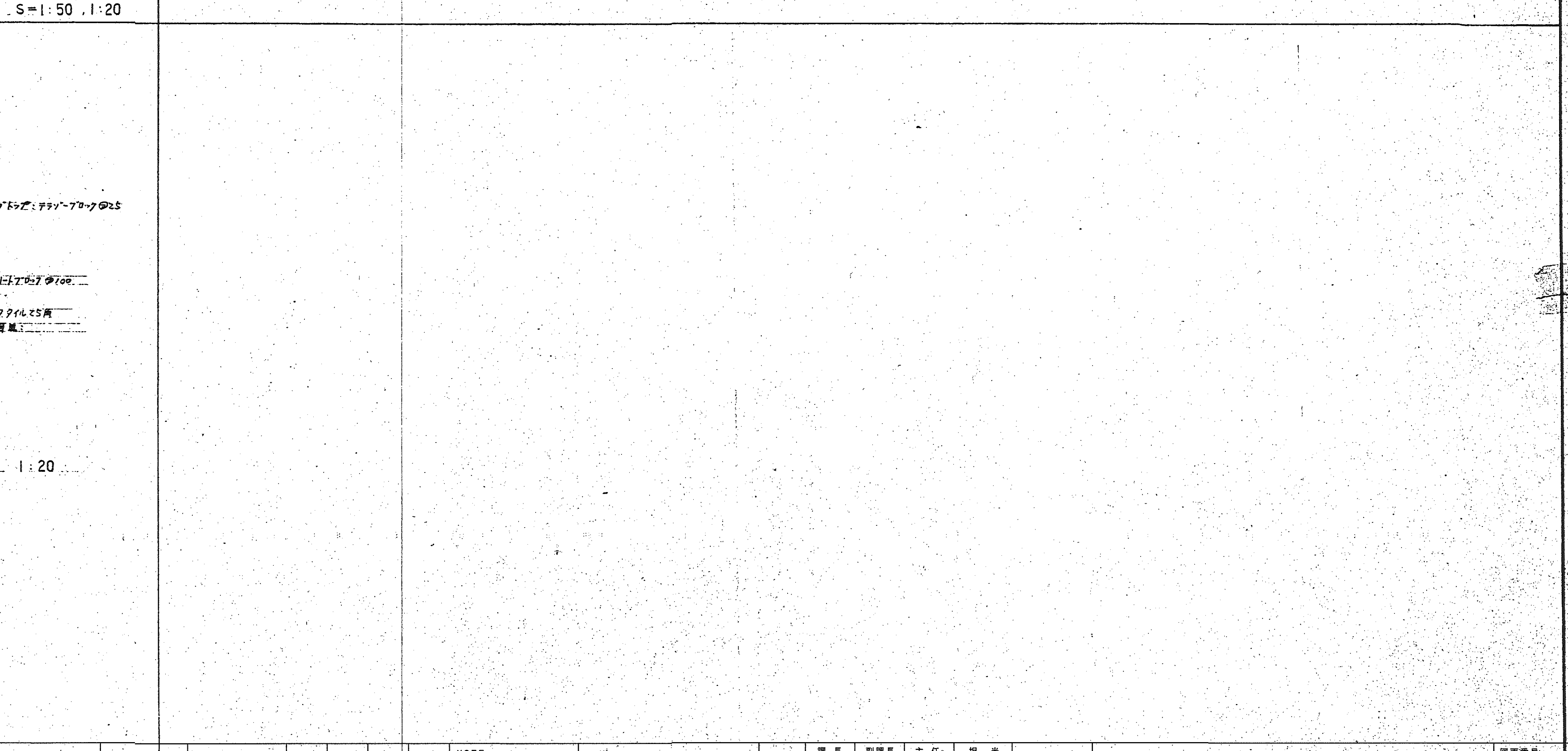
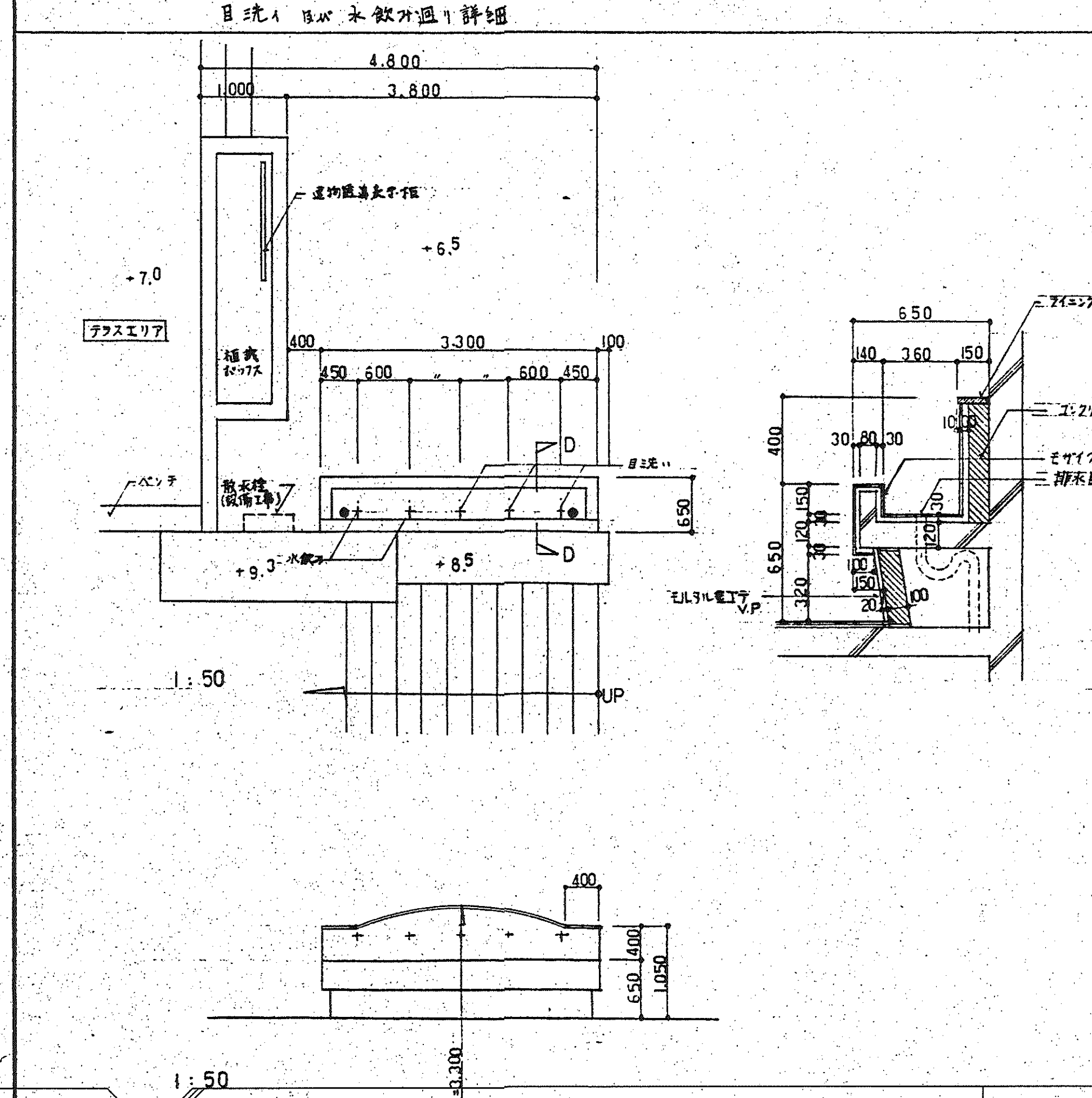
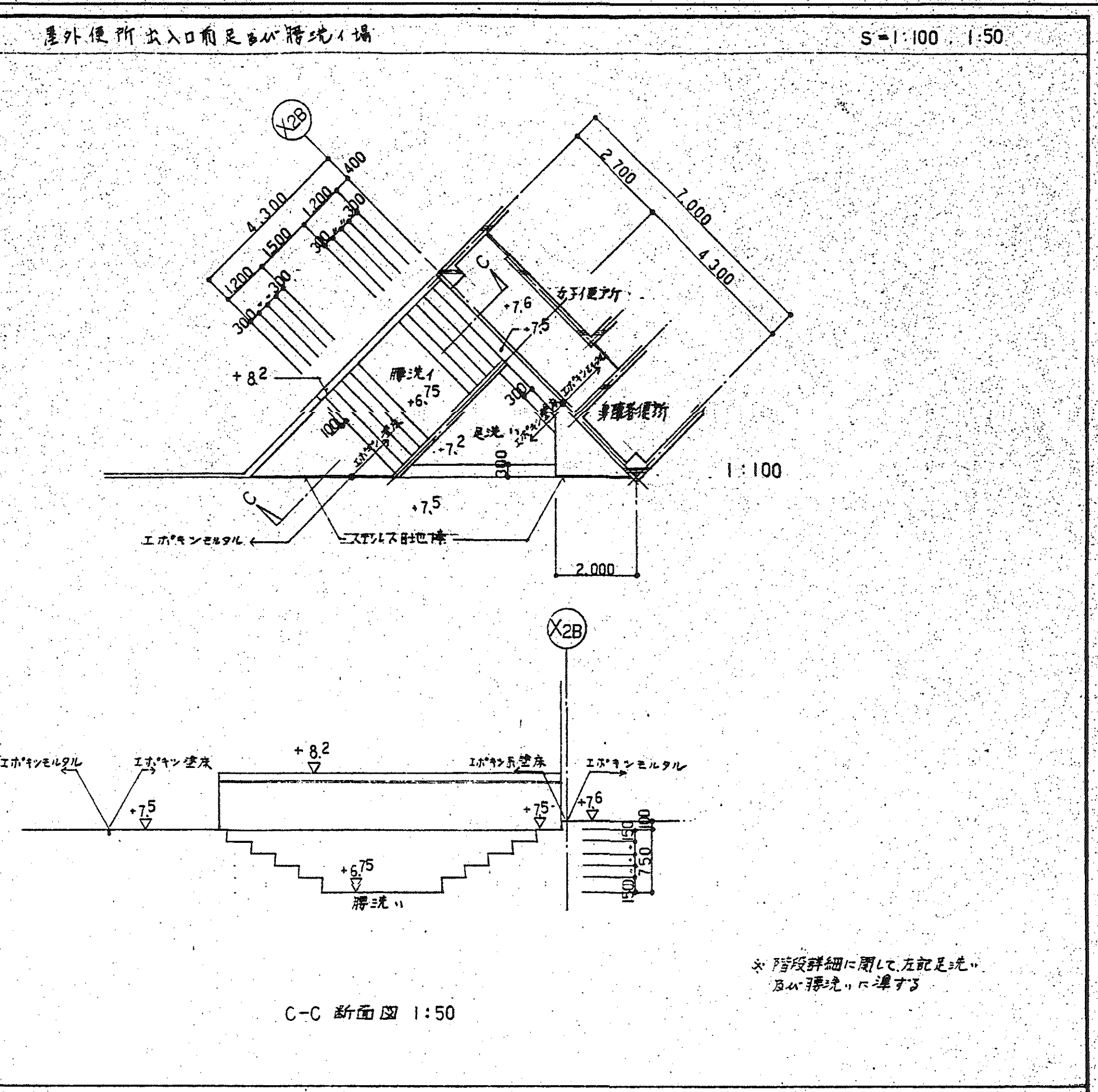
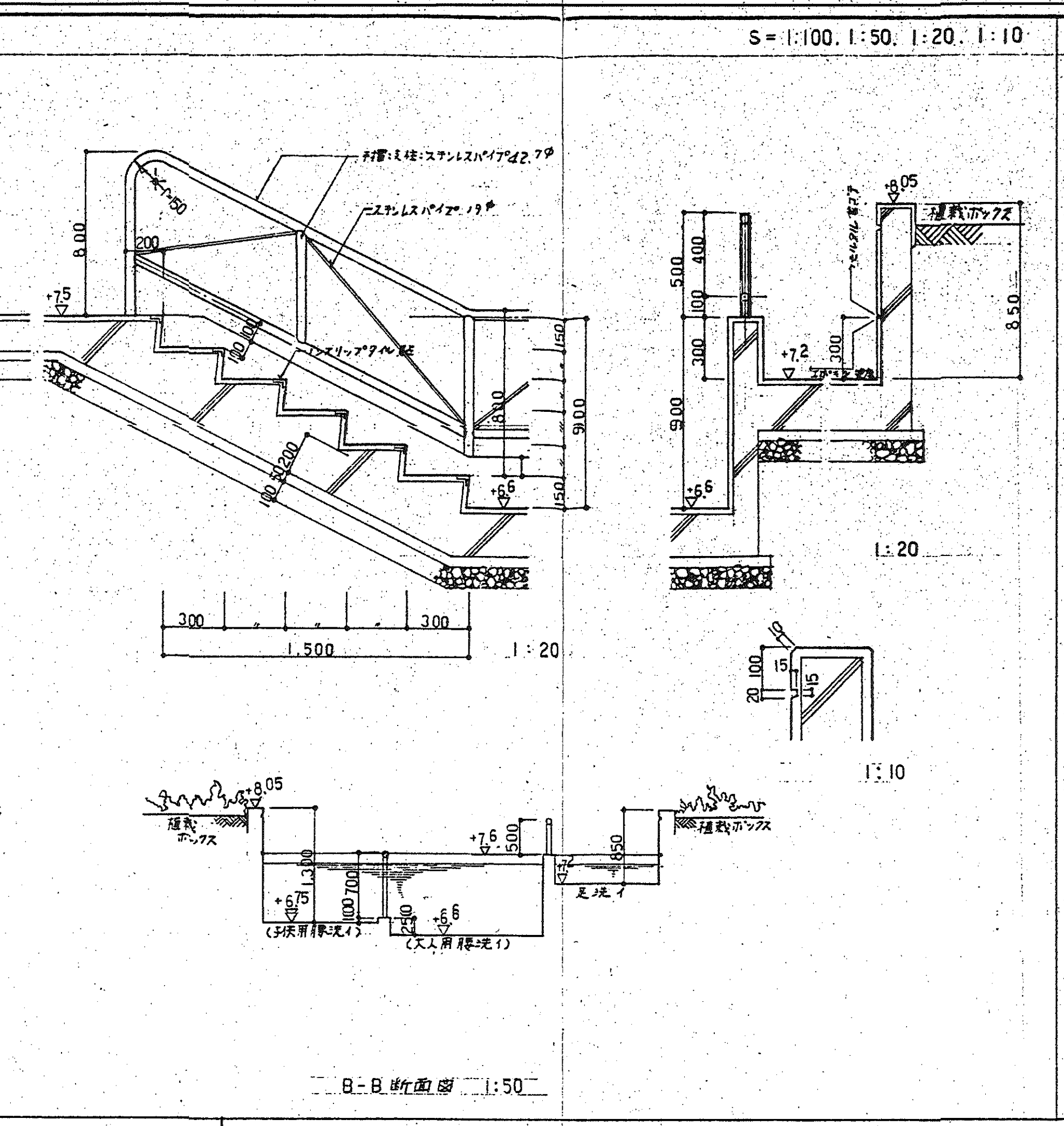
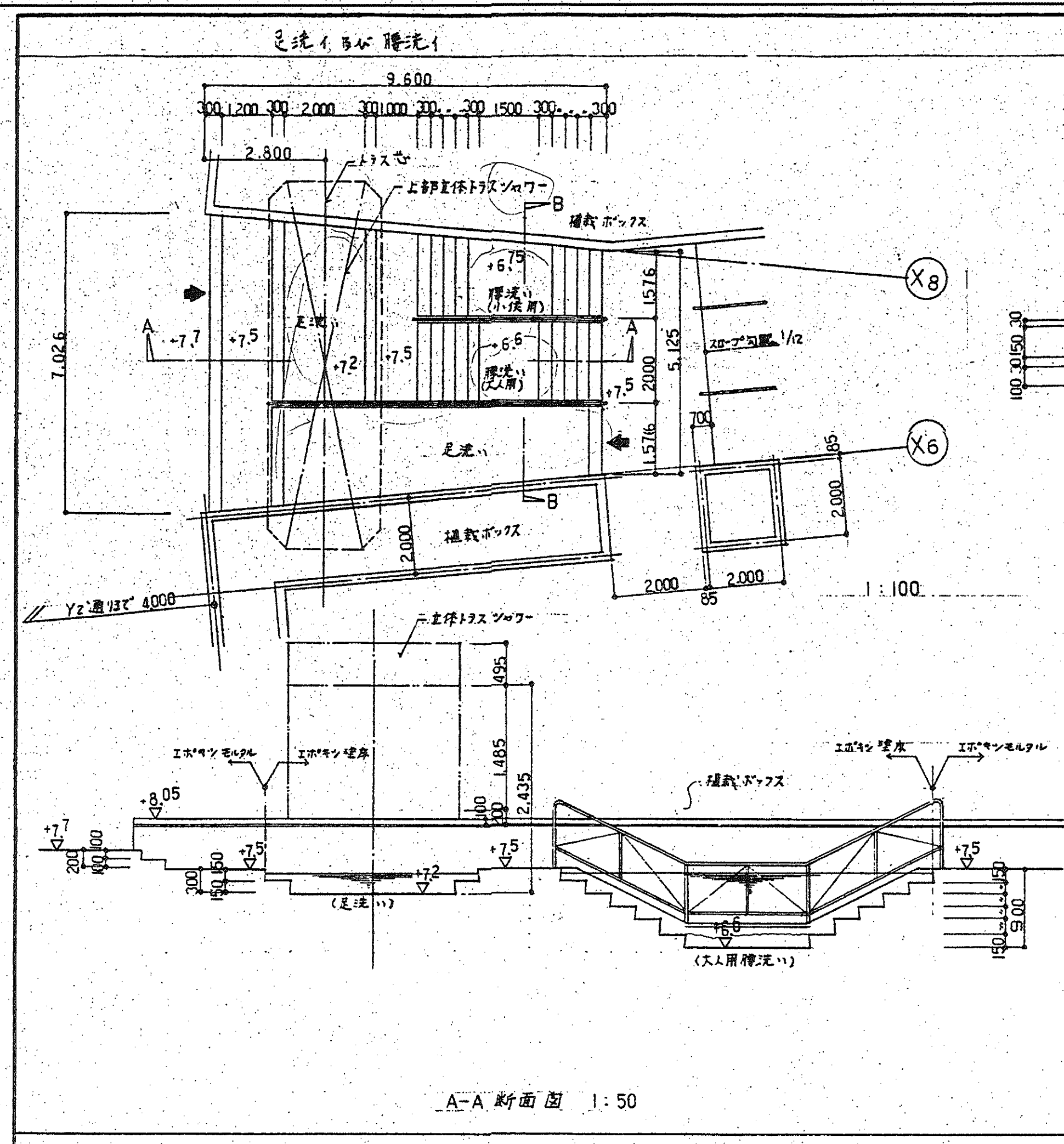
南立面図 1:100



1-1 断面図 1:30



図番	形状	使用場所・形式・大きさ・仕上	仕様・性能・ガラス・金物・音種	備考	図番	形状	使用場所・形式・大きさ・仕上	仕様・性能・ガラス・金物・音種	備考	図番	形状	使用場所・形式・大きさ・仕上	仕様・性能・ガラス・金物・音種	備考
SD 1		1.使用場所: 厨房 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 1,100 x 1,900 4.種別: 100 5.仕上: OP	0: S-3 0: MM(内面サッシ、内面サッシ) 0: PH, FB, DC 0: ST-4	560 x 560	AW 4		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 500 x 600 4.種別: 60 5.仕上: 二次電解着色	0: F.4 0: F.4 0: H DC 0: ST-4	150 x 600	WD 4		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 600 x 1,900 4.種別: 100 5.仕上: OP	0: F.4 0: H DC 0: ST-4	150 x 150
AW 1		1.使用場所: 厨房 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 2,300 x 1,000 4.種別: 60 5.仕上: 二次電解着色	0: S-3 0: CR 0: X-カー標準金物一式		WD 1		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 800 x 1,900 4.種別: 170 5.仕上: OP	0: F.4 0: H DC 0: ST-4	150 x 250	WD 5		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 2,318 x 600 4.種別: 50 5.仕上: X-カー標準金物一式	0: F.4 0: H DC 0: ST-4	
AW 2		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 1,700 x 1,000 4.種別: 60 5.仕上: 二次電解着色	0: S-3 0: CR 0: X-カー標準金物一式		WD 2		1.使用場所: カウンタースタンド 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 800 x 1,900 4.種別: 170 5.仕上: OP	0: F.4 0: H DC 0: ST-4	150 x 250	SS 1		1.使用場所: カウンタースタンド 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 3,905 x 2,600 4.種別: 70 5.仕上: アルミサッシ	0: F.4 0: H DC 0: ST-4	
AW 3		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 500 x 1,600 4.種別: 60 5.仕上: 二次電解着色	0: F.4 0: H DC 0: X-カー標準金物一式		WD 3		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 800 x 1,900 4.種別: 100 5.仕上: OP	0: F.4 0: H DC 0: ST-4	150 x 250	AG 1		1.使用場所: 倉庫 2.形式: アルミサッシ 3.大きさ: 350 x 500 4.種別: 70 5.仕上: アルミサッシ	0: F.4 0: H DC 0: ST-4	



整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai.kakkei@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事 図面名 外構部分詳細図	S-1:図示 (A-1) S-1:図示 (A-3)	図面番号 KA 065
-----------------	---	---	------------------------------	----------------	-------------------	------	------------	--------------	---	------------------------------	-------------------

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1-1 一般事項

既製コンクリート杭、独立フーチング基礎
 杭: PFC杭 300φ 350φ
 FC=210 kg/cm³ (普通コンクリート) 一般
 FC=210 kg/cm³ (高性能コンクリート)
 FC=135 kg/cm³ (普通コンクリート) 特殊コンクリート

SD30

2-1 共通事項

設計図書に規定する場合、中略記号に使うものとする。

記号	説明
○	鉄筋の表示記号
●	フックがある場合
○	鉄筋本数に差がある場合
○	変換標準表示

2-2 鉄筋の折曲げ

鉄筋の種別	折曲げの寸法	適用箇所	折曲げの寸法	鉄筋の直径(D)	内径(D)
丸	100°	柱、梁の1/4以上上の主筋及び1/6以上の鉄筋	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	135°	フープ スターラップ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	135°	1/4以上上のフープ スターラップ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	90°	上記以外の1/4以上の鉄筋	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	90°	スターラップ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	90°	スターラップ フープ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	90°	スターラップ フープ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	90°	スターラップ フープ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	90°	スターラップ フープ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上
方	90°	スターラップ フープ	○	SD 30	3φ以上
			●	SD 30	4φ以上

2-3 鉄筋の継手及び定着長さ

鉄筋の種別	フック	断力	コンクリート強度 (kg/cm ²)		
			FC 100	FC 210	FC 280
丸	○	5φ	40d	35d	30d
			5φ (30d)	35φ (30d)	30φ (30d)
方	○	5φ	40d	40d	35d
			5φ (30d)	35φ (30d)	30φ (30d)
方	○	5φ	40d	40d	40d
			5φ (30d)	35φ (30d)	30φ (30d)
方	○	5φ	40d	40d	40d
			5φ (30d)	35φ (30d)	30φ (30d)

○ ()内は標準コンクリート使用の場合
 ● は断力の大きい引張鉄筋の場合
 ○ は引張鉄筋の断面積がその部分への定着と引張鉄筋 (または断力の小さい引張鉄筋) の場合
 ● 鉄筋径が異なる場合は、小さい方による。

2-4 鉄筋の最小継手距離

継手部分の種別	コンクリートの種類	
	普通コンクリート	高性能コンクリート
上に接しない部分	鉄筋径	30
	鉄筋径	30
上に接する部分	鉄筋径	40
	鉄筋径	30
断面など異なる場合	鉄筋径	30
	鉄筋径	30

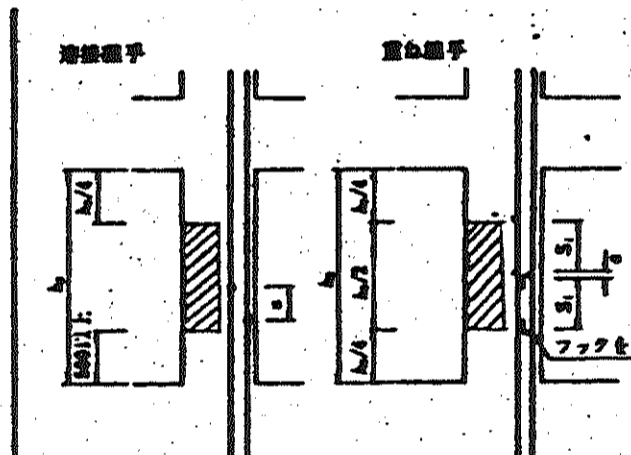
2-5 鉄筋の曲げ

● 鉄筋の曲げの向きは原則として下記の寸法以上とする。
 丸筋 4φ以上
 方筋 4φ以上
 ● 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。

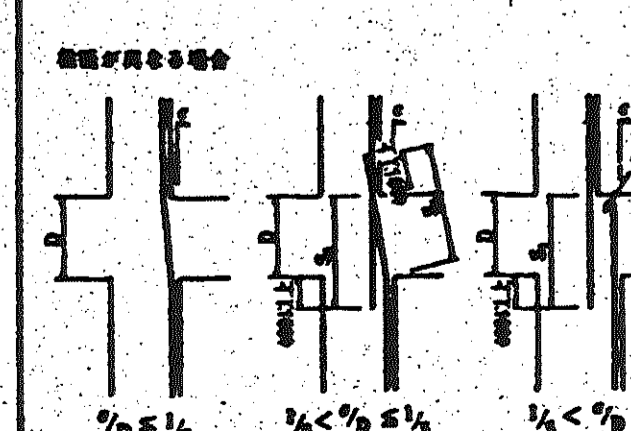
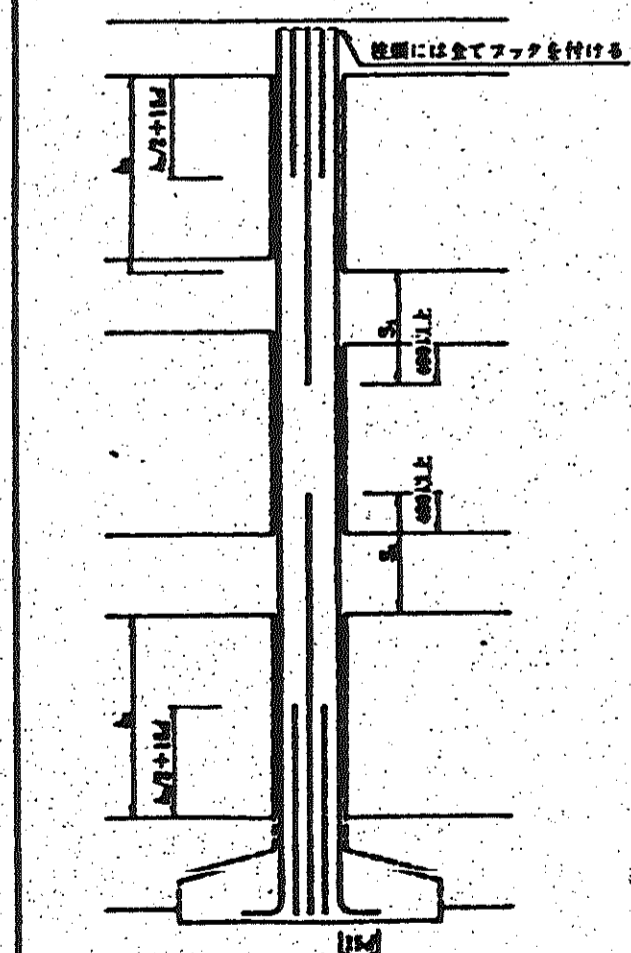
2-6 鉄筋のフック

● 丸筋の先端部には必ずフックを付ける。
 ● 方筋の先端部には下記の条件にフックを付ける。
 1) 柱主筋の鉄筋、梁上端主筋鉄筋全てとそれに等する箇所
 2) 柱主筋の鉄筋 (地中柱を除く) 及び、片側主筋上端部の先端
 3) 梁、ビア部主筋の先端部
 4) 梁次の主筋

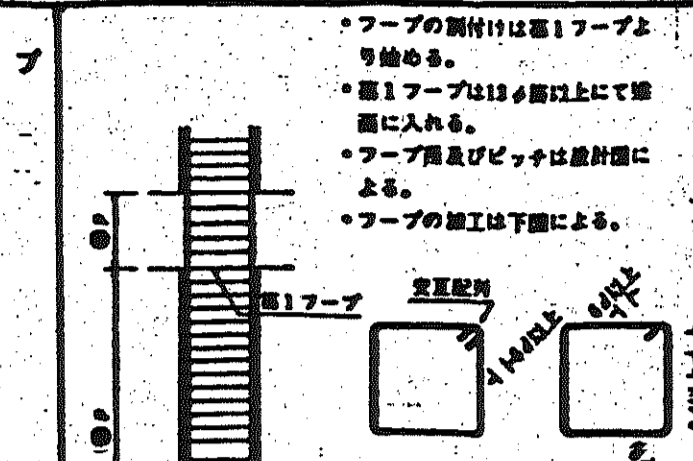
3-1 主筋の継手



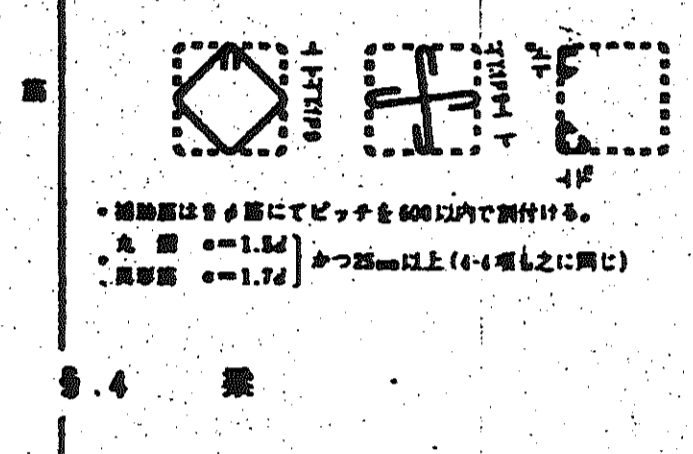
3-2 主筋の定着



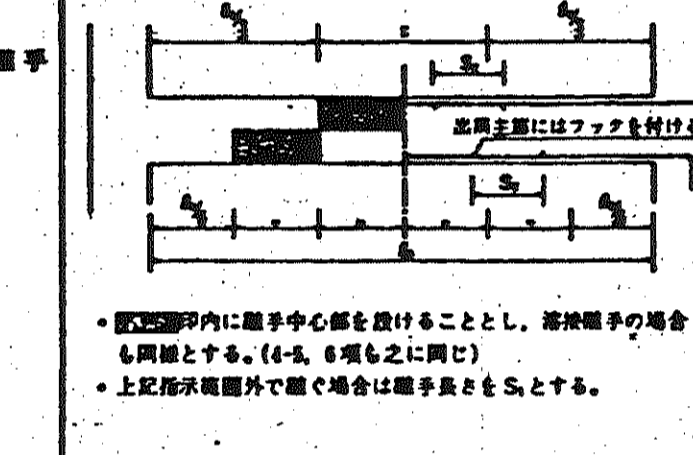
3-3 フープ



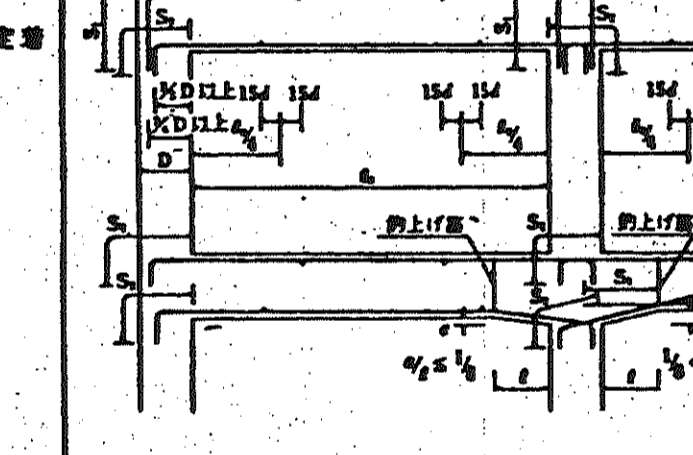
3-4 継手



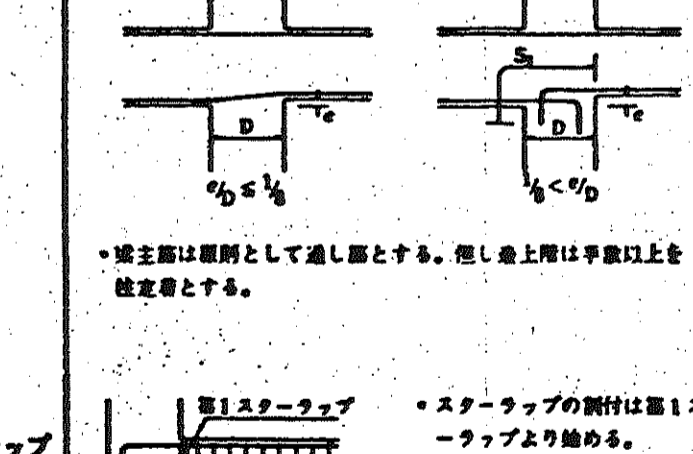
3-5 継手



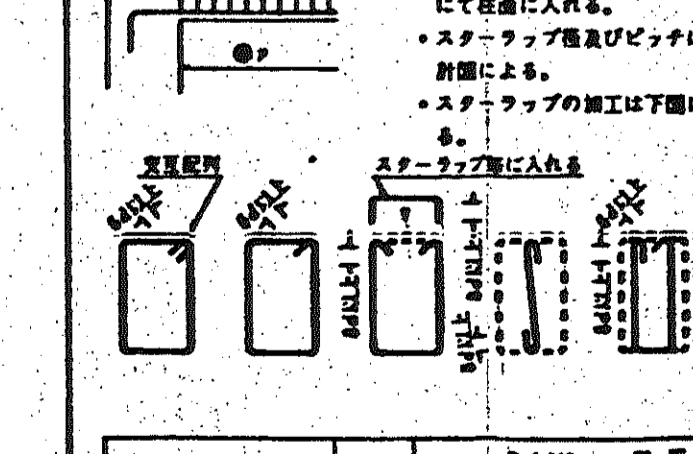
3-6 継手



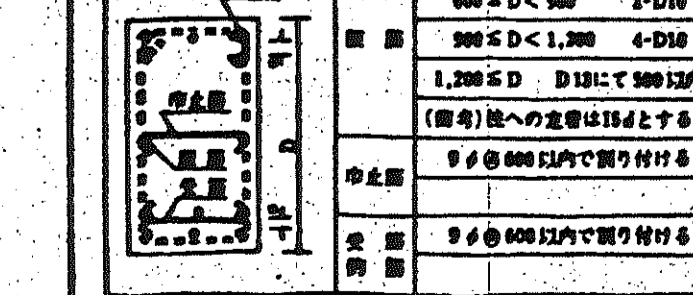
3-7 継手



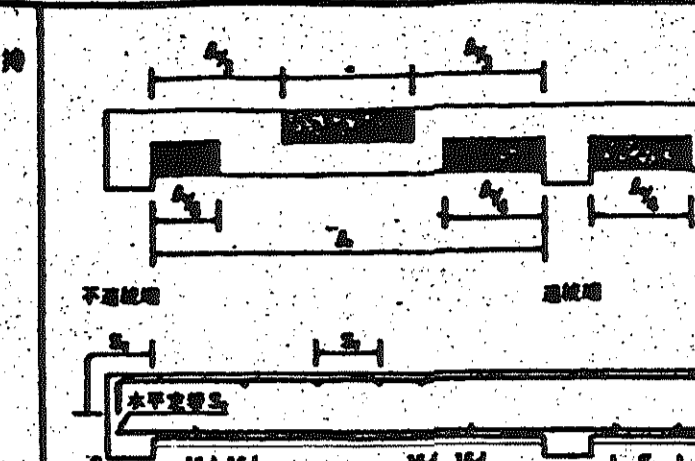
3-8 継手



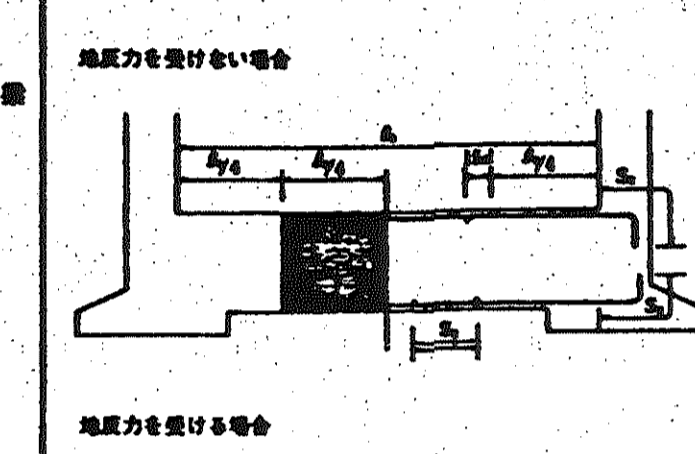
3-9 継手



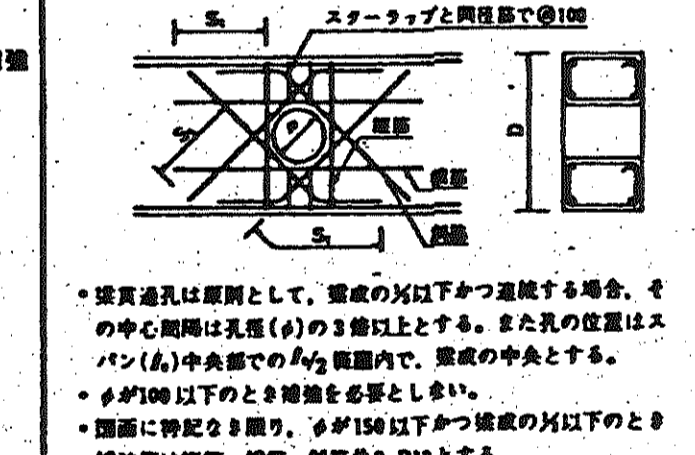
4-1 小梁及び片側



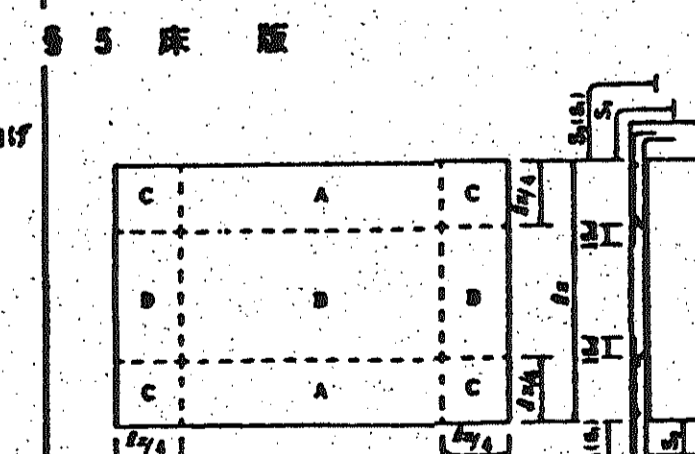
4-2 地中



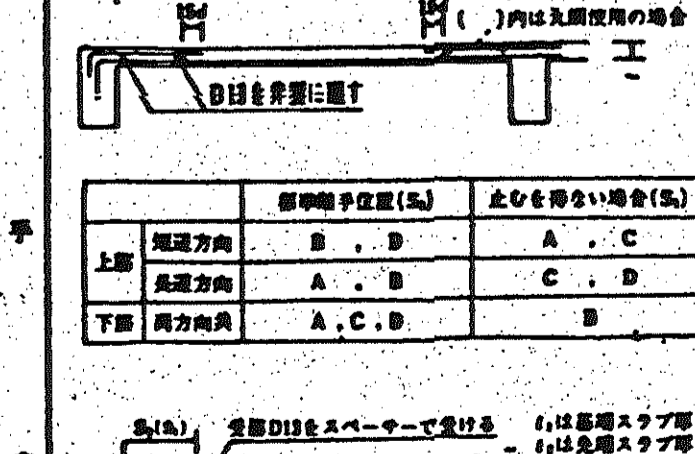
4-3 梁の貫通



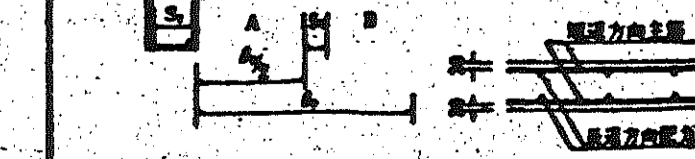
4-4 鉄筋の折曲げ



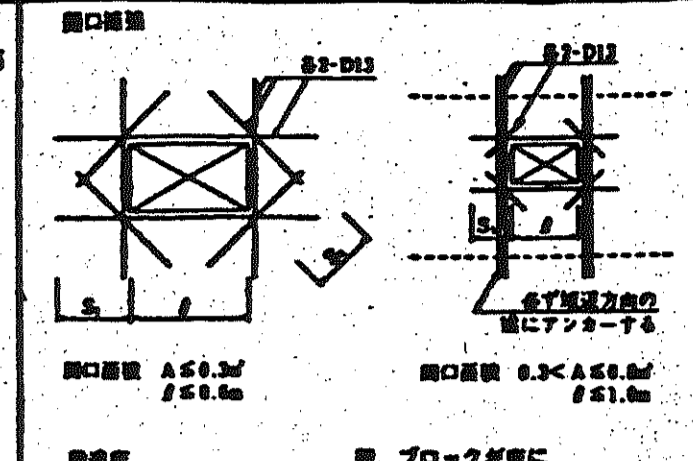
4-5 鉄筋の折曲げ



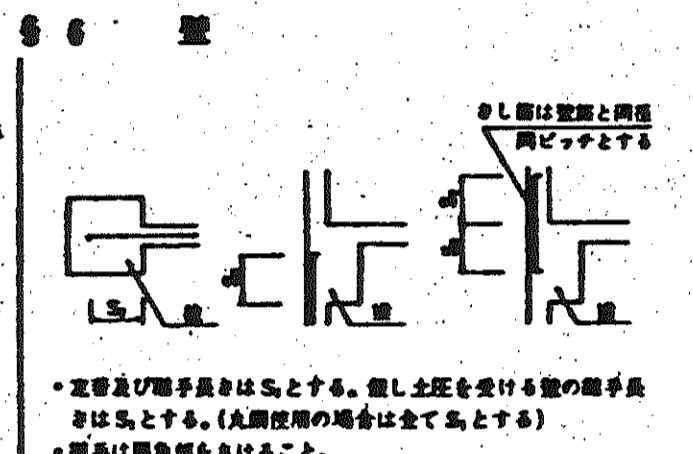
4-6 鉄筋の折曲げ



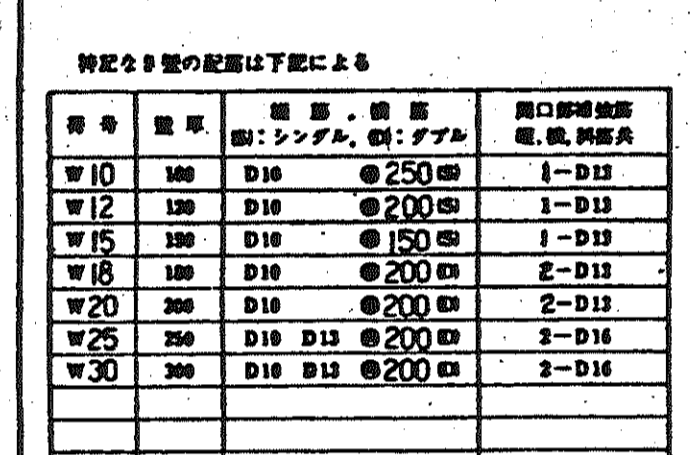
5-1 鉄筋



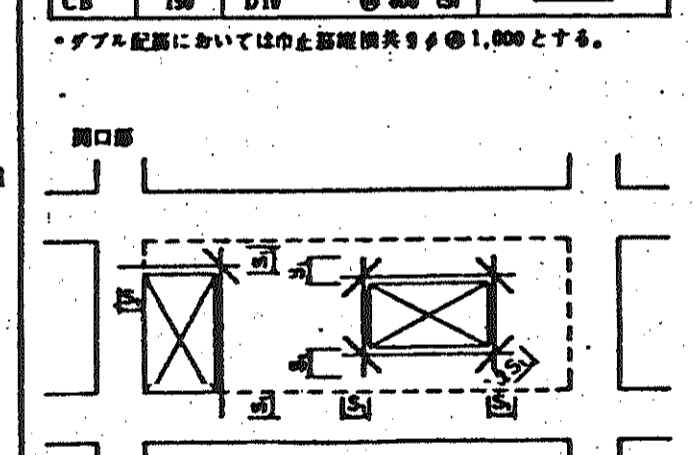
5-2 鉄筋



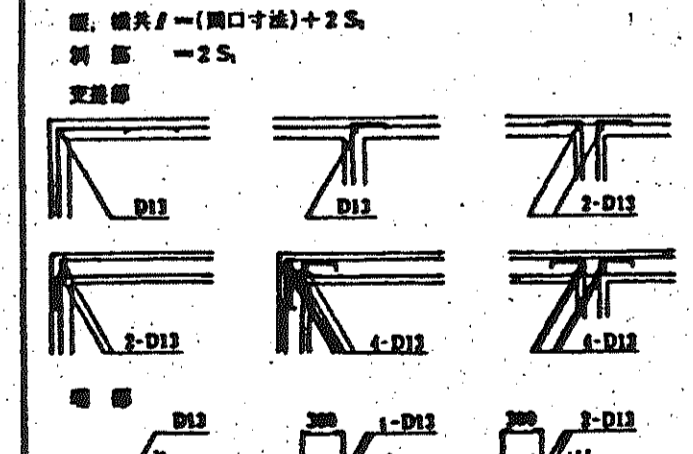
5-3 鉄筋



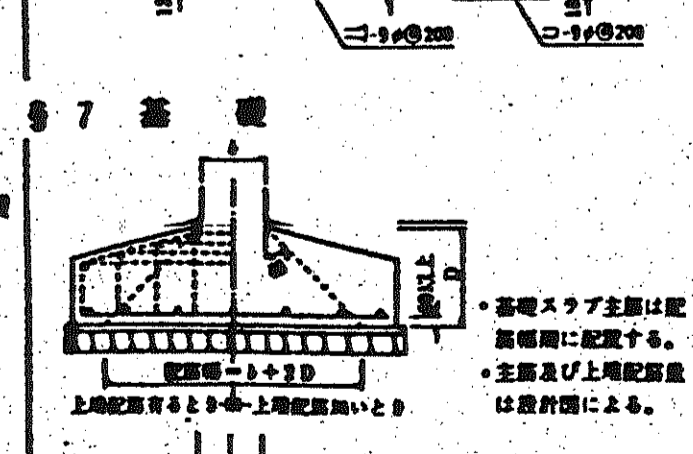
5-4 鉄筋



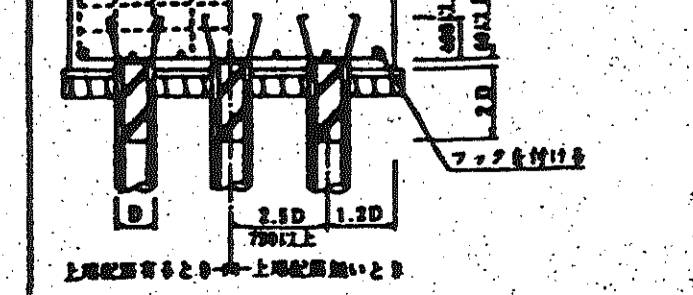
5-5 鉄筋



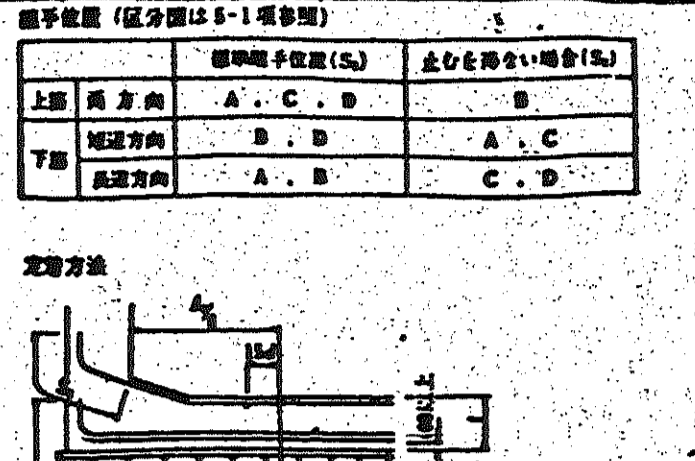
5-6 鉄筋



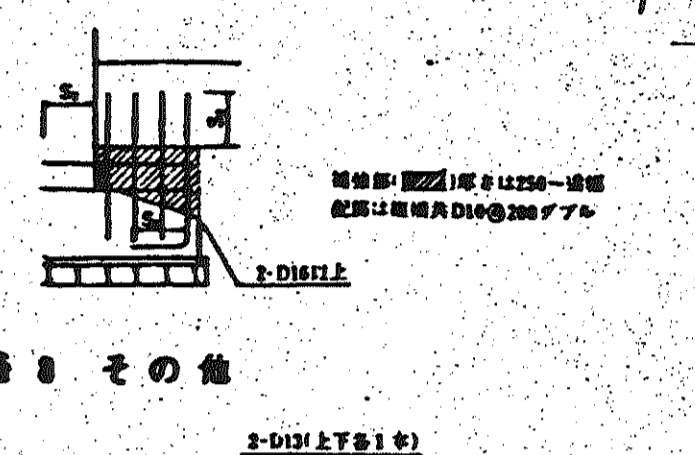
5-7 鉄筋



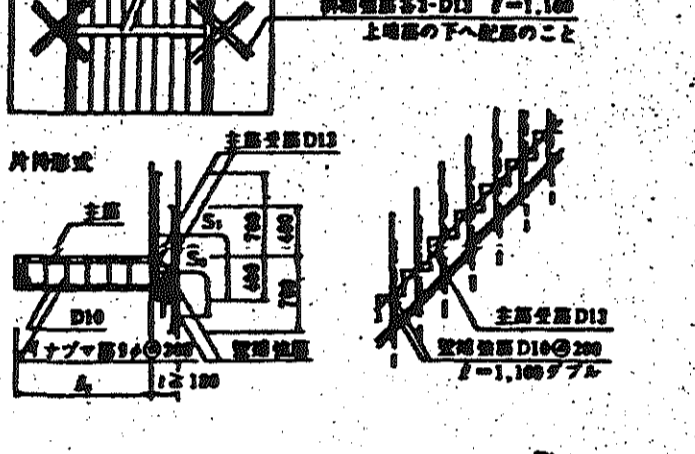
6-1 鉄筋



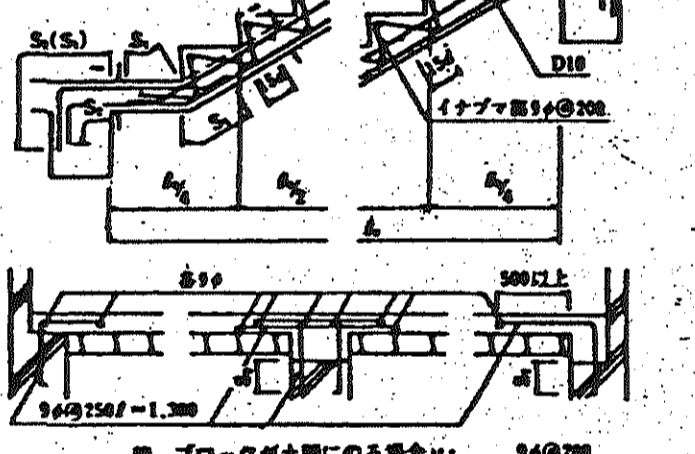
6-2 鉄筋



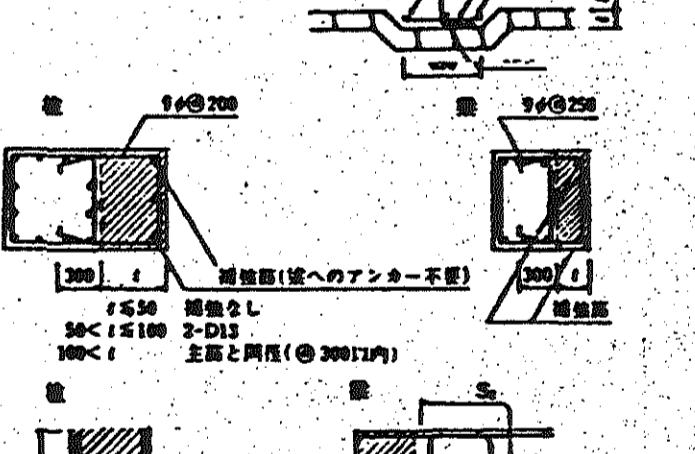
6-3 鉄筋



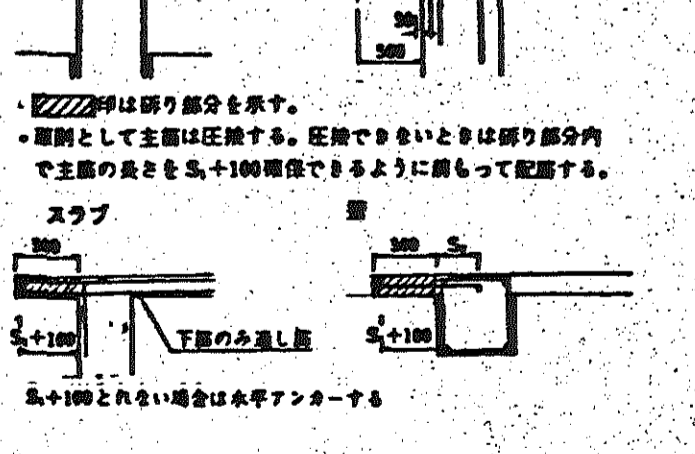
6-4 鉄筋



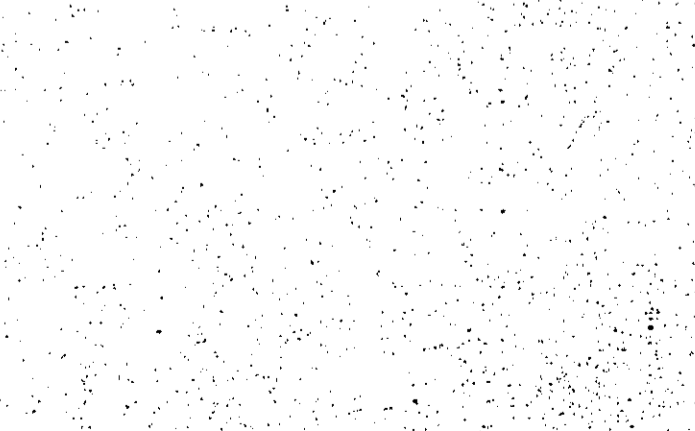
6-5 鉄筋



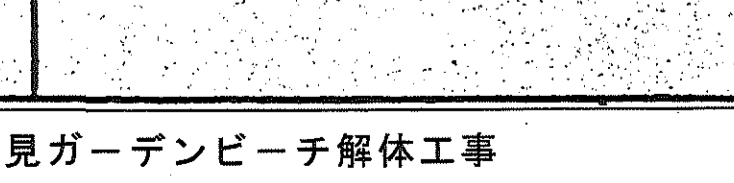
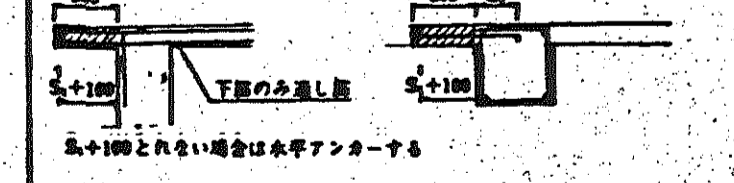
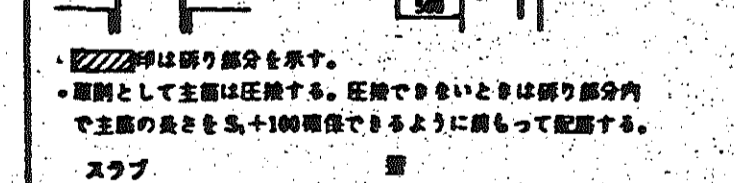
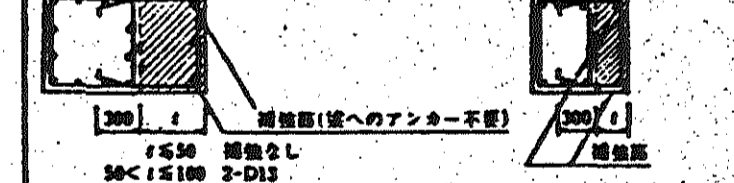
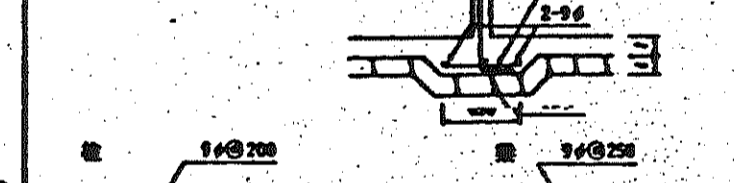
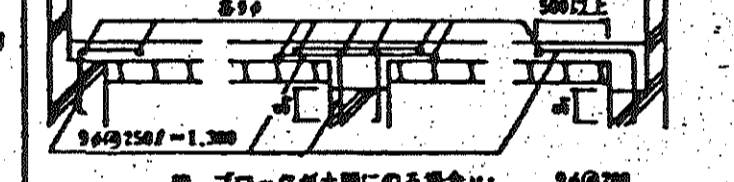
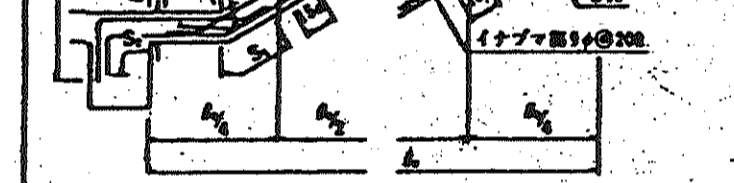
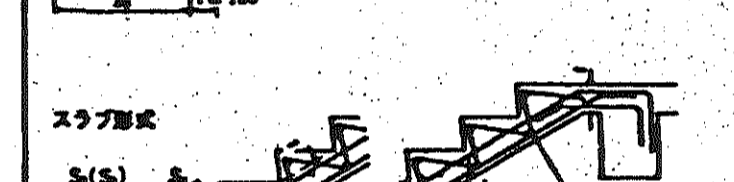
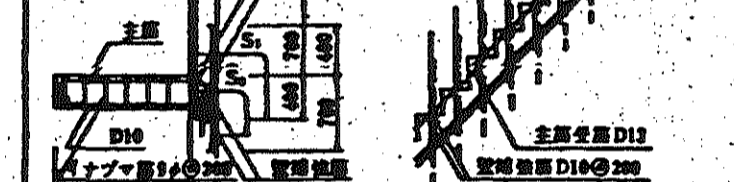
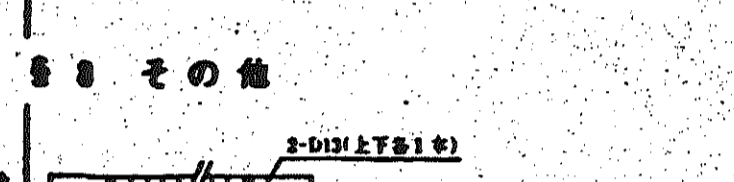
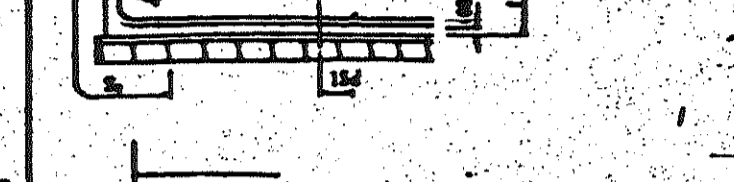
6-6 鉄筋



6-7 鉄筋



鉄筋の種別	鉄筋の表示記号	
	上端	下端
縦筋	A, C, D	B
横筋	B, D	A, C
斜筋	A, B	C, D



鉄骨構造工作標準図

§ 1 一般事項

1-1 使用材料

金欠骨	SS41, SSC41, STK41
高力ボルト	F10T
中ボルト	SS41

1-2 その他

§ 2 共通事項

2-1 略号

A	アンカーボルト	BH	縦立てH形鋼
B	ベースプレート	CH	チューンナッププレート
C	フランジプレート	FB	フラットバー
F	フランジプレート	G	ガセットプレート
HTB	高力ボルト	S	スパイスプレート
T	テンションプレート	W	ウェブプレート

§ 3 ボルト結合

HTB	締め付け長さに満たさず長き
M16	30以上
M20	35以上
M22	40以上
M24	45以上

HTBのピンチ

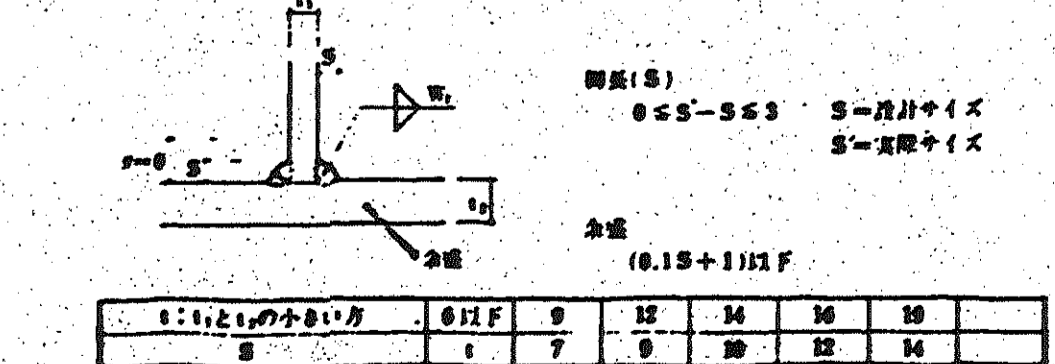
3-2 HTBのピンチ

呼び径	M16	M20	M22	M24
孔径	17.0	21.5	23.5	25.5
ピンチ	2.0	3.0	4.0	5.0
はしり	0.5	0.8	1.0	1.2

3-3 鋼材のゲージ

規格	寸法	寸法	寸法	寸法	寸法
A	B	C	D	E	F
100	100	100	100	100	100
150	150	150	150	150	150
200	200	200	200	200	200

§ 4 溶接結合

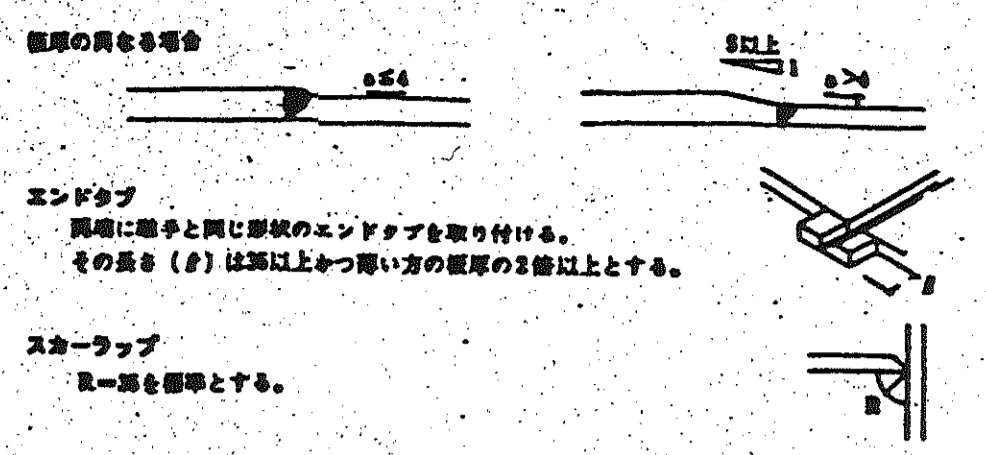


4-2 溶接せき

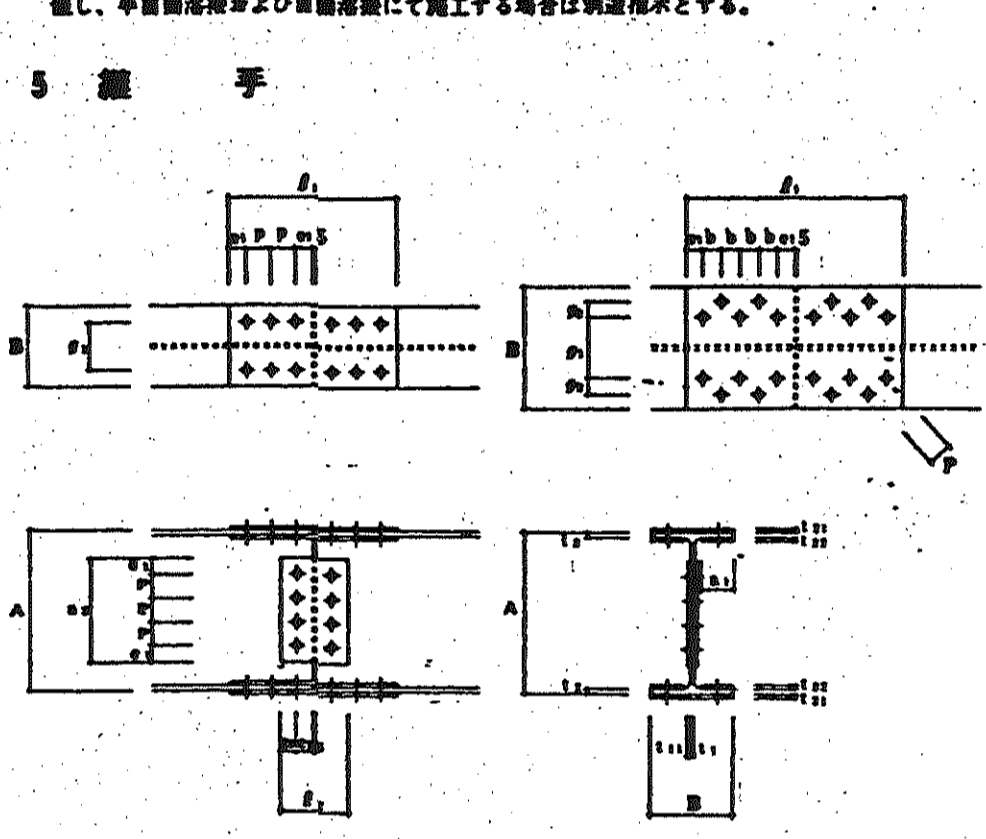
4-3 鋼板形状

5-1 継手リスト

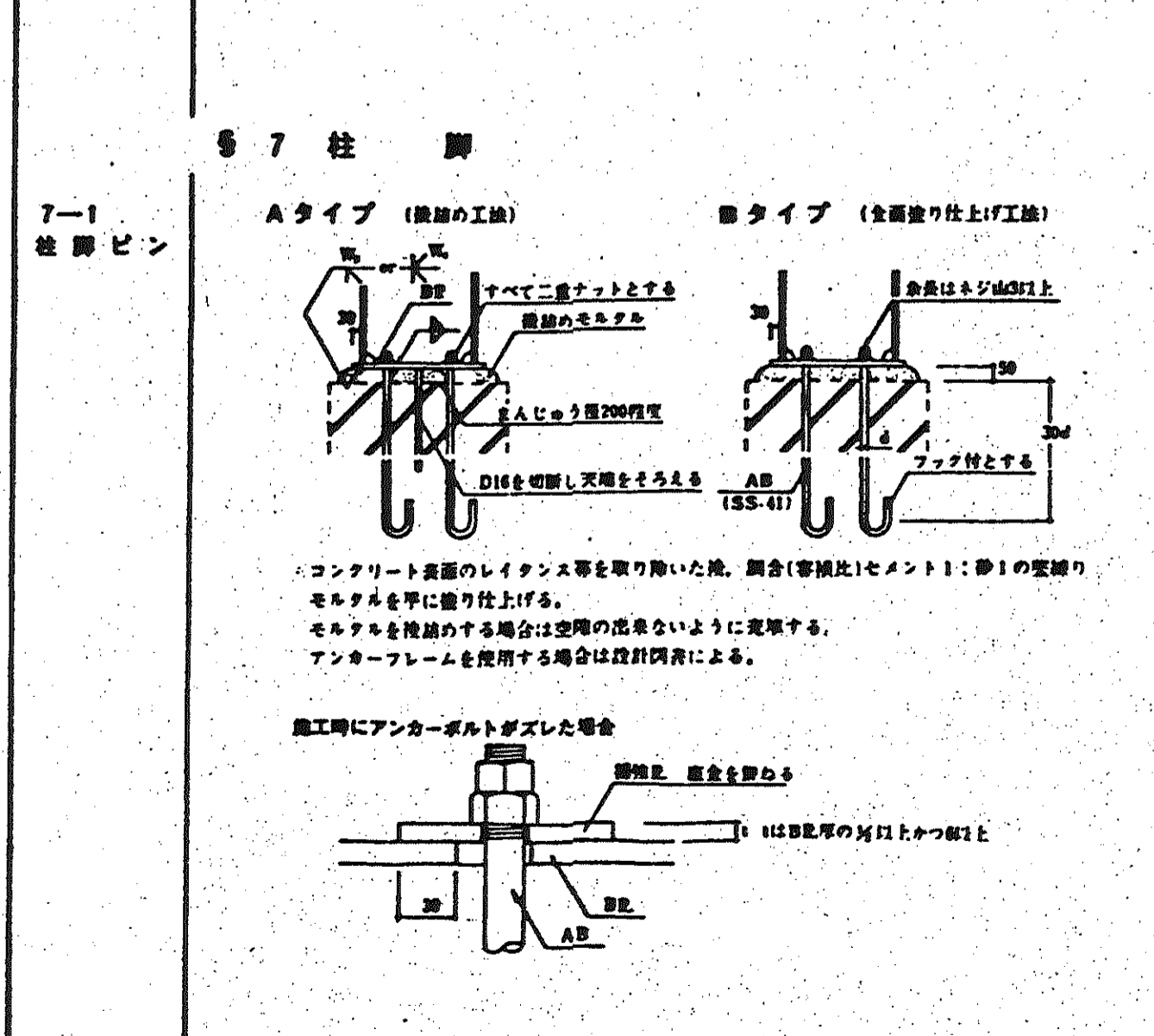
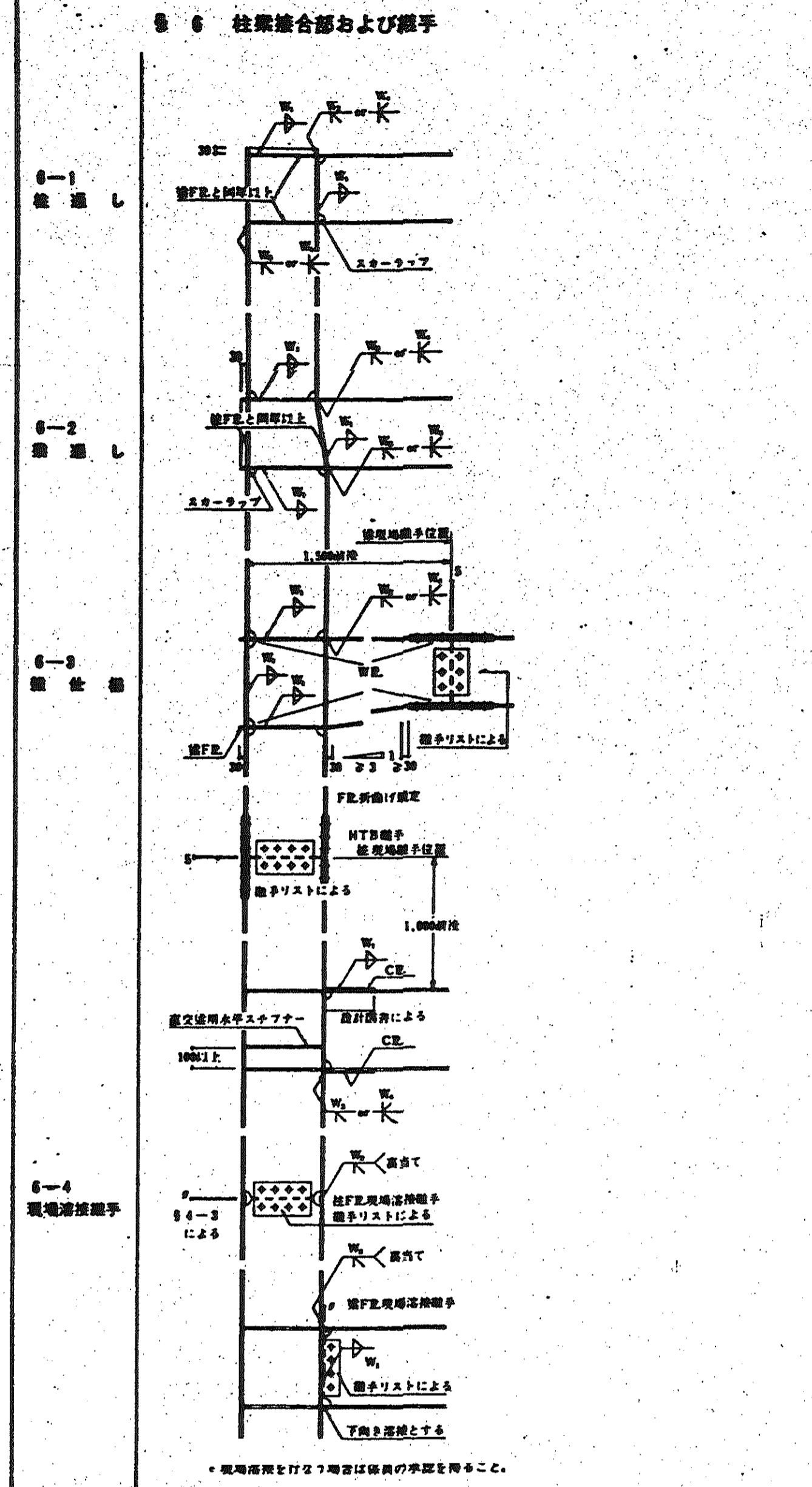
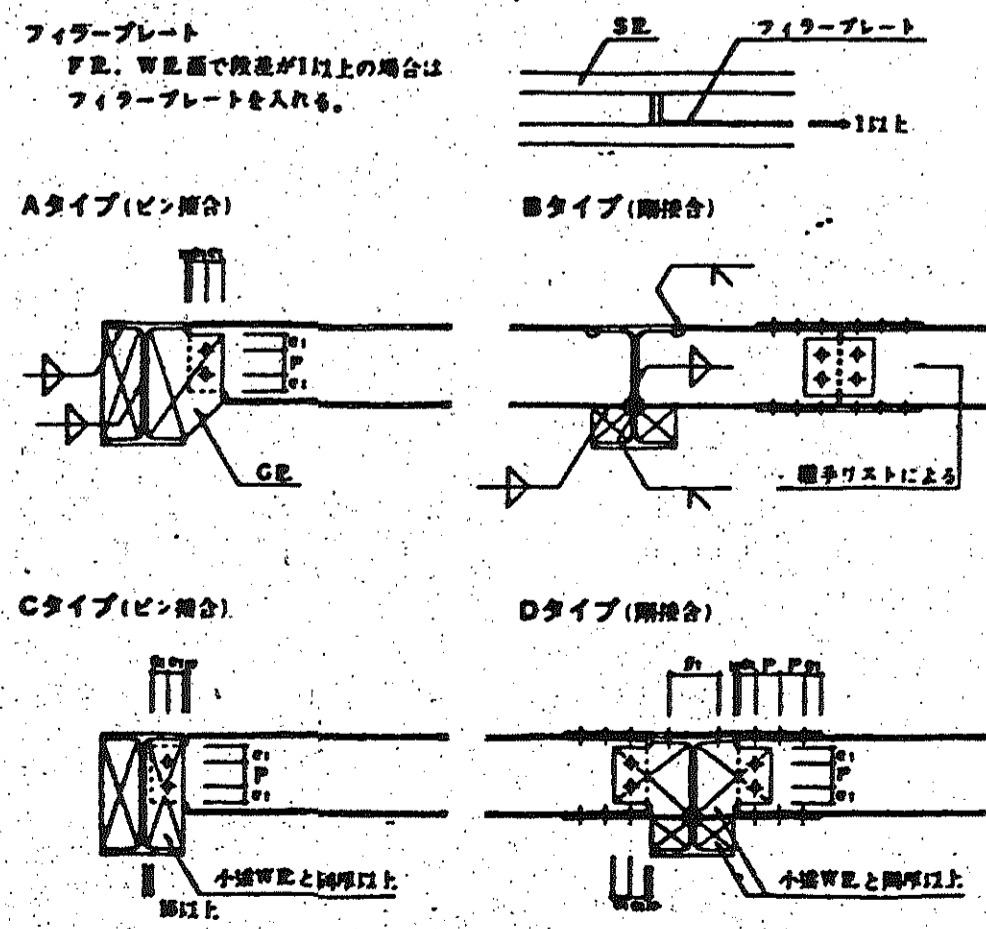
9-2 仕口リスト



記号	形状	適用範囲	寸法
W ₁ (MC-BL-1)		0 < S ≤ 20	F 0.25
W ₂ (MC-BL-2)		25 < S ≤ 30	F 0.25
W ₃ (MC-BK-3)		0 < S ≤ 10	F 0.25
W ₄ (MC-BL-B1)		1 < S ≤ 6	F 0.25



寸法	フランジ		ウェブ	
	外側寸法	内側寸法	高さ	厚さ
100	100	100	100	100
150	150	150	150	150
200	200	200	200	200

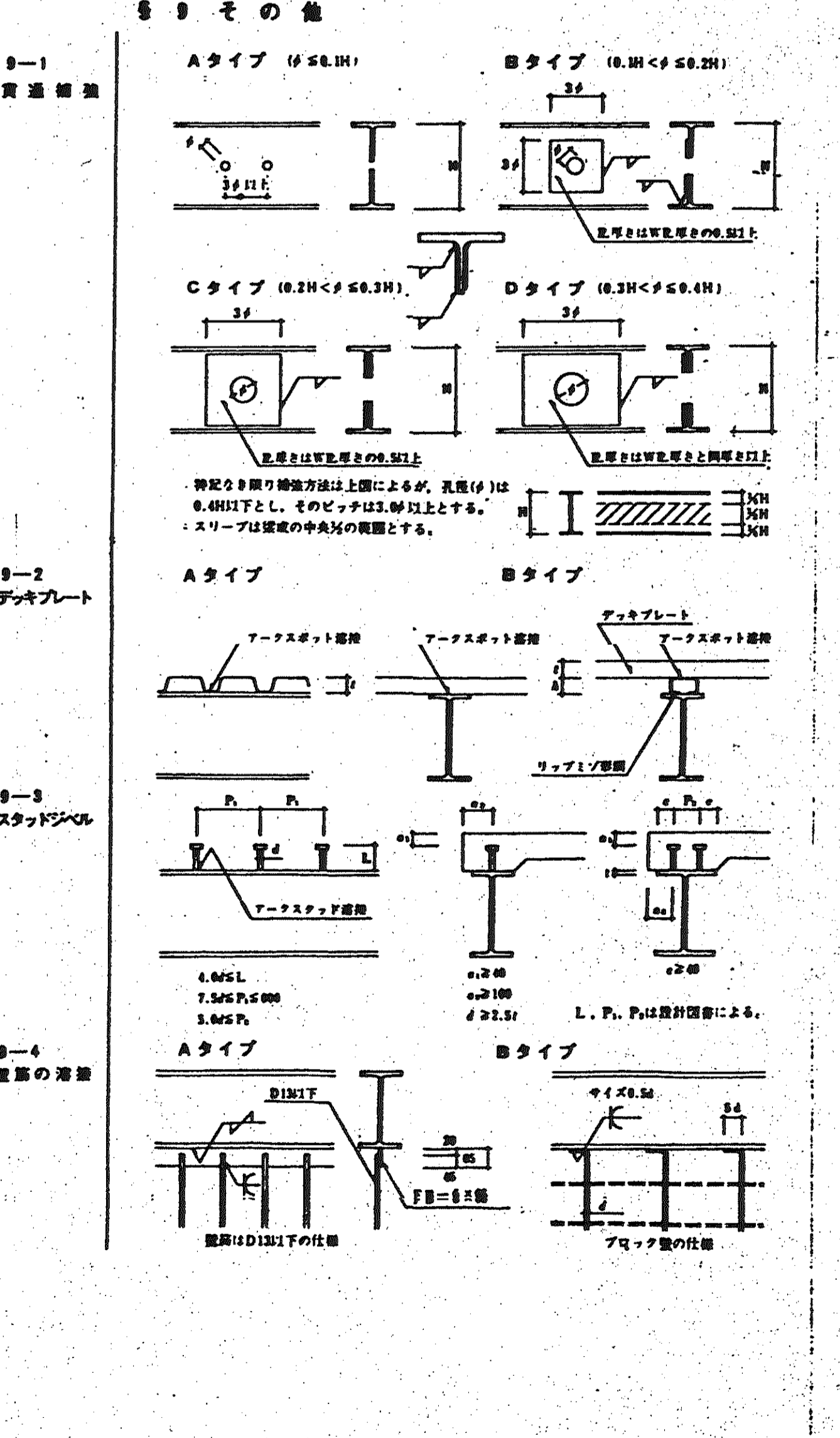


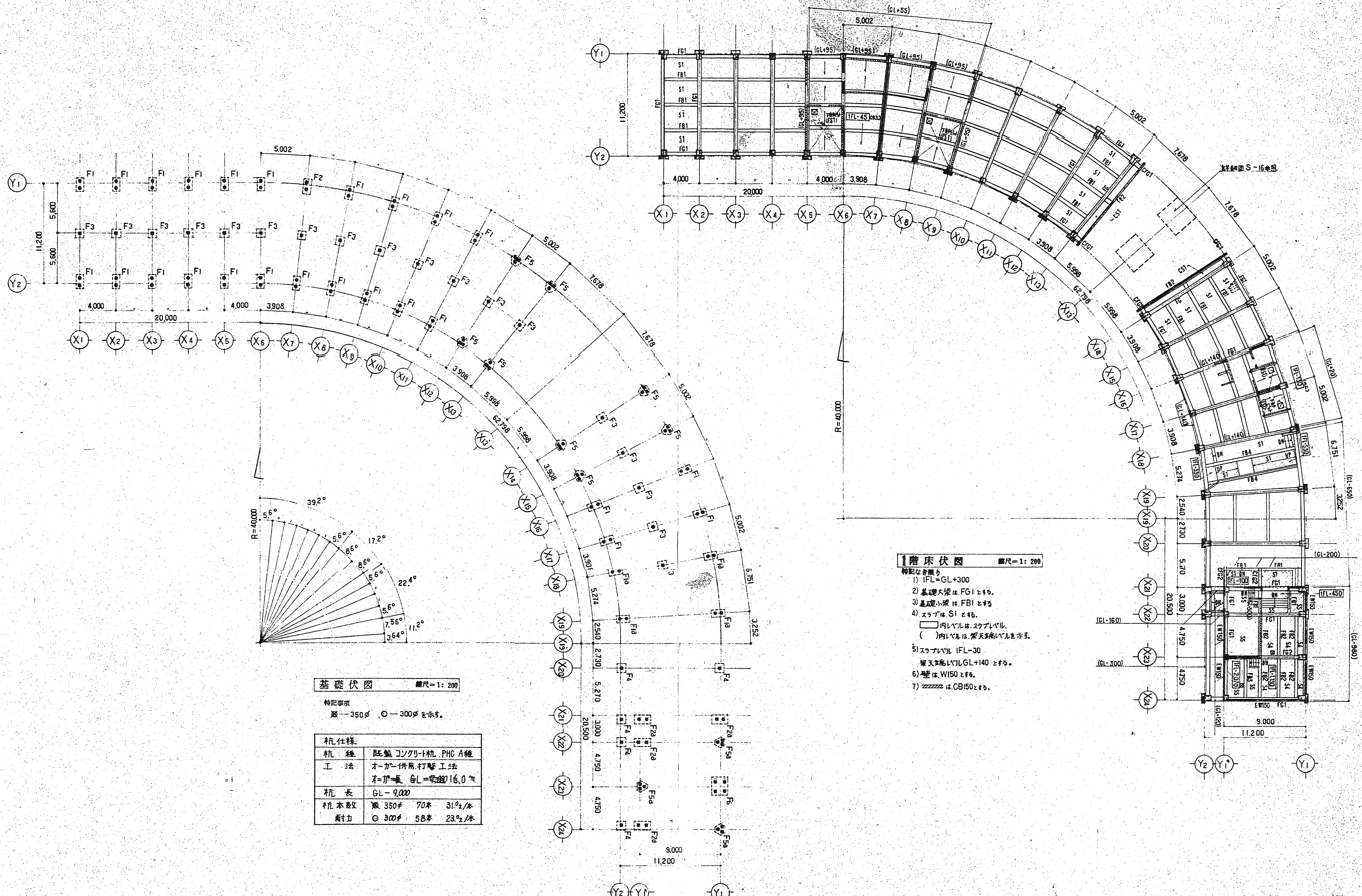
§ 8 プレース

タイプ	部材	寸法	HTB	部材	HTB
A	M12	F8-6x50x135	1	6	40
A	M16	F8-6x50x145	1	6	50
A	M20	F8-6x50x155	1	6	60
B	M12	F8-6x75x230	2	6	70
B	M16	F8-6x75x240	2	6	80
B	M20	F8-6x75x250	2	6	90

§ 9 その他

タイプ	部材	寸法	HTB	部材	HTB
A	M16	F8-6x125	4	6	50
A	M20	F8-6x125	4	6	60
A	M24	F8-6x125	4	6	70
B	M16	F8-12x125	2	6	50
B	M20	F8-12x125	2	6	60
B	M24	F8-12x125	2	6	70





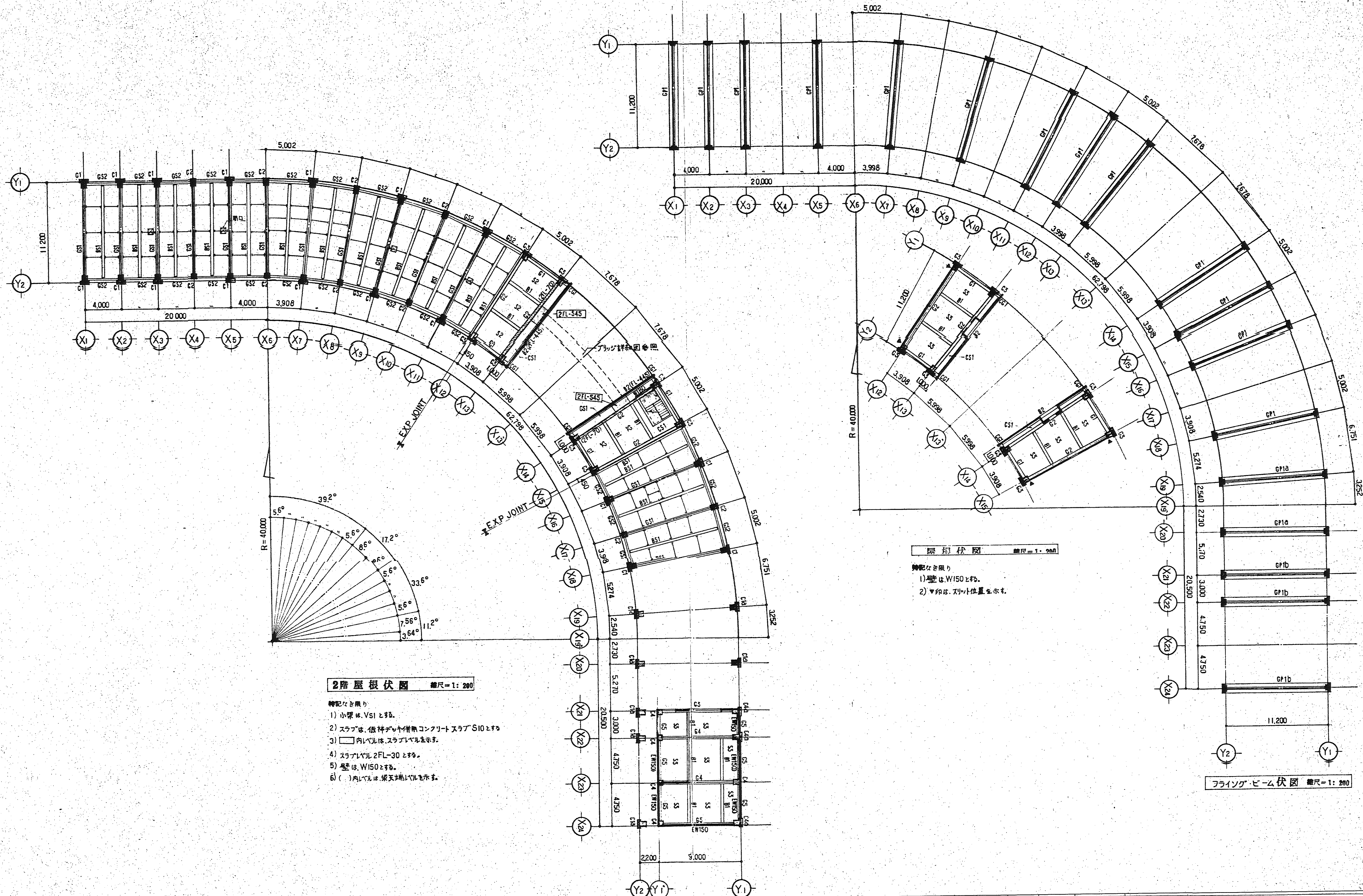
基礎伏図 縮尺=1:200

特記事項
 〇—350φ, ◎—300φを示す。

杭仕様	
杭種	既製コンクリート杭、PHC A種
工法	オーガー併用打撃工法
杭長	GL-9,000 <small>オーガー長 GL=9,000 16.0%</small>
杭本数	φ350φ 70本 31.0%/本
耐打力	◎ 300φ 58本 23.0%/本

1階床伏図 縮尺=1:200

- 特記なき限り
- IFL=GL+300
 - 基礎大梁はFBIとする。
 - 基礎小梁はFBIとする。
 - スラブはS1とする。
 - 内レベルはスラブレベル。
 ()内レベルは梁天端レベルを示す。
 - スラブレベル IFL-30
 梁天端レベルGL+140とする。
 - 壁はW150とする。
 - //////はCBI50とする。



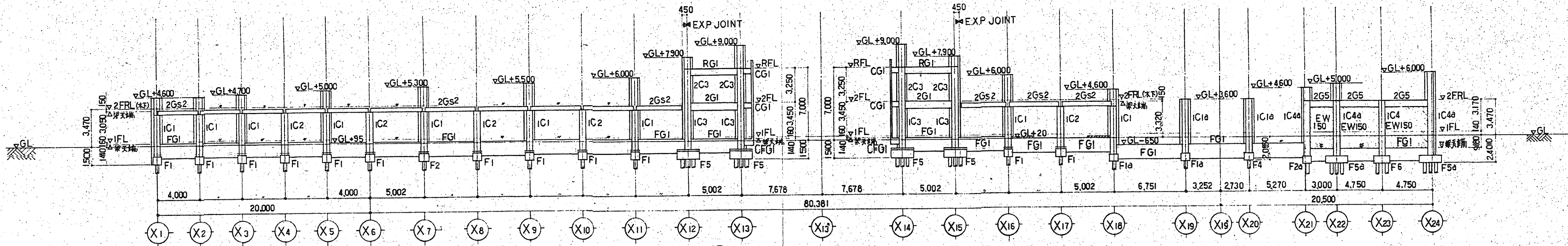
2階屋根伏図 縮尺=1:200

- 特記なき限り
- 1) 小梁は、VSIとする。
 - 2) スラブは、低伸デッキ併用コンクリートスラブS10とする。
 - 3) □内レベルは、スラブレベルを示す。
 - 4) スラブラール2FL-30とする。
 - 5) 窓は、W150とする。
 - 6) ()内レベルは、梁天端レベルを示す。

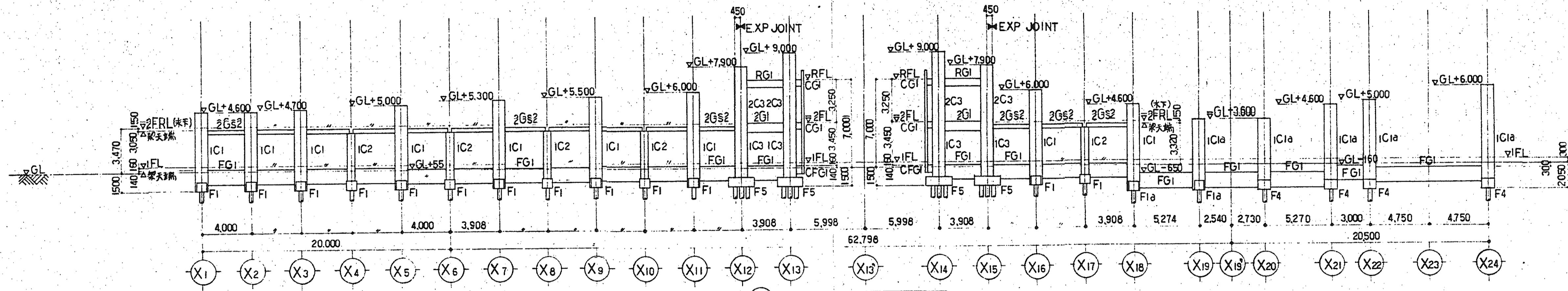
原形伏図 縮尺=1:200

- 特記なき限り
- 1) 窓はW150とする。
 - 2) ▼印は、スリット位置を示す。

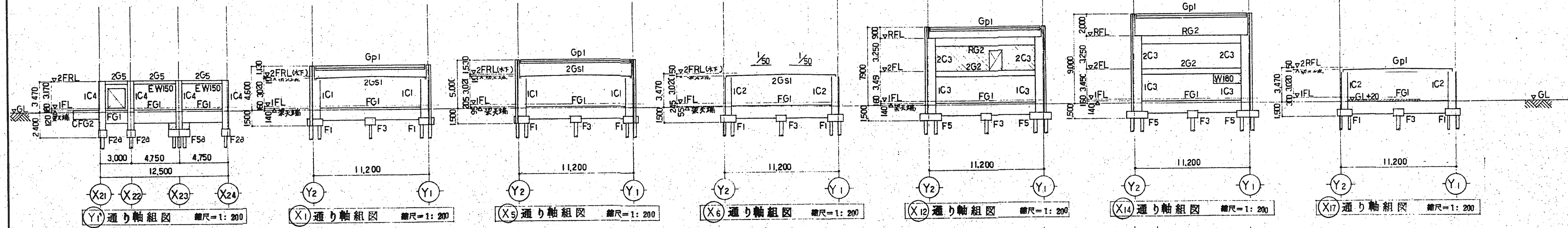
フライング・ビーム伏図 縮尺=1:200



Y1 通り軸組図 縮尺=1:200



Y2 通り軸組図 縮尺=1:200



Y1 通り軸組図 縮尺=1:200

X1 通り軸組図 縮尺=1:200

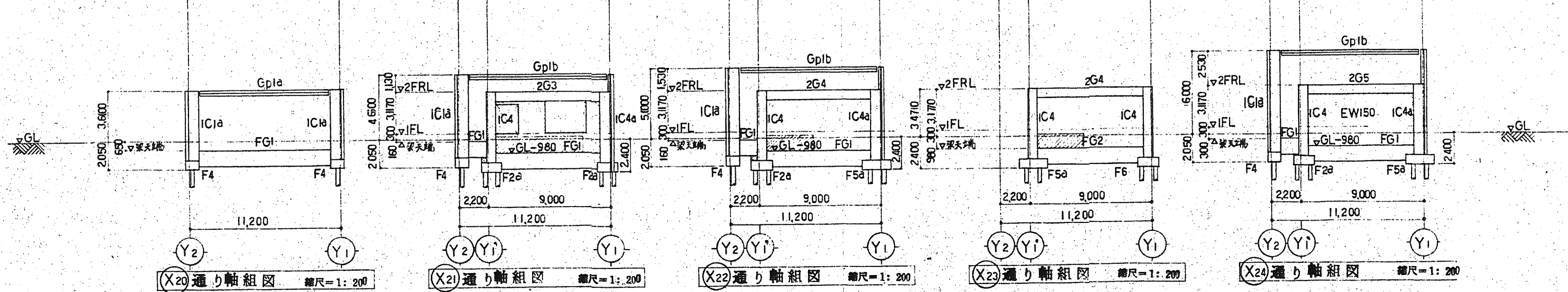
X5 通り軸組図 縮尺=1:200

X6 通り軸組図 縮尺=1:200

X12 通り軸組図 縮尺=1:200

X14 通り軸組図 縮尺=1:200

X17 通り軸組図 縮尺=1:200



X20 通り軸組図 縮尺=1:200

X21 通り軸組図 縮尺=1:200

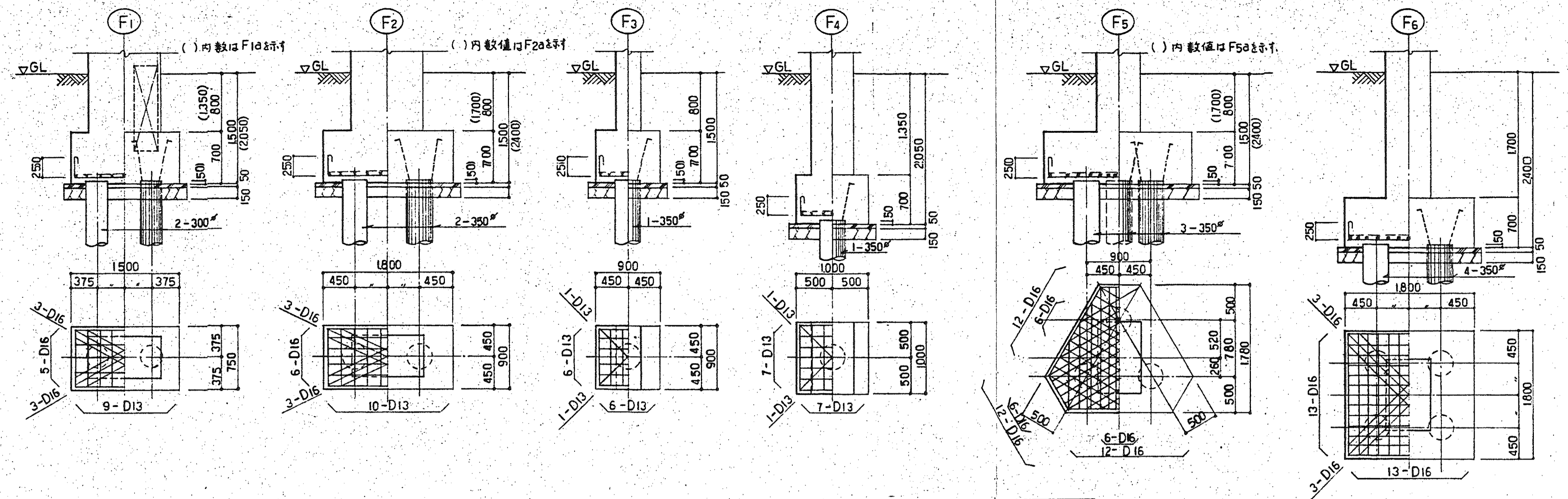
X22 通り軸組図 縮尺=1:200

X23 通り軸組図 縮尺=1:200

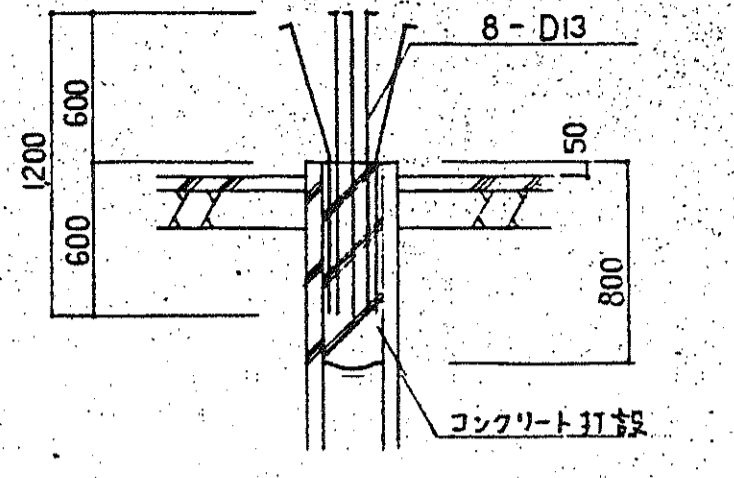
X24 通り軸組図 縮尺=1:200

- 特記なき限り
- IFL=GL+300とする。
 - は、フカシ部分を示す。
 - GL=T.P+75
 - 壁は、W150とする。
 - は、RC壁を示す。
 - PHC 11911 (L-16, m. 400) (セパシ工法)

基礎リスト 縮尺=1:40



杭頭処理

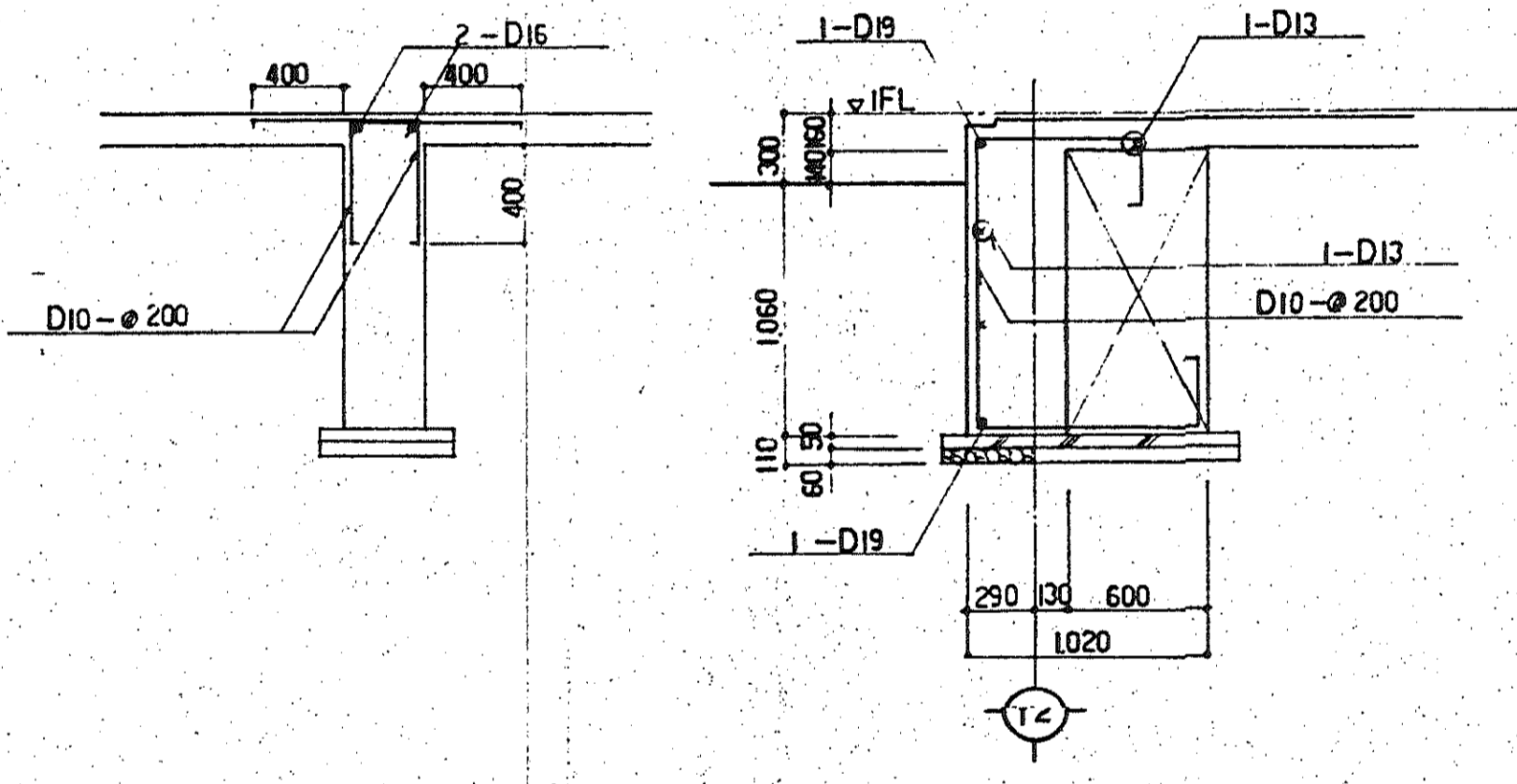


基礎梁リスト 縮尺=1:30

特記なき限り 巾止筋 D10-φ600

符号	FG1		FG2		CFG1	CFG2	
	全断面		端部	中央	全断面	左端部	右端部
位置	全断面		端部	中央	全断面	左端部	右端部
断面							
B x D	350 x 1200		550 x 1200		250 x 500	300 x 700	
上端筋	4 - D25		5 - D25	5 - D25	3 - D19	3 - D19	5 - D19
下端筋	4 - D25		5 - D25	12 - D25	3 - D19	3 - D19	3 - D19
スターラップ	D10-φ200		D13-φ100		D10-φ100	D13-φ200	
配筋	6-D10		6-D13			2-D10	

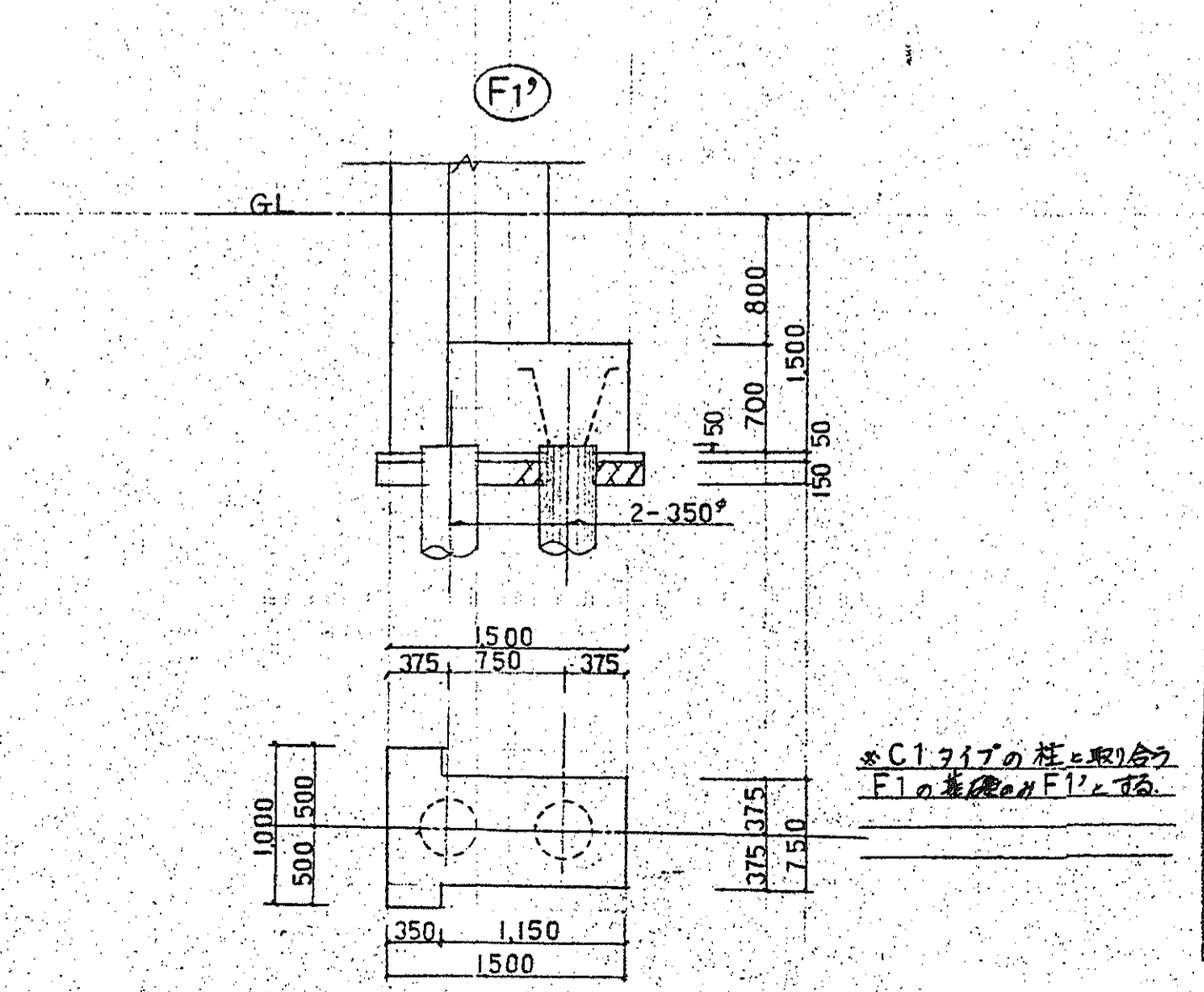
造り打筋配筋要領図 縮尺=1:30



基礎小梁リスト 縮尺=1:30

特記なき限り 巾止筋 D10-φ600

符号	FB1	FB2		FB3	FB4	
	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央
位置	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央
断面						
B x D	300 x 500	350 x 650		350 x 350	350 x 600	
上端筋	3 - D19	4 - D22	4 - D22	4 - D19	4 - D22	4 - D22
下端筋	3 - D19	4 - D22	6 - D22	4 - D19	4 - D22	8 - D22
スターラップ	D10-φ200	D13-φ150		D10-φ200	D10-φ200	
配筋		2 - D10			2 - D10	



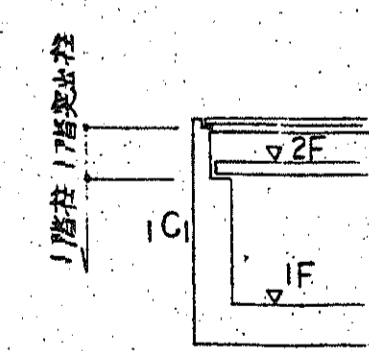
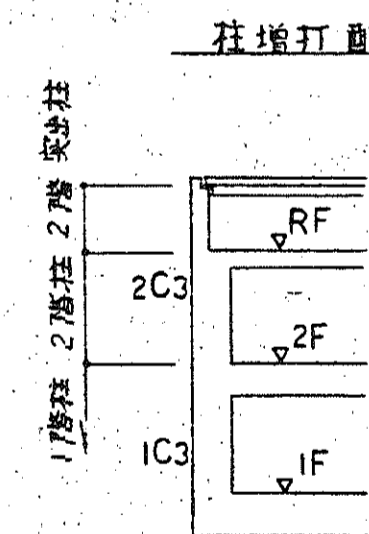
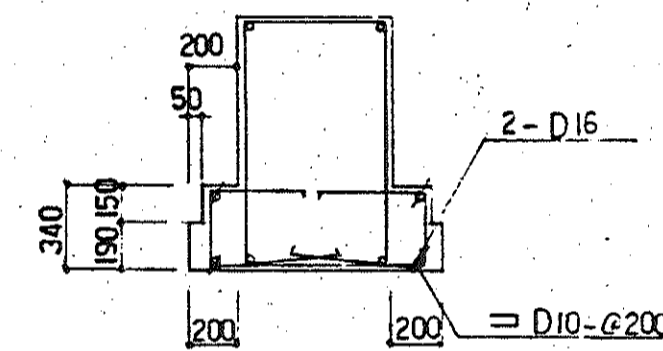
*C1タイプの柱と組み合わせる
F1の基礎をF1'とする

大梁リスト 縮尺=1:30

符号	G1		G2		G3		G4		G5		
	全断面	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面	端部	
位置	特記なき限り 中止筋 D10-φ600										
R階断面											
B x D	300 x 600	400 x 750									
上端筋	3 - D19	7 - D25	3 - D25								
下端筋	3 - D19	6 - D25	3 - D25								
スターラップ	D13-φ200	D13-φ100									
腹筋	2 - D10	2 - D10									
位置	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面	端部
2階断面											
B x D	350 x 700	500 x 850		350 x 700	350 x 700		300 x 600				
上端筋	3 - D19	8 - D25	4 - D25	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22				
下端筋	3 - D19	7 - D25	4 - D25	3 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22				
スターラップ	D13-φ200	D13-φ100		D10-φ200	D10-φ200		D10-φ200				
腹筋	2 - D10	2 - D10		2 - D10	2 - D10		2 - D10				

柱リスト 縮尺=1:30

符号	C1 (C1a)		C2		C3		C4 (C4a)	
	(C1a)は: 断面図のみ						()内はC4aを示す	
2階突出柱断面								
主筋	10 - D22							
フープ	D10-φ100							
2階断面								
主筋	14 - D22							
フープ	D13-φ100 → 4-D13-φ100							
1階突出柱断面								
主筋	20 - D22				(20 - D22)			
フープ	D10-φ100				(D10-φ100)			
1階断面								
主筋	14 - D22	8 - D22	14 - D22	12 - D22				
フープ	D13-φ100 → 4-D13-φ100	D13-φ100	D13-φ100 → 4-D13-φ100	D13-φ100				



突出柱断面

片持梁リスト 縮尺=1:30

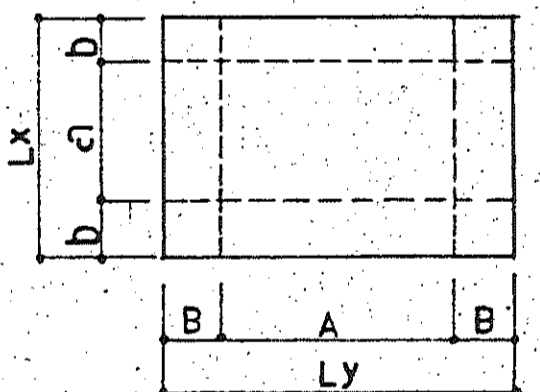
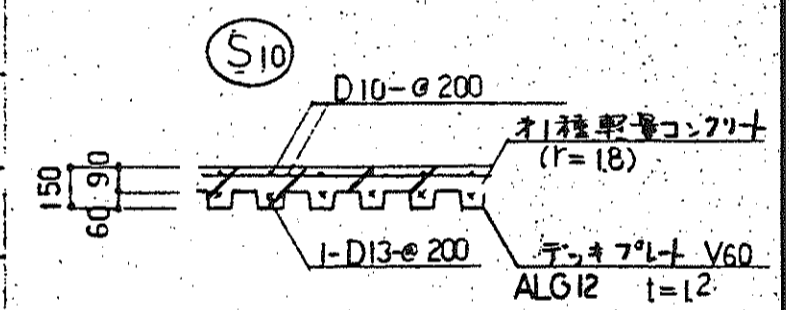
符号	CG1	
位置	全断面	
断面		
B x D	300 x 430	
上端筋	3 - D19	
下端筋	2 - D19	
スターラップ	D10-φ200	

小梁リスト 縮尺=1:30

符号	B1	B2
位置	全断面	全断面
断面		
B x D	300 x 500	250 x 430
上端筋	3 - D19	2 - D16
下端筋	3 - D19	2 - D16
スターラップ	D10-φ200	D10-φ200

スラブリスト

符号	版厚	位置	短辺方向			長辺方向			備考
			端部	中央	B	端部	中央	D	
S1	130	上端筋	D13, D10-φ200			D10-φ250			モチア?
		下端筋	D10-φ200			D10-φ250			
S2	130	上端筋	D13, D10-φ200		D10-φ400	D10-φ500		D10-φ500	
		下端筋	D10-φ400	D10-φ200	D10-φ400	D10-φ500	D10-φ250	D10-φ500	
S3	130	上端筋	D13, D10-φ200	D13-φ400	D10-φ400	D10-φ250	D10-φ500	D10-φ500	
		下端筋	D10-φ400	D10-φ200	D10-φ400	D10-φ500	D10-φ250	D10-φ500	
S4	150	上端筋	D13-φ100			D10-φ200			モチア?
		下端筋	D13, D10-φ100			D10-φ200			
S5	150	上端筋	D13, D10-φ200			D10-φ250			モチア?
		下端筋	D10-φ200			D10-φ250			
FS1	150	上端筋	D13-φ200			D13-φ250			モチア?
		下端筋	D10-φ200			D10-φ250			
CS1	150	上端筋	D13-φ100			D10-φ250			
		下端筋	D10-φ200			D10-φ250			
CS2	130	上端筋	D13-φ200			D10-φ250			
		下端筋	D10-φ200			D10-φ250			

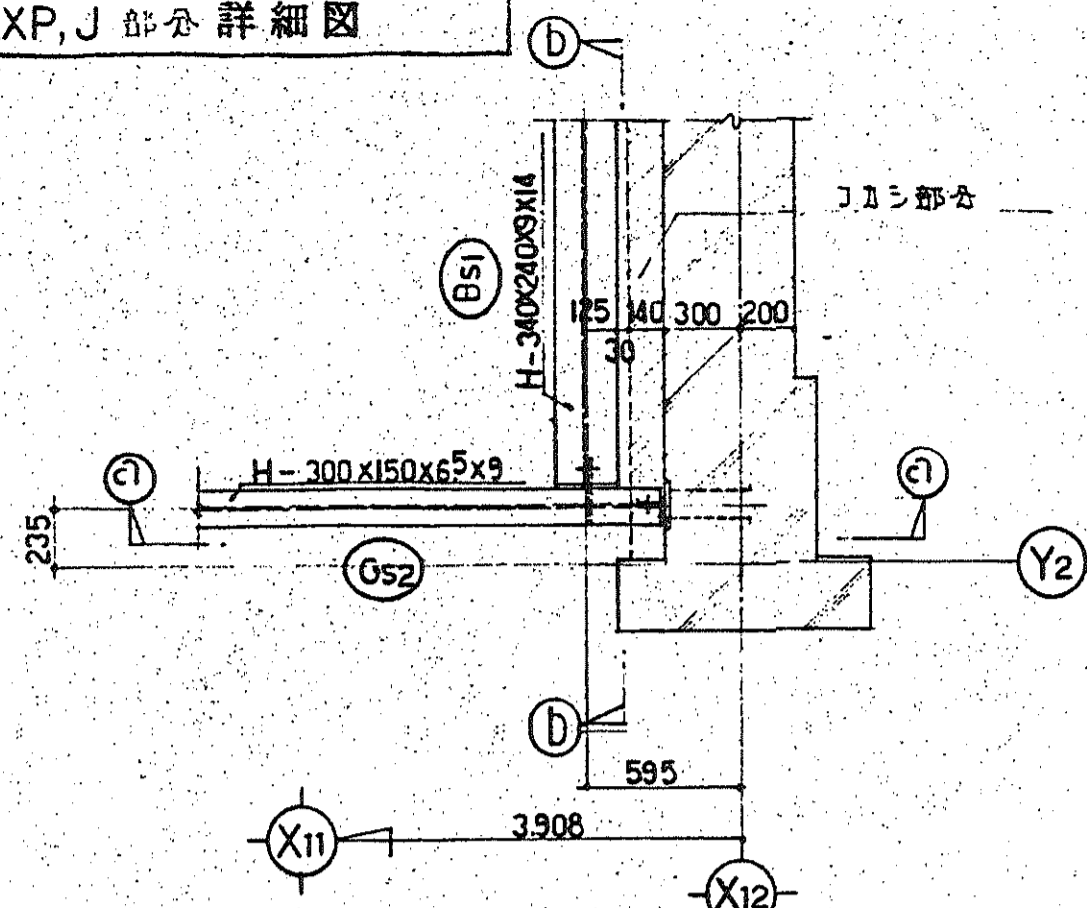


KEY PLAN

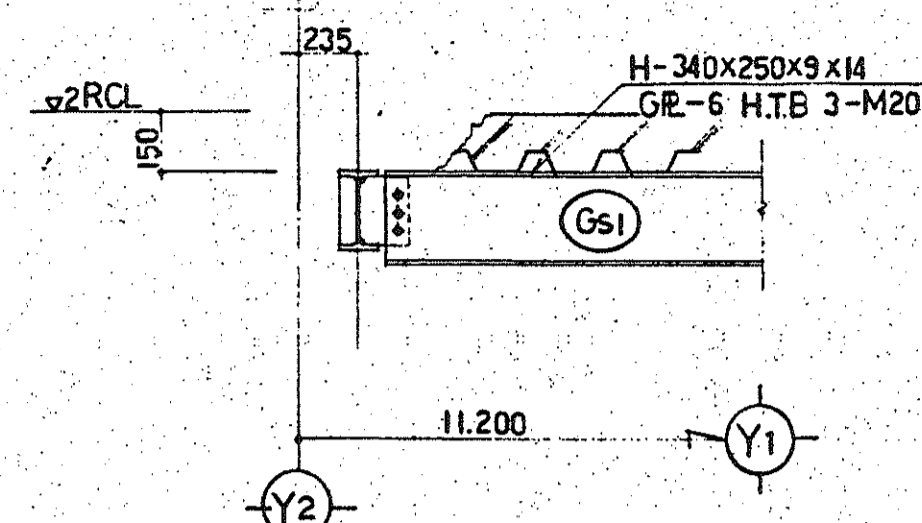
壁リスト 縮尺=1:30

符号	特記なき限り D10-φ1000					壁開口補強
	W180	EW150 W150	W120	W100	CB150	
壁厚	180	150	120	100	150	
断面						
縦筋	D13-φ200	D10-φ250	D10-φ200	D10-φ250	D10-φ400	
横筋	D13-φ200	D10-φ250	D10-φ200	D10-φ250	D10-φ400	
開口部補強筋	a: 2 - D16 b: 2 - D16 c: 2 - D16	2 - D13	1 - D13	1 - D13	1 - D13	

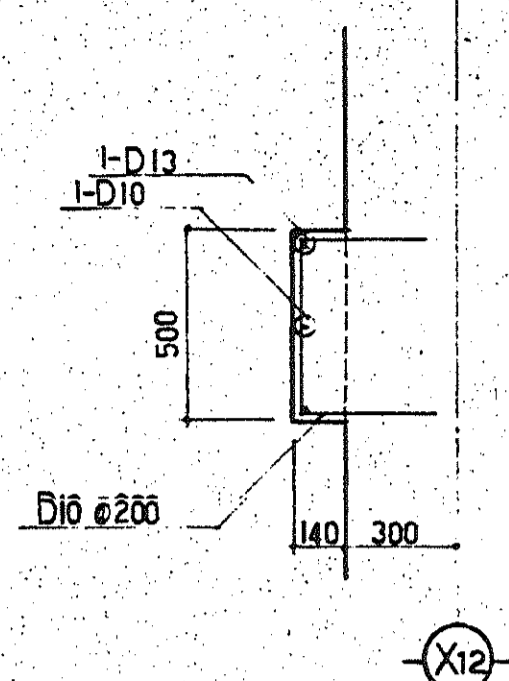
EXP, J 部分詳細図



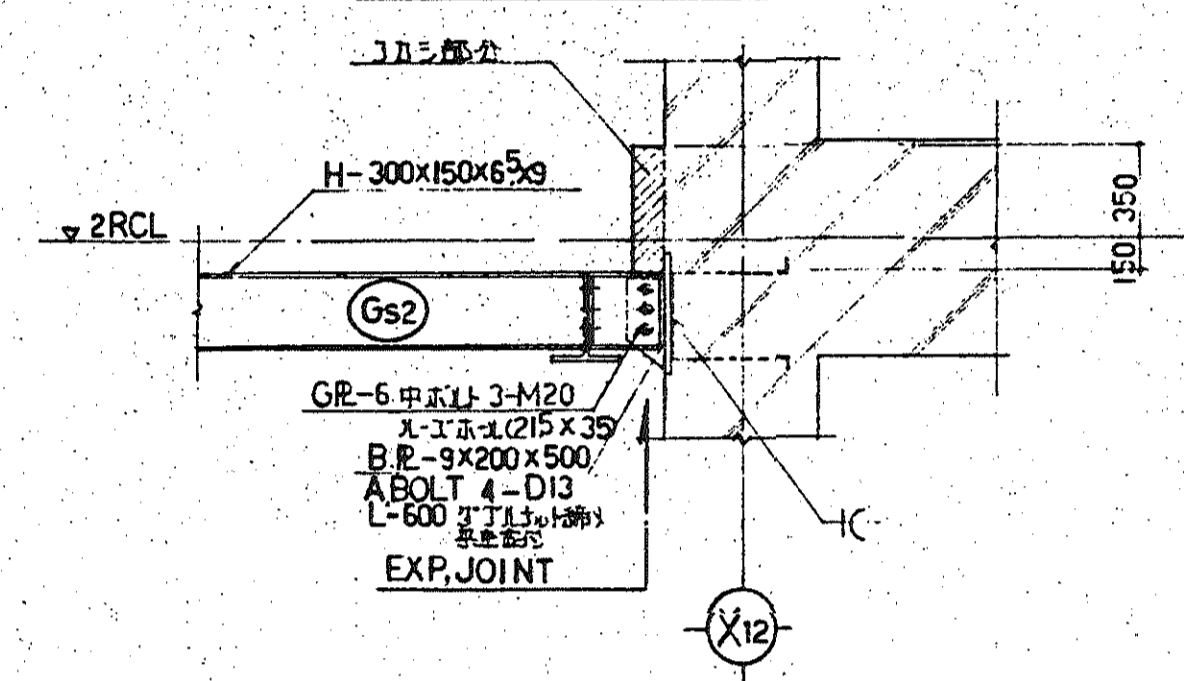
EXP, JOINT 詳細図 縮尺=1:30



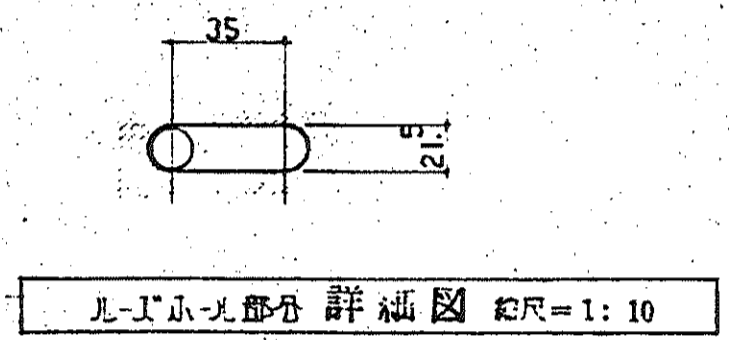
B-B 断面図 縮尺=1:30



J部分配筋要領図 縮尺=1:20

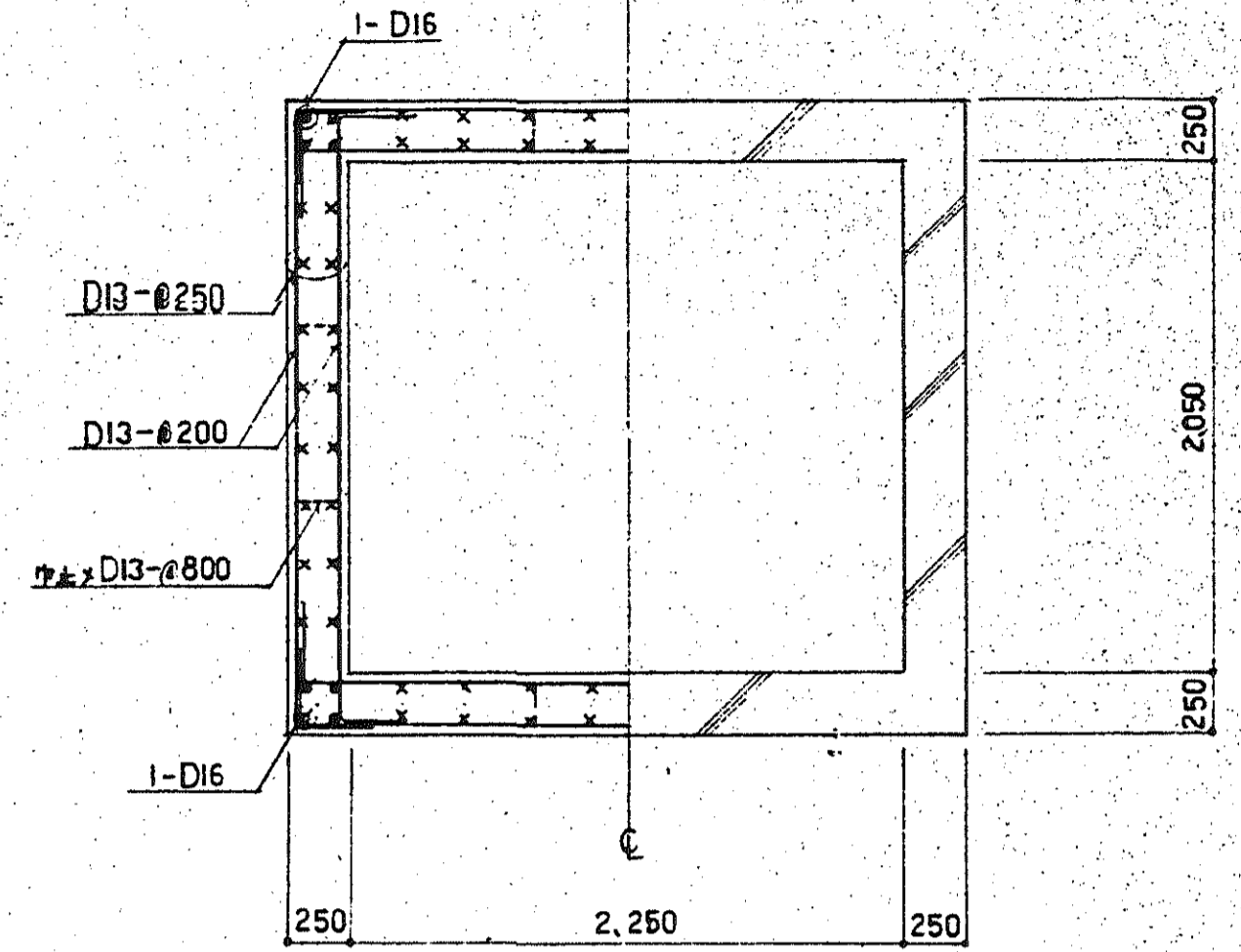
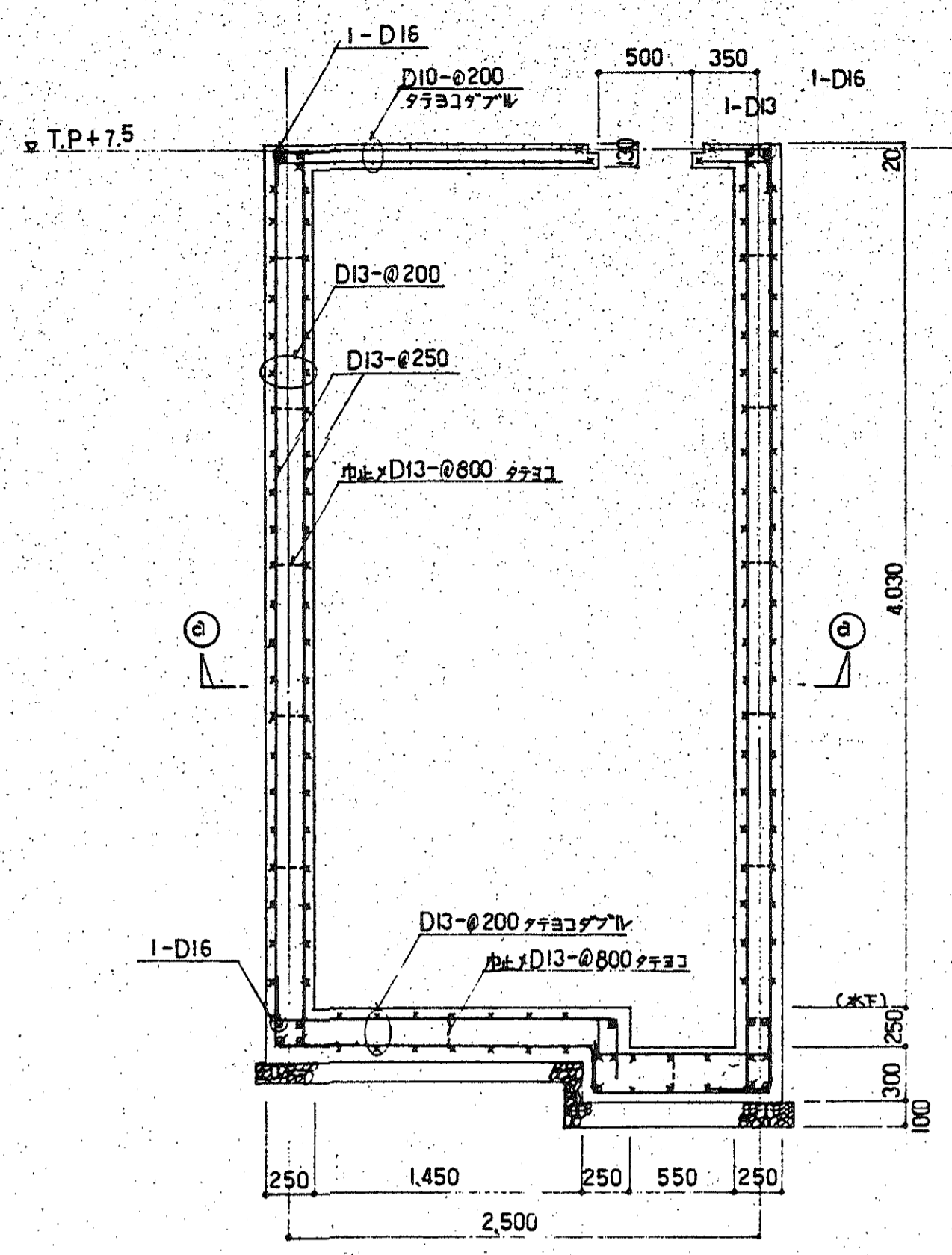


EXP, JOINT 断面図 縮尺=1:30



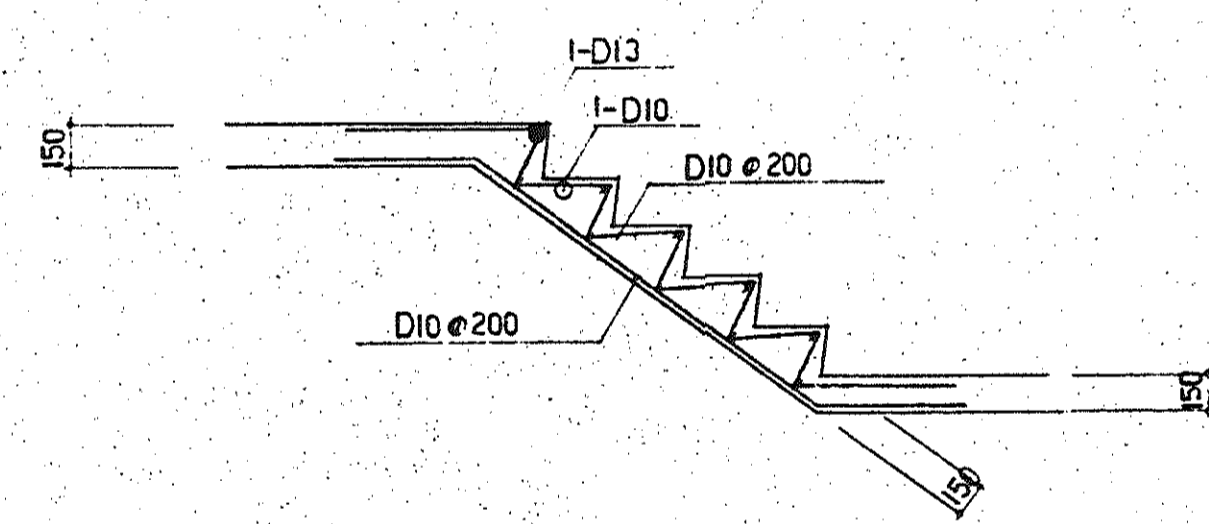
L部分配筋詳細図 縮尺=1:10

排水バルブボックス配筋図 縮尺=1:30

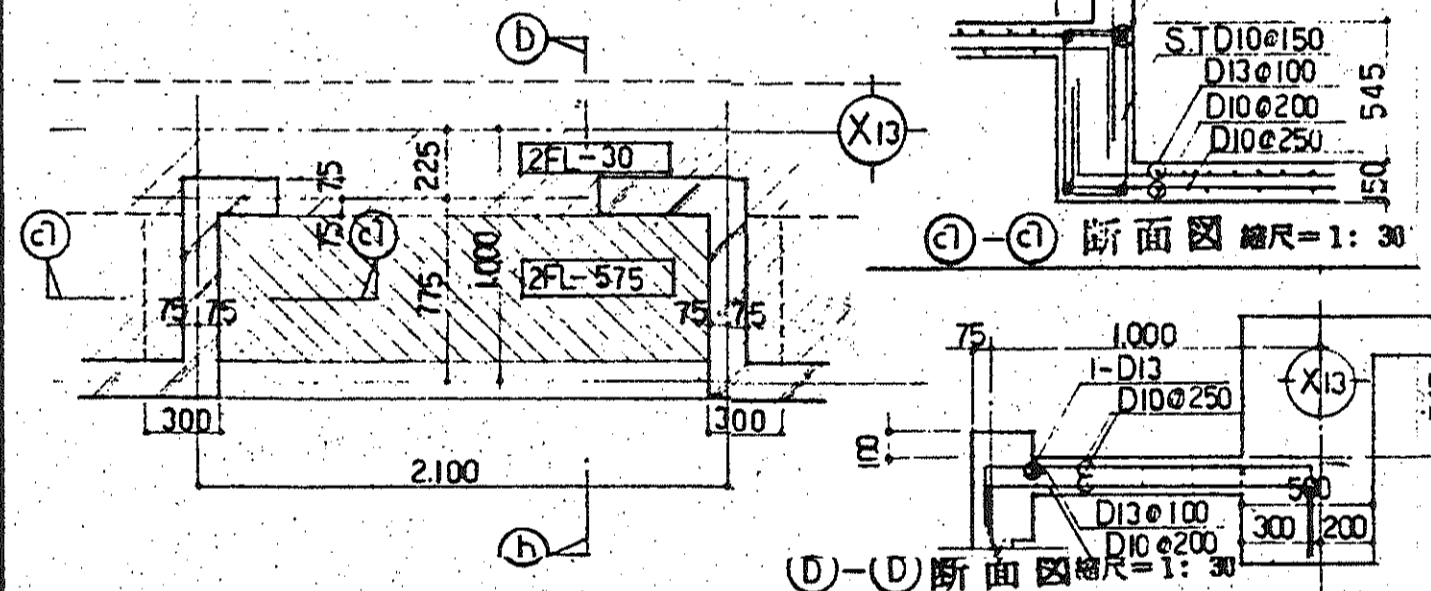


a-a 断面図

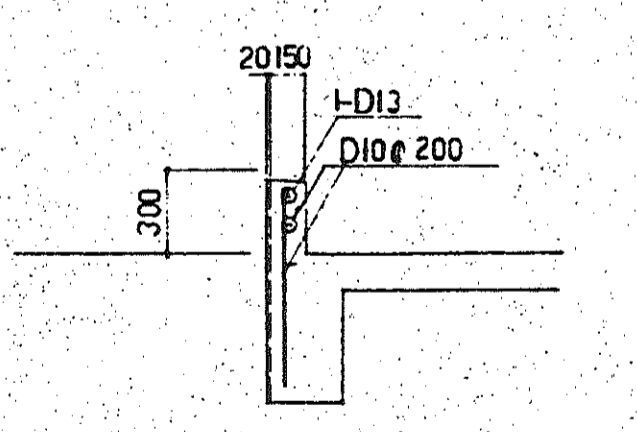
内部階段配筋詳細図 縮尺=1:30



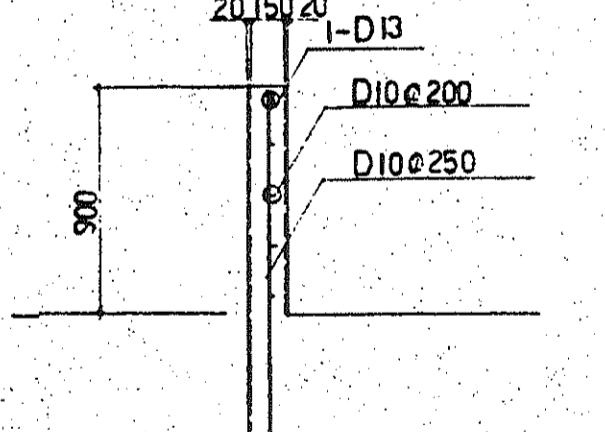
監視室配筋詳細図 縮尺=1:30



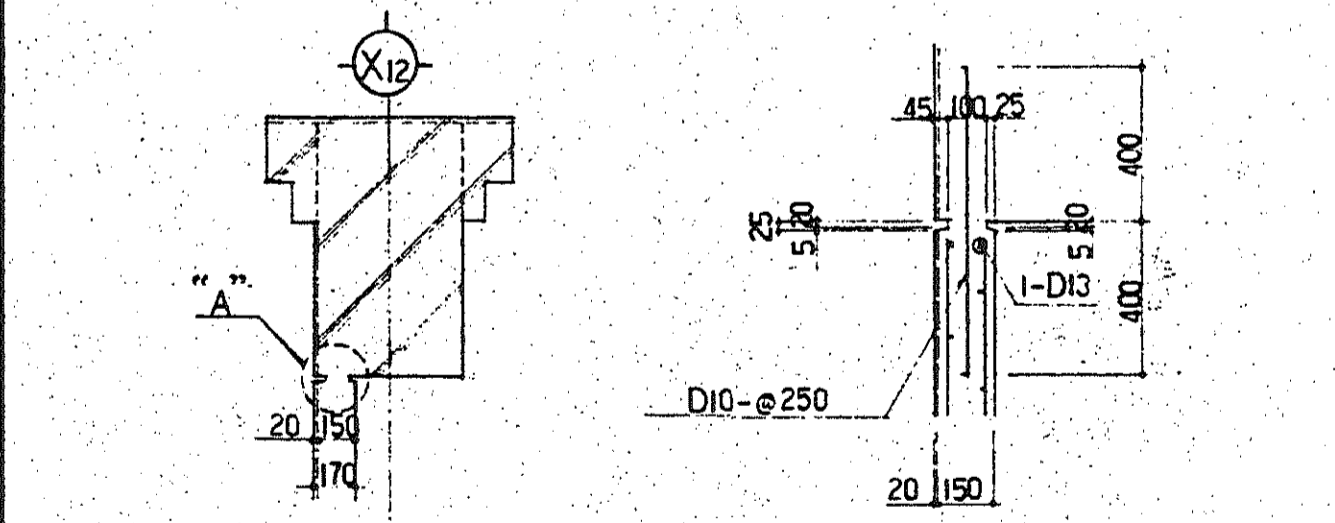
J部分配筋詳細図 縮尺=1:30



シロ部分詳細図 縮尺=1:30



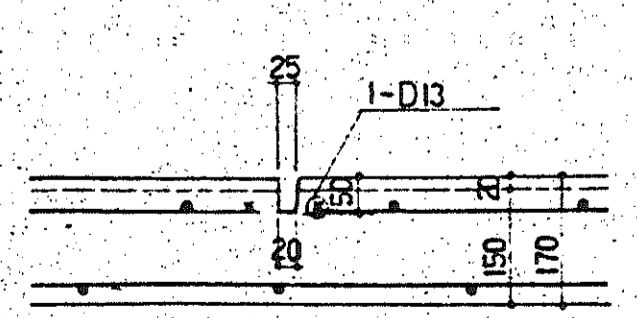
外壁配筋詳細図 縮尺=1:30, 縮尺=1:20

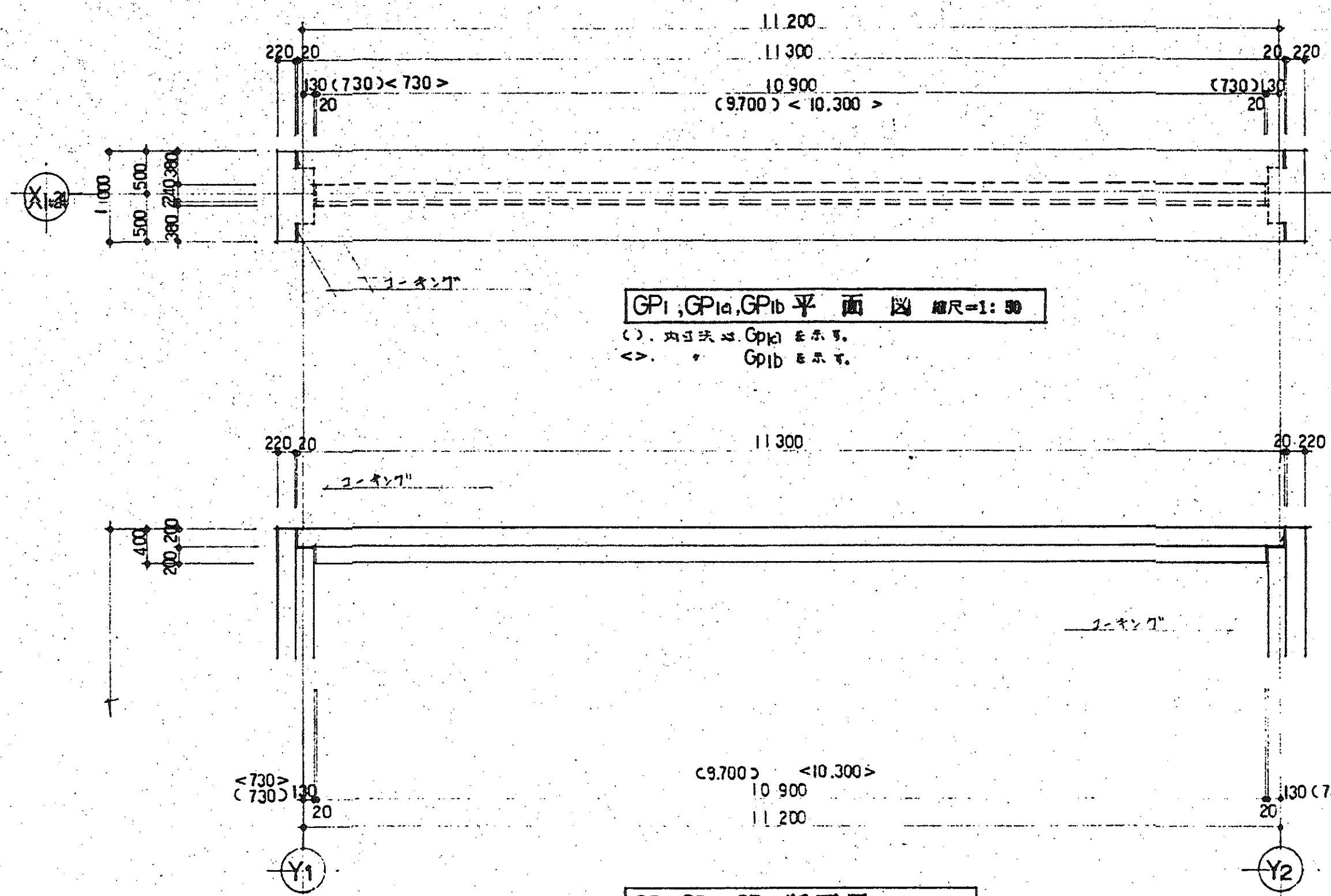


J部分配筋詳細図 縮尺=1:30

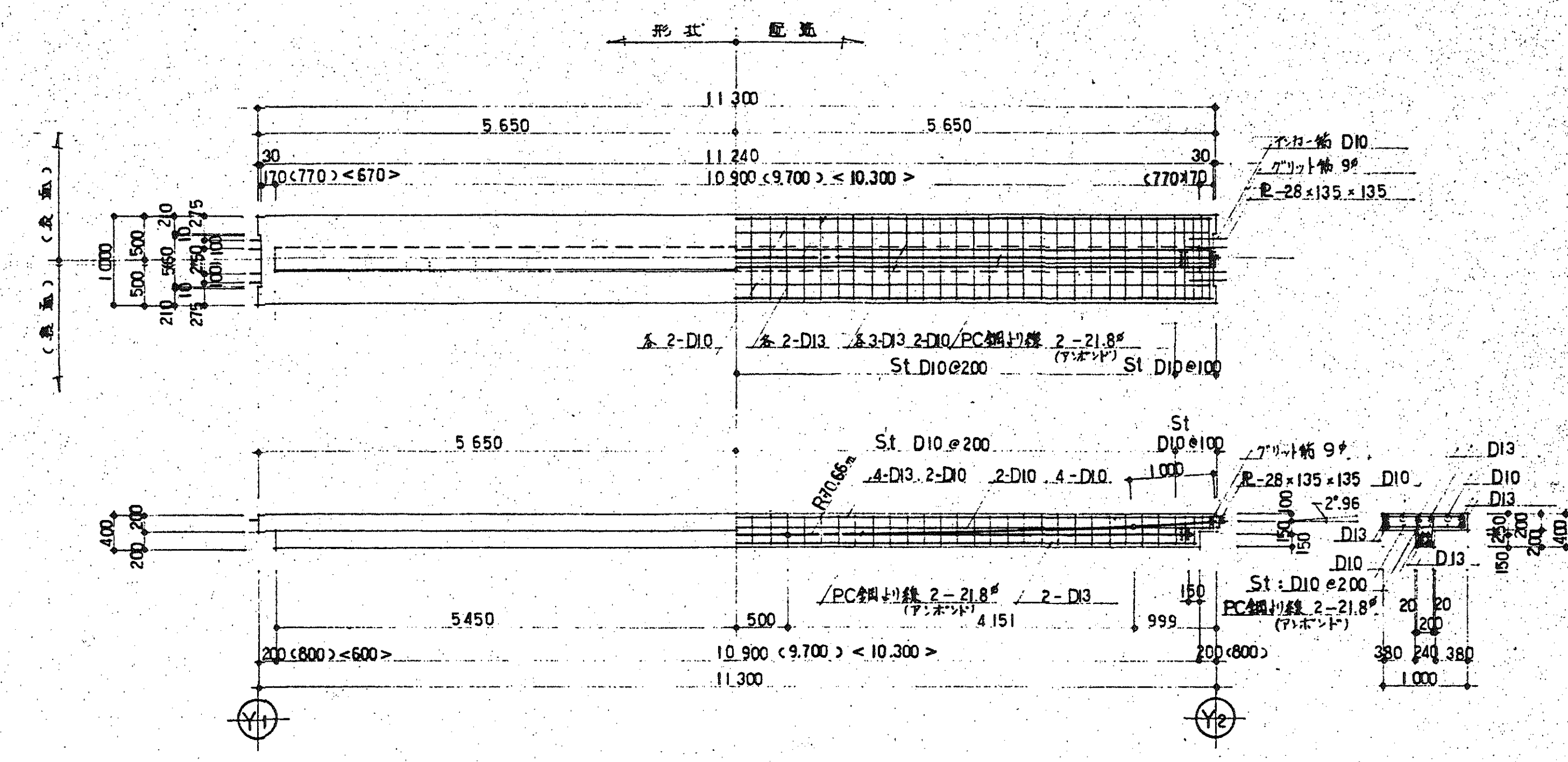
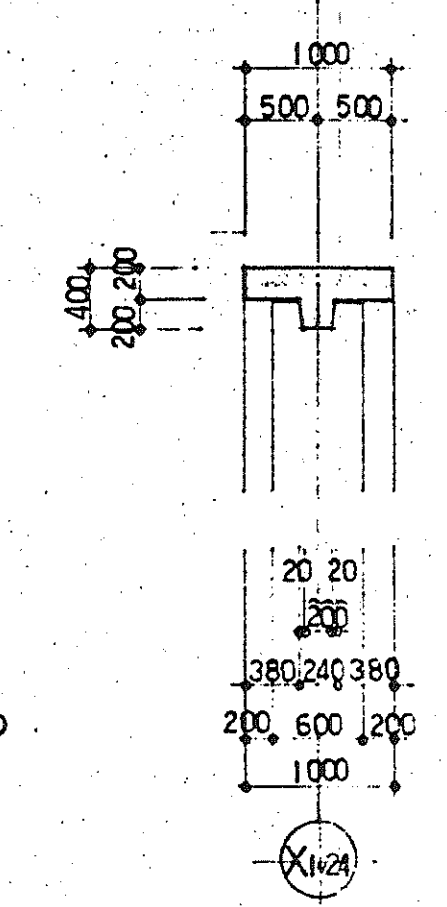
A部配筋詳細図 縮尺=1:20

外壁基礎配筋詳細図 縮尺=1:10

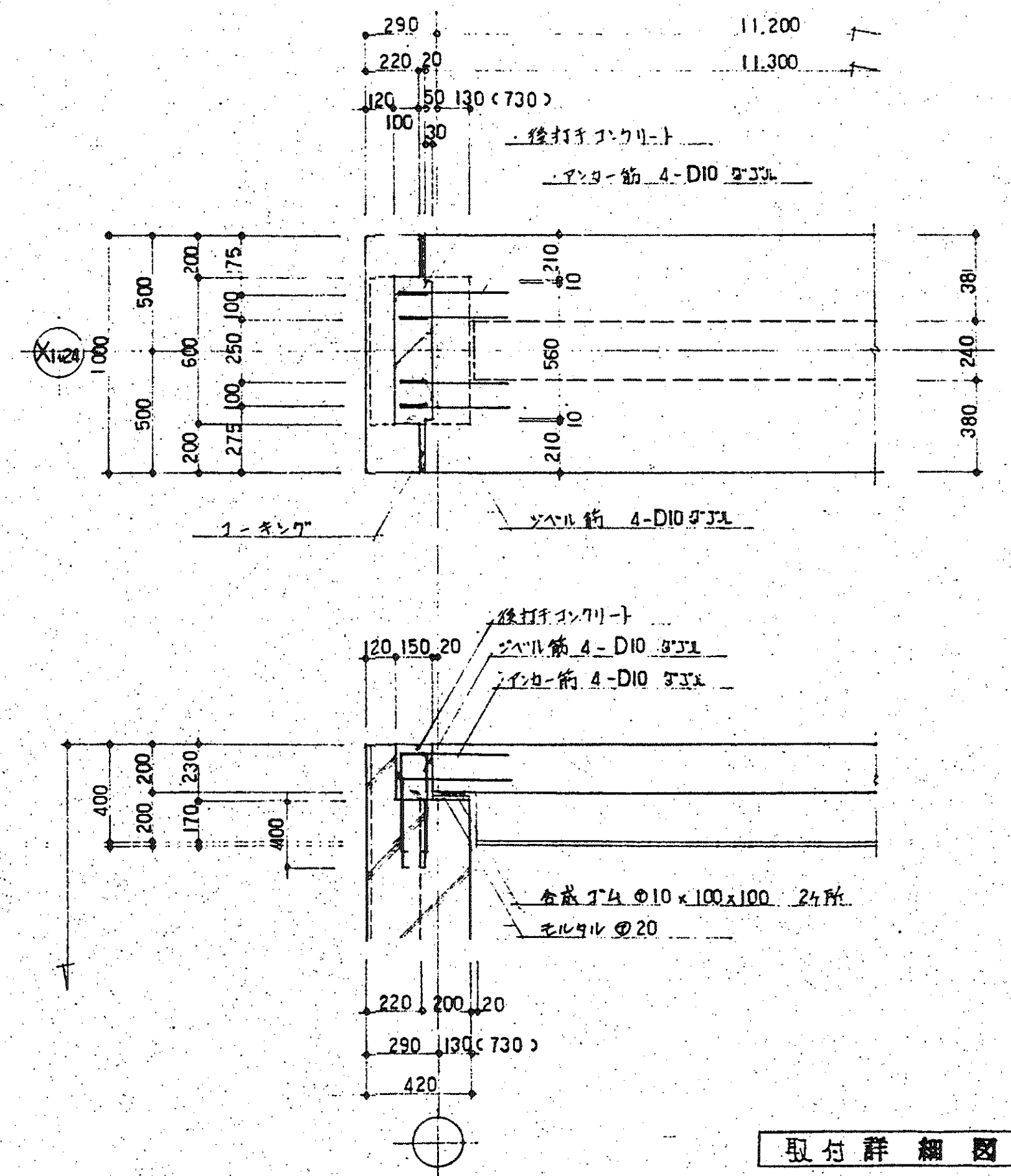




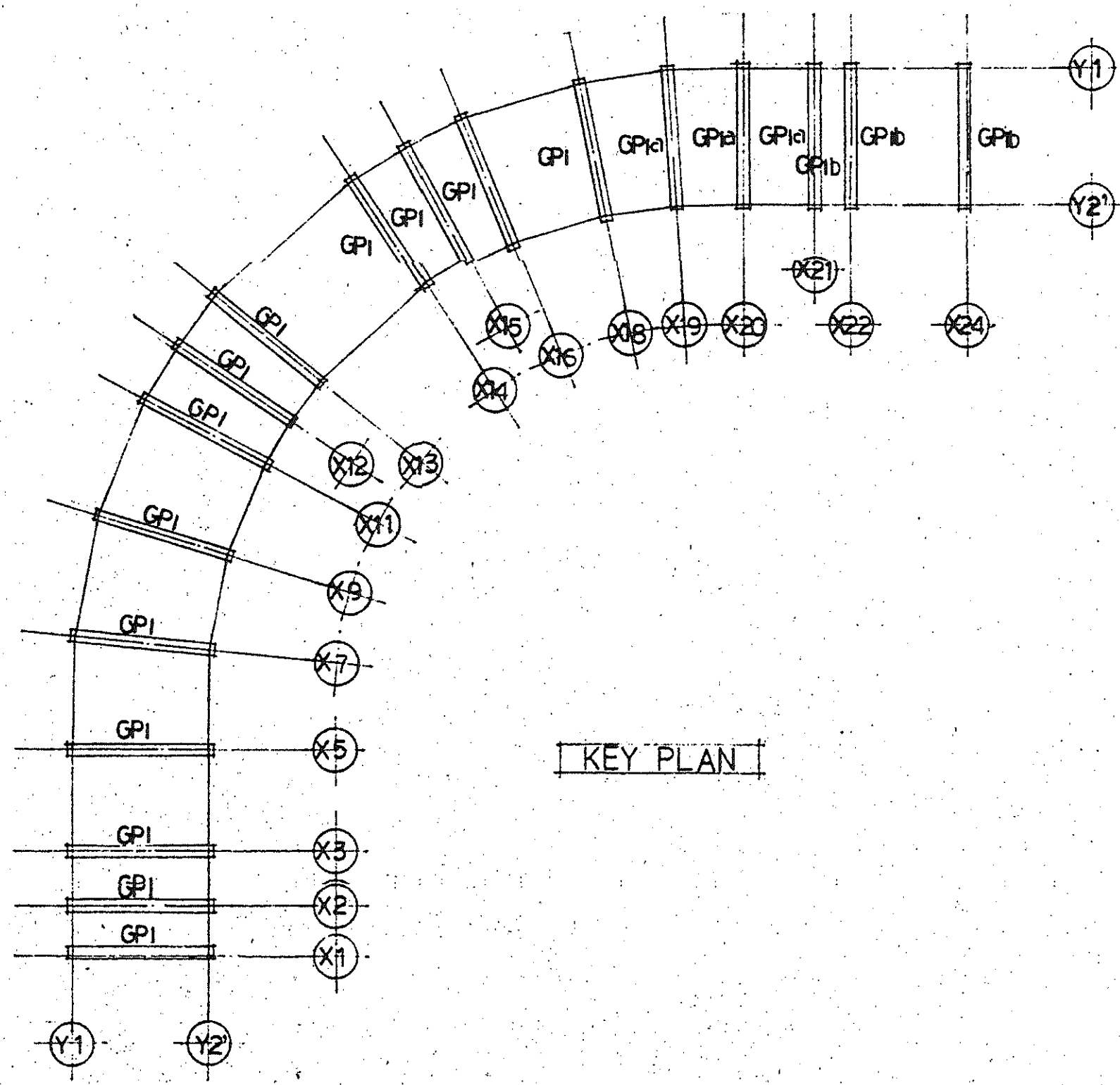
GP1, GP1a, GP1b 断面図 縮尺=1: 30



形状配筋図 縮尺=1: 30

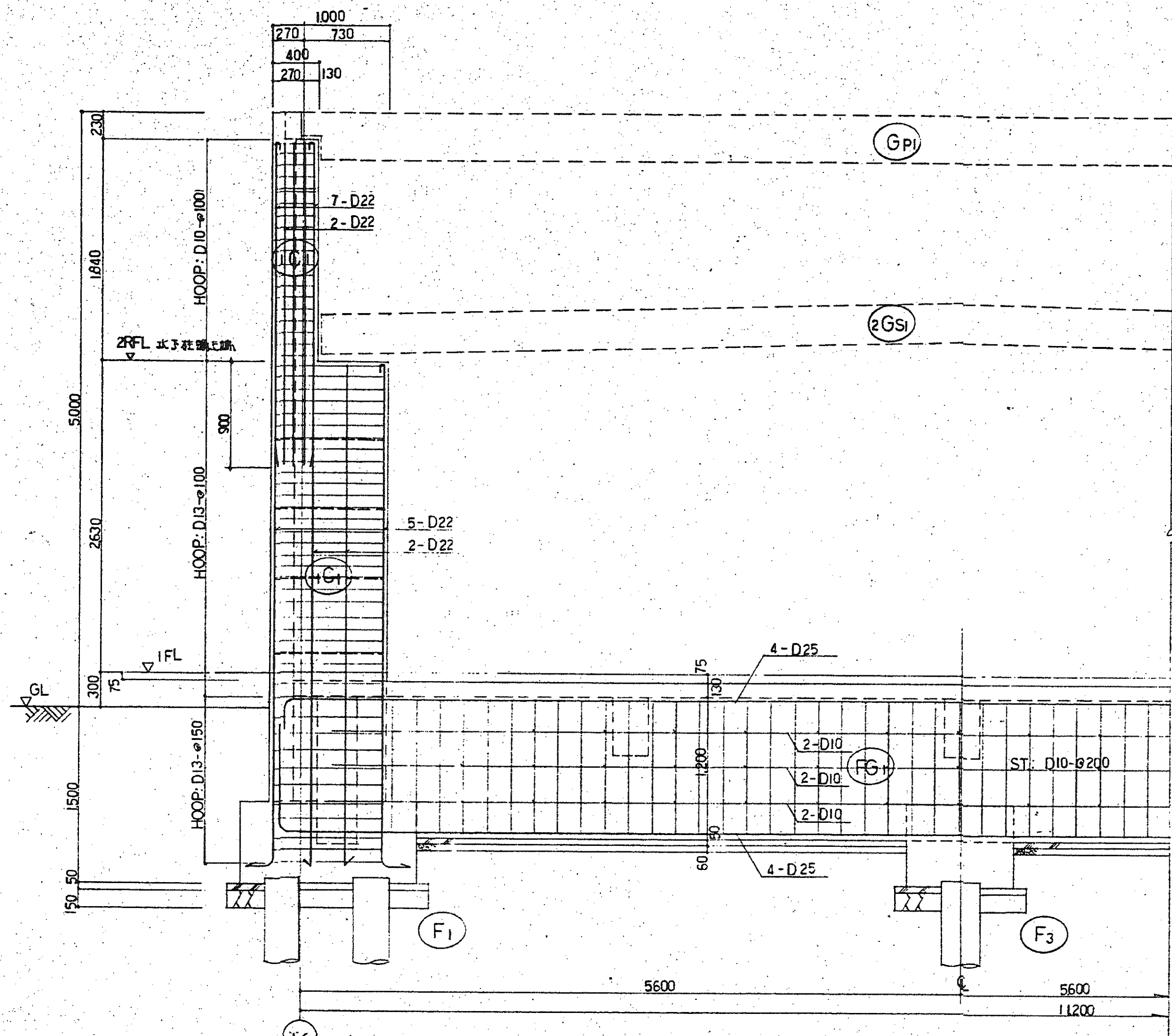


取付群細図 縮尺=1: 20

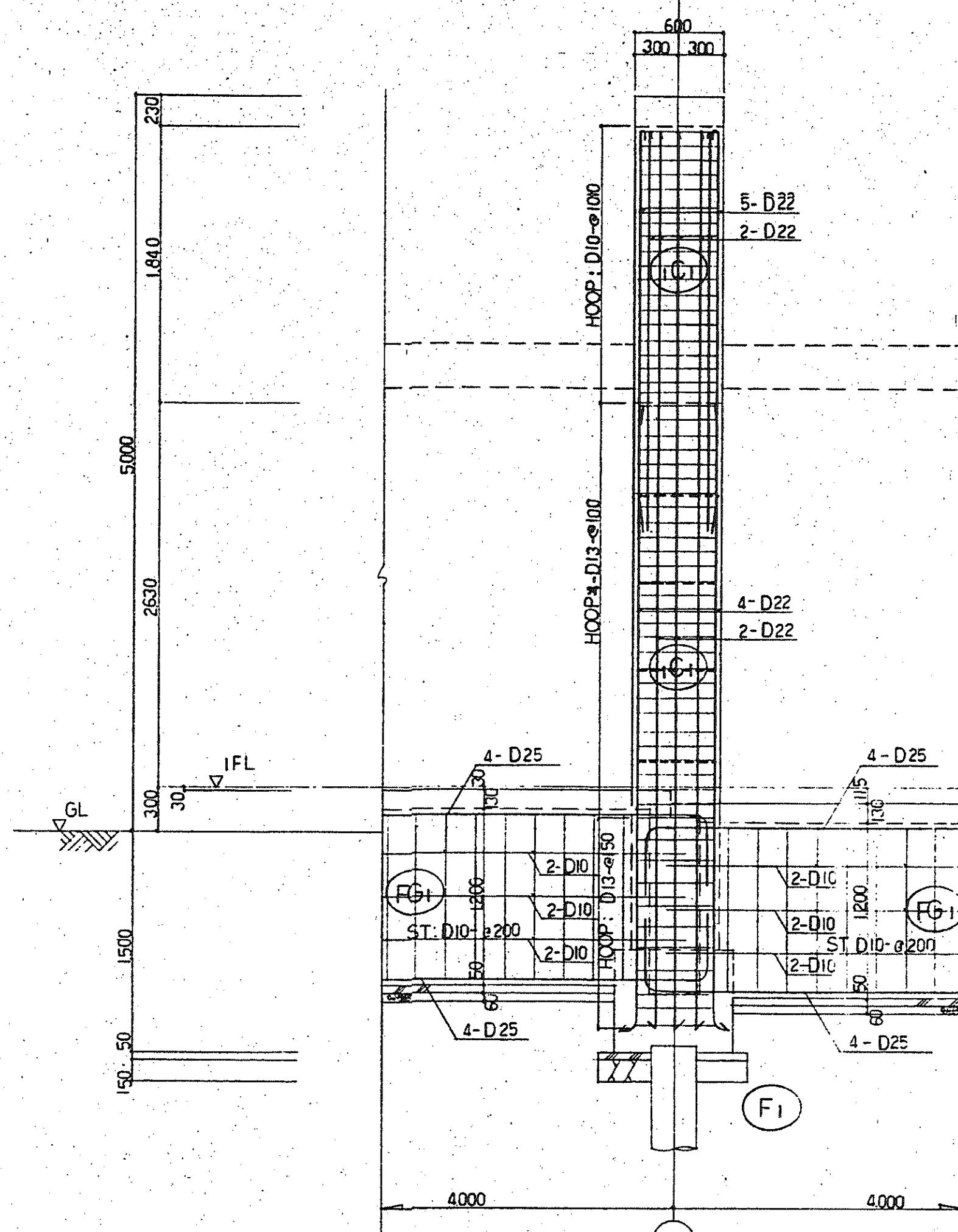


特記事項

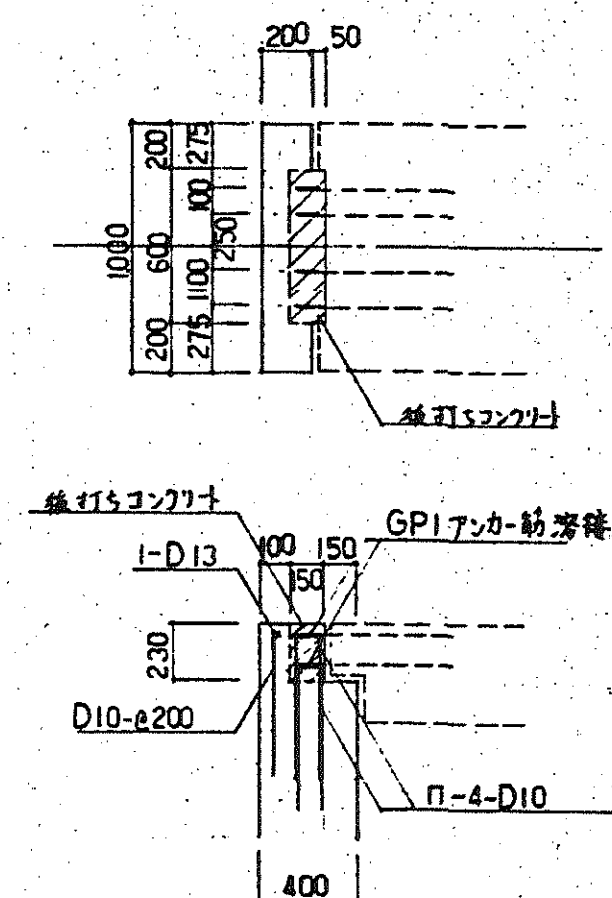
- コンクリート
 - 設計基準強度 $F_c = 45.0 \text{ N/mm}^2$
 - 許容引張強度 $F_t = 3.50 \text{ N/mm}^2$
- PC鋼材
 - PC鋼材種 21.8 ϕ (トホホトケ-71)
 - 引張荷重 $P_u = 58.4 \text{ t}$
 - 降伏荷重 $P_y = 50.5 \text{ t}$
 - 作業緊力 $P_o = 42.0 \text{ t}$
- 鉄筋
 - SD30, SR24 JIS規格品
- 型枠, 仕上
 - 鋼製型枠, 金型押入
- JASS等による検査
 - 4) JASS等による検査は、本工事に伴って実施される。検査結果は、JASS等、また日本建築学会「JASS等による検査」の施工標準による。



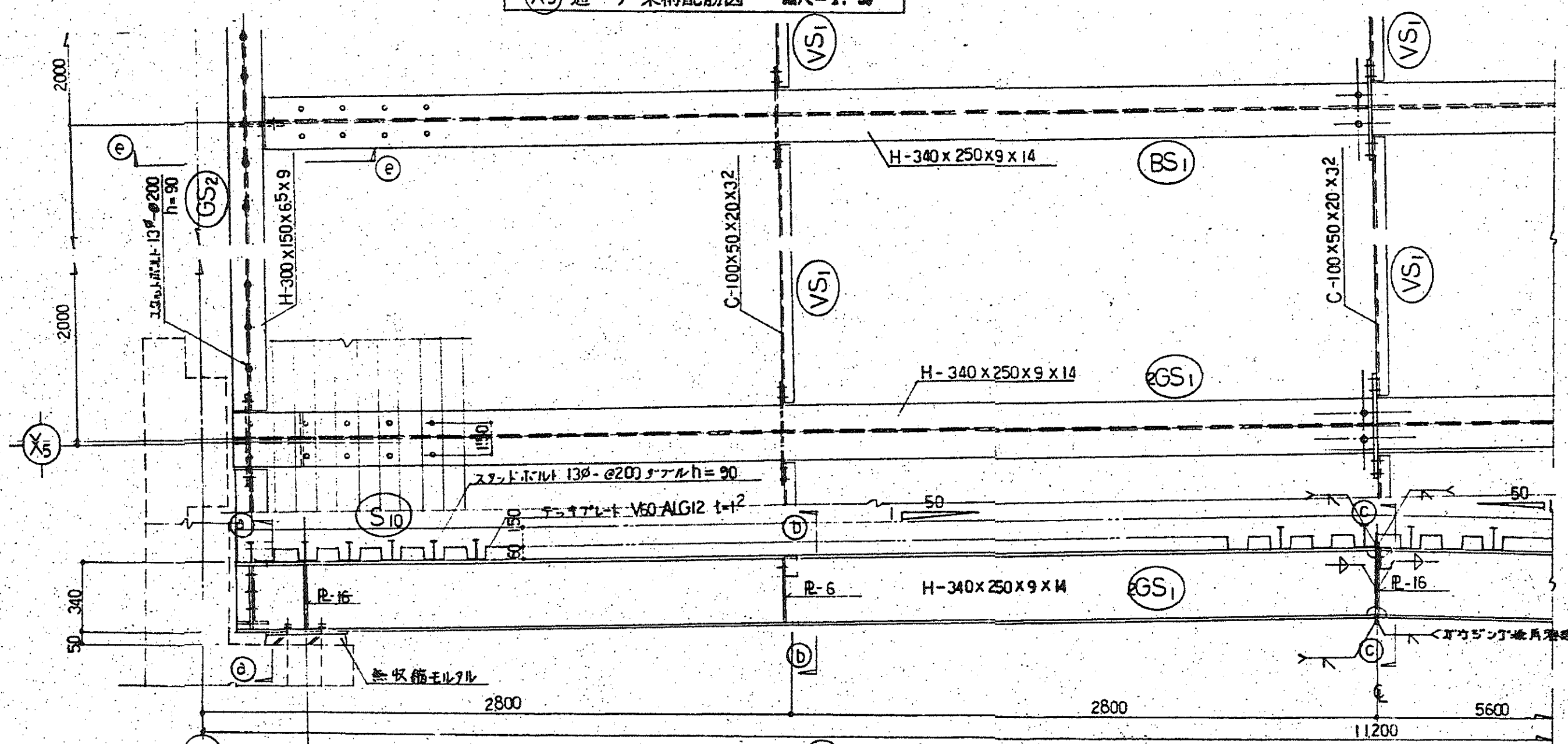
(X5) 通り 架橋配筋図 縮尺=1:30



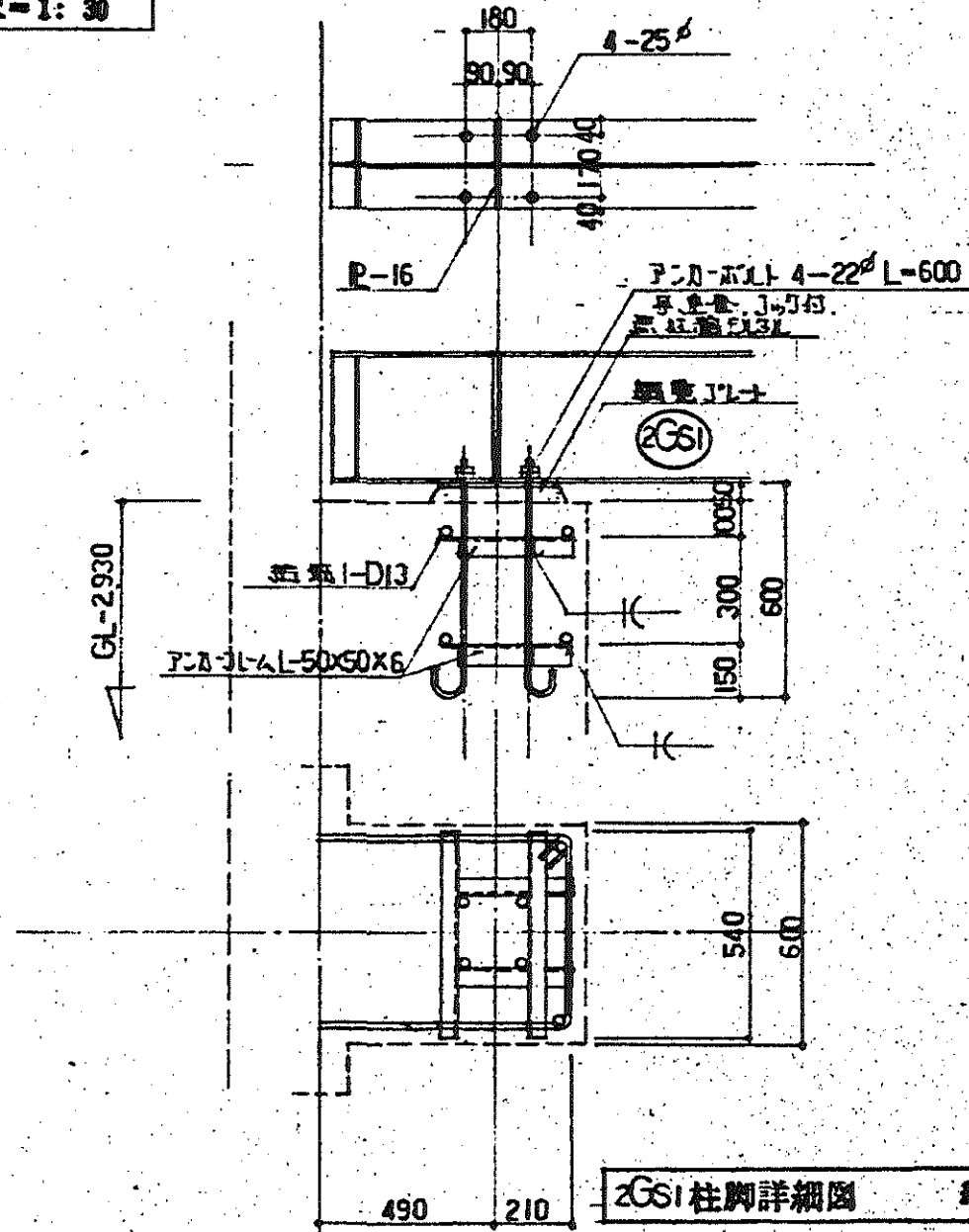
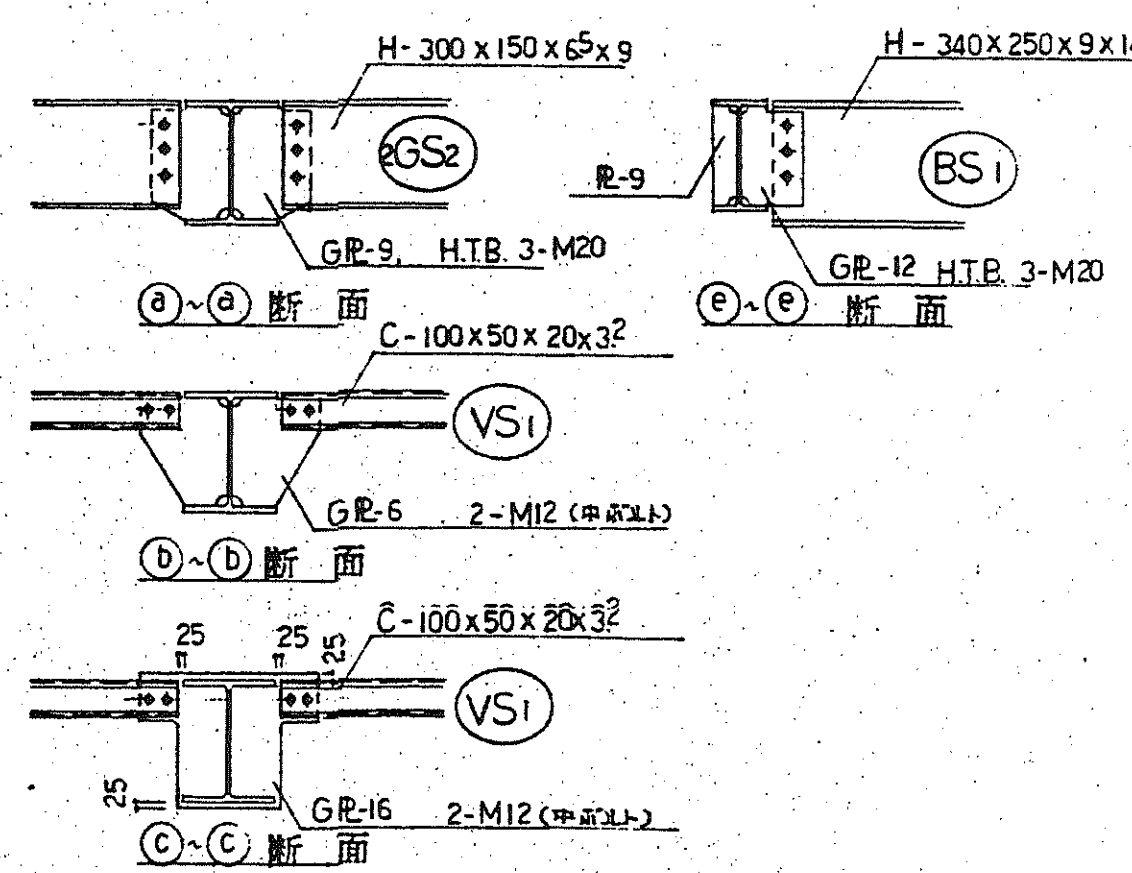
(Y2) 通り 架橋配筋図 縮尺=1:30



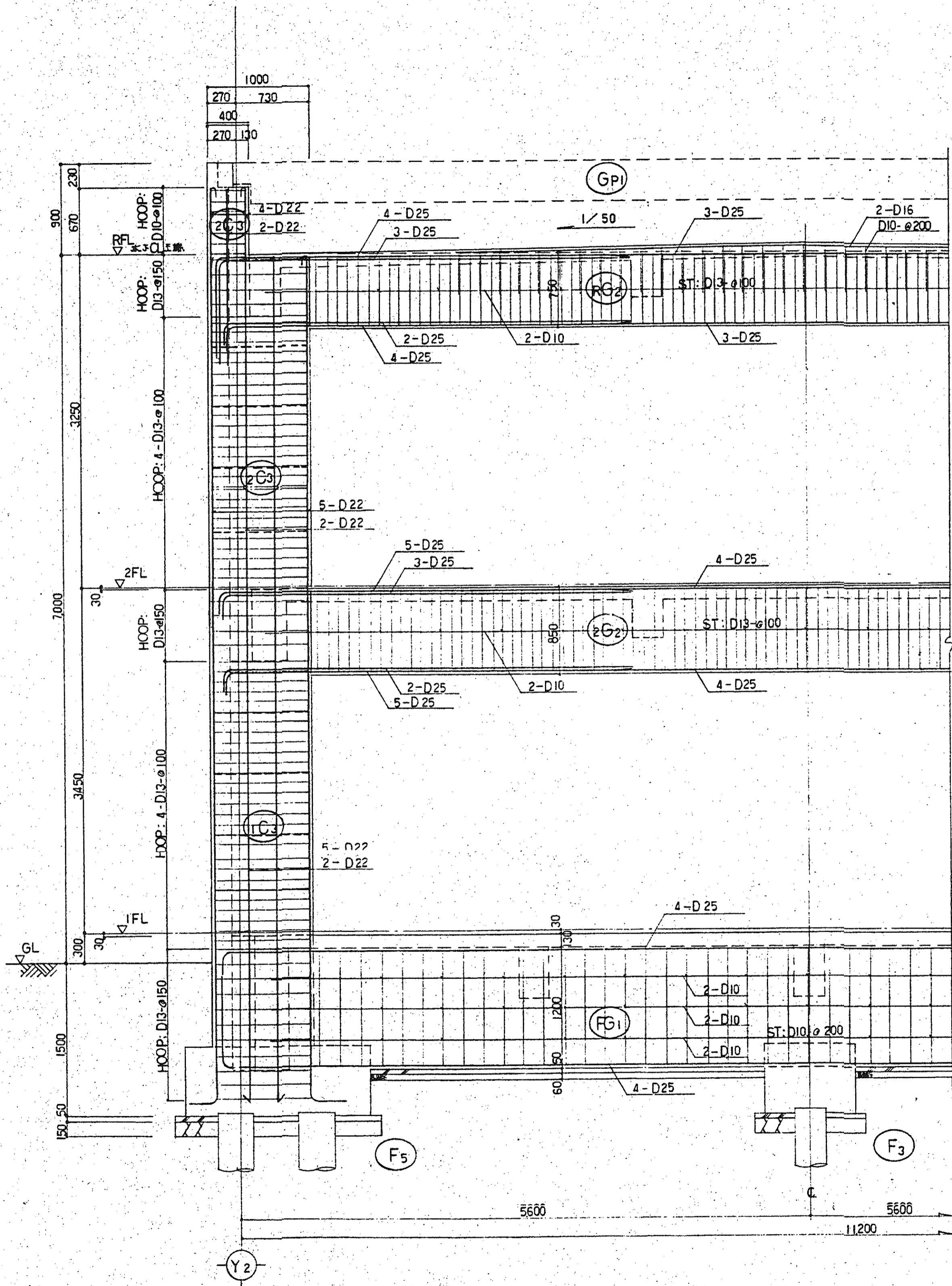
柱頭部, GPIの取合い等細図 縮尺=1:30



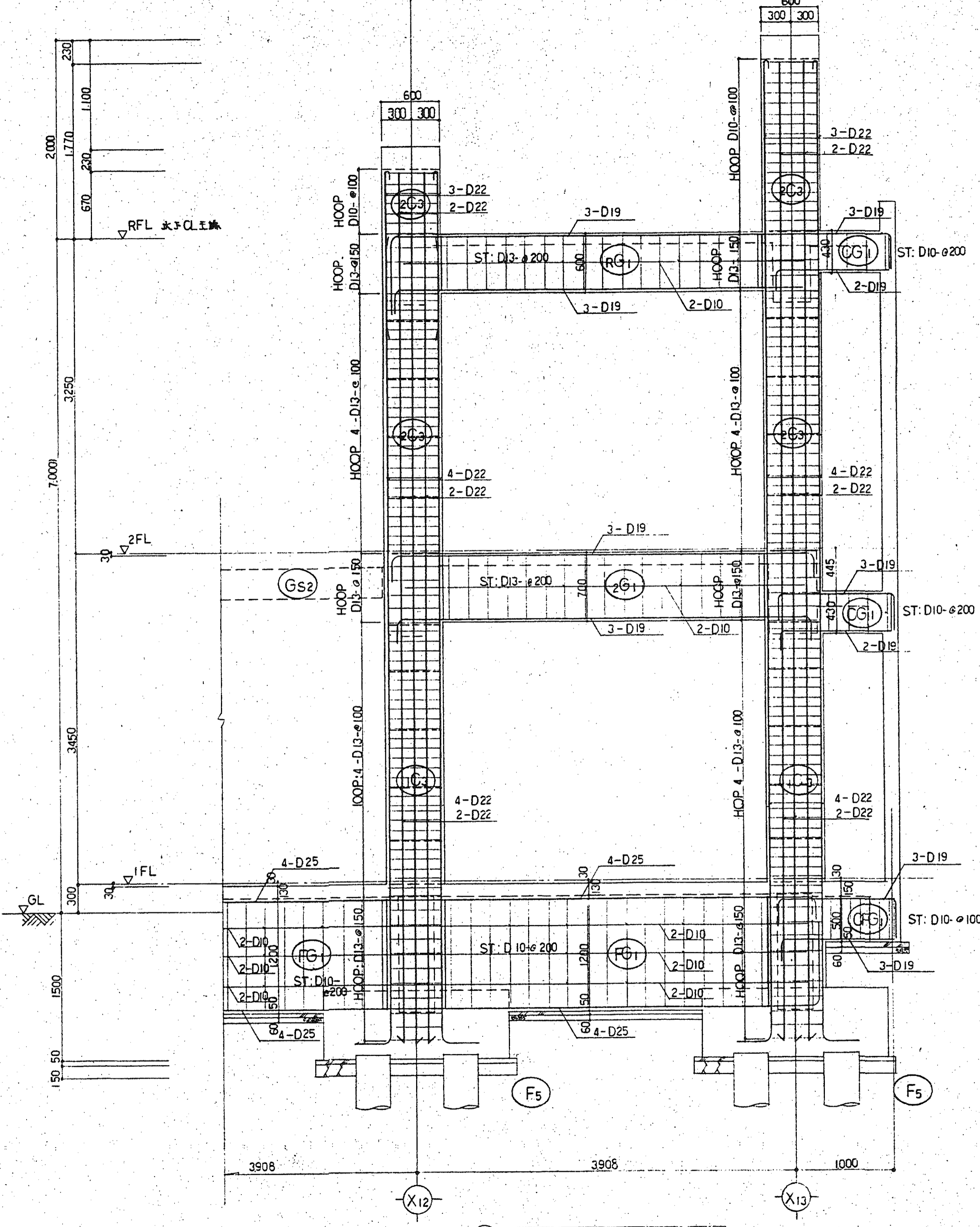
(X5) 通り鉄骨詳細図 縮尺=1:20



GSI柱脚詳細図 縮尺=1:30



(X12) 通り架構配筋図 縮尺=1:30



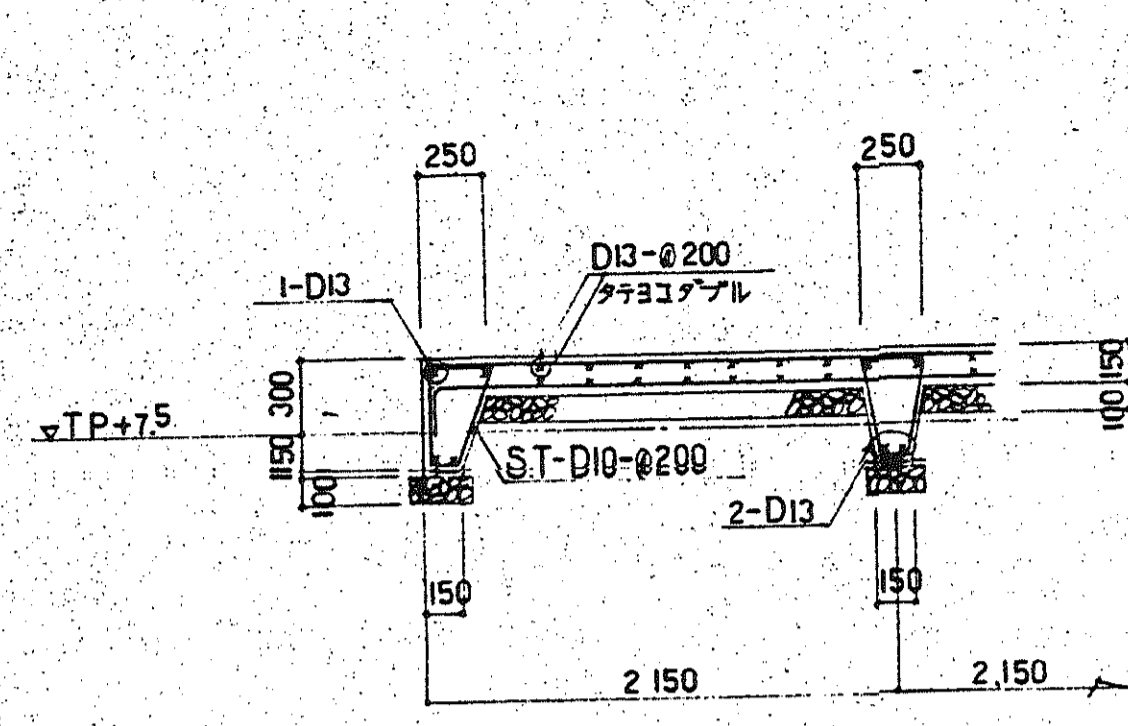
(Y2) 通り架構配筋図 縮尺=1:30

共通事項
 鉄筋は除く下記に示す。
 D.HOOP-D10-φ600

外構部分配筋詳細図 (1)

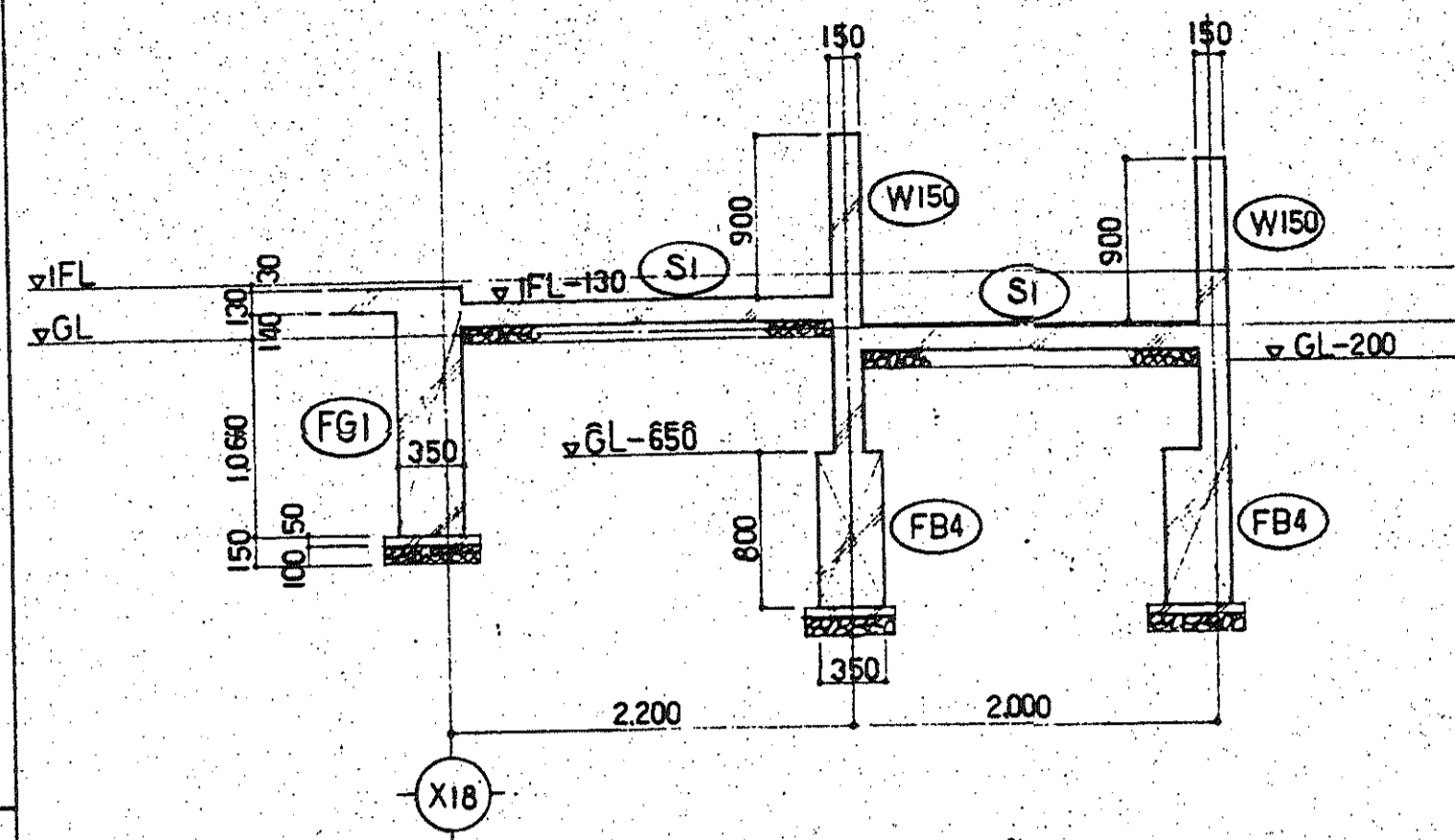
キュービクル置物場基礎

縮尺=1:30



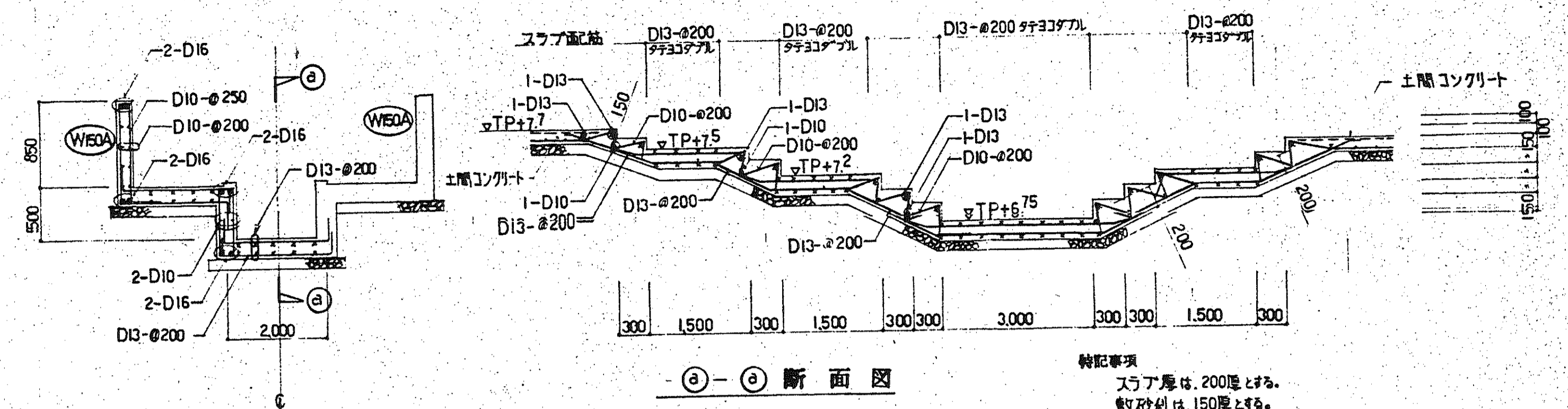
管理棟わきスロープ

縮尺=1:40



足・履洗い場

縮尺=1:40

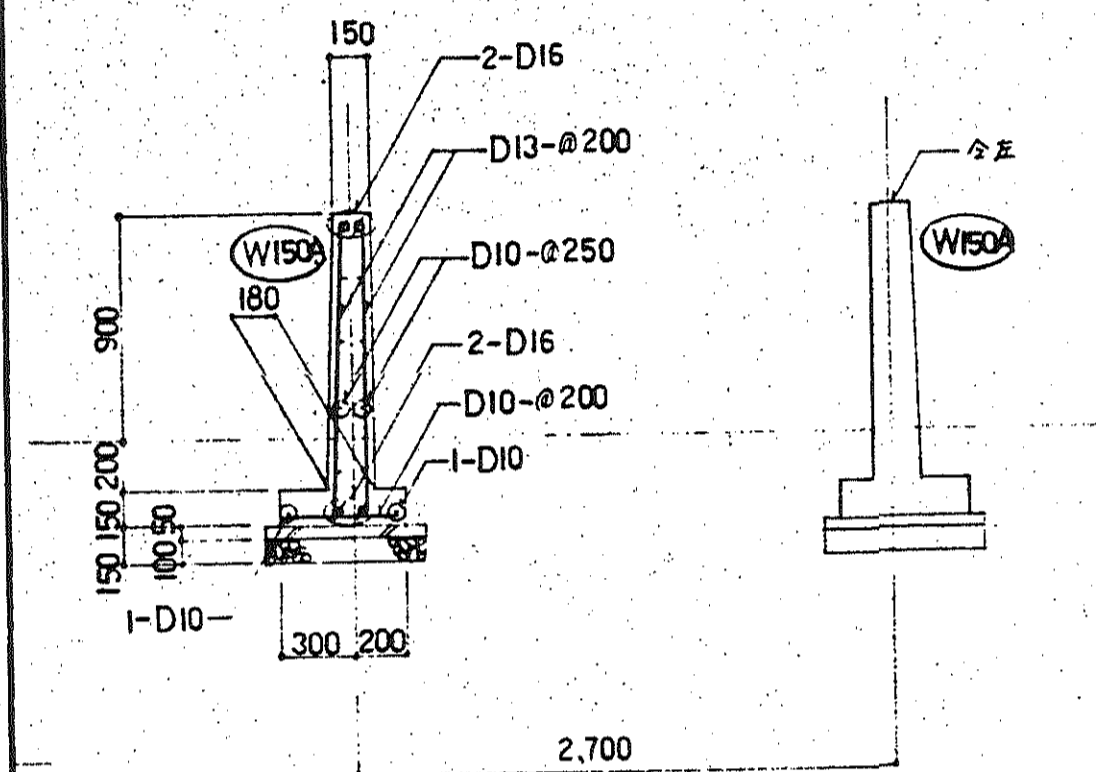


①-① 断面図

特記事項
スラブ厚は、200mmとする。
敷砂利は、150mmとする。

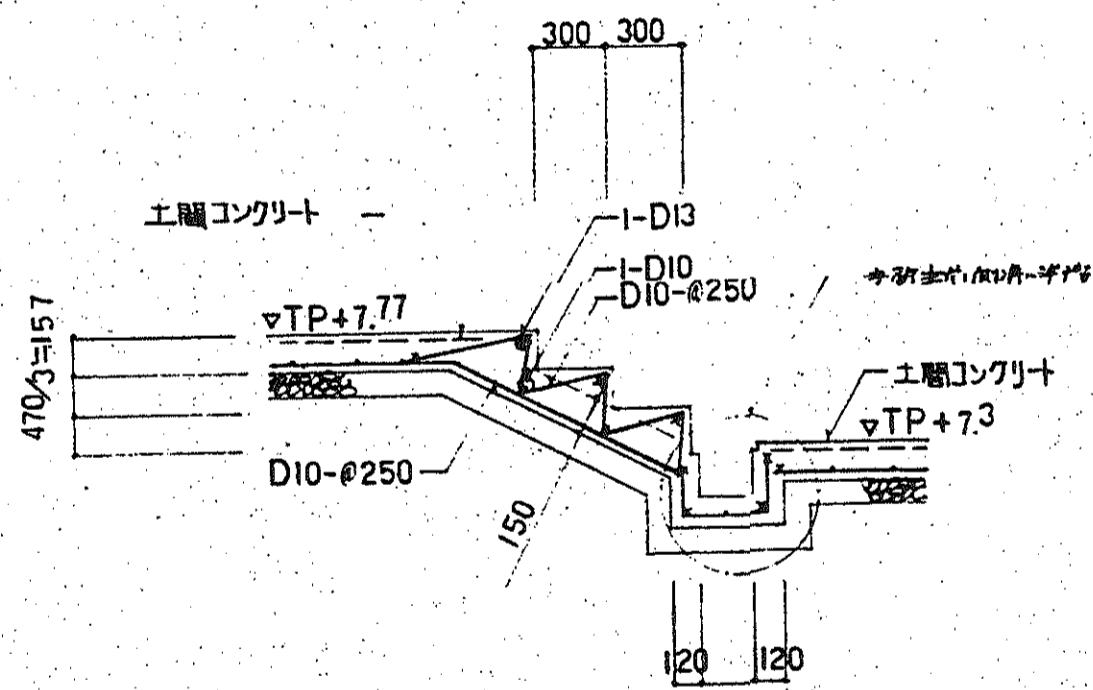
クリーニングエリアスロープ立ち上り壁

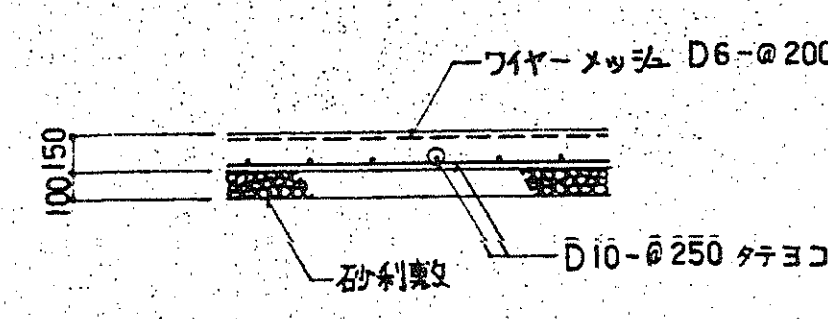
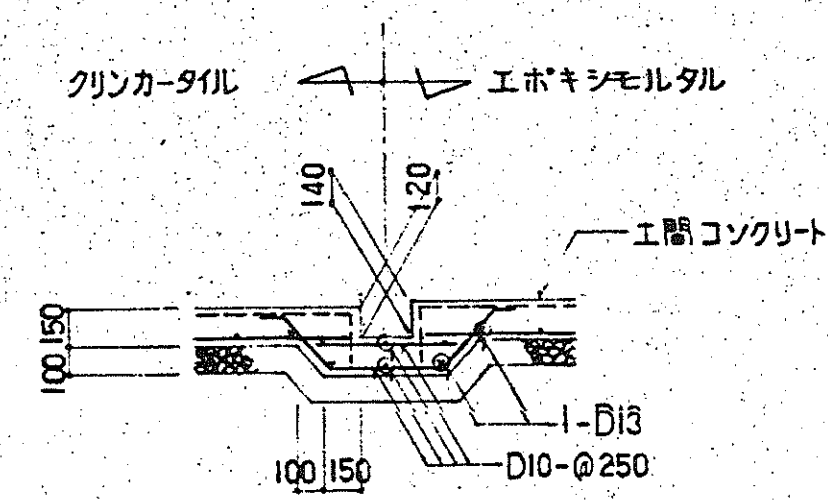
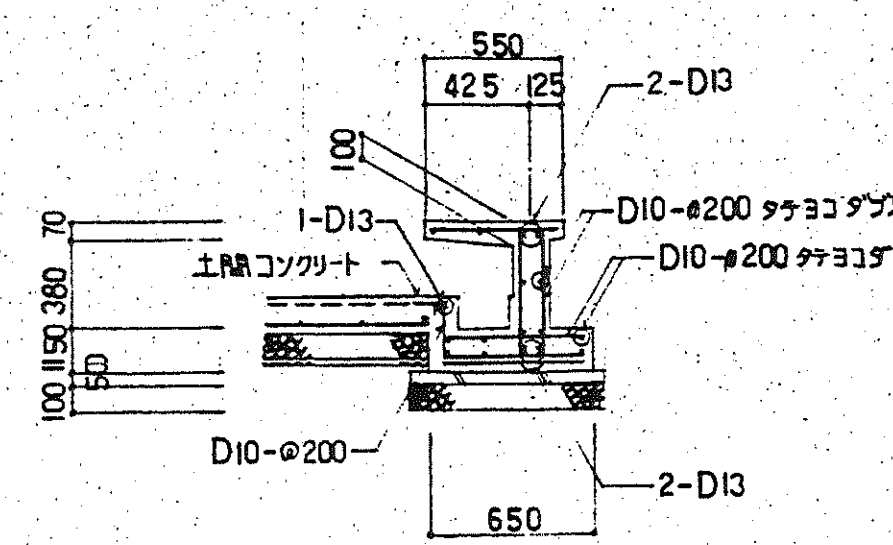
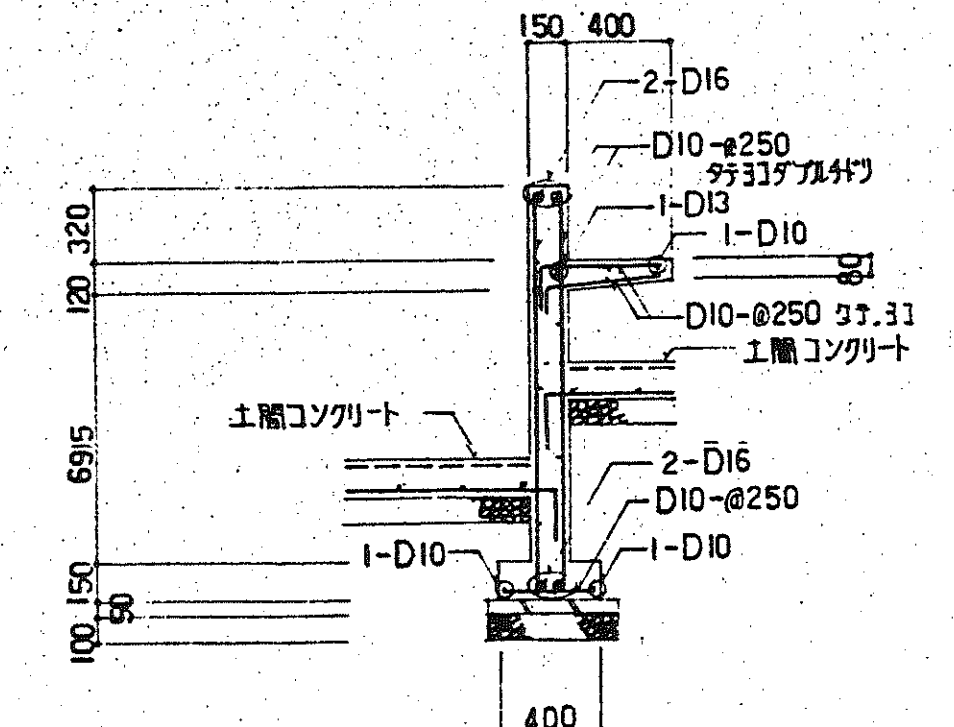
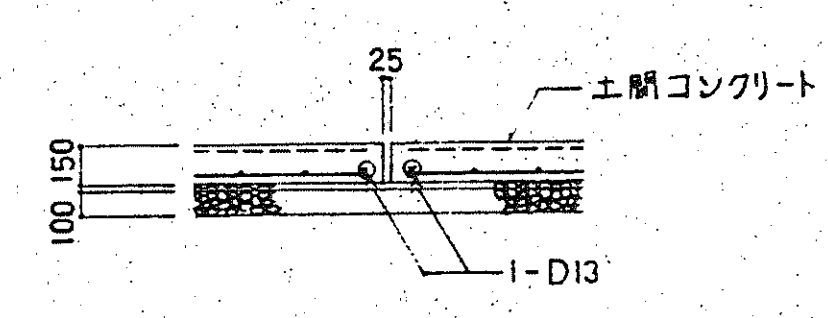
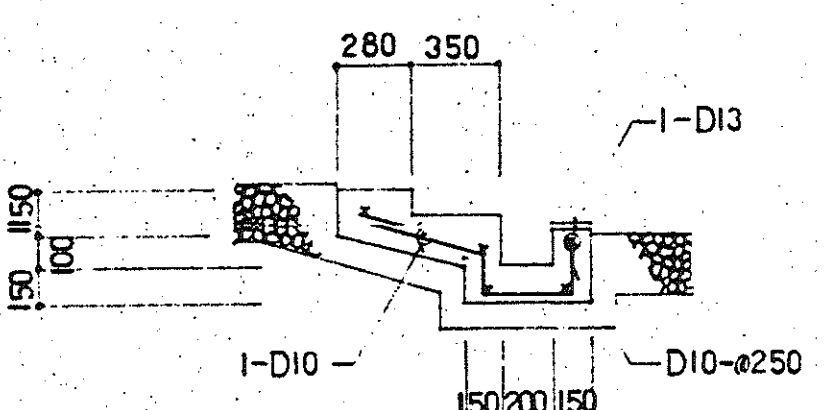
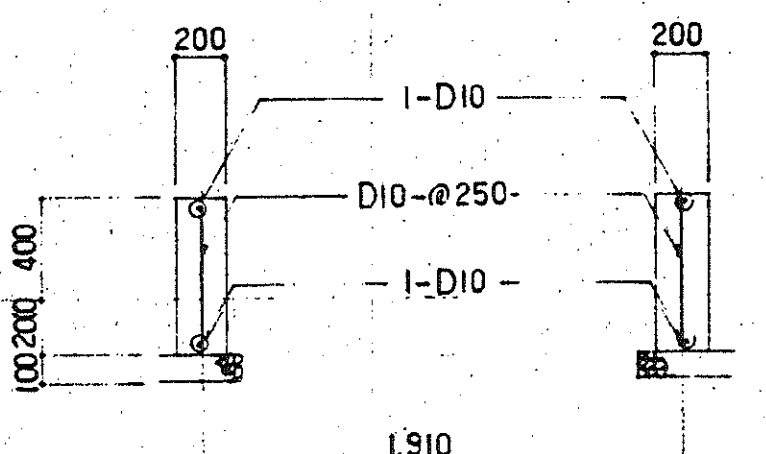
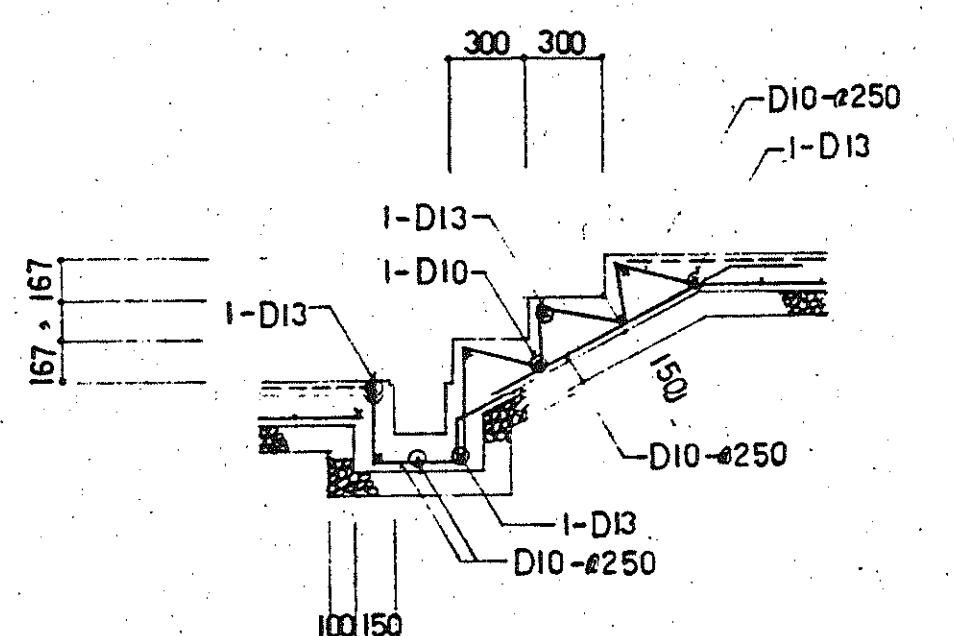
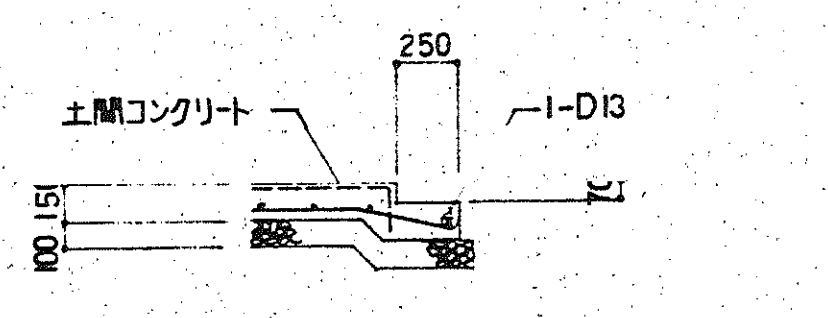
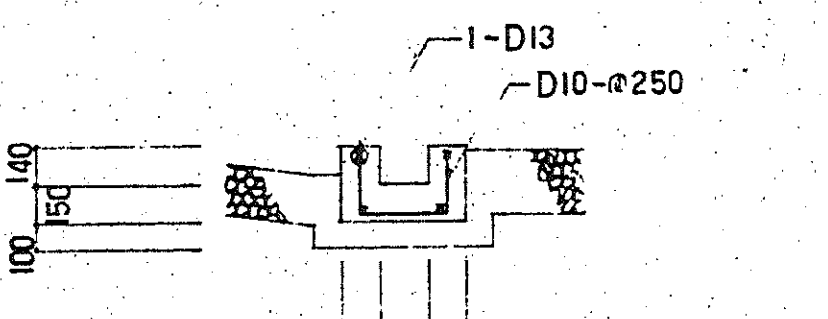
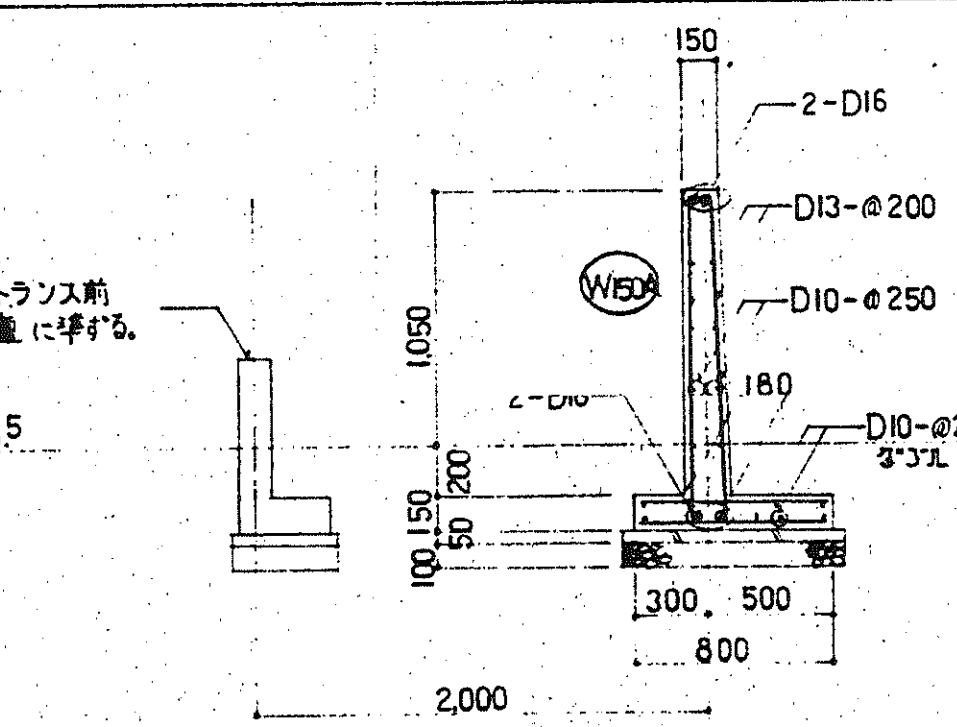
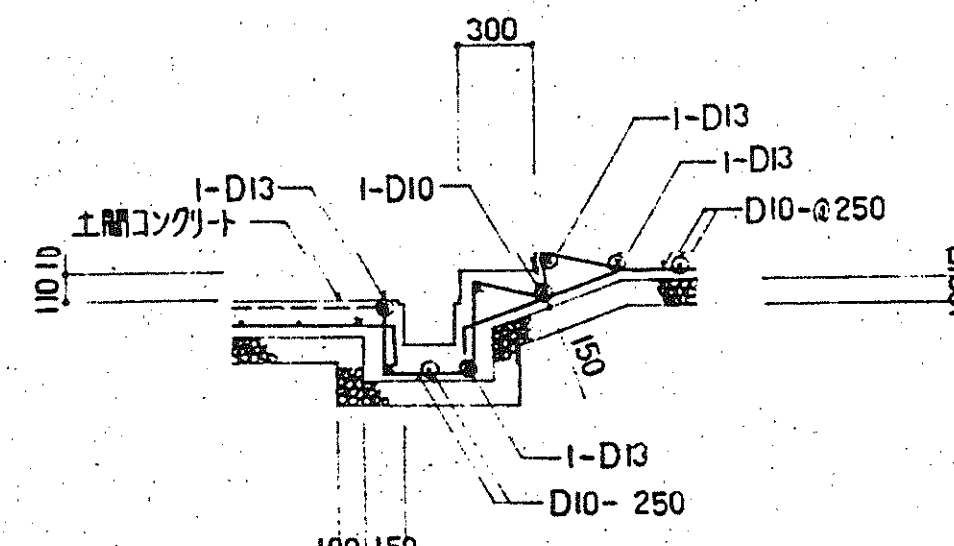
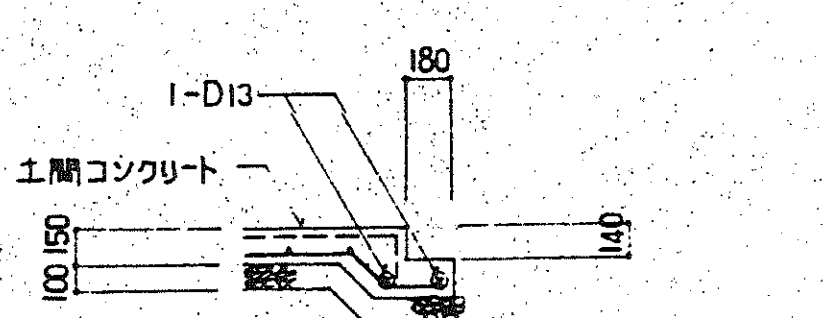
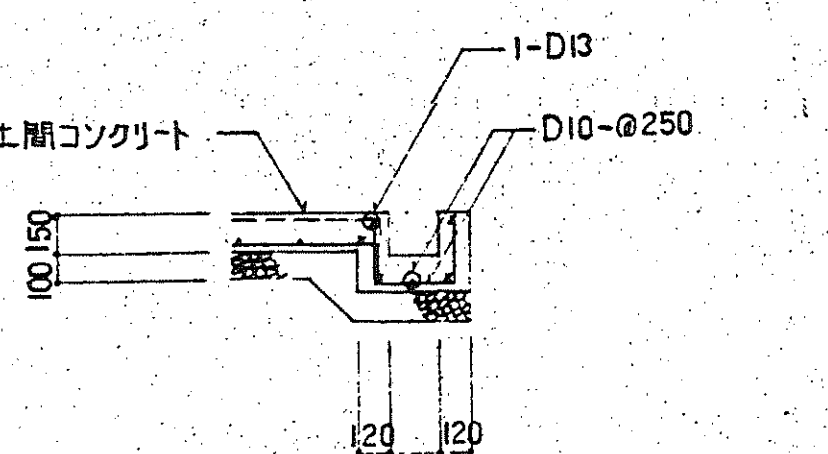
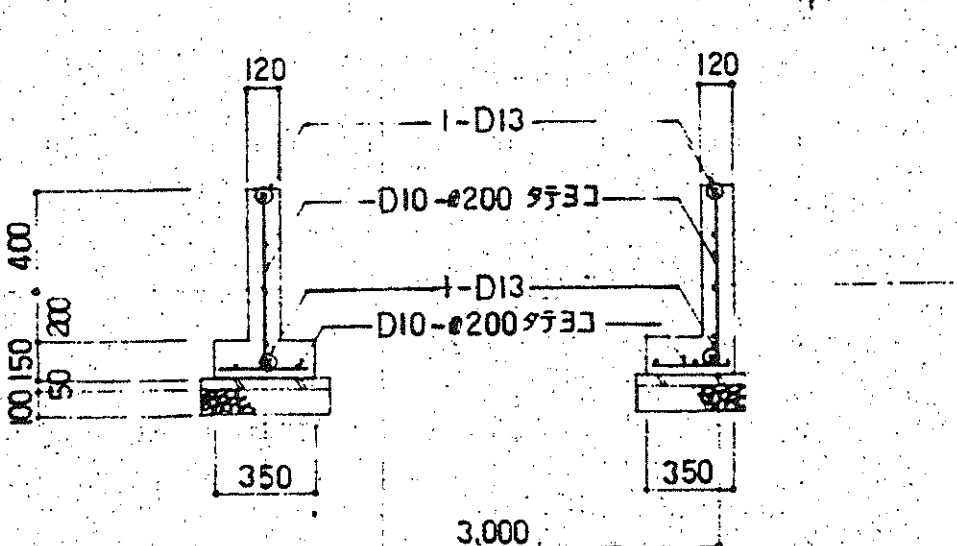
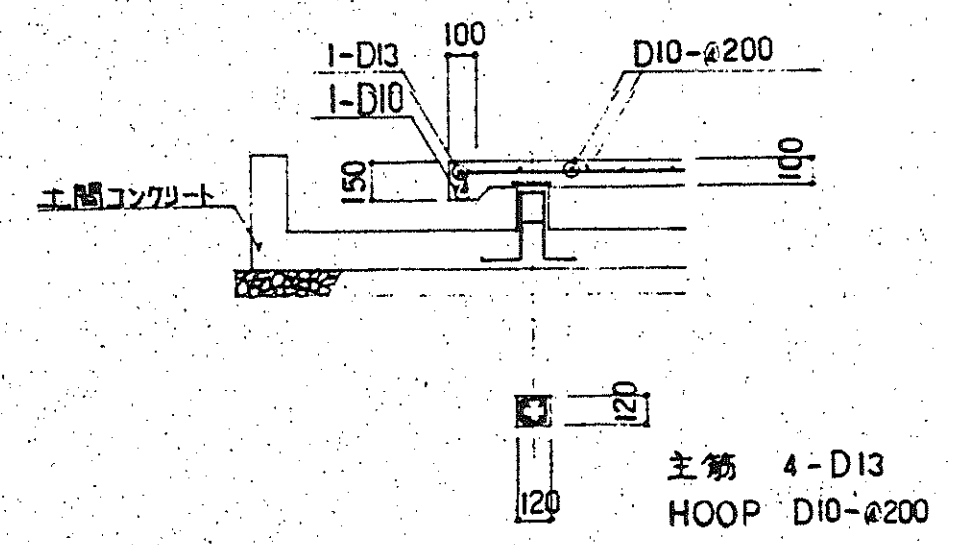
縮尺=1:30

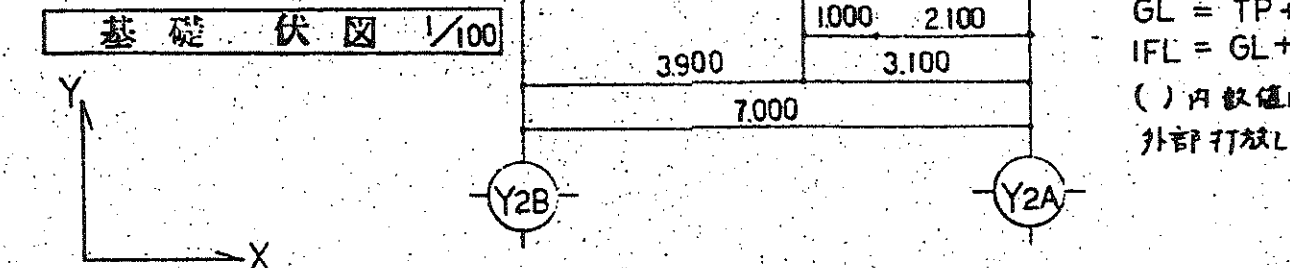
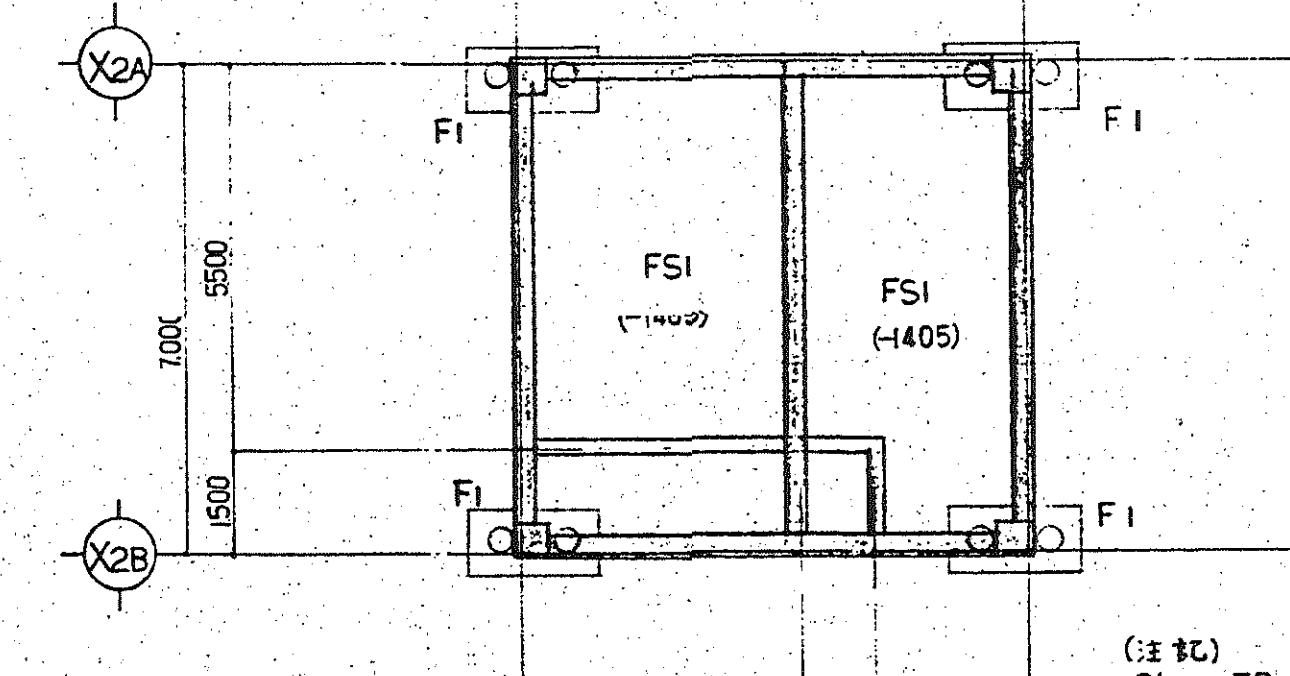
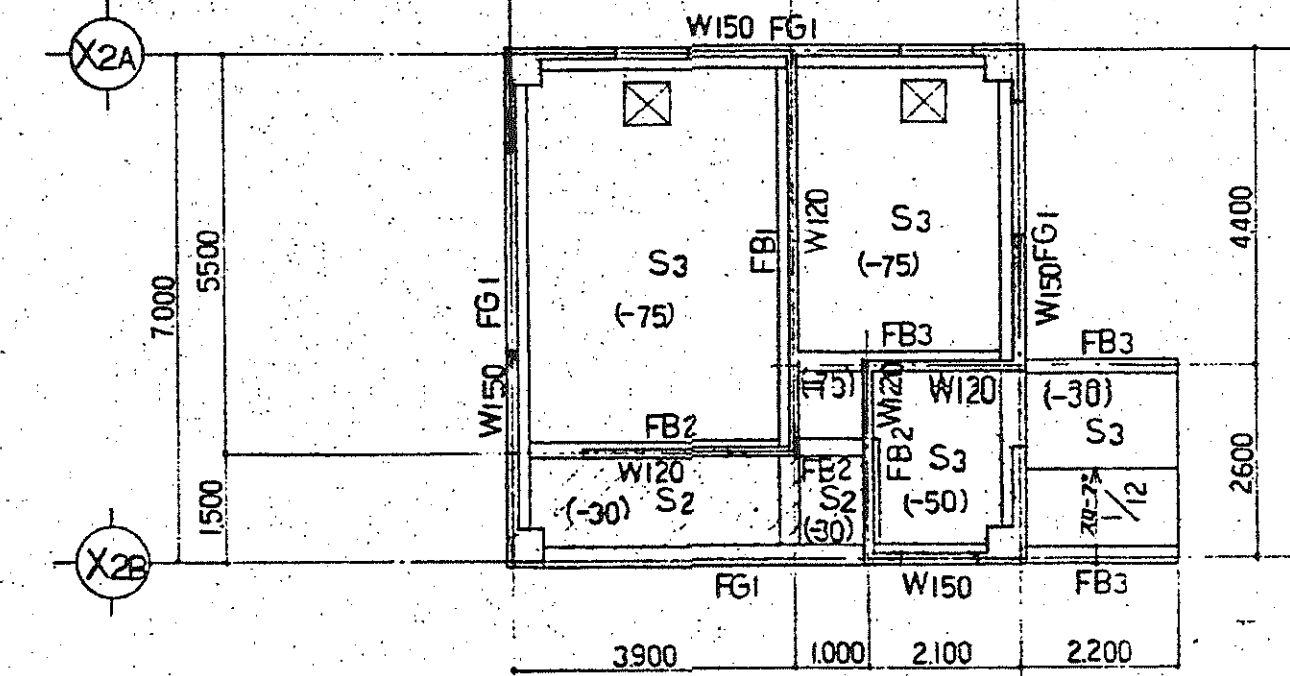
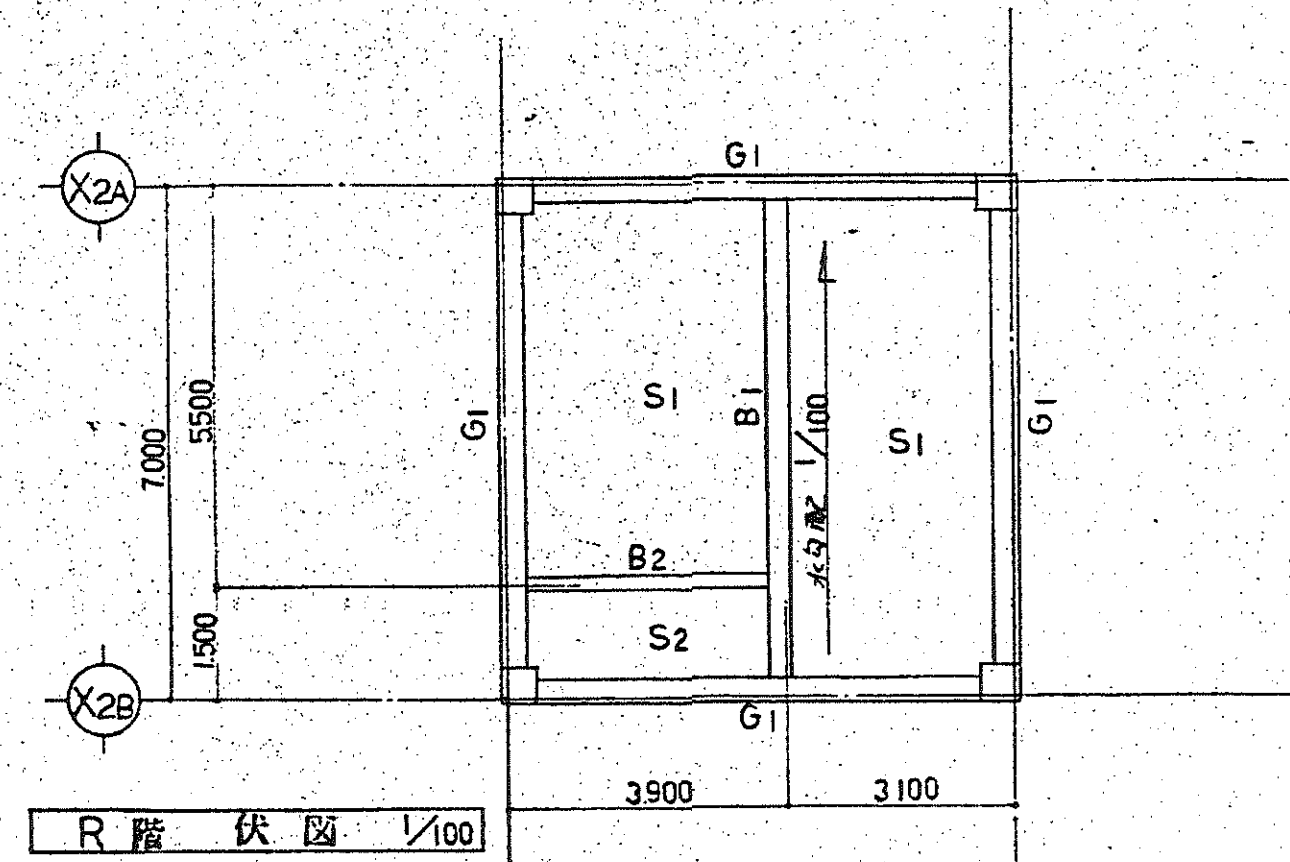


売店 外部階段

縮尺=1:30



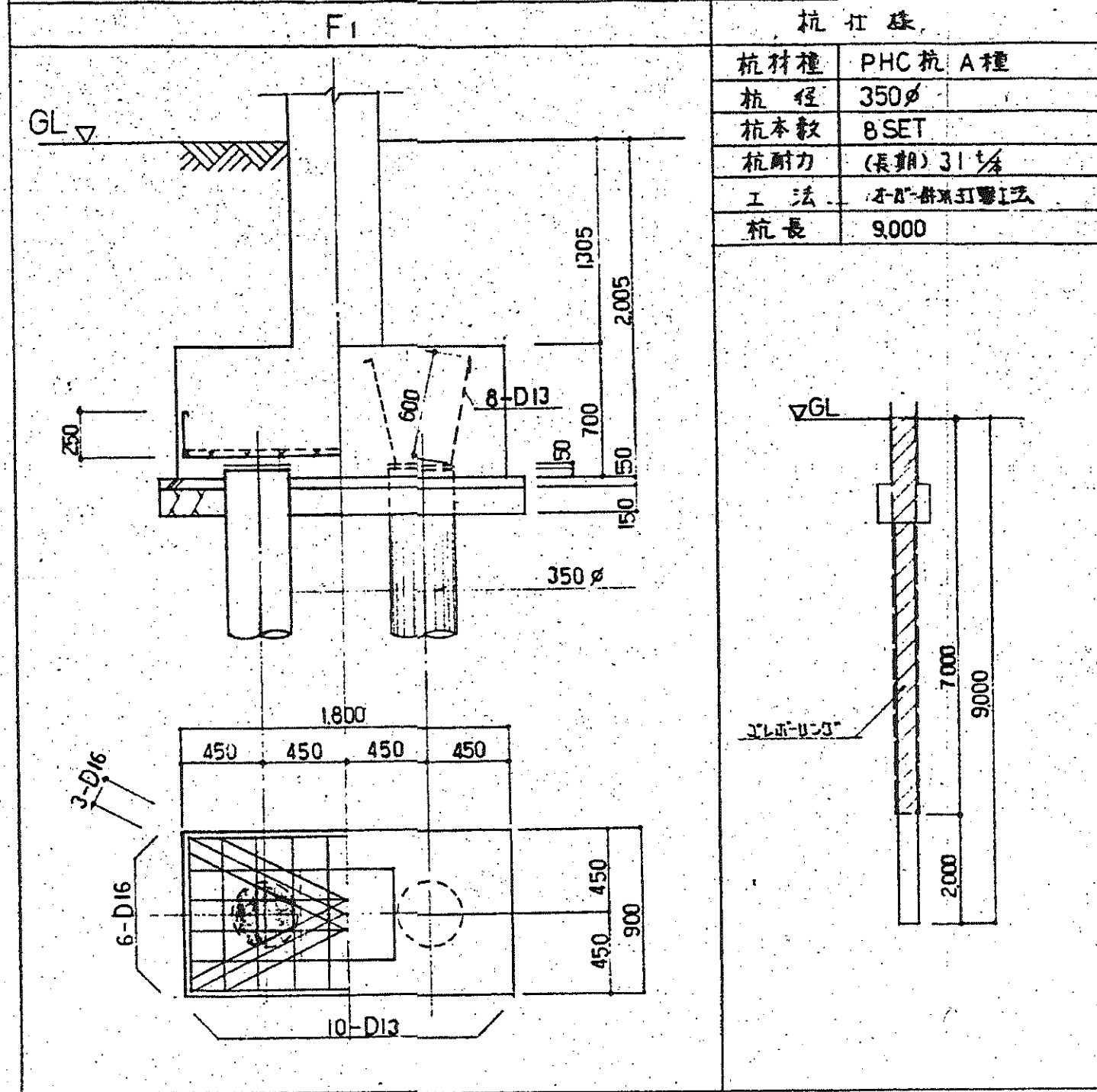
<p>土間コンクリート</p> 	<p>クリンカータイル ~ エボキシモルタル 見切り</p> 	<p>ライティングエリア ベンチ</p> 	<p>テラスエリア ベンチ</p> 
<p>プールサイド 床目土</p> 	<p>メインエントランス前 階段</p> 	<p>軽食・売店廻り 植栽ボックス</p> 	<p>テラスエリア ~ プールサイド 階段</p> 
<p>エボキシモルタル ~ 芝 見切り</p> 	<p>ILB ~ アスファルト舗装 見切り</p> 	<p>プールサイド ~ 遊物敷地 境界立ち上り部</p> 	<p>事務室前外部 階段</p> 
<p>エボキシモルタル ~ ILB 見切り</p> 	<p>クリンカータイル ~ 芝 見切り</p> 	<p>メインエントランス前 自転車置場 花壇</p> 	<p>カステード</p> 



使用材料	
コンクリート	Fc = 210 $\frac{kg}{cm^2}$
捨てコンクリート	Fc = 135 $\frac{kg}{cm^2}$
鉄筋	SD30

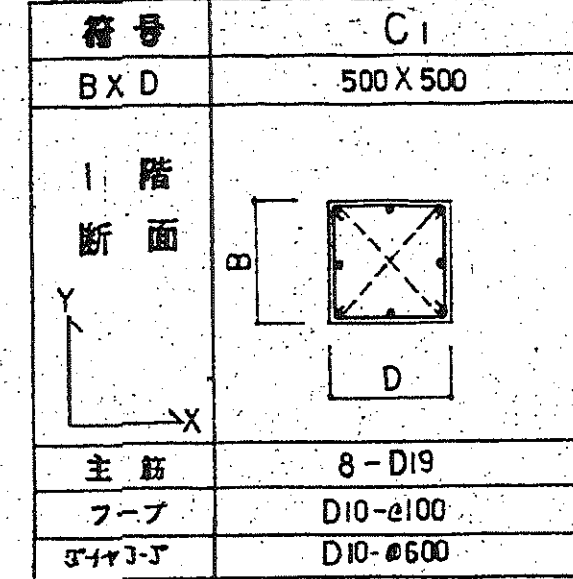
(注) GL = TP+75
IFL = GL+100
() 内数値はFLからのレベル差を示す。
外部打放し側のフックは $\phi 20$ とする。

基礎リスト $\frac{1}{30}$

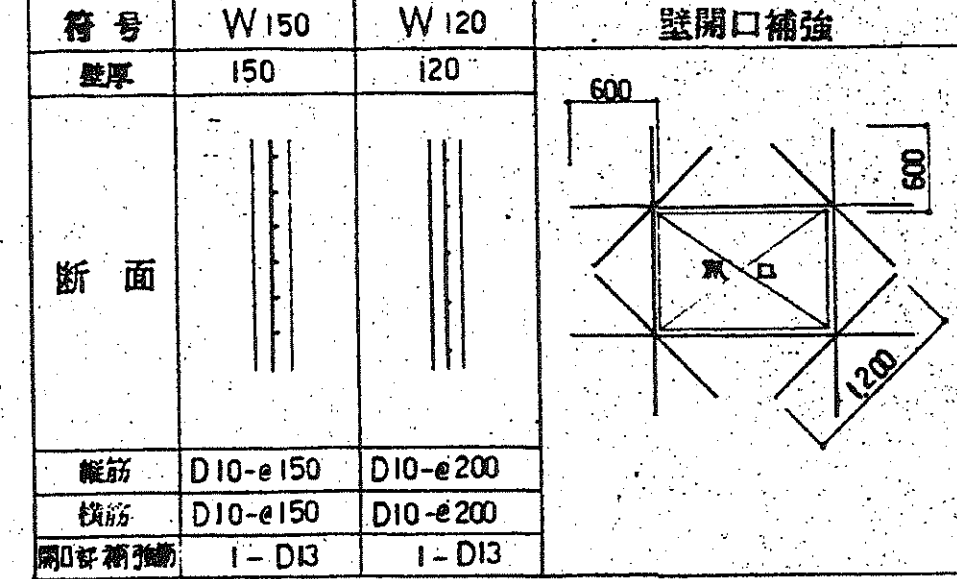


杭仕様	
杭材種	PHC杭 A種
杭径	350 ϕ
杭本数	8SET
杭耐力	(長期) 31 $\frac{kg}{cm^2}$
工法	圧入-継ぎ目工法
杭長	9,000

柱リスト $\frac{1}{30}$



壁リスト $\frac{1}{30}$



大梁、小梁リスト $\frac{1}{30}$

符号	G1		B1		B2
	端部	中央	端部	中央	
位置					全断面
R階断面					
B x D	350 x 650		300 x 600		250 x 500
上端筋	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22
下端筋	3-D22	3-D22	2-D22	4-D22	2-D22
スタールラップ	D10- $\phi 150$		D10- $\phi 200$		D10- $\phi 200$
腹筋	2-D10		2-D10		

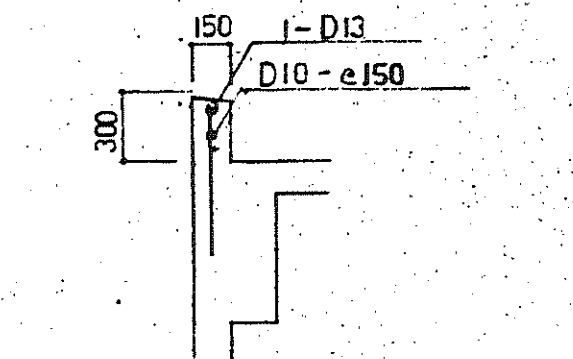
地中梁リスト $\frac{1}{30}$

符号	FG1		FB1		FB2	FB3
	端部	中央	端部	中央		
位置					全断面	全断面
断面						
B x D	300 x 1,350		250 x 1,350		220 x 1,350	300 x 600
上端筋	3-D22	2-D22	1-D22	2-D22	2-D16	3-D22
下端筋	3-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D16	3-D22
スタールラップ	D13- $\phi 250$		D10- $\phi 200$		D10- $\phi 200$	D10- $\phi 200$
腹筋	6-D10		6-D10		6-D10	2-D10

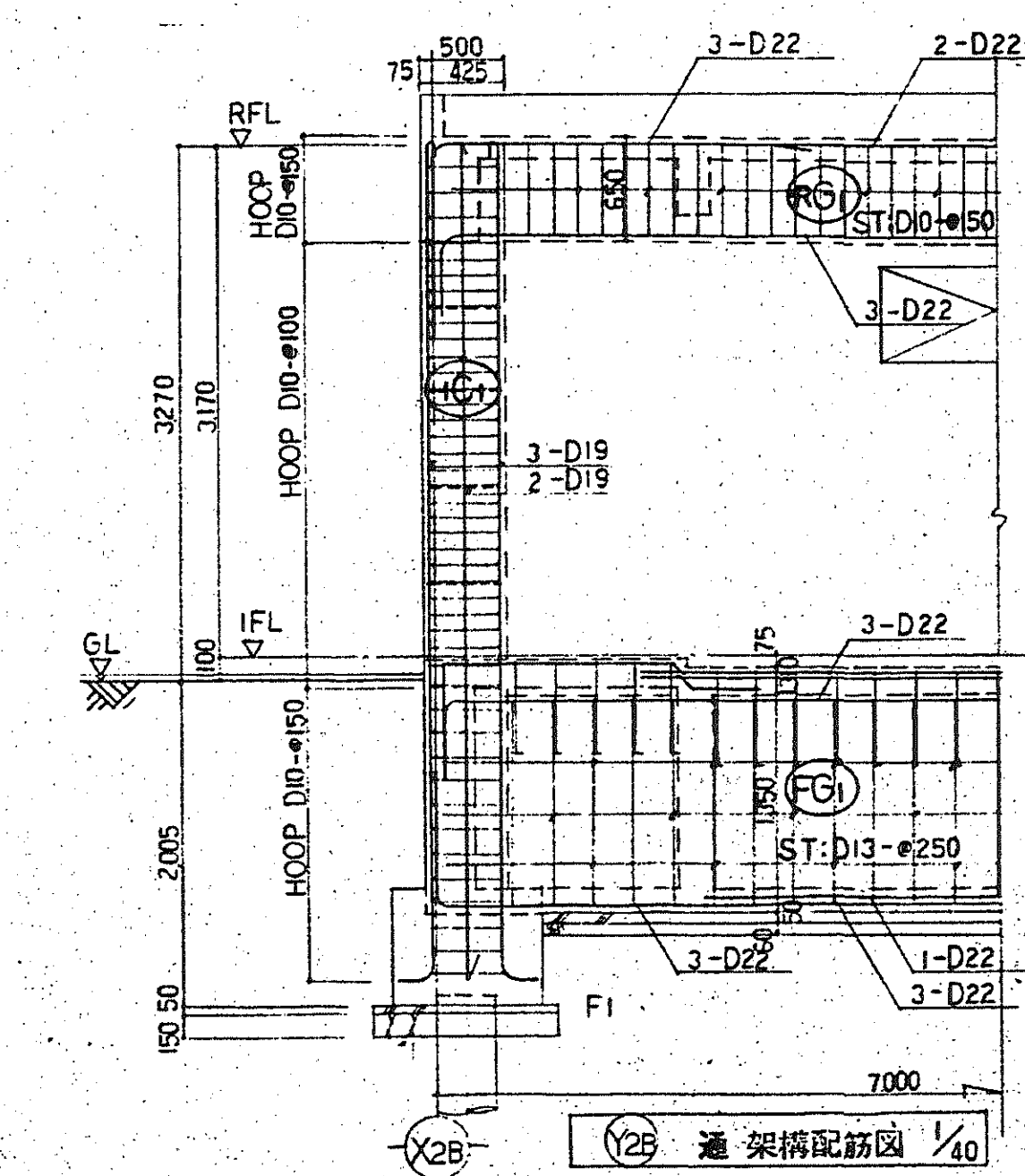
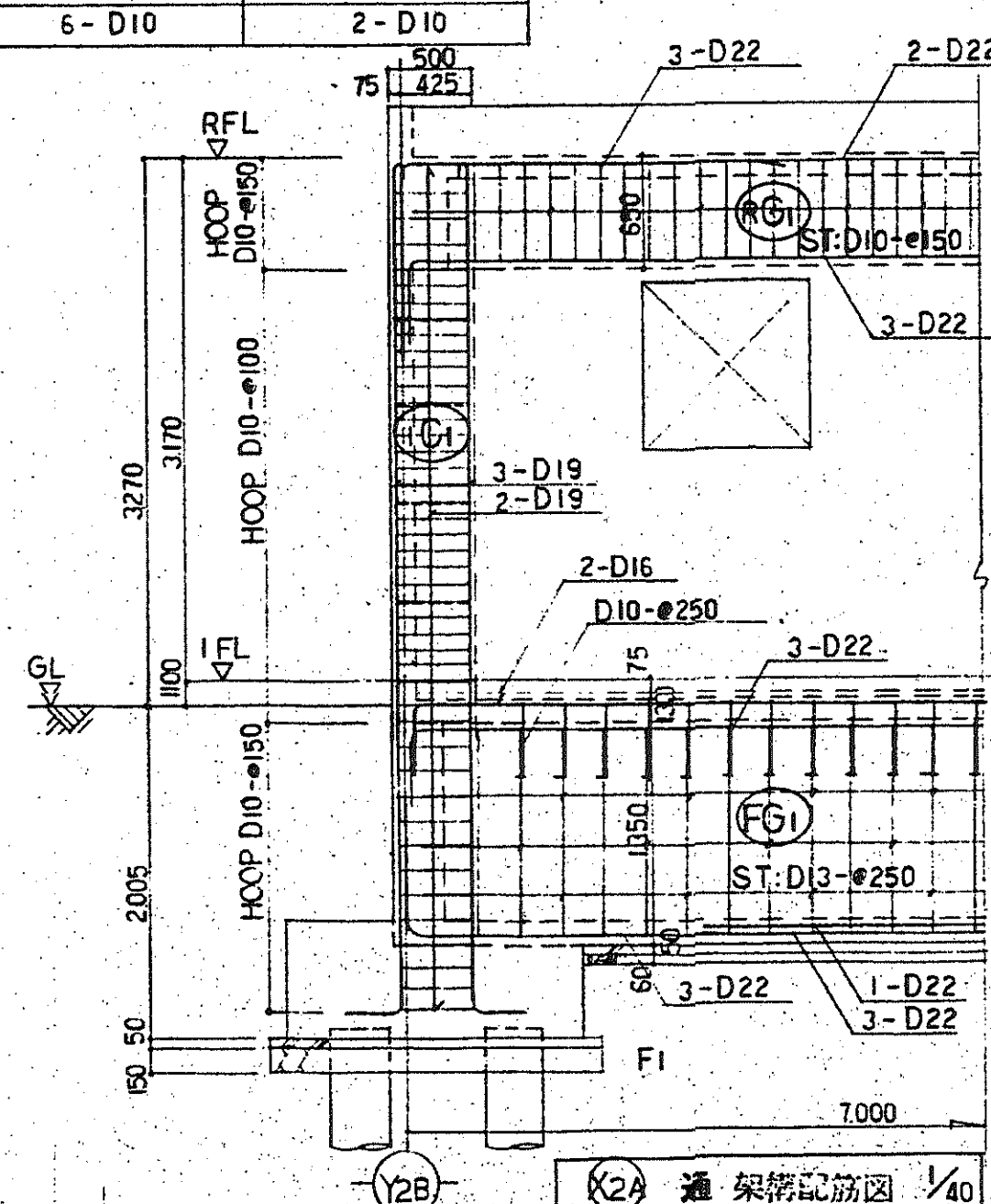
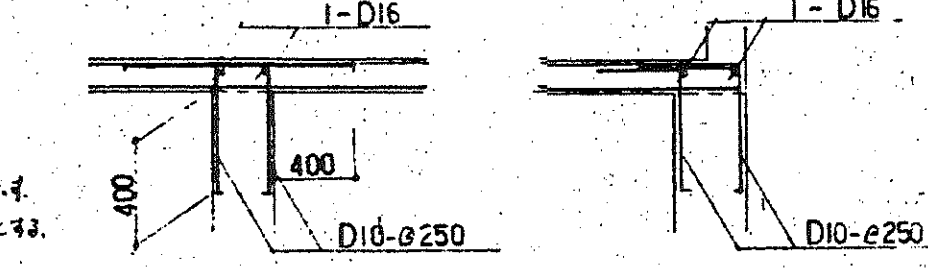
スラブリスト

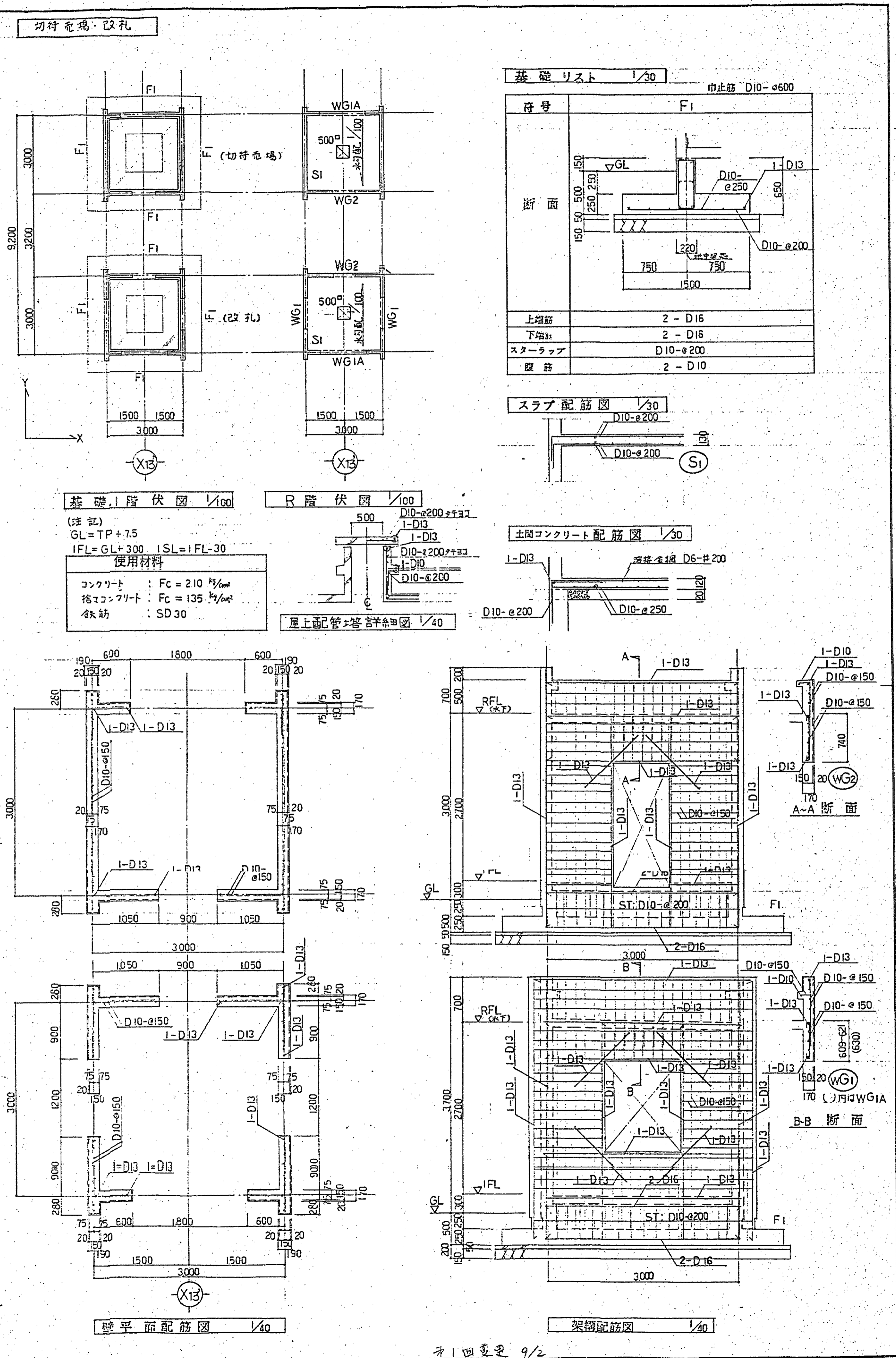
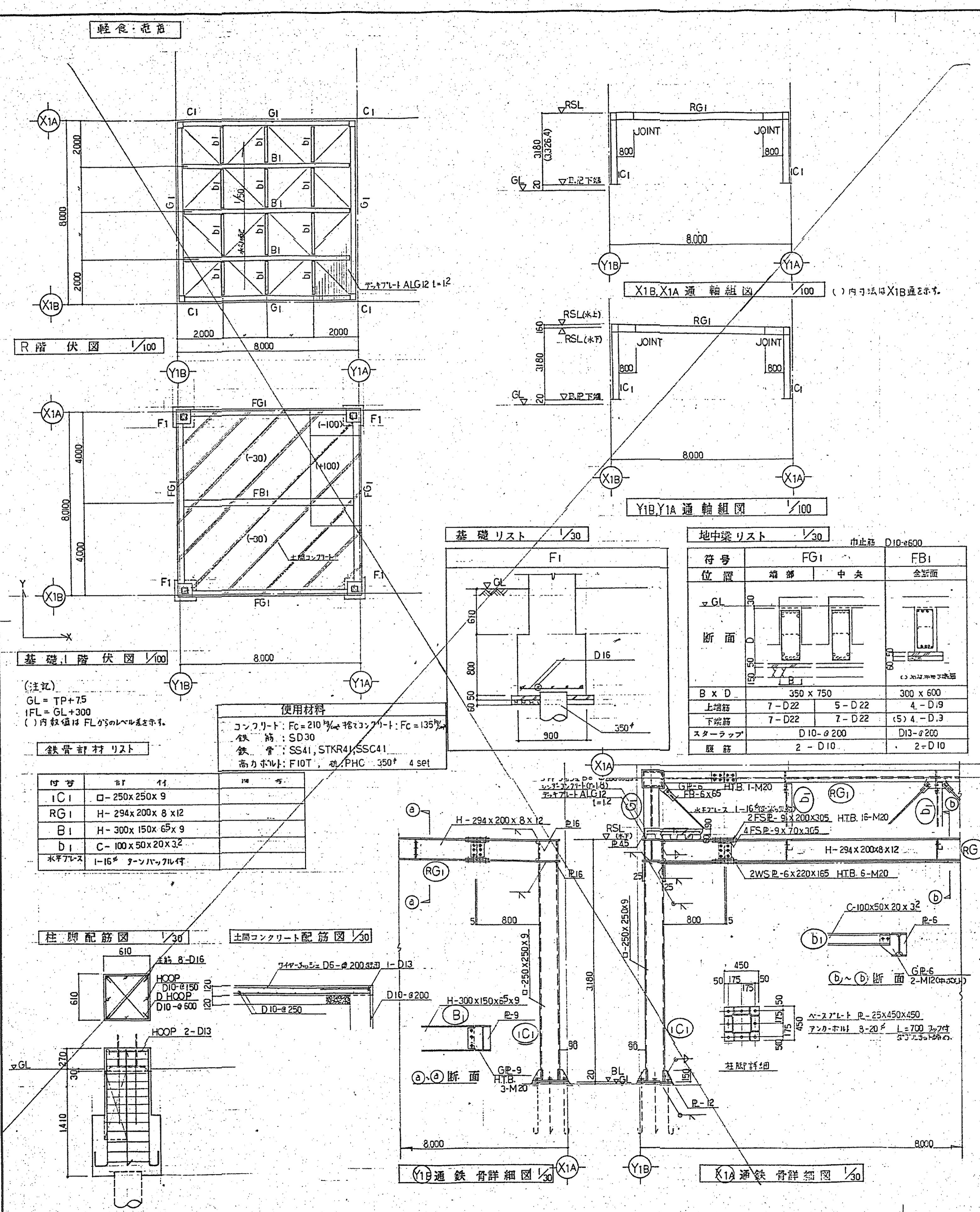
符号	位置	短辺方向		版厚	備考
		全断面	長辺方向全断面		
S1	上端筋	D13 D10- $\phi 200$	D13 D10- $\phi 250$	130	
	下端筋	D13 D10- $\phi 200$	D13 D10- $\phi 250$		
S2	上端筋	D10- $\phi 200$	D10- $\phi 200$	130	
	下端筋	D10- $\phi 200$	D10- $\phi 200$		
S3	上端筋	D13 D10- $\phi 200$	D13 D10- $\phi 200$	130	地床 ブロック+ $\phi 50$ 敷み材 $\phi 60$
	下端筋	D13 D10- $\phi 200$	D13 D10- $\phi 200$		
FS1	上端筋	D10- $\phi 200$	D10- $\phi 200$	150	地床 ブロック+ $\phi 50$ 敷み材 $\phi 60$
	下端筋	D10- $\phi 200$	D10- $\phi 200$		

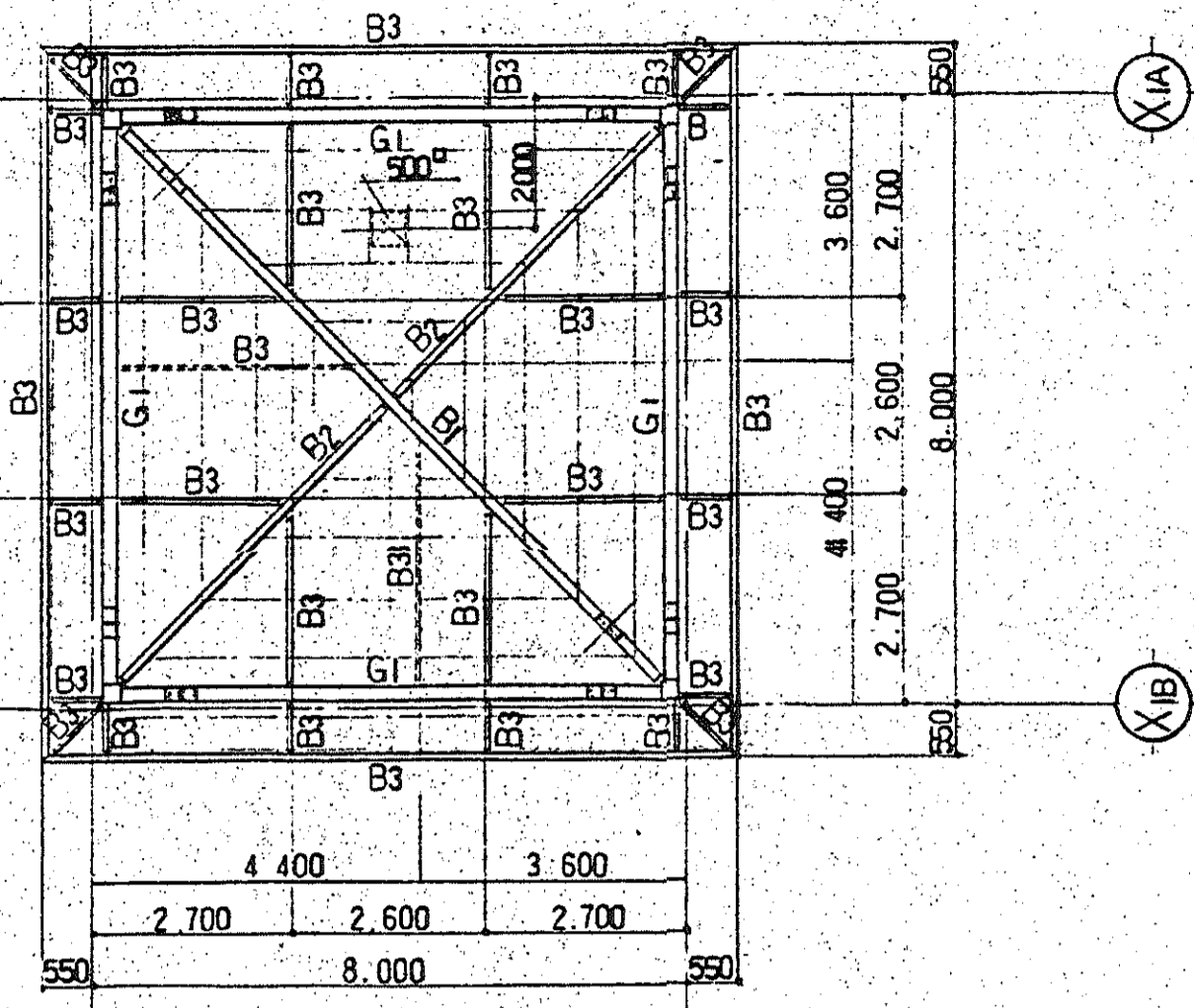
パラベットの配筋図 $\frac{1}{30}$



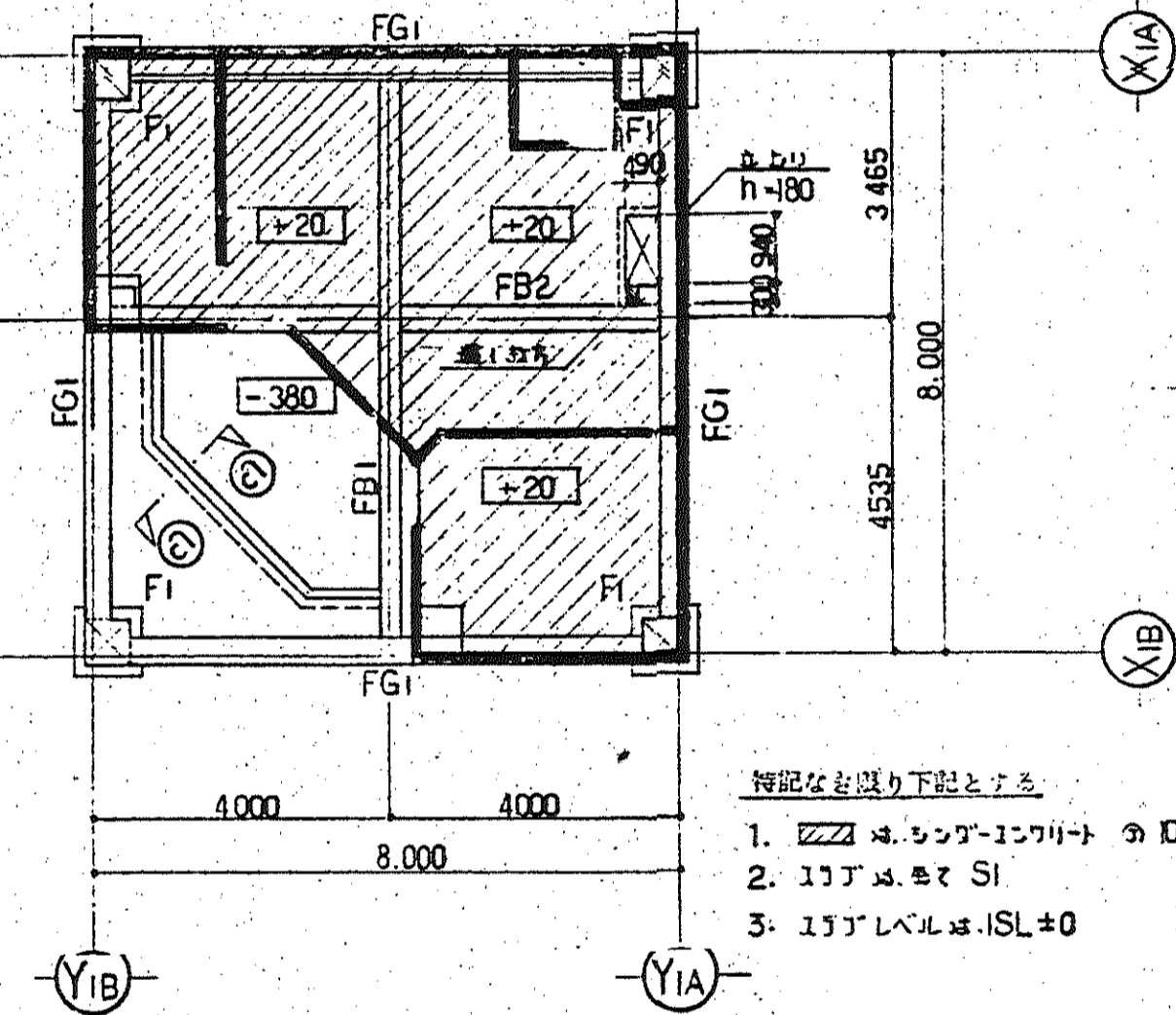
IF床と地中梁の取合い $\frac{1}{30}$



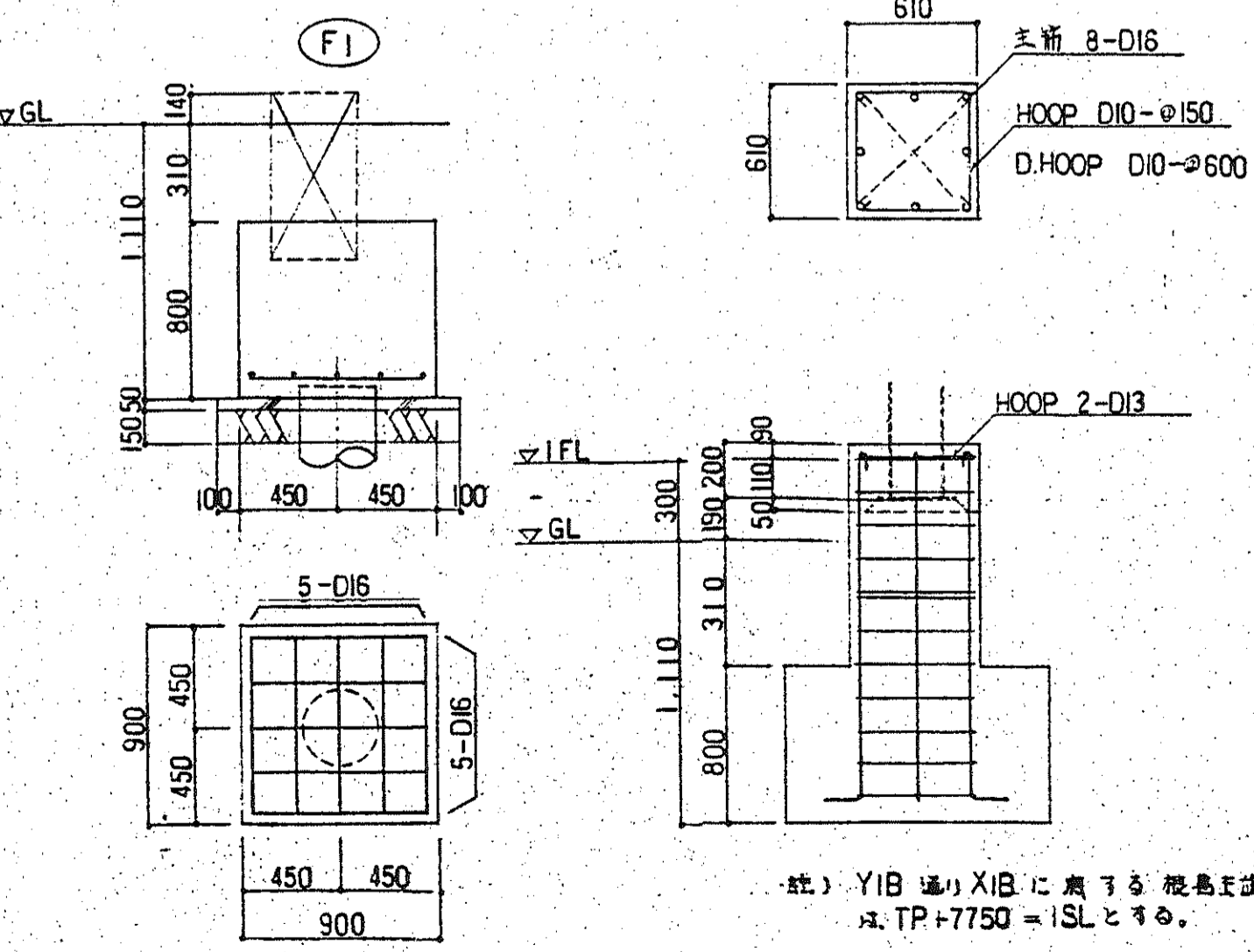




屋根伏図 1/100

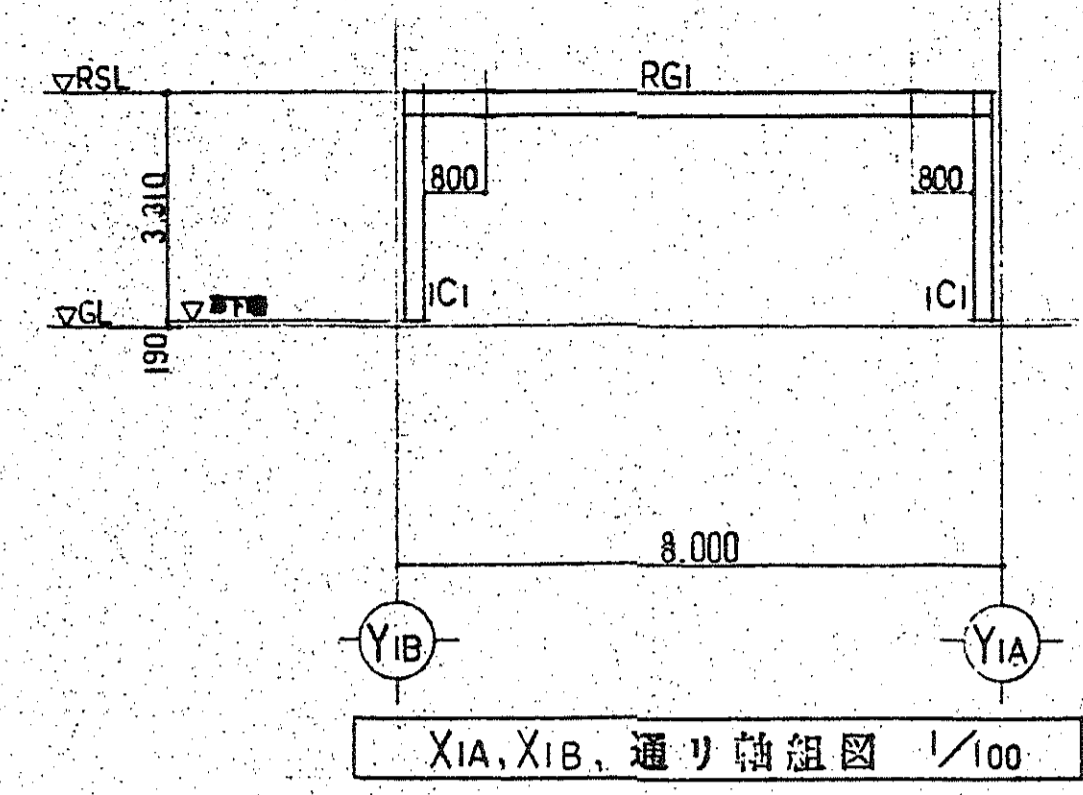


基礎、1階伏図 1/100

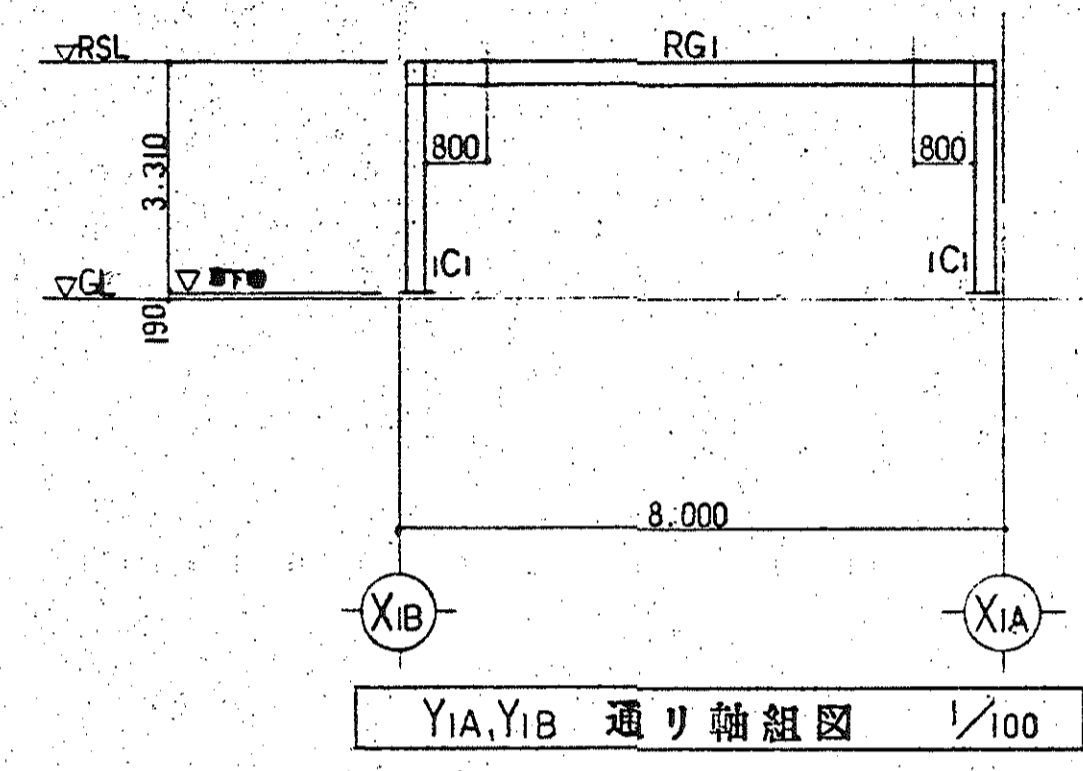


基礎詳細図 1/30

柱脚配筋図 1/30



XIA, XIB, 通り軸組図 1/100



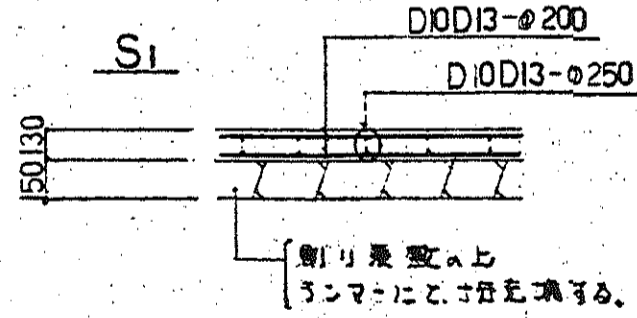
YIA, YIB 通り軸組図 1/100

(換記)
 GL=TP+75
 IFL=GL+300
 ISL=IFL-50+TP+75

鉄骨部材リスト

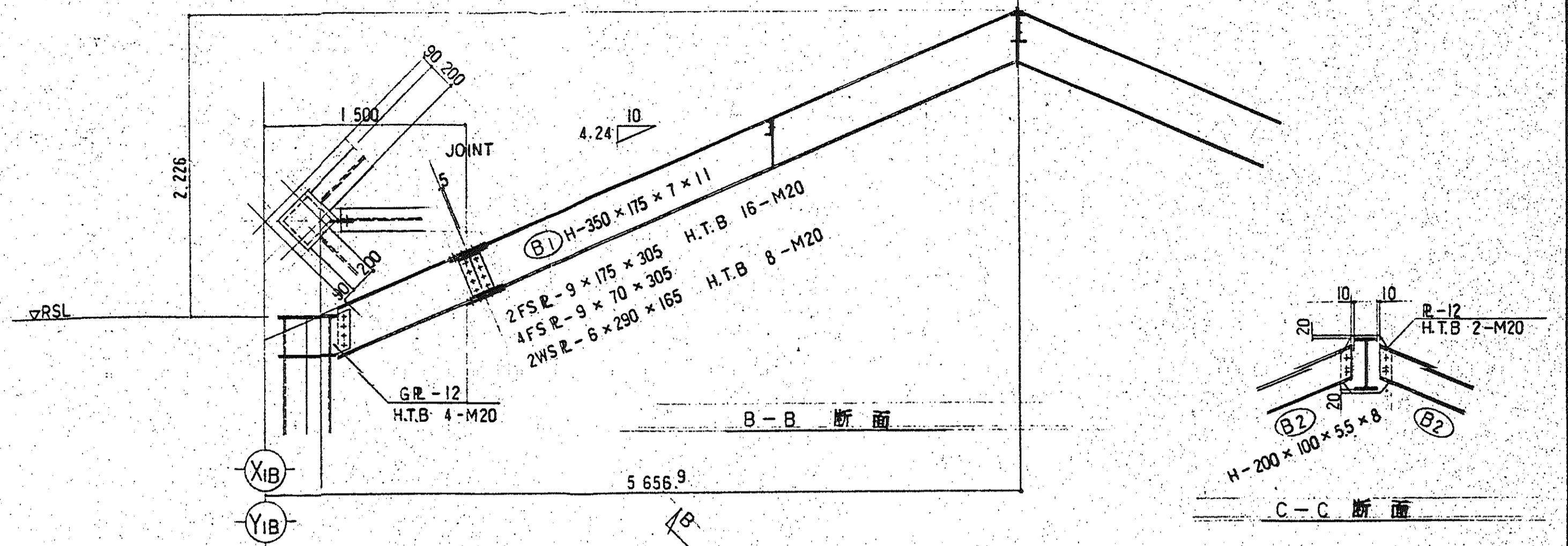
符号	部材	備考	使用材料
C1	□-250×250×9		コンクリート: Fc=210 ^{kg/cm²}
G1	H-294×200×8×12		軽コンクリート: Fc=135 ^{kg/cm²}
B1	H-350×175×7×11		鉄筋: SD30
B2	H-200×100×5.5×8		鉄骨: SS41, STKR41, SSC41
B3	C-100×50×5×7.5		高力ボルト: F10T 材: PHC 350 ^φ L=8,000 4本
P1	L-65×65×6		

スラブリスト



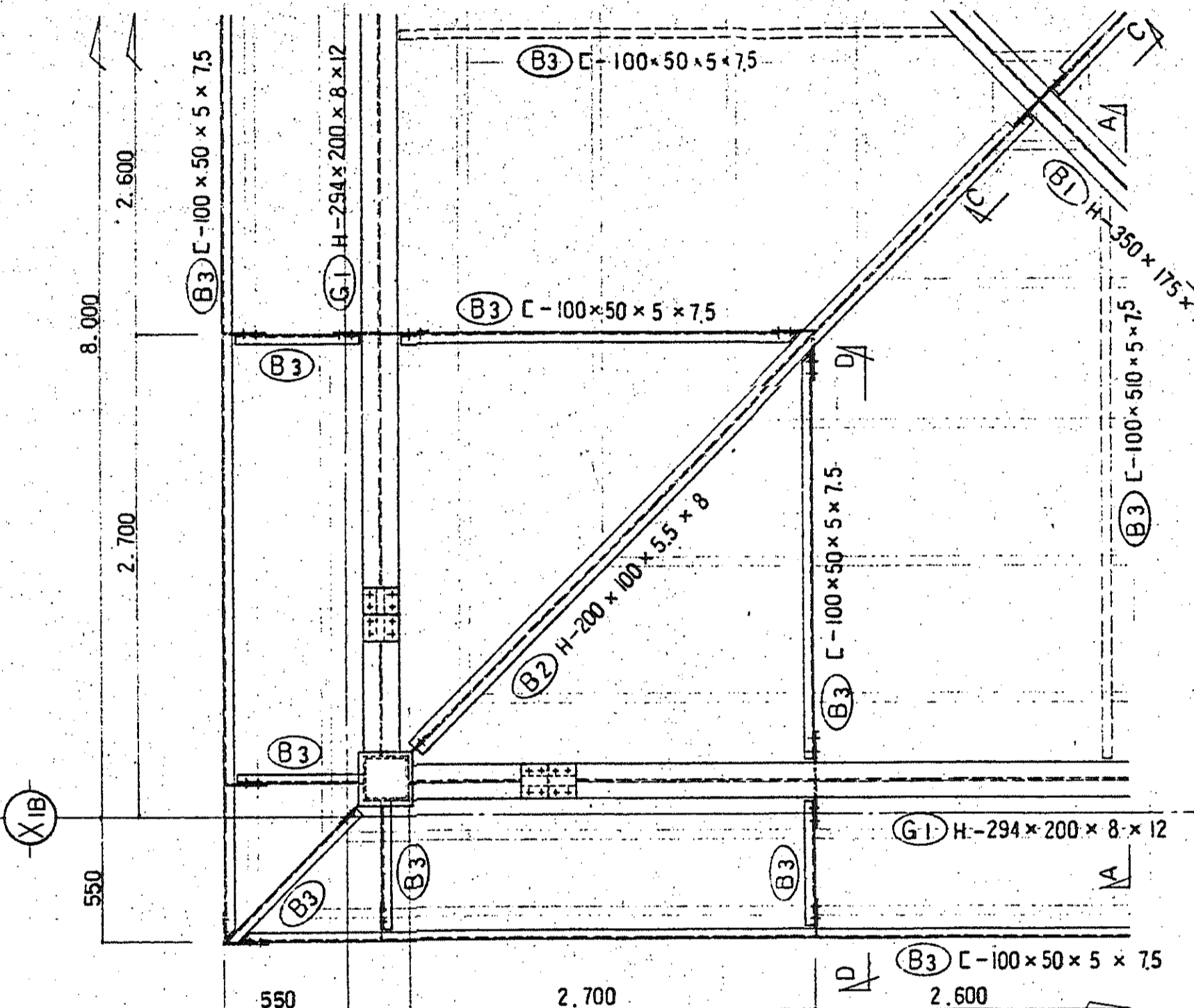
地中梁リスト

符号	FG1		FB1 (FB2)	
	端部	中央	端部	中央
断面				
B × D	350 × 750		300 × 650 (350 × 800)	
上端筋	7-D22	5-D22	4-D19	4-D19
下端筋	7-D22	7-D22	4-D19	5-D19
S.T.P	D13-φ200		D13-φ200(D10-φ150)	
腹筋	2-D10		2-D10	

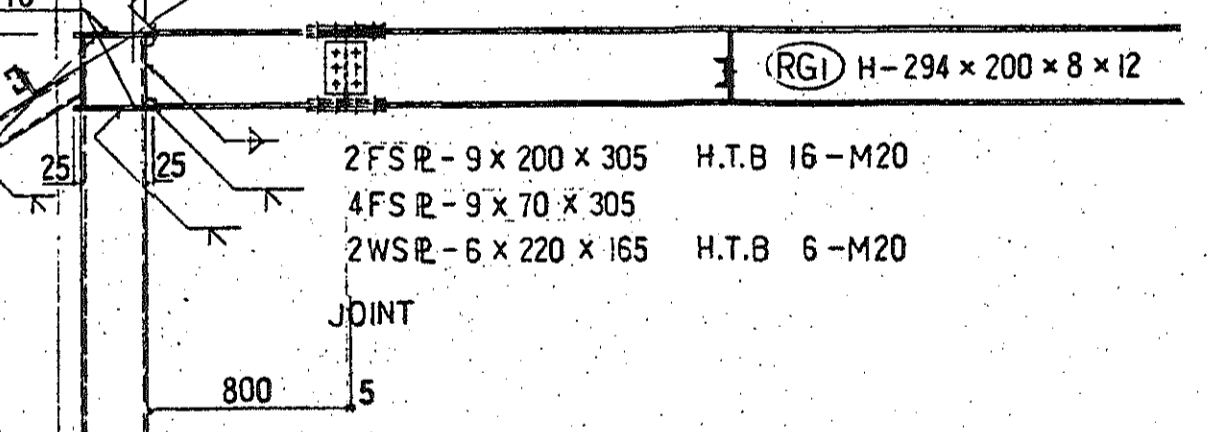


B-B 断面

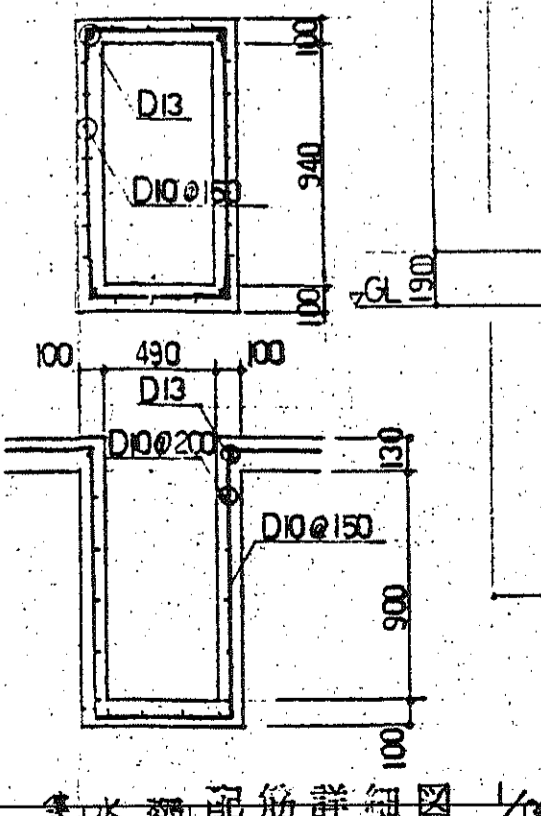
C-C 断面



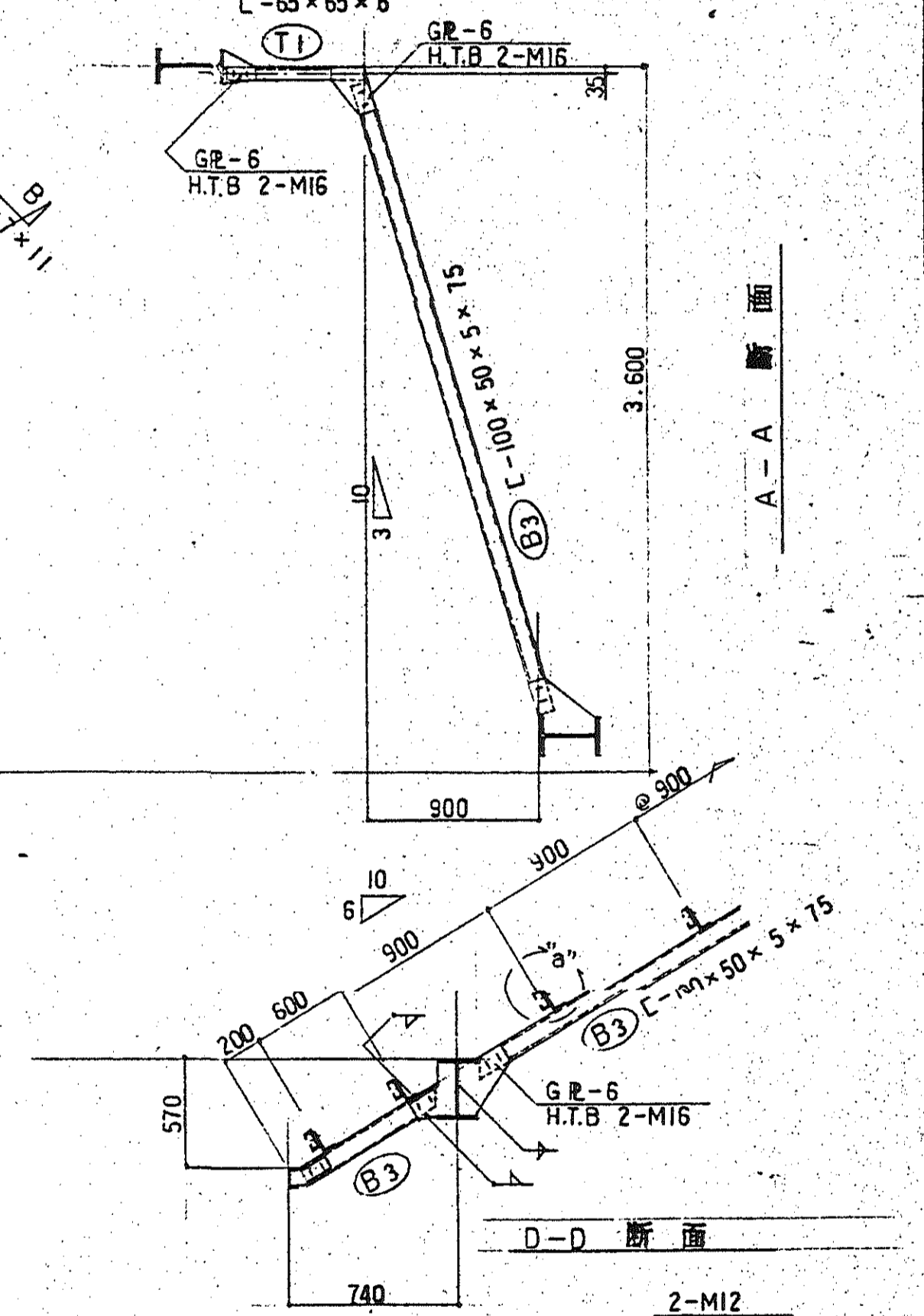
(XIB)



(C)-(C) 断面図 1/30

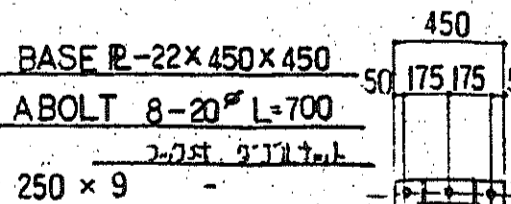


柱脚配筋詳細図 1/30

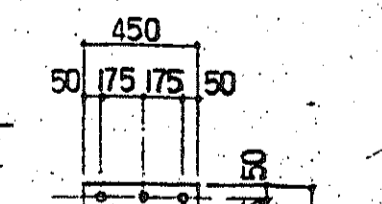


D-D 断面

"a" 詳細図 1/10

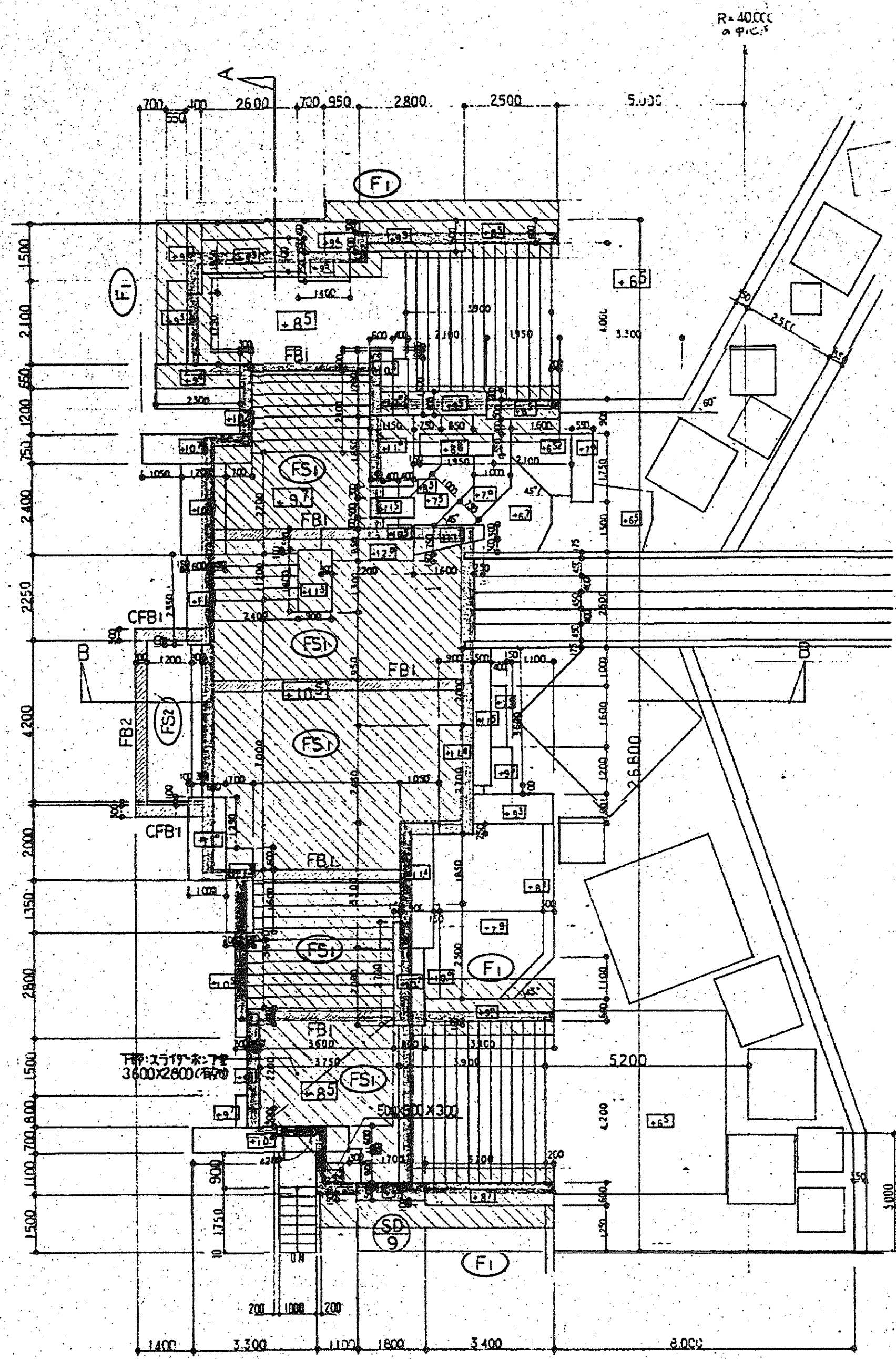


(YIB 通り XIA, YIA 通り XIA, XIB) 柱脚詳細図 1/30

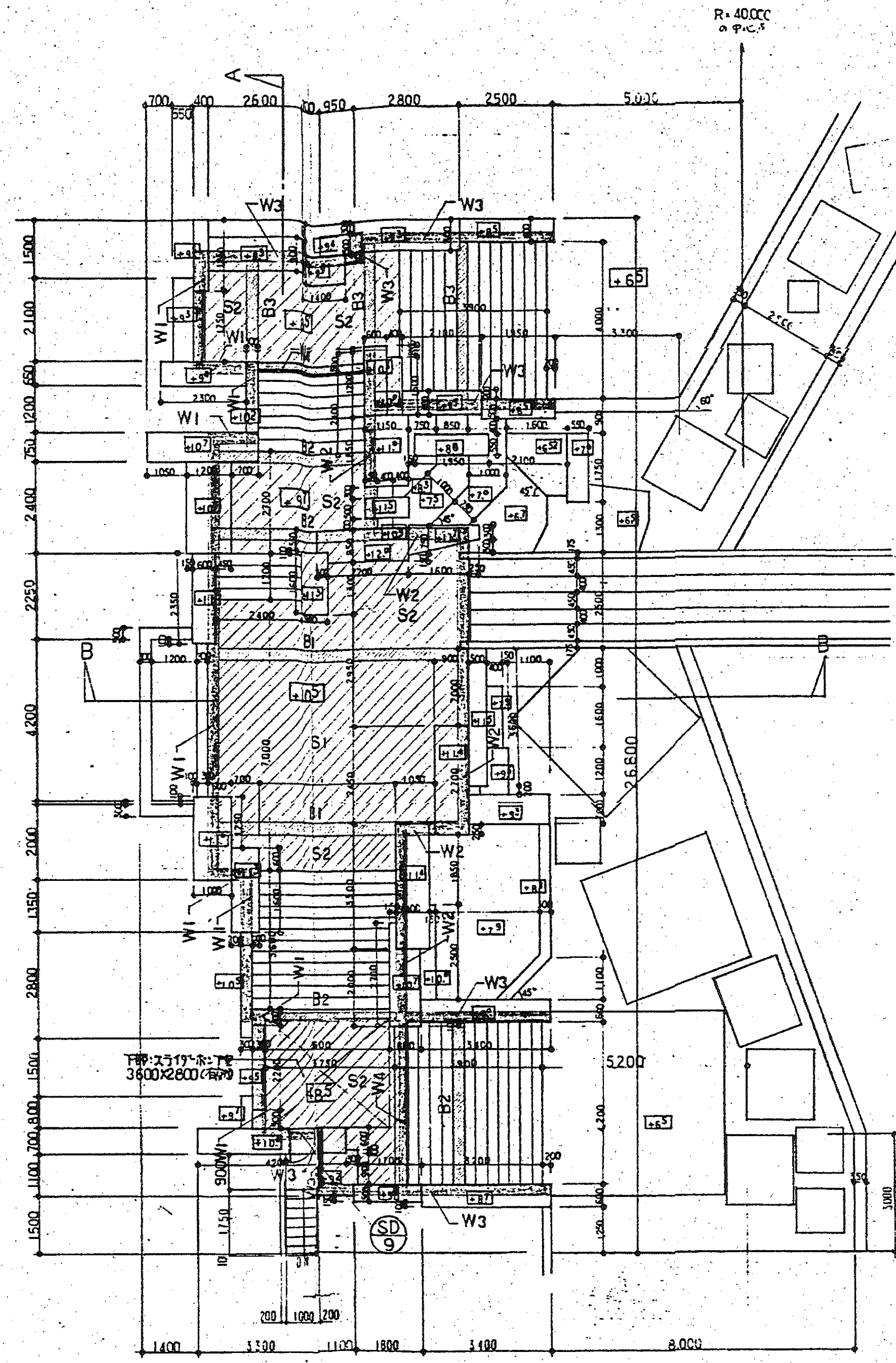


(YIB 通り XIB)

(XIB) 通り鉄骨詳細図 1/30



基礎伏図 縮尺=1:100



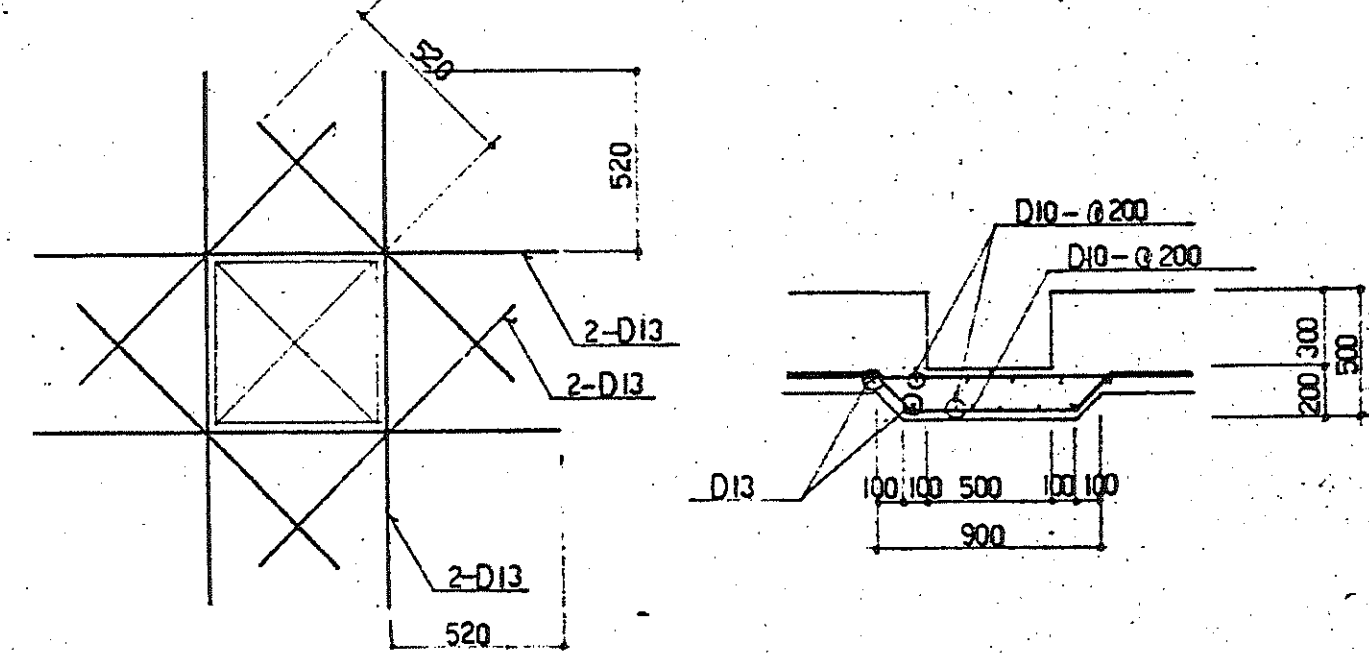
床伏図 縮尺=1:100

小梁断面表 縮尺=1:30 共通事項: 鉄筋 2-D10 巾止ノ筋 D10-φ1000

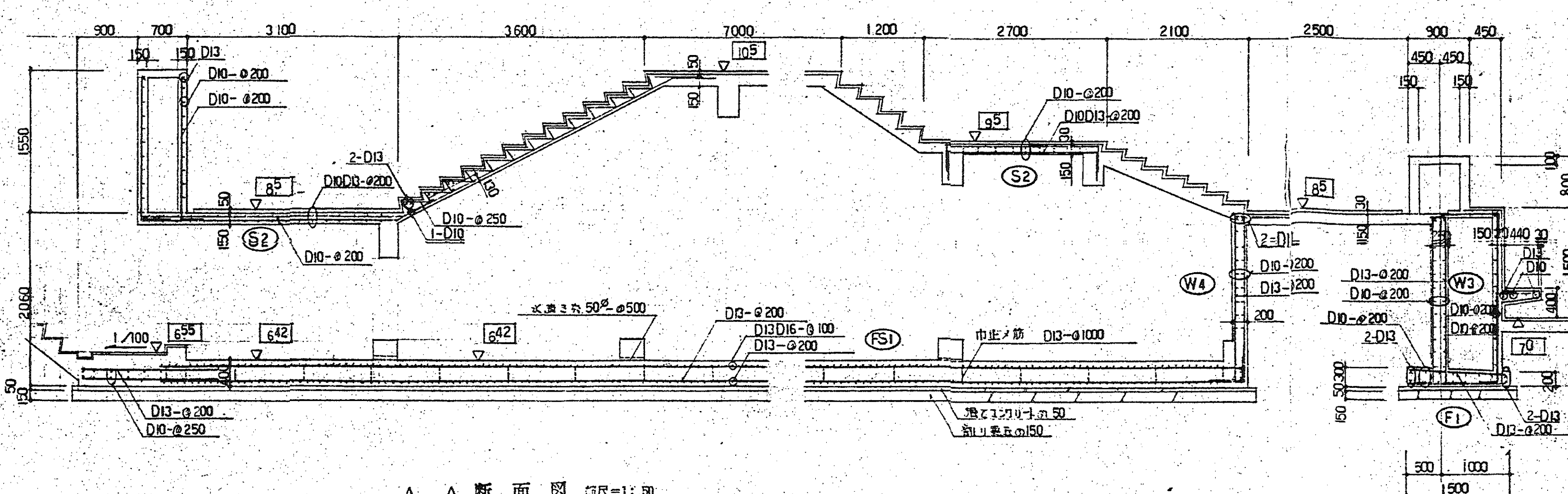
符号	B1		B2	B3
	位置	中央	全断面	全断面
断面				
	350 x 650		300 x 650	300 x 500
上筋筋	3-D22		3-D22	3-D19
下筋筋	3-D22		4-D22	3-D19
スターアップ	D13-φ200		D10-φ200	D10-φ200

基礎梁断面表 縮尺=1:30 共通事項: 鉄筋 2-D10 巾止ノ筋 D10-φ1000

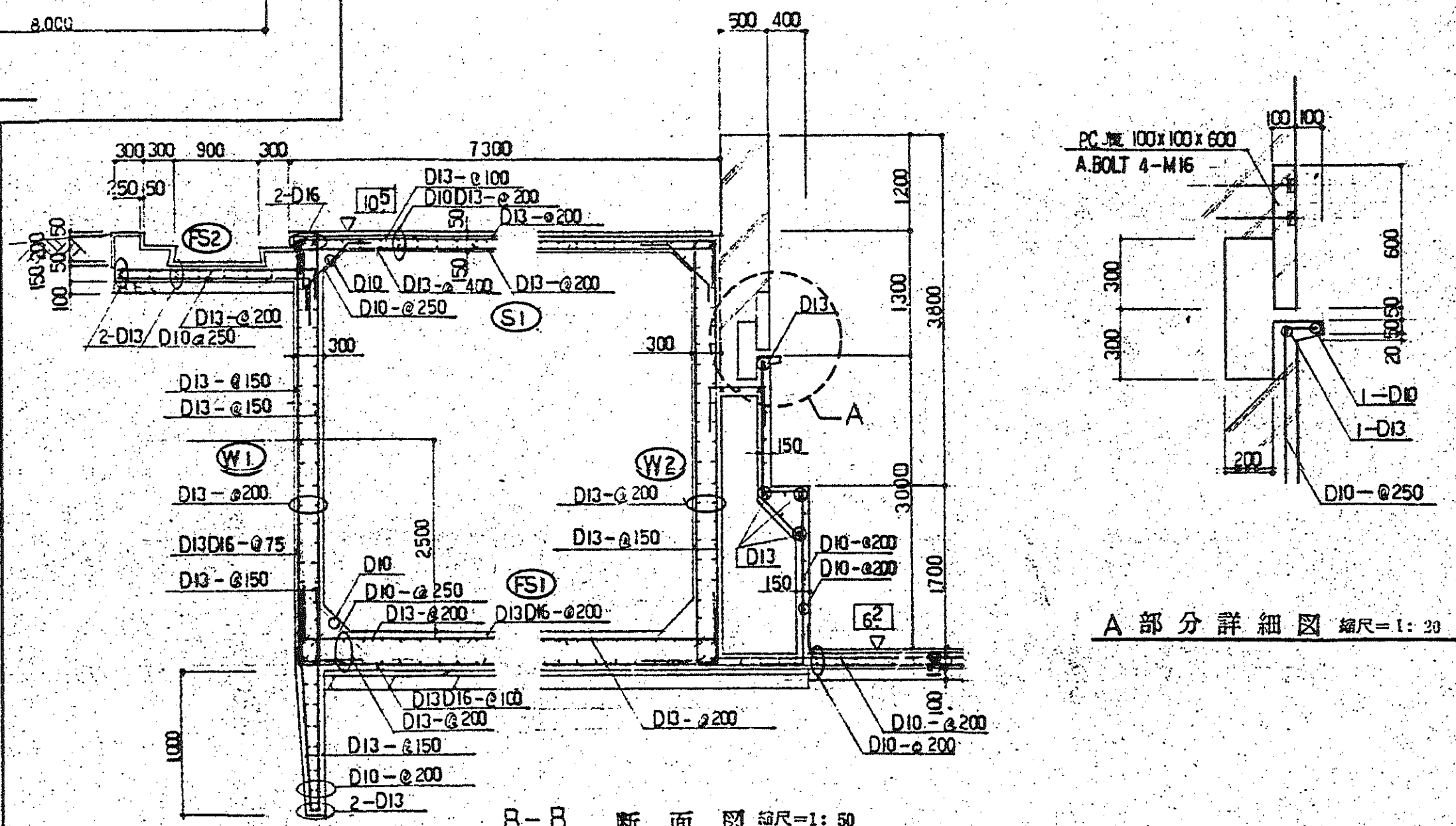
符号	FB1		FB2	CFB1	
	位置	中央	全断面	元端	元端
断面					
	350 x 700		250 x 400	250 x 400	
上筋筋	3-D22		4-D22	2-D19	3-D19
下筋筋	3-D22		3-D22	2-D19	2-D19
スターアップ	D13-φ200		D10-φ200	D10-φ200	



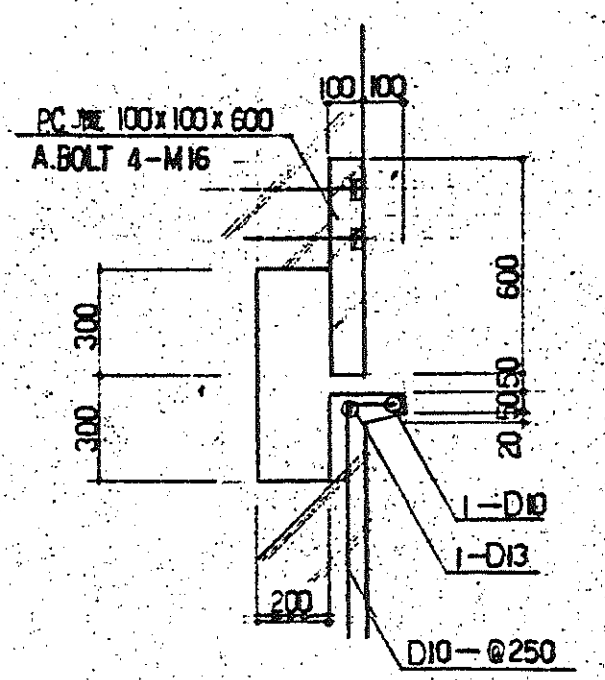
開口補強要領図 縮尺=1:20 水配筋要領図 縮尺=1:30



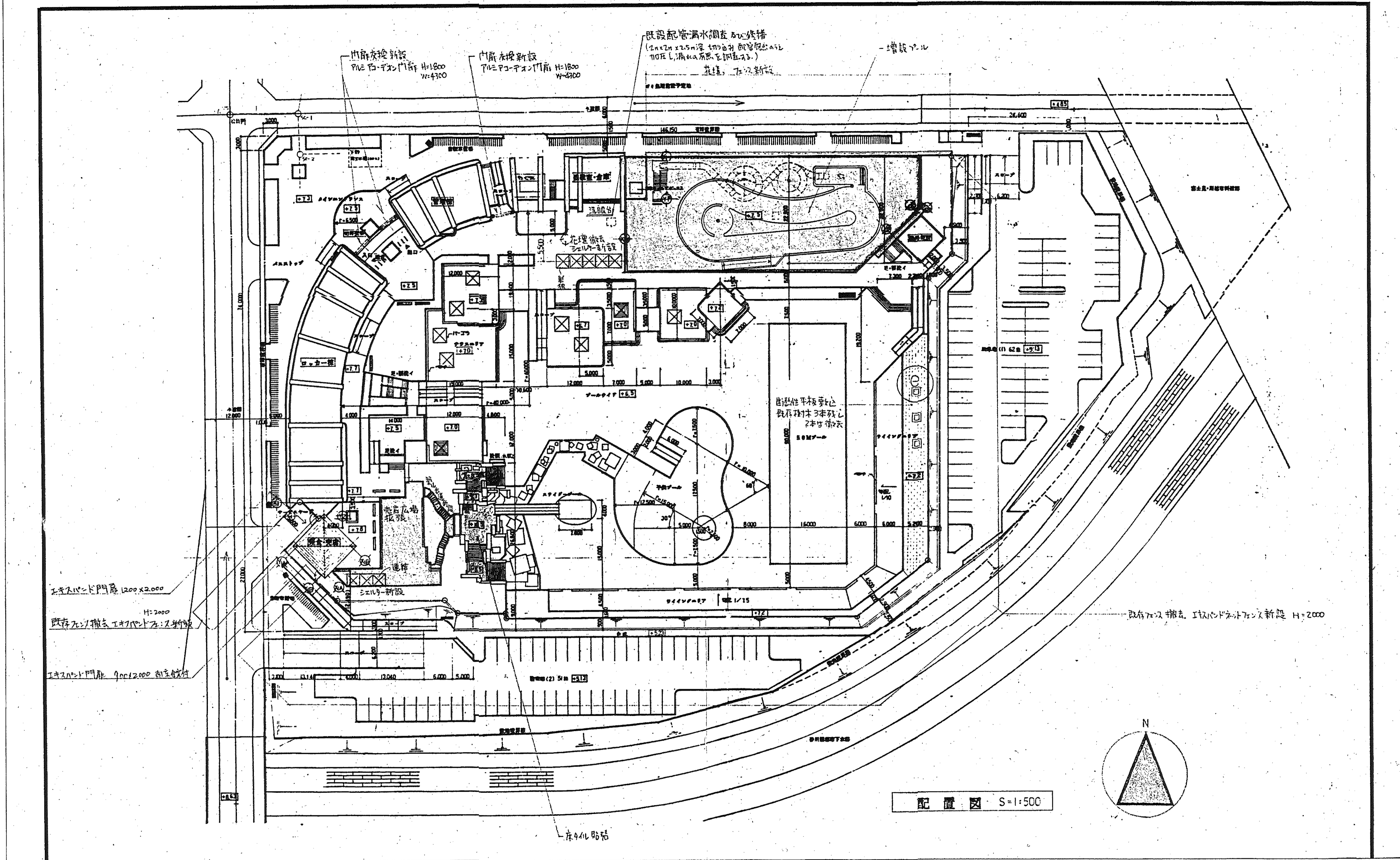
A-A 断面図 縮尺=1:50



B-B 断面図 縮尺=1:50



A部分詳細図 縮尺=1:20



整理番号
R5年富士見市

株式会社柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8920 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaisoke@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 照査 設計 製図
柳井

NOTE

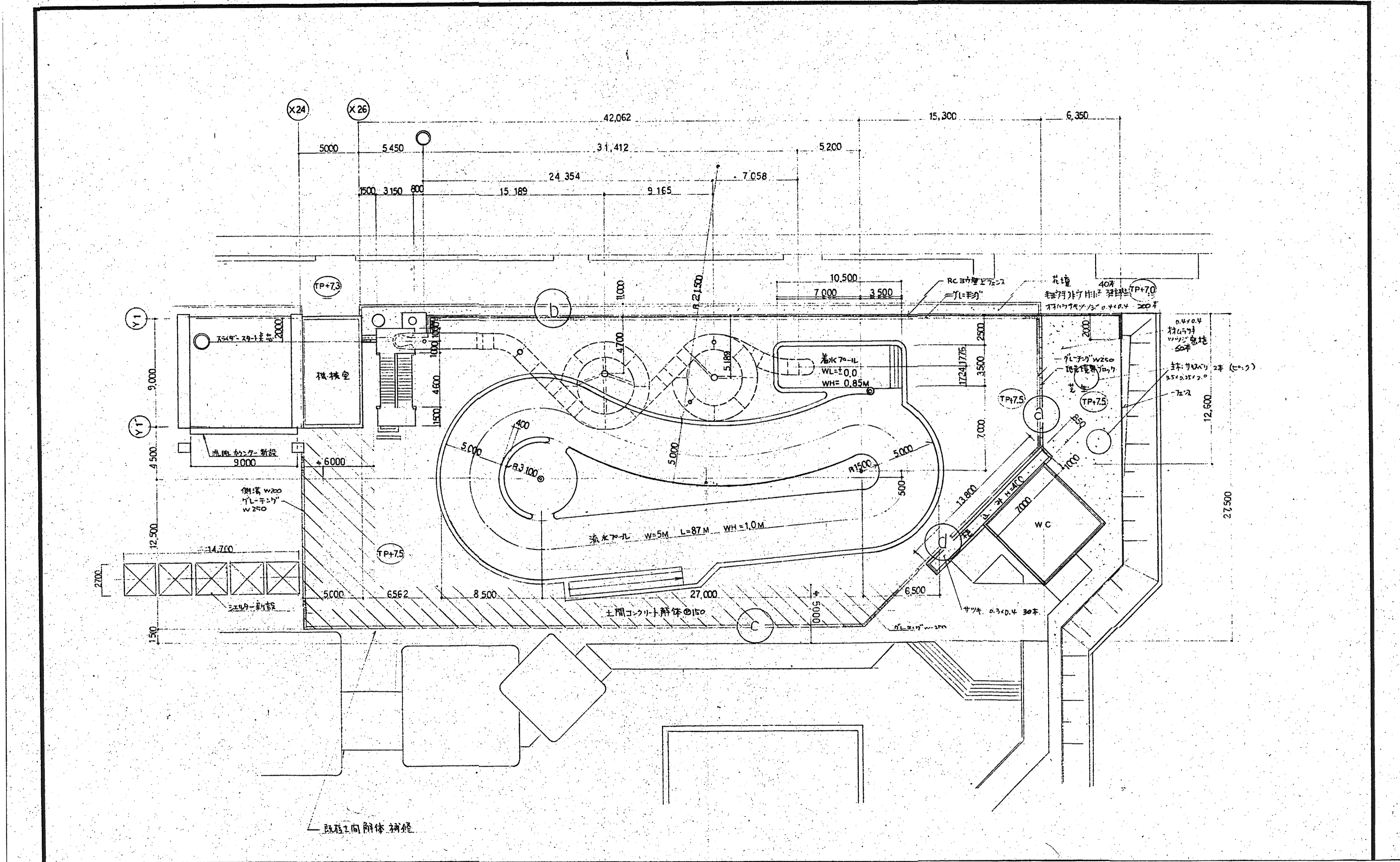
富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事
図面名 全体図

S-1:500 (A-1)
S-1:1,000 (A-3)

図面番号
KP
084



整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanai@koihi.fty.com

一級建築士 柳井博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認	照査	設計	製図	NOTE

製図
柳井

富士見市総務部営繕課

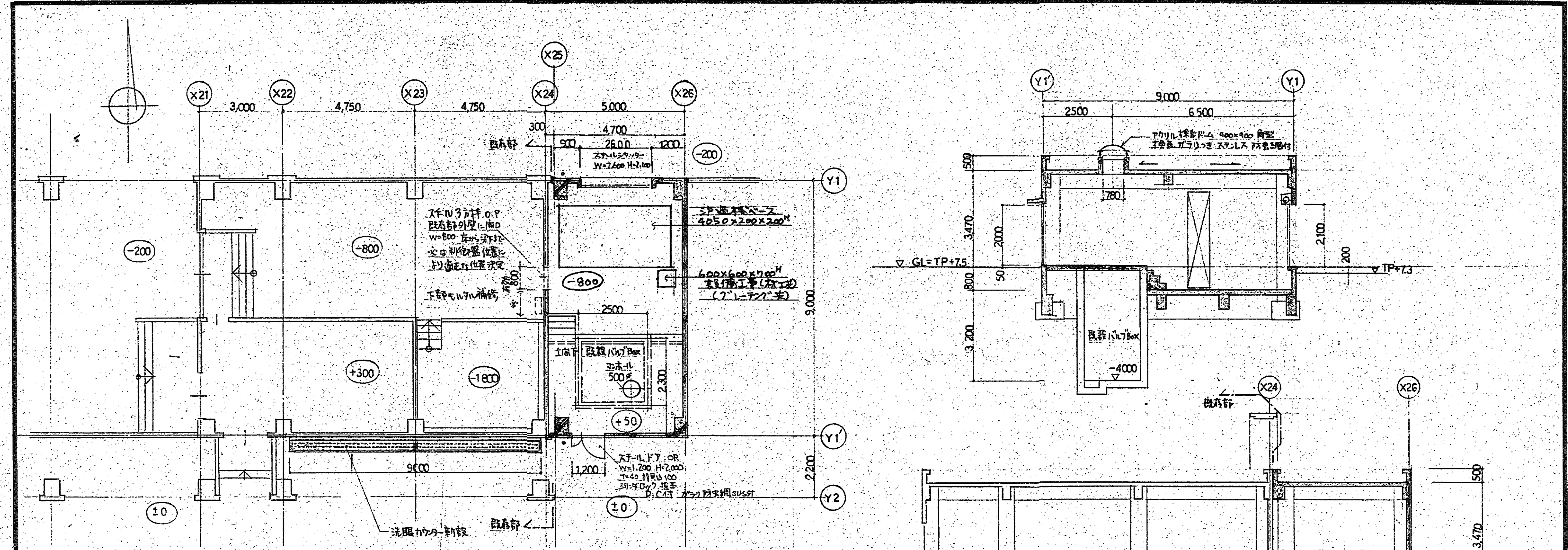
課長	副課長	主任	担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事
図面名 増設プールのスライダー配置図

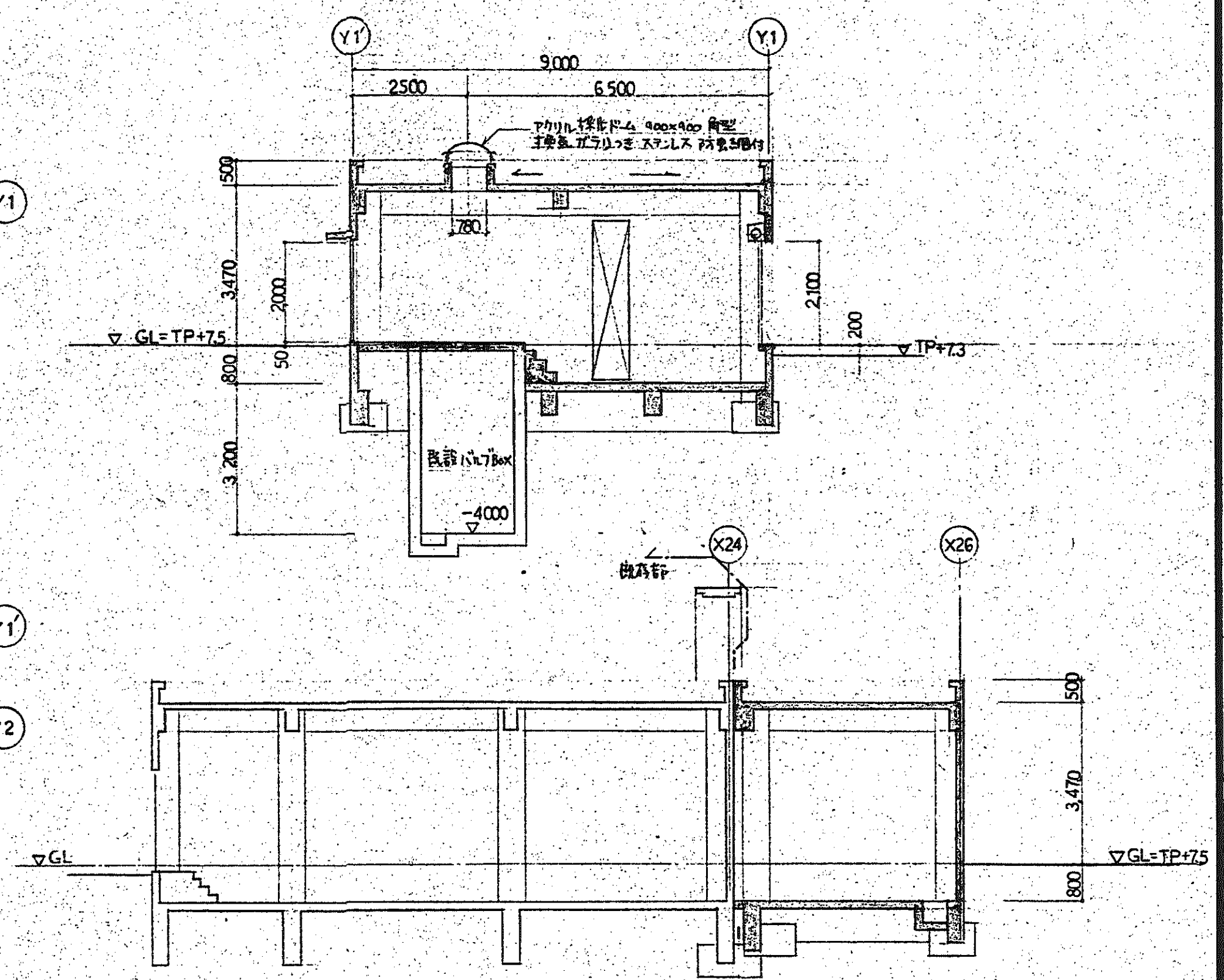
S-1:200 (A-1)
S-1:400 (A-3)

図面番号

KP / 085



平面図 S=1/100



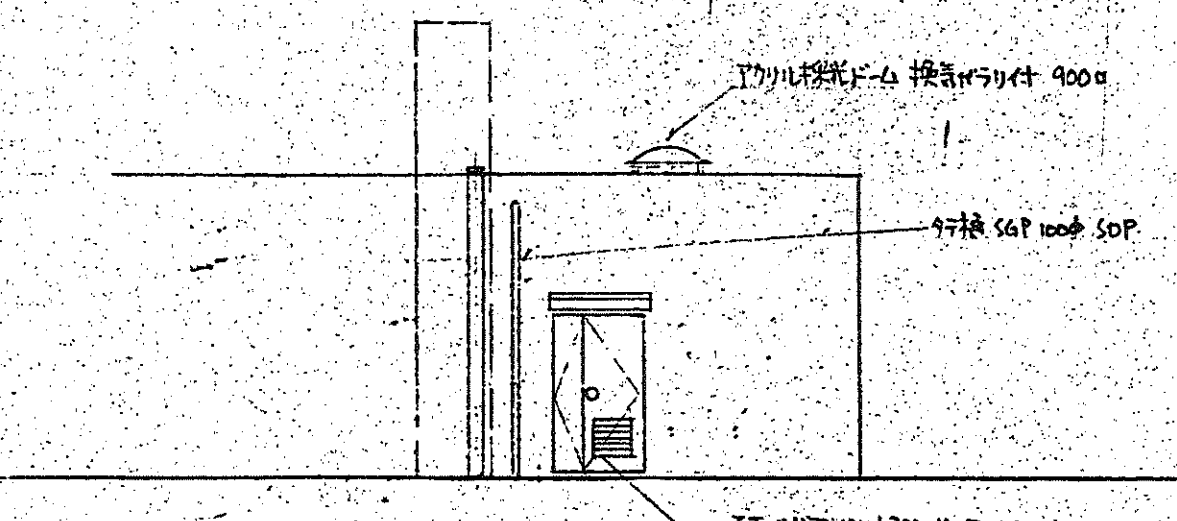
断面図 S=1/100

外部仕上表

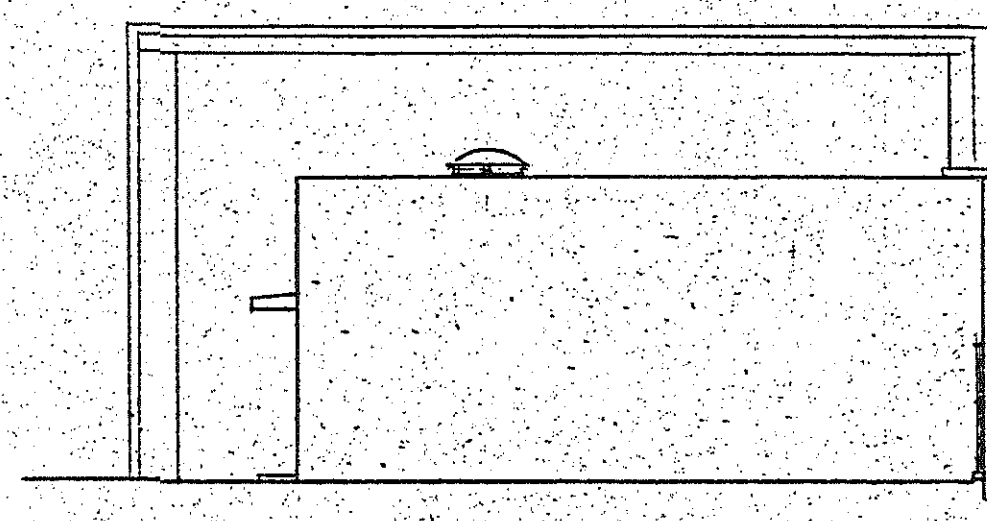
屋根	FRP 露出排水 C-1 工法 瓦葺き付
窓	防水モルタル金具付押入 2種
外壁	コンクリート打放し補修B種 補修仕置鉄E 付肌付コンクリート

内部仕上表

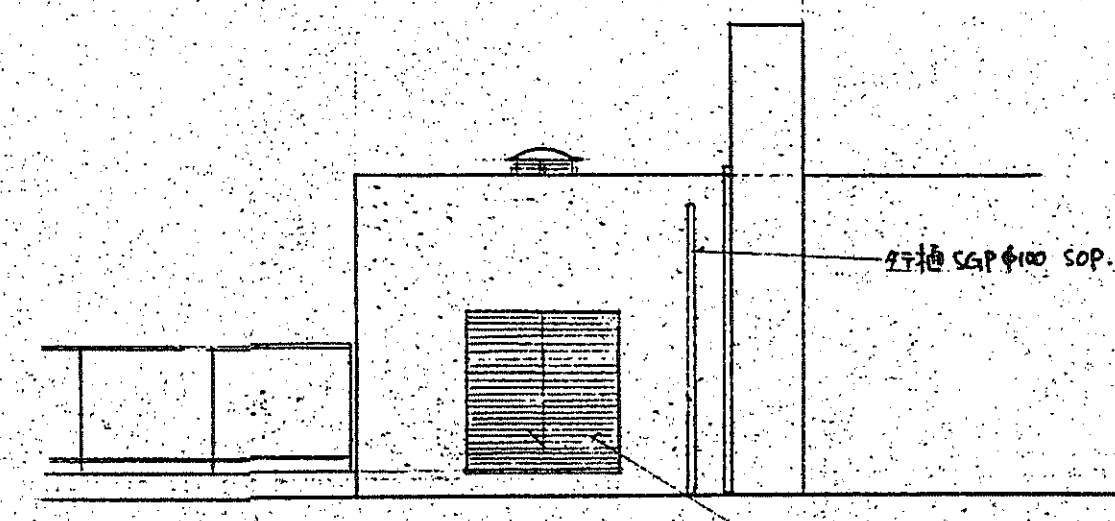
床	モルタル金具付押入
壁	コンクリート打放し 補修B種
天井	木毛板 20x 打込外装地



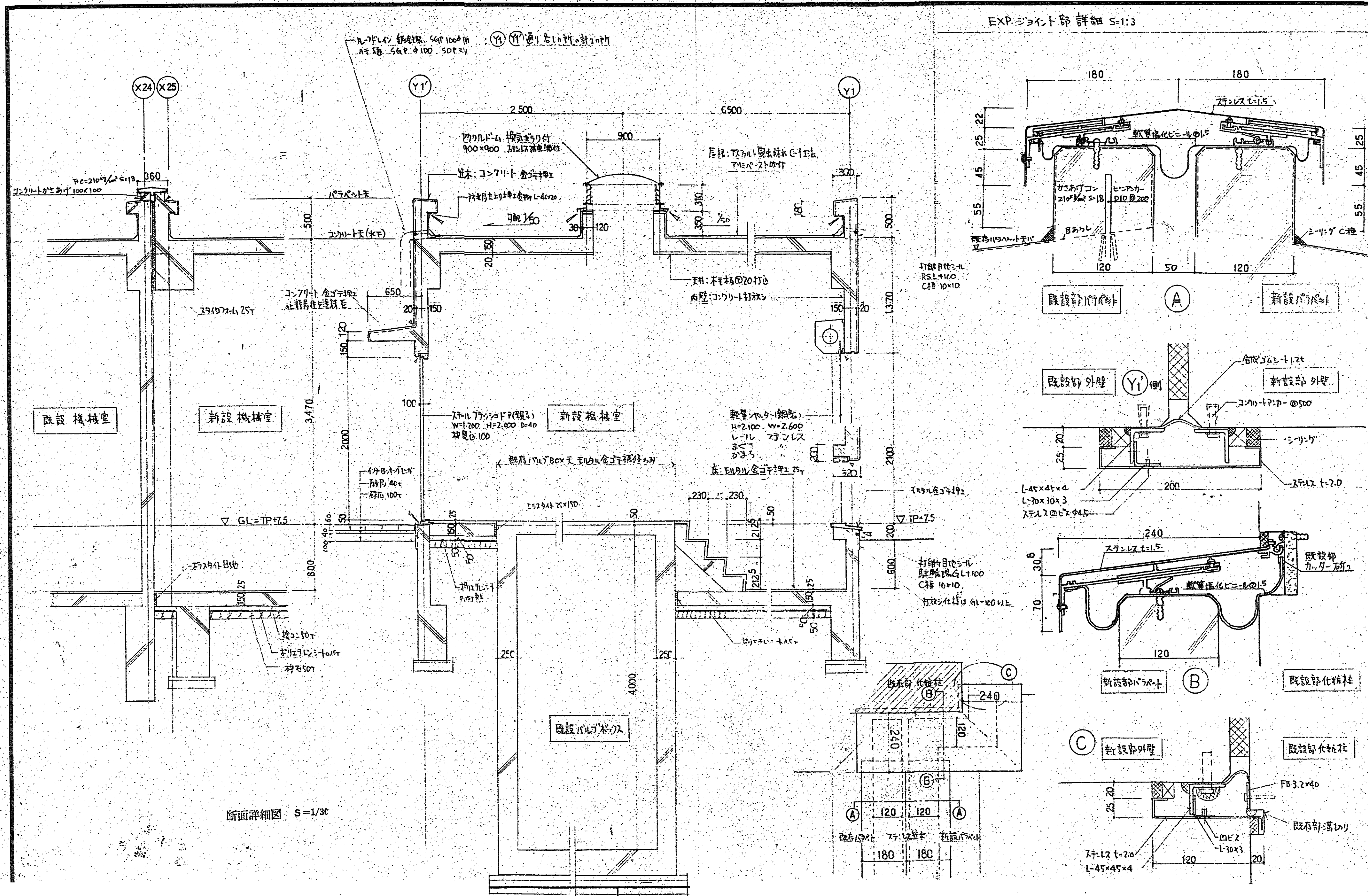
南立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



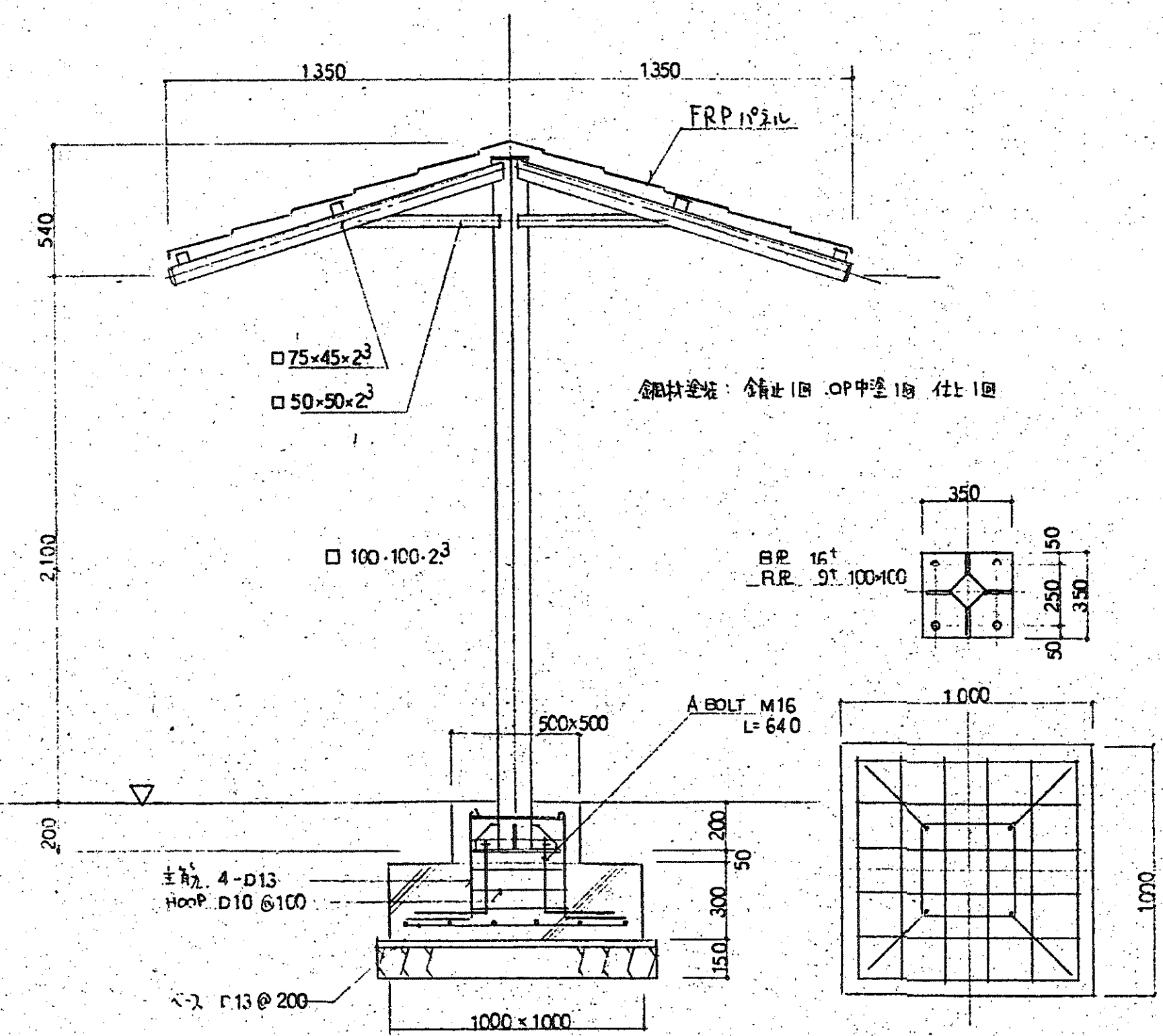
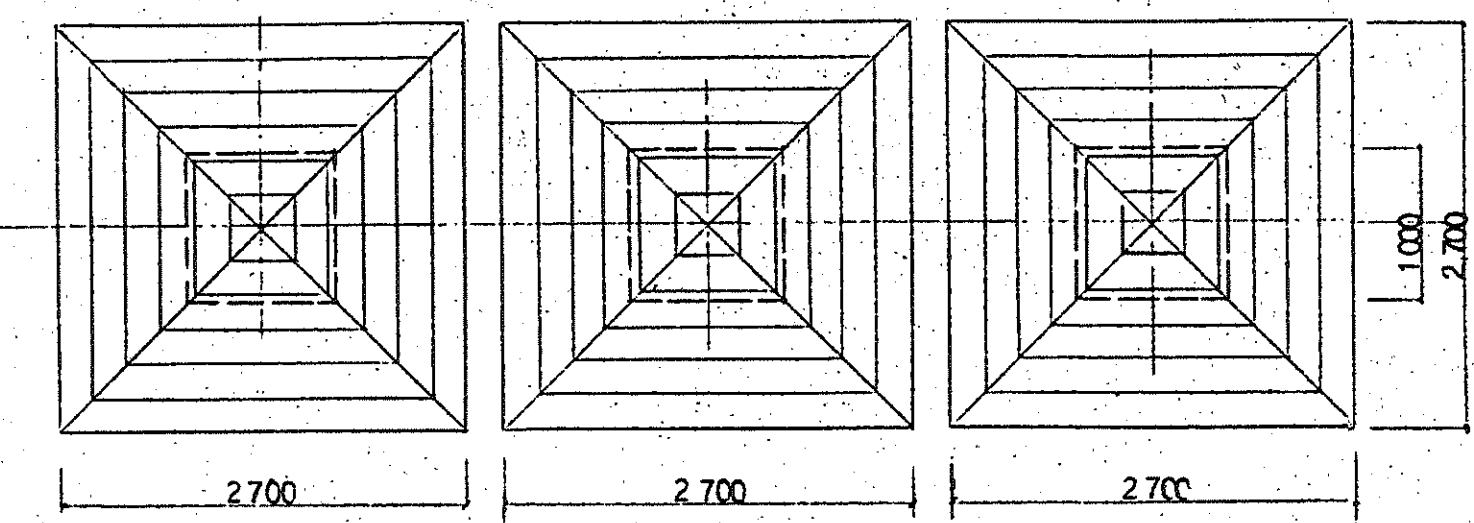
北立面図 S=1/100



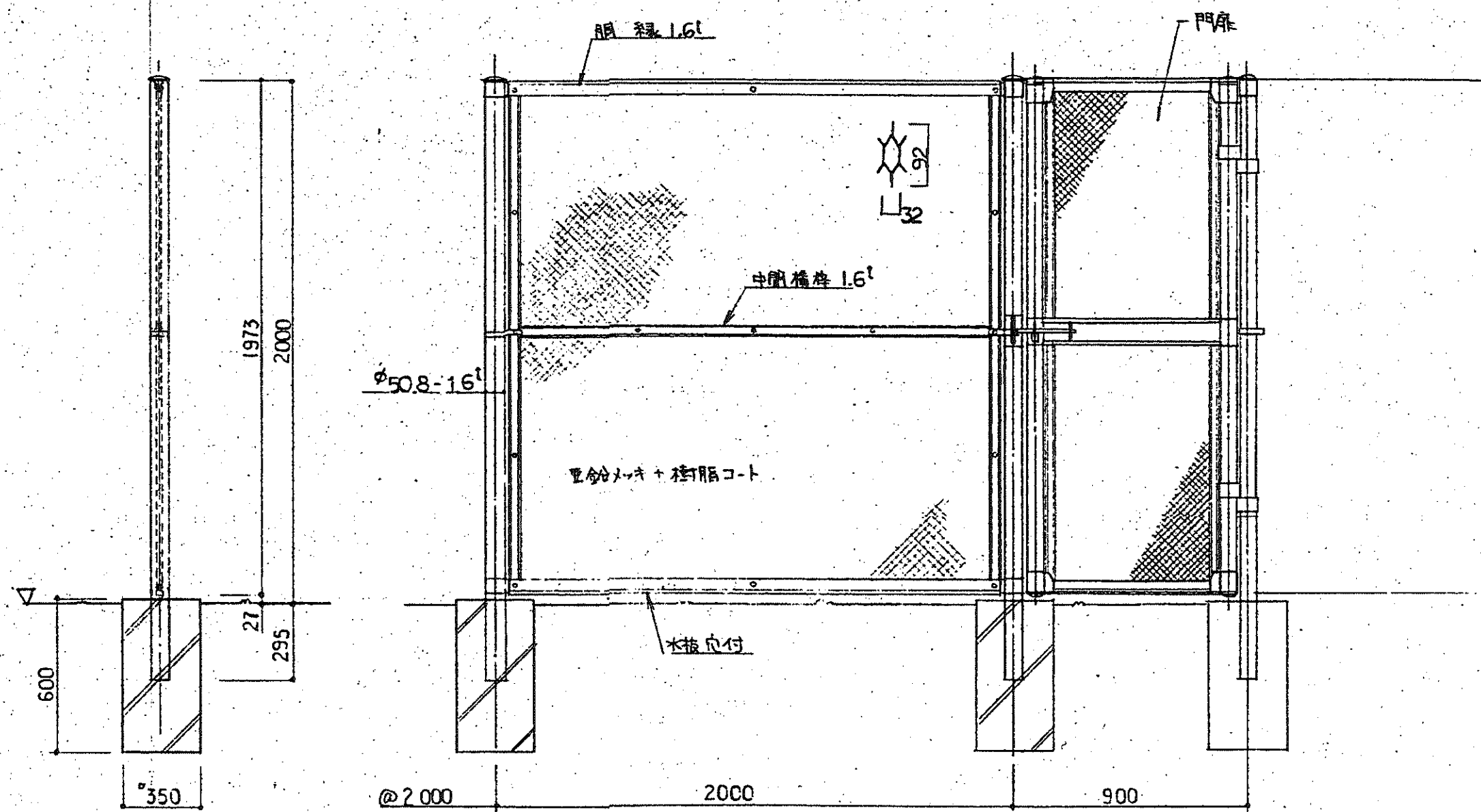
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@kai@ifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	監査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部常務課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KP 087
				変更年月日			柳井									

新設 FRP シェルター S=1/50.. 1/20

(2連は連続917°とし
5連は単独917°とする)



エキストラポトメタルフェンス S=1/20



整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320(代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaiskka@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認	照査	設計	製図
			柳井

NOTE

富士見市総務部常務課

課長	副課長	主任	担当

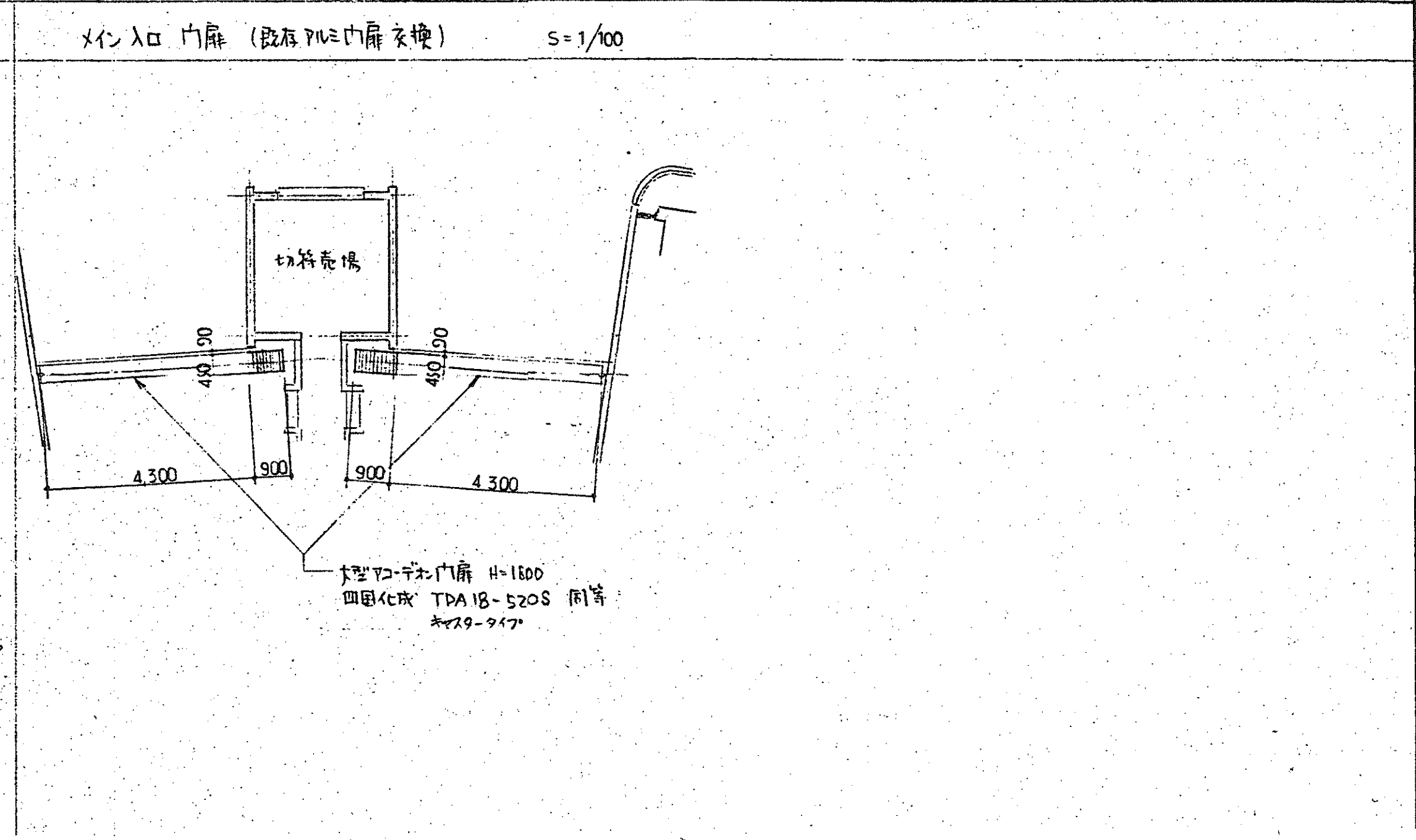
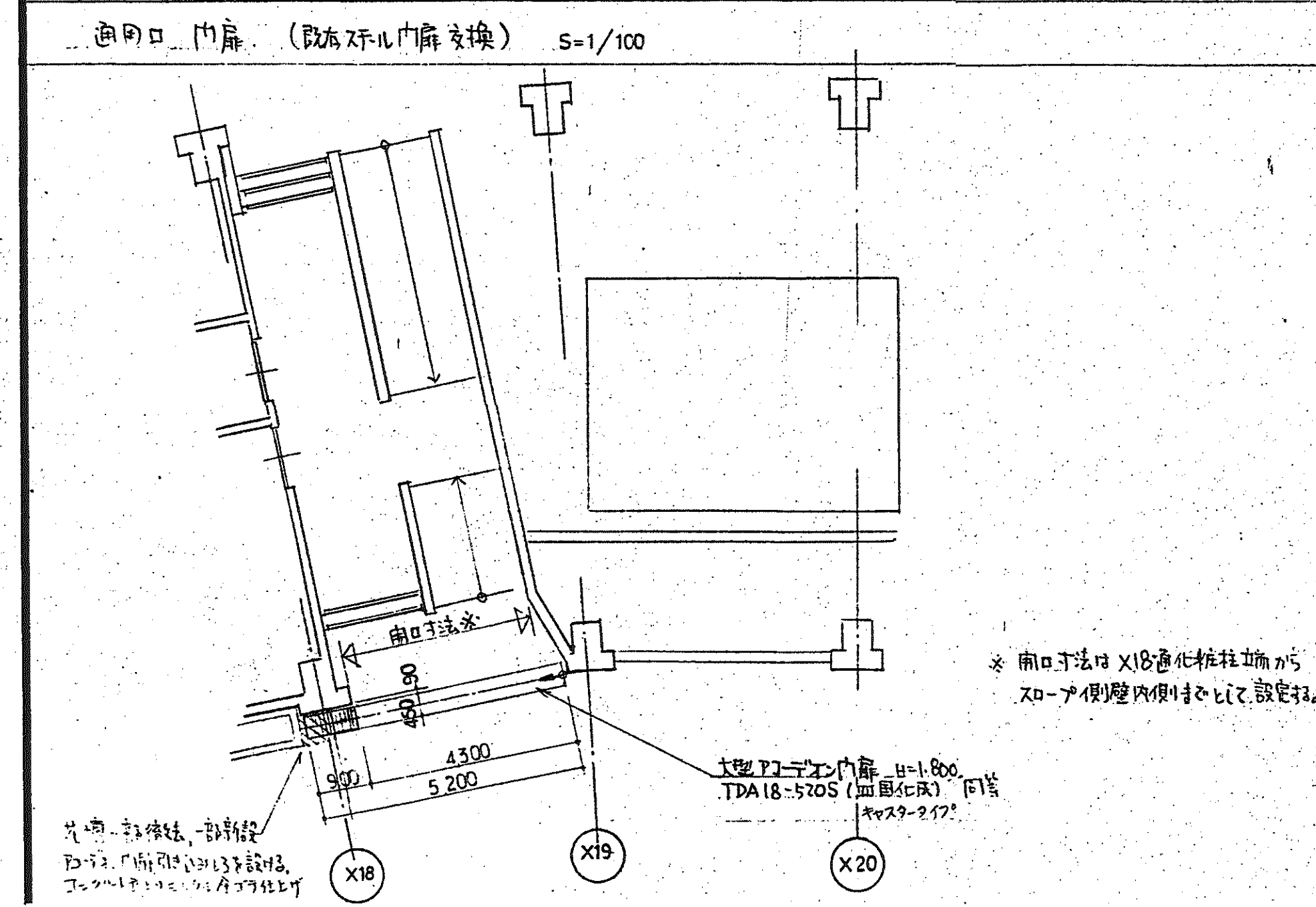
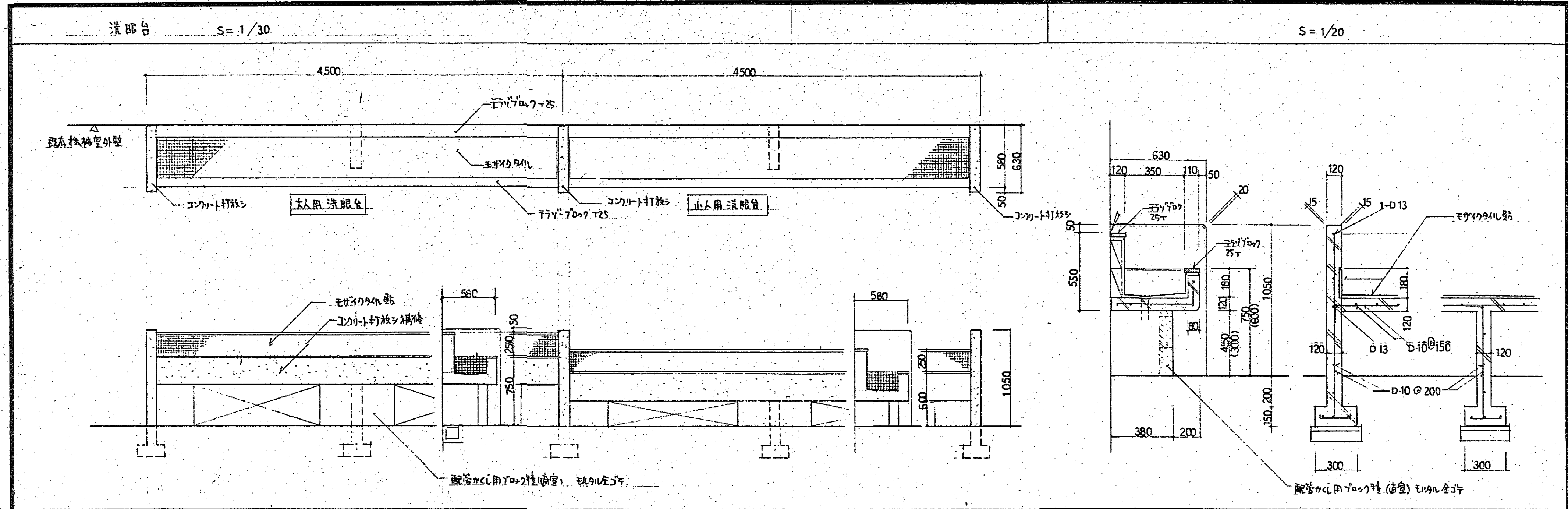
工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

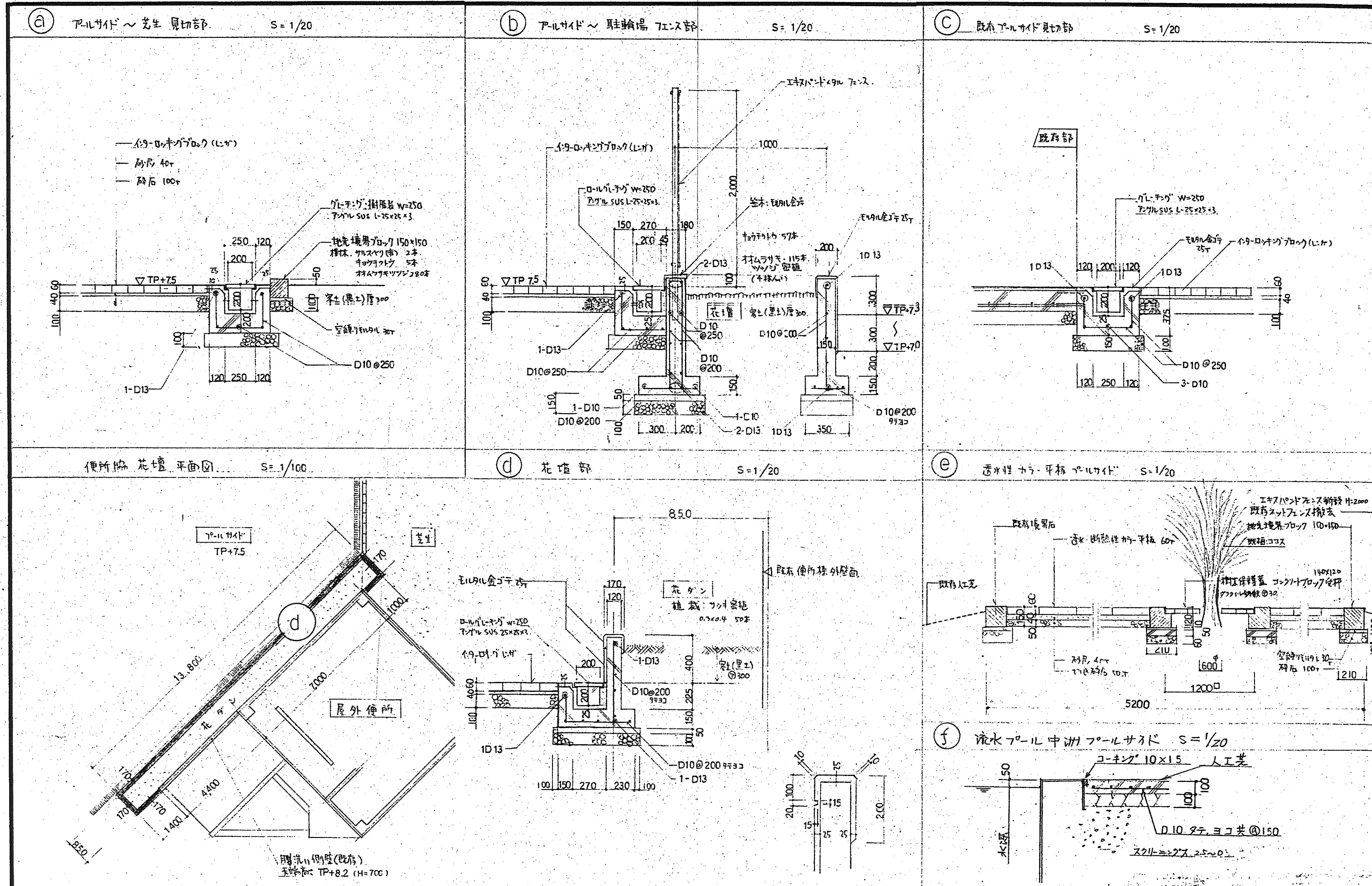
図面名 シェルター・フェンス詳細

S-1:20 (A-1)
S-1:40 (A-3)

図面番号

KP / 088





鉄筋コンクリート構造配筋標準図(単位:mm)1989版

§1 一般事項

1-1 鉄筋 インサート 柱と板基礎

1-2 コンクリート 射撃インサート $F_c 210 \%$ 規格外

1-3 鉄筋 SD295A, 197KF

1-4 その他 SD30, SD35, SD38, SD39A, SD45 と鉄筋の規格

2-1 鉄筋の表示記号

2-2 鉄筋の折り曲げ

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

2-4 継手一般

2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋のあり

2-7 かぶり厚さ

3-1 主筋の継手

3-2 主筋の定着

3-3 筋節

3-4 筋節

4-1 主筋の継手

4-2 主筋の定着

4-3 筋節

4-4 筋節

5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着

5-2 継手

5-3 片持ちスラブ

6-1 定着及び継手

6-2 標準値リスト

6-3 補強筋

7-1 独立基礎

7-2 鉄基礎

7-3 ベタ基礎 継手及び定着

7-4 基礎と地中梁

7-5 筋節

7-6 増設予定

§2 共通事項

鉄筋の表示記号

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
D10	D12	D14	D16	D18	D20	D22	D25	D28	D32
M	9	12	16	18	22	25			

鉄筋の折り曲げ

鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋のフック

鉄筋のあり

かぶり厚さ

主筋の継手

主筋の定着

筋節

筋節

鉄筋の折り曲げ及び定着

継手

片持ちスラブ

定着及び継手

標準値リスト

補強筋

独立基礎

鉄基礎

ベタ基礎 継手及び定着

基礎と地中梁

筋節

増設予定

§3 柱

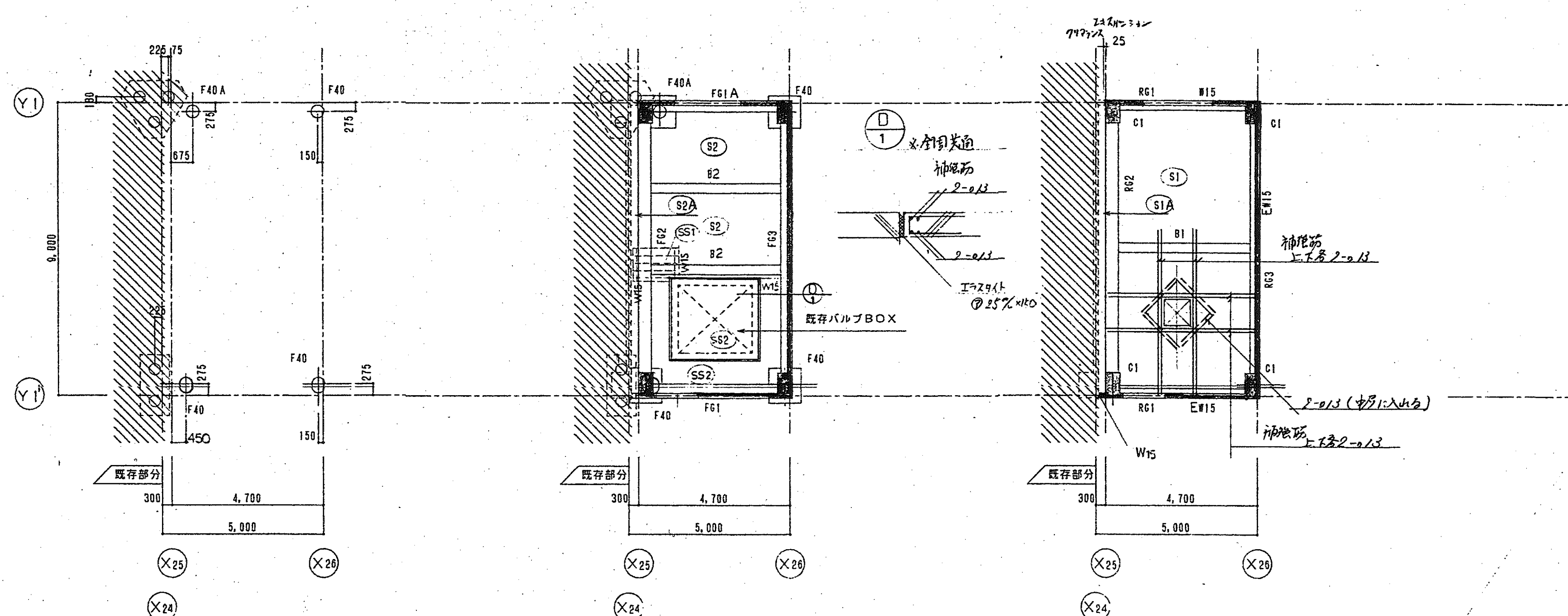
§4 梁

§5 スラブ

§6 壁

§7 基礎

§8 その他



杭配列図 1/100

杭配列図 1/100

1階壁柱 R階床梁伏図 1/100

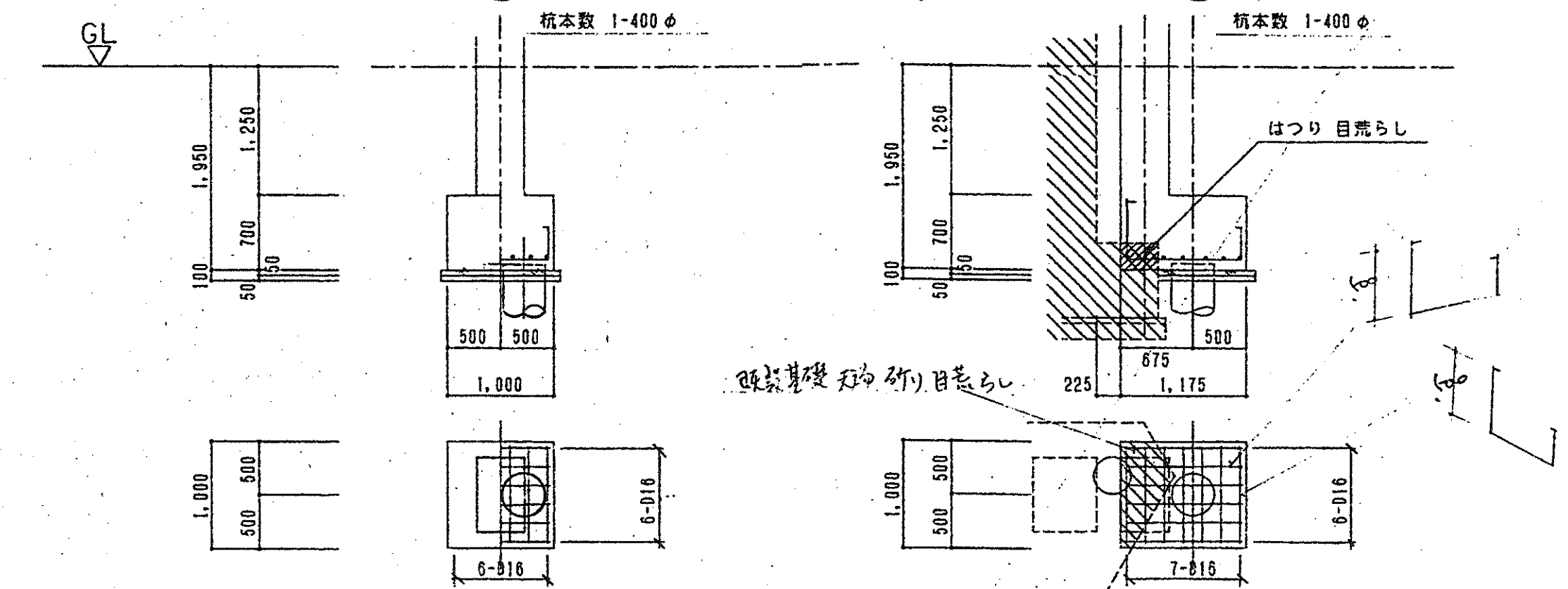
1. 地中梁天端は GL-950 とする。

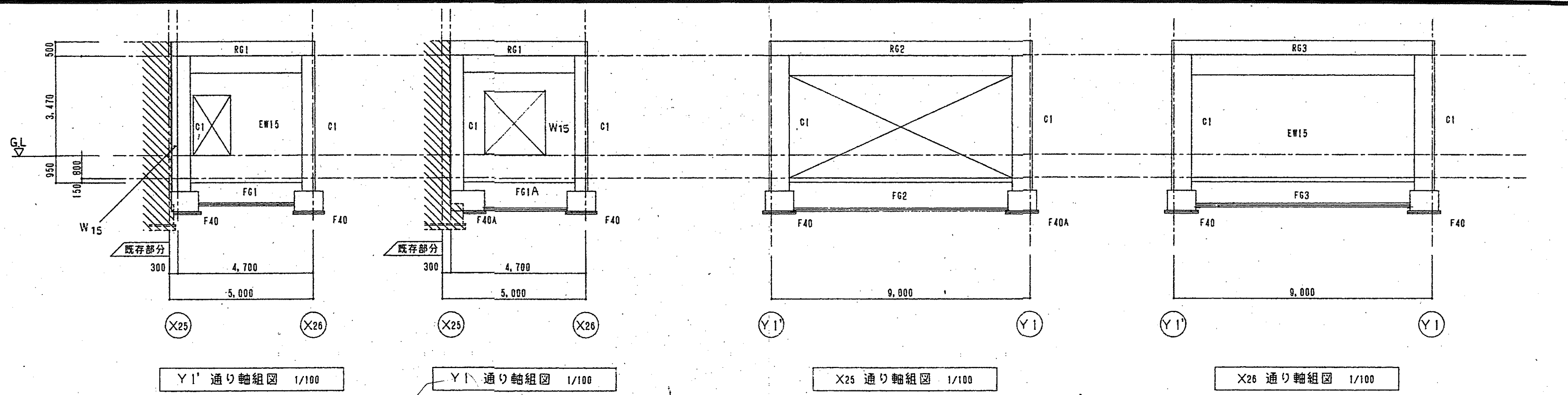
1. 特記のないものは、仕様 PW1 とする。

杭仕様

1. 杭種 PHC杭 上杭・下杭共に A種
2. 杭長 GL-10,000 m
3. 工法 埋め込み杭セメントミルク工法
4. 杭支持力 $R_{a1} = 20N_{ap}/3$ による。
平均N値 50
杭径 400φ 長期 41 t/本
5. 杭施工 施工計画書を係員に提出し承認を得ること。
6. 杭腐蝕の取り扱い 現況杭芯図を作成の上腐蝕杭については、増し杭等補強計画を作成し係員に提出し承認を得て実施する事。
7. 杭継手 有資格者に依る溶接継手とする。
8. 杭頭補強 配筋標準図 7-2 に依る。

基礎配筋リスト 1/50





大梁リスト S-1/50 1. 特記なしで D10-□-φ200 とする

記号	RG1	RG2	RG3	
位置	全断面	端部 中央	全断面	端部 中央
断面				
B x D	300 x 600	400 x 700	300 x 600	
上端筋	3-D22	3-D22 3-D22	3-D22	
下端筋	3-D22	4-D22 4-D22	3-D22	
S T P		D10-□-φ150		
底筋	2-D10	2-D10	2-D10	

小梁リスト S-1/50 1. 特記なしで D10-□-φ200 とする

記号	B1	B2	
位置	全断面	全断面	端部 中央
断面			
B x D	300 x 500	300 x 600	
上端筋	3-D19	3-D19	
下端筋	3-D19	3-D19	
S T P			
底筋		2-D10	

地中梁リスト S-1/50

記号	FG1(A)	FG2	FG3	
位置	全断面	端部 中央	全断面	端部 中央
断面				
B x D	350 x 700 (900)	400 x 1200	350 x 600	
上端筋	3-D22	5-D22 3-D22 3-D22	4-D22	
下端筋	3-D22	4-D22 4-D22 4-D22	4-D22	
S T P	D13-□-φ200	D13-□-φ200	D13-□-φ150	
底筋	2-D10	2-D10	2-D10	
備考	1A. H()内記載とする。			

柱リスト S-1/50 1. 特記なしで D10-□-φ500 とする 2. 床下部分 300 x 700 D10-□-φ150 とする

記号	C1	
断面		
B x D	450 x 700	
主筋	10-D22	
H o o p	D10-□-φ100	

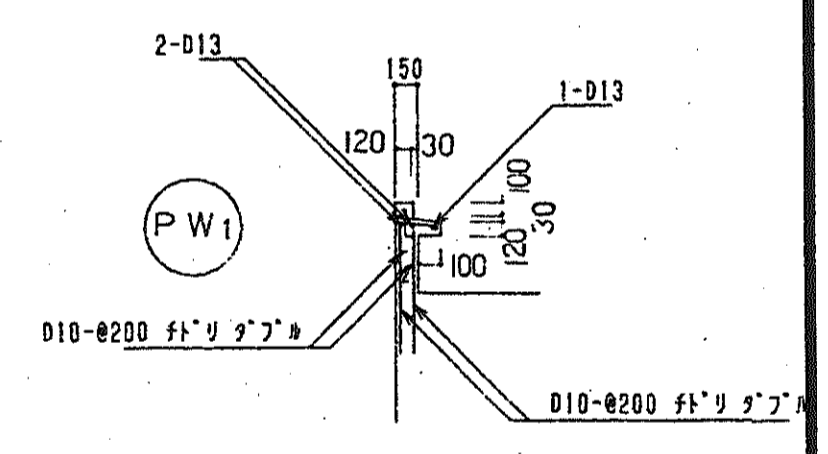
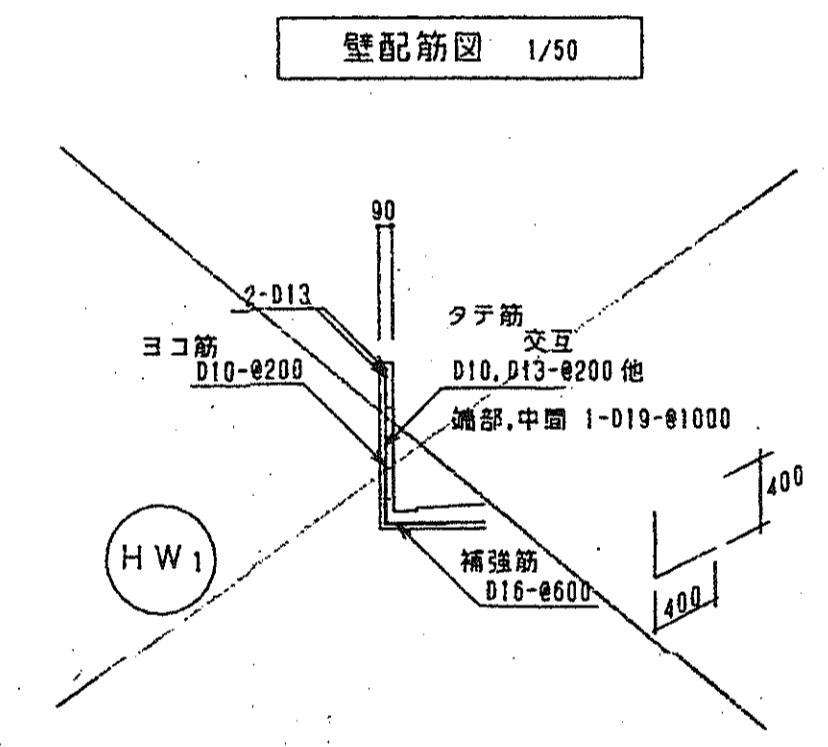
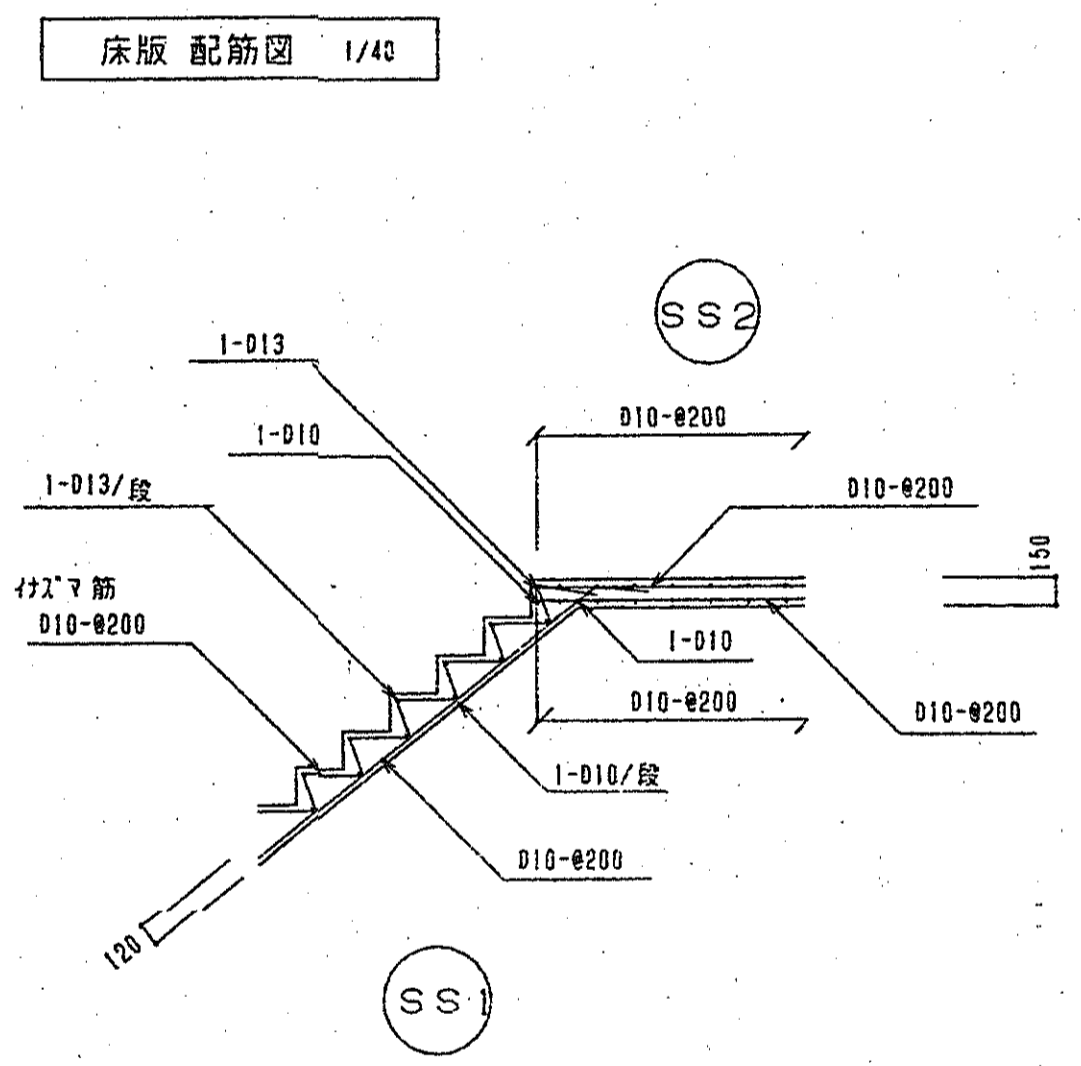
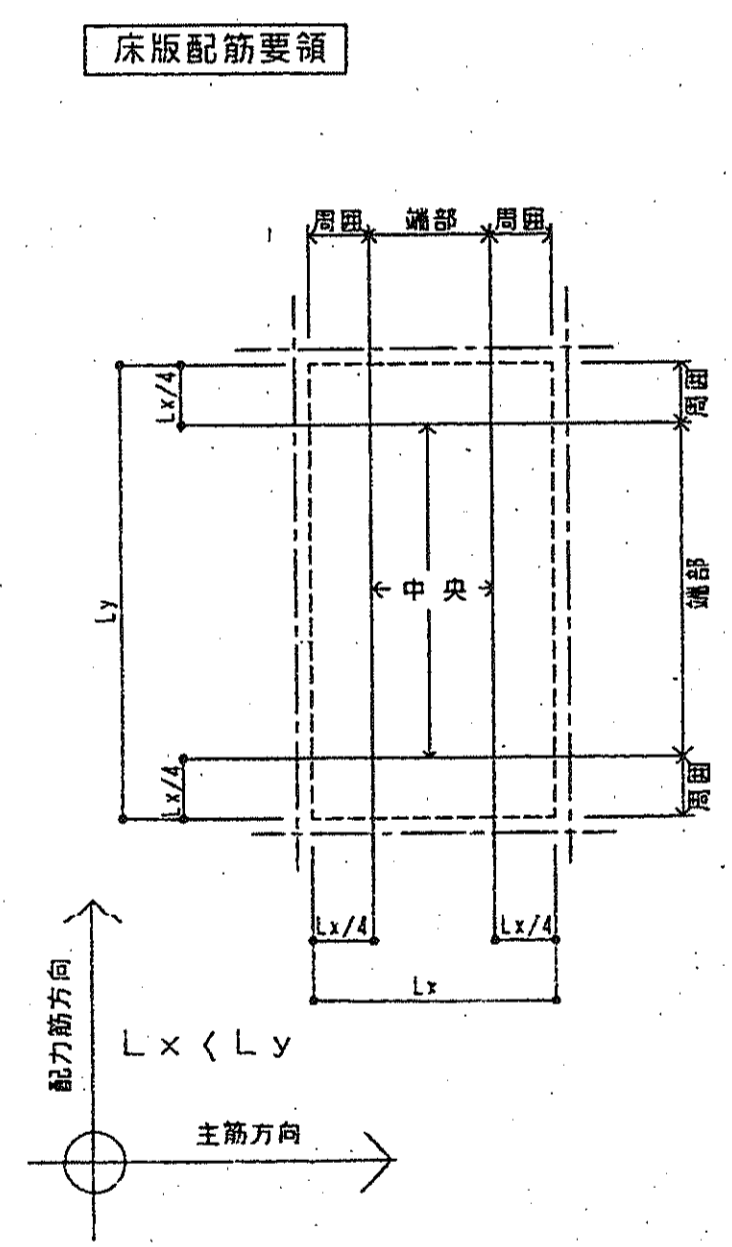
S1, S2の
1. 1A, 2A 等端部配筋延長を化する事、別項補強工事も1-011とする。
2. 2種類の鉄筋が配筋されている場合は交互に配筋する事。

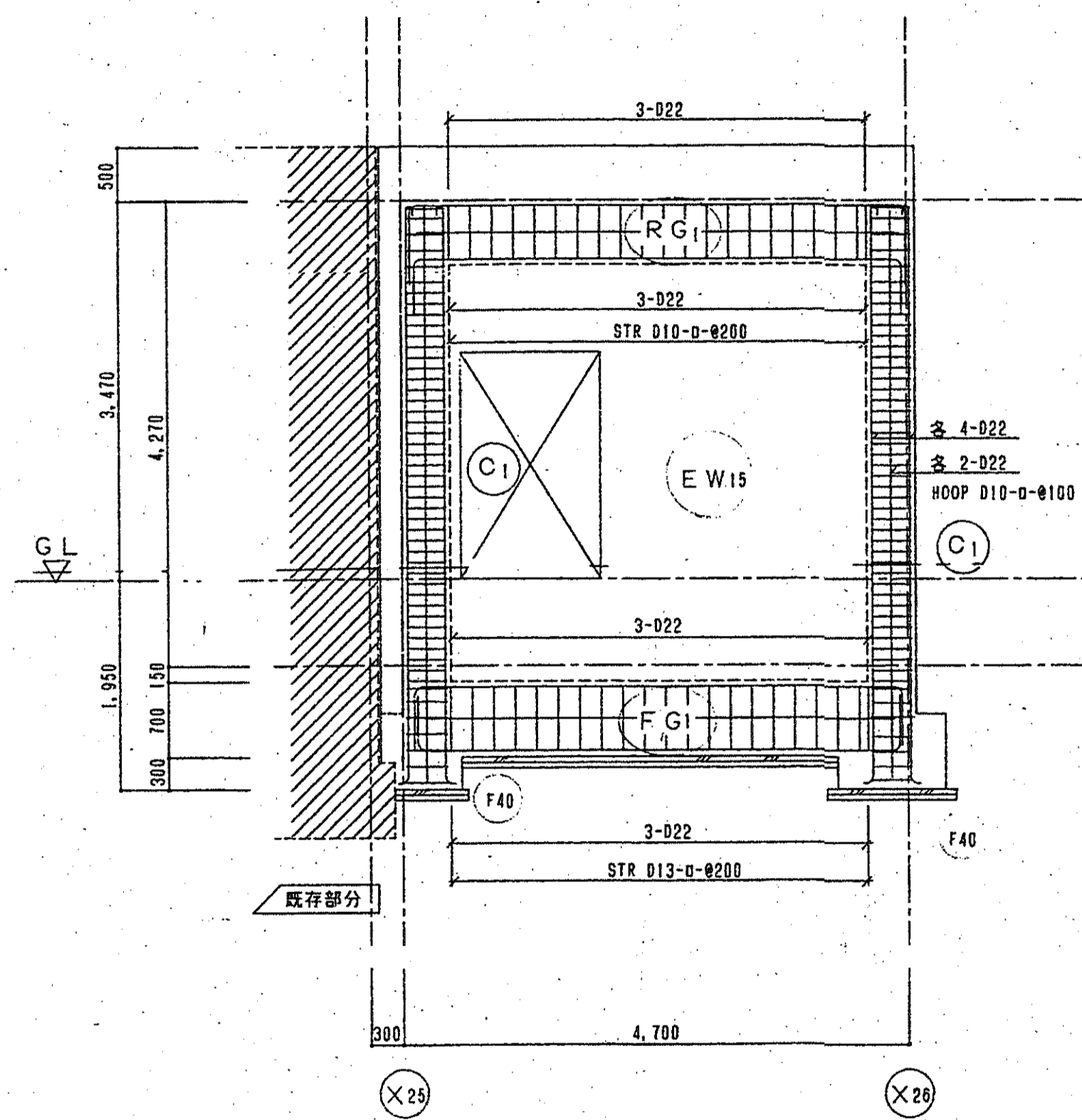
符号	版厚	位置	主筋			配筋		
			端部	中央	周囲	端部	中央	周囲
S1	130	上端筋	D10-D13-@200	D10-D13-@200	D10-@250	D10-@200	D10-@200	D10-@250
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@250	D10-@200	D10-@200	D10-@250
S2	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	D13-@250	D13-@250	D13-@250	D13-@250
		下端筋	D10-@200	D10-@200	D10-@250	D10-@250	D10-@250	D10-@250

壁配筋リスト 1/40

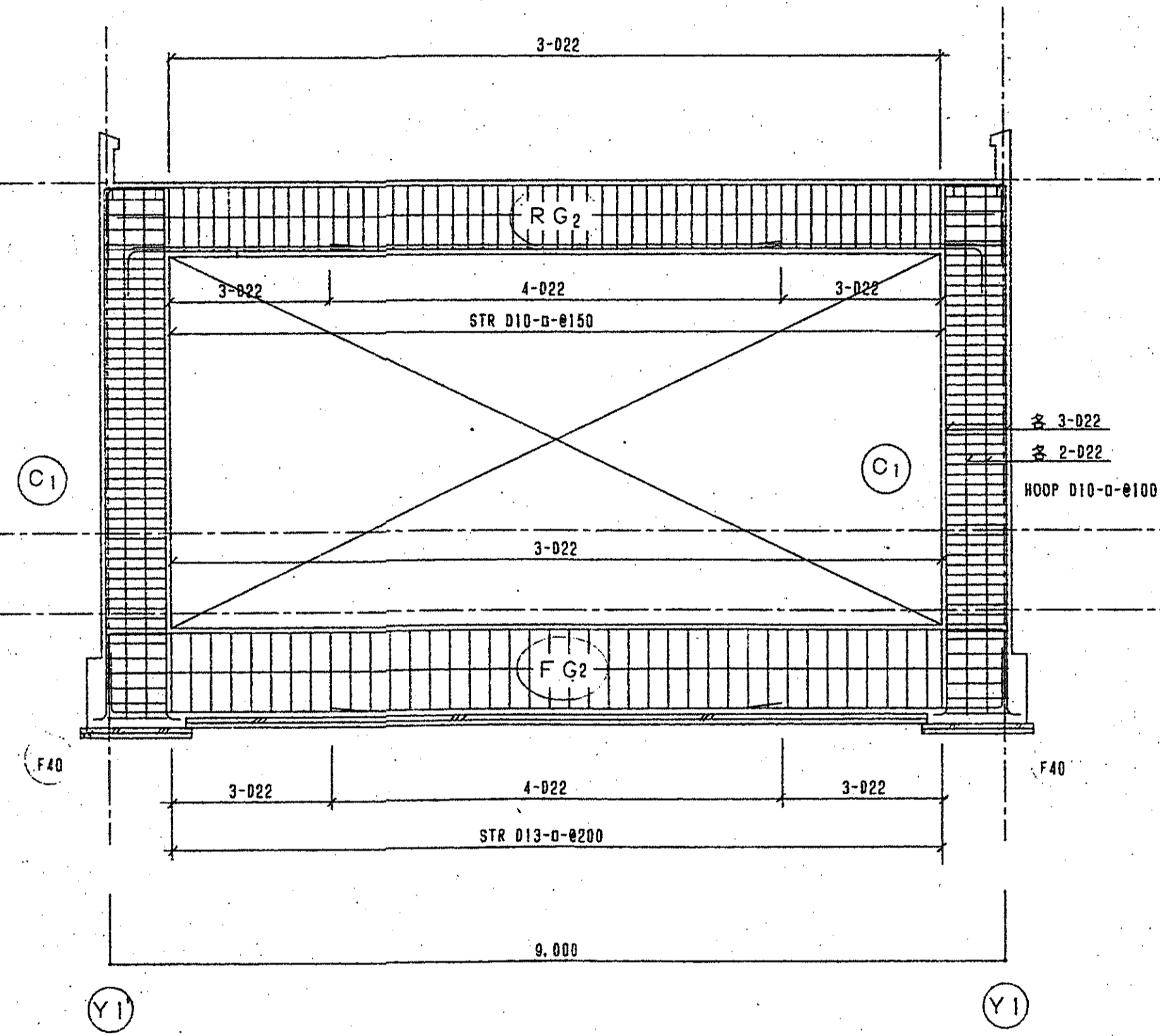
1. ダブル配筋の中止筋は1-D10-@1000/m2とする。
2. 打ち直し仕上げの打ち増しは15m/mとする。

符号	EW15	W15
壁厚	150	150
適用	耐震壁	間仕切壁
断面配筋		
タテ筋	D13-@200 斜り割増	D13-@150 割増
ヨコ筋	D10-@200 斜り割増	D10-@150 割増
開口	タテ筋 2-D13	2-D13
端部	ヨコ筋 2-D13	2-D13
補強筋	斜筋 2-D13	2-D13





Y1 通り鉄筋架構配筋図 1/50



X25 通り鉄筋架構配筋図 1/50

管理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所

TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanai@kaihi15ty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

柳井

NOTE

富士見市総務部當構課

課長 副課長 主任 担当

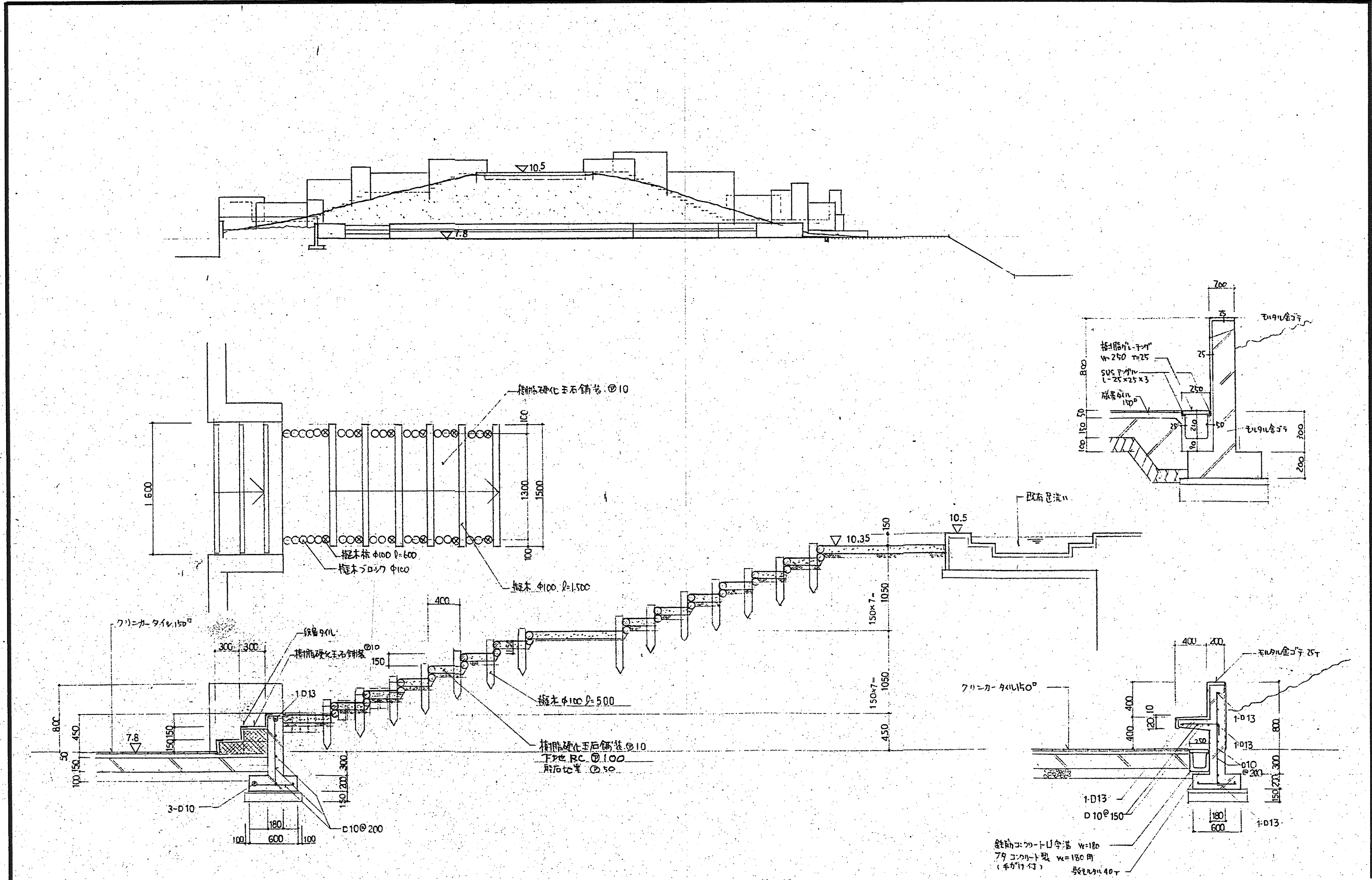
工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

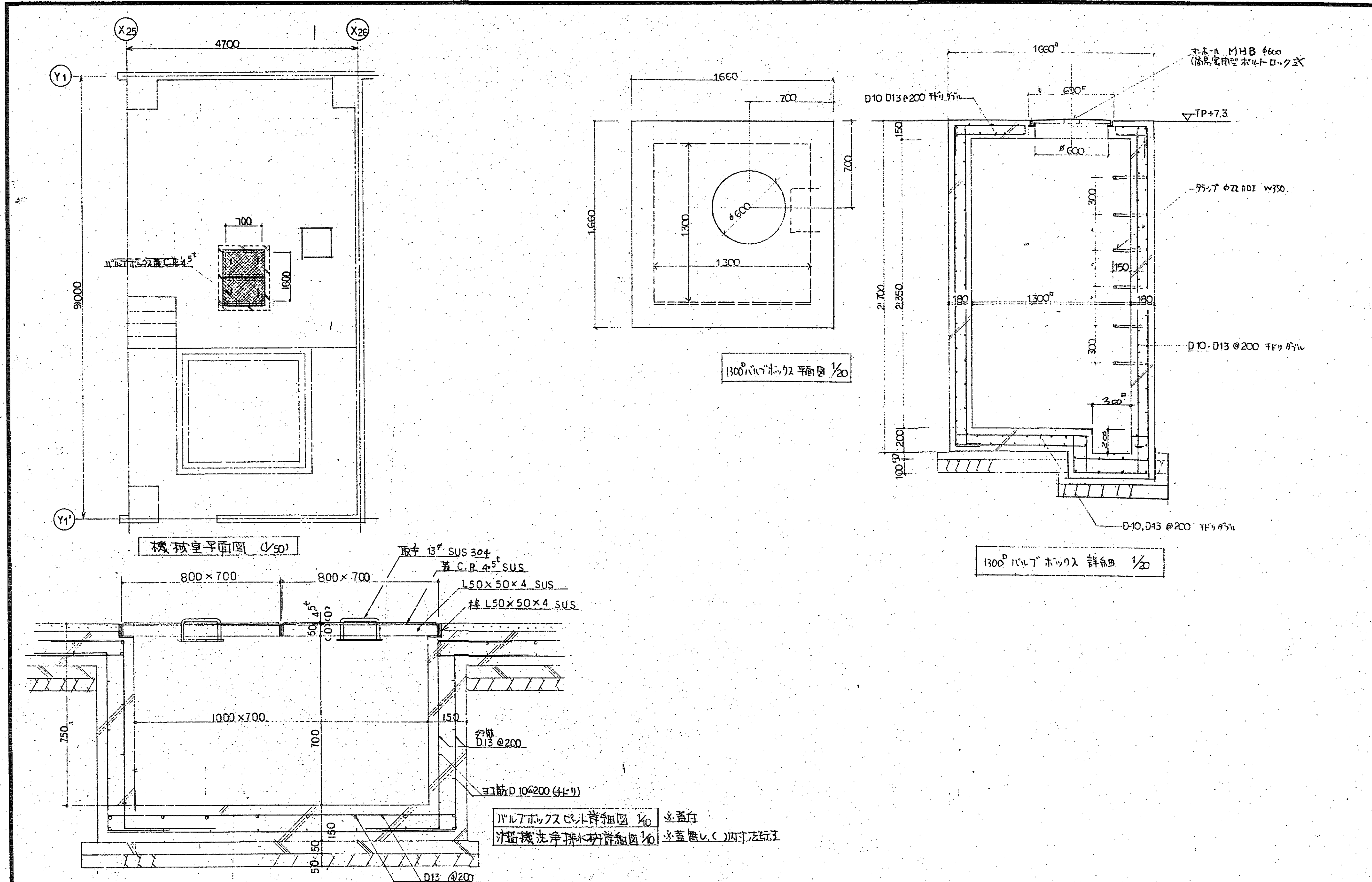
図面名 鉄筋架構配筋図

S-1:50 (A-1)
S-1:100 (A-3)

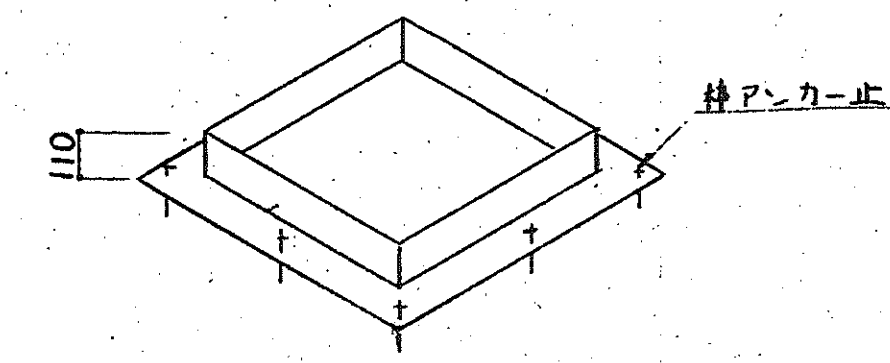
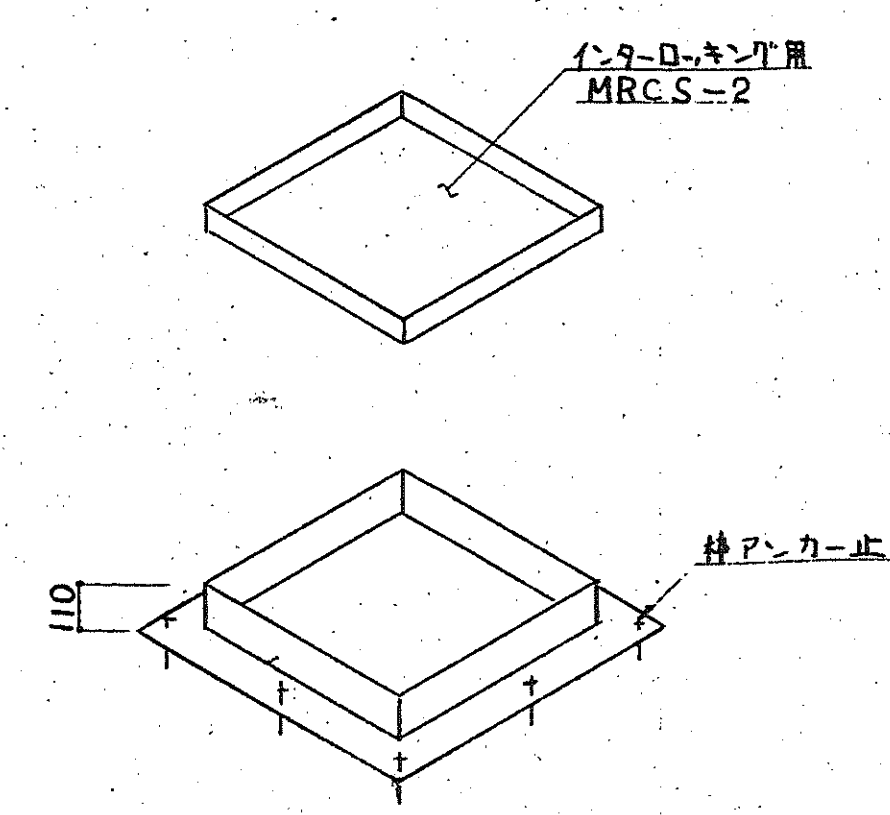
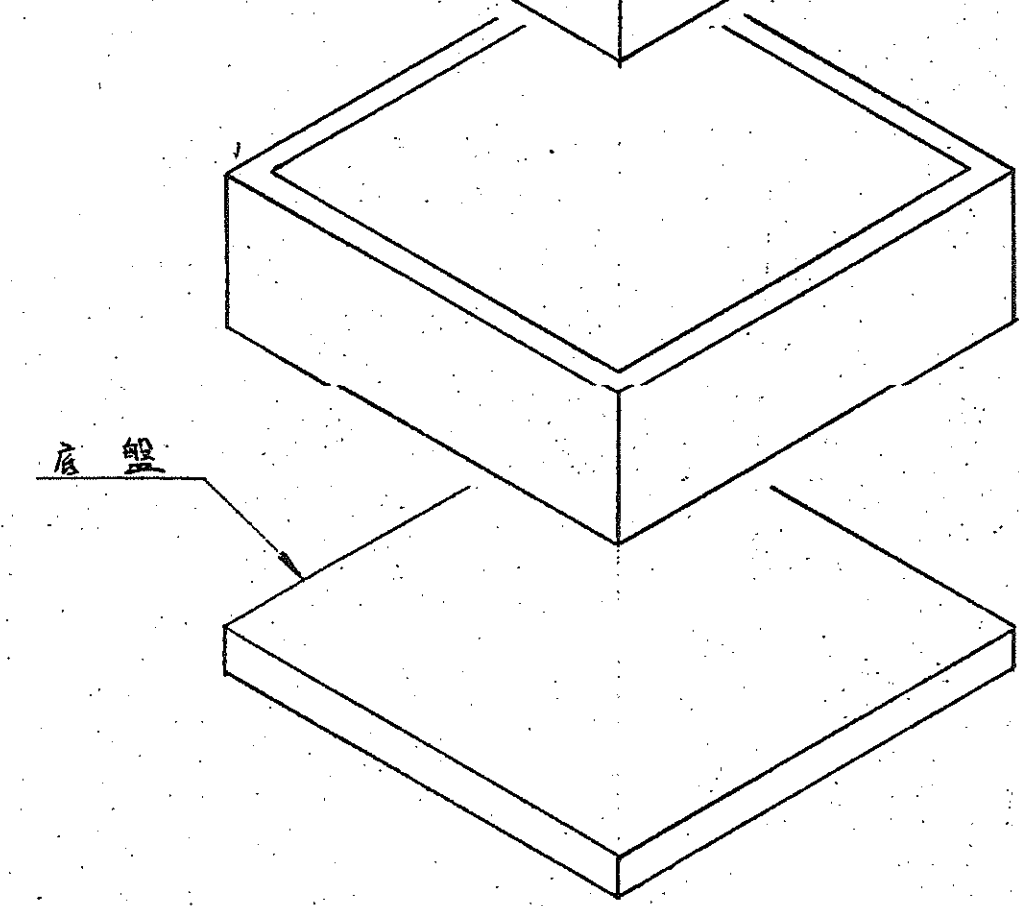
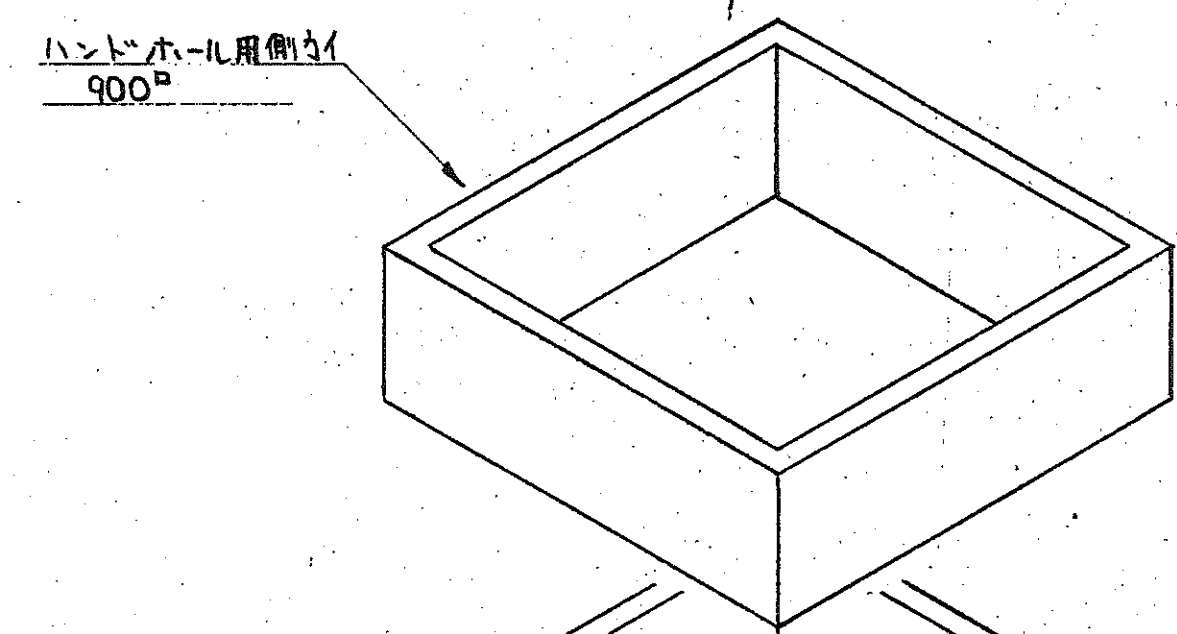
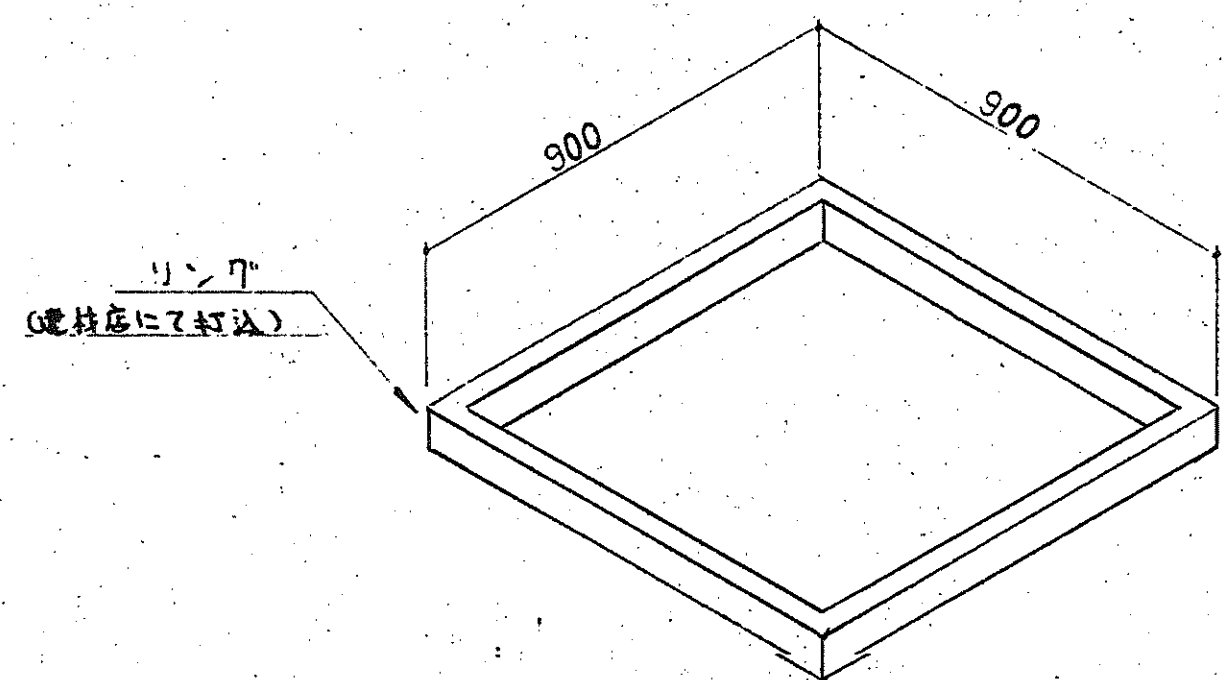
図面番号

KS / 095



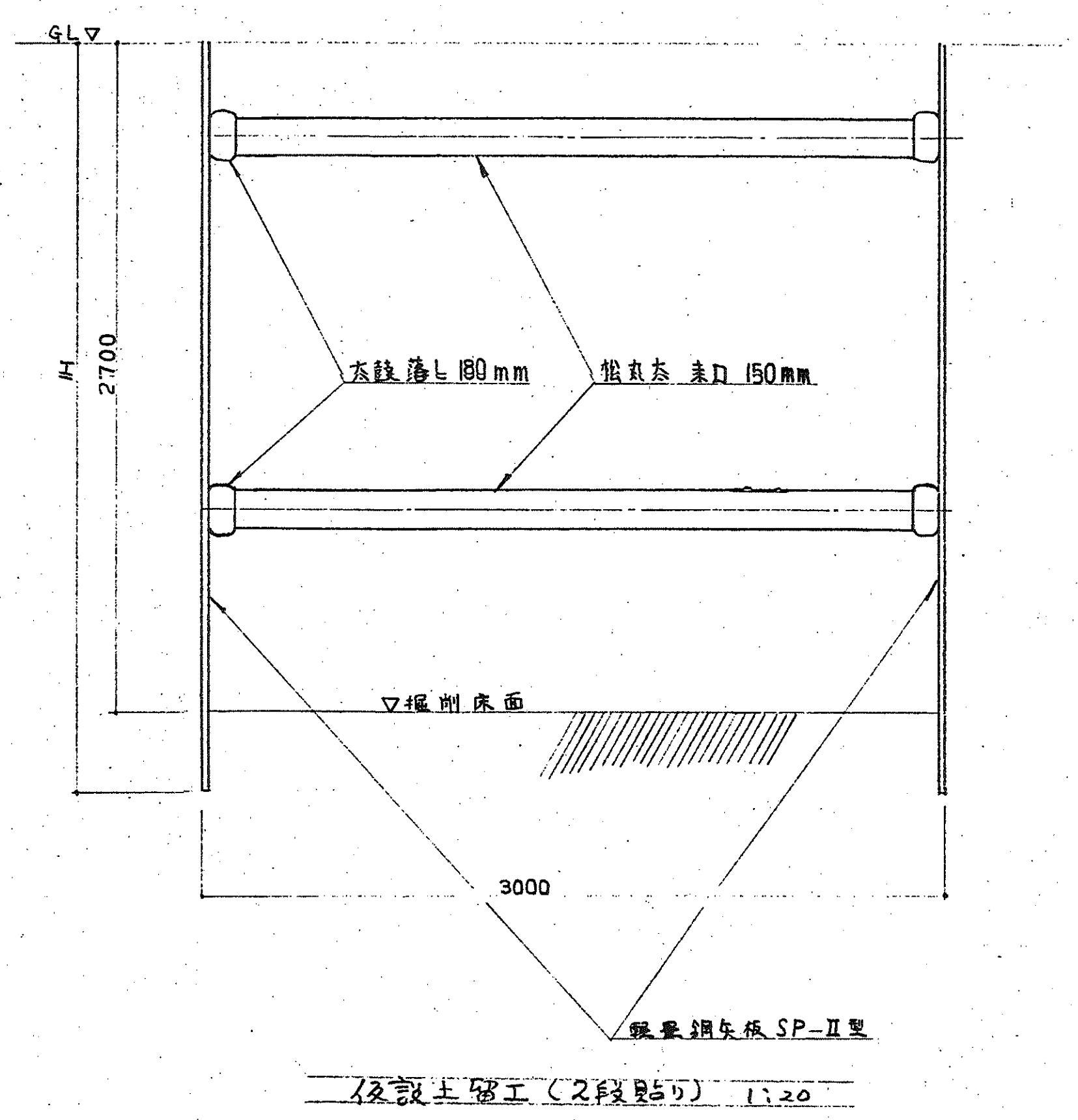


整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisekai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KS	
									図面名 機械室 バルブボックス 詳細図	S-1: 図示 (A-1) S-1: 図示 (A-3)	098



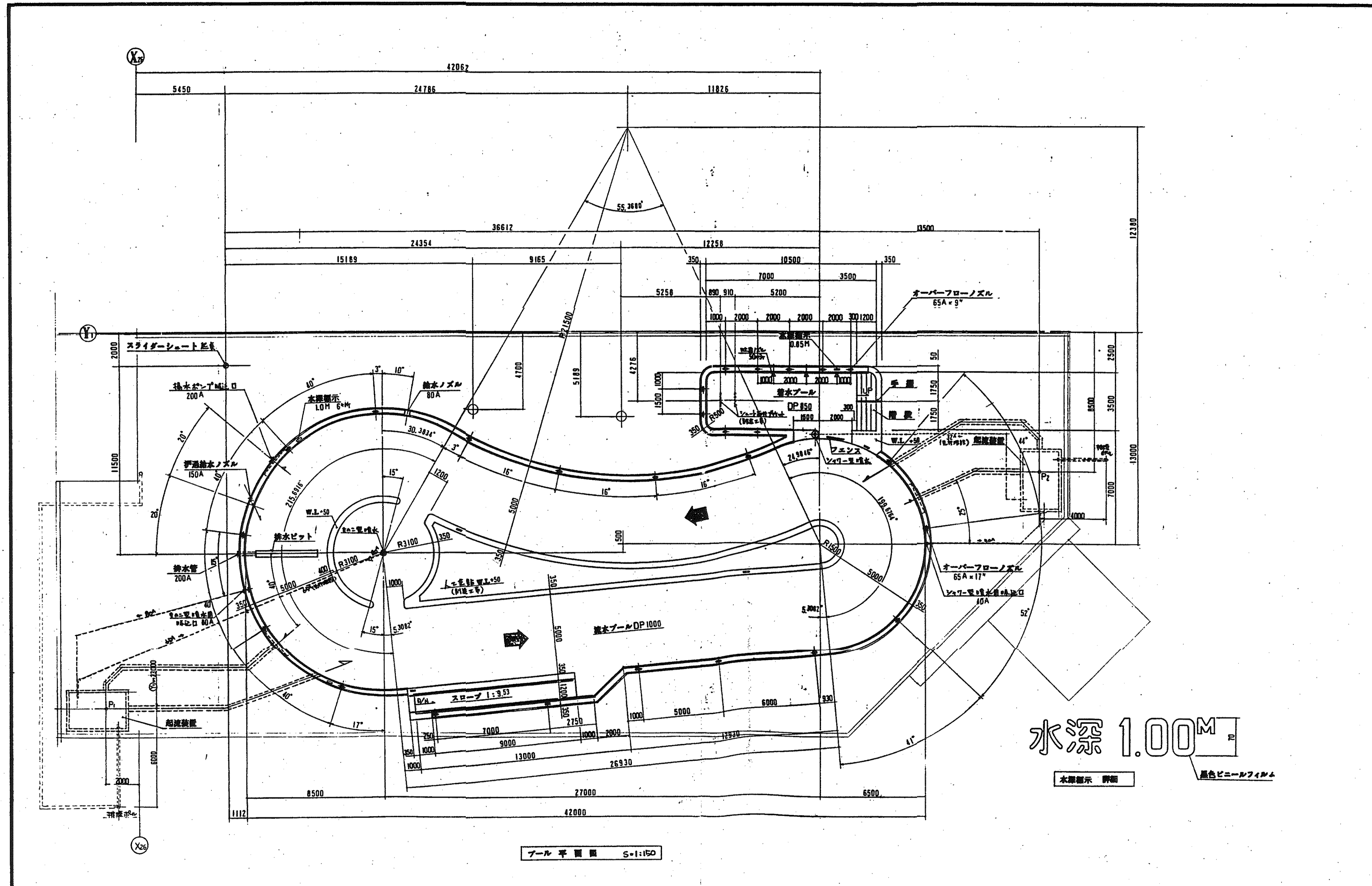
フレキシブルジョイントボック

③厚さ120mm 鋼板仕様



ステンレスプール本体工事仕様書

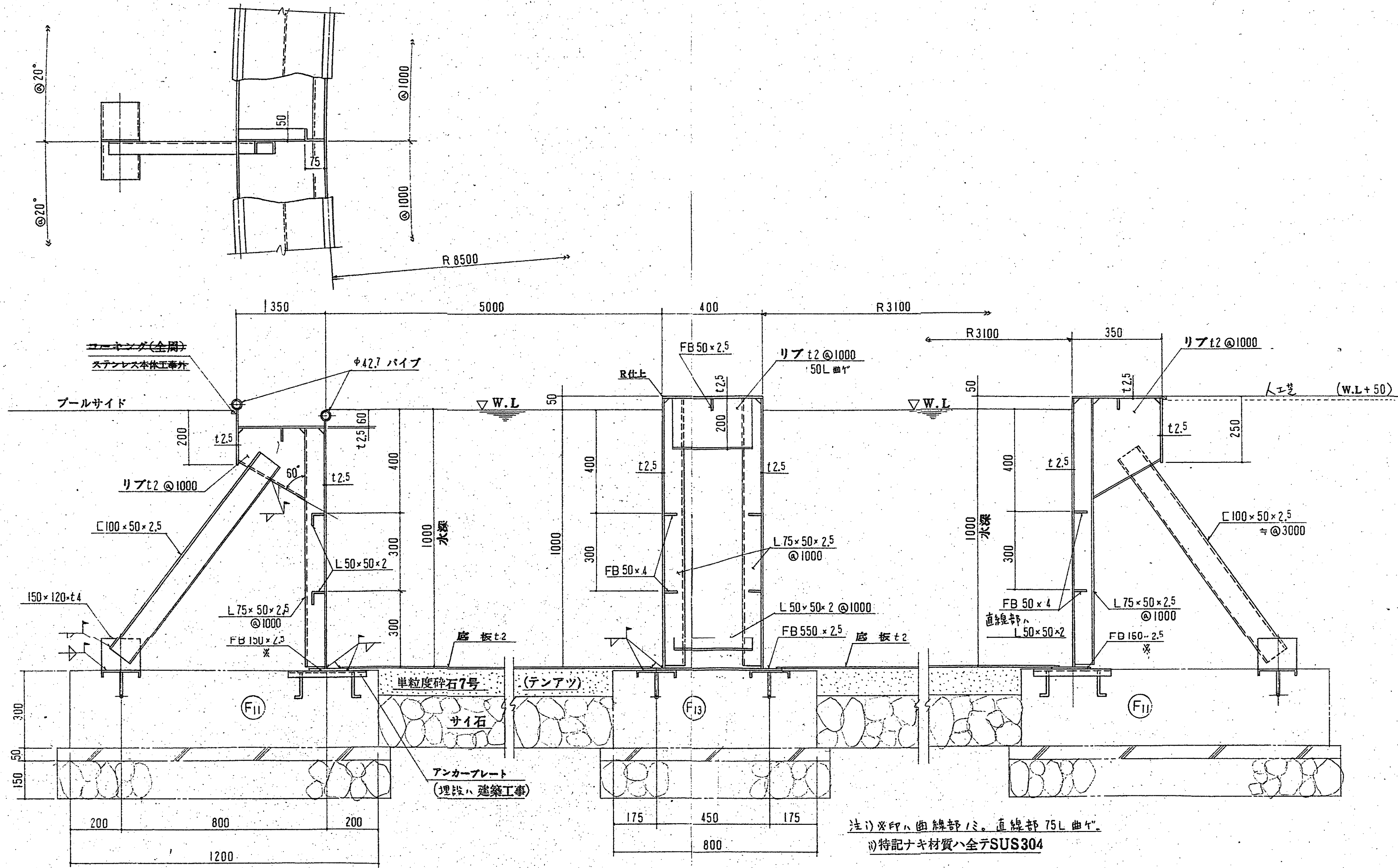
区分	流水プール	着水プール	備考
1 構造	ステンレススチール製 全溶接構造 4.2M x 1.7M 水深 1.0M 5.0M x 86.65M (中心長)	ステンレススチール製 全溶接構造 10.5M x 3.5M 水深 0.85M	
	側板 t2.5 JIS SUS304 底板 t2.0	側板 t2.5 JIS SUS304 底板 t2.0	
2 材料	側板 t2.5 JIS SUS304	側板 t2.5 JIS SUS304	
	底板 t2.0	底板 t2.0	
3 付属部品	入水スロープ 1ヶ所	階段 1ヶ所	ステンレススチール製
	排水ピット 1ヶ所	手摺 1ヶ所	"
	揚水ポンプ吸込ボックス 1ヶ所	フェンス 1ヶ所	"
	噴水 2ヶ所 (ナナ型/シャワー型)		
4 配管部品	給水ノズル 80A x 1ヶ		
	汚過給水ノズル 150A x 1ヶ JIS10K片7ランジ付	吐出ノズル 50A x 3ヶ JIS5K片7ランジ付	
	オーバーフローノズル 65A x 17ヶ	オーバーフローノズル 65A x 9ヶ	
	排水管 200A x 1ヶ JIS5K片7ランジ付		
	揚水ポンプ吸込口 200A x 1ヶ		
	ミニ型噴水吸込口 80A x 1ヶ JIS10K片7ランジ付 (先行埋設 80A)		
	シャワー型噴水吸込口 40A x 1ヶ (" 32A)		
5 塗装	プール表面 素地調整		
	下塗 エポキシプライマー (1回塗)		
	中塗 エポキシ樹脂塗料 指定色 (1回塗)		
	上塗 " 指定色 (1回塗) 一部 ノンスリップ塗装		
プール裏面 ターレエポキシ樹脂塗料 (1回塗)			
6 マーキング	水深標示 (1.0M) 0ヶ所	水深標示 (0.85M) 1ヶ所	
	標示文字ハ 黒色ビニールフィルム使用		
7 工事区分 ステンレス本体工事外	i) プール基礎工事 (材・工共) 及び アンカープレート 埋設工事 (エ/ミ) (アンカープレートハ プールメーカー支給)		建築工事
	ii) プールサイド取合部 / コーキング工事 (材・工共)		"
	iii) プール振付後、プール本体と基礎との隙間へ1モルタル充填 (材・工共)		"
	iv) 振付用 基礎 墨出し (材・工共)		"
	v) 中島部人工芝貼付工事 (材・工共)		"
	vi) スライダースhoot取付ブラケット吸着ポート設置工事 (材・工共)		スライダースhoot
	vii) 排水型ホール(2ヶ所)設置工事(材・工共)、起流装置(2ヶ所)一式 (材・工共)		設置工事
i) 各ノズル/継手 相7ランジ、10mm、ボルトナット(SUS)取付工事(材・工共)		設備工事	
ii) 噴水用先行埋設管の埋設工事		"	



整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskkt@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	課長 副課長 主任 担当	富士見市総務部管轄課	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KP
				変更年月日						

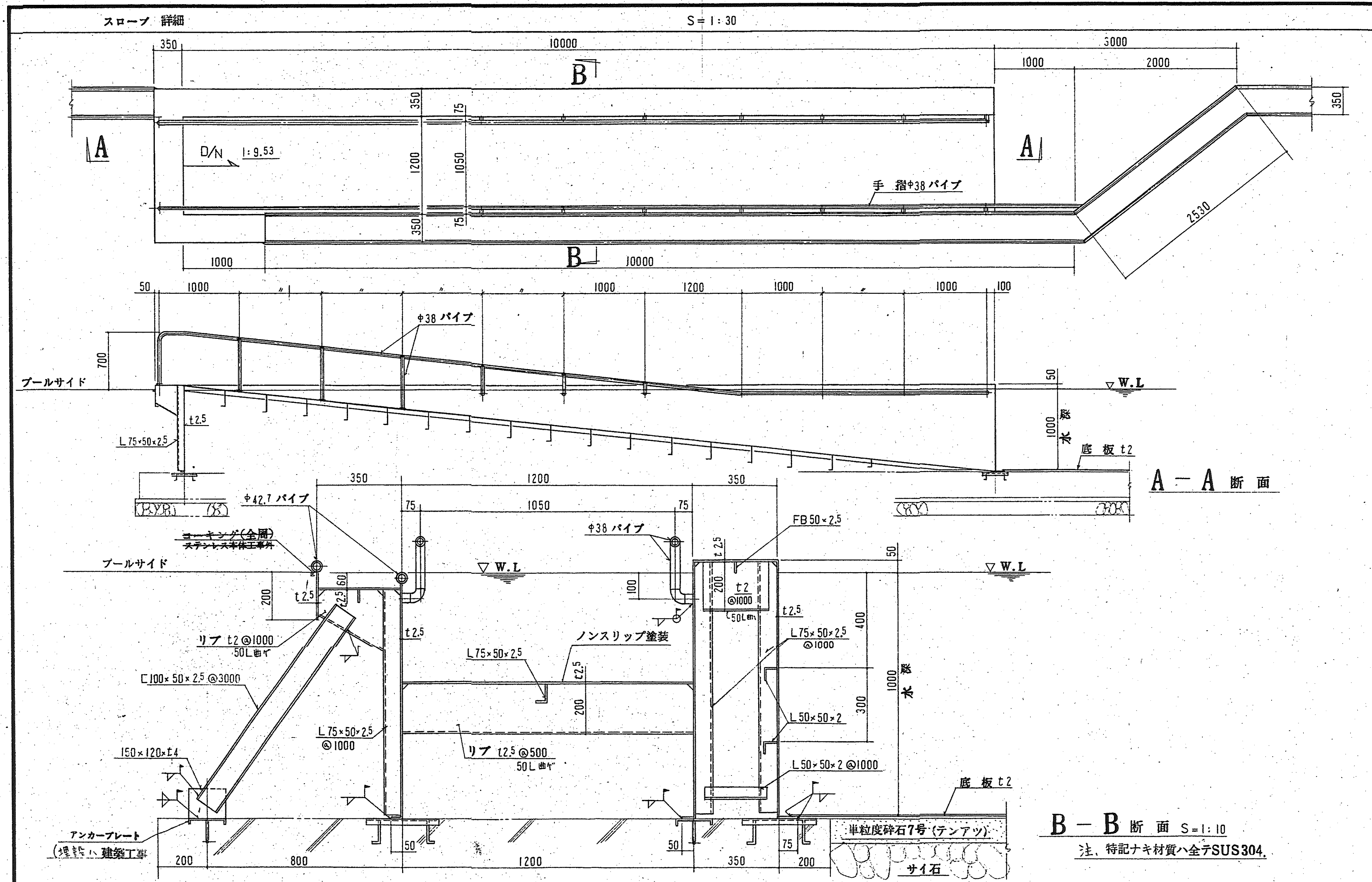
流水プール 断面詳細

S = 1 : 10



注) ※印ハ曲線部ハ。直線部 75L 曲々。
 ※特記ナキ材質ハ全テ SUS304

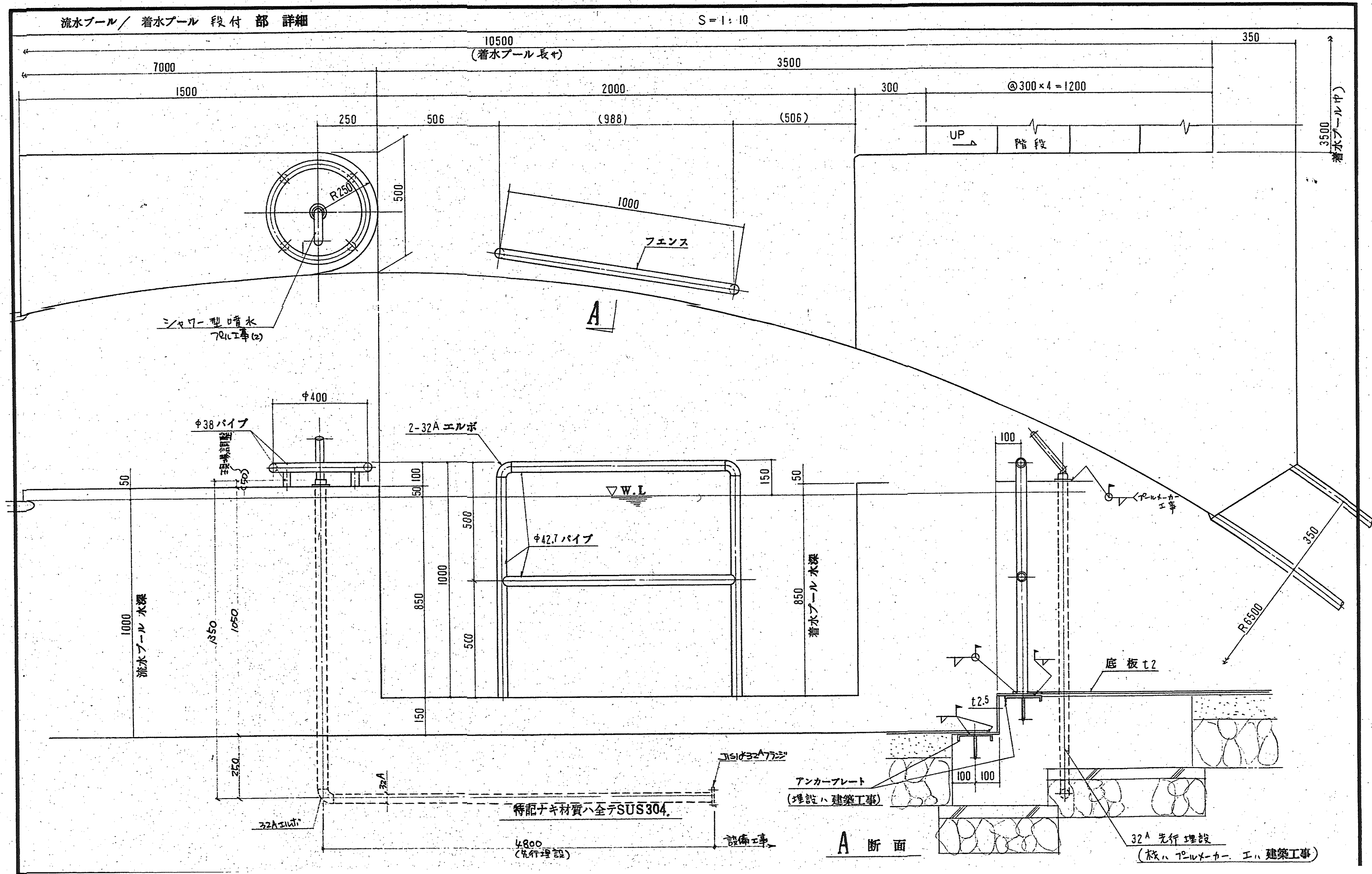
整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 流水プール断面図	S-1:10 (A-1) S-1:20 (A-3)	図面番号 KP / 102
								図面名 流水プール断面図			

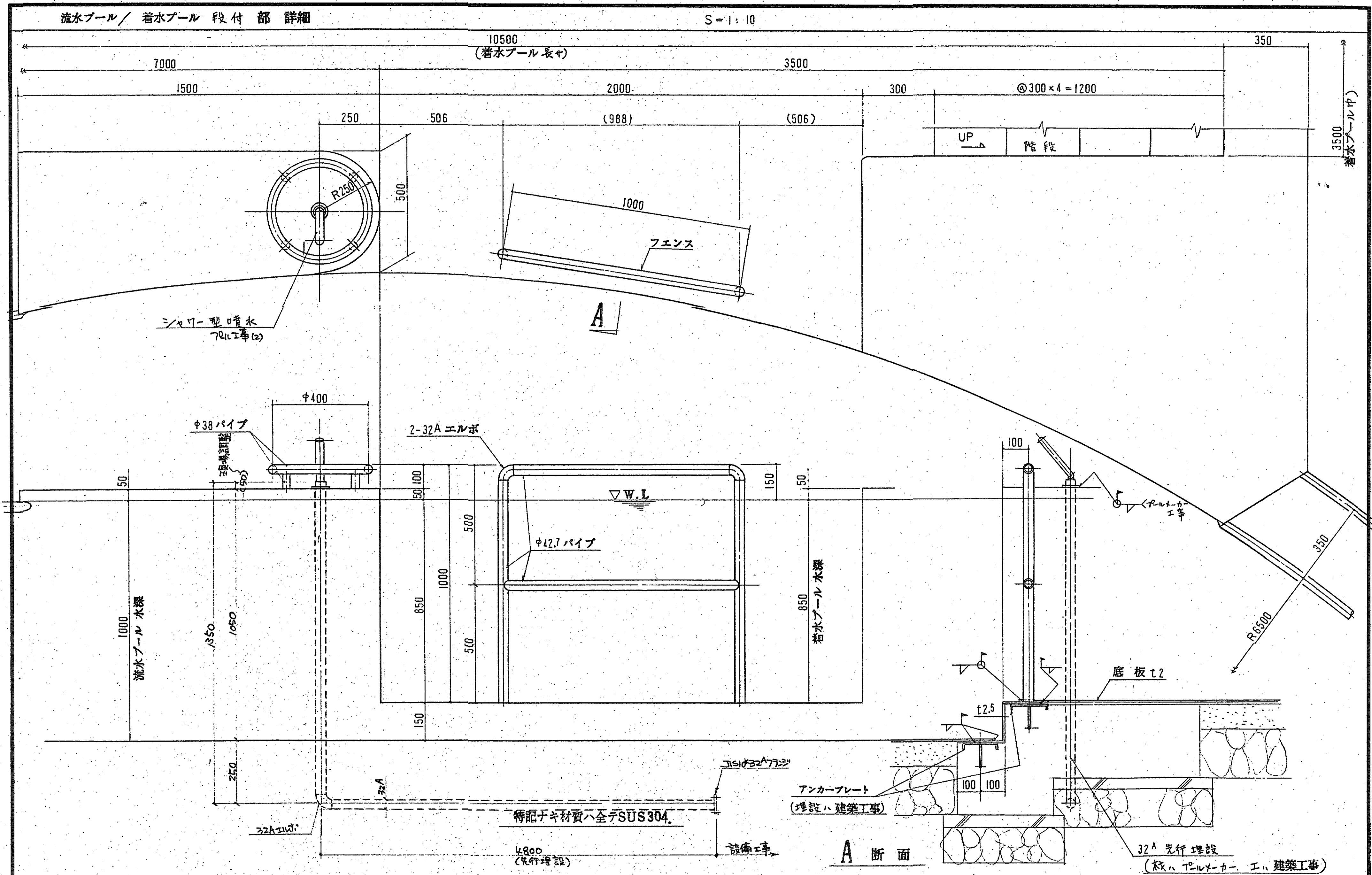


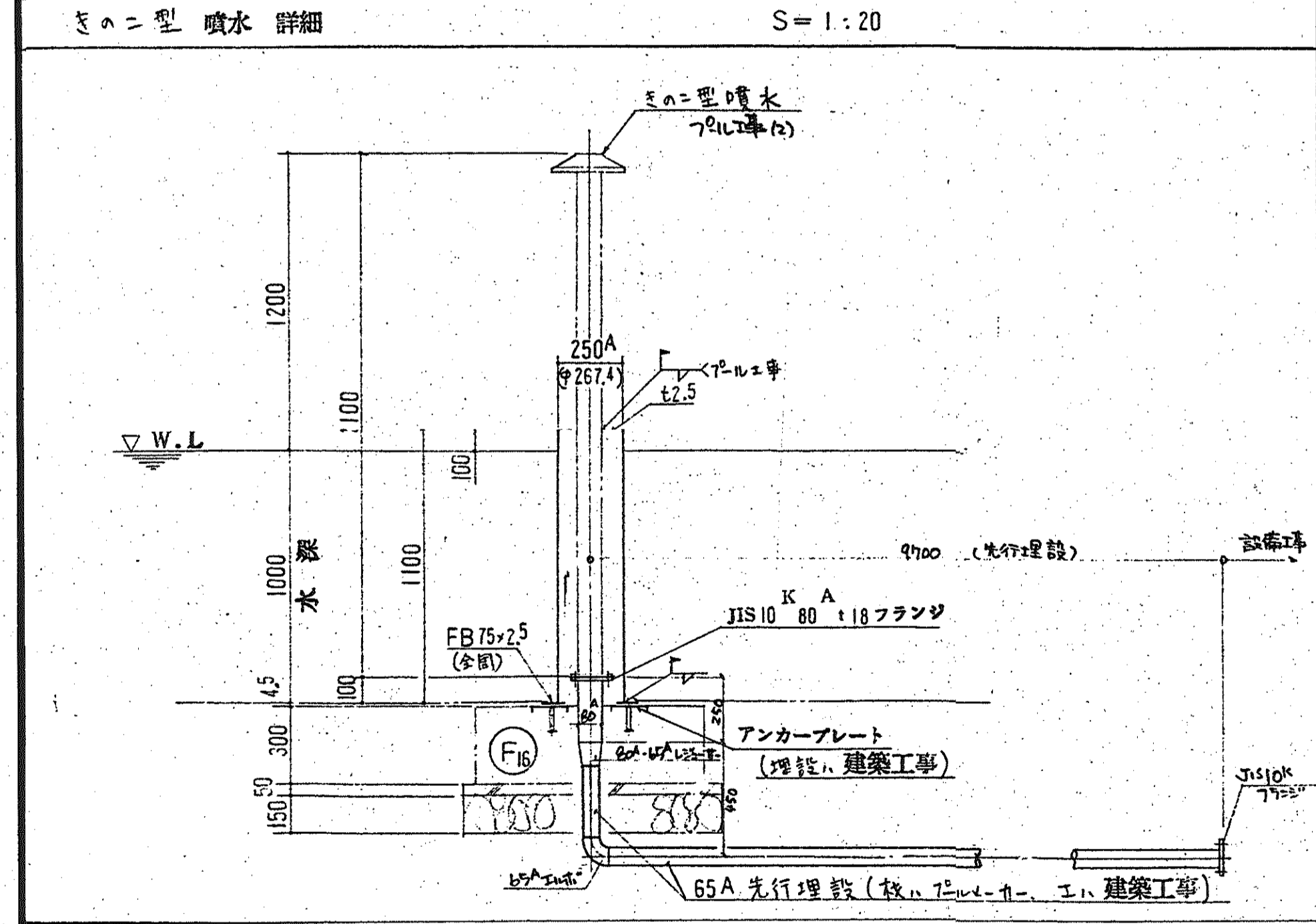
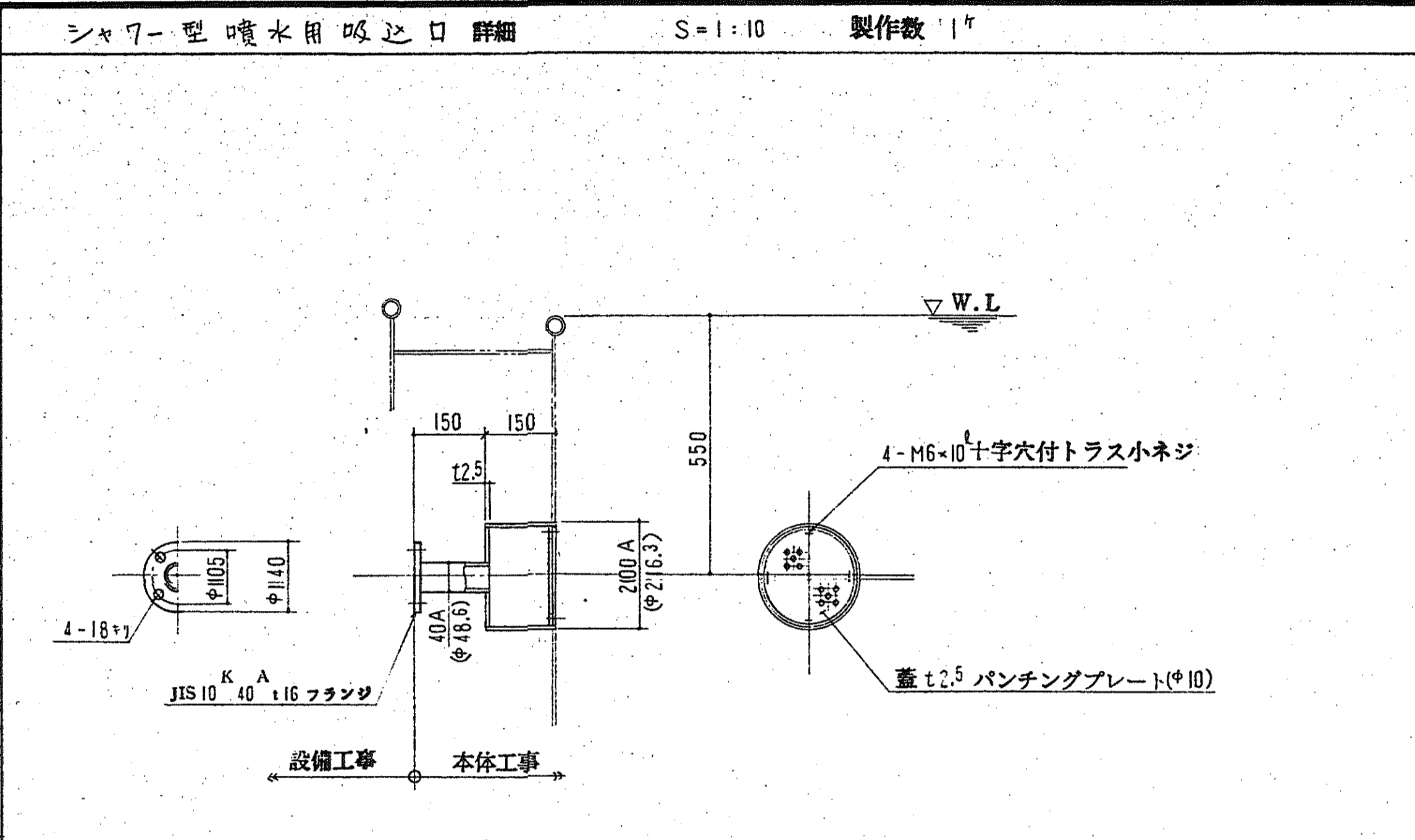
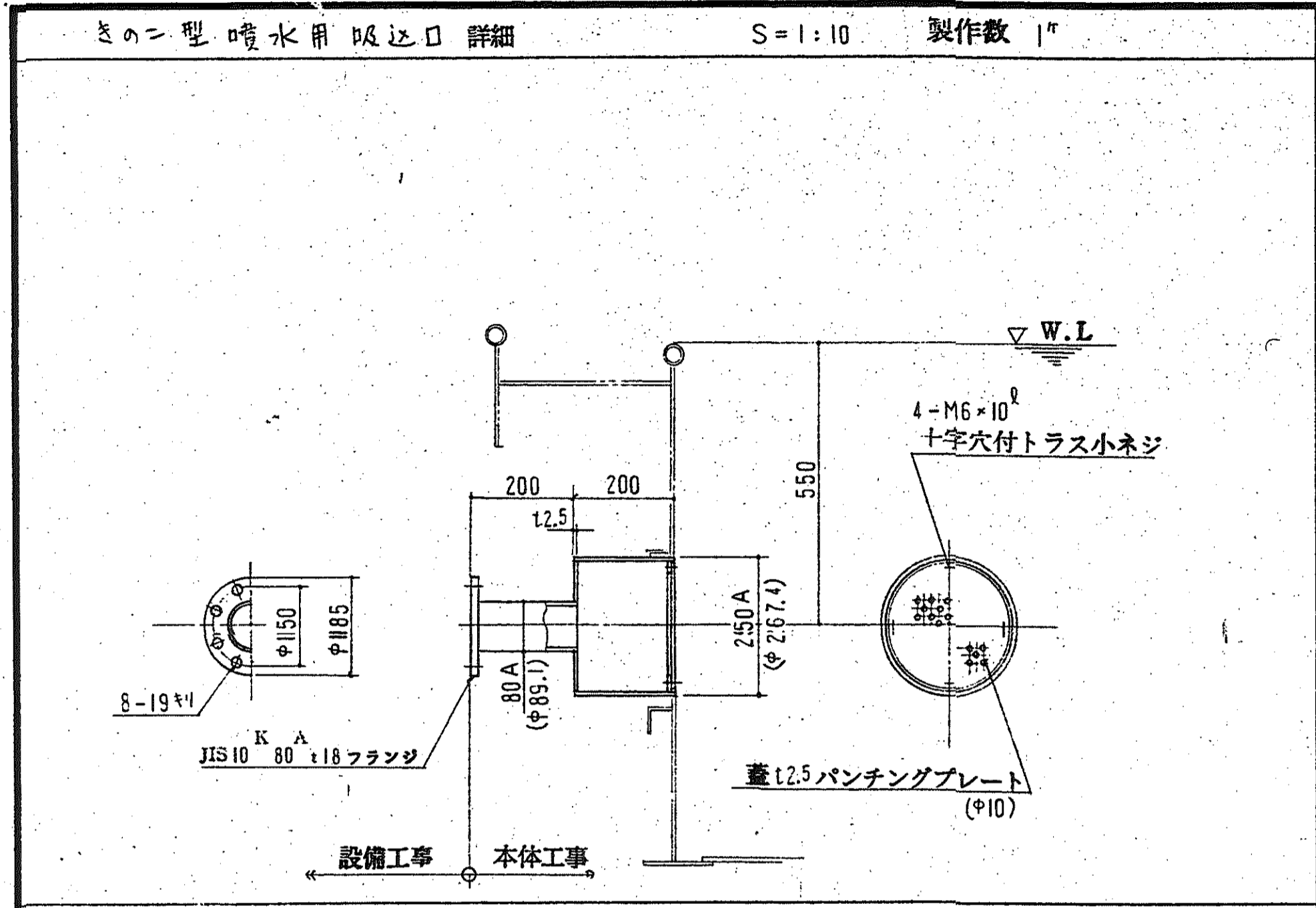
承認	照査	設計	製図	NOTE
			柳井	

課長	副課長	主任	担当

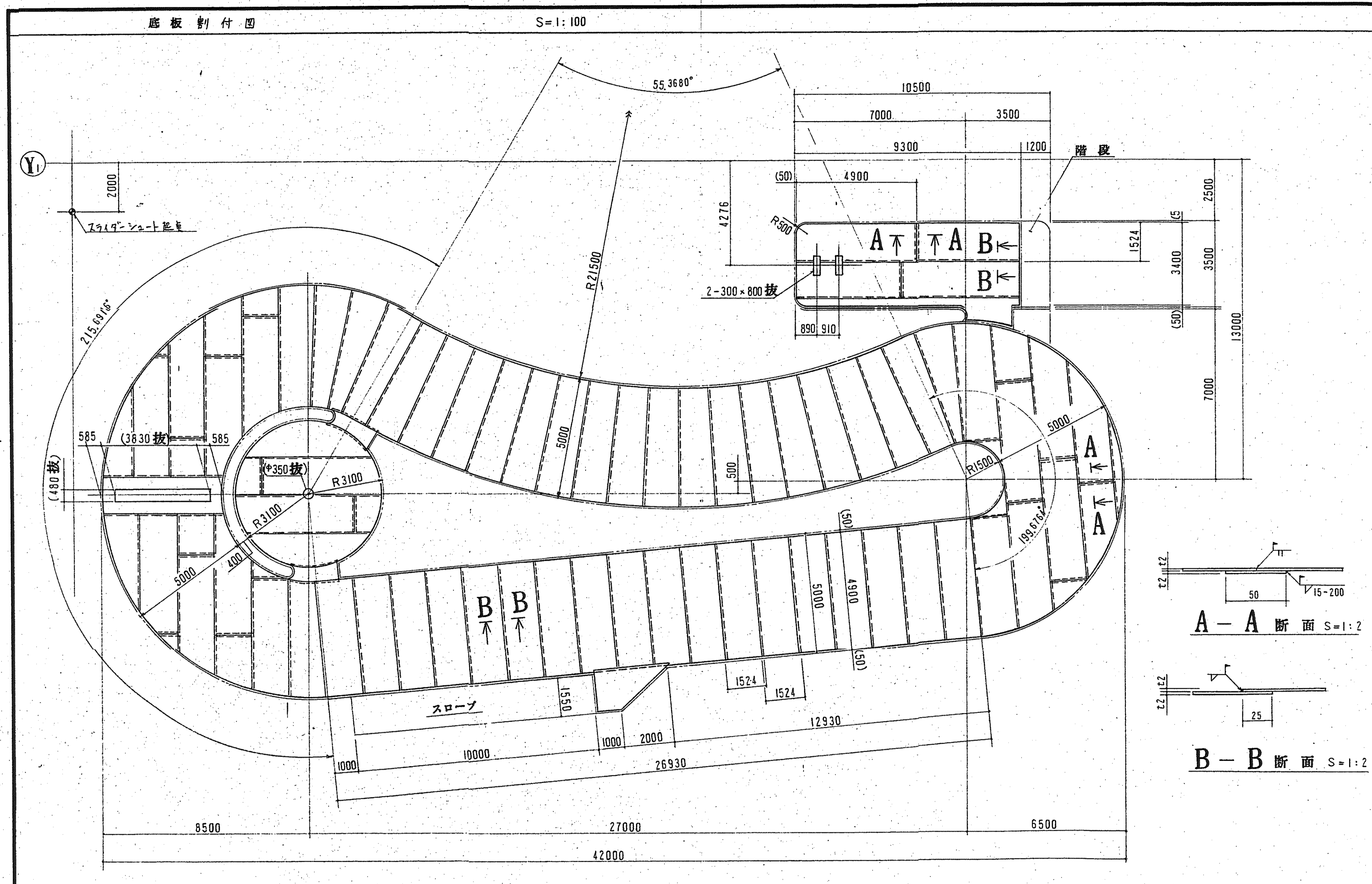
工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事
図面名	スロープ詳細図







特記ナキ材質ハ全テSUS304



整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井 設計

CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所

TEL 049-264-8920 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaiskko@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

NOTE

柳井

富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

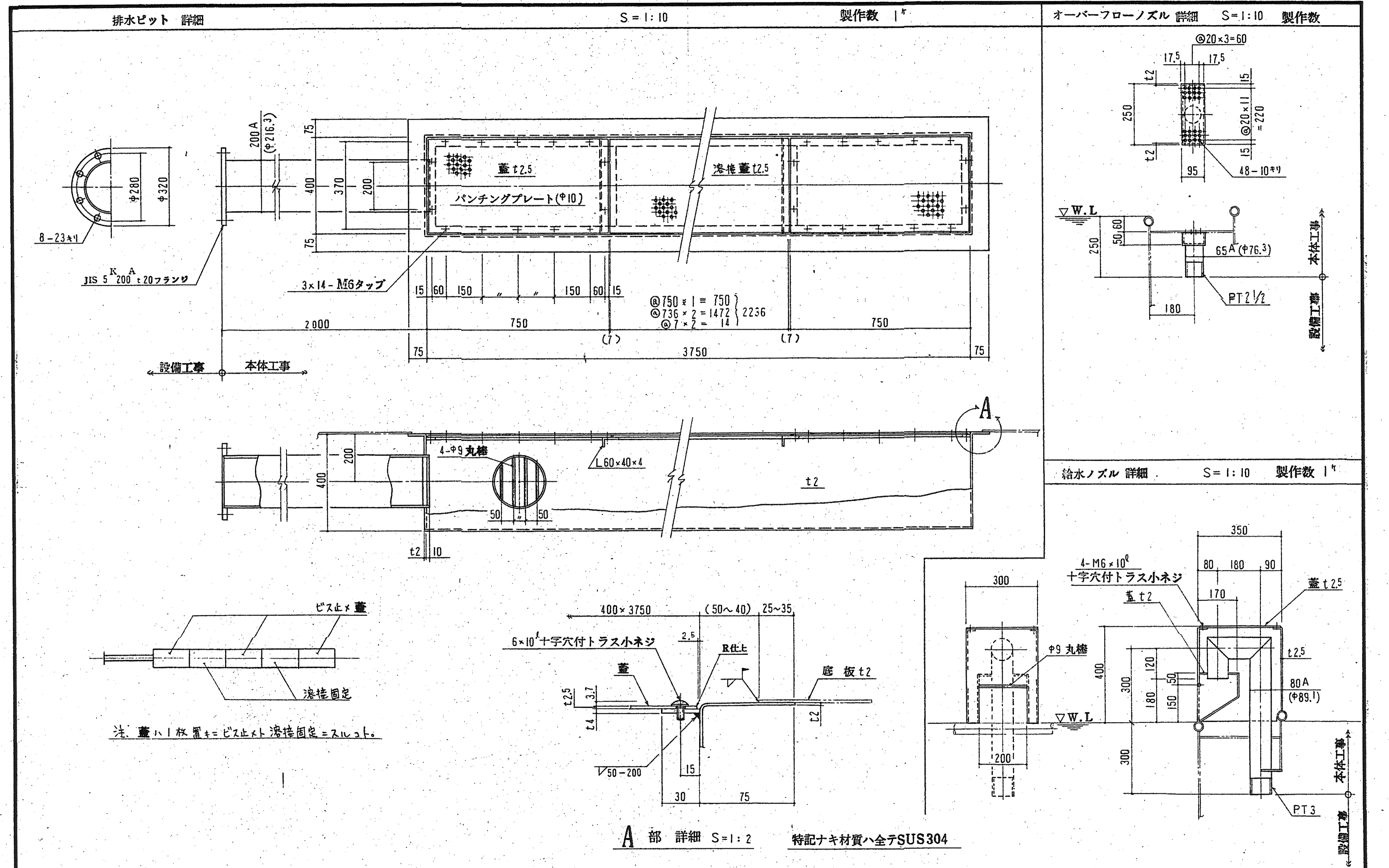
図面名 底板割付図

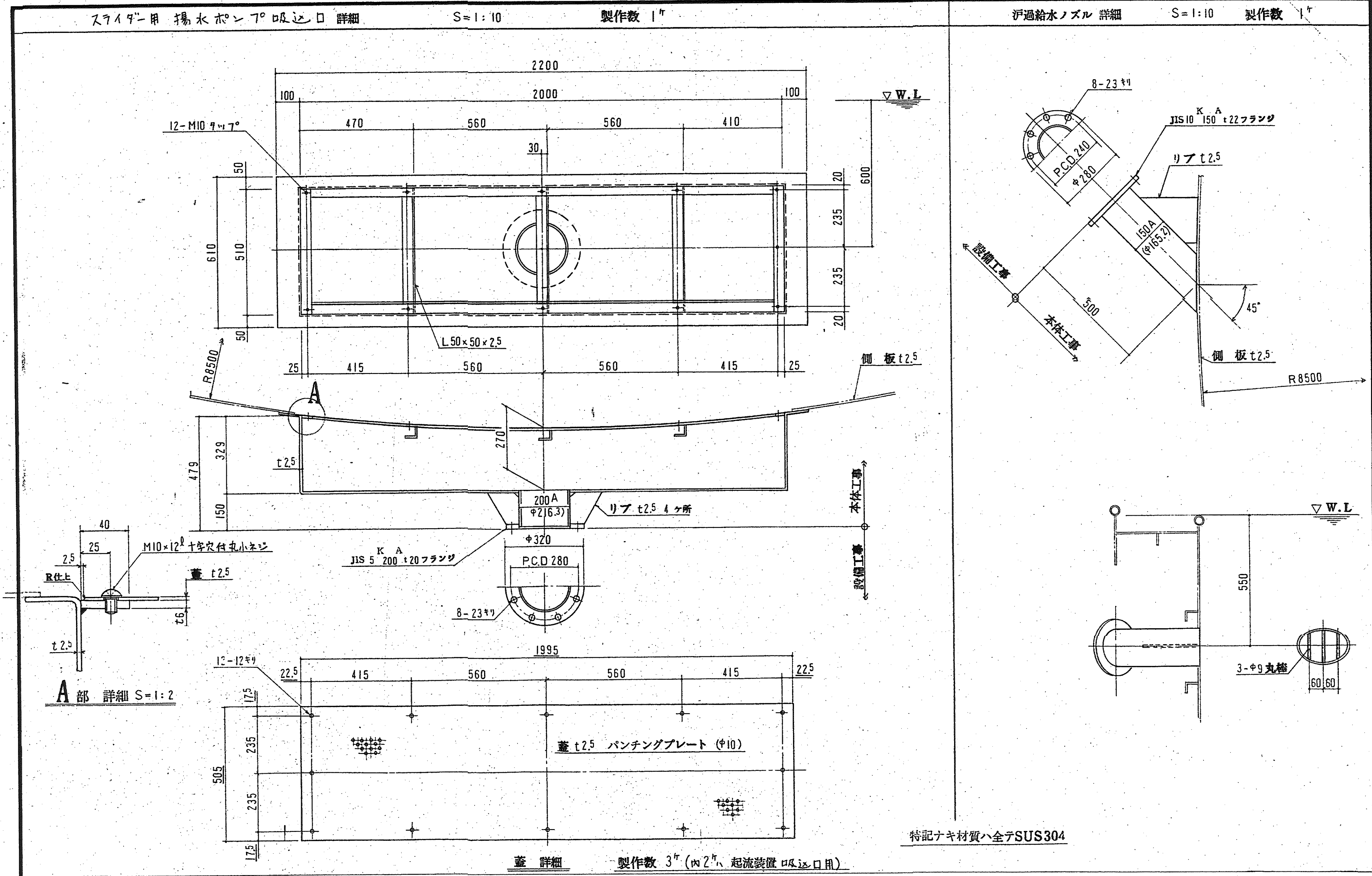
S-1:100 (A-1)
S-1:200 (A-3)

図面番号

KP

107

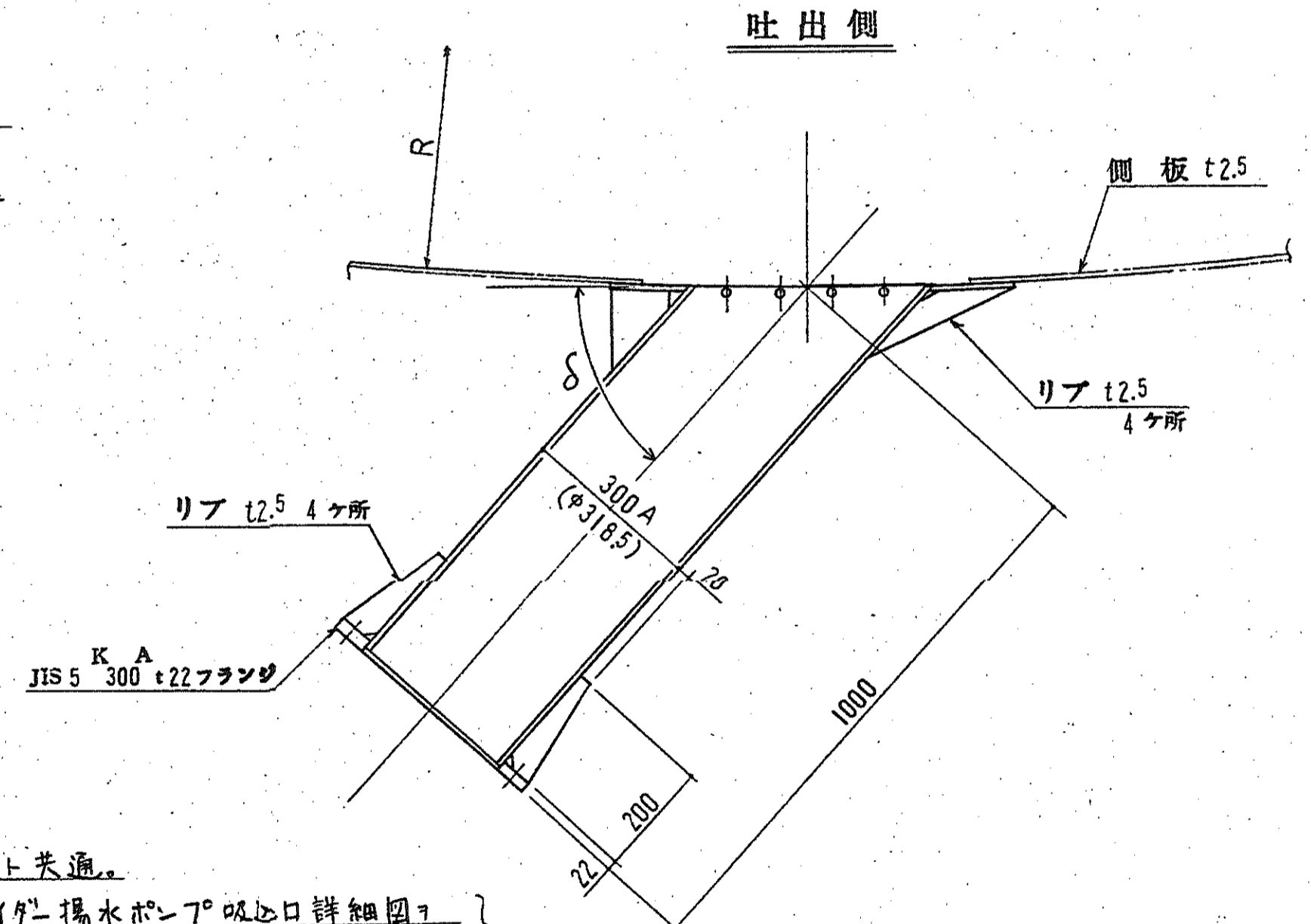
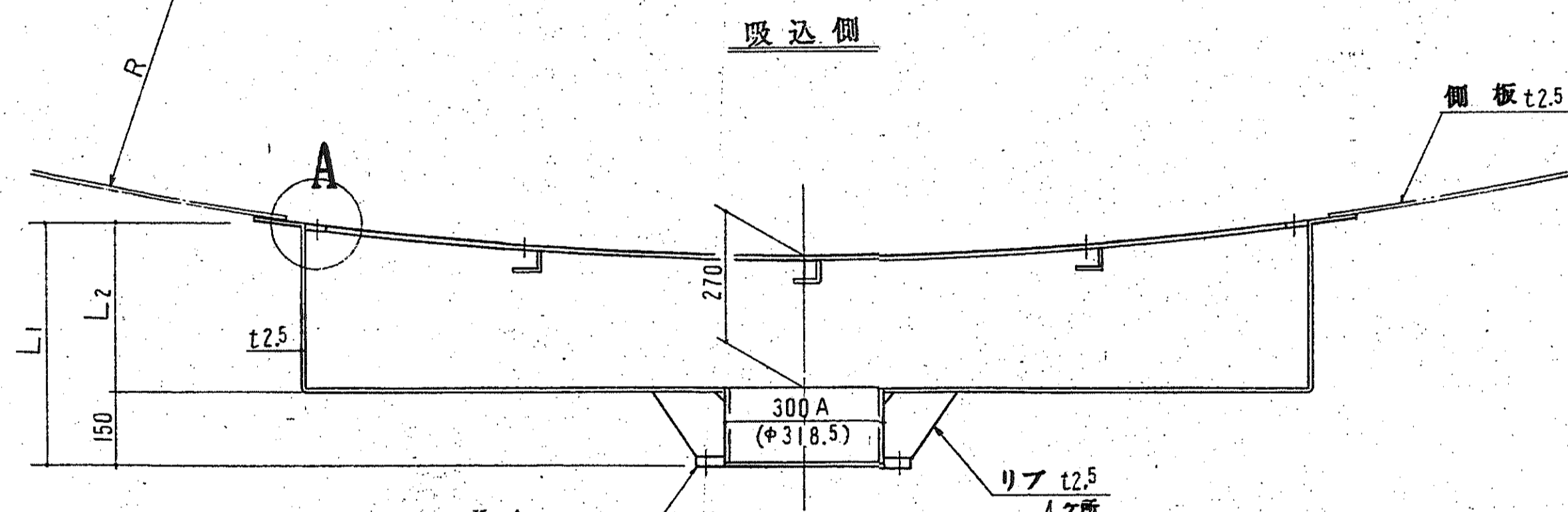
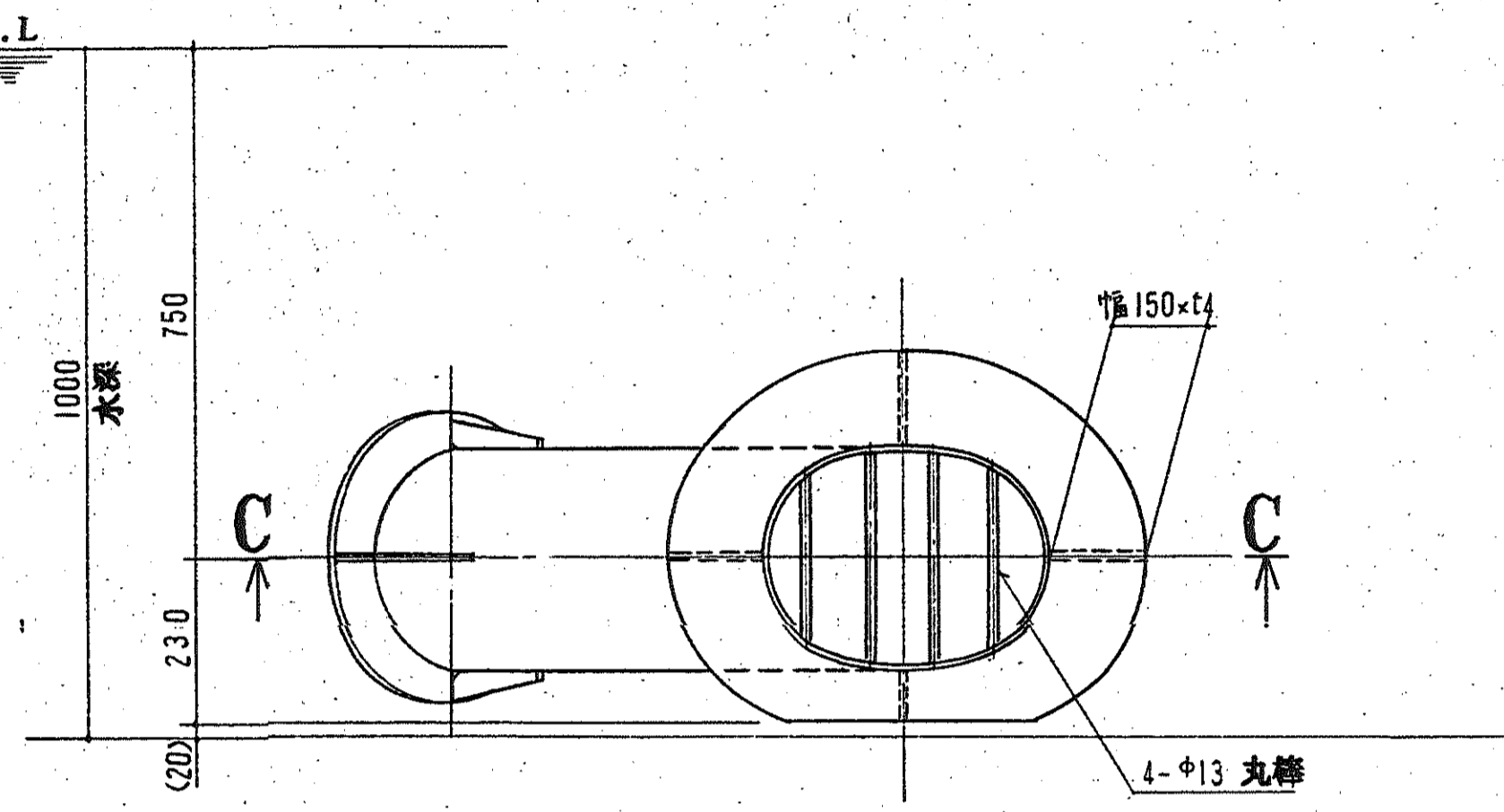
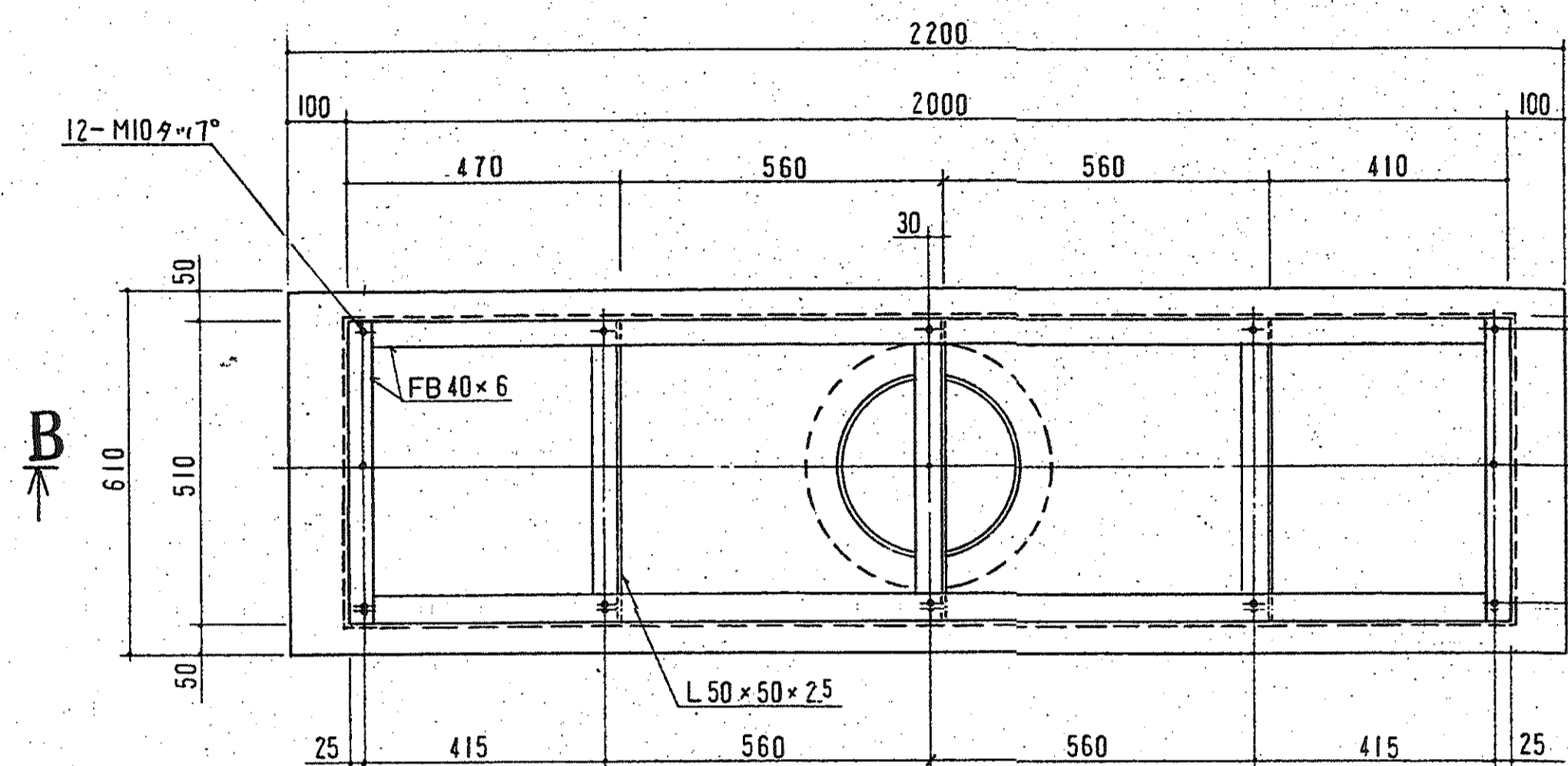




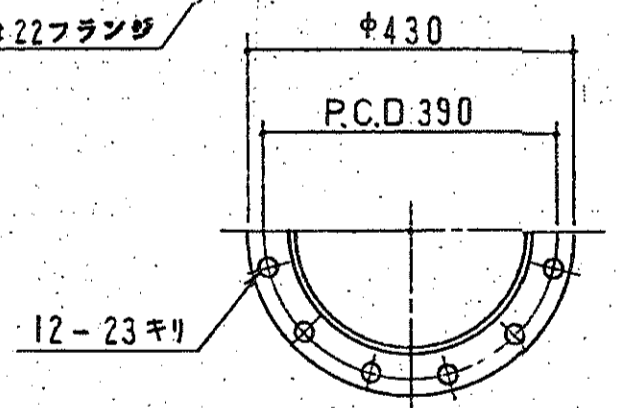
起流装置 吸込口及び吐出口詳細

S=1:10

製作数 ポンプNo. P₁, P₂ 用各1台



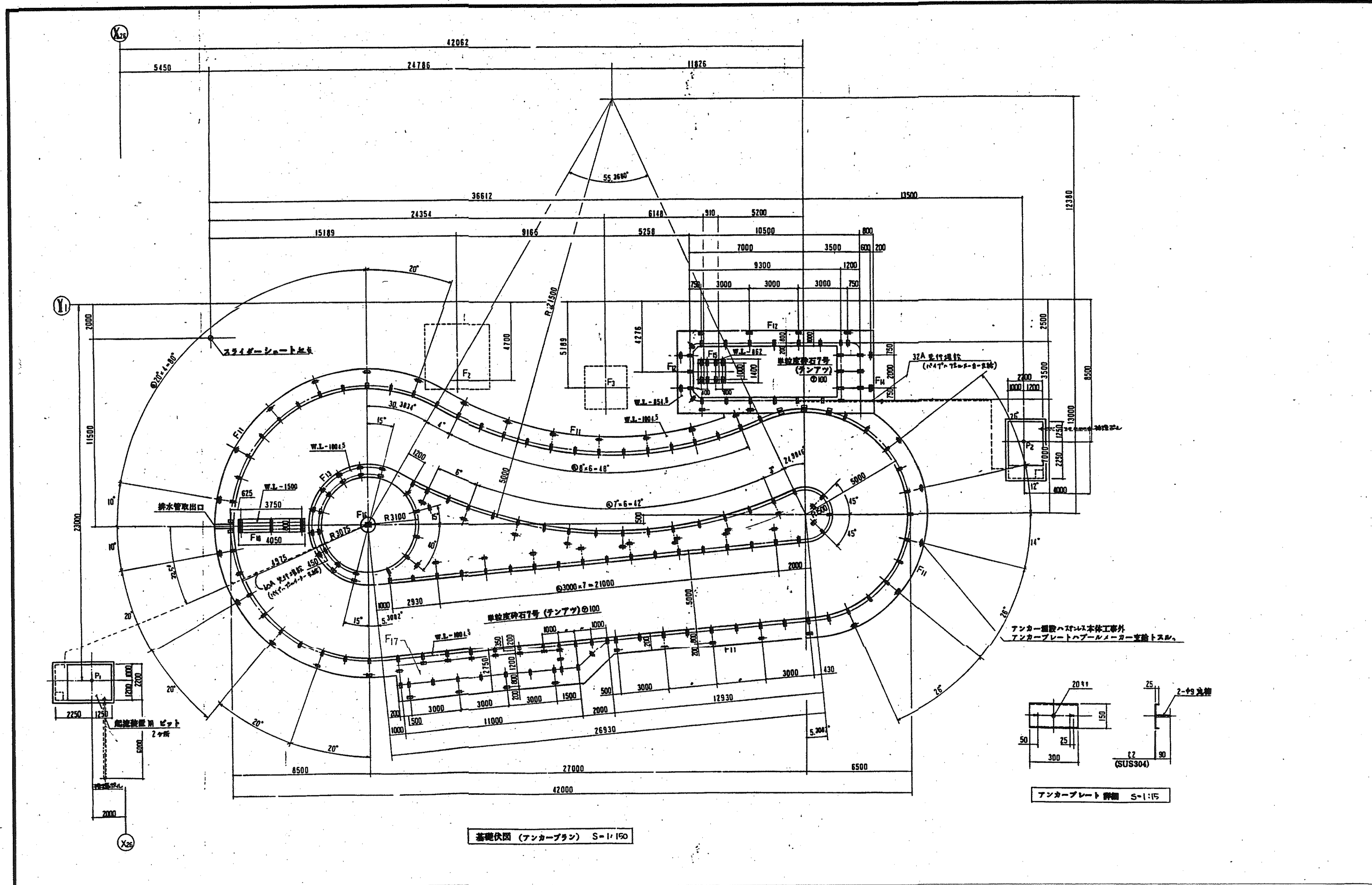
ポンプ No.	R	L ₁	L ₂	δ
P ₁	8500	479	329	48.35°
P ₂	6500	497	347	65°



B-B 断面

C-C 断面

注) 蓋ハスライダ-揚水ポンプ吸込口共通。
 i) 蓋詳細及びA部詳細ハスライダ-揚水ポンプ吸込口詳細図ヲ参照コト。
 iii) 特記ナキ材質ハ全テSUS304。



取組番号
R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanai@kaihinifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 照査 設計 製図
柳井

NOTE

富士見市総務部営繕課

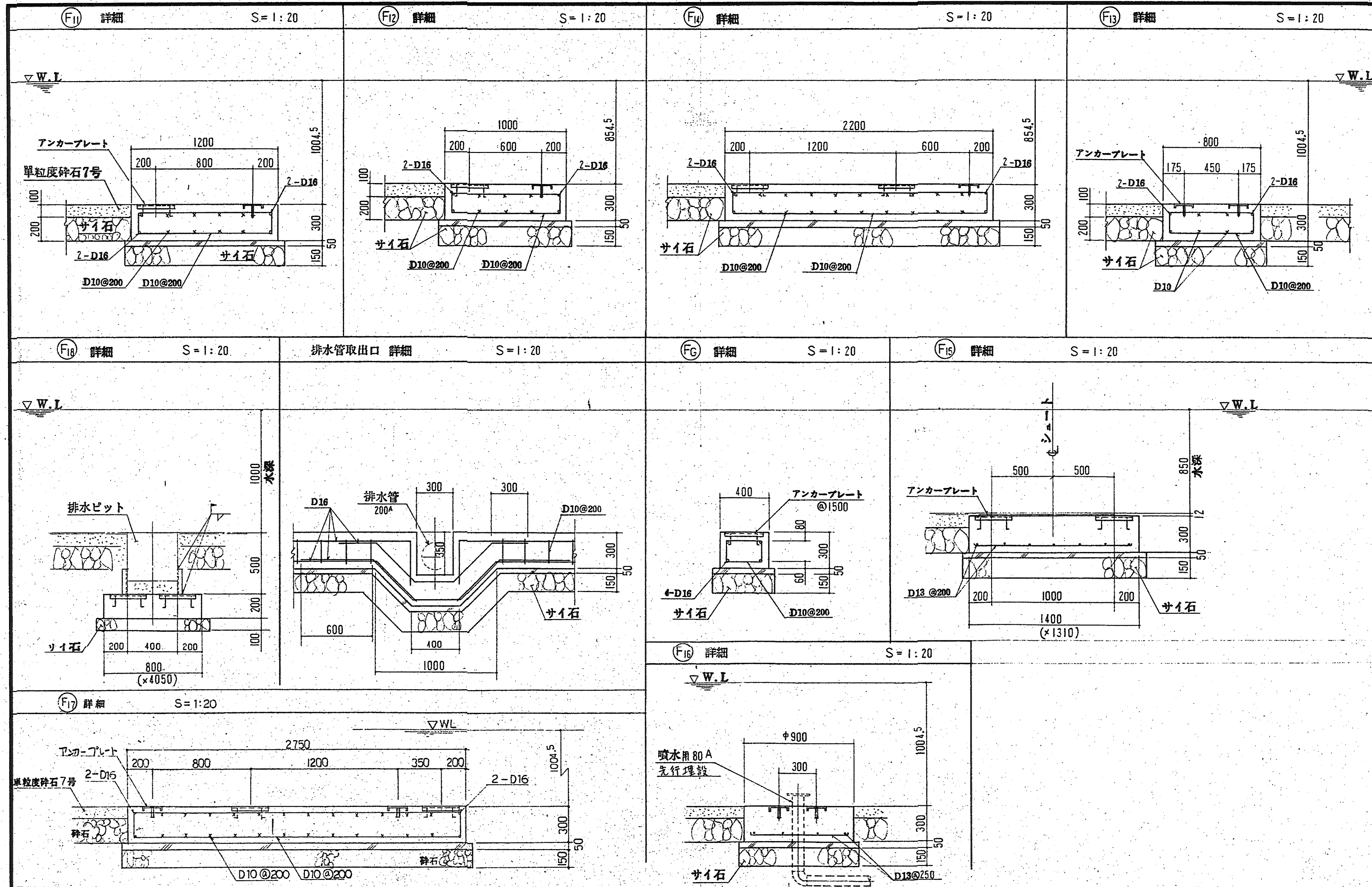
課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事
図面名 基礎伏図

S-1:図示 (A-1)
S-1:図示 (A-3)

図面番号

KP / 111



整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANA I

一級建築士事務所
TEL 049-284-3320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaiskko@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

柳井

NOTE

富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

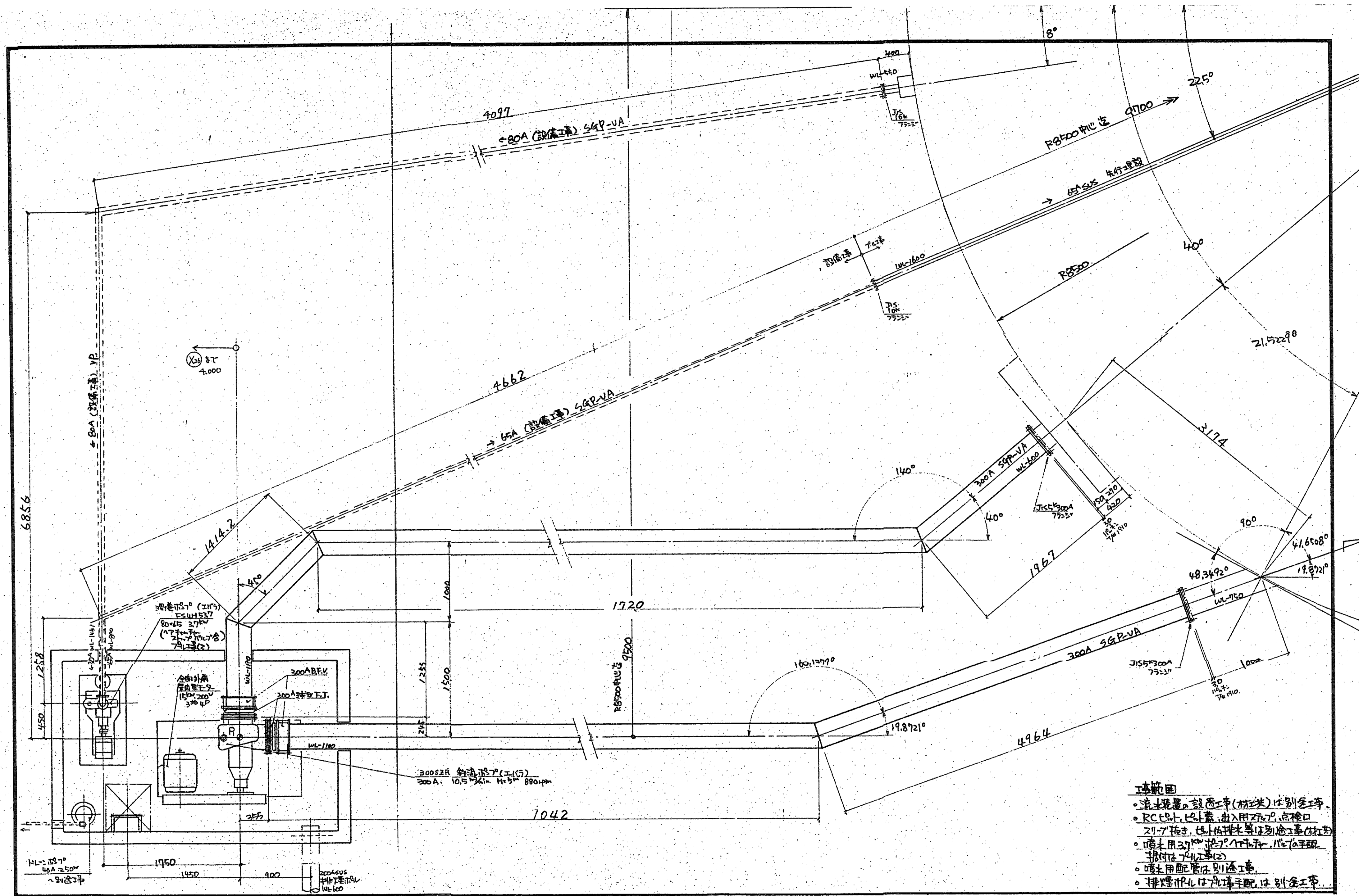
図面名 基礎詳細図

S-1:20 (A-1)
S-1:40 (A-3)

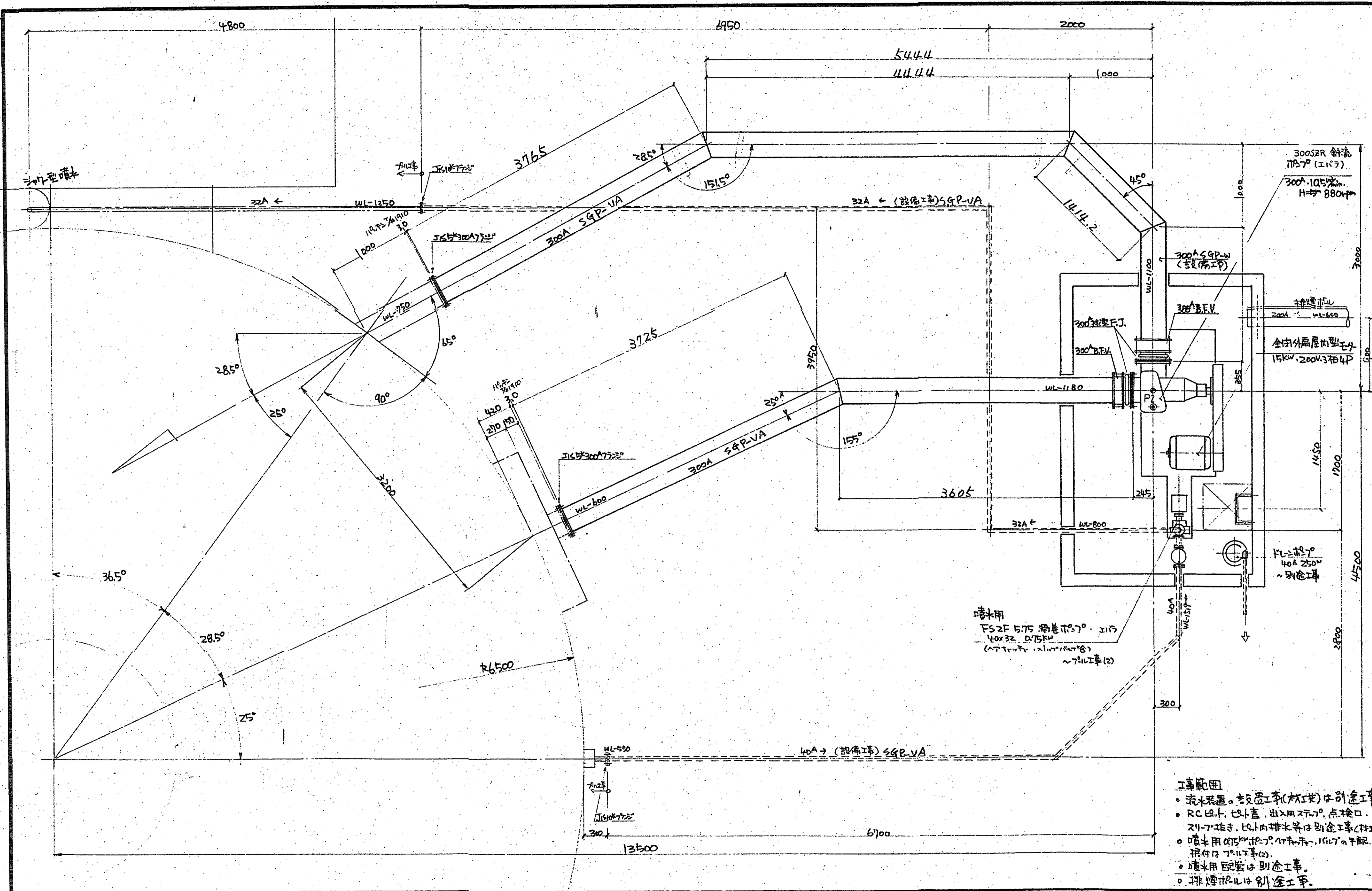
図面番号

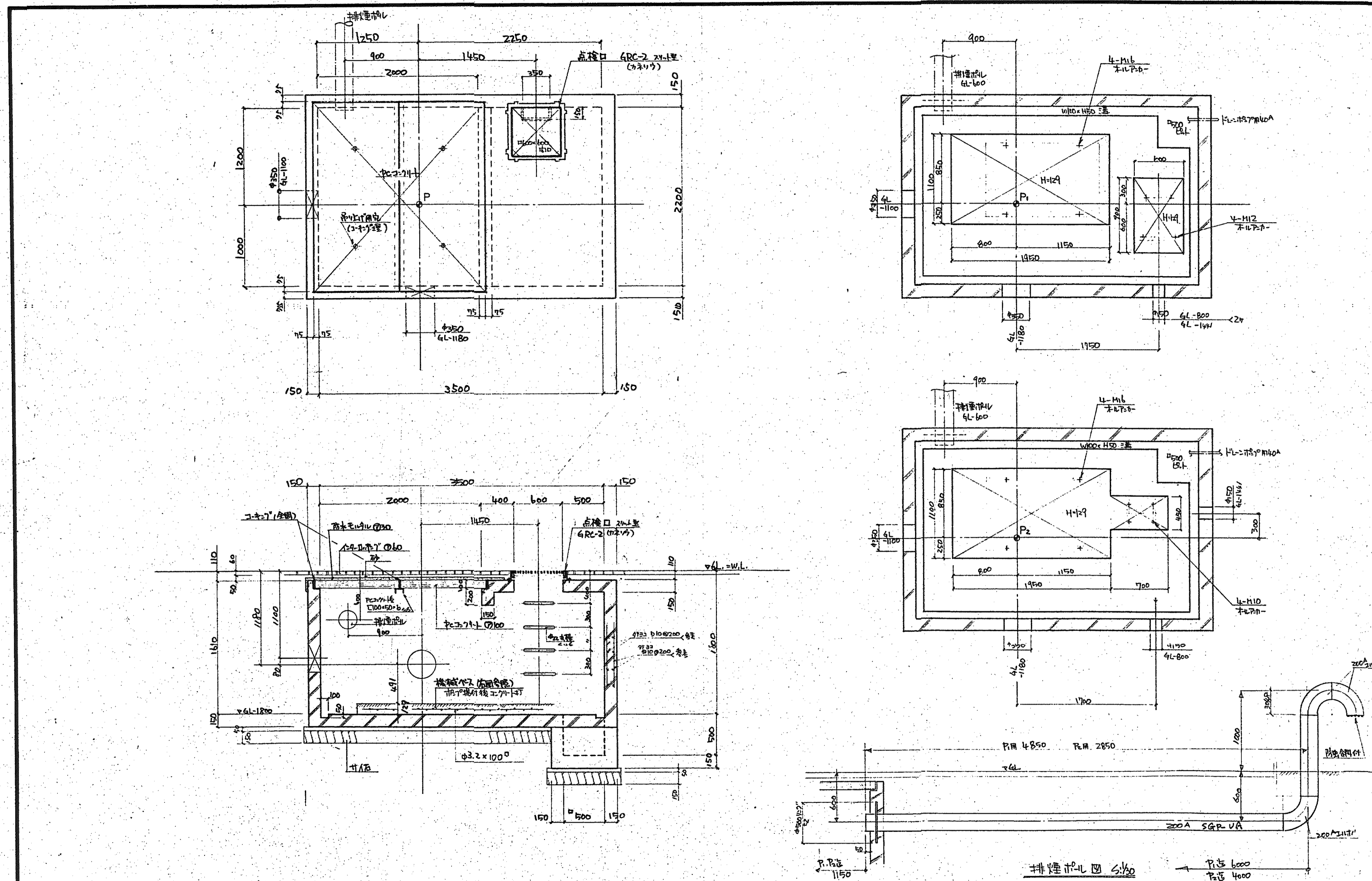
KP

112



- 工事範囲**
- ・流土現象の設備工事(材料)は別添工事
 - ・RC仕上、比尺表、出入用石入り台枠口、24-7板子、CSH排水等は別添工事(材料)
 - ・噴水用370口径ポンプ、11kV配電設備は別添工事(材料)
 - ・噴水用配管は別添工事
 - ・排水用ポンプは別添配管は別添工事





整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaisakkei@lifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

柳井

NOTE

富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

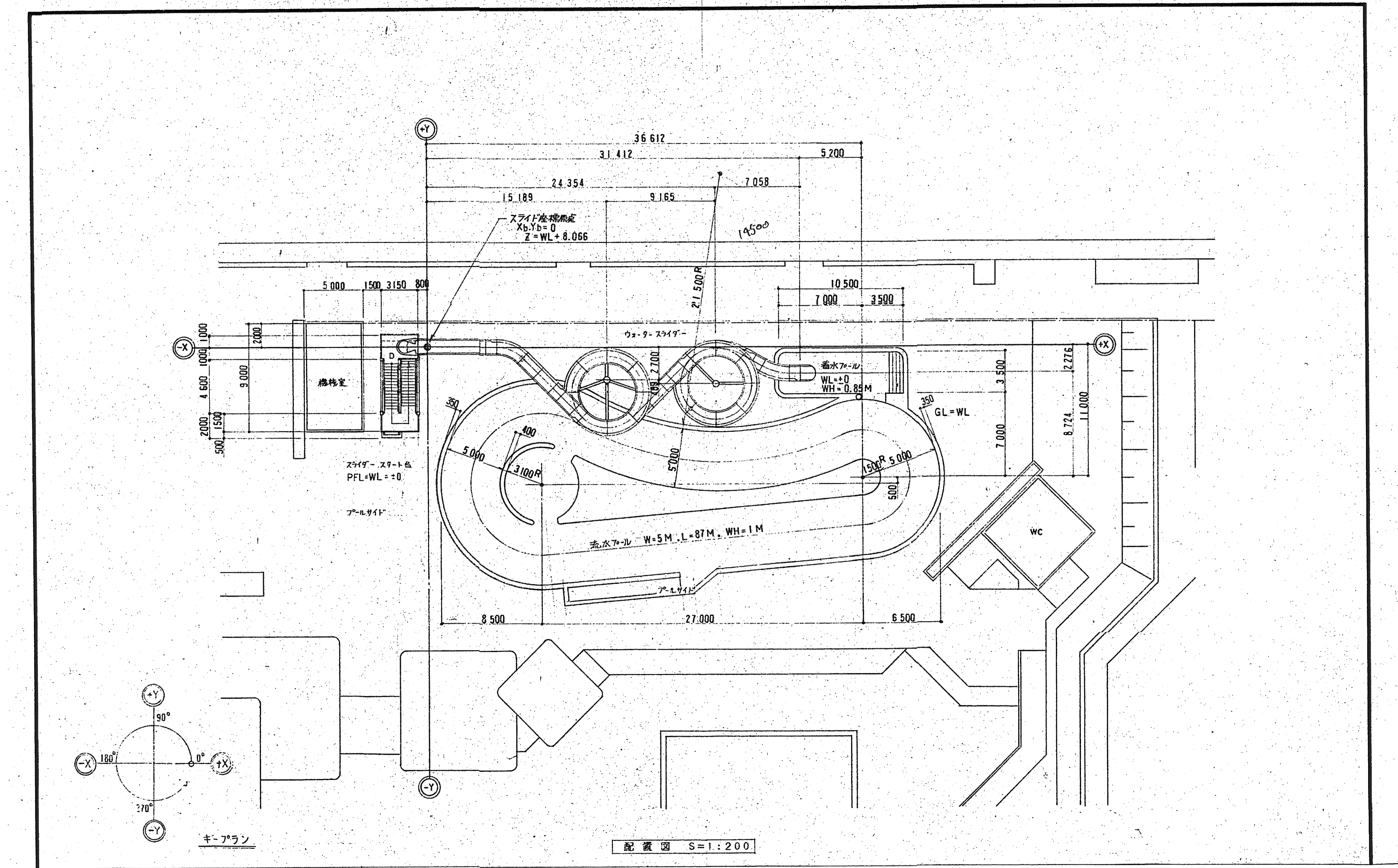
図面名 起流装置ピット図

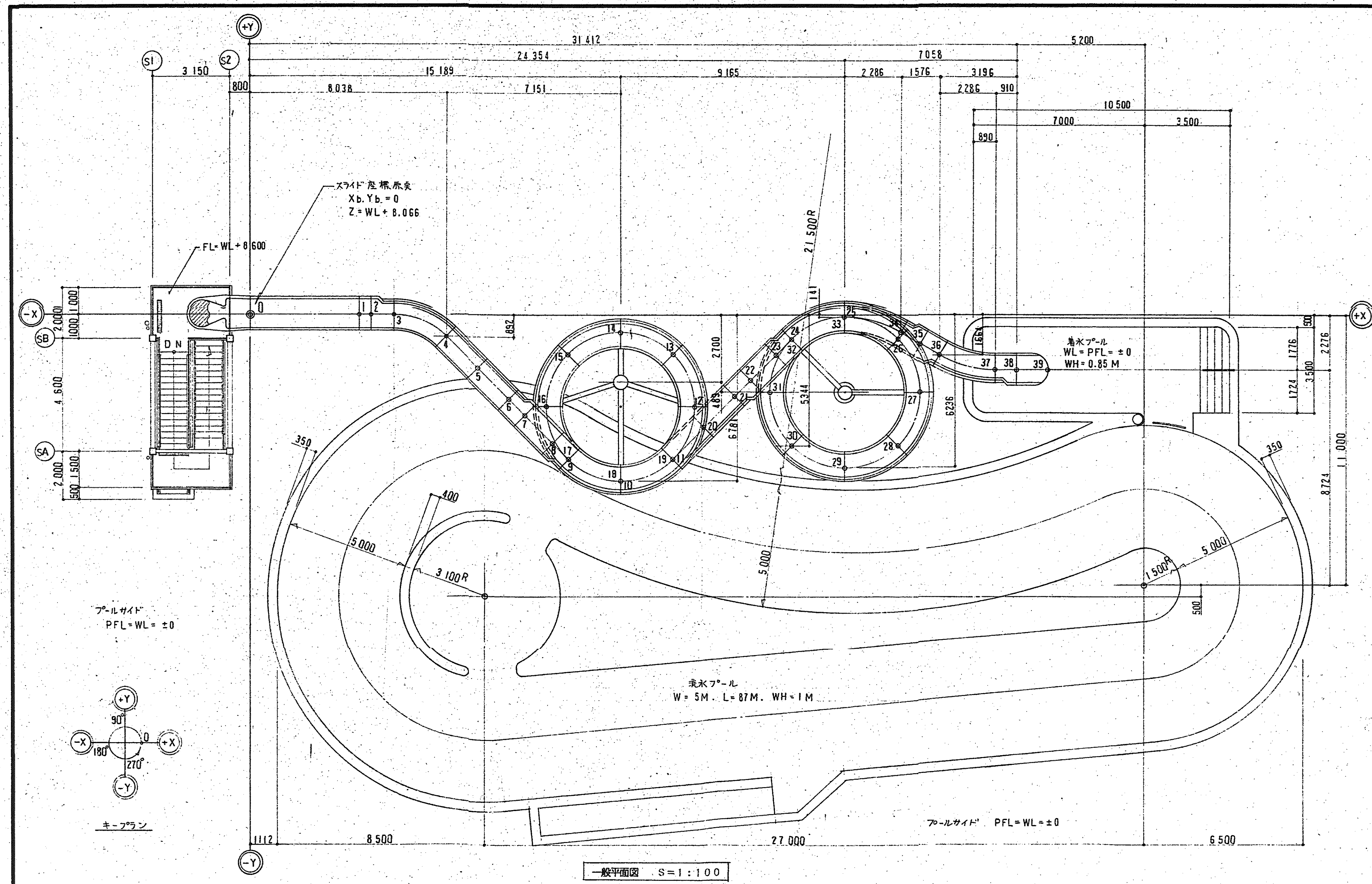
S-1:30 (A-1)
S-1:60 (A-3)

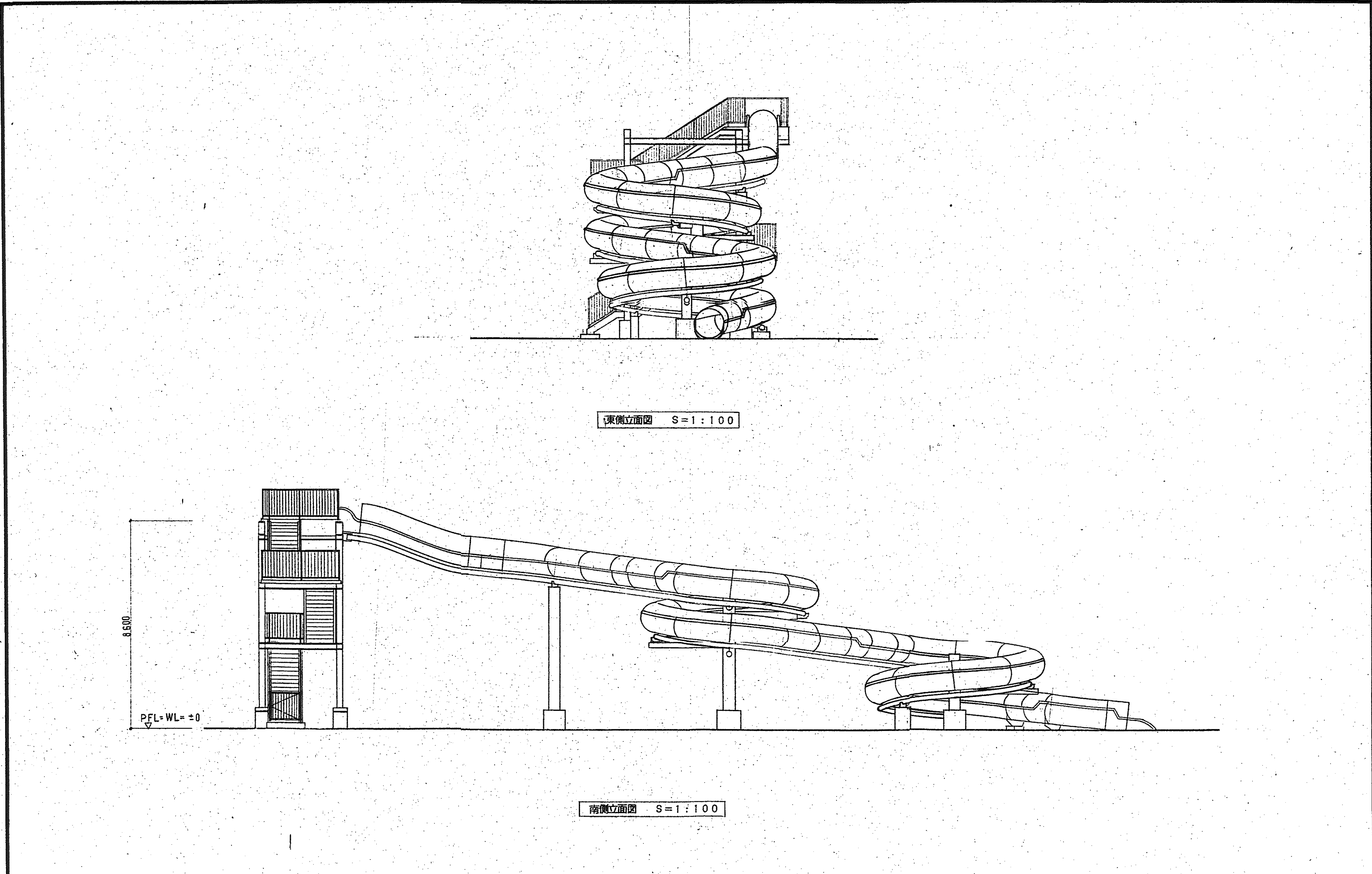
図面番号

KP

115

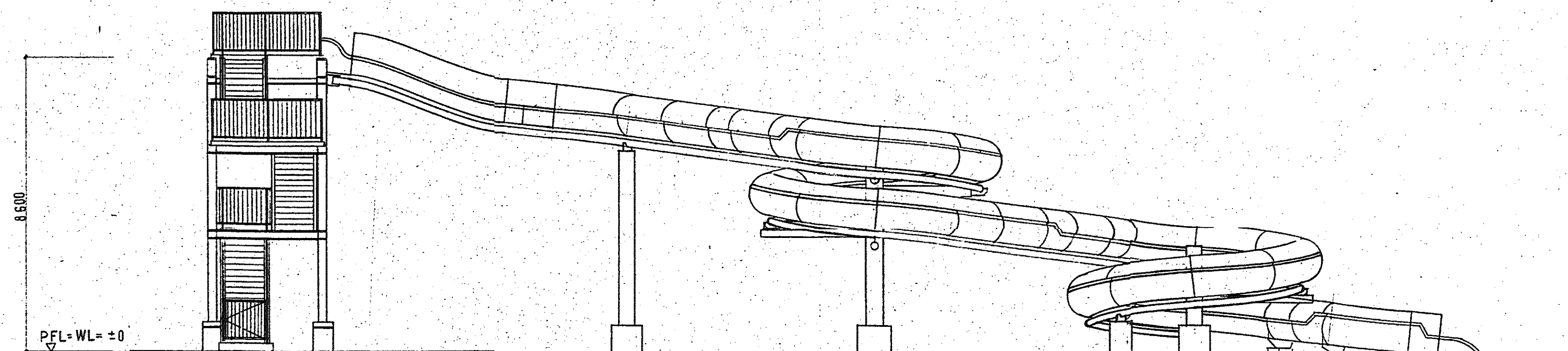




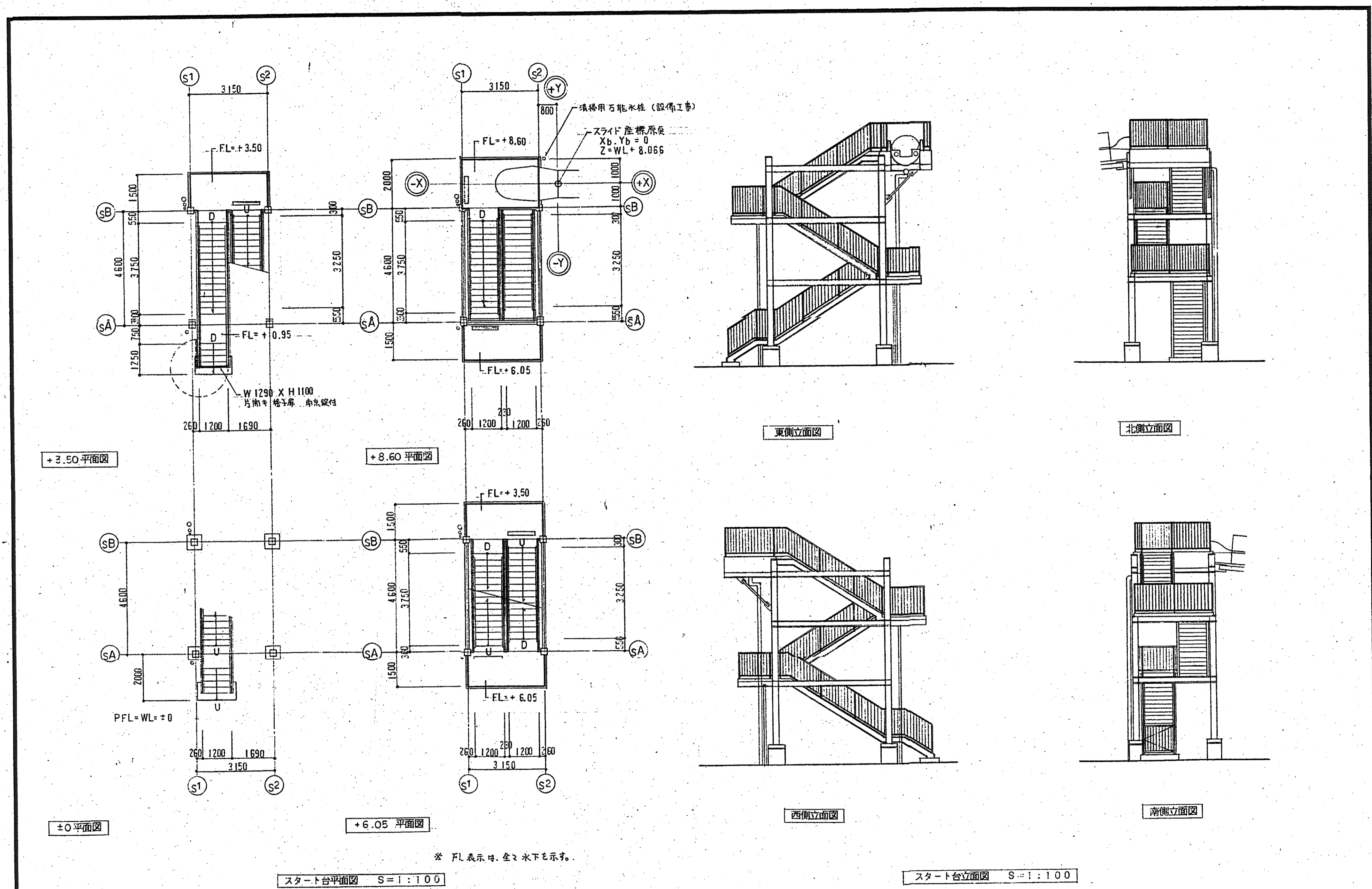


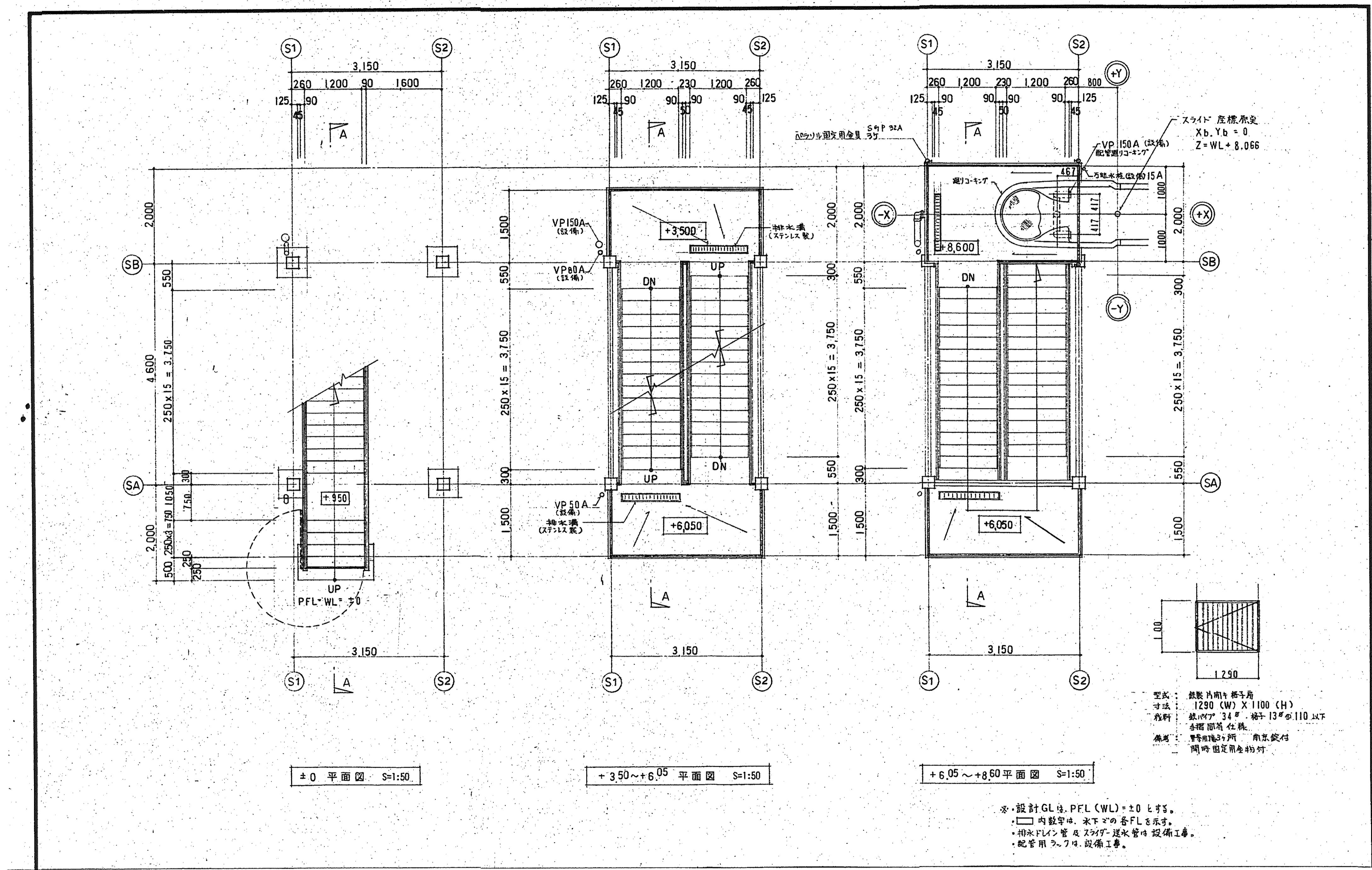
東側立面図 S=1:100

南側立面図 S=1:100



整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (PC) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisakai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KS / 118
				変更年月日				柳井									



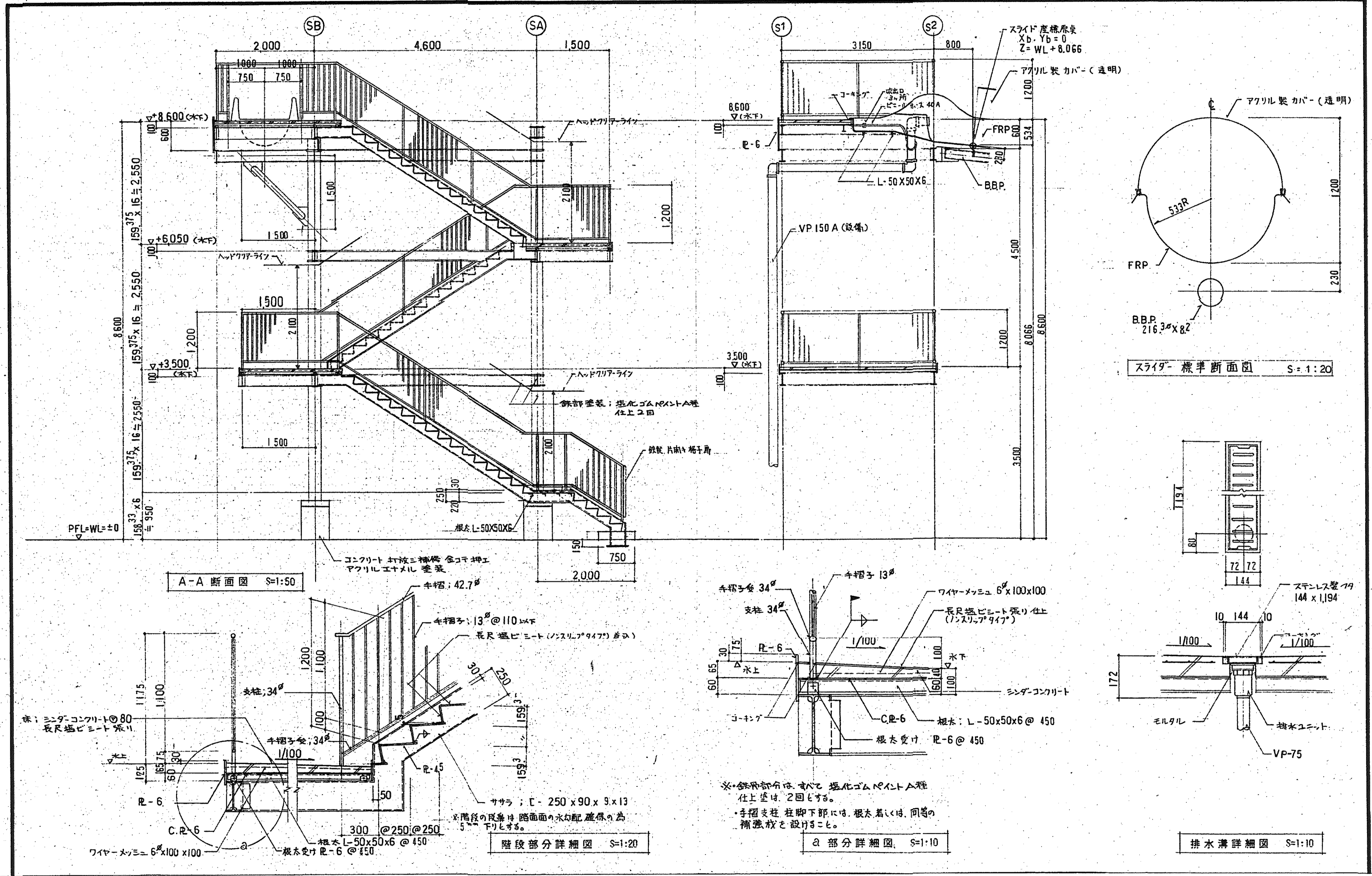


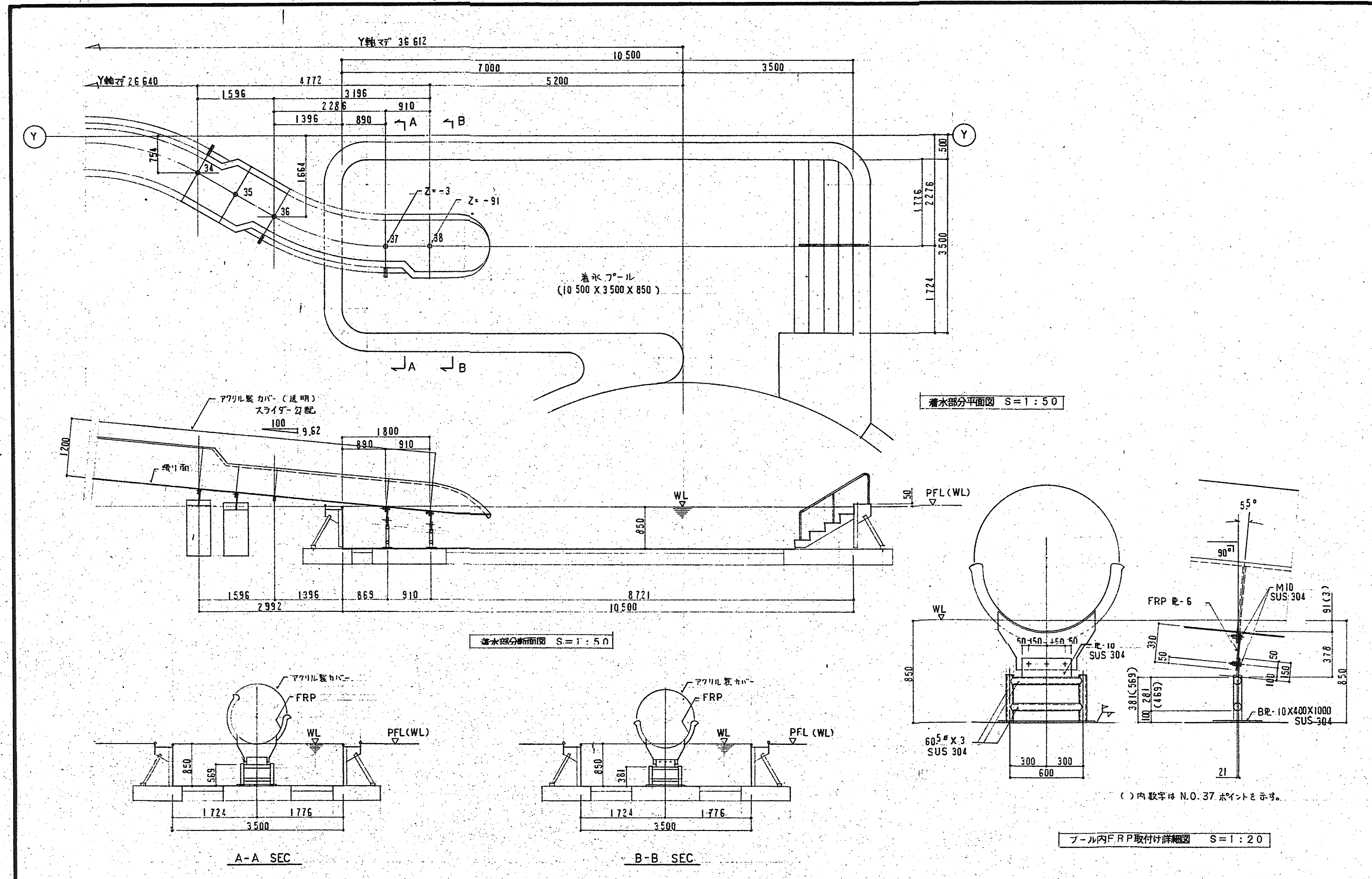
±0 平面図 S=1:50

+3.50~+6.05 平面図 S=1:50

+6.05~+8.60 平面図 S=1:50

※設計GLは、PFL(WL)=±0とする。
 □内数字は、水下の各FLを示す。
 ・排水ドレン管及スリッパ送水管は設備工事。
 ・配管用スリッパは設備工事。





整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計

CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所

TEL 049-284-3320 (代)
FAX 049-284-5792
E-mail yanai@office.yanai.co.jp

一級建築士 柳井 博

登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

NOTE

柳井

富士見市総務部常務課

課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

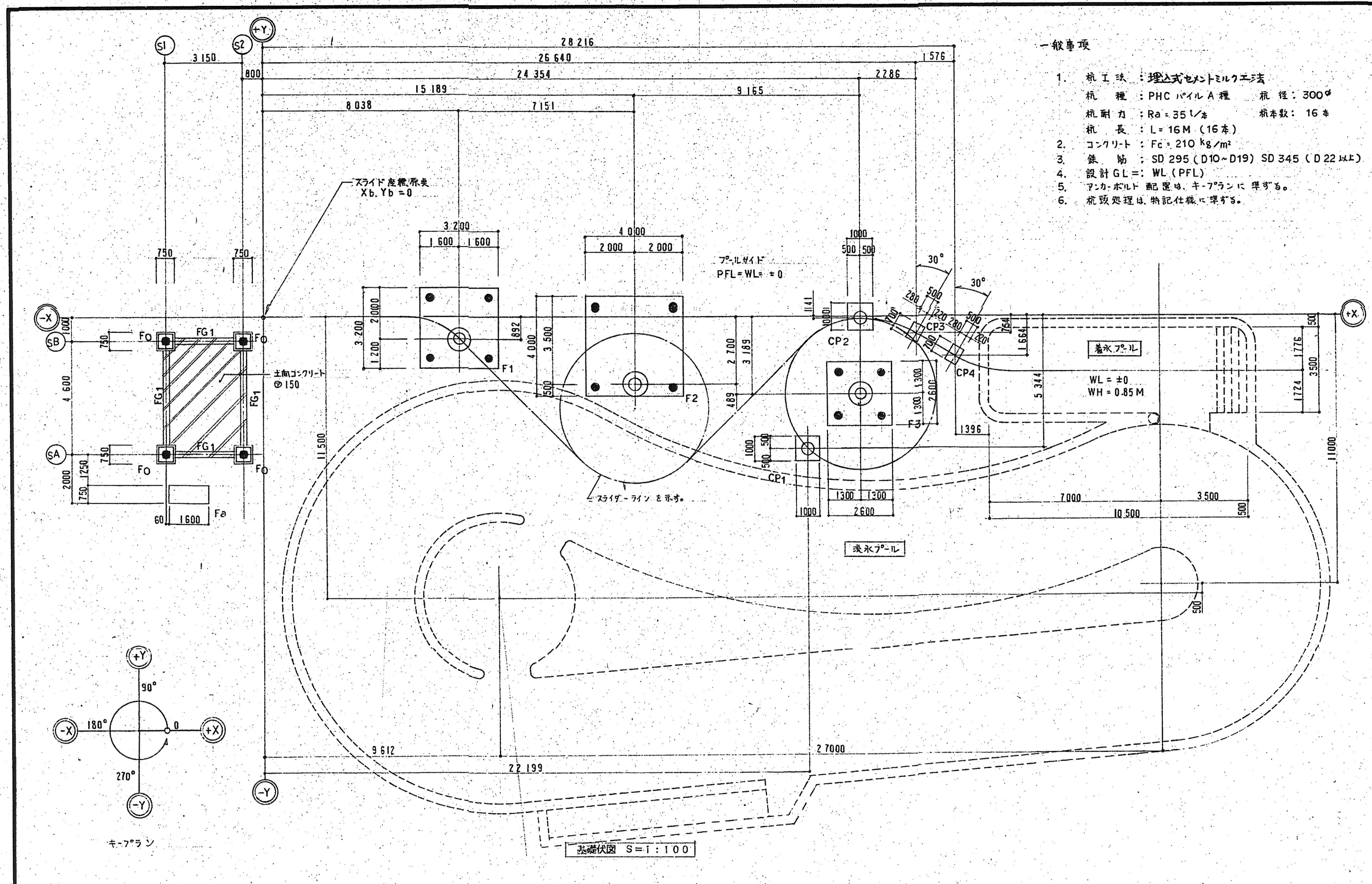
図面名 着水部分詳細図

S-1: 図示 (A-1)
S-1: 図示 (A-3)

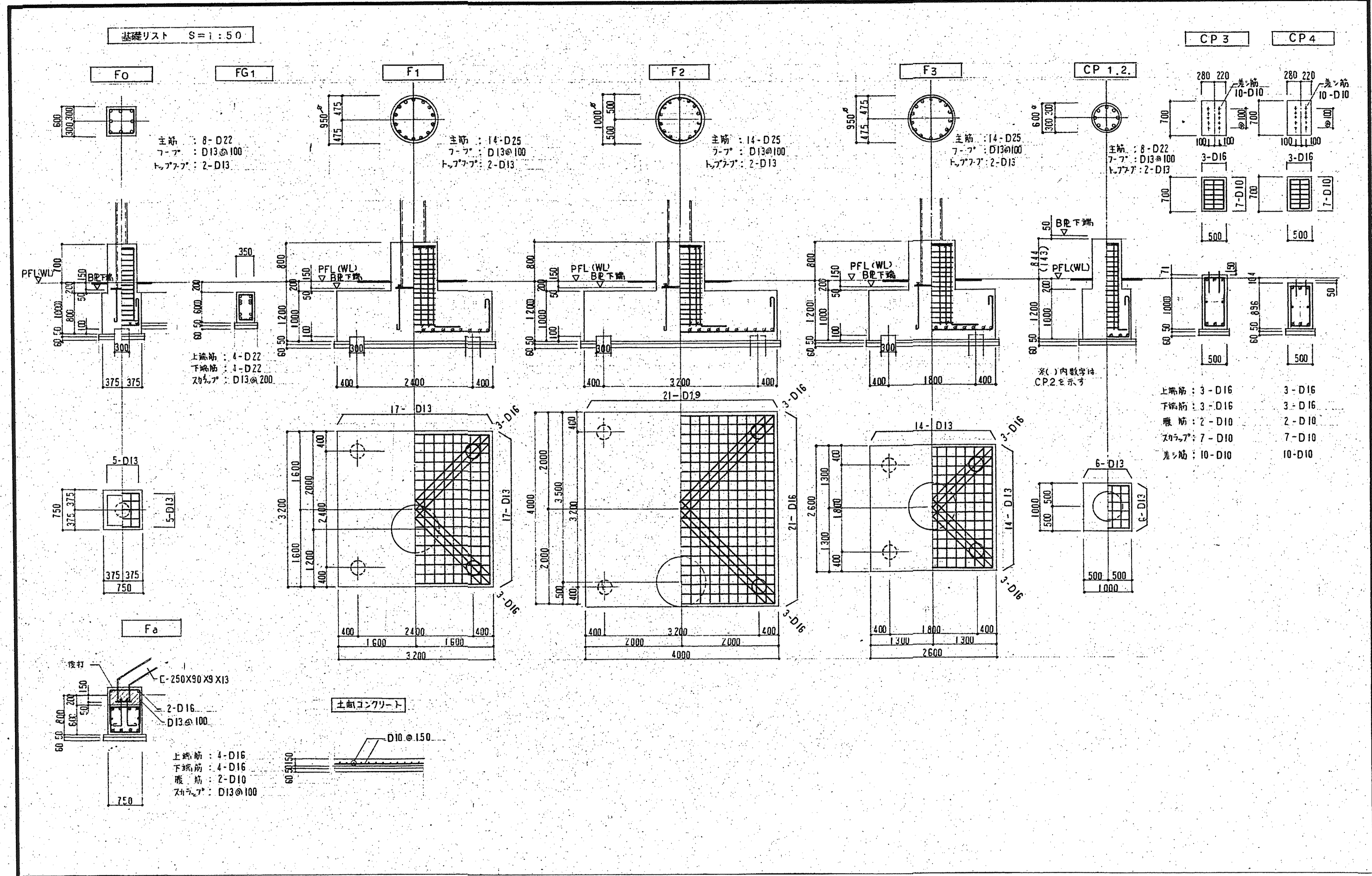
図面番号

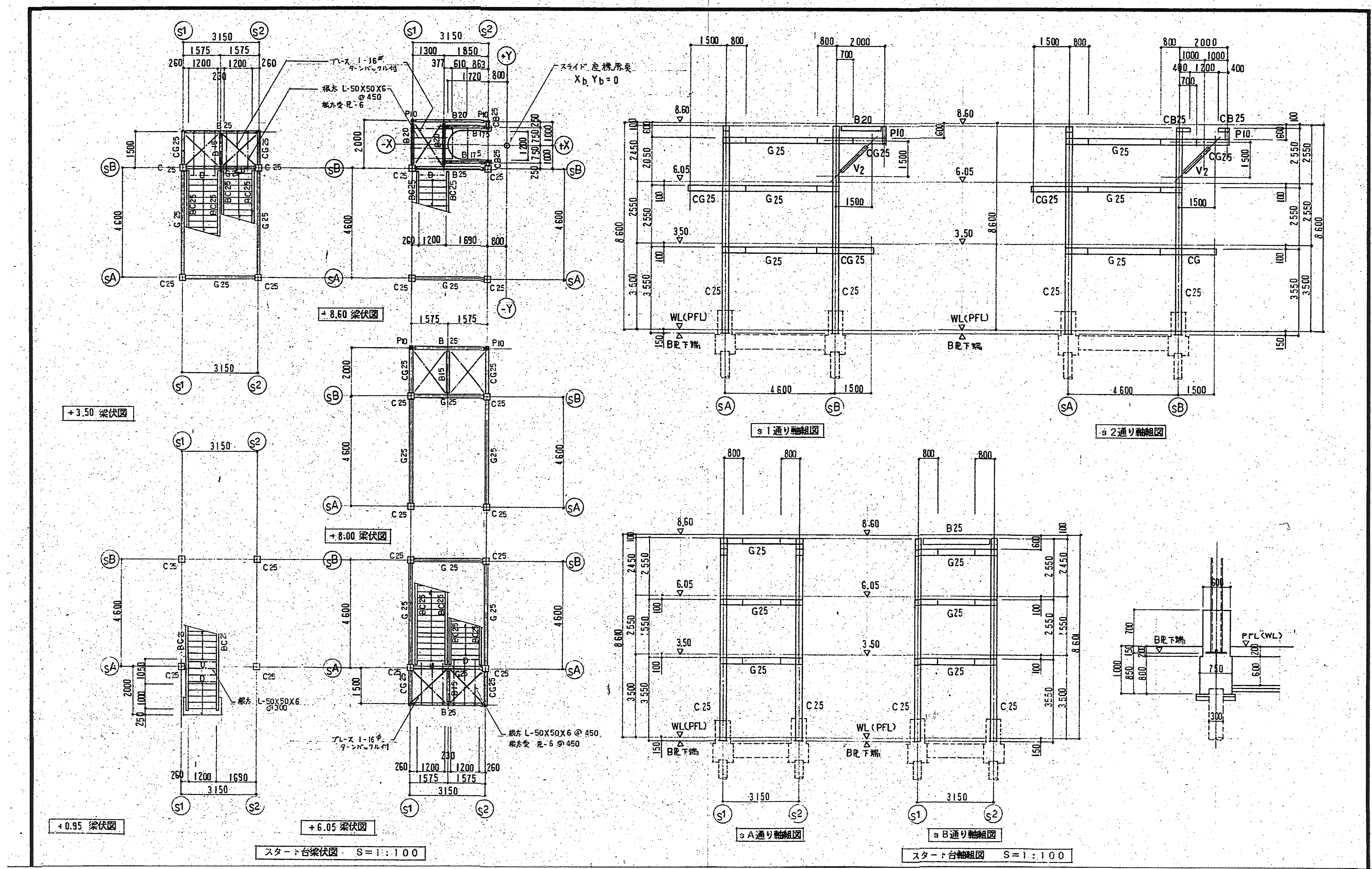
KS

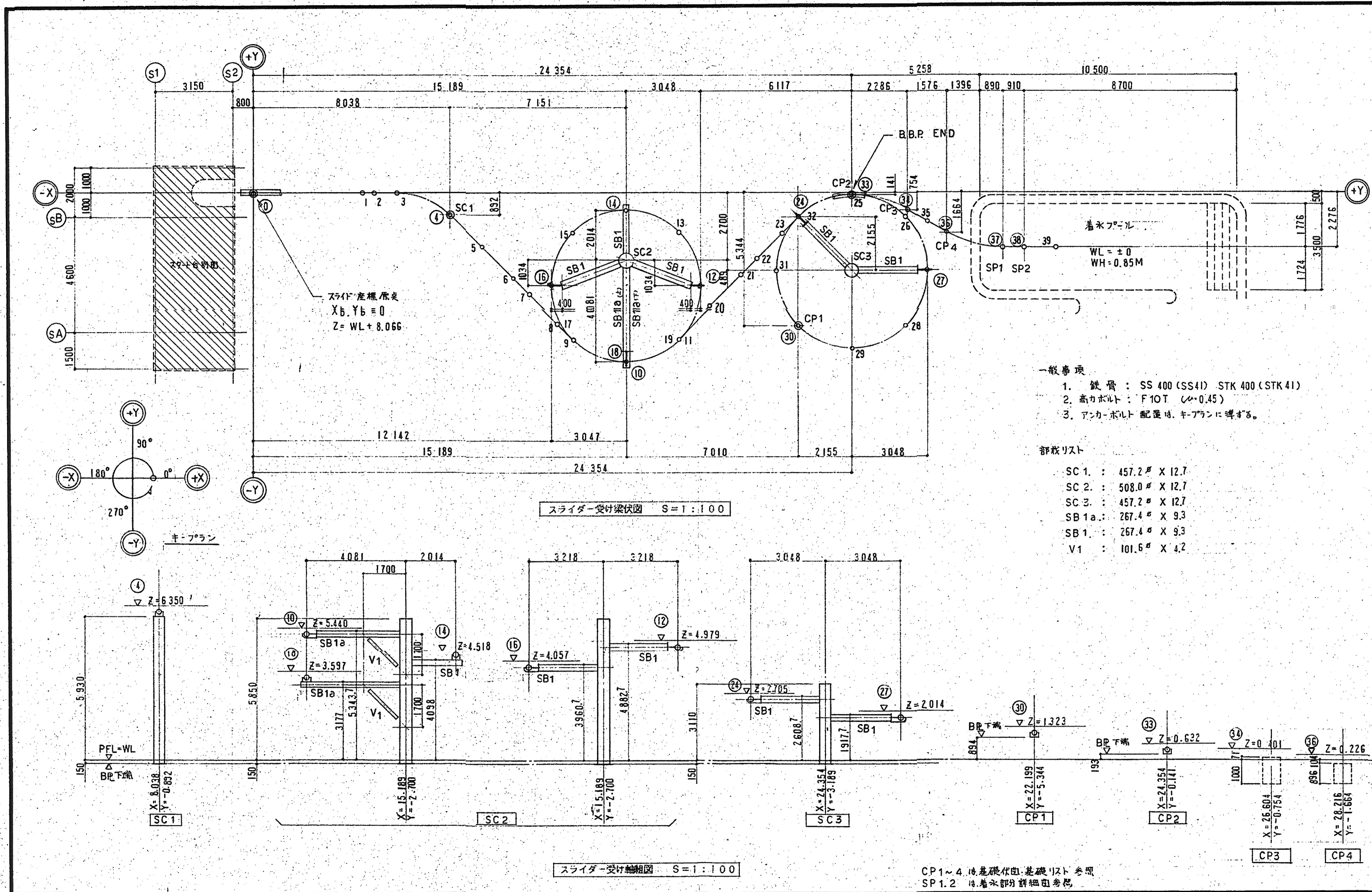
122



- 一般事項
1. 杭工法：埋込式セメントミルク工法
 杭種：PHCパイプA種 杭径：300φ
 杭耐力：Ra = 35 t/本 杭本数：16本
 杭長さ：L = 16M (16本)
 2. コンクリート：Fc = 210 kg/cm²
 3. 鉄筋：SD 295 (D10~D19) SD 345 (D22以上)
 4. 設計GL = WL (PFL)
 5. アンカボルト配置は、キ-プランに準ずる。
 6. 杭頭処理は、特記仕様による。







- 一般事項
1. 鉄骨 : SS 400 (SS41) STK 400 (STK 41)
 2. 高力ボルト : F 10 T (φ=0.45)
 3. アンカ-ボルト 配置は、キ・プランに準ずる。

- 部材リスト
- SC 1 : 457.2φ X 12.7
 - SC 2 : 508.0φ X 12.7
 - SC 3 : 457.2φ X 12.7
 - SB 1a : 267.4φ X 9.3
 - SB 1 : 267.4φ X 9.3
 - V 1 : 101.6φ X 4.2

スライダ-受け梁伏図 S=1:100

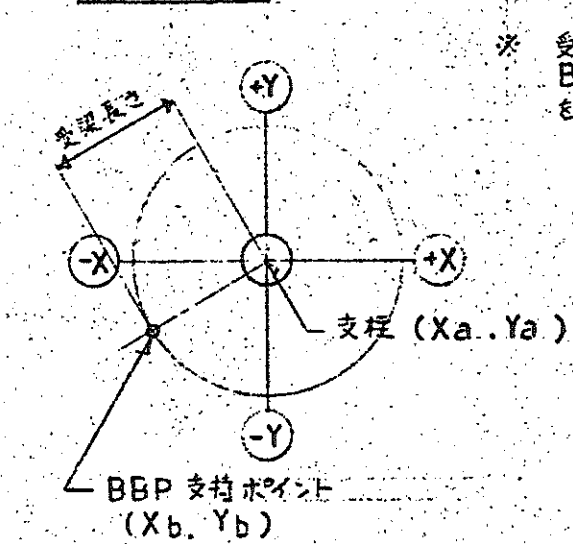
スライダ-受け軸組図 S=1:100

CP1~4 地盤硬伏図・基礎リスト 参照
SP1.2 地盤硬伏図詳細図参照

FRP受バックボーン (B.B.P.)受支持 座標一覧表

支柱記号	支柱座標		BBP支持ポイント No.	FRPポイント座標			B.B.P.支持ポイント座標			受架長さ	受架方向	受架部材	B.B.P.受仕口	受架高さ (BBP中心高さ)	備考
	Xa	Ya		X	Y	Z	Xb	Yb	ZH (BBP中心高さ)						
スタート部	-0.800	0.000	0	0.000	0.000	8.066	0.000	0.000							
SC1 BR-PFL-150 457.2φ X 12.7	8.038	-0.892	4	8.038	-0.892	6.350	8.038	-0.892	6.120				a		
SC2 BR-PFL-150 508.0φ X 12.7	15.189	-2.700	10	15.189	-6.781	5.440	15.189	-6.781	5.210	4.081	270°	SB1a	b	5.4937	
			12	18.237	-3.734	4.579	18.237	-3.734	4.749	3.218	338.67°	SB1	b	5.0327	
			14	15.189	-0.686	4.518	15.189	-0.686	4.288	2.014	90°	SB1	a	4.2480	
			16	12.142	-3.734	4.057	12.142	-3.734	3.827	3.218	201.33°	SB1	b	4.1107	
			18	15.189	-6.781	3.597	15.189	-6.781	3.367	4.081	270°	SB1a	a	3.3270	
SC3 BR-PFL-150 457.2φ X 12.7	24.354	-3.189	24	22.199	-1.034	2.705	22.199	-1.034	2.475	3.048	0°	SB1	b	2.7587	
			27	27.402	-3.189	2.014	27.402	-3.189	1.784	3.048	135°	SB1	b	2.0677	
CP1	22.199	-5.344	30	22.199	-5.344	1.323	22.199	-5.344	1.093				a		
CP2	24.354	-0.141	33	24.354	-0.141	0.632	24.354	-0.141	0.402				a		BBP END
CP3	26.640	-0.754	34	26.640	-0.754	0.401									FRP受付付
CP4	28.216	-1.664	36	28.216	-1.664	0.226									FRP受付付
SP1	30.502	-2.276	37	30.502	-2.276	-0.003									FRP受付付
SP2	31.412	-2.276	38	31.412	-2.276	-0.091									FRP受付付

受架長さ



計算式

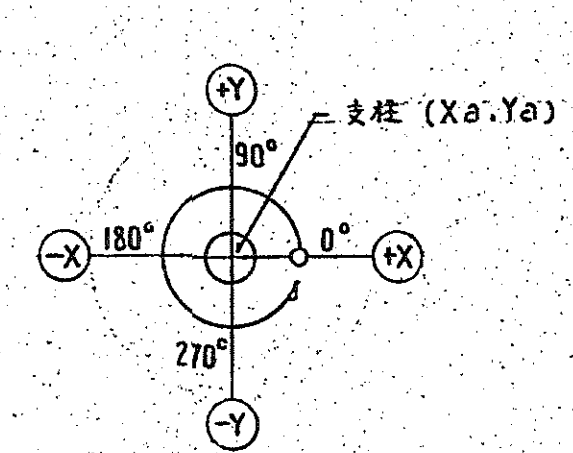
$$\sqrt{(Xa - Xb)^2 + (Ya - Yb)^2}$$

$$\sqrt{(Xb - Xa)^2 + (Yb - Ya)^2}$$

$$\sqrt{(Xa - Xb)^2 + (Yb - Ya)^2}$$

$$\sqrt{(Xb - Xa)^2 + (Ya - Yb)^2}$$

受架方向



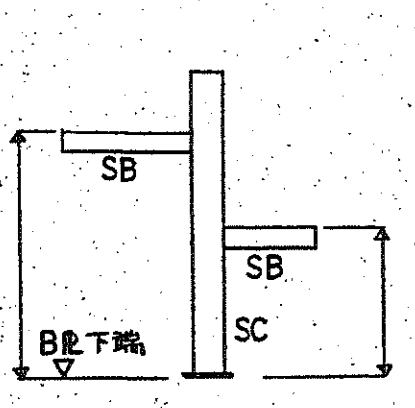
受架部材

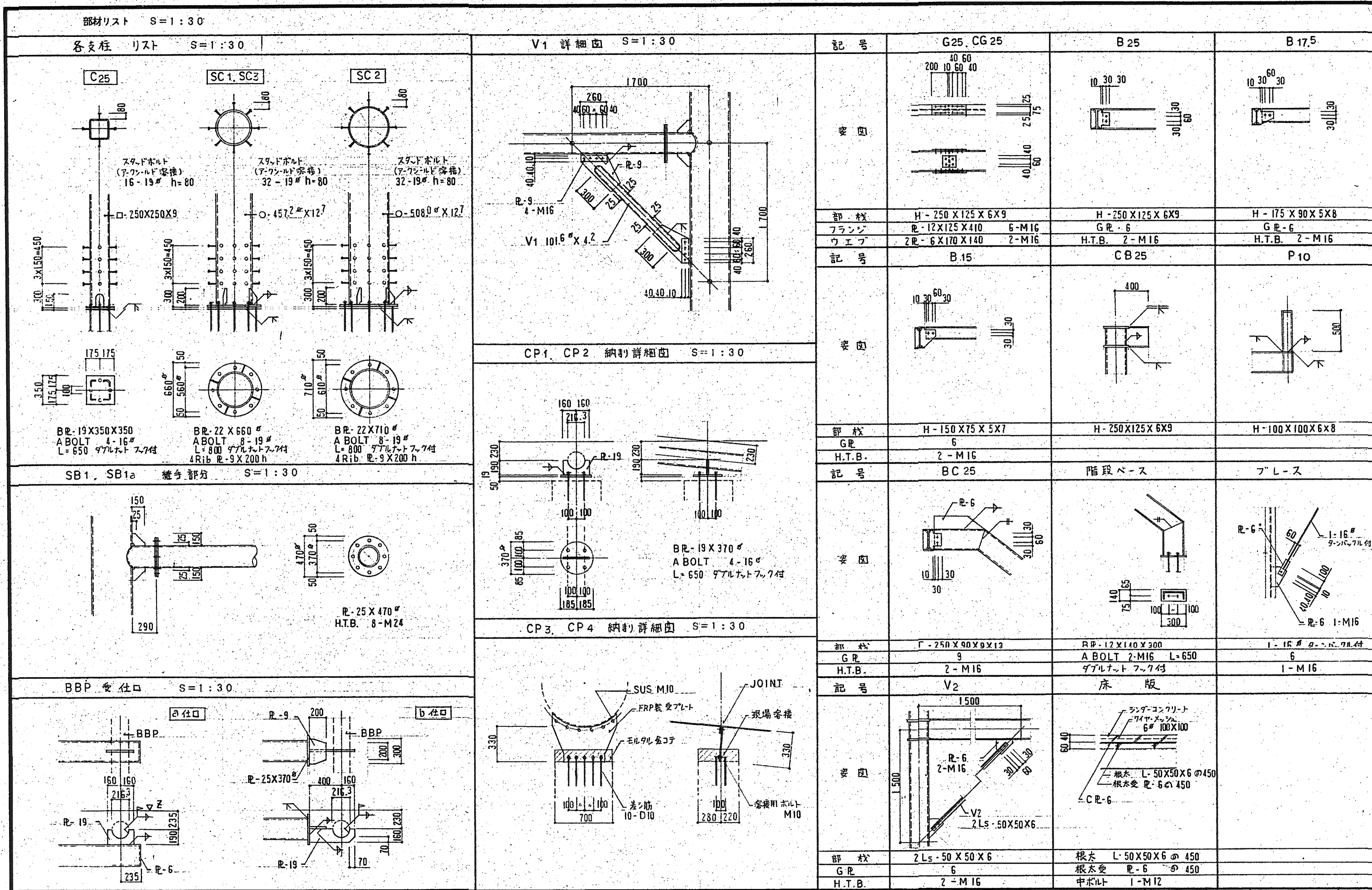
※ 部材リスト参照

BBP受仕口

※ 部材リスト参照

受架高さ





整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-9320 (代)
FAX 049-264-9792
E-mail yanai@kai@ifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

柳井

NOTE

富士見市総務部管轄課

課長 副課長 主任 担当

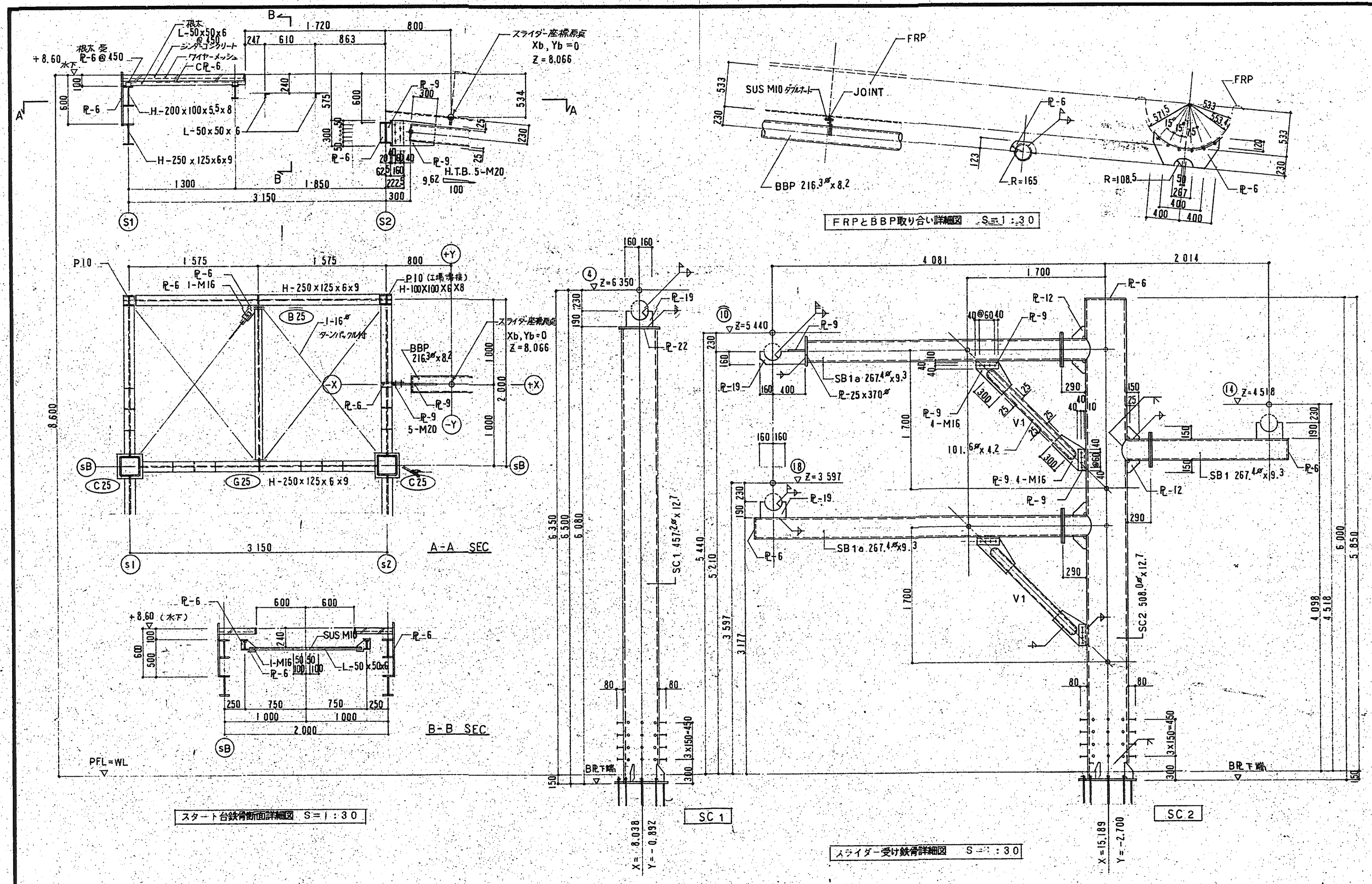
工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名 部材リスト

S-1:30 (A-1)
S-1:60 (A-3)

図面番号

KS / 128



整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-9320 (代)
FAX 049-264-9792
E-mail yanaiskai@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

柳井

NOTE

富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名 スタート台 鉄骨断面詳細図
・スライダ受け鉄骨詳細図

S-1:30 (A-1)
S-1:60 (A-3)

図面番号

KS

130

6	改質アスファルトシート防水	[3.4.2]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 G
7	合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2][表3.5.1.2]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料
8	遮熱防水	[3.6.2]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 G
9	シーリング	[3.7.2, 8]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 G

10	とい	[3.8.2, 3]	この材料 ※ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン	
			種類	施工箇所
11	アルミニウム製窓木	[3.9.2]	この材料 ※ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン	
			種類	施工箇所
12	防水工事施工	[4.2.2]	この材料 ※ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン	
			種類	施工箇所

4-2	外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	[4.2.2][4.4.5~7]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 G
4-3	外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	[4.2.2][4.5.5, 6]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 G

4	浮き部改修工事	[4.2.2][4.4.8, 9]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 G
5	目地改修工事	[4.5.16]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 G
6	タイルの形状、寸法等	[4.6.2][表4.6.1]	防水層の種類				
			工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 G

4 仕上げ塗材仕上げ
建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
新規仕上塗材の種類
種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状及び工法等

5 マスチック塗材塗り
種類 ・ A種 ・ B種

5 建具改修工事
1 改修工法
2 防火戸
3 見本の製作等
4 防犯建物部品
5 アルミニウム製建具
6 樹脂製建具
7 鋼製建具

8 鋼製軽量建具
性能等級
耐火等級
防音ドアセット、防音サッシ
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット

9 ステンレス製建具
性能等級
耐火等級
防音ドアセット、防音サッシ
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット

10 建具用金物
金物の種類・見え振りの材質等
※改修標準仕様書5.7.1による
樹脂製建具に使用する丁番
※改修標準仕様書5.7.3による
握り玉、レバーハンドル、押板、クレセントの取付位置
・建具表による

11 鍵
マスターキー
製作する
製作しない
既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵
※各室3本1組
・鍵種
・鍵種
・鍵種

12 自動ドア開閉装置
自動ドア
性能
防錆
センサーの種類
凍結防止
断熱ドアセット、断熱サッシ
耐震ドアセット

13 自閉式上吊り引戸装置
性能
※改修標準仕様書5.9.1による

14 重量シャッター
シャッターの種類
耐風圧強度
シャッターの種類
耐風圧強度
シャッターの種類
耐風圧強度

15 軽量シャッター
シャッターの種類
耐風圧強度
シャッターの種類
耐風圧強度
シャッターの種類
耐風圧強度

16 オーバーヘッドドア
セクション材料による区分
耐風圧区分
開閉方式による区分
収納形式による区分
ガイドレールの材質

17 ガラス
合わせガラス
フロート合わせガラス
網入磨き合わせガラス
強化ガラス
材料ガラスによる種類
フロートガラス
型板ガラス
熱線吸収ガラス
熱線吸収フロート板ガラス
熱線吸収網入磨き板ガラス
複層ガラス
断熱複層ガラス
日射熱減へい複層ガラス
熱線反射ガラス
熱線反射ガラス
色調
高性熱線反射ガラス
色調
反射膜面
内面
外面
映写調整
・行わない
・行う

18 ガラスブロック
表面形状
呼び寸法
厚さ
色調
目地幅(mm)
伸縮調整目地(mm)
耐火性能

19 ガラス用フィルム
名称
種類
張り面
性能値
ガラス飛散防止フィルム
日射調整フィルム
品質
JIS A 5759による

⑥ 1 改修範囲
既存構造物の撤去に伴う当該箇所の取り合い天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁床撤去とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該箇所の取り合い天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○ 図示
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
○ 図示

2 既存床の撤去及び下地補修
ビニルシート等の撤去
※ 仕上げ材のみ(接着剤とも)
・ 下地モルタルとも(・ 図示の範囲)
・ 撤去範囲全て)
合成樹脂床材の撤去工法
・ 機械的撤去工法
○ 目出し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
○ 改修部の室内

3 既存壁の撤去及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
○ 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補修
・ 行う
○ 行わない)
・ 図示

4 木下地等の表面仕上げ
表面仕上げの種類
適用箇所
・ A種
・ B種
・ C種
・ D種

5 鋼材
「鋼材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材
「鋼材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材
「鋼材の日本農林規格」による広葉樹製材
「鋼材の日本農林規格」以外の鋼材
ホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
「鋼材の日本農林規格」による造作用集成材
「鋼材の日本農林規格」による化粧り造作用集成材
「鋼材の日本農林規格」以外の造作用集成材
「鋼材の日本農林規格」による化粧り集成材
「鋼材の日本農林規格」以外の化粧り集成材

7 造作用単板積層材 [6.5.2]
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「単板積層材の日本森林規格」による造作用単板積層材
施工箇所 厚さ (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用
・有り (加工・天然木加工・塗装加工) ・適用する
・無し (等級) ・適用しない

14 ビニル床タイル [6.8.2]
JIS 記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考
・F T (複層ビニル床タイル) ・無地・300×300・帯電防止 ※2.0
・柄物・450×450・防汚性 ・2.5
・3.0
・K T (コタビシヨウビニル床タイル) ・無地・300×300・帯電防止 ・2.0
・柄物・450×450・防汚性 ・3.0
・F O A (塗装ビニル床タイル) ・無地・500×500・帯電防止
・柄物・防汚性

天然木化粧複合フローリング [6.12.2]
種類 工法 樹種 厚さ/大きさ (mm) 防汚処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用
・複合1種フローリング・釘留め工法 ※なら
・複合2種フローリング (根太張り) ・A種・適用する ・塗装品
・複合3種フローリング・釘留め工法 (直張り) ・B種・適用しない
・C種
・接着工法 ※なら 厚板 ・8以上
・薄板 ・75以上
・板長さ ・900以上

23 モルタル塗り [6.15.3, 6]
吸水調整材は、改修工事標準仕様書4.2.2による。
既設目地材 ・返ける 施工箇所 () 形状 (※ 図示)
床目地 ・返ける (工法 ※ 押し目地)
・返けない

整理番号 R5年富士見市
株式会社柳井設計 一級建築士事務所
TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail ynaisekikei@nifty.com

設計年月日
承認 照査 設計 監理
柳井

富士見市総務部管轄課
課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンプーチン解体工事
図面名 改修特仕仕様書 (その4)
S-1:- (A-1)
S-1:- (A-3)

28 移動間仕切	(20.2.3)			
	構造形式	構成材の種類	断面厚さ	表面仕上げ
	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式	・スチール ・パネル	(mm) ・鋼板 ・0.6 ・0.8	・珪藻土 ・珪藻土 ・珪藻土 ・珪藻土
パネル内に取付ける器具・あり(※図示)・なし。 表面仕上げを珪藻土とする場合の品質・性能は標準仕様書19章による。				
29 移動間仕切	(20.2.4)			
	構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	断面厚さ
	・平方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・部分電動式	(mm) ・鋼板 ・珪藻土
パネル表面仕上げの珪藻土の品質・性能は標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の構造 ※取付け重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示				
30 トイレブース 更衣ブース シャワーブース	(20.2.5)			
	表面材の種類	脚部形状	形状	ドアエッジ
	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・メラミン系フェノール樹脂板	・幅木タイプ ・脚金物タイプ	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材
31 視覚障害者用床タイル	(11.2.2)(19.2.2)			
	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
	・廊下 ・エレベーターホール ・階段	・塩化ビニル製 ・磁器質タイル・セッテリタイル ・レジンコンクリート製・コンクリート製 ・磁器質タイル・セッテリタイル ・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300 ・300×300 ・300×300 ・300×300	・7.0 ・7.0 ・7.0 ・7.0
32 階段滑り止め	(20.2.6)			
	材料	幅(mm)	取付け方法	端部フラットエンド
	・ステンレス(SUS304)ピニル ・タイヤ入り	・約35	・接着工法 ・埋込み工法	・あり ・なし
33 手すり	(20.2.7)			
	材料	表面仕上げ	直径(mm)	取付け箇所
	・合成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ピニル製ハンドル	・クリアラッカー ・HL ・EP-G・SOP	・35 ・45	・柱 ・壁 ・天井
34 黒板及び ホワイトボード	(20.2.8)			
	種類	寸法(mm)	色	形状
	・黒板 ・ホワイトボード	・幅×高さ ・約1800×900	・黒 ・白	・直線形 ・曲線形 ・折れ線形
35 表示	(20.2.10)			
	区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)
	・衝突防止表示 (・前面・片面) ・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号 ・庁舎案内板 ・各階案内板	・ステンレス製 ・図示 ・アクリル板 ・図示 ・アクリル板 ・図示 ・アクリル板 ・図示	・30φ ・図示 ・図示 ・図示 ・図示 ・図示	・市販品 ・5 ・5 ・5 ・5
36 ブラインド	(20.2.12)			
	形式	操作方法	種類	スラットの材質
	・横形 ・縦形	・手動 ・電動	・手動 ・電動	・アルミ ・アルミ
37 ロールスクリーン	(20.2.13)			
	材料	操作方法	透光性	寸法
	・ポリエステル	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・幅×高さ ・約1800×1000

7 塗装 改修工事	① 材料		(20.2.14)	
	形式	開閉操作	ひだの種類	
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランチひだ ・箱ひだ ・つまひだ	
	② 下地調整	③ 錆止め塗料塗り		
	④ 塗装	⑤ 耐震改修工事		
	⑥ 一般事項		⑦ 耐震改修工事	
	⑧ 下地調整		⑨ 錆止め塗料塗り	
	⑩ 材料		⑪ 下地調整	
	⑫ 塗装		⑬ 耐震改修工事	
	⑭ 材料		⑮ 下地調整	

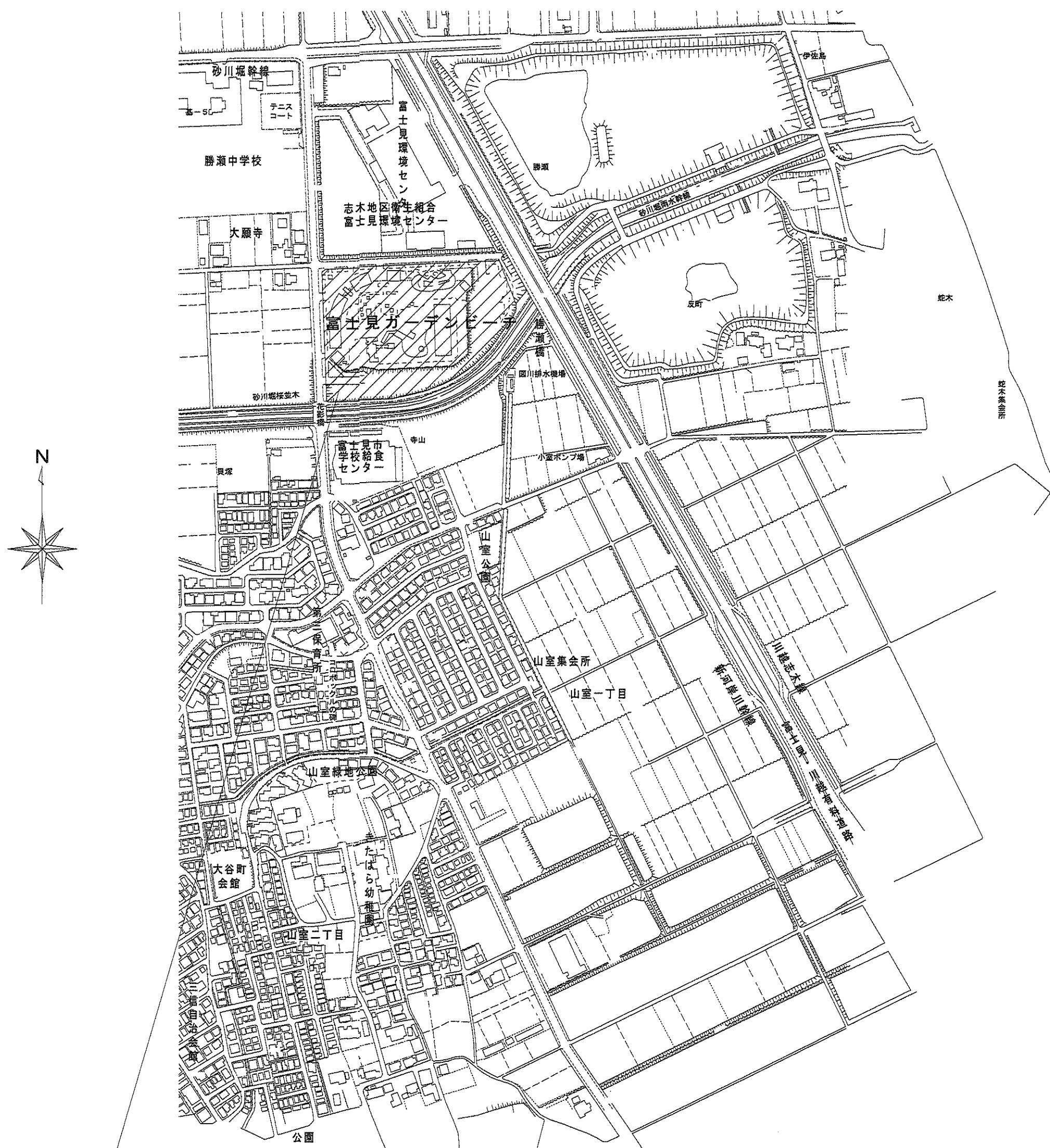
4 鉄筋の継手	継手方法		(8.3.4)	
	適用箇所	継手方法及び適用後の範囲		
	・柱主筋 ・梁主筋 ・耐力壁 ・基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ガス圧接継手(D19以上) ・ガス圧接継手(D19以上) ・重ね継手 ・ガス圧接継手() ・重ね継手()		
	鉄筋の継手位置			
	⑧ 図示			
	⑨ 重ね継手 主筋及び耐力壁の重ね長さ ・図示 ・改修標準仕様書表8.3.2による			
	5 帯筋			
	6 鉄筋のかぶり厚さ			
	7 圧接後の試験			
	8 コンクリートの種類及び品質			
9 コンクリートの仕上り				
10 コンクリートの材料及び割合				
11 混和材料				

<p>12 モルタル及びグラウト材</p> <p>・構造用モルタル材料 改修標準仕様書[8.2.5]</p> <p>圧縮強度 ・図示 ・図示 ・図示 ・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等</p> <p>混合材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする</p> <p>セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。</p> <p>砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもの。特に精選されたものを乾燥状態で使用する。ただし、現場調査時に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Jローによる落下時間 標準完了から3分以内の値: 8±2秒 ブリージング 標準2時間後のブリージング率: 2.0%以下 凍結開始時間: 1時間以上 凍結時間: 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm²以上 材齢 28日 40.0N/mm²以上 塩化物質 0.3kg/m³以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場混合形で混合材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水に塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>13 型枠</p> <p>せき板の材料 [8.2.7] ・合板 コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確保のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議すること ・床型枠用鋼製デッキプレート</p> <p>スリーブの材質 [8.2.7] [表8.2.6] 改修標準仕様書 8.2.7(f) (2) 及び改修標準特記仕様書 表8.2.6による</p> <p>打増し厚さ [8.7.8] 打増し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm 打増し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示(床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し部に限る。)</p> <p>14 無収縮コンクリート [6.14.1~3] コンクリートの種類 ※普通コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>スラブ厚 (cm)</th> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※18</td> <td>又は18</td> <td>普通ポルトランドセメント 又は適合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</td> <td>・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎 ・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎</td> </tr> </tbody> </table> <p>15 <あと施工アンカー>の材料 [8.2.4] [表8.2.1] あと施工アンカーの材料 ・金属系アンカー(耐震補強用) ※接着系アンカー アンカーの種類 ※カプセル型簡便・打撃式 接着剤の種類 ※有機系・無機系 アンカーの径の範囲 改修標準仕様書8.2.1の異形補強 ・全ねじボルト</p> <p>16 あと施工アンカーの穿孔 [8.11.2] 穿孔前の既存鉄筋および埋設配管・配線等の調査 範囲・図示 方法 ※穿孔前に電磁波レーダー法又は電磁波誘導法による既存鉄筋および埋設配管・配線等の調査を行い、位置の抽出を行う はつり出しによる</p> <p>穿孔機械(金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する) ※ハンマードリル コアドリル</p> <p>既存コンクリートの不良箇所の確認 ※アンカー施工部位の既存コンクリートは目視らし後、目視及び打診により状況を確認し、ジャンク等不良箇所を発見した場合には、監督職員と協議すること</p> <p>17 あと施工アンカーの施工確認試験 [8.11.5] 試験方法 ・引張試験 確認強度 ・図示</p> <p>18 <鉄骨> 鉄骨製作工場 [8.1.5] 製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「()グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承認する製作工場</p> <p>施工管理技術者 ※適用する ・適用しない</p> <p>19 締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.1.6] 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示</p> <p>20 入熱、パス間温度の溶接条件 鋼材と溶接材料の適合性と溶接条件 ・図示 適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p>	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ厚 (cm)	セメントの種類	適用箇所	※18	又は18	普通ポルトランドセメント 又は適合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎 ・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎	<p>21 鋼材 [8.2.8] [表8.2.7] 鋼材の材質 種類の記号 適用箇所 規格等</p> <p>22 高力ボルト [8.2.9] 区分 ・トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト 2種 (F10T) 高力ボルトの径 ※図示 すべり係数試験 ※行わない ・行う</p> <p>23 溶融亜鉛めっき高力ボルト [7.2.2] セツの種類の ・1種 (F8T相当) 厚さの処理 ※ブラスト処理(表面粗度50µmRz以上) 溶融亜鉛の検認方法 ・図示 ・試験片によるすべり耐力試験</p> <p>24 溶接接合 [8.14.7] スカラップの形状 改修型 エンドタブの切除 ・行う 適用箇所 ・全て ・図示 ・行わない</p> <p>25 溶接部の試験 [8.14.11~12] 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う</p> <p>26 錆止め塗装 [8.7.6.2] [8.16.3] [7.3.2] [表7.3.1] [表7.3.2] 塗料の種類 塗膜面 種類 適用箇所 ・改修標準仕様書 表7.3.1 A種 ・屋外(改修標準仕様書8.16.2の範囲以外) ・改修標準仕様書 表7.3.1 B種 ・屋内(改修標準仕様書8.16.2の範囲以外)</p> <p>27 耐火被覆材 [7.9.2~7] [8.17.2] 種類等 種類 材料・工法 適用箇所(部位・部分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>・高耐熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外張りモルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする</p> <p>性能 性能 適用箇所(部位・部分) ・30分耐火 ・1時間耐火 ・2時間耐火 ・3時間耐火</p> <p>28 アンカーボルト [7.2.4] (表7.2.3) (7.10.3) 適用 構造用アンカーボルト ・JIS B 1220又は JSS II 13-2004 ABR400 ・JIS B 1220又は JSS II 13-2004 ABR490 ・地方用アンカーボルト 材質 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類・規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>29 柱底均しモルタル [7.2.9] (7.10.3) (表7.10.1) [8.2.11] モルタルの種類 ・無収縮モルタル 圧縮強度 ・図示 無収縮モルタルの材料及び混合材料、割合等 ・標準仕様書 表7.2.9による 品質及び試験方法 ・標準仕様書 表7.2.9による 工法の種類 標準仕様書 表7.10.2 ・A種(モルタル厚さ50) ・B種(モルタル厚さ30)</p> <p>30 スタッドボルト [7.2.5] 径(呼び名) 長さ(呼び長さ) mm 適用箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>径(呼び名)</th> <th>長さ(呼び長さ) mm</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16φ</td> <td>・80 ・100 ・120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19φ</td> <td>・80 ・100 ・130 ・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・80 ・100 ・130 ・150</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール		耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール		・外張りモルタル塗り	—		径(呼び名)	長さ(呼び長さ) mm	適用箇所	16φ	・80 ・100 ・120		19φ	・80 ・100 ・130 ・150		22φ	・80 ・100 ・130 ・150		<p>31 溶融亜鉛めっき [7.12.3] (表14.2.2) 種類等 亜鉛めっきの種類 材料 適用箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種 (HDZ55)</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種 (HDZ45)</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>C種 (HDZ35)</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外観検査 ・行う 行わない めっき付着量の検査 ・行う 行わない</p> <p>32 製作精度 [7.3.3] ※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」による。(7.3.3) ※適しダイアグラムはH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ダイアグラムはH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 精度検査方法 ・「実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p><耐震> 33 既存部分の処理 [8.16.3] [8.20.3] [8.21.3] 適用範囲 ※既存コンクリートと打増し面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面 ・既存コンクリートの目視し範囲 ・平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を、全体にわたってつめる。 ・既存コンクリートの目視し範囲 ・既存柱、梁面 打増し面の15~30%程度 ・既存壁 打増し面の10~15%程度</p> <p>34 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 [8.19.8] [8.21.5] コンクリートの打込み工法の種類 ・流込み工法 ・圧入工法</p> <p>35 柱補強 [8.21.5] [8.21.6] ・溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 ・連続繊維補強工法</p> <p>36 連続繊維シート巻き [8.2.12] 材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm²以上 ・3000N/mm²以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10¹⁰ N/mm²程度 ・2.00×10¹⁰ N/mm²以上</p> <p>工法 [8.21.7] ※(一社)日本建築防災協会の評価を受けた工法</p> <p>下地調整 [8.21.7] ひび割れ部の改修工法の種類 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング工法</p> <p>柱の隅部部の面取り [8.21.7] ※工法の評価内容による</p> <p>37 スリットの施工 [8.22.2] スリット部の配管等の調査 ※調査部により調査し、配管等の位置の抽出を行う →はつり出し</p> <p>38 撤去工事の施工内容 ※耐震等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。 ※増設部材と接する既存コンクリート面は充分に目視らしを行う。 ※塗りに仕上げはこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。 なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。 ※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p> <p>39 撤去工事における注意事項 [8.21.7] ※コンクリート及び塗りに仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗りに仕上げ、増設部材設置構内内のコンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。 ※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目視らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目視らしは、深さ6mm程度の凹面を全体を穿らすようにする。 はつり工事の構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ハツを用いる等) ※コンクリート打設前に粉塵、はつりがらを等清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。 ※既存の躯体状態の確認及び補修</p> <p>・石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理最終処分場まで処分すること。 ・若しくは、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないように手はずで行い、原形のまま運搬処分すること。 ・以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。 ・ビニル系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように運搬後、手はずで行い、原形のまま飛散防止まで運搬処分すること。</p>	種類	材料	適用箇所	A種 (HDZ55)	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		B種 (HDZ45)	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	※図示	C種 (HDZ35)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板		<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 0;">環境配慮改修工事</p> <p>① アスベスト含有建材の処理工事 [9.1.1.3~5]</p> <p>施工調査 ※アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</p> <p>調査範囲() 図示 () 貸与資料 ()</p> <p>・分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アモサイト、クリソタイト、クロソライト、アクチノライト アンソフライト、トレモライト)</p> <p>分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・粉じん装置の排気排出口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室外</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定3</th> <th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>試料の吸引流量 (l/min) ・1 ・5 ・10 試料の吸引時間 (min) ・5 ・120 ・240</p> <p>アスベスト含有建材の処理 ・アスベスト含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ※9.1.3(b)(1)による 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※ 密封処理 ※ 浸漬処理 ※ セメント固化 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p> <p>・アスベスト含有保温材の除去 除去対象範囲 図示 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・ 埋立処分(管理最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p> <p>② アスベスト含有成形板の除去 除去対象範囲 図示 除去したアスベスト含有成形板の処分 ・ アスベスト含有せっこうボード ※ 埋立処分(管理最終処分場) ③ アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・ 埋立処分(管理最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p> <p>2 断熱アスファルト防水改修工事 [9.2.1~3] 改修特記仕様書3章による</p> <p>3 外断熱改修工事 [9.3.2~4] 断熱材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「E」法※9.3.3(1)の断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・「F」法※9.3.3(2)の断熱材(※7なし)</td> <td>・ 保温板(2種b) ・ 保温板(3種b)</td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ポリウレタン断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ F1-F7型断熱材(3種2号を除く)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存外装の措置 既存外装仕上げ材の撤去 ・あり なし 下地面の清掃 ・行う 行わない 欠損部の改修工法 改修標準仕様書4.1.4による</p> <p>工法 透気層の有無 ・あり (mm) なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ※外装材製造所の仕様による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない</p>	材料名	定性分析	定量分析		・箇所数()	・箇所数()		・箇所数()	・箇所数()		・箇所数()	・箇所数()		・箇所数()	・箇所数()	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点	測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計 点	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点	測定4	処理作業中	負圧・粉じん装置の排気排出口	計 点	測定5	処理作業中	処理作業室外(敷地境界)	計 点	測定6	処理作業後	処理作業室内	計 点	測定7	処理作業後	処理作業室外	計 点	測定8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5	25	25	47	種類	厚さ(mm)	・「E」法※9.3.3(1)の断熱材		・「F」法※9.3.3(2)の断熱材(※7なし)	・ 保温板(2種b) ・ 保温板(3種b)	・ A種硬質ポリウレタン断熱材		・ F1-F7型断熱材(3種2号を除く)		・ ロックウール		・ グラスウール		種類	防火性能	備考				<p>整理番号 R5年富士見市</p> <p>株式会社柳井設計 一級建築士事務所</p> <p>TEL 049-264-8920 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiseko@nifty.com</p> <p>一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号</p> <p>設計年月日 承認 無差 設計 製図</p> <p>富士見市総務部営繕課</p> <p>課長 副課長 主任 担当</p> <p>工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事</p> <p>図面名 改修特記仕様書(その6)</p> <p>S-1:- (A-1) S-1:- (A-3)</p> <p>図面番号 KA 136</p>
設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ厚 (cm)	セメントの種類	適用箇所																																																																																																																													
※18	又は18	普通ポルトランドセメント 又は適合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎 ・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎																																																																																																																													
種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																														
耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																																																																																															
耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																															
耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール																																																																																																																															
・外張りモルタル塗り	—																																																																																																																															
径(呼び名)	長さ(呼び長さ) mm	適用箇所																																																																																																																														
16φ	・80 ・100 ・120																																																																																																																															
19φ	・80 ・100 ・130 ・150																																																																																																																															
22φ	・80 ・100 ・130 ・150																																																																																																																															
種類	材料	適用箇所																																																																																																																														
A種 (HDZ55)	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																																																																																																															
B種 (HDZ45)	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	※図示																																																																																																																														
C種 (HDZ35)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																																															
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																														
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																														
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																														
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																														
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																														
測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)																																																																																																																													
測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																													
測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																													
測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																																													
測定4	処理作業中	負圧・粉じん装置の排気排出口	計 点																																																																																																																													
測定5	処理作業中	処理作業室外(敷地境界)	計 点																																																																																																																													
測定6	処理作業後	処理作業室内	計 点																																																																																																																													
測定7	処理作業後	処理作業室外	計 点																																																																																																																													
測定8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																													
測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5																																																																																																																														
25	25	47																																																																																																																														
種類	厚さ(mm)																																																																																																																															
・「E」法※9.3.3(1)の断熱材																																																																																																																																
・「F」法※9.3.3(2)の断熱材(※7なし)	・ 保温板(2種b) ・ 保温板(3種b)																																																																																																																															
・ A種硬質ポリウレタン断熱材																																																																																																																																
・ F1-F7型断熱材(3種2号を除く)																																																																																																																																
・ ロックウール																																																																																																																																
・ グラスウール																																																																																																																																
種類	防火性能	備考																																																																																																																														

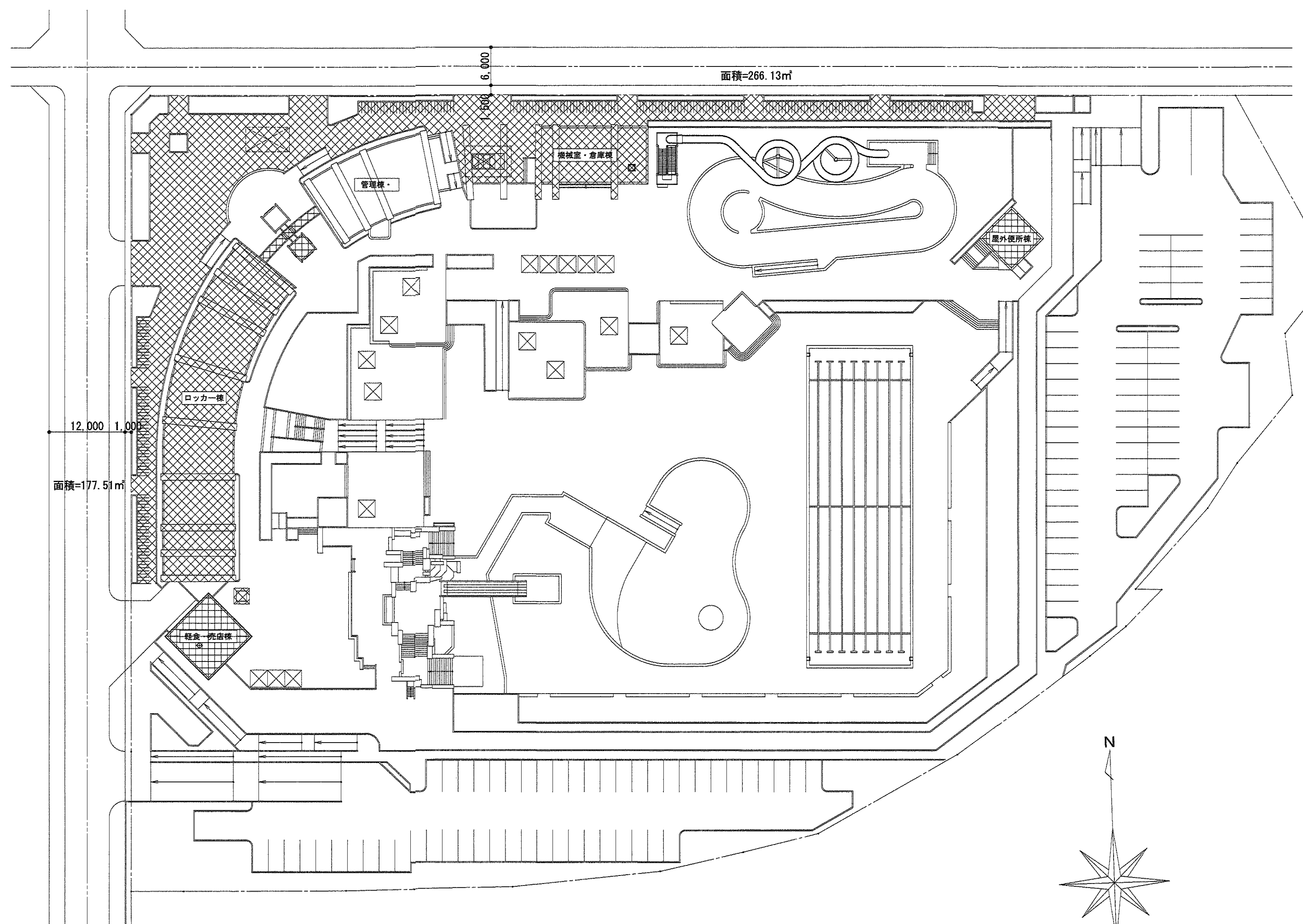
4	ガラス改修工事	<p>複層ガラス [9.4.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>断熱性</th> <th>日射熱遮へい性</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 断熱複層ガラス</td> <td>・ 1種 U1</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2種 U2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 3種 U-3-1・U-3-2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品名	断熱性	日射熱遮へい性	厚さ	・ 断熱複層ガラス	・ 1種 U1	・ 図示			・ 2種 U2				・ 3種 U-3-1・U-3-2					
		品名	断熱性	日射熱遮へい性	厚さ																
・ 断熱複層ガラス	・ 1種 U1	・ 図示																			
	・ 2種 U2																				
	・ 3種 U-3-1・U-3-2																				
5	断熱・防露改修工事 [G]	<p>[9.5.2-3]</p> <p>断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外</p> <p>・ 断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビ-3「法」ポリイソシアヌレート保温材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリイソシアヌレート保温材 (※なし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 保温板 (2種b)</td> <td>・ 2.5</td> </tr> <tr> <td>・ 保温板 (3種b)</td> <td>・ 2.5</td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタン保温材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フォーム保温材 (3種2号を除く)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示</p> <p>断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種1 ・ B種1 厚さ(mm) ・ 2.5 ・ 3.0 施工箇所 ・ 図示</p>	種類	厚さ(mm)	・ ビ-3「法」ポリイソシアヌレート保温材		※ 押出法ポリイソシアヌレート保温材 (※なし)		・ 保温板 (2種b)	・ 2.5	・ 保温板 (3種b)	・ 2.5	・ A種硬質ウレタン保温材		・ フォーム保温材 (3種2号を除く)						
種類	厚さ(mm)																				
・ ビ-3「法」ポリイソシアヌレート保温材																					
※ 押出法ポリイソシアヌレート保温材 (※なし)																					
・ 保温板 (2種b)	・ 2.5																				
・ 保温板 (3種b)	・ 2.5																				
・ A種硬質ウレタン保温材																					
・ フォーム保温材 (3種2号を除く)																					
6	屋上緑化改修工事 [G]	<p>[9.6.1.2.3]</p> <p>植栽基盤及び材料 屋上緑化装置システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類並びに種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の(・1)・1.15・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない</p> <p>かん水装置 ・ 設置する (種類) () 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p>																			
		<p>[9.7.2.3.5~9]</p> <p>適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p> <p>路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 遮断層</td> <td>・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ※ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (特号・1号) ・ 消石灰 (特号・1号) 添加量 kg/m² (目標CBR・5以上)</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5×10⁻⁶ cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示 路盤材料 ※ 再生材のクラッシュラン [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・ 図示</p> <p>試験 路盤締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示	・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示	材料	厚さ(mm)	ストレートアスファルト	・ 図示
種別	材料	厚さ(mm)																			
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示																			
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示																			
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示																			
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示																			
材料	厚さ(mm)																				
ストレートアスファルト	・ 図示																				
7	透水性アスファルト舗装改修工事	<p>[9.7.2.3.5~9]</p> <p>適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p> <p>路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 遮断層</td> <td>・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ※ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (特号・1号) ・ 消石灰 (特号・1号) 添加量 kg/m² (目標CBR・5以上)</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5×10⁻⁶ cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示 路盤材料 ※ 再生材のクラッシュラン [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・ 図示</p> <p>試験 路盤締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示	・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示	材料	厚さ(mm)	ストレートアスファルト	・ 図示
		種別	材料	厚さ(mm)																	
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示																			
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示																			
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示																			
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示																			
材料	厚さ(mm)																				
ストレートアスファルト	・ 図示																				
8	PCB含有シーリング材処分	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PCB含有シーリング 分析調査 (第一次判定)</td> <td>部位 ・ 図示 箇所数： 箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PCB含有シーリング 分析調査 (第二次判定)</td> <td>部位 ・ 図示 箇所数： 箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は現場説明書による</p>	種類	採取する部位・箇所数	備考	・ PCB含有シーリング 分析調査 (第一次判定)	部位 ・ 図示 箇所数： 箇所		・ PCB含有シーリング 分析調査 (第二次判定)	部位 ・ 図示 箇所数： 箇所											
種類	採取する部位・箇所数	備考																			
・ PCB含有シーリング 分析調査 (第一次判定)	部位 ・ 図示 箇所数： 箇所																				
・ PCB含有シーリング 分析調査 (第二次判定)	部位 ・ 図示 箇所数： 箇所																				

10	舗装版切断時に発生する濁水の処理	<p>① 舗装版切断時に発生する濁水の処理</p> <p>(濁水の処理) 中間処理施設を選定する場合には事前に監督員の承認を得るものとする。 種類 汚泥</p> <p>(共通事項) 1 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理施設に運搬及び処理するものとする 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。))により管理するものとする。</p> <p>(提出書類等) 1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>(その他) 受注者は、バキューム式以外の工法 (舗装版切断時に濁水をまじない等) を使用する場合には、事前に発注者と協議するものとする。</p>
		<p>② 室内濃度の測定</p> <p>測定する ・ 測定しない 測定する場合は以下による</p> <p>1 測定室 測定室は、監督員の指定する室 (8室) とする。 ただし、改修工事にあつては、当該室の工事着手前にも測定するものとする。</p> <p>2 検査項目、検査方法及び判定基準 1) 検査項目は、以下ア)~オ) の5品目とする。 ア) ホルムアルデヒド イ) トルエン ウ) キシレン エ) エチルベンゼン オ) ステレン</p> <p>2) 検査方法 ① 検体の採取方法は吸引方式 (アクティブ法) または拡散方式 (パッシブ法) による。 ② ホルムアルデヒドについては以下のいずれかの方法による。 ・ ジェットロフロニルヒドログン誘導体固相吸着/溶媒抽出法による採取し、高速液体クロマトグラフ法 (以下HPLC) により行うものとする。 ・ パッシブ採取機器により採取し、HPLCまたはガスクロマトグラフ法 (以下GC) あるいはAHMT-吸光光度法 (以下AHMT-Abs) のうち採取機器に適合した ③ トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びステレンについては以下のいずれかの方法による。 ・ 固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法の3種の方法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法 (以下GC/MS) により行うものとする。 ・ パッシブ採取機器により採取しGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。</p> <p>3) 判定基準 厚生労働省が定める指針値以下とする。(量単位の換算は25℃) ア) ホルムアルデヒドは、100µg/m³ (0.08ppm) 以下であること。 イ) トルエンは、260µg/m³ (0.07ppm) 以下であること。 ウ) キシレンは、870µg/m³ (0.20ppm) 以下であること。 エ) エチルベンゼンは、3,800µg/m³ (0.88ppm) 以下であること。 オ) ステレンは、220µg/m³ (0.05ppm) 以下であること。</p> <p>3 採取及び分析 採取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者とする。</p> <p>4 報告書 報告書は、監督員に2部提出するものとする。 なお、改修工事にあつては、工事着手前、完了後の各2部を提出するものとする。</p>

工事区分表																																		
項目			A	E	M	備考	項目			A	E	M	備考	項目			A	E	M	備考														
躯体関係							仕上げ関係							屋外排水設備・外構							電気配線配管													
1. R C造 (梁・壁・床) の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け		○				1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強		○				1. 雨水	屋外雨水排水設備 (U字溝)		○					機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地線共)							2次側					
	補強を要する型枠材及び取付け		○					補強を要しないボードの切り込み			○				柵及び柵蓋		○												1次側					
	補強を要しない型枠材及び取付け		○		○			開口部の量出し			○				雨水再利用設備				○															
	貫通孔・開口部の量出し		○		○																													
	貫通孔・開口部の補強		○					2. 既設間仕切り	切り込み及び補強		○				2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備				○														
2. S・SRC造 梁貫通口	S・SRC造貫通管スリーブ・補強		○				3. 吊ボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用			○					柵及び柵蓋				○														
	使用されたスリーブの穴埋め		○		○	防火区画・防煙区画	4. 外壁廻り	外壁ガラリ			○				3. 植栽	植栽及び客土				○														
	予備スリーブの穴埋め		○		○	防火区画・防煙区画		ウエザーカーバ・バンドキャップ				○																						
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの		○				5. 湯沸室廻り	流し台・高戸棚・水切り棚・コンロ台			○				4. ユニット形浄化槽の躯体	ビット形の躯体及び砂ろてん				○														
	室内の基礎 (建築設計図に記入のないもの)		○		○			フード (標準詳細図のもの)				○				上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び振付等				○														
	室外・屋上の基礎				○			流し台の排水トラップ				○				ビット形以外					○													
	屋上の基礎で得えコンにアンカーしない軽鉄なもの (配管架台類)		○		○		6. 浴室廻り	ユニットバス・シャワーユニット				○																						
	機器取付け用アンカー・梁合		○		○	建築設計図にあるものはA		既設浴槽 (差を含む)				○				5. その他	駐車場ガソリントラップ				○													
	室内受水タンク用の基礎		○					浴室及び便所の床排水金物					○				グリストラップ					○												
4. 昇降機関連	昇降機・機械室の躯体		○				7. 便所廻り	洗面カウンター			○					工事期間中の電気料金 (基本+使用料金)				○	○													
	機械室の床開口		○					鏡 (規格寸法のみ)				○				工事期間中の水道料金 (基本+使用料金)				○	○													
	機械室の床配管ビット・蓋		○					ユニット形衛生器具				○				校舎棟外部足場				○														
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上		○					身障用手すり				○				校舎棟内部足場				○														
	巻上機周辺のチェッカープレート敷				○			8. 事務室廻り	ファンコイルカバー			○				機械室枠足場				○														
	昇降機内ビット防水・集水溝・点検用トラップ		○						家具組み込みの洗面器				○																					
	各層出入口あけ・同補強		○				9. フリーアクセスフロア	コンセント				○																						
	出入口扉・三方枠		○					床パネルの切り込み加工				○																						
	三方枠取付け・枠廻り埋戻し・同補強		○					2重ビット及びトレントのマンホール蓋				○																						
	昇降機がRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット地昇降機内の鉄製部材一式		○					機器搬入用フック・ビーム				○																						
	機械室天井フック取付け		○					チェンブロック				○	○																					
	ホール押印・インジケータ・扉などの壁開口		○					化粧マンホール上蓋の表面仕上げ				○																						
	機械室換気設備				○	ガラリはA		点検口 (天井・床下)				○																						
昇降機がS造の時中層ビームブラケット受ベース		○					排煙口等の天井仕上材の取付け				○																							
E V機械室からインターホンまでの配線工事		○					自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック・フロアヒンジ				○																							
E V機械室からインターホンまでの配管工事		○					消火器B O X設置工事				○																							
5. その他	トラフ・ビット類 (蓋を含む)		○					自動扉・電動シャッターへの電源供給				○																						
	湧水・汚水ビット・RC造各種水櫃		○					自動扉・電動シャッターから付属のスイッチセンサーへの配管工事				○																						
	同上用防水・マンホール・トラップ一式		○																															
	避難設備・同接合工事		○																															
	A L C板の壁開口・補強		○																															
	厨房排水溝		○																															



工事場所：富士見市大字勝瀬 地内
【市立富士見ガーデンビーチ】



配置図 S=1:500

印範囲は今回施工範囲を示す

整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanisekko@mifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA / 139
				変更年月日	柳井	富士見市総務部営繕課	図面名 案内図・配置図	S-1:500 (A-1) S-1:1,000 (A-3)								

外部仕上表 (ロッカー・管理棟)

Table with columns: 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上. Includes entries for 陸屋根, PH階屋根, 縦樋, タラップ, 外壁, リブ・フライング・ヒーム, 外巾木, 開口部, エントランス, ポーチ, ブリッジ, 館銘板.

内部仕上表

Large table with columns: 階, 室名, 種別, 床, 幅木, 壁, 天井, 備考. Includes multiple rows for 女子ロッカー室, 女子洗面室, 女子便所, 女子シャワー室, 女子エントランス, 男子ロッカー室, 男子洗面室, 男子便所, 男子シャワー室, 男子エントランス.

【凡例】 今回の工事対象範囲外を示す.

内部仕上表

Table with columns: 階 (Floor), 室名 (Room Name), 種別 (Type), 床 (Floor), 幅木 (Trim), 壁 (Wall), 天井 (Ceiling), 備考 (Remarks). Rows include 事務室, 医務室, 医務室便所, 医務給湯室, 医務室物入, 控室(和室), 給湯室, 男子便所, 女子便所, 倉庫1・2, 監視室, 監視員控室, 男子更衣室, 女子更衣室, 1・2階廊下, 階段室.

【凡例】 今回工事対象範囲外を示す。

外部仕上表 (切符売場・改札)

内アスベスト含有建材

Table with columns: 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上. Includes details for 陸屋根, 外壁, 外巾木, and 開口部.

内部仕上表

内アスベスト含有建材

Table with columns: 階, 室名, 種別, 床, 幅木, 腰壁, 壁, 天井, 備考. Includes details for 切符売場 and 改札.

外部仕上表 (機械室・倉庫棟)

内アスベスト含有建材

Table with columns: 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上. Includes details for 陸屋根, 外壁, リブ・フライングビーム, and 開口部.

内部仕上表

内アスベスト含有建材

Table with columns: 階, 室名, 種別, 床, 幅木, 腰壁, 壁, 天井, 備考. Includes details for 機械室 and 倉庫.

【凡例】 今回工事対象範囲外を示す。

外部仕上表 (軽食・売店棟)

Table with columns: 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上. Rows include 屋根, 壁, 樋.

内部仕上表

Table with columns: 階, 室名, 種別, 床, 幅木, 壁, 天井, 備考. Rows include カウンター部, 控室, 厨房, 物置, 倉庫.

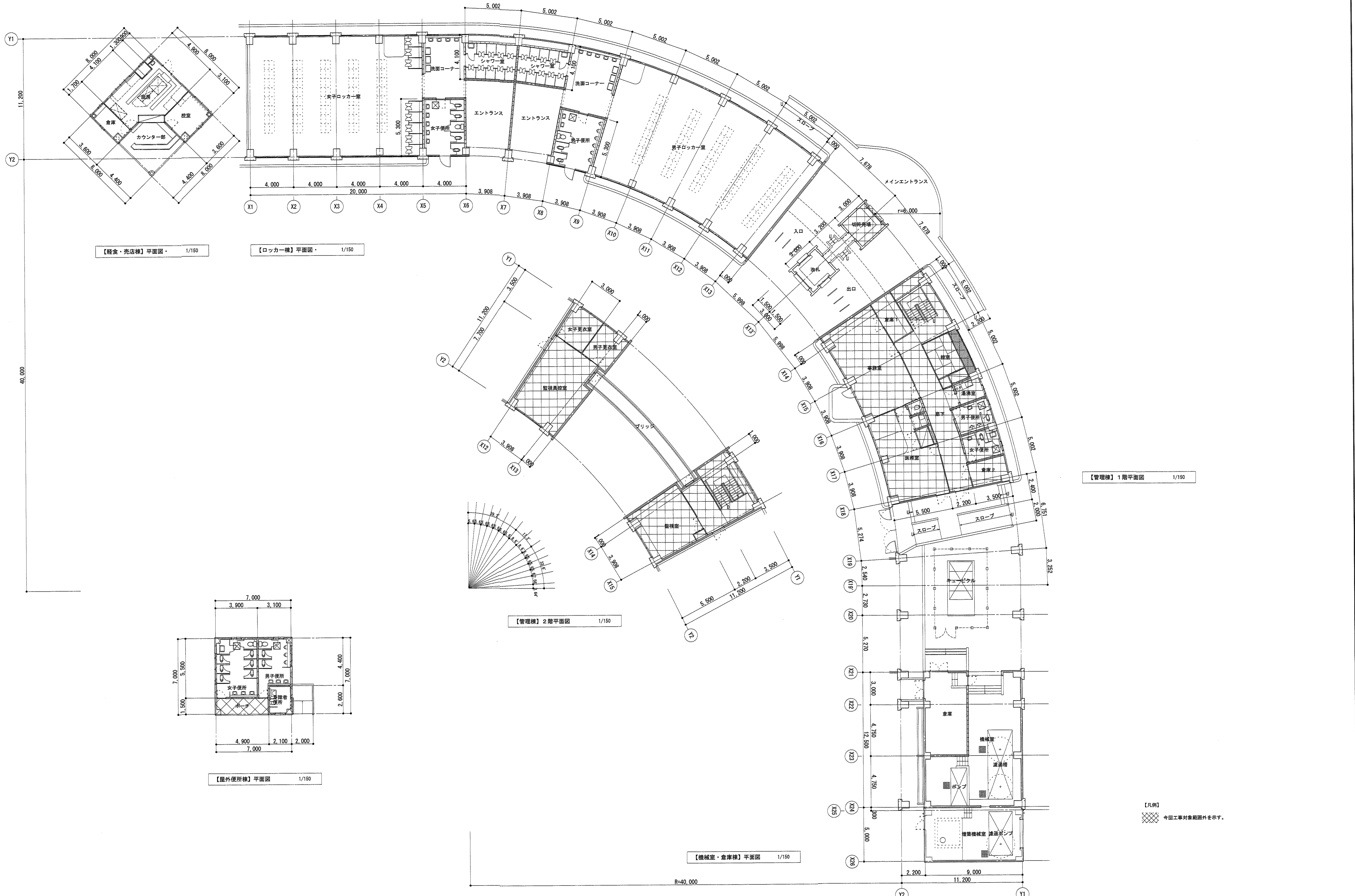
外部仕上表 (屋外便所棟)

Table with columns: 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上, 部位, 種別, 材質・仕上. Rows include 陸屋根, 壁, 樋.

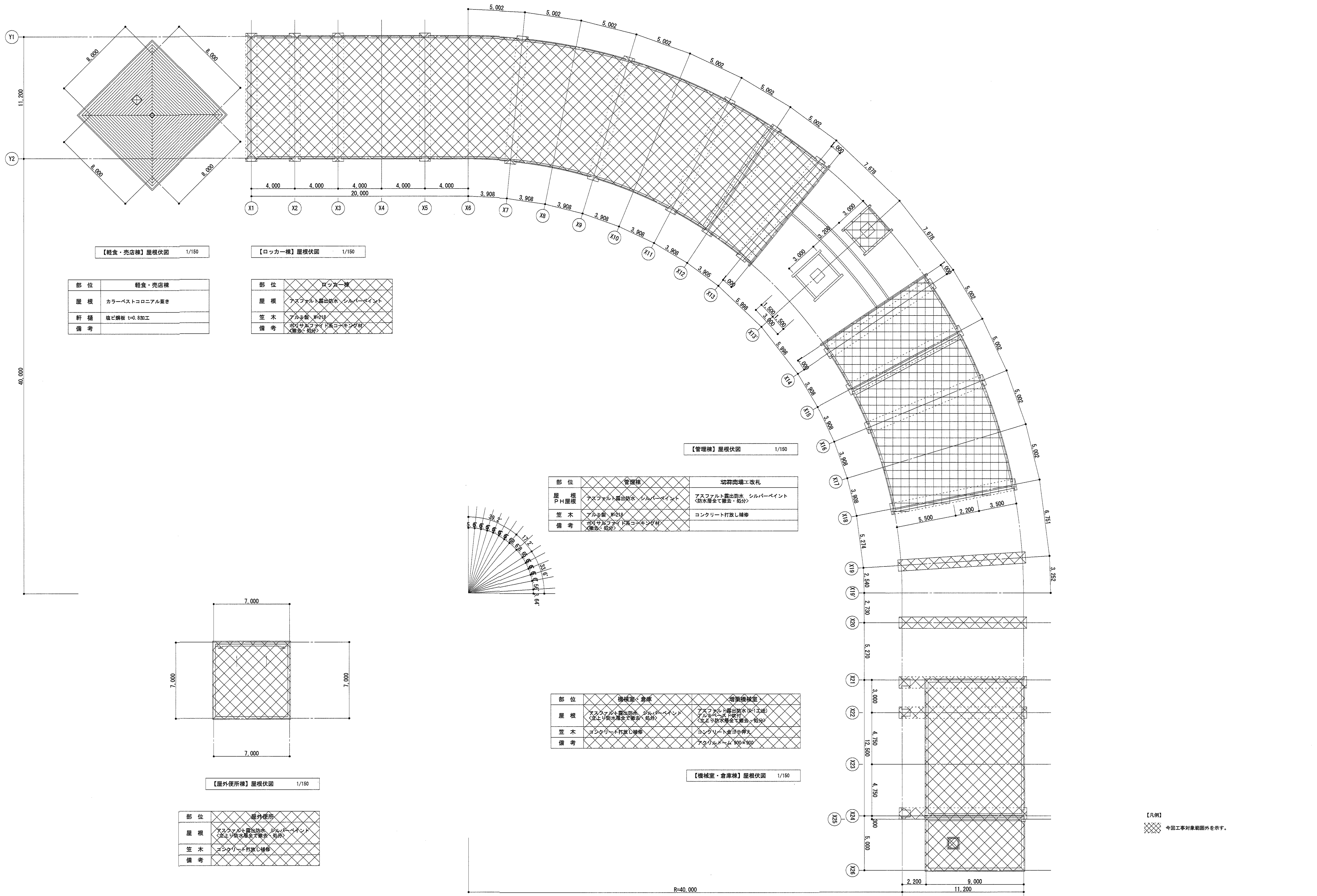
内部仕上表

Table with columns: 階, 室名, 種別, 床, 幅木, 壁, 天井, 備考. Rows include 女子便所, 男子便所, 障害者便所.

【凡例】 今回工事対象範囲外を示す。



整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (ft) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	審査	設計	製図	NOTE 柳井	富士見市総務部宮籍課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事 図面名 既存平面図	図面番号 KA 144
				変更年月日												



【軽食・売店棟】屋根伏図 1/150

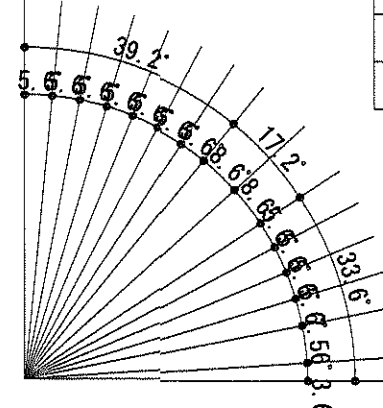
【ロッカー棟】屋根伏図 1/150

部位	軽食・売店棟
屋根	カラーベストコロニアル葺き
軒種	塩ビ鋼板 t=0.8加工
備考	

部位	ロッカー棟
屋根	アスファルト露出防水・シルバーペイント
笠木	アルミ合 厚218
備考	ポリサルファイド系コンクリート X(塩基・鉛分)

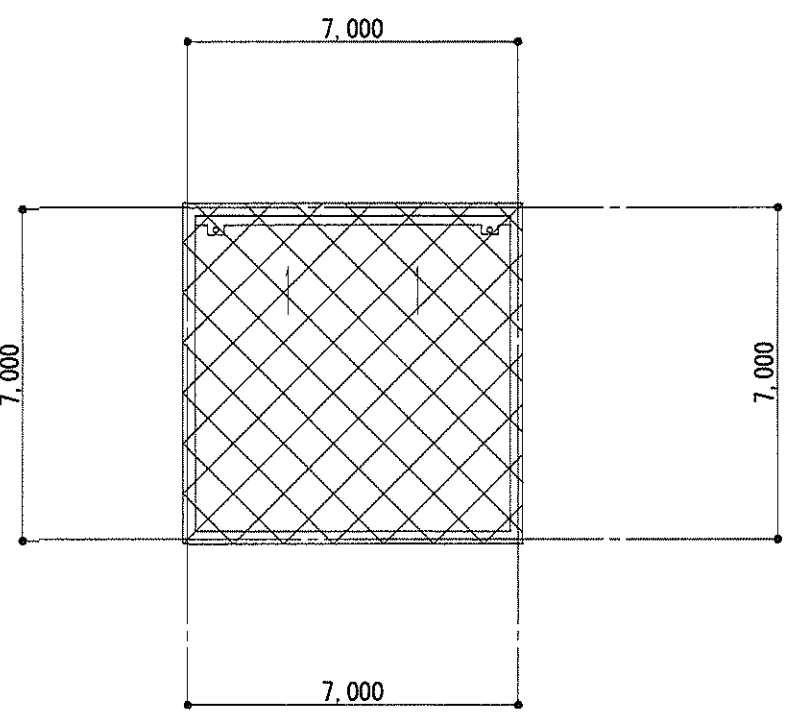
【管理棟】屋根伏図 1/150

部位	管理棟	切替築造工改札
屋根	アスファルト露出防水・シルバーペイント	アスファルト露出防水・シルバーペイント (防水層全て除去・処分)
笠木	アルミ合 厚218	コンクリート打放し補修
備考	ポリサルファイド系コンクリート X(塩基・鉛分)	



部位	機械室・倉庫	増築棟屋蓋
屋根	アスファルト露出防水・シルバーペイント (塩基・鉛分除去・処分)	アスファルト露出防水 (1工区) アルミ合・鉛分 (塩基・鉛分除去・処分)
笠木	コンクリート打放し補修	コンクリート金目安堵
備考		アクリルドール 900×900

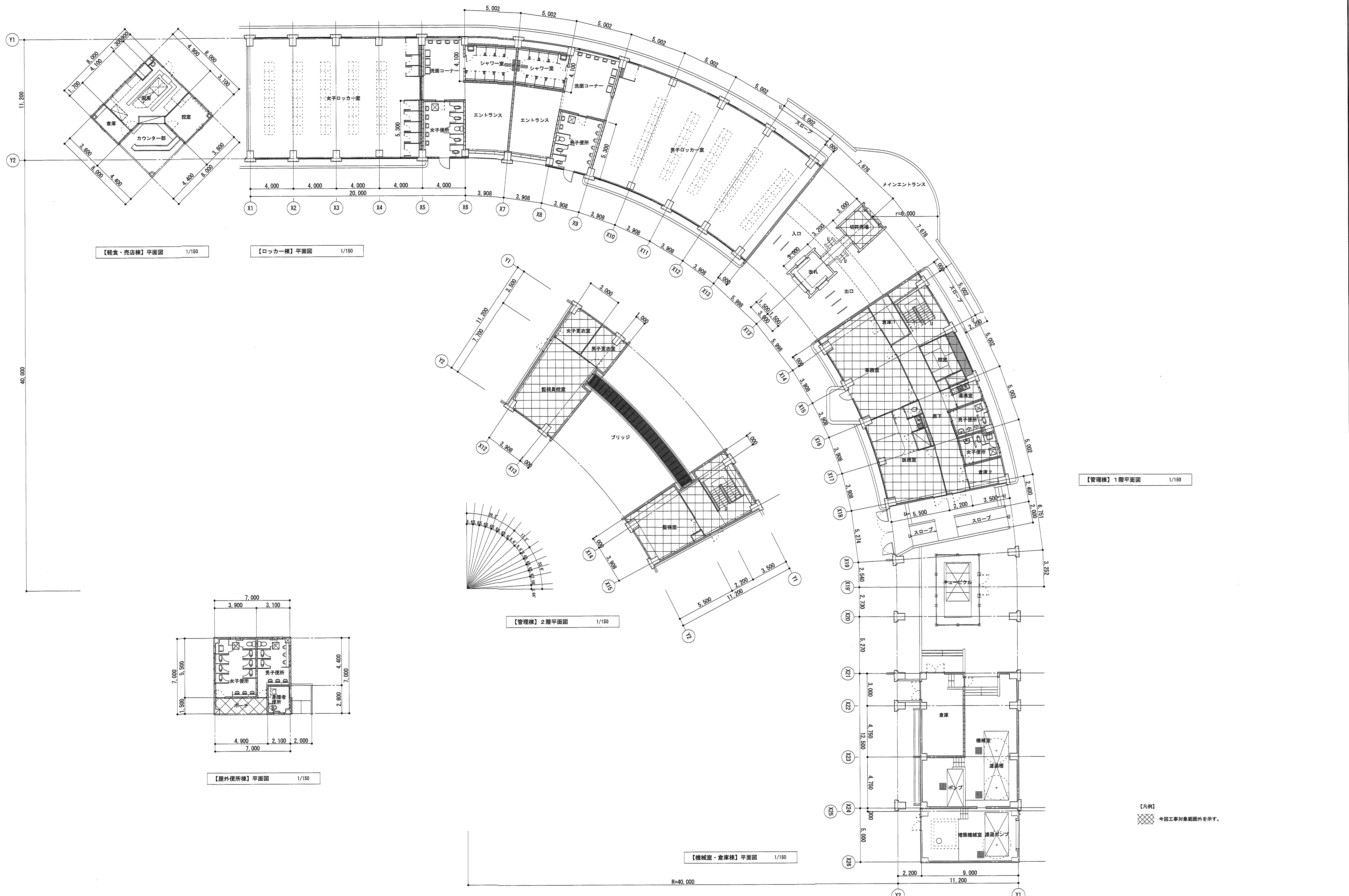
【機械室・倉庫棟】屋根伏図 1/150



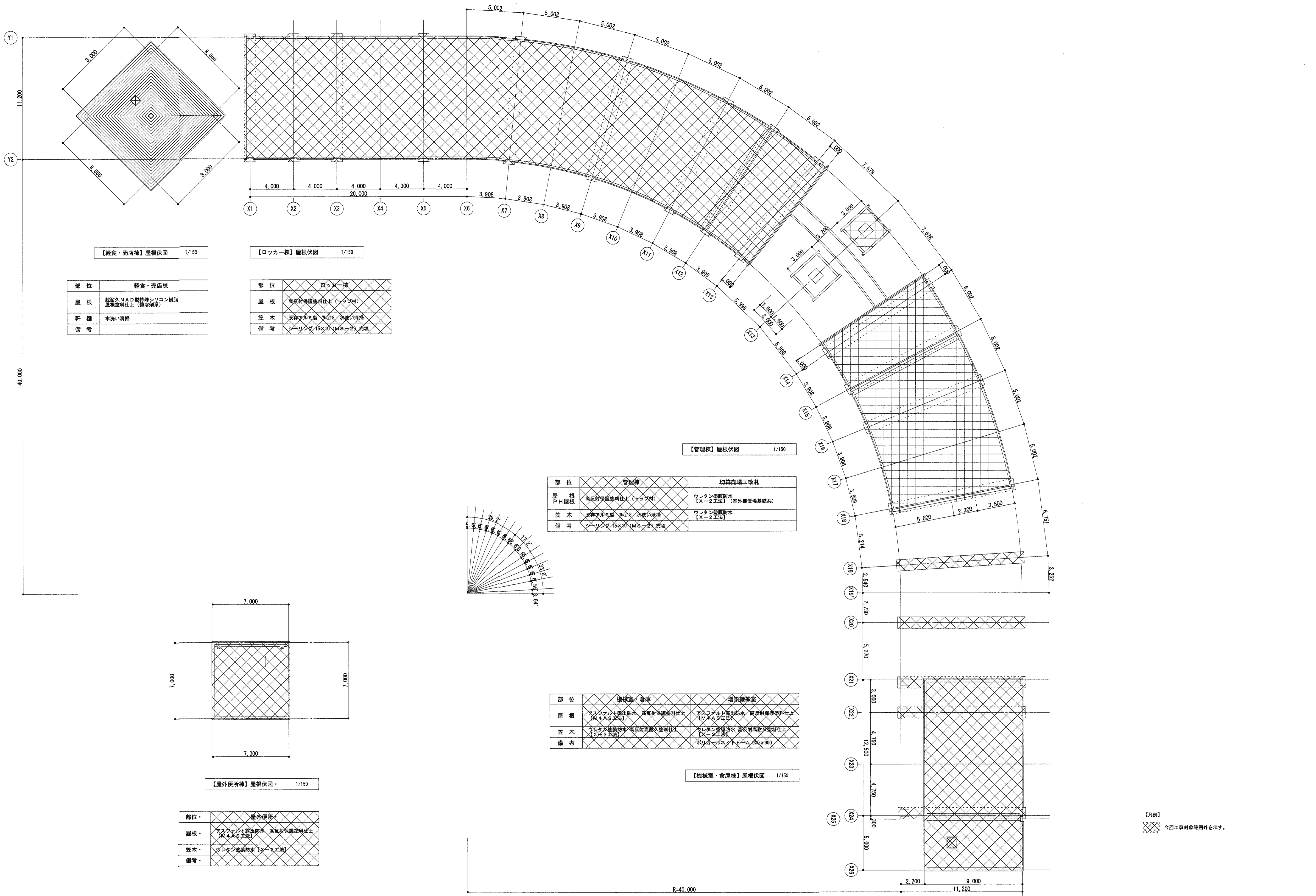
【屋外便所棟】屋根伏図 1/150

部位	屋外便所
屋根	アスファルト露出防水・シルバーペイント (塩基・鉛分除去・処分)
笠木	コンクリート打放し補修
備考	

【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。



整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisoken@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	課長 副課長 主任 担当 富士見市総務部営繕課	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
				変更年月日					



【軽食・売店棟】屋根伏図 1/150

【ロッカー棟】屋根伏図 1/150

部位	軽食・売店棟
屋根	超耐久NAD型特殊シリコン樹脂 屋根塗料仕上 (弱溶剤系)
笠木	水洗い清掃
備考	

部位	ロッカー棟
屋根	高反射率遮熱材仕上 (トップ材)
笠木	既存アルミ製 №218 水洗い清掃
備考	シーリング 15x10 (MS-2) 充填

【管理棟】屋根伏図 1/150

部位	管理棟	切符売場=改札
屋根	高反射率遮熱材仕上 (トップ材)	ウレタン塗膜防水 【X-2工法】 (室外機室構基礎共)
笠木	既存アルミ製 №218 水洗い清掃	ウレタン塗膜防水 【X-2工法】
備考	シーリング 15x10 (MS-2) 充填	

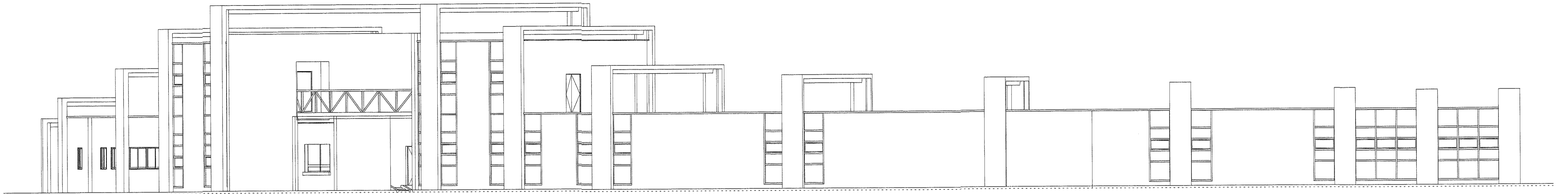
部位	機械室・倉庫	増築機械室
屋根	アスファルト露出防水 高反射率遮熱材仕上 【M-A-S工法】	アスファルト露出防水 高反射率遮熱材仕上 【M-A-S工法】
笠木	ウレタン塗膜防水 高反射率耐久塗料仕上 【X-2工法】	ウレタン塗膜防水 高反射率耐久塗料仕上 【X-2工法】
備考		ポリカーボネイトドーム 400x900

【屋外便所棟】屋根伏図 1/150

部位	屋外便所棟
屋根	アスファルト露出防水 高反射率遮熱材仕上 【M-A-S工法】
笠木	ウレタン塗膜防水 【X-2工法】
備考	

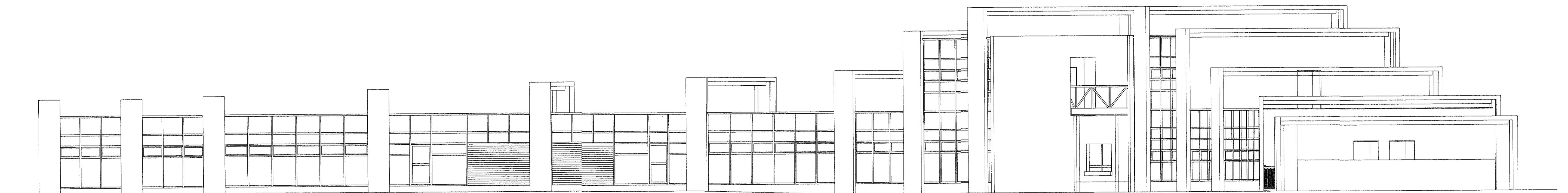
【機械室・倉庫棟】屋根伏図 1/150

【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。



北側・西側立面図 1/100

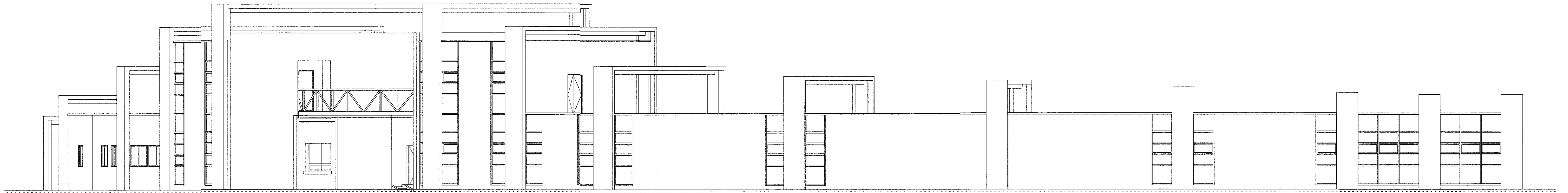
外部仕上表	
外壁(ALC面)	<新築時> 防水ALC面、土留下地、目地処理の上、漆仕上塗り塗装 【平成16年度 改修工事】 高圧洗浄機、下地調整材吹付(0-1) 珪藻土塗料E吹付
外壁(RC面)	<新築時> 目地調整機、高圧洗浄機、【新築時】ウレタン系吹付塗装 【平成16年度 改修工事】 高圧洗浄機、下地調整材吹付(0-1) 珪藻土塗料E吹付
リブ・フライングビーム	<新築時> ウレタン系吹付塗装 【平成16年度 改修工事】 クラック等補修後、珪藻土塗料E吹付
外巾木	<新築時> エンクロード付仕上げ、黒色塗装 【平成16年度 改修工事】 珪藻土塗料E吹付
開口部	<新築時> 【建築仕様】 アルミカーテンウォール二次電着塗装仕上、スチールシャッター、アルミサッシ 【改修工事】 珪藻土塗料E吹付(0-1) 珪藻土塗料E吹付
ブリッジ	【手すり】 柱・斜材：□-30×60、手摺：□-60×60、SOP塗装 【床】 珪藻土：H-300×300×10×15、チェッカープレート敷き t=4.5 SOP塗装
館銘板	スチール切り文字：SOP塗装
タラップ	ステンレス手摺：φ22 8段-2ヶ所



南側・東側立面図 1/100

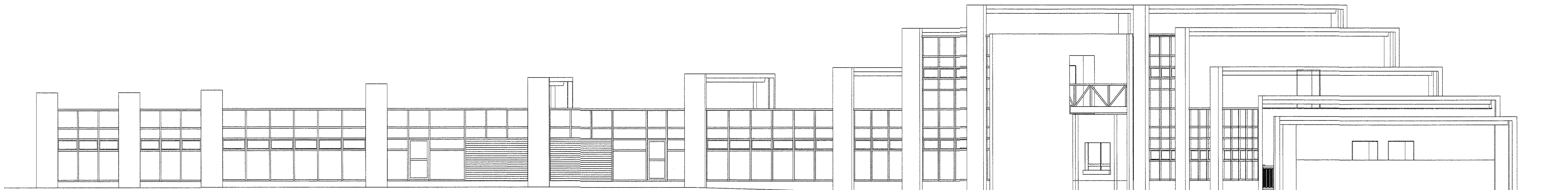
【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【ロッカー・管理棟】



北側・西側立面図 1/100

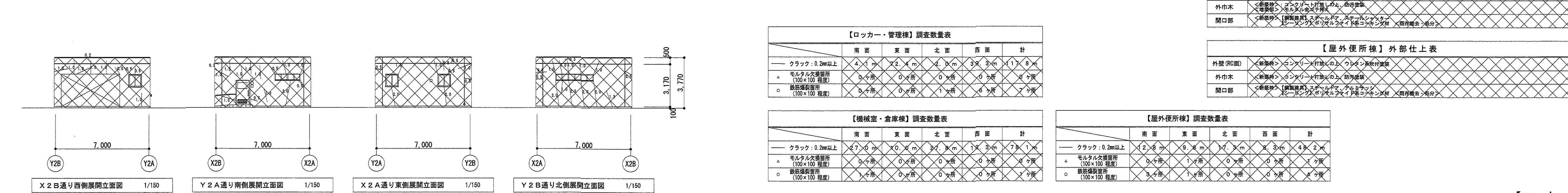
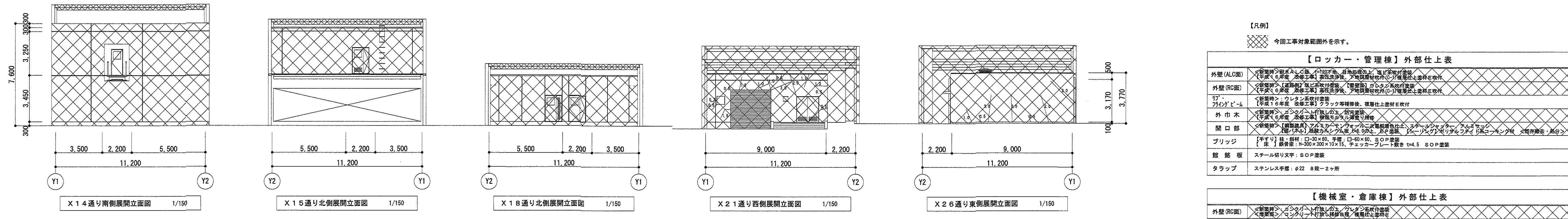
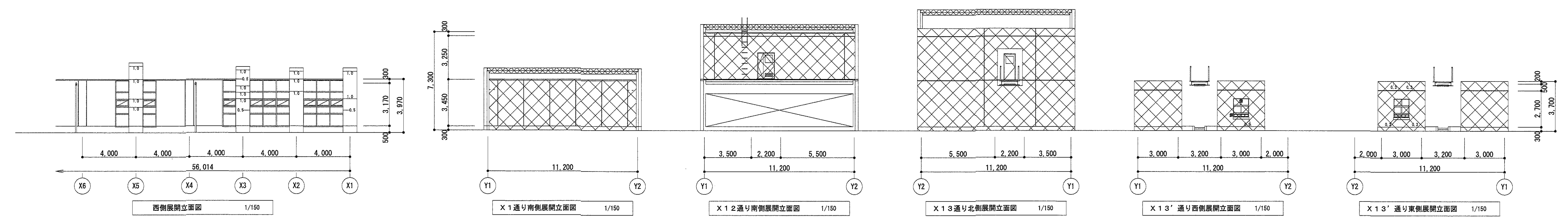
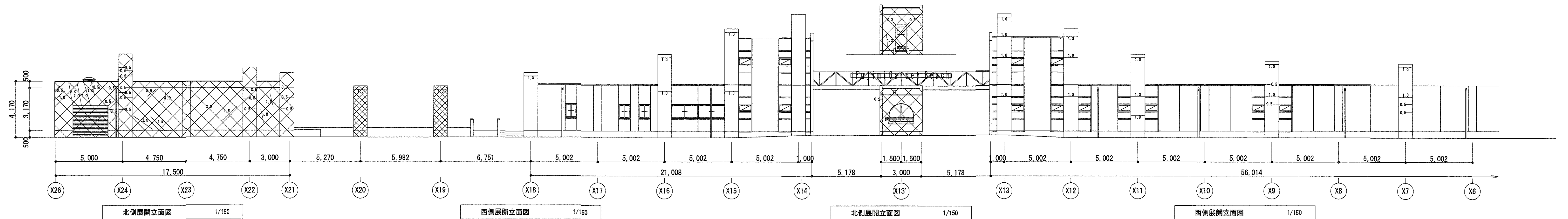
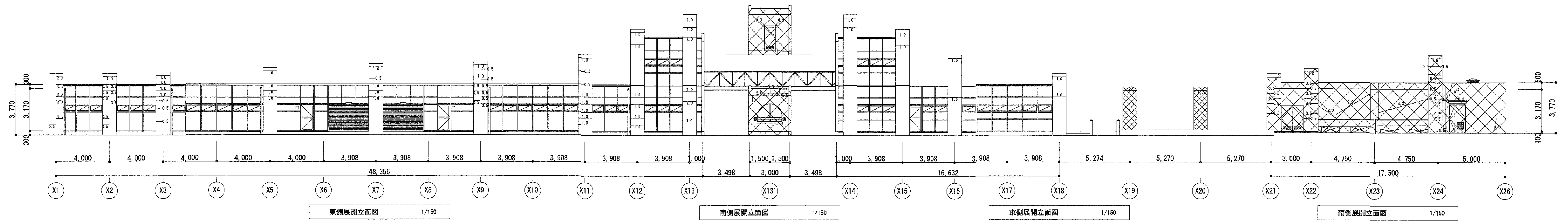
外部仕上表	
外壁 (ALC面)	既存仕上材サンダー掛け、経年劣化による剥離、自他材密着の上、 【床】 既存クレン掛け清掃、下地処理 (R種) 錆止め塗膜の上、アクリルシリコン系DP塗装 (第2種)
外壁 (RC面)	既存仕上材サンダー掛け、経年劣化による剥離、打雑土目地等除去の上、 【床】 既存クレン掛け清掃、下地処理 (R種) 錆止め塗膜の上、アクリルシリコン系DP塗装 (第2種)
リブ フライングビーム	既存仕上材サンダー掛け、経年劣化による剥離除去、クラック等処理の上、 【床】 既存クレン掛け清掃、下地処理 (R種) 錆止め塗膜の上、アクリルシリコン系DP塗装 (第2種)
外巾木	高圧水洗浄の上、樹脂モルタル塗り
開口部	【網目建築】 アルミカテナンゴアルミ内外滑槽 (特殊) の上、滑り出し窓用アーム及びウレタン交換 【窓枠】 スチールタコタテ、既存下地塗装 (のり塗り) 錆止め塗膜 (A種) の上、合成樹脂防かべペイント塗り (SGP) 【窓ガラス】 糸巻網 (15貼) (シール) シンク (15×10 (MS>2)) 洗濯 (MS)
ブリッジ	【手すり・鉄骨露出部】 既存クレン掛け清掃、下地処理 (R種) 錆止め塗膜の上、アクリルシリコン系DP塗装 (第2種) 【床】 既存クレン掛け清掃、下地処理 (R種) 錆止め塗膜の上、アクリルシリコン系DP塗装 (第2種)
竜 銘 板	既存クレン掛け清掃、下地処理 (R種) 錆止め塗膜の上、アクリルシリコン系DP塗装 (第2種)
タラップ	高圧水洗浄



南側・東側立面図 1/100

【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【ロッカー・管理棟】



【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【ロッカー・管理棟】外部仕上表

外壁 (ALC面)	<新築時> 軽量コンクリート壁、外装仕上げ、防錆処理等 <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。
外壁 (RC面)	<新築時> 軽量コンクリート壁、外装仕上げ、防錆処理等 <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。
開口部	<新築時> アルミ複層ガラス、断熱性能向上、防錆処理等 <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。
ブリッジ	<新築時> 鋼材、防錆処理、塗装等 <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。
屋根	<新築時> 鋼材、防錆処理、塗装等 <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。
タラップ	ステンレス手摺：φ22 8段-2ヶ所

【機械室・倉庫棟】外部仕上表

外壁 (RC面)	<新築時> コンクリート打ち放しの仕上げ <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。
開口部	<新築時> アルミ複層ガラス、断熱性能向上、防錆処理等 <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。

【屋外便所棟】外部仕上表

外壁 (RC面)	<新築時> コンクリート打ち放しの仕上げ <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。
開口部	<新築時> アルミ複層ガラス、断熱性能向上、防錆処理等 <修繕時> 劣化箇所を撤去し、新築と同様の仕上りを行う。

【ロッカー・管理棟】調査数量表

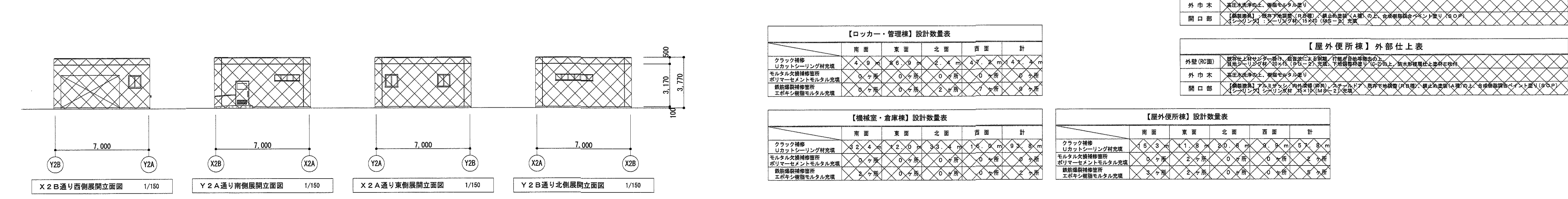
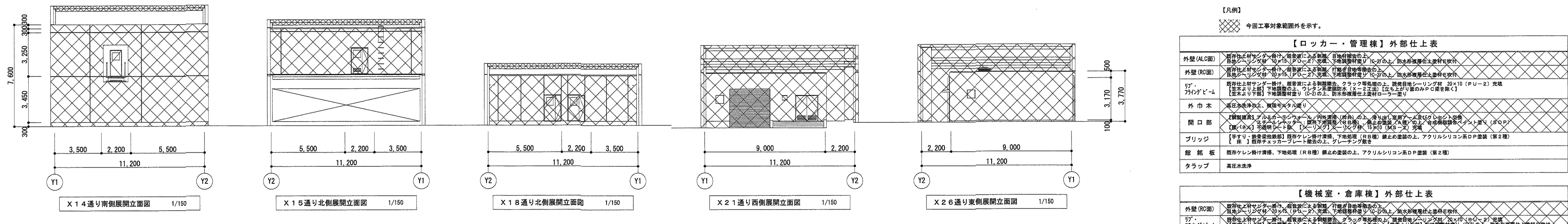
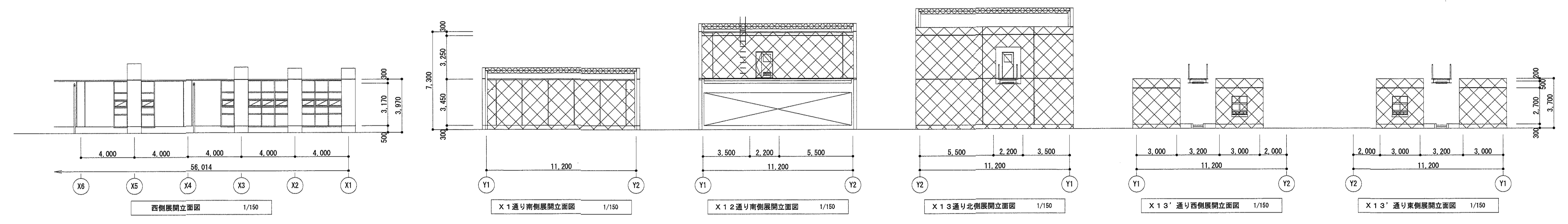
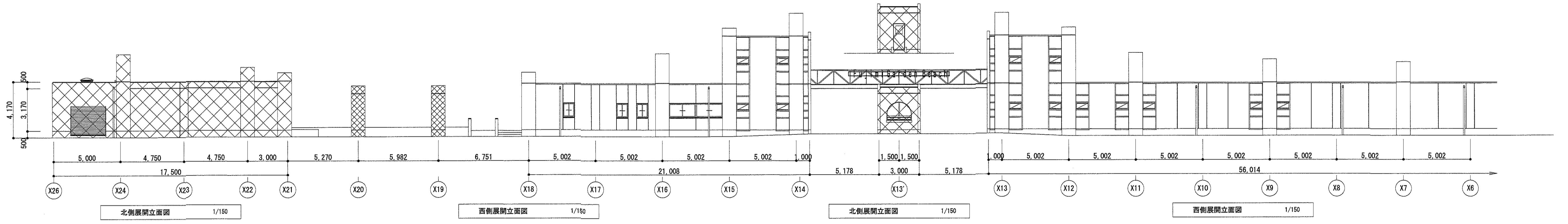
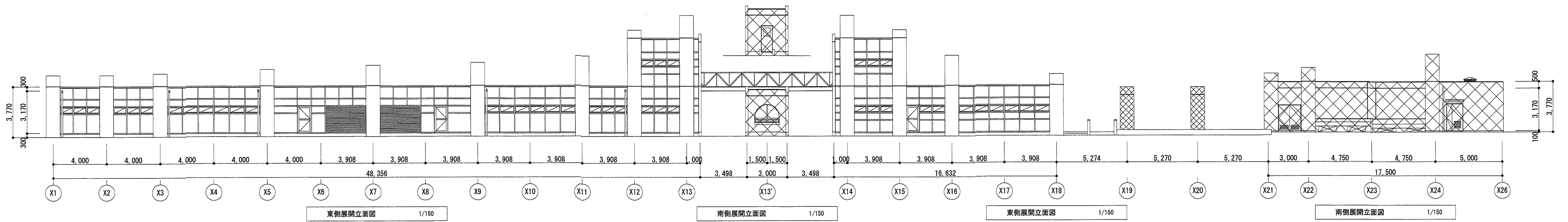
	南面	東面	北面	西面	計
クラック: 0.2mm以上	4ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	11ヶ所
モルタル欠損箇所 (100×100程度)	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所
鉄筋露出箇所 (100×100程度)	0ヶ所	0ヶ所	1ヶ所	5ヶ所	7ヶ所

【機械室・倉庫棟】調査数量表

	南面	東面	北面	西面	計
クラック: 0.2mm以上	4ヶ所	0ヶ所	3ヶ所	1ヶ所	7ヶ所
モルタル欠損箇所 (100×100程度)	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所
鉄筋露出箇所 (100×100程度)	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所

【屋外便所棟】調査数量表

	南面	東面	北面	西面	計
クラック: 0.2mm以上	2ヶ所	0ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	4ヶ所
モルタル欠損箇所 (100×100程度)	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所
鉄筋露出箇所 (100×100程度)	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所



【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【ロッカー・管理棟】外部仕上表

外壁 (ALC)	耐震性付サニター付、耐震性付多層構造、目地隠蔽の上、 防湿シロート付 20mm (PU-2) 充填、下地調整層 10mm 厚、 防水防湿層仕上塗料を併用
外壁 (RC)	耐震性付サニター付、耐震性付多層構造、目地隠蔽の上、 防湿シロート付 20mm (PU-2) 充填、下地調整層 10mm 厚、 防水防湿層仕上塗料を併用
UP	耐震性付サニター付、耐震性付多層構造、目地隠蔽の上、 防湿シロート付 20mm (PU-2) 充填、下地調整層 10mm 厚、 防水防湿層仕上塗料を併用
外巾木	高圧洗浄の上、樹脂モルタル塗り
開口部	【鉄骨扉】アルミ複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【窓】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【扉】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【窓】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上
ブリッジ	【手すり・鉄骨梁】鉄骨レンゲ構造、 【床】鉄骨ウェルプレート構造の上、 【床】鉄骨ウェルプレート構造の上、 【床】鉄骨ウェルプレート構造の上
屋根板	鉄骨レンゲ構造、 【床】鉄骨ウェルプレート構造の上、 【床】鉄骨ウェルプレート構造の上
タラップ	高圧洗浄

【機械室・倉庫棟】外部仕上表

外壁 (RC)	耐震性付サニター付、耐震性付多層構造、目地隠蔽の上、 防湿シロート付 20mm (PU-2) 充填、下地調整層 10mm 厚、 防水防湿層仕上塗料を併用
UP	耐震性付サニター付、耐震性付多層構造、目地隠蔽の上、 防湿シロート付 20mm (PU-2) 充填、下地調整層 10mm 厚、 防水防湿層仕上塗料を併用
外巾木	高圧洗浄の上、樹脂モルタル塗り
開口部	【鉄骨扉】アルミ複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【窓】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【扉】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【窓】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上

【屋外便所棟】外部仕上表

外壁 (RC)	耐震性付サニター付、耐震性付多層構造、目地隠蔽の上、 防湿シロート付 20mm (PU-2) 充填、下地調整層 10mm 厚、 防水防湿層仕上塗料を併用
外巾木	高圧洗浄の上、樹脂モルタル塗り
開口部	【鉄骨扉】アルミ複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【窓】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【扉】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上、 【窓】(4層) 複層ガラス、防炎性能 (A) 以上

【ロッカー・管理棟】設計数量表

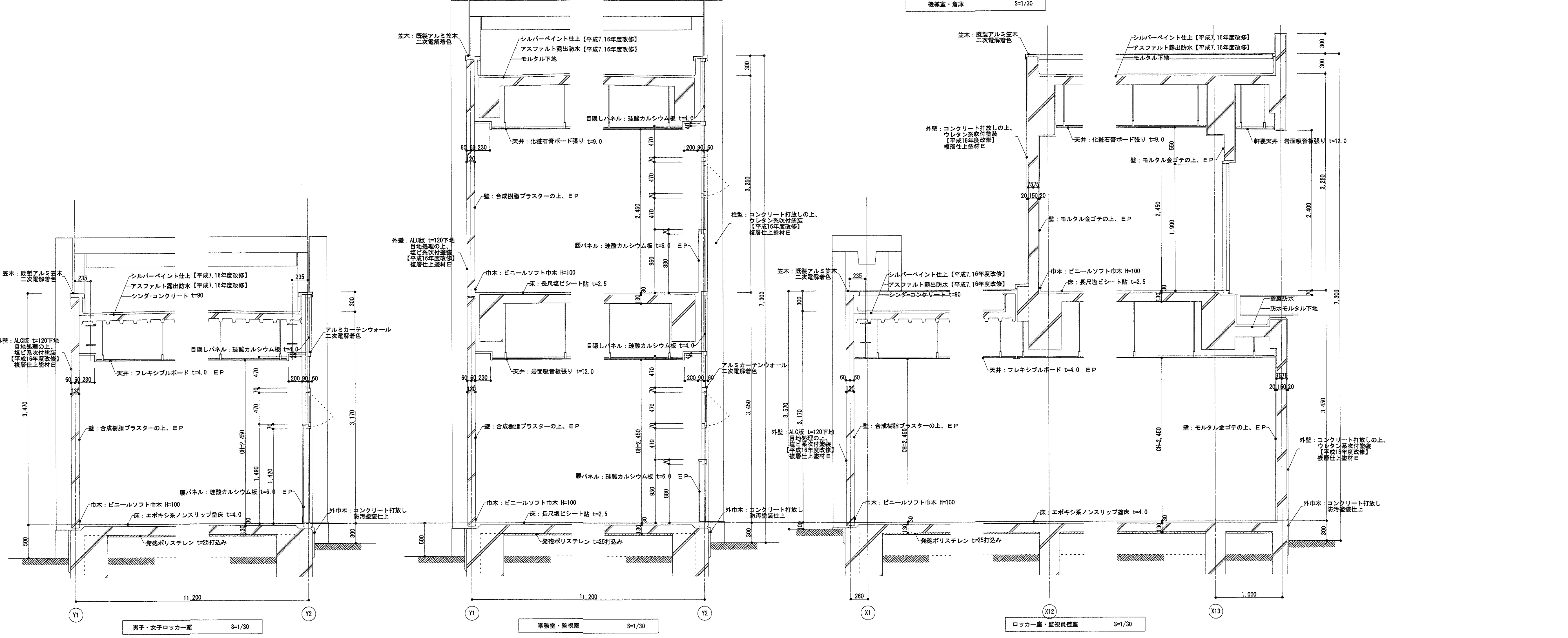
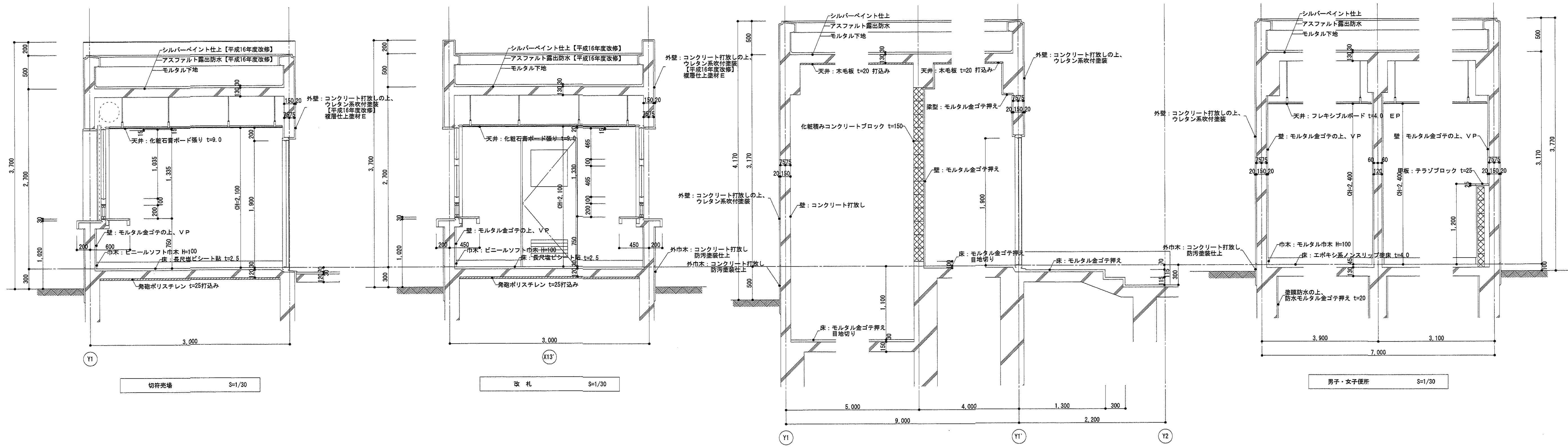
	南面	東面	北面	西面	計
クラック補修	4.9	6.6	2.4	4.7	18.6
UPカッターシーリング材充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
モルタル欠損補修箇所	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
ポリマーセメントモルタル充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
鉄筋埋設箇所	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
エポキシ樹脂モルタル充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6

【機械室・倉庫棟】設計数量表

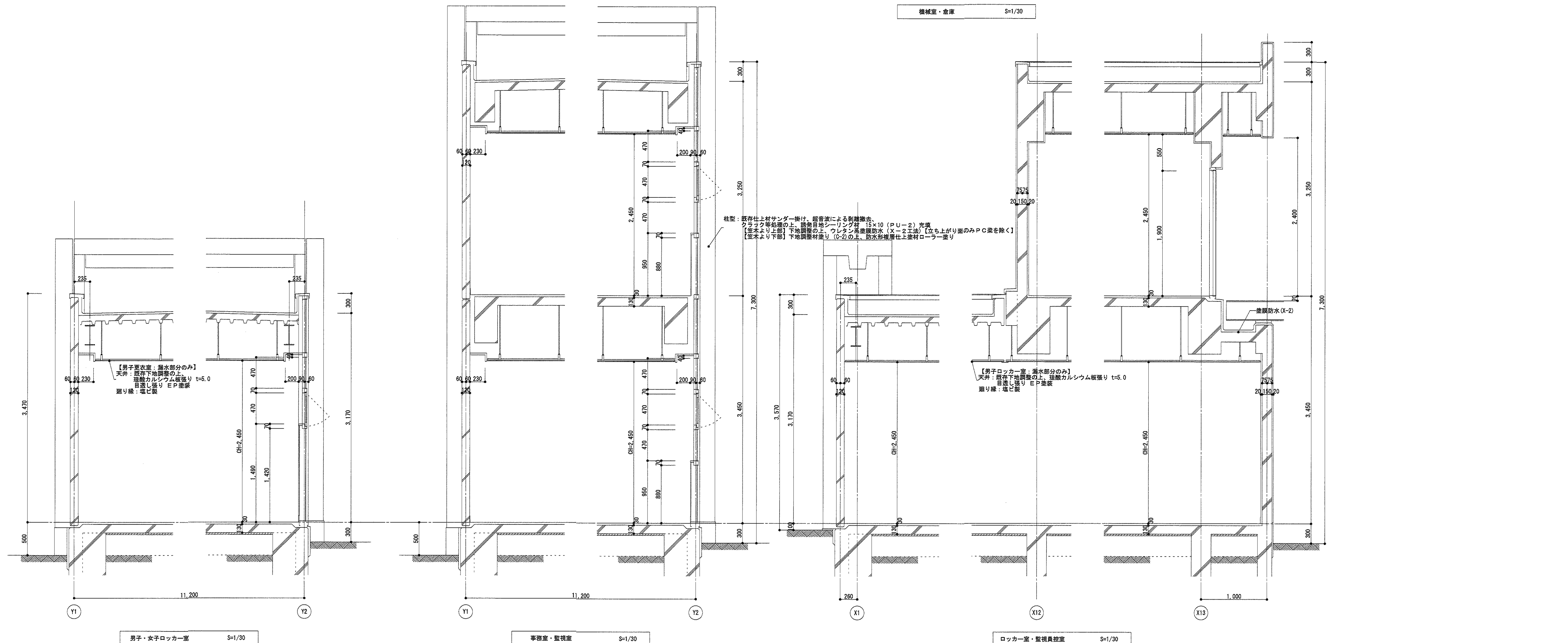
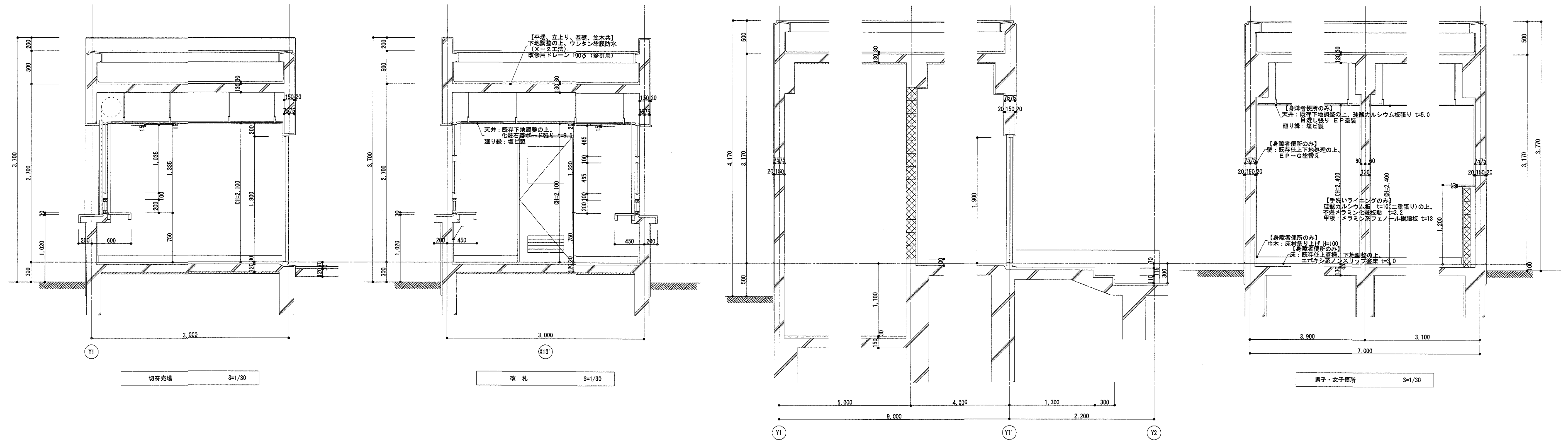
	南面	東面	北面	西面	計
クラック補修	2.4	2.0	3.5	1.6	9.5
UPカッターシーリング材充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
モルタル欠損補修箇所	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
ポリマーセメントモルタル充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
鉄筋埋設箇所	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
エポキシ樹脂モルタル充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6

【屋外便所棟】設計数量表

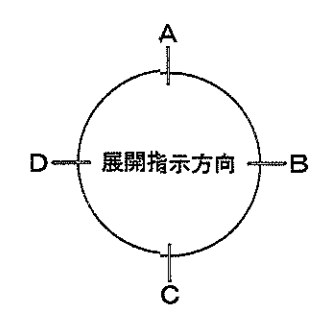
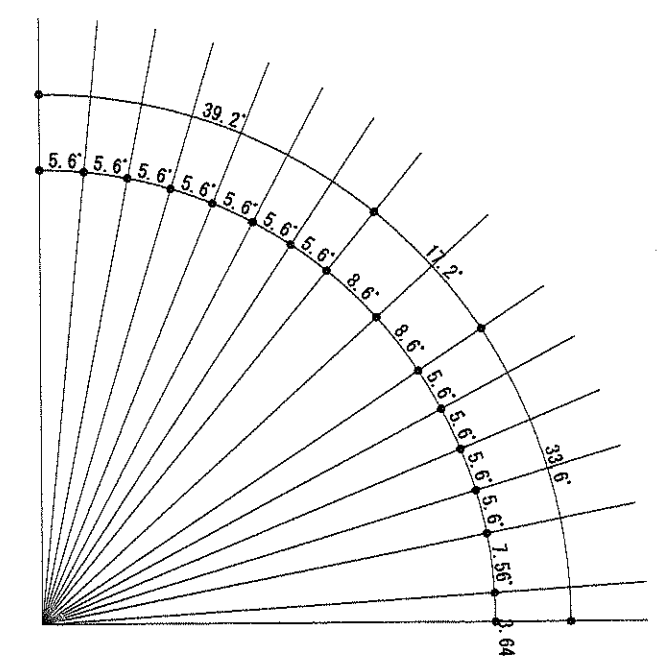
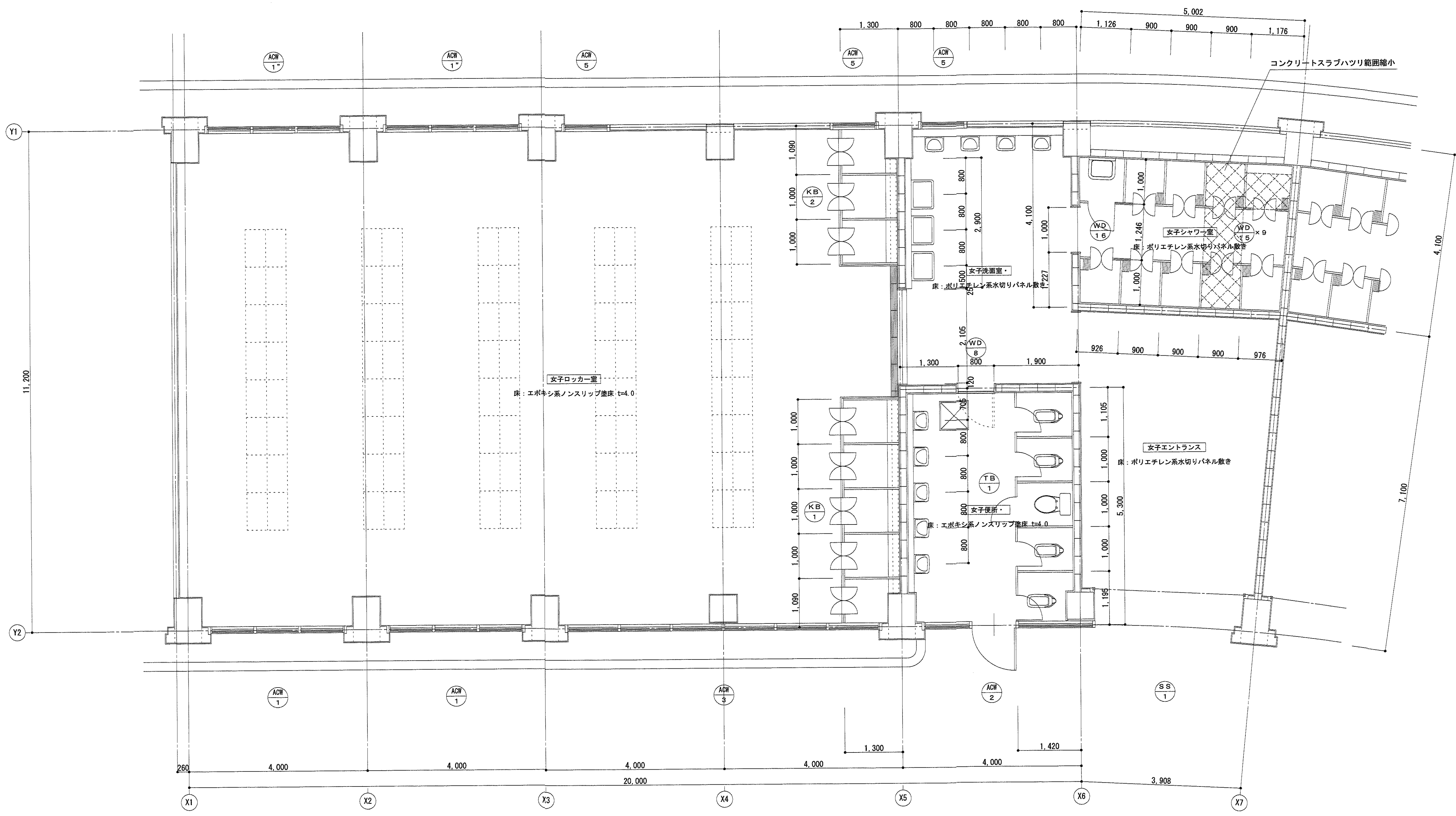
	南面	東面	北面	西面	計
クラック補修	0.3	1.8	0.0	0.0	2.1
UPカッターシーリング材充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
モルタル欠損補修箇所	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
ポリマーセメントモルタル充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
鉄筋埋設箇所	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6
エポキシ樹脂モルタル充填	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6



整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8920 (f) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@office1bity.com	設計年月日 変更年月日	承認 柳井 博	監査 第 85179 号	設計 柳井 博	製図 柳井 博	NOTE	課長 富士見市総務部常務課	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA	
													図面名 既存断面詳細図	S-1:30 (A-1) S-1:60 (A-3)	152

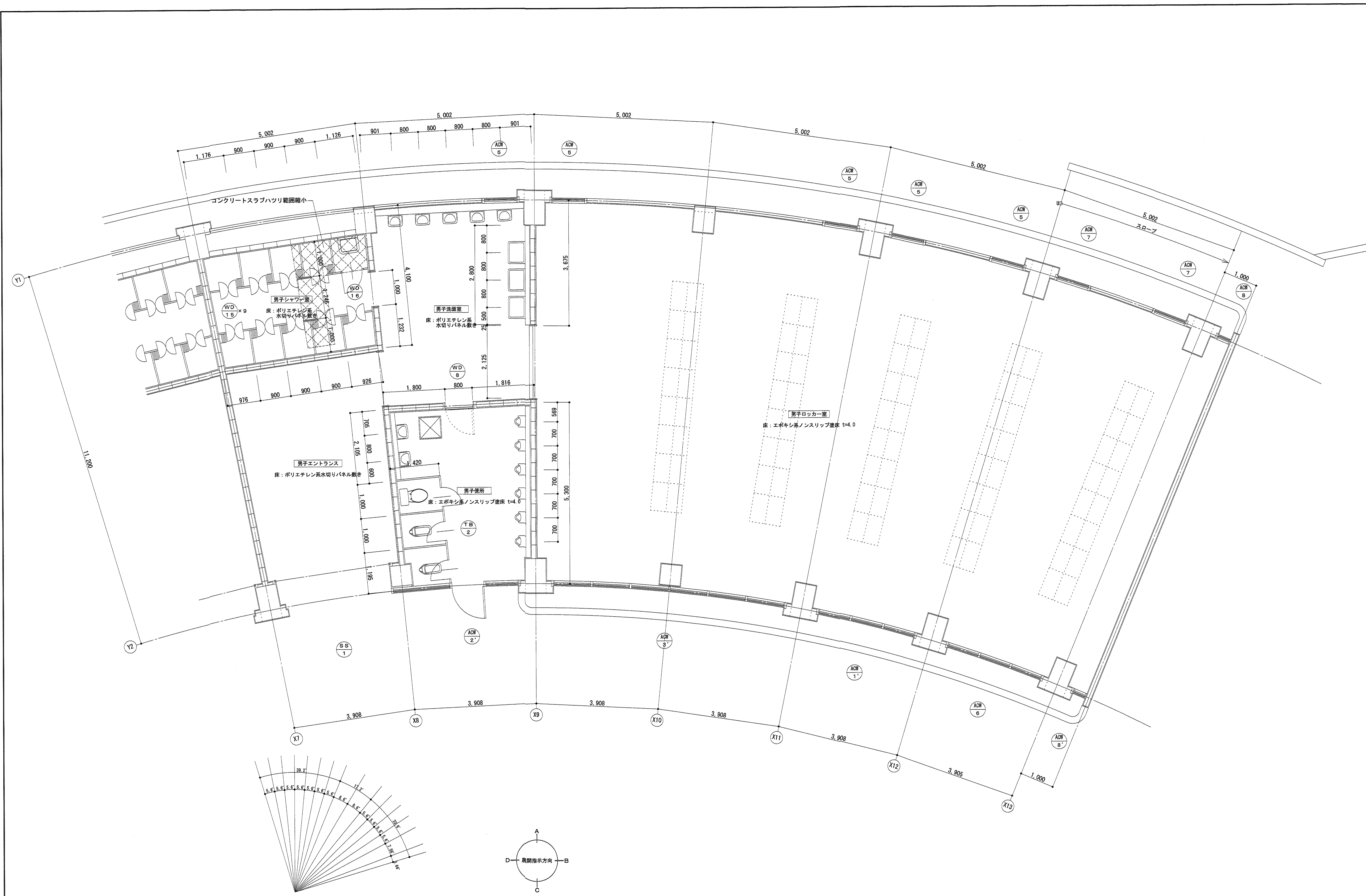


整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisseki@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 図面名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事 改修断面詳細図	S-1:30 (A-1) S-1:60 (A-3)	図面番号 KA 153
-----------------	--	---	------------------------------	----------------	-------------------	------	------------	--------------	------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------

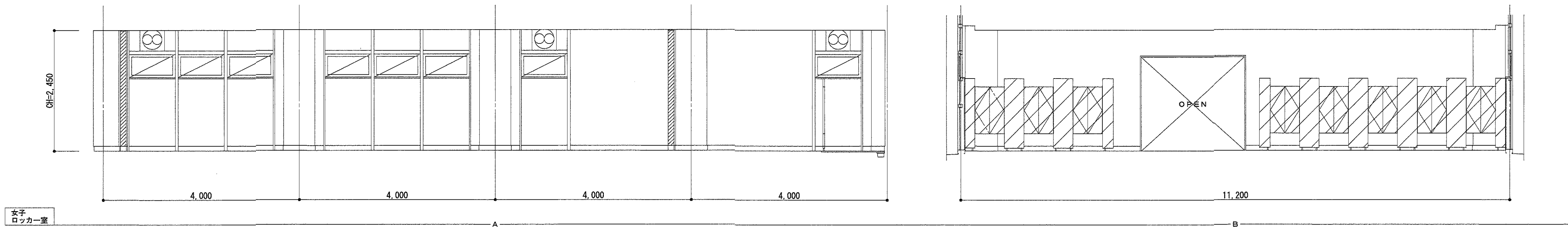


【ロッカー棟】

発注番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@kai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	無査	設計	製図	柳井	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
				変更年月日												図面名	既存平面詳細図-1・キープラン	

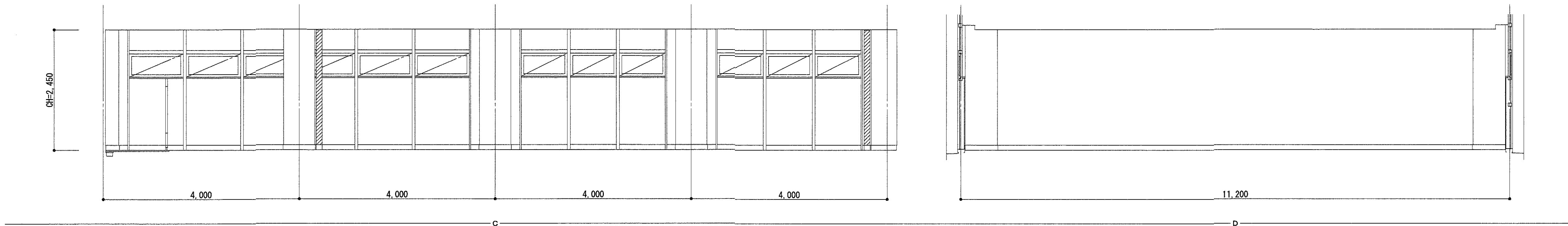


整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 一級建築士 柳井 博 TEL 049-264-8320 (F) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisekei@lifty.com	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	課長 副課長 主任 担当 富士見市総務部営繕課	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
							図面名 既存平面詳細図-2・キープラン	S-1:50 (A-1) S-1:100 (A-3)

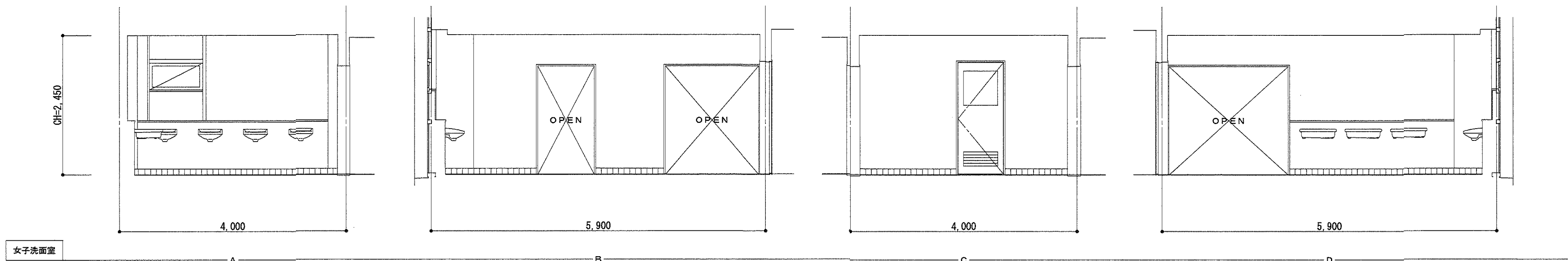


女子
ロッカー室

女子ロッカー室	
床	モルタル下地の上、エポキシ系ノンスリップ塗床 t=4.0
巾木	ビニールソフト巾木 H=100 (撤去・処分)
腰壁	防錆処理シロウ材縦張り t=8.0の上、E.P.塗装
壁	モルタル金ゴテ E.P.塗装 (C.B.面撤去・処分(図示の範囲)) 【下段2段残し】
天井	フレキシブルボード t=4.0 敷目地張り E.P.塗装 【レベル3】 (仕上材のみ撤去・処分) 張り継ぎ・撤去・処分
備考	撤去・処分範囲を示す。

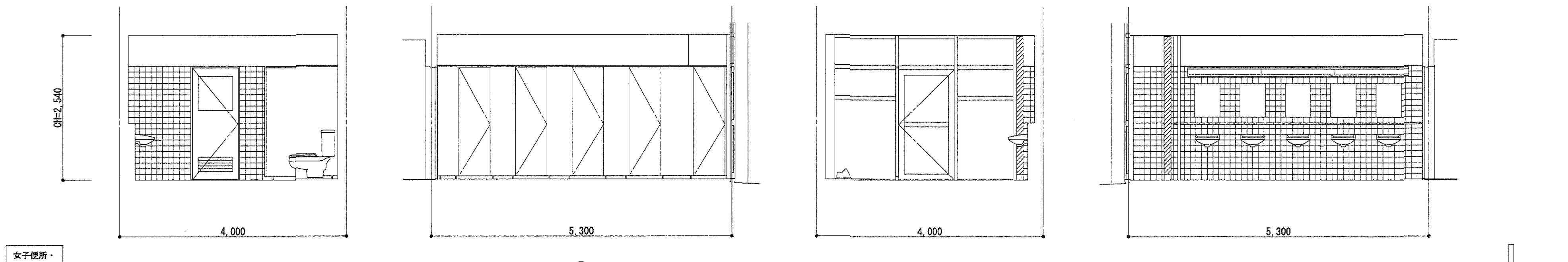


女子
ロッカー室



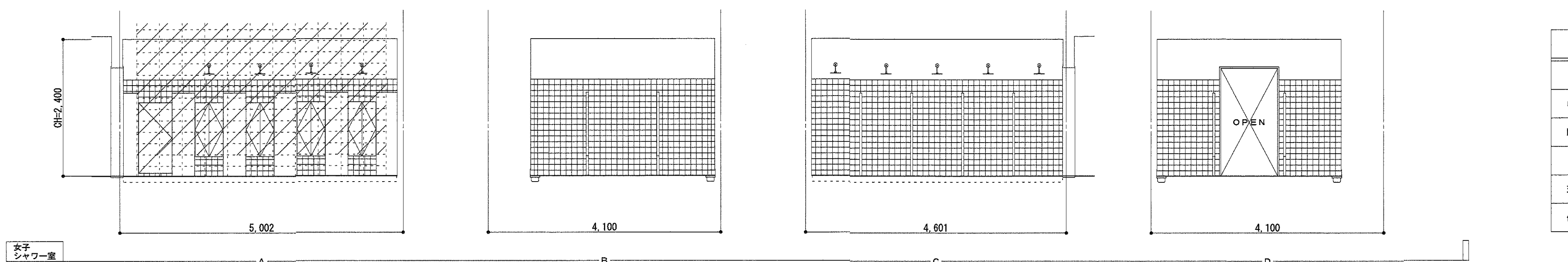
女子洗面室

女子洗面室	
床	防水モルタル金ゴテ押えの上、V.P.塗装の上、ポリエチレン系水切りパネル敷き (撤去・処分)
巾木	半磁器質タイル貼 (S.D) H=100 (撤去・処分)
腰壁	モルタル金ゴテ押えの上、E.P.塗装
壁	モルタル金ゴテ E.P.塗装 (C.B.面撤去・処分(図示の範囲)) 【下段2段残し】
天井	フレキシブルボード t=4.0 敷目地張り E.P.塗装 【レベル3】 (仕上材のみ撤去・処分) 張り継ぎ・撤去・処分
備考	



女子便所

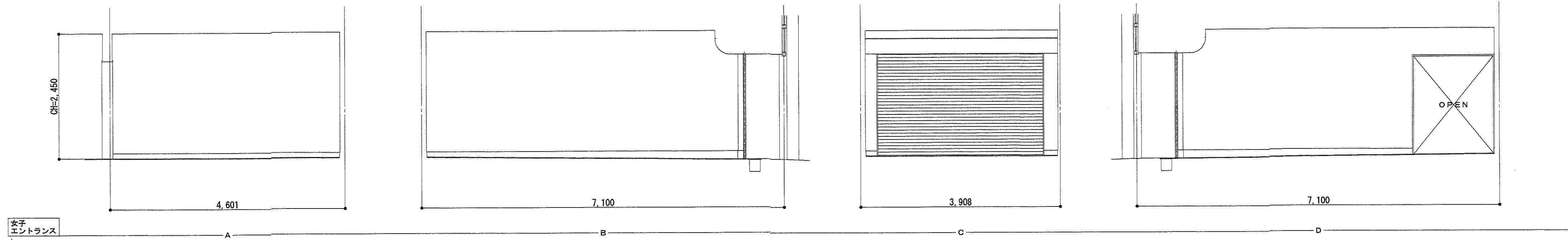
女子便所	
床	モルタル下地の上、エポキシ系ノンスリップ塗床 t=4.0
巾木	
腰壁	モルタル金ゴテ押えの上、半磁器質タイル貼 H=100 (撤去・処分)
壁	モルタル金ゴテ E.P.塗装 (C.B.面撤去・処分(図示の範囲)) 【下段2段残し】
天井	フレキシブルボード t=4.0 敷目地張り E.P.塗装 【レベル3】 (仕上材のみ撤去・処分) 張り継ぎ・撤去・処分
備考	



女子シャワー室

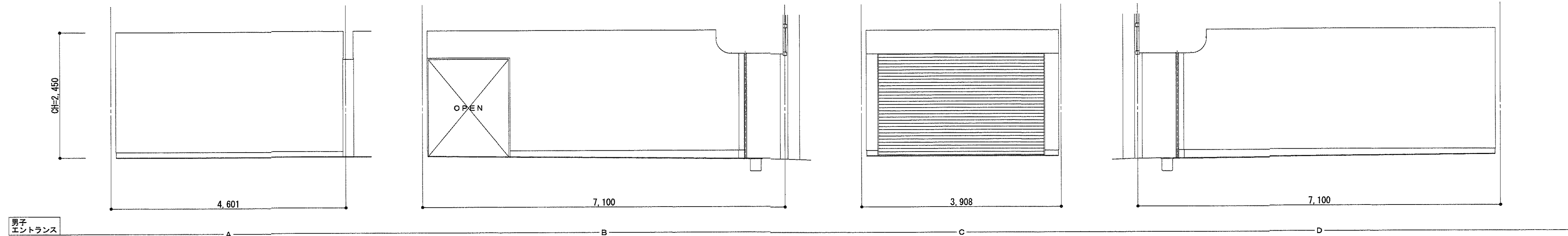
女子シャワー室	
床	防水モルタル金ゴテ押えの上、V.P.塗装の上、ポリエチレン系水切りパネル敷き (撤去・処分)
巾木	
腰壁	モルタル金ゴテ押えの上、半磁器質タイル貼 H=100 (撤去・処分)
壁	モルタル金ゴテ E.P.塗装 (C.B.面撤去・処分(図示の範囲)) 【下段2段残し】
天井	フレキシブルボード t=4.0 敷目地張り E.P.塗装 【レベル3】 (仕上材のみ撤去・処分) 張り継ぎ・撤去・処分
備考	C.B.面撤去・処分範囲を示す。

【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。



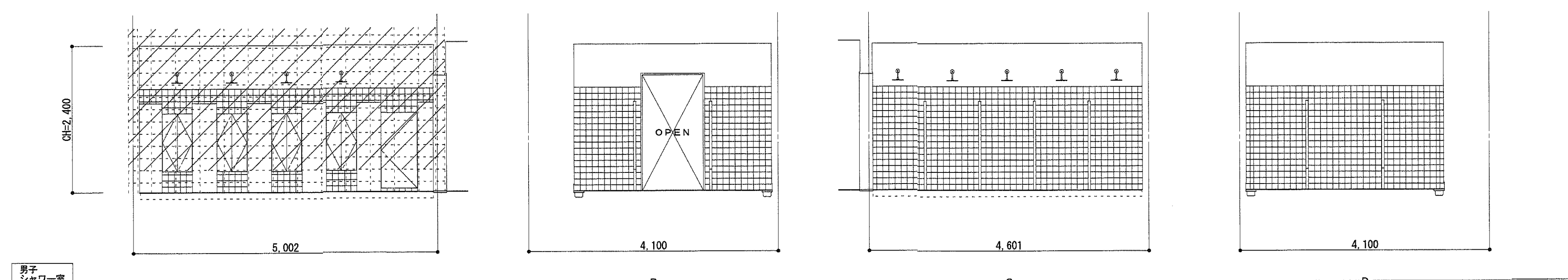
女子エントランス

女子エントランス	
床	防水モルタル金ゴ子押えの、VP塗装の上、ホリエチレン系水切りパネル敷き〈撤去・処分〉
巾木	モルタル金ゴ子押え100〈撤去・処分〉
壁	モルタル金ゴ子押え、VP塗装、C/B面撤去・処分(図示の範囲)〔下段2段残し〕
天井	フレキシブルボード t=40 敷目地張り、EP塗装〔レベル3〕〈仕上材のみ撤去・処分〉
備考	通り縁、塩ビ壁〈撤去・処分〉



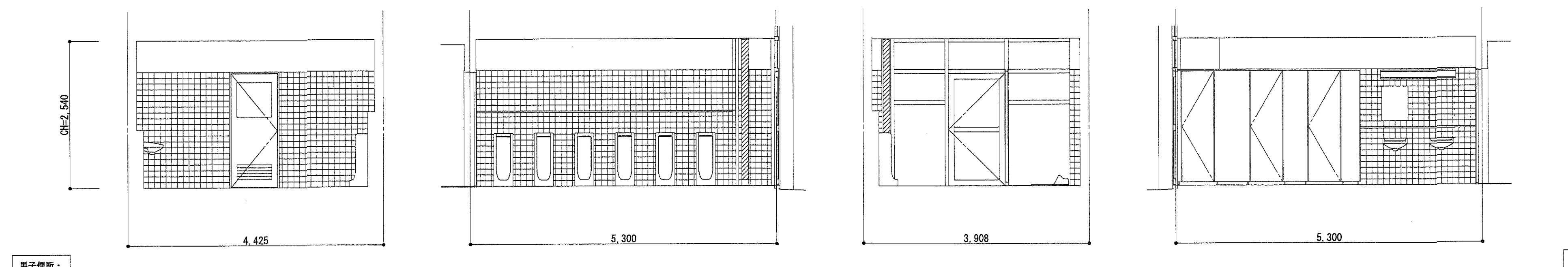
男子エントランス

男子エントランス	
床	防水モルタル金ゴ子押えの、VP塗装の上、ホリエチレン系水切りパネル敷き〈撤去・処分〉
巾木	モルタル金ゴ子押え100〈撤去・処分〉
壁	モルタル金ゴ子押え、VP塗装、C/B面撤去・処分(図示の範囲)〔下段2段残し〕
天井	フレキシブルボード t=40 敷目地張り、EP塗装〔レベル3〕〈仕上材のみ撤去・処分〉
備考	通り縁、塩ビ壁〈撤去・処分〉



男子シャワー室

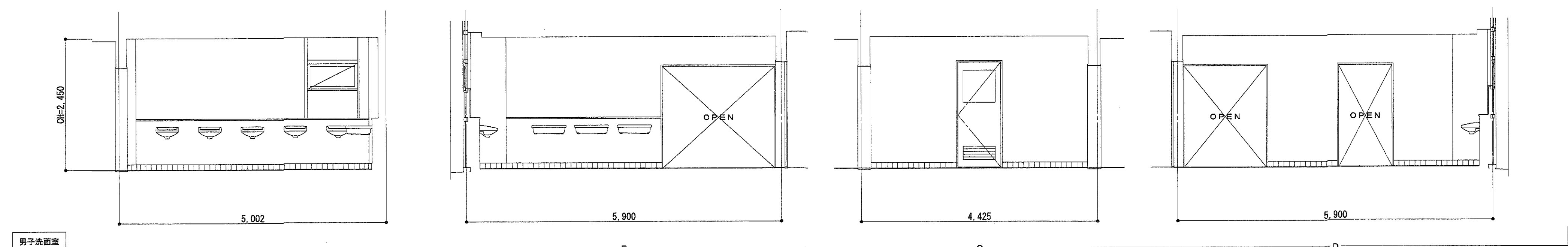
男子シャワー室	
床	防水モルタル金ゴ子押えの、VP塗装の上、ホリエチレン系水切りパネル敷き〈撤去・処分〉
巾木	モルタル金ゴ子押えの上、半磁器質タイル貼 t=100 角〈撤去・処分〉
壁	モルタル金ゴ子押え、VP塗装、C/B面撤去・処分(図示の範囲)〔下段2段残し〕
天井	フレキシブルボード t=40 敷目地張り、EP塗装〔レベル3〕〈仕上材のみ撤去・処分〉
備考	通り縁、塩ビ壁〈撤去・処分〉



男子便所

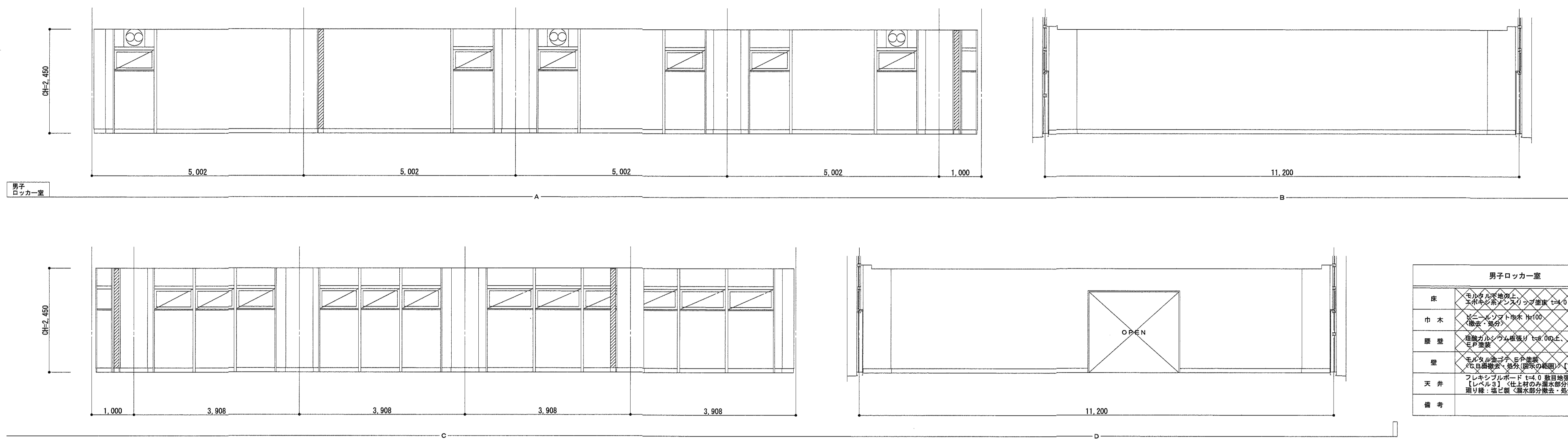
男子便所	
床	モルタル下地の、エポキシ系ノンスリップ塗床 t=4.0
巾木	半磁器質タイル貼 t=50 角 t=100 〈撤去・処分〉
壁	モルタル金ゴ子押えの上、半磁器質タイル貼 t=100 角〈撤去・処分〉
天井	フレキシブルボード t=40 敷目地張り、EP塗装〔レベル3〕〈仕上材のみ撤去・処分〉
備考	通り縁、塩ビ壁〈撤去・処分〉

男子洗面室	
床	防水モルタル金ゴ子押えの、VP塗装の上、ホリエチレン系水切りパネル敷き〈撤去・処分〉
巾木	半磁器質タイル貼 t=50 角 t=100 〈撤去・処分〉
壁	モルタル金ゴ子押えの上、EP塗装、C/B面撤去・処分(図示の範囲)〔下段2段残し〕
天井	フレキシブルボード t=40 敷目地張り、EP塗装〔レベル3〕〈仕上材のみ撤去・処分〉
備考	通り縁、塩ビ壁〈撤去・処分〉



男子洗面室

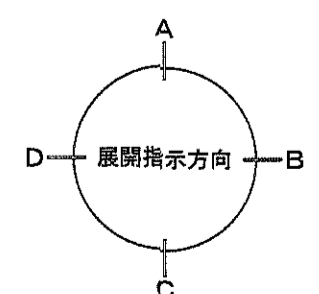
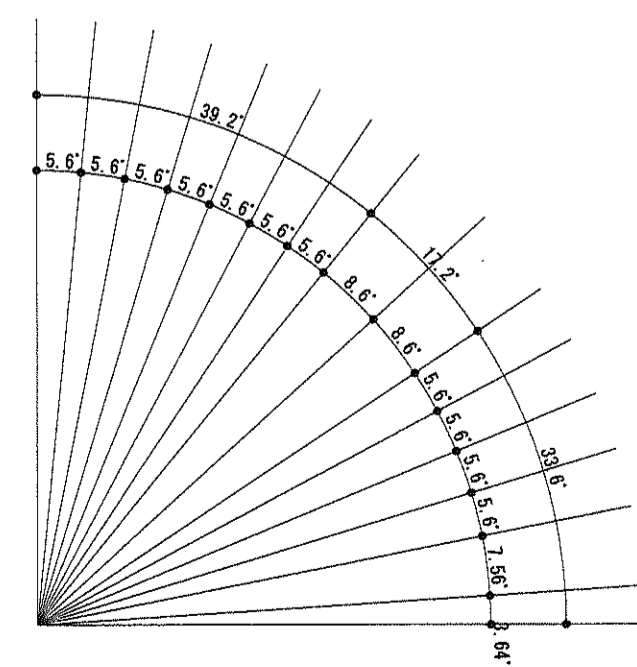
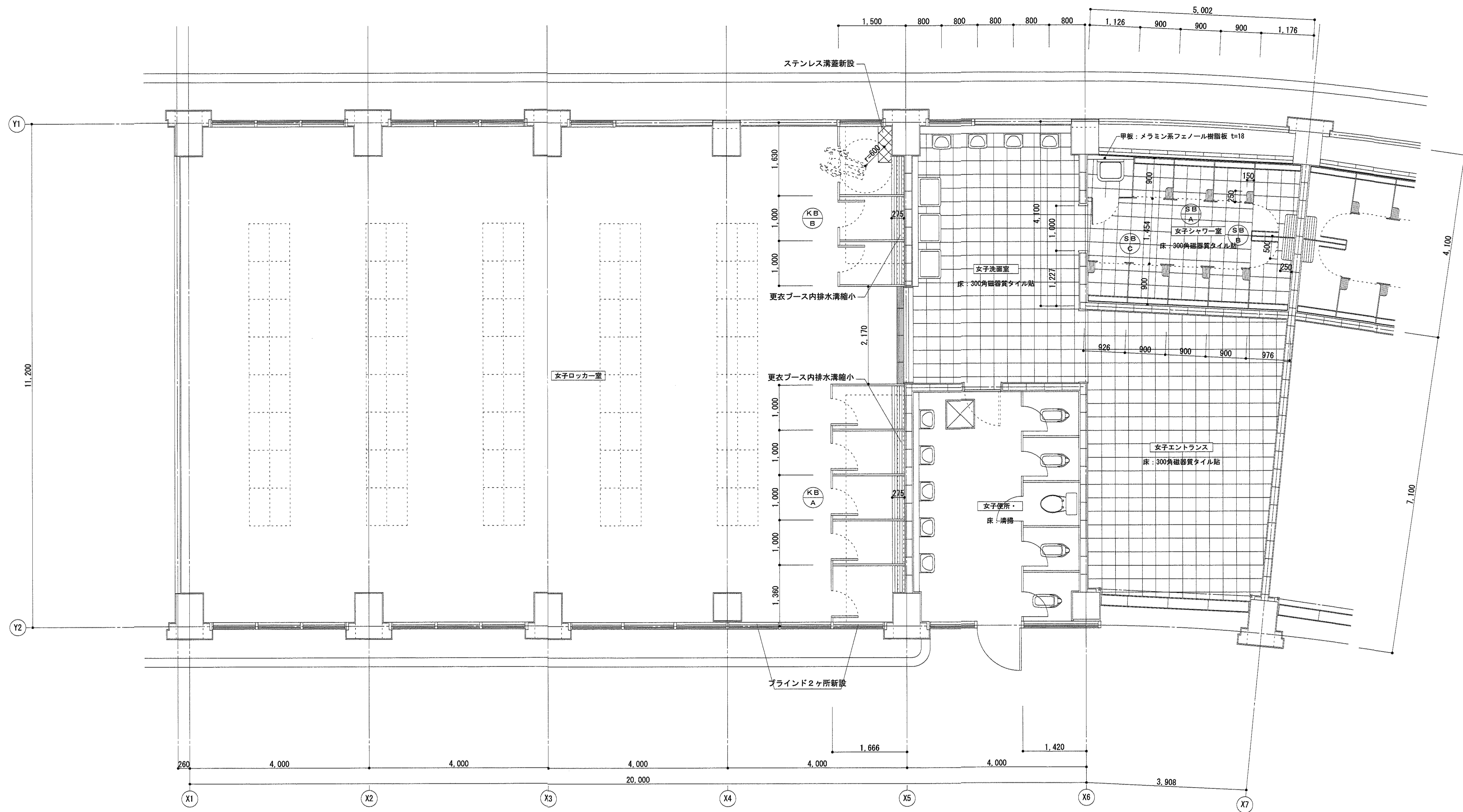
【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。



男子ロッカー室	
床	モルタル床仕上げ、 クッションフロア(タタミ)敷床 t=4.0
巾木	ビニールシート巾木 t=100 (床裏・裏面)
壁	珪藻土ボード張り t=8.0以上 巾木
壁	モルタル塗布、E.P.塗膜 ※G.目隠り、処分(図示の範囲)※【下段を参照】
天井	フレキシブルボード t=4.0 敷目地張り E.P.塗膜 [レベル 3] (仕上材のみ露出部分撤去・処分) 張り残：埋じ壁(漏水部分撤去・処分)
備考	

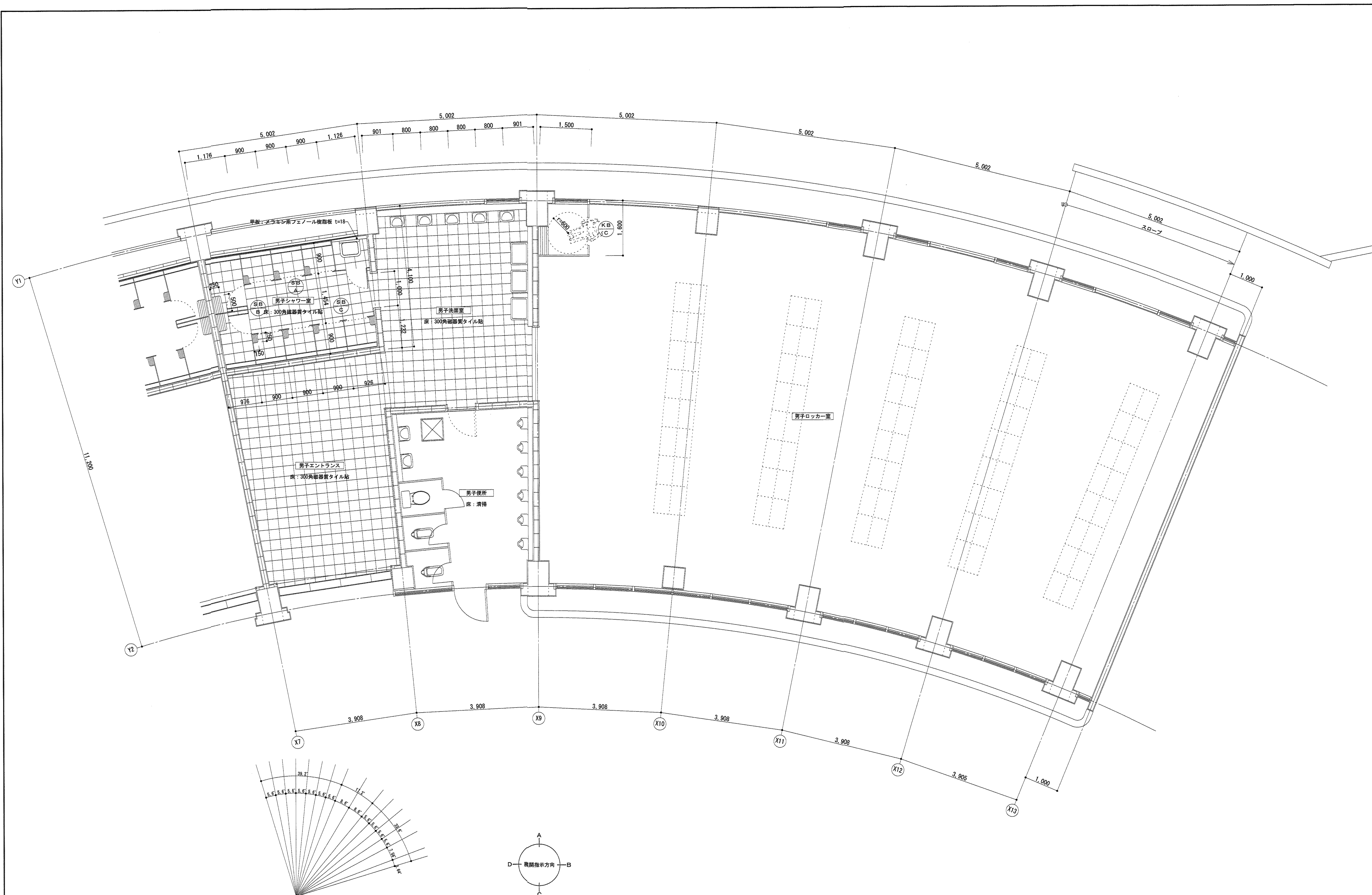
【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【ロッカー棟】



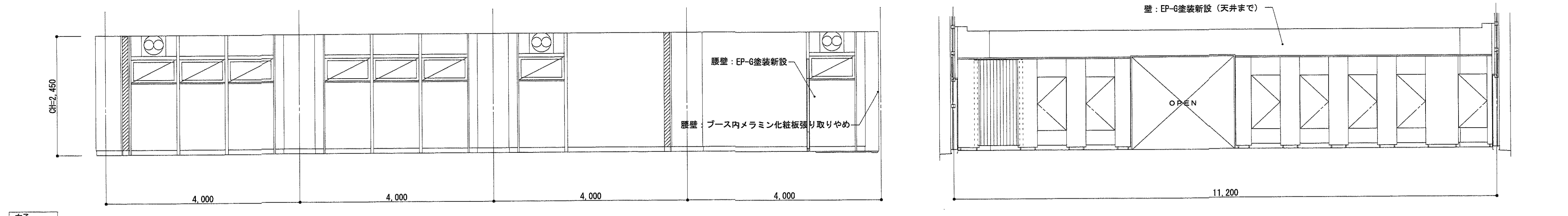
【ロッカー棟】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANA I	一級建築士事務所 TEL: 049-264-3320 (代) FAX: 049-264-3732 E-mail: yanaisekkei@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA / 159
				変更年月日					

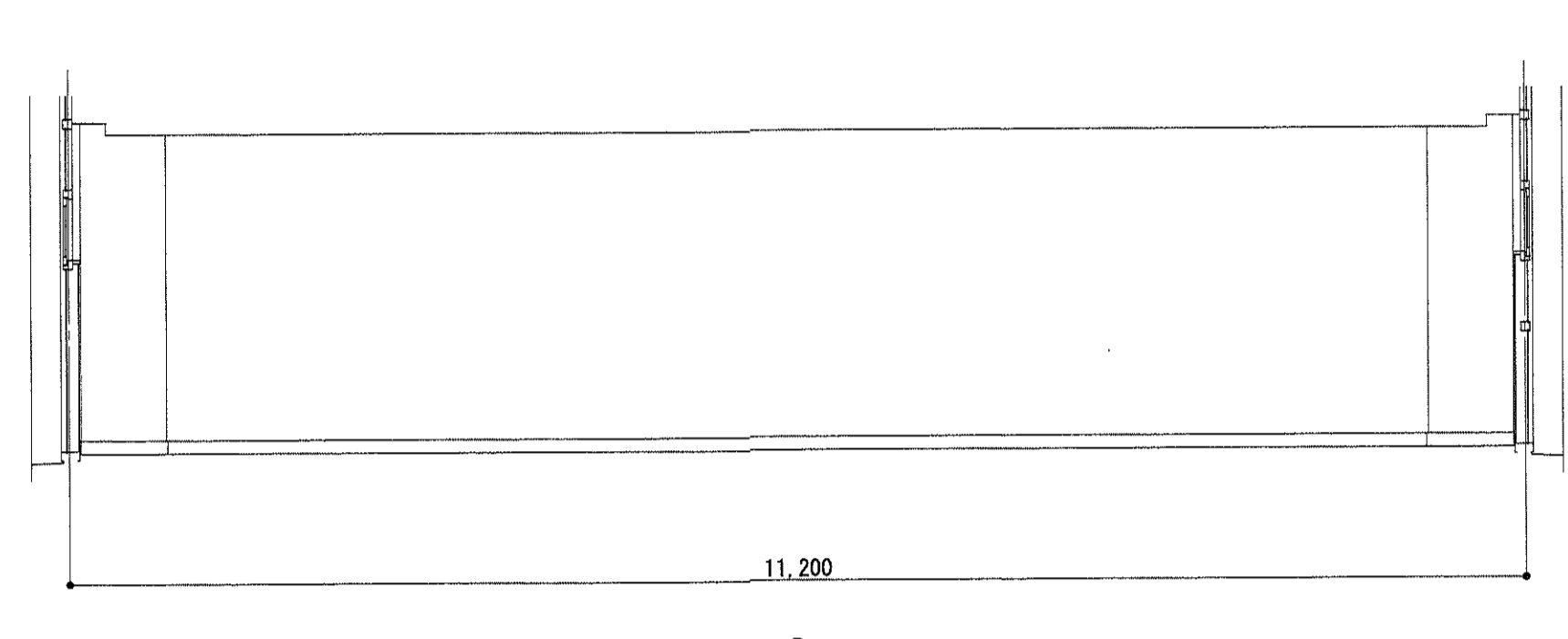
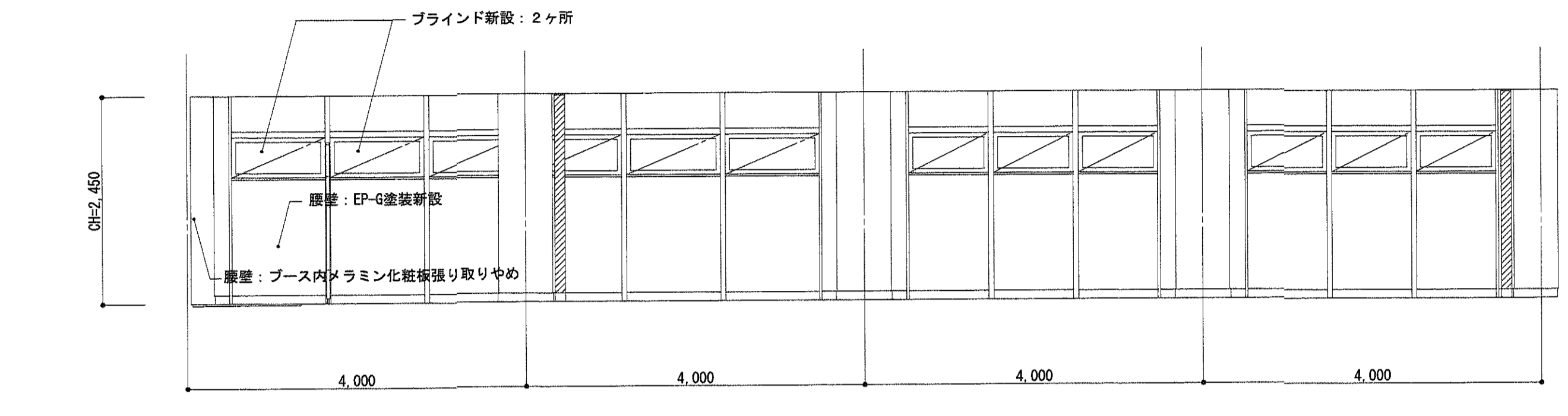
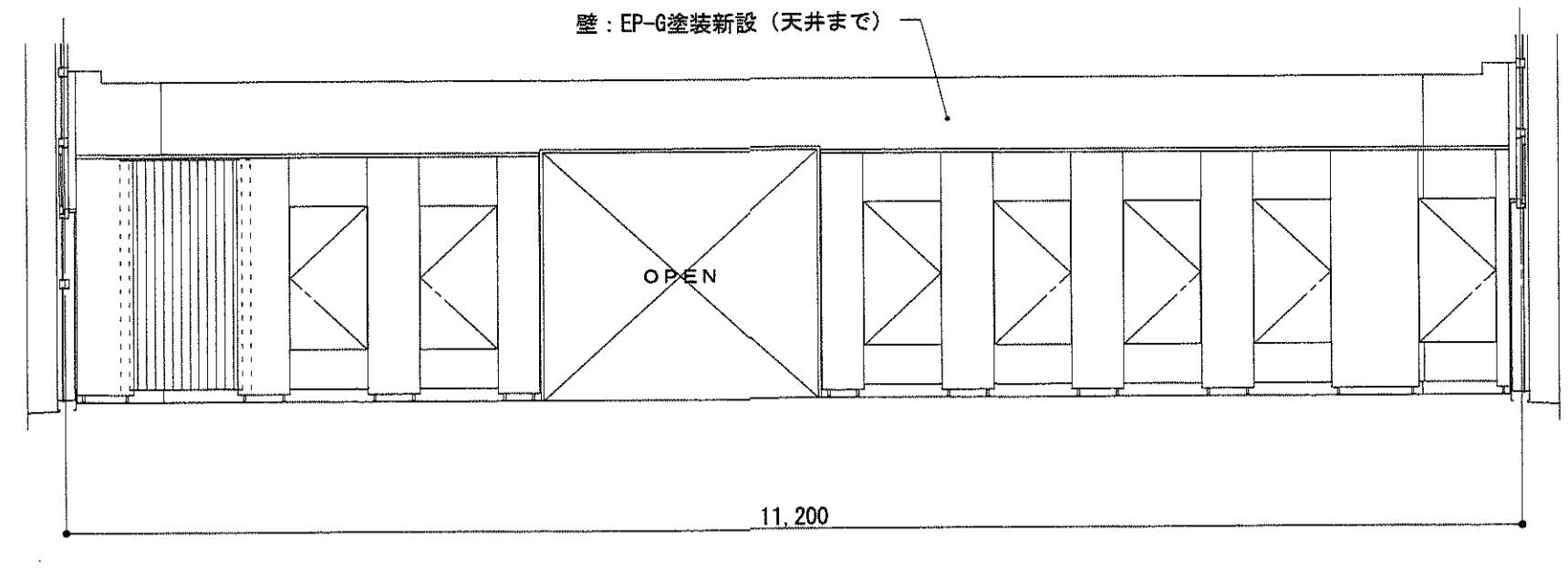


【ロッカー棟】

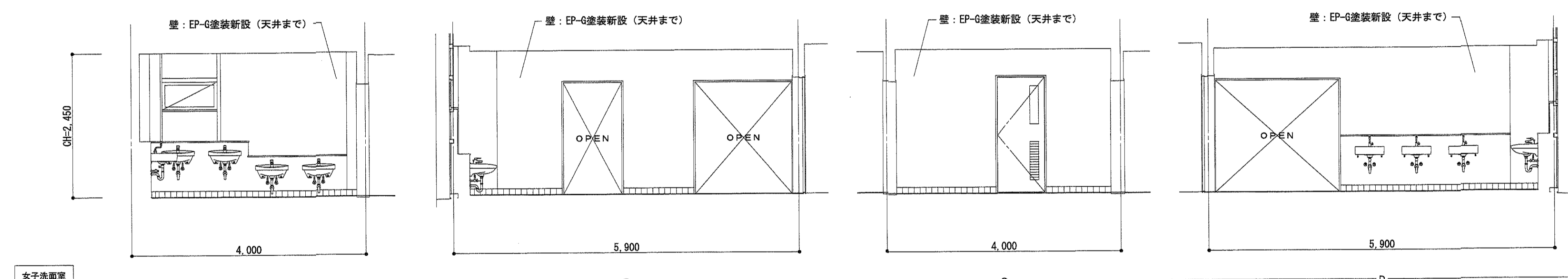
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yaniseikei@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図	NOTE 柳井	課長 副課長 主任 担当	富士見市総務部営繕課	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
				変更年月日	図面名 改修平面詳細図-2・キープラン				S-1:50 (A-1) S-1:100 (A-3)	160



女子ロッカー室

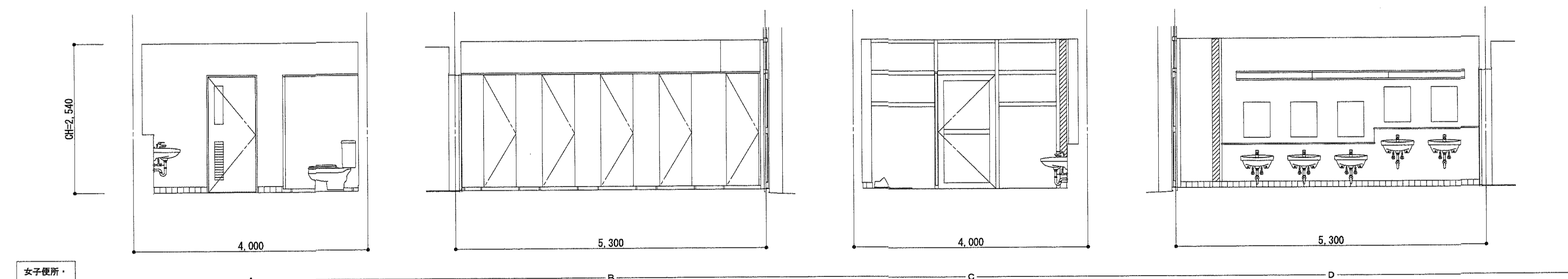


女子ロッカー室	
床	既存仕上床、下地調整の上、エポキシ系ノンスリップ塗床 t=3.0
巾木	床材張り上げ H=100
壁	既存下地調整の上、EP-G塗装(天井まで)の上、メラミン系フェノール樹脂化粧板 t=6.0
壁	既存下地調整の上、EP-G塗装(天井まで)の上、メラミン系フェノール樹脂化粧板 t=6.0
天井	既存下地調整の上、珪藻土ボード張り t=5.0
備考	ブラインド2ヶ所新設 更衣ブース内排水設備 更衣ブースステンレス清潔新設



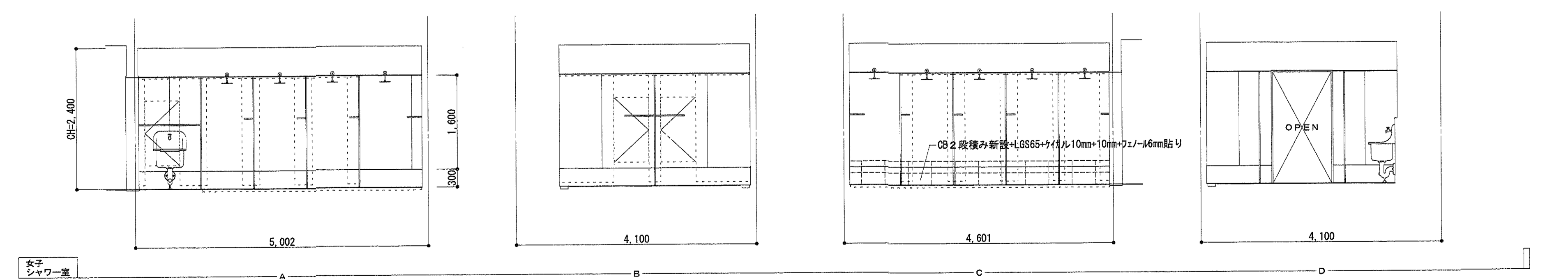
女子洗面室

女子洗面室	
床	床下地調整モルタルの上、300角タイル貼【すべり値(C.S.R.):0.55以上】
巾木	半幅幅板タイル貼 t=90角 H=100
壁	既存下地調整の上、EP-G塗装
天井	既存下地調整の上、珪藻土ボード張り t=5.0
備考	既存下地調整の上、珪藻土ボード張り t=5.0



女子便所

女子便所	
床	清掃
巾木	半幅幅板タイル貼 t=90角 H=100
壁	珪藻土ボード t=10(二重張り)の上、メラミン系フェノール樹脂化粧板 t=6.0
壁	珪藻土ボード t=10(二重張り)の上、メラミン系フェノール樹脂化粧板 t=6.0
天井	既存下地調整の上、珪藻土ボード張り t=5.0
備考	既存下地調整の上、珪藻土ボード張り t=5.0

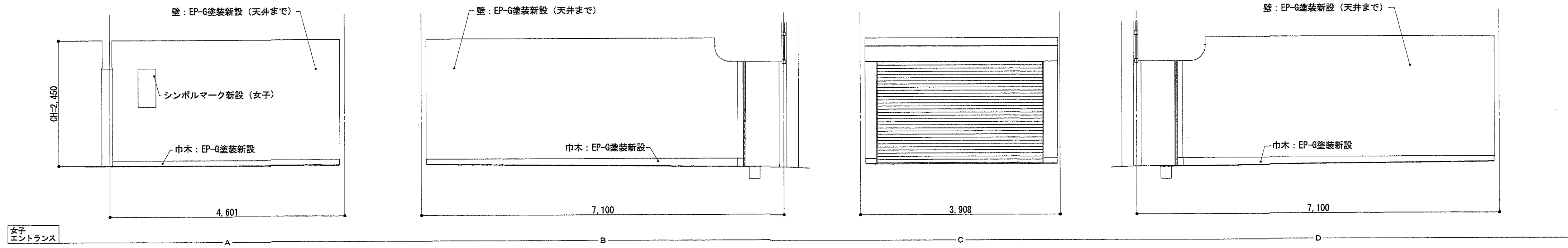


女子シャワー室

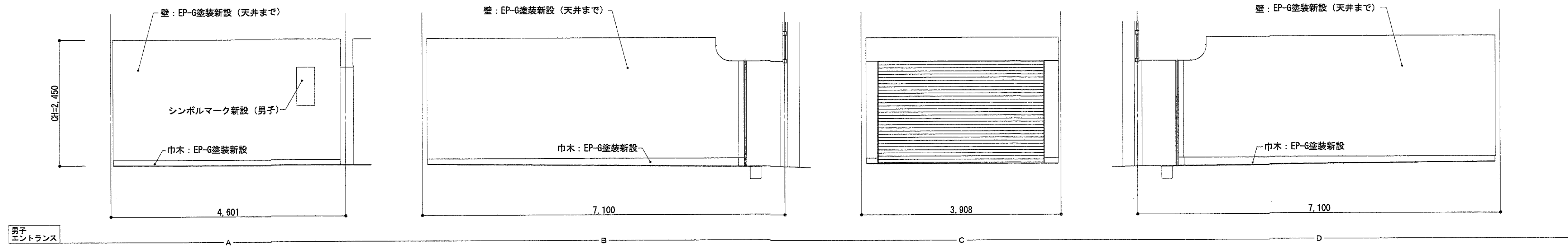
女子シャワー室	
床	床下地調整モルタルの上、300角タイル貼【すべり値(C.S.R.):0.55以上】
巾木	ステンレス巾木 t=1.0 H=300
壁	珪藻土ボード t=10(二重張り)の上、メラミン系フェノール樹脂化粧板 t=6.0
壁	珪藻土ボード t=10(二重張り)の上、メラミン系フェノール樹脂化粧板 t=6.0
天井	既存下地調整の上、アルミスバンドレール張り t=1.0
備考	CS2段積み新設

【凡例】
 今回工事対象範囲を示す。

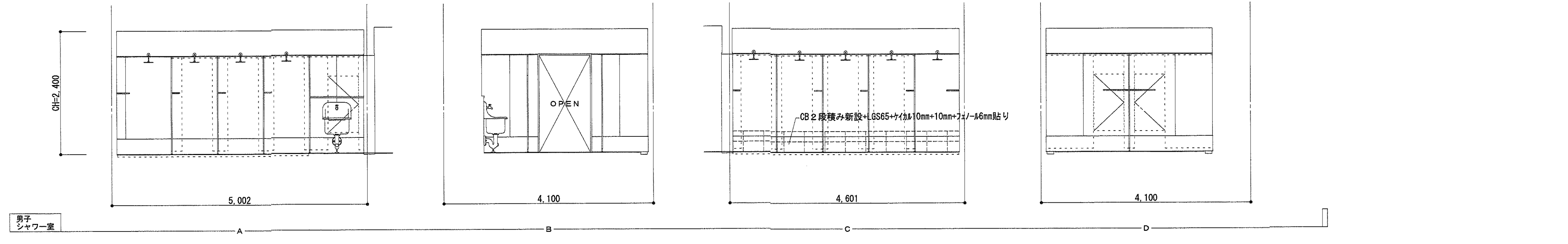
【ロッカー棟】



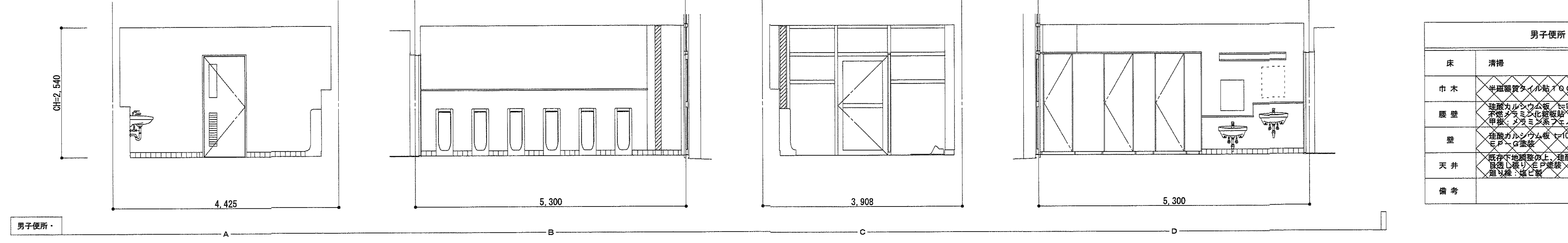
女子エントランス	
床	床下調整モルタルの上、300角タイル貼 【すべり値(C.S.R.): 0.55以上】
巾木	EP-G塗装新設
腰壁	
壁	既存下地調整の上、EP-G塗装新設
天井	既存下地調整の上、アルミハンドレール張り t=0 遮り線、マルス板
備考	シンボルマーク (女子) 新設



男子エントランス	
床	床下調整モルタルの上、300角タイル貼 【すべり値(C.S.R.): 0.55以上】
巾木	EP-G塗装新設
腰壁	
壁	既存下地調整の上、EP-G塗装新設
天井	既存下地調整の上、アルミハンドレール張り t=0 遮り線、マルス板
備考	シンボルマーク (男子) 新設

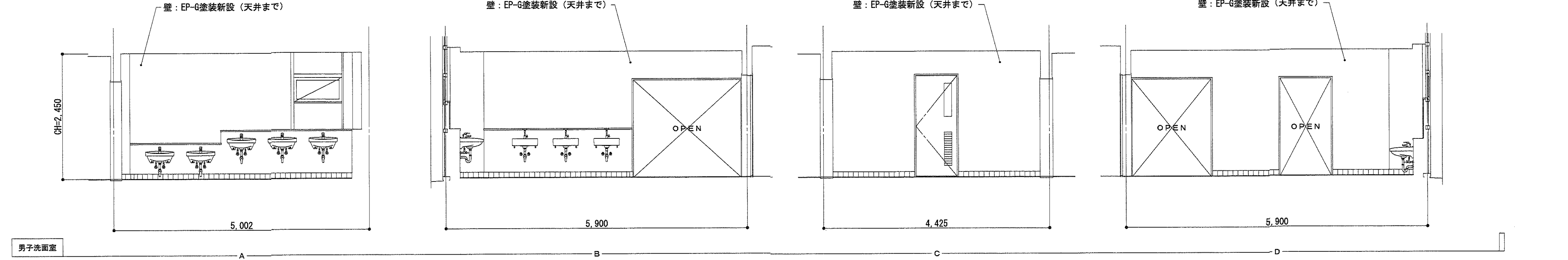


男子シャワー室	
床	床下調整モルタルの上、300角タイル貼 【すべり値(C.S.R.): 0.55以上】
巾木	ステンレス巾木 t=1.0 H=300
腰壁	珪酸カルシウム板 t=10(二重張り)の上、 メラミン系フェノール樹脂化粧板貼 t=6.0
壁	珪酸カルシウム板 t=10(二重張り)の上、 EP-G塗装
天井	既存下地調整の上、アルミハンドレール張り t=1.0 遮り線、アルミ板
備考	



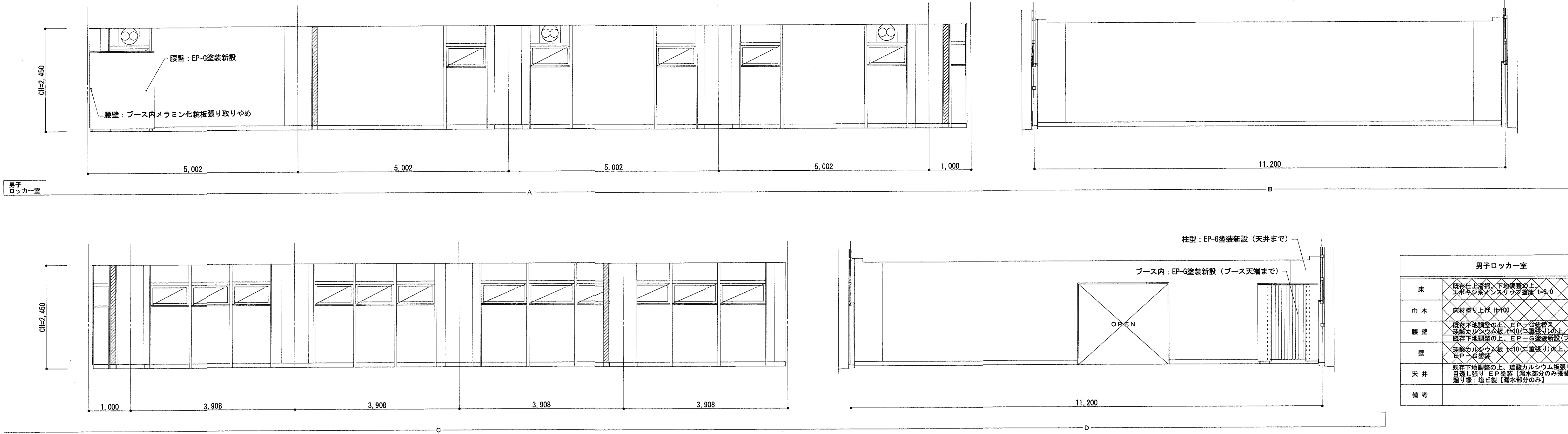
男子便所	
床	清掃
巾木	半硬質タイル貼 t=10 角、H=100
腰壁	珪酸カルシウム板 t=10(二重張り)の上、 メラミン系フェノール樹脂化粧板 t=6.0
壁	珪酸カルシウム板 t=10(二重張り)の上、 EP-G塗装
天井	既存下地調整の上、珪酸カルシウム板張り t=0 遮り線、アルミ板
備考	

男子洗面室	
床	床下調整モルタルの上、300角タイル貼 【すべり値(C.S.R.): 0.55以上】
巾木	半硬質タイル貼 t=10 角、H=100
腰壁	
壁	既存下地調整の上、EP-G塗装新設
天井	既存下地調整の上、珪酸カルシウム板張り t=0 遮り線、アルミ板
備考	



【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

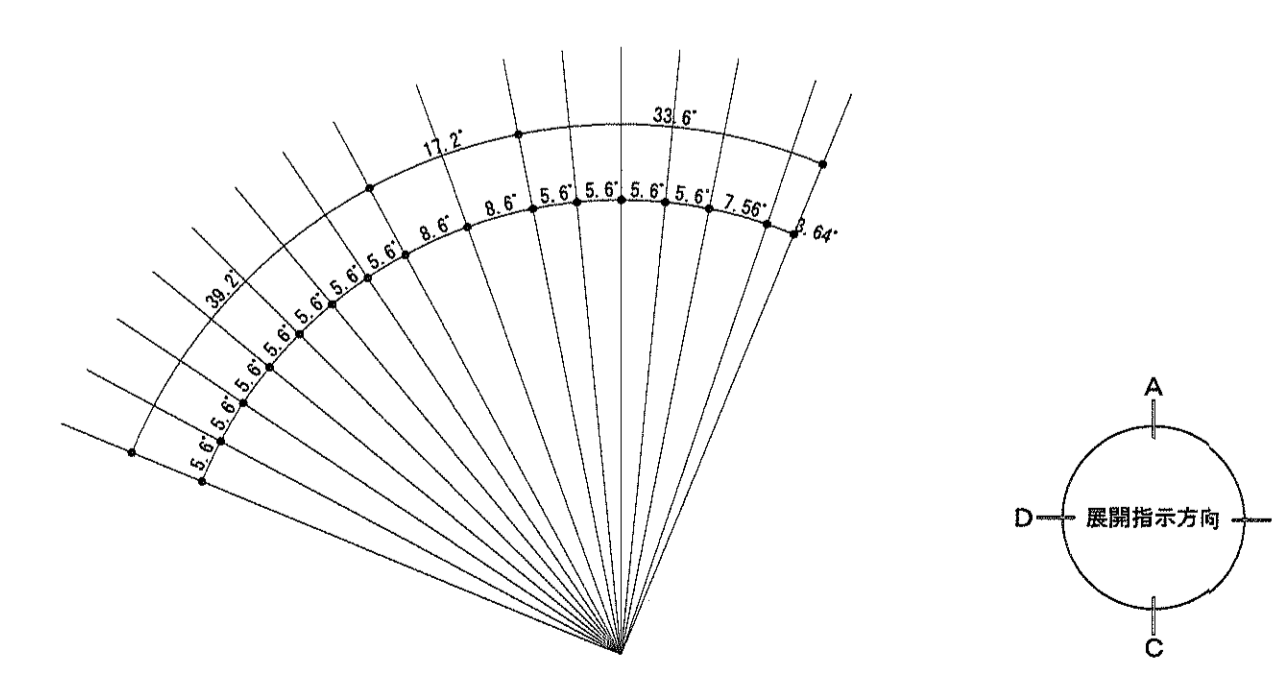
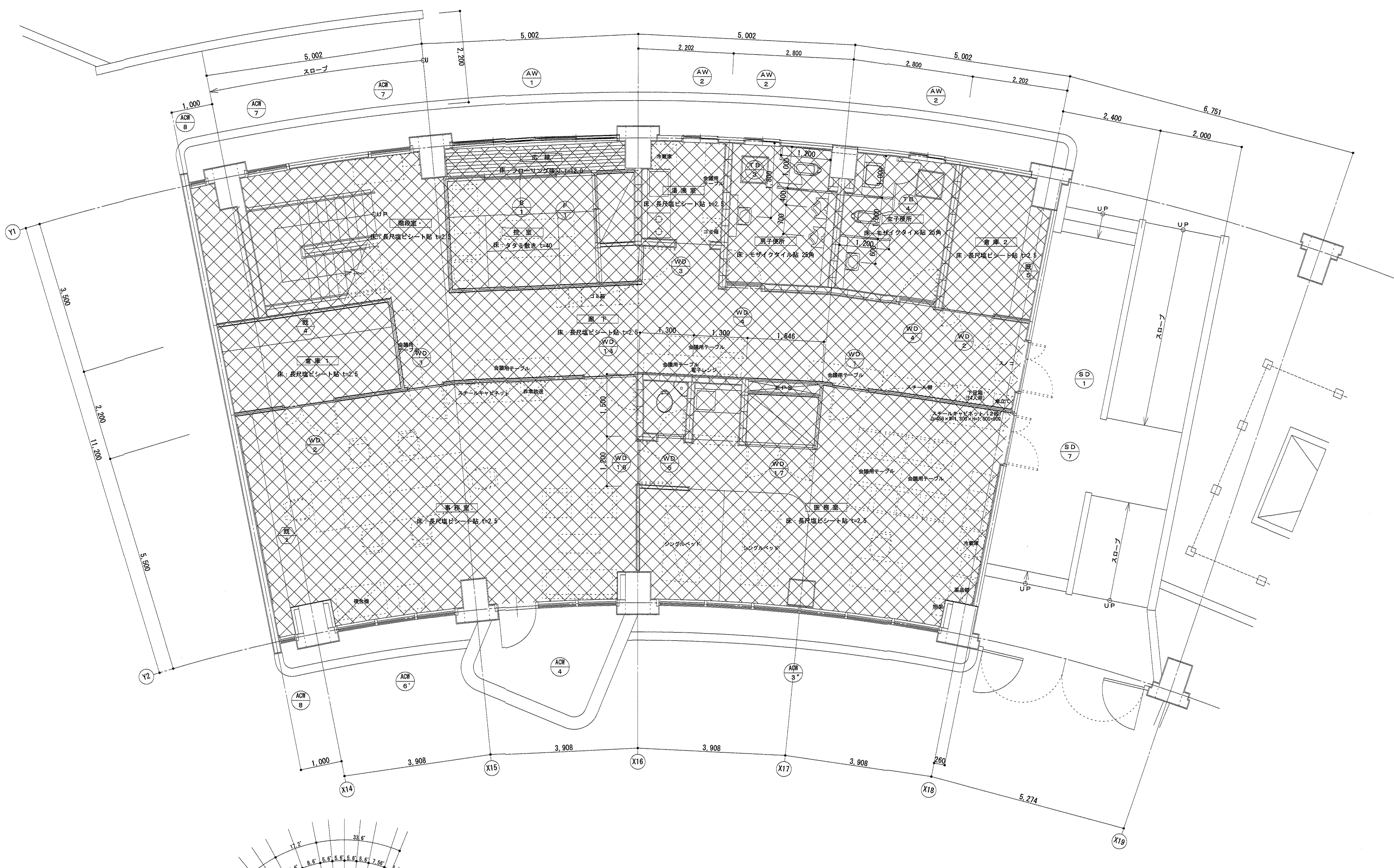
【ロッカー棟】



男子ロッカー室	
床	既存仕上清掃、下地調整の上、 エポキシ系樹脂フローリング塗装 t=3.0
巾木	床材張り上げ H=100
腰壁	既存下地調整の上、EP-G塗装替え 珪藻カレンシウム板 t=10(重量増)の上、 既存下地調整の上、EP-G塗装新設(ブース内)
壁	珪藻カレンシウム板 t=10(重量増)の上、 EP-G塗装
天井	既存下地調整の上、珪藻カレンシウム板張り t=5.0 目隠し塗り EP塗装【排水部分のみ塗装替え】 廻り縁：塩ビ製【排水部分のみ】
備考	

【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

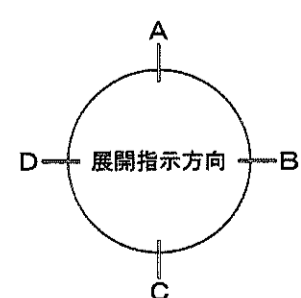
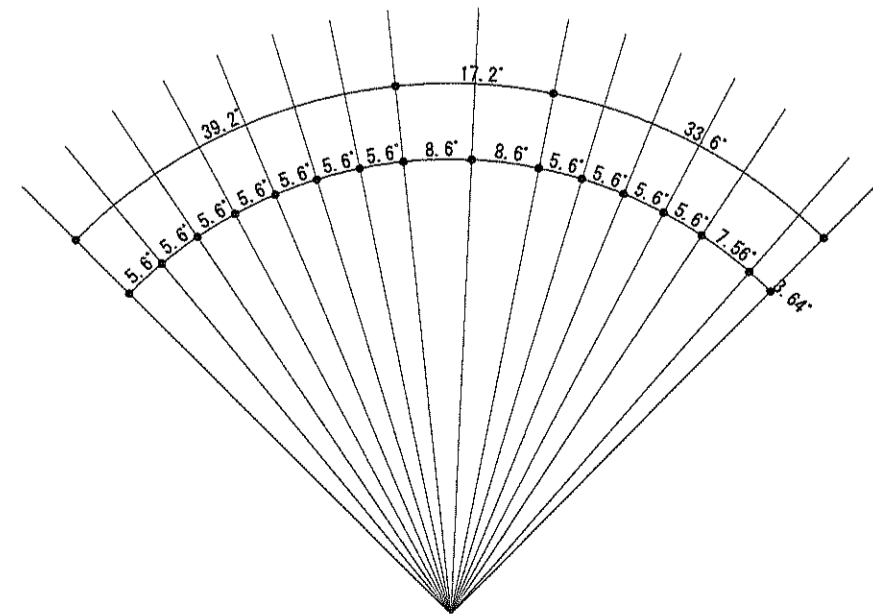
【ロッカー棟】



【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【管理棟】

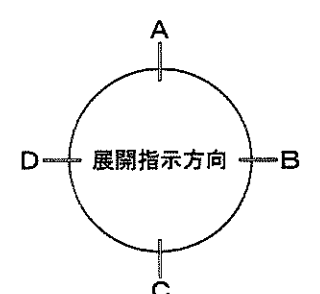
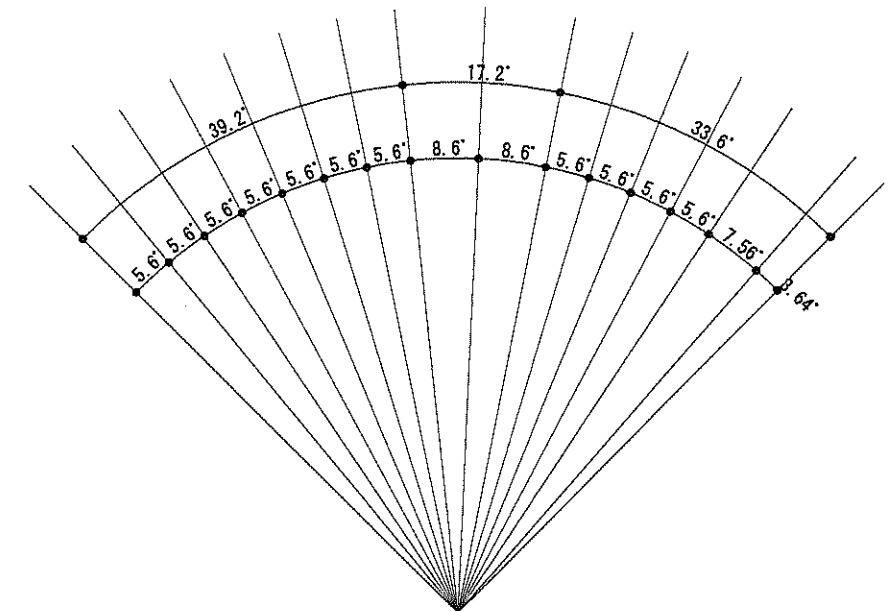
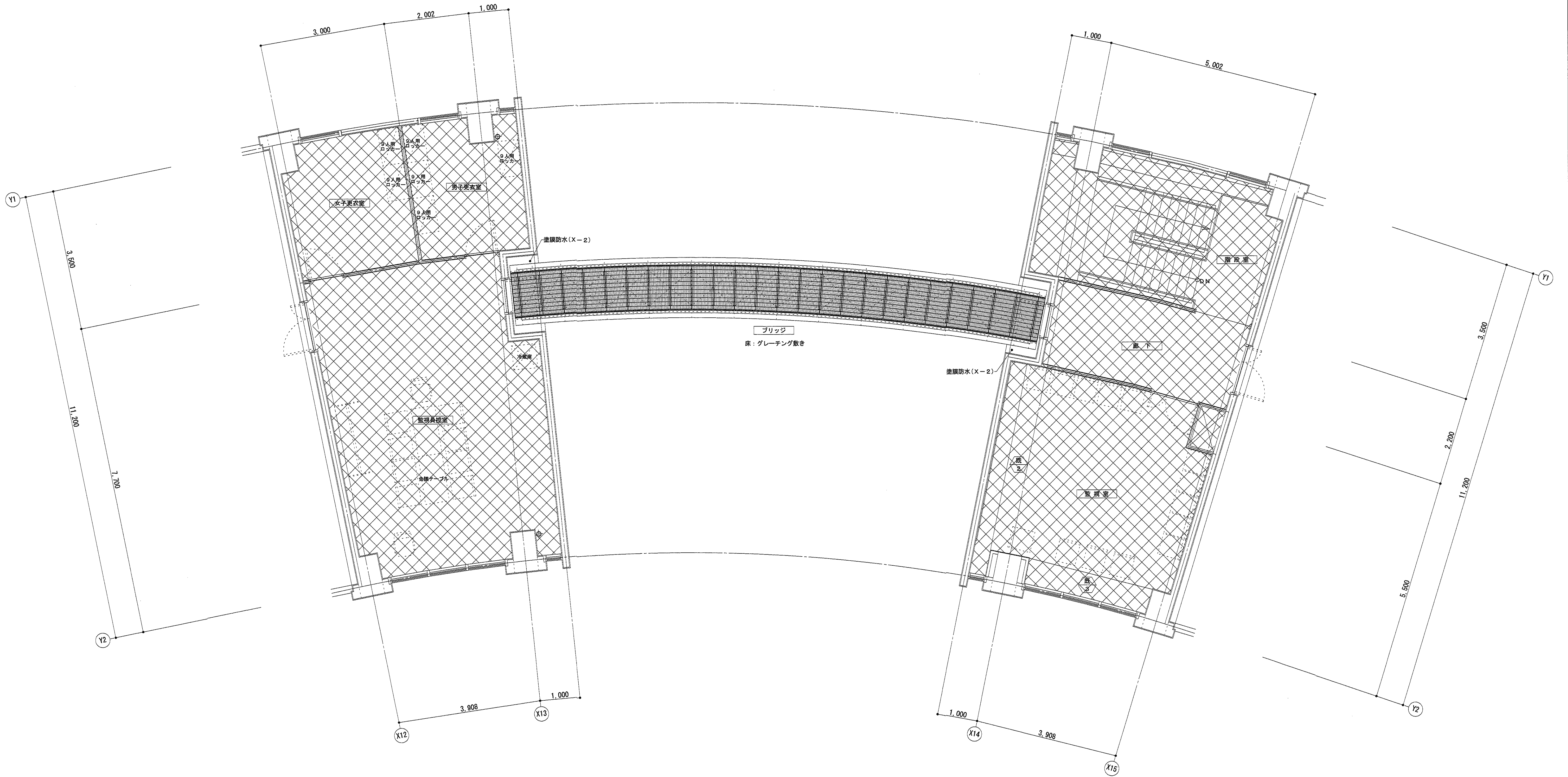
整理番号 R 5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 K A / 164
				変更年月日													



【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【管理棟】

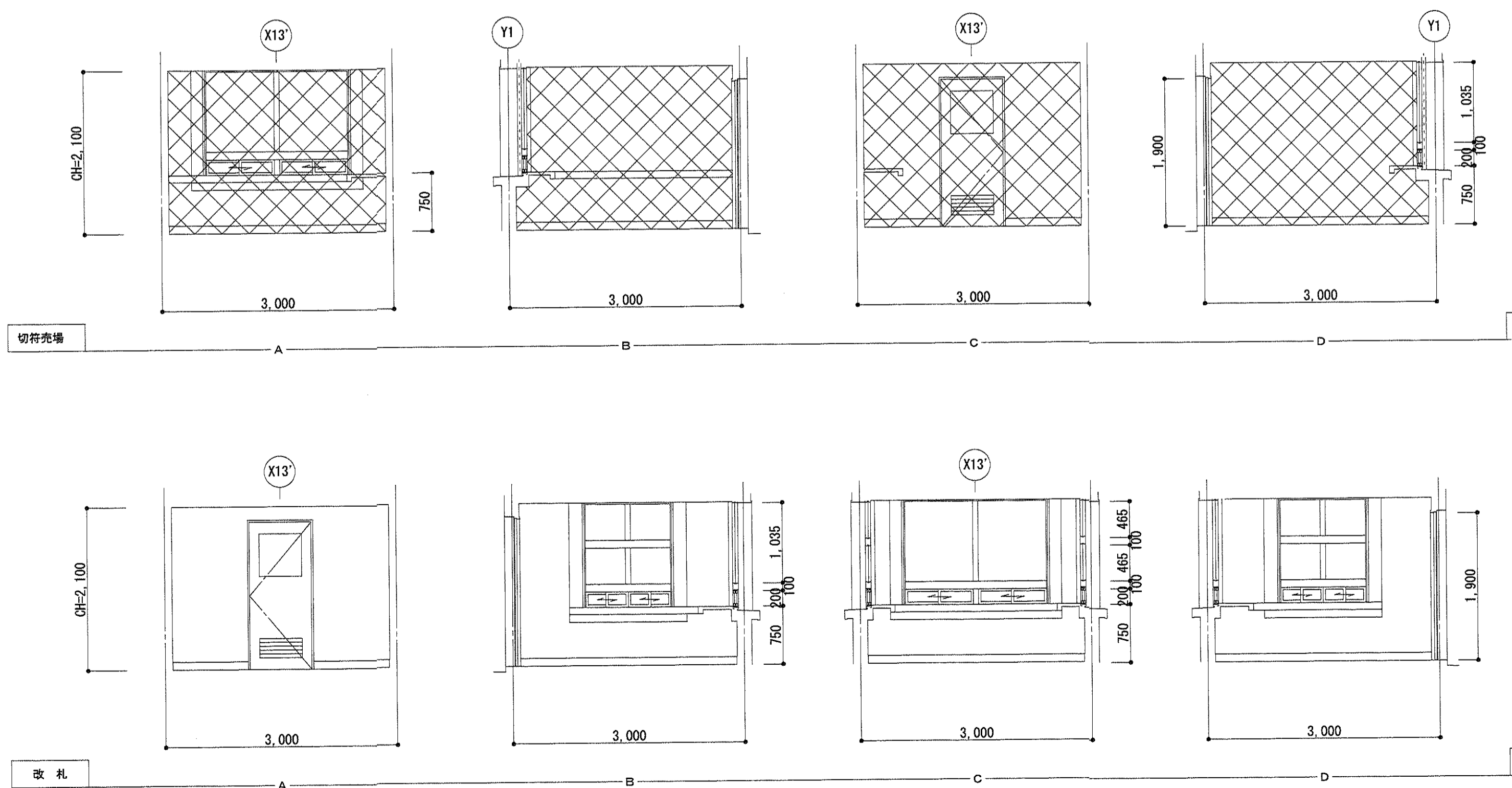
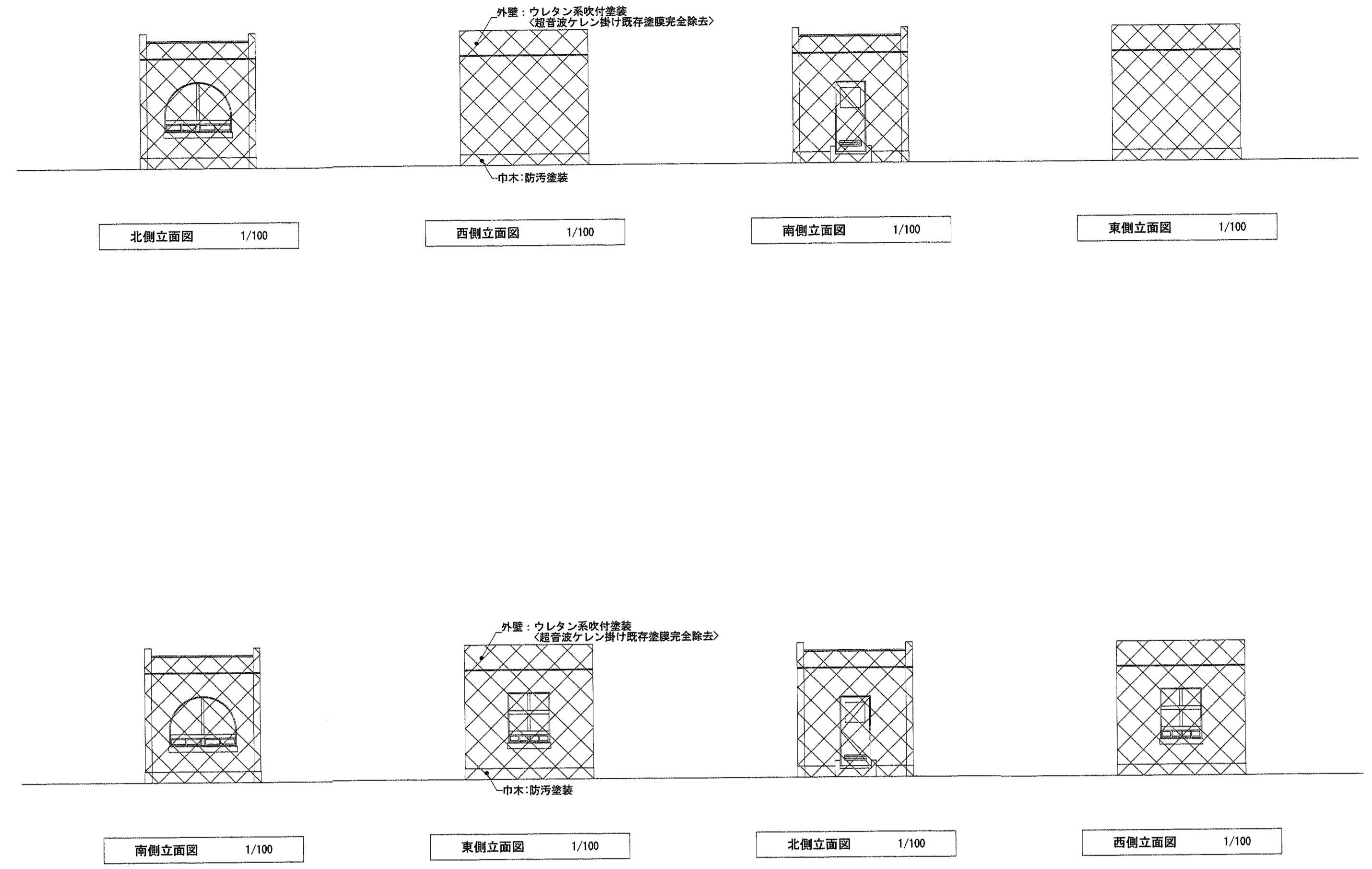
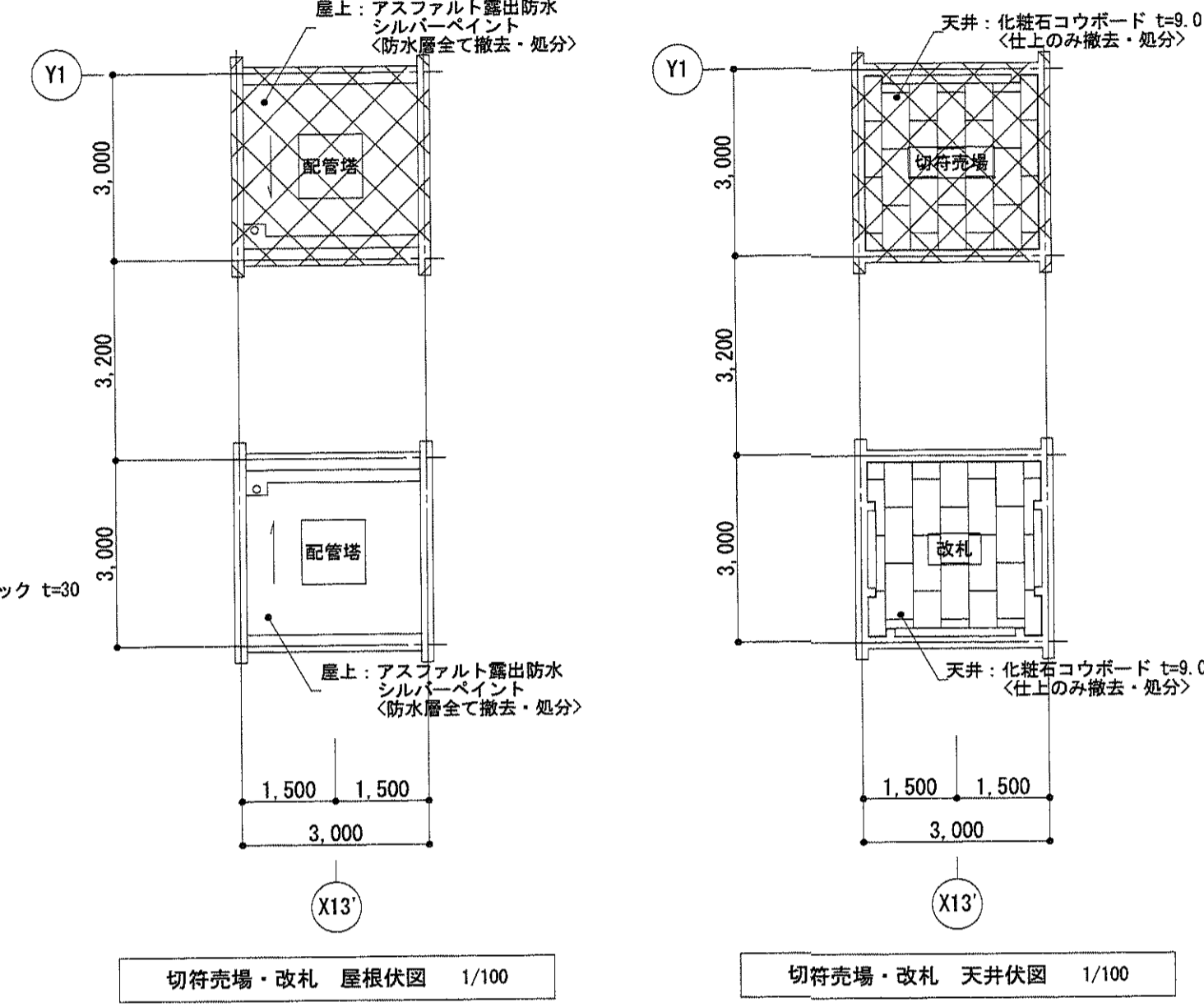
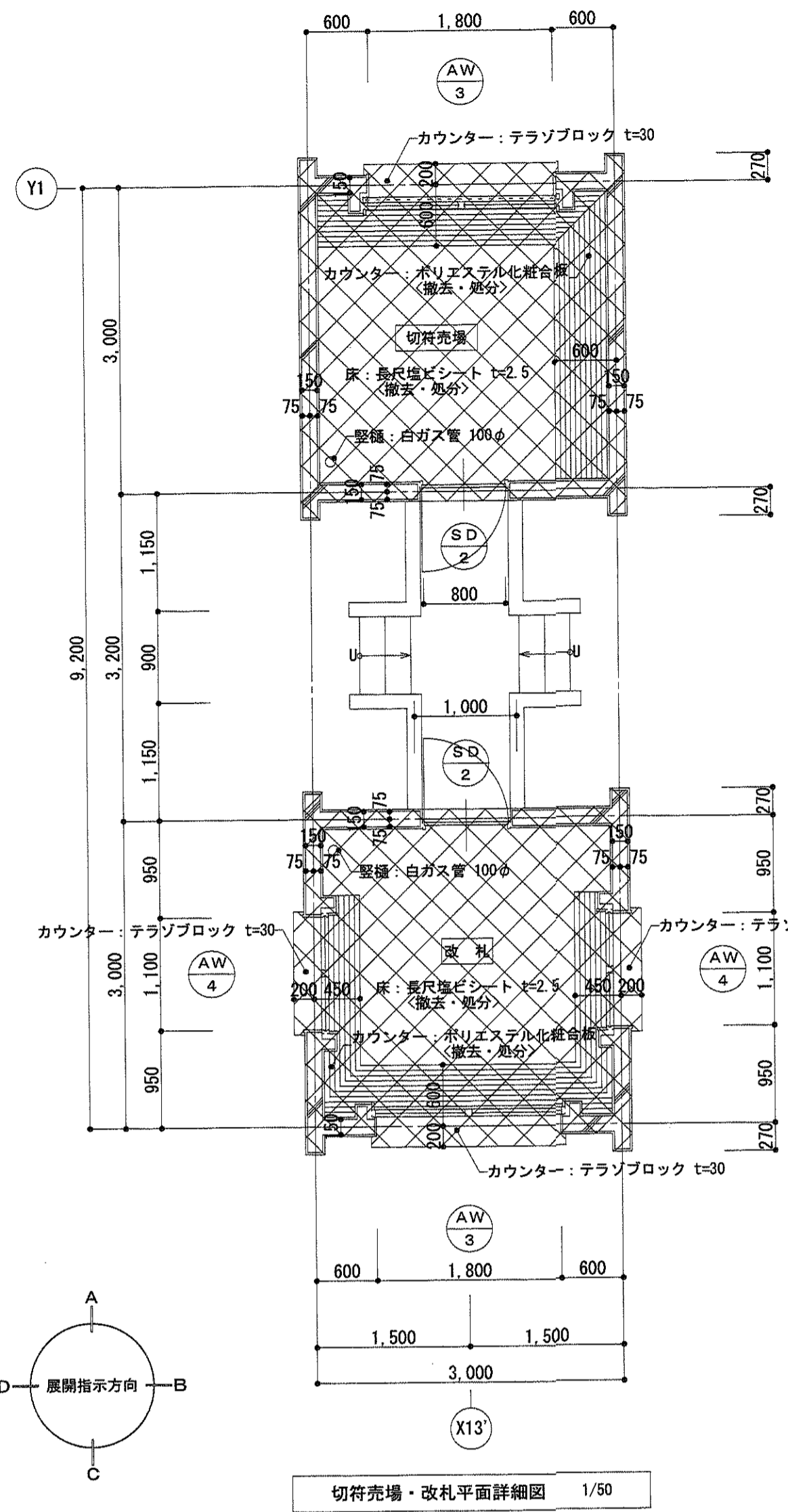
整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-284-8320 (代) FAX 049-284-8792 E-mail yanai@office.yanai.co.jp	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE 柳井	課長 副課長 主任 担当	富士見市総務部常務課	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事		図面番号 KA / 165
				変更年月日	図面名	既存平面詳細図-2・キープラン		S-1:50 (A-1)				S-1:100 (A-3)			



【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【管理棟】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisakai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE 柳井	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA / 166
				変更年月日													

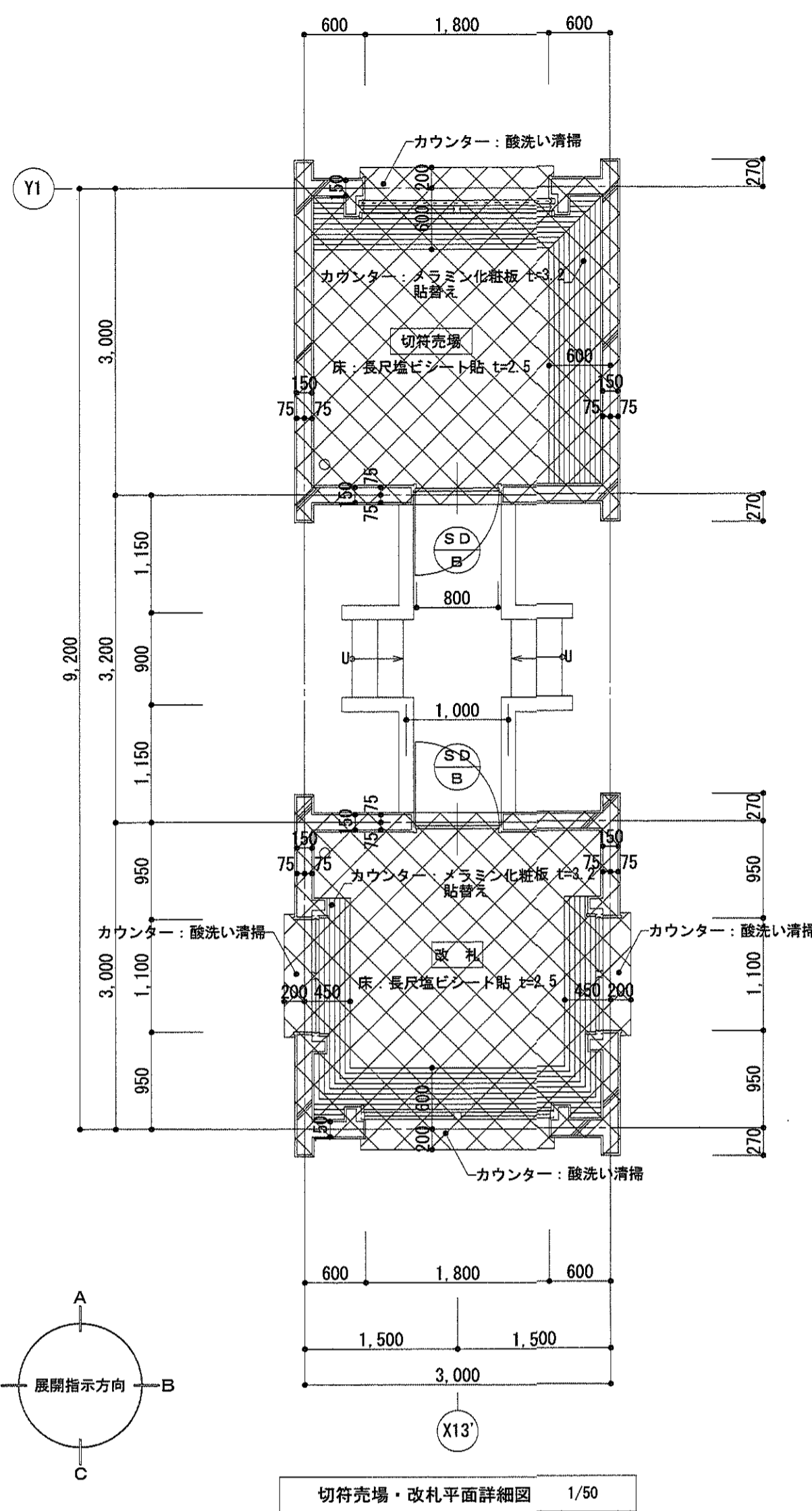


切符売場	
床	モルタル不地敷上、長尺塩ビシート貼 t=2.5 〔撤去・処分〕
巾木	ビニールシート巾木 H=100 〔撤去・処分〕
腰壁	
壁	モルタル金コ子据えの上、V.F塗装
天井	化粧石膏ボード張り t=9.0〔仕上のみ撤去・処分〕 廻り縁：塩ビ製〔撤去・処分〕
備考	外部カウンター：テラゾブロック t=30 内部カウンター：ポリエスチル化粧合板貼 〔撤去・処分〕

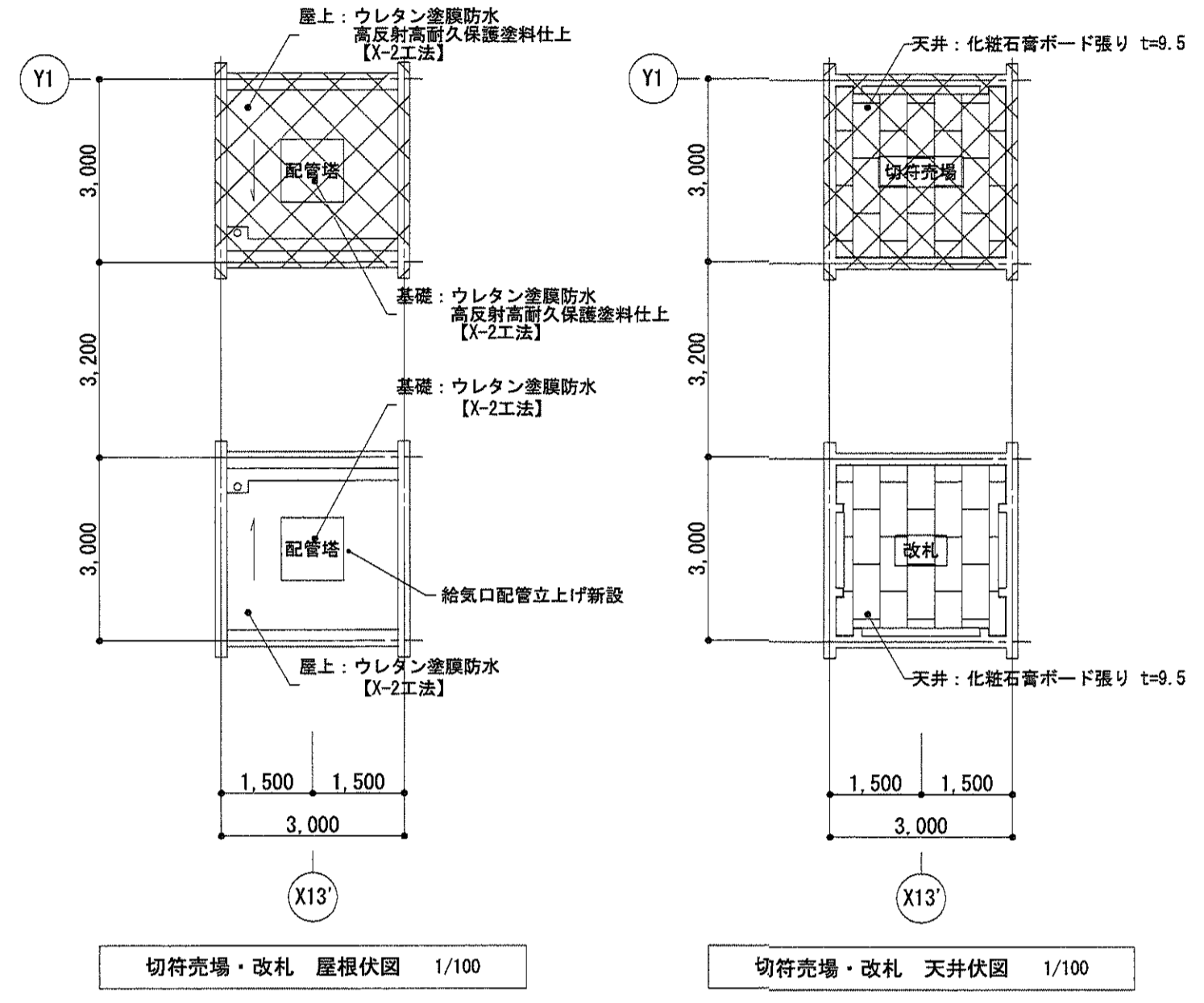
改札	
床	モルタル不地敷上、長尺塩ビシート貼 t=2.5 〔撤去・処分〕
巾木	ビニールシート巾木 H=100 〔撤去・処分〕
腰壁	
壁	モルタル金コ子据えの上、V.F塗装
天井	化粧石膏ボード張り t=9.0〔仕上のみ撤去・処分〕 廻り縁：塩ビ製〔撤去・処分〕
備考	外部カウンター：テラゾブロック t=30 内部カウンター：ポリエスチル化粧合板貼 〔撤去・処分〕

【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

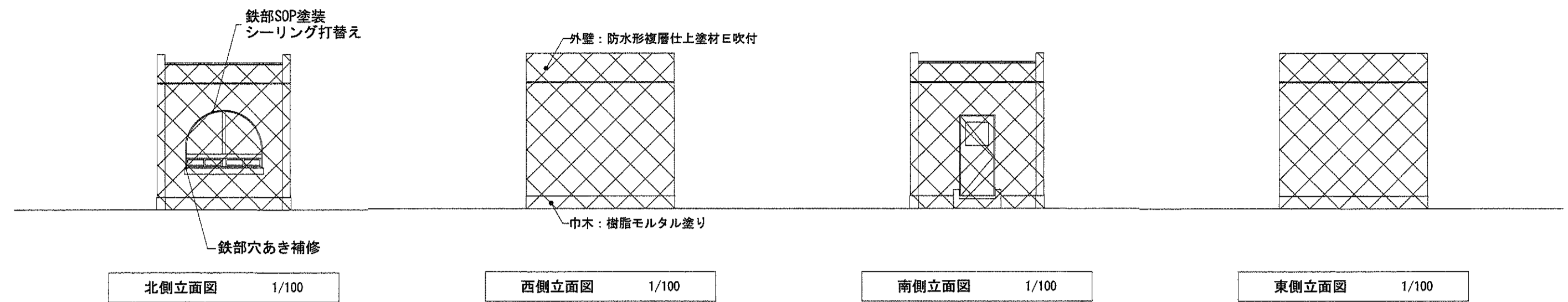
【管理棟・切符売場・改札】



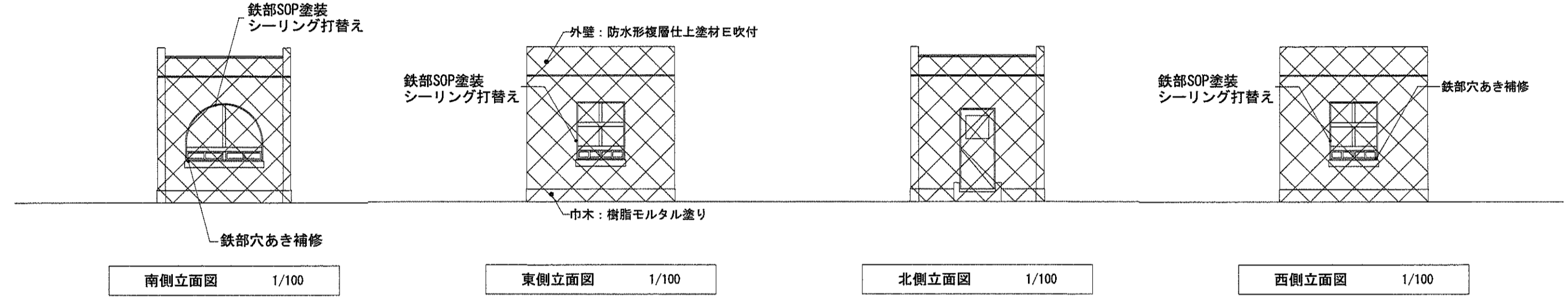
切符売場・改札平面詳細図 1/90



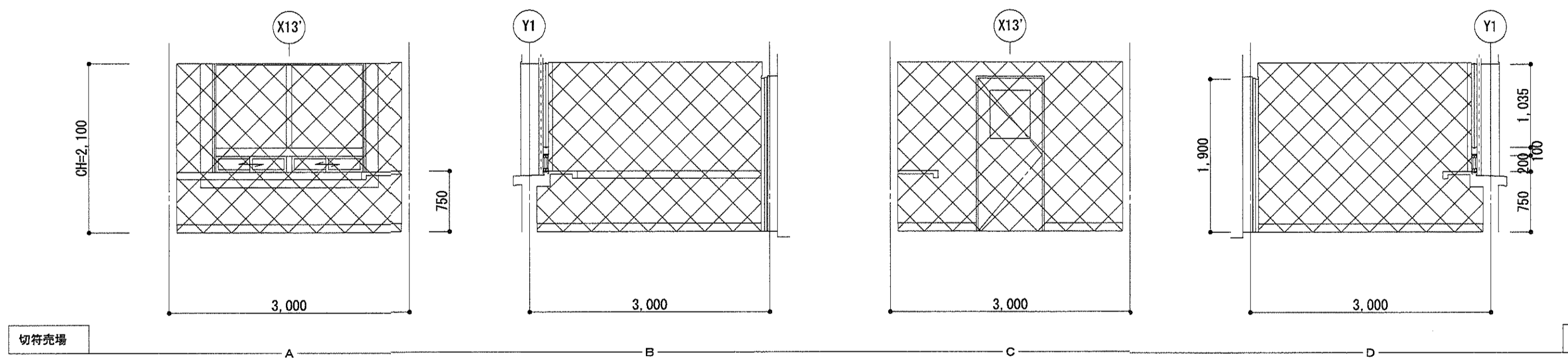
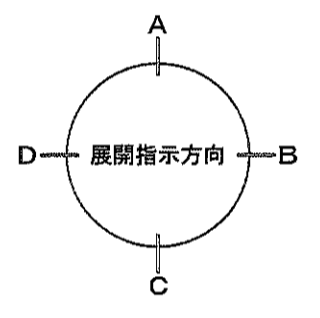
切符売場・改札 屋根伏図 1/100
切符売場・改札 天井伏図 1/100



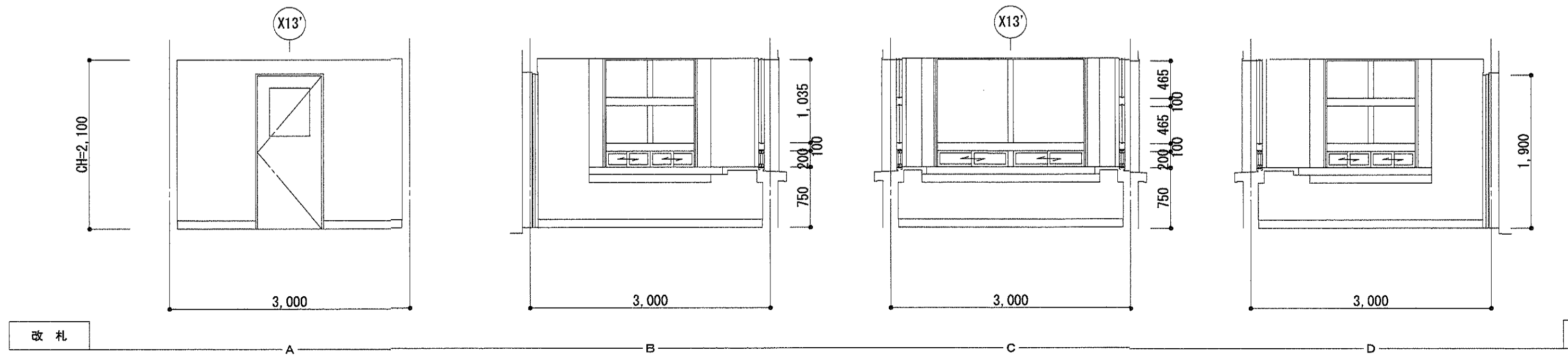
北側立面図 1/100
西側立面図 1/100
南側立面図 1/100
東側立面図 1/100



南側立面図 1/100
東側立面図 1/100
北側立面図 1/100
西側立面図 1/100



切符売場



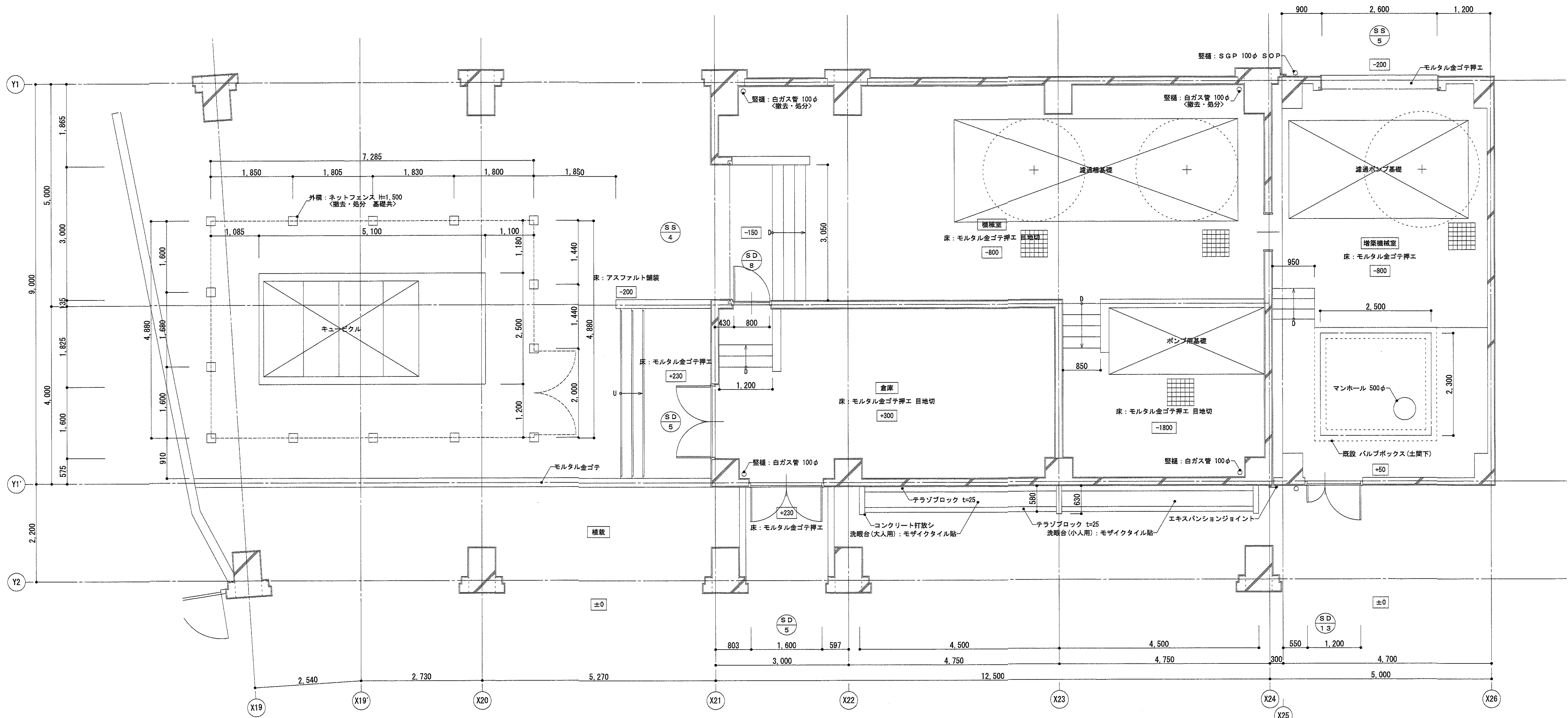
改札

切符売場	
床	下地鋼鉄の上、長尺塩ビシート貼付 t=2.5
巾木	ソフト巾木 t=100
壁	既存仕上下地処理の上、E.P.G.塗装
天井	既存下地鋼鉄の上、化粧石膏ボード張り t=9.5 張り縁：塩ビ製
備考	鉄部SOP塗装・シーリング打替え 配管壁給気口配管立上げ

改札	
床	下地鋼鉄の上、長尺塩ビシート貼付 t=2.5
巾木	ソフト巾木 t=100
壁	既存仕上下地処理の上、E.P.G.塗装
天井	既存下地鋼鉄の上、化粧石膏ボード張り t=9.5 張り縁：塩ビ製
備考	鉄部SOP塗装・シーリング打替え 鉄部穴あき補修

【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

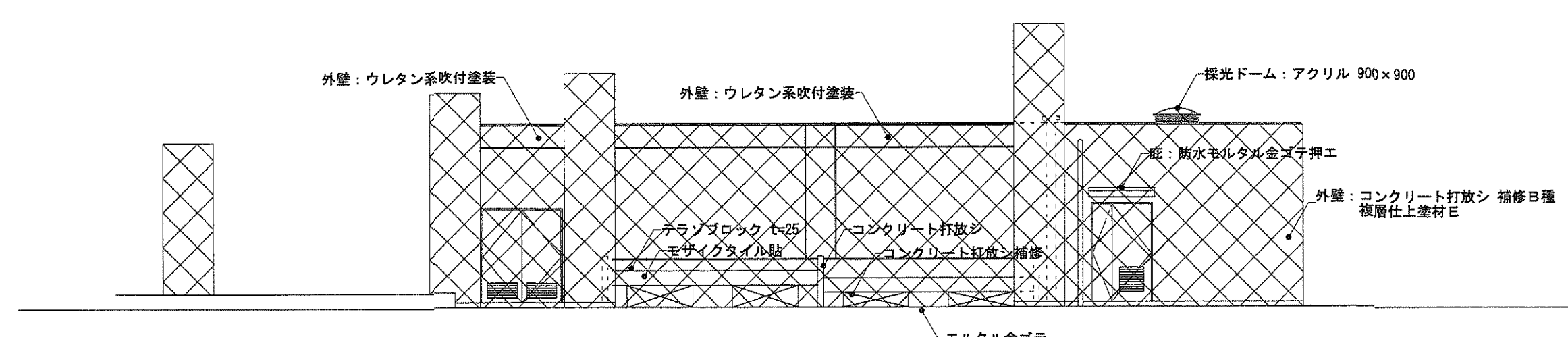
【管理棟・切符売場・改札】



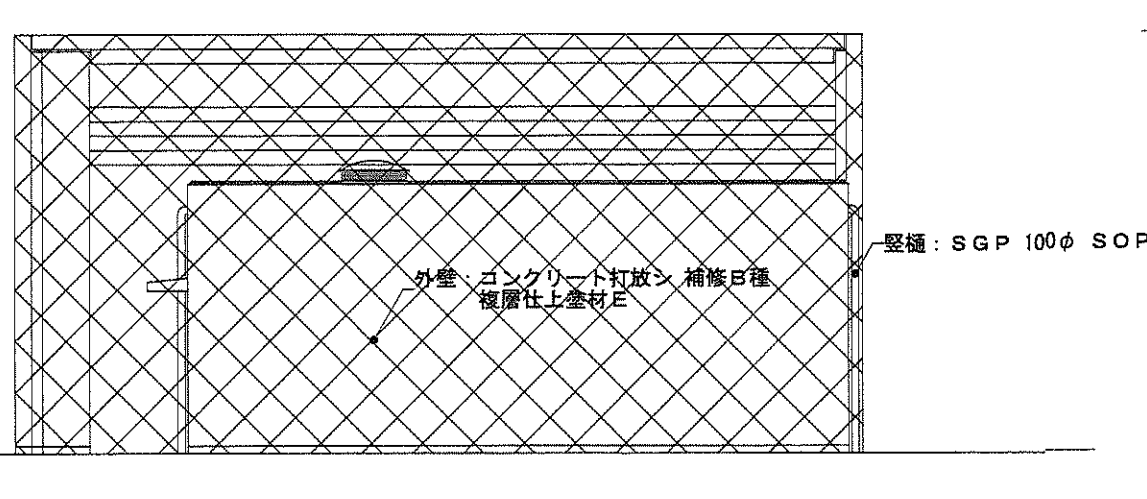
外構フェンス平面詳細図 1/50

機械室・倉庫平面詳細図 1/50

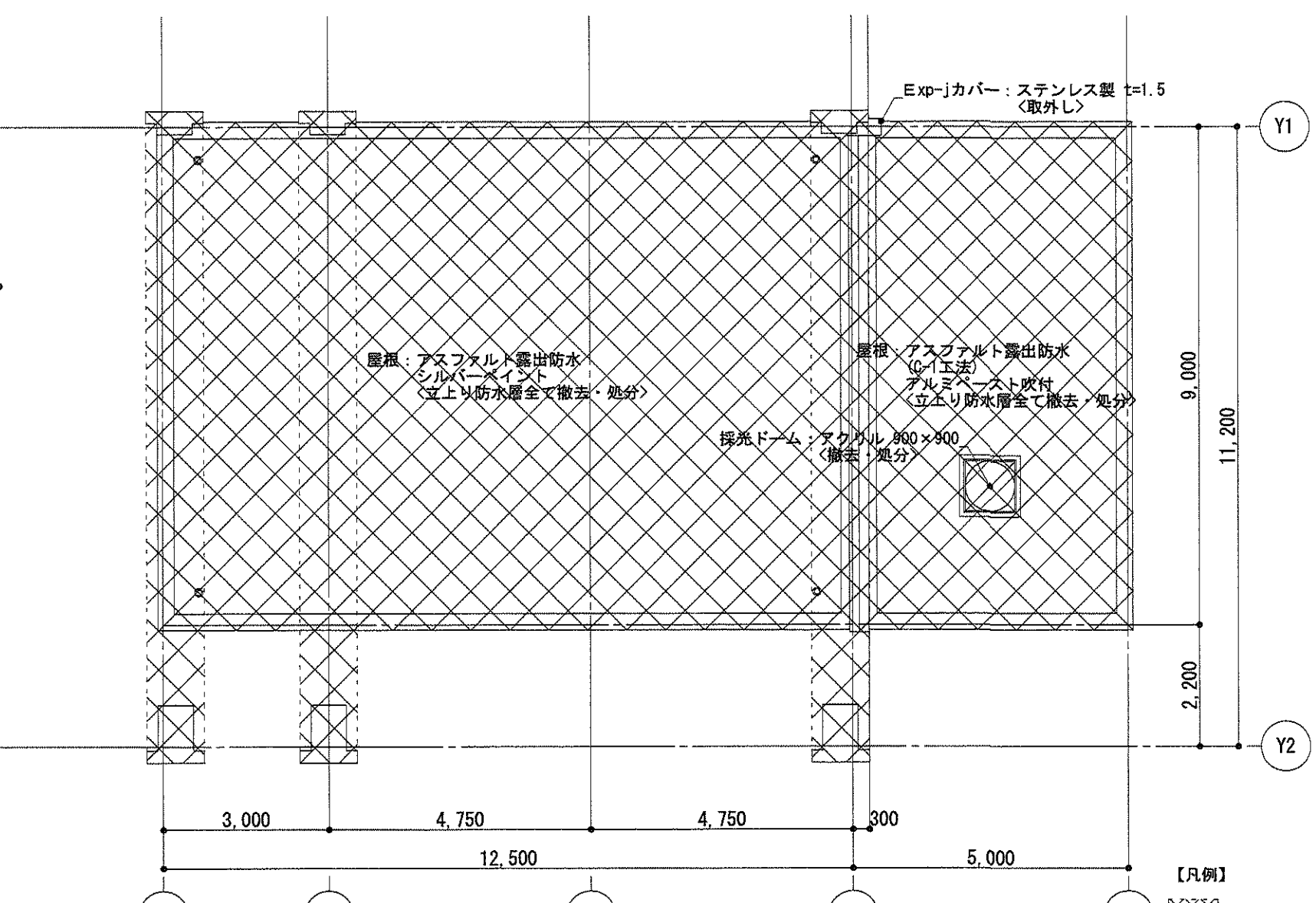
増築機械室平面詳細図 1/50



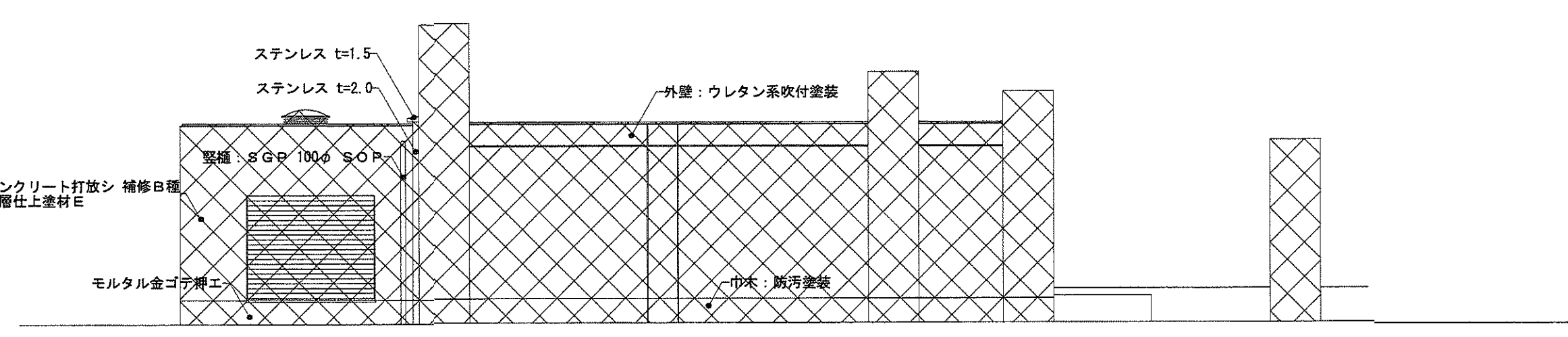
南側立面図 1/100



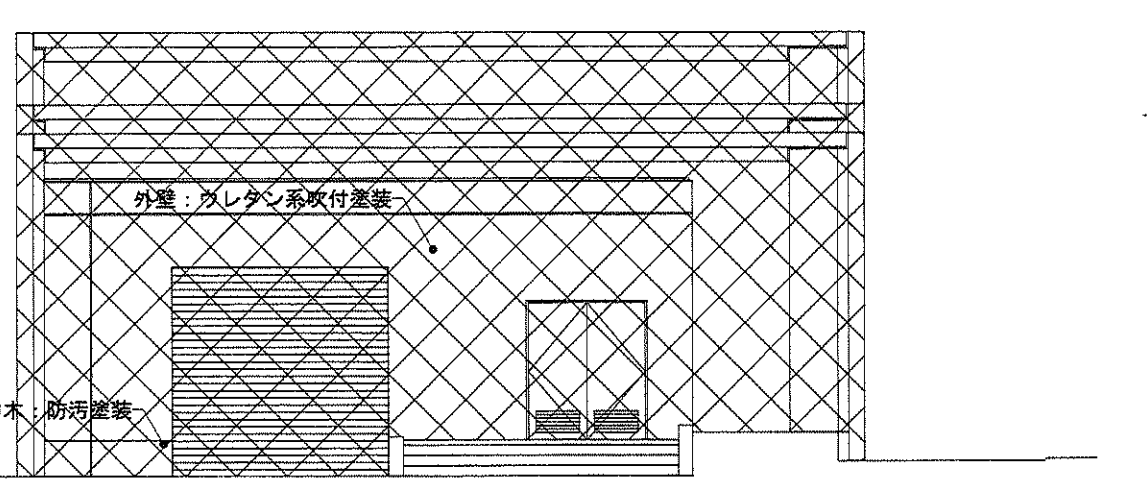
東側立面図 1/100



屋根伏図 1/100



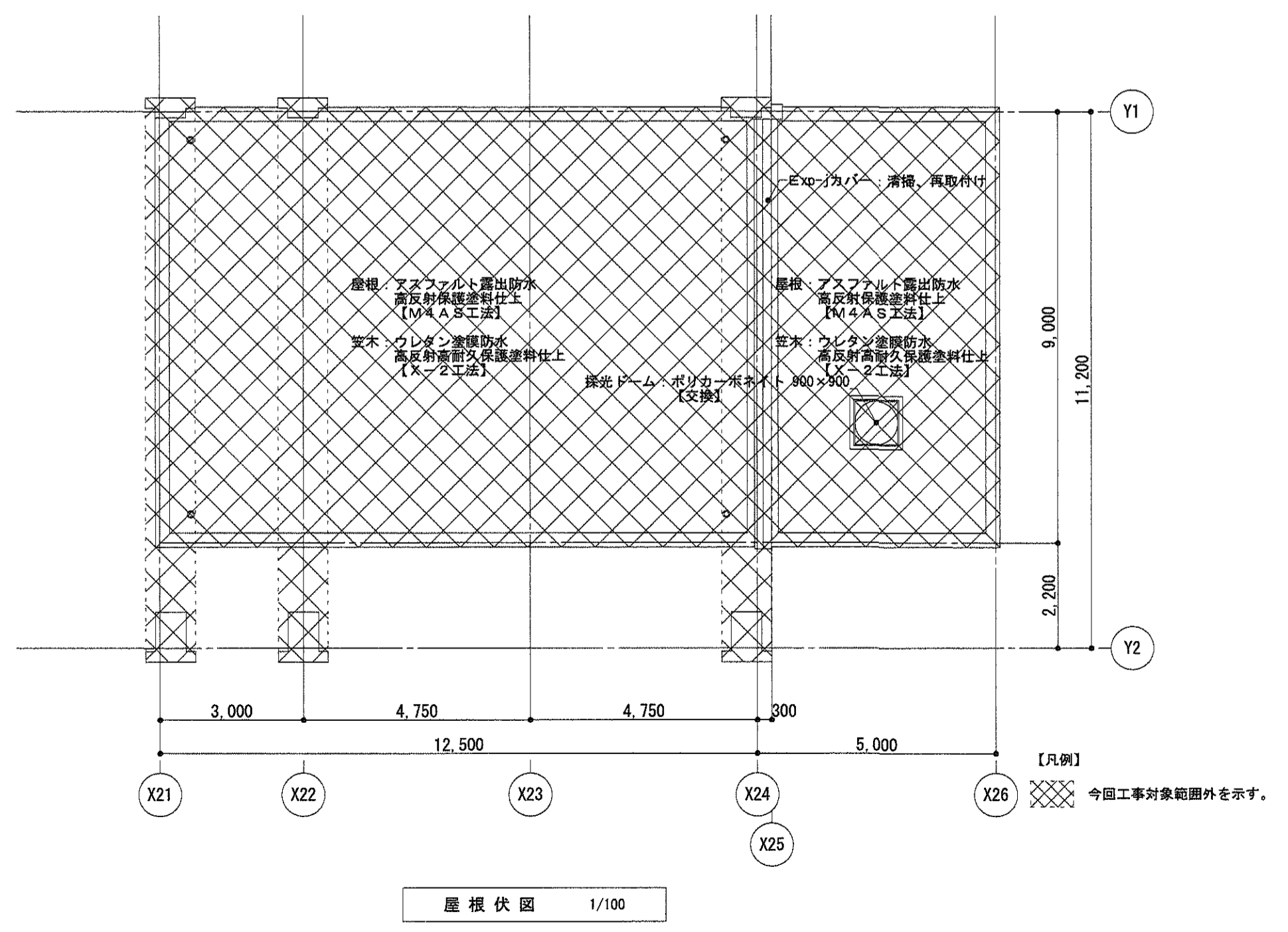
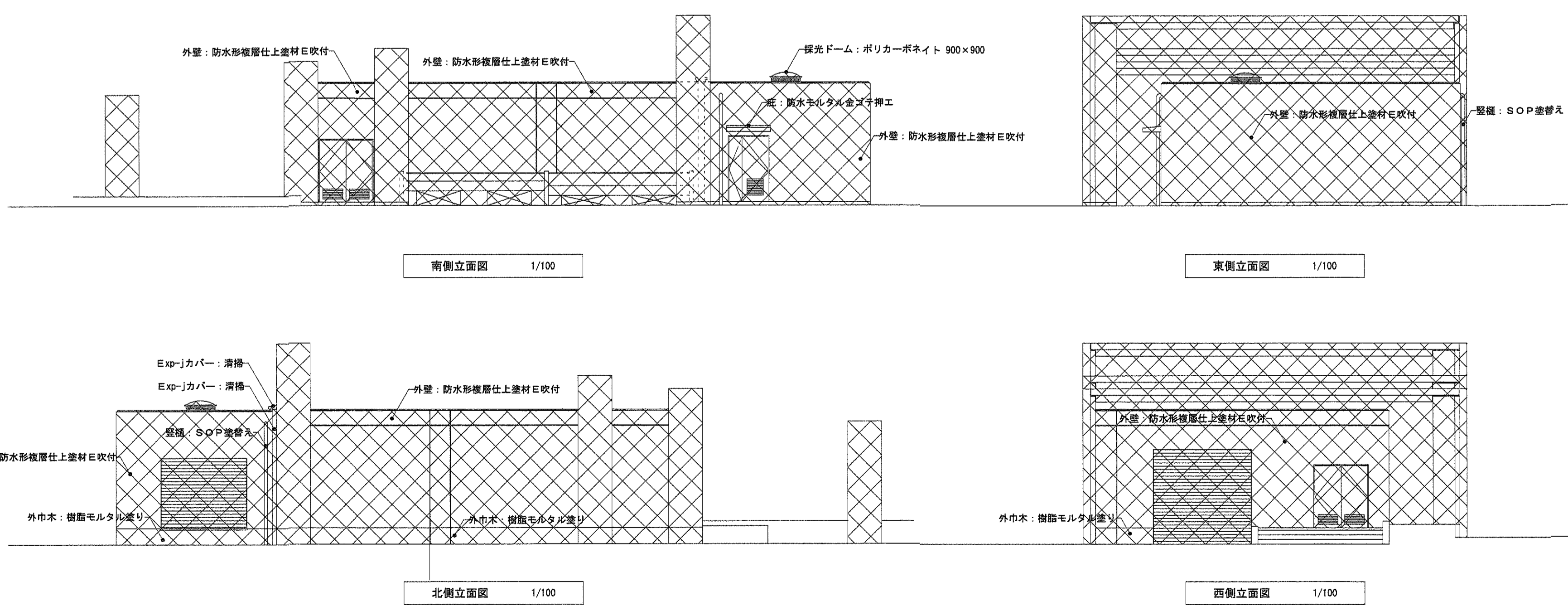
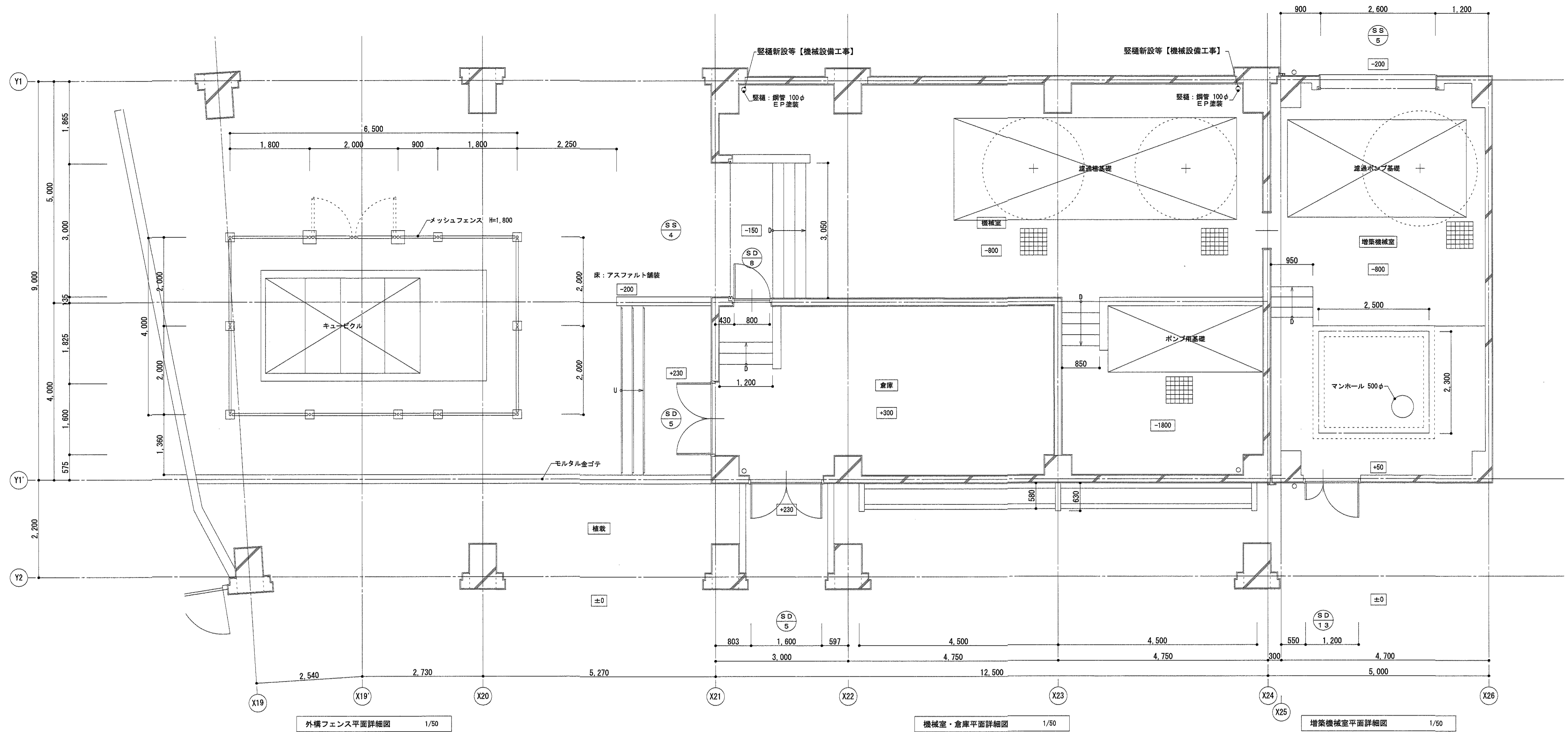
北側立面図 1/100



西側立面図 1/100

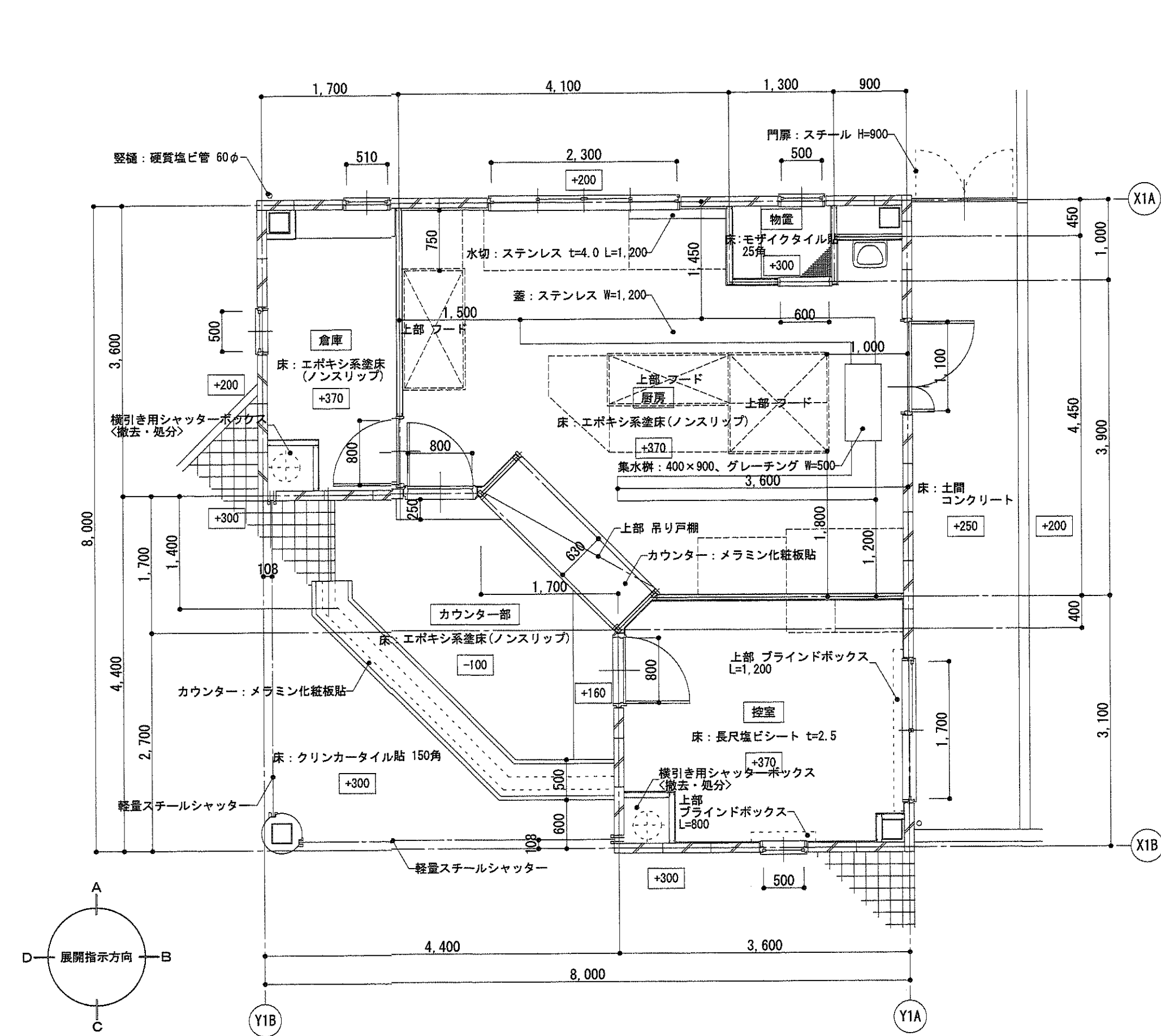
【機械室・倉庫】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	監査	設計	製図	NOTE 柳井	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
				変更年月日												

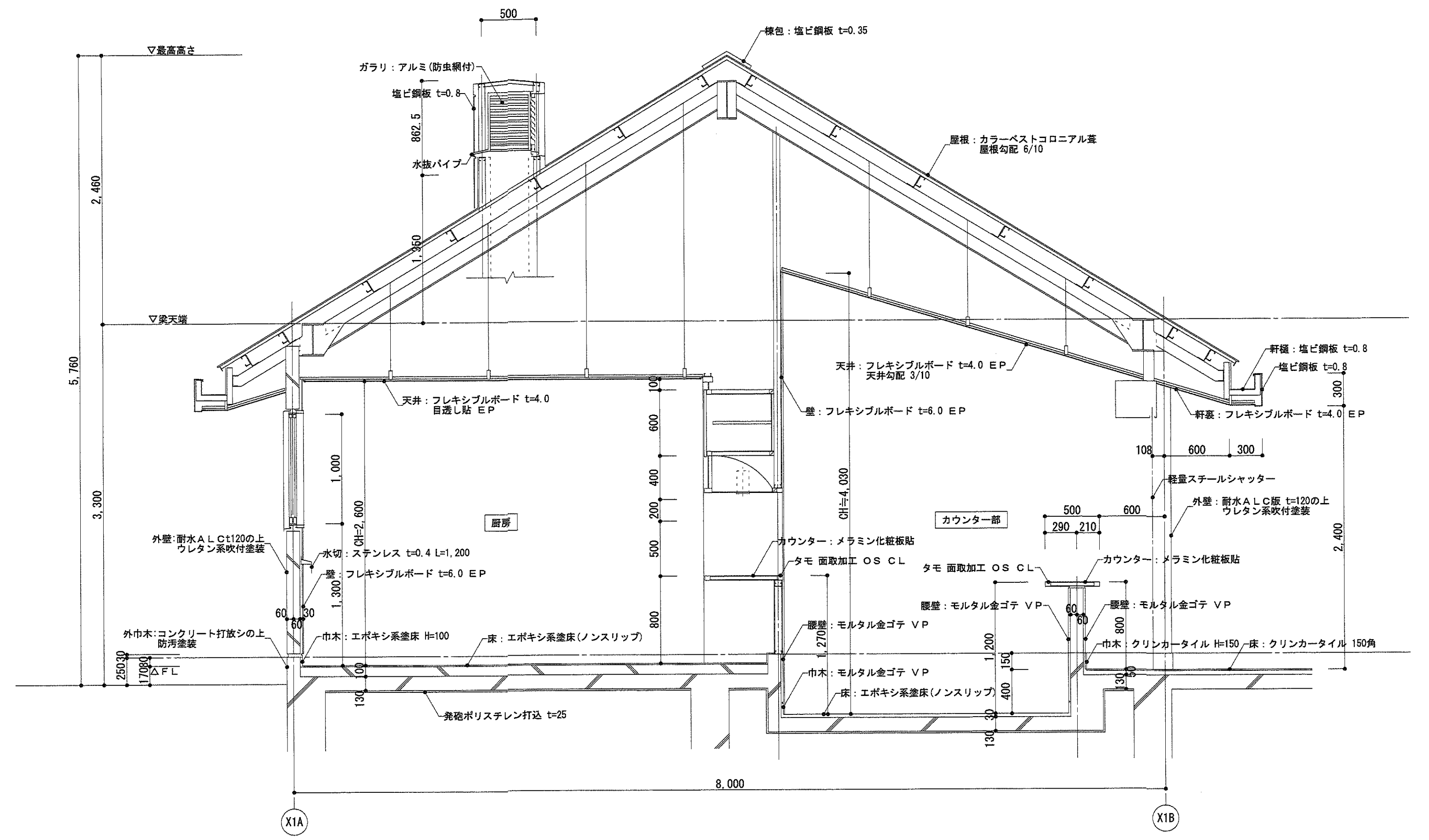


整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8330(代) FAX 049-264-9792 E-mail yanai@kaiinfifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号	KA
				変更年月日	柳井													図面名

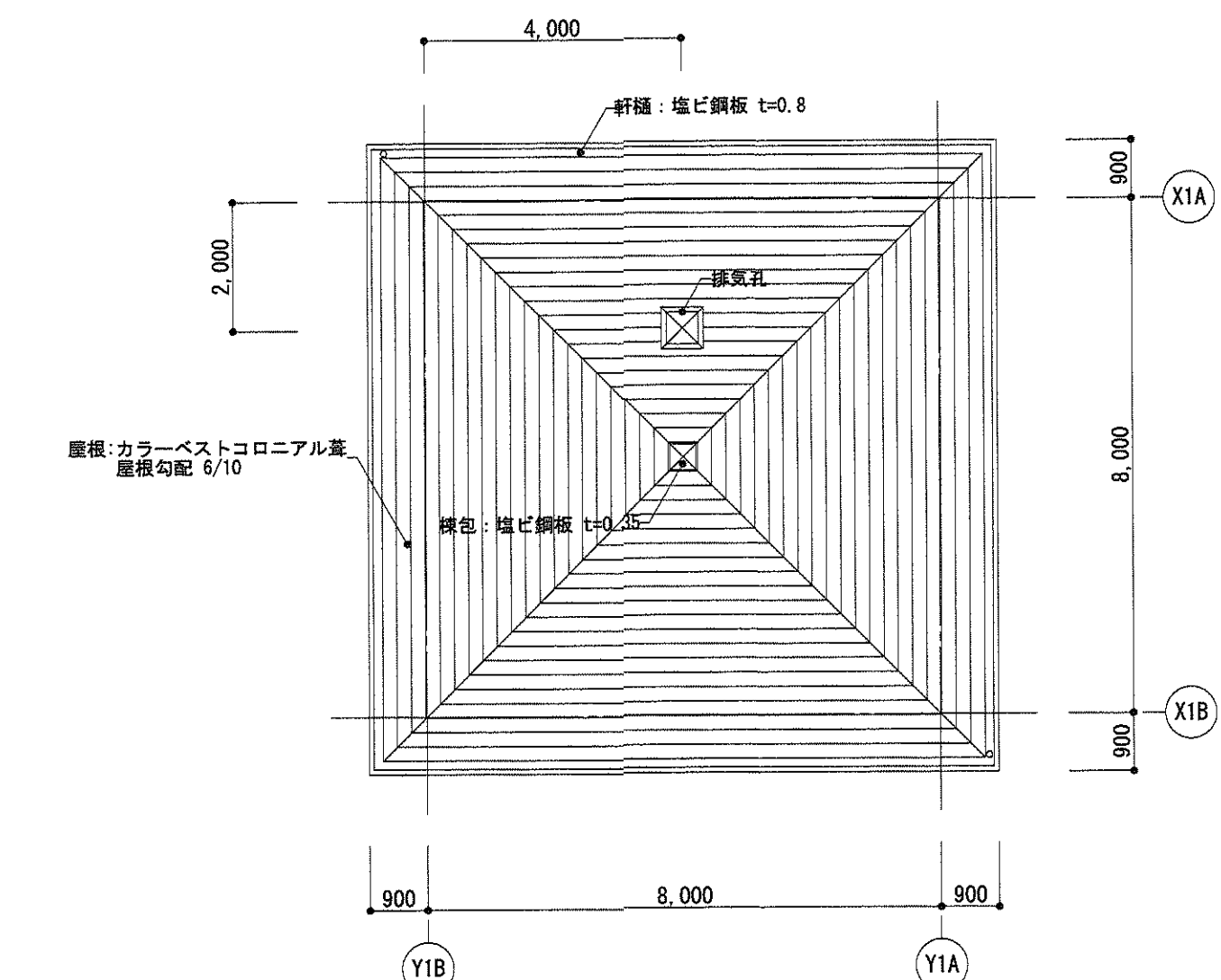
【機械室・倉庫】



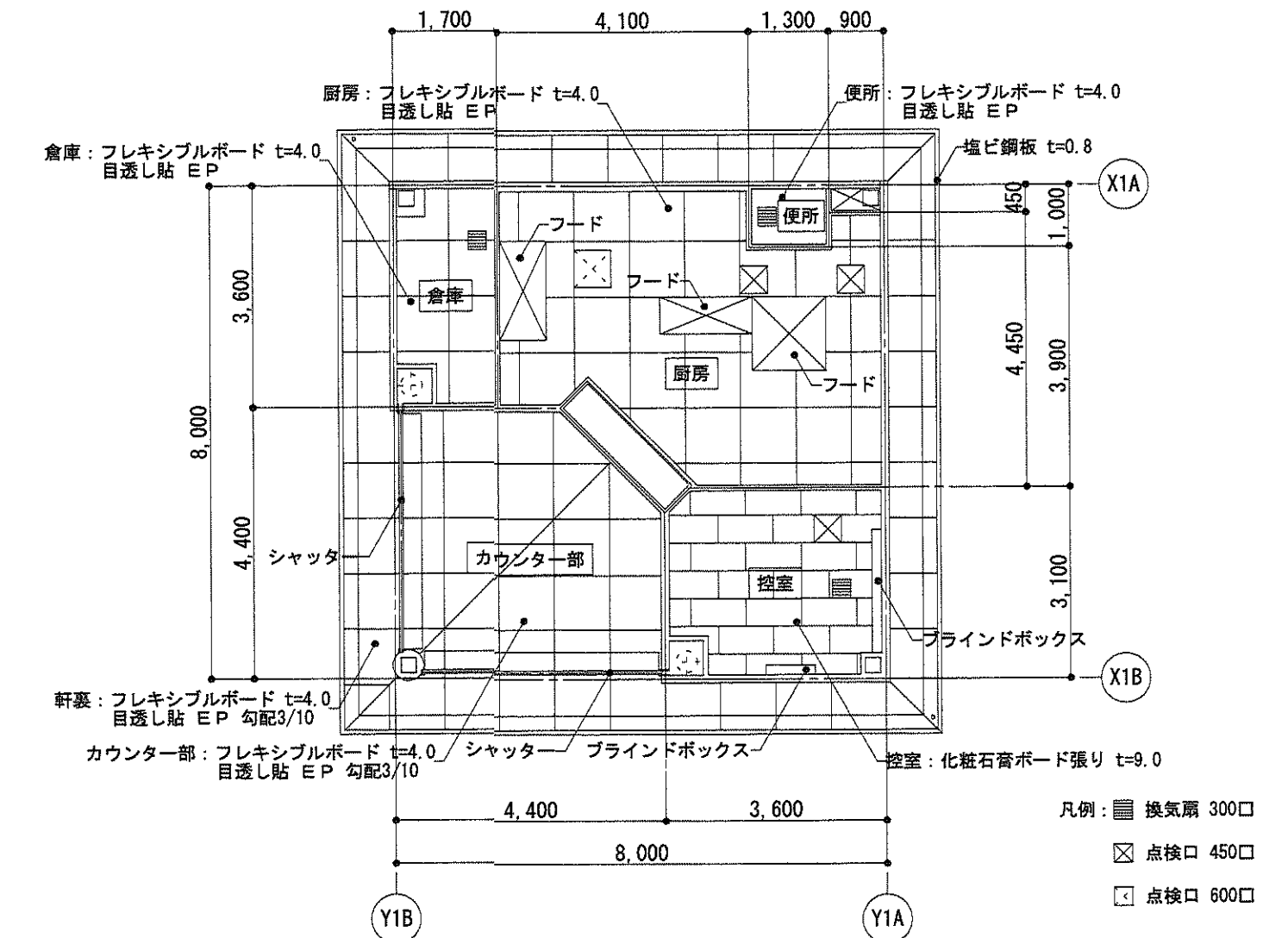
屋外軽食・売店様平面詳細図 1/50



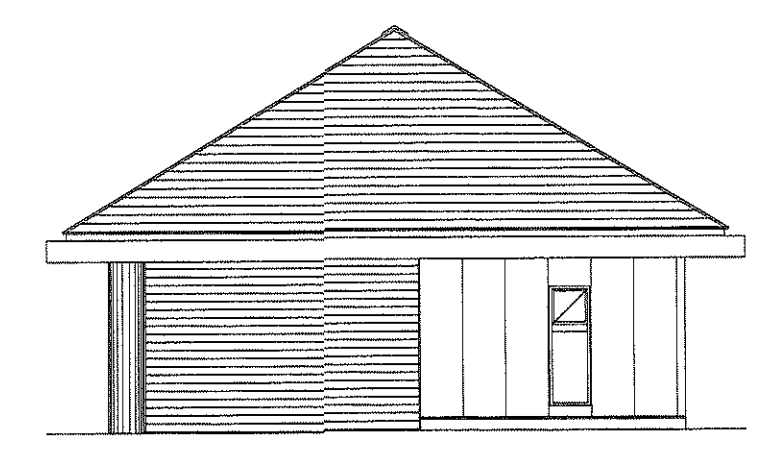
屋外軽食・売店様短計図 1/30



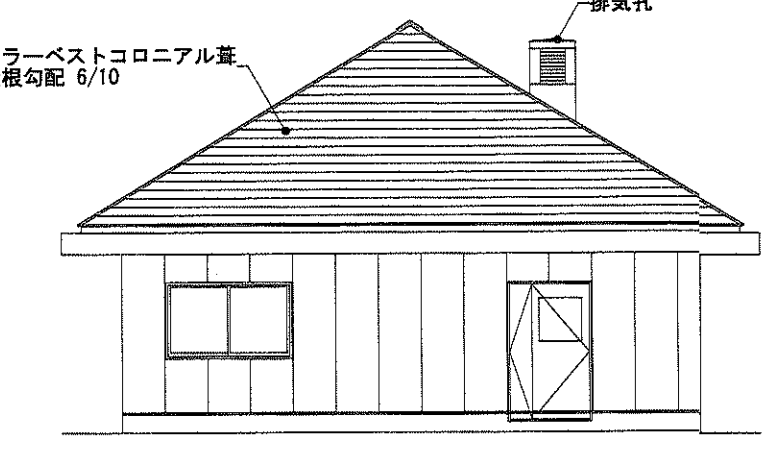
屋外軽食・売店様屋根伏図 1/100



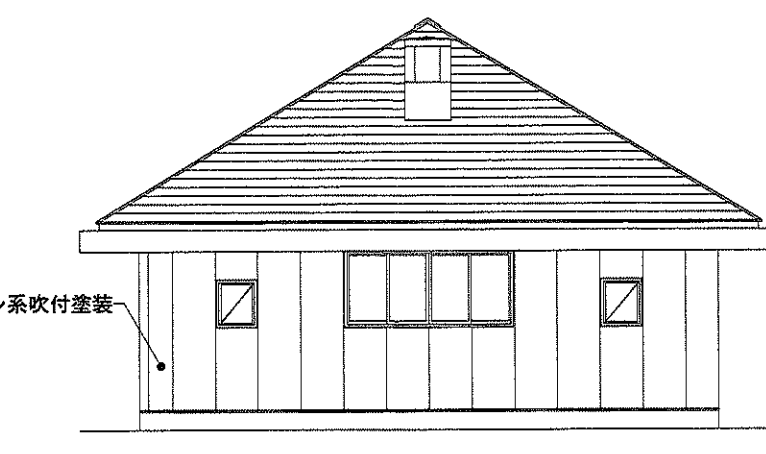
屋外軽食・売店様天井伏図 1/100



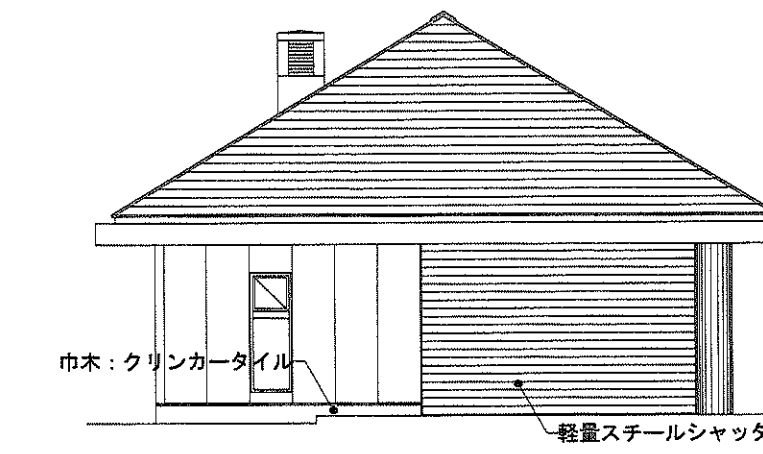
東側立面図 1/100



北側立面図 1/100



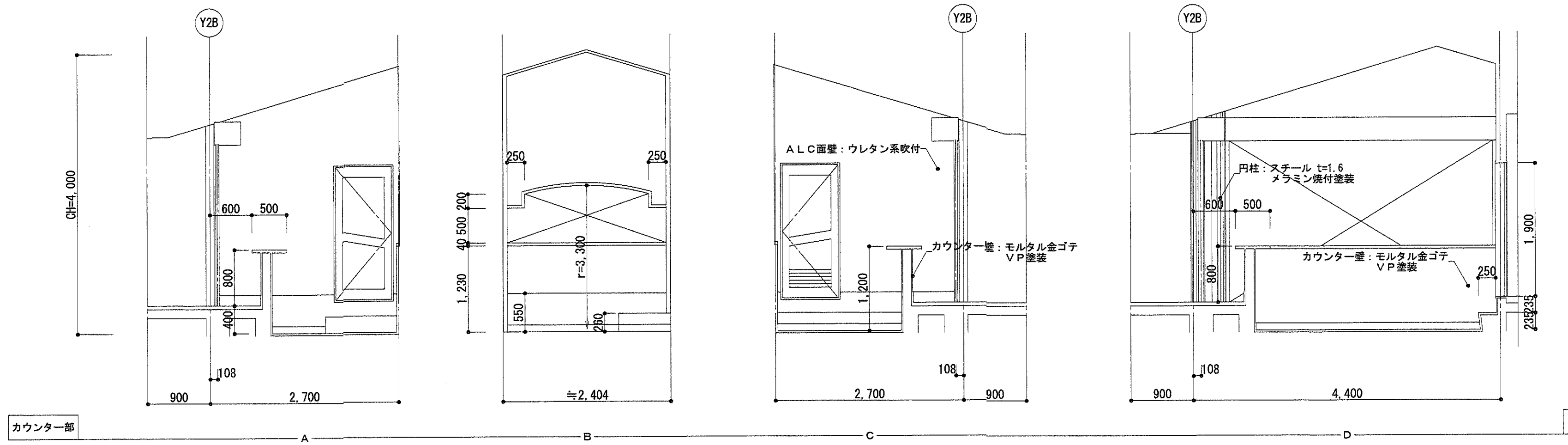
西側立面図 1/100



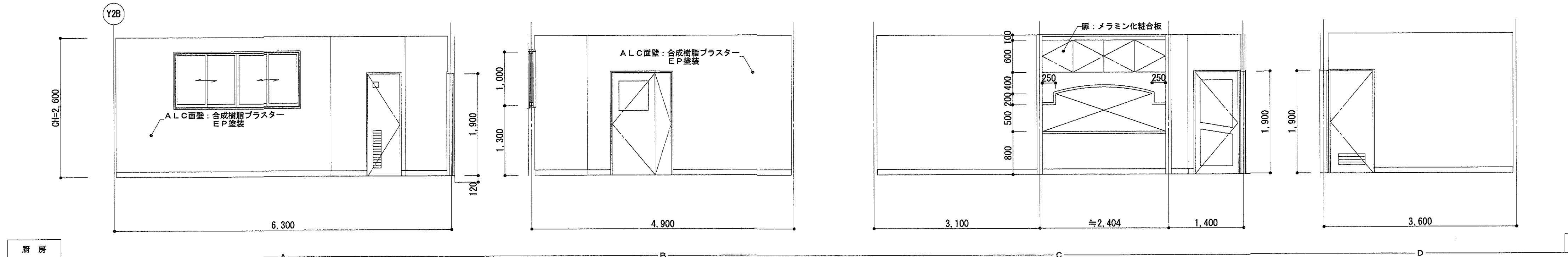
南側立面図 1/100

【軽食・売店棟】

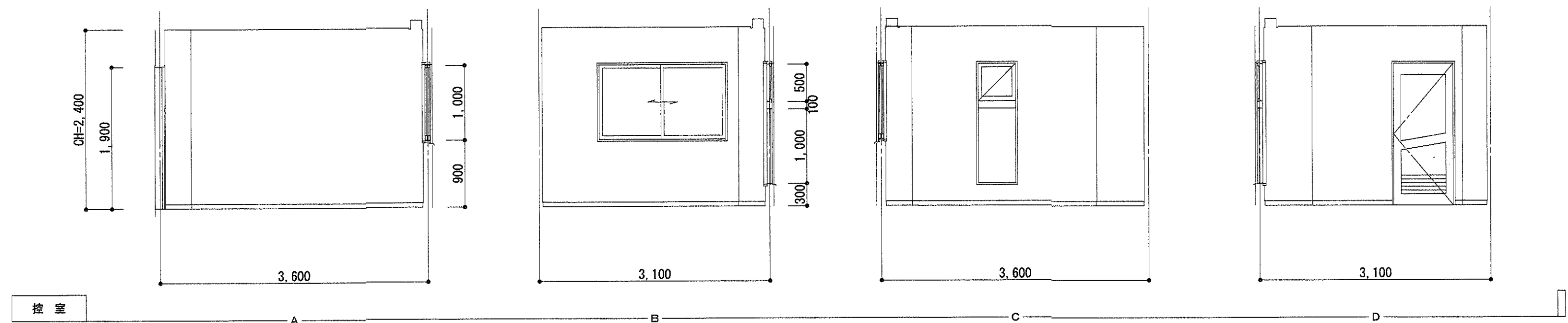
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisk@nifty.com	設計年月日 変更年月日	承認	監査	設計	製図	NOTE 柳井	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事 図面名 平面詳細図(既存図)・キープラン・ 矩計図・屋根伏図・天井伏図・立面図	図面番号 K/A
				一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号											



カウンター部	
床	外部: クリッカータイル貼 150角 内部: エポキシ系ノンスリップ塗床
巾木	外部: クリッカータイル貼 H=150 内部: モルタル巾木 H=100 VP塗装
腰壁	
壁	フレキシブルボード t=6.0の上、EP塗装 【レベル3】〈撤去・処分〉
天井	フレキシブルボード t=4.0 目隠し張り EP塗装 【レベル3】〈仕上材のみ撤去・処分〉 廻り縁: 塩ビ製〈撤去・処分〉
備考	カウンター: ランバーコア下地の上、メラミン化粧板貼 〈仕上材のみ撤去・処分〉



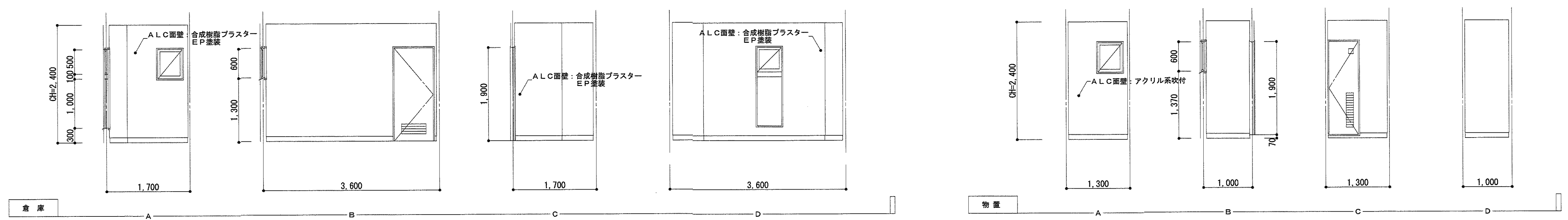
厨房	
床	シンダーコンクリート t=100の上、 エポキシ系ノンスリップ塗床
巾木	エポキシ系塗床立上げ H=100
腰壁	
壁	フレキシブルボード t=6.0の上、EP塗装 【レベル3】〈撤去・処分〉
天井	フレキシブルボード t=4.0 目隠し張り EP塗装 【レベル3】〈仕上材のみ撤去・処分〉 廻り縁: 塩ビ製〈撤去・処分〉
備考	カウンター: ランバーコア下地の上、メラミン化粧板貼 〈仕上材のみ撤去・処分〉

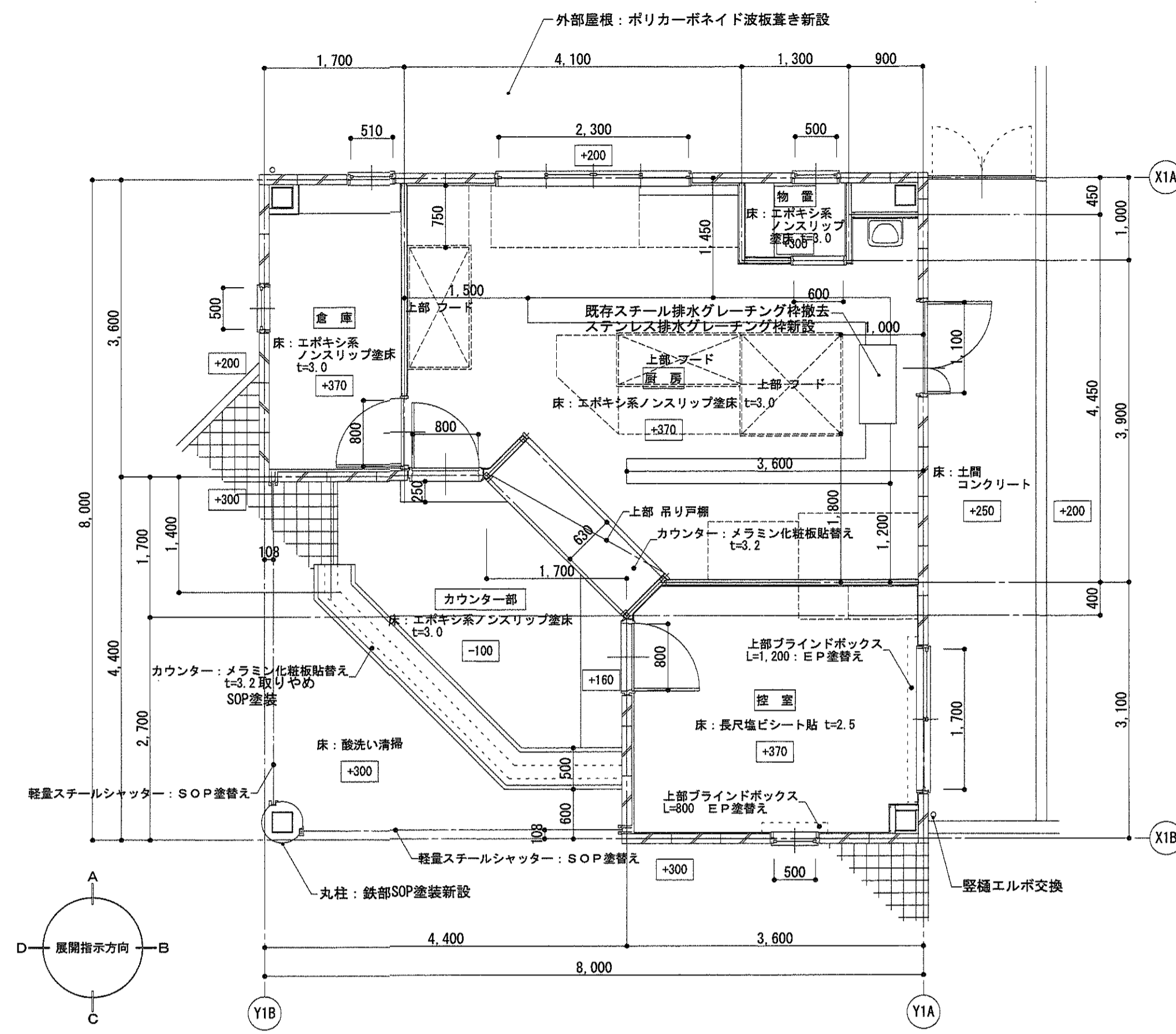


控室	
床	シンダーコンクリート t=100の上、 長尺塩ビシート貼 t=2.5 〈仕上材のみ撤去・処分〉
巾木	ビニルソフト巾木 H=60 〈撤去・処分〉
腰壁	
壁	フレキシブルボード t=12【レベル3】の上、 ビニルクロス貼 〈下地共撤去・処分〉
天井	化粧石膏ボード張り t=9.0 〈仕上のみ撤去・処分〉 廻り縁: 塩ビ製〈撤去・処分〉
備考	

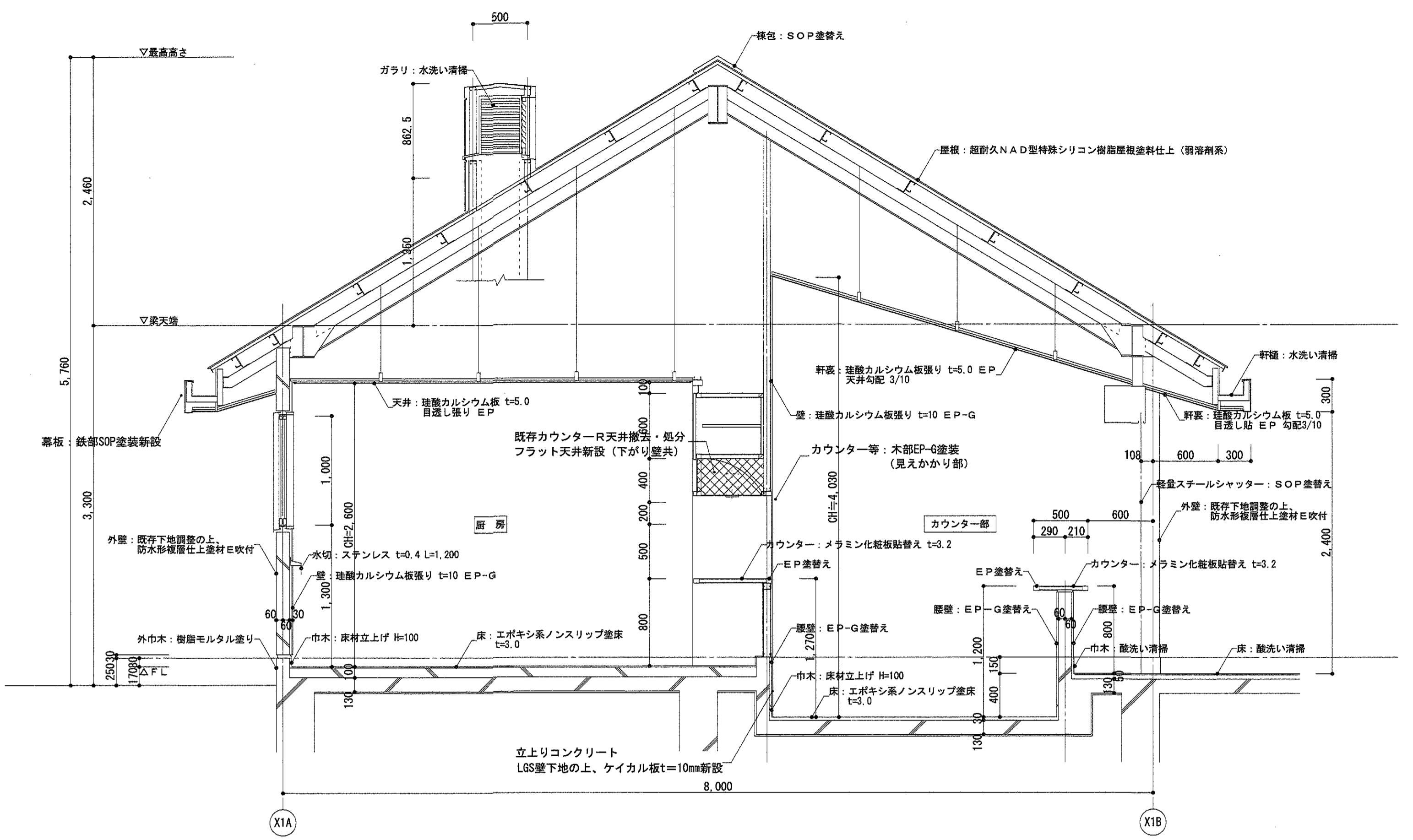
倉庫	
床	シンダーコンクリート t=100の上、 エポキシ系ノンスリップ塗床
巾木	エポキシ系塗床立上げ H=100
腰壁	
壁	フレキシブルボード t=6.0の上、EP塗装 【レベル3】〈撤去・処分〉
天井	フレキシブルボード t=4.0 目隠し張り EP塗装 【レベル3】〈仕上材のみ撤去・処分〉 廻り縁: 塩ビ製〈撤去・処分〉
備考	

物置	
床	防水モルタル下地の上、モザイクタイル貼 25角 〈下地共撤去・処分〉
巾木	半硬器資タイル貼 H=100 〈撤去・処分〉
腰壁	
壁	石膏ボード t=12の上、アクリル系吹付 〈撤去・処分〉
天井	フレキシブルボード t=4.0 目隠し張り EP塗装 【レベル3】〈仕上材のみ撤去・処分〉 廻り縁: 塩ビ製〈撤去・処分〉
備考	

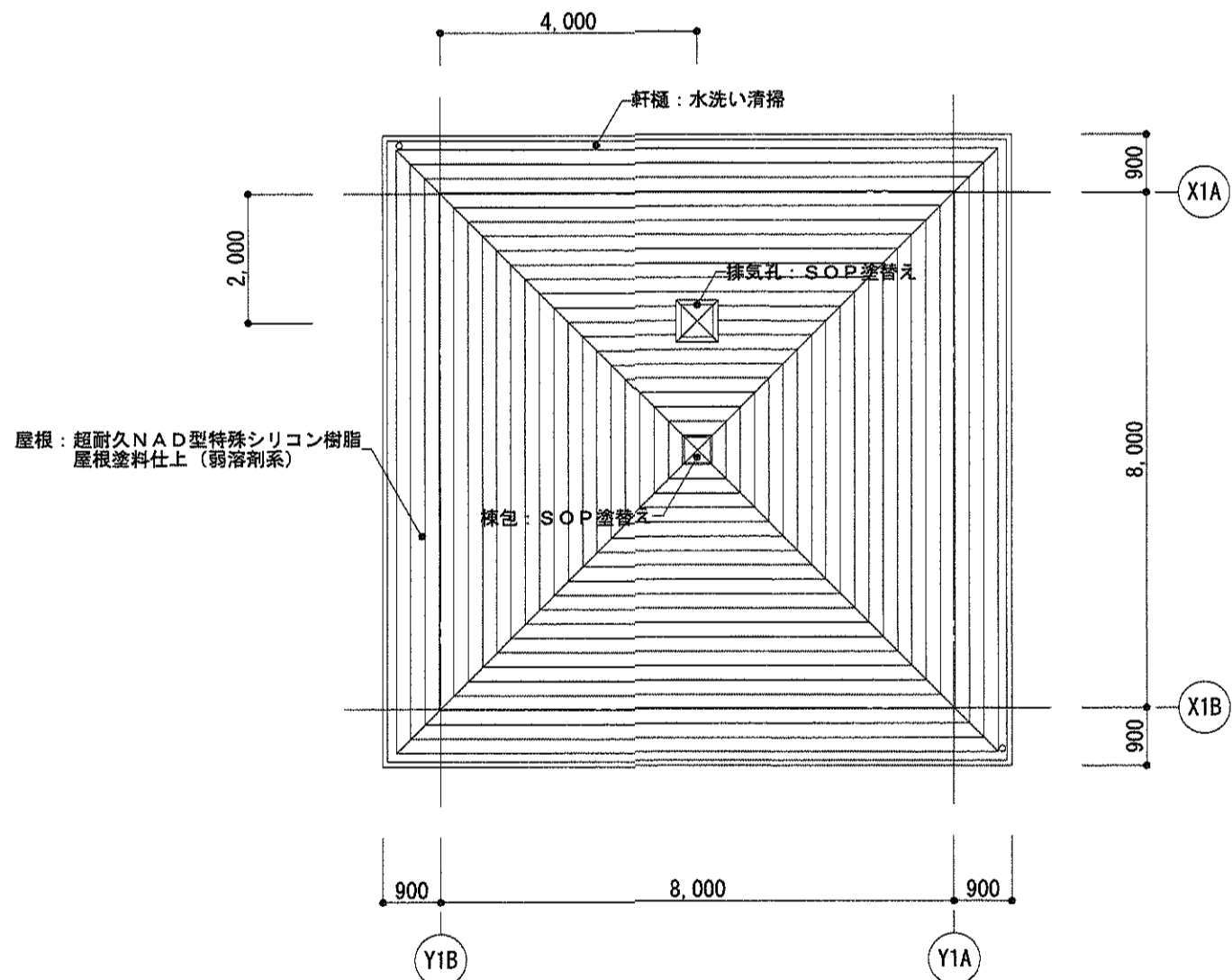




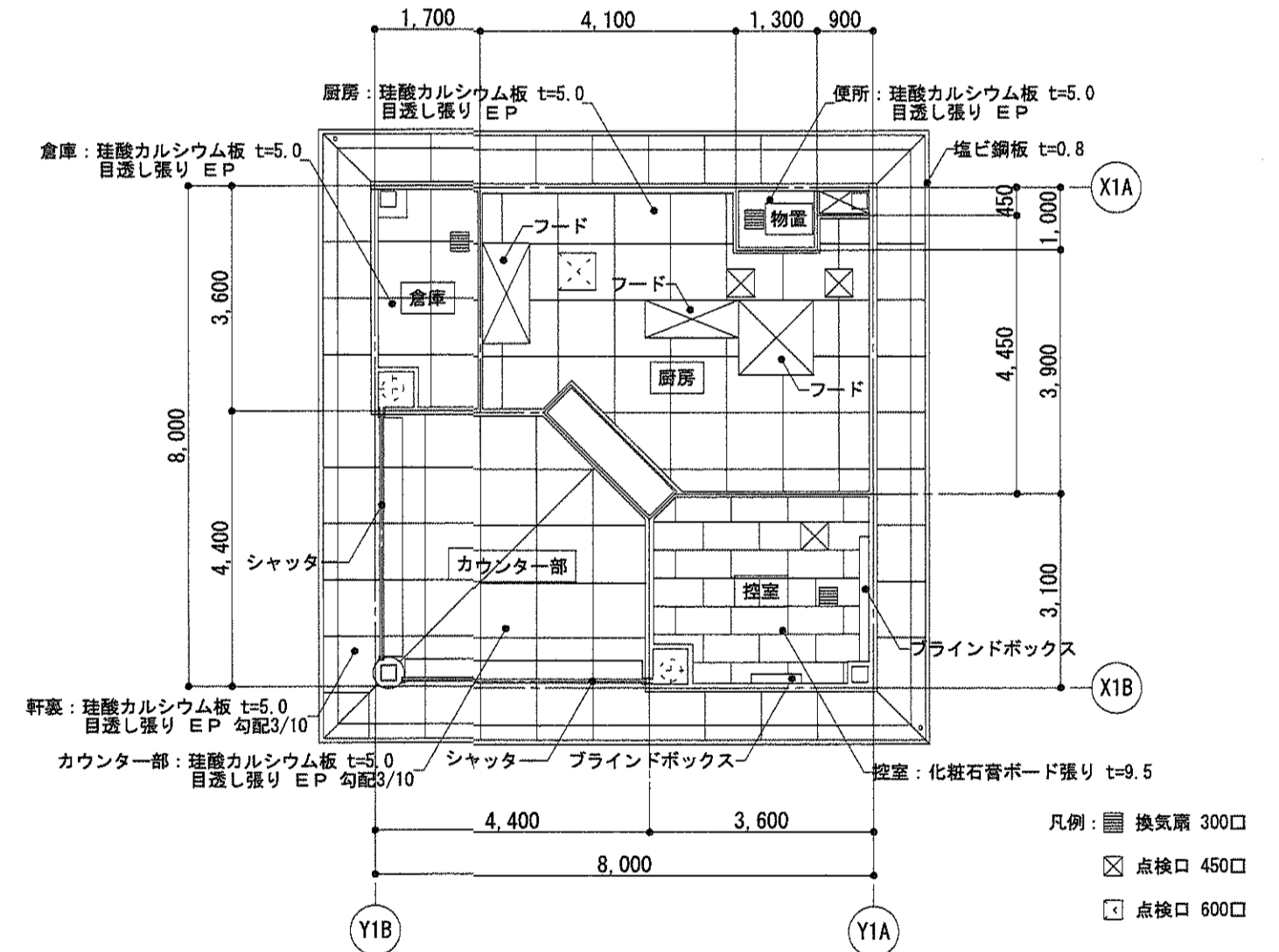
屋外軽食・売店棟平面詳細図 1/50



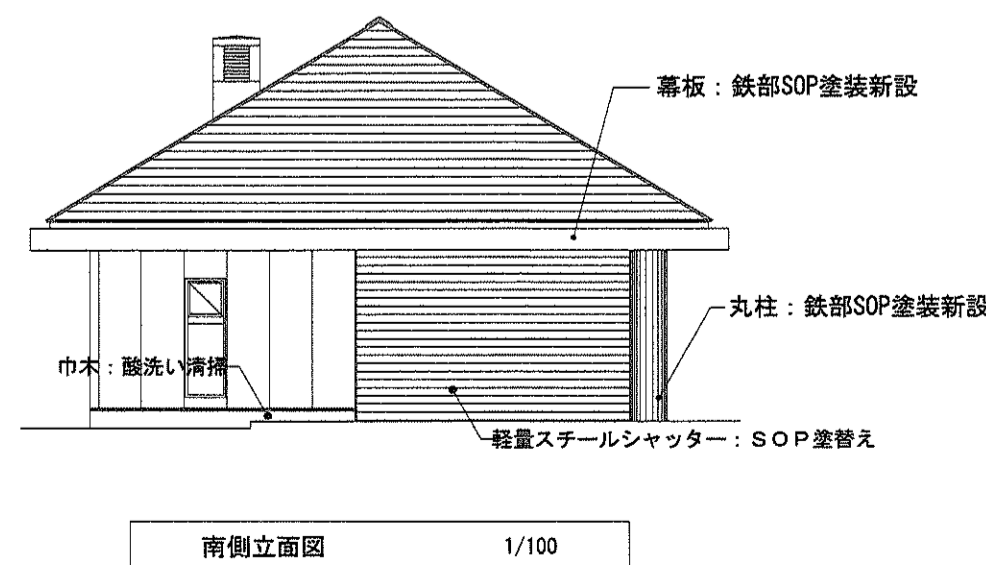
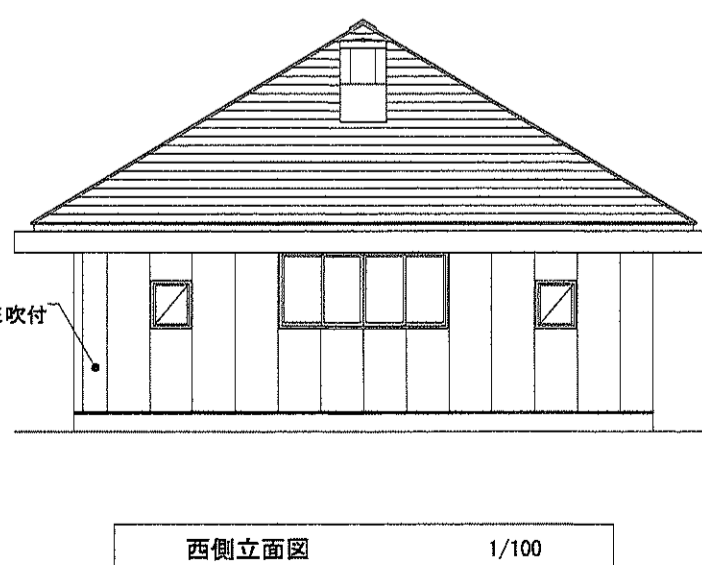
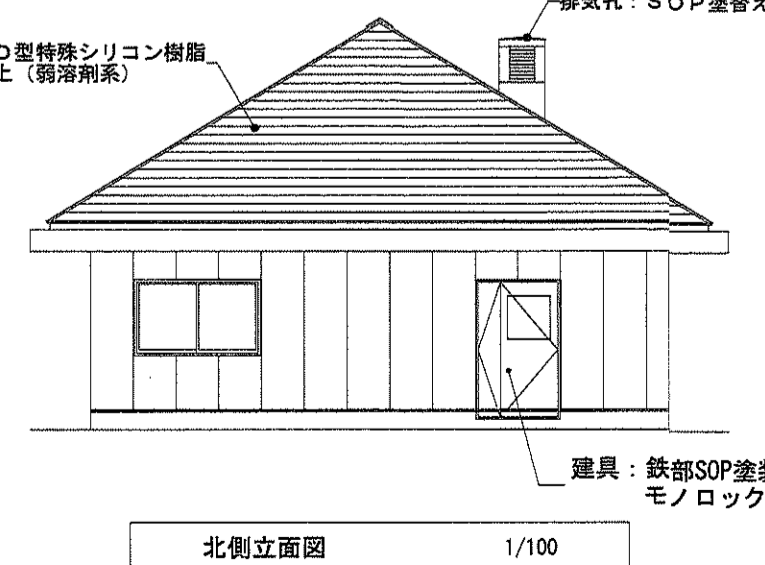
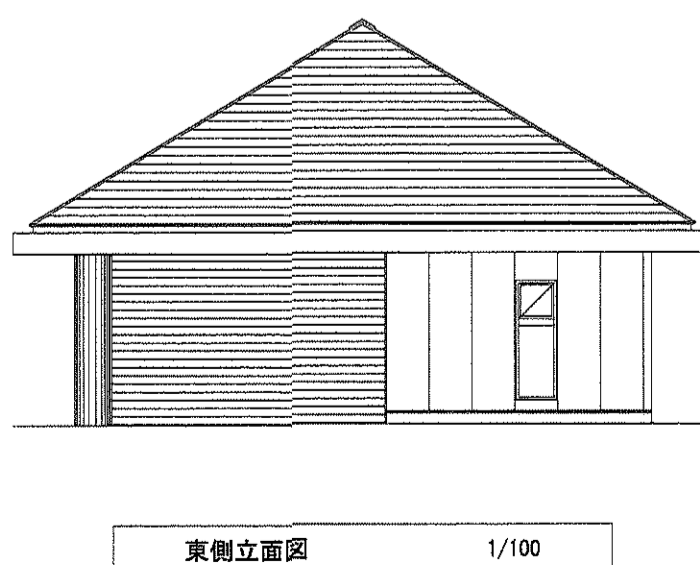
屋外軽食・売店棟断面図 1/30



屋外軽食・売店棟屋根伏図 1/100

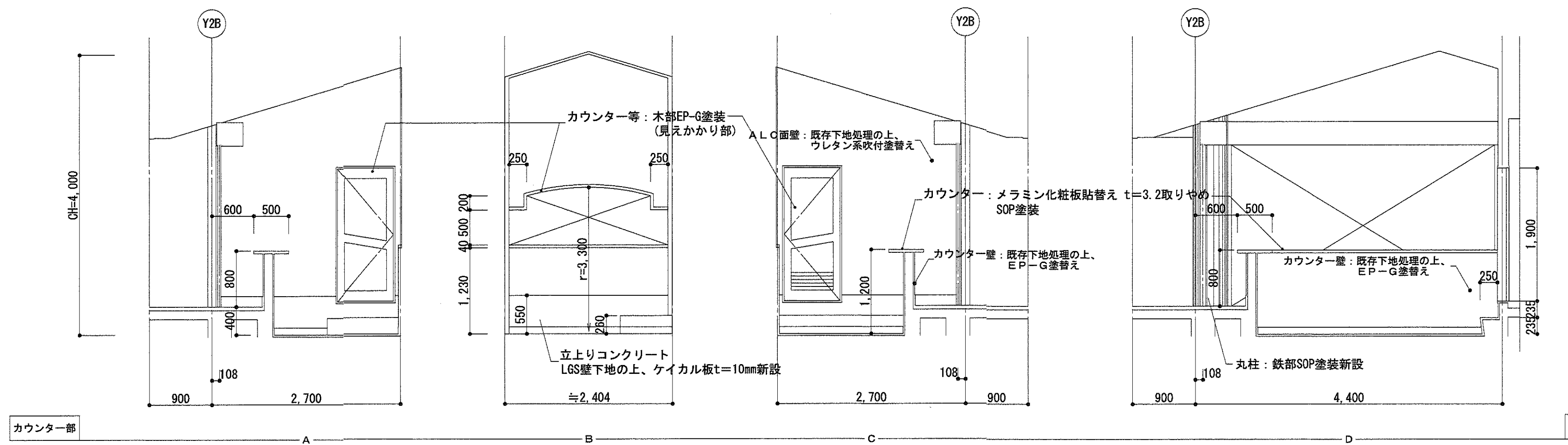


屋外軽食・売店棟天井伏図 1/100

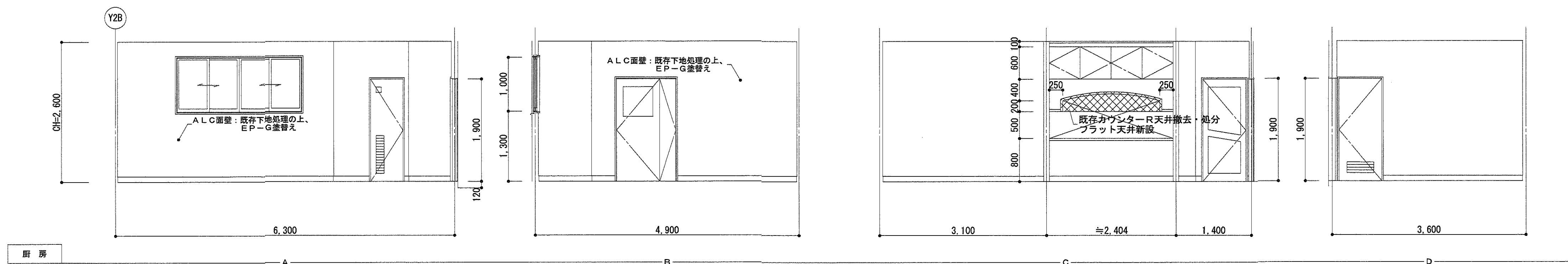


【軽食・売店棟】

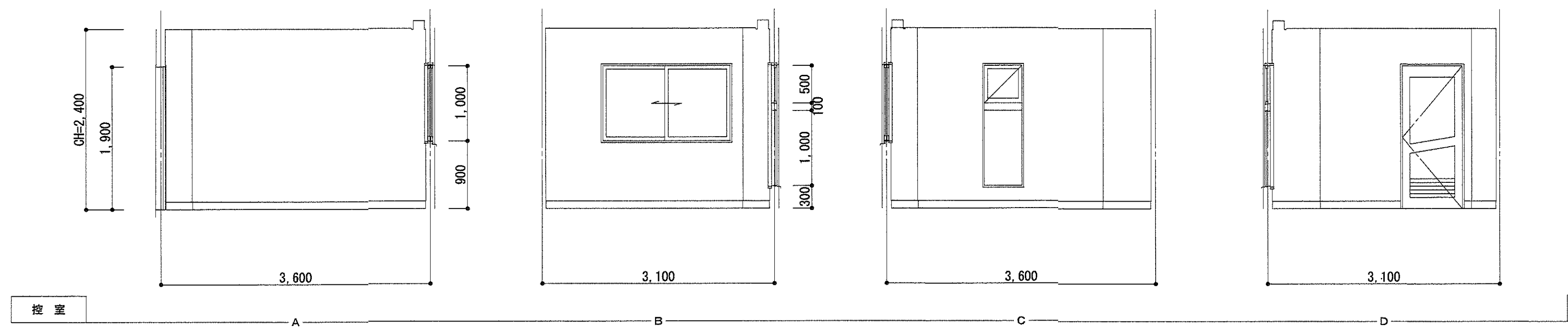
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-284-8320(t) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@chiryu.com	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名 図面名	市立富士見ガーデンピーチ解体工事 平面詳細図(改修図)・キープラン・ 矩計図・屋根伏図・天井伏図・立面図	S-1: 図示 (A-1) S-1: 図示 (A-3)	図面番号 KA 173
-----------------	---	--	----------------	----------------------------	------	------------	-----------------------	------------	--	--------------------------------	-------------------



カウンター部	
床	外部：酸洗い清掃 内部：エポキシ系ノンスリップ塗床 t=3.0
巾木	外部：酸洗い清掃 内部：塗床材立上げ H=100
腰壁	
壁	珪酸カルシウム板張り t=10の上、EP-G塗装
天井	既存下地調整の上、珪酸カルシウム板張り t=5.0 目隠し張り EP塗装 廻り縁：塩ビ製
備考	カウンター：下地調整の上、不燃メラミン化粧板貼 t=3.2 取りやめSOP塗装 カウンター等：木部EP-G塗装(見えかきり部)



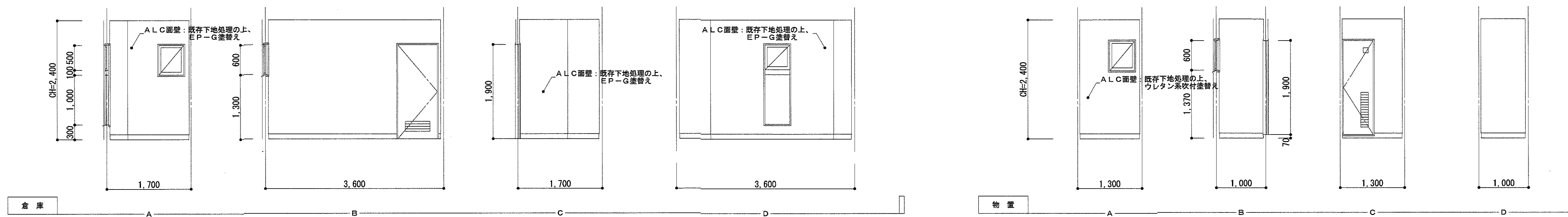
厨房	
床	既存仕上清掃、下地調整の上、 エポキシ系ノンスリップ塗床 t=3.0
巾木	塗床材立上げ H=100
腰壁	
壁	珪酸カルシウム板張り t=10の上、EP-G塗装
天井	新規天井下地の、珪酸カルシウム板張り t=5.0 目隠し張り EP塗装 廻り縁：塩ビ製
備考	カウンター：下地調整の上、不燃メラミン化粧板貼 t=3.2 既存カウンターR天井撤去・処分、フラット天井新設



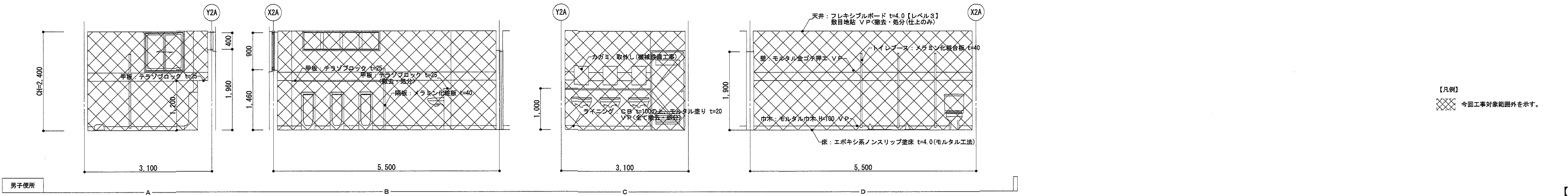
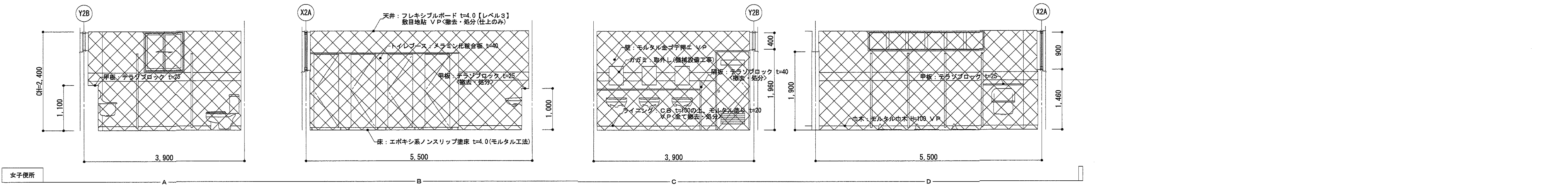
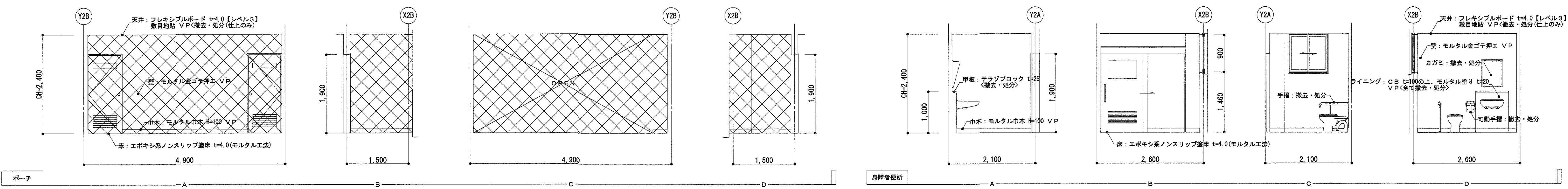
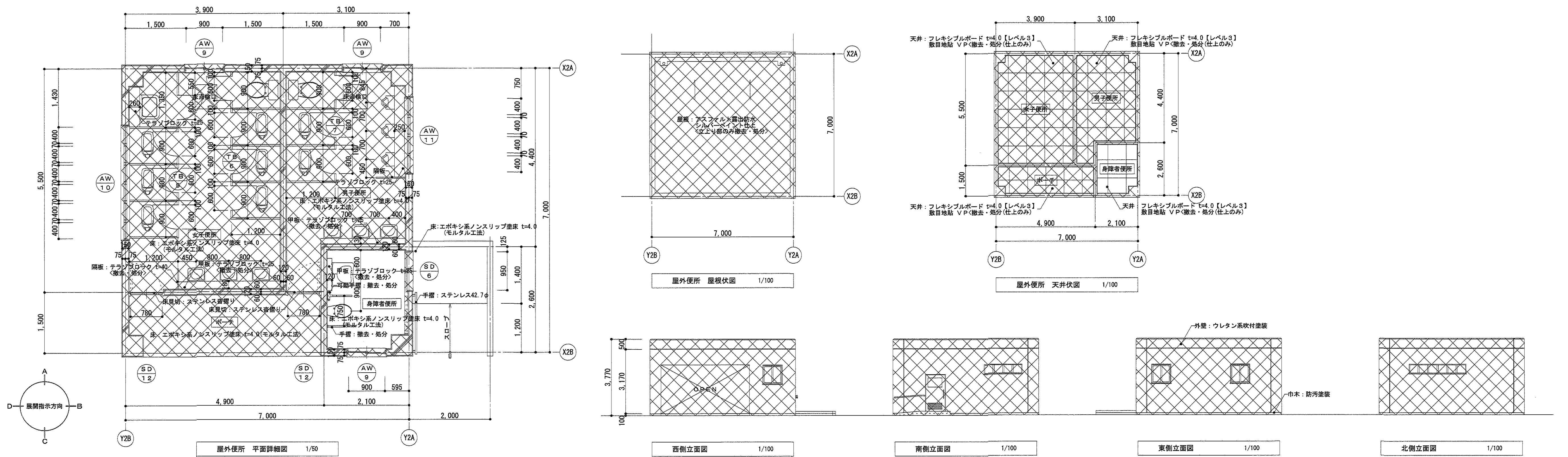
控室	
床	下地調整の上、長尺塩ビシート貼替え t=2.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	
壁	珪酸カルシウム板張り t=10の上、EP-G塗装
天井	既存下地調整の上、化粧石膏ボード張り t=9.5 廻り縁：塩ビ製
備考	ブラインドボックス：EP塗装替え 2ヶ所

倉庫	
床	既存仕上清掃、下地調整の上、 エポキシ系ノンスリップ塗床 t=3.0
巾木	塗床材立上げ H=100
腰壁	
壁	珪酸カルシウム板張り t=10の上、EP-G塗装
天井	既存下地調整の上、珪酸カルシウム板張り t=5.0 目隠し張り EP塗装 廻り縁：塩ビ製
備考	

物置	
床	下地調整の上、エポキシ系ノンスリップ塗床 t=3.0
巾木	塗床材立上げ H=100
腰壁	
壁	珪酸カルシウム板張り t=10の上、 ウレタン系吹付塗装
天井	既存下地調整の上、珪酸カルシウム板張り t=5.0 目隠し張り EP塗装 廻り縁：塩ビ製
備考	



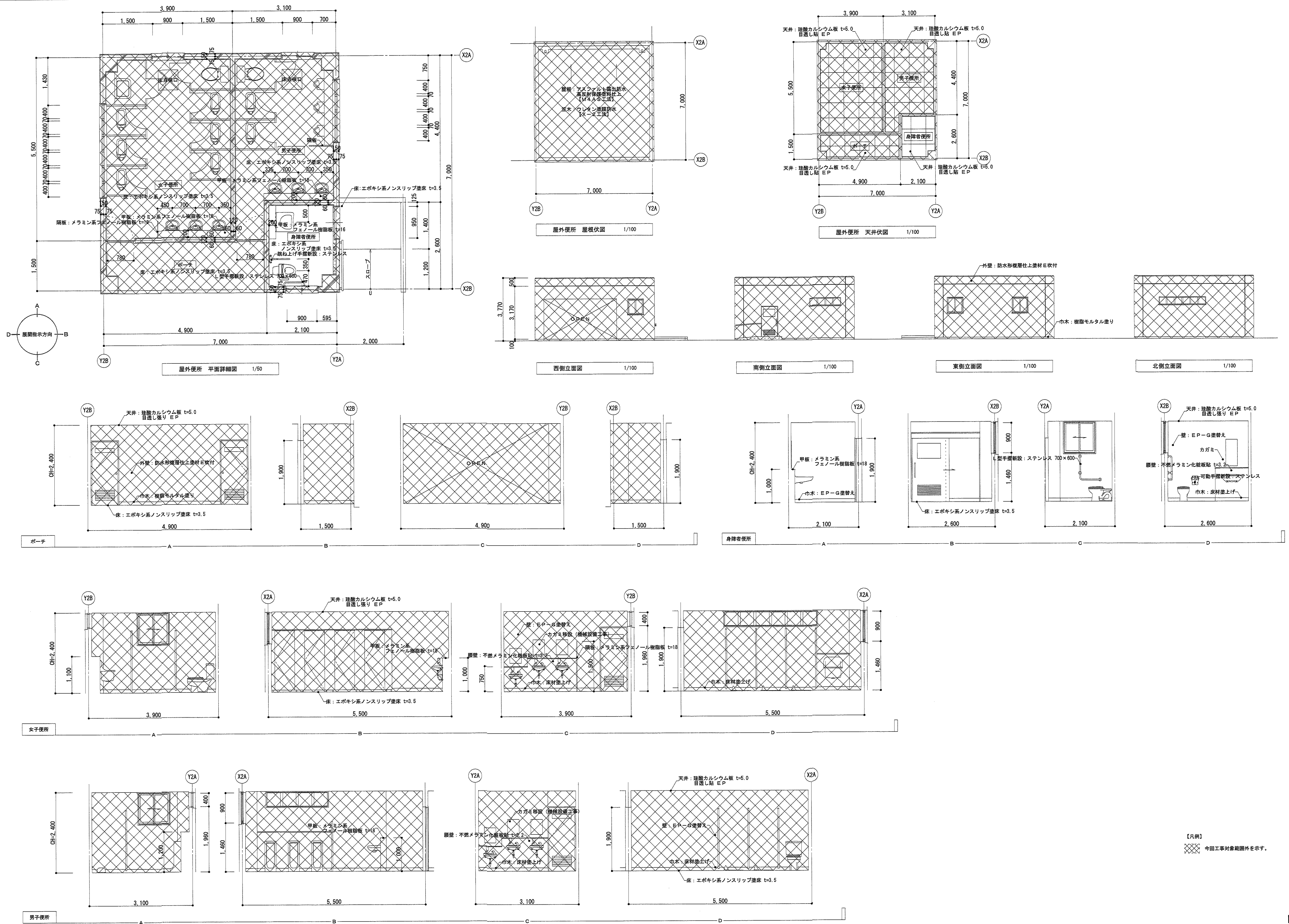
【軽食・売店棟】



【凡例】
 今回工事対象範囲外を示す。

【屋外便所棟】

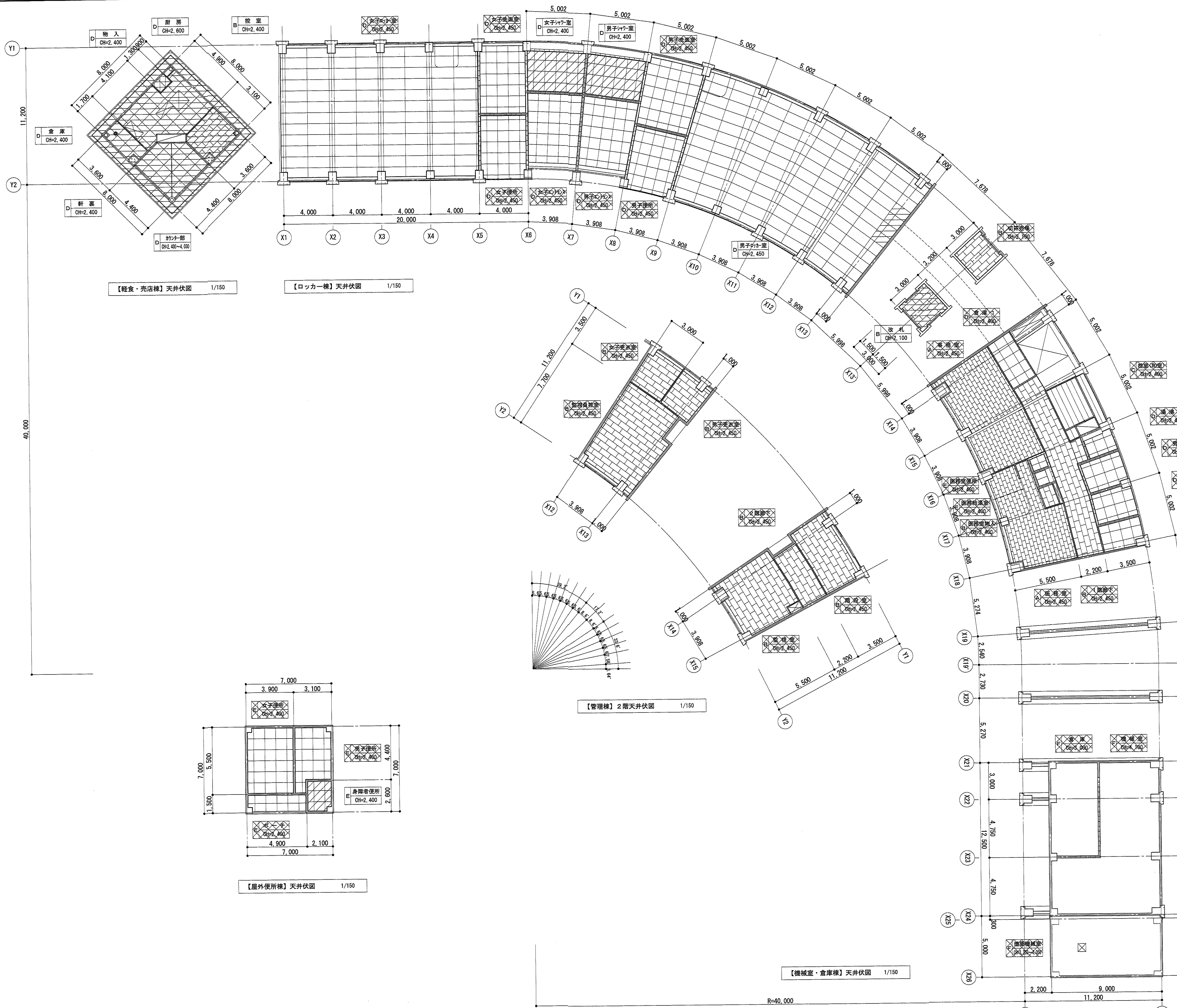
整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(F) FAX 049-264-8792 E-mail yanisekai@ifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	課長 副課長 主任 担当 富士見市総務部管轄課	工事名 図面名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事 平面詳細図(既存図)・キープラン・ 屋根伏図・天井伏図・立面図・展開図	S-1:50 (A-1) S-1:100 (A-3)	図面番号 KA 175
-----------------	---	--	------------------------------	----------------	-------------------	------	----------------------------	------------	--	-------------------------------	-------------------



【凡例】
 今回工事対象範囲を示す。

【屋外便所棟】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskai@ifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 無差 設計 監製	NOTE 柳井	富士見市総務部常務課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KA
				変更年月日	図面名 平面詳細図(改修図)・屋根伏図 ・天井伏図・立面図・展開図			S-1:50 (A-1) S-1:100 (A-3)	176				



天井仕上リスト	
A	岩盤吸音板張り t=12、塩ビ廻り縁
B	化粧石膏ボード張り t=9.0、塩ビ廻り縁
C	杉板化粧石膏ボード張り t=9.0、塩ビ廻り縁
D	フレキシブルボード張り t=4.0 [レベル3] EP塗装、塩ビ廻り縁
E	フレキシブルボード張り t=4.0 [レベル3] VP塗装、塩ビ廻り縁
F	木地板 t=20打込み
今回工事対象範囲外を示す。 撤去部分を示す	

【軽食・売店棟】天井伏図 1/150

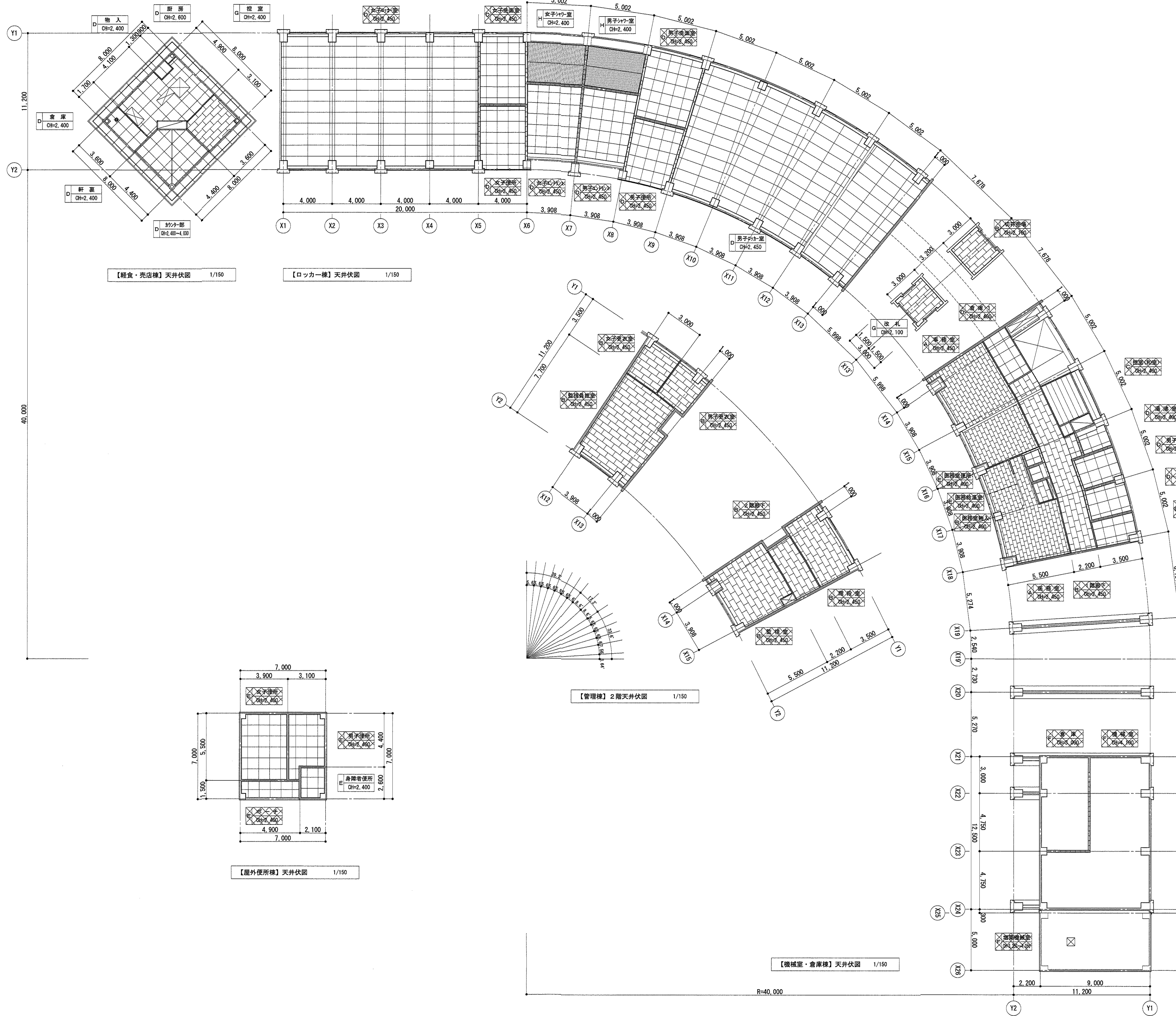
【ロッカー棟】天井伏図 1/150

【管理棟】2階天井伏図 1/150

【管理棟】1階天井伏図 1/150

【屋外便所棟】天井伏図 1/150

【機械室・倉庫棟】天井伏図 1/150



天井仕上リスト	
A	岩盤吸音板張り t=120の上、EP塗装
B	化粧石膏ボード張り t=9.0の上、EP塗装
C	杉板化粧石膏ボード張り t=9.0 既存のまま
D	珪酸カルシウム板 t=5.0 目隠し張り張替え、塩ビ張り
E	珪酸カルシウム板 t=5.0 目隠し張り張替え、塩ビ張り
F	木毛板 t=20打込み 既存のまま
G	化粧石膏ボード張り t=9.5 張替え、塩ビ張り
H	アルミスパンデル張り t=1.0 張替え、アルミ張り
今回工事対象範囲外を示す。	

【軽食・売店棟】天井伏図 1/150

【ロッカー棟】天井伏図 1/150

【管理棟】2階天井伏図 1/150

【管理棟】1階天井伏図 1/150

【屋外便所棟】天井伏図 1/150

【機械室・倉庫棟】天井伏図 1/150

個数・場所	ACW 1' × 2 ACW 1' × 1 【ロッカー棟】女子、男子ロッカー室	ACW 1' × 2 【ロッカー棟】女子ロッカー室	ACW 2' × 1 ACW 2' × 1 【ロッカー棟】女子、男子便所	ACW 3' × 1 ACW 3' × 1 【ロッカー棟】女子、男子ロッカー室
形式・寸法				
形式	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付
材質・仕上	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150
ガラス	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0
塗装			一部グラスパネル t=6.0 EP (ハッチング部分)	
金物	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式	本脚錠(外側面: シリンダー、内部面: 空)、押棒、PH、DC、水切金物: アルミプレート t=1.6加工 二次電解着色、アルミ製密閉リ アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式
備考	()内寸法は、1' を示す		()内寸法は、2' を示す	()内寸法は、3' を示す
個数・場所	ACW 3' × 1 【管理棟】医務室	ACW 6' × 1 【ロッカー棟】男子ロッカー室	ACW 6' × 1 【管理棟】事務室	ACW 7' × 4 【ロッカー棟】男子ロッカー室 (2階: 女子・男子更衣室) 【管理棟】階段室
形式・寸法				
形式	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付			
材質・仕上	アルミ二次電解着色 見込 150			
ガラス	熱線反射ガラス t=6.0			
塗装				
金物	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式			
備考				
個数・場所	ACW 4' × 1 【管理棟】事務室	ACW 5' × 8 【ロッカー棟】女子、男子ロッカー室		ACW 7' × 3 【ロッカー棟】男子ロッカー室 (2階: 男子更衣室) 【管理棟】事務室、階段室
形式・寸法				
形式	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付
材質・仕上	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150
ガラス	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0
塗装				
金物	本脚錠(外側面: シリンダー、内部面: 空)、押棒、PH、DC、アルミ製密閉リ アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物 その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物 その他メーカー標準金物一式
備考				
個数・場所	ACW 4' × 1 【管理棟】事務室	ACW 5' × 8 【ロッカー棟】女子、男子ロッカー室		ACW 7' × 3 【ロッカー棟】男子ロッカー室 (2階: 男子更衣室) 【管理棟】事務室、階段室
形式・寸法				
形式	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付	ハメ殺しアルミカーテンウォール 隠り出しマド付
材質・仕上	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150	アルミ二次電解着色 見込 150
ガラス	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0	熱線反射ガラス t=6.0
塗装				
金物	本脚錠(外側面: シリンダー、内部面: 空)、押棒、PH、DC、アルミ製密閉リ アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物 その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物、その他メーカー標準金物一式	アルミアングル、縦線、腰パネル受金物 その他メーカー標準金物一式
備考				

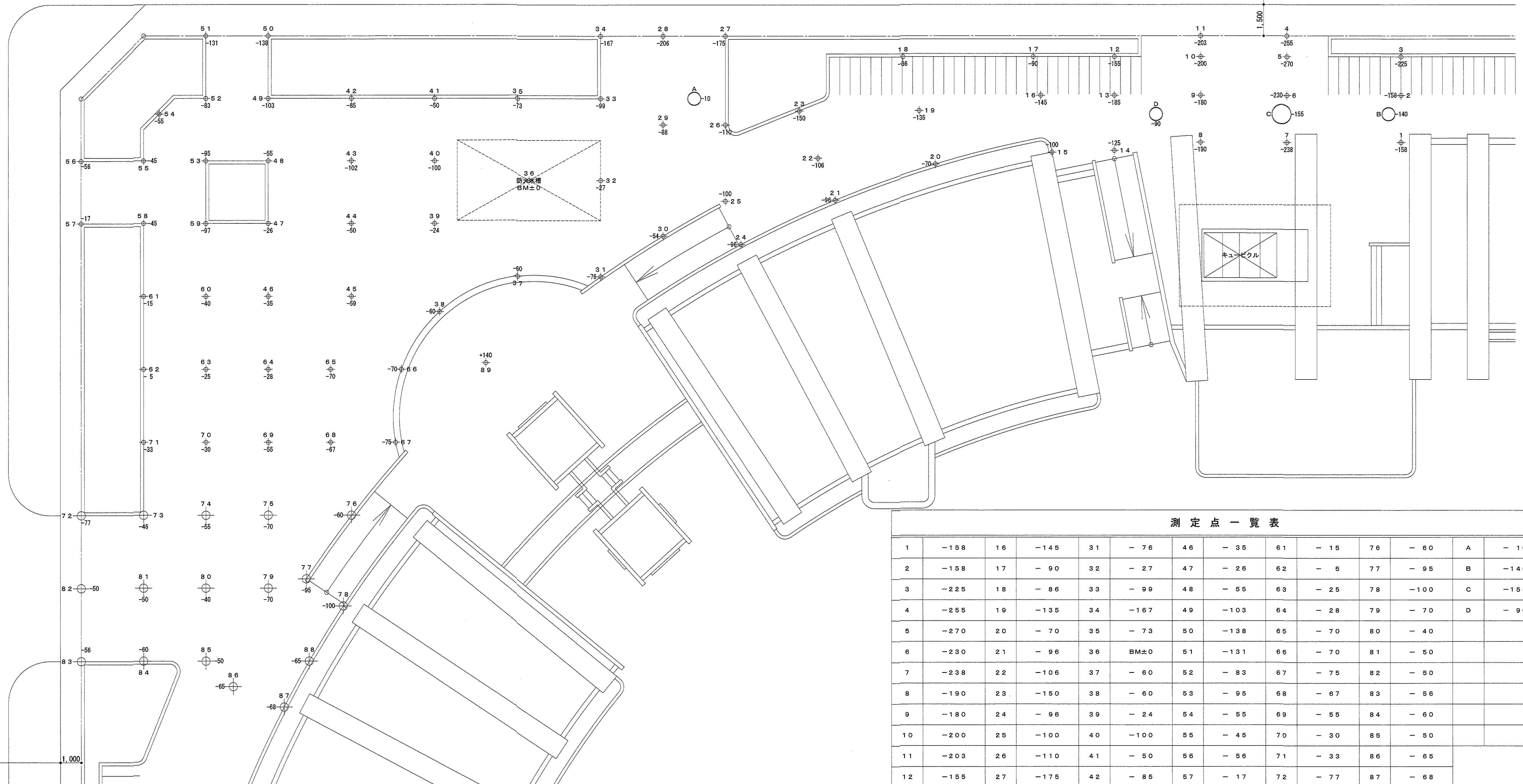
個数・場所	AW1 × 1 【管理棟】控室広縁	AW2 × 2 【管理棟】湯沸室、男子便所、女子便所	AW3 × 2 【管理棟】切符売場、改札	AW4 × 2 【管理棟】改札	AW5 × 2 【軽食・売店棟】厨房	AW6 × 1 【軽食・売店棟】控室
形式・寸法						
形式	連窓引き違いアルミサッシ	引き違いアルミサッシ	連窓引き違いアルミサッシ 上部ハメ殺し付	連窓引き違いアルミサッシ 上部ハメ殺し付	連窓引き違いアルミサッシ 網戸付	引き違いアルミサッシ 網戸付
材質・仕上	アルミ二次電解着色 見込 92 (マリオンカット 150)	アルミ二次電解着色 見込 92 (マリオンカット 150)	アルミ二次電解着色 見込 70	アルミ二次電解着色 見込 70	アルミ二次電解着色 見込 60	アルミ二次電解着色 見込 60
ガラス	普通透明ガラス t=3.0	型板ガラス t=4.0	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0
塗装			スチール枠 FL-1.6 OP塗装			
金物	アルミアングル、水切金物、メーカー標準金物一式	アルミアングル、水切金物、メーカー標準金物一式	アルミアングル、メーカー標準金物一式	アルミアングル、メーカー標準金物一式	クレセント、メーカー標準金物一式	クレセント、メーカー標準金物一式
備考					ガラス清掃 ガラスシール交換 建具廻りシール交換	ガラス清掃 ガラスシール交換 建具廻りシール交換
個数・場所	AW7 × 1 【軽食・売店棟】控室、倉庫	AW8 × 1 【軽食・売店棟】便所、倉庫	AW9 × 3 【屋外便所棟】男子、女子、身障者用便所	AW10 × 1 【屋外便所棟】女子便所	AW11 × 1 【屋外便所棟】男子便所	
形式・寸法						
形式	アルミはり出し窓 ハメ殺し付	アルミはり出し窓	引き違いアルミサッシ	連窓ハメ殺し窓	連窓ハメ殺し窓	
材質・仕上	アルミ二次電解着色 見込 60	アルミ二次電解着色 見込 60	アルミアルマイト 見込 70	アルミアルマイト 見込 70	アルミアルマイト 見込 70	
ガラス	型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=4.0	型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=2.2	
塗装						
金物	メーカー標準金物一式	メーカー標準金物一式	アルミアングル、水切金物、メーカー標準金物一式	アルミアングル、水切金物、メーカー標準金物一式	アルミアングル、水切金物、メーカー標準金物一式	
備考						
個数・場所	AG1 × 3 【軽食・売店棟】排気孔					
形式・寸法						
形式	アルミ製ガラリ 防虫網付					
材質・仕上	アルミアルマイト 見込 70					
ガラス						
塗装						
金物	水切金物、メーカー標準金物一式					
備考						

個数・場所	SS1 × 2 【ロッカー棟】女子、男子エントランス	SS2 × 2 【軽食・売店棟】カウンター部	SS3 × 1 【管理棟】切符売場	SS4 × 1 【機械室・倉庫棟】機械室	SS5 × 1 【機械室・倉庫棟】増築機械室			
形式・寸法								
形式	スチール製軽量電動シャッター	スチール製軽量手動シャッター	スチール製軽量バランスシャッター	スチール製軽量電動シャッター	スチール製軽量手動シャッター			
材質・仕上	スチール 見込 55	スチール 見込 55	スチール 見込 50	スチール 見込 55	スチール 見込 55			
ガラス								
塗装								
金物	ガイドレール、座板、まぐさ：ステンレス t=2.0、その他メーカー標準金物一式	ガイドレール：ステンレス t=2.0、その他メーカー標準金物一式	ガイドレール、座板、まぐさ：ステンレス t=2.0、その他メーカー標準金物一式	ガイドレール：ステンレス t=2.0、その他メーカー標準金物一式	ガイドレール：ステンレス t=2.0、その他メーカー標準金物一式			
備考	建具廻りシール交換	SOP塗装 レール清掃 建具廻りシール交換						
個数・場所	SD1 × 1 【管理棟】1階廊下	SD2 × 2 【管理棟】切符売場、改札	SD3 × 2 【管理棟】2階廊下、監視員控室	SD4 × 2 【管理棟】2階廊下、監視員控室	SD5 × 4 【管理棟】倉庫 【機械室・倉庫棟】機械室	SD6 × 1 【屋外便所棟】身障者用便所	SD7 × 1 【管理棟】医務室	SD8 × 1 【機械室・倉庫棟】機械室
形式・寸法								
形式	スチール製額付親子フラッシュ戸	スチール製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸	スチール製額・ガラリ付親子フラッシュ戸	スチール製額付片開きフラッシュ戸	スチール製ガラリ付面開きフラッシュ戸	スチール製ガラリ付ハンガー引戸	スチール製額・ガラリ付親子フラッシュ戸	スチール製片開きフラッシュ戸
材質・仕上	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100
ガラス	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	網入り型板ガラス t=6.8	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0
塗装	OP	OP	OP	OP	OP	焼付塗装	OP	OP
金物	ケースロック(外部面：シリンドー、内部：サムターン) フランス落し、PH、DC、スチール製番付	本締付モノロック(外部面：シリンドー、内部：サムターン) PH、DC、スチール製番付	モノロック(片面：シリンドー、片面：空) フランス落し、PH、DC、スチール製番付	モノロック(片面：シリンドー、片面：空) PH、DC、スチール製番付	本締付モノロック(片面：シリンドー、片面：サムターン) フランス落し、PH、DC、スチール製番付	錠錠、ハンガーレール、ステンレス製引棒	ケースロック(外部面：シリンドー、内部：サムターン) フランス落し、PH、DC、スチール製番付	錠錠、PH、DC、スチール製番付
備考								
個数・場所	SD9 × 1 【外部】築山ポンプ室	SD10 × 1 【外部】遊水地ポンプ室	SD11 × 1 【軽食・売店棟】厨房	SD12 × 2 【屋外便所棟】女子、男子便所	SD13 × 1 【機械室・倉庫棟】増築機械室			
形式・寸法								
形式	スチール製ガラリ付片開きフラッシュ戸	スチール製ガラリ付片開きフラッシュ戸	スチール製親子フラッシュ戸	スチール製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸	スチール製ガラリ付親子フラッシュ戸			
材質・仕上	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100	スチール 見込 100			
ガラス	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	普通透明ガラス t=3.0	網入り透明ガラス t=6.8	普通透明ガラス t=3.0			
塗装	OP	OP	OP	OP	OP			
金物	本締付モノロック(外部面：シリンドー、内部：サムターン) PH、DC、スチール製番付	本締付モノロック(外部面：シリンドー、内部：サムターン) PH、DC、スチール製番付	ケースロック(外部面：シリンドー、内部：サムターン) フランス落し、PH、DC、ステンレス製番付	本締付モノロック(外部面：シリンドー、内部：サムターン) PH、DC、スチール製番付	シリンドーロック、權玉、フランス落し、PH、DC、ガラリ防虫網(SUS)付、スチール製番付			
備考			SOP塗装 ガラス清掃 建具廻りシール交換					

個数・場所	KB1 × 1 【ロッカー棟】女子ロッカー室	KB2 × 1 【ロッカー棟】女子ロッカー室	TB1 × 1 【ロッカー棟】女子便所
形式・寸法			
形式	スイングフラッシュ戸付更衣ブース	スイングフラッシュ戸付更衣ブース	片開きフラッシュ戸トイレブース
材質・仕上	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40
ガラス			
塗装			
金物	自由丁番、グレピティヒンジ、脚金物	自由丁番、グレピティヒンジ、脚金物	ステンレス丁番、脚金物、アルミ笠木、帽子掛け戸当り金物、スライド表示錠(非常解錠付)、表示錠付握玉(非常解錠付)
備考	メラミン化粧合板 t=40欄付	メラミン化粧合板 t=40欄付	
個数・場所	TB2 × 1 【ロッカー棟】男子便所	TB3 × 1 【管理棟】男子便所	TB4 × 1 【管理棟】女子便所
形式・寸法			
形式	片開きフラッシュ戸トイレブース	片開きフラッシュ戸トイレブース	片開きフラッシュ戸トイレブース
材質・仕上	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40
ガラス			
塗装			
金物	ステンレス丁番、脚金物、アルミ笠木、帽子掛け戸当り金物、スライド表示錠(非常解錠付)、表示錠付握玉(非常解錠付)	ステンレス丁番、脚金物、アルミ笠木、帽子掛け戸当り金物、スライド表示錠(非常解錠付)	ステンレス丁番、脚金物、アルミ笠木、帽子掛け戸当り金物、スライド表示錠(非常解錠付)、握玉
備考		ハッチング部分撤去・処分	ハッチング部分撤去・処分(1箇所のみ)
個数・場所	TB5 × 1 【屋外便所棟】女子便所	TB6 × 1 【屋外便所棟】女子便所	TB7 × 1 【屋外便所棟】男子便所
形式・寸法			
形式	片開きフラッシュ戸トイレブース	片開きフラッシュ戸トイレブース	片開きフラッシュ戸トイレブース
材質・仕上	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40
ガラス			
塗装			
金物	ステンレス丁番、脚金物、アルミ笠木、帽子掛け戸当り金物、スライド表示錠(非常解錠付)、握玉	ステンレス丁番、脚金物、アルミ笠木、帽子掛け戸当り金物、スライド表示錠(非常解錠付)、表示錠付握玉(非常解錠付)	ステンレス丁番、脚金物、アルミ笠木、帽子掛け戸当り金物、スライド表示錠(非常解錠付)、表示錠付握玉(非常解錠付)
備考			

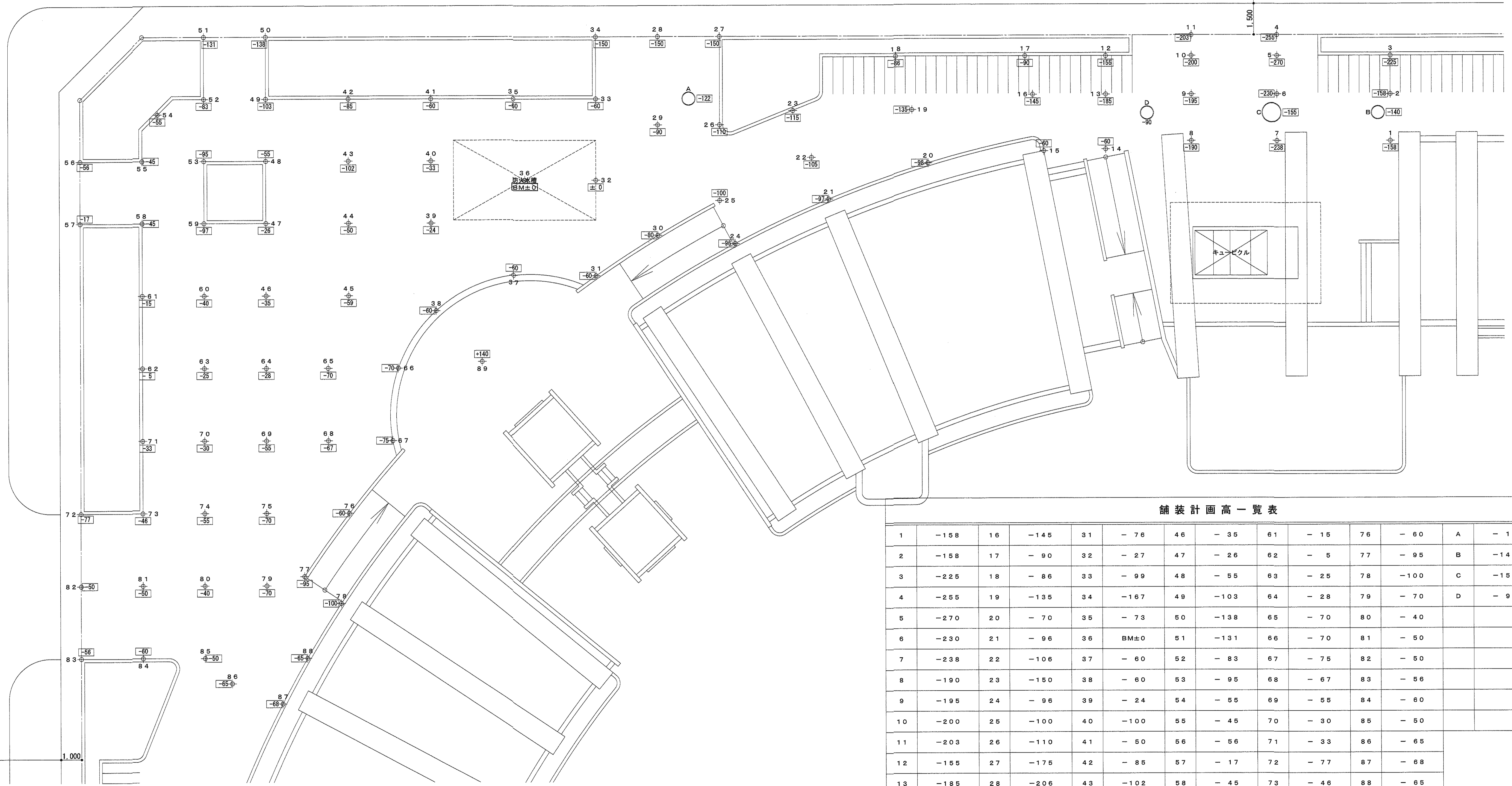
個数・場所	WD 1 × 2 【管理棟】事務室、医務室	WD 2 × 2 【管理棟】倉庫 1、2	WD 3 × 1 【管理棟】控室	WD 4 × 2 【管理棟】男子、女子便所	WD 5 × 1 【管理棟】医務室便所	WD 6 × 1 【管理棟】監視室	WD 7 × 2 【管理棟】監視員控室：男子、女子更衣室	WD 8 × 2 【ロッカー棟】女子、男子便所
形式・寸法								
形式	木製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸	木製ガラリ付親子フラッシュ戸	木製ガラリ付片開きフラッシュ戸	木製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸	木製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸	木製額・ガラリ付親子フラッシュ戸	木製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸	木製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸
材質・仕上	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 210
ガラス	型板ガラス t=4.0			型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=4.0	型板ガラス t=4.0	型板ガラス t=2.2
塗装	OP	OP	OP	OP	OP	OP	OP	OP
金物	モノロック(片面：シリンドラー、片面：サムターン) 丁番、DC	モノロック(片面：シリンドラー、片面：サムターン) フランス差し、丁番	モノロック(片面：シリンドラー、片面：サムターン) 丁番、戸当り	押板、取手、丁番、DC、木製巻取り	表示錠(片面：非常解放装置、片面：サムターン) 丁番、戸当り	モノロック(片面：シリンドラー、片面：空) フランス差し、丁番、DC、木製巻取り	モノロック(片面：押ボタン、片面：空) フランス差し、丁番、DC	押板、取手、丁番、DC
備考								
個数・場所	WD 9 × 1 【軽食・売店棟】控室	WD 10 × 1 【軽食・売店棟】カウンター部入口	WD 11 × 1 【軽食・売店棟】倉庫	WD 12 × 1 【軽食・売店棟】便所	WD 13 × 1 【軽食・売店棟】厨房吊戸棚	WD 14 × 1 【管理棟】事務室	WD 15 × 18 【ロッカー棟】女子、男子シャワー室	WD 16 × 2 【ロッカー棟】女子、男子シャワー室
形式・寸法								
形式	木製額・ガラリ付片開き扉戸	木製額・パネル付片開き扉戸	木製ガラリ付片開きフラッシュ戸	木製額・ガラリ付片開きフラッシュ戸	木製両開きフラッシュ戸	木製額・ガラリ付親子フラッシュ戸	木製両開きフラッシュ戸	木製片開きフラッシュ戸
材質・仕上	木製 見込 170	木製 見込 170	木製 見込 100	木製 見込 100	メラミン化粧合板貼 見込 50	合板 t=4.0 見込 109	メラミン化粧合板貼 t=40	メラミン化粧合板貼 t=40
ガラス	型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=2.2	型板ガラス t=2.2		型板ガラス t=4.0		
塗装	OP	OP	OP	OP		OP		
金物	本錠錠(片面：シリンドラー、片面：サムターン) 押板、丁番、DC、ステンレス巻取り	押板、丁番、DC、ステンレス巻取り	空錠、丁番、DC	表示錠(片面：非常解放装置、片面：サムターン) 丁番、ステンレス巻取り	ローラーキャッチ、取手	モノロック(片面：シリンドラー、片面：空) フランス差し、丁番	自由丁番	丁番
備考	E P-G 塗替 ガラス清掃	E P-G 塗替 ガラス清掃	E P-G 塗替		水ぶき清掃		撤去・処分	撤去・処分
個数・場所	WD 17 × 1 【管理棟】医務室物入	WD 18 × 1 【管理棟】医務室			F 1 × 1 【管理棟】控室押入		S 1 × 1 【管理棟】控室	
形式・寸法								
形式	木製両開きフラッシュ戸	木製額付親子フラッシュ戸			木製引き違い戸換		木製引き違い障子	
材質・仕上	合板 t=4.0 見込 109	合板 t=4.0 見込 109			片面・新鳥の子、片面：裏花紙		裏花紙	
ガラス		型板ガラス t=4.0						
塗装	OP	OP						
金物	取手、丁番、戸当り	モノロック(片面：シリンドラー、片面：空) フランス差し、丁番			引手		彫り込み引手	
備考								

個数・場所	(KB/A) × 1 【ロッカー棟】女子ロッカー室	(KB/B) × 1 【ロッカー棟】女子ロッカー室	(KB/C) × 1 【ロッカー棟】男子ロッカー室
形式・寸法			
形式	フラッシュ戸付更衣ブース (常時閉鎖式)	フラッシュ戸付更衣ブース (常時閉鎖式)	障害者等更衣ブース
材質・仕上	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40	メラミン化粧合板 見込 40
ガラス			
塗装			
金物	グレビティヒンジ、ステンレス脚金物、ステンレス笠木、戸当り帽子掛け、戸当り金具、ツمام金物	グレビティヒンジ、ステンレス脚金物、ステンレス笠木、戸当り帽子掛け、戸当り金具、ツمام金物、ステンレスカーテンレール (S) L=1,000	ステンレス笠木、ステンレスカーテンレール (S) L=1,000
備考	メラミン系フェノール樹脂板 t=16mm付	メラミン系フェノール樹脂板 t=16mm付、ビニールカーテン H=1,800	メラミン系フェノール樹脂板 t=16mm付、ビニールカーテン H=1,800
個数・場所	(SB/A) × 2 【ロッカー棟】女子・男子シャワー室	(SB/B) × 2 【ロッカー棟】女子・男子シャワー室	(SB/C) × 2 【ロッカー棟】女子・男子シャワー室
形式・寸法			
形式	シャワーブース	シャワーブース	シャワーブース
材質・仕上	メラミン系フェノール樹脂板 見込 13	メラミン系フェノール樹脂板 見込 13	メラミン系フェノール樹脂板 見込 13
ガラス			
塗装			
金物	グレビティヒンジ、ステンレス脚金物、戸当り帽子掛け、戸当り金具、ツمام金物、ステンレスカーテンレール (S) L=730	グレビティヒンジ、ステンレス脚金物、戸当り帽子掛け、戸当り金具、ツمام金物	ステンレス脚金物、ステンレスカーテンレール (S) L=730
備考	メラミン系フェノール樹脂板 t=16mm付、ビニールカーテン H=1,500	メラミン系フェノール樹脂板 t=18mm付	メラミン系フェノール樹脂板 t=16mm付、ビニールカーテン H=1,500
個数・場所			
形式・寸法			
形式			
材質・仕上			
ガラス			
塗装			
金物			
備考			



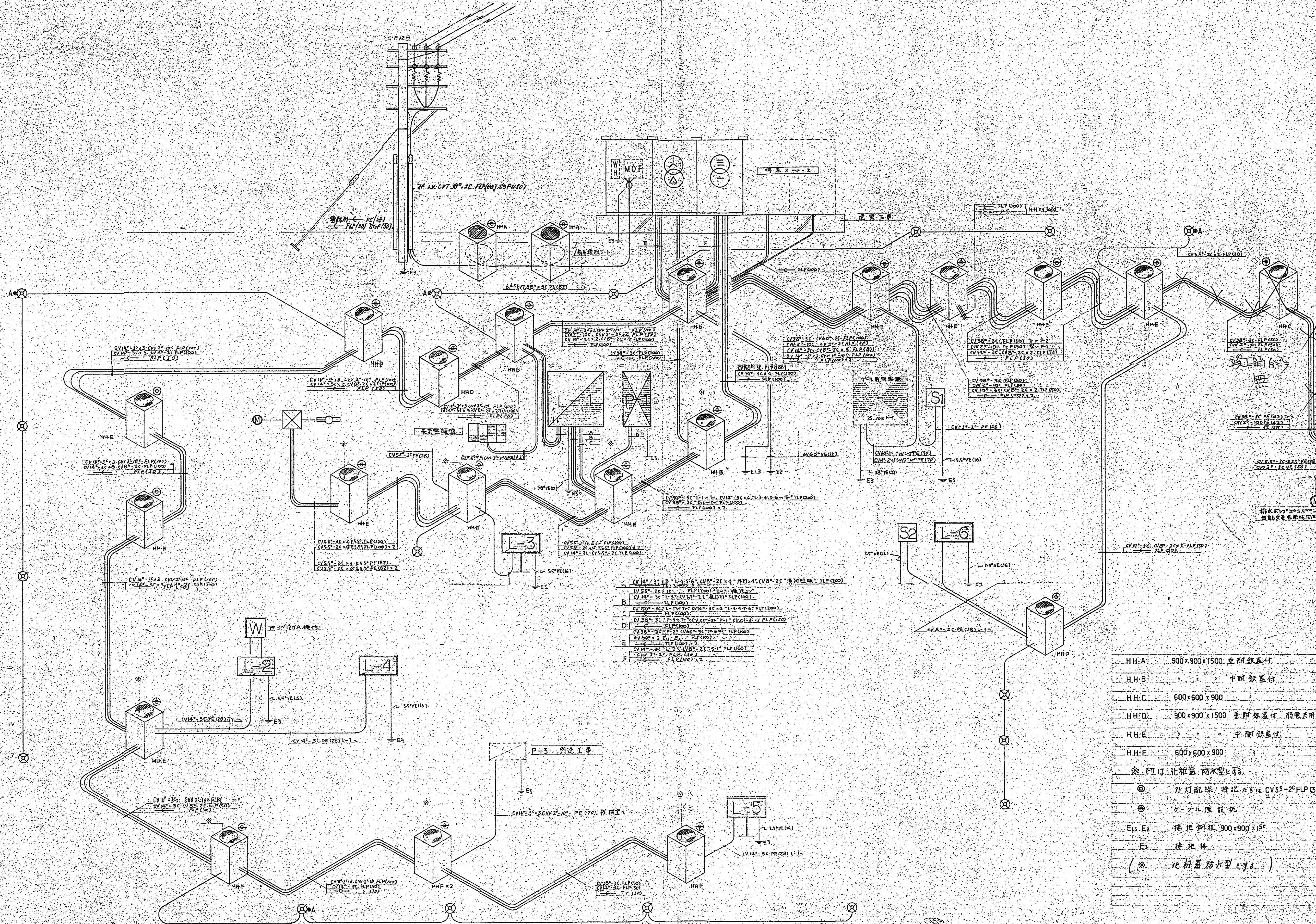
測定点一覧表

1	-158	16	-145	31	-76	46	-35	61	-15	76	-60	A	-10
2	-158	17	-90	32	-27	47	-26	62	-5	77	-95	B	-140
3	-225	18	-86	33	-99	48	-55	63	-25	78	-100	C	-155
4	-255	19	-135	34	-167	49	-103	64	-28	79	-70	D	-90
5	-270	20	-70	35	-73	50	-138	65	-70	80	-40		
6	-230	21	-96	36	BM±0	51	-131	66	-70	81	-50		
7	-238	22	-106	37	-60	52	-83	67	-75	82	-50		
8	-190	23	-150	38	-60	53	-95	68	-67	83	-56		
9	-180	24	-96	39	-24	54	-55	69	-55	84	-60		
10	-200	25	-100	40	-100	55	-45	70	-30	85	-50		
11	-203	26	-110	41	-50	56	-56	71	-33	86	-65		
12	-155	27	-175	42	-85	57	-17	72	-77	87	-68		
13	-185	28	-206	43	-102	58	-45	73	-46	88	-65		
14	-125	29	-88	44	-50	59	-97	74	-55	89	+140		
15	-100	30	-54	45	-59	60	-40	75	-70				



舗装計画高一覧表

1	-158	16	-145	31	-76	46	-35	61	-15	76	-60	A	-10
2	-158	17	-90	32	-27	47	-26	62	-5	77	-95	B	-140
3	-225	18	-86	33	-99	48	-55	63	-25	78	-100	C	-155
4	-255	19	-135	34	-167	49	-103	64	-28	79	-70	D	-90
5	-270	20	-70	35	-73	50	-138	65	-70	80	-40		
6	-230	21	-96	36	BM±0	51	-131	66	-70	81	-50		
7	-238	22	-106	37	-60	52	-83	67	-75	82	-50		
8	-190	23	-150	38	-60	53	-95	68	-67	83	-56		
9	-195	24	-96	39	-24	54	-55	69	-55	84	-60		
10	-200	25	-100	40	-100	55	-45	70	-30	85	-50		
11	-203	26	-110	41	-50	56	-56	71	-33	86	-65		
12	-155	27	-175	42	-85	57	-17	72	-77	87	-68		
13	-185	28	-206	43	-102	58	-45	73	-46	88	-65		
14	-125	29	-88	44	-50	59	-97	74	-55	89	+140		
15	-100	30	-54	45	-59	60	-40	75	-70				



A	CV14-3C CV14-2C PE (100)
B	CV14-3C CV14-2C PE (100)
C	CV14-3C CV14-2C PE (100)
D	CV14-3C CV14-2C PE (100)
E	CV14-3C CV14-2C PE (100)
F	CV14-3C CV14-2C PE (100)

HH-A	900×900×1500 中耐鉄蓋付
HH-B	中耐鉄蓋付
HH-C	600×600×900
HH-D	900×900×1500 中耐鉄蓋付、弱電用ケーブル用
HH-E	中耐鉄蓋付
HH-F	600×600×900

※印付化粧蓋、防水型仕様

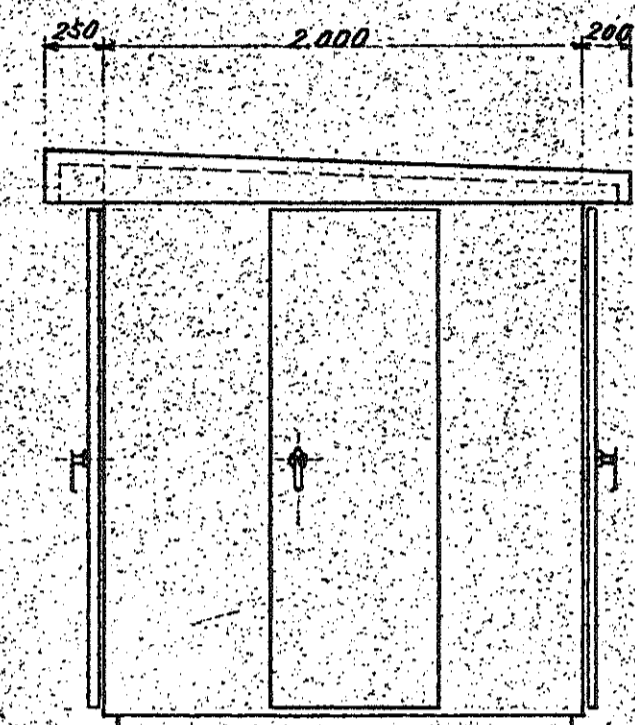
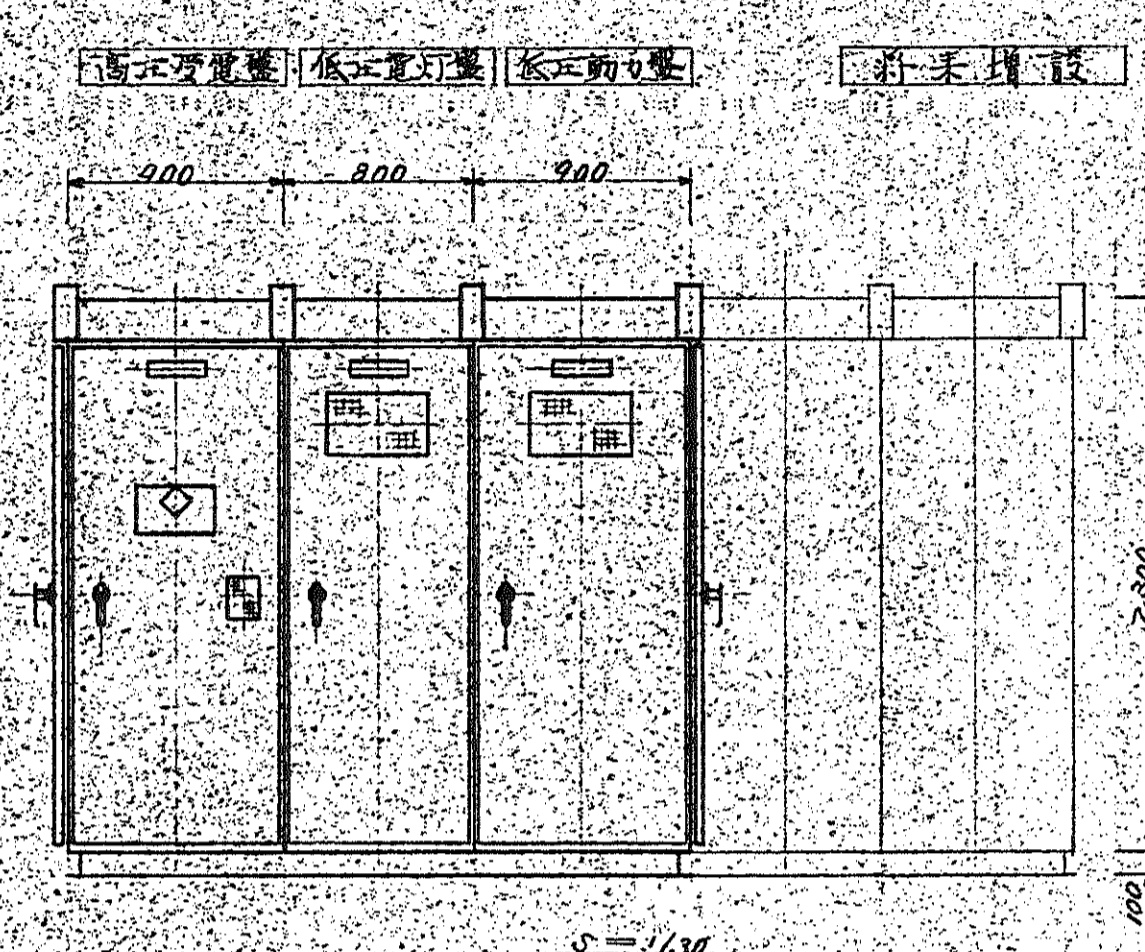
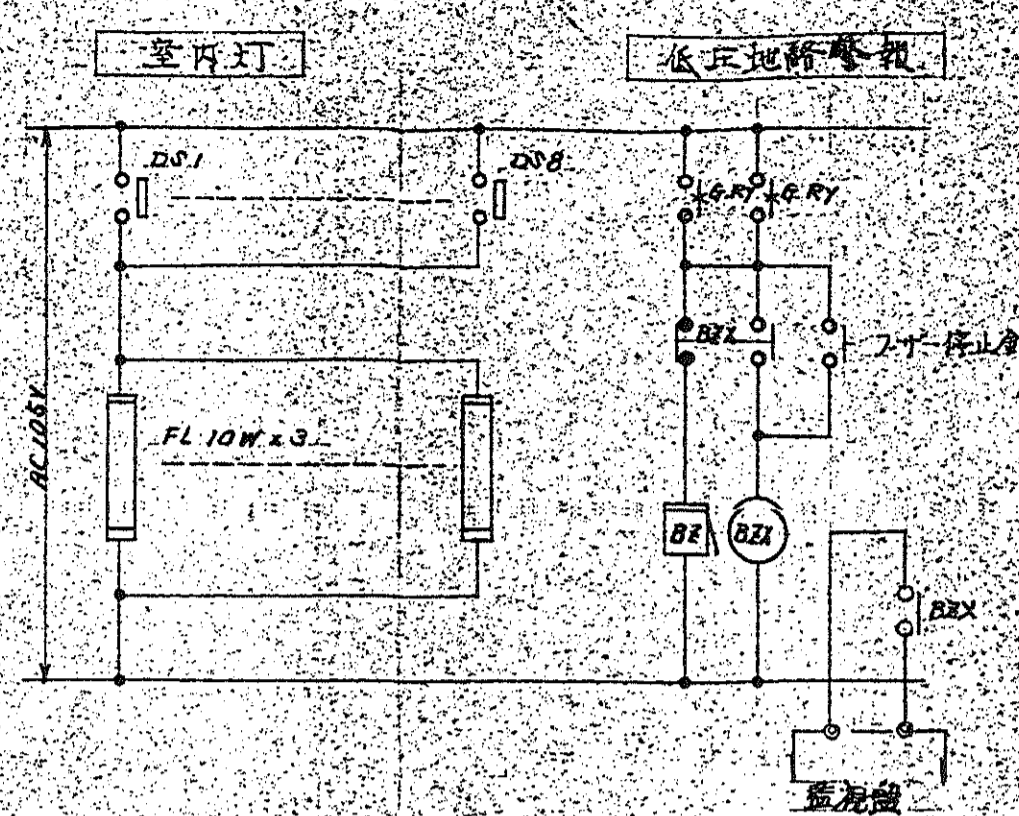
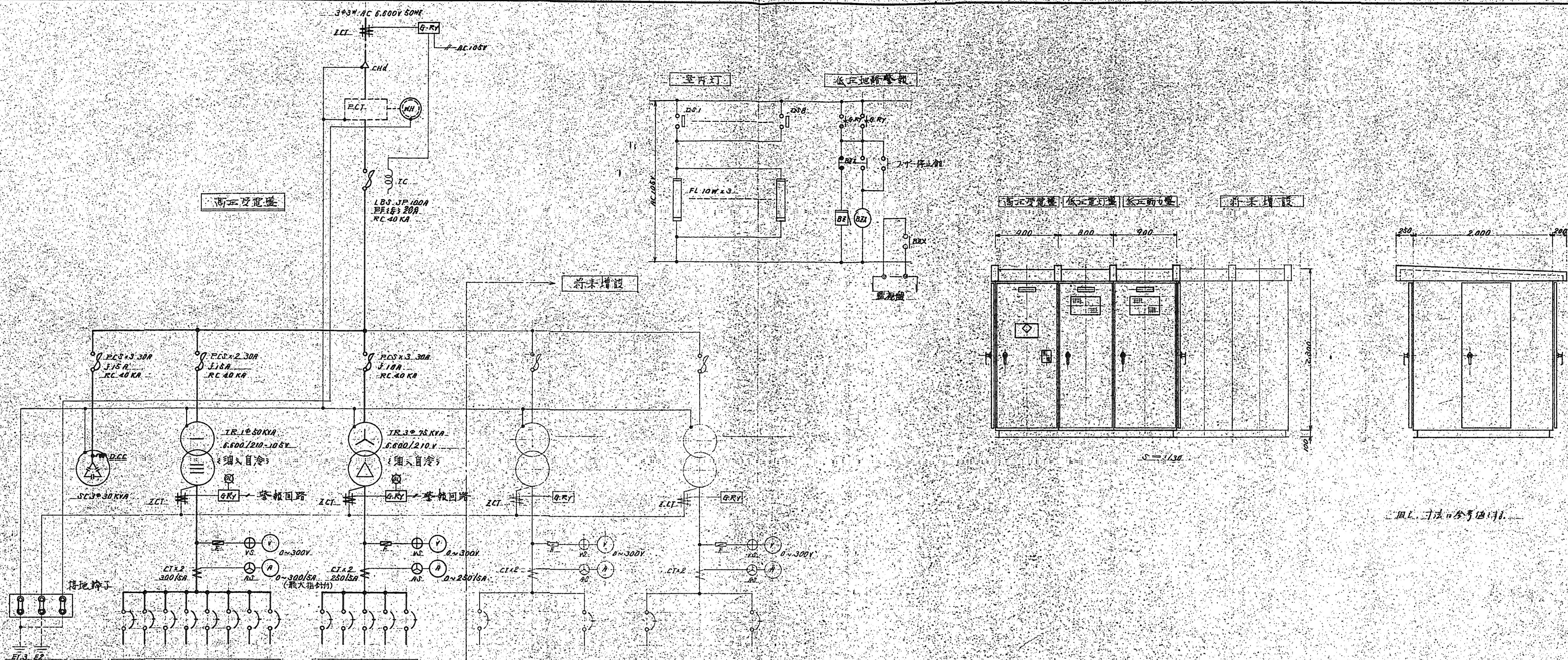
⊙ 外灯配線、特記有れば CV35-2C FLP (50) とする

⊙ ケーブル用鉄板

E1, E2 接地鋼板 900×900×15

E3 接地棒

(※ 化粧蓋防水型仕様)



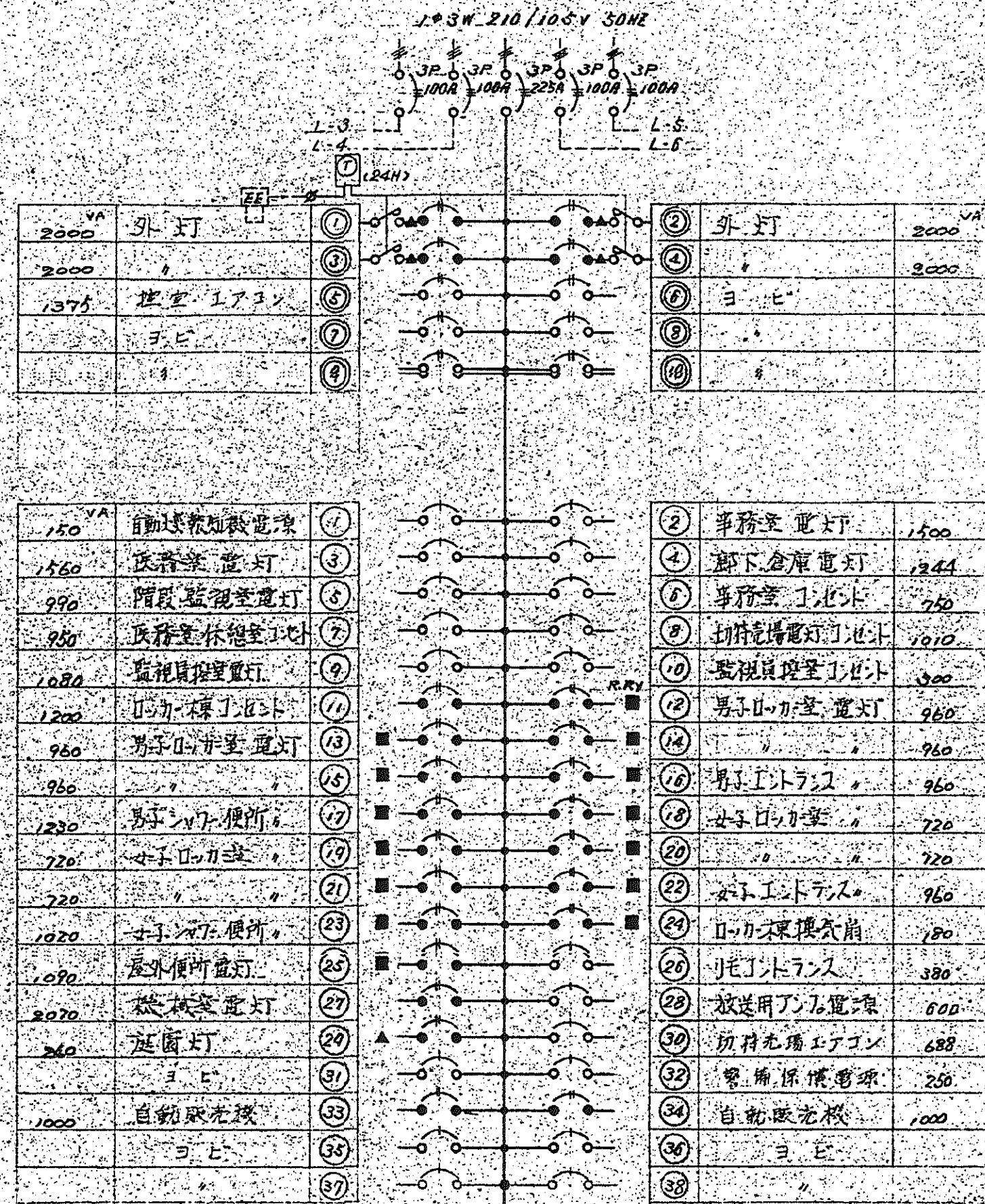
回路番号	負荷名称	容量	電圧	電流	電圧降下	電圧調整	電圧調整	電圧調整	電圧調整
1	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
2	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
3	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
4	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
5	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
6	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
7	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
8	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V

回路番号	負荷名称	容量	電圧	電流	電圧降下	電圧調整	電圧調整	電圧調整	電圧調整
9	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
10	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
11	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
12	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
13	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
14	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
15	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
16	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
17	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V
18	照明	1000W	100V	10A	0.1V	100V	100V	100V	100V

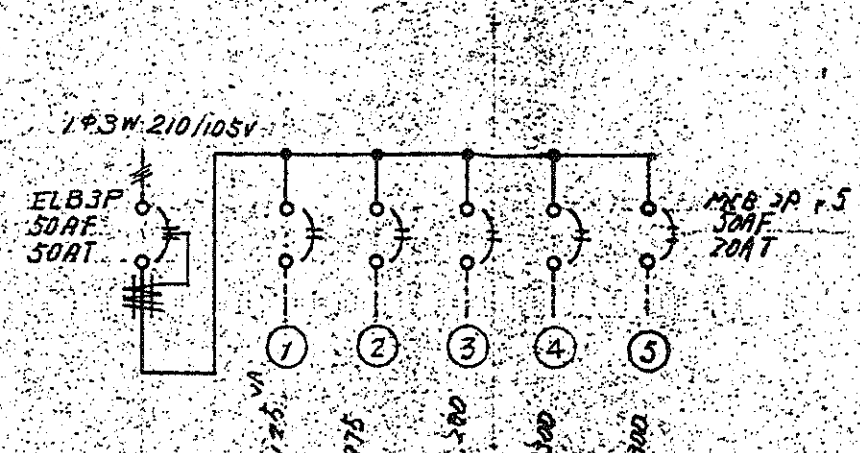
計 45,545 VA

計 66,802 VA

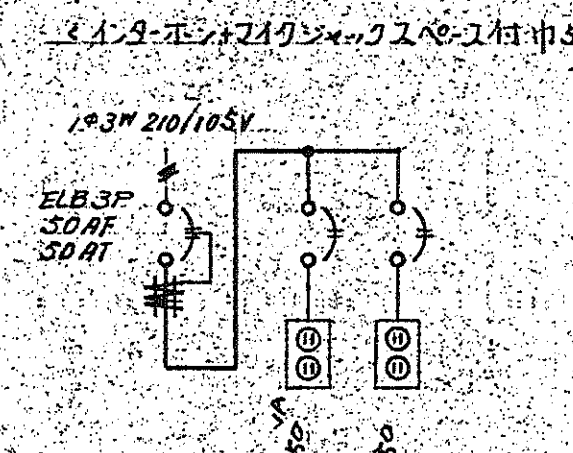
L-1



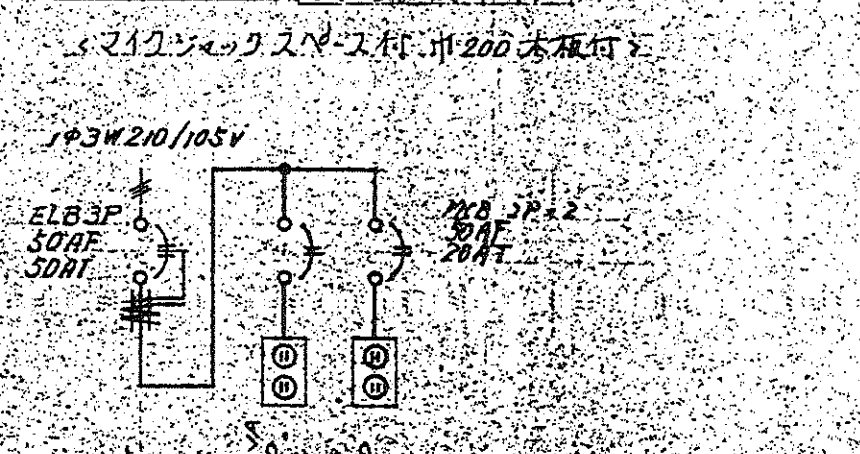
L-2



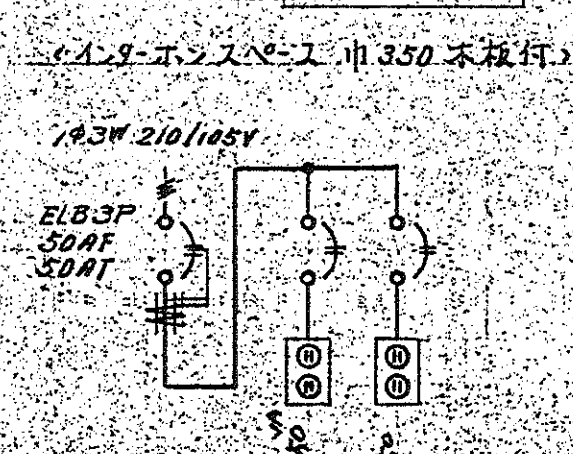
L-5



L-3

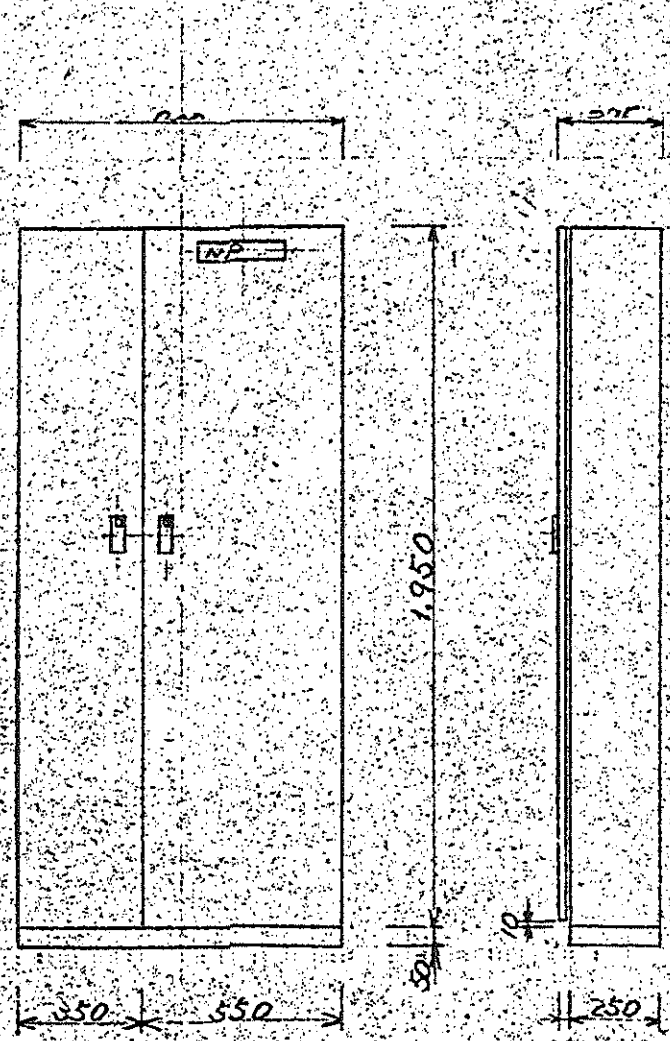


L-6

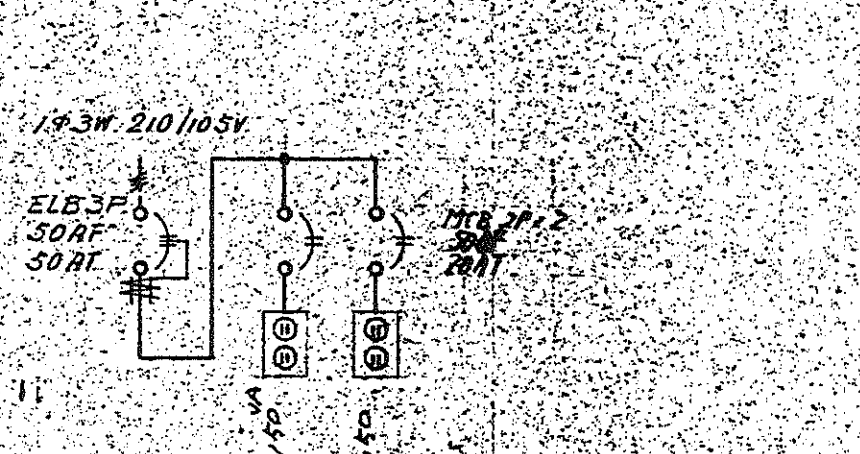


● ELB 2P50AF
○ MCB 2P50AF
○ MCB 1P50AF
▲ R-RY 2P
■ R-RY 1P

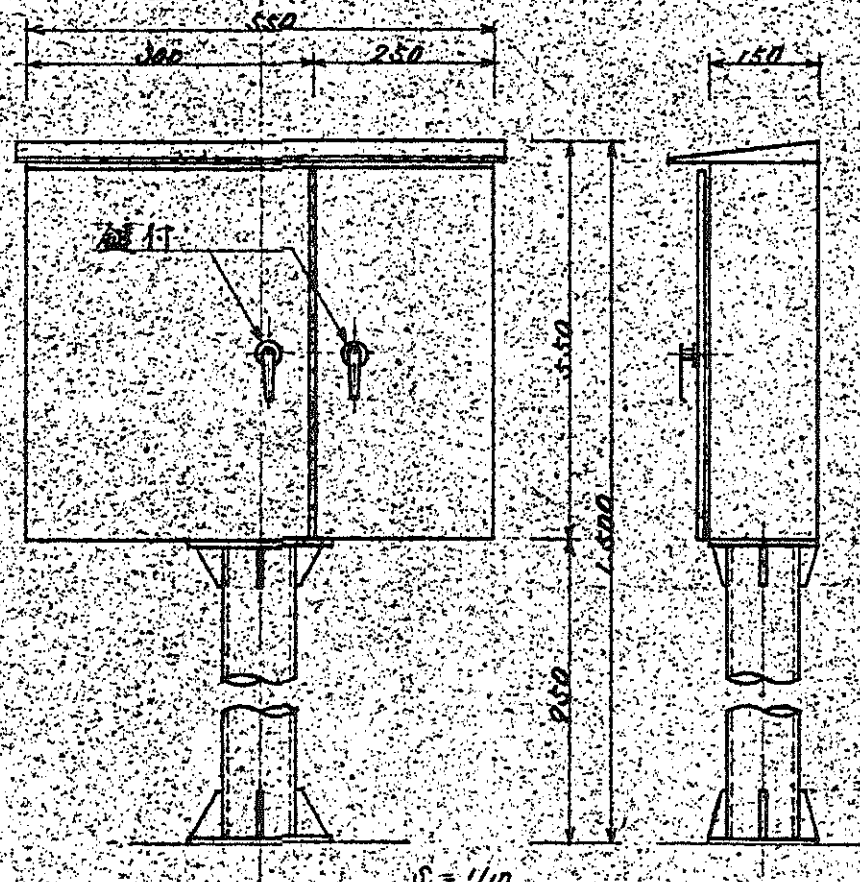
L-1 [屋内自立形]



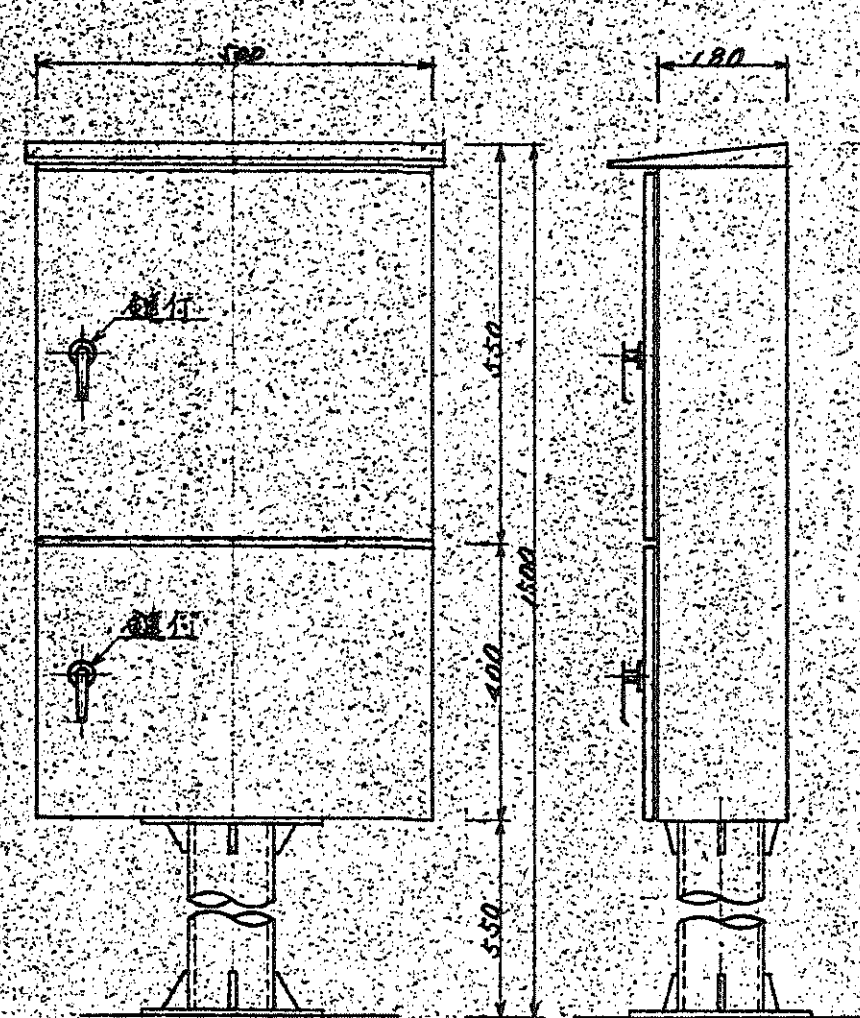
L-4



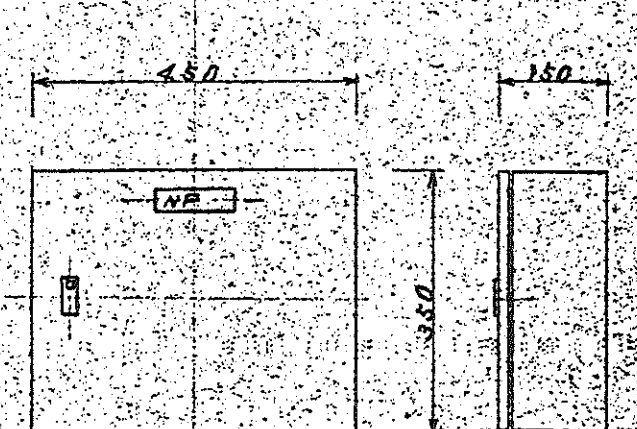
L-3 [屋外自立形]



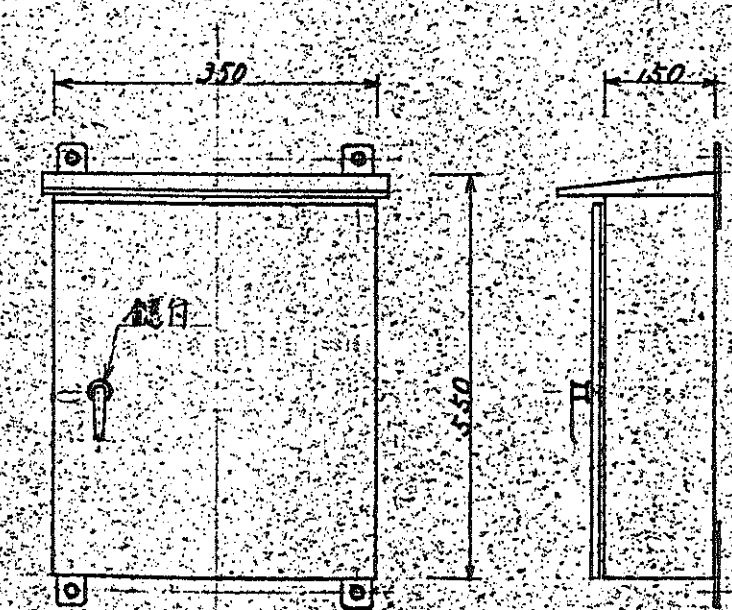
L-5 [屋外自立形]



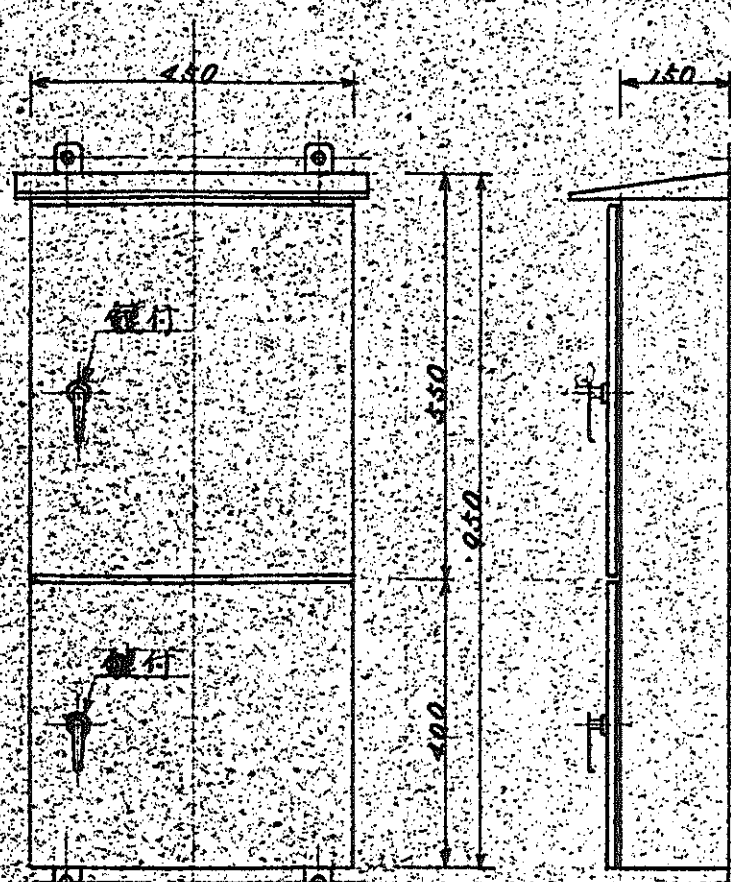
L-2 [室内壁掛形]



L-4 [屋外壁掛形]

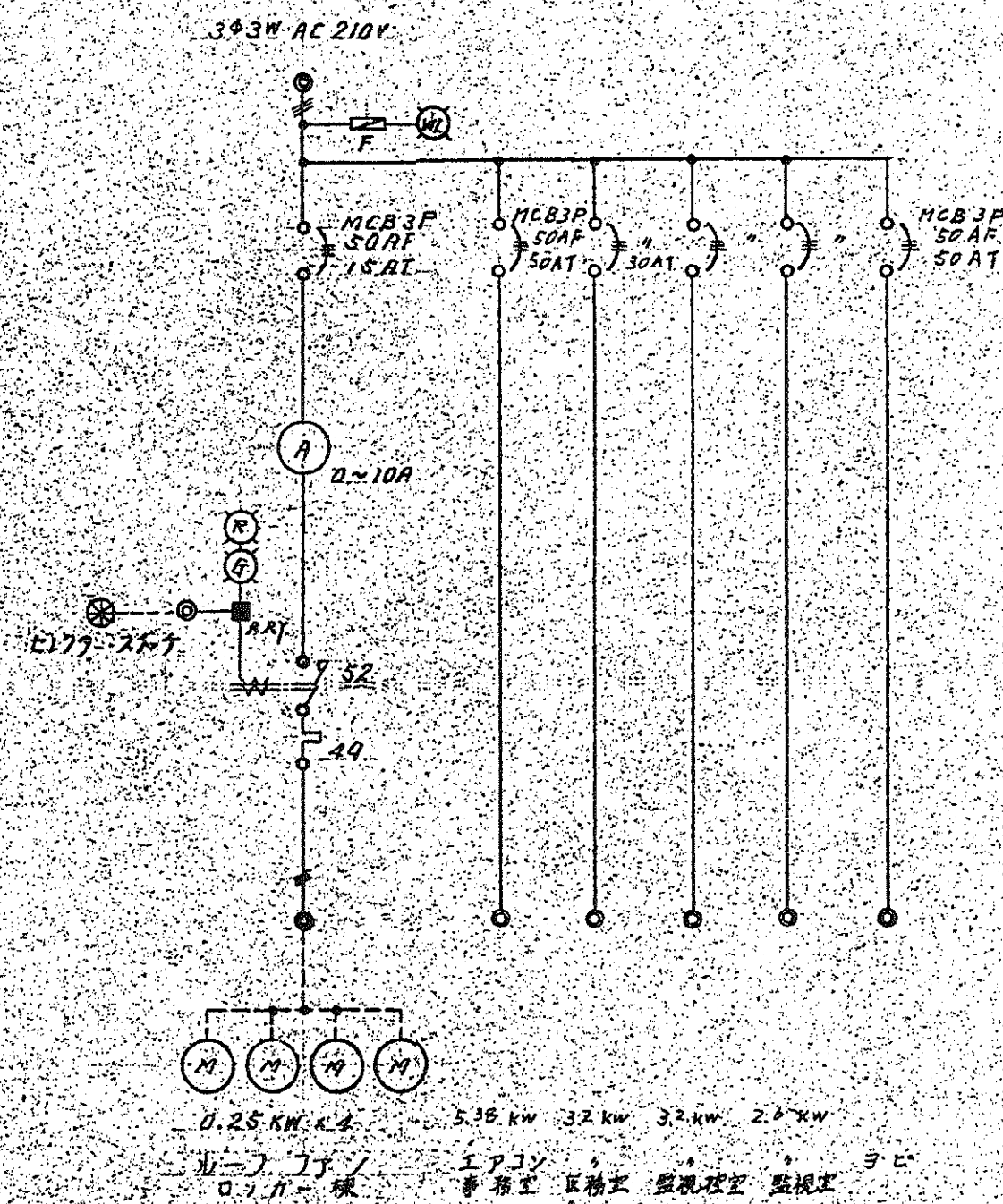


L-6 [屋外壁掛形]

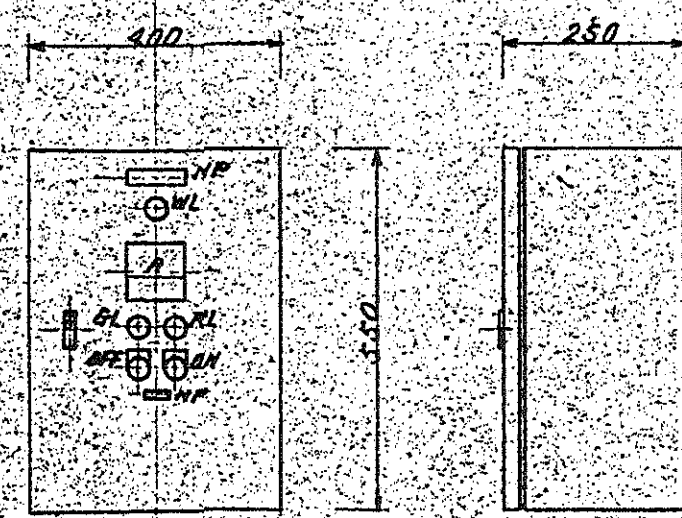


(注) 盤寸法は全て参考寸法とする。

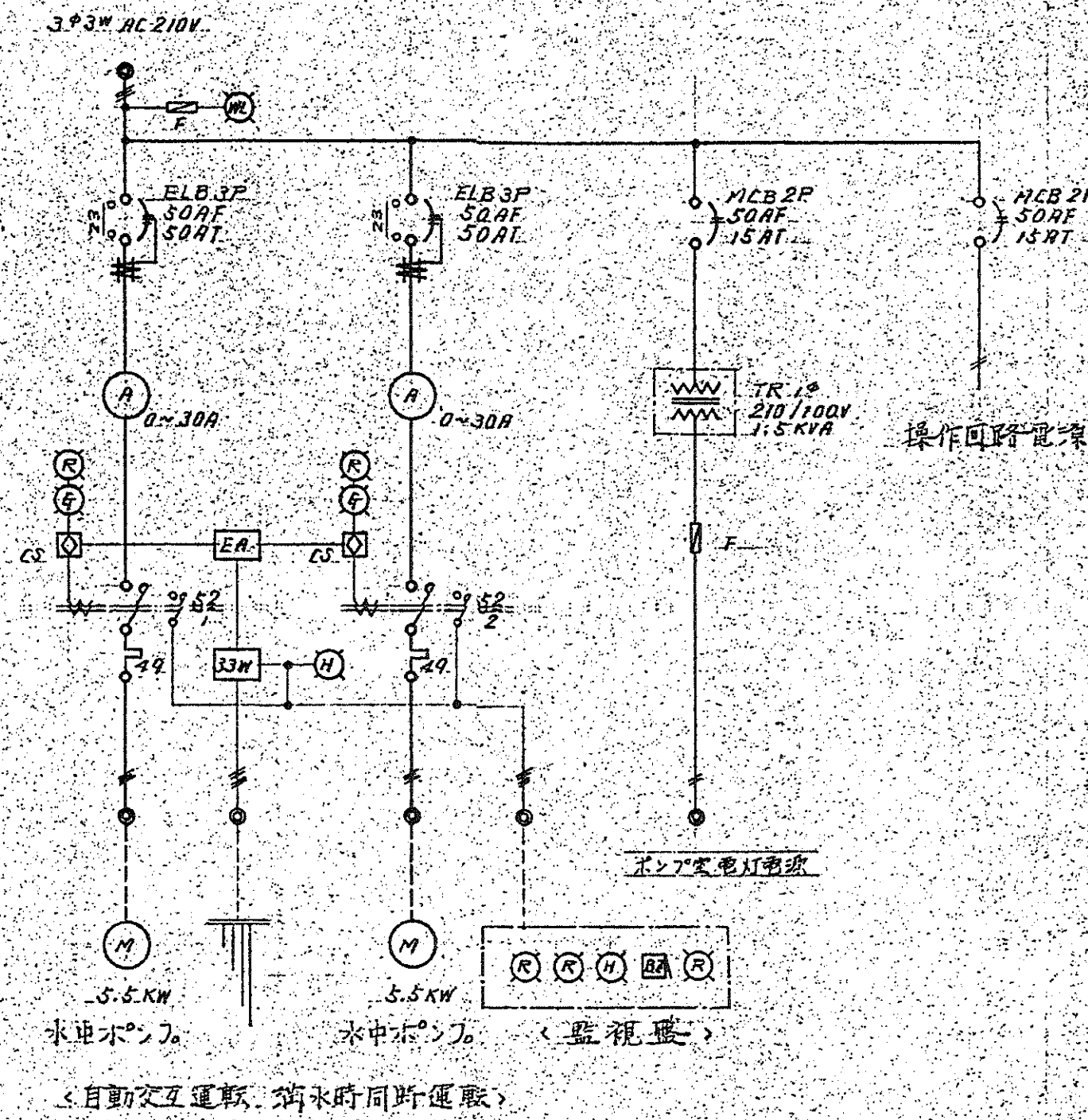
P-1 壁掛露出



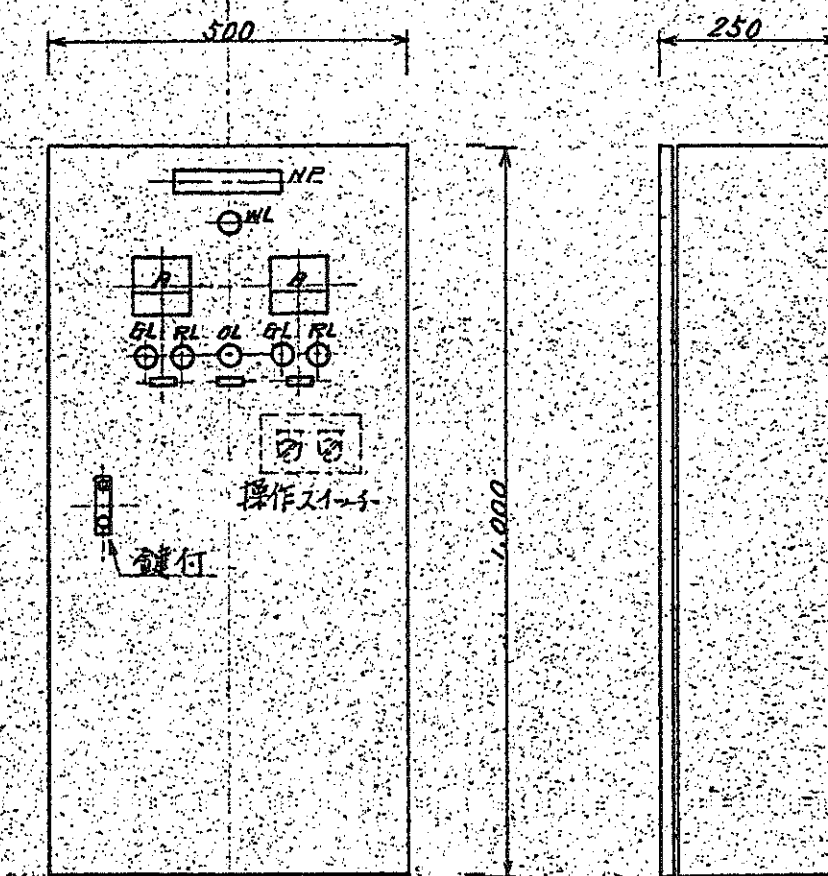
P-1



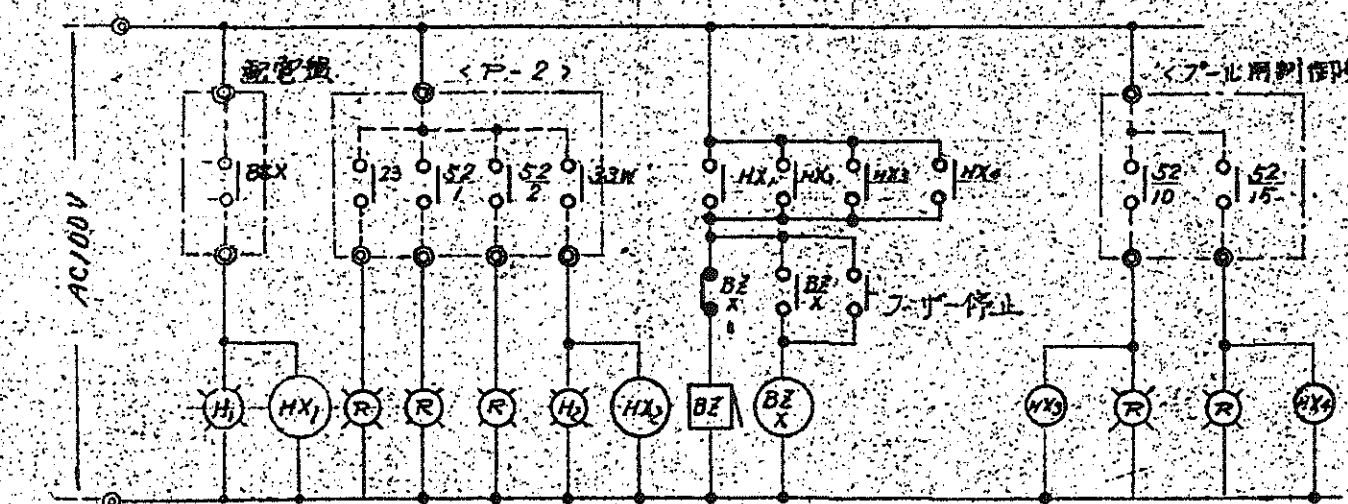
P-2 壁掛露出



P-2



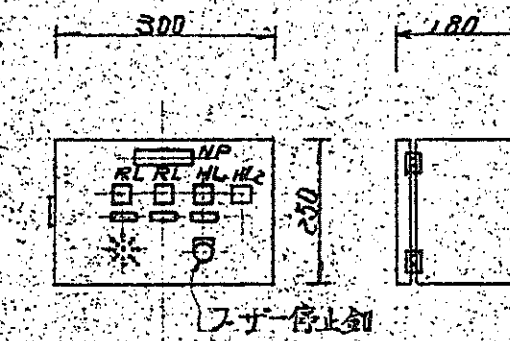
監視盤 壁掛露出

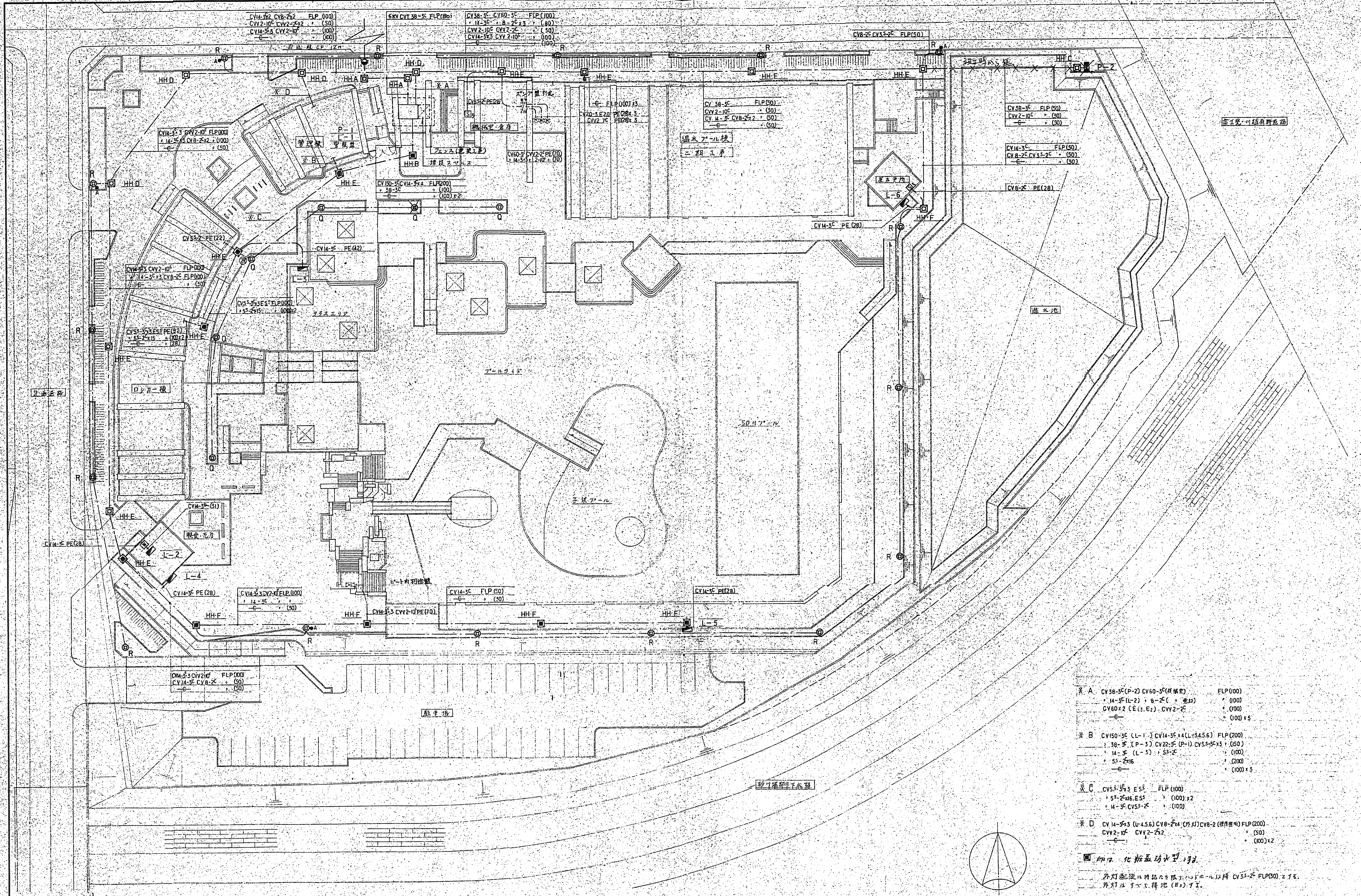


各元閉閉器

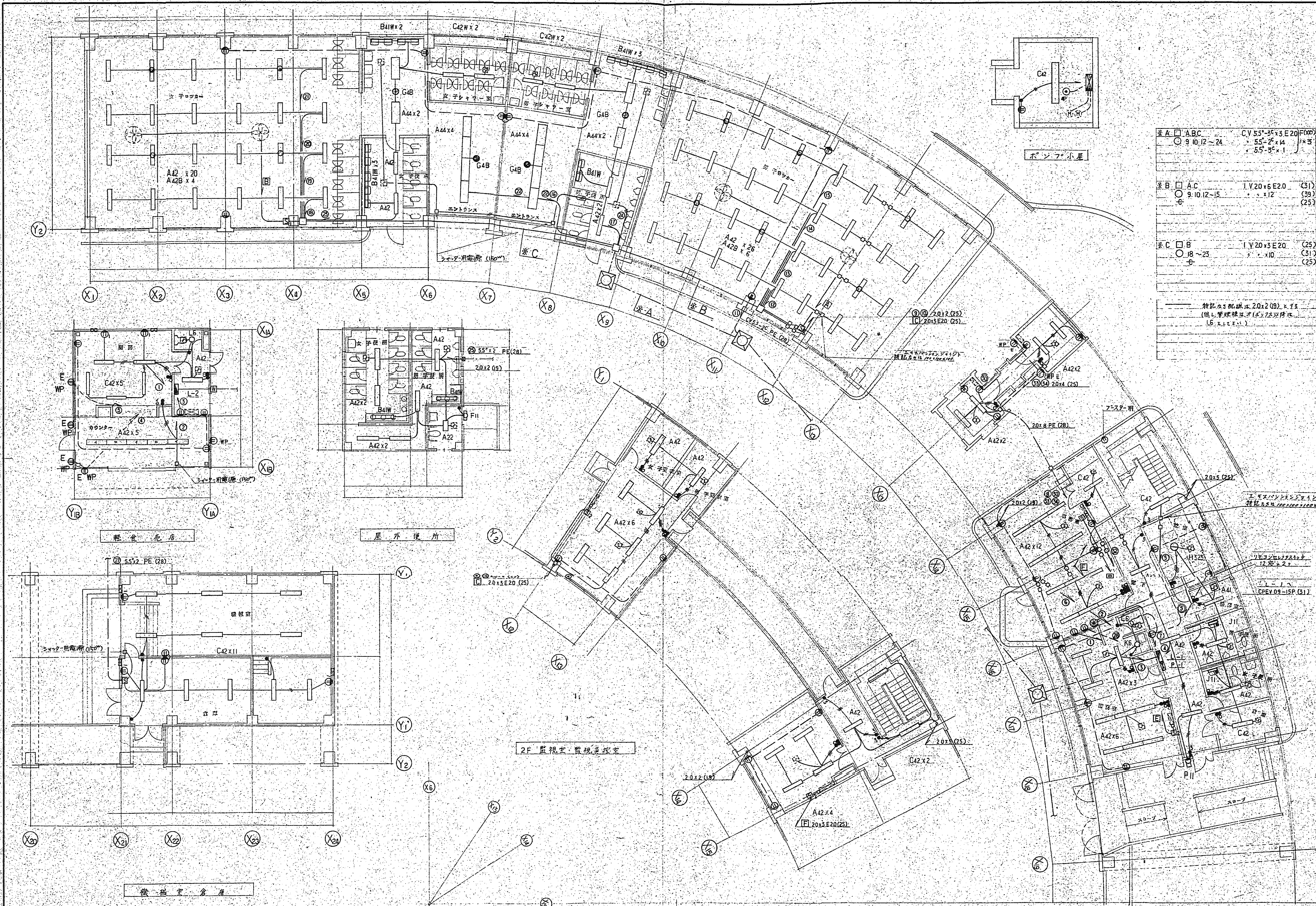
S1	MCB 3P 50AF 15AT	鉄箱入	ロック-操ハ-ファン
S2	ELB 3P 50AF 50AT	ハイロ配電盤 プレ-付	管理棟エ-2F
S3	MCB 2P 50AF 20AT	鉄箱入	機械室層外使用

監視盤





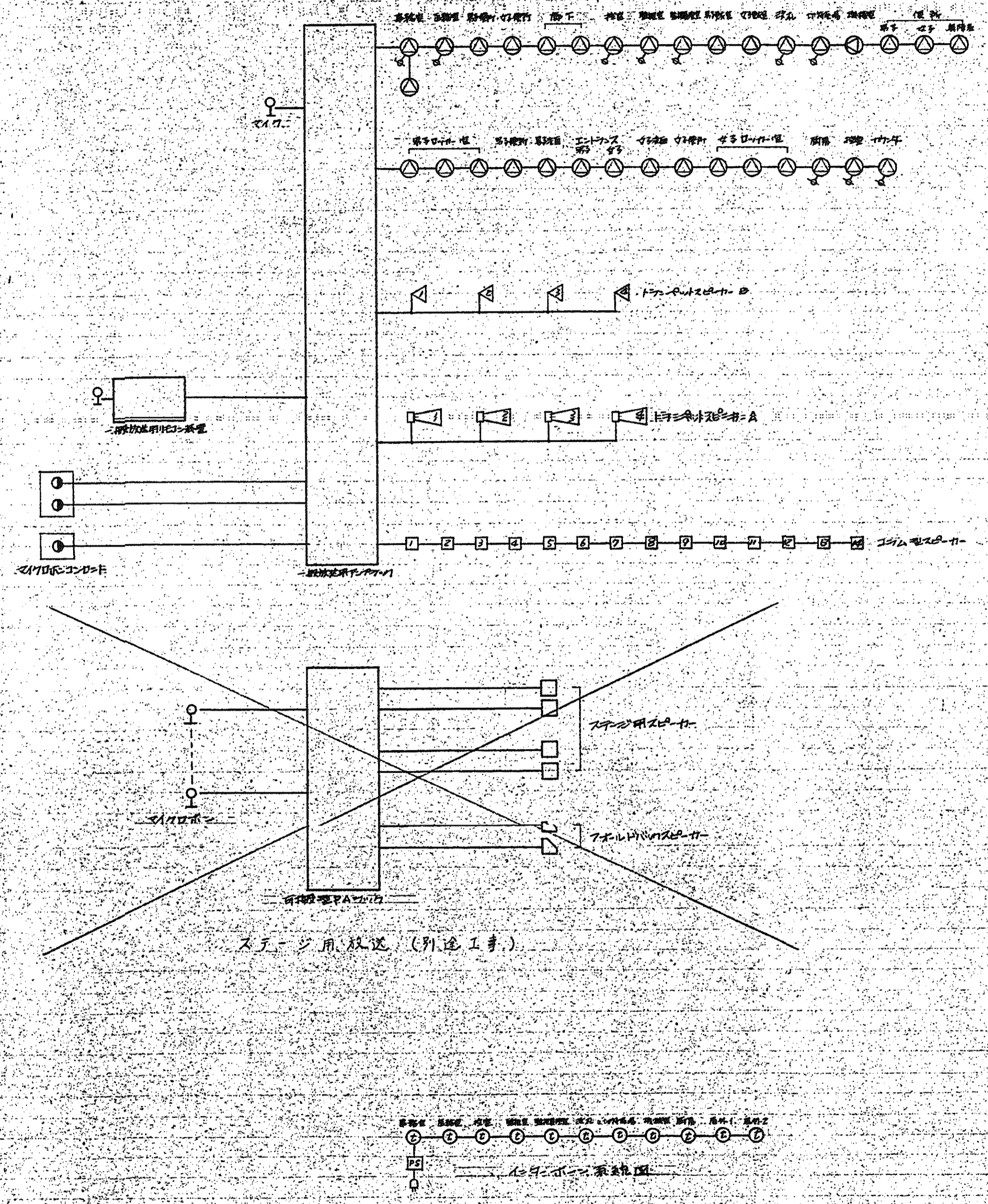
- * A CV38-3C(P-2) CV60-3C(規格) FLP(000)
 - ・ 14-3C(L-2) ; 8-2C() 電球 (50)
 - CV60x2 (E1, E2) ; CV2-2C (100) x 5
 - * B CV150-3C (L-1) CV14-3C x 4(L-3A5.6) FLP(200)
 - ・ 38-3C (P-3) CV22-3C (P-1) CV55-3C x 3 (50)
 - ・ 14-3C (L-3) ; 55-2C (100)
 - ・ 50-2x16 (200)
 - ・ (100) x 5
 - * C CV55-3C E5 FLP(100)
 - ・ 55-2x16, E5 (100) x 2
 - ・ 14-3C CV55-2C (100)
 - * D CV14-3C(L-4.5.6) CV8-2C(L-1)(CV8-2(規格)) FLP(200)
 - ・ CV2-10C CV2-2C (50)
 - ・ (100) x 2
- 電灯 化粧型
 外灯面は、材質を限定し、ヘッドは、CV35-2C FLP(300)とし、
 外灯は、ヤシ地(印)とし。

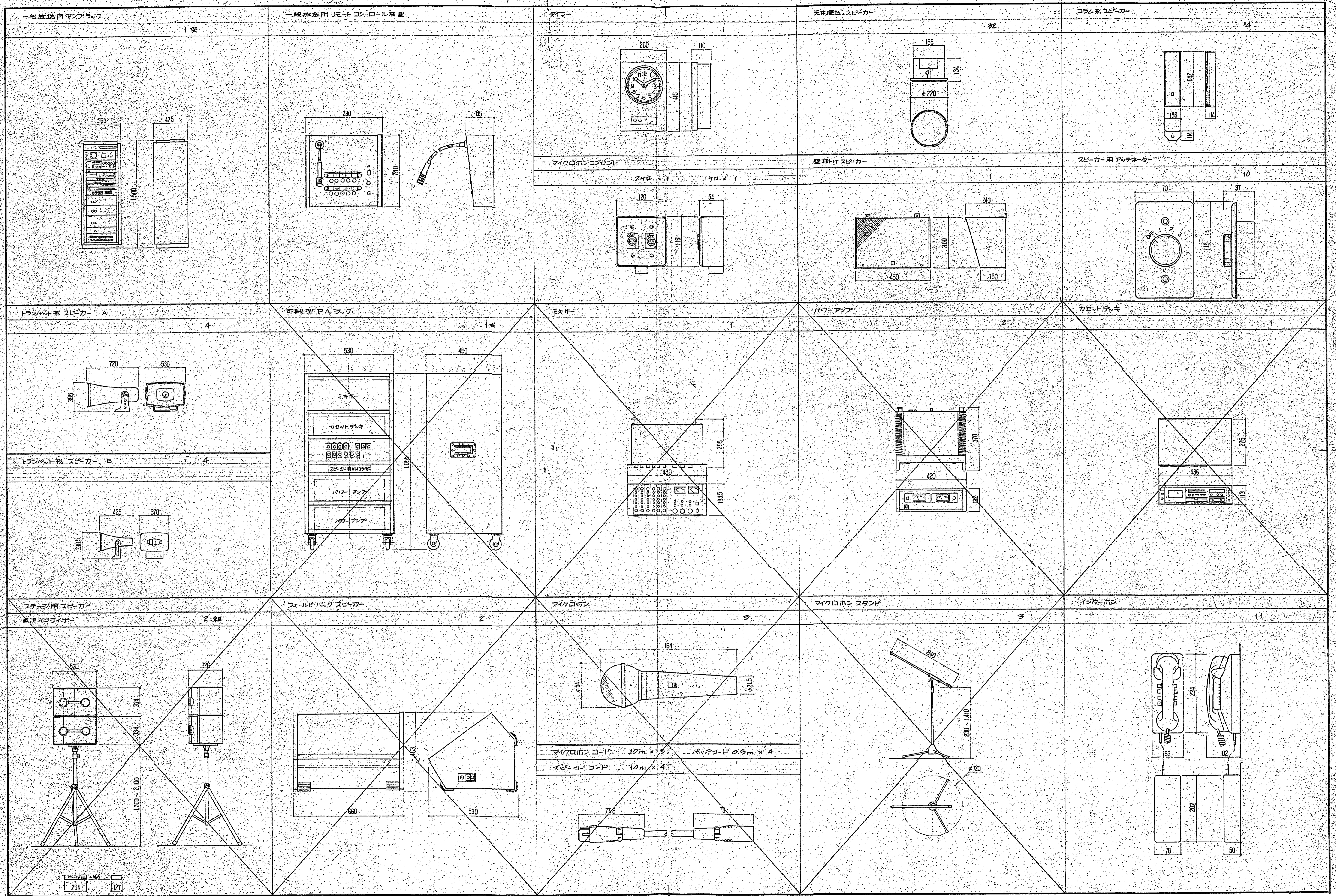


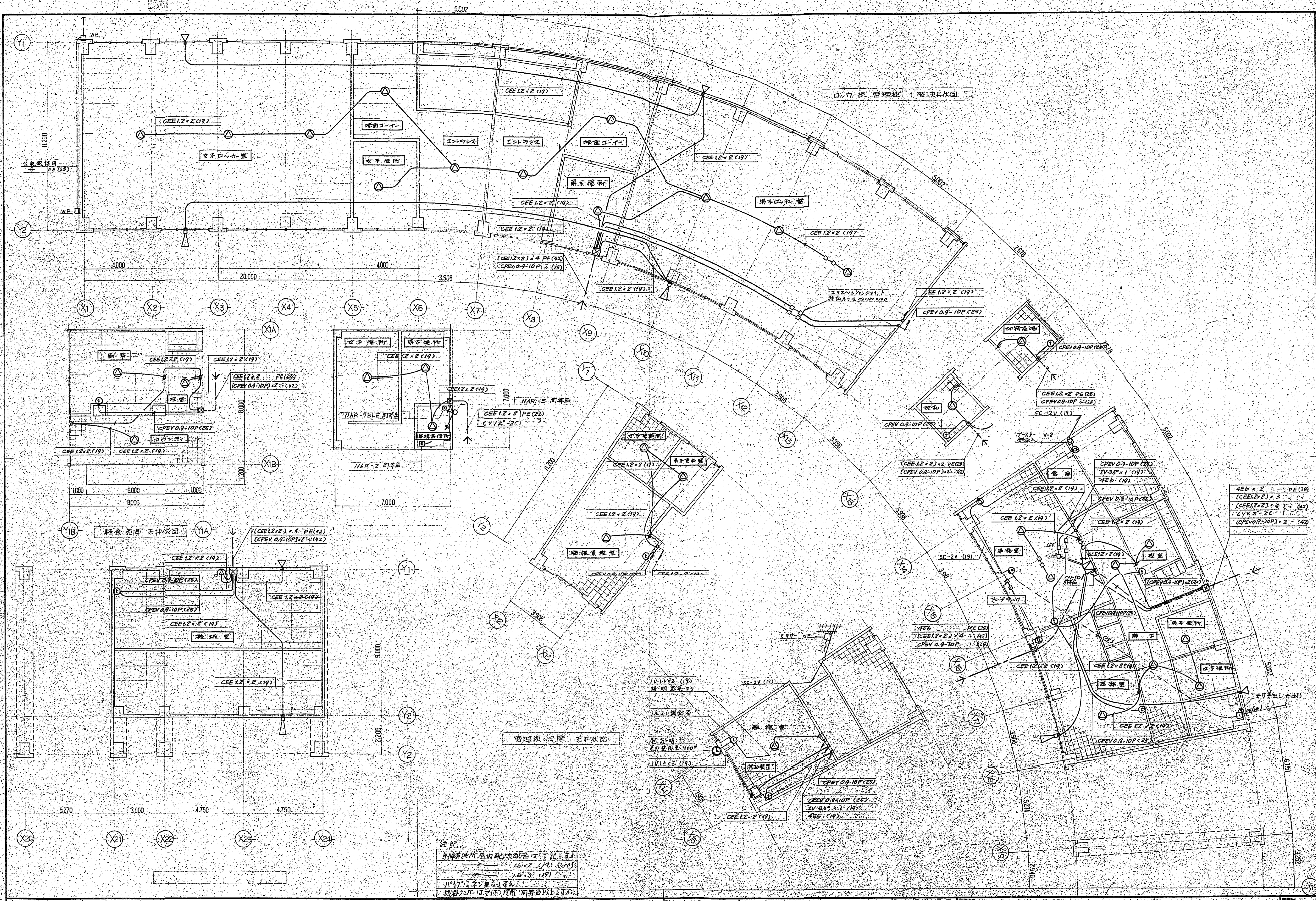
※ A □ ABC	CV 55°-30° x E 20 F (00)
○ 9.10.12~24	55°-2° x 14
	5.5°-3° x 1
※ B □ AC	LV 20° x E 2.0 (31)
○ 9.10.12~15	x 12
	(25)
※ C □ B	LV 20° x E 20. (25)
○ 18~25	x 10
	(25)

特記なし配線は 20x2 (08) x 1.5
(但し、管理棟は 20x2 (08) x 1.5
1.6 x 1.5 F. 1.5)

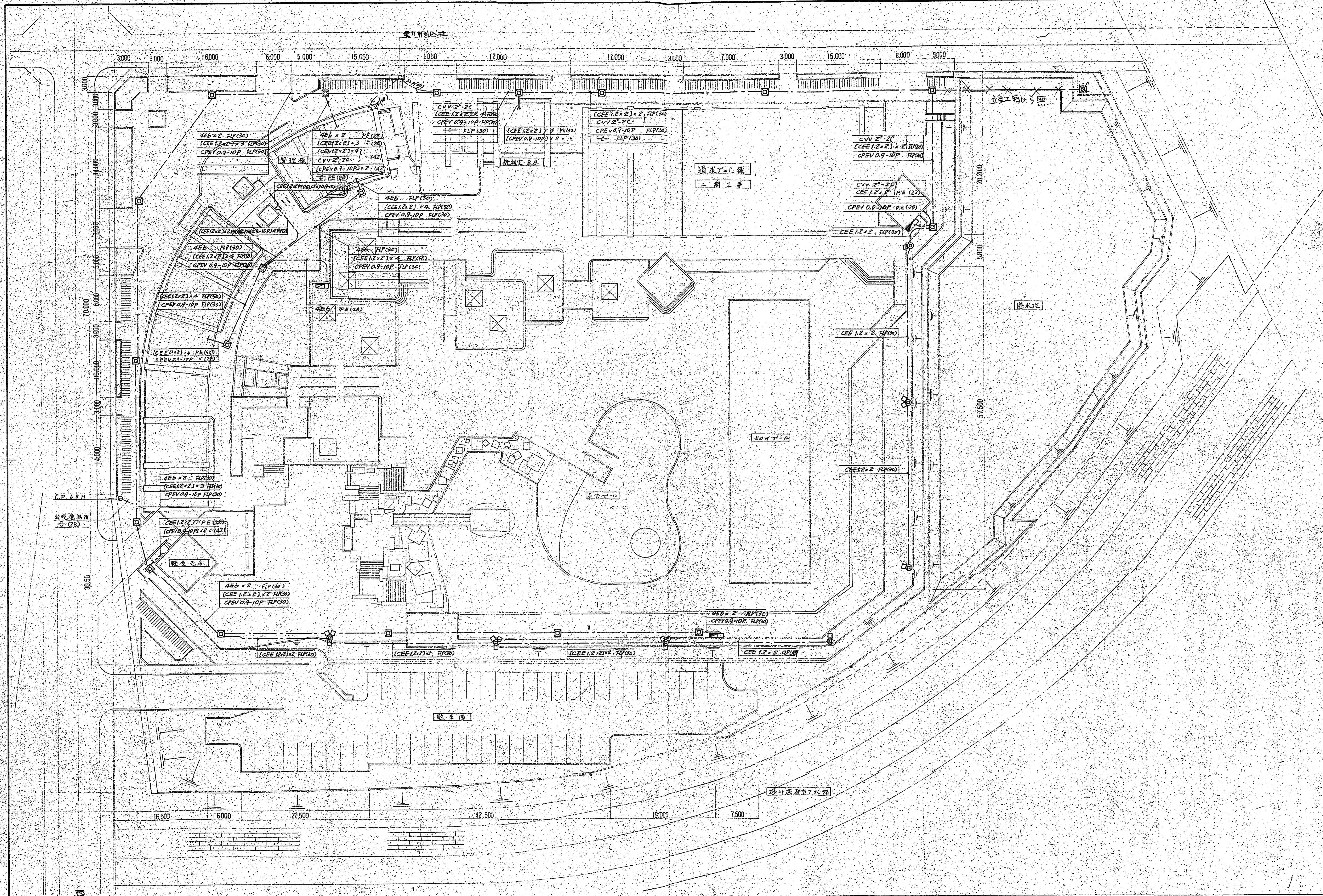
名称	数量	仕様	備考
一般放送用PAアンプ	1台	下記の機器を含む ミキサー部×1、スピーカー部×1、スピーカー選別部×2、音源制御部×1、端子部×1 PAアンプ本体×1	
音源機器			
マイク装置	1	電卓式、指向性可変可能	
BGM用PAプレーヤー	1	7チャンネル型、周波数特性 40Hz~10kHz	
PAアンプ	1	マイク専用型、ミキサー部入力用、マイクアンプ付	
音源機 A	2	選別機 120W、指向性 85dB(100V)、周波数特性 50Hz~15kHz	
音源機 B	1	300W、28Ω(4V)、50Hz~15kHz	
一般放送用マイク装置	1	10箇所、マイク付 周波数特性 50Hz~15kHz、出力 60Ω、0dB 増幅、指向制御 10 段階	
タイマー	1	設定間隔 24時間制、5分単位、以降時間与秒 25秒(調整可能) 2回路搭載	
マイクホーンコンソール	2	1.9.0.13、2.0.0.13、星外産内	
天井埋込スピーカー	32	16cmフルレンジスピーカー、入力 30W(3.3kΩ)、帯域 92dB(W/m)、帯域 130Hz~12kHz	
壁埋込スピーカー	1	150Hz~12kHz	
コア型スピーカー	14	12cm防滴型スピーカー×4、20W、91dB以上、200Hz~8kHz	
スピーカー用ケーブル	10	選別機 10W(2.1kΩ)、1.0kΩ×2 2~3.3kΩ	
ワイヤレススピーカー A	4	15W	
ワイヤレススピーカー B	4	10W	
音源機 PAアンプ	1台	本体不備、アンプアンプ付、ハードウェアミキサー付、マイク入力/出力端子	(別途工事)
音源機器			
ミキサー	1	入力 6、出力 4、周波数特性 20Hz~20kHz(3dB)、入力 パンツ型	()
PAアンプ	2	出力 200W×2(8Ω)、20Hz~20kHz(30.5dB)、THD 0.01%以下(8Ω/200Hz/2.1kHz)	()
PAアンプ	1	出力 200W、周波数特性 20Hz~20kHz(33dB(4V))、d.b.x 内蔵	()
天井埋込スピーカー	2組	11.5cmフルレンジスピーカー×2、16Ω×2、最大入力 150W、専用ケーブル、マイク付	(別途工事)
天井埋込スピーカー	2	20cmフルレンジスピーカー(4V)、16Ω×2、最大入力 150W、帯域 80Hz~8kHz	()
マイクホーン	3	マイク専用型、指向性、周波数特性 20Hz~15kHz、電圧 60dB、ON/OFFスイッチ	()
マイクホーンコンソール	3	長さ 10m、マイク専用型、ケーブル 4E6 相当	()
マイクホーン(マイク用)	4	長さ 0.3m	()
スピーカーケーブル	4	長さ 10m、20.2C×4Pタイプ	()
マイクホーンコンソール	3	カム型、帯域 930~1620、ケーブル長さ 580~702	()
インテリジェント	11	電話型 相互式、12 箇所	







注記
 1. 本図は、現場調査に基づき作成されたものである。
 2. 現場と異なる場合は、現場調査による。
 3. 現場調査は、現場調査員による。
 4. 現場調査は、現場調査員による。



整理番号

R5年富士見市

株式会社柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8920 (f)
FAX 049-264-8792
E-mail yanai@seki@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認	無差	設計	製図
			柳井

NOTE

富士見市総務部営繕課

課長	副課長	主任	担当

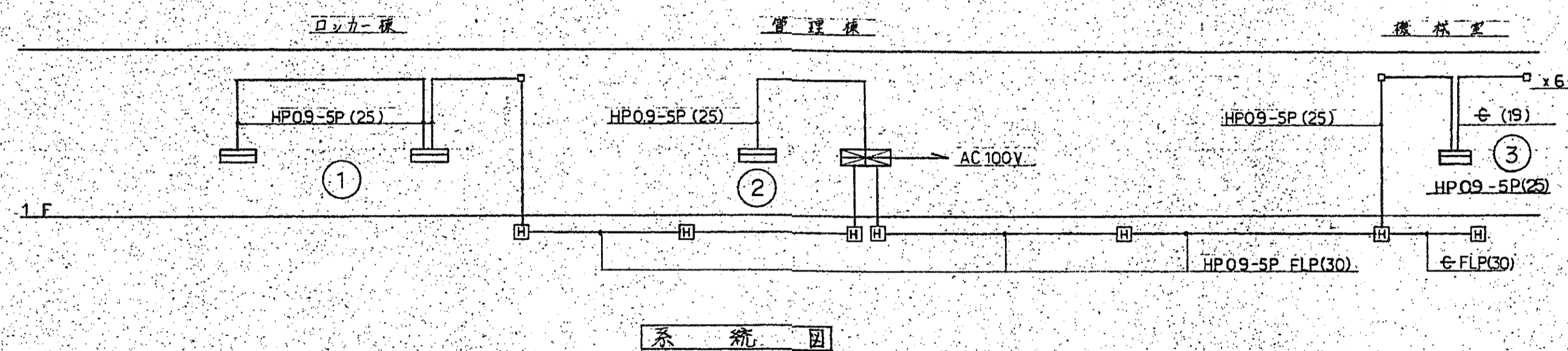
工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名 弱電設備外構図

S-1:300 (A-1)
S-1:600 (A-3)

図面番号

KE / 012



系統図

記号	名称	仕様	備考
☒	受電箱	検出型	P型 2級 5L
☒	残差収容箱	埋込型	φ60内径
⊙	電鈴	150 mm DC	24 V
○	表示灯	AC	30 V
⊙	受信機	P型	2級
---	配管	1.2 mm HIV	
---	同	上	地中埋設
□	ジョイントボックス		
■	ハンドホールド		
⌘	立上り引下げ		
⊙	表示	No. 1~3	

註記

- 電鈴は1音鳴動方式とする。
- 受信機は表示灯用電源内装とする。

整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8820 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaiskke@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 照査 設計 製図
柳井

NOTE

富士見市総務部管轄課

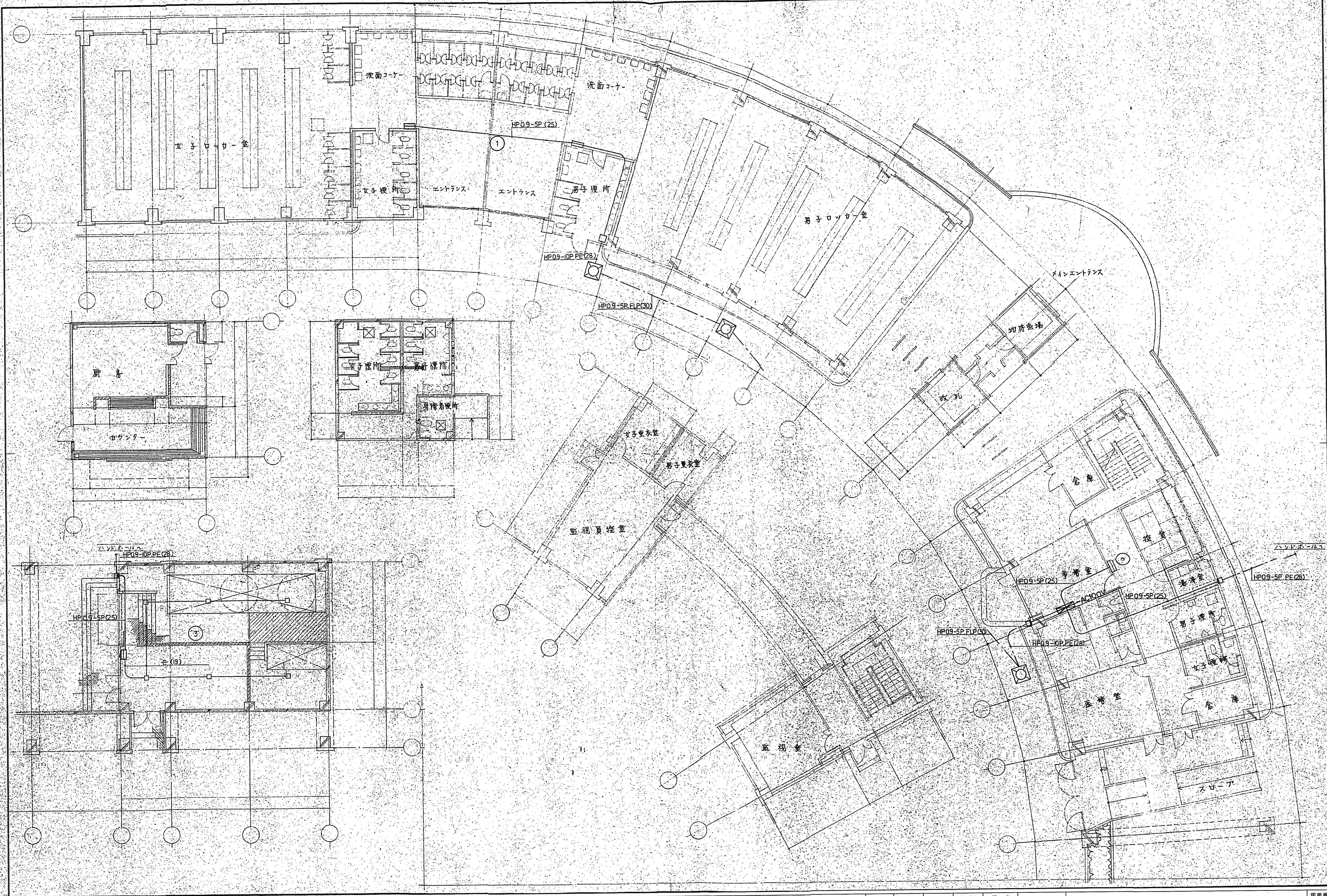
課長 副課長 主任 担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事
図面名 非常ベル設備系統・凡例

S-1:- (A-1)
S-1:- (A-3)

図面番号

KE/013



整理番号
R 5年富士見市

株式会社柳井設計 一級建築士事務所
TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanai@kai@fvy.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 無承認 設計 概図 NOTE
柳井

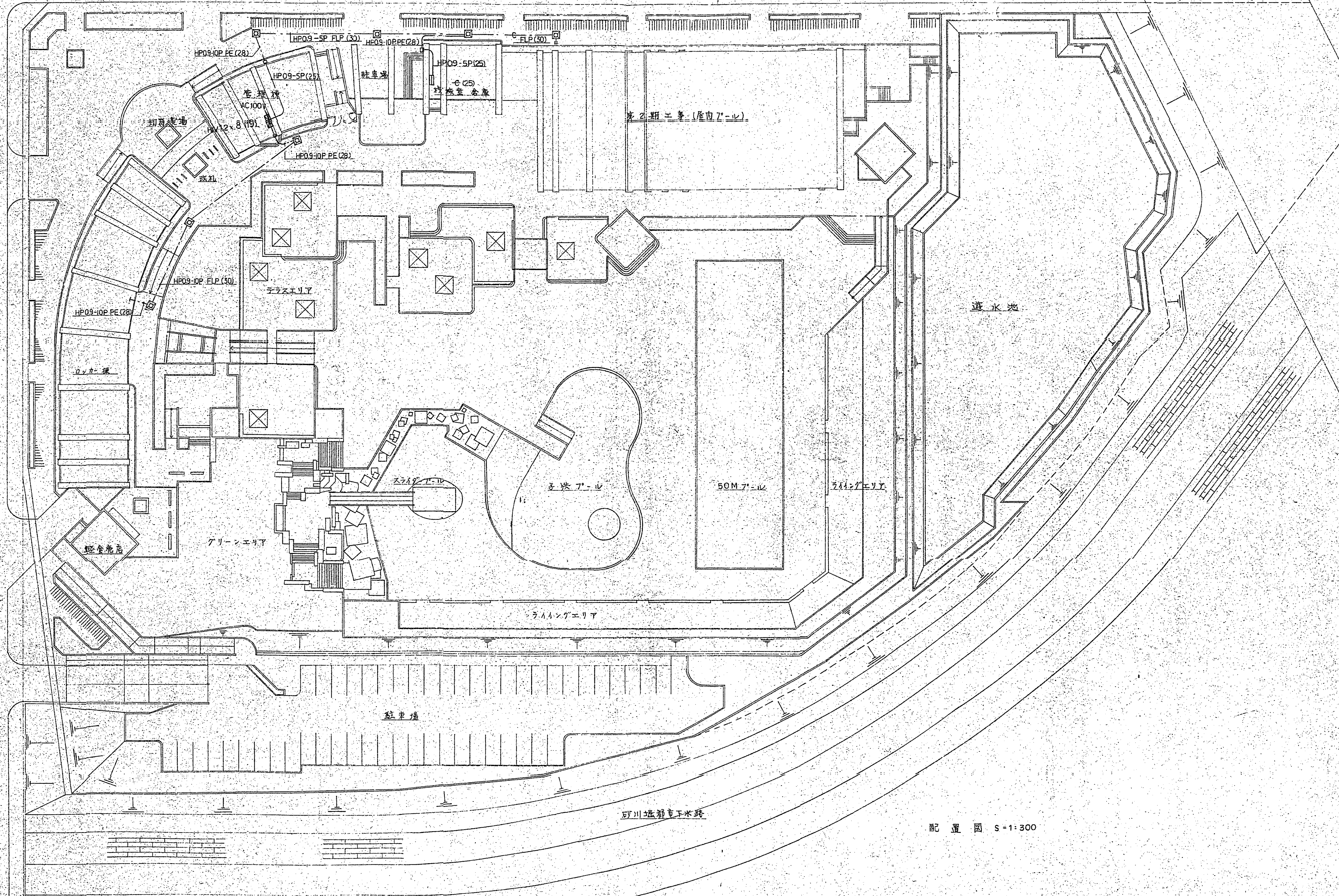
富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

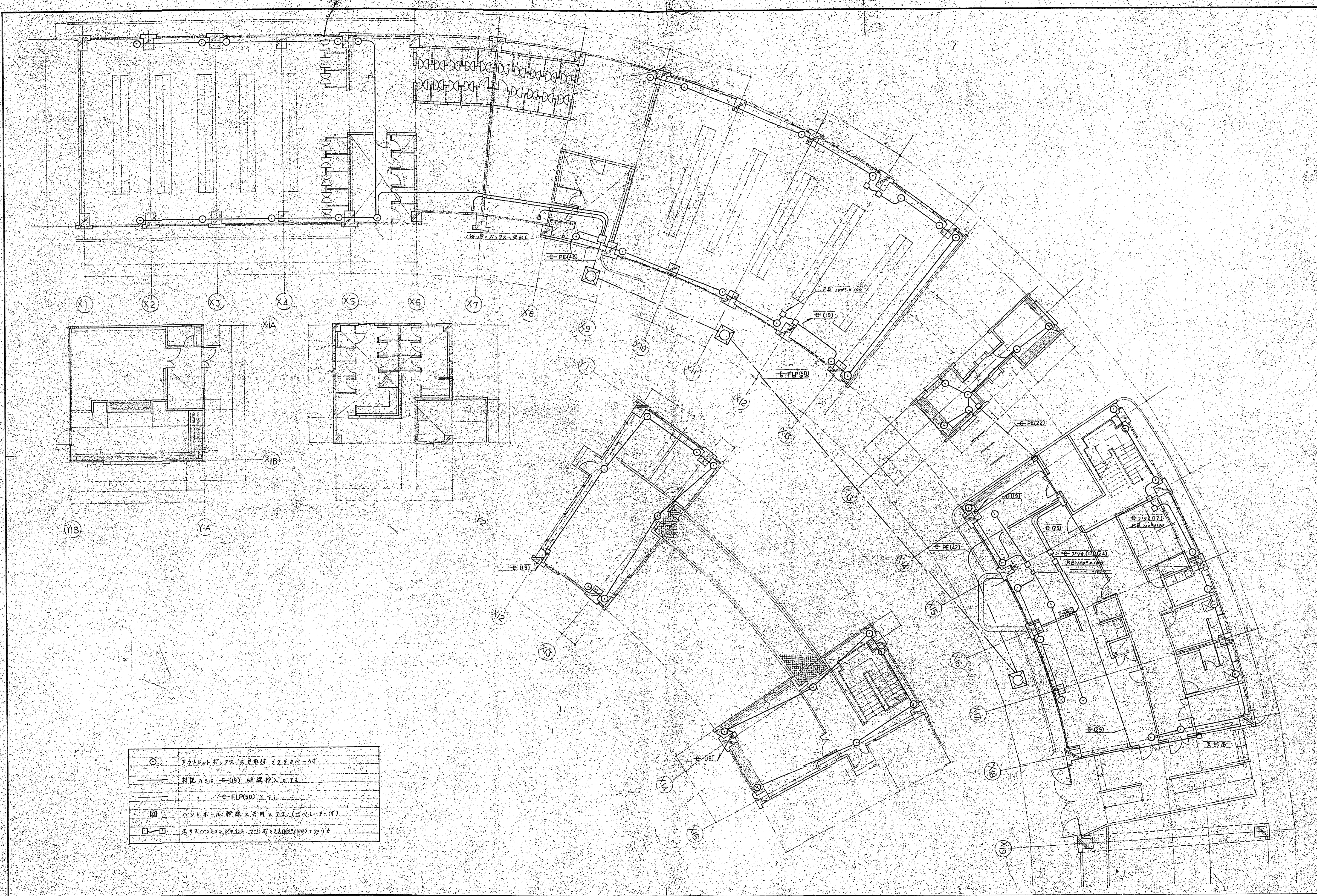
工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事
図面名 非常ベル設備平面図

S-1:100 (A-1)
S-1:200 (A-3)

図面番号
KE 014



配置図 S=1:300



○	アクトボックス 大見原村 1222号ビル
—	付託名称 E-(19) 暖房配管
—	E-FLP(50) 等
□	ハンドボール 静脈と共用パイプ (セパレーター)
□	三菱重工ボイラールーム 221号ビル (22100*100) + 707号

電気設備特記仕様書

1. 工事名 富見市ガーデンビーチ増設プール建設工事
 2. 工事場所 埼玉県富士見市大字勝頼地内
 3. 建物概要 池 地下 階、地上 階建(一部 階)
 敷地面積 ㎡
 建築面積 ㎡
 床面積 ㎡

4. 工事項目 ●印を本工事とする。

●	1	変電設備	
●	2	自家発電設備	
●	3	幹線設備	
●	4	動力設備	
●	5	照明器具設備	
●	6	電話設備	
		放送設備	
		インターホン設備	
		テレビ共用機設備	
		電気時計設備	
		警備監視用配管設備	
		自動火災報知設備	
		防水戸自動検知設備	
		濃煙計設備	

5. 一般事項
 1) 工事仕様
 本特記仕様書並びに設計図及び電気設備技術標準、建設大臣官庁官庁設備部監修電気設備工事共通仕様書(最新版)、建設大臣官庁官庁設備部監修電気設備工事標準図(最新版)、建設大臣官庁官庁設備部電気設備工事標準図(最新版)、電力会社工事標準、建築標準法、消防法等関係法規に従い適正且つ確実なる施工をするものとし、請負業者は関連諸官庁との事前打合せを行うこと。
 2) 手続申請
 関係官庁、電力会社等に対する諸手続、届出等は請負者が代行する。そのために要する費用は請負者の負担とする。尚、引渡しに要する電気料金及び保守料金等は請負者の負担とする。
 3) 施工
 工事施工に必要な製作図、現場取付図、その他施工図などは、作成後、監督員の承諾を得た後製作施工すること。現場のおさまり取り合い等の関係で設計図によるものが困難又は不都合な場合は監督員と協議承諾の上施工する。尚、本特記仕様書、設計図に有省略図があり、これらの事が他の部分に関連が推知出来る時、又、特に記載が無くとも電氣的、機械的に当然必要な部分は請負者の負担にて完全に施工するものとし、請負金額の増減は行わない。
 4) 別途工事との関係
 本工事の施工者は建築主体工事、その他の工事の進捗をさまたげないよう充分留意して施工し又、連絡を計ること。
 別途工事は下記の通りである。
 ● 設備用スリッパ
 ● 天井、壁、床の点検口
 ● 空調機器の操作回路
 ● 仮設及び鉄筋補強
 ● 電力会社、引込工事負担金
 ● 設備機器用コンクリート基礎
 ● 電話局引込工事費及び負担金

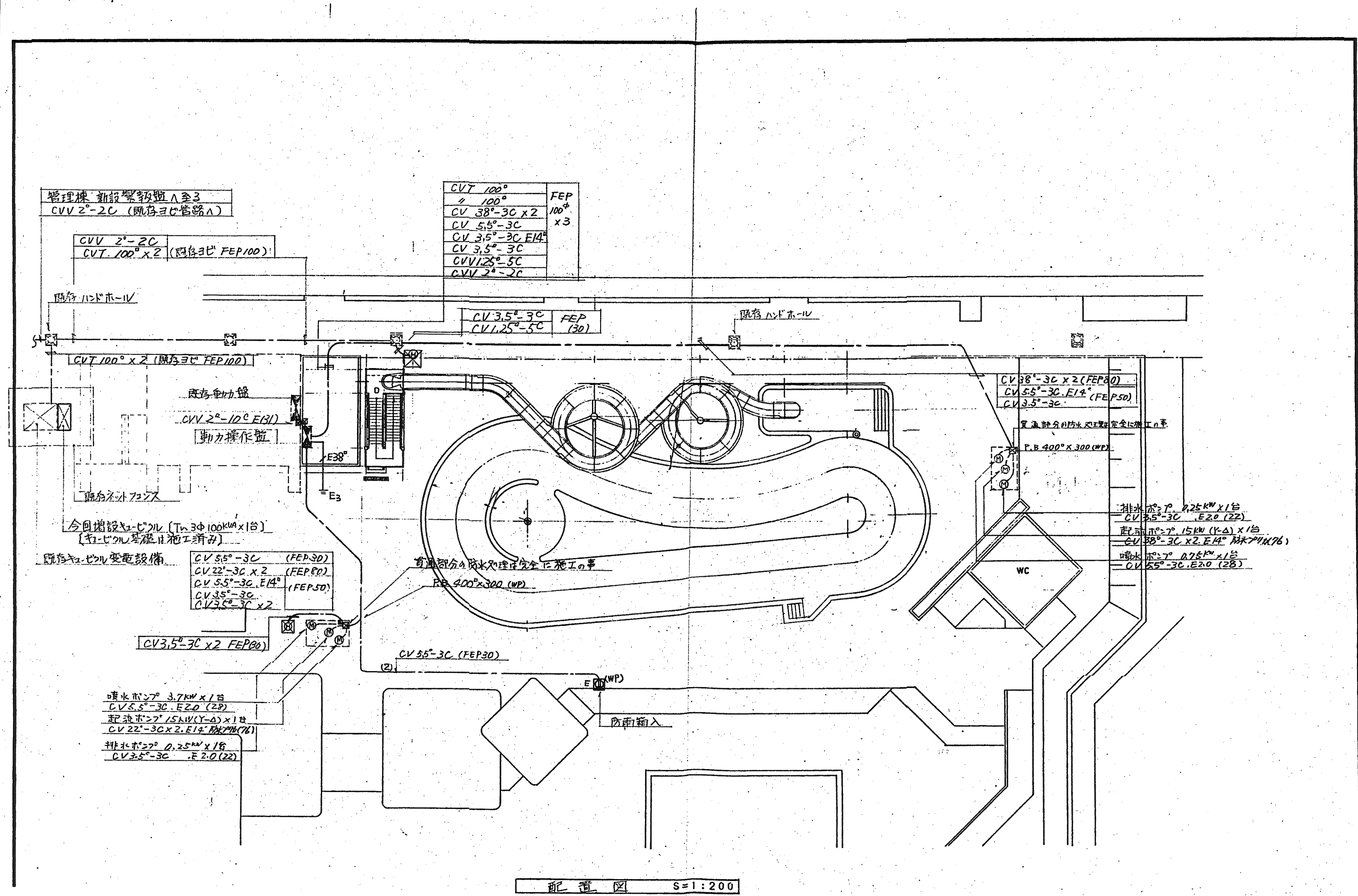
5) 工事写真
 工事工程の変わる毎に階内部分及び試験記録の部分、その他監督の指示する箇所を提出する。尚、サイズはサービス版とし総ページとする。写真幅はB5版白紙のものを使用し、内容不明瞭な写真には説明を書き添えること。
 立会い、検査
 施工(原則として)監督員の立会い又は検査を受ける。但し監督員の承諾する場合はこの限りではない。現場納入機器の内、監督員による製品については、工種等において立会い検査を行なう。
 7) 機器及び材料
 本工事に使用する機器、材料は全て新品とし、監督員の承諾を得た後、使用する。尚、主要なものについては契約後すみやかに主要材料製作者一覧表を提出して監督員の承諾を受けること。
 8) 竣工引渡
 工事完成後、監督員による竣工検査を受け、手直しがある場合はその完了後、再検査を行なう。又、官公署その他の許可証、竣工図、竣工写真、試験データ、承認図、取扱い説明書等を添えて提出し、引渡しを行なう。
 9) 補償
 本工事の給排水間は建築工事と同一期間とするが、その間に生じた使用機材及び材料の故障並びに施工不備により生じた故障は全て請負業者の責任にて無償補修するものとする。但し、取扱い又は運転などの不備により生じた故障の場合は監督員との打合せの上、その旨を決定するものとする。

6. 機器材料指定 本工事に使用する機器、材料はJISに合格した製品とし、埼玉県産木材メーカーリストによる。

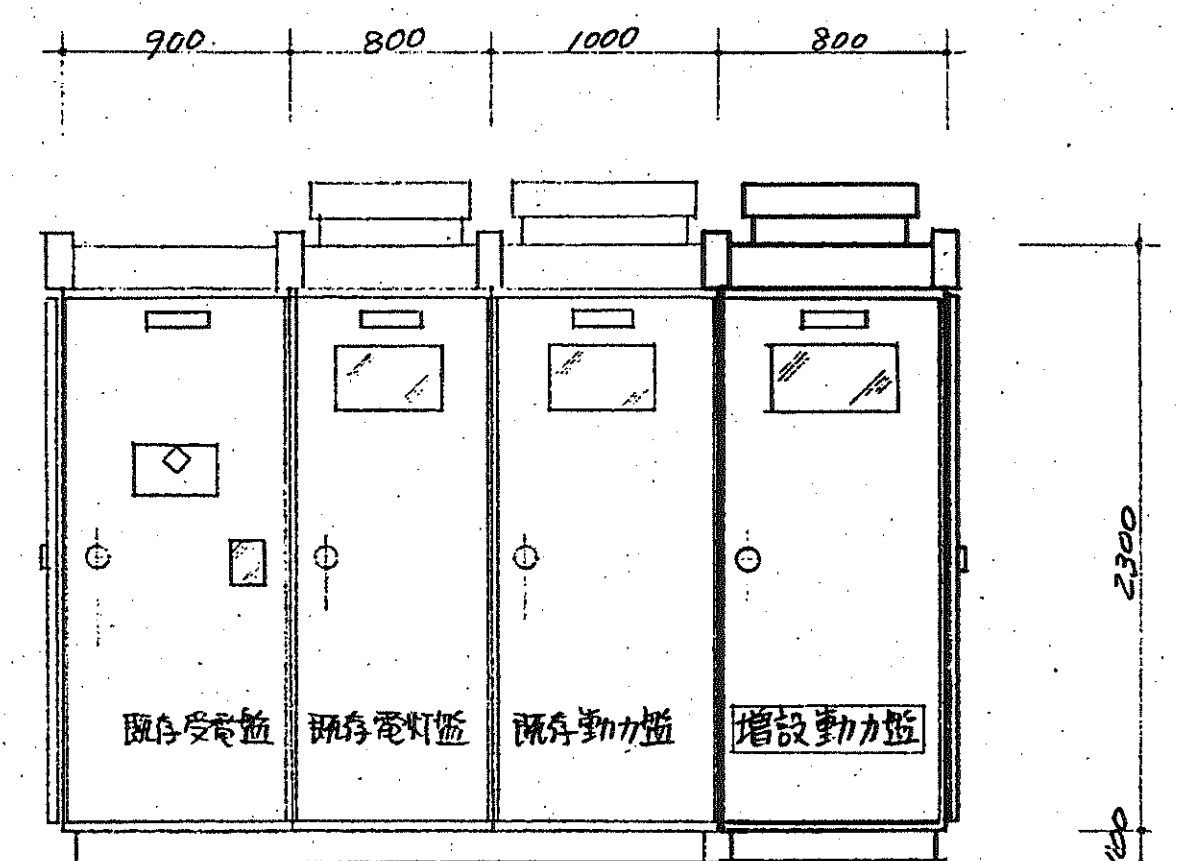
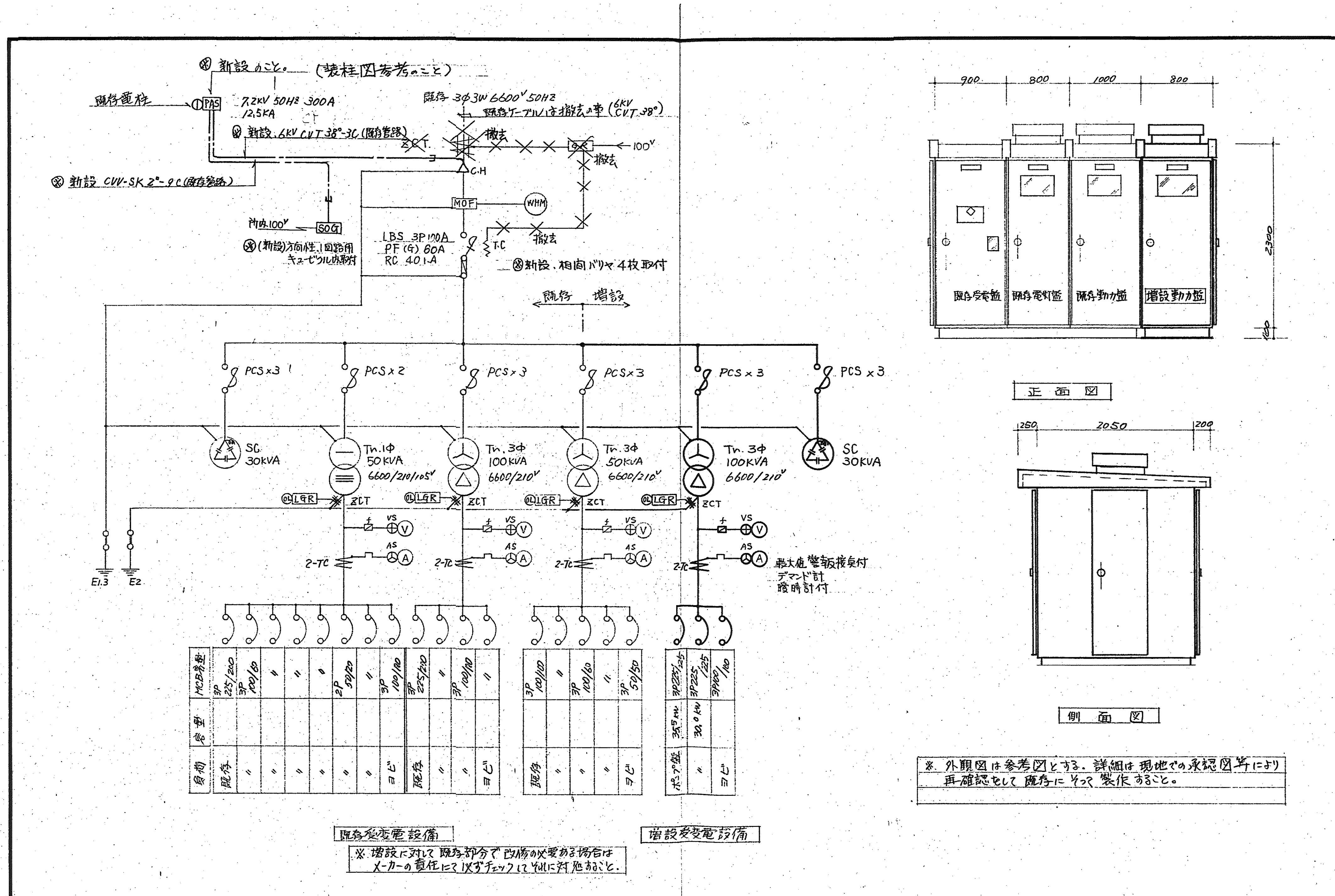
7. 特記事項

1) 器具取付高さ

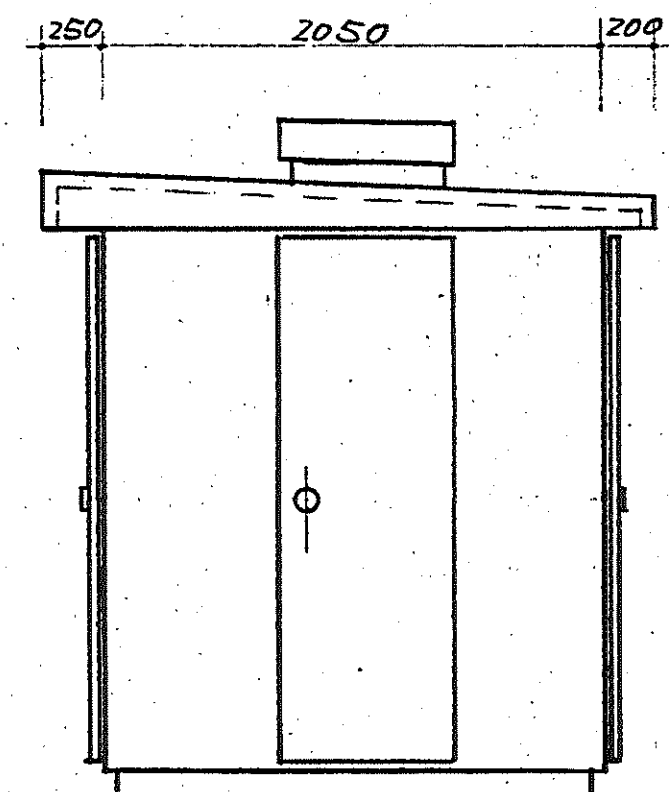
スイッチ	床	1300	mm
コンセント		500	mm
電話アンテナ			mm
TVアクトレット			mm



配置図 S=1:200

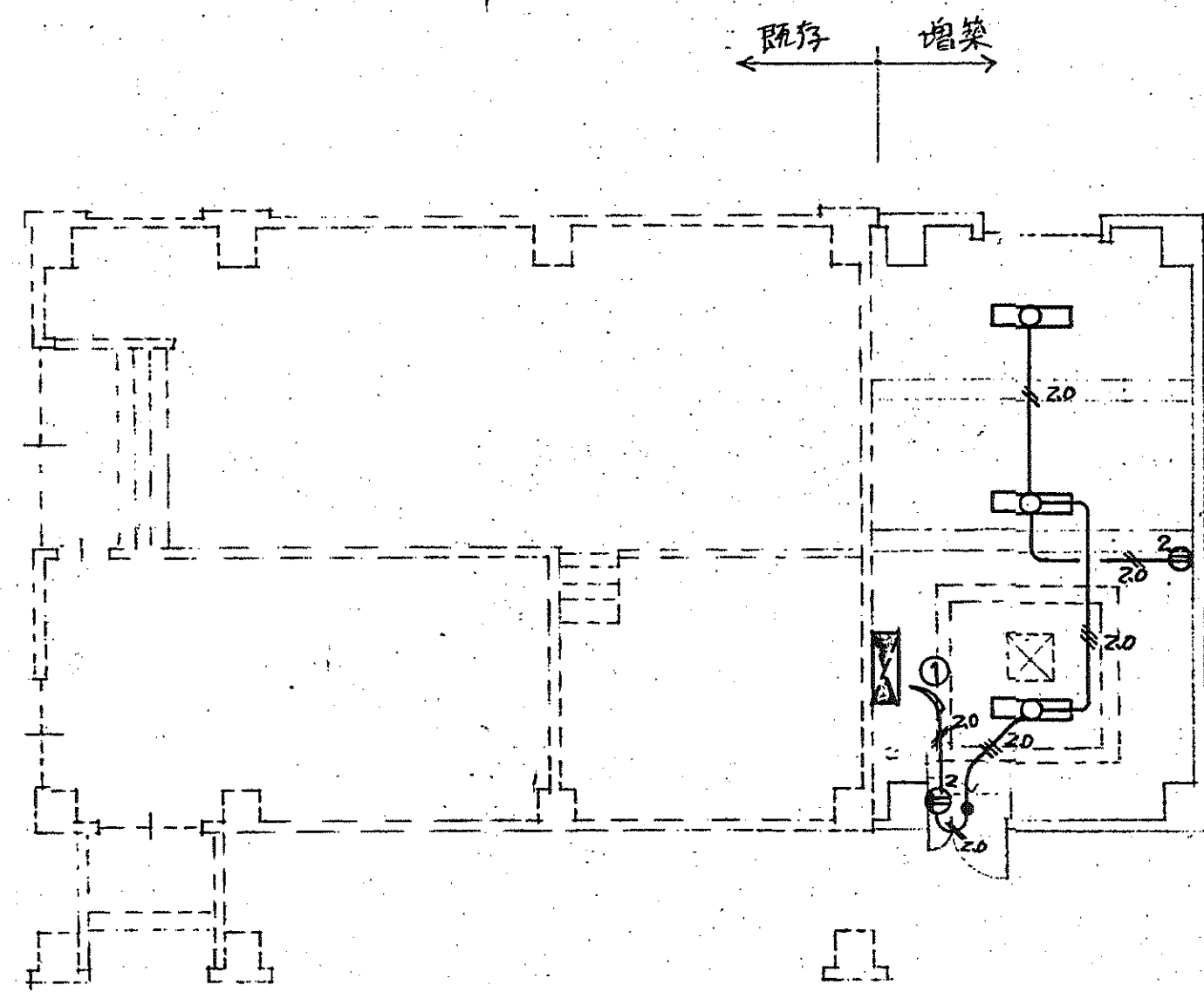


正面図

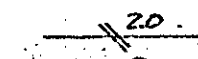
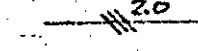


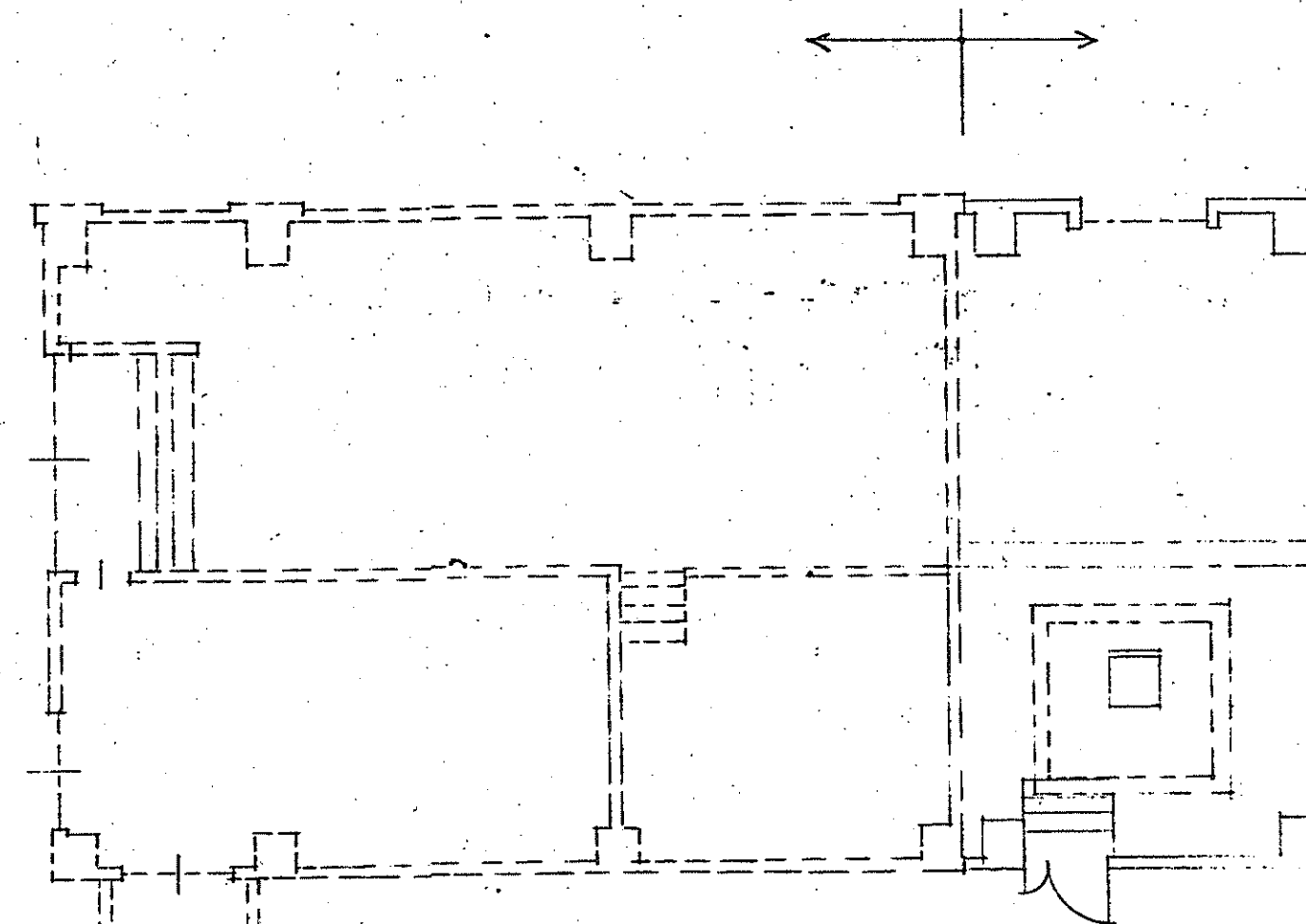
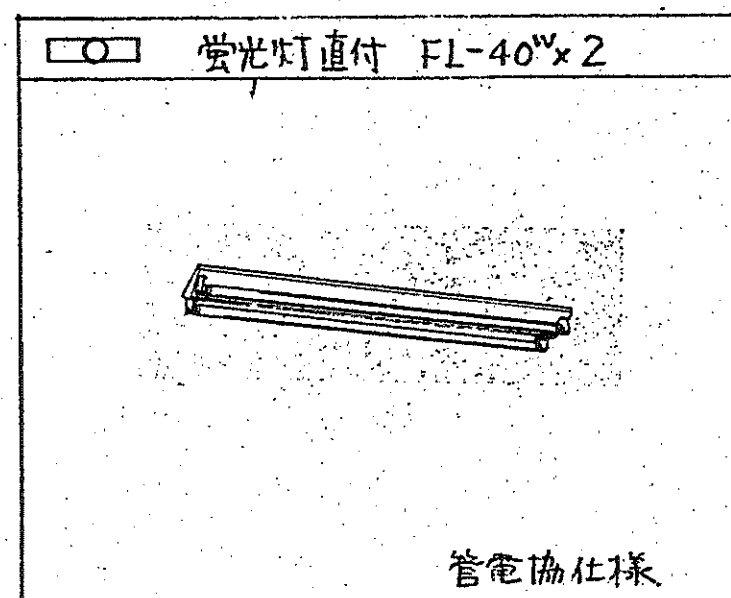
側面図

※ 外観図は参考図とする。詳細は現地での承認図等により再確認して既設にそって製作すること。

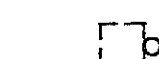
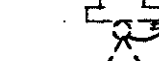


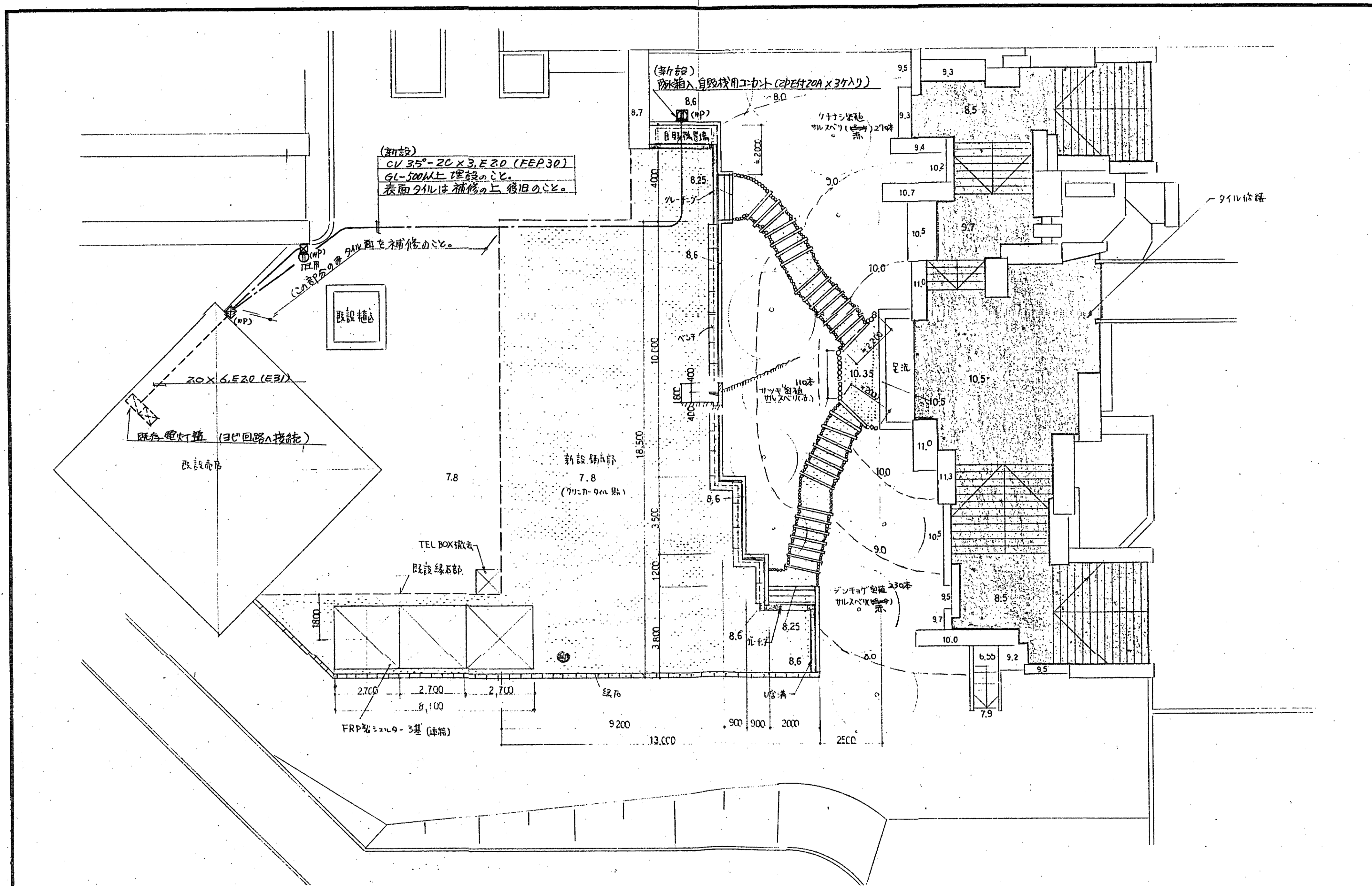
電灯・弱電設備平面図 1:100

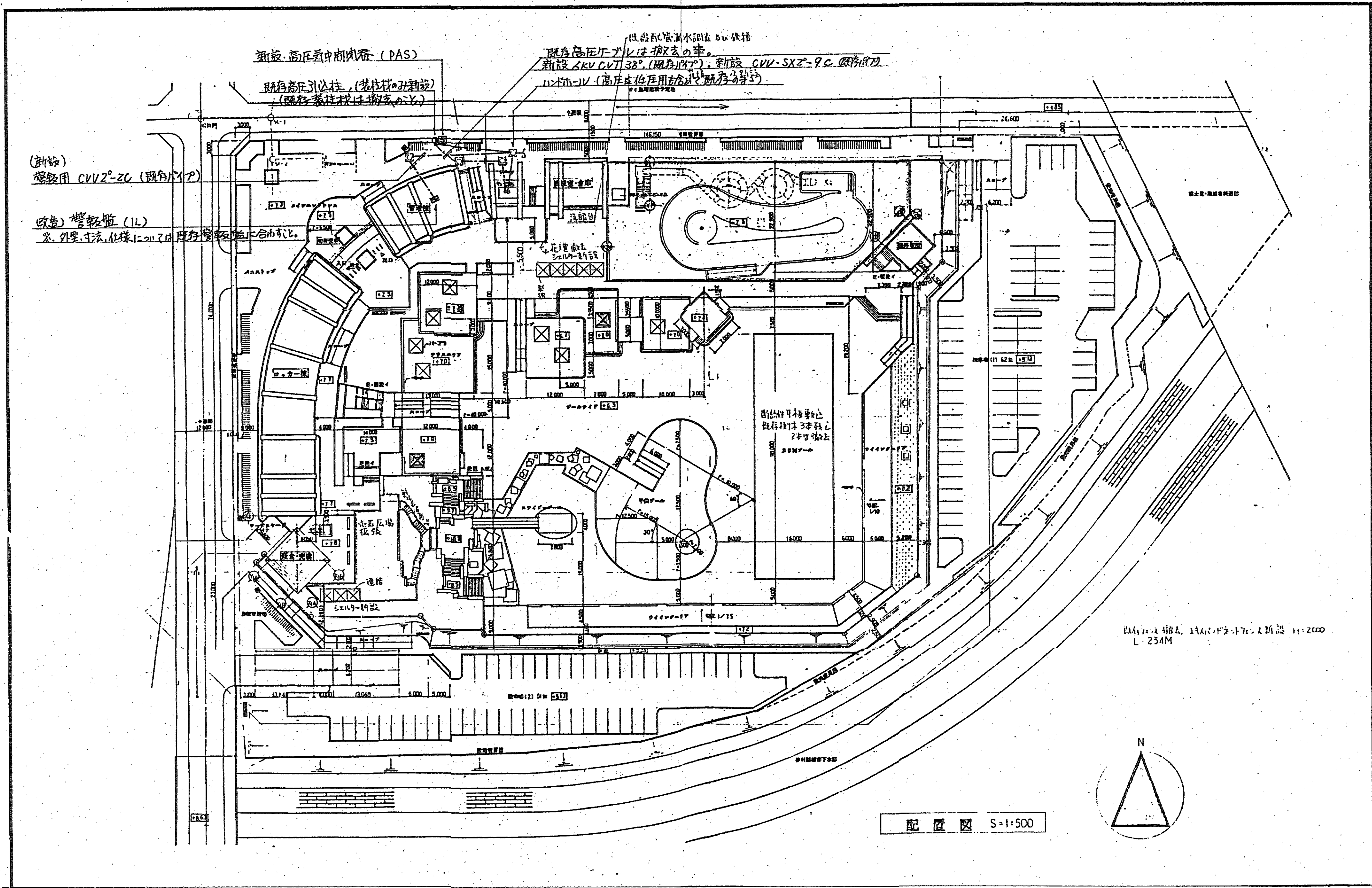
 1V 20x2 (E17)
 1V 20x3 (E19)

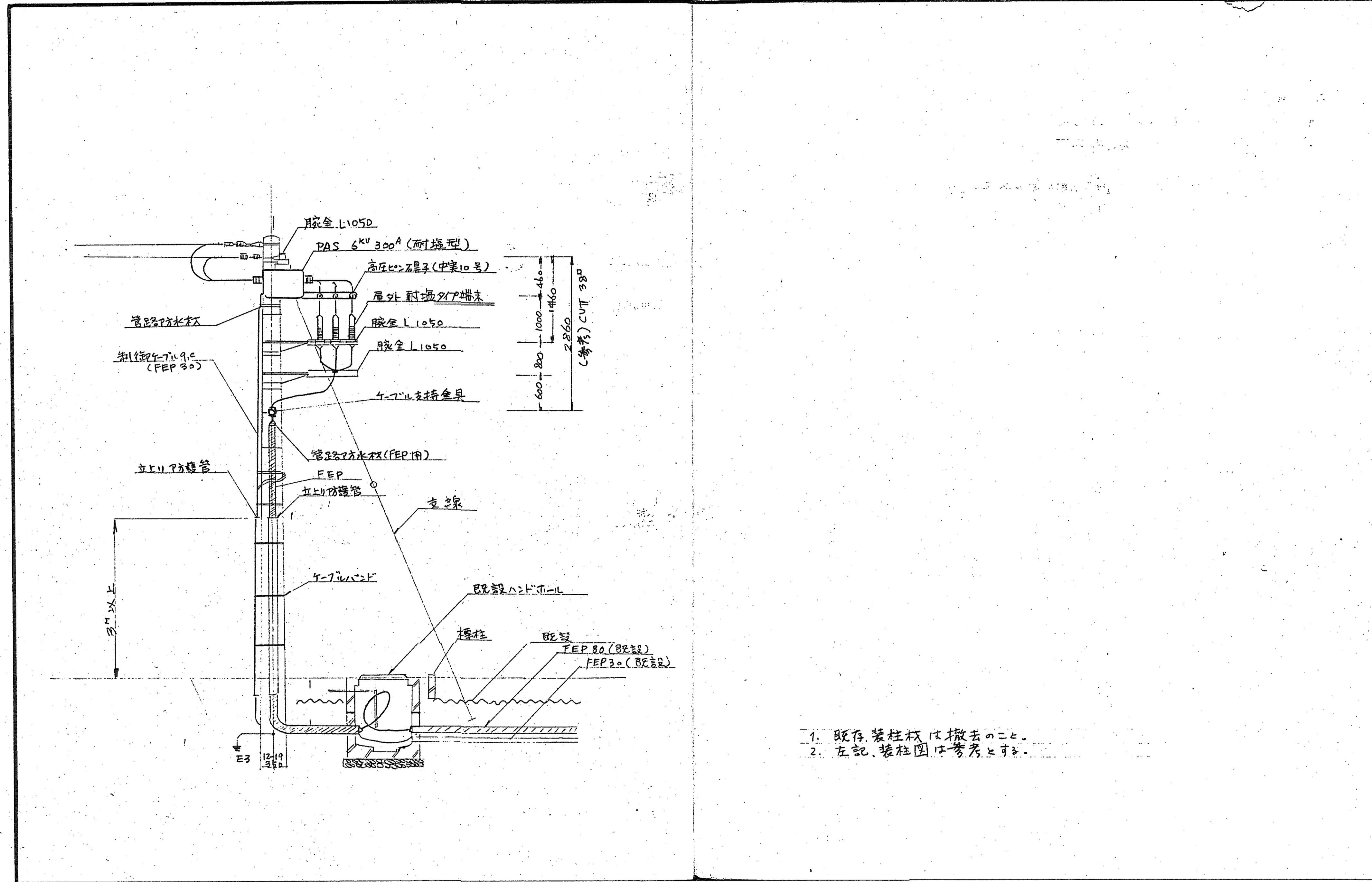


弱電設備平面図 1:100

 フロントスピーカー (15w)
 AE12-2C
 既存スピーカー







電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

- 1.1 工事名 市立富士見ガーデンビーチ改修工事
1.2 工事場所 富士見市大字勝瀬 地内
1.3 工期 契約日から平成29年3月17日まで
1.4 工率科目 (O印の付いたものを適用する)

Table with 2 columns: 電気コンセント設備, 動力設備, 電熱設備, 警報設備, 防災設備, 防火設備, 防犯・入退室管理設備, 自動火災報知設備, 自動防鎖鎖設備, ガス漏れ火災警報設備, 電話配管設備, 中央監視制御設備, 映像・音響設備, 音声設備, 録音設備, 非常放送設備, 誘導支援・呼出し設備

- 1.5 指定部分
1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間
1.7 建物概要
機械棟: 鉄筋コンクリート造1階建て 112.5㎡
管理棟: 鉄筋コンクリート造2階建て 293.69㎡
ロッカー棟: 鉄筋コンクリート造2階建て 649.44㎡
売店: 鉄骨造1階建て 64.00㎡
屋外トイレ: 鉄筋コンクリート造1階建て 49.00㎡
切符売場: 鉄筋コンクリート造1階建て 9.00㎡

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)
(2) 機械設備工事及び建築工事を含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2.2 特記仕様(特記事項の選択項目は、O印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない)

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes items like 機械等, 工率用電力・水, 工率用仮設物, 足場・さんばし扉, 監督事務所, 保 険, 再使用機材, 建設リサイクル法の適用, 完成図書, 発生材処理

11 金属電線管の塗装

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかき部の塗装については監督員の指示による。
塗料等は、既存塗料及び別途工事の塗料との整合を確実なものとする。

12 壁

Table with 2 columns: 敷き均し土, 管 理 別. Lists materials like 珪質土 5cm and types like VE, HIVE, FEP, PLP.

14 回路の種別

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

15 電線の接続

湿度の高い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻くとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

16 電線管の接続

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

17 残土処分

埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所敷き均しとする。

18 再生砂・再生アスコン

契約図書中の山砂の類、砂利、礫石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1機体の六面クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

19 工事カルテ作成・登録

請負代金が500万円以上のときは、本工事受注時、変更時及び完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に承認を受けた後、(一財)日本建設情報総合センターに登録するとともに、登録結果を監督員に報告する。

20 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。

21 あと施工アンカー

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承認を受けるものとする。

22 はつり

既存コンクリート床、壁等の貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用し、事前に走査式埋設部調査を実施すること。

23 改修部分の足場

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(伸縮足場) ・ B種(単管本足場) ・ C種 ・ D種

24 その他

(1) 施工に先立つて建築及び関連設備の業者と打合せのうえ施工図を作成し、監督員の承認を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承認後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承認後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手續はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象面所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
(8) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
※以下は、高等学校および特別支援学校の改修工事(夏休み工事)に適用する。

(9) 騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として夏休み期間に設定すること。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。
・同時期発注の関連工事: 建築工事、機械設備工事

2.3 工事別一般事項(特記事項選択項目は、O印の付いたものを適用する)

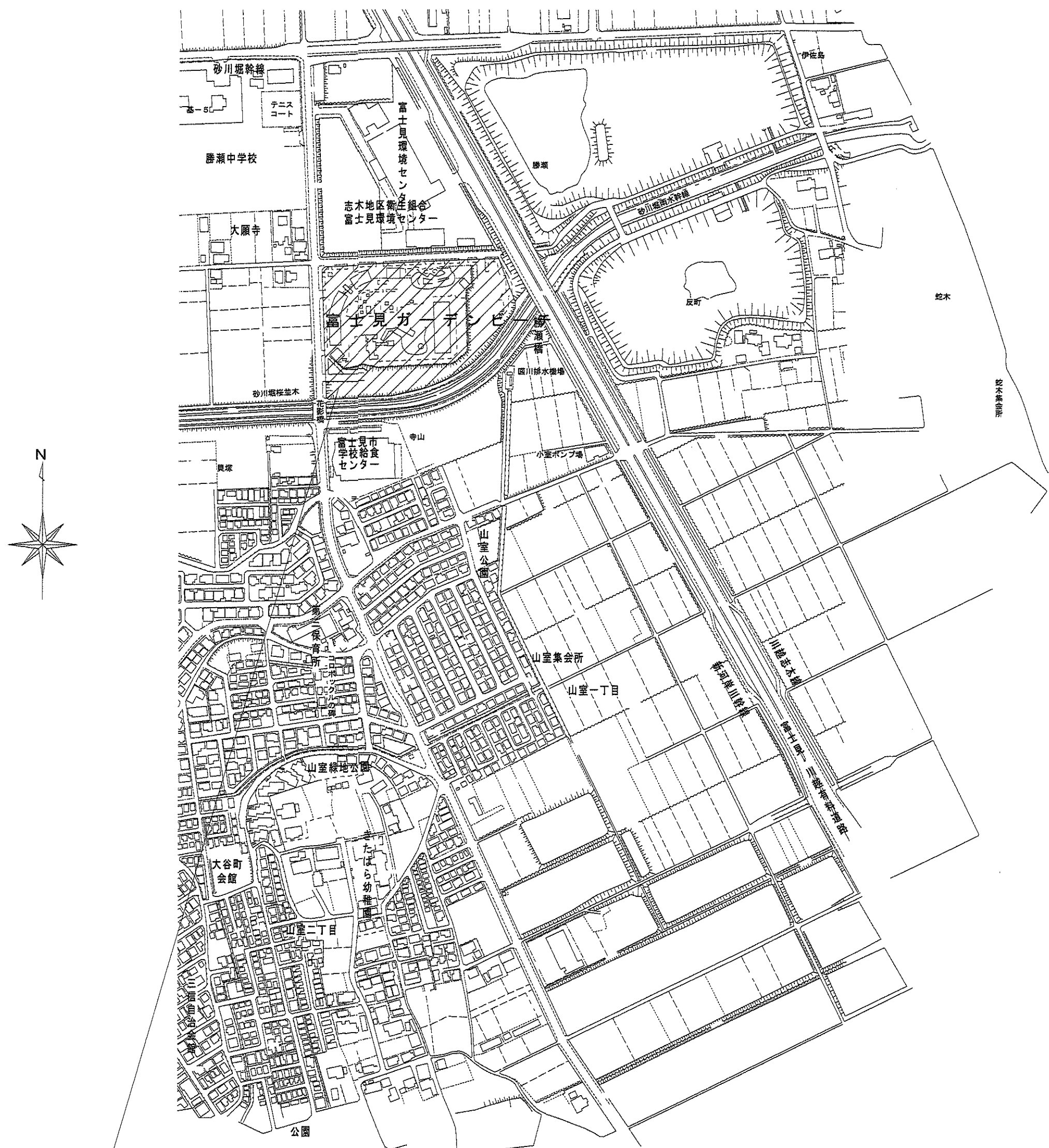
Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes items like 1 電灯コンセント設備, 2 動力設備, 3 雷保護設備, 4 受変電設備, 5 構内情報通信網設備, 6 静止型電源設備, 7 発電設備, 8 構内交換設備, 9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備(非常放送設備), 10 昇降機設備

Table with 4 columns: 名 称, 測 点, 取付高さ(mm), 一般, 県営住宅. Lists items like スイッチ, 電話用リフト, 防水型コンセント, etc.

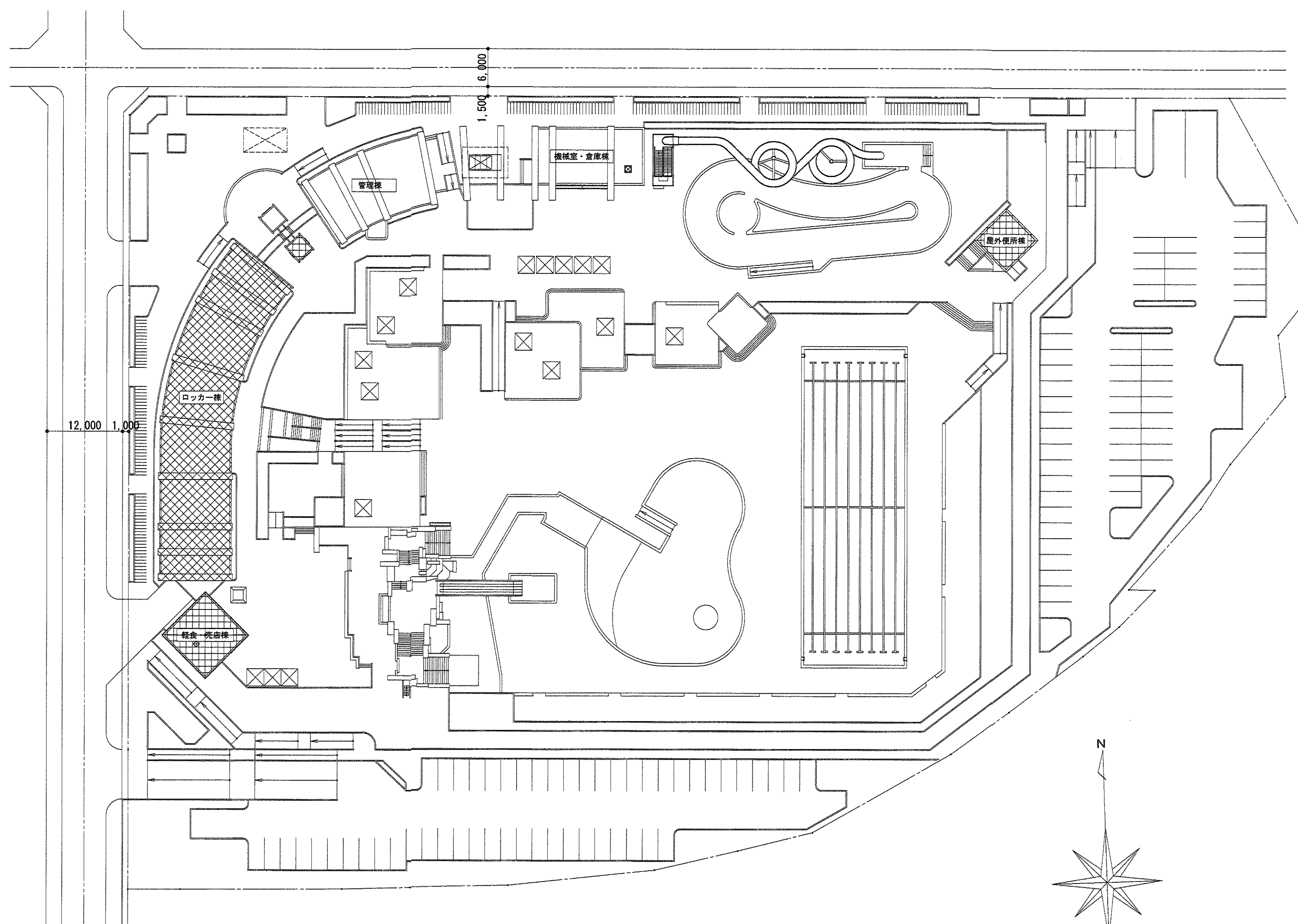
3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
3.2 図面上の縮尺
3.3 疑義

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書
第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。
第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。
第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。



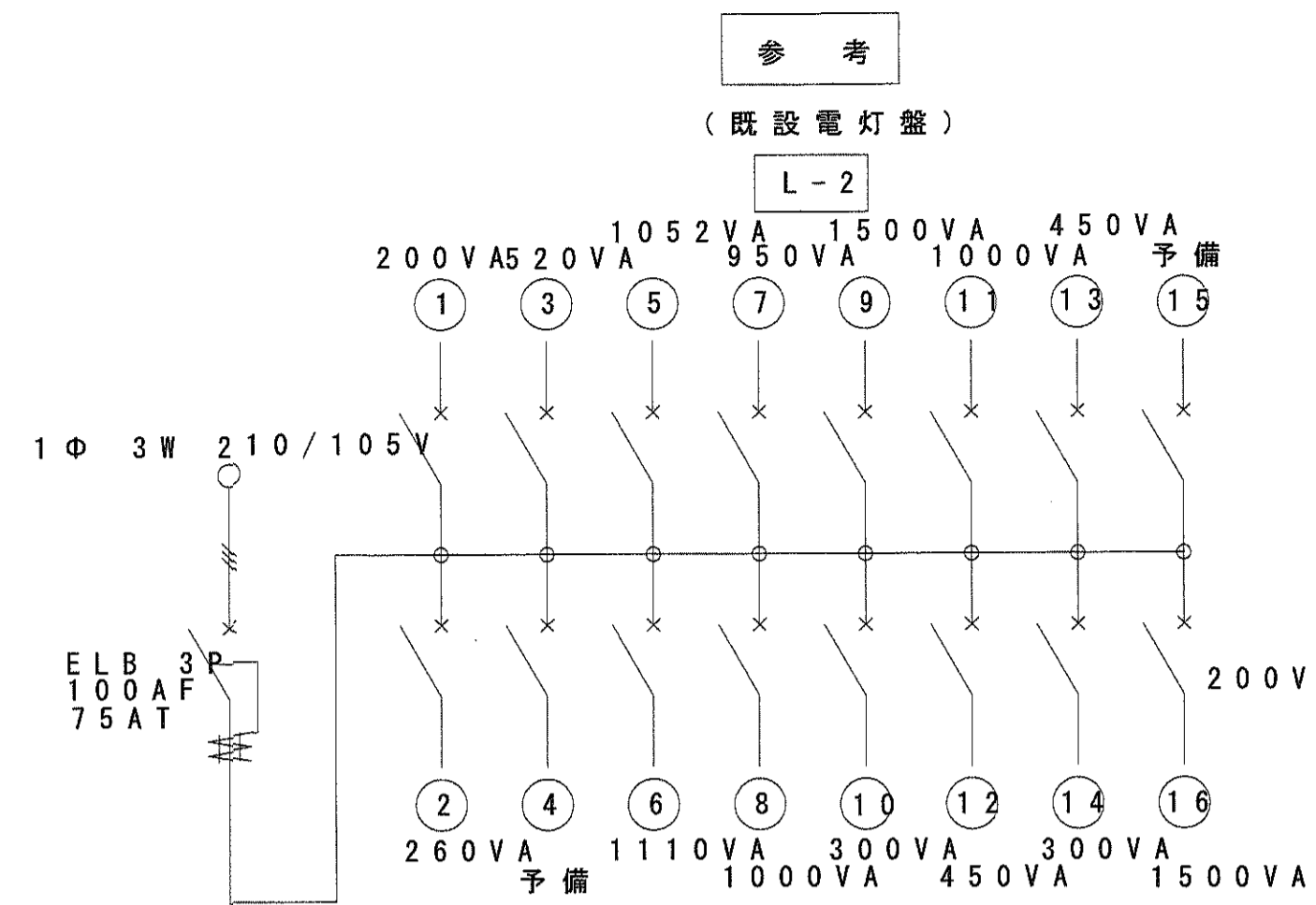
工事場所：富士見市大字勝瀬 地内
【市立富士見ガーデンビーチ】



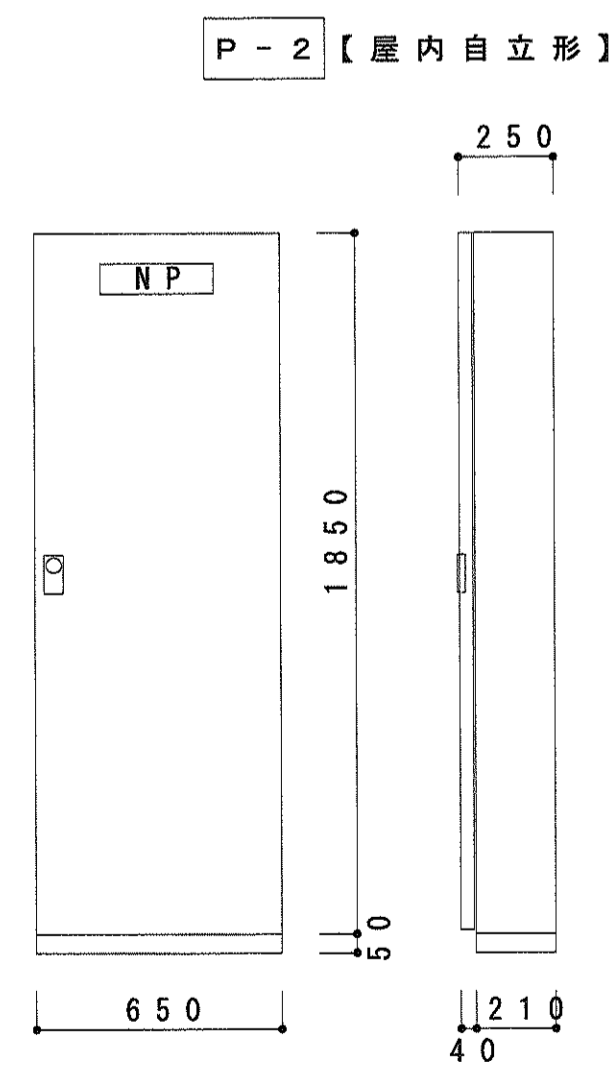
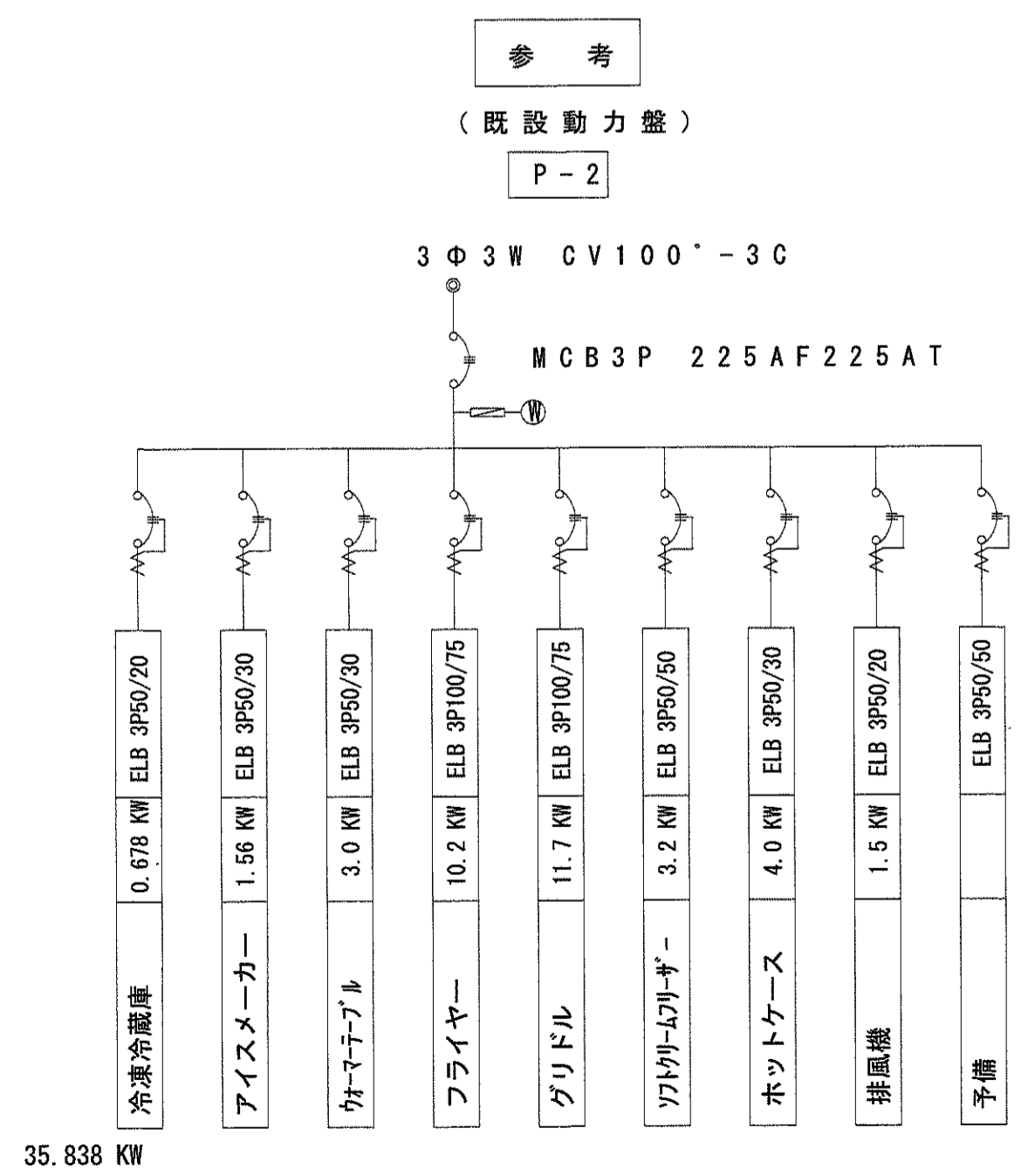
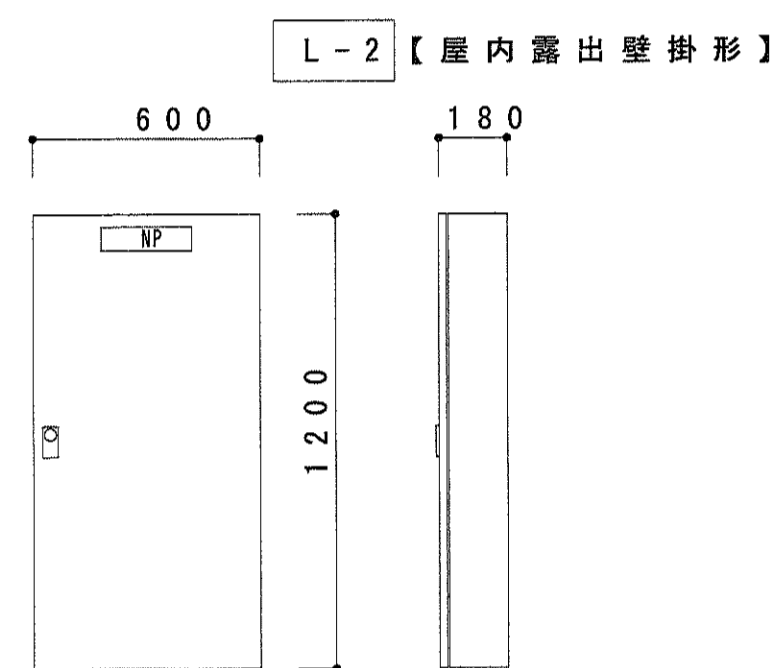
配置図 S=1:500

印は今回施工範囲を示す。

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisekai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KE/025
				変更年月日			柳井										



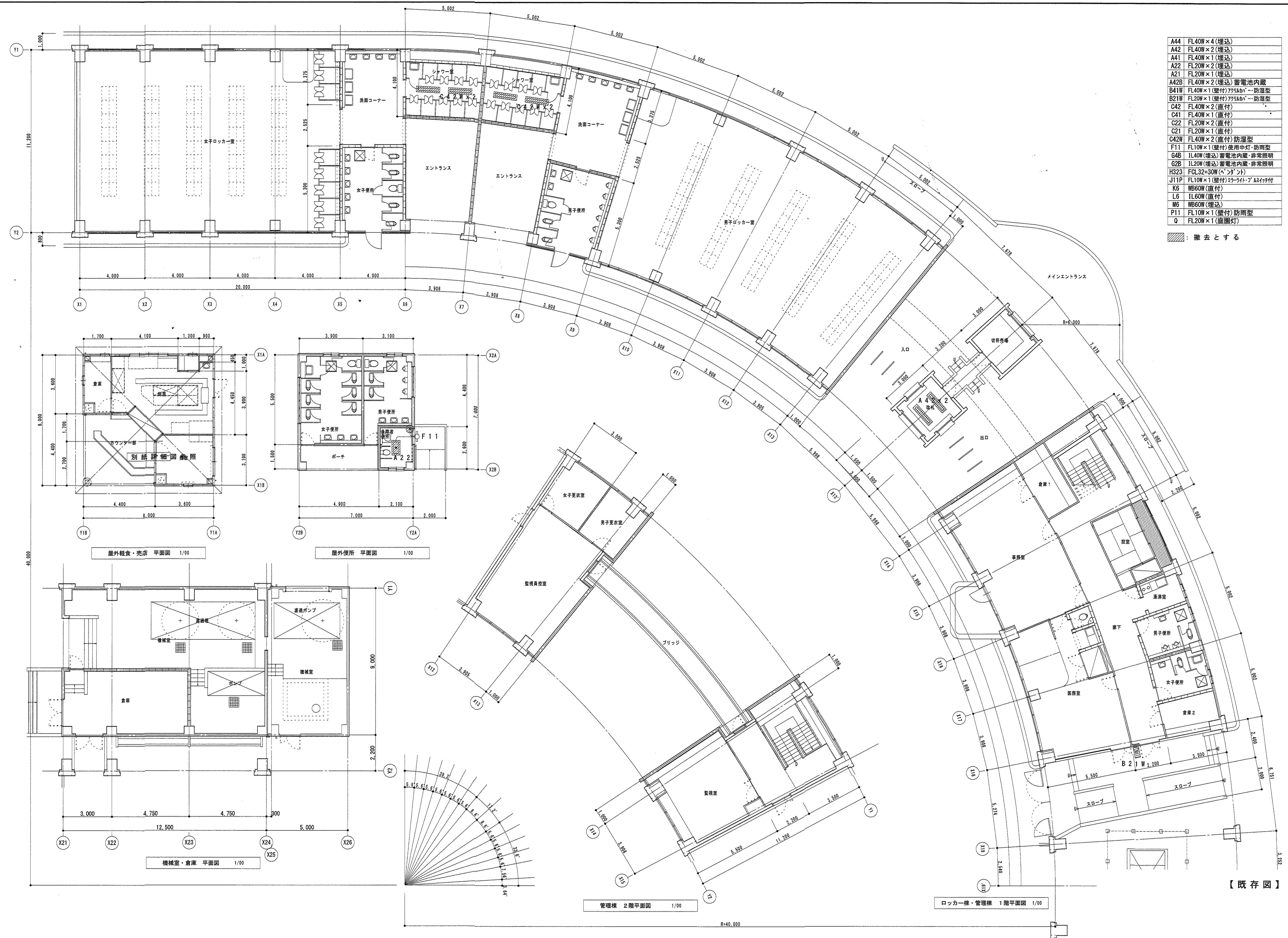
※
① : 回路電圧改修 200V ~ 100Vへ
② : 回路電圧改修 200V ~ 100Vへ



【既存図】

- A44 FL40W×4 (埋込)
- A42 FL40W×2 (埋込)
- A41 FL40W×1 (埋込)
- A22 FL20W×2 (埋込)
- A21 FL20W×1 (埋込)
- A42B FL40W×2 (埋込) 蓄電池内蔵
- B41W FL40W×1 (昼付)770lmカビ防湿型
- B21W FL20W×1 (昼付)770lmカビ防湿型
- C42 FL40W×2 (昼付)
- C41 FL40W×1 (昼付)
- C22 FL20W×2 (昼付)
- C21 FL20W×1 (昼付)
- C42W FL40W×2 (昼付)防湿型
- F11 FL10W×1 (昼付)使用中灯・防雨型
- G4B IL40W (埋込) 蓄電池内蔵・非常照明
- G2B IL20W (埋込) 蓄電池内蔵・非常照明
- H323 FOL32×30W (昼付)ソフト
- J11P FL10W×1 (昼付)ミラライト・ソフト
- K6 WB60W (昼付)
- L6 IL60W (昼付)
- M6 WB60W (埋込)
- P11 FL10W×1 (昼付)防雨型
- Q FL20W×1 (昼付)防雨型

撤去とする

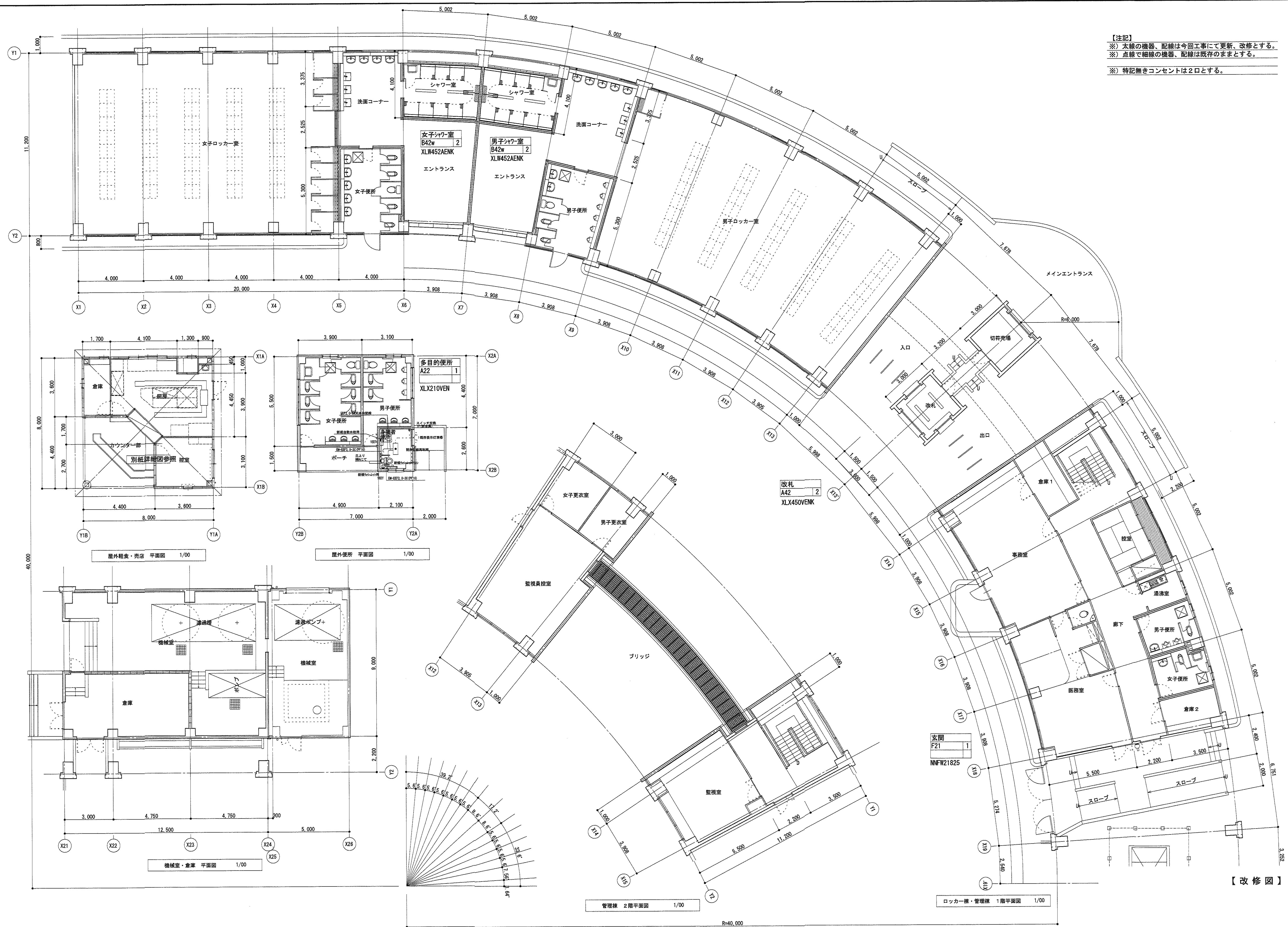


【既存図】

【既存図】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaiskka@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長 副課長 主任 担当	工事名 図面名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事 電灯設備 平面図	図面番号 KE 027
-----------------	---	---	------------------------------	----------------	-------------------	------	------------	--------------	------------	------------------------------	-------------------

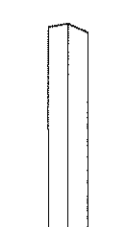
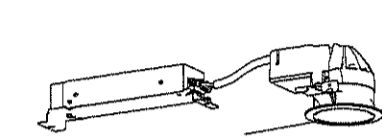
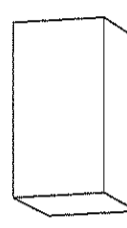
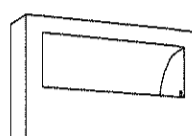
【注記】
 ※) 太線の機器、配線は今回工事にて更新、改修とする。
 ※) 点線で細線の機器、配線は既存のままとする。
 ※) 特記無きコンセントは2口とする。



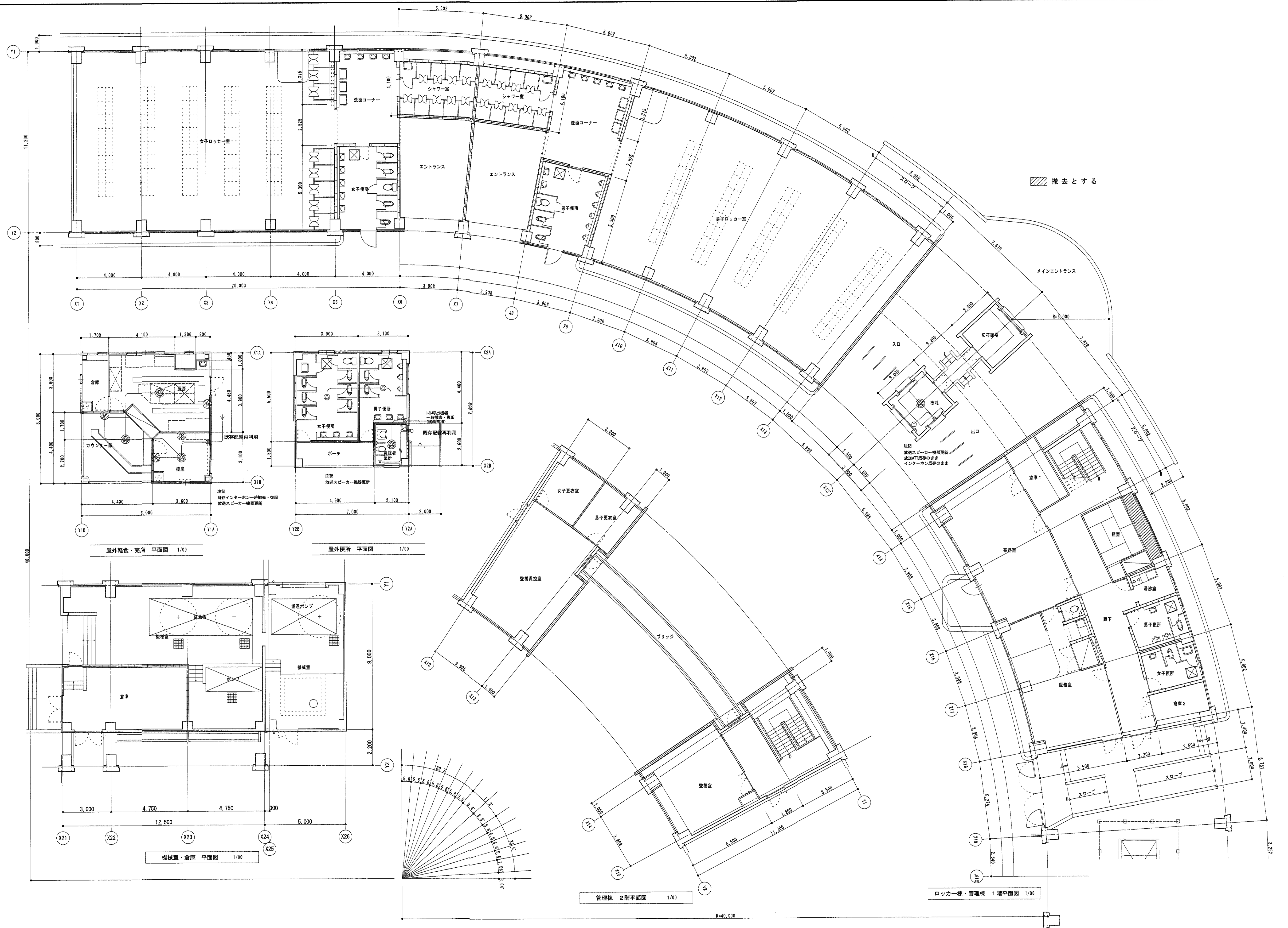
【改修図】

【改修図】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8920 (代) FAX 049-264-8792 登録番号 第 85179 号 E-mail yanai@yanaidc.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 概図	NOTE 柳井	課長 副課長 主任 担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事 図面名 電灯設備 平面図	図面番号 KE
				設計年月日 変更年月日	富士見市総務部常務課		S-1:100 (A-1) S-1:200 (A-3)		028

照明器具 姿図 (型番、計上は参考とする)													
A22	LED20形 (定格出力) 2灯相当	B42	LED32形 (定格出力) 2灯相当	C1		D42	LED32形 (定格出力) 2灯相当			F21	LED20形 (定格出力) 1灯相当	G1	H1
A42	LED32形 (定格出力) 2灯相当	B42w	LED32形 (定格出力) 2灯相当 (防湿・防雨型)					E41w	LED32形 (定格出力) 1灯相当 (防湿・防雨型)				
A22	リニューアル (開口300×639)						開口220×1235				本体: 亜鉛鋼板 カバー: アクリル		
A42	リニューアル (開口300×1257)												
A22	XLX210VEN	B42	LSS9-4900LM			D42	XLX450UENK		E41w	XLW422AEN	F21	NNFW21825	
A42	XLX450VENK	B42w	XLW452AEN										
I1	LEDダウンライト100形	J1	LED40形電球1灯相当	K1	GL6W×1 殺菌灯	L1		M1		N1		O1	P1
	LED<ワンコア (ひと粒) タイプ> 5000K、Ra85、広角タイプ、40000時間 (光束維持率85%)		カバー: アクリルミ (乳白)		間接照射方式 カバー: 鋼板 反射板: アルミ								
													
I1	XNDN1009WNK	J1	LGW85090K	K1	FA01992Z								
Q1		R1		S1		T1		U1		V1		W1	X1
Y1		Z1		a1									

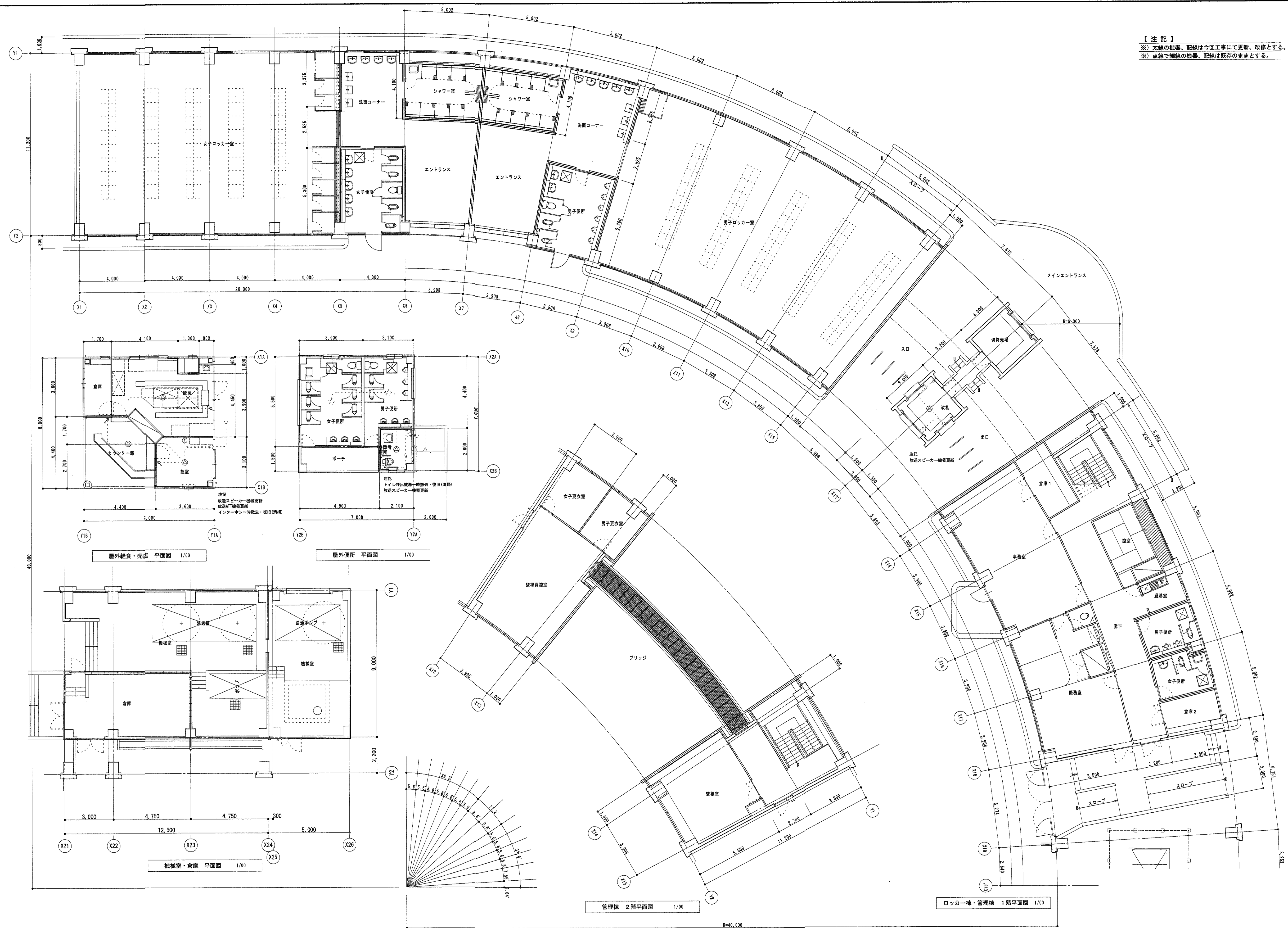
【改修図】



【既存図】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8820 (F) FAX 049-264-8792 E-mail yanisekai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KE/030
				変更年月日	富士見市総務部営繕課	図面名 弱電設備 平面図	S-1:100 (A-1) S-1:200 (A-3)								

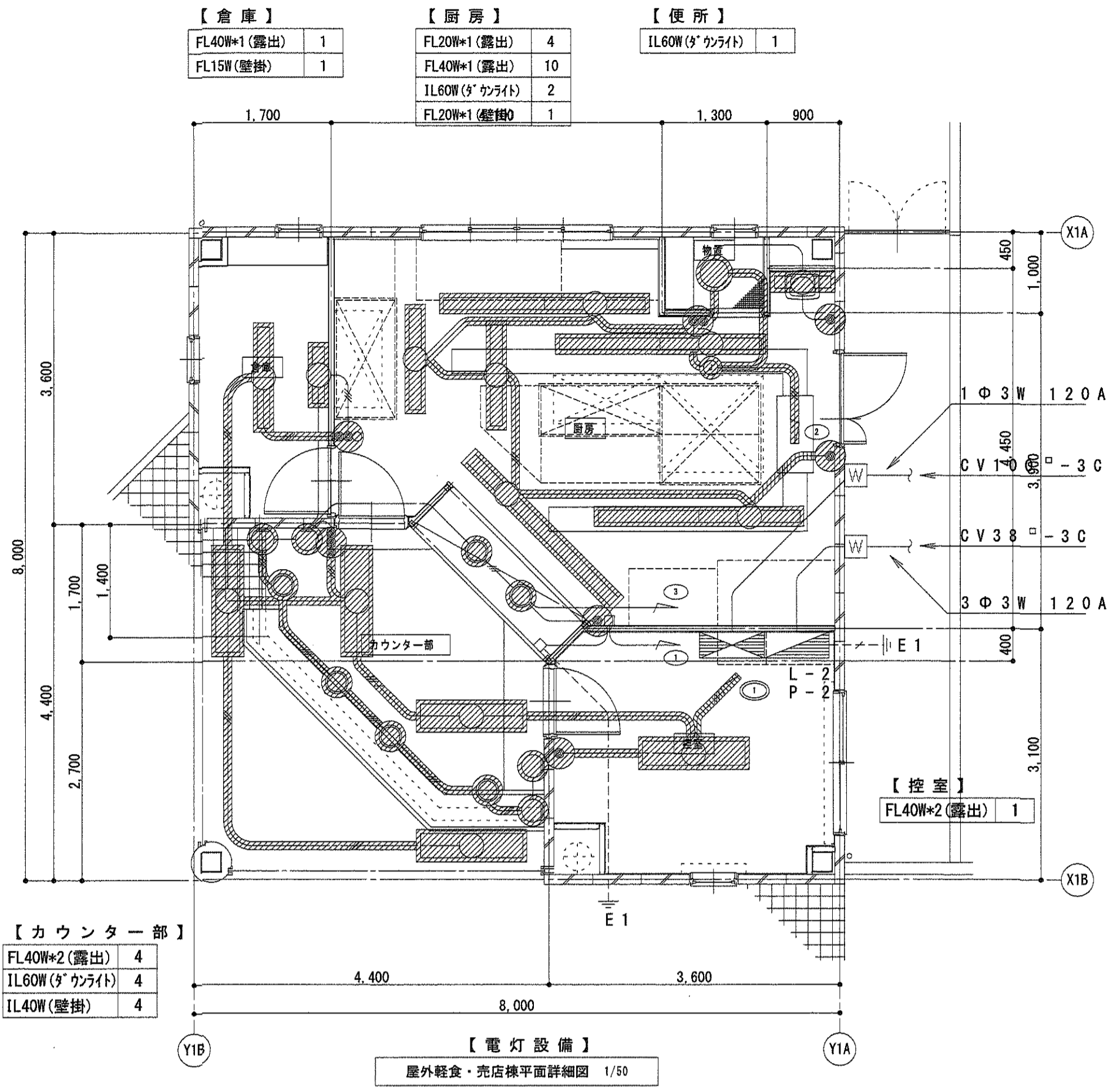
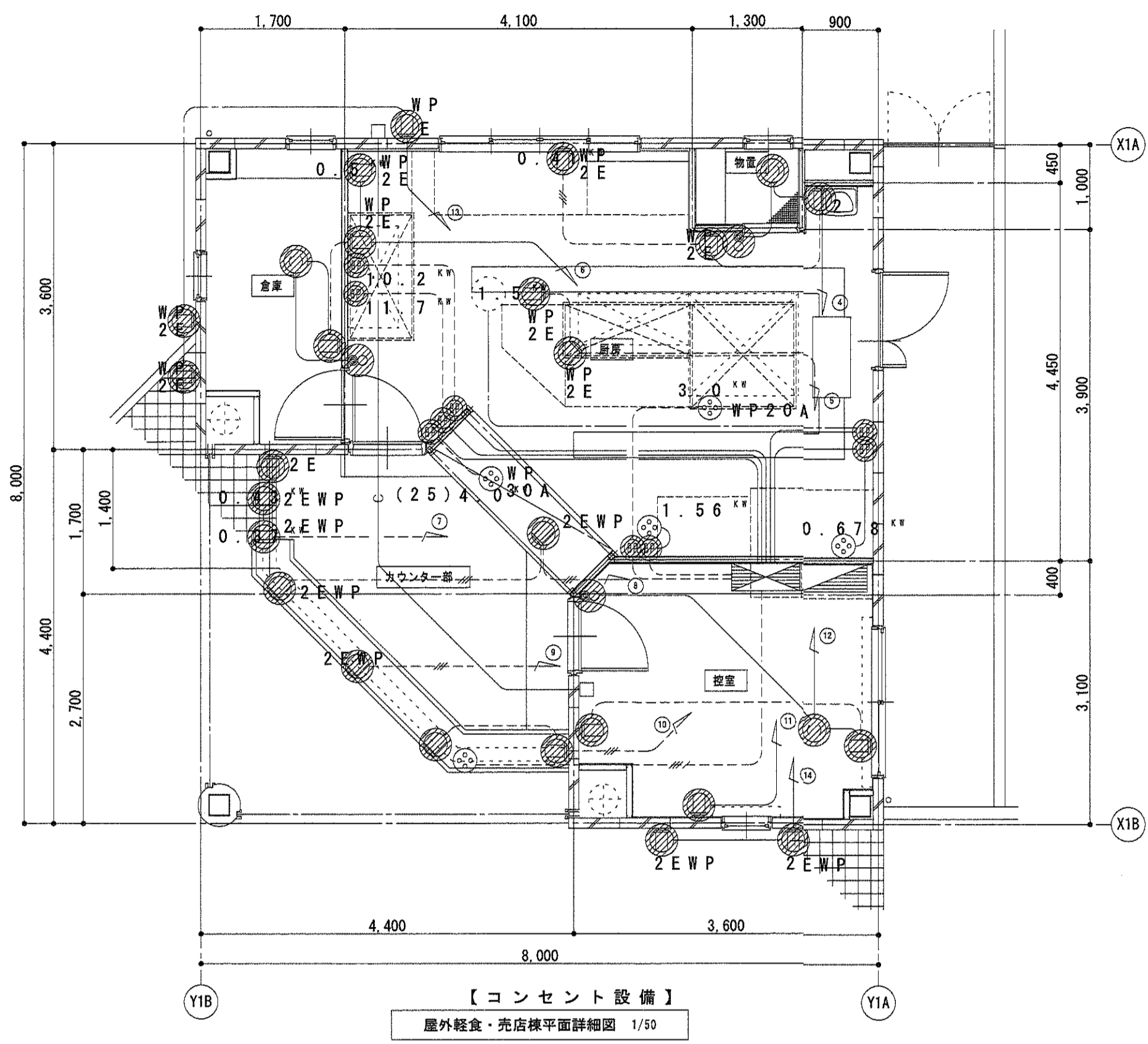
【注記】
 ※) 太線の機器、配線は今回工事にて更新、改修とする。
 ※) 点線で細線の機器、配線は既存のままとする。



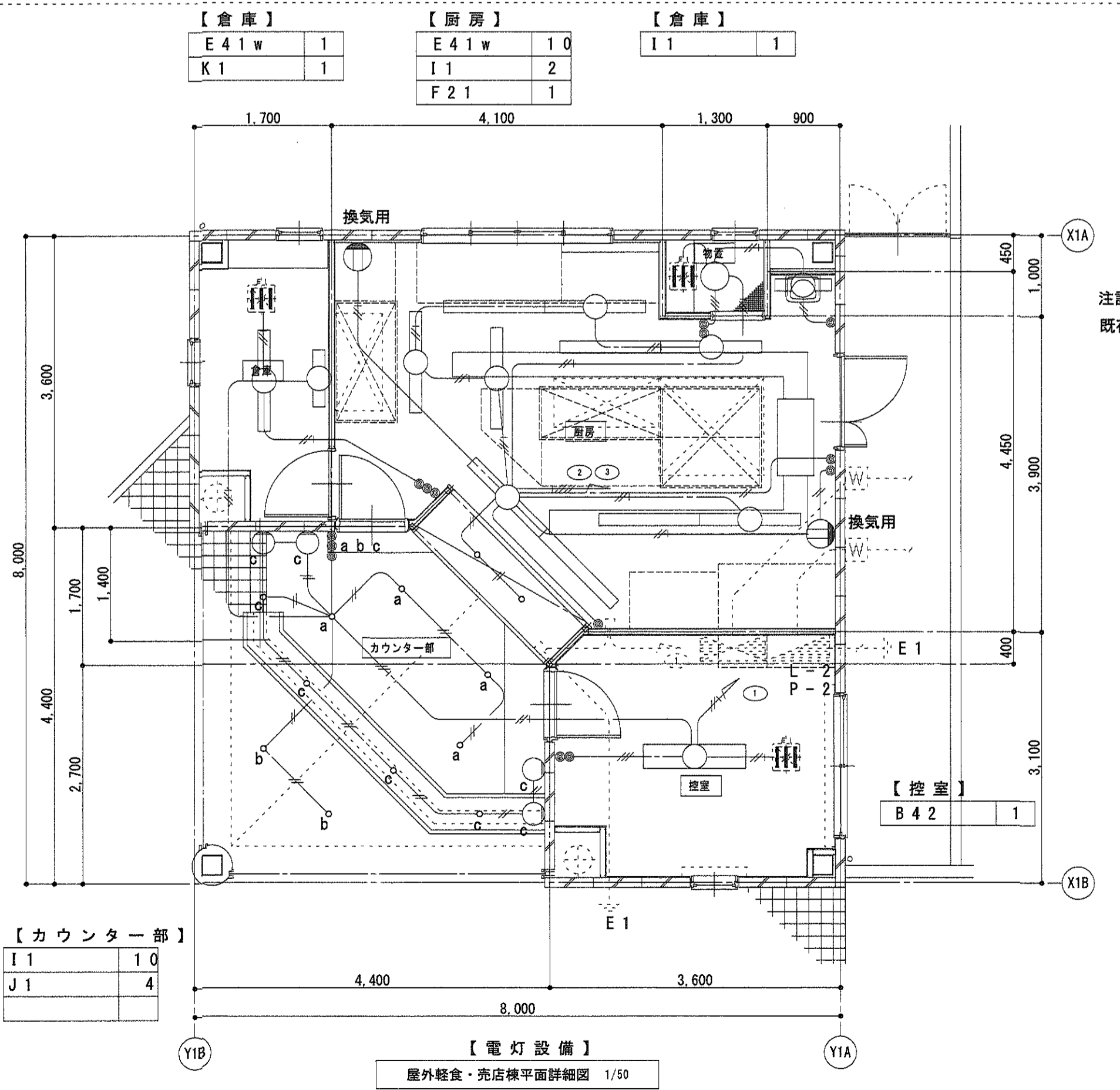
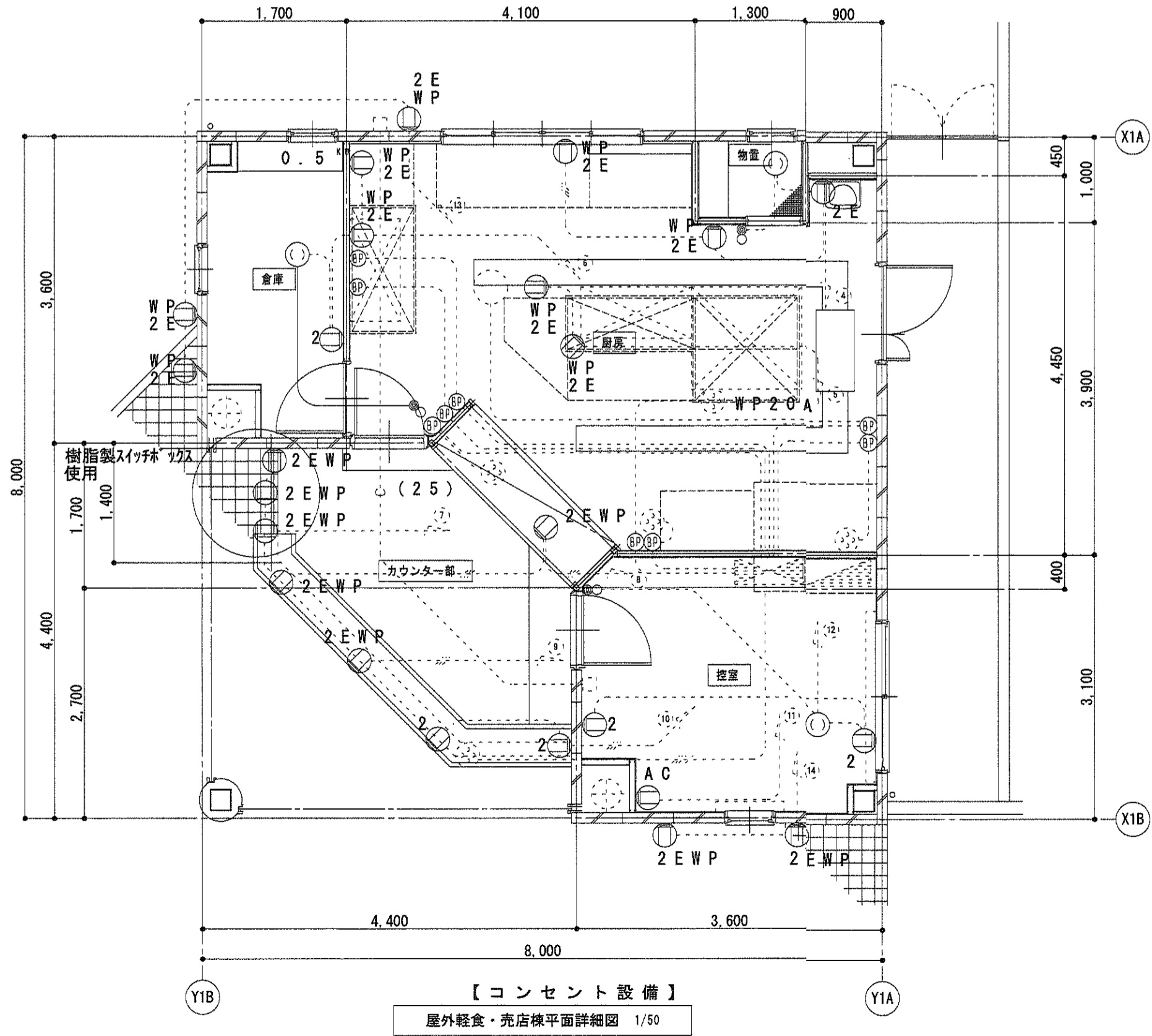
【改修図】

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8820 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisseki@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KE
				変更年月日				図面名 弱電設備 平面図	S-1:100 (A-1) S-1:200 (A-3)	031			

既存



改修後



注記
既存分電盤の清掃を行うこと

【既存改修図】

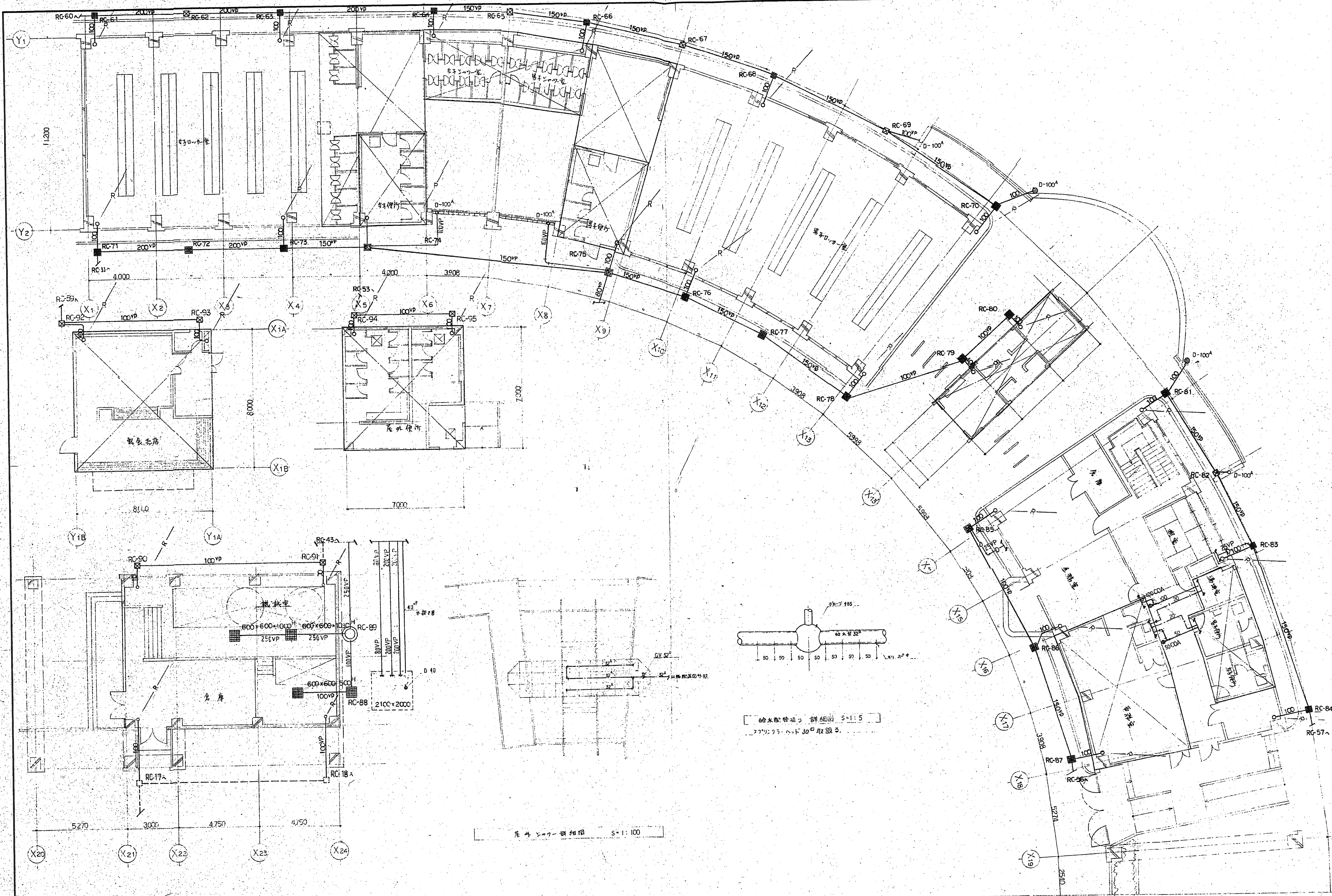
特記仕様書

1	工事名称	(仮称)富士見市市民プール新築工事
2	工事場所	埼玉県富士見市大塚勝地内
3	建築概要	鉄筋コンクリート造2階建(管理棟) 建築面積 1080.61 m ² 延床面積 1186.47 m ²
4	工事仕様	本工事仕様は、本仕様書図面に記入なき事項内容については「埼玉県環境設備工事仕様書」の昭和57年版(以下標準仕様書と称する)に準じ施工するものとし、この仕様書以外のものについては「建設入居官庁舎管理修繕環境設備工事仕様書」及び「環境設備工事標準図 昭和56年版」に準じ施工するものとする。本工事に際し関係官庁への申請手続、申請調査は施工に支障なく行い、また施工法、施工基準、機械等の指定は必要に応じて関係官庁の指導を受け施工するものとする。本工事に際し土中埋設配管のシールド配管は、ビニル管を埋設する時、ビニル管の継ぎ目等に行い埋設するものとする。建物内土間配管の管支持金具は、あらかじめ固定可能な支持方法とする。本工事に対する有線は充分検討の上、施工前に関係と協議の上、決定を行い施工するものとする。
5	工事概要	<p>1. 給水設備工事 本工事は、本館本館より分岐し、直結方式にて各所、プール及び給水器具の配管接続する。又埋設深度は、500mm以上とする。 バルブ類は、JIS-10kgとし、防錆塗装仕様は、標準仕様とする。 (富士見市水道事業給水条例による)</p> <p>2. 排水設備工事 本工事は、汚水、雑排水混合流式とし排水管に排水する。雨水に関しては、各階排水等をパイプ排水に排水し、排水池地内の排水は、ポンプアップして既設池へ排水する。 (富士見市下水条例による)</p> <p>3. 衛生器具設備工事 本工事は、衛生器具類、給水器具、陶器類、排水器具類の設置、水漏れ防止等のため、設置に際し、設置位置、高さ寸法は、担当者協議の上、設置するものとする。</p> <p>4. ガス設備工事 本工事は、管理棟北側部分にプロパンガス装置を設置し、建物内ガス器具を配管接続するものとする。</p> <p>5. 冷暖房設備工事 本工事は、建物内の、医務室、監視室、各控室に空気式、パナソニック製空調機を設け、冷暖房するものとする。 建物屋根に屋外機を設け、冷暖房により冷暖房を行う。事務室、控室(和室)については、空気式ヒートポンプエアコンによる冷暖房を行う。</p> <p>6. 換気設備工事 本工事は、管理棟北側部分に、天井換気扇、川一フロン(仮)換気扇、換気扇の設置、設置位置、高さ寸法は、担当者協議の上、設置するものとする。</p> <p>7. プール給水設備工事 本工事は、機械室に給水装置を設置し、プール、タイルポンプ等は、屋外に設置し、別仕様書により施工するものとする。</p>
6	工事区分	<p>1. U字溝、U字溝接続工事 (別仕様書)</p> <p>2. 梁、壁、床スラブ補修工事 ()</p> <p>3. 建物雨水配管工事 (本工事)</p> <p>4. プール給水設備工事 (本工事)</p> <p>5. プール排水配管工事 ()</p> <p>6. プール排水配管工事 ()</p> <p>7. プール配水配管工事 ()</p> <p>8. プール給水ポンプ水槽類 ()</p> <p>9. 屋内U字溝、ケーシング工事 (別仕様書)</p> <p>10. 人研流し、ステンレス流し類 ()</p> <p>11. 屋上コンクリート基礎 ()</p> <p>12. 点検口 ()</p> <p>13. プール給水ポンプ、水槽類の基礎工事 ()</p>

保温：防露	配管	厚さ10mm以上 スチレン	鉄 線	専 用	双方向バルブ	綿 布	ポリガラスクロス	防水麻布	双方向バルブ	ステンレス材
	露 出	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	いんたい	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	天井暗室の換	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	屋外露出	○	○	○	○	○	○	○	○	○

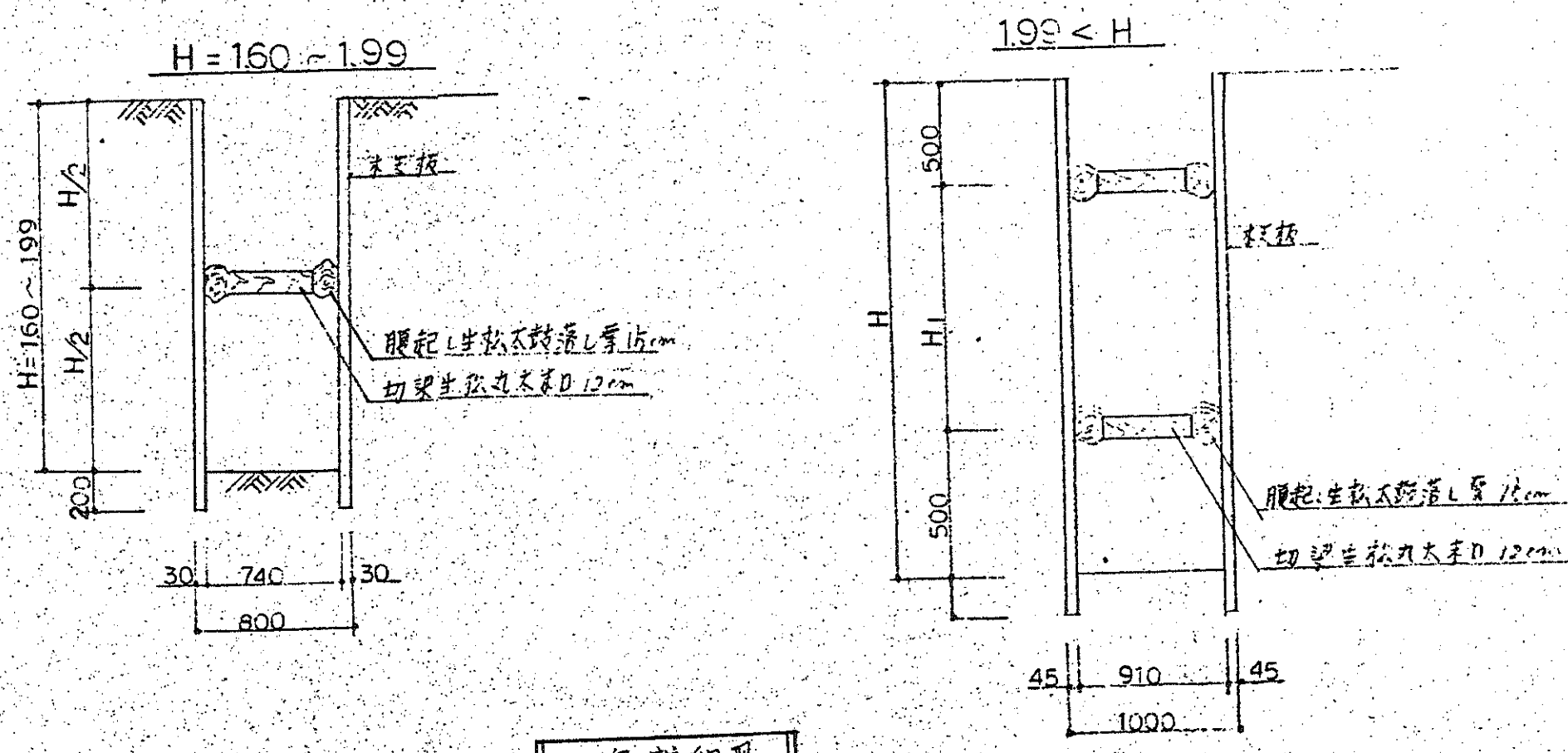
記 号	名 称	材 料	備 考
VP	給 水 管	硬質塩化ビニル管	JIS-K-6741 VP 屋外
	給 水 管	塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K116 (V8) 屋内
	給 湯 管	鋼 管	JIS-H-3300 (M1417)
G	ガ ス 管	水圧用 亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442
VP	汚 水 管	硬質塩化ビニル管	JIS-K-6741
VP	雑 排 水 管		
	通 気 管	白 ガ ス 管	JIS-G-3452 ヒスト内配管は硬質塩化ビニル管を使用
	ホ ー ル 5 通 配 管	硬質塩化ビニル管	JIS-K-6741 VP (埋設は亜鉛鍍鋼管)
D	ド ラ イ ン 管	硬質塩化ビニル管	JIS-K-6741 VP
	冷 媒 管	銅 管	JIS-G-3300 (K1417)
△	給 水 栓 ・ 給 湯 栓		3階以下は防錆品を使用 2階以上は銅栓
○	ラ ッ シ ュ 弁		
○	ガ ス 栓		
⊙	床 上 掃 除 口		
⊗	排 水 金 物		
—M—	ゲート弁・チャッキ弁		JIS-10k
—	フレキシブル継ぎ		ゴム製
□	汚 水 栓		錆鉄フタ
⊗	雨 水 栓		
⊗	化粧マンホールの付		
■	格 子 柵		
⊗	バルブボックス		バルブは化粧フタとする。

メーカーリスト	本工事に使用される機器類は下記の中から適宜の承認を得ること。(同等品)			
品 名	製 造 所 名	品 名	製 造 所 名	
炉 焚 装 置	日本炉工KK, 豊田工業KK, 三浦炉工KK	鋼 管 類	日本鋼管KK, 朝日鋼管KK, 住友鋼管KK	
ボ ン プ 類	KK産業製作所, KK産業製作所, KK産業製作所	硬質塩化ビニル管	久保田鉄工KK, 清水工業KK, 三菱鋼管KK	
冷 暖 房 機 器	パナソニックKK, 三菱電機KK, 三菱電機KK	鋼 管	住友鋼管KK, 三菱鋼管KK, 古河鋼管KK	
換 気 扇	三菱電機KK, 東洋電機KK	弁 類	KK製バルブ, 三吉バルブKK, 大和バルブKK	
川一フロン	KK製機製作所			
衛 生 器 具	東洋電機KK, 伊奈製作KK			
水 栓 類				
ガ ス 湯 沸 器	KKパロマ, 伊ナ工業KK, 北原製器KK			
消 火 器 具	消防機KK, KK村上製作所, KK高北製作所			
流 水 金 物	KK製機製作所, 伊奈鉄工KK, 大阪工業KK			
柵 類	大川コンクリートKK, 大塚コンクリートKK, KK大川コンクリートKK			



整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@office-yanai.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 65179 号	設計年月日	承認	審査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM 004
				変更年月日				柳井									

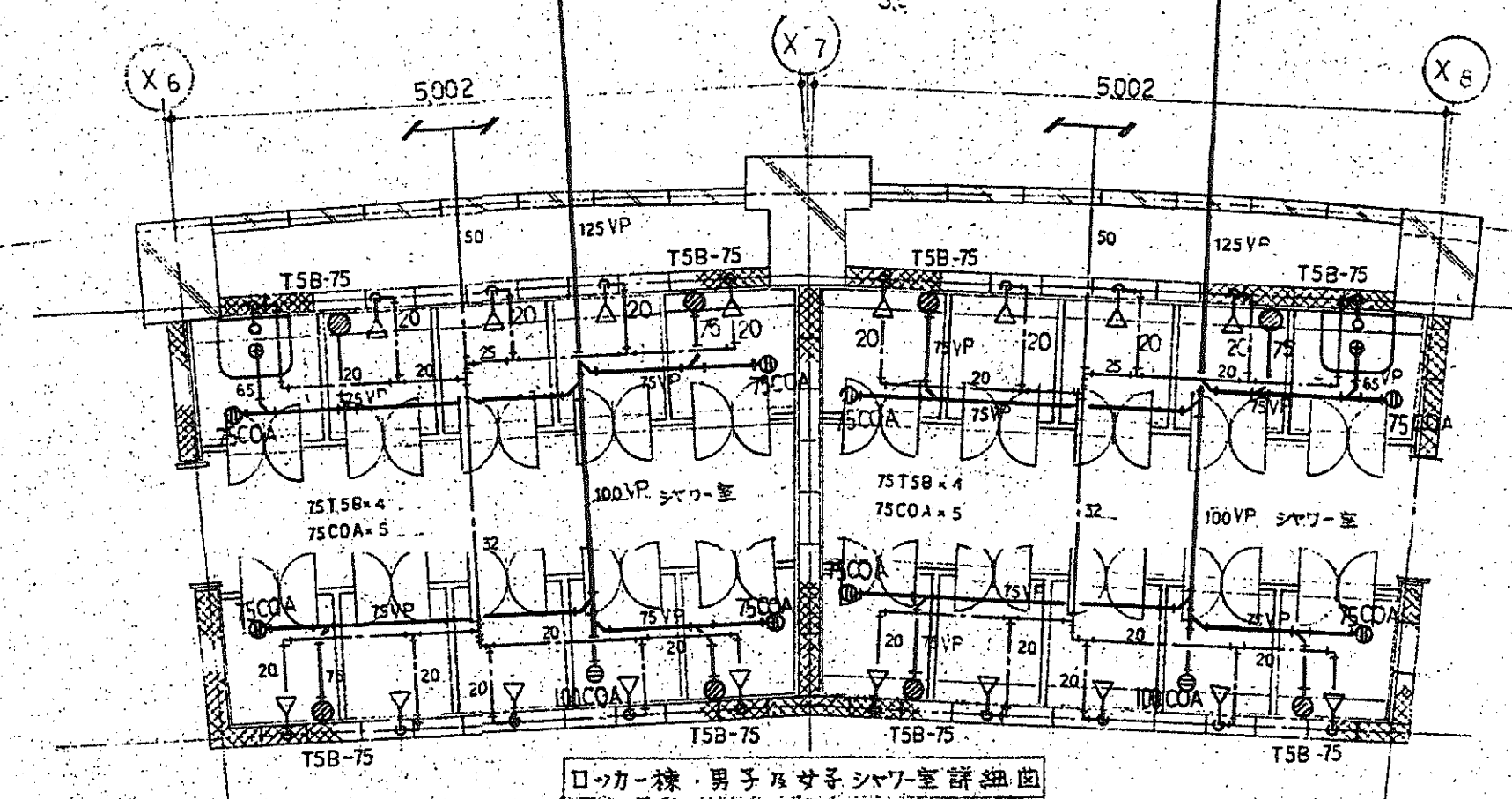
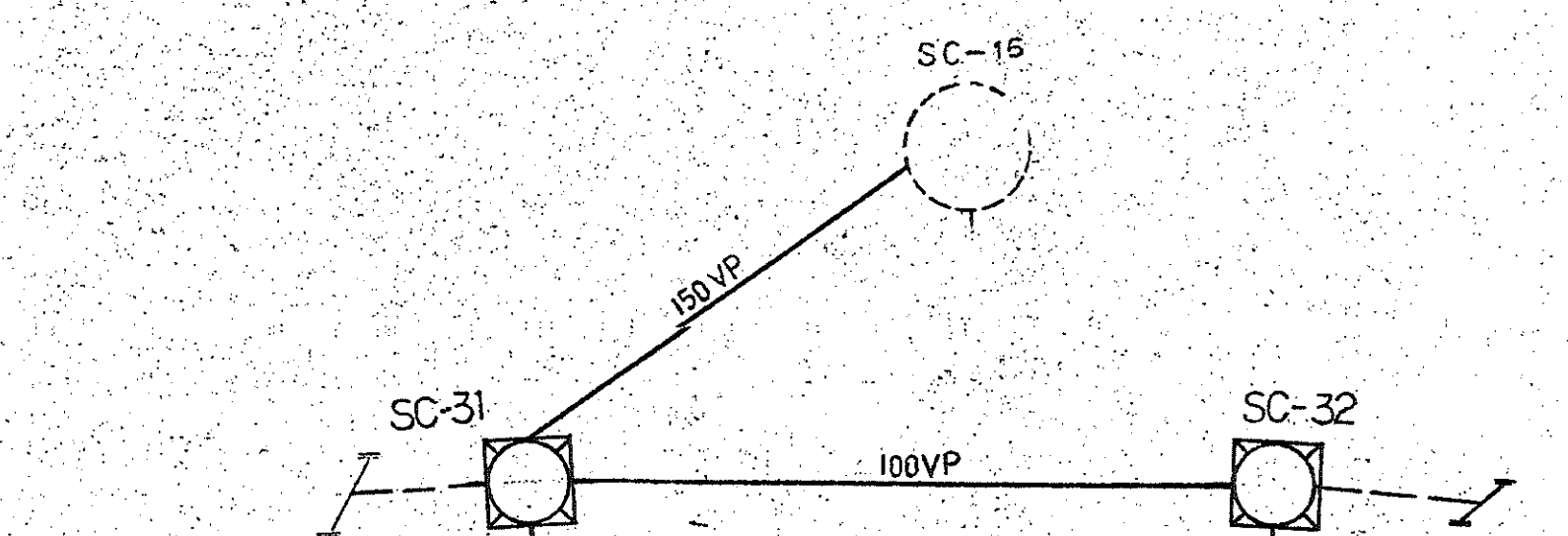
大 窓 板



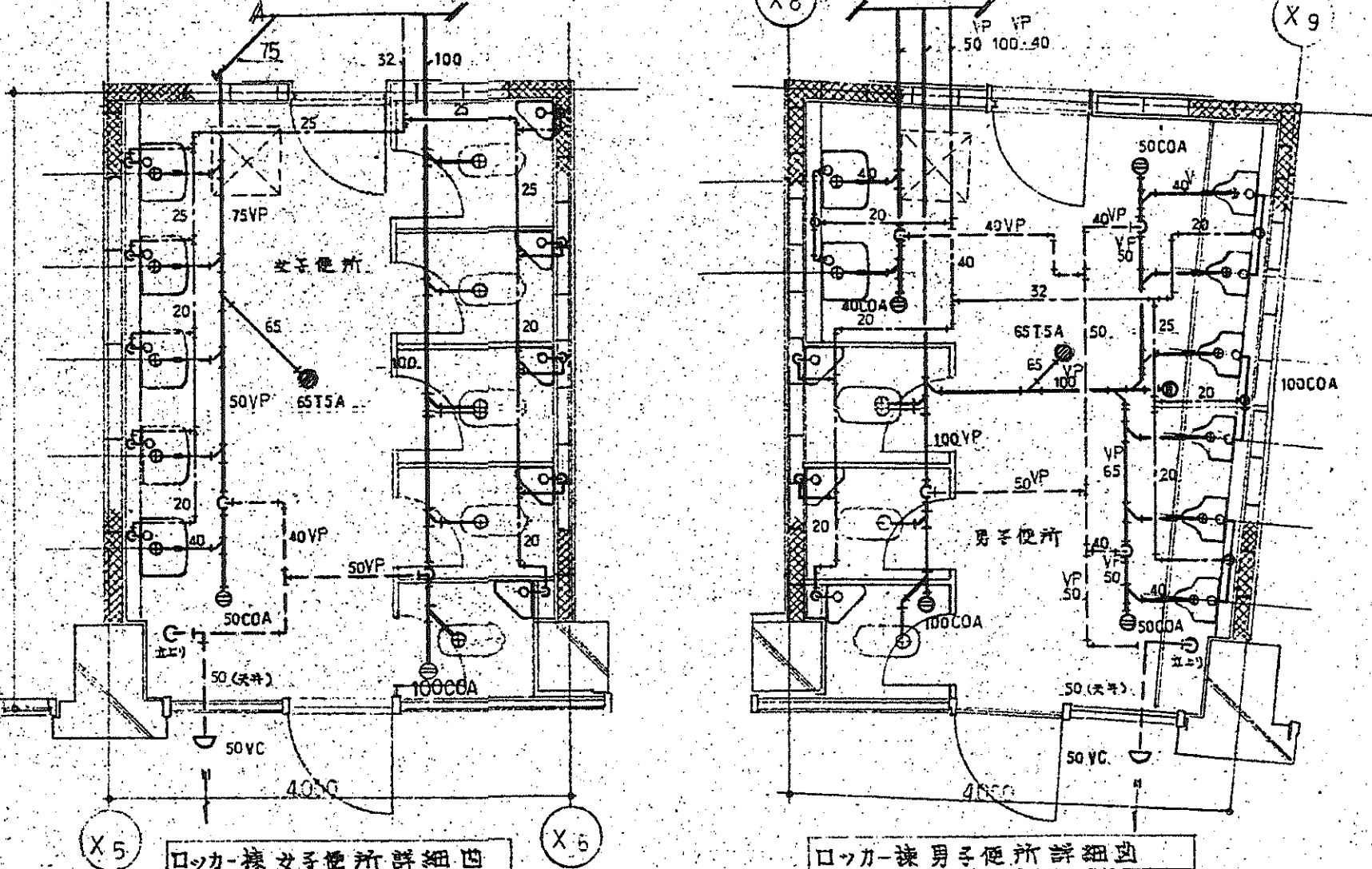
寸法表

H	H1
2000	800
2150	900
2400	1200
2700	1500
3000	1800

山留詳細図



ロッカー・裸 男子及女子シャワー室詳細図



ロッカー・裸 女子シャワー室詳細図

ロッカー・裸 男子シャワー室詳細図

女子シャワー室

シャワー	Eカ12T4A	9
換気機	VS-210	1

男子シャワー室

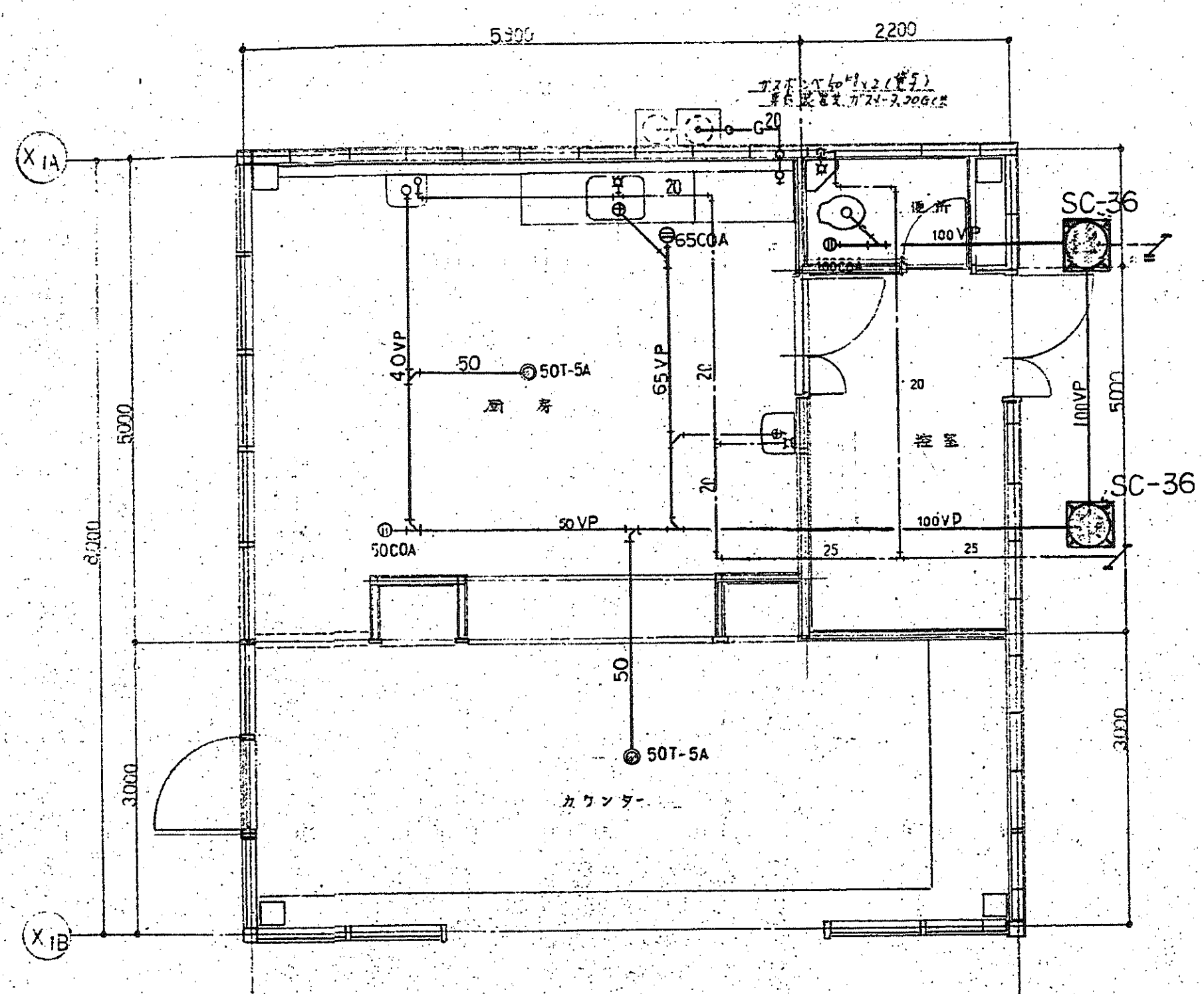
シャワー	Eカ12T4A	9
換気機	VS-210	1

ロッカー・裸 女子用

和服大徳器	VC-311	5
ロッカー	S570B	5
洗面器	VL-630	5
鏡	TS119AS5	5

ロッカー・裸 男子用

和服大徳器	VC-311	3
ロッカー	S570B	3
小便器	VU-420	6
洗面器	VL-630	2
鏡	TS119AS5	2



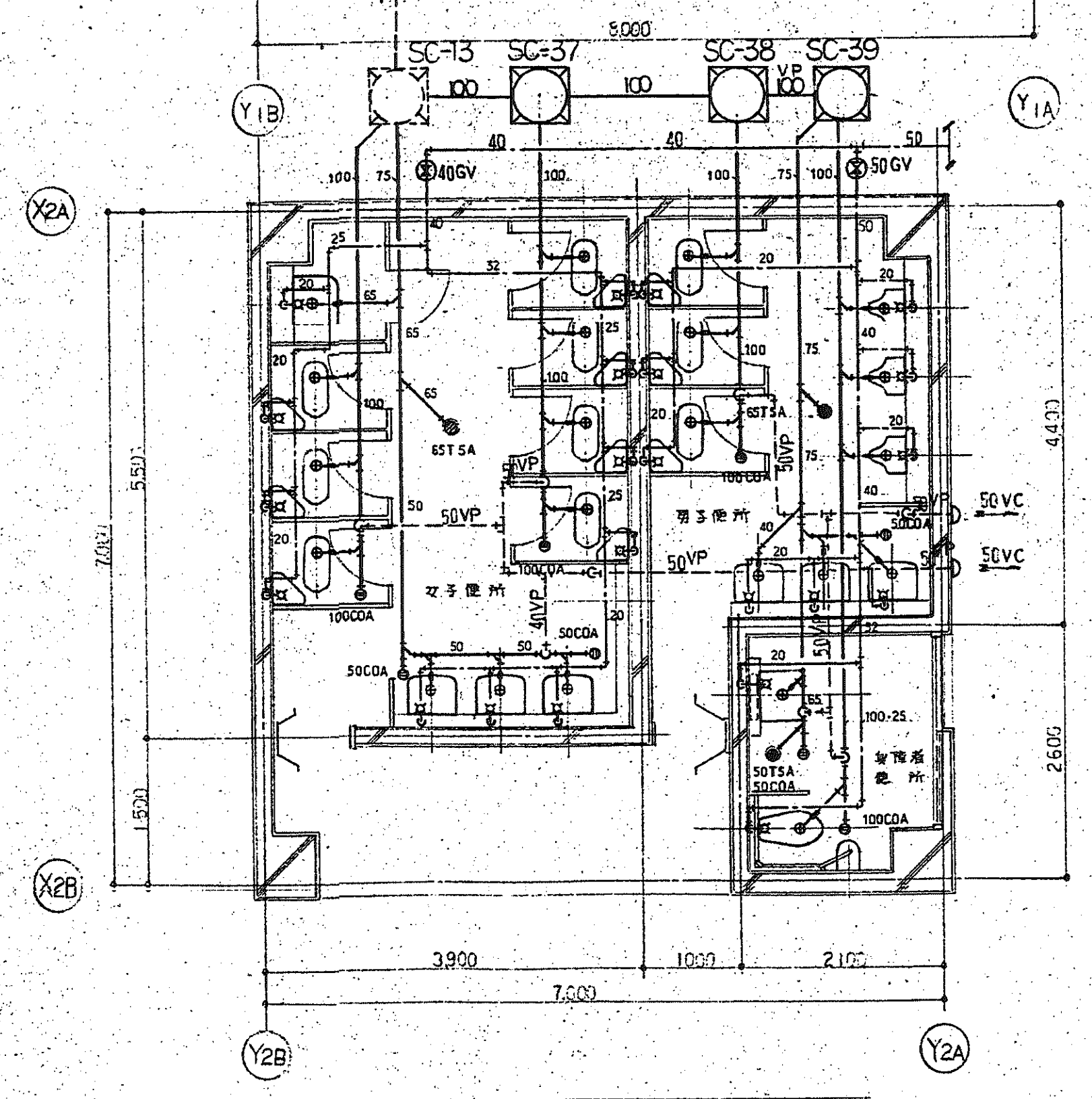
化粧機設置箇所

洋風大徳器	VC-710	1
ロッカー	S570B	1

洗面器

手洗器	VL-710	2
鏡	TS119AS5	2
小便器	VU-420	1
洗面器	VL-630	1

化粧機設置箇所詳細図



屋外女子用

和服大徳器	VC-311	3
ロッカー	S570B	7
洗面器	VL-630	3
鏡	TS119AS5	3
換気機	VS-210	1

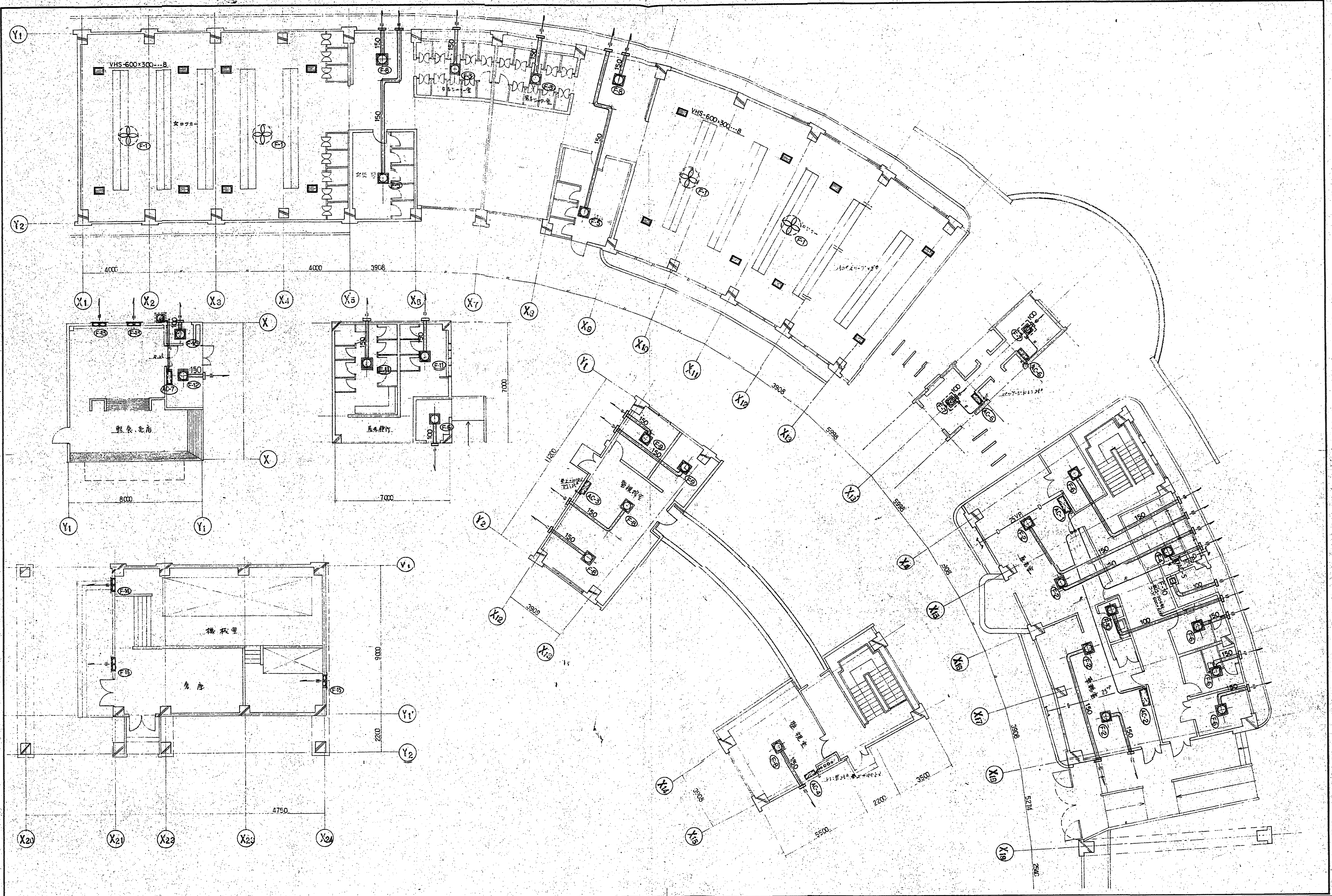
屋外男子用

和服大徳器	VC-311	3
ロッカー	S570B	2
小便器	VU-420	3
洗面器	VL-630	3
鏡	TS119AS5	3

屋外身障者用

身障者用大徳器	C48A, TS140VB	1
洗面器	L103CF	1
鏡	LH480	1

屋外男子女子身障者用便所詳細図



整理番号 R5年富士見市
株式会社柳井設計 一級建築士事務所
 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI
 TEL 049-264-8820 (fr)
 FAX 049-264-8792
 E-mail yanaiskko@nifty.com

一級建築士 柳井 博
 登録番号 第 85179 号

設計年月日
 変更年月日

承認	照査	設計	製図	NOTE
			柳井	

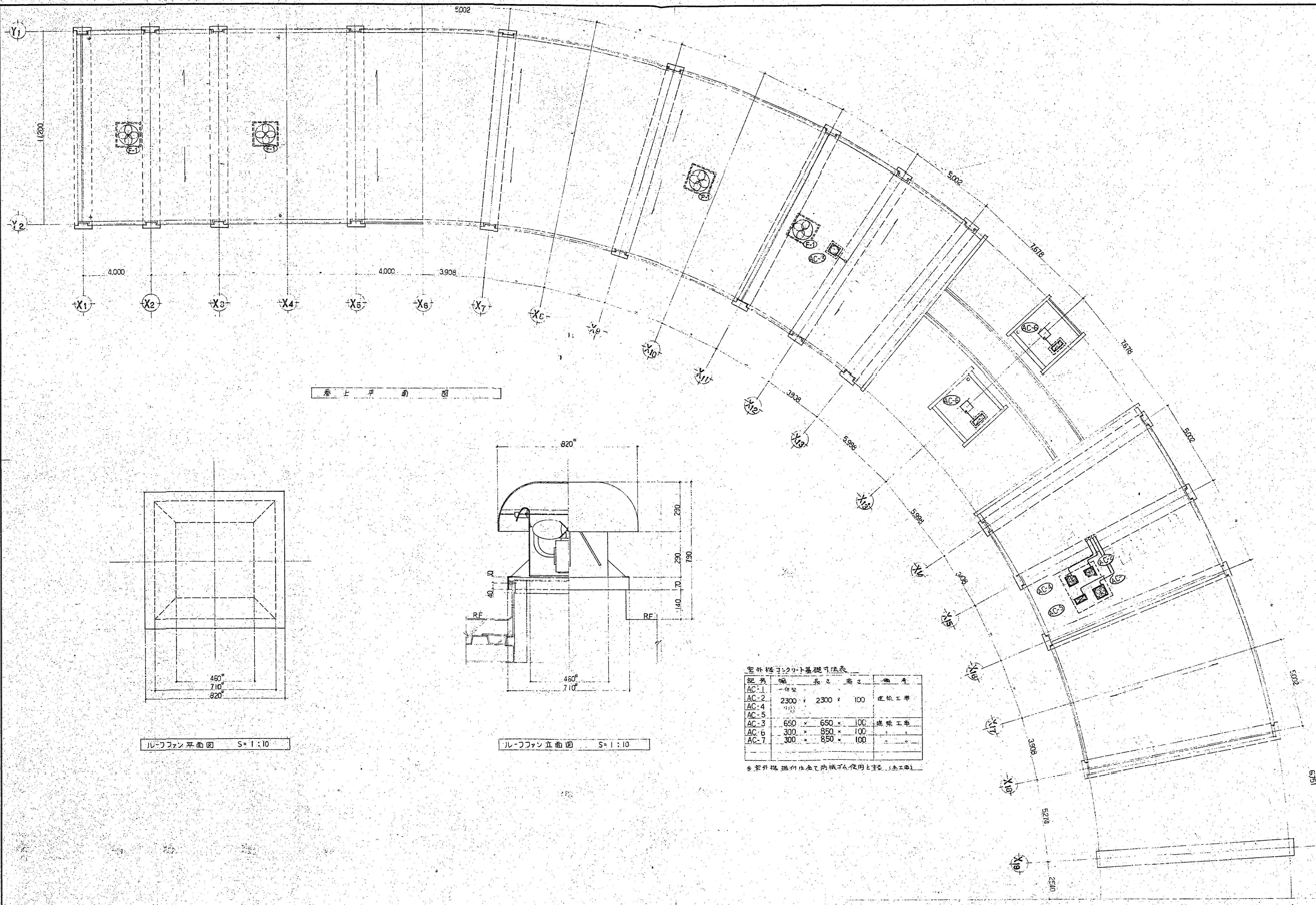
富士見市総務部営繕課

課長	副課長	主任	担当

工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事
 図面名 冷暖房・換気1階設備図

S-1:100 (A-1)
 S-1:200 (A-3)

図面番号 KM/007

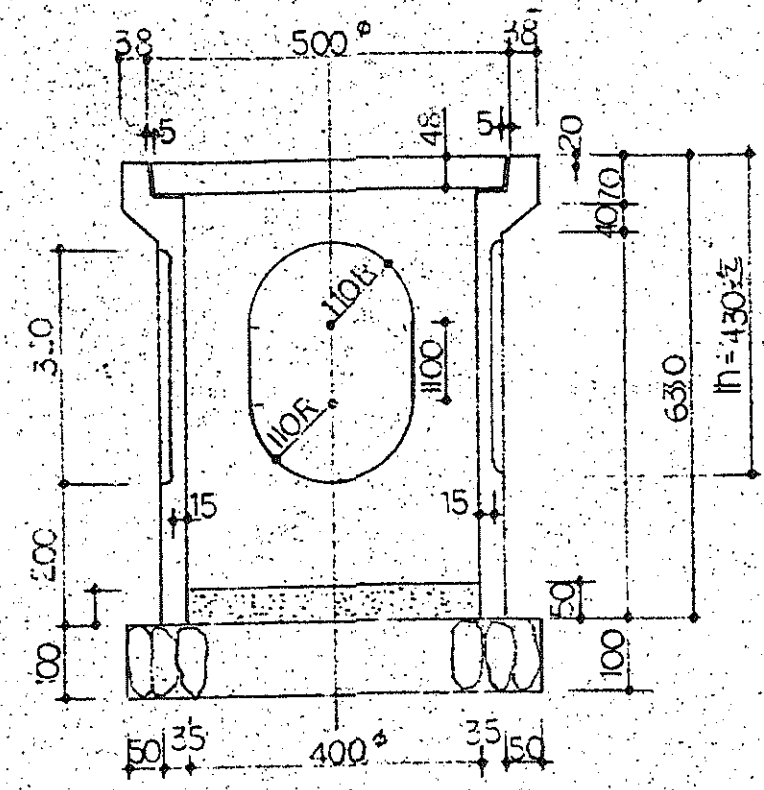


室外機用コンクリート基礎寸法表

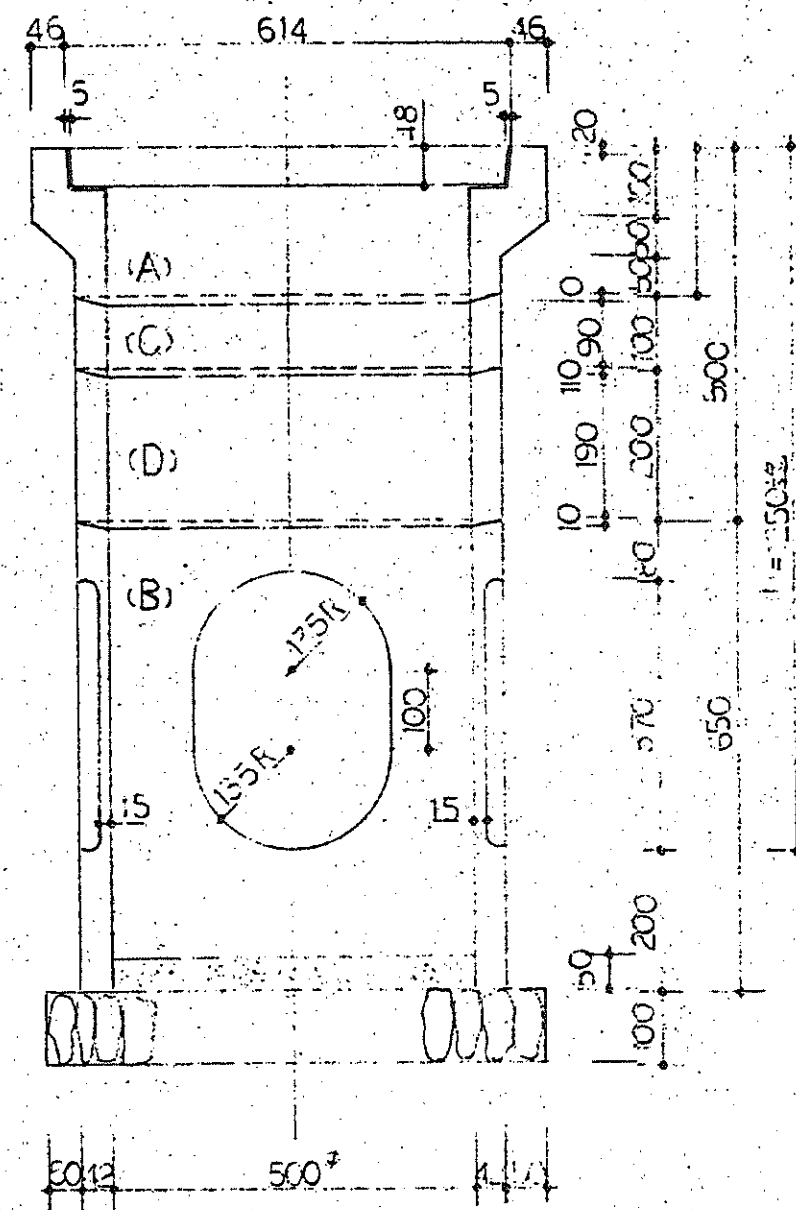
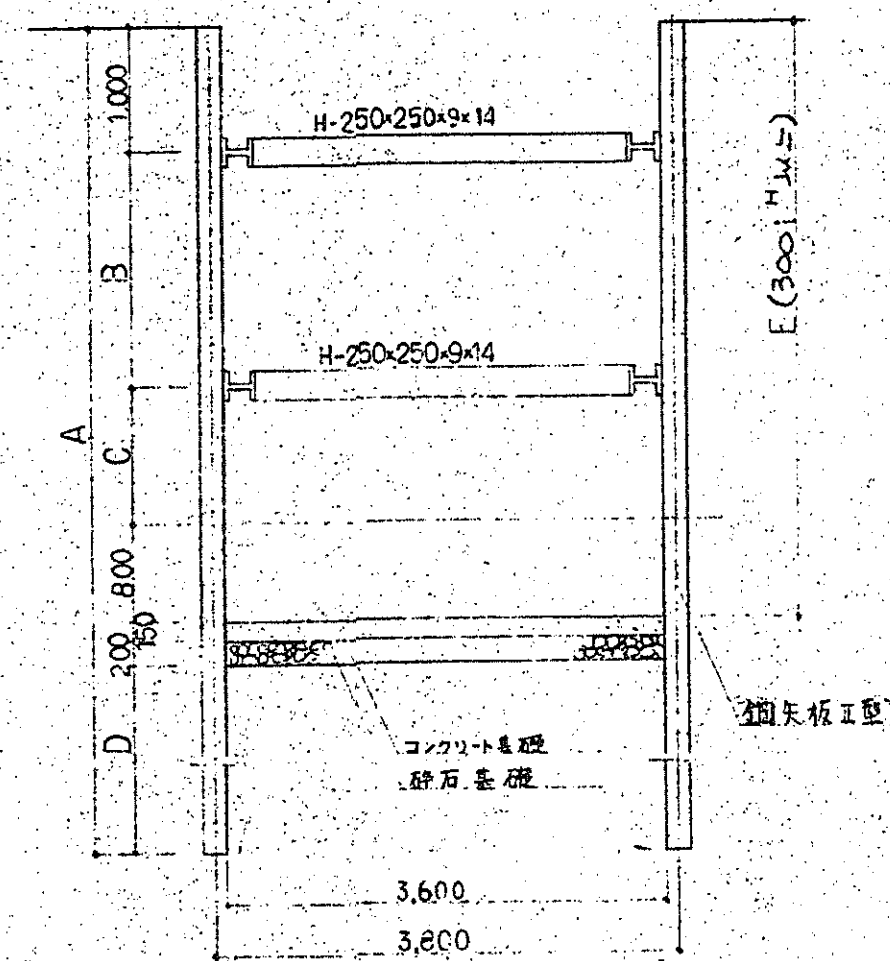
記号	幅	長さ	高さ	備考
AC-1	100	100	100	1台分
AC-2	2300	2300	100	連続工事
AC-4	100	100	100	1台分
AC-5	100	100	100	1台分
AC-3	650	650	100	連続工事
AC-6	300	850	100	1台分
AC-7	300	850	100	1台分

* 室外機据付位置で内径のみ使用とする。(全工事)

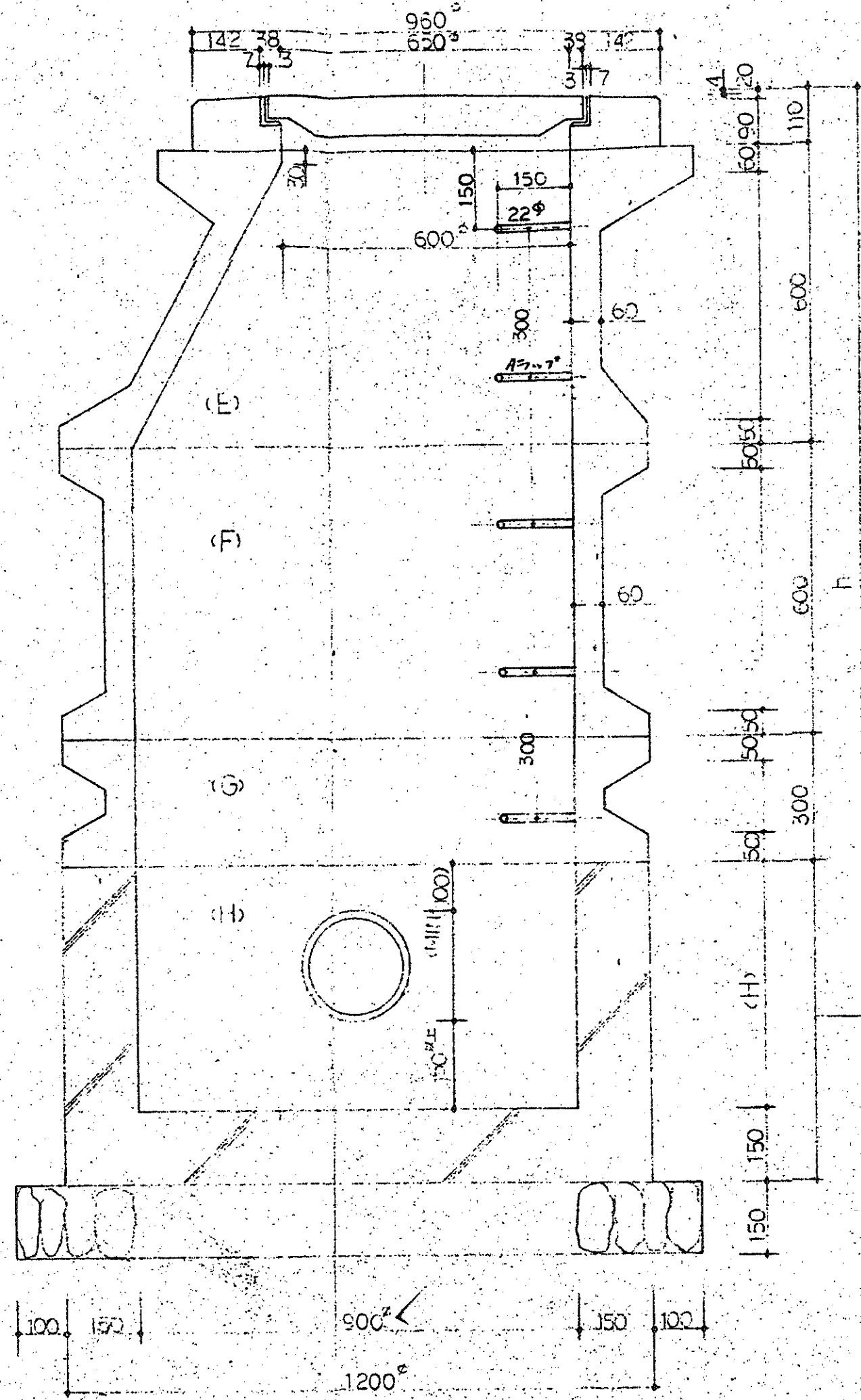
柱詳細図



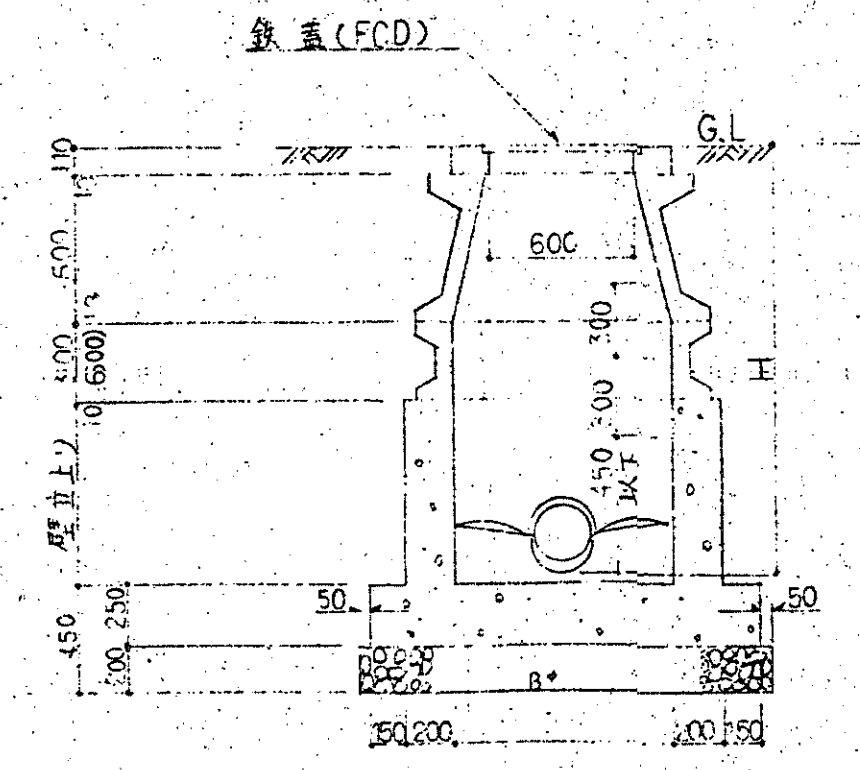
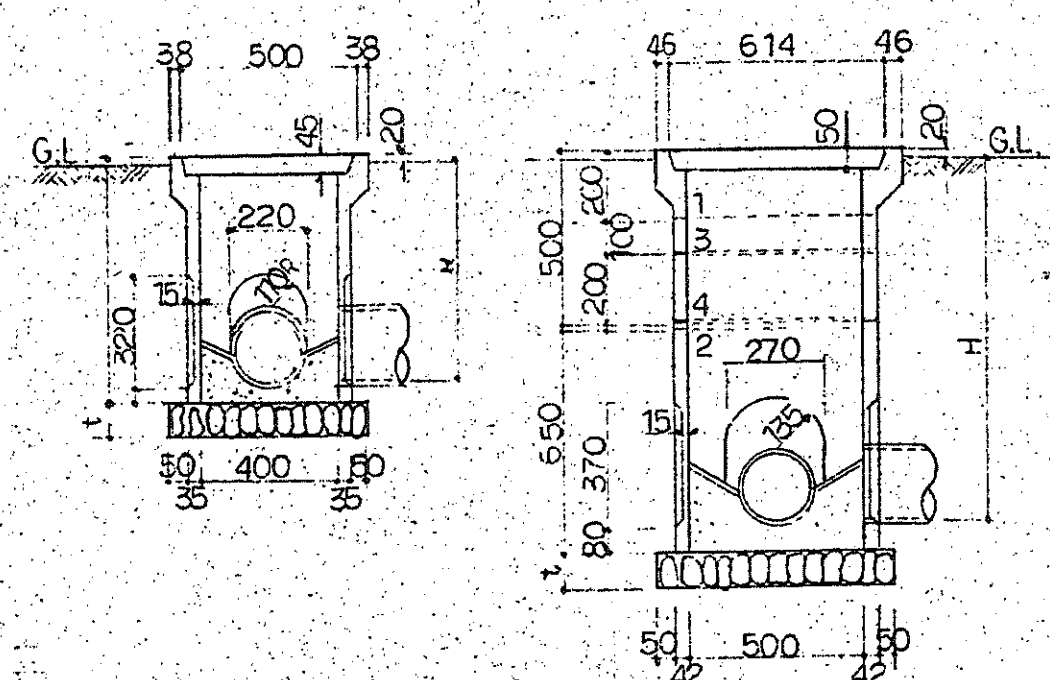
根切り仮設図(鋼板)



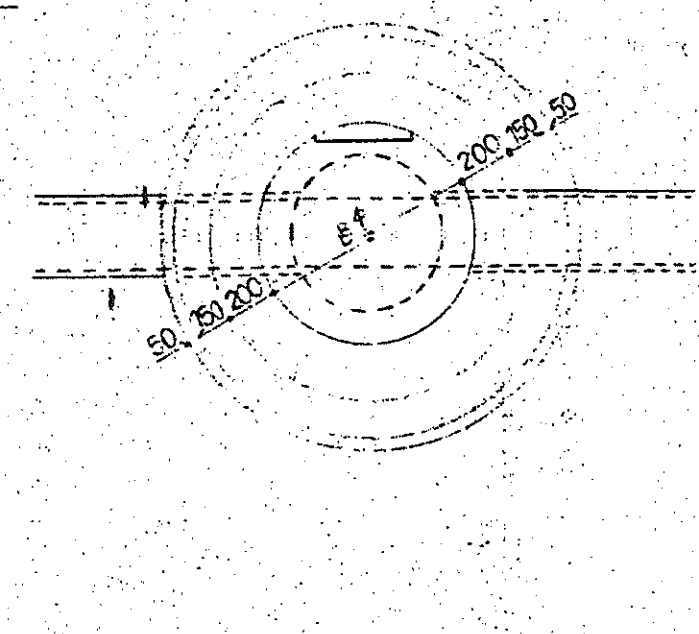
インバート柱詳細図



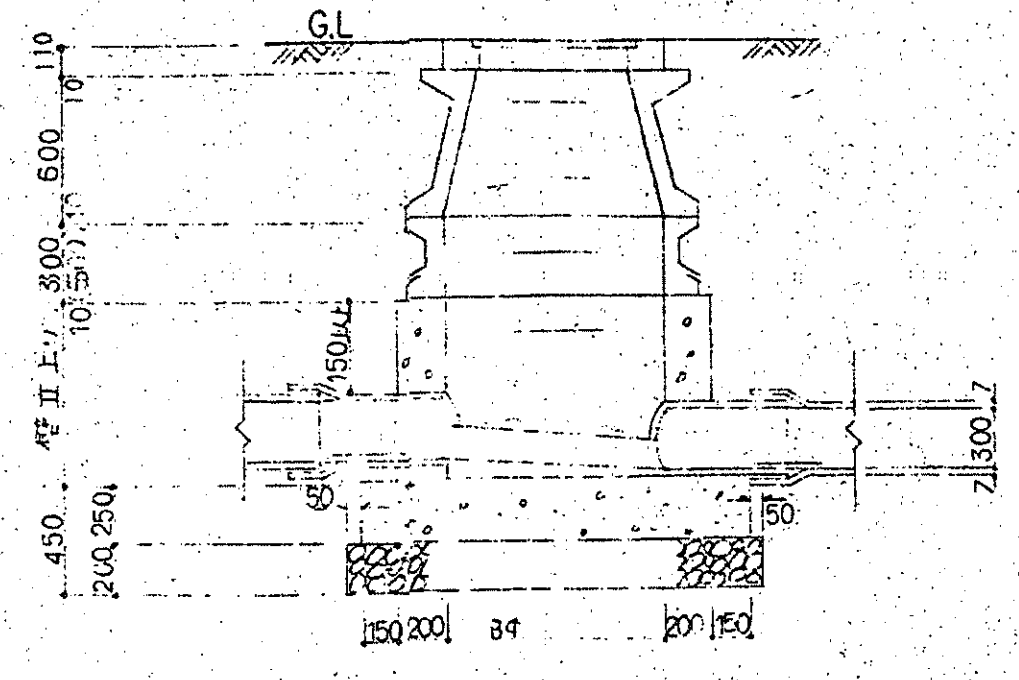
H=1201ヨ B=900
H=2501ヨ B=1270



横断面図



平面図



縦断面図

SC-1	4200	600	RC-1	1800	600
SC-2	4010	600	RC-2	1350	600
SC-3	3900	600	RC-3	1300	600
SC-4	3750	600	RC-4	1250	600
SC-5	3600	600	RC-5	1200	600
SC-6	3500	600	RC-6	1140	600
SC-7	1000	500	RC-7	1090	600
SC-8	870	500	RC-8	1020	600
SC-9	730	500	RC-9	930	600
SC-10	610	500	RC-10	900	600
SC-11	470	400	RC-11	860	600
SC-12	610	500	RC-12	800	600
SC-13	550	400	RC-13	730	600
SC-14	2110	600	RC-14	700	600
SC-15	1890	600	RC-15	1080	600
SC-16	1820	600	RC-16	930	600
SC-17	1620	600	RC-17	880	600
SC-18	1490	600	RC-18	810	600
SC-19	1340	600	RC-19	1350	600
SC-20	1756	600	RC-20	1300	600
SC-21	1745	600	RC-21	1250	600
SC-22	1736	600	RC-22	1220	600
SC-23	1720	600	RC-23	1169	600
SC-24	1500	600	RC-24	1100	600
SC-25	450	400	RC-25	1040	600
SC-26	750	500	RC-26	960	600
SC-27	700	500	RC-27	1500	600
SC-28	670	500	RC-28	1450	600
SC-29	600	400	RC-29	1400	600
SC-30	630	500	RC-30	1350	600
SC-31	680	500	RC-31	1290	600
SC-32	630	400	RC-32	1250	600
SC-33	600	400	RC-33	1250	600
SC-34	580	400	RC-34	1720	600
SC-35	600	600	RC-35	1670	600
SC-36	630	500	RC-36	1590	600
SC-37	540	400	RC-37	1540	600
SC-38	520	400	RC-38	1300	600
SC-39	500	400	RC-39	1090	600
SC-40			RC-40	990	600
SC-41			RC-41	890	600
SC-42			RC-42	770	600
SC-43			RC-43	650	600
SC-44			RC-44	550	600
SC-45			RC-45	450	600
SC-46			RC-46	890	600
SC-47			RC-47	790	600
SC-48			RC-48	690	600
SC-49			RC-49	590	600
SC-50			RC-50	510	600
SC-51			RC-51	450	600
SC-52			RC-52	520	600
SC-53			RC-53	450	600
SC-54			RC-54	660	600
SC-55			RC-55	640	600
SC-56			RC-56	1040	600
SC-57			RC-57	690	600
SC-58			RC-58	640	600
SC-59			RC-59	450	600
SC-60			RC-60	1020	600
SC-61			RC-61	1010	600
SC-62			RC-62	960	600
SC-63			RC-63	900	600
SC-64			RC-64	810	600
SC-65			RC-65	770	600
SC-66			RC-66	720	600
SC-67			RC-67	660	600
SC-68			RC-68	600	600
SC-69			RC-69	530	600
SC-70			RC-70	650	600
SC-71			RC-71	1240	600
SC-72			RC-72	1180	600
SC-73			RC-73	1120	600
SC-74			RC-74	1040	600
SC-75			RC-75	950	600
SC-76			RC-76	670	600
SC-77			RC-77	620	600
SC-78			RC-78	560	600
SC-79			RC-79	490	600
SC-80			RC-80	450	600
SC-81			RC-81	650	600
SC-82			RC-82	510	600
SC-83			RC-83	560	600
SC-84			RC-84	670	600
SC-85			RC-85	430	600
SC-86			RC-86	530	600
SC-87			RC-87	600	600
SC-88			RC-88	1530	600
SC-89			RC-89	1560	600
SC-90			RC-90	360	600
SC-91			RC-91	470	600
SC-92			RC-92	360	600
SC-93			RC-93	440	600
SC-94			RC-94	420	600
SC-95			RC-95	360	600

浄過装置機器リスト表

機器番号	機器名称	台	機器仕様
WF - 1	全自動砂層浄過装置 (50Mプール用)	1	処理水量:180m ³ /h 浄過面積:5.3m ² 浄過タンク:2600φ 本体:SS41 鏡板:6m ² /m 胴板:6m ² /m 塗装:内部:エポキシ塗料、外部:ジクロロメトフライマー後:フタル酸系樹脂塗料仕上り 自動切替弁:6B-AV(ホップ水流に依る自動切替弁)
WF - 2	全自動砂層浄過装置 (子供・スライダプール用)	1	処理水量:180m ³ /h 浄過面積:5.3m ² 浄過タンク:2600φ 本体:SS41 鏡板:6m ² /m 胴板:6m ² /m 塗装:内部:エポキシ塗料、外部:ジクロロメトフライマー後:フタル酸系樹脂塗料仕上り 自動切替弁:6B-AV(ホップ水流に依る自動切替弁)
PW - 1	ホップ	1	浄過ホップ(全閉外周型) 3φ x 200φ x 3m ³ /min x 15.5m x 11kW
PW - 2	ホップ	1	逆洗ホップ(全閉外周型) 3φ x 200φ x 3m ³ /min x 10m x 7.5kW
PW - 3	ホップ	1	浄過ホップ(全閉外周型) 3φ x 200φ x 3m ³ /min x 15.5m x 11kW
PW - 4	ホップ	1	逆洗ホップ(全閉外周型) 3φ x 200φ x 3m ³ /min x 10m x 7.5kW
PW - 5	ホップ	1	スライダホップ(自吸式) 3φ x 200φ x 0.34m ³ /min x 12m x 1.5kW
PW - 6	ホップ	1	濾用ホップ(自吸式) 3φ x 200φ x 2m ³ /min x 10m x 5.5kW
CF - 1	自動塩素滅菌装置 (50Mプール用)	1	3φ x 200φ x 30W 40~400CC/min PVC 200φタンク付
CF - 2	自動塩素滅菌装置 (子供・スライダプール用)	1	3φ x 200φ x 30W 25~250CC/min PVC 200φタンク付
CF - 3	塩素滅菌機	1	濾用滅菌機 3φ x 200φ x 30W 8~500CC/min PVC 200φタンク付
CF - 4	薬注機	1	薬液利用(バック使用) 3φ x 200φ x 30W 8~125CC/min ホリエチレン 100φタンク付
CF - 5	薬注機	1	薬液利用(バック使用) 3φ x 200φ x 30W 8~125CC/min ホリエチレン 100φタンク付
CT - 1	薬液タンク	1	次亜塩素酸ソーダ貯留タンク 容量 3000L PEFRP製 耐腐品共
HC - 1	ハヤキヤッチャー	1	浄過ホップ用 φ300 x 575H SUS ストL-ナ-共
HC - 2	ハヤキヤッチャー	1	逆洗ホップ用 φ200 x 430H 同 上
HC - 3	ハヤキヤッチャー	1	浄過ホップ用 φ300 x 575H 同 上
HC - 4	ハヤキヤッチャー	1	逆洗ホップ用 φ200 x 430H 同 上
HC - 5	ハヤキヤッチャー	1	スライダホップ用 φ200 x 430H 同 上
HC - 6	ハヤキヤッチャー	1	濾用ホップ用 φ200 x 430H 同 上

機器番号	機器名称	台	機器仕様
MV - 1	電動バタフライ傘	1	50Mプール本体排水用 10K - 200A 3φ x 200φ x 60W 傘体 SCS-13
MV - 2	電動バタフライ傘	1	子供プール本体排水用 10K - 200A 3φ x 200φ x 60W 同 上
MV - 3	電動バタフライ傘	1	スライダプール本体排水用 10K - 80A 3φ x 200φ x 20W 同 上
CB - 1	集中盤	1	集中盤(屋内自立型)
CB - 2	手元盤	1	手元盤(スライダホップ:濾用ホップ・濾用塩素滅菌機用)

整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320(代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaiseki@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 89179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図 NOTE

柳井

富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

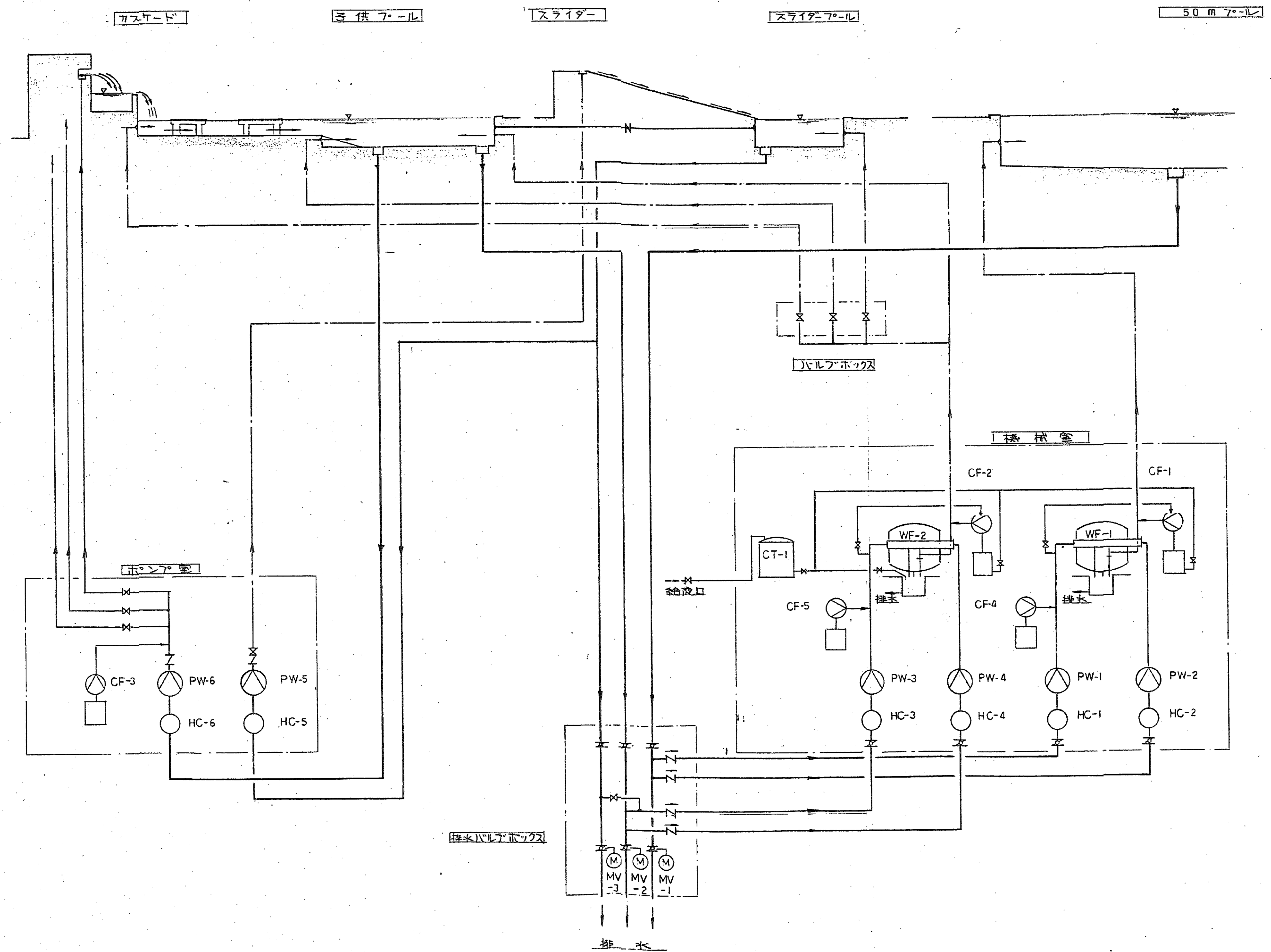
工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名 ? 過装置機器リスト表

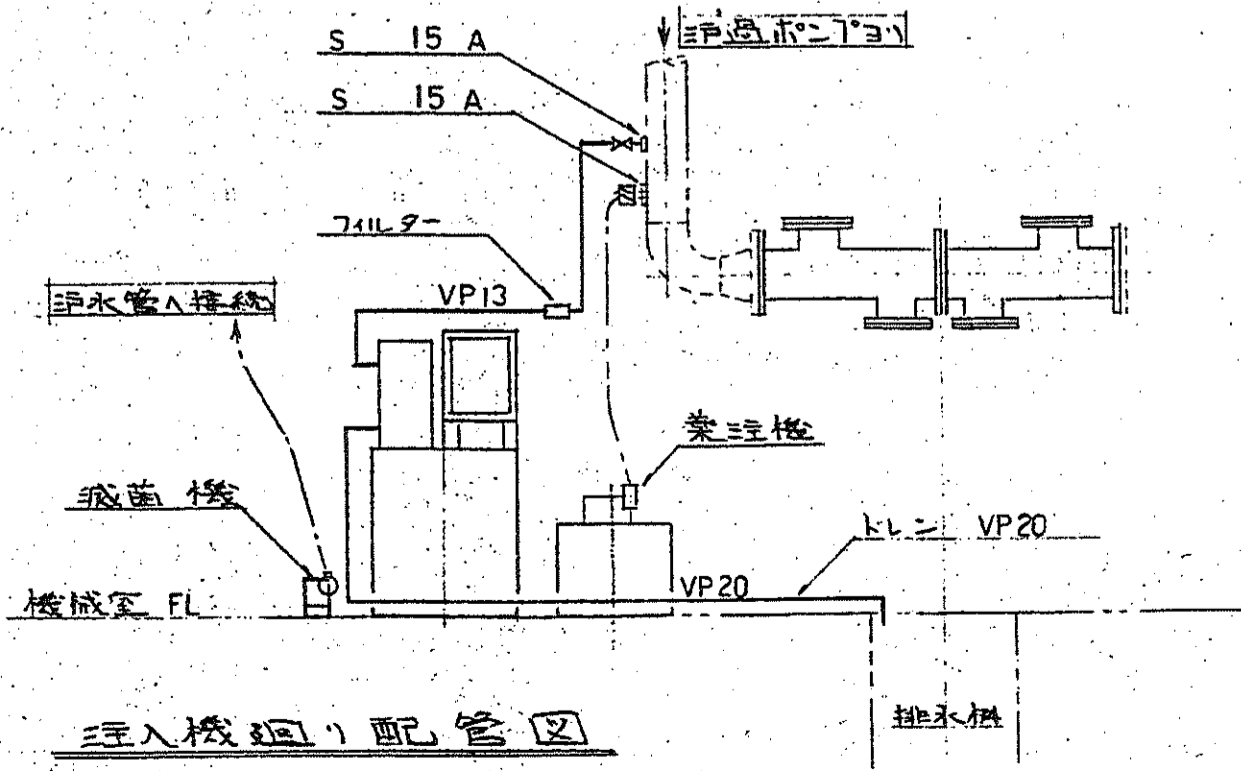
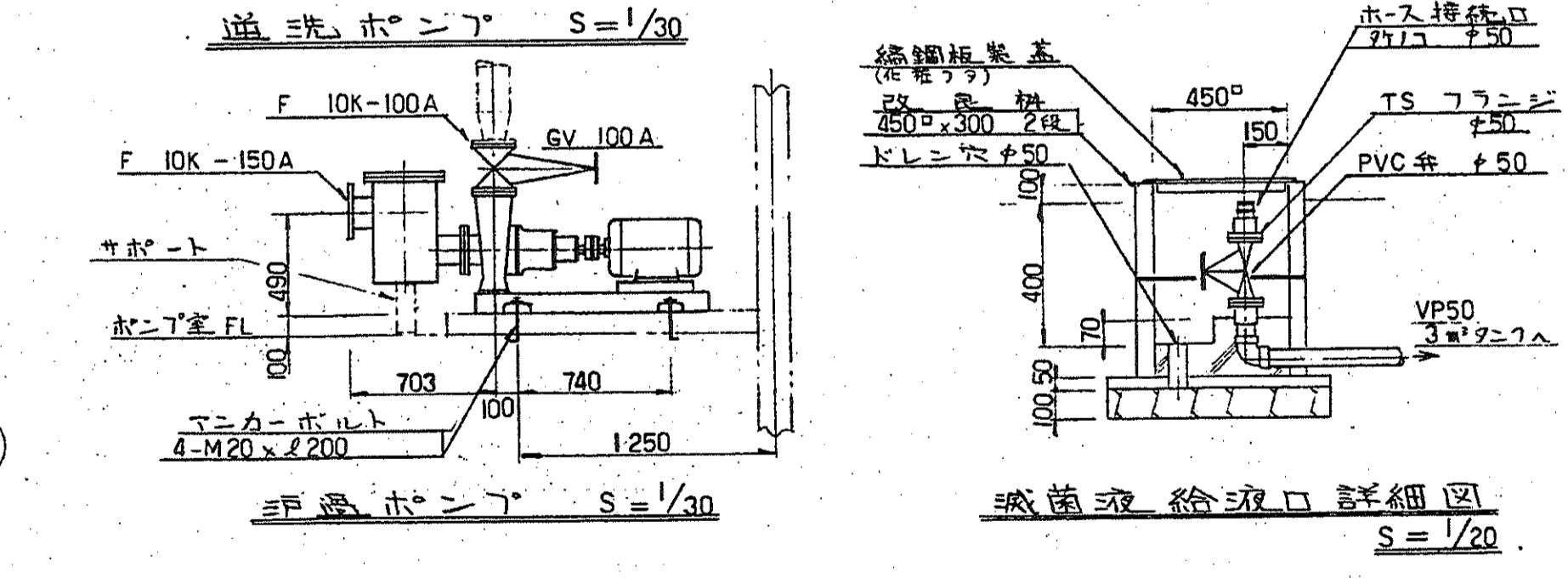
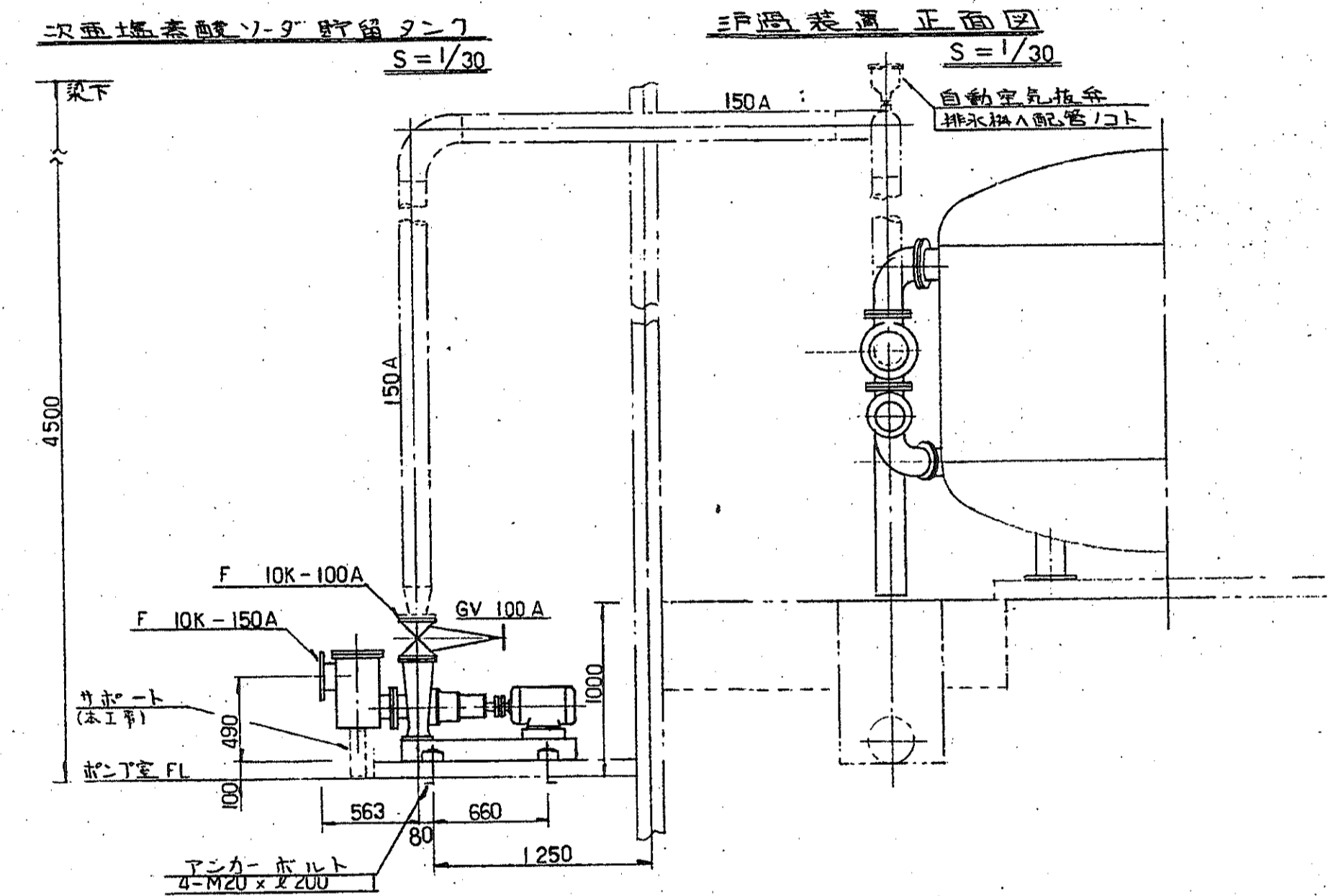
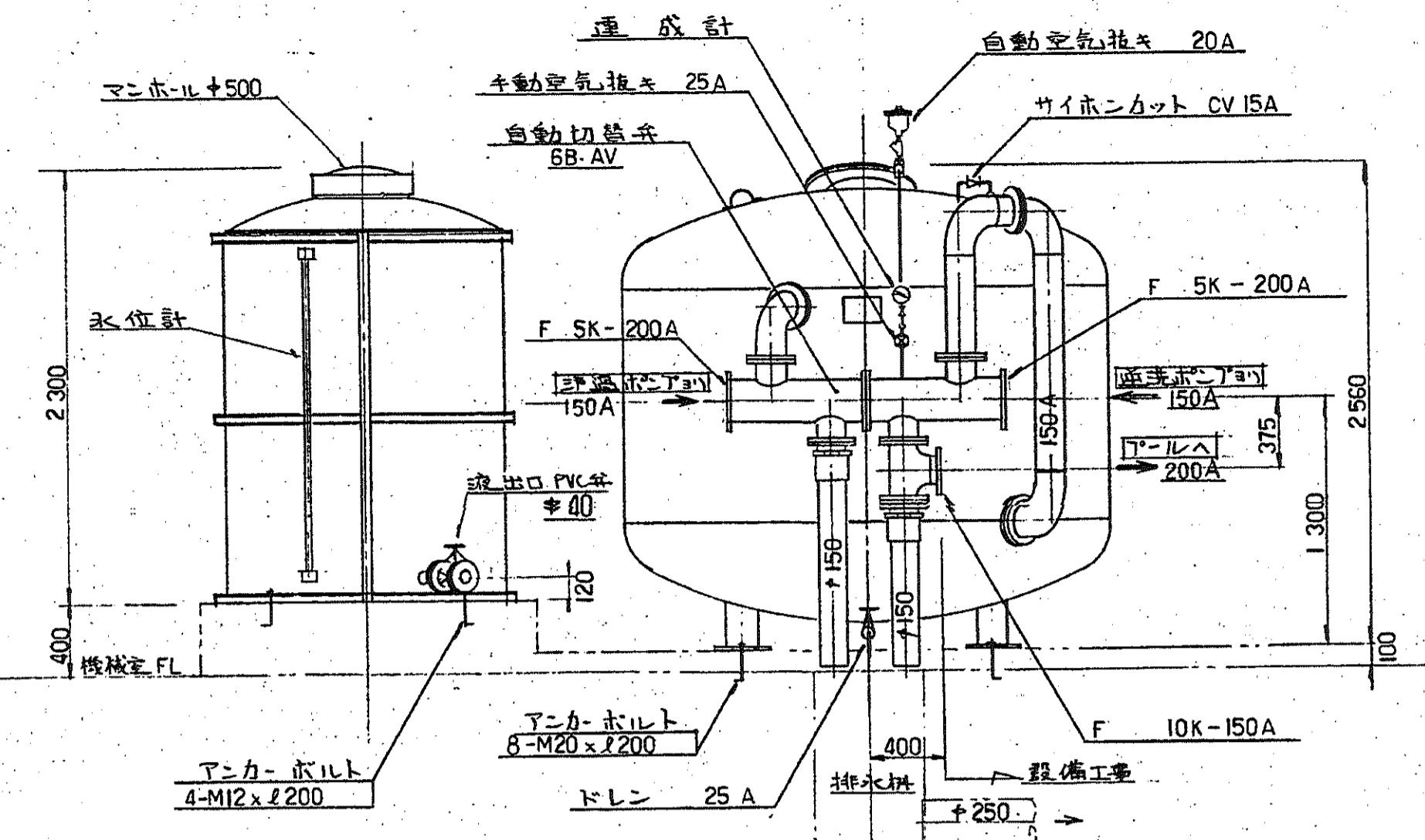
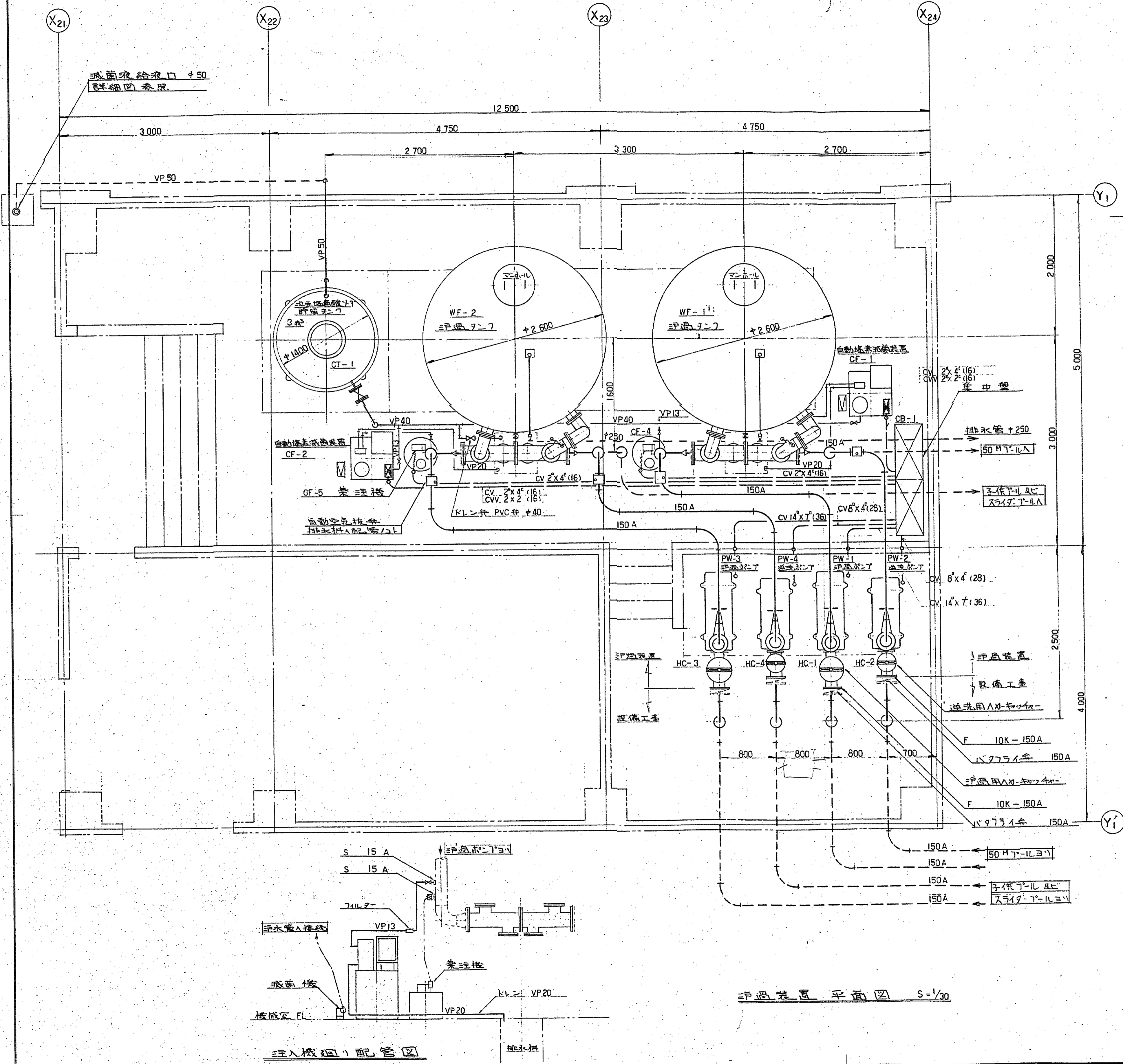
S-1:- (A-1)
S-1:- (A-3)

図面番号

KM
010



機器番号	機器名称
WF 1,2	全自動砂漏浄過装置
PW 1~6	ポンプ
CF 1,2	自動過量減菌機
CF 3	過量減菌機
CF 4,5	兼注機
CT 1	薬液タンク
HC 1~6	ハイキャッチャー



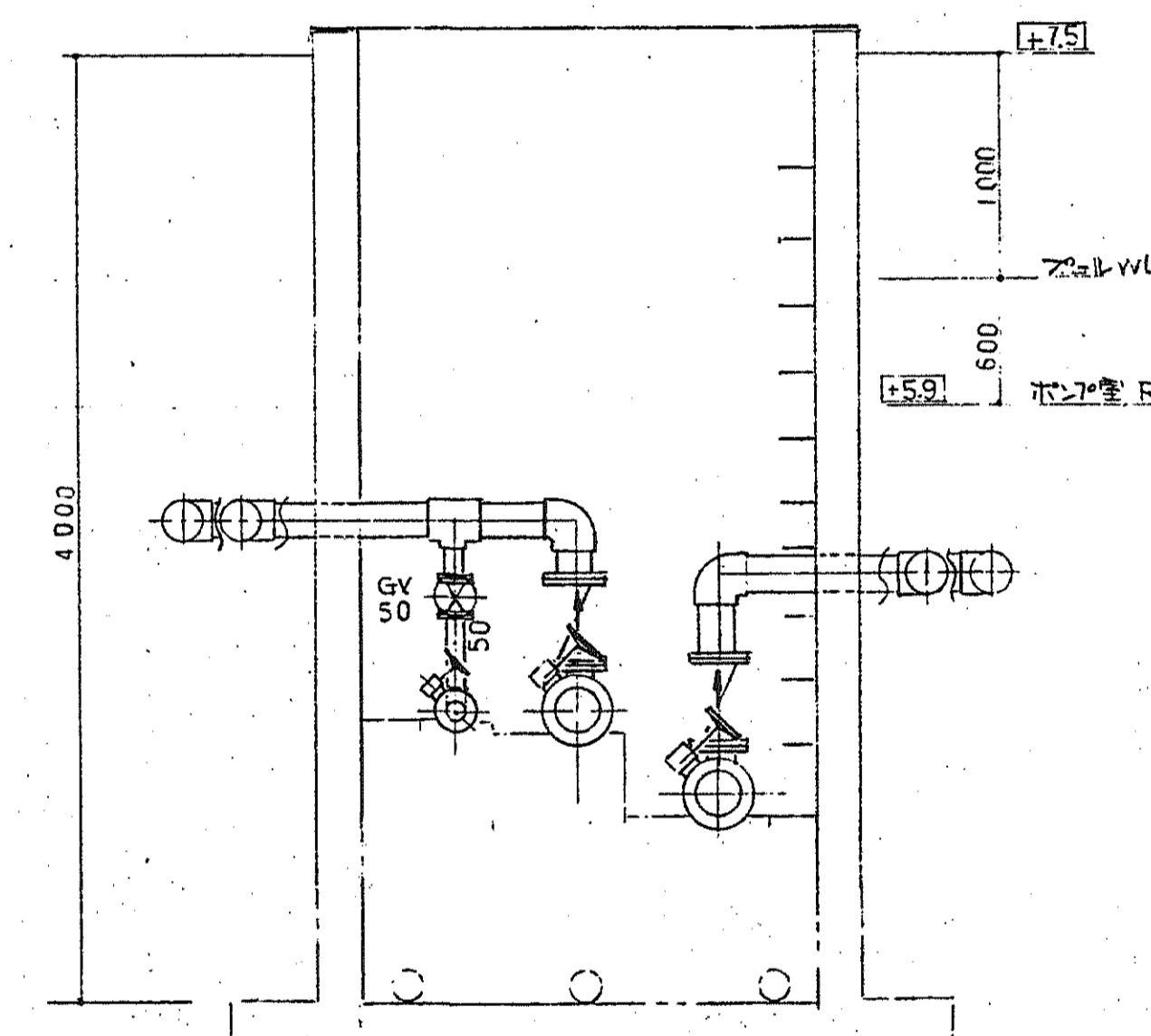
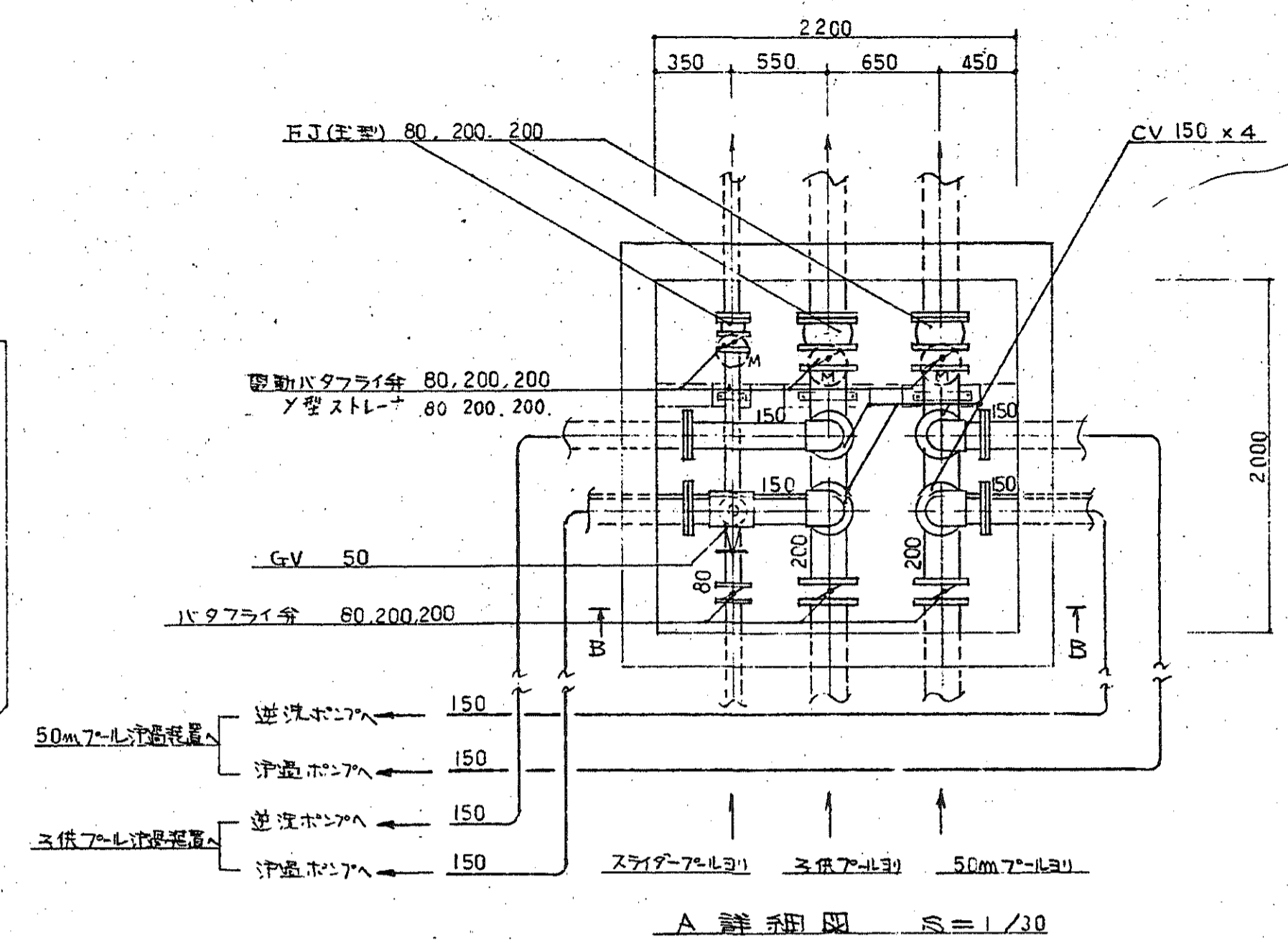
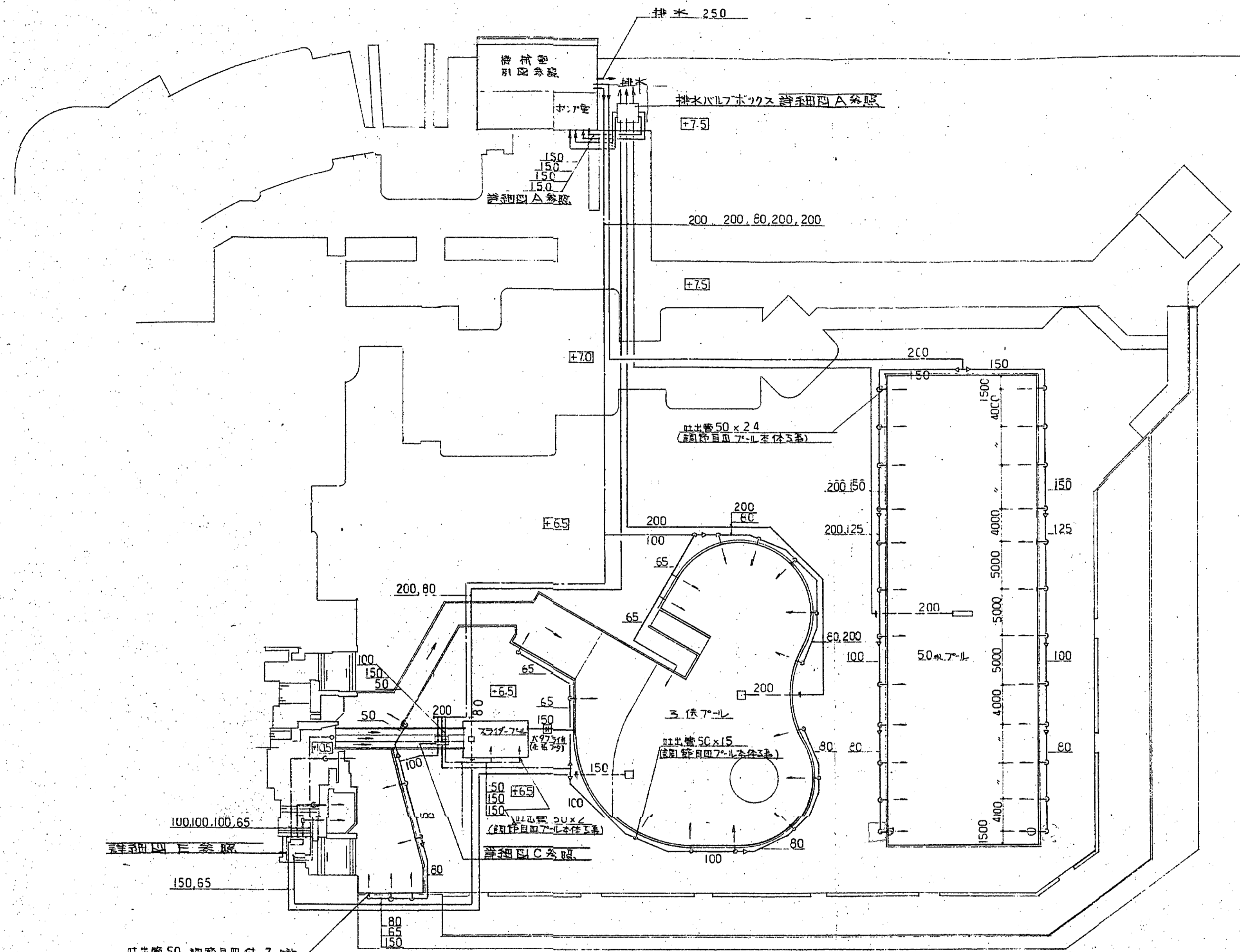
浄水装置平面図 S=1/30

消毒機正面図 S=1/30

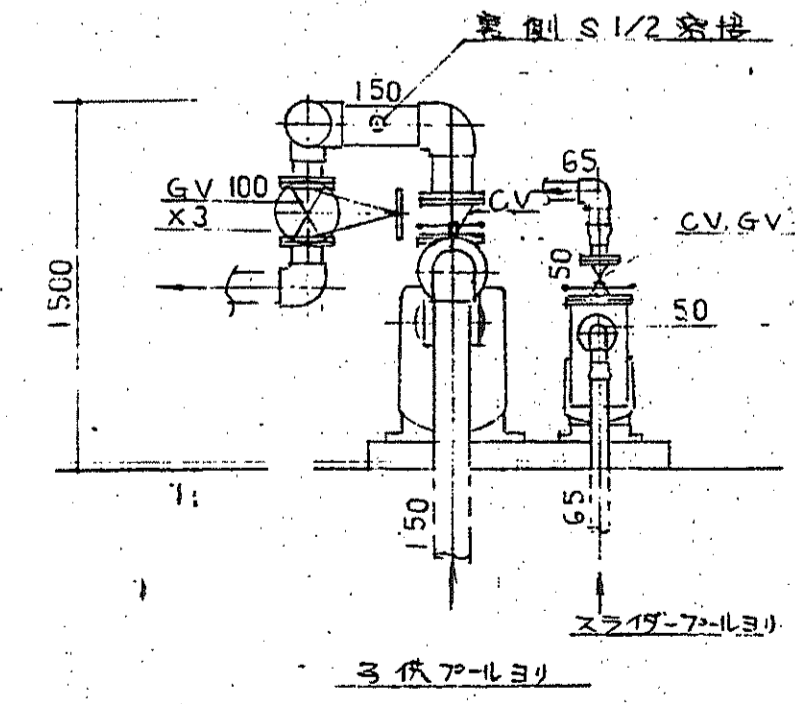
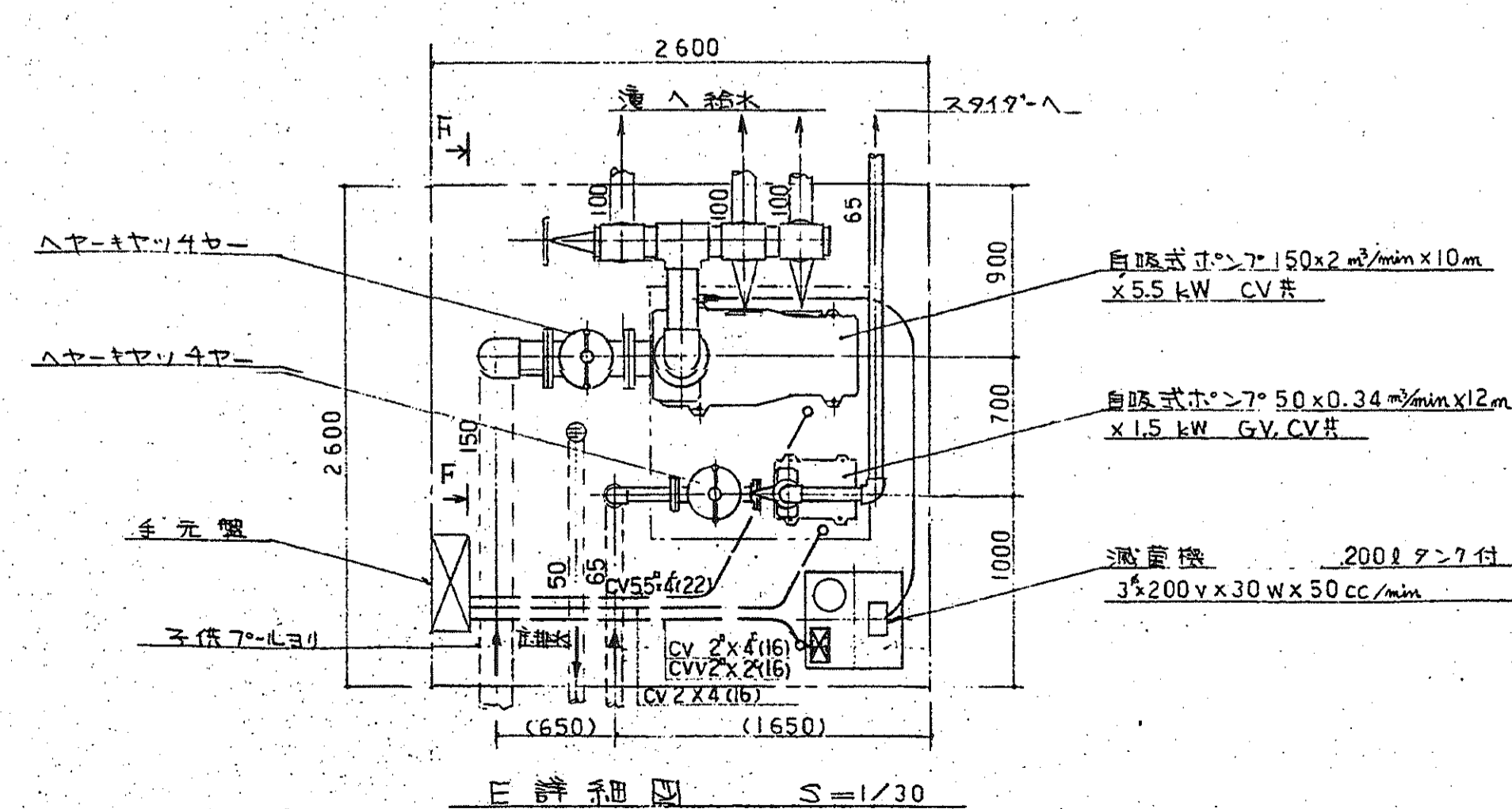
消毒液給液口詳細図 S=1/20

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-284-8320 (代) FAX 049-284-8792 E-mail yanisekko@nifty.com	一級建築士 柳井博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	審査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号	KM 012
				変更年月日	柳井	富士見市総務部営繕課												

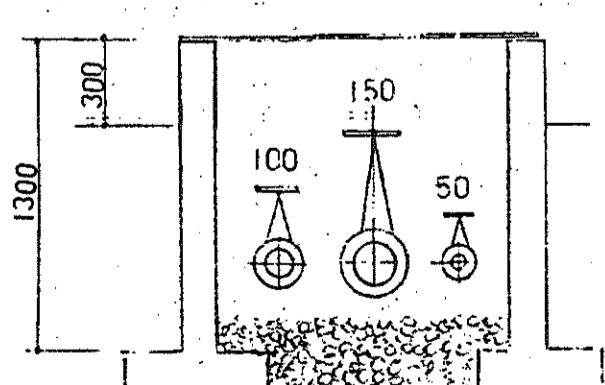
注)A-1側サイドの配管は、A-1本体よりアップルにて支持する
 2)A-1サイドのGV専用ボックスは、全て先程の図とする



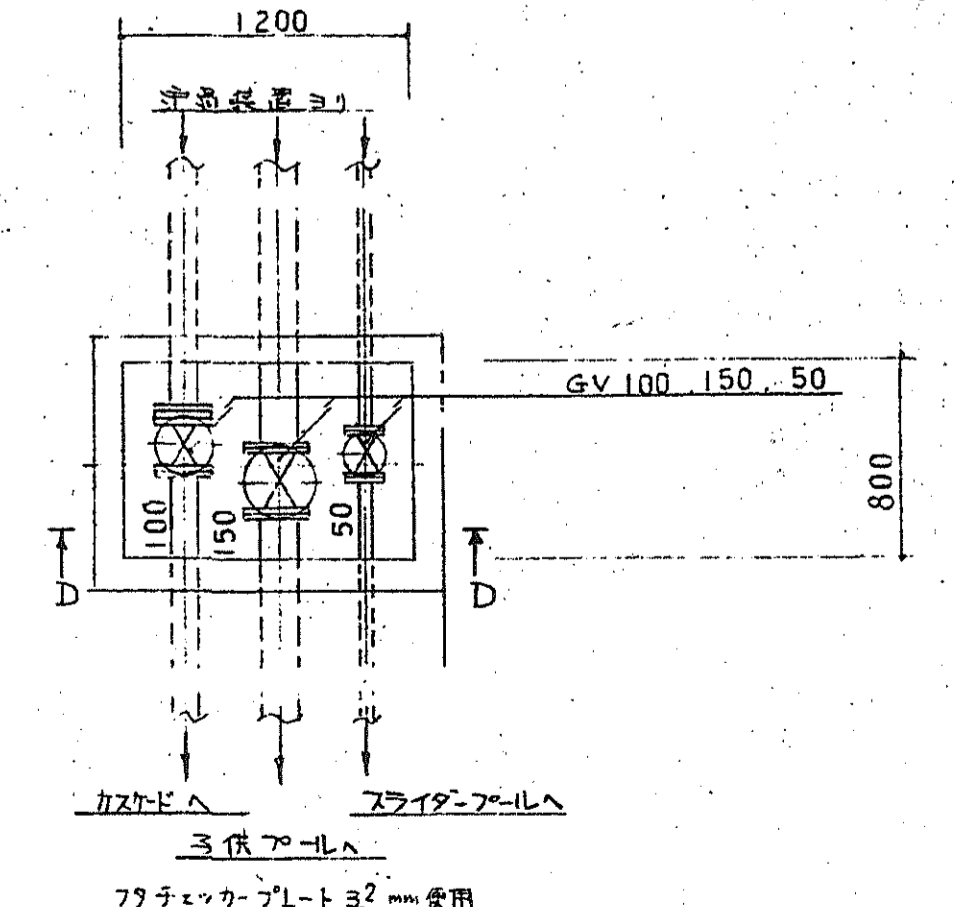
B-B 断面図 S=1/30
 排水バルブボックス(建築工事)
 ボックス台工事



F-F 断面図 S=1/30

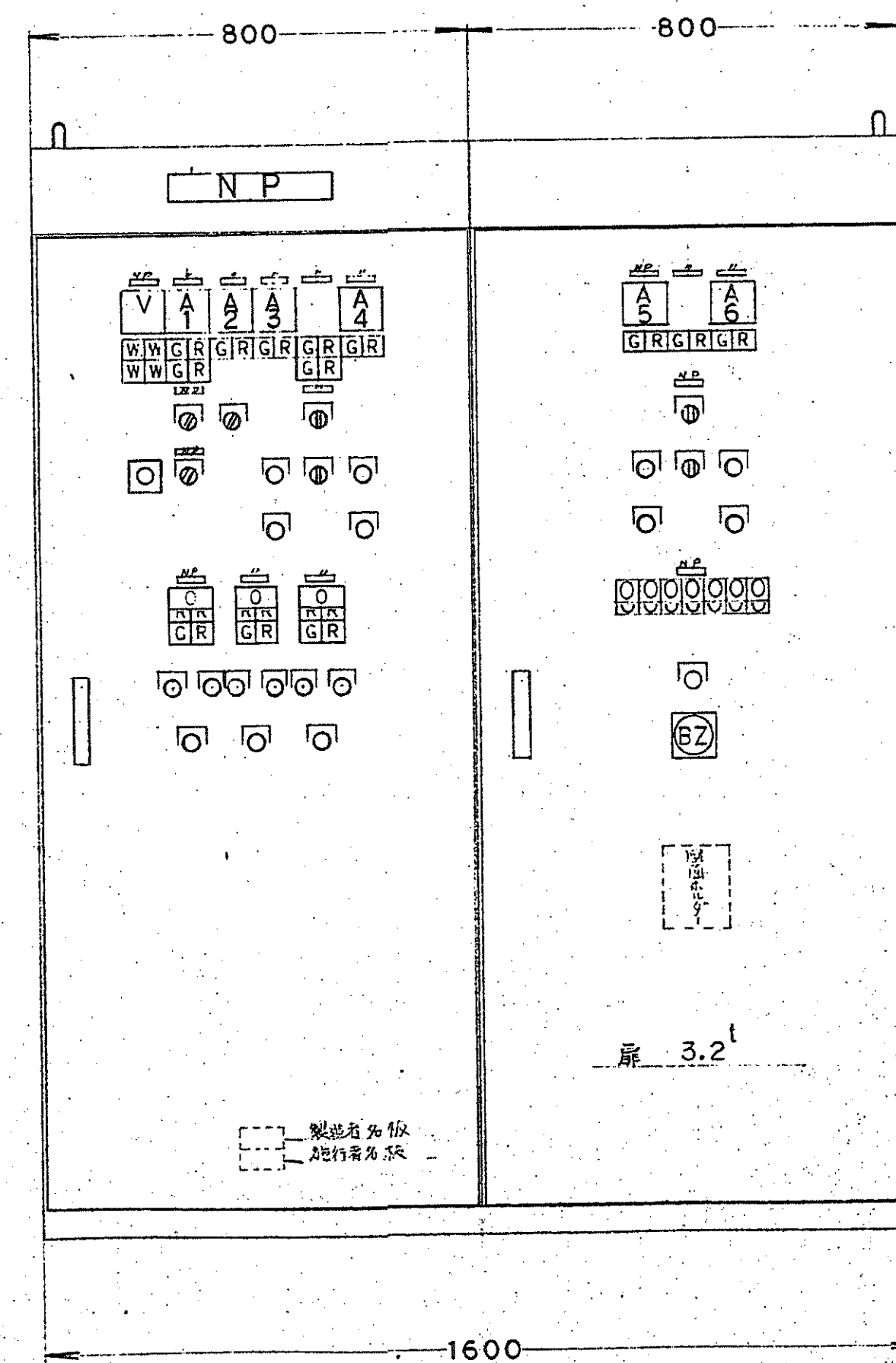
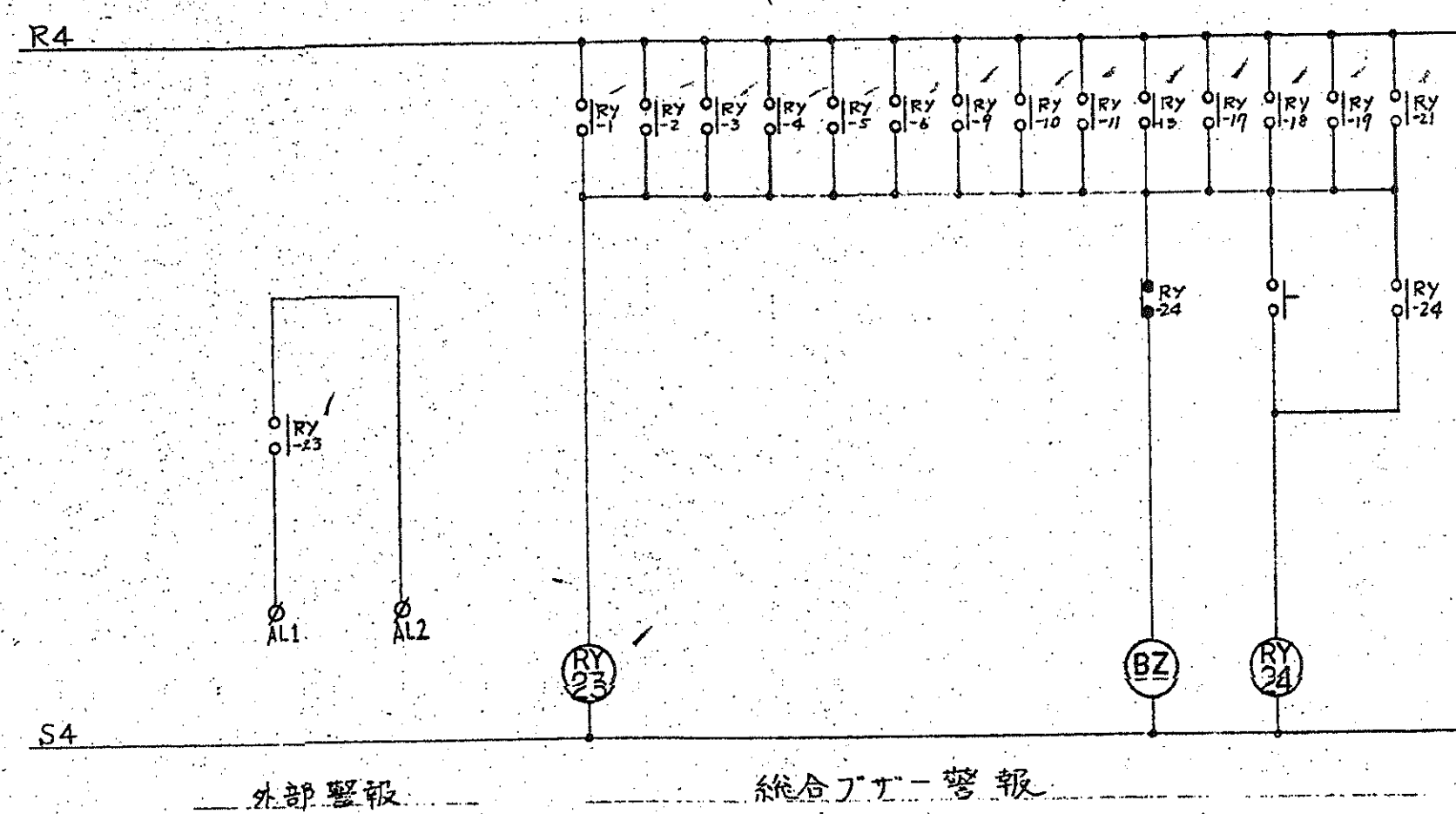
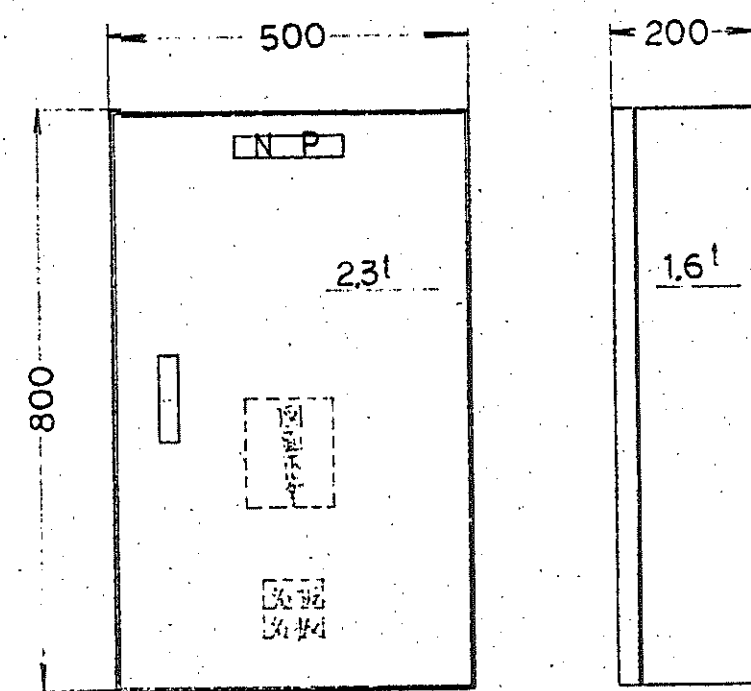
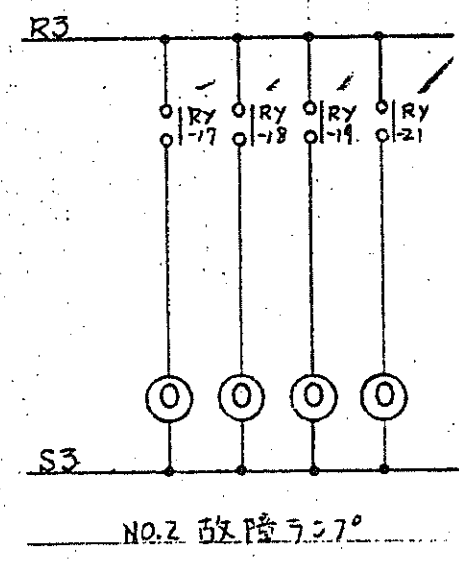
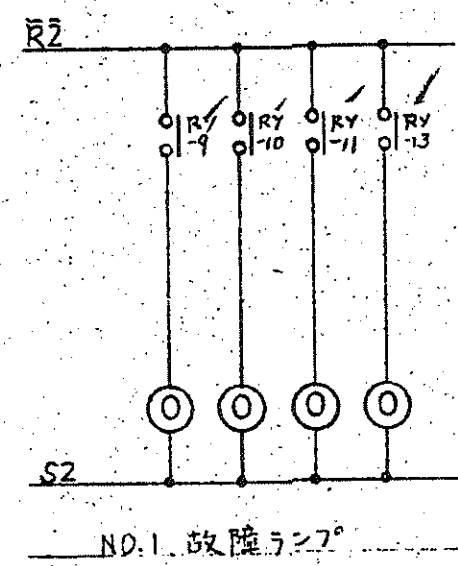
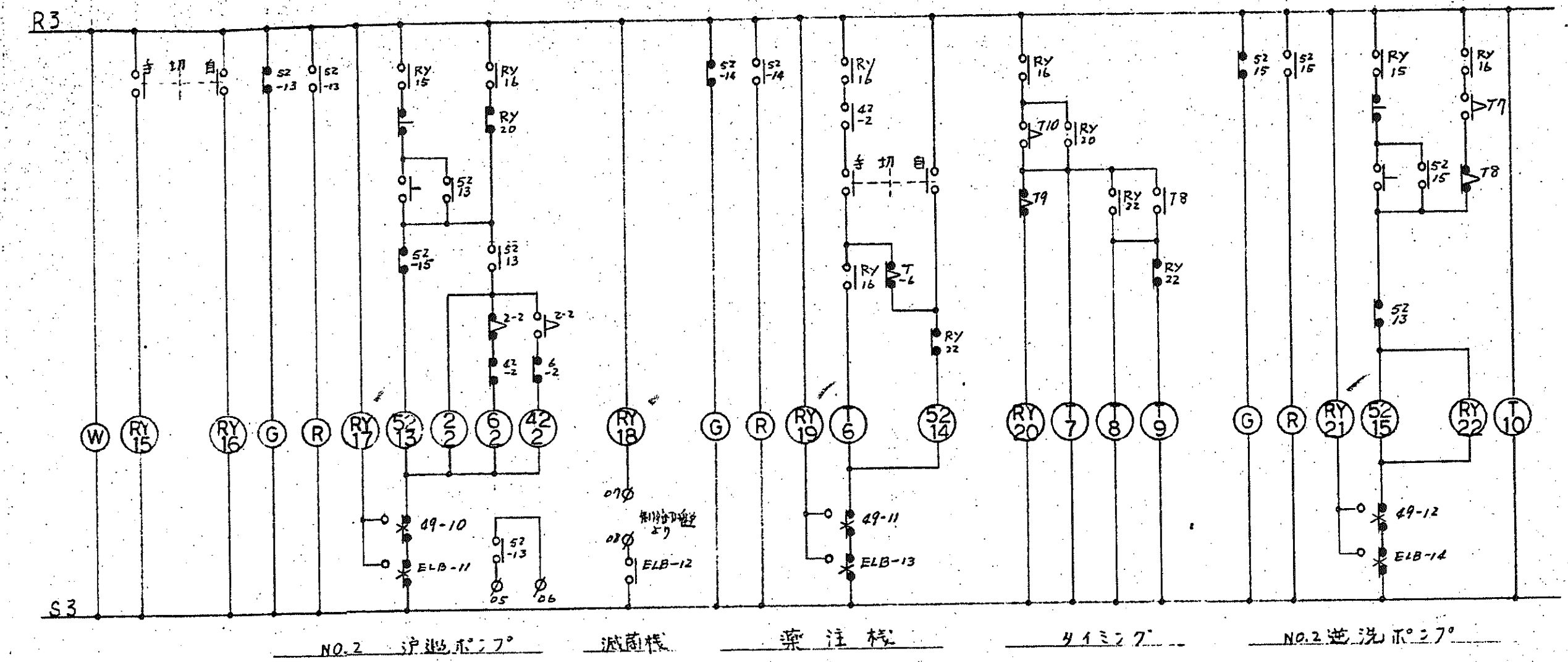
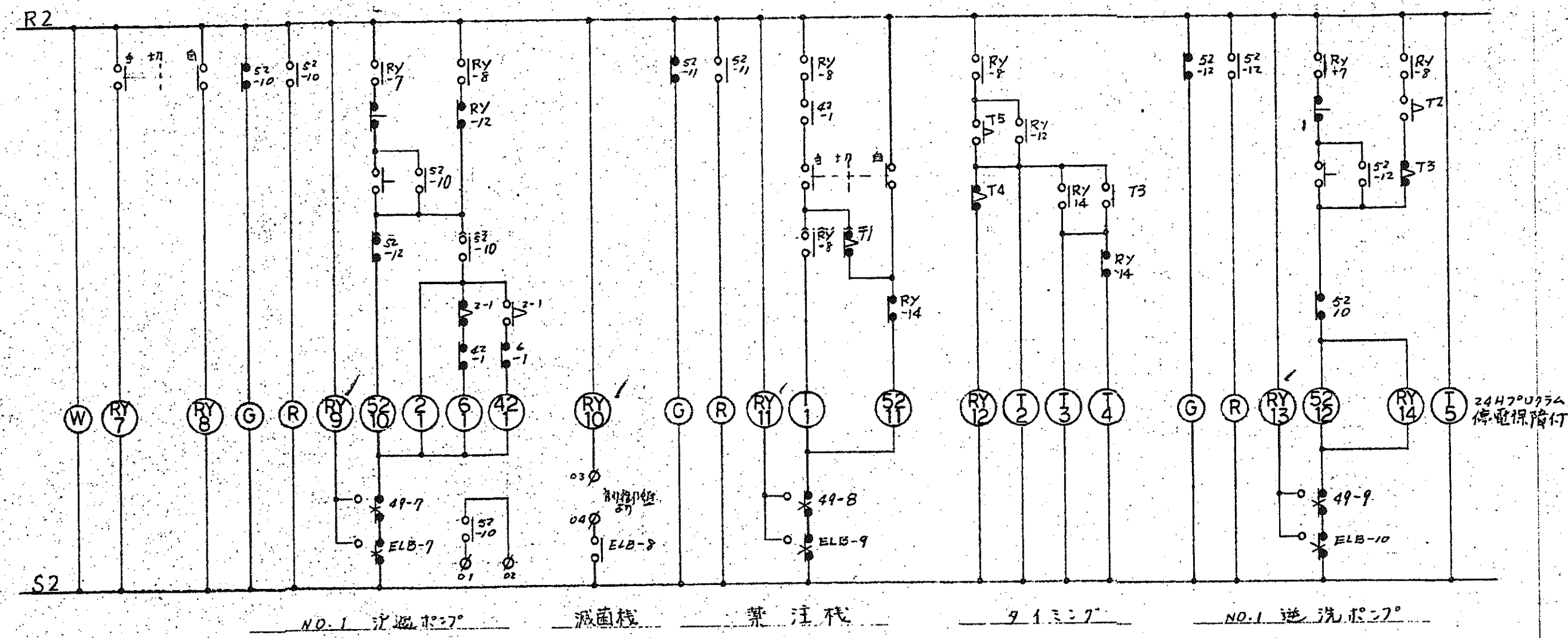


D-D 断面図 S=1/30



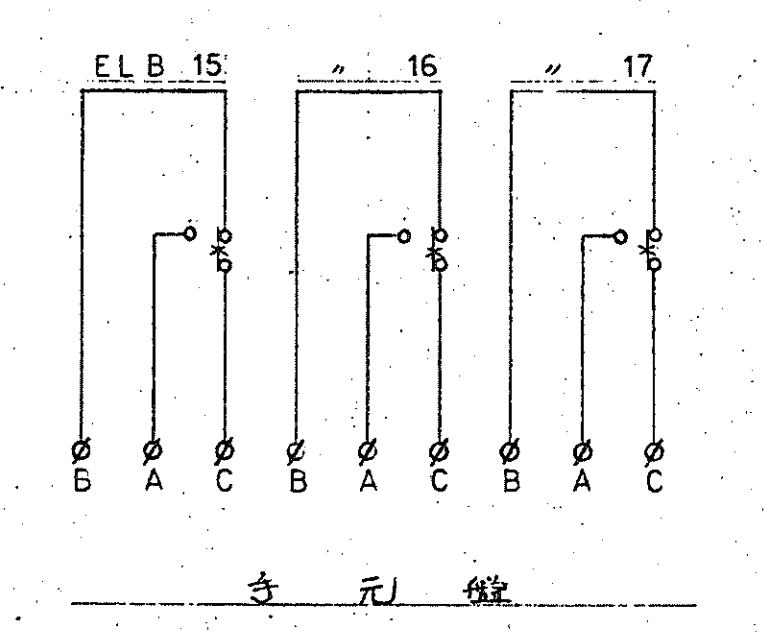
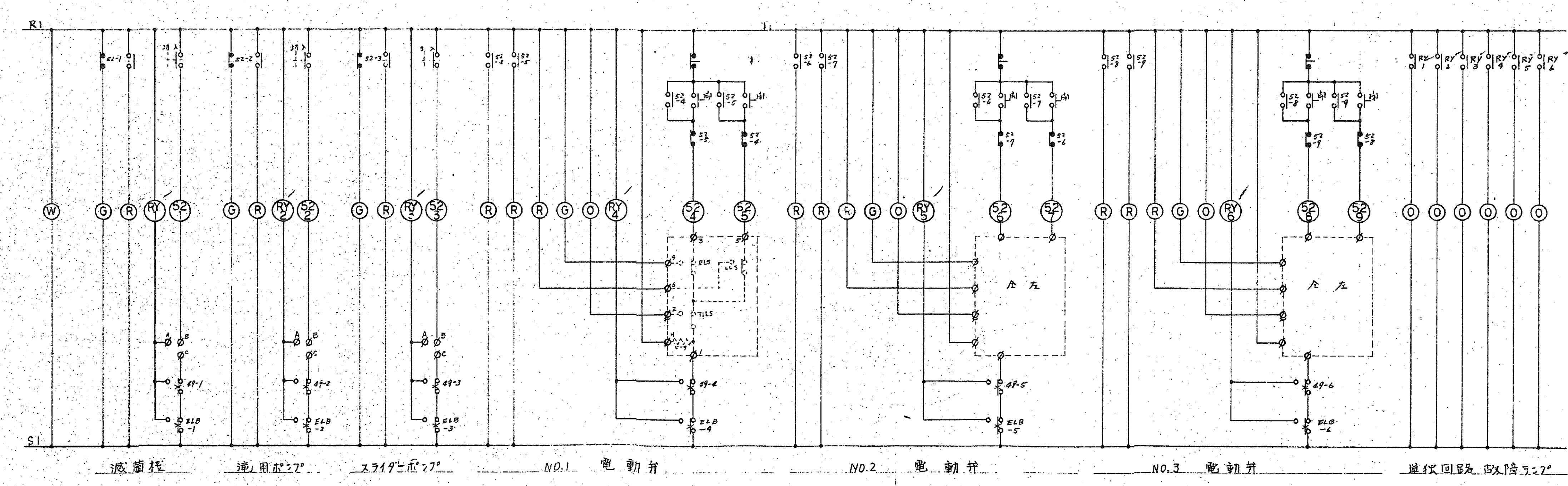
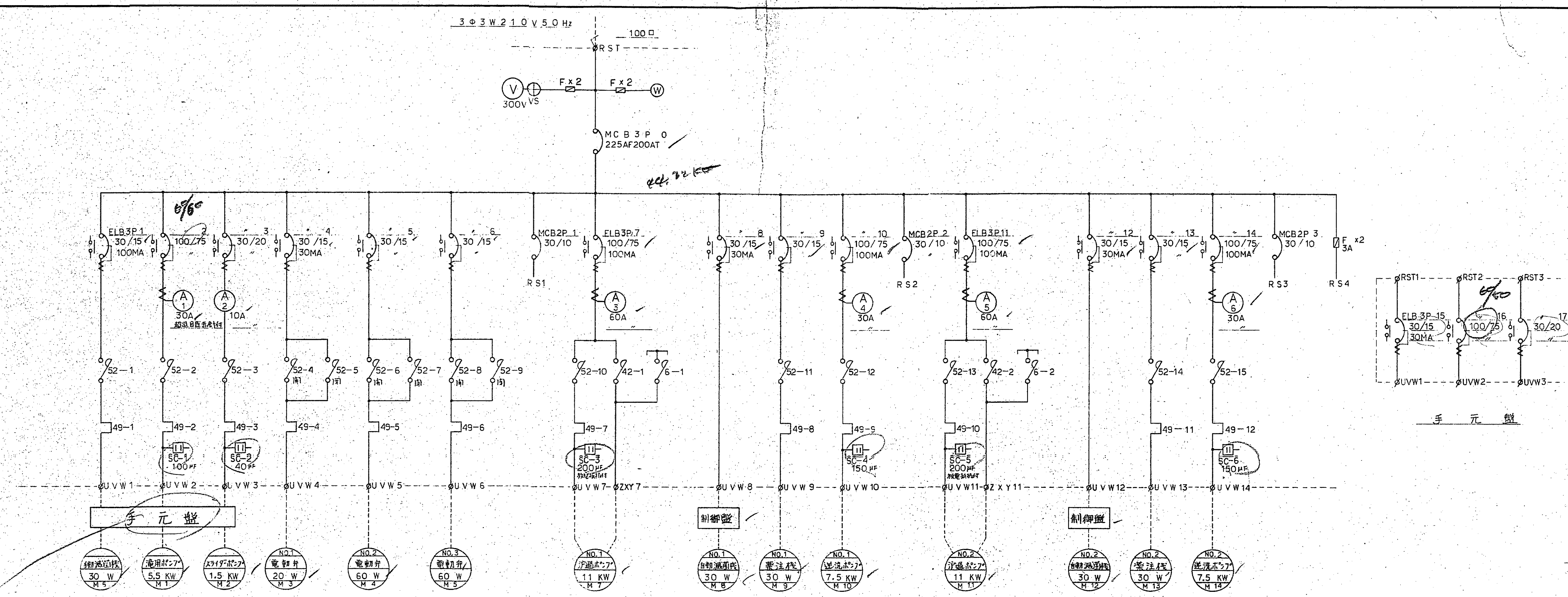
C 詳細図 S=1/30

整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANA I	一級建築士事務所 TEL 049-284-8920 (F) FAX 049-284-8792 E-mail yanaisekko@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日 変更年月日	承認 柳井	監査 柳井	設計 柳井	製図 柳井	NOTE	課長 富士見市総務部管轄課	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM
														図面番号 KM	
														013	

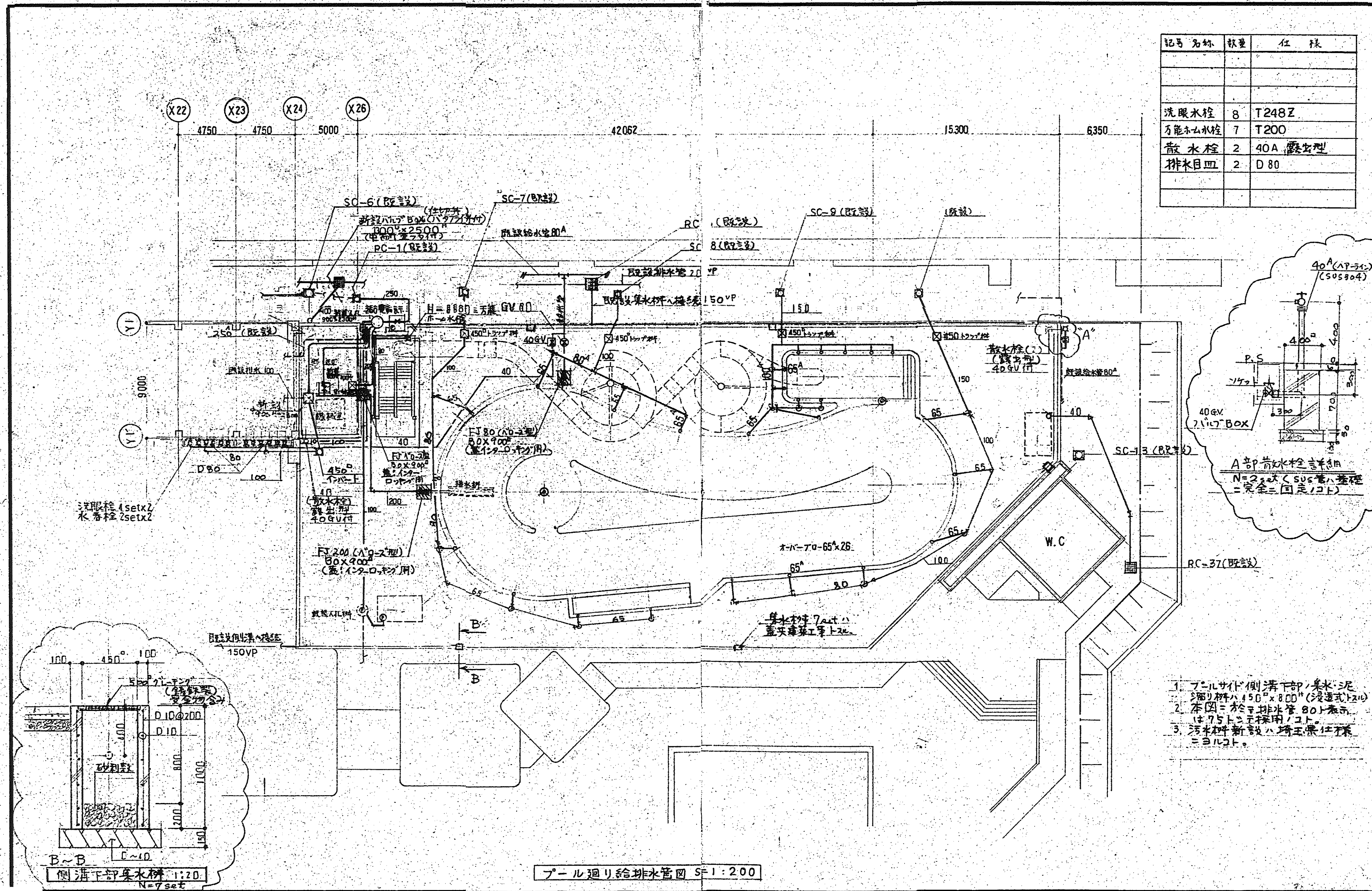


集中盤

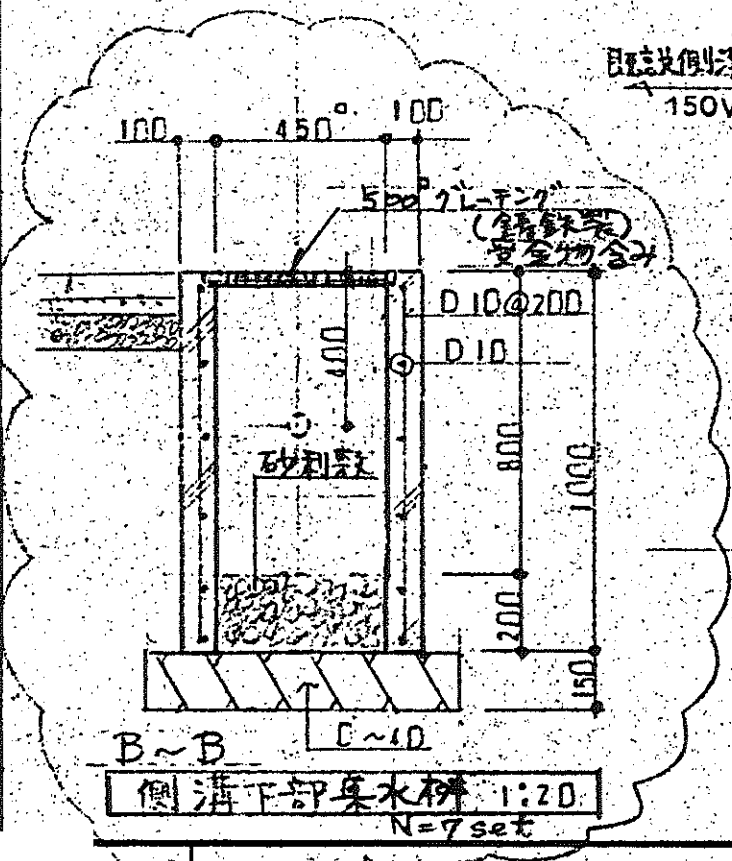
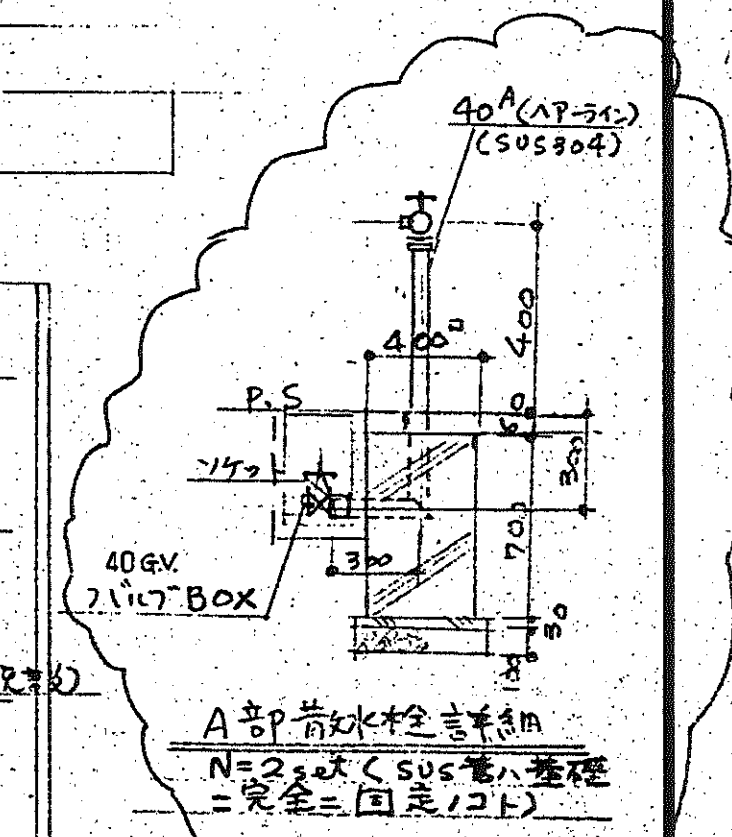
※ 埼玉電気設備工事共通仕様書によること



整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-3320(代) FAX 049-264-3792 E-mail yanaiskai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号	KM 015
				変更年月日	富士見市総務部営繕課	S-1:- (A-1) S-1:- (A-3)											



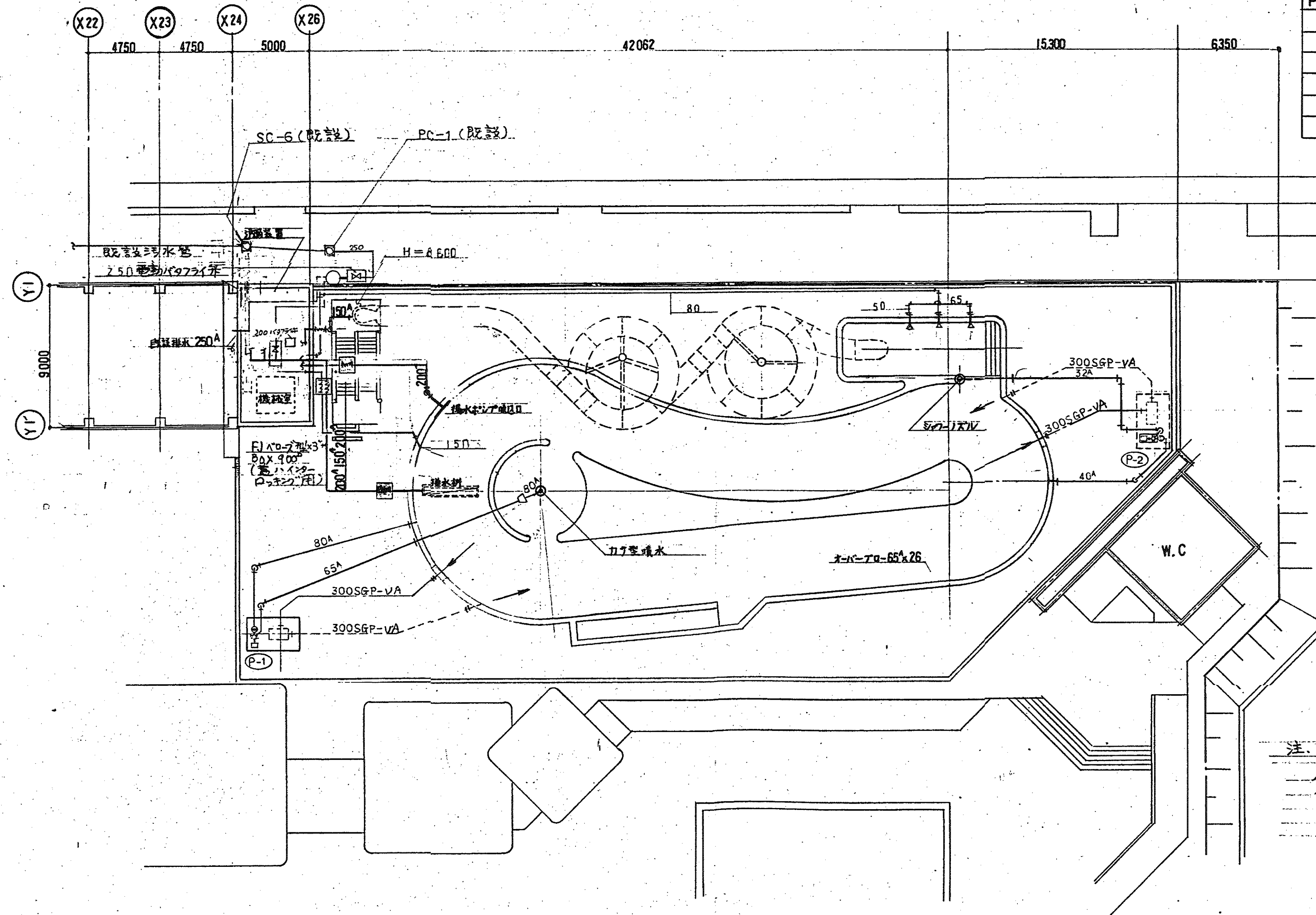
記号名称	数量	仕様
洗濯水栓	8	T248Z
万能水栓	7	T200
散水栓	2	40A 露出型
排水目皿	2	D80



1. プールサイド側溝下部/臭水沈
溜り材ハ450^φ×800^φ(浸透式)2枚
2. 本図ニ於テ排水管80^φ表示
ハ75^φニシテ採用/コト
3. 汚水貯新設ハ埼玉県任才
ニヨルコト

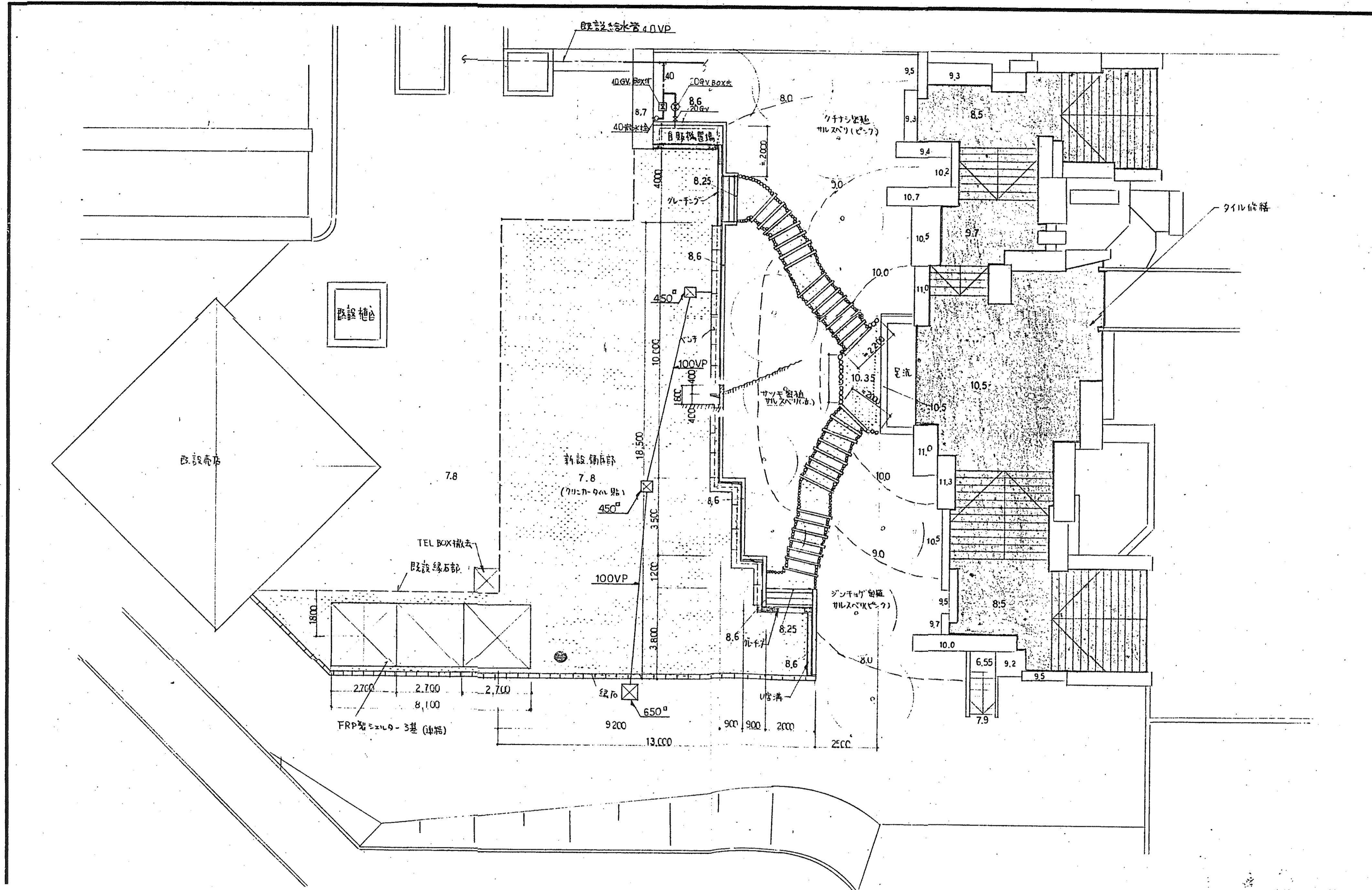
プール廻り給排水管図 S=1:200

記号名称	数量	仕様
ポンプ装置	1式	別図機械室詳細
P-1	1台	3200 ³ (FS4H53.7)
P-2	1台	3200 ³ (FS2 ³ 5.75)

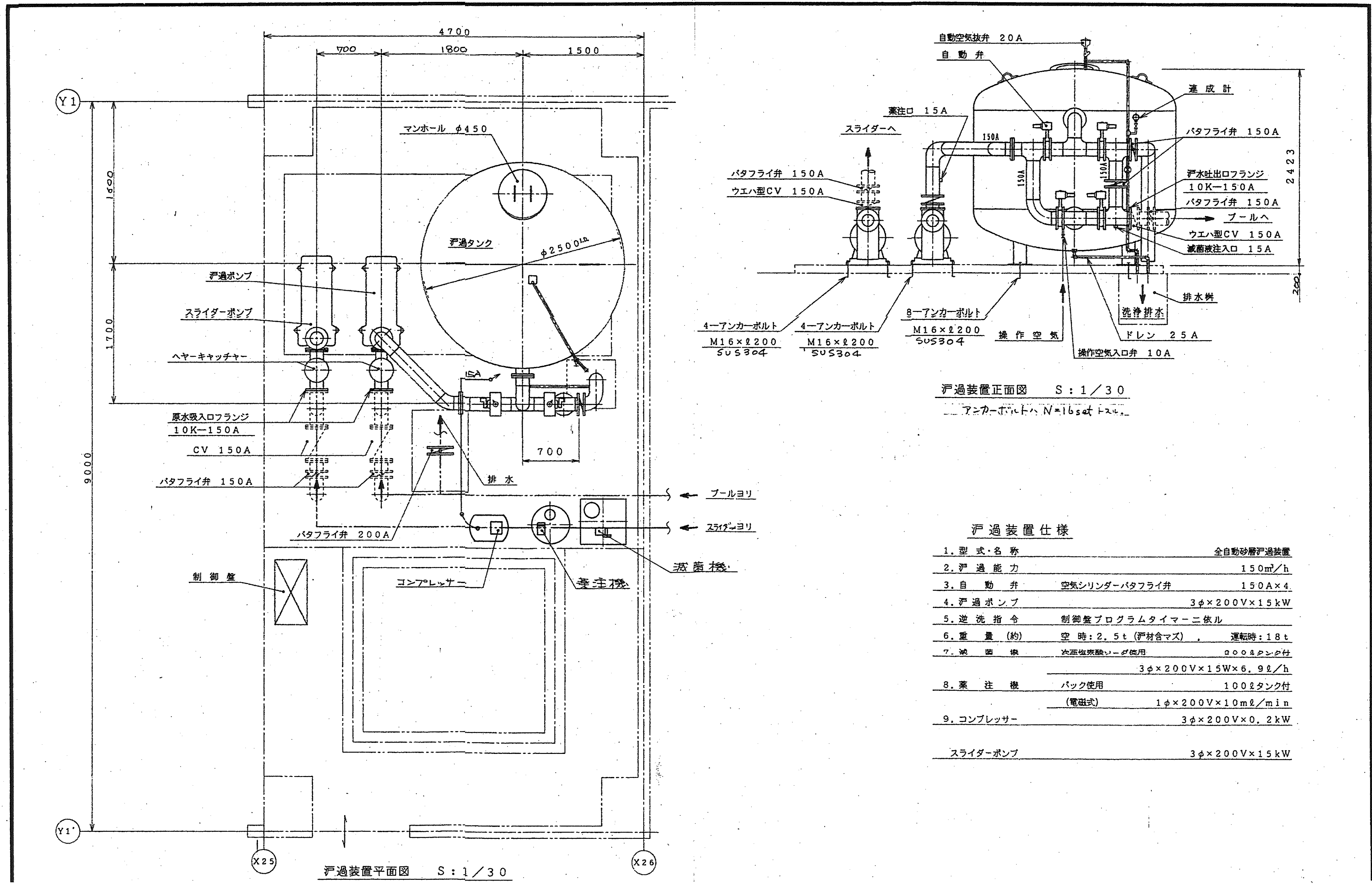


注
機械室内配置は別図
機械室内配置図ニヨル。

プール廻り配管系統図 S=1:200



整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8920 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanai@kai@lifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図	NOTE 柳井	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 S-1:100 (A-1) S-1:200 (A-3)	図面番号 KM / 019
				変更年月日	製図			富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	図面名 自販機用給水管布設図	図面番号 S-1:100 (A-1) S-1:200 (A-3)

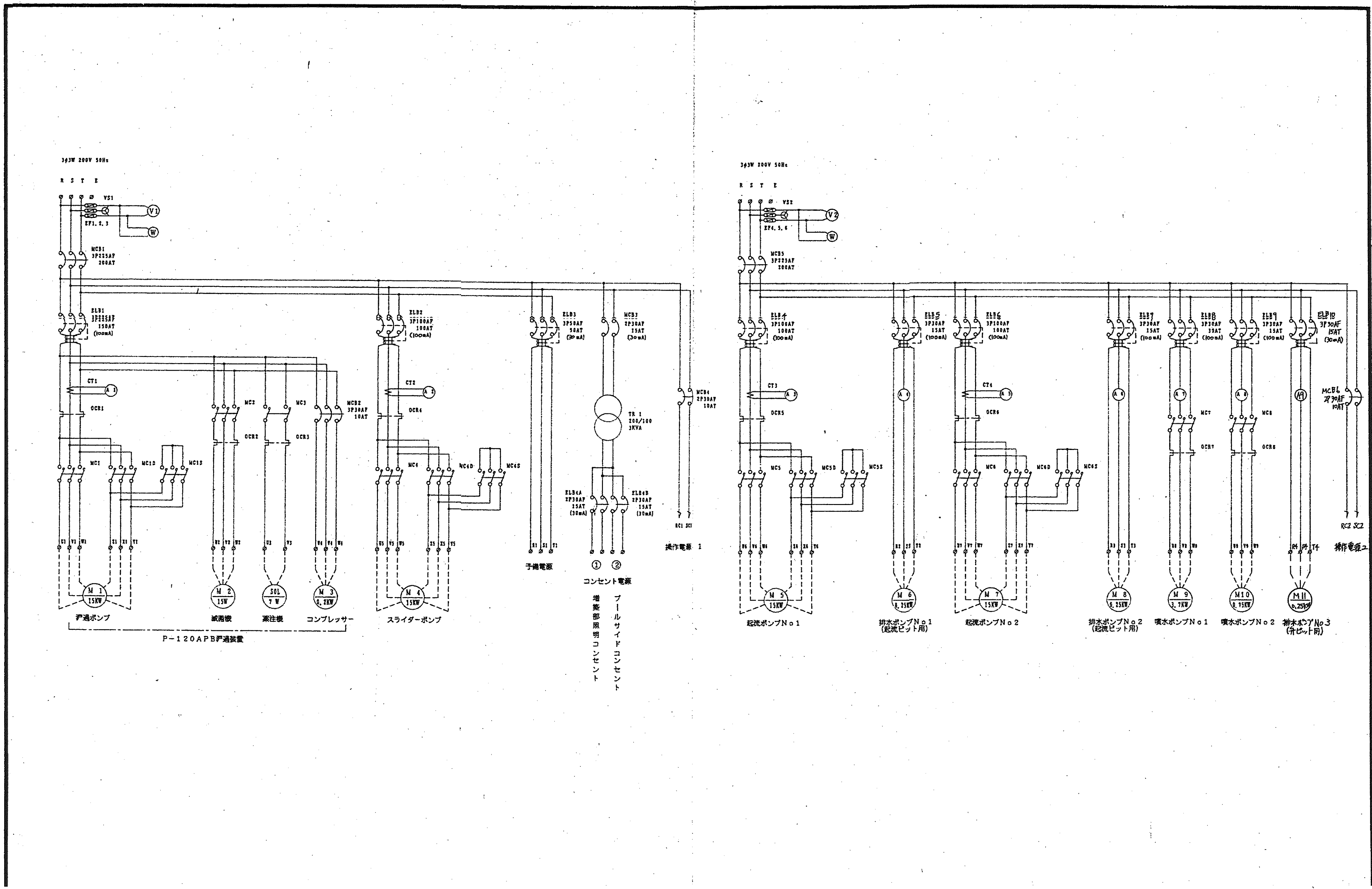


汚過装置正面図 S: 1/30

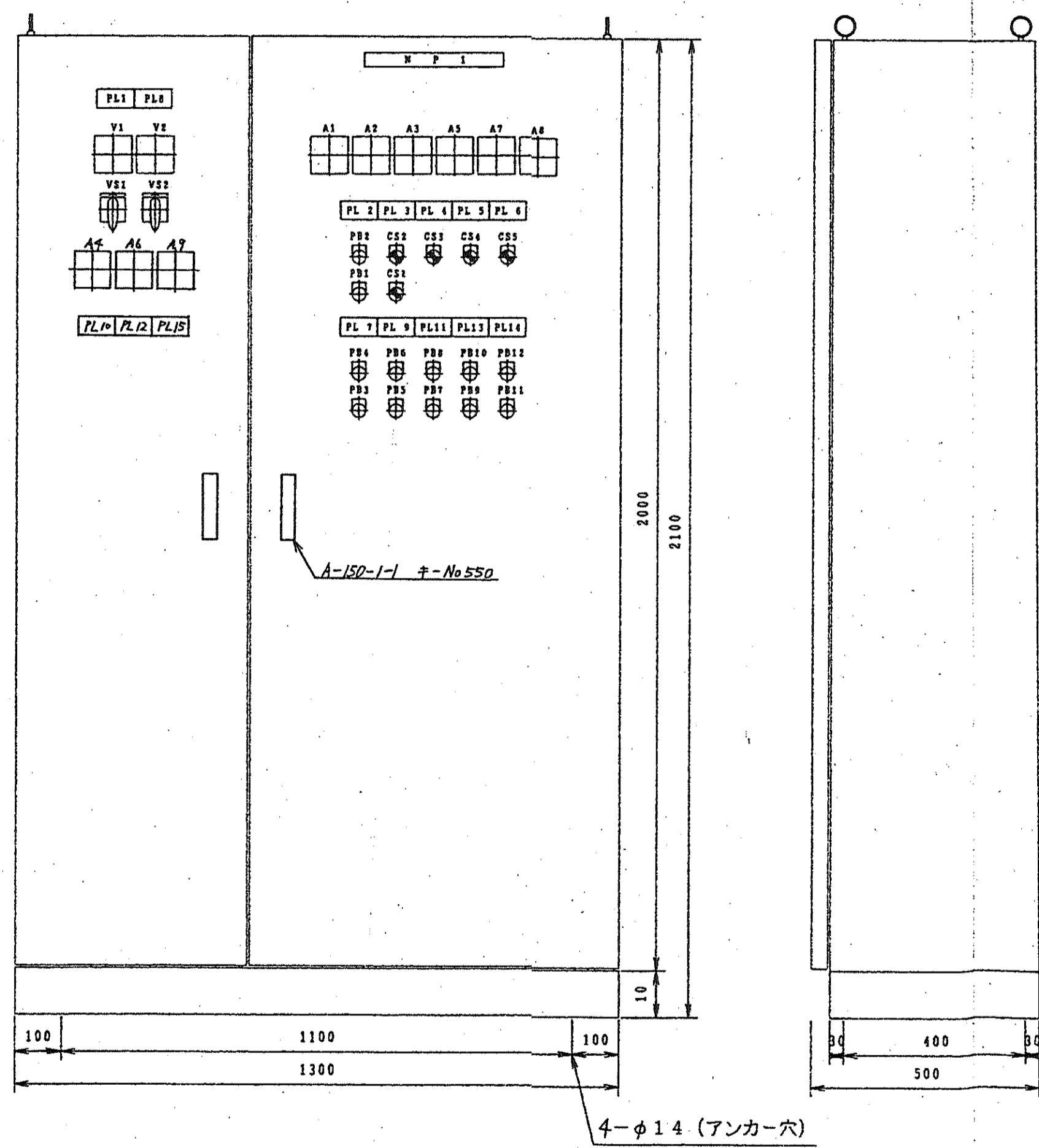
アンカーボルト N=16set 12x...

汚過装置仕様

1. 型式・名称	全自動砂層汚過装置
2. 汚過能力	150m ³ /h
3. 自動弁	空気シリンダーバタフライ弁 150A×4
4. 汚過ポンプ	3φ×200V×15kW
5. 逆洗指令	制御盤プログラムタイマーニ依ル
6. 重量 (約)	空時: 2.5t (汚材含マズ) 運転時: 18t
7. 減速機	大減速機用ローグ使用 200&トン付 3φ×200V×15W×6.9ℓ/h
8. 薬注機	バック使用 100ℓタンク付 (電磁式) 1φ×200V×10mℓ/min
9. コンプレッサー	3φ×200V×0.2kW
スライダポンプ	3φ×200V×15kW



整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-3320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisakai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM / 021
				変更年月日				柳井									



制御盤図 S:1/10 塗装 2.5Y9/1

記号	彫刻文字	寸法
NP1	スライダ、ホールドリリフ PD-1P	30×40φ
V1, 2	電圧計	10×40
VS1, 2	電圧切替 RS-ST-TR	55×55
A1	戸過ポンプ	10×40
A2	スライダポンプ	10×40
A3	起流ポンプNo1	10×40
A4	排水ポンプNo1	10×40
A5	起流ポンプNo2	10×40
A6	排水ポンプNo2	10×40
A7	噴水ポンプNo1	10×40
A8	噴水ポンプNo2	10×40
PL1, 8	変電操作電線	スケヤライト
PL2	戸過ポンプ 運転 故障	スケヤライト
PL3	減菌機 運転 故障	スケヤライト
PL4	薬注機 運転 故障	スケヤライト
PL5	自動弁 戸過 逆洗	スケヤライト
PL6	逆洗排水弁 閉 開	スケヤライト
PL7	スライダポンプ 運転 故障	スケヤライト
PL9	起流ポンプNo1 運転 故障	スケヤライト
PL10	排水ポンプNo1 電源 故障	スケヤライト
PL11	起流ポンプNo2 運転 故障	スケヤライト
PL12	排水ポンプNo2 電源 故障	スケヤライト
PL13	噴水ポンプNo1 運転 故障	スケヤライト
PL14	噴水ポンプNo2 運転 故障	スケヤライト
PB1	戸過ポンプ 停止	30φエプロン
PB2	戸過ポンプ 起動	30φエプロン
PB3	スライダポンプ 停止	30φエプロン
PB4	スライダポンプ 起動	30φエプロン
PB5	起流ポンプNo1 停止	30φエプロン
PB6	起流ポンプNo1 起動	30φエプロン
PB7	起流ポンプNo2 停止	30φエプロン
PB8	起流ポンプNo2 起動	30φエプロン
PB9	噴水ポンプNo1 停止	30φエプロン
PB10	噴水ポンプNo1 起動	30φエプロン
PB11	噴水ポンプNo2 停止	30φエプロン
PB12	噴水ポンプNo2 起動	30φエプロン
CS1	戸過装置 手止 自	30φエプロン
CS2	減菌機 手止 自	30φエプロン
CS3	薬注機 手止 自	30φエプロン
CS4	自動弁 戸過 逆洗	30φエプロン
CS5	排水弁 手止 自	30φエプロン
A9	弁ポート排水ポンプ No3	10×40
PL15	排水ポンプ No3 電源 故障	スケヤライト

整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所
TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaisoken@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日
変更年月日

承認 照査 設計 製図
柳井

NOTE

富士見市総務部管轄課

課長 副課長 主任 担当

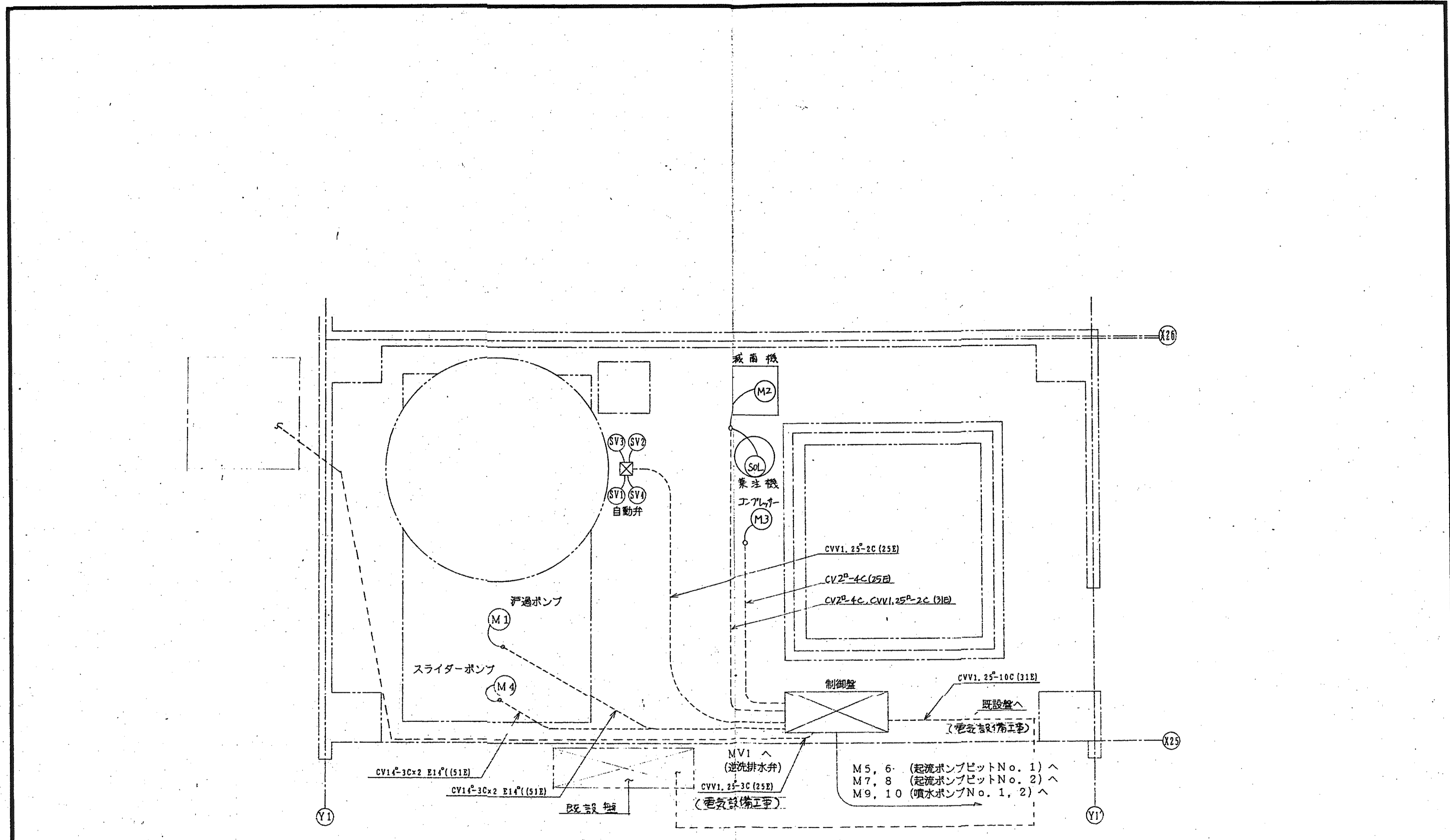
工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名 戸過装置制御盤

S-1:10 (A-1)
S-1:20 (A-3)

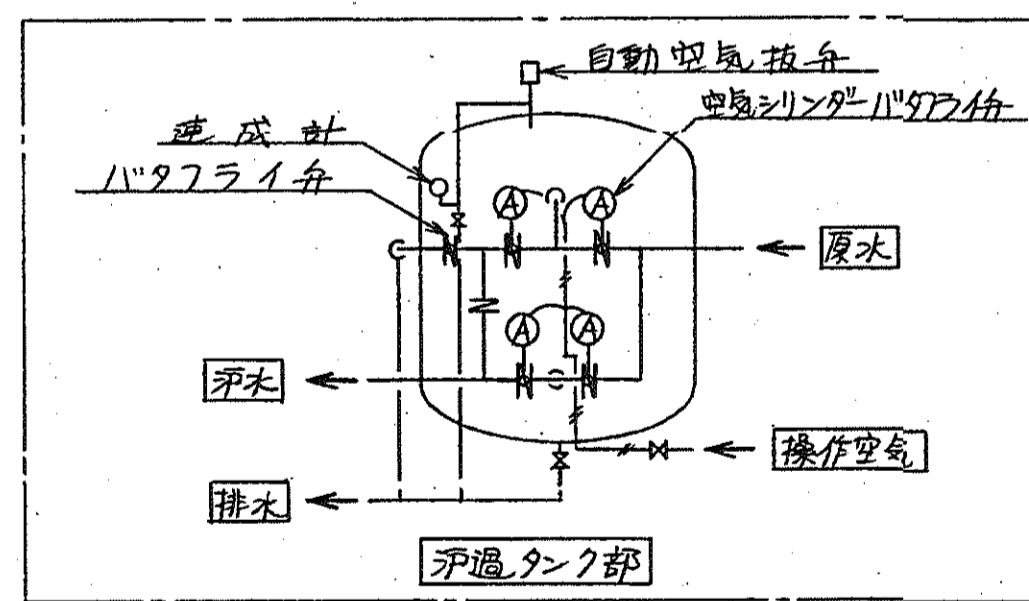
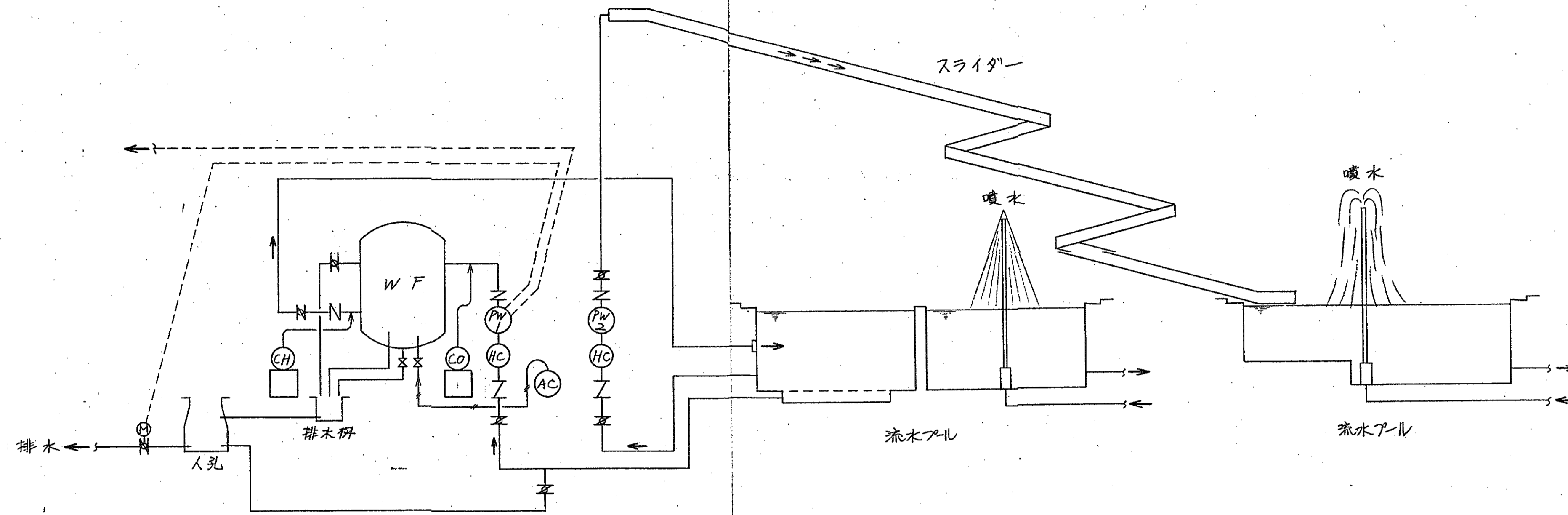
図面番号

KM/022



機械室電気二次配線図 S:1/30

整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL: 049-264-8320 (代) FAX: 049-264-8792 E-mail: yanaisekkei@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 S-1:30 (A-1) S-1:60 (A-3)	図面番号 KM/023
				変更年月日	柳井	富士見市総務部営繕課	図面名	機械室内電気図										



WF	予濾装置	◇	2方弁
PW1	予濾ポンプ	N	バタフライ弁
PW2	スライダーポンプ	⊕	電動バタフライ弁
CH	減圧弁	N	逆止弁
CO	薬注機	→	空気配管
AC	コンプレッサー		
HC	ハッチャック		

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

Table with 3 columns: No., 工事名称, 工事場所, 工期. Details include 市立富士見ガーデンビーチ改修工事 and dates from 平成29年3月17日.

Table with 5 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積(m2), 消防法施行令別表第一, 備考. Lists building details like 管理棟, ロッカー棟, etc.

5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)

Table with 5 columns: 建物別及び屋外, 工事種目, ①, ②, ③, ④, ⑤, 屋外. Lists equipment types like 空気調和設備, 換気設備, etc.

6 指定部分 ※無 ・有 対象部分： 工期：平成 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

- 1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、(・現場施工に着手するまで(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間・平成 年 月 日までの期間)については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要

Table with 2 columns: 埼玉環境配慮方針の適用項目(12), (該当項目数：). Lists environmental measures like 長寿命機材の選定, 再生品の優先使用, etc.

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

II 工事仕様

- 1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(以下「標準仕様書等」という。))及び監督員の指示に従い施工する。
(2) 電気設備工事は、上記事項に加え、公共住宅建設工事共通仕様書に従い施工する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

- 2 特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。

章 項目 特記事項

① 機材等
本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注者を記載した報告書を監督員に提出すること。
使用機材等については、7A' A'含有の有無を確認し、7A' A'を含む機材は、使用しないこと。
「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。
調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

② 電気保安技術者
③ 技能士の適用
※配管施工(配管工事) ・建築板金施工(風道制作及び取付け)
・熱絶縁施工(保温工事) ・冷凍空調和機器施工(冷凍空調機器の据付け)

4 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験
検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。
※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所(事前に監督員の承諾を得る)に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。
ただし、検査項目は一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物、pH値、臭、臭気、色度、濁度および残留塩素とする。
※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに(概ね3月以内)流入水・処理水の水質試験を行う。
試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。
ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。

⑤ 監督員事務所
本工事で、設ける(規模) ※設けない

⑥ 官公署その他への届出手続等
工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し滞滞なく行う。尚、届出等に係る費用は、受注者の負担とする。

⑦ 工用電力・水等
本工事に必要な工用電力及び水などは、支給とする。

⑧ 工用仮設物
すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない

⑨ 足場・さんばし類
※別契約の関係請負者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。

一 残土処分
埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外搬出適切処理する。

二 埋め戻し土・盛土
※根切土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類

三 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。
再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

⑬ 廃生材の処理等
※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。
(構外搬出処理費は ※本工事 ・別途)
(1) 引渡しを要するもの()
(2) 買取処分をするもの()
(3) 再生資源化を図るもの(・硬質塩化ビニル管)
(4) 特別管理産業廃棄物()
※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。

⑭ 容量等の表示
(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

15 配管
(1) 地中埋設配管(排水管を除く)
1) 地中埋設機(コンクリート製) ※要(図示の箇所) ・不要
2) 地中埋設機(キャッツアイ) ※要(舗装部の分岐、曲部) ・不要
3) 埋設表示テープ(2倍折込み) ※要

16 耐震措置
設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計 ・施工指針 2014年版」により行う。
ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平地震力K_h及び設計用鉛直地震力K_v(K_h/2)を用いて計算する。
設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

Table: 設計用水平地震力. Columns: 設置場所, 耐震安全性の分類, 特定の施設, 一般の施設. Rows: 上層階, 中間階, 1階及び地下階.

Table: 耐震安全性の分類. Columns: 設置場所, 重要機器, 一般機器, 重要機器, 一般機器. Rows: 上層階, 中間階, 1階及び地下階.

(注) ()内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
< >内の数値は水槽類に適用する。
※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階)
中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平屋建の場合は無し)
重要機器は次のものを示す。

Table: 重要機器. Columns: 給水装置, 排水装置, 換気機器, 空調機器, 熱源機器, 防火設備, 監視制御設備, 危険物貯蔵装置, 火を使用する設備, 避難経路上に設置する機器

⑮-1) あと施工アンカー
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けなければならない。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引抜試験を実施すること。

⑰ 防露保温工事

Table: 標準仕様書第2編によるほか下記による。
空気調和設備工事の保温の種別
区分 施工箇所 保温種別
ドレン管 屋内露出(一般居室、廊下) a1・(A)・VII
機械室、倉庫、倉庫 b・(A)・VII
天井内、PS内及び空間壁中 c2・(D)・VII
浴室、厨房等の多湿箇所 e2・(A)・VII
(厨房の天井内は含まない。)
蒸気管 屋内露出(一般居室、廊下) A1・(イ)・II
機械室、倉庫、倉庫 B・(イ)・II
天井内、PS内及び空間壁中 C2・(D)・II
床下、階案内(ピット内、共同溝を含む。) D・(D)・II
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) E2・(イ)・II
及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
冷水・冷温水管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。) 屋内露出(一般居室、廊下) A1・(A)・III
機械室、倉庫、倉庫 B・(A)・III
天井内、PS内及び空間壁中 C1・(イ)・III
床下、階案内(ピット内、共同溝を含む。) D・(A)・III
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) E2・(A)・III
(厨房の天井内は含まない。)
温水管(膨張管を含む。) 屋内露出(一般居室、廊下) A1・(イ)・I
機械室、倉庫、倉庫 B・(イ)・I
天井内、PS内及び空間壁中 C2・(D)・I
床下、階案内(ピット内、共同溝を含む。) D・(D)・I
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) E2・(イ)・I
(厨房の天井内は含まない。)

- (注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。
屋内露出部 ※保温化紙カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)
屋外露出部 ・溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ※SUSラッキング
・保温化紙カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)
2. 施工種別Bの材料及び施工順序 4、5に替え、アルミガラス化粧断熱紙を使用する。
3. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。

Table: ダクトの保温の種別
区分 施工箇所 保温種別
長方形ダクト 屋内露出(一般居室、廊下) J1・(イ)・XI
屋内露出(機械室、倉庫、倉庫) I・(イ)・XI
屋内隠ぺい、DS内 I・(D)・XI
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) K2・(イ)・XI
及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
円形ダクト 屋内露出(一般居室、廊下) O1・(イ)・XI
屋内露出(機械室、倉庫、倉庫) N・(イ)・XI
屋内隠ぺい、DS内 N・(D)・XI
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) P2・(イ)・XI
及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
消音内貼り サブライチャンバー M・(D)・IX
消音チャンバー・消音エルボ L・(D)・VII

Table: 給排水衛生設備工事の保温の種別
区分 施工箇所 保温種別
給水管 屋内露出(一般居室、廊下) a1・(D)・VII
機械室、倉庫、倉庫 b・(D)・VII
天井内 c2・(D)・VII
PS内及び空間壁中 o2・(D)・VII
床下、階案内(ピット内、共同溝を含む。) -
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) e2・(A)・VII
及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)
排水及び通気管 屋内露出(一般居室、廊下) -
機械室、倉庫、倉庫 c2・(D)・VII
天井内 -
PS及び空間壁中 -
浴室、厨房等の多湿箇所 e2・(A)・VII
(厨房の天井内は含まない。)
給湯管 屋内露出(一般居室、廊下) a1・(イ)・I
膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。) 機械室、倉庫、倉庫 b・(イ)・I
天井内 c2・(D)・I
PS内及び空間壁中 d・(D)・I
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。) e2・(イ)・I
及び浴室、厨房内の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)

- (注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかき部は塗装を施す。
2. 排水管の管径が耐火2層管の場合は、保温を要しない。
3. 施工種別bの材料及び施工順序 3、4に替え、アルミガラス化粧断熱紙を使用する。
4. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。
5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e2・(A)・VIIとする。

※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。

18 防露保温
※屋外露出給水管(呼び径20以下のみ)は、保温厚50mmの防露保温を行うこと。
・図示の屋外露出部(給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。)は下記仕様により防露保温を行う。
※保温仕様は保温厚さを呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。
・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

19 塗装
下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
※機械室、倉庫、倉庫
下記の金属露出管は塗装を行う。
※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出(※見えかき部)

20 電線
表示なき電線は、600Vエコマテリアルケーブルとする。
ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

⑳ 1) 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴付けは、原則としてX線機調査を実施してから、ダイヤモンドカッターを使用すること。

- 21) は つ り
22 管の埋設深さ
(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。
(2) 構内車道道路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。
(3) その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。

㉓ 既設管分岐・接続
既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。
やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。

24 絶縁継手の設置・種別
※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管
※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ

25 天井仕上げ区分
() 書きの室名は直天井を、示し、その他は二重天井を示す。

26 他工事との取合区分
スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。

㉗ 施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。

㉘ 保険
受注者は工事目的物及び工事材料について引渡し日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。

㉙ 配管識別
配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。

㉚ 工事カルテ作成・登録
請負代金が500万円以上のときは、本工事受注時、変更時及び完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に承諾を受けた後、(財)日本建設情報総合センターに登録するとともに登録結果を監督員に報告する。
完成図書の電子納品適用ガイドライン ※適用する ・適用しない
完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。
また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。県営住宅の完成図の提出部数は、A3版二つ折り5部とする。
三相誘導電動機はJIS C 4213 (IE3) トップランナーモーターとする。
工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

㉛ 共通事項
改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。

2 改修部分の足場
本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(特種足場) ・B種(単管足場) ・C種 ・D種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に關する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

㉜ 3) 既存部分養生・既存家具等養生
(1) 関係請負業者と共用部分
※別契約の関係請負業者が定着したものは無償で使用できる。
・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。
※ビニールシート ・合板 ・

4 備品等の移動
・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

5 仮設間仕切り
(1) 関係請負業者と共用部分
※別契約の関係請負業者が定着したものは無償で使用できる。
・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
(2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。
※A種 単管下地全面シート張り ・

6 撤去後機材の扱い
(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。
(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。
それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、 manifestsを監督員に提出する。

7 支持金物の再使用
(1) インサート金物 ・再使用できる ※新品
(2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品

8 あと施工アンカーの種別
金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるとする。

9 フロン回収
冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。
※破壊プラント搬入 ・フロン後生引抜き ・未再生引き抜き
「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。

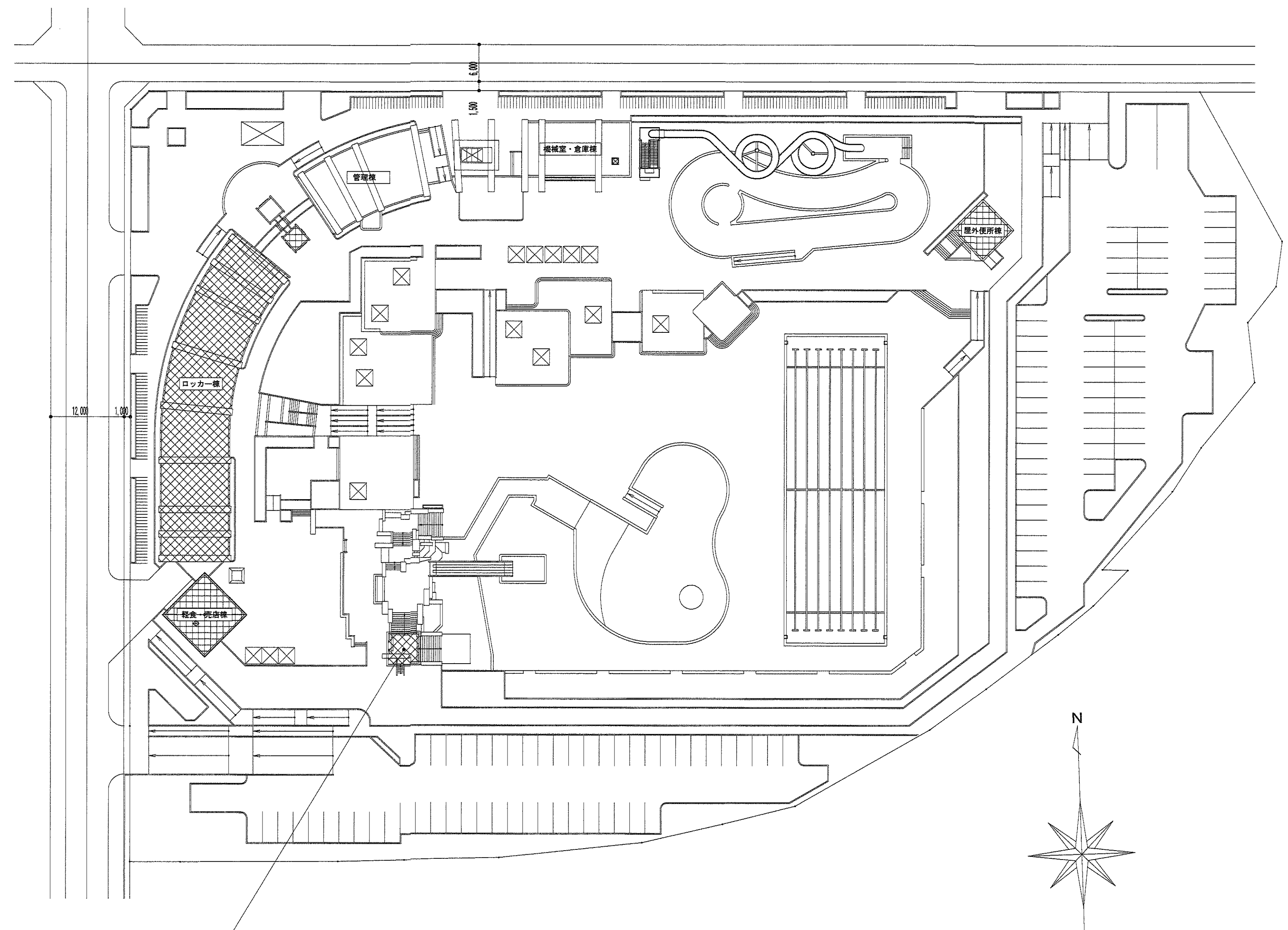
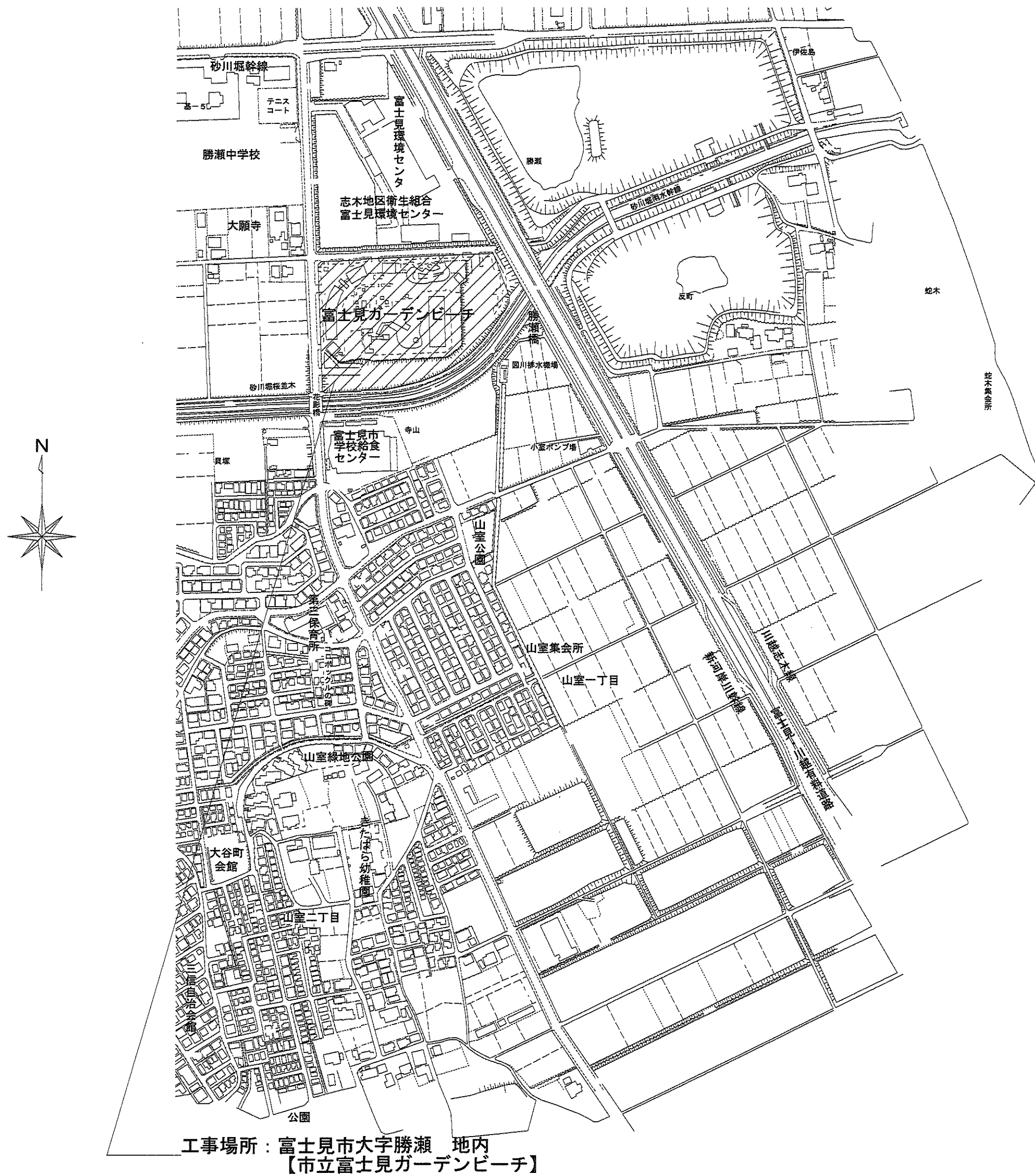
㉞ 10) 総合調整
※全体再調整 ・改修部及び影響部のみ調整

㉟ 11) 既設基礎類の解体はつり
建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。
現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。
粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。

12) そ の 他
・便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。
・図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A1版とした縮尺とする。

※以下は、高等学校および特別支援学校の改修工事(夏休み工事)に適用する。
(1) 受注者は、施工にあたって学校運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
(2) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として夏休み期間に設定すること。
(3) F F式温風暖房機の撤去・再取付について
F F式温風暖房機の一時的取り外し、再取付及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取り外し、再取付け後の双方で行うこと。

以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。
・同時期発注の関連工事：建築工事、電気設備工事



機械室内スライダポンプ交換

配置図 S=1:500

印範囲は今回施工範囲を示す

整理番号 R5年富士見市	株式会社柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-9320 (F) FAX 049-264-9792 E-mail yanaisakkei@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図	NOTE	富士見市総務部管轄課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 案内図・配置図	S-1:500 (A-1) S-1:1,000 (A-3)	図面番号 KM / 027
				変更年月日				柳井							

衛生設備器具表

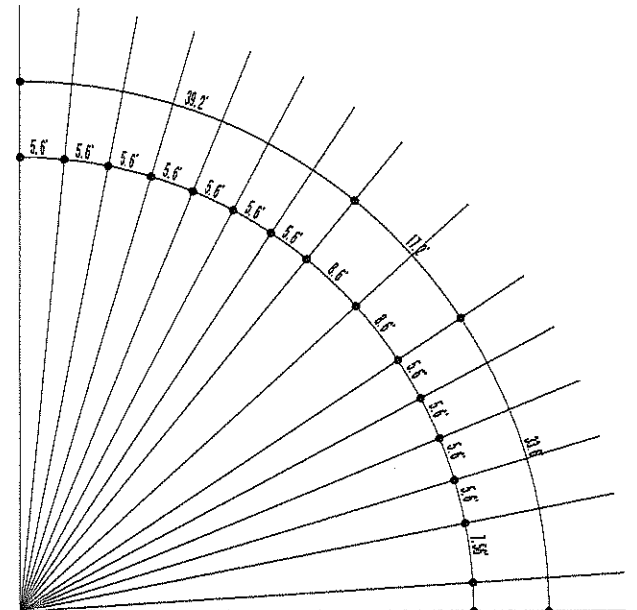
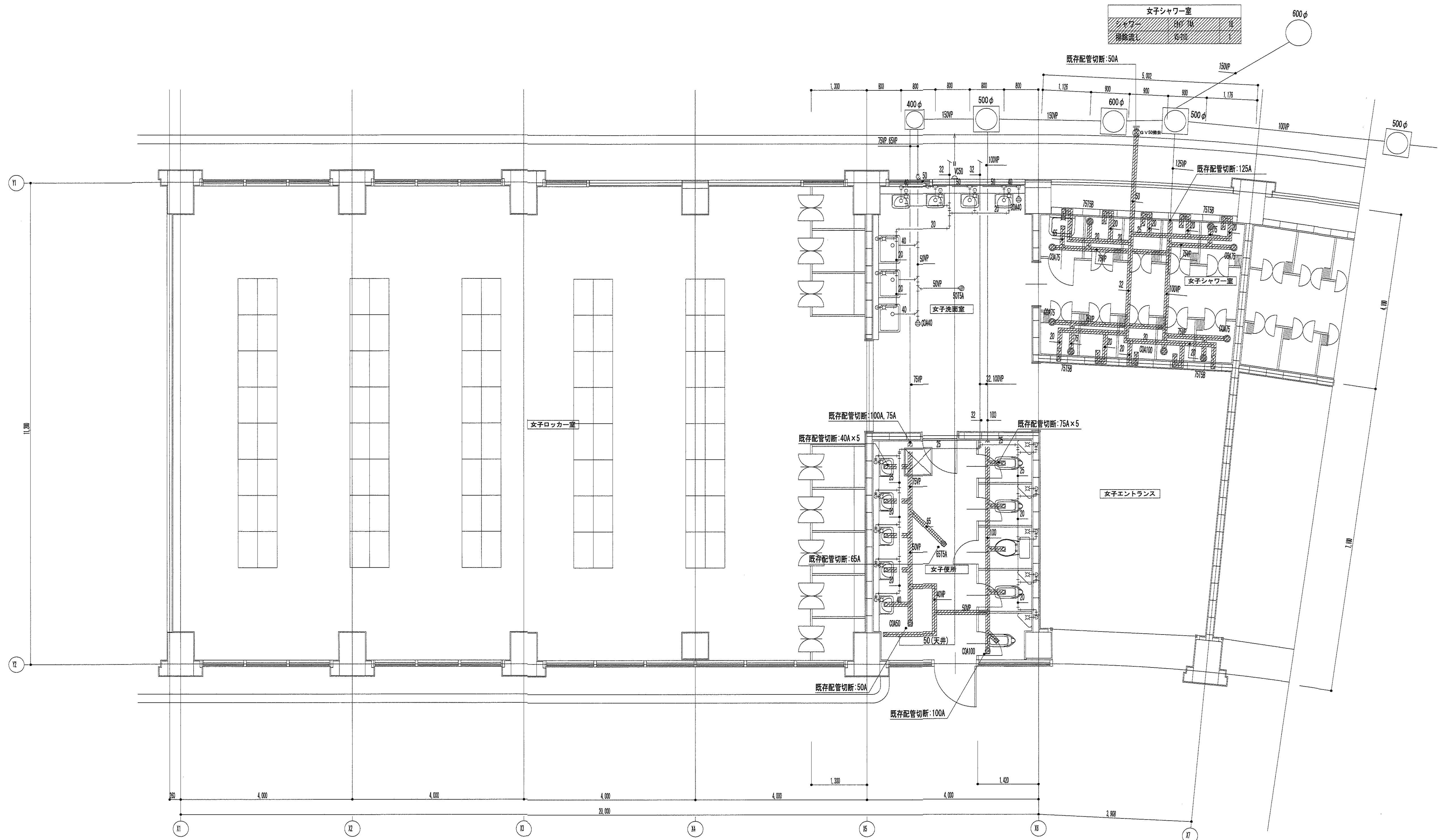
名称	仕様	ロッカー棟		屋外便所		合計	備考
		女子シャワー室	男子シャワー室	障害者便所			
洋風大便器	車椅子対応便器 暖房洗浄便座装置付(AC100V) 自動フラッシュバルブユニット タッチスイッチユニット(AC100V) SUS製棚付二連紙巻器 他一式			1		1	
C-1	CFS494CDNA+TCF5503PV82+TEV30U+TES47U+YH701						
欠番							
L-1							
欠番							
L-2							
欠番							
L-3							
洗面器	車椅子対応洗面器 自動水栓 Pトラップ 他付属品一式			1		1	
L-4	L103A+TENA40A+T7PW9						
化粧鏡	耐食鏡 350×450H			1		1	
M-1	YM3545F						
欠番							
F-1							
水栓金具(大人用)	シャワー金具 止水栓	9	9			18	
F-2	TB18RR+TB9AX20						
水栓金具(小人用)	シャワー金具 止水栓	9	9			18	
F-3	TB18RR+TB9AX20						
掃除流し	掃除流し 水栓 排水金具	1	1			2	
SK-1	SK22A+T23AE20+T37PGEP						

■注) 形番は参考とする。
トラップは全てJIS規格品とする。 洗面器の設置高さは施設と調整すること。

スライダポンプ

名称	仕様	数量
スライダポンプ	自吸式渦巻きポンプ 50A 3φ 200V 1.5kW	1
	エバラ50FQD51.5型	
	CV・GV	

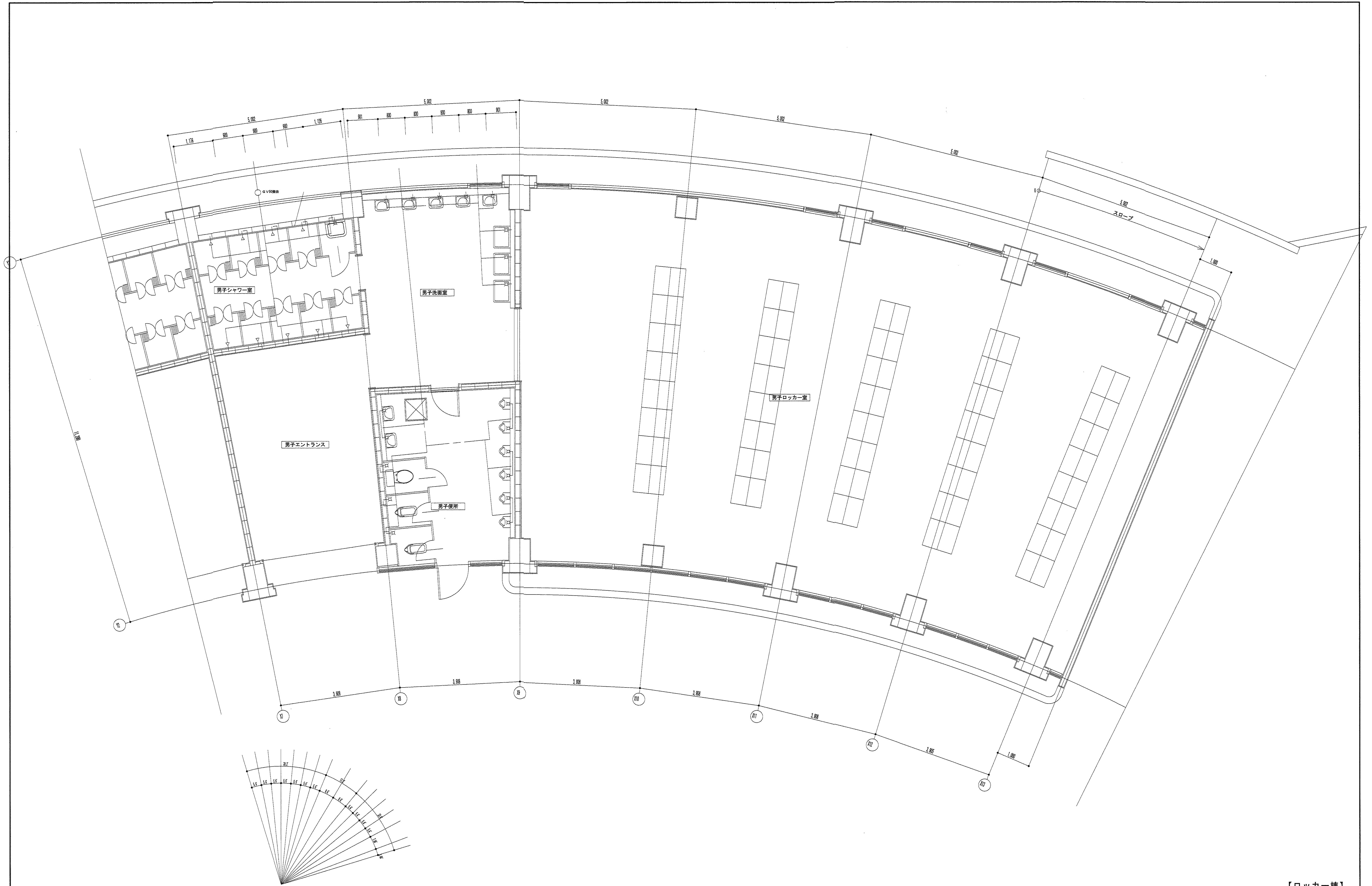
■注) 形番は参考とする。



■凡例
 撤去を示す。
 既存配管切断を示す。

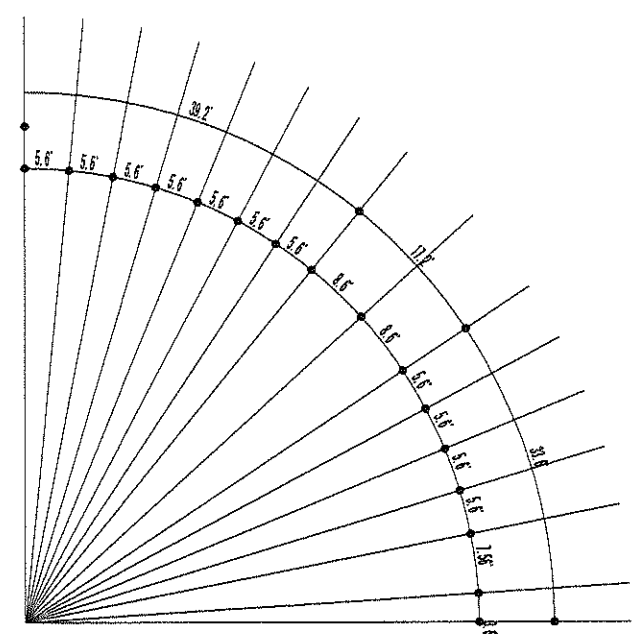
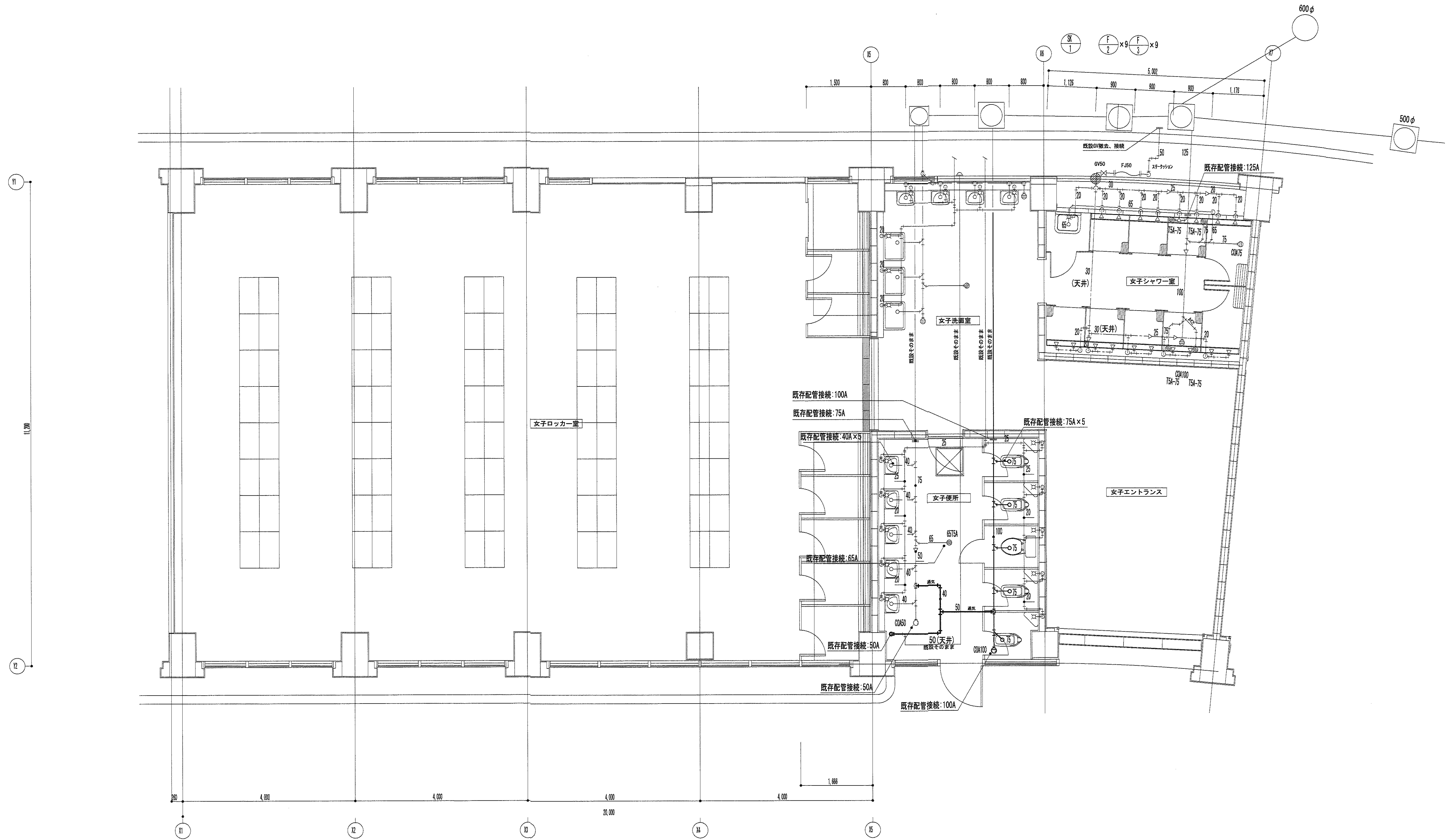
【ロッカー棟】

整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320(代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisakai@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 概図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主任 担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM/029
				変更年月日					図面名	給排水設備 既存平面詳細図-1	



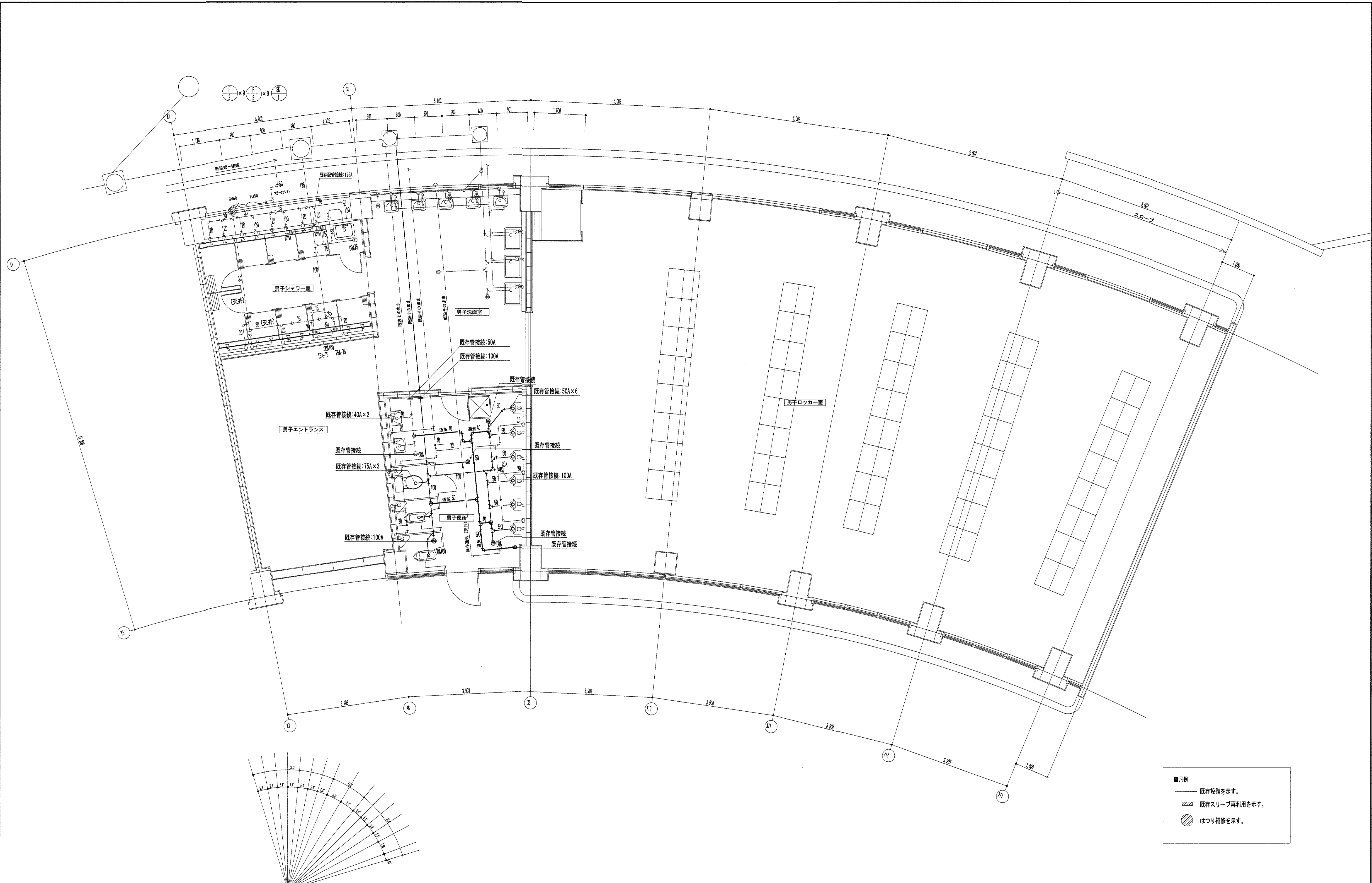
【ロッカー棟】

整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 一級建築士 柳井 博 TEL: 049-264-8920 (代) FAX: 049-264-8792 E-mail: yanaisakai@nifty.com 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図	NOTE 柳井	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM/030
			変更年月日	製図			富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	



- 凡例
- 既存設備を示す。
 - ▨ 既存スリーブ再利用を示す。
 - ⊙ はつり補修を示す。

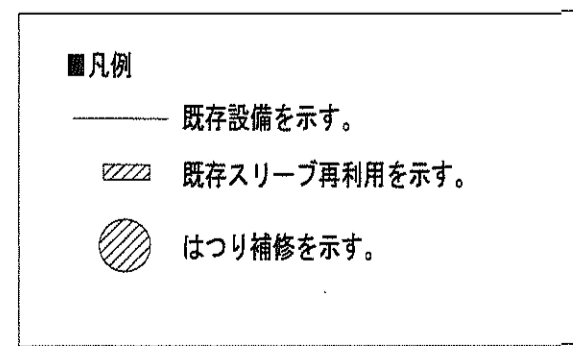
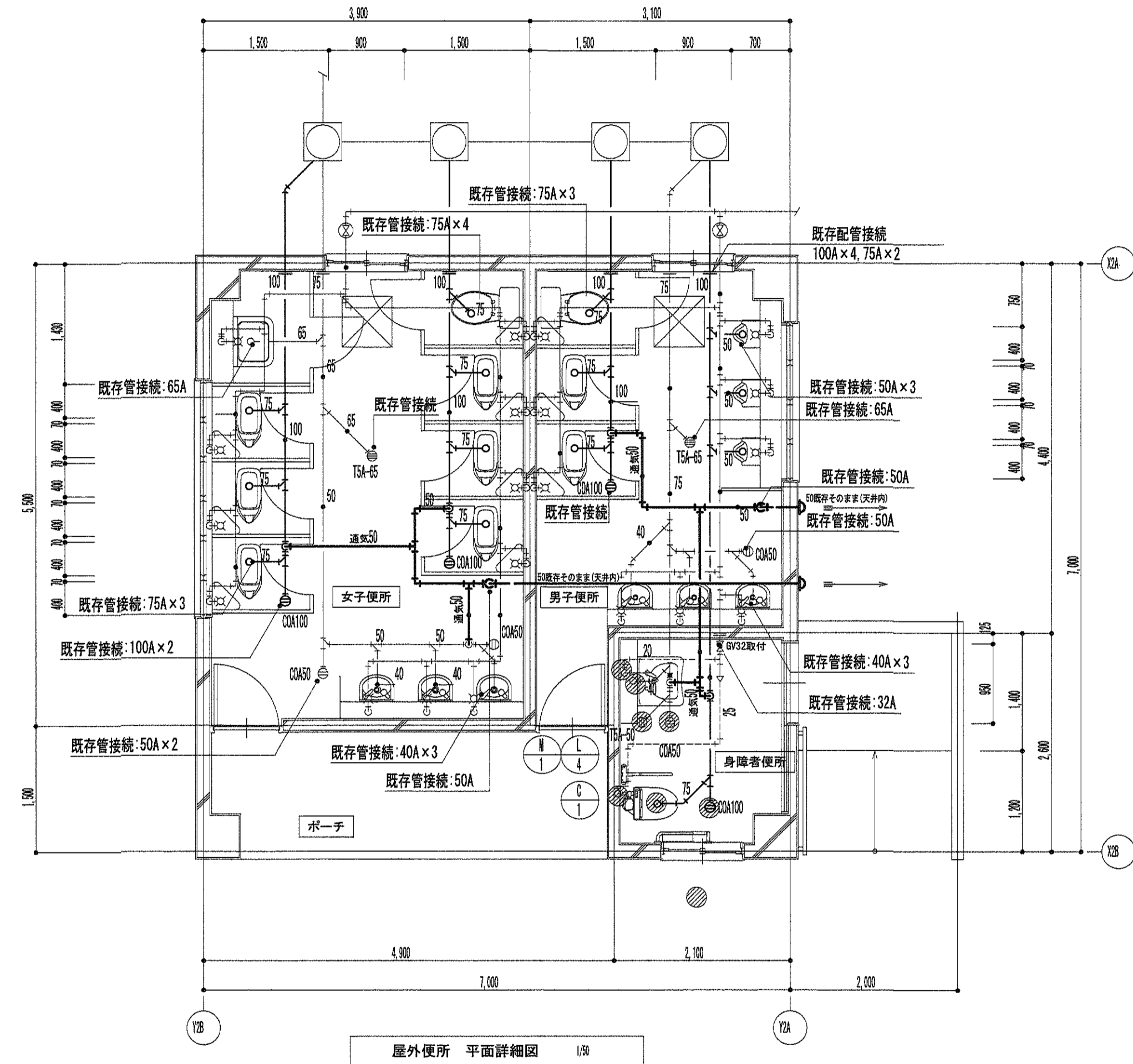
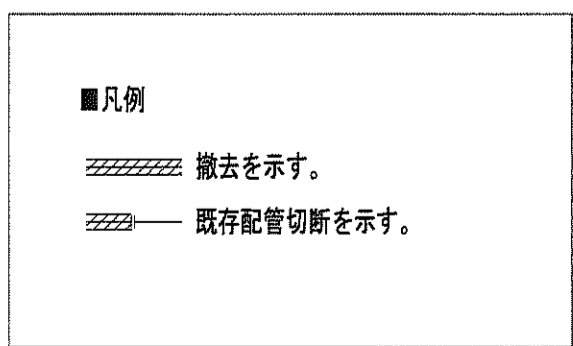
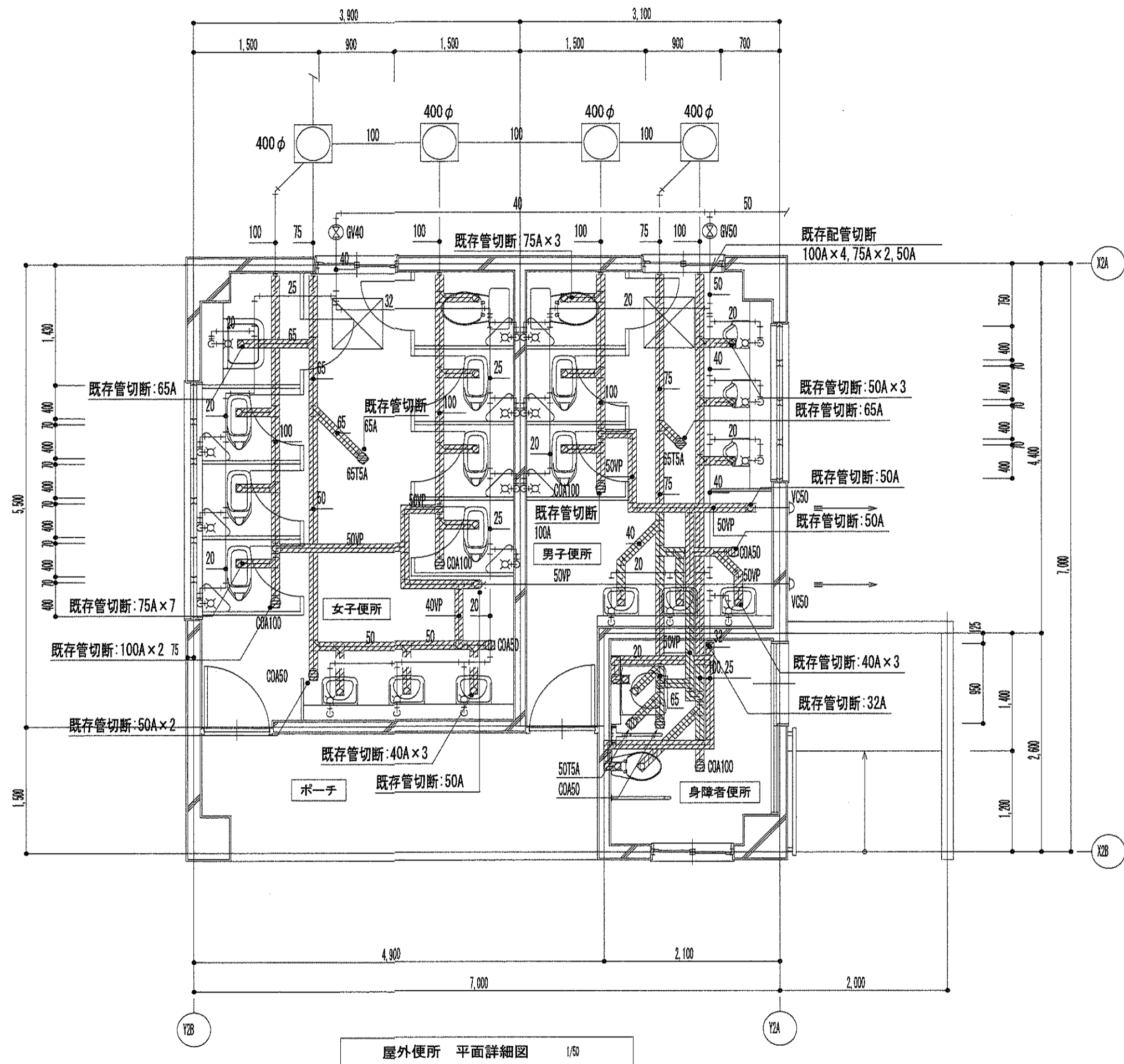
整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisekai@nifty.com	設計年月日	承認 照査 設計 製図	NOTE 柳井	課長 副課長 主任 担当 富士見市総務部管轄課	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 S-1:50 (A-1) S-1:100 (A-3)	図面番号 KM / 031
			変更年月日	製図 柳井					



- 凡例
- 既存設備を示す。
 - ▨ 既存スリーブ再利用を示す。
 - ⊘ はつり補修を示す。

【ロッカー棟】

整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-9320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisoken@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認 照査 設計 製図 柳井	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM/032
				変更年月日				図面名 給排水設備 改修平面詳細図-2	S-1:50 (A-1) S-1:100 (A-3)				



新設空調設備機器表

記号	名称	仕様	電気容量 (消費電力)			設置場所	台数	備考
			φ	電圧	W			
VEP-1	天井換気扇	樹脂製低騒音型天井換気扇	1	100	36	ロッカー棟	1	スイッチ (電気設備工事)
		445m ³ /H×50Pa×150φ				1階 女子シャワー室		IP-20703
						屋外便所棟	2	
						女子便所		
VEP-2	天井換気扇	樹脂製低騒音型天井換気扇	1	100	36	ロッカー棟	1	スイッチ (電気設備工事)
		445m ³ /H×50Pa×150φ				1階 男子シャワー室		IP-20703
VEP-3	欠番							
VEP-4	欠番							
VEP-5	天井換気扇	樹脂製低騒音型天井換気扇	1	100	14	屋外便所	1	スイッチ (電気設備工事)
		110m ³ /H×50Pa×100φ				障害者便所		IP-15200
VEP-6	天井換気扇	樹脂製低騒音型天井換気扇	1	100	26	改札	1	スイッチ (電気設備工事)
		180m ³ /H×50Pa×150φ						IP-18200
VEP-7	欠番							
VEP-8	天井換気扇	樹脂製低騒音型天井換気扇	1	100	26	売店	1	スイッチ (電気設備工事)
		160m ³ /H×30Pa×150φ				倉庫		IP-18200
VEP-9	天井換気扇	樹脂製低騒音型天井換気扇	1	100	7.2	売店	1	スイッチ (電気設備工事)
		40m ³ /H×50Pa×100φ				物置		IP-18200
VEP-10	天井換気扇	樹脂製低騒音型天井換気扇	1	100	26	売店	1	スイッチ (電気設備工事)
		150m ³ /H×50Pa×150φ				控室		IP-18200
EF-1	排風機	厨房用ストレートシロッコファン	3	200	1030	売店	1	スイッチ (電気設備工事)
		#1 1/2×2×250×700×3900m ³ /h×250Pa				調理室		BF-4001

整理番号

R5年富士見市

株式会社 柳井設計
CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI

一級建築士事務所

TEL 049-264-8320 (代)
FAX 049-264-8792
E-mail yanaisk@nifty.com

一級建築士 柳井 博
登録番号 第 85179 号

設計年月日

変更年月日

承認 照査 設計 製図

柳井

製図

柳井

柳井

柳井

柳井

柳井

柳井

柳井

富士見市総務部営繕課

課長 副課長 主任 担当

工事名

市立富士見ガーデンビーチ解体工事

図面名

冷暖房設備機器表

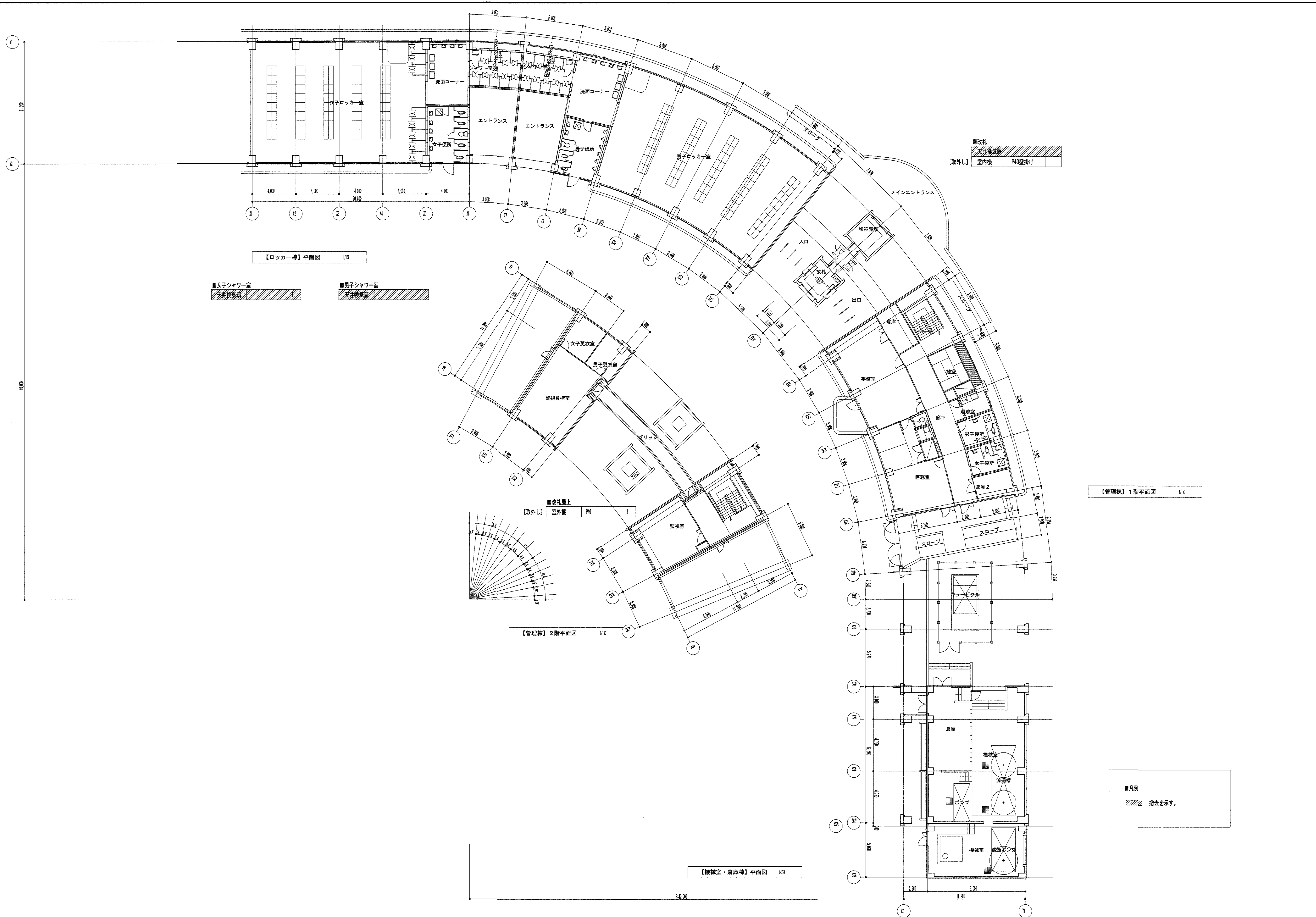
S-1:- (A-1)

S-1:- (A-3)

図面番号

KM

034



【ロッカー棟】平面図 1/50

■女子シャワー室
天井換気扇

■男子シャワー室
天井換気扇

■改札屋上
[取外し] 室外機 P40

【管理棟】2階平面図 1/50

【機械室・倉庫棟】平面図 1/50

【管理棟】1階平面図 1/50

■凡例
 撤去を示す。

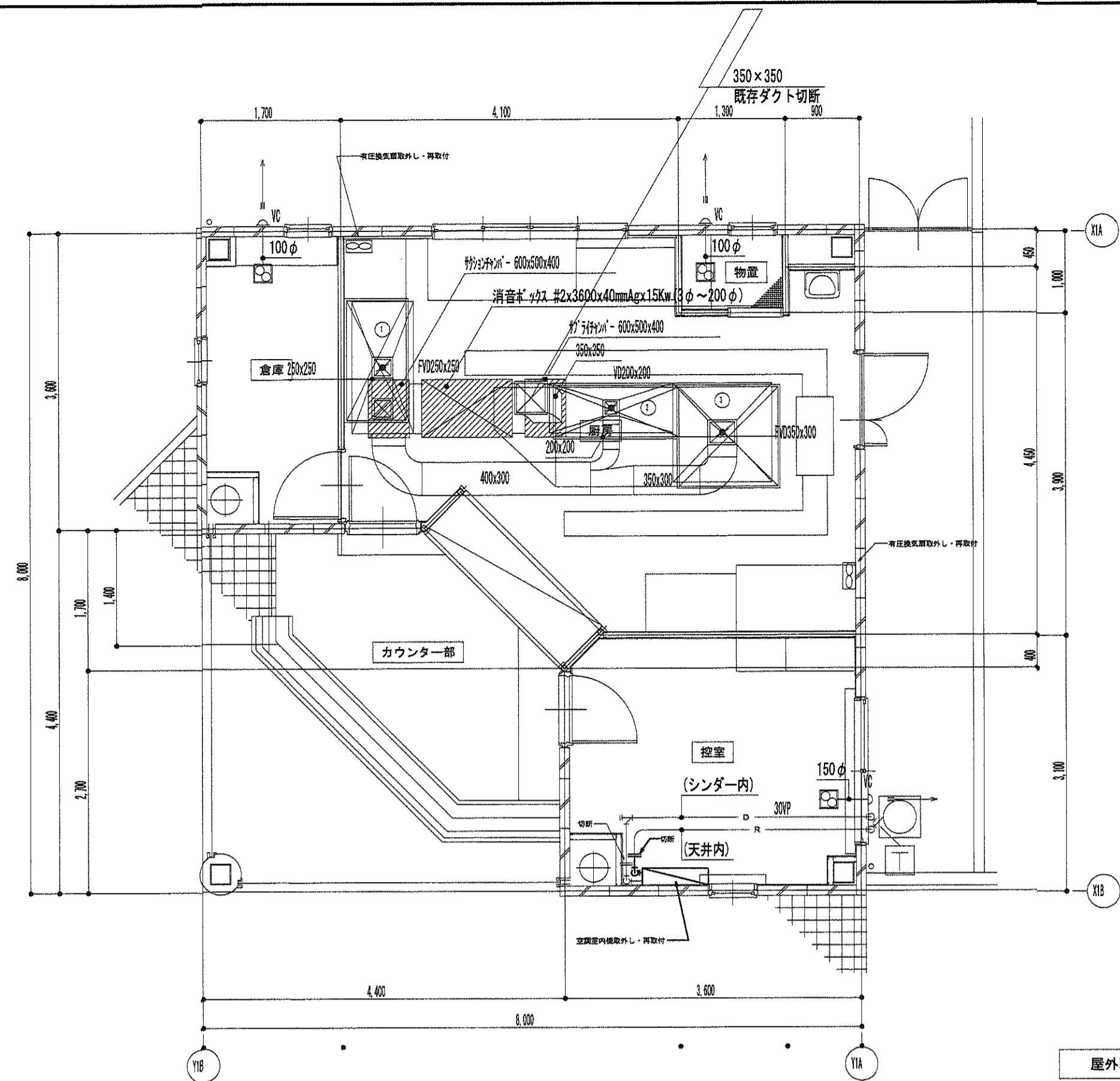
整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisoken@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図	NOTE	富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名	市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM/035
				変更年月日	柳井	図面名	冷暖房設備 既存平面図	S-1:150 (A-1) S-1:300 (A-3)									



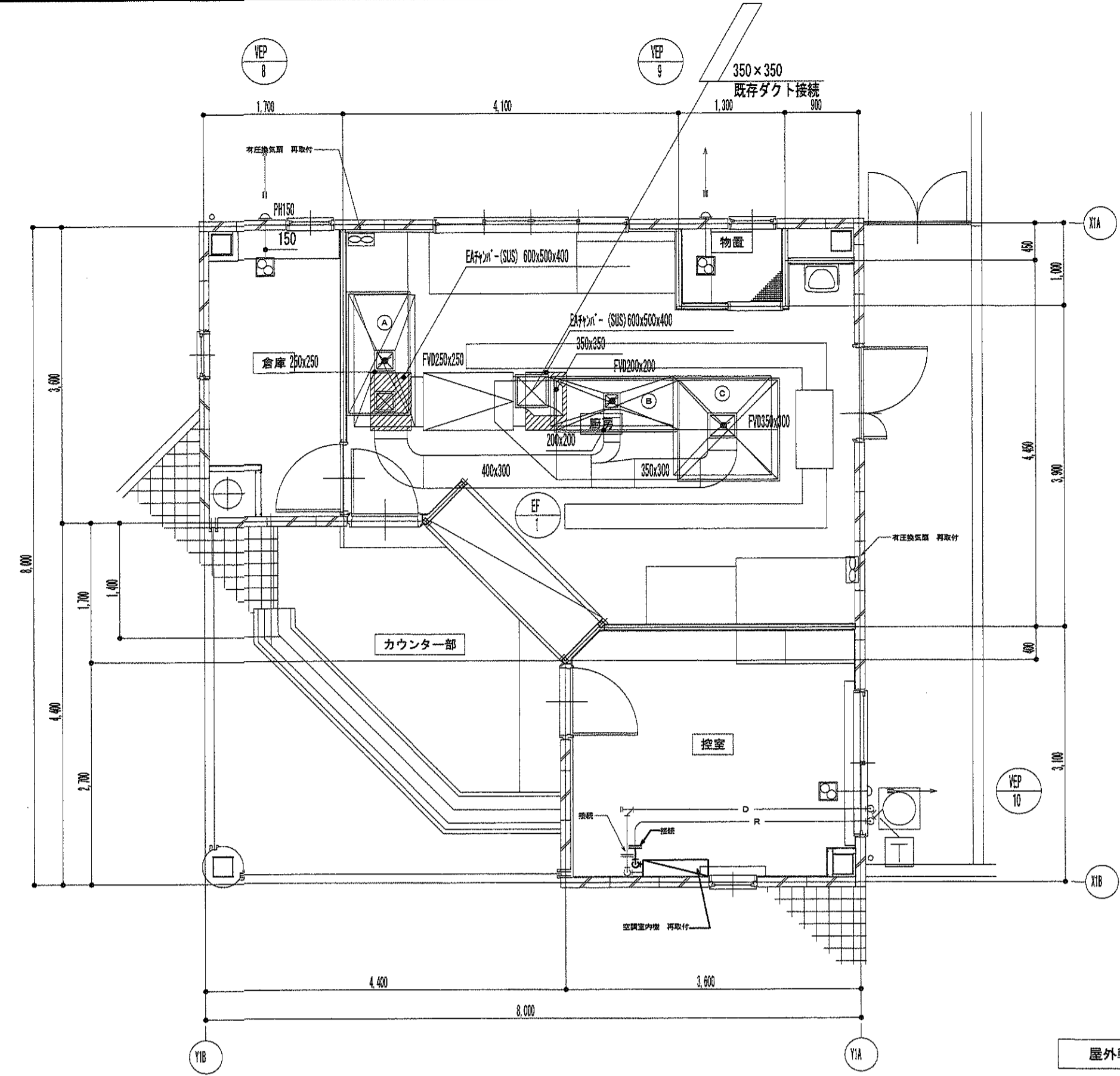
■改札		
[新規]	天井換気扇	1
[再取付]	室内機 P40壁掛け	1

■改札屋上		
[再取付]	室外機 P40	1

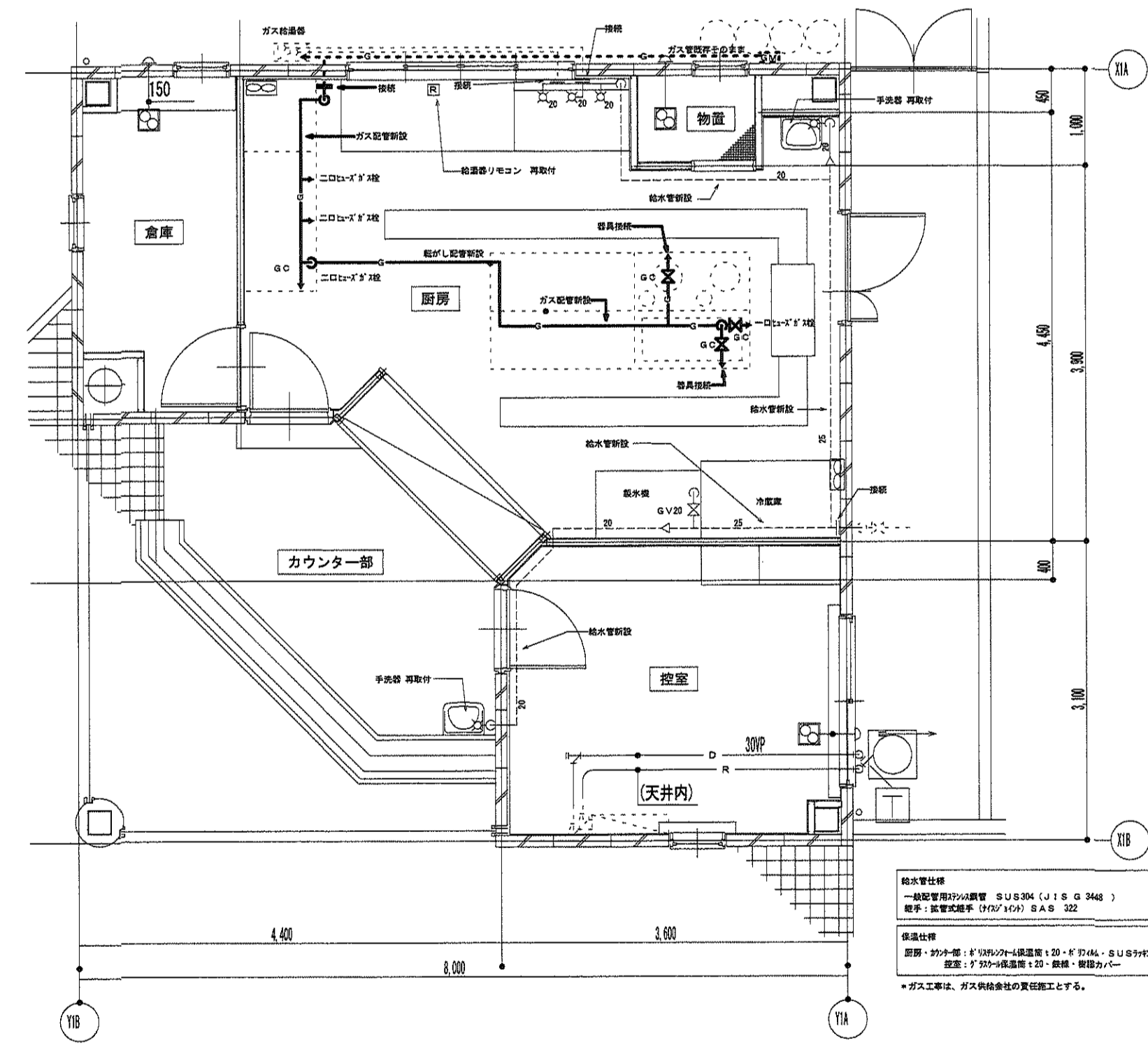
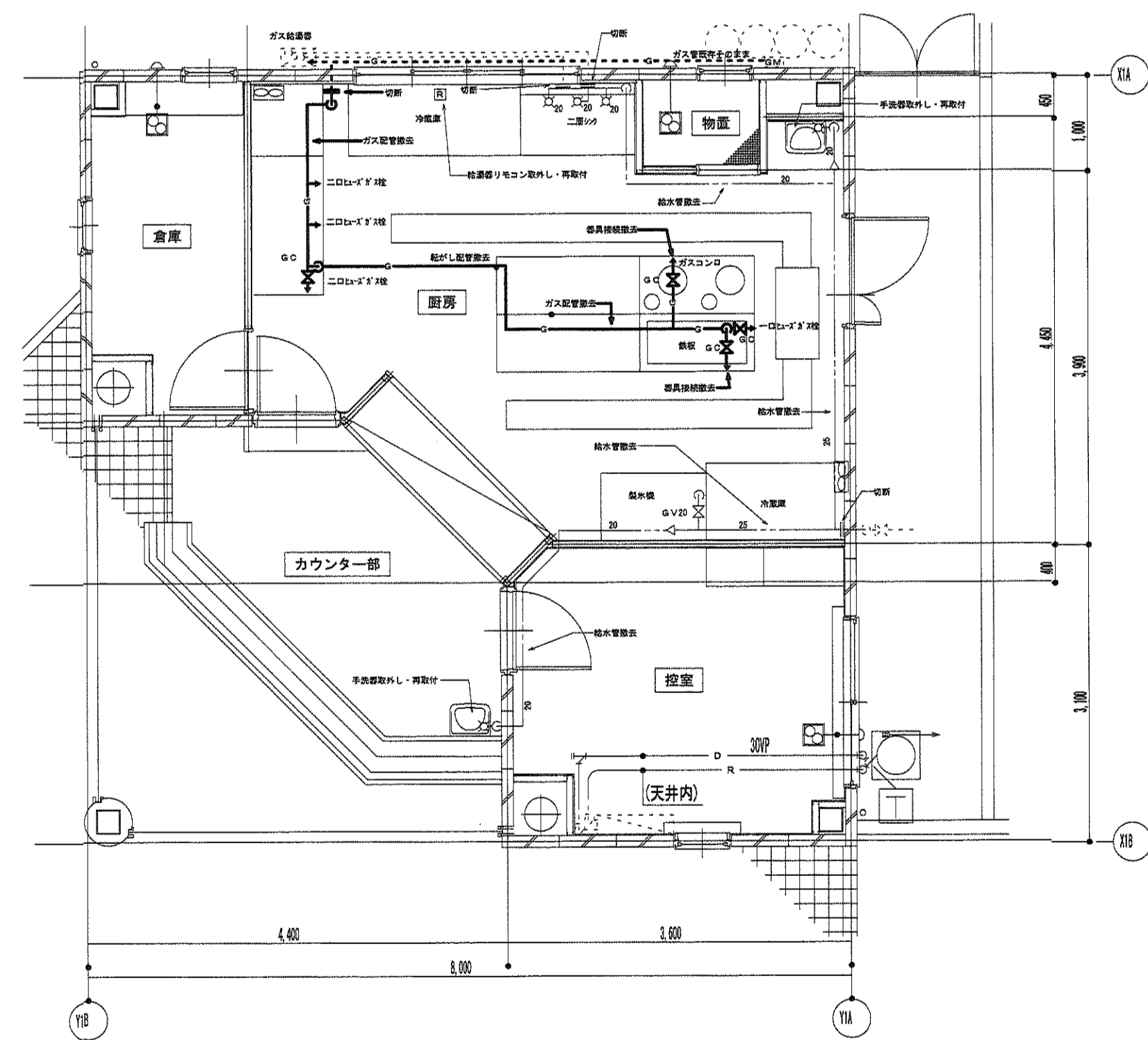
■凡例
 —— 既存設備を示す。



屋外軽食・売店棟平面詳細図 1/50



屋外軽食・売店棟平面詳細図 1/50



換気フードリスト			
番号	寸法	風量	備考
①	750x1800x600H	1300m ³ /h	ダクトなし(SUS)付
②	1500x600x600H	600m ³ /h	
③	1200x1200x600H	1700m ³ /h	ダクトなし(SUS)付

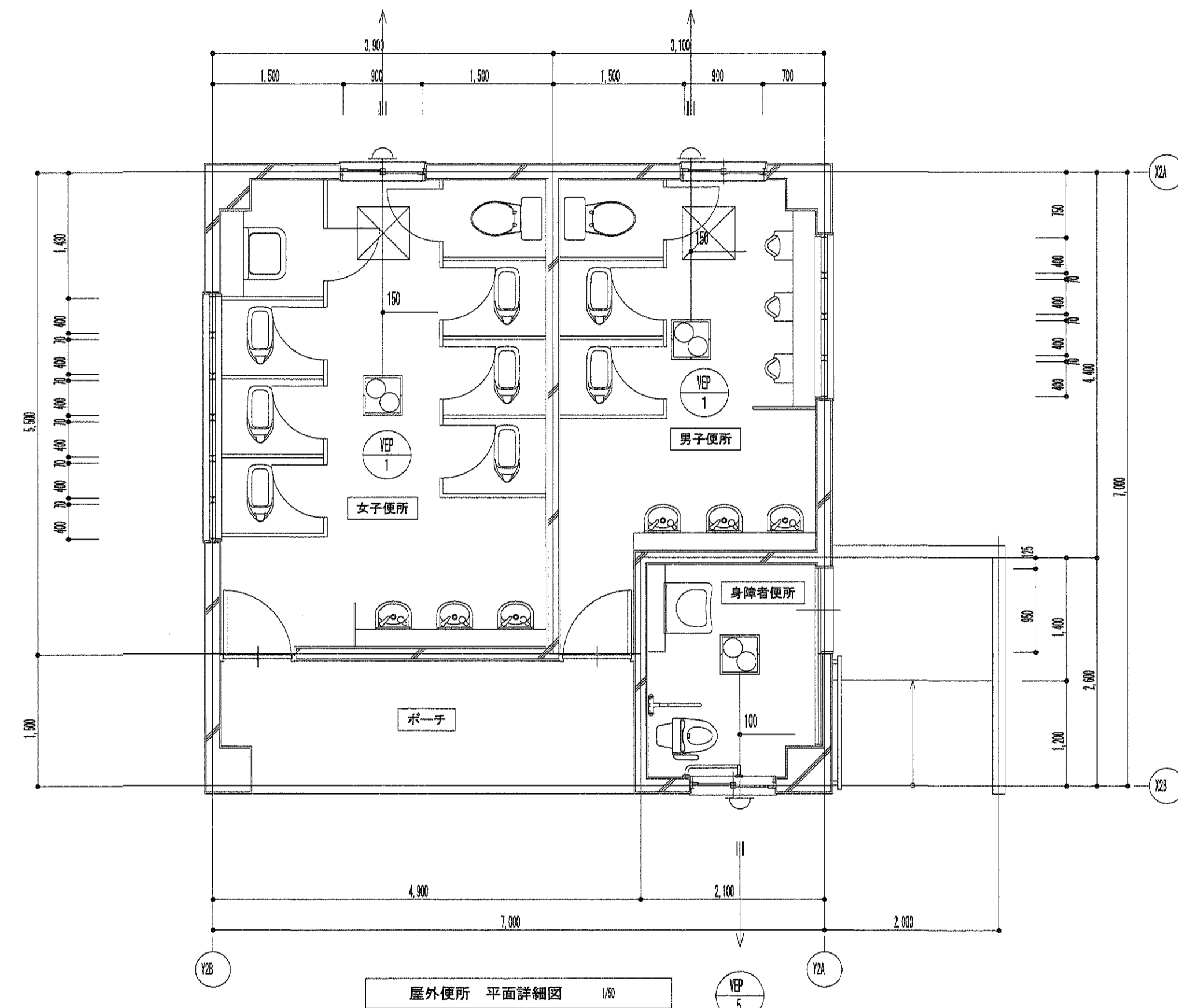
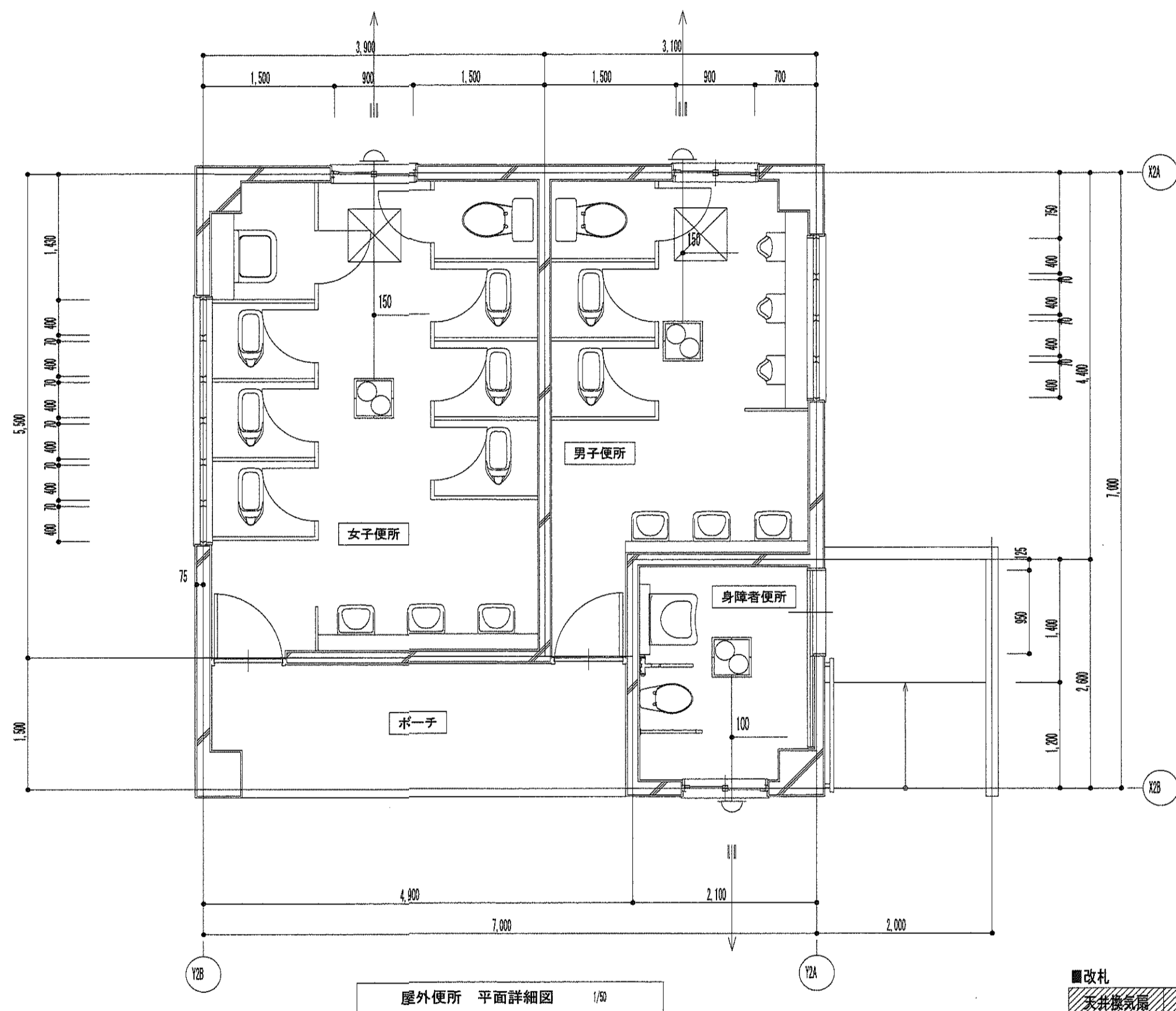
■凡例
 — 既存再利用

■特記事項
 特記なき図示設備は全て撤去する

記号	フード寸法			燃料容量(kWh)	設計風量 (m ³ /h)	風量算定 (m ³ /h)		器具	備考	1/100分 参考型番
	W	D	H			ガス容量による	電気容量による			
①	750	1,800	600		1,300	3.0kV	V=eP			GF
②	1,500	600	600		1,000					FS
③	1,200	1,200	600		1,600					GF
計					3,900					

■特記事項
 1) 換気フードはSUS製(SUS304 1.0mm)とし、コレクターカップ付とする。
 2) グリスフィルターは油断分離率75%以上、回収率80%以上とする。
 3) 注記 FS:ヒューズ式防火機軸付シャッター GF:グリスマルター
 4) ダクトはSUS製とする。
 5) 採油の使用は排気ダクトはK3-①-Ⅱ、給気ダクトはK3-②-Ⅱとする。
 6) Ⅱ型・2重フード
 7) スパイラルダクトは外壁より1mの範囲をφ25t巻きとする。

【軽食売店棟】



■凡例
 — 既存再利用
 ▨ 撤去を示す。

■特記事項
 特記なき図示設備は全て撤去する

【屋外便所棟】

整理番号 R5年富士見市	株式会社 柳井設計 CO., LTD ARCHITECT OFFICE YANAI	一級建築士事務所 TEL 049-264-8320 (代) FAX 049-264-8792 E-mail yanaisakkei@nifty.com	一級建築士 柳井 博 登録番号 第 85179 号	設計年月日	承認	照査	設計	製図 柳井	NOTE	富士見市総務部當繕課	課長	副課長	主任	担当	工事名 市立富士見ガーデンビーチ解体工事	図面番号 KM/038
				変更年月日							図面名 換気設備 既存・改修平面詳細図	S-1:50 (A-1) S-1:100 (A-3)				